2020年度
ILAC科目/市ヶ谷基礎科目・総合科目
200・300番台
講義概要（シラバス）

法政大学

科目一覧［発行日：2020/5/1］最新版のシラバスは、法政大学 Web シラバス（https://syllabus.hosei.ac.jp/）で確認してください。

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（英語分野）【E1806】Intercultural Communication B［石原　紀子］秋学期授業/Fall 1
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（英語分野）【E1807】Intercultural Communication A［川口　悠子］秋学期授業/Fall 2
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（英語分野）【E1808】Intercultural Communication C［石原　紀子］秋学期授業/Fall 4
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（英語分野）【E1809】Intercultural Communication D［Noriko ISHIHARA］春学期授業/Spring 6
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【E3602】Intercultural Communication E［ヴァリエンヌ　コリンヌ］秋学期授業/Fall 7
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【E3603】Intercultural Communication F［Corinne VALLIENNE］春学期授業/Spring 8
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【E5337】中国語補講３-Ⅰ［沈　小南］春学期授業/Spring 9
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【E5338】中国語補講３-Ⅱ［沈　小南］秋学期授業/Fall 10
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【E5339】中国語補講３-Ⅰ［沈　小南］春学期授業/Spring 11
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【E5340】中国語補講３-Ⅱ［沈　小南］秋学期授業/Fall 12
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【E5341】中国語補講３-Ⅰ［馬　挺］春学期授業/Spring 13
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【E5342】中国語補講３-Ⅱ［馬　挺］秋学期授業/Fall 14
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【E5343】中国語補講３-Ⅰ［馬　挺］春学期授業/Spring 15
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【E5344】中国語補講３-Ⅱ［馬　挺］秋学期授業/Fall 16
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【E6135】スペイン語補講３－Ⅰ［若林　大我］春学期授業/Spring 17
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【E6136】スペイン語補講３－Ⅱ［若林　大我］秋学期授業/Fall 18
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【E8062】Intercultural Communication G［尾形　太郎］秋学期授業/Fall 19
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【E8063】Intercultural Communication H［Sonoko YAMAMOTO］春学期授業/Spring 20
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【F4005】ロシア語（３）Ⅰ［佐藤　裕子］春学期授業/Spring 21
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【F4006】ロシア語（３）Ⅱ［佐藤　裕子］秋学期授業/Fall 22
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【F7220】朝鮮語３C-Ⅰ［富所　明秀］春学期授業/Spring 23
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【F7221】朝鮮語３C-Ⅱ［富所　明秀］秋学期授業/Fall 24
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【F7222】朝鮮語４B-Ⅰ［新谷　あゆり］春学期授業/Spring 24
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【F7223】朝鮮語４B-Ⅱ［新谷　あゆり］秋学期授業/Fall 25
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【F7224】朝鮮語５A-Ⅰ［吉良　佳奈江］春学期授業/Spring 26
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【F7225】朝鮮語５A-Ⅱ［吉良　佳奈江］秋学期授業/Fall 27

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【F7226】朝鮮語５Ｂ-Ⅰ［神谷　丹路］春学期授業/Spring 28
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【F7227】朝鮮語５Ｂ-Ⅱ［神谷　丹路］秋学期授業/Fall 29
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【F8057】日本語１-Ⅰ［尾形　太郎］春学期授業/Spring 30
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【F8058】日本語１-Ⅱ［尾形　太郎］秋学期授業/Fall 31
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【F8069】日本語３-Ⅰ［戸村　佳代］春学期授業/Spring 32
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【F8070】日本語３-Ⅱ［戸村　佳代］秋学期授業/Fall 34
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【F8071】日本語３-Ⅰ［尾形　太郎］春学期授業/Spring 35
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【F8072】日本語３-Ⅱ［尾形　太郎］秋学期授業/Fall 36
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【F8075】日本語４-Ⅰ［中沢　佐企子］春学期授業/Spring 37
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【F8076】日本語４-Ⅱ［中沢　佐企子］秋学期授業/Fall 38
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【F8077】日本語４-Ⅰ［尾形　太郎］春学期授業/Spring 39
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【F8078】日本語４-Ⅱ［尾形　太郎］秋学期授業/Fall 40
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【P0633】Career Development Skills ［山﨑　雅夫］春学期授業/Spring 42
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【P1303】Humanities A［URBANOVA Jana］春学期授業/Spring 44
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【P1305】Humanities B［リチャード・バロース］春学期授業/Spring 45
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【P2304】Social Science A ［スキハノ　アドリアン］秋学期授業/Fall 46
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【P2305】Social Science B［SCHIFANO ADRIEN］春学期授業/Spring 47
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【P3605】Natural Science B［Naomi NISHIMURA］春学期授業/Spring 48
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_5 群（保健体育分野）【P5801】Health and Physical Education ［秋本　成晴］春学期授業/Spring 49
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0102】情報処理演習Ⅱ ［吉岡　卓］秋学期授業/Fall 50
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0104】情報処理演習Ⅱ ［吉岡　卓］秋学期授業/Fall 51
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0106】情報処理演習Ⅱ ［吉岡　卓］秋学期授業/Fall 52
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0108】情報処理演習Ⅱ ［吉岡　卓］秋学期授業/Fall 53
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0110】情報処理演習Ⅱ ［中村　文隆］秋学期授業/Fall 54
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0112】情報処理演習Ⅱ ［中村　文隆］秋学期授業/Fall 55
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0114】情報処理演習Ⅱ ［河内谷　幸子］秋学期授業/Fall 56
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0116】情報処理演習Ⅱ ［岡嶋　裕史］秋学期授業/Fall 57
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0118】情報処理演習Ⅱ ［岡嶋　裕史］秋学期授業/Fall 58

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0120】情報処理演習Ⅱ ［重定　如彦］秋学期授業/Fall 59
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0122】情報処理演習Ⅱ ［重定　如彦］秋学期授業/Fall 60
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0124】情報処理演習Ⅱ ［松田　裕幸］秋学期授業/Fall 61
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0126】情報処理演習Ⅱ ［松田　裕幸］秋学期授業/Fall 62
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0128】情報処理演習Ⅱ ［河内谷　幸子］秋学期授業/Fall 63
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0130】情報処理演習Ⅱ ［河内谷　幸子］秋学期授業/Fall 64
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0132】情報処理演習Ⅱ ［久東　義典］秋学期授業/Fall 65
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0134】情報処理演習Ⅱ ［久東　義典］秋学期授業/Fall 67
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0136】情報処理演習Ⅱ ［名児耶　厚］秋学期授業/Fall 69
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0138】情報処理演習Ⅱ ［名児耶　厚］秋学期授業/Fall 69
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0140】情報処理演習Ⅱ ［名児耶　厚］秋学期授業/Fall 70
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0142】情報処理演習Ⅱ ［名児耶　厚］秋学期授業/Fall 70
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0144】情報処理演習Ⅱ ［星　善光］秋学期授業/Fall 71
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0146】情報処理演習Ⅱ ［星　善光］秋学期授業/Fall 72
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0503】法政学の探究ＬＢ［古俣　達郎］春学期授業/Spring 73
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0504】法政学の探究ＬＡ［古俣　達郎］秋学期授業/Fall 74
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1301】日本文学と文化ＬＡ［阿部　真弓］春学期授業/Spring 75
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1302】日本文学と文化ＬＢ［阿部　真弓］秋学期授業/Fall 76
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1303】日本文学と文化ＬＣ［今泉　隆裕］春学期授業/Spring 77
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1304】日本文学と文化ＬＤ［今泉　隆裕］秋学期授業/Fall 78
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1305】日本文学と文化ＬＥ［伊海　孝充］春学期授業/Spring 80
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1306】日本文学と文化ＬＦ［伊海　孝充］秋学期授業/Fall 81
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1307】日本文学と文化 LG［榎本　正樹］春学期授業/Spring 82
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1308】日本文学と文化 LH［榎本　正樹］秋学期授業/Fall 83
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1309】外国文学と文化ＬＡ［鈴木　正道］春学期授業/Spring 84
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1310】外国文学と文化ＬＢ［鈴木　正道］秋学期授業/Fall 86
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1313】外国文学と文化ＬＥ［大崎　さやの］春学期授業/Spring 87
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1314】外国文学と文化ＬＦ［大崎　さやの］秋学期授業/Fall 88

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1319】文学と社会ＬＣ［白戸満喜子］春学期授業/Spring 89
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1320】文学と社会ＬＤ［白戸満喜子］秋学期授業/Fall 90
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1321】文学と社会ＬＥ［中澤忠之］春学期授業/Spring 91
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1322】文学と社会ＬＦ［中澤忠之］秋学期授業/Fall 92
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1323】日本文学と文化 LG［榎本　正樹］春学期授業/Spring 93
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1324】日本文学と文化 LH［榎本　正樹］秋学期授業/Fall 94
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1362】音声学Ｌ［江村　裕文］秋学期授業/Fall 96
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1381】哲学ＬⅠ［大西　正人］春学期授業/Spring 97
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1382】哲学ＬⅡ［大西　正人］秋学期授業/Fall 98
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1383】哲学ＬⅠ［白根　裕里枝］春学期授業/Spring 99
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1384】哲学ＬⅡ［白根　裕里枝］秋学期授業/Fall 100
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1391】倫理学ＬⅠ［森村　修］春学期授業/Spring 101
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1392】倫理学ＬⅡ［森村　修］秋学期授業/Fall 102
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1393】倫理学ＬⅠ［佐藤　英明］春学期授業/Spring 103
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1394】倫理学ＬⅡ［佐藤　英明］秋学期授業/Fall 104
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1395】倫理学ＬⅠ［杉本　隆久］春学期授業/Spring 105
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1396】倫理学ＬⅡ［杉本　隆久］秋学期授業/Fall 106
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1397】倫理学ＬⅠ［伊藤　直樹］春学期授業/Spring 108
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1398】倫理学ＬⅡ［伊藤　直樹］秋学期授業/Fall 109
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1399】倫理学ＬⅠ［田島　樹里奈］春学期授業/Spring 110
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1400】倫理学ＬⅡ［田島　樹里奈］秋学期授業/Fall 112
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1401】倫理学ＬⅠ［吉永　明弘］春学期授業/Spring 113
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1402】倫理学ＬⅡ［吉永　明弘］秋学期授業/Fall 114
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1411】論理学ＬⅠ［佐々木護］春学期授業/Spring 115
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1412】論理学ＬⅡ［佐々木護］秋学期授業/Fall 116
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1421】東洋史ＬⅠ［岡安　勇］春学期授業/Spring 117
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1422】東洋史ＬⅡ［岡安　勇］秋学期授業/Fall 118
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1423】東洋史ＬⅠ［長谷部圭彦］春学期授業/Spring 120

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1424】東洋史ＬⅡ［長谷部圭彦］秋学期授業/Fall 121
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1431】西洋史ＬＡ［宮﨑　亮］春学期授業/Spring 122
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1432】西洋史ＬＢ［宮﨑　亮］秋学期授業/Fall 123
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1433】西洋史ＬＡ［宮﨑　亮］春学期授業/Spring 124
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1434】西洋史ＬＢ［宮﨑　亮］秋学期授業/Fall 125
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1435】西洋史ＬＡ［渡辺　知］春学期授業/Spring 126
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1436】西洋史ＬＢ［渡辺　知］秋学期授業/Fall 127
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1437】西洋史ＬＡ［渡辺　知］春学期授業/Spring 128
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1438】西洋史ＬＢ［渡辺　知］秋学期授業/Fall 129
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1441】日本史ＬⅠ［横濱　文孝］春学期授業/Spring 130
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1442】日本史ＬⅡ［横濱　文孝］秋学期授業/Fall 131
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1443】日本史ＬⅠ［仁平　義孝］春学期授業/Spring 132
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1444】日本史ＬⅡ［仁平　義孝］秋学期授業/Fall 133
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1445】日本史ＬⅠ［貫井　裕恵］春学期授業/Spring 134
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1446】日本史ＬⅡ［貫井　裕恵］秋学期授業/Fall 135
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1447】日本史ＬⅠ［鈴木　多聞］春学期授業/Spring 136
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1448】日本史ＬⅡ［鈴木　多聞］秋学期授業/Fall 137
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1451】宗教論ＬⅠ［須藤　孝也］春学期授業/Spring 138
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1452】宗教論ＬⅡ［須藤　孝也］秋学期授業/Fall 139
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2321】経済学ＬＡ［中平　千彦］春学期授業/Spring 140
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2322】経済学ＬＢ［中平　千彦］秋学期授業/Fall 141
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2323】経済学ＬＡ［水野　和夫］春学期授業/Spring 142
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2324】経済学ＬＢ［水野　和夫］秋学期授業/Fall 143
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2325】経済学ＬＡ［陳　文挙］春学期授業/Spring 144
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2326】経済学ＬＢ［陳　文挙］秋学期授業/Fall 145
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2327】経済学ＬＡ［水野　和夫］春学期授業/Spring 146
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2328】経済学ＬＢ［水野　和夫］秋学期授業/Fall 147
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2341】心理学ＬＡ［海部　紀行］春学期授業/Spring 148

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2342】心理学ＬＢ［海部　紀行］秋学期授業/Fall 149
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2343】心理学ＬＡ［海部　紀行］春学期授業/Spring 151
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2344】心理学ＬＢ［海部　紀行］秋学期授業/Fall 152
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2351】地理学ＬＡ［長沢　利明］春学期授業/Spring 154
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2352】地理学ＬＢ［長沢　利明］秋学期授業/Fall 155
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2353】地理学ＬＣ［片岡　義晴］春学期授業/Spring 156
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2354】地理学ＬＤ［片岡　義晴］秋学期授業/Fall 157
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2355】地理学ＬＣ［高木　正］春学期授業/Spring 158
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2356】地理学ＬＤ［高木　正］秋学期授業/Fall 159
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2357】地理学ＬＡ［長沢　利明］春学期授業/Spring 160
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2358】地理学ＬＢ［長沢　利明］秋学期授業/Fall 161
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2359】地理学ＬＣ［前川　明彦］春学期授業/Spring 162
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2360】地理学ＬＤ［前川　明彦］秋学期授業/Fall 163
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2361】社会学ＬＡ［松下　優一］春学期授業/Spring 164
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2362】社会学ＬＢ［松下　優一］秋学期授業/Fall 165
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2363】社会学ＬＣ［徐　玄九］春学期授業/Spring 166
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2364】社会学ＬＤ［徐　玄九］秋学期授業/Fall 167
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2371】政治学ＬＡ［木村　正俊］春学期授業/Spring 168
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2372】政治学ＬＢ［木村　正俊］秋学期授業/Fall 169
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2382】文化人類学Ｌ［ベル裕紀］秋学期授業/Fall 170
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2384】文化人類学Ｌ［長沢利明］秋学期授業/Fall 171
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2386】文化人類学Ｌ［岩原紘伊］秋学期授業/Fall 172
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2388】文化人類学Ｌ［阿部朋恒］秋学期授業/Fall 173
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2390】文化人類学Ｌ［ベル裕紀］秋学期授業/Fall 174
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2392】文化人類学Ｌ［阿部朋恒］秋学期授業/Fall 176
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2394】文化人類学Ｌ［阿部朋恒］秋学期授業/Fall 177
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2396】文化人類学Ｌ［岩原紘伊］秋学期授業/Fall 178
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2398】文化人類学Ｌ［石森大知］秋学期授業/Fall 179

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2400】文化人類学Ｌ［阿部朋恒］秋学期授業/Fall 180
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2401】社会思想ＬＡ［洪　貴義］春学期授業/Spring 181
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2402】社会思想ＬＢ［洪　貴義］秋学期授業/Fall 182
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2403】社会思想ＬＡ［洪　貴義］春学期授業/Spring 183
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2404】社会思想ＬＢ［洪　貴義］秋学期授業/Fall 184
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3201】数学特講ＬＡ［安東祐希］春学期授業/Spring 185
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3202】数学特講ＬＢ［安東祐希］秋学期授業/Fall 186
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3211】発展数学ＬⅠ［池田宏一郎］春学期授業/Spring 187
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3212】発展数学ＬⅡ［池田宏一郎］秋学期授業/Fall 188
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3213】発展数学ＬⅠ［倉田俊彦］春学期授業/Spring 189
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3214】発展数学ＬⅡ［倉田俊彦］秋学期授業/Fall 190
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3221】教養物理学ＬＡ［石川壮一］春学期授業/Spring 191
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3222】教養物理学ＬＡ［石川壮一］秋学期授業/Fall 192
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3223】教養物理学ＬＢ［吉田智］春学期授業/Spring 193
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3224】教養物理学ＬＢ［吉田智］秋学期授業/Fall 194
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3231】教養生物学ＬＡ［沼田治］春学期授業/Spring 195
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3232】教養生物学ＬＢ［沼田治］秋学期授業/Fall 196
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3233】教養生物学ＬＡ［沼田治］春学期授業/Spring 198
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3234】教養生物学ＬＢ［沼田治］秋学期授業/Fall 199
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3241】教養生物学ＬＣ［町田郁子］春学期授業/Spring 201
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3242】教養生物学ＬＤ［町田郁子］秋学期授業/Fall 202
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3243】教養生物学ＬＣ［町田郁子］春学期授業/Spring 203
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3244】教養生物学ＬＤ［町田郁子］秋学期授業/Fall 205
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3261】教養化学ＬＡ［向井知大］春学期授業/Spring 206
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3262】教養化学ＬＡ［中島弘一］秋学期授業/Fall 207
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3263】教養化学ＬＢ［中島弘一］春学期授業/Spring 208
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3264】教養化学ＬＢ［西村直美］秋学期授業/Fall 209
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3265】教養化学ＬＡ［中田和秀］春学期授業/Spring 210

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3266】教養化学ＬＡ［中田和秀］春学期授業/Spring 211
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_5 群（保健体育分野）【Q5451】健康の科学ＬＡ［清野　諭］春学期授業/Spring 212
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_5 群（保健体育分野）【Q5452】健康の科学ＬＢ［阿部　巧］秋学期授業/Fall 213
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_5 群（保健体育分野）【Q5453】健康の科学ＬＡ［谷本　都栄］春学期授業/Spring 214
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_5 群（保健体育分野）【Q5454】健康の科学ＬＢ［谷本　都栄］秋学期授業/Fall 215
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R0801】入門英語(SSI)Ⅰ［山崎　暁子］春学期授業/Spring 216
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R0802】入門英語(SSI)Ⅱ［山崎　暁子］秋学期授業/Fall 217
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R0803】入門英語(SSI)Ⅰ［前川　裕］春学期授業/Spring 218
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R0804】入門英語(SSI)Ⅱ［前川　裕］秋学期授業/Fall 219
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R0805】入門英語(SSI)Ⅰ［須藤　祐二］春学期授業/Spring 220
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R0806】入門英語(SSI)Ⅱ［須藤　祐二］秋学期授業/Fall 221
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R0831】入門英語(SSI)Ⅰ［光野　昭雄］春学期授業/Spring 222
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R0832】入門英語(SSI)Ⅱ［光野　昭雄］秋学期授業/Fall 222
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2001】English ３Ⅰ［佐藤　陽子］春学期授業/Spring 223
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2002】English ３Ⅱ［佐藤　陽子］秋学期授業/Fall 224
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2003】English ３Ⅰ［ジェイソン・ポール・スミス］春学期授業/Spring 226
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2004】English ３Ⅱ［ジェイソン・ポール・スミス］秋学期授業/Fall 227
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2005】English ３Ⅰ［岩坪　友子］春学期授業/Spring 228
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2006】English ３Ⅱ［岩坪　友子］秋学期授業/Fall 230
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2007】English ３Ⅰ［宇野　毅］春学期授業/Spring 231
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2008】English ３Ⅱ［宇野　毅］秋学期授業/Fall 232
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2009】English ３Ⅰ［高井　美紀子］春学期授業/Spring 233
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2010】English ３Ⅱ［高井　美紀子］秋学期授業/Fall 235
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2011】English ３Ⅰ［前川　裕］春学期授業/Spring 236
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2012】English ３Ⅱ［前川　裕］秋学期授業/Fall 237
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2013】English ３Ⅰ［ジェイソン・ポール・スミス］春学期授業/Spring 238
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2014】English ３Ⅱ［ジェイソン・ポール・スミス］秋学期授業/Fall 240
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2015】English ３Ⅰ［佐藤　陽子］春学期授業/Spring 241

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2016】English ３Ⅱ［佐藤　陽子］秋学期授業/Fall 243
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2017】English ３Ⅰ［高井　美紀子］春学期授業/Spring 244
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2018】English ３Ⅱ［高井　美紀子］秋学期授業/Fall 246
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2019】English ３Ⅰ［前川　裕］春学期授業/Spring 247
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2020】English ３Ⅱ［前川　裕］秋学期授業/Fall 248
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2021】English ３Ⅰ［ロジャー　エドウィン　パティモア］春学期授業/Spring 249
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2022】English ３Ⅱ［ロジャー　エドウィン　パティモア］秋学期授業/Fall 251
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2023】English ３Ⅰ［コートランド　Ｄ　スミス］春学期授業/Spring 252
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2024】English ３Ⅱ［コートランド　Ｄ　スミス］秋学期授業/Fall 254
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2025】English ３Ⅰ［ジョナサン・エーブル］春学期授業/Spring 255
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2026】English ３Ⅱ［ジョナサン・エーブル］秋学期授業/Fall 256
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2027】English ３Ⅰ［吉川　直澄］春学期授業/Spring 257
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2028】English ３Ⅱ［吉川　直澄］秋学期授業/Fall 259
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2029】English ３Ⅰ［田中　裕希］春学期授業/Spring 260
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2030】English ３Ⅱ［田中　裕希］秋学期授業/Fall 261
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2031】English ３Ⅰ［URBANOVA Jana］春学期授業/Spring 262
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2032】English ３Ⅱ［URBANOVA Jana］秋学期授業/Fall 264
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2033】English ３Ⅰ［遠藤　郁子］春学期授業/Spring 265
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2034】English ３Ⅱ［小野瀬　宗一郎］秋学期授業/Fall 266
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2035】English ３Ⅰ［吉江　秀和］春学期授業/Spring 268
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2036】English ３Ⅱ［吉江　秀和］秋学期授業/Fall 269
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2037】English ３Ⅰ［吉川　太惠子］春学期授業/Spring 271
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2038】English ３Ⅱ［吉川　太惠子］秋学期授業/Fall 272
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2039】English ３Ⅰ［吉田　季実子］春学期授業/Spring 274
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2040】English ３Ⅱ［吉田　季実子］秋学期授業/Fall 275
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2041】English ３Ⅰ［ロジャー　エドウィン　パティモア］春学期授業/Spring 276
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2042】English ３Ⅱ［ロジャー　エドウィン　パティモア］秋学期授業/Fall 277
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2043】English ３Ⅰ［コートランド　Ｄ　スミス］春学期授業/Spring 279

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2044】English ３Ⅱ［コートランド　D　スミス］秋学期授業/Fall 280
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2045】English ３Ⅰ［吉川　直澄］春学期授業/Spring 282
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2046】English ３Ⅱ［吉川　直澄］秋学期授業/Fall 283
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2047】English ３Ⅰ［利根川　真紀］春学期授業/Spring 285
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2048】English ３Ⅱ［利根川　真紀］秋学期授業/Fall 286
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2049】English ３Ⅰ［URBANOVA Jana］春学期授業/Spring 287
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2050】English ３Ⅱ［URBANOVA Jana］秋学期授業/Fall 288
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2051】English ３Ⅰ［遠藤　郁子］春学期授業/Spring 289
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2052】English ３Ⅱ［小野瀬　宗一郎］秋学期授業/Fall 291
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2053】English ３Ⅰ［吉江　秀和］春学期授業/Spring 292
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2054】English ３Ⅱ［吉江　秀和］秋学期授業/Fall 294
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2055】English ３Ⅰ［吉田　季実子］春学期授業/Spring 295
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2056】English ３Ⅱ［吉田　季実子］秋学期授業/Fall 296
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2057】English ３Ⅰ［大和久　悌一郎］春学期授業/Spring 297
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2058】English ３Ⅱ［大和久　悌一郎］秋学期授業/Fall 298
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2059】English ３Ⅰ［飛田　英伸］春学期授業/Spring 299
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2060】English ３Ⅱ［飛田　英伸］秋学期授業/Fall 300
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2061】English ３Ⅰ［猪俣　佳瑞美］春学期授業/Spring 301
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2062】English ３Ⅱ［猪俣　佳瑞美］秋学期授業/Fall 303
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2063】English ３Ⅰ［吉川　太惠子］春学期授業/Spring 304
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2064】English ３Ⅱ［吉川　太惠子］秋学期授業/Fall 306
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2065】English ３Ⅰ［猪俣　佳瑞美］春学期授業/Spring 307
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2066】English ３Ⅱ［猪俣　佳瑞美］秋学期授業/Fall 309
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2067】English ３Ⅰ［ALAN M　NICHOLLS］春学期授業/Spring 310
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2068】English ３Ⅱ［ALAN M　NICHOLLS］秋学期授業/Fall 311
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2069】English ３Ⅰ［ジョナサン・エーブル］春学期授業/Spring 312
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2070】English ３Ⅱ［石原　紀子］秋学期授業/Fall 313
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2071】English ３Ⅰ［ロバート・D・ヒントン］春学期授業/Spring 315

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2072】English ３Ⅱ［ロバート・Ｄ・ヒントン］秋学期授業/Fall 316
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2073】English ３Ⅰ［Genc Burcu］春学期授業/Spring 317
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2074】English ３Ⅱ［Genc Burcu］秋学期授業/Fall 318
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2075】English ３Ⅰ［Robert　Durham］春学期授業/Spring 319
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2076】English ３Ⅱ［Robert　Durham］秋学期授業/Fall 321
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2077】English ３Ⅰ［榊原　益子］春学期授業/Spring 322
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2078】English ３Ⅱ［榊原　益子］秋学期授業/Fall 323
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2079】English ３Ⅰ［Richard Wilcox］春学期授業/Spring 324
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2080】English ３Ⅱ［Richard Wilcox］秋学期授業/Fall 326
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2081】English ３Ⅰ［マイケル　マーフィー］春学期授業/Spring 327
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2082】English ３Ⅱ［マイケル　マーフィー］秋学期授業/Fall 329
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2083】English ３Ⅰ［井上　紗央里］春学期授業/Spring 330
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2084】English ３Ⅱ［井上　紗央里］秋学期授業/Fall 331
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2085】English ３Ⅰ［佐藤　陽子］春学期授業/Spring 332
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2086】English ３Ⅱ［佐藤　陽子］秋学期授業/Fall 333
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2087】English ３Ⅰ［今井　澄子］春学期授業/Spring 335
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2088】English ３Ⅱ［今井　澄子］秋学期授業/Fall 336
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2089】English ３Ⅰ［佐々木　一惠］春学期授業/Spring 338
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2090】English ３Ⅱ［佐々木　一惠］秋学期授業/Fall 339
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2091】English ３Ⅰ［トビー　トラブ］春学期授業/Spring 340
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2092】English ３Ⅱ［トビー　トラブ］秋学期授業/Fall 342
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2093】English ３Ⅰ［川野　芽生］春学期授業/Spring 344
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2094】English ３Ⅱ［鈴木　眞奈美］秋学期授業/Fall 345
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2095】English ３Ⅰ［猪俣　佳瑞美］春学期授業/Spring 347
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2096】English ３Ⅱ［猪俣　佳瑞美］秋学期授業/Fall 348
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2097】English ３Ⅰ［宮本　三恵子］春学期授業/Spring 350
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2098】English ３Ⅱ［宮本　三恵子］秋学期授業/Fall 351
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2099】English ３Ⅰ［萩原　眞一］春学期授業/Spring 352

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2100】English ３Ⅱ［萩原　眞一］秋学期授業/Fall 354
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2101】English ３Ⅰ［青山　恵子］春学期授業/Spring 355
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2102】English ３Ⅱ［青山　恵子］秋学期授業/Fall 356
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2103】English ３Ⅰ［マイケル　マーフィー］春学期授業/Spring 357
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2104】English ３Ⅱ［マイケル　マーフィー］秋学期授業/Fall 358
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2105】English ３Ⅰ［Richard Wilcox］春学期授業/Spring 360
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2106】English ３Ⅱ［Richard Wilcox］秋学期授業/Fall 361
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2107】English ３Ⅰ［井上　紗央里］春学期授業/Spring 363
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2108】English ３Ⅱ［井上　紗央里］秋学期授業/Fall 364
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2109】English ３Ⅰ［戸嶋　まゆみ］春学期授業/Spring 365
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2110】English ３Ⅱ［戸嶋　まゆみ］秋学期授業/Fall 366
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2111】English ３Ⅰ［佐藤　陽子］春学期授業/Spring 367
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2112】English ３Ⅱ［佐藤　陽子］秋学期授業/Fall 368
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2113】English ３Ⅰ［磯部　芳恵］春学期授業/Spring 369
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2114】English ３Ⅱ［磯部　芳恵］秋学期授業/Fall 370
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2115】English ３Ⅰ［今井　澄子］春学期授業/Spring 371
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2116】English ３Ⅱ［今井　澄子］秋学期授業/Fall 373
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2117】English ３Ⅰ［永井　大輔］春学期授業/Spring 374
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2118】English ３Ⅱ［永井　大輔］秋学期授業/Fall 376
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2119】English ３Ⅰ［青山　恵子］春学期授業/Spring 377
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2120】English ３Ⅱ［青山　恵子］秋学期授業/Fall 378
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2121】English ３Ⅰ［ALAN M　NICHOLLS］春学期授業/Spring 379
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2122】English ３Ⅱ［ALAN M　NICHOLLS］秋学期授業/Fall 380
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2123】English ３Ⅰ［ロバート・Ｄ・ヒントン］春学期授業/Spring 381
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2124】English ３Ⅱ［ロバート・Ｄ・ヒントン］秋学期授業/Fall 382
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2125】English ３Ⅰ［クレッグ　ジョンストン］春学期授業/Spring 383
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2126】English ３Ⅱ［クレッグ　ジョンストン］秋学期授業/Fall 384
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2127】English ３Ⅰ［Robert　Durham］春学期授業/Spring 385

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2128】English ３Ⅱ［Robert　Durham］秋学期授業/Fall 387
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2129】English ３Ⅰ［宇治谷　義英］春学期授業/Spring 388
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2130】English ３Ⅱ［宇治谷　義英］秋学期授業/Fall 390
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2131】English ３Ⅰ［ロバート・Ｄ・ヒントン］春学期授業/Spring 391
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2132】English ３Ⅱ［ロバート・Ｄ・ヒントン］秋学期授業/Fall 392
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2133】English ３Ⅰ［Robert　Durham］春学期授業/Spring 393
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2134】English ３Ⅱ［Robert　Durham］秋学期授業/Fall 395
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2135】English ３Ⅰ［宇治谷　義英］春学期授業/Spring 396
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2136】English ３Ⅱ［宇治谷　義英］秋学期授業/Fall 398
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2137】English ３Ⅰ［川澄　亜岐子］春学期授業/Spring 399
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2138】English ３Ⅱ［川澄　亜岐子］秋学期授業/Fall 400
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2139】English ３Ⅰ［永井　大輔］春学期授業/Spring 401
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2140】English ３Ⅱ［永井　大輔］秋学期授業/Fall 403
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2141】English ３Ⅰ［ウォルター　カズマー］春学期授業/Spring 404
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2142】English ３Ⅱ［ウォルター　カズマー］秋学期授業/Fall 405
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2143】English ３Ⅰ［フィル　ケニー］春学期授業/Spring 406
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2144】English ３Ⅱ［フィル　ケニー］秋学期授業/Fall 407
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2145】English ３Ⅰ［本間　章郎］春学期授業/Spring 408
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2146】English ３Ⅱ［本間　章郎］秋学期授業/Fall 410
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2147】English ３Ⅰ［Genc Burcu］春学期授業/Spring 411
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2148】English ３Ⅱ［Genc Burcu］秋学期授業/Fall 412
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2149】English ３Ⅰ［ジョナサン・エーブル］春学期授業/Spring 413
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2150】English ３Ⅱ［ジョナサン・エーブル］秋学期授業/Fall 414
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2151】English ３Ⅰ［余田　剛］春学期授業/Spring 415
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2152】English ３Ⅱ［余田　剛］秋学期授業/Fall 416
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2153】English ３Ⅰ［金谷　優子］春学期授業/Spring 417
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2154】English ３Ⅱ［金谷　優子］秋学期授業/Fall 418
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2155】English ３Ⅰ［川澄　亜岐子］春学期授業/Spring 420

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2156】English ３Ⅱ［川澄　亜岐子］秋学期授業/Fall 421
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2157】English ３Ⅰ［須藤　祐二］春学期授業/Spring 422
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2158】English ３Ⅱ［須藤　祐二］秋学期授業/Fall 423
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2159】English ３Ⅰ［森永　豊］春学期授業/Spring 424
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2160】English ３Ⅱ［森永　豊］秋学期授業/Fall 425
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2161】English ３Ⅰ［西あゆみ］春学期授業/Spring 427
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2162】English ３Ⅱ［西あゆみ］秋学期授業/Fall 428
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2163】English ３Ⅰ［トビー　トラブ］春学期授業/Spring 429
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2164】English ３Ⅱ［トビー　トラブ］秋学期授業/Fall 431
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2165】English ３Ⅰ［Genc Burcu］春学期授業/Spring 433
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2166】English ３Ⅱ［Genc Burcu］秋学期授業/Fall 435
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2167】English ３Ⅰ［ジョナサン・エーブル］春学期授業/Spring 436
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2168】English ３Ⅱ［ジョナサン・エーブル］秋学期授業/Fall 437
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2169】English ３Ⅰ［余田　剛］春学期授業/Spring 438
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2170】English ３Ⅱ［余田　剛］秋学期授業/Fall 439
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2171】English ３Ⅰ［金谷　優子］春学期授業/Spring 440
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2172】English ３Ⅱ［金谷　優子］秋学期授業/Fall 442
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2173】English ３Ⅰ［田口　清一］春学期授業/Spring 443
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2174】English ３Ⅱ［田口　清一］秋学期授業/Fall 444
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2175】English ３Ⅰ［須藤　祐二］春学期授業/Spring 445
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2176】English ３Ⅱ［須藤　祐二］秋学期授業/Fall 446
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2177】English ３Ⅰ［西あゆみ］春学期授業/Spring 447
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2178】English ３Ⅱ［西あゆみ］秋学期授業/Fall 449
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2179】English ３Ⅰ［岩崎　博］春学期授業/Spring 450
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2180】English ３Ⅱ［岩崎　博］秋学期授業/Fall 451
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2181】English ３Ⅰ［本間　章郎］春学期授業/Spring 453
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2182】English ３Ⅱ［本間　章郎］秋学期授業/Fall 454
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2183】English ３Ⅰ［猪俣　佳瑞美］春学期授業/Spring 455

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2184】English ３Ⅱ［猪俣　佳瑞美］秋学期授業/Fall 457
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2185】English ３Ⅰ［猪俣　佳瑞美］春学期授業/Spring 458
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2186】English ３Ⅱ［猪俣　佳瑞美］秋学期授業/Fall 460
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2187】English ３Ⅰ［本間　章郎］春学期授業/Spring 461
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2188】English ３Ⅱ［本間　章郎］秋学期授業/Fall 463
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2201】英語７［北　文美子］春学期授業/Spring 464
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2202】英語７［須藤　祐二］春学期授業/Spring 465
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2203】英語７［北　文美子］春学期授業/Spring 466
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2204】英語７［鹿子嶋由佳］春学期授業/Spring 467
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2205】英語７［衣笠　正晃］春学期授業/Spring 468
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2206】英語７［宇治谷義英］春学期授業/Spring 469
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2207】英語７［田中　邦佳］春学期授業/Spring 470
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2208】英語８［菊池　かおり］春学期授業/Spring 471
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2209】英語８［マーク・フィールド］春学期授業/Spring 472
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2210】英語８［マークバーンズ］春学期授業/Spring 473
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2211】英語８［前川裕］春学期授業/Spring 474
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2212】英語８［マークバーンズ］春学期授業/Spring 475
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2213】英語８［ヴァイヒャート　ロビン　フランク］春学期授業/Spring 476
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2214】英語８［マーク・フィールド］春学期授業/Spring 477
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2301】英語オーラル・コミュニケーションⅠ［ALAN　M　NICHOLLS］春学期授業/Spring 478
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2302】英語オーラル・コミュニケーションⅡ［ALAN　M　NICHOLLS］秋学期授業/Fall 479
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2303】英語オーラル・コミュニケーションⅠ［リチャード・バロース］春学期授業/Spring 480
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2304】英語オーラル・コミュニケーションⅡ［リービ　英雄］秋学期授業/Fall 481
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2305】英語オーラル・コミュニケーションⅠ［ロジャー　エドウィン　パティモア］春学期授業/Spring 482
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2306】英語オーラル・コミュニケーションⅡ［ロジャー　エドウィン　パティモア］秋学期授業/Fall 483
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2351】ビジネス・イングリッシュⅠ［ジョン　ライリー］春学期授業/Spring 485
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2352】ビジネス・イングリッシュⅡ［ジョン　ライリー］秋学期授業/Fall 486
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2381】English Reading and Vocabulary Ⅰ［ウォルター　カズマー］春学期授業/Spring 487

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2382】English Reading and Vocabulary Ⅱ ［ウォルター　カズマー］秋学期授業/Fall 488
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2383】English Reading and Vocabulary Ⅰ ［ERIC J RITTER］春学期授業/Spring 489
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2384】English Reading and Vocabulary Ⅱ ［ERIC J RITTER］秋学期授業/Fall 490
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2391】English Academic Writing Ⅰ ［ロジャー　エドウィン　パティモア］春学期授業/Spring 491
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2392】English Academic Writing Ⅱ ［ロジャー　エドウィン　パティモア］秋学期授業/Fall 493
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2393】English Academic Writing Ⅰ ［マーク　バーンズ］春学期授業/Spring 494
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2394】English Academic Writing Ⅱ ［マーク　バーンズ］秋学期授業/Fall 495
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2395】English Academic Writing Ⅰ ［ALAN　M　NICHOLLS］春学期授業/Spring 496
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2396】English Academic Writing Ⅱ ［ALAN　M　NICHOLLS］秋学期授業/Fall 497
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2401】英語で学ぶ社会と文化Ⅰ ［田中　邦佳］春学期授業/Spring 498
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2402】英語で学ぶ社会と文化Ⅱ ［田中　邦佳］秋学期授業/Fall 499
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2403】英語で学ぶ社会と文化Ⅰ ［岩坪　友子］春学期授業/Spring 500
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2404】英語で学ぶ社会と文化Ⅱ ［岩坪　友子］秋学期授業/Fall 502
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2405】英語で学ぶ社会と文化Ⅰ ［永井　大輔］春学期授業/Spring 503
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2406】英語で学ぶ社会と文化Ⅱ ［永井　大輔］秋学期授業/Fall 505
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2407】英語で学ぶ社会と文化Ⅰ ［余田　剛］春学期授業/Spring 506
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2408】英語で学ぶ社会と文化Ⅱ ［余田　剛］秋学期授業/Fall 507
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2409】英語で学ぶ社会と文化Ⅰ ［金谷　優子］春学期授業/Spring 508
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2410】英語で学ぶ社会と文化Ⅱ ［金谷　優子］秋学期授業/Fall 510
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2411】英語で学ぶ社会と文化Ⅰ ［大曲　陽子］春学期授業/Spring 511
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2412】英語で学ぶ社会と文化Ⅱ ［大曲　陽子］秋学期授業/Fall 512
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2413】英語検定試験対策Ⅰ ［鈴木　理枝］春学期授業/Spring 513
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2414】英語検定試験対策Ⅱ ［鈴木　理枝］秋学期授業/Fall 514
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2441】English Presentation Ⅰ ［ナダー　ジャミリア］春学期授業/Spring 515
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2442】English Presentation Ⅱ ［ナダー　ジャミリア］秋学期授業/Fall 517
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2443】English Presentation Ⅰ ［ジョン　ライリー］春学期授業/Spring 518
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2444】English Presentation Ⅱ ［ジョン　ライリー］秋学期授業/Fall 519
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2445】English Presentation Ⅰ ［コートランド　D　スミス］春学期授業/Spring 520

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2446】English Presentation Ⅱ ［コートランド　D　スミス］秋学期授業/Fall 522
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2447】English Presentation Ⅰ ［マーク　バーンズ］春学期授業/Spring 523
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2448】English Presentation Ⅱ ［マーク　バーンズ］秋学期授業/Fall 524
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2451】英語アカデミック・リーディングⅠ ［岩崎　博］春学期授業/Spring 525
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2452】英語アカデミック・リーディングⅡ ［岩崎　博］秋学期授業/Fall 527
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2481】英語検定試験対策Ⅰ ［久慈　美貴］春学期授業/Spring 528
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2482】英語検定試験対策Ⅱ ［久慈　美貴］秋学期授業/Fall 529
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2483】英語検定試験対策Ⅰ ［飛田　英伸］春学期授業/Spring 530
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2484】英語検定試験対策Ⅱ ［飛田　英伸］秋学期授業/Fall 531
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2485】英語検定試験対策Ⅰ ［野崎　将俊］春学期授業/Spring 532
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2486】英語検定試験対策Ⅱ ［野崎　将俊］秋学期授業/Fall 533
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2487】英語検定試験対策Ⅰ ［高橋　佳江］春学期授業/Spring 534
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2488】英語検定試験対策Ⅱ ［高橋　佳江］秋学期授業/Fall 535
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2601】Oral Communication Ⅰ ［板橋　美也］春学期授業/Spring 536
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2602】Oral Communication Ⅱ ［板橋　美也］秋学期授業/Fall 537
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2603】Oral Communication Ⅰ ［ロバート・G・ジェイムズ］春学期授業/Spring 538
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2604】Oral Communication Ⅱ ［ロバート・G・ジェイムズ］秋学期授業/Fall 539
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2611】English through Movies and Drama Ⅰ ［平野井　ちえ子］春学期授業/Spring 540
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2612】English through Movies and Drama Ⅱ ［平野井　ちえ子］秋学期授業/Fall 541
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2613】English through Movies and Drama Ⅰ ［舟橋　美香］春学期授業/Spring 542
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2614】English through Movies and Drama Ⅱ ［舟橋　美香］秋学期授業/Fall 543
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2621】TOEIC(R) Ⅰ ［平野井　ちえ子］春学期授業/Spring 544
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2622】TOEIC(R) Ⅱ ［平野井　ちえ子］秋学期授業/Fall 545
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2623】TOEIC(R) Ⅰ ［板橋　美也］春学期授業/Spring 546
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2624】TOEIC(R) Ⅱ ［板橋　美也］秋学期授業/Fall 547
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2631】英語検定試験対策Ⅰ ［青山　恵子］春学期授業/Spring 548
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2632】英語検定試験対策Ⅱ ［青山　恵子］秋学期授業/Fall 549
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2641】Business Communication Ⅰ ［今井　澄子］春学期授業/Spring 550

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2642】Business Communication Ⅱ ［今井　澄子］秋学期授業/Fall 551
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2651】ニュース英語Ⅰ ［塩谷　幸子］春学期授業/Spring 553
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2652】ニュース英語Ⅱ ［塩谷　幸子］秋学期授業/Fall 554
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2701】Practical English（オーラル・コミュニケーション）A-Ⅰ ［リチャード　シーハン］春学期授業/Spring 556
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2702】Practical English（オーラル・コミュニケーション）A-Ⅱ ［リチャード　シーハン］秋学期授業/Fall 557
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2711】Practical English（オーラル・コミュニケーション）B-Ⅰ ［リチャード　シーハン］春学期授業/Spring 558
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2712】Practical English（オーラル・コミュニケーション）B-Ⅱ ［リチャード　シーハン］秋学期授業/Fall 559
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2721】English for Study Abroad Ⅰ ［高井　美紀子］春学期授業/Spring 560
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2723】English for Study Abroad Ⅱ ［西　あゆみ］春学期授業/Spring 561
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2731】Practical English（ビジネス・コミュニケーション）A-Ⅰ ［戸嶋　まゆみ］春学期授業/Spring 562
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2732】Practical English（ビジネス・コミュニケーション）A-Ⅱ ［戸嶋　まゆみ］秋学期授業/Fall 563
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2741】Practical English（ビジネス・コミュニケーション）B-Ⅰ ［クレッグ　ジョンストン］春学期授業/Spring 564
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2742】Practical English（ビジネス・コミュニケーション）B-Ⅱ ［クレッグ　ジョンストン］秋学期授業/Fall 565
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2751】Practical English（英語検定試験対策）A-Ⅰ ［大和久　悌一郎］春学期授業/Spring 566
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2752】Practical English（英語検定試験対策）A-Ⅱ ［大和久　悌一郎］秋学期授業/Fall 567
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2761】Practical English（英語検定試験対策）B-Ⅰ ［光野　昭雄］春学期授業/Spring 568
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2762】Practical English（英語検定試験対策）B-Ⅱ ［光野　昭雄］秋学期授業/Fall 569
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R3503】日本語１Ⅰ ［尾形　太郎］春学期授業/Spring 570
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R3504】日本語１Ⅱ ［尾形　太郎］秋学期授業/Fall 571
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R3601】日本語３Ⅰ ［中沢　佐企子］春学期授業/Spring 572
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R3602】日本語３Ⅱ ［中沢　佐企子］秋学期授業/Fall 574
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R3603】日本語３Ⅰ ［戸村　佳代］春学期授業/Spring 575
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R3604】日本語３Ⅱ ［戸村　佳代］秋学期授業/Fall 577
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R3605】日本語３Ⅰ ［尾形　太郎］春学期授業/Spring 578
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R3606】日本語３Ⅱ ［尾形　太郎］秋学期授業/Fall 579
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R3611】日本語４Ⅰ ［江村　裕文］春学期授業/Spring 580
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R3612】日本語４Ⅱ ［江村　裕文］秋学期授業/Fall 581
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R3613】日本語４Ⅰ ［中沢　佐企子］春学期授業/Spring 582

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R3614】日本語４Ⅱ［中沢　佐企子］秋学期授業/Fall 583
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R3615】日本語４Ⅰ［尾形　太郎］春学期授業/Spring 584
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R3616】日本語４Ⅱ［尾形　太郎］秋学期授業/Fall 585
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R3621】日本語の世界ＬＡ［尾形　太郎］春学期授業/Spring 586
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R3622】日本語の世界ＬＢ［尾形　太郎］秋学期授業/Fall 587
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R3623】日本の文化と社会ＬＡ［尾形　太郎］春学期授業/Spring 589
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R3624】日本の文化と社会ＬＢ［尾形　太郎］秋学期授業/Fall 590
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4201】ドイツ語３Ⅰ［オストヴァルト・イェンス］春学期授業/Spring 591
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4202】ドイツ語３Ⅱ［オストヴァルト・イェンス］秋学期授業/Fall 592
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4203】ドイツ語３Ⅰ［外山　知子］春学期授業/Spring 593
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4204】ドイツ語３Ⅱ［外山　知子］秋学期授業/Fall 594
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4205】ドイツ語３Ⅰ［長倉　誠一］春学期授業/Spring 595
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4206】ドイツ語３Ⅱ［長倉　誠一］秋学期授業/Fall 596
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4207】ドイツ語３Ⅰ［小野間　亮子］春学期授業/Spring 597
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4208】ドイツ語３Ⅱ［小野間　亮子］秋学期授業/Fall 598
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4211】ドイツ語３Ⅰ［梶谷　雄二］春学期授業/Spring 599
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4212】ドイツ語３Ⅱ［梶谷　雄二］秋学期授業/Fall 600
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4215】ドイツ語３Ⅰ［天沼　春樹］春学期授業/Spring 601
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4216】ドイツ語３Ⅱ［天沼　春樹］秋学期授業/Fall 602
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4217】ドイツ語３Ⅰ［日中　鎮朗］春学期授業/Spring 603
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4218】ドイツ語３Ⅱ［日中　鎮朗］秋学期授業/Fall 604
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4219】ドイツ語３Ⅰ［長倉　誠一］春学期授業/Spring 605
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4220】ドイツ語３Ⅱ［長倉　誠一］秋学期授業/Fall 606
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4221】ドイツ語３Ⅰ［畠山　勝彦］春学期授業/Spring 607
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4222】ドイツ語３Ⅱ［畠山　勝彦］秋学期授業/Fall 608
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4223】ドイツ語３Ⅰ［丸山　達也］春学期授業/Spring 609
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4224】ドイツ語３Ⅱ［丸山　達也］秋学期授業/Fall 610
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4225】ドイツ語３Ⅰ［オストヴァルト・イェンス］春学期授業/Spring 611

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4226】ドイツ語３Ⅱ［オストヴァルト・イェンス］秋学期授業/Fall 612
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4227】ドイツ語３Ⅰ［笠原　賢介］春学期授業/Spring 613
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4228】ドイツ語３Ⅱ［笠原　賢介］秋学期授業/Fall 614
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4229】ドイツ語３Ⅰ［長倉　誠一］春学期授業/Spring 615
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4230】ドイツ語３Ⅱ［長倉　誠一］秋学期授業/Fall 616
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R4241】ドイツ語４Ⅰ［日中　鎮朗］春学期授業/Spring 617
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R4242】ドイツ語４Ⅱ［日中　鎮朗］秋学期授業/Fall 619
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R4243】ドイツ語４Ⅰ［外山　知子］春学期授業/Spring 620
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R4244】ドイツ語４Ⅱ［外山　知子］秋学期授業/Fall 621
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R4245】ドイツ語４Ⅰ［遠藤　浩介］春学期授業/Spring 622
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R4246】ドイツ語４Ⅱ［遠藤　浩介］秋学期授業/Fall 623
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4251】ドイツ語（３）Ⅰ［上田　知夫］春学期授業/Spring 624
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4252】ドイツ語（３）Ⅱ［上田　知夫］秋学期授業/Fall 625
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4261】ドイツ語７［林　志津江］春学期授業/Spring 626
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4262】ドイツ語８［遠藤　浩介］春学期授業/Spring 627
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4271】ドイツ語３-Ⅰ［平松　英人］春学期授業/Spring 628
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4272】ドイツ語３-Ⅱ［平松　英人］秋学期授業/Fall 629
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4273】ドイツ語３-Ⅰ［辻　英史］春学期授業/Spring 630
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4274】ドイツ語３-Ⅱ［辻　英史］秋学期授業/Fall 631
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R4281】ドイツ語コミュニケーションⅠ［オストヴァルト・イェンス］春学期授業/Spring 632
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R4282】ドイツ語コミュニケーションⅡ［オストヴァルト・イェンス］秋学期授業/Fall 633
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R4283】ドイツ語表現法Ⅰ［ウテ・シュミット］春学期授業/Spring 634
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R4284】ドイツ語表現法Ⅱ［ウテ・シュミット］秋学期授業/Fall 635
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R4285】ドイツ語視聴覚Ⅰ［D．ハイデンライヒ］春学期授業/Spring 636
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R4286】ドイツ語視聴覚Ⅱ［D．ハイデンライヒ］秋学期授業/Fall 637
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R4287】時事ドイツ語Ⅰ［平松　英人］春学期授業/Spring 638
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R4288】時事ドイツ語Ⅱ［平松　英人］秋学期授業/Fall 639
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R4289】検定ドイツ語Ⅰ［岡本　雅克］春学期授業/Spring 640

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R4290】検定ドイツ語Ⅱ ［岡本　雅克］秋学期授業/Fall 641
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R4291】入門ドイツ語 (SSI) Ⅰ ［浦田　智］春学期授業/Spring 642
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R4292】入門ドイツ語 (SSI) Ⅱ ［浦田　智］秋学期授業/Fall 643
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R4293】入門ドイツ語 (SSI) Ⅰ ［梶谷　雄二］春学期授業/Spring 644
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R4294】入門ドイツ語 (SSI) Ⅱ ［梶谷　雄二］秋学期授業/Fall 645
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R4295】ドイツ語の世界ＬＡ［ウテ・シュミット］春学期授業/Spring 646
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R4296】ドイツ語の世界ＬＢ［ウテ・シュミット］秋学期授業/Fall 647
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R4297】ドイツの文化と社会ＬＡ［上田　知夫］春学期授業/Spring 648
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R4298】ドイツの文化と社会ＬＢ［上田　知夫］秋学期授業/Fall 649
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5201】フランス語３Ⅰ ［近江屋志穂］春学期授業/Spring 650
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5202】フランス語３Ⅱ ［近江屋志穂］秋学期授業/Fall 651
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5203】フランス語３Ⅰ ［野村　訓子］春学期授業/Spring 652
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5204】フランス語３Ⅱ ［野村　訓子］秋学期授業/Fall 653
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5205】フランス語３Ⅰ ［佐藤　正和］春学期授業/Spring 654
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5206】フランス語３Ⅱ ［佐藤　正和］秋学期授業/Fall 655
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5207】フランス語３Ⅰ ［稲垣　正久］春学期授業/Spring 656
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5208】フランス語３Ⅱ ［稲垣　正久］秋学期授業/Fall 657
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5211】フランス語３Ⅰ ［杉村　裕史］春学期授業/Spring 657
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5212】フランス語３Ⅱ ［杉村　裕史］秋学期授業/Fall 658
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5213】フランス語３Ⅰ ［西川　純子］春学期授業/Spring 659
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5214】フランス語３Ⅱ ［西川　純子］秋学期授業/Fall 660
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5215】フランス語３Ⅰ ［山口　雅敏］春学期授業/Spring 661
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5216】フランス語３Ⅱ ［山口　雅敏］秋学期授業/Fall 662
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5219】フランス語３Ⅰ ［瀬戸　和子］春学期授業/Spring 663
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5220】フランス語３Ⅱ ［瀬戸　和子］秋学期授業/Fall 664
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5221】フランス語３Ⅰ ［稲垣　正久］春学期授業/Spring 665
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5222】フランス語３Ⅱ ［稲垣　正久］秋学期授業/Fall 666
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5223】フランス語３Ⅰ ［近江屋志穂］春学期授業/Spring 666

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5224】フランス語３Ⅱ［近江屋志穂］秋学期授業/Fall 667
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R5241】フランス語４Ⅰ［岡村　民夫］春学期授業/Spring 668
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R5242】フランス語４Ⅱ［岡村　民夫］秋学期授業/Fall 669
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R5243】フランス語４Ⅰ［鈴木　正道］春学期授業/Spring 670
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R5244】フランス語４Ⅱ［鈴木　正道］秋学期授業/Fall 671
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R5245】フランス語５Ⅰ［村松　マリ　エマニュエル］春学期授業/Spring 672
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R5246】フランス語５Ⅱ［村松　マリ　エマニュエル］秋学期授業/Fall 673
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R5247】フランス語４Ⅰ［中村　美緒］春学期授業/Spring 674
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R5248】フランス語４Ⅱ［中村　美緒］秋学期授業/Fall 675
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5251】フランス語(３)Ⅰ［瀬戸和子］春学期授業/Spring 676
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5252】フランス語(３)Ⅱ［瀬戸和子］秋学期授業/Fall 677
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5257】フランス語７［近江屋　志穂］春学期授業/Spring 678
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5258】フランス語８［ジョルディ・フィリップ］春学期授業/Spring 679
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5261】フランス語３-Ⅰ［竹本研史］春学期授業/Spring 680
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5262】フランス語３-Ⅱ［竹本研史］秋学期授業/Fall 681
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5263】フランス語３-Ⅰ［柴崎秀穂］春学期授業/Spring 682
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5264】フランス語３-Ⅱ［柴崎秀穂］秋学期授業/Fall 683
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R5271】フランス語の世界ＬＡ［廣松　勲］春学期授業/Spring 684
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R5272】フランス語の世界ＬＢ［廣松　勲］秋学期授業/Fall 686
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R5273】フランス語コミュニケーション (初級) Ⅰ［ニコラ・ガイヤール］春学期授業/Spring 687
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R5274】フランス語コミュニケーション (初級) Ⅱ［ニコラ・ガイヤール］秋学期授業/Fall 688
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R5277】フランス語視聴覚 (初・中級) Ⅰ［アガエス　ジュリアン］春学期授業/Spring 689
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R5278】フランス語視聴覚 (初・中級) Ⅱ［アガエス　ジュリアン］秋学期授業/Fall 690
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R5279】時事フランス語Ⅰ［大中　一彌］春学期授業/Spring 691
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R5280】時事フランス語Ⅱ［大中　一彌］秋学期授業/Fall 693
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R5291】フランスの文化と社会ＬＡ［鈴木　正道］春学期授業/Spring 695
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R5292】フランスの文化と社会ＬＢ［鈴木　正道］秋学期授業/Fall 696
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R5295】フランス生活文化論ＬＡ［梶谷　彩子］オータムセッション/Autumn Session 698

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R5296】フランス生活文化論ＬＢ［梶谷　彩子］秋学期授業/Fall 699
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R6201】ロシア語３Ⅰ［土岐　康子］春学期授業/Spring 700
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R6202】ロシア語３Ⅱ［土岐　康子］秋学期授業/Fall 701
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R6203】ロシア語３Ⅰ［佐藤　裕子］春学期授業/Spring 702
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R6204】ロシア語３Ⅱ［佐藤　裕子］秋学期授業/Fall 703
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R6205】ロシア語３Ⅰ［長屋　房夫］春学期授業/Spring 704
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R6206】ロシア語３Ⅱ［長屋　房夫］秋学期授業/Fall 705
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R6211】ロシア語４Ⅰ［木部　敬］春学期授業/Spring 706
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R6212】ロシア語４Ⅱ［木部　敬］秋学期授業/Fall 707
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R6213】ロシア語４Ⅰ［土岐　康子］春学期授業/Spring 708
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R6214】ロシア語４Ⅱ［土岐　康子］秋学期授業/Fall 709
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R6215】ロシア語５Ⅰ［三神　エレーナ］春学期授業/Spring 710
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R6216】ロシア語５Ⅱ［三神　エレーナ］秋学期授業/Fall 711
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R6221】ロシア語７［佐藤　千登勢］春学期授業/Spring 712
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R6222】ロシア語８［長屋　房夫］春学期授業/Spring 713
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R6231】ロシア語３-Ⅰ［佐藤　裕子］春学期授業/Spring 714
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R6232】ロシア語３-Ⅱ［佐藤　裕子］秋学期授業/Fall 715
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R6243】ロシアの文化と社会ＬＡ［佐藤　千登勢］春学期授業/Spring 716
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R6244】ロシアの文化と社会ＬＢ［佐藤　千登勢］秋学期授業/Fall 717
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7301】中国語３Ⅰ［王　翠莉］春学期授業/Spring 718
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7302】中国語３Ⅱ［王　翠莉］秋学期授業/Fall 719
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7303】中国語３Ⅰ［余　瀾］春学期授業/Spring 720
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7304】中国語３Ⅱ［余　瀾］秋学期授業/Fall 721
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7305】中国語３Ⅰ［劉　渇氷］春学期授業/Spring 722
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7306】中国語３Ⅱ［劉　渇氷］秋学期授業/Fall 723
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7307】中国語３Ⅰ［木村　佳代子］春学期授業/Spring 724
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7308】中国語３Ⅱ［木村　佳代子］秋学期授業/Fall 725
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7309】中国語３Ⅰ［福木　滋久］春学期授業/Spring 726

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7310】中国語３Ⅱ ［福木　滋久］秋学期授業/Fall 727
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7311】中国語３Ⅰ ［廣野　行雄］春学期授業/Spring 728
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7312】中国語３Ⅱ ［廣野　行雄］秋学期授業/Fall 729
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7313】中国語３Ⅰ ［王　安］春学期授業/Spring 730
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7314】中国語３Ⅱ ［王　安］秋学期授業/Fall 732
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7315】中国語３Ⅰ ［木村　佳代子］春学期授業/Spring 733
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7316】中国語３Ⅱ ［木村　佳代子］秋学期授業/Fall 734
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7317】中国語３Ⅰ ［王　安］春学期授業/Spring 735
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7318】中国語３Ⅱ ［王　安］秋学期授業/Fall 736
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7319】中国語３Ⅰ ［木村　佳代子］春学期授業/Spring 737
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7320】中国語３Ⅱ ［木村　佳代子］秋学期授業/Fall 738
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7321】中国語３Ⅰ ［耿　函］春学期授業/Spring 739
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7322】中国語３Ⅱ ［耿　函］秋学期授業/Fall 740
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7323】中国語３Ⅰ ［池田　麻希子］春学期授業/Spring 741
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7324】中国語３Ⅱ ［池田　麻希子］秋学期授業/Fall 742
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7325】中国語３Ⅰ ［蒋　彧婷］春学期授業/Spring 743
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7326】中国語３Ⅱ ［蒋　彧婷］秋学期授業/Fall 744
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7327】中国語３Ⅰ ［王　翠莉］春学期授業/Spring 745
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7328】中国語３Ⅱ ［王　翠莉］秋学期授業/Fall 746
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7329】中国語３Ⅰ ［周　重雷］春学期授業/Spring 747
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7330】中国語３Ⅱ ［周　重雷］秋学期授業/Fall 748
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7331】中国語３Ⅰ ［李　維涛］春学期授業/Spring 749
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7332】中国語３Ⅱ ［李　維涛］秋学期授業/Fall 751
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7333】中国語３Ⅰ ［三田村　圭子］春学期授業/Spring 752
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7334】中国語３Ⅱ ［三田村　圭子］秋学期授業/Fall 753
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7335】中国語３Ⅰ ［薄　宏］春学期授業/Spring 754
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7336】中国語３Ⅱ ［薄　宏］秋学期授業/Fall 755
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7337】中国語３Ⅰ ［王　翠莉］春学期授業/Spring 756

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7338】中国語３Ⅱ［王　翠莉］秋学期授業/Fall 757
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7339】中国語３Ⅰ［康　鴻音］春学期授業/Spring 758
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7340】中国語３Ⅱ［康　鴻音］秋学期授業/Fall 759
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7341】中国語３Ⅰ［祝　振媛］春学期授業/Spring 760
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7342】中国語３Ⅱ［祝　振媛］秋学期授業/Fall 761
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7343】中国語３Ⅰ［王　翠莉］春学期授業/Spring 762
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7344】中国語３Ⅱ［王　翠莉］秋学期授業/Fall 763
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7345】中国語３Ⅰ［李　維涛］春学期授業/Spring 764
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7346】中国語３Ⅱ［李　維涛］秋学期授業/Fall 766
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7347】中国語３Ⅰ［後藤　淳一］春学期授業/Spring 767
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7348】中国語３Ⅱ［後藤　淳一］秋学期授業/Fall 768
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7349】中国語３Ⅰ［蒋　彧婷］春学期授業/Spring 769
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7350】中国語３Ⅱ［蒋　彧婷］秋学期授業/Fall 770
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7371】中国語４Ⅰ［三田村　圭子］春学期授業/Spring 771
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7372】中国語４Ⅱ［三田村　圭子］秋学期授業/Fall 772
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7373】中国語４Ⅰ［薬　会］春学期授業/Spring 773
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7374】中国語４Ⅱ［薬　会］秋学期授業/Fall 774
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7375】中国語４Ⅰ［渡辺　昭太］春学期授業/Spring 775
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7376】中国語４Ⅱ［渡辺　昭太］秋学期授業/Fall 776
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7377】中国語４Ⅰ［余　瀾］春学期授業/Spring 777
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7378】中国語４Ⅱ［余　瀾］秋学期授業/Fall 778
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7379】中国語４Ⅰ［蒋　彧婷］春学期授業/Spring 779
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7380】中国語４Ⅱ［蒋　彧婷］秋学期授業/Fall 780
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7381】中国語４Ⅰ［祝　振媛］春学期授業/Spring 781
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7382】中国語４Ⅱ［祝　振媛］秋学期授業/Fall 782
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7383】中国語４Ⅰ［耿　函］春学期授業/Spring 783
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7384】中国語４Ⅱ［耿　函］秋学期授業/Fall 784
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7385】中国語（３）Ⅰ［薬　進］春学期授業/Spring 785

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7386】中国語（3）Ⅱ［薬　進］秋学期授業/Fall 786
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7387】中国語（3）Ⅰ［渡部　れい子］春学期授業/Spring 787
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7388】中国語（3）Ⅱ［渡部　れい子］秋学期授業/Fall 788
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7391】中国語７［曽　士才］春学期授業/Spring 789
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7392】中国語８［鈴木　靖］春学期授業/Spring 790
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7401】中国語３-Ⅰ［後藤　淳一］春学期授業/Spring 791
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7402】中国語３-Ⅱ［後藤　淳一］秋学期授業/Fall 792
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7403】中国語３-Ⅰ［王　翠莉］春学期授業/Spring 793
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7404】中国語３-Ⅱ［王　翠莉］秋学期授業/Fall 794
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7405】中国語３-Ⅰ［三田村　圭子］春学期授業/Spring 795
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7406】中国語３-Ⅱ［三田村　圭子］秋学期授業/Fall 796
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7407】中国語３-Ⅰ［薬　進］春学期授業/Spring 797
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7408】中国語３-Ⅱ［薬　進］秋学期授業/Fall 798
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R7413】中国語コミュニケーション初級Ⅰ［周　重雷］春学期授業/Spring 799
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R7414】中国語コミュニケーション初級Ⅱ［周　重雷］秋学期授業/Fall 800
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7431】中国語作文初級Ⅰ［康　鴻音］春学期授業/Spring 801
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7432】中国語作文初級Ⅱ［康　鴻音］秋学期授業/Fall 802
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7433】中国語視聴覚初級Ⅰ［劉　渇氷］春学期授業/Spring 803
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7434】中国語視聴覚初級Ⅱ［劉　渇氷］秋学期授業/Fall 803
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R7437】資格中国語初級Ⅰ［青木　正子］春学期授業/Spring 804
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R7438】資格中国語初級Ⅱ［青木　正子］秋学期授業/Fall 805
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R7445】中国語の世界ＬＡ［渡邉　大］春学期授業/Spring 805
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R7446】中国語の世界ＬＢ［渡邉　大］秋学期授業/Fall 806
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R7447】中国の文化と社会ＬＡ［山本　律］春学期授業/Spring 807
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R7448】中国の文化と社会ＬＢ［山本　律］秋学期授業/Fall 808
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R7449】中国の文化と社会ＬＣ［鈴木　直子］春学期授業/Spring 809
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R7450】中国の文化と社会ＬＤ［鈴木　直子］秋学期授業/Fall 810
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8201】スペイン語３Ⅰ［杉下　由紀子］春学期授業/Spring 811

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8202】スペイン語３Ⅱ［杉下　由紀子］秋学期授業/Fall 812
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8203】スペイン語３Ⅰ［長谷川悦夫］春学期授業/Spring 813
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8204】スペイン語３Ⅱ［長谷川悦夫］秋学期授業/Fall 814
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8205】スペイン語３Ⅰ［ロベルト・コルメナ・ロメロ］春学期授業/Spring 815
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8206】スペイン語３Ⅱ［ロベルト・コルメナ・ロメロ］秋学期授業/Fall 816
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8207】スペイン語３Ⅰ［塩﨑　公靖］春学期授業/Spring 817
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8208】スペイン語３Ⅱ［塩﨑　公靖］秋学期授業/Fall 818
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8209】スペイン語３Ⅰ［オスノイジャネス　デ　ササクボ　エルマヘネス］春学期授業/Spring 819
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8210】スペイン語３Ⅱ［オスノイジャネス　デ　ササクボ　エルマヘネス］秋学期授業/Fall 820
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8211】スペイン語３Ⅰ［ロベルト・コルメナ・ロメロ］春学期授業/Spring 821
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8212】スペイン語３Ⅱ［ロベルト・コルメナ・ロメロ］秋学期授業/Fall 822
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8213】スペイン語３Ⅰ［杉下　由紀子］春学期授業/Spring 823
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8214】スペイン語３Ⅱ［杉下　由紀子］秋学期授業/Fall 824
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8215】スペイン語３Ⅰ［塩﨑　公靖］春学期授業/Spring 825
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8216】スペイン語３Ⅱ［塩﨑　公靖］秋学期授業/Fall 826
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8217】スペイン語３Ⅰ［大貫　良史］春学期授業/Spring 827
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8218】スペイン語３Ⅱ［大貫　良史］秋学期授業/Fall 828
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8219】スペイン語３Ⅰ［バリエントス　ロドリゲス　ジョン　ダビッ］春学期授業/Spring 829
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8220】スペイン語３Ⅱ［バリエントス　ロドリゲス　ジョン　ダビッ］秋学期授業/Fall 830
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8221】スペイン語３Ⅰ［若林　大我］春学期授業/Spring 831
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8222】スペイン語３Ⅱ［若林　大我］秋学期授業/Fall 832
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8223】スペイン語３Ⅰ［日高　憲三］春学期授業/Spring 833
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8224】スペイン語３Ⅱ［日高　憲三］秋学期授業/Fall 834
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8225】スペイン語３Ⅰ［宮田　絵津子］春学期授業/Spring 835
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8226】スペイン語３Ⅱ［宮田　絵津子］秋学期授業/Fall 836
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8227】スペイン語３Ⅰ［ロベルト・コルメナ・ロメロ］春学期授業/Spring 837
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8228】スペイン語３Ⅱ［ロベルト・コルメナ・ロメロ］秋学期授業/Fall 838
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8231】スペイン語３Ⅰ［仮屋　浩子］春学期授業/Spring 839

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8232】スペイン語３Ⅱ［仮屋　浩子］秋学期授業/Fall 840
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R8261】スペイン語４Ⅰ［オスノ　イジャネス　デ　ササクボ　エルマヘネス］春学期授業/Spring 841
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R8262】スペイン語４Ⅱ［オスノ　イジャネス　デ　ササクボ　エルマヘネス］秋学期授業/Fall 842
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R8263】スペイン語４Ⅰ［オスノ　イジャネス　デ　ササクボ　エルマヘネス］春学期授業/Spring 843
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R8264】スペイン語４Ⅱ［オスノ　イジャネス　デ　ササクボ　エルマヘネス］秋学期授業/Fall 844
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R8265】スペイン語４Ⅰ［宮田　絵津子］春学期授業/Spring 845
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R8266】スペイン語４Ⅱ［宮田　絵津子］秋学期授業/Fall 846
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8271】スペイン語(３)Ⅰ［宮田絵津子］春学期授業/Spring 847
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8272】スペイン語(３)Ⅱ［宮田絵津子］秋学期授業/Fall 848
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8273】スペイン語(３)Ⅰ［大貫良史］春学期授業/Spring 849
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8274】スペイン語(３)Ⅱ［大貫良史］秋学期授業/Fall 850
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8281】スペイン語７［大西　亮］春学期授業/Spring 851
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8282】スペイン語８［佐々木　直美］春学期授業/Spring 852
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8291】スペイン語３-Ⅰ［日高憲三］春学期授業/Spring 853
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8292】スペイン語３-Ⅱ［日高憲三］秋学期授業/Fall 854
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8293】スペイン語３-Ⅰ［宮田絵津子］春学期授業/Spring 855
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8294】スペイン語３-Ⅱ［宮田絵津子］秋学期授業/Fall 856
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R8301】スペイン語コミュニケーションⅠ［瓜谷　アウロラ］春学期授業/Spring 857
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R8302】スペイン語コミュニケーションⅡ［瓜谷　アウロラ］秋学期授業/Fall 858
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R8303】時事スペイン語Ⅰ［大西　亮］春学期授業/Spring 859
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R8304】時事スペイン語Ⅱ［久木　正雄］秋学期授業/Fall 860
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R8305】スペイン語の世界ＬＡ［塩﨑　公靖］春学期授業/Spring 861
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R8306】スペイン語の世界ＬＢ［塩﨑　公靖］秋学期授業/Fall 862
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9201】朝鮮語３ＡⅠ［梁　禮先］春学期授業/Spring 863
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9202】朝鮮語３ＡⅡ［梁　禮先］秋学期授業/Fall 864
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9203】朝鮮語３ＡⅠ［梁　禮先］春学期授業/Spring 865
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9204】朝鮮語３ＡⅡ［梁　禮先］秋学期授業/Fall 866
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9205】朝鮮語３ＡⅠ［梁　禮先］春学期授業/Spring 867

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9206】朝鮮語３ＡⅡ
［梁　禮先］秋学期授業/Fall 868
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9221】朝鮮語３ＢⅠ
［富所　明秀］春学期授業/Spring 869
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9222】朝鮮語３ＢⅡ
［富所　明秀］秋学期授業/Fall 870
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9223】朝鮮語３ＢⅠ
［李　英美］春学期授業/Spring 871
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9224】朝鮮語３ＢⅡ
［李　英美］秋学期授業/Fall 872
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9225】朝鮮語３ＢⅠ
［新谷　あゆり］春学期授業/Spring 873
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9226】朝鮮語３ＢⅡ
［新谷　あゆり］秋学期授業/Fall 874
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9227】朝鮮語３ＢⅠ
［梁　禮先］春学期授業/Spring 875
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9228】朝鮮語３ＢⅡ
［梁　禮先］秋学期授業/Fall 876
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9229】朝鮮語３ＢⅠ
［新谷　あゆり］春学期授業/Spring 877
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9230】朝鮮語３ＢⅡ
［新谷　あゆり］秋学期授業/Fall 878
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9231】朝鮮語３ＢⅠ
［梁　禮先］春学期授業/Spring 879
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9232】朝鮮語３ＢⅡ
［梁　禮先］秋学期授業/Fall 880
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9233】朝鮮語３ＢⅠ
［富所　明秀］春学期授業/Spring 881
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9234】朝鮮語３ＢⅡ
［富所　明秀］秋学期授業/Fall 882
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9241】朝鮮語４ＡⅠ
［内山　政春］春学期授業/Spring 883
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9242】朝鮮語４ＡⅡ
［内山　政春］秋学期授業/Fall 884
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9243】朝鮮語４ＡⅠ
［内山　政春］春学期授業/Spring 885
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9244】朝鮮語４ＡⅡ
［内山　政春］秋学期授業/Fall 886
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9245】朝鮮語４ＡⅠ
［内山　政春］春学期授業/Spring 887
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9246】朝鮮語４ＡⅡ
［内山　政春］秋学期授業/Fall 888
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R9251】朝鮮語（３）Ⅰ［新谷　あゆり］春学期授業/Spring 889
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R9252】朝鮮語（３）Ⅱ［新谷　あゆり］秋学期授業/Fall 890
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R9261】朝鮮語７［内山　政春］春学期授業/Spring 891
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R9262】朝鮮語８［内山　政春］春学期授業/Spring 892
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R9271】朝鮮語３-Ⅰ［新谷　あゆり］春学期授業/Spring 893
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R9272】朝鮮語３-Ⅱ［新谷　あゆり］秋学期授業/Fall 894
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9281】朝鮮語３ＣⅠ
［富所　明秀］春学期授業/Spring 895

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9282】朝鮮語３ＣⅡ
［富所　明秀］秋学期授業/Fall 896
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9283】朝鮮語４ＢⅠ
［新谷　あゆり］春学期授業/Spring 897
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9284】朝鮮語４ＢⅡ
［新谷　あゆり］秋学期授業/Fall 898
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R9285】朝鮮語５Ａ
Ⅰ［吉良　佳奈江］春学期授業/Spring 899
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R9286】朝鮮語５Ａ
Ⅱ［吉良　佳奈江］秋学期授業/Fall 900
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R9287】朝鮮語５Ｂ
Ⅰ［神谷　丹路］春学期授業/Spring 901
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R9288】朝鮮語５Ｂ
Ⅱ［神谷　丹路］秋学期授業/Fall 902
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R9289】朝鮮の文化と社会
ＬＡ［李　英美］春学期授業/Spring 903
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R9290】朝鮮の文化と社会
ＬＢ［李　英美］秋学期授業/Fall 904

LIN200LA

Intercultural Communication B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Intercultural Understanding & Multicultural Identities

石原　紀子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**2 単位**
SGU コース

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
In today's globalization, we are increasingly required to interact internationally across linguistic and cultural borders. Misunderstandings and conflicts are bound to occur, which calls for constructive dialogues and creative solutions. In this course, we will focus primarily on "invisible culture" to deepen your understanding of diversity in cultural orientations, values, behavior, and language uses. You will also reflect on your intercultural experiences and explore your multicultural identities while studying dynamic cultural dimensions.

【到達目標】
In this course, you will 1) cultivate your understanding of the relationships between culture, language, and identity, 2) be able to analyze examples of and reasons for intercultural clashes and relate to others respectfully to come up with constructive solutions to intercultural issues and confusions, 3) be able to use concepts such as stereotypes, generalizations, othering, and marginalization in your analysis, 4) reflect on your intercultural experiences and multicultural identities.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Before class you are required to work on reading and complete assignments. In class we study relevant material, complete tasks in pairs or small groups, and share your discussion with the whole class. You are encouraged to actively participate in this group work and problem-based learning (PBL).

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Self-introduction, course information, ice-breaking activity
2	What is culture?	Visible/invisible culture, 3Ps in understanding culture
3	3Ps of culture, Characteristics of culture	Perspectives of culture
4	Stereotypes and generalizations	Definitions and examples
5	Essentialization	The language of generalization
6	Othering and marginalization	Case study discussion
7	Cultural diversity in academia and the workplace	Understanding diversity as an asset
8	Similarities and differences in cultural orientations-1	Analysis of cultural orientations (#1-3)
9	Similarities and differences in cultural orientations-2	Analysis of cultural orientations (#4-6)
10	Cultural case studies – 1	Analysis of use of time and group dynamics
11	Cultural case studies – 2	Application of Hofstede's Cultural Dimensions and other frameworks
12	Student-led discussions - 1	Intercultural case studies (group presentations)
13	Student-led discussions - 2	Intercultural case studies (group presentations)
14	Student-led discussions - 2, reflection	Intercultural case studies (group presentations), Wrap-up discussion

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
You should complete assigned reading and/or writing before coming to class. Come ready to discuss the material in English with your classmates coming from different (sub)cultures. Preparatory study and review time for this class are 2 hours each. 本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4
hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Weekly readings will be made accessible through the course website (H'etude's). Become familiar with this online resource to download readings and post your assignments. You are also expected to check your university email account on a daily basis to keep up with course announcements.

【参考書】
Handouts related to the course content to be distributed in class. Other (online) materials will also be introduced as the course progresses.

【成績評価の方法と基準】
You will receive a formal evaluation of your work at the end of the term. The grade on a late assignment will be lowered. You will be graded on:
1) Participation (20%)
2) Reading and assignments (50%)
3) Cultural case study discussion (10%)
4) Final paper (20%)
Regular attendance is essential in order to benefit from the interactive nature of this course. You will not be able to pass this course if you miss more than three class periods a semester except in extreme circumstances.

【学生の意見等からの気づき】
Because this course is to be conducted in English, students must be competent speakers/writers of English (e.g., native or proficient with TOEFL ® iBT 61 or above). International and Japanese students of any majors are welcome as long as they are interested in diverse world cultures. Students should view each other's cultural experiences as an asset to this course and create a friendly and respectful learning community.

【Outline and objectives】
In today's globalization, we are increasingly required to interact internationally across linguistic and cultural borders. Misunderstandings and conflicts are bound to occur, which calls for constructive dialogues and creative solutions. In this course, we will focus primarily on "invisible culture" to deepen your understanding of diversity in cultural orientations, values, behavior, and language uses. You will also reflect on your intercultural experiences and explore your multicultural identities while studying dynamic cultural dimensions.

HIS200LA

Intercultural Communication A　2017 年度以降入学者

サブタイトル：Themes in Global History: Trans-pacific Interactions

川口　悠子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**2 単位**
SGU コース

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course introduces the experiences of Americans of Asian descent as one aspect of social interaction across the Pacific. Students will read selected articles about their diverse history from the mid-nineteenth century to the present. We will explore core issues, which include migration, integration and exclusion, and social movements, while paying attention to the political interaction between the U.S. and Asia.

【到達目標】
1) Students will understand the experiences of Asian Americans from the late 19th century to the present, from the disciplinary perspectives of history.
2) Students will gain a basic understanding of political, economic, as well as social history of the United States, with particular focus on racial, ethnic, and gender inequalities as well as the social activism against them,
3) Students will be able to locate the U.S. history in the global context.
4) Students will develop skills to read, discuss, and write analytically and critically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
- This course is taught through lectures and discussions.
- The majority of the course will be devoted to the diverse histories of Asian American communities from the 19th century to the present. Students engage in discussions based on assigned reading materials.
- Toward the end of the semester, students choose their own topic and write a short research paper.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Course overview, Self-introduction
2	Overview	An overview of Asian American history
3	Reading (1)	Part 1 Beginnings: Asians in the Americas
4	Reading (2)	Part 2 The Making of Asian America During the Age of Mass Migration and Asian Exclusion (1)
5	Reading (3)	Part 2 The Making of Asian America During the Age of Mass Migration and Asian Exclusion (2)

6	Writing workshop (1)	Students presentations on research topic
7	Film screening	Watch a film; Followed by class discussion
8	Reading (4)	Part 2 The Making of Asian America During the Age of Mass Migration and Asian Exclusion (3)
9	Reading (5)	Part 3 Asian America in a World at War
10	Reading (6)	Part 4 Remaking Asian America in a Globalized World (1)
11	Reading (7)	Part 4 Remaking Asian America in a Globalized World (2)
12	Essay tutorial	Tutorial on essay writing
13	Essay presentations / peer review (1)	Students give presentations on their research paper
14	Essay presentations / peer review (2)	Students give presentations on their research paper

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- Students are expected to read the assigned materials and contribute to class discussions. Simply showing up for class is not enough.
- There are no particular prerequisites for this course. Basic understanding of the U.S. history will ease the learning, however.
- Preparatory study and review time for this class are 2 hours each. Preparatory study and review time for this class are 2 hours each.

【テキスト（教科書）】

Erica Lee, The Making of Asian America: A History. Simon and Schuster, 2015.
You DO NOT need to purchase the textbook. Readings will be made available online through the course management system.

【参考書】

References will be introduced in the class.

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 50%
- Students may miss class only if it qualifies as an excused absence (e.g., an illness or a grievance). Please clear your absences with the instructor beforehand. Three or more unexcused absences can result in Failure.
- Each student must show up to class on time. If you are tardy, it will count against your attendance.
- You are required to actively participate in class activities and discussion. Make sure to do the readings prior to class. All students will post short reading responses to the course website (H'etudes) on the day before each class, so that we can share your opinions, ideas, questions, etc.

Research paper: 50% (Draft: 20%, Final Version: 30%)
- Toward the end of the semester, students choose their own topic and write a short (1,000 to 1,500 words) research paper. Further details to be provided in class.
- When students submit the draft , they will have feedbacks from the fellow students as well as the instructor. Then students will revise their draft for the final version based on the comments.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor will try to facilitate more active discussions.

【学生が準備すべき機器他】

The instructor may request that students use a computer, tablet or smartphone in order to fact-check during class. (Computers, tablets and smartphones may not be used other than as authorized.)

【Outline and objectives】

This course introduces the experiences of Americans of Asian descent as one aspect of social interaction across the Pacific. Students will read selected articles about their diverse history from the mid-nineteenth century to the present. We will explore core issues, which include migration, integration and exclusion, and social movements, while paying attention to the political interaction between the U.S. and Asia.

POL200LA

Intercultural Communication C　2017 年度以降入学者

サブタイトル：Language and Culture in Sync: Communication Strategies of Jpn, Eng, and Beyond

石原　紀子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：2 **単位**
SGU コース

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Without cultural knowledge, language users may not fully understand the meaning of a message. Even with perfect grammar, we could completely offend our conversational partners without using language in a culturally suitable manner. In this course, we will take a close look at the face-saving strategies used in world languages. We will also consider and discuss diverse cultural values and orientations that are closely connected to verbal and non-verbal behavior. This enhanced linguistic and cultural awareness will help you become a more tactful and respectful user of your first and second languages and prepare you for effective intercultural communication.

【到達目標】
In this course, you will become able to 1) cultivate your understanding of the relationship between language form, meaning, and context, 2) become familiar with the notions of face and politeness, 3) collect and analyze authentic language samples, 3) understand cultural values and orientations behind language use in world languages. The course will also provide an opportunity for you to reflect on intercultural misunderstandings and respectful communication strategies with which to relate to others.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Before class you are required to work on reading and complete assignments. In class we study relevant material, complete tasks in pairs or small groups, and share your discussion with the whole class. You are encouraged to actively participate in this group work and problem-based learning (PBL).

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Self-introduction, course information, ice-breaking activity
2	Greetings	Analysis of authentic language data
3	Face and politeness	Positive and negative politeness
4	Giving and responding to compliments - 1	Linguistic aspects of compliments/responses
5	Language data collection	Designing DCTs and role-plays
6	Giving and responding to compliments - 2	Cultural aspects of compliments/responses
7	Refusals - 1	Language of refusals, data collection, signing up for the final project
8	Refusals - 2	Cultural similarities/ differences in refusals
9	Language analysis discussion, peace linguistics	Analysis of spoken or written language
10	Apologies	Student presentations, language analysis of apologies
11	Thanks	Student presentations, language analysis of thanks
12	Invitations	Student presentations, language analysis of invitations
13	Requests	Student presentations, language analysis of requests
14	Complaints, wrap-up	Student presentations, language analysis of complaints, and final reflection

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
You should complete assigned reading and/or writing before coming to class. Come ready to discuss the material in English with your classmates coming from different (sub)cultures. Preparatory study and review time for this class are 2 hours each. 本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4
hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Readings will be made accessible through the course website (H'etude's). Become familiar with this online resource to read and post your assignments before class. You are also expected to check your university email account on a daily basis to keep up with course announcements.

【参考書】
Handouts related to the course content to be distributed in class. Other (online) materials will also be introduced as the course progresses.

【成績評価の方法と基準】
You will receive a formal evaluation of your work at the end of the term. The grade on a late assignment will be lowered. You will be graded on:
1) Participation (20%)
2) Language analysis quizzes and assignments (25%)
3) Language analysis journal (15%)
4) Presentation and slides/handout(40%)
Regular attendance is essential in order to benefit from the interactive nature of this course. You will not be able to pass this course if you miss more than three class periods a semester except in extreme circumstances.

【学生の意見等からの気づき】
Because this course is to be conducted in English, students must be competent speakers/writers of English (e.g., native or proficient with TOEFL ® iBT 61 or above). International and Japanese students of any majors are welcome as long as they are interested in world languages. Students should view each other's languages and cultural experiences as an asset to this course and create a friendly and respectful learning community.

【Outline and objectives】

Without cultural knowledge, language users may not fully understand the meaning of a message. Even with perfect grammar, we could completely offend our conversational partners without using language in a culturally appropriate manner. In this course, we will take a close look at the face-saving strategies used in world languages. We will also consider and discuss diverse cultural values and orientations that are closely connected to verbal and non-verbal behavior in world cultures. This enhanced linguistic and cultural awareness will help you become a more tactful and respectful user of your first and second languages and prepare you for effective intercultural communication.

LIN200LA

Intercultural Communication D

2016 年度以前入学者

サブタイトル：Art-Based Language Education: Learning/Teaching English Creatively

Noriko ISHIHARA

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：2 **単位**
SGU コース

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Have you learned an additional language through music, film, poetry, stories, novels, or any other forms of art? What was your experience like? In this course, we start by discussing why art facilitates learning, especially second language acquisition. You will then experience various forms of art incorporated into language learning and teaching through the modeling by the instructor as well as through peer teaching. We are also going to discuss social activism expressed through artwork and research activism in the world.

【到達目標】
In this course, you will : 1) understand and appreciate artistic forms of language education, 2) understand social activism behind artistic expression, and 3) participate in an art-based approach to language learning/teaching using your creativity. You will also reflect on your own reactions to an artistic approach to language education and social justice and consider how this learning may influence your identities and worldview.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Before class you are required to work on some reading assignments. In class we study new material, complete relevant tasks in pairs or small groups, and share your discussion with the class. You are encouraged to actively participate in this group work and problem-based learning (PBL).
Class starts on Thursday April 23rd. (Please see Hoppii/Google Classroom for more details.)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Course information, getting to know each other
2	Poetry - 1, social activism	Learning language from poetry, Marshall Rosenberg
3	Poetry - 2, social activism	Developing language identities through poetry, Mother Teresa
4	Film, social activism	Film for art and social justice, Mahatoma & Katurabai Gandhi
5	Stories/Story-telling, social activism	Learning language through narratives, H. H. The Dalai Lama
6	Artistic creativity in peace linguistics, social activism	Language learning and peace, Nelson Mandela
7	Music - 1, social activism	Learning language through music, Mairead Corrigan McGuire & Betty Williams
8	Music - 2, social activism	Social activism through music, mid-term reflection
9	Children's literature, social activism	Art and social justice in picture books, Peter Benson
10	Kamishibai, social activism	Peace education via kamishibai story-telling, Cesar Chavez
11	Short stories, social activism	Learning language through literature - 1, Meena Keshwar Kamal
12	Wrap-up	Reflection and your artistic expression

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
You should complete assigned reading and/or homework ahead of time and come to class ready for discussion. Review your lesson thoroughly after class.
For your peer teaching and research presentation, develop an art-based language lesson (peer teaching) and creative multi-media talk (mini-research presentation). Prepare an innovative presentation and rehearse to be effective. 本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Censor, Meera. (2011). Humanitarians for justice, nonviolence, and peace. San Bernadino, California.

【参考書】
Other readings will be distributed through H'etudes, the course website (学習支援システム). Handouts related to the course content may be provided in class. Bring a notebook or loose sheets of paper.

【成績評価の方法と基準】
a. Participation (20%)
b. Micro-teaching using an art-based approach (25%)
c. Mini-research presentation on an social activist (25%)
d. Online reaction posts (15%)
e. Final reflection paper (15%)

【学生の意見等からの気づき】
Message to the course participants:
This is a relatively new course that opened in the spring of 2019. We had fascinating discussion and both students and I learned a great deal! This course is conducted in English. Students must be competent speakers of English (native or proficient with TOEFL ® iBT 61+ or equivalent). If your scores are TOEFL ® iBT 61 - 100, you can take this course but be ready to make a little more thorough preparation each week.
If you are interested in language teaching, you're an excellent fit for this class. If you are more of a learner who likes the fun of language and art, you are also welcome. I expect international and Japanese students of all majors to work collaboratively despite their different cultural and linguistic backgrounds. Come with an open mind and learn from each other!

【学生が準備すべき機器他】
Become familiar with the course website to download readings and post your work. You are also expected to check your university email account on a daily basis to keep up with course announcements.

【その他の重要事項】
1) Regular attendance is essential in order to benefit from the interactive nature of this course. You will not be able to pass this course if you miss more than three class periods a semester except in extreme circumstances.
2) If you have a good reason for your absence, you are responsible for informing me in person or by e-mail. When you miss class, it is your responsibility to find out what course material and assignments you missed. Never plan to miss your presentations.
3) Come to class on time. Two latenesses beyond 10 minutes equal one absence, except in extreme circumstances. If you are late, come to me after class to straighten out the record of your absence.
4) You are expected to study course material before class and participate actively. Respect each other and others'learning opportunity. Work hard, make mistakes, and have fun!

【Outline and objectives】
Have you learned an additional language through music, film, poetry, stories, novels, or any other forms of art? What was your experience like? In this course, we start by discussing why art facilitates learning, especially second language acquisition. You will then experience various forms of art incorporated into language learning and teaching through the modeling by the instructor as well as through peer teaching. We are also going to discuss social activism expressed through artwork and research activism in the world.

ARSa200LA

Intercultural Communication E

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

ヴァリエンヌ　コリンヌ

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：2 **単位**
SGU **コース**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
このクラスでは、ファッションと料理にフランス文化を発見するでしょう。
In this class you will discover French culture in fashion and gastronomy.

【到達目標】
ファッションと料理の語彙や表現を発見. 学生は、ファッションと料理のテーマについての会話を作ることができるようになります
you will be able to describe a fashion show and talk about stylists as well as to recognize regional dishes and chef

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
フランスのファッションとグルメの文化についてのテキストとビデオを制作します。
Nous travaillerons sur des textes et des vidéo concernant la culture française de la mode et de la gastronomie.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Presentation	program of the semester
第 2 回	fashion	what is "fashion" for you ? Vocabulary and expressions
第 3 回	gastronomy	what is "gastronomy" for you ? Vocabulary and expressions
第 4 回	Fashion	Famous stylists and fashion companies
第 5 回	Fashion	Chanel1 - Text and video
第 6 回	Fashion	Chanel 2 - Text and video
第 7 回	Gastronomy	At restaurant - Vocabulary and expressions
第 8 回	Gastronomy	Alsace 1 : food and wine
第 9 回	Gastronomy	Alsace 2 : food and wine
第 10 回	Gastronomy	Provence : food and wine
第 11 回	Fashion	Jean-Paul Gaultier - video
第 12 回	Gastronomy	The art of eating from Middle age to XIXe century
第 13 回	Revision	Fashion and gastronomy revisions
第 14 回	Exam	Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
文献を事前に読む、テキスト・演習問題の予習・復習、授業内で示される課題（レポート、演習問題）対応など、準備学習・復習・宿題等の内容を具体的に記述します。 Preparatory study and review time for this class are 2 hours each.Preparatory study and review time for this class are 2 hours each. 本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4
hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
なし

【参考書】
dictionnaire

【成績評価の方法と基準】
出席と参加 - CLASSROOM PRESENCE AND PARTICIPATION : 60%.
最終試験 - FINAL EXAM : 40 %

【学生の意見等からの気づき】
直近の授業改善アンケートを踏まえた授業改善のための取り組みや工夫の内容を示します。

【学生が準備すべき機器他】
presentation about their own culture

【Outline and objectives】
you will be able to describe a fashion show and talk about stylists as well as to recognize regional dishes and chef

ARSa200LA

Intercultural Communication F

2016 年度以前入学者

サブタイトル：

Corinne VALLIENNE

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：2 **単位**
SGU **コース**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
このクラスでは、ファッションと料理にフランス文化を発見するでしょう。
In this class you will discover French culture in fashion and gastronomy.

【到達目標】
ファッションと料理の語彙や表現を発見. 学生は、ファッションと料理のテーマについての会話を作ることができるようになります
you will be able to describe a fashion show and talk about stylists as well as to recognize regional dishes and chef

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
フランスのファッションとグルメの文化についてのテキストとビデオを制作します。
We will work on texts and videos concerning the French culture of fashion and gastronomy.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Presentation	program of the semester
第 2 回	fashion	what is "fashion" for you ? Vocabulary and expressions
第 3 回	gastronomy	what is "gastronomy" for you ? Vocabulary and expressions
第 4 回	Fashion	Famous stylists and fashion companies
第 5 回	Fashion	Chanel1 - Text and video
第 6 回	Fashion	Chanel 2 - Text and video
第 7 回	Gastronomy	At restaurant - Vocabulary and expressions
第 8 回	Gastronomy	Alsace 1 : food and wine
第 9 回	Gastronomy	Alsace 2 : food and wine
第 10 回	Gastronomy	Provence : food and wine
第 11 回	Fashion	Dior video
第 12 回	Gastronomy	The art of eating from Middle age to XIXe century
第 13 回	Revision	Fashion and gastronomy revisions
第 14 回	Report	Report

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
文献を事前に読む、テキスト・演習問題の予習・復習、授業内で示される課題（レポート、演習問題）対応など、準備学習・復習・宿題等の内容を具体的に記述します。 Preparatory study and review time for this class are 2 hours each.Preparatory study and review time for this class are 2 hours each. 本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4
hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
なし

【参考書】
dictionnaire

【成績評価の方法と基準】
出席と参加 - PRESENCY AND PARTICIPATION IN CLASS : 60%.
最終試験 - FINAL report : 40 %

【学生の意見等からの気づき】
直近の授業改善アンケートを踏まえた授業改善のための取り組みや工夫の内容を示します。

【Outline and objectives】
you will be able to describe a fashion show and talk about stylists as well as to recognize regional dishes and chef

LANc200LA

中国語補講３- Ⅰ

2017 年度以降入学者

沈　小南

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**1 単位**
法文営環 3 年（再履修のみ）

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理解力の増進。

【到達目標】
文章を通じて、読解、聴解を伸ばす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
1 年次で習得した知識の基本固めをしながら、多様な話題について、平易な中国語を話し、書き、聞くことができるように段階を追って、練習を積み重ねていく。単語力を増やし、易しい文型を繰り返し発音、暗記することが求められる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	導入	導入
2 回目	招く	動作の進行形
3 回目	婉曲に断る	１、連用修飾語としての期間を表す名詞　２、動態助詞【了】
4 回目	お詫び	１、結果補語としての形容詞【好】２、副詞【就】、【才】など
5 回目	残念	１、兼語文　２、【是不是】を用いる反復疑問文
6 回目	称賛	１、文型【又～又～】２、複文【要是～就～】
7 回目	祝賀	１、結果補語としての【開】、【下】２、可能補語としての【了】
8 回目	忠告	存現文など
9 回目	比較	１、比較文２、数量補語
10 回目	趣味	時量補語（１）など
11 回目	言葉	時量補語（２）など
12 回目	復習	総復習
13 回目	試験 1	発音試験、春学期のまとめ
14 回目	試験 2	筆記試験、春学期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
1 年生の教科書をはじめ、過去の教科書をよく復習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『中国語会話３０１文』（下）語文研究社、1365 円。

【参考書】
『中国語学習ハンドブック』大修館書店

【成績評価の方法と基準】
筆記試験（40 %）、発音試験（30 %）、平常点（30 %）、の三つを合わせて、総合評価を出す。

【学生の意見等からの気づき】
もっと中国文化を紹介し、日中友好と相互理解を深めたい。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for students who have failed Chinese 3 before. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語補講３-Ⅱ

2017 年度以降入学者

沈　小南

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**1 単位**
法文営環 3 年（再履修のみ）

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理解力の増進。

【到達目標】
文章を通じて、読解、聴解を伸ばす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
1 年次で習得した知識の基本固めをしながら、多様な話題について、平易な中国語を話し、書き、聞くことができるように段階を追って、練習を積み重ねていく。単語力を増やし、易しい文型を繰り返し発音、暗記することが求められる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	復習	復習
2 回目	旅行（1）	１、方向補語（３）２、反語文
3 回目	旅行（2）	１、動作の持続　２、結果補語としての【見】
4 回目	旅行（3）	１、形容詞の重ね型　２、可能補語（２）
5 回目	診察を受ける	１、【把】文（１）２、【一～就～】
6 回目	見舞い	受動文
7 回目	お別れの挨拶	１、時量補語（３）２、【有的～、有的～】
8 回目	送別会	１、複文【雖然～但是～】２、【把】文（２）
9 回目	託送	１、複文【不但～而且～】２、可能補語としての【動】
10 回目	送別（1）	１、動作の持続と進行２、【不如】を用いる比較文
11 回目	送別（2）	１、【把】文（３）２、慣用句【～了～就～】
12 回目	復習	総復習
13 回目	試験 1	発音試験、秋学期のまとめ
14 回目	試験 2	筆記試験、秋学期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
1 年生の教科書をはじめ、過去の教科書をよく復習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『中国語会話３０１文』（下）語文研究社、1365 円。

【参考書】
『中国語学習ハンドブック』大修館書店

【成績評価の方法と基準】
筆記試験（40 %）、発音試験（30 %）、平常点（30 %）、の三つを合わせて、総合評価を出す。

【学生の意見等からの気づき】
もっと中国文化を紹介し、日中友好と相互理解を深めたい。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for students who have failed Chinese 3 before. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語補講３- Ⅰ

2017 年度以降入学者

沈　小南

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 5/Thu.5
単位数：**1 単位**
法文営環 3 年（再履修のみ）

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理解力の増進。

【到達目標】
文章を通じて、読解、聴解を伸ばす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
1 年次で習得した知識の基本固めをしながら、多様な話題について、平易な中国語を話し、書き、聞くことができるように段階を追って、練習を積み重ねていく。単語力を増やし、易しい文型を繰り返し発音、暗記することが求められる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	導入	導入
2 回目	招く	動作の進行形
3 回目	婉曲に断る	１、連用修飾語としての期間を表す名詞　２、動態助詞【了】
4 回目	お詫び	１、結果補語としての形容詞【好】２、副詞【就】、【才】など
5 回目	残念	１、兼語文　２、【是不是】を用いる反復疑問文
6 回目	称賛	１、文型【又～又～】２、複文【要是～就～】
7 回目	祝賀	１、結果補語としての【開】、【下】２、可能補語としての【了】
8 回目	忠告	存現文など
9 回目	比較	１、比較文２、数量補語
10 回目	趣味	時量補語（１）など
11 回目	言葉	時量補語（２）など
12 回目	復習	総復習
13 回目	試験 1	発音試験、春学期のまとめ
14 回目	試験 2	筆記試験、春学期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
1 年生の教科書をはじめ、過去の教科書をよく復習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『中国語会話３０１文』（下）語文研究社、1365 円。

【参考書】
『中国語学習ハンドブック』大修館書店

【成績評価の方法と基準】
筆記試験（40 %）、発音試験（30 %）、平常点（30 %）、の三つを合わせて、総合評価を出す。

【学生の意見等からの気づき】
もっと中国文化を紹介し、日中友好と相互理解を深めたい。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for students who have failed Chinese 3 before. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語補講３-Ⅱ

2017 年度以降入学者

沈　小南

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 5/Thu.5
単位数：**1 単位**
法文営環 3 年（再履修のみ）

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理解力の増進。

【到達目標】
文章を通じて、読解、聴解を伸ばす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
1 年次で習得した知識の基本固めをしながら、多様な話題について、平易な中国語を話し、書き、聞くことができるように段階を追って、練習を積み重ねていく。単語力を増やし、易しい文型を繰り返し発音、暗記することが求められる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	復習	復習
2 回目	旅行（1）	1、方向補語（3）2、反語文
3 回目	旅行（2）	1、動作の持続　2、結果補語としての【見】
4 回目	旅行（3）	1、形容詞の重ね型　2、可能補語（2）
5 回目	診察を受ける	1、【把】文（1）2、【一～就～】
6 回目	見舞い	受動文
7 回目	お別れの挨拶	1、時量補語（3）2、【有的～、有的～】
8 回目	送別会	1、複文【雖然～但是～】2、【把】文（2）
9 回目	託送	1、複文【不但～而且～】2、可能補語としての【動】
10 回目	送別（1）	1、動作の持続と進行２、【不如】を用いる比較文
11 回目	送別（2）	1、【把】文（3）2、慣用句【～了～就～】
12 回目	復習	総復習
13 回目	試験 1	発音試験、秋学期のまとめ
14 回目	試験 2	筆記試験、秋学期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
1 年生の教科書をはじめ、過去の教科書をよく復習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『中国語会話３０１文』（下）語文研究社、1365 円。

【参考書】
『中国語学習ハンドブック』大修館書店

【成績評価の方法と基準】
筆記試験（40 %）、発音試験（30 %）、平常点（30 %）、の三つを合わせて、総合評価を出す。

【学生の意見等からの気づき】
もっと中国文化を紹介し、日中友好と相互理解を深めたい。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for students who have failed Chinese 3 before. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語補講３- Ⅰ

2017 年度以降入学者

馬　挺

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
法文営環 3 年（再履修のみ）

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語のテキストを学習して、発音から読解まで中国語への理解を深めて、異文化意識をベースに中国語での交流の力を備える。

【到達目標】
中国語の総合的理解力を養うことと同時に，異文化の視点から現代中国をある程度理解すること。基本的に中国語の初級科目を履修した学生を対象とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
テキストを予習して、ディスカッションや PBL で正確な意味を探る。グループワークを重視するプレゼンテーション方式も採用する予定。中国の事情をあわせて紹介する。関連のある資料や映像も使用する予定。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	受講生との初交流、授業方針の説明と受講生の要望を聞く
2	第 1 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
3	第 1 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
4	第 2 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
5	第 2 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
6	第 3 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
7	第 3 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
8	第 4 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
9	第 4 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
10	第 5 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
11	第 5 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
12	第 6 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
13	第 6 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
14	春学期のテスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習と復習が必要。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。テキストを大声で朗読の練習をし、宿題を時間通りに提出する。

【テキスト（教科書）】
「2020 年度版 時事中国語の教科書」（朝日出版社）￥2000 程度
「馬話日本」（中国）東方出版社　￥2500（予定）＋税

【参考書】
相原茂著『謎解き中国語文法』（講談社現代新書）
それに，中型程度の中日辞典が必要（授業時持参）。
（以下の提示は推薦でなくあくまで参考のため。）
香坂順一『簡約　現代中国語辞典』（光生館）
相原茂『中日辞典　第二版』（講談社）
『中日辞典　第二版』（小学館）

【成績評価の方法と基準】
1、出席は授業総数の 3 分の 2 以上足りない者なら基本的に評価の対象としない。
2、遅刻は連続２回なら 1 回の欠席と数える。
（1 と２については不可抗力による事情を考慮する）
3、平常点 100 %（授業に積極的に参加する姿勢、提出物や期末テストの成績などを総合的に吟味して評価を行う）

【学生の意見等からの気づき】
授業で教員と学生との真剣勝負！ 意見や建言があれば、授業でぶつかってやってください。

【その他の重要事項】
基本マナーのことですが、男性は教室に入って脱帽すること。事情があれば、教員に説明して許可を得ること。
PC、DVD、ブルレイーの放映機器
初級なら、ほかに PC。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for students who have failed Chinese 3 before. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語補講３-Ⅱ

2017 年度以降入学者

馬　挺

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
法文営環 3 年（再履修のみ）

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語のテキストを学習して、発音から読解まで中国語への理解を深めて、異文化意識をベースに中国語での交流の力を備える。

【到達目標】
中国語の総合的理解力を養うことと同時に，異文化の視点から現代中国をある程度理解すること。基本的に中国語の初級科目を履修した学生を対象とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
テキストを予習して、ディスカッションや PBL で正確な意味を探る。グループワークを重視するプレゼンテーション方式も採用する予定。中国の事情をあわせて紹介する。関連のある資料や映像も使用する予定。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	自由会話	夏休みの体験と見聞
2	第 7 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
3	第 8 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
4	第 9 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
5	第 10 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
6	第 11 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
7	第 12 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
8	第 13 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
9	第 14 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
10	第 15 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
11	第 16 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
12	第 17 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
13	第 18 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
14	期末テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習と復習が必要。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
テキストを大声で朗読の練習をし、宿題を時間通りに提出する。

【テキスト（教科書）】
「2019 年度版 時事中国語の教科書」（朝日出版社）￥2000 程度
「馬話日本」（中国）東方出版社　￥2500（予定）＋税

【参考書】
相原茂著『謎解き中国語文法』（講談社現代新書）
それに，中型程度の中日辞典が必要（授業時持参）。
（以下の提示は推薦でなくあくまで参考のため。）
香坂順一『簡約　現代中国語辞典』（光生館）
相原茂『中日辞典　第二版』（講談社）
『中日辞典　第二版』（小学館）

【成績評価の方法と基準】
1、出席は授業総数の 3 分の 2 以上足りない者なら基本的に評価の対象としない。
2、遅刻は連続２回なら 1 回の欠席と数える。
（１と２については不可抗力による事情を考慮する）
3、平常点 100 %（授業に積極的に参加する姿勢、提出物や期末テストの成績などを総合的に吟味して評価を行う）

【学生の意見等からの気づき】
授業で教員と学生との真剣勝負！ 意見や建言があれば、授業でぶつかってやってください。

【その他の重要事項】
基本マナーのことですが、男性は教室に入って脱帽すること。事情があれば、教員に説明して許可を得ること。
PC、DVD、ブルレイーの放映機器
初級なら、ほかに PC。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for students who have failed Chinese 3 before. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語補講３- Ⅰ

2017 年度以降入学者

馬　挺

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
法文営環 3 年（再履修のみ）

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語のテキストを学習して、発音から読解まで中国語への理解を深めて、異文化意識をベースに中国語での交流の力を備える。

【到達目標】
中国語の総合的理解力を養うことと同時に，異文化の視点から現代中国をある程度理解すること。基本的に中国語の初級科目を履修した学生を対象とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
テキストを予習して、ディスカッションや PBL で正確な意味を探る。グループワークを重視するプレゼンテーション方式も採用する予定。中国の事情をあわせて紹介する。関連のある資料や映像も使用する予定。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	受講生との初交流、授業方針の説明と受講生の要望を聞く
2	第 1 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
3	第 1 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
4	第 2 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
5	第 2 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
6	第 3 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
7	第 3 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
8	第 4 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
9	第 4 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
10	第 5 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
11	第 5 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
12	第 6 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
13	第 6 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
14	春学期のテスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習と復習が必要。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
テキストを大声で朗読の練習をし、宿題を時間通りに提出する。

【テキスト（教科書）】
「2020 年度版 時事中国語の教科書」（朝日出版社）￥2000 程度
「馬話日本」（中国）東方出版社　￥2500（予定）＋税

【参考書】
相原茂著『謎解き中国語文法』（講談社現代新書）
それに，中型程度の中日辞典が必要（授業時持参）。
（以下の提示は推薦でなくあくまで参考のため。）
香坂順一『簡約　現代中国語辞典』（光生館）
相原茂『中日辞典　第二版』（講談社）
『中日辞典　第二版』（小学館）

【成績評価の方法と基準】
1、出席は授業総数の 3 分の 2 以上足りない者なら基本的に評価の対象としない。
2、遅刻は連続２回なら 1 回の欠席と数える。
（１と２については不可抗力による事情を考慮する）
3、平常点 100 %（授業に積極的に参加する姿勢、提出物や期末テストの成績などを総合的に吟味して評価を行う）

【学生の意見等からの気づき】
授業で教員と学生との真剣勝負！ 意見や建言があれば、授業でぶつかってやってください。

【その他の重要事項】
基本マナーのことですが、男性は教室に入って脱帽すること。事情があれば、教員に説明して許可を得ること。
PC、DVD、ブルレイーの放映機器
初級なら、ほかに PC。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for students who have failed Chinese 3 before. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語補講３-Ⅱ

2017 年度以降入学者

馬　挺

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
法文営環 3 年（再履修のみ）

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語のテキストを学習して、発音から読解まで中国語への理解を深めて、異文化意識をベースに中国語での交流の力を備える。

【到達目標】
中国語の総合的理解力を養うことと同時に，異文化の視点から現代中国をある程度理解すること。基本的に中国語の初級科目を履修した学生を対象とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
テキストを予習して、ディスカッションや PBL で正確な意味を探る。グループワークを重視するプレゼンテーション方式も採用する予定。中国の事情をあわせて紹介する。関連のある資料や映像も使用する予定。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	自由会話	夏休みの体験と見聞
2	第 7 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
3	第 8 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
4	第 9 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
5	第 10 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
6	第 11 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
7	第 12 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
8	第 13 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
9	第 14 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
10	第 15 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
11	第 16 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
12	第 17 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
13	第 18 課	文章を読んで、正確に理解しているかをチェックする
14	期末テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習と復習が必要。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
テキストを大声で朗読の練習をし、宿題を時間通りに提出する。

【テキスト（教科書）】
「2019 年度版 時事中国語の教科書」（朝日出版社）￥2000 程度
「馬話日本」（中国）東方出版社　￥2500（予定）＋税

【参考書】
相原茂著『謎解き中国語文法』（講談社現代新書）
それに，中型程度の中日辞典が必要（授業時持参）。
（以下の提示は推薦でなくあくまで参考のため。）
香坂順一『簡約　現代中国語辞典』（光生館）
相原茂『中日辞典　第二版』（講談社）
『中日辞典　第二版』（小学館）

【成績評価の方法と基準】
1、出席は授業総数の 3 分の 2 以上足りない者なら基本的に評価の対象としない。
2、遅刻は連続２回なら 1 回の欠席と数える。
（１と２については不可抗力による事情を考慮する）
3、平常点 100 %（授業に積極的に参加する姿勢、提出物や期末テストの成績などを総合的に吟味して評価を行う）

【学生の意見等からの気づき】
授業で教員と学生との真剣勝負！ 意見や建言があれば、授業でぶつかってやってください。

【その他の重要事項】
基本マナーのことですが、男性は教室に入って脱帽すること。事情があれば、教員に説明して許可を得ること。
PC、DVD、ブルレイーの放映機器
初級なら、ほかに PC。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for students who have failed Chinese 3 before. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANs200LA

スペイン語補講３－Ⅰ

2017 年度以降入学者

若林　大我

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法文営環キ 3 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、1 年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】
履修生は今学期終了時までに、スペイン語の直説法点過去形、線過去形、および過去完了形の文を理解し、また作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半は、オンラインでの開講となります。これにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日は 4 月 24 日（金）とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを学習支援システムで提示しますので、履修予定の人は必ず学習支援システムの「お知らせ」を見てください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション 直説法現在形規則動詞	本授業のガイダンス 直説法現在形規則活用の復習 （テキスト: 第 1 課）
2	直説法現在形不規則動詞	直説法現在形不規則活用の復習 （テキスト: 第 1 課、第 2 課）
3	目的格代名詞	目的格代名詞の復習 （テキスト: 第 3 課）
4	gustar 型動詞 関係代名詞 que	gustar 型動詞の復習 関係代名詞 que の用法 （テキスト: 第 3 課）
5	直説法点過去形規則動詞 直説法点過去形不規則動詞 (1)	直説法点過去形の活用の復習 （テキスト: 第 4 課）
6	再帰動詞 se の受け身	再帰動詞の基本用法 再帰動詞を用いた受け身表現 （テキスト: 第 4 課）
7	直説法点過去形不規則動詞 (2)	直説法点過去形不規則活用の復習 （テキスト: 第 5 課）
8	中間試験 過去分詞 直説法現在完了形	中間試験 過去分詞の作り方と用法 直説法現在完了形の復習 （テキスト: 第 5 課）
9	直説法線過去形	直説法線過去形の復習 点過去形と線過去形の使い分け （テキスト: 第 6 課）
10	無人称文 感嘆文	再帰動詞および 3 人称複数形を用いた無人称文の作り方 感嘆文の作り方 （テキスト: 第 6 課）
11	直説法過去完了形	直説法過去完了形の意味と用法 （テキスト: 第 7 課）
12	ser 受動態	動詞 ser を用いた受け身表現 （テキスト: 第 7 課）
13	春学期の復習	期末試験に備えた春学期の学習内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。
また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組み、理解度を把握することが必須となる。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
西川喬『基礎から学ぼう！ スペイン語 中級（Aprendamos los fundamentos del idioma español: Curso intermedio）』（朝日出版）、2,300 円+税

【参考書】
外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』（小学館）をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。
上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。
http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更します。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示します。

【学生の意見等からの気づき】
履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline and objectives】
Intermediate grammar of Spanish.

LANs200LA

スペイン語補講３－Ⅱ

2017 年度以降入学者

若林　大我

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法文営環キ 3 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、1 年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】
履修生は今学期終了時までに、スペイン語の接続法現在形および過去形の文を理解し、また作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。
また講義が無味乾燥なものにならないよう、時間が許す限りスペイン語の歌や映画なども紹介し、受講生がスペインや中南米文化の一端に触れられるようにする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション 直説法未来形 直説法過去未来形	本授業のガイダンス 直説法未来形の意味と用法 直説法過去未来形の意味と用法 （テキスト: 第 2 課、第 8 課）
2	不定詞 + 目的格代名詞	不定詞と目的格代名詞および再帰代名詞の連接 （テキスト: 第 8 課）
3	進行形	現在進行形、過去進行形、未来進行形の文の作り方 （テキスト: 第 9 課）
4	命令法	命令文の作り方 （テキスト: 第 9 課）
5	接続法現在形規則動詞 接続法現在形語幹母音変化動詞	接続法の概念 接続法現在形の規則活用と語幹母音変化動詞 （テキスト: 第 10 課）
6	接続法現在形の命令用法	命令文で用いられる接続法現在形 （テキスト: 第 10 課）
7	接続法現在形不規則動詞	接続法現在形のその他の不規則活用 （テキスト: 第 11 課）
8	中間試験 接続法現在形の用法①	中間試験 接続法現在形の名詞節での用法 （テキスト: 第 12 課）
9	接続法現在形の用法②	接続法現在形の形容詞節での用法 （テキスト: 第 13 課）
10	現在分詞構文	現在分詞構文の意味と用法 （テキスト: 第 13 課）
11	接続法現在形の用法③	接続法現在形の副詞節での用法 （テキスト: 第 14 課）
12	接続法過去形	接続法過去形の活用と用法 （テキスト: 第 14 課）
13	秋学期の復習	期末試験に備えた秋学期の学習内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。
また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組み、理解度を把握することが必須となる。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
西川喬『基礎から学ぼう！ スペイン語 中級（Aprendamos los fundamentos del idioma español: Curso intermedio）』（朝日出版）、2,300 円+税

【参考書】
外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』（小学館）をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。
上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。
http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm

【成績評価の方法と基準】
学期中間で 1 度小テストを行う。平常点を 30%、学期中間での小テスト結果を 30%、学期末試験結果を 40%として総合評価する。このうち平常点については、ただ授業に出ることだけでなく、受講態度や口頭練習・質疑応答への参加の積極性も勘案する。
平常点の評価方法について、詳しくは初回授業のイントロダクション時に説明するので必ず出席すること。

【学生の意見等からの気づき】
履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline and objectives】
Intermediate grammar of Spanish.

ARSe200LA

Intercultural Communication G

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

尾形　太郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**2 単位**
SGU コース

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
The purpose of the course is to provide students with opportunities to broaden their knowledge of Japan, especially in the areas of geography, history, industry, culture and so on.

【到達目標】
Through the course, students will deepen their knowledge of Japan, which may support communication with Japanese people inside and outside of the campus.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
This course will consist of primarily lectures, discussions, presentations and field study trips. Students are expected to actively participate in group activities such as discussions or presentations.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Orientation	Class orientation
Week 2	Geography and demography	Introduction to Japanese geography and demography
Week 3	Japanese society	Politics, Industries, Education etc.
Week 4	Religions and customs 1 (The first field work)	Visiting shrines
Week 5	Religions and customs 2	Introduction to Shinto and customs originated in Shinto beliefs
Week 6	Arts	Introduction to Japanese traditional arts
Week 7	Japanese gardens 1	Introduction to Japanese gardens
Week 8	Japanese gardens 2 (The 2nd field work)	Visiting a Japanese garden
Week 9	Comparing cultures 1	Research for the final presentation.
Week 10	Comparing cultures 2	Research for the final presentation.
Week 11	Comparing cultures 3	Preparation for the final presentation.
Week 12	Presentation 1	Students make a group presentation.
Week 13	Presentation 2	Students make a group presentation.
Week 14	The 3rd field work	Visiting a museum.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are required to prepare the final presentation and reports on the field works. University guidelines suggest preparation and review are around 4hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Original handouts

【参考書】
Nothing special

【成績評価の方法と基準】
Class participation 30%
Reports 40%
Presentation 30%

【学生の意見等からの気づき】
Nothing special

【その他の重要事項】
Japanese students are expected to actively cooperate with international students during the group work.

【Outline and objectives】
The purpose of the course is to provide students with opportunities to broaden their knowledge of Japan, especially in the areas of geography, history, industry, culture and so on.

ARSe200LA

Intercultural Communication H

2016 年度以前入学者

サブタイトル：Japanese culture

Sonoko YAMAMOTO

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：2 **単位**
SGU コース

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
The objective of this course is to provide students with a brief survey of Japanese culture, covering both traditional and modern aspects. It also aims to raise students' awareness of the Japanese culture as well as their own, which will promote a better intercultural communication with local people.Classes will consist of lectures and various activities, including discussions, reaction paper writing, and student presentations.

【到達目標】
At the end of this course, the students are expected to have a clearer and deeper understanding of Japanese culture and people, which eventually facilitates intercultural communication with Japanese people.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
This course will consist of primarily lectures, discussions and presentations. Students are expected to actively participate in class ／ group discussions and oral presentations.
The basic language used in class will be English, however, occasionally Japanese will be also used because of the nature of our topics.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Class Orientation and Self-Introduction	[A selection process may occur.] · class-orientation · self-introduction · greetings(as a part of culture)
W 2	Stereotypes ①	· What is a stereotype? · Image of Japan ①: Collectivism, and vertically structured society.
W 3	Stereotypes ②	· Image of Japan ②: homogeneity and punctuality.
W 4	Geography	· Outline of Japanese geography.
W 5	Seasonal Events ①	· Seasonal events from April to September.
W 6	Seasonal Events	· Seasonal events from October to March.
W 7	Rituals	· Common rituals in Japanese life
W 8	Beliefs	· Taboos, superstitions, ghosts and the supernatural.
W 9	Foods	· Japanese traditional food and drinks, including home-cooking, bento, Kaiseki and Teas. · Foreign foods and innovations
W 10	Communication	· Characteristics of verbal communication.
W 11	Communication	· Characteristics of non-verbal communication.
W 12	Architecture and Urban Planning ①	· Housing
W 13	Architecture and Urban Planning ②	· Brief history and characteristics of Edo/Tokyo. 2. How to live with natural disasters.
W 14	Final Exam	Review Check of the whole course.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
· Reading of assigned materials
· Preparation for allotted presentation.
· University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course.

【テキスト（教科書）】
Handouts

【参考書】
· 日鉄住金総研『日本　その姿と心』NIPPON JAPAN THE LAND AND ITS PEOPLE
学生社（2014）　＜ DVD ＞
· 松本美江『英語で日本紹介ハンドブック』アルク（2014）
（MATSUMOTO Mie,　An Introductory Handbook to Japan and Its People,　ALC）
· E.Meyer "The Culture Map:Breaking Through the Invisible Boundaries of Global Business" Public Affairs, 2014
· Nisbett Ph.D., Richard "The Geography of Thought: How Asians and Westerners Think Differently...and Why" Free Press, 2004
*Additional relevant literature will be introduced in class as necessary.

【成績評価の方法と基準】
Class participation 30%
Presentation 30 %
Reaction paper writing 10%
Final examination 30%

【学生の意見等からの気づき】
If the conditions permit, the students will have more discussions with their classmates who have various cultural backgrounds, concerning not only Japanese culture but also the cultures of their own.

【学生が準備すべき機器他】
Device to access Google Classroom and ZOOM.

【その他の重要事項】
★ The class starts on the 24th April.
★ Be sure to Join Google Classroom.
★ Check Hoppii and your Hosei account mail!
· Do not miss the first class as the detailed syllabus will be handed out and a selection process may occur.
· The schedule may be subject to change based on class size and other factors.

【Outline and objectives】
The objective of this course is to provide students with a brief survey of Japanese culture, covering both traditional and modern aspects. It also aims to raise students' awareness of the Japanese culture as well as their own, which will promote a better intercultural communication with local people.Classes will consist of lectures and various activities, including field works, discussions, reaction paper writing, and student presentations.

LANr200LA

ロシア語（３）Ⅰ　2017 年度以降入学者

LANr200LA

ロシア語３Ⅰ　2017 年度以降入学者

佐藤　裕子

国際政治２年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この春学期でロシア語基礎文法を学び終え、文法力を身につける。辞書を引きながらさまざまなテキストを読解できるようになる。ロシア語能力検定試験４級３級の過去問題や対策問題に取り組み、合格を目指す。リスニングやリーディング力を養い、実際にコミュニケーションで使える日常会話、自己紹介等を習得する。

【到達目標】
教科書のロシア語基礎文法を学び終え、しっかりとした文法力を身につける。特に数詞の表現、関係代名詞や仮定法、比較級などが使いこなせるようになる。基礎文法が対象のロシア語能力検定試験４級３級の過去問題や対策問題に取り組み、合格を目指す。辞書を引き、より高度な文章の和訳ができるようになる。ロシア語テキストを速くきれいに音読できるようになる。実際にコミュニケーションで使える日常会話、自己紹介等を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインで゛の開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムて゛その都度提示します。本授業の開始日は４月２４日（金５）とします。その際に当面の授業形態について説明します。授業支援システムにアンケートを添付します。ご記入ください。（旧シラバス；教科書に沿って、基礎文法を終わらせます。文法を理解し習得、その知識を使いミニテストやロシア語検定試験過去問題を解いていきます。テキストを美しい発音で速く音読し、実際に使える会話の練習を行います。また、テキストの和訳を辞書を使い行います。名詞や形容詞などの変化形を乗り越えられれば、パズルのようなロシア語の文章構造を読み解くことが、おもしろく感じるはずです。CD や DVD でロシア語のリスニングのレッスンも行います。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	一年次の文法の総まとめ	一年次の文法の総まとめ、会話練習
2	第 12 課 動詞の体と時制	動詞の体（完了体、不完了体）と時制
3	第 12 課 完了体と不完了体	練習問題、テキスト音読と和訳、会話練習
4	第 13 課 関係代名詞	関係代名詞とその練習問題
5	第 13 課 関係副詞、接続詞の用法	関係副詞、接続詞ｃｔｏ быの文法と練習問題、テキストの音読と和訳
6	12 課と 13 課のまとめと中間試験	検定試験対策も考慮した中間試験（12-13 課対象）
7	第 14 課 数詞	個数詞と順序数詞の音読と筆記、復唱し暗記
8	第 14 課 数詞と名詞の結合	数詞と名詞の結合、ロシア語能力検定試験３級の数詞問題を解く
9	第 14 課 時間・年月日、年齢、値段の表現	時間・年月日、年齢、値段の表現（文法）、練習問題、会話練習
10	第 15 課 比較級	比較級（形容詞と副詞）、比較の対象の表現、ロシア語能力検定試験３級の比較級の問題を解く
11	第 15 課 最上級、仮定法	最上級（形容詞と副詞）、仮定法、名詞の特殊変化
12	検定対策 (１)	発音、代名詞、名詞の複数形、疑問文とその答え、動詞の現在人称変化
13	検定対策 (２)	格変化（名詞、形容詞、人称代名詞、所有代名詞、指示代名詞）
14	期末試験	14-15 課を対象とした試験。検定試験対策も兼ねる。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
積極的に予習（新出単語を調べる、テキストを訳す、練習問題を解く）や復習（文法の復習と暗記、テキストの音読練習）を行う。
ロシア語能力検定試験４級、３級に向けて練習問題を解く。
ロシアの歴史や文学、芸術にも関心をもち調べる。NHK ロシア語講座などでリスニングの練習をする。
本授業の準備・復習時間は各１時間以上を標準とする。

【テキスト（教科書）】
『初級ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員編）

【参考書】
・『入門ロシア語文法』和久利誓一著、白水社、1970 年、￥1404
・露和辞典（博友社ロシア語辞典（1995 年、￥6291）が望ましい）
・『ロシア語能力検定試験合格への手引きー３級・４級対策問題集ー』北岡千夏、三浦由香里、横井幸子著、南雲堂フェニックス、2005 年、￥1620

【成績評価の方法と基準】
オンライン授業の場合、テストではなく、平常点（授業への参加度、予習復習などの学習への取り組み姿勢、課題の提出）で評価します。課題は、練習問題、和訳、露訳などです。また、記憶を定着させるための暗唱や音読などの音声を提出してもらい、その評価も加味する予定です。詳細は今後、授業支援システムでご確認ください。

【学生の意見等からの気づき】
ロシア語能力検定試験対策の時間を増やしたいと思います。

【その他の重要事項】
授業計画は、学生の習熟度により変更があり得ます。

【Outline and objectives】
The goals of this course are: 1) to finish learning basic Russian grammar; 2) to be able to read various texts with the help of a dictionary; 3) to develop your listening and reading skills and master daily conversation, self-introductions, etc., that you can actually use for communication. You will also aim to pass the Russian language proficiency test at levels 3 and 4.

LANr200LA

ロシア語（３）Ⅱ　2017 年度以降入学者

LANr200LA

ロシア語３Ⅱ　2017 年度以降入学者

佐藤　裕子

国際政治２年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
既習のロシア語基礎文法を復習・整理し、使いこなせるようになる。その力試しにロシア語能力検定試験４級３級の合格を目指す。より高度なテキストを読み解くため、中級文法を習得する。リスニングやリーディング力を養い、実際に使える日常会話、自己紹介等を身につける。ロシアの歴史文化の映画や DVD、ニュースなどの視聴覚教材を通じロシア語力とロシアに関する知識を深める。

【到達目標】
基礎文法を整理、記憶し、確実に自身のものとする。ロシア語能力検定試験４級３級の合格を目指す。より高度なテキストを読解するため、中級文法を習得する。その文法を用いて、ロシアの歴史や文化、文学作品やニュースなど、さまざまなテキストを辞書を引き訳せるようになる。また、リスニングや、テキストをきれいな発音で速く音読できること、ロシア語の実践会話、和訳や露訳など、「聴く、読む、話す、書く」の総合的な語学力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業では，まずは 10 月に開催されるロシア語能力検定試験４級、３級の合格を目指し、基礎文法の復習と習得を完成させます。過去問や対策問題を解いていきます。また，速く美しい発音でのリーディング練習、CD や DVD（映画，ニュース等）などでロシア語をリスニングしていきます。皆さんの理解度に合わせてテキストを用意します。世界最高峰のロシア文学なども，一緒に読み解いていきましょう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	基礎文法の復習	教科書での基礎文法の復習。格変化習得（名詞、形容詞、所有代名詞、指示代名詞）
2	ロシア語能力検定試験対策（４級、３級）１	動詞の変化（現在人称変化、過去形、未来形、命令形）、比較級
3	ロシア語能力検定試験対策（４級、３級）２	運動の動詞（定向動詞と不定向動詞）、数詞（数詞と名詞の結合）
4	ロシア語能力検定試験対策（４級、３級）３	露文和訳、和文露訳、リスニング練習
5	中級文法（副動詞）	中級文法の学習と練習問題（副動詞），テキスト読解
6	中級文法（能動形動詞）	中級文法の学習と練習問題（能動形動詞），テキスト読解
7	中級文法（被動形動詞）	中級文法の学習と練習問題（被動形動詞），テキスト読解
8	ニュースのリスニングと和訳	テキスト読解（ロシアの新聞や雑誌）、映像資料（ニュース）のリスニング
9	テキスト読解と和文露訳１	テキスト読解（ロシアの民話や歴史など）、ロシア語作文
10	テキスト読解と和文露訳２	テキスト読解とロシア語作文（日本紹介や手紙など）
11	テキスト読解とその映像資料のリスニング１	テキスト読解（ロシア文学作品；チェーホフ）、映像資料（映画）のリスニング
12	テキスト読解とその映像資料のリスニング２	（ロシア文学作品；ドストエフスキー）、映像資料（映画）のリスニング
13	テキスト読解とその映像資料のリスニング３	テキスト読解（ロシア文学作品；トルストイ）、映像資料（映画）のリスニング
14	授業内試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・授業での配布テキストの和訳を済ませ、授業に臨む。・5 月と 10 月に開催されるロシア語能力検定試験に向けて基礎文法を復習し、過去問題と対策問題に取り組む。・文法では特に副動詞と形動詞の練習問題を解く。・NHK ロシア語講座（テレビとラジオ）やインターネットでロシアのニュースを聴くなど、日頃からロシア語に触れる。本授業の予習・復習、検定対策時間は各１時間以上を標準とする。

【テキスト（教科書）】
・『初級ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員編）
・その他のテキストとして，適時プリントを配布します。

【参考書】
・『入門ロシア語文法』和久利誓一著、白水社、1970 年、￥1404
・『ロシア語能力検定試験合格への手引きー３級・４級対策問題集ー』北岡千夏、三浦由香里、横井幸子著、南雲堂フェニックス、2005 年、￥1620
・露和辞典（博友社ロシア語辞典（1995 年、￥6291 が望ましい）

【成績評価の方法と基準】
秋学期の最終週に授業内試験を行います。この試験結果が評価の 60 %となります。その他に小テストや授業への参加度、取り組みの姿勢（宿題、予習や復習を含む）などの平常点を 40 %とし、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
ロシア語能力検定試験合格というひとつの目標ができたことが良かったという感想がありました。

【その他の重要事項】
授業計画は、学生の習熟度により変更があり得ます。
10 月か翌年５月のロシア語能力検定試験４級か３級いずれかの受験に挑戦してください。

【Outline and objectives】
You will review, order, and master the basic Russian grammar you have already learned and aim to acquire the ability to pass the Russian language proficiency test at levels 3 and 4. To understand more advanced texts, you will master intermediate grammar. By fostering your listening and reading skills, you will acquire ordinary conversational ability that can be used to actually introduce yourself, etc. You will deepen your knowledge of Russian using audiovisual teaching materials such as movies and DVDs of Russian history, culture, and news.

LANk200LA

朝鮮語３C-Ⅰ　2017 年度以降入学者

LANk200LA

朝鮮語３CⅠ　2017 年度以降入学者

富所　明秀

環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に,「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします.

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は時間内に課題を解き，それを提出してもらいます．オンライン授業も実施する方向で考えています．その際はグーグルハンドアウトミート（以下 meet とします）を使いますので，私からの meet の招待状が自分の大学のメールアドレスに届いているか確認してください．オンラインに接続ができない場合でもメールで課題を流しますのでそれを受け取って指示に従って解き，提出してください．授業開始日は４月２１日からになります．オンライン授業は４月２８日からになります.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	語基の復習その１	語基のプリント（前半）で復習
2	語基の復習その２	語基のプリント（後半）で復習
3	練習問題と聞き取り	語基の練習問題 天気予報の聞き取り，翻訳
4	TOPIK Ⅰ　リスニング 間接話法その１	リスニングの練習， 間接話法その１
5	TOPIK Ⅰ　リスニング 間接話法その２	リスニングの解説 間接話法その２
6	TOPIK Ⅰ読解 間接話法その３	読解 間接話法その３
7	TOPIK Ⅰ読解　解説 間接話法その４	読解　解説 間接話法その４
8	ニュース記事リスニング，翻訳課題①	ニュース記事の聞き取り，翻訳
9	翻訳課題①の解説 発音チェック 翻訳課題②	翻訳課題の解説 発音チェック
10	翻訳課題②解説 発音チェック 翻訳課題③	翻訳課題の解説 発音チェック
11	翻訳課題③解説 発音チェック 翻訳課題④	翻訳課題の解説 発音チェック
12	質問受付	質問受付
13	質問受付	質問受付
14	質問受付	質問受付

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
課題は必ず解いて提出してください．９回目〜１１回目の授業で一人ずつ発音のチェックをします．詳しくはメールでお知らせします.

【テキスト（教科書）】
授業で配布します.

【参考書】
『コスモス朝和辞典』，白水社

【成績評価の方法と基準】
出席，課題提出，発音チェック

【学生の意見等からの気づき】
CD の活用

【Outline and objectives】
It aims to comprehensively improve each ability of "reading, writing, listening, talking" on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

LANk200LA

朝鮮語３C-Ⅱ

2017 年度以降入学者

富所　明秀

環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に引き続き，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします.

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業の初めに毎回小テストを実施します.
教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き，音読と聞き取りをおこないます.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第６課	動作の反復，推量表現
2	第６課	大過去形
3	第６課	ヘヨ体の命令形
4	第７課	「〜して」をあらわすふたつの形
5	第７課	「〜しながら」，指定詞の第Ⅲ語基
6	中間試験	中間試験
7	第８課	移動をあらわす合成動詞，用言の「である」形
8	第８課	間接話法１，反語表現
9	第９課	ハンダ体，間接話法２
10	第９課	「〜しはじめる」，受身形
11	第１０課	概数の表現，間接話法と第Ⅲ語基
12	第１０課	「〜について」，「〜しやすい／しにくい」
13	秋学期のまとめ	秋学期のまとめ
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習の必要はありませんが，毎回小テストを実施しますので必ず復習してください.

【テキスト（教科書）】
授業で配布します.

【参考書】
『コスモス朝和辞典』, 白水社

【成績評価の方法と基準】
小テスト２０％
中間試験４０％
期末試験４０％

【学生の意見等からの気づき】
CD の活用

【Outline and objectives】
Continuing from the spring semester, it aims to comprehensively improve each ability of "Reading, Writing, Listening, Talking".

LANk200LA

朝鮮語４B-Ⅰ

2017 年度以降入学者

新谷　あゆり

環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
さまざまな映像・音声を通じ、聞く能力・読む能力を向上させる。
語彙・文型・表現の知識を増強する。
韓国人留学生との会話も行う予定。
一定の能力のある学生を対象とします。

【到達目標】
1 韓国の小説・ドラマ・歌・スピーチ・アナウンスなどの聞き取りを通し、音から朝鮮語を理解することに慣れる。
2 スクリプトの翻訳を通じ、語彙・文型・表現を学ぶ。
3 発音練習・暗唱を行うことで自然で美しい発音をめざす。
学生の人数・レベル・ニーズを見て小説・ドラマを適宜変更する。
候補：シークレットガーデン（逆転の女王、二度目の二十歳）

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
1 小説・ドラマの一場面を聞き、日本語訳する。
2 小説・ドラマの一場面を読み、日本語訳する。
3 文型・表現を学び、発音練習をする。
4 読解・暗唱等の課題をする。
5 翌週、単語と暗唱の小テストをする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	サランバンのお客さんとオモニ　①② シークレットガーデン１	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
2	サランバンのお客さんとオモニ　③④ シークレットガーデン２	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
3	サランバンのお客さんとオモニ　⑤⑥ シークレットガーデン３	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
4	サランバンのお客さんとオモニ　⑦⑧ シークレットガーデン４	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
5	サランバンのお客さんとオモニ　⑨⑩	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
6	インタビュー聞き取り、歌など 小テスト	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
7	サランバンのお客さんとオモニ　⑪⑫ シークレットガーデン５	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習

8	サランバンのお客さんとオモニ　⑬⑭ シークレットガーデン６	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
9	サランバンのお客さんとオモニ　⑮⑯ シークレットガーデン７	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
10	サランバンのお客さんとオモニ　⑰⑱ 小テスト	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
11	留学生との会話	韓国人留学生と 100 分会話する 聞き取り
12	サランバンのお客さんとオモニ　⑲⑳	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
13	サランバンのお客さんとオモニ　最終回 シークレットガーデン８	スクリプト聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎週、聞き取り・読解・暗記等の課題を行うこと。
本授業の準備・復習時間は各 1 時間を要する。

【テキスト（教科書）】
プリント配布

【参考書】
川口義一監修『耳から入る韓国語１』学研
シークレットガーデン　ＤＶＤ
二度目の二十歳　ＤＶＤ
逆転の女王　ＤＶＤ

【成績評価の方法と基準】
平常点（積極性、課題含む）50 %、テスト 50 %
3 回欠席あるいは遅刻の場合、落第。

【学生の意見等からの気づき】
留学生との会話が大変有意義だったという意見が多かったため今学期も留学生との会話の時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】
音声が録音できるもの（スマホでも可）

【その他の重要事項】
一定の能力のある学生を対象とします。
課題が多いのでやる気のある学生の受講を希望します。

【Outline and objectives】
This class is designed for intermediate Korean learners. Students watch videos, listen to CDs, and translate scripts. It aims to improve listening comprehension skills and increase vocabulary.

LANk200LA

朝鮮語４Ｂ-Ⅱ

2017 年度以降入学者

新谷　あゆり

環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
さまざまな映像・音声を通じ、聞く能力・読む能力を向上させる。語彙・文型・表現の知識を増強する。
韓国人留学生との会話も行う予定。
一定の能力のある学生を対象とします。

【到達目標】
1 韓国のドラマ・歌・ニュース・スピーチなどの聞き取りを通し、音から理解することに慣れる。
2 スクリプトの翻訳を通じ、語彙・文型・表現を学ぶ。
3 発音練習・音読を行うことで自然で美しい発音をめざす。
学生の人数・レベル・ニーズを見てドラマを適宜変更する。
候補：華麗なる遺産（逆転の女王、二度目の二十歳）

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
1 ドラマ・ニュースなどを聞き、日本語訳する。
2 ドラマ・ニュースなどを読み、日本語訳する。
3 文型・表現を学び、発音練習をする。
4 読解・音読等の課題をする。
5 単語や音読・暗唱の小テストをする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	会話　自己紹介 華麗なる遺産１	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
2	華麗なる遺産２ 歌	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
3	華麗なる遺産３ アナウンス	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
4	華麗なる遺産４	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
5	華麗なる遺産５	小テスト 聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
6	アナウンスなど 小テスト	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
7	華麗なる遺産６	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
8	華麗なる遺産７	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
9	華麗なる遺産８ アナウンス	小テスト 聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習

10	華麗なる遺産９ 会話練習 小テスト	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
11	留学生との会話	韓国人留学生と 100 分会話する
12	華麗なる遺産１０	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
13	華麗なる遺産１１ アナウンス	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎週、スクリプト読解・音読・暗唱等の課題を行うこと。
本授業の準備・復習時間は 1 時間を要する。

【テキスト（教科書）】
プリント配布

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
平常点（積極性、課題）50 %、テスト 50 %
３回欠席あるいは遅刻の場合、落第。

【学生の意見等からの気づき】
留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので今学期も会話の時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】
音声が録音できる録音機（スマホも可）

【その他の重要事項】
一定の能力のある学生を対象とします。
課題が多いのでやる気のある学生の受講を希望します。

【Outline and objectives】
This class is designed for intermediate Korean learners. Students watch videos, listen to CDs, and translate scripts. It aims to improve listening comprehension skills and increase vocabulary.

LANk200LA

朝鮮語５A-Ⅰ

2017 年度以降入学者

吉良　佳奈江

環キ 3〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、朝鮮語の基礎を身につけた学習者が現代の韓国文学に触れ、辞書を使って一人で読めるようになることを目的とする。短いエッセイから、短編までさまざまな作家の文章を幅広く読むとともに、作品の背景となっている現代の韓国社会や韓国の文化についても考察する。
日本で翻訳されている韓国文学と合わせ授業中に自ら原書のテキストを読むことで、各学習者が好きな韓国文学に出会えることを目標とする。

【到達目標】
1. 書き言葉と間接話法が用いられた朝鮮語の文章を正確に理解することができる
2. エッセイや小説などの様々なジャンルの朝鮮語の文章を、辞書を引きながら読解できる能力を身につける
3. 授業で扱うテキストの内容について議論しながら、韓国の社会問題や韓国文化についての理解を深める

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
指定したエッセイや短編小説を、文法内容や関連語彙を確認しながら読み解いていく。
初回の授業では、韓国文学の文献リストを配布するとともに、韓国文学に関する互いの関心を共有する。
第 2・3 回の授業ではエッセイを題材として、韓国文学を味わう。
第 4 回以降、短編作品を中心に韓国語の文章読解を進める。
授業で取り上げた教材については、原書および同じ作家の日本語で読める作品も紹介し、韓国文学についての知識を深める。
授業の最後に韓国文学に関連し、翻訳書、文学作品を原作とした映画、文学イベントなどをテーマとしてレポートを提出してもらう。（アクティブラーニング課題）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方、韓国文学の文献リストの配布
2	エッセイの講読・ディスカッション（1）	エッセイを読んで、韓国文学への知識を深める
3	エッセイの講読・ディスカッション（2）	エッセイを読んで、韓国文学への知識を深める
4	小説の講読・ディスカッション（1）	小説を読んで、内容について議論する
5	小説の講読・ディスカッション（2）	小説を読んで、内容について議論する
6	小説の講読・ディスカッション（3）	小説を読んで、内容について議論する
7	小説の講読・ディスカッション（4）	小説を読んで、内容について議論する
8	小説の講読・ディスカッション（5）	小説を読んで、内容について議論する
9	小説の講読・ディスカッション（6）	小説を読んで、内容について議論する

10	小説の講読・ディスカッション（7）	小説を読んで、内容について議論する
11	小説の講読・ディスカッション（8）	小説を読んで、内容について議論する
12	小説の講読・ディスカッション（9）	小説を読んで、内容について議論する
13	小説の講読・ディスカッション（10）	小説を読んで、内容について議論する
14	アクティブ・ラーニング　発表	課題・関心の共有

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。指定されたテキストの予習と復習を必ず行うこと。

【テキスト（教科書）】
パク・ミンギュ、チェ・ウニョン、キム・エラン、チャン・ガンミョン、ペク・スリンなど日本でも翻訳されている作家を中心に、エッセイ、短編を扱う。
講読テキスト・参考資料はプリントで配布する。

【参考書】
『完全版　韓国・フェミニズム・日本』斎藤真理子編集　（2019、河出書房新社）
『カステラ』パク・ミンギュ著、ヒョン・ジェフン、斎藤真理子訳　（2014、クレイン）
『どきどき僕の人生』キム・エラン著、きむふな訳　（2013、クオン）
『マイスイートソウル』チョン・イヒョン著、清水由希子訳　（2007、講談社）
『韓国が嫌いで』チャン・ガンミョン著、吉良佳奈江訳　（2020、ころから）
『ショウコの微笑』チェ・ウニョン著、吉川 凪監修、
牧野 美加 、横本 麻矢、小林 由紀 翻訳（2018、クオン）

【成績評価の方法と基準】
平常点（60 %）、宿題（20 %）、レポート課題（20 %）

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【学生が準備すべき機器他】
授業時に講読テキストに関連した朝鮮語の文章を配布し、読解の練習をしてもらう場合もあるため、辞書は必ず持参すること。

【その他の重要事項】
長い文章の講読は少しハードルが高いかもしれませんが、韓国で話題になっている本やエッセイを読むことは、韓国社会や韓国文化に対するより深い理解へとつながります。
初級・中級レベルの朝鮮語の学習を終えてエッセイや小説の読解に挑戦してみたいという学生の他に、韓国に留学したことがあって読解力をもっと高めたいという学生や、文学作品の翻訳に関心がある韓国の留学生の履修も歓迎します。

【Outline and objectives】
In the class, intermediate learners of Korean use dictionaries to read modern Korean literature.
The ultimate goal is to find out what Korean literature each learner likes by reading various Korean textbooks.

LANk200LA

朝鮮語５Ａ-Ⅱ

2017 年度以降入学者

吉良　佳奈江

環キ 3〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、朝鮮語の基礎を身につけた学習者が現代の韓国文学に触れ、辞書を使って一人で読めるようになることを目的とする。短いエッセイから、短編までさまざまな作家の文章を幅広く読むとともに、作品の背景となっている現代の韓国社会や韓国の文化についても考察する。

【到達目標】
1. 書き言葉と間接話法が用いられた朝鮮語の文章を正確に理解することができる
2. エッセイや小説などの様々なジャンルの朝鮮語の文章を、辞書を引きながら読解できる能力を身につける
3. 授業で扱うテキストの内容について議論しながら、韓国の社会問題や韓国文化についての理解を深める

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
指定したエッセイや短編小説を、文法内容や関連語彙を確認しながら読み解いていく。
初回の授業では、春学期に読んだテキストを踏まえて、韓国文学に関する互いの関心を共有する。
第２回以降、短編作品を中心に韓国語の文章読解を進める。
授業で取り上げた教材については、原書および同じ作家の日本語で読める作品も紹介し、韓国文学についての知識を深める。
授業の最後に韓国文学に関連し、翻訳書、文学作品を原作とした映画、文学イベントなどをテーマとしてレポートを提出してもらう。（アクティブラーニング課題）。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション エッセイの講読	関心の共有 エッセイを読んで、内容について議論する
2	小説の講読・ディスカッション（1）	小説を読んで、内容について議論する
3	小説の講読・ディスカッション（2）	小説を読んで、内容について議論する
4	小説の講読・ディスカッション（3）	小説を読んで、内容について議論する
5	小説の講読・ディスカッション（4）	小説を読んで、内容について議論する
6	小説の講読・ディスカッション（5）	小説を読んで、内容について議論する
7	小説の講読・ディスカッション（6）	小説を読んで、内容について議論する
8	小説の講読・ディスカッション（7）	小説を読んで、内容について議論する
9	小説の講読・ディスカッション（8）	小説を読んで、内容について議論する
10	小説の講読・ディスカッション（9）	小説を読んで、内容について議論する
11	小説の講読・ディスカッション（10）	小説を読んで、内容について議論する

12	小説の講読・ディスカッション（11）	小説を読んで、内容について議論する
13	小説の講読・ディスカッション（12）	小説を読んで、内容について議論する
14	アクティブ・ラーニング　発表	課題・関心の共有

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。指定されたテキストの予習と復習を必ず行うこと。

【テキスト（教科書）】
パク・ミンギュ、チェ・ウニョン、キム・エラン、チャン・ガンミョン、ペク・スリンなど日本でも翻訳されている作家を中心に、エッセイ、短編を扱う。
講読テキスト・参考資料はプリントで配布する。

【参考書】
『惨憺たる光』ペク・スリン著、カン・パンファ訳（2019，書肆侃侃房）
『モンスーン』ピョン・ヘヨン著、姜信子訳（2019、白水社）
『遠足』チョン・ソンテ著　小山内園子訳（2018、クオン）
『生姜（センガン）』チョン・ウニョン著、橋本智保訳　（2016、新幹社）
その他、適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
平常点（60 %）、宿題（20 %）、レポート課題（20 %）

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【学生が準備すべき機器他】
授業時に講読テキストに関連した朝鮮語の文章を配布し、読解の練習をしてもらう場合もあるため、辞書は必ず持参すること。

【その他の重要事項】
平常点（60 %）、宿題（20 %）、レポート課題（20 %）

【Outline and objectives】
In the class, intermediate learners of Korean use dictionaries to read modern Korean literature.
The ultimate goal is to find out what Korean literature each learner likes by reading various Korean textbooks.

LANk200LA

朝鮮語５Ｂ-Ⅰ

2017 年度以降入学者

神谷　丹路

環キ 3〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
朝鮮語で「聞く力」「話す力」「読む力」「書く力」の伸長を目指す。これまで学習してきた文法や語彙の定着を図り、簡単な日常会話がスムーズにできるように練習をする。朝鮮韓国の昔話など簡単な読み物を読みながら、伝統文化についての理解も深めたり、時事ニュースに触れ、リスニング力、漢字語の力をつける。中級レベルの新しい語彙、表現を増やし、会話の幅を広げる。中級レベル向けの授業である。

【到達目標】
実際にコミュニケーションの手段として使える朝鮮語の「聞く力」「話す力」を獲得し、また身のまわりの出来事を書いたりできるようにする。自らの体験や考えを朝鮮語で発表できるようにする。言語の背景に広がる文化的社会的な理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
毎回、ウォーミングアップとして、授業のはじめに、身の回りの出来事について、簡単な日常会話を交わす練習をすることで、話すことに慣れていく。その後、昔話や時事ニュースのテキストに沿って、聞く力の伸長、読む力、語彙力のアップを図り、隣国への幅広い理解へとつなげていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・授業の進め方の説明 ・レベルチェック ・自己紹介
2	「アマガエル」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
3	「天女とはごろも」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
4	「トラと干し柿」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
5	「ウサギのさいばん」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
6	「おひさまおつきさま」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
7	「ウサギとトラ」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
8	『時事韓国語』「シェアハウス人気」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
9	『時事韓国語』「無人化加速」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
10	『時事韓国語』「小 1 保護者 10 時出勤」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
11	『時事韓国語』「二つの母国語」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
12	『時事韓国語』「高齢者 10 人に 1 人認知症」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
13	『時事韓国語』「変わる採用試験場」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
14	学習のまとめ	プレゼンテーション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回、読み物課題を予習すること。毎回、身近な話題について、簡単な日記形式のレポート課題があります。

【テキスト（教科書）】
『KBS ニュースで学ぶ時事韓国語』浜之上幸監修、白帝社、2019 年、2400 円+税。昔話は授業時にプリントを配布。

【参考書】
日韓・韓日辞書。

【成績評価の方法と基準】
平常点 80 %、プレゼンテーション 20 %

【学生の意見等からの気づき】
話すことに抵抗感がなくなるように、簡単な単語を駆使して伝える技術を身に着けられるようにします。

【その他の重要事項】
学生のレベルに合わせ、順序や内容に若干の変更のある場合があります。

【Outline and objectives】
This course deals with Korean intermediate level. It also enhances the development of students' skill in reading, writing, listening and talking.

LANk200LA

朝鮮語５Ｂ-Ⅱ

2017 年度以降入学者

神谷　丹路

環キ 3〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
朝鮮語で「聞く力」「話す力」「読む力」「書く力」の伸長を目指す。これまで学習してきた文法や語彙の定着を図り、簡単な日常会話がスムーズにできるように練習をする。朝鮮韓国の昔話など簡単な読み物を読みながら、伝統文化についての理解を深めたり、時事ニュースに触れ、リスニング力、漢字語の力をつける。中級レベルの新しい語彙、表現を増やし、会話の幅を広げる。中級レベル向けの授業である.

【到達目標】
実際にコミュニケーションの手段として使える朝鮮語の「聞く力」「話す力」を獲得し、また身のまわりの出来事を書いたりできるようにする。自らの体験や考えを朝鮮語で発表できるようにする。言語の背景に広がる文化的社会的な理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
毎回、ウォーミングアップとして、授業のはじめに、身の回りの出来事について、簡単な日常会話を交わす練習をする。言葉がすぐ出てくるよう、とにかく話すことに慣れること。その後は、昔話や時事ニュースのテキストに沿って、聞く力の伸長、読む力、語彙力のアップを図り、隣国への幅広い理解へとつなげていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・授業の進め方の説明 ・レベルチェック ・自己紹介
2	「檀君神話」①	会話、リスニング、リーディング、内容理解
3	「檀君神話」②	会話、リスニング、リーディング、内容理解
4	「パンチョギ」①	会話、リスニング、リーディング、内容理解
5	「パンチョギ」②	会話、リスニング、リーディング、内容理解
6	「アワ一粒で嫁をもらった若者」①	会話、リスニング、リーディング、内容理解
7	「アワ一粒で嫁をもらった若者」②	会話、リスニング、リーディング、内容理解
8	『時事韓国語』「BTS、K-POP 再燃となるか？」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
9	『時事韓国語』「韓国映画〝タクシー運転手〟」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
10	『時事韓国語』「南北合同チーム初登場」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
11	『時事韓国語』「時代とともに変わる正月番組」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
12	『時事韓国語』「ロッテ 5 連勝中」	会話、リスニング、リーディング、内容理解

13	『時事韓国語』「ドラマの名所ソウル桂洞」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
14	学習のまとめ	プレゼンテーション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回、読み物課題を予習すること。毎回、身近な話題について、簡単な日記形式のレポート課題があります。

【テキスト（教科書）】
『KBS ニュースで学ぶ時事韓国語』浜之上幸監修、白帝社、2400 円+税。昔話は、プリントを配布。
「

【参考書】
日韓・韓日辞書。

【成績評価の方法と基準】
平常点 80 %、プレゼンテーション 20 %

【学生の意見等からの気づき】
話すことに抵抗感がなくなるように、簡単な単語を駆使して伝える技術を身に着けられるようにします。

【その他の重要事項】
学生のレベルに合わせ、順序や内容に若干の変更のある場合があります。

【Outline and objectives】
This course deals with Korean intermediate level. It also enhances the development of students' skill in reading, writing, listening and talking.

LANj100LA

日本語 1 - I　　2017 年度以降入学者

LANj100LA

日本語 1 I　　2017 年度以降入学者

尾形　太郎

環 1 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
大学での講義、ゼミ、口頭発表などで必要なアカデミックスキルの養成を目的とし、主にインプット（読む・聴く）能力を高める。
また、読解や聴解を通して理解した内容について、口頭で説明するとともに、他者と意見を交換する。

【到達目標】
(1) ノート・テイキングができるようになること
(2) 読解・聴解を通して理解したことの概要を口頭で説明すること
(3) 読解・聴解を通して理解したことについて、自らの意見を述べること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
1. 前回の授業の復習（小テストを行う場合もあり）
2. メモを取りながら読解または聴解を行う
3. メモをもとにアウトラインを作成する
4. （可能であれば）読解または聴解のトピックに関してディスカッションを行う
本授業は 5 月 8 日（金）から開始する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の目的、内容についての紹介
2	聴解・読解練習 1	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
3	聴解・読解練習 2	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
4	聴解・読解練習 3	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。 トピックについて議論する。
5	聴解・読解練習 4	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。

6	聴解・読解練習５	メモを取りながらスクメモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
7	聴解・読解練習６	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
8	聴解・読解練習７	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
9	聴解・読解練習８	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
10	聴解・読解練習９	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
11	聴解・読解練習１０	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
12	聴解・読解練習１１	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
13	聴解・読解練習１２	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
14	期末試験	読解および聴解試験を行う。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
適宜、事前に配布したテキストに関する事前課題または事後課題を行う。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて１時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業中にハンドアウトや資料を配布する。

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
当面の間、オンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。
具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
学生の興味・関心を考慮した教材を用いる。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【Outline and objectives】
The purpose of this course is to develop students' ability of reading and listening comprehension for research activities. Students are expected to learn text structures, grammatical structures and expressions in academic Japanese.

LANj100LA

日本語１-Ⅱ　2017 年度以降入学者

LANj100LA

日本語１Ⅱ　2017 年度以降入学者

尾形　太郎

環１年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
大学での講義、ゼミ、口頭発表などで必要なアカデミックスキルの養成を目的とし、主にインプット（読む・聴く）能力を高める。
また、読解や聴解を通して理解した内容について、口頭で説明するとともに、他者と意見を交換する。

【到達目標】
(1) ノート・テイキングができるようになること
(2) 読解・聴解を通して理解したことの概要を口頭で説明すること
(3) 読解・聴解を通して理解したことについて、自らの意見を述べること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
1. 前回の授業の復習（小テストを行う場合もあり）
2. メモを取りながら読解または聴解を行う
3. メモをもとにアウトラインを作成する
4. 読解または聴解のトピックに関してディスカッションを行う

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の目的、内容についての紹介
2	聴解・読解練習１	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
3	聴解・読解練習２	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
4	聴解・読解練習３	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。 トピックについて議論する。
5	聴解・読解練習４	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
6	聴解・読解練習５	メモを取りながらスクメモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。

7	聴解・読解練習６	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
8	聴解・読解練習７	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
9	聴解・読解練習８	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
10	聴解・読解練習９	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
11	聴解・読解練習１０	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
12	聴解・読解練習１１	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
13	聴解・読解練習１２	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
14	期末試験	読解および聴解試験を行う。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
適宜、事前に配布したテキストに関する事前課題または事後課題を行う。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業中にハンドアウトや資料を配布する。

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
授業への参加度 30 %、課題（発表、提出物）40 %、試験 30 %

【学生の意見等からの気づき】
学生の興味・関心を考慮した教材を用いる。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【Outline and objectives】
The purpose of this course is to develop students' ability of reading and listening comprehension for research activities. Students are expected to learn text structures, grammatical structures and expressions in academic Japanese.

LANj200LA

日本語３- Ⅰ　2017 年度以降入学者

LANj200LA

日本語３ Ⅰ　2017 年度以降入学者

戸村　佳代

環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文法、語彙の拡充を図りながら、まとまった量の文章を読みとり、その内容を的確に口頭で説明できるようになるための訓練を行う。また、テキストの内容を批判的に読み、それに基づくディスカッションを行う。

【到達目標】
１．まとまった長さの文章を読み、要点を押さえて理解することができる。
２．わかりやすい配付資料をもとに、自分の意見を発表する。
３．日本の社会問題について議論するために必要な語彙・表現を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンライン授業での開講となる。それに伴う各回の授業計画の変更や受講者が必要な準備については学習支援システムの「お知らせ」でその都度提示する。
オンライン授業期間は双方型 Web 会議システム（ZOOM）を利用する。
本授業の開始日は 4 月 21 日（火）とする。
以下の内容で授業を進めるが、オンライン授業の実施状況をみながら変更の可能性がある。
(1) 予習確認テスト（漢字・語彙、表現、簡単な文章内容理解チェック）
(2) 担当者による口頭報告
(3) 文章の内容把握チェック
(4) ディスカッション
※ 予習を前提に授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	イントロダクション	１．通信環境チェック ２．ZOOM 授業参加の練習 ３．ウォーミングアップとアイスブレーキング ３．授業の進め方 ４．成績評価について
②	授業の準備の仕方	１．語彙・表現リストの利用方法、予習の仕方 ２．発表資料の作り方 ３．練習
③	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション
④	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション
⑤	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション

⑥	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション
⑦	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション
⑧	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション
⑨	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション
⑩	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション
⑪	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション
⑫	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション
⑬	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション
⑭	まとめ	漢字、語彙・表現、読解

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回、次のような予習と準備をする。
1.「語彙・表現リスト」を用い、漢字の読み方を確認した上で分からない単語の意味を調べ、内容を理解する。（全員）
2．報告担当者２名は、配付資料（ハンドアウト）と発表用パワーポイントを分担して作成する。また、作成したファイルを授業３日前までに提出し、添削を受ける。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
コピー教材（主に、文藝春秋社『2020 年の論点 100』『2019 年の論点 100』等から抜粋）
4 月 28 日以降に PDF で順次「学習支援システム」からダウンロードできるようにします。

【参考書】
『2020 年の論点 100』『2019 年の論点 100』文藝春秋社
※その他、授業時に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
当初の予定は以下の通りでしたが、オンライン授業実施にともない、具体的な授業形態が決まってから、学習支援システムと授業で公開します。
****
平常点　30 %
（小テスト、授業への取り組み）
課題・授業での発表　30 %
試験・レポート　40 %
※やむを得ない理由による場合を除き、欠席・遅刻をした場合は、その回の小テストは 0 点とする。
※遅刻２回を欠席１回とみなす。
※以下の条件をすべて満たすものを評価の対象とする
(1) 欠席回数が４回以下であること
(2) 授業での口頭報告（発表）を行っていること
(3) 学期末試験を受験していること

【学生の意見等からの気づき】
※効率的な予習が可能になるように、授業支援システムにより「語彙・表現リスト」を担当教員が作成・配布します。

【学生が準備すべき機器他】
・ZOOM を利用して授業を行うため、ZOOM のアカウントを取得しておくこと。
・スマートフォンよりパソコンの利用を推奨します。
・資料配付、課題提出に学習支援システムを利用します。

【その他の重要事項】
※読解テキストの語彙・表現リストの受け渡しを、学習支援システムによって行います。履修登録の前に学習支援システムに仮登録をしてください。
※ 4/28 以降の授業でテキスト（PDF ファイル）を随時配布します。
※ ZOOM による授業の ID とパスワードは学習支援システムの「お知らせ」で各授業の前日に通知します。

【Outline and objectives】
This class aims to improve your ability of Japanese, focusing on reading, oral presentation, and discussion.
You should be able to:
・idenfy the essay structure and paragraph structures of verious type of Japanese essays, and to grasp the gist of them.
・summarize what you have read and explane it to the rest of the class, using your own words.
・actively discuss a varity of topics of Japanese.

LANj200LA

日本語３-Ⅱ　2017 年度以降入学者

LANj200LA

日本語３Ⅱ　2017 年度以降入学者

戸村　佳代

環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一定のテーマについての必要な情報を収集し、的確に理解・整理した上で、説得力のあるプレゼンテーションを行う訓練を行う。文法、語彙の拡充のみならず、情報発信のために必要な表現方法を学びながらディスカッション・ディベートなどを行う。

【到達目標】
１．まとまった長さの文章を読み、文章構造と論理展開に注目することにより、要点を押さえて理解することができる。
２．わかりやすい配付資料をもとに、自分の意見を発表する。
３．日本の社会問題について議論するために必要な語彙・表現を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
(1) 予習確認テスト（漢字･語彙、表現、簡単な文章内容理解チェック）
(2) 担当者による口頭報告
(3) 文章の内容把握チェック
(4) ディスカッション・ディベート
※ 予習を前提に授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	イントロダクション	１．ウォーミングアップ ２．テキスト配布 ２．授業の進め方について ３．成績評価について ４．口頭発表用資料の作り方（説明と練習）
②	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
③	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
④	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑤	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑥	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑦	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑧	読解・応用練習ション	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑨	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑩	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑪	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑫	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑬	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑭	まとめ	漢字、語彙・表現、読解

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回、次のような予習と準備をする。
１.「語彙・表現リスト」を用い、漢字の読み方を確認した上で分からない単語の意味を調べ、内容を理解する。（全員）
２．報告担当者２名は、配付資料（ハンドアウト）と発表用パワーポイントを分担して作成する。また、作成したファイルを授業前にメール添付で教員に送り、添削を受ける。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
コピー教材（主に文藝春秋社『2020 年の論点 100』『2019 年の論点 100』等から抜粋）

【参考書】
文藝春秋社『2020 年の論点 100』『2019 年の論点 100』
※その他、授業時に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
平常点　30 %
（小テスト、授業への取り組み）
課題・授業での発表　30 %
試験・レポート　40 %
※やむを得ない理由による場合を除き、欠席・遅刻をした場合は、その回の小テストは 0 点とする。
※遅刻２回を欠席１回とみなす。
※以下の条件をすべて満たすものを評価の対象とする
(1) 欠席回数が４回以下であること
(2) 授業での口頭報告（発表）を行っていること
(3) 学期末試験を受験していること

【学生の意見等からの気づき】
※効率的な予習が可能になるように、授業支援システムにより「語彙・表現リスト」を担当教員が作成・配布します。

【学生が準備すべき機器他】
授業にはＰＣ、ＯＨＣを利用します。
資料配付、課題提出に授業支援システムを利用します。

【その他の重要事項】
※読解テキストの語彙・表現リストの受け渡しを、授業支援システムによって行います。履修登録の前に授業支援システムに登録をしてください。
※最初の授業時に詳しい授業進行予定と語彙・表現リスト作成・口頭発表の分担を決めますので、必ず出席してください。
※最初の授業でテキスト（コピー教材）を配布します。

【Outline and objectives】
This class aims to improve your ability of Japanese, focusing on reading, oral presentation, and discussion.
You should be able to:
・idenfy the essay structure and paragraph structures of verious type of Japanese essays, and to grasp the gist of them.
・summarize what you have read and explane it to the rest of the class, using your own words.
・actively discuss a varity of topics of Japanese.

LANj200LA

日本語３- Ⅰ　　2017 年度以降入学者

LANj200LA

日本語３ Ⅰ　　2017 年度以降入学者

尾形　太郎

国２年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
レポートや論文の執筆などの研究活動に必要な読解力の向上を目的とする。

【到達目標】
１．学生は、まとまった長さの文章が速く正確に読める。
２．学生は、読んで理解したことをポイントを押さえてまとめられる。
３．学生は、読んだ文章の内容をもとに自分の意見を発表・討論できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
１. 短めの文章を一人で読み、設問に答える
２.（可能であれば）グループで内容を確認
３.（可能であれば）文章の概要を口頭で発表する
本授業は 5 月 7 日（木）から開始する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション	プリントの紹介 授業の進め方 成績評価
②	読解・応用練習	読解・ディスカッション
③	読解・応用練習	読解・ディスカッション
④	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑤	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑥	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑦	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑧	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑨	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑩	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑪	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑫	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑬	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑭	期末課題	期末課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
次の授業で扱う文章の読解を予習として課す場合がある。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
テキストは使用しない。プリント配布。

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
当面の間、オンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。
具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【Outline and objectives】
The objective of this class is to enhance reading comprehension skills for research activities.

LANj200LA

日本語３-Ⅱ　2017 年度以降入学者

LANj200LA

日本語３Ⅱ　2017 年度以降入学者

尾形　太郎

国２年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
レポートや論文の執筆などの研究活動に必要な読解力の向上を目的とする。

【到達目標】
１．学生は、まとまった長さの文章が速く正確に読める。
２．学生は、読んで理解したことをポイントを押さえてまとめられる。
３．学生は、読んだ文章の内容をもとに自分の意見を発表・討論できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
①タスクシート本文を数分で読む
②タスクシート本文で読み・意味が不明な表現に下線をつける
③上記下線部分の漢字、読み、意味などを本文の下に書く
④本文の音読後、要約を口頭で発表
⑤本文内容について教師の問い、学生からの質問
⑥本文関連読解資料を音読する
⑦本文、関連資料の話題についてグループディスカッション後に発表

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション	プリントの紹介 授業の進め方 成績評価
②	読解・応用練習	読解・ディスカッション
③	読解・応用練習	読解・ディスカッション
④	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑤	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑥	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑦	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑧	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑨	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑩	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑪	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑫	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑬	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑭	期末試験	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
１．予習は基本的に必要がないが、復習はきちんとすることが求められる。
２．配布されたタスクシートは即時記入する。提出の期限は授業当日。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
テキストは使用しない。プリント配布。

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
平常点：授業への取り組み、小テスト（30 %）
課題・タスクシート・発表（40 %）
期末試験または期末レポート（30 %）
※４回以上欠席した場合は、原則として単位は出さない。
※課題の未提出が多い場合は、履修不足とみなし、単位を出さない。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【Outline and objectives】
The objective of this class is to enhance reading comprehension skills for research activities.

LANj200LA

日本語４- Ⅰ　2017 年度以降入学者

LANj200LA

日本語４ Ⅰ　2017 年度以降入学者

中沢　佐企子

国２年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
読解練習、特に精読を中心にテキストを厳密に読む練習を行う。内容を正確に理解し、説明する。また、読解内容に関して意見を表現したりする作業を通じて、大学におけるアカデミック・スキルを養う。

【到達目標】
テキストの内容を厳密に読む技術を身につける。内容について、筆者の意図等を正確に理解し説明できるようになる。また、その内容について、自分の意見を述べることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
１　読解、語彙・表現などについて予習する。
２　授業では、テキストを厳密に読む練習を行う。内容についての質疑応答を行う。また、語彙・表現等についても確認する。
３　テキストに関する討論や発表も行う。
４　学期中に数回小テストや課題を行う。なお、小テストは授業開始時に行う。
　春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 27 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	ガイダンス	授業の目的、進め方について紹介
2 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
3 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
4 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
5 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
6 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
7 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
8 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
9 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
10 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
11 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
12 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
13 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答

14 回	まとめ 期末試験	まとめ テキストの内容についての試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストは前もって配布するので、読解・語彙・表現等を予習する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
プリント教材。授業で配布する。

【参考書】
授業中、適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業への参加・予習等）３０％、小テスト・課題３０％、試験４０％
※やむを得ない理由による場合を除き、欠席・遅刻をした場合は、その回の小テストは 0 点とする。
。
※以下の条件をすべて見なすものを評価の対象とする
(1) 欠席回数が４回以下であること
(2) 授業での課題を行っていること
(3) 学期末試験を受験していること
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできない。

【その他の重要事項】
・出席を重視する。
・プリントは一人一回しか配布しない。
・課題を遅れて提出した場合は-30 %で計算する。
・平常点では、授業中の態度・積極性・協調性を重視する。また、予習してきたかどうかも重視する。

【Outline and objectives】
Students will develop their academic skills through reading comprehension exercises, especially reading in detail. In this class, they will be able to understand the contents of the text correctly, explain it and express their opinions about it.

LANj200LA
日本語４-Ⅱ　2017 年度以降入学者

LANj200LA
日本語４Ⅱ　2017 年度以降入学者

中沢　佐企子

国２年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
読解練習、特に精読を中心にテキストを厳密に読む練習を行う。内容を正確に理解し、説明する。また、読解内容に関して意見を表現したりする作業を通じて、大学におけるアカデミック・スキルを養う。

【到達目標】
テキストの内容を厳密に読む技術を身につける。クリティカル・リーディングを行い、内容について筆者の意図等を正確に理解し説明できるようになる。また、その内容について、自分の意見を述べることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
１　読解、語彙・表現などについて予習する。
２　授業では、テキストを厳密に読む練習を行う。内容についての質疑応答を行う。また、語彙・表現等についても確認する。
３　テキストに関する討論や発表も行う。
４　学期中に数回小テストや課題を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	ガイダンス	授業の目的、進め方について説明
2 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
3 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
4 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
5 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
6 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
7 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
8 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
9 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
10 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
11 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
12 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
13 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
14 回	まとめ 期末試験	まとめ テキストの内容についての試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストは前もって配布するので、読解・語彙・表現等を予習する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
プリント教材。授業で配布する。

【参考書】
授業中、適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業への参加・予習等）３０％、小テスト・課題３０％、試験４０％
※やむを得ない理由による場合を除き、欠席・遅刻をした場合は、その回の小テストは 0 点とする。
※以下の条件をすべて見なすものを評価の対象とする
(1) 欠席回数が 4 回以下であること
(2) 授業での課題を行っていること
(3) 学期末試験を受験していること

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできない。

【その他の重要事項】
・出席を重視する。
・プリントは一人一回しか配布しない。
・小テストや課題を遅れて提出した場合は-30 %で計算する。
・平常点では、授業中の態度・積極性・協調性を重視する。また、予習してきたかどうかも重視する。

【Outline and objectives】
Students will develop their academic skills through reading comprehension exercises, especially reading in detail. In this class, they will be able to understand the contents of the text correctly, explain it and express their opinions about it.

LANj200LA

日本語４- Ⅰ　2017 年度以降入学者

LANj200LA

日本語４ Ⅰ　2017 年度以降入学者

尾形　太郎

環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
テキストを緻密に読む技術、および、読むことを通して理解したことを簡潔に口頭で説明する技術を高める。また、読解内容に関して自らの考えを述べる。

【到達目標】
（1）テキストを緻密に読む技術を身につける
（2）読解を通して理解したことの概要を口頭で説明する
（3）読解を通して理解したことについて、自らの意見を述べる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
1. 前回の授業の復習（小テストを行う場合もあり）
2. テキストの読解、設問に答える
3.（可能であれば）テキストの内容に関する質疑応答・議論
本授業は 5 月 7 日（木）から開始する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の目的、進め方について紹介
第 2 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 3 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 4 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 5 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 6 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 7 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 8 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 9 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 10 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 11 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 12 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 13 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 14 回	総括	総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
適宜、事前に配布したテキストに関する事前課題を行う。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業中に配布する。

【参考書】
適宜、授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】
当面の間、オンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。
具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
学生の知的好奇心を活発化させられるような教材を用いる。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【Outline and objectives】
The purpose of this course is to develop students' ability of reading and listening comprehension for research activities. Students are expected to learn text structures, grammatical structures and expressions in academic Japanese.

LANj200LA

日本語４-Ⅱ　2017 年度以降入学者

LANj200LA

日本語４Ⅱ　2017 年度以降入学者

尾形　太郎

環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
テキストを緻密に読む技術、および、読むことを通して理解したことを簡潔に口頭で説明する技術を高める。また、読解内容に関して自らの考えを述べる。

【到達目標】
(1) テキストを緻密に読む技術を身につける
(2) 読解を通して理解したことの概要を口頭で説明する
(3) 読解を通して理解したことについて、自らの意見を述べる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
1. 前回の授業の復習（小テストを行う場合もあり）
2. テキストの読解
3. テキストの内容に関する質疑応答・議論

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の目的、進め方について紹介
第 2 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 3 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 4 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 5 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 6 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 7 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 8 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 9 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 10 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 11 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 12 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 13 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 14 回	レポートへの FD	レポートへのフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
適宜、事前に配布したテキストに関する事前課題を行う。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業中にハンドアウトや資料を配布する。

【参考書】
適宜、授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点 30 %、課題・提出物 40 %、最終レポートまたは口頭試験 30 %

【学生の意見等からの気づき】
学生の知的好奇心を活発化させられるような教材を用いる。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【Outline and objectives】
The purpose of this course is to develop students' ability of reading and listening comprehension for research activities. Students are expected to learn text structures, grammatical structures and expressions in academic Japanese.

CAR200LA

Career Development Skills

2016 年度以前入学者

サブタイトル：

山﨑　雅夫

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**2 単位**
SGU コース

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
These lectures aim to strengthen students' basic understanding of career development and human resource management from both theoretical and practical perspectives.

【到達目標】
The goal is to be able to consider and evaluate problems to career development. It is hoped that students will hone their ability to grasp the crux of these problems to deal with any situation.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
These lectures will focus primarily on knowledge provision. Printed copies of the materials on which the lectures will be based will be distributed. Students will be given the chance to ask questions and interact with each other. Additionally, group discussions will be held at least three times. Depending on the situation, the lecture plan may be altered or adjusted. For details, please refer to the Learning Management System. The class start date is April 23.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Orientation	The outline of the lecture and plan will be presented. I will provide an overview of the topic and details of the class.
2	Recruitment	Recruitment in Japan. I will discuss recruitment management and trends in recruitment. Students will learn how to make themselves more employable.
3	Grade system	Grade system in Japan. I will discuss the grade system and provide examples. Student will gain an insight into the in-company grade system.
4	Evaluation system	Evaluation system in Japan. I will discuss evaluation systems and provide examples. Students will learn how you are evaluated in a company.
5	Wage system	Wage system in Japan. I will discuss the wage system and the fundamental aspects of wages.
6	Working time management	Working time management in Japan. I will discuss working time management and productivity. Students will learn about the relationship between input and output at work.
7	Ability development	Ability development in Japan. I will discuss ability development and human resource development. Students will learn about the concept of ability.
8	Career design	Career design for your life. I will discuss career design and time. Students will learn about "career."
9	Labor relations	Labor relations in Japan. I will discuss labor relations and organizations. Students will learn about power balance.
10	Motivation	Motivation within organizations. I will discuss motivation. Students will learn about personal motivation within the organizations.
11	Leadership	Leadership within organizations. I will discuss leadership. Students will learn about organizational behavior.
12	Engagement	Engagement within organizations. I will discuss engagement, commitment, and loyalty. Students will learn about reliance.
13	International comparison	International comparisons of human resource management. I will discuss human resources management around the world. Students will learn the differences between countries.
14	Summarize	Summary of what has been covered during the course. Preparation for the end-of-term examination. Please review each theme together.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 4hours a week.

【テキスト（教科書）】
I will distribute the handouts for each lecture.

【参考書】
Sato, H., Fujimura, H., Yashiro, A. (2019) New Human Resource Management, 6th edition.Tokyo: Yuhikaku Publishing.
Imano, K., Sato, H. (2009) Introduction to Human Resource Management 2th edition.Tokyo: Nikkei Inc.
Yamasaki, M. (2020) Engineer's Intuition: Theory and Practice. Tokyo: Hosei University Press.

【成績評価の方法と基準】
Term examination(60 %), Short test(10 %), Class participation(30 %)
Please refer to the lecture material(No.1) on the Learning Management System. We will hold the end-of-term presentation depending on the situation.

【学生の意見等からの気づき】
The content of the lectures is designed in the following ratio: 70% basic knowledge and 30% application. These lectures will concentrate on knowledge provision.

【Outline and objectives】
These lectures aim to strengthen students' basic understanding of career development and human resource management from both theoretical and practical perspectives.

ART200LA

Humanities A

2016 年度以前入学者

サブタイトル：Japanese Literature II.

URBANOVA Jana

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 1/Wed.1
単位数：**2 単位**
SGU コース

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course focuses on the major literary figures and their representative works of early modern, modern and contemporary Japanese literature. The works will be discussed with regard to the circumstances and background that shaped the authors' way of thinking. The course will also include a lesson introducing two significant works of medieval literature to shed light on one of the crucial concepts in Japanese culture - transience. There will also be a lesson introducing two major women poets of Okinawa.

【到達目標】
Goals:
1. to learn about the major literary figures of pre-modern, modern and contemporary Japanese literature
2. to gain an appreciation of the depth and atmosphere of their literary works as well as the beauty of the English translations

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
This course is based on lectures by the instructor featuring the use of written and audio-visual materials. In addition, every student will be required to deliver a class presentation on a given topic and to submit a short written summary of the presentation and essay at the end of the semester. The topics and the study materials for the presentation will be distributed at the beginning of the course.
IMPORTANT UPDATE:
Please check the Hosei Learning Management System (HOPPII) for this class to get the updated information regarding the online classes and grading criteria. The first assignment will be posted by the day of the first class (April 22).

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1.	Introduction	Introduction to course; brief self-introduction; scheduling of presentations
2.	Transience in Japanese literature	The concept of transience as portrayed in *Essays in Idleness* (*Tsuredzuregusa*, written by Buddhist priest *Kenkō*) and in the *waka* anthology *A Hundred Poems by a Hundred Poets* (*Hyakunin Isshu*, compiled by *Fujiwara no Teika*)
3.	*Haikai* poetry	Transition from comic *haikai* poetry to the mastering of *haiku; Matsuo Bashō*; Hints for appreciating and writing *haiku*
4.	Poetry of Okinawa	Two women poets of Okinawa: *Yoshiya Tsuru* and *Onna Nabe* and their *ryūka* poems
5.	Literature of the floating world	The rising merchant society during the *Edo* period; stories of the floating world (*ukiyo zōshi*); *Ihara Saikaku: The Life of an Amorous Man (Kōshoku Ichidai Otoko)* and *Five Women who Loved Love (Kōshoku Gonin Onna)*
6.	Tales of the supernatural in pre-modern literature	*Ueda Akinari* and his *Tales of Moonlight and Rain (Ugetsu Monogatari)*
7.	Tales of the supernatural in modern literature	*Akutagawa Ryūnosuke* and the influence of *Japanese Tales from Times Past (Konjaku Monogatari Shū);* short stories *In a Grove (Yabu no Naka)* and *Rashōmon*
8.	The world of fantasy and reality of *Miyazawa Kenji*	*Miyazawa Kenji*: fantasy novel *Milky Way Railroad (Ginga Tetsudō no Yoru)*, poem *Be not Defeated by the Rain (Ame ni mo makezu)*
9.	Modern novelists, Part 1	*Natsume Sōseki*: his life and literary works, particularly the novel *I Am a Cat (Wagahai wa Neko de aru)*
10.	Modern novelists, Part 2	*Mishima Yukio (Confessions of a Mask; Kamen no Kokuhaku)* and *Tanizaki Junichirō (The Key; Kagi)*
11.	Modern novelists, Part 3	The dark world of *Dazai Osamu* in the novels *The Setting Sun (Shayō)* and *No Longer Human (Ningen Shikkaku)*
12.	Modern novelists, Part 4	Nobel Prize winner *Kawabata Yasunari* and his masterpiece *Snow Country (Yukiguni)*
13.	Contemporary literature	*Yoshimoto Banana* and *Haruki Murakami* and their representative works
14.	Course wrap up	Submit short summary of presentation and essay; final written exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Please prepare a short self-introduction for the first class. In addition, each student will be asked to deliver an oral presentation on a designated topic and to submit a short written summary of the presentation and essay at the end of the semester. Students are also expected to actively engage in class discussions and to revise all of the readings done in class, as they will form the basis for the questions on the final exam. Preparatory study and review time for this class are 2 hours each.

【テキスト（教科書）】
No textbooks will be used. Handouts and reading materials on each lesson's topic together with the specified sources will be distributed by the lecturer at the beginning of each lesson.

【参考書】
Selected references:
Katō, Shūichi. *A History of Japanese Literature (Vol.3) – The Modern Years.* Tokyo, New York & San Francisco: Kodansha International, Ltd., 1983.
Keene, Donald. *Appreciations of Japanese Culture.* Tokyo, New York & London: Kodansha International, Ltd., 1971. First paperback edition, 1981.
Keene, Donald. *World Within Walls – Japanese Literature of the Pre-Modern Era, 1600-1867.* New York: Holt, Rinehart and Winston, 1976.
Petersen, Gwen Boardman. *The Moon in the Water – Understanding Tanizaki, Kawabata and Mishima.* Honolulu: The University Press of Hawaii, 1979.
Further references related to the topic of each class will be provided by the lecturer.

【成績評価の方法と基準】
Class attendance and oral participation are expected; failure to participate in class will result in the subtraction of marks from the total. Grading criteria: oral presentation and written summary (40%); final examination and essay (60%).
IMPORTANT UPDATE:
Please check the Hosei Learning Management System (HOPPII) for this class to get the updated information regarding the online classes and grading criteria. The first assignment will be posted by the day of the first class (April 22).

【学生の意見等からの気づき】
There are no student comments that would require major changes to the course.

【Outline and objectives】
This course focuses on the major literary figures and their representative works of early modern, modern and contemporary Japanese literature. The works will be discussed with regard to the circumstances and background that shaped the authors' way of thinking. The course will also include a lesson introducing two significant works of medieval literature to shed light on one of the crucial concepts in Japanese culture - transience. There will also be a lesson introducing two major women poets of Okinawa.

ARSc200LA

Humanities B

2016 年度以前入学者

サブタイトル：America in the 20th Century

リチャード・バロース

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**2 単位**
SGU コース

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Despite the rise of powers in Asia such as China & India, the US remains the pre-eminent global power and a key to understanding its prominence lies in an understanding of its rise as a superpower during the 20th century. Therefore, this course will focus on key political, economic & cultural developments during the latter half of that period, how they contributed to the rise of American power and continue to influence nations around the world, especially in Asia. Regular reading assignments will be set, analyzed & discussed during the lessons, allowing students to reflect on how the US continues to influence their nations as we enter a new century.

【到達目標】
Through a variety of media, this course seeks to firstly, give students a thorough understanding of key events in the US from the end of World War II to the close of the century. In addition, students will be able to comprehend how those events impacted not only on the course of modern US history, but their wider effect throughout the world, especially in the Asia-Pacific region.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Regular reading assignments will be set, analyzed & discussed during the lessons, allowing students to reflect on how the US continues to influence their nations as we enter a new century. Furthermore, an audio-visual element will allow students to sharpen their listening skills and engage in comprehension activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Explanation	Course Introduction
Week 2	Course Assignments	Presentation Skills
Week 3	Innovation	The Wright Brothers
Week 4	The Pacific Conflict	US in World War II
Week 5	Post-War Settlement	Bombing of Hiroshima
Week 6	Technology	Breaking the Sound Barrier
Week 7	The Fight Against Communism	The Vietnam War
Week 8	The Civil Rights Movement	Martin Luther King
Week 9	A Divided Nation	The Anti-War Movement
Week 10	Political Violence	The Assassination of JFK
Week 11	Watergate	End of Nixon
Week 12	The Space Race	The Apollo Landings
Week 13	A New Conservatism	Reagan & the Religious Right
Week 14	Course Review	The 20th Century Influence on the Present Day

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students will be expected to make a presentation and submit a report on a relevant theme during the semester. In addition, regular reading assignments will be set with comprehension & vocabulary questions.No more than 3 absences will be permitted. University guidelines suggest preparation and review are around 4hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
None, but students are required to bring an A4/B4 binder to store the photocopies that will be distributed by the teacher at each lesson

【参考書】
An electronic dictionary or smart phone English dictionary is required at every class

【成績評価の方法と基準】
Classowrk & Participation 30%
Homework 30%
Presentation 20%
Report 20%

【学生の意見等からの気づき】
Increased vocabulary preparation prior to the audio-visual listening section

【学生が準備すべき機器他】
Students need to have access to a pc (& printer) in order to prepare their presentation & report

【その他の重要事項】
Please join this class if you have an interest in this topic, a desire to improve your English skills, and are willing to attend classes on a regular basis and submit all homework & other assignments on time.

【None】
None

【None】
None

【None】
None

【None】
None

【None】
None

【Outline and objectives】
This course, rather than simply leading students through key dates & events during the 20th century, seeks to analyze important developments & trends in US which caused repercussions both domestically & internationally during the 20th century & beyond.

POL200LA

Social Science A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Global and Regional Governance

スキハノ　アドリアン

開講時期：秋学期授業/Fall ｜ 曜日・時限：月 3/Mon.3
単位数：2 単位
SGU コース

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
By what process are policies coordinated and actions concerted with regard to global issues? How and by whom are these processes organized and structured? Treating global governance as a process, this course examines how global governance functions at both international and regional levels through cases of Europe and East Asia. Henceforth, the course considers how these different levels of governance interact with regard to three different global issues and the policies built in response thereto in the two areas studied.

【到達目標】
By the end of the course, students are expected to have acquired:
1. a good understanding of the structures and processes of global governance at both international and regional levels
2. a firm grasp of the diversity of actors involved in the global governance process
3. comprehension of the specific characters of global governance and corresponding issues and challenges

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Classes consist in discussion, documents study, and lecture.
Students will be required to apply analytical frameworks they learned during class by conducting a research on an organization of their choice that will result in a presentation during the second half of the semester (starting week 9) and a written report to be submitted at the end of the semester. This will be performed collectively or individually depending on the number of students attending the course.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1.	Introduction	Definitions, history, actors and institutions; methodology.
2.	Global governance I	Agenda and policy making.
3.	Global governance II	Decision-making processes.
4.	Global governance III	Follow-up mechanisms.
5.	Global governance IV	Prevention and settlement of conflicts.
6.	Regional governance I	Europe (1): historical background, institutional landscape, and challenges.
7.	Regional governance II	Europe (2): agenda and policies.
8.	Regional governance III	East Asia (1): historical background, institutional landscape, and challenges.
9.	Regional governance IV	East Asia (2): agenda and policies.
10.	Processes of global governance I	Promoting and protecting human rights and fundamental freedoms
11.	Processes of global governance II	Managing marine resources
12.	Processes of global governance III	Liberalizing trades
13.	Issues affecting global governance	Consistency, effectiveness, legitimacy Democratic deficit
14.	Conclusion	Towards a world government?

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
In addition to the research project to be presented in class, students will be required to prepare the class by familiarizing themselves with the documents handed out for this purpose.University guidelines suggest preparation and review are around 4hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
None.

【参考書】
Thomas G. WEISS and Rorden WILKINSON (editors), International Organization and Global Governance (2014) Routledge (ISBN 978-0-415-62760-3)
Thomas G. WEISS, Global Governance, Why? What? Whither? (2013) Polity (ISBN 978-0745660462)
Colin I. BRADFORD and Johannes F. LINN (editors), Global Governance Reform, Breaking the Stalemate (2007) Brookings Institution Press (ISBN 978-0-8157-1363-0)
Michael BARNETT and Raymond DUVALL, Power in Global Governance (2005) Cambridge University Press (ISBN 978-0521840248)

【成績評価の方法と基準】
Participation in class (including homework and discussions): 50%; research project: 50% (presentation in class: 30%; written report: 20%).

【学生の意見等からの気づき】
Course material has been reviewed. Visuals have been improved.

【学生が準備すべき機器他】
A pen and some paper are a must.

【その他の重要事項】
Course contents will vary depending on number of students presentations to be performed in class.

【Outline and objectives】
By what process are policies coordinated and actions concerted with regard to global issues? How and by whom are these processes organized and structured? Treating global governance as a process, this course examines how global governance functions at both international and regional levels through cases of Europe and East Asia. Henceforth, the course considers how these different levels of governance interact with regard to three different global issues and the policies built in response thereto in the two areas studied.

POL200LA

Social Science B

2016 年度以前入学者

サブタイトル：International Organizations

SCHIFANO ADRIEN

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**2 単位**
SGU **コース**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course aims at providing students with an overview of the phenomenon, great in both scale and scope, styled 'international organizations' in its diversity and unity.
The course starts by focusing on the concept of international organization proper, and examines how these are inherently political societies wherein power happens and is organized according to certain structures. The course then moves on modalities for international organizations interacting with both each other and States, with a particular attention given to functions organizations perform amid the international society.

【到達目標】
By the end of the course, it is expected that students:
1. acquire a good understanding of the nature of international organizations
2. have a grasp of the common principles according to which international organizations operate
3. have a concrete knowledge of several international organizations
4. acquire a critical understanding of the roles and functions that international organizations perform amid the global society, as well as issues and challenges pertaining thereto

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Classes consist in discussion, documents study, and lecture.
Students will be required to apply analytical frameworks they learned during class by conducting a research on an organization of their choice that will result in a presentation during the second half of the semester. This will be performed collectively or individually depending on the number of students attending the course.
The first class will occur on April 27, at 13:00 as scheduled. Students will be provided with further information by email and on Hoppii. Please check announcements on Hoppii and report on your capacity to attend classes online.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1.	Introduction	Historical and theoretical background.
2.	Proper operation I	Nature of international organizations: Definition(s), classifications, functions.
3.	Proper operation II	Creation of international organizations: Constitutive elements, creators, modalities, outcome.
4.	Proper operation III	Organizations as social groups (1) - Anatomy: components.
5.	Proper operation IV	Organizations as social groups (3) - Leadership: distribution of power, structural design.
6.	External relations I	Diplomatist function: participation, statuses, rights and obligations, privileges.
7.	Functions performed by organizations amid the international society I	Legislative function: direct or indirect, policy coordination, decision making
8.	Functions performed by organizations amid the international society II	Executive function: compliance, control/monitoring, inspection, reporting, service providing, enforcement, use of force
9.	Functions performed by organizations amid the international society III	Judicial function: prevention of disputes, settlement of disputes, sorts, modalities
10.	External relations II	Relations between international organizations: fragmentation, overlapping jurisdictions, ad hoc coordination, permanent coordination, institutionalized coordination, modalities and technique
11.	External relations III	Relations between international organizations: Cooperation, integration, systems of organizations
12.	Conclusion: current issues surrounding international organizations	Proliferation of international organizations, lack in framing their powers, fragmentation, redundancy, competition, forum-shopping, uncertainty, coordination

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
In addition to the research project to be presented in class, students will be required to prepare the class by familiarizing themselves with the documents handed out for this purpose. 本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4
hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
None.

【参考書】
Volker RITTBERGER, Bernhard ZANGL, and Andreas KRUCK, International Organization (2012, 2nd ed.) Palgrave Macmillan (ISBN 978-0230291881);
Jan KLABBERS, An Introduction to International Organizations Law (2015, 3rd ed.) Cambridge University Press (ISBN 978-1107439719);
Michael BARNETT and Martha FINNEMORE, Rules for the World, International Organizations in Global Politics (2004) Cornell University Press (ISBN 978-0-8014-8823-8);
Jacob KATZ COGAN, Ian HURD, and Ian JOHNSTONE (editors), The Oxford Handbook of International Organizations (2017) Oxford University Press (ISBN 9780199672202);

【成績評価の方法と基準】
Participation in class (including homework and discussions): 50%; research project (presentation in class): 50%.

【学生の意見等からの気づき】
Powerpoint slides have been made.

【学生が準備すべき機器他】
A pen and some paper.

【その他の重要事項】
Outline of the course may change depending on number of presentations.

【Outline and objectives】
This course aims at providing students with an overview of the phenomenon, great in both scale and scope, styled 'international organizations' in its diversity and unity.
The course starts by focusing on the concept of international organization proper, and examines how these are inherently political societies wherein power happens and is organized according to certain structures. The course then moves on modalities for international organizations interacting with both each other and States, with a particular attention given to functions organizations perform amid the international society.

BSC200LA

Natural Science B

2016 年度以前入学者

サブタイトル：

Naomi NISHIMURA

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：2 **単位**
SGU **コース**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
One of the most pressing issues the Earth is facing is environmental problems. Such environmental problems are universal issues, so all the people on the earth should cooperate to solve these problems. At the beginning of this course, each environmental problem will be focused from the chemical viewpoint. Then, the students with different backgrounds will delve into the matters. The ultimate goal of this course is that we think about these problems deeply by sharing possible solutions with each other.

【到達目標】
The goal of this course is for students to lean environmental problems through chemistry. The objective 1) entirely environmental problems in the world; 2) to learn them you understand basic chemistry; 3) they think about solving the imminent problems by themselves.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
The start of this class is in May 8th, not in April 24th.
This course is taught in English. Students will be tested on their knowledge of chemistry at the beginning of the course, and the contents for the first three weeks of the course will be decided, based on the test results. After that, many different environmental problems are explained each week.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Overview of the course and explanation of some terminology. Test your chemistry level.
2	Basic chemistry 1	Learning the chemical skills to study this course.
3	Basic chemistry 2	Learning the chemical skills to study this course.
4	Basic chemistry 3	Learning the chemical skills to study this course.
5	Mini test-1	Review learning.
6	Ozone holes	Stratospheric air chemistry.
7	Air pollution	Tropospheric air chemistry and effect of air pollution on our health.
8	Greenhouse effect	Climates change
9	Greenhouse effect-DVD	Climates change
10	Mini test-2	Review learning
11	Solid, toxic, and hazardous wastes	What do we do with the wastes?
12	Water pollution and water shortage	The basic chemistry of natural water.
13	Energy and fuels	Current energy system and alternative energy sources.
14	Final test	Overall review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Write short essays. 本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
None. Reading materials will be distributed as needed.

【参考書】
None.

【成績評価の方法と基準】
Reaction Paper (30%), Mini tests (30%), Final test (40%)

【学生の意見等からの気づき】
none

【その他の重要事項】
The start of this class is in May 8th, not in April 24th.

【Outline and objectives】
One of the most pressing issues the Earth is facing is environmental problems. Such environmental problems are universal issues, so all the people on the earth should cooperate to solve these problems. At the beginning of this course, each environmental problem will be focused from the chemical viewpoint. Then, the students with different backgrounds will delve into the matters. The ultimate goal of this course is that we think about these problems deeply by sharing possible solutions with each other.

HSS200LA

Health and Physical Education　2016 年度以前入学者

サブタイトル：

秋本　成晴

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：**2 単位**
SGU コース

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Understanding the various physical activities and their effect on daily health and/or fitness level. Learning teamwork and personal role within a group through various exercises that require techique and/or tactical knowledge.

【到達目標】
1. Learning about various ways of exercising.
2. Understanding the basics of a healthy lifestyle.
3. Learning about basic self control and its importance.
4. Exercising simple dicision making, leadership, communication in a dependent and co-dependent environment.
5. Creating a demand for future self-education and self-development.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Classes for Spring Semester will be held online. The modified schedule, contents and further details of this class will be announced on “Hosei Learning Management System”.
The first class will be held on Monday 27th of April.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Guidance (Lecture)	Introduction of the course.
2	Practical Lesson (Volleyball 1)	Learning the outline of Volleyball, its basic rules and skills.
3	Practical Lesson (Volleyball 2, Sitting Volleyball)	Learning game based Volleyball and its various adaptations.
4	Practical Lesson (Badminton 1)	Learning the outline of Badminton, its basic rules and skills.
5	Practical Lesson (Badminton 2)	Learning game based Badminton.
6	Practical Lesson (Fitness 1)	Learning about warm up, static/dynamic streches, body weight exercises and resistance training (upper body).
7	Practical Lesson (Fitness 2)	Learning about warm up, static/dynamic streches, body weight exercises and resistance training (lower body).
8	Practical Lesson (Table-Tennis 1)	Learning the outline of Table-tennis, its basic rules and skills.
9	Practical Lesson (Boccia 1, Dodgebee)	Learning the outline of Boccia and Dodgebee.
10	Practical Lesson (Basketball)	Learning the outline of Basketball, its basic rules and skills.
11	Practical Lesson (Boccia 2, Hockey)	Learning game based Boccia and the outline of Hockey.
12	Practical Lesson (Blind Football)	Learning the outline of Blind Football.
13	Practical Lesson (Table-tennis 2, Sound Table Tennis)	Learning game based Table-Tennis as well as the outline of Sound Table Tennis.
14	Summarizing the Course (Lecture)	Overview of the course and summarizing what students have learned with discussions.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Each student is required to prepare themselves to have a good physical and mental condition in order to participate safely in the lesson. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
No textbook will be used.

【参考書】
Rederence books may be introduced as and if necessary.

【成績評価の方法と基準】
As the provision of this class has been changed to online learning, the evaluation and its criteria will also be modified.
Further details of how classes will be evaluated will be announced on “Hosei Learning Management System” by Monday 27th of April.

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable

【その他の重要事項】
· Each student is required to bring their own proper sportswear and indoor shoes.
· The order and content of each class can be changed/modified due to the number of participants and available facilities.
· If students do not feel well or have (possible) injuries before or after the class, students must inform their condition to the teacher for safety.

【Outline and objectives】
Understanding the various physical activities and their effect on daily health and/or fitness level. Learning teamwork and personal role within a group through various exercises that require techique and/or tactical knowledge.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

吉岡　卓

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業のねらいは，自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです．また，将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします．

【到達目標】
本科目では，主に Excel2010（表計算ソフト）と PowerPoint2010（プレゼンテーションソフト）の操作方法を学びます．基本的な操作方法は情報処理演習Ⅰで学んだ Word と同様なので，特に本授業では，表の作成と簡単な計算・オートフィル・関数の利用・最適化問題を解く・プレゼンテーション資料の作成・発表方法などが身に付きます．
授業では Excel と PowerPoint を使用する際のテクニカルな面を講義しますが，本科目の目標はあくまでも「計算式を書く」事と「自らの主張をプレゼンテーションにつなげる」事です．なお，前者では，数学的な思考はあまり必要ありません．数式を解くのではなく，数式を立てるほうを重要視しますので，論理的な思考が身に付きます．後者では，プレゼンテーション資料を作る際の様々なルール（一般的な文字数や図表の規則など）が身に付きます．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います．表計算ソフト，プレゼンテーションソフト，その他の応用ソフトの使い方などを実習します．また，ホームページ作成の初歩，情報倫理や情報理論についての考え方を深めます．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 01 回	Excel 導入	セルの挿入・結合・装飾などを通して，Microsoft Excel の利用方法を学習する
第 02 回	関数の利用	Microsoft Excel の自動計算機能を用いる
第 03 回	関数の応用	Microsoft Excel の様々な関数を利用する
第 04 回	詳細な表示形式の変更	Microsoft Excel の条件付き書式を利用する
第 05 回	非線形な問題を解く	Microsoft Excel のソルバーやゴールシーク機能を用いて非線形な問題を解く
第 06 回	条件分岐に関する関数を用いる	Microsoft Excel の IF 関数などを用いる事で，論理的思考をやしなう
第 07 回	Power Point 導入	Microsoft PowerPoint の基本操作や箇条書き・スライド装飾について学習する
第 08 回	図表の挿入・アニメーション設定	Microsoft PowerPoint の図表利用やアニメーションの設定により，視覚的効果の得られるスライド作成を目標とする
第 09 回	動画の挿入・拡張子	Microsoft PowerPoint に動画を挿入する場合の注意や，Windows における拡張子の扱いについて学習する
第 10 回	マイテンプレート	Microsoft PowerPoint で，自分なりのテンプレートを作成し，特色あるスライド作成を目標とする
第 11 回	スライドの作成	Microsoft PowerPoint を用いて個別にスライドを作成し，情報発信能力の向上を目標とする
第 12 回	スライドの発表	第 11 回で作成したスライドを発表する．自らの主張を効果的に伝える手法を学習する
第 13 回	スライド発表時の諸注意と応用	第 11 回で作成したスライドをもとに，プレゼンテーションの注意点やスライド作成の応用事例を概観する
第 14 回	ネットワークの基礎	サーバ・クライアントの関係を概観し，コンピュータネットワークに関する理解を深める

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
第 1 回の授業の前に，ログイン ID とパスワードを確認しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
実習　情報リテラシ [第 3 版]，重定如彦・河内谷幸子　共著，サイエンス社，1980 円

【参考書】
適時指示．なお，講義で使用したスライドは授業支援システムにアップします．

【成績評価の方法と基準】
平常点（20%），レポート課題（80%）を総合して評価します．特に課題が出た時は必ず指定の方法で提出し，期限を守る事．3〜4 回ほどを予定．

【学生の意見等からの気づき】
パソコンに慣れている人と慣れていない人が混在するため，出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう，授業スピードや内容に心がけるつもりです．

【学生が準備すべき機器他】
授業支援システムを利用します．履修決定後，参照できることを各自確認してください．

【その他の重要事項】
「情報処理演習 I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします．

【Outline and objectives】
This is an introductory Information Processing course.
It covers key productivity software Excel and Powerpoint with Microsoft Office 2013.
In this course, I will show you what we need to use Excel is not to solve mathematical expressions, but to make mathematical expressions.
That is, you will able to acquire logical thinking.
And also, with PowerPoint, you can easily create slideshow.
Basic keyboarding skills are strongly recommended.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

吉岡　卓

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業のねらいは，自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです．また，将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします．

【到達目標】
本科目では，主に Excel2010（表計算ソフト）と PowerPoint2010（プレゼンテーションソフト）の操作方法を学びます．基本的な操作方法は情報処理演習Ⅰで学んだ Word と同様なので，特に本授業では，表の作成と簡単な計算・オートフィル・関数の利用・最適化問題を解く・プレゼンテーション資料の作成・発表方法などが身に付きます．
授業では Excel と PowerPoint を使用する際のテクニカルな面を講義しますが，本科目の目標はあくまでも「計算式を書く」事と「自らの主張をプレゼンテーションにつなげる」事です．なお，前者では，数学的な思考はあまり必要ありません．数式を解くのではなく，数式を立てるほうを重要視しますので，論理的な思考が身に付きます．後者では，プレゼンテーション資料を作る際の様々なルール（一般的な文字数や図表の規則など）が身に付きます．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います．表計算ソフト，プレゼンテーションソフト，その他の応用ソフトの使い方などを実習します．また，ホームページ作成の初歩，情報倫理や情報理論についての考え方を深めます．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 01 回	Excel 導入	セルの挿入・結合・装飾などを通して，Microsoft Excel の利用方法を学習する
第 02 回	関数の利用	Microsoft Excel の自動計算機能を用いる
第 03 回	関数の応用	Microsoft Excel の様々な関数を利用する
第 04 回	詳細な表示形式の変更	Microsoft Excel の条件付き書式を利用する
第 05 回	非線形な問題を解く	Microsoft Excel のソルバーやゴールシーク機能を用いて非線形な問題を解く
第 06 回	条件分岐に関する関数を用いる	Microsoft Excel の IF 関数などを用いる事で，論理的思考をやしなう
第 07 回	Power Point 導入	Microsoft PowerPoint の基本操作や箇条書き・スライド装飾について学習する
第 08 回	図表の挿入・アニメーション設定	Microsoft PowerPoint の図表利用やアニメーションの設定により，視覚的効果の得られるスライド作成を目標とする
第 09 回	動画の挿入・拡張子	Microsoft PowerPoint に動画を挿入する場合の注意や，Windows における拡張子の扱いについて学習する
第 10 回	マイテンプレート	Microsoft PowerPoint で，自分なりのテンプレートを作成し，特色あるスライド作成を目標とする
第 11 回	スライドの作成	Microsoft PowerPoint を用いて個別にスライドを作成し，情報発信能力の向上を目標とする
第 12 回	スライドの発表	第 11 回で作成したスライドを発表する．自らの主張を効果的に伝える手法を学習する
第 13 回	スライド発表時の諸注意と応用	第 11 回で作成したスライドをもとに，プレゼンテーションの注意点やスライド作成の応用事例を概観する
第 14 回	ネットワークの基礎	サーバ・クライアントの関係を概観し，コンピュータネットワークに関する理解を深める

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
第 1 回の授業の前に，ログイン ID とパスワードを確認しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
実習　情報リテラシ [第 3 版]，重定如彦・河内谷幸子　共著，サイエンス社，1980 円

【参考書】
適時指示．なお，講義で使用したスライドは授業支援システムにアップします．

【成績評価の方法と基準】
平常点（20%），レポート課題（80%）を総合して評価します．特に課題が出た時は必ず指定の方法で提出し，期限を守る事．3〜4 回ほどを予定．

【学生の意見等からの気づき】
パソコンに慣れている人と慣れていない人が混在するため，出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう，授業スピードや内容に心がけるつもりです．

【学生が準備すべき機器他】
授業支援システムを利用します．履修決定後，参照できることを各自確認してください．

【その他の重要事項】
「情報処理演習 I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします．

【Outline and objectives】
This is an introductory Information Processing course.
It covers key productivity software Excel and Powerpoint with Microsoft Office 2013.
In this course, I will show you what we need to use Excel is not to solve mathematical expressions, but to make mathematical expressions.
That is, you will able to acquire logical thinking.
And also, with PowerPoint, you can easily create slideshow.
Basic keyboarding skills are strongly recommended.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

吉岡　卓

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業のねらいは，自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです．また，将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします．

【到達目標】
本科目では，主に Excel2010（表計算ソフト）と PowerPoint2010（プレゼンテーションソフト）の操作方法を学びます．基本的な操作方法は情報処理演習 I で学んだ Word と同様なので，特に本授業では，表の作成と簡単な計算・オートフィル・関数の利用・最適化問題を解く・プレゼンテーション資料の作成・発表方法などが身に付きます．
授業では Excel と PowerPoint を使用する際のテクニカルな面を講義しますが，本科目の目標はあくまでも「計算式を書く」事と「自らの主張をプレゼンテーションにつなげる」事です．なお，前者では，数学的な思考はあまり必要ありません．数式を解くのではなく，数式を立てるほうを重要視しますので，論理的な思考が身に付きます．後者では，プレゼンテーション資料を作る際の様々なルール（一般的な文字数や図表の規則など）が身に付きます．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います．表計算ソフト，プレゼンテーションソフト，その他の応用ソフトの使い方などを実習します．また，ホームページ作成の初歩，情報倫理や情報理論についての考え方を深めます．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 01 回	Excel 導入	セルの挿入・結合・装飾などを通して，Microsoft Excel の利用方法を学習する
第 02 回	関数の利用	Microsoft Excel の自動計算機能を用いる
第 03 回	関数の応用	Microsoft Excel の様々な関数を利用する
第 04 回	詳細な表示形式の変更	Microsoft Excel の条件付き書式を利用する
第 05 回	非線形な問題を解く	Microsoft Excel のソルバーやゴールシーク機能を用いて非線形な問題を解く
第 06 回	条件分岐に関する関数を用いる	Microsoft Excel の IF 関数などを用いる事で，論理的思考をやしなう
第 07 回	Power Point 導入	Microsoft PowerPoint の基本操作や箇条書き・スライド装飾について学習する
第 08 回	図表の挿入・アニメーション設定	Microsoft PowerPoint の図表利用やアニメーションの設定により，視覚的効果の得られるスライド作成を目標とする
第 09 回	動画の挿入・拡張子	Microsoft PowerPoint に動画を挿入する場合の注意や，Windows における拡張子の扱いについて学習する
第 10 回	マイテンプレート	Microsoft PowerPoint で，自分なりのテンプレートを作成し，特色あるスライド作成を目標とする
第 11 回	スライドの作成	Microsoft PowerPoint を用いて個別にスライドを作成し，情報発信能力の向上を目標とする
第 12 回	スライドの発表	第 11 回で作成したスライドを発表する．自らの主張を効果的に伝える手法を学習する
第 13 回	スライド発表時の諸注意と応用	第 11 回で作成したスライドをもとに，プレゼンテーションの注意点やスライド作成の応用事例を概観する
第 14 回	ネットワークの基礎	サーバ・クライアントの関係を概観し，コンピュータネットワークに関する理解を深める

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
第 1 回の授業の前に，ログイン ID とパスワードを確認しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
実習　情報リテラシ [第 3 版]，重定如彦・河内谷幸子　共著，サイエンス社，1980 円

【参考書】
適時指示．なお，講義で使用したスライドは授業支援システムにアップします．

【成績評価の方法と基準】
平常点（20%），レポート課題（80%）を総合して評価します．特に課題が出た時は必ず指定の方法で提出し，期限を守る事．3〜4 回ほどを予定．

【学生の意見等からの気づき】
パソコンに慣れている人と慣れていない人が混在するため，出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう，授業スピードや内容に心がけるつもりです．

【学生が準備すべき機器他】
授業支援システムを利用します．履修決定後，参照できることを各自確認してください．

【その他の重要事項】
「情報処理演習 I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします．

【Outline and objectives】
This is an introductory Information Processing course.
It covers key productivity software Excel and Powerpoint with Microsoft Office 2013.
In this course, I will show you what we need to use Excel is not to solve mathematical expressions, but to make mathematical expressions.
That is, you will able to acquire logical thinking.
And also, with PowerPoint, you can easily create slideshow.
Basic keyboarding skills are strongly recommended.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

吉岡　卓

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業のねらいは，自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです．また，将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします．

【到達目標】
本科目では，主に Excel2010（表計算ソフト）と PowerPoint2010（プレゼンテーションソフト）の操作方法を学びます．基本的な操作方法は情報処理演習 I で学んだ Word と同様なので，特に本授業では，表の作成と簡単な計算・オートフィル・関数の利用・最適化問題を解く・プレゼンテーション資料の作成・発表方法などが身に付きます．
授業では Excel と PowerPoint を使用する際のテクニカルな面を講義しますが，本科目の目標はあくまでも「計算式を書く」事と「自らの主張をプレゼンテーションにつなげる」事です．なお，前者では，数学的な思考はあまり必要ありません．数式を解くのではなく，数式を立てるほうを重要視しますので，論理的な思考が身に付きます．後者では，プレゼンテーション資料を作る際の様々なルール（一般的な文字数や図表の規則など）が身に付きます．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います．表計算ソフト，プレゼンテーションソフト，その他の応用ソフトの使い方などを実習します．また，ホームページ作成の初歩，情報倫理や情報理論についての考え方を深めます．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 01 回	Excel 導入	セルの挿入・結合・装飾などを通して，Microsoft Excel の利用方法を学習する
第 02 回	関数の利用	Microsoft Excel の自動計算機能を用いる
第 03 回	関数の応用	Microsoft Excel の様々な関数を利用する
第 04 回	詳細な表示形式の変更	Microsoft Excel の条件付き書式を利用する
第 05 回	非線形な問題を解く	Microsoft Excel のソルバーやゴールシーク機能を用いて非線形な問題を解く
第 06 回	条件分岐に関する関数を用いる	Microsoft Excel の IF 関数などを用いる事で，論理的思考をやしなう
第 07 回	Power Point 導入	Microsoft PowerPoint の基本操作や箇条書き・スライド装飾について学習する
第 08 回	図表の挿入・アニメーション設定	Microsoft PowerPoint の図表利用やアニメーションの設定により，視覚的効果の得られるスライド作成を目標とする
第 09 回	動画の挿入・拡張子	Microsoft PowerPoint に動画を挿入する場合の注意や，Windows における拡張子の扱いについて学習する
第 10 回	マイテンプレート	Microsoft PowerPoint で，自分なりのテンプレートを作成し，特色あるスライド作成を目標とする
第 11 回	スライドの作成	Microsoft PowerPoint を用いて個別にスライドを作成し，情報発信能力の向上を目標とする
第 12 回	スライドの発表	第 11 回で作成したスライドを発表する．自らの主張を効果的に伝える手法を学習する
第 13 回	スライド発表時の諸注意と応用	第 11 回で作成したスライドをもとに，プレゼンテーションの注意点やスライド作成の応用事例を概観する
第 14 回	ネットワークの基礎	サーバ・クライアントの関係を概観し，コンピュータネットワークに関する理解を深める

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
第 1 回の授業の前に，ログイン ID とパスワードを確認しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
実習　情報リテラシ [第 3 版]，重定如彦・河内谷幸子　共著，サイエンス社，1980 円

【参考書】
適時指示．なお，講義で使用したスライドは授業支援システムにアップします．

【成績評価の方法と基準】
平常点（20%），レポート課題（80%）を総合して評価します．特に課題が出た時は必ず指定の方法で提出し，期限を守る事．3〜4 回ほどを予定．

【学生の意見等からの気づき】
パソコンに慣れている人と慣れていない人が混在するため，出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう，授業スピードや内容に心がけるつもりです．

【学生が準備すべき機器他】
授業支援システムを利用します．履修決定後，参照できることを各自確認してください．

【その他の重要事項】
「情報処理演習 I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします．

【Outline and objectives】
This is an introductory Information Processing course.
It covers key productivity software Excel and Powerpoint with Microsoft Office 2013.
In this course, I will show you what we need to use Excel is not to solve mathematical expressions, but to make mathematical expressions.
That is, you will able to acquire logical thinking.
And also, with PowerPoint, you can easily create slideshow.
Basic keyboarding skills are strongly recommended.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

中村　文隆

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：2 **単位**
法文営 1〜2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。
　秋学期の情報処理演習 II では、情報処理演習 I で学んだ内容を元に文書作成、表計算ソフト、プレゼンテーションといった内容を学びます。

【到達目標】
情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文書作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業の前半に説明を行い、後半に実習を行う形式を基本とします。課題は教科書から指定されますので、購入し授業に持参してください。また、資料の配布と課題の提出を授業支援システムを用いて行います。授業支援システムへの登録と使い方については授業内で説明します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ワードプロセッサーその 1	テキストエディタとワードプロセッサの基本について学ぶ ワープロと、HTML による文章の構造化について学ぶ
第 2 回	ワードプロセッサーその 2	段落、タブ、ルーラー、文章の検索、置換、校正について学ぶ
第 3 回	ワードプロセッサーその 3	表紙、ヘッダーとフッター、表の挿入と編集について学ぶ
第 4 回	ワードプロセッサーその 4	図形、描画キャンバスの挿入と編集について学ぶ
第 5 回	ワードプロセッサーその 5	画像、SmartArt、スクリーンショットの挿入と編集について学ぶ レポートを作成する上で必要となる機能（目次、参考文献、脚注の挿入など）について学ぶ
第 6 回	表計算ソフトその 1	表計算ソフトウェアの概念、データの入力、セルの操作、データの種類と式、セルの修飾について学ぶ
第 7 回	表計算ソフトその 2	セルの表示形式、カットアンドペースト、オートフィルなどによるデータのコピー、式によるデータの計算、時系列データについて学ぶ
第 8 回	表計算ソフトその 3	式のコピーと相対参照、絶対参照、セルに名前を付ける方法、関数の基礎について学ぶ
第 9 回	表計算ソフトその 4	条件分岐について学び、条件分岐を使った応用例として実用的な表の作成方法について学ぶ
第 10 回	表計算ソフトその 5	グラフについて学ぶ
第 11 回	表計算ソフトその 6	データベース機能（並べ替え、検索、フィルター）、串刺し集計、Word への表やグラフの貼り付け、エラー表記について学ぶ
第 12 回	プレゼンテーション 1	プレゼンテーションとは何か、プレゼンテーションソフトの概念、スライド作成について学ぶ
第 13 回	プレゼンテーション 2	図形、画像、グラフなどの利用方法、画面切り替え効果について学ぶ
第 14 回	プレゼンテーション 3	アニメーション、スライドショー、発表練習、質疑応答について学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業中に指示します。

【参考書】
「キーワードで理解する最新情報リテラシー　第 2 版」久野、辰巳、佐藤　監修　日経 BP ソフトプレス
「実習 Word」　入戸野、重定、児玉、河内谷　著　サイエンス社

【成績評価の方法と基準】
授業中の提出物 (80%) と平常点 (20%) で評価します。

【学生の意見等からの気づき】
一人一人の進度に応じたフォローを心がけています

【学生が準備すべき機器他】
情報実習室で各自 1 台のコンピュータを用いて授業を行う。

【その他の重要事項】
情報処理演習Ⅱは春学期の情報処理演習 I とセットになる科目です。情報処理演習Ⅱを受講する方は必ず春学期の情報処理演習 I を受講して下さい。

【Outline and objectives】
Objectives of this class are to acquire the ability to collect necessary information from various inforamation, and to process the collected information to original form, an to process them to other people. In Autumn, themes of this class are, word processing, spreadsheet, and presentation.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

中村　文隆

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：2 **単位**
法文営 1〜2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。
　秋学期の情報処理演習 II では、情報処理演習 I で学んだ内容を元に文書作成、表計算ソフト、プレゼンテーションといった内容を学びます。

【到達目標】
情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文書作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業の前半に説明を行い、後半に実習を行う形式を基本とします。課題は教科書から指定されますので、購入し授業に持参してください。また、資料の配布と課題の提出を授業支援システムを用いて行います。授業支援システムへの登録と使い方については授業内で説明します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ワードプロセッサーその 1	テキストエディタとワードプロセッサの基本について学ぶ ワープロと、HTML による文章の構造化について学ぶ
第 2 回	ワードプロセッサーその 2	段落、タブ、ルーラー、文章の検索、置換、校正について学ぶ
第 3 回	ワードプロセッサーその 3	表紙、ヘッダーとフッター、表の挿入と編集について学ぶ
第 4 回	ワードプロセッサーその 4	図形、描画キャンバスの挿入と編集について学ぶ
第 5 回	ワードプロセッサーその 5	画像、SmartArt、スクリーンショットの挿入と編集について学ぶ レポートを作成する上で必要となる機能（目次、参考文献、脚注の挿入など）について学ぶ
第 6 回	表計算ソフトその 1	表計算ソフトウェアの概念、データの入力、セルの操作、データの種類と式、セルの修飾について学ぶ
第 7 回	表計算ソフトその 2	セルの表示形式、カットアンドペースト、オートフィルなどによるデータのコピー、式によるデータの計算、時系列データについて学ぶ
第 8 回	表計算ソフトその 3	式のコピーと相対参照、絶対参照、セルに名前を付ける方法、関数の基礎について学ぶ
第 9 回	表計算ソフトその 4	条件分岐について学び、条件分岐を使った応用例として実用的な表の作成方法について学ぶ
第 10 回	表計算ソフトその 5	グラフについて学ぶ
第 11 回	表計算ソフトその 6	データベース機能（並べ替え、検索、フィルター）、串刺し集計、Word への表やグラフの貼り付け、エラー表記について学ぶ
第 12 回	プレゼンテーション 1	プレゼンテーションとは何か、プレゼンテーションソフトの概念、スライド作成について学ぶ
第 13 回	プレゼンテーション 2	図形、画像、グラフなどの利用方法、画面切り替え効果について学ぶ
第 14 回	プレゼンテーション 3	アニメーション、スライドショー、発表練習、質疑応答について学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業中に指示します。

【参考書】
「キーワードで理解する最新情報リテラシー　第 2 版」久野、辰巳、佐藤　監修　日経 BP ソフトプレス
「実習 Word」　入戸野、重定、児玉、河内谷　著　サイエンス社

【成績評価の方法と基準】
授業中の提出物 (80%) と平常点 (20%) で評価します。

【学生の意見等からの気づき】
一人一人の進度に応じたフォローを心がけています

【学生が準備すべき機器他】
情報実習室で各自 1 台のコンピュータを用いて授業を行う。

【その他の重要事項】
情報処理演習Ⅱは春学期の情報処理演習 I とセットになる科目です。情報処理演習Ⅱを受講する方は必ず春学期の情報処理演習 I を受講して下さい。

【Outline and objectives】
Objectives of this class are to acquire the ability to collect necessary information from various inforamation, and to process the collected information to original form, an to process them to other people. In Autumn, themes of this class are, word processing, spreadsheet, and presentation.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

河内谷　幸子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 3/Tue.3
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「情報処理演習 I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。
Word，Excel，PowerPoint，パソコンの仕組みを学びます。
初心者でも Word や Excel の資格試験合格レベルまで上達できます。
当科目は、専門科目の情報科目と両方履修できます。両方履修すると相乗効果で上達が期待できます。

【到達目標】
文書作成ソフト Word において、レポートや卒業論文の作成に必要な技術として、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引などの機能を習得します。また、共同作業に必要な技術として、履歴・コメント・パスワード付与などの機能を習得します。
表計算ソフト Excel において、条件処理、アンケート集計に便利なピボットテーブル、連続する操作を登録するマクロ機能などを習得します。
データベースソフト ACCESS の使い方を体験します。
プレゼンテーションソフト PowerPoint を利用して発表ができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
ボアソナードタワー内にあるパソコン実習室で、1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理や情報科学の理論についての考え方を深めます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	春学期の復習 秋学期ガイダンス 情報倫理	春学期に学んだ文書作成と表計算の内容を復習する実習を行う。
2	文書作成 1	文書作成ソフト Word を使って、文字スタイル、高度な検索・置換、クイックパーツ、段組み、透かしなどの機能の実習を行う。
3	文書作成 2	文書作成ソフト Word を使って、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引、差し込み印刷などの機能の実習を行う。
4	文書作成 3	文書作成ソフト Word を使って、文章校正、変更履歴、コメント、テンプレート、ユーザの編集制限、パスワード付与、図番の付与、画像編集などの機能の実習を行う。
5	文書作成 4	文書作成に関するこれまでのまとめ演習を行う。
6	データベースソフト	データベースソフト Access を使って、リレーショナルデータベースについて理論を学び、実習する。
7	コンピュータのしくみ IT 時事問題	コンピュータの基礎知識を学ぶ。また、ＩＴ時事問題を紹介し、それについて考え、まとめる。
8	表計算 1	表計算ソフト Excel を利用して、条件処理を学ぶ。関数 IF、SUMIF、AVERAGEIF、COUNTIF などを使った実習を行う。また条件付き書式の実習を行う。
9	表計算 2	アンケート処理を目的として、表計算ソフト Excel のピボットテーブル機能について実習する。また、効果的なグラフを書くことを目的として、Excel のグラフテンプレートについて実習する。
10	表計算 3	EXCEL のマクロを入門体験する。
11	表計算 4	表計算に関するこれまでのまとめ演習を行う。
12	文書作成と表計算の連携	Word の差し込み印刷機能と、Excel で作成した住所録を利用して、ラベル作成およびハガキ作成を実習する。
13	プレゼンテーションソフト 1	プレゼンテーションソフト PowerPoint の入力、デザイン、アニメーション、スライドショーなどについて実習する。
14	プレゼンテーションソフト 2	PowerPoint を使って発表資料を作成する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業中の指示に従って前回の授業の復習を行います。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業中に指示します。

【参考書】
実習 情報リテラシ [第３版]
著者：重定如彦・河内谷幸子 共著
出版：サイエンス社

【成績評価の方法と基準】
授業中の提出物 (80%) と平常点 (20%) で評価します。

【学生の意見等からの気づき】
一人一人の席をまわって個別にわからない点を指導する点に高い評価をいただきましたので、今年度も丁寧に個別指導をしていきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
1 人 1 台パソコンを使用します。
この授業を履修するためには、４月初旬に抽選手続きが必要です。

【その他の重要事項】
コンピュータが苦手でも履修可能です。

【Outline and objectives】
This course targets students who completed the "Information Processing Exercise I" course or has equivalent basic skills. This course teaches various techniques to express your information better and helps you acquire the attitude to proactively study future new-type software. Advanced lectures of Word, Excel, PowerPoint, and PC internals are included in this course.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

岡嶋　裕史

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 4/Tue.4
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「情報処理演習 I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことと、社会に出た際に利用するであろう主要アプリケーションの操作技能、応用技能を習得することです。また、将来的に新種の技術やアプリケーションが普及しても柔軟に対応できるリテラシを身につけることも目標とします。

【到達目標】
大学の講義を受講するに際して、あるいは社会人として職務に就くときに困らない程度のアプリケーション操作技能習得を目標としています。Excel の応用レベルを修了し、PowerPoint のプレゼンテーションを作れる水準に到達します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理、情報科学についての考え方を深めます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	表計算ソフト応用 1	ブックの活用
2	表計算ソフト応用 2	高度な関数
3	表計算ソフト応用 3	シートの分析と入力規則
4	表計算ソフト応用 4	グラフの応用
5	表計算ソフト応用 5	データベース機能の活用
6	表計算ソフト応用 6	ピボットテーブル
7	表計算ソフト応用 7	マクロによる作業の自動化
8	プレゼンテーションソフト 1	スライドの基本操作
9	プレゼンテーションソフト 2	プレゼンテーションの編集
10	プレゼンテーションソフト 3	整列した図の作成
11	プレゼンテーションソフト 4	オブジェクトの挿入
12	プレゼンテーションソフト 5	スライドショーと特殊効果の追加
13	プログラミング初歩、もしくはデータベース（受講者のスキルによって決定します）	足し算ゲームなどの簡単なプログラミング、もしくはデータベースソフトの操作
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストを読んで、当日実施する実技内容の手順を確認してください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
複数の教科書を使いますので、初回授業で詳しく指示します.

【参考書】
実習情報リテラシ（サイエンス社）
Microsoft Excel 2013 応用 セミナーテキスト（日経 BP 社）など

【成績評価の方法と基準】
平常点 30%、期末試験 70%をあわせた成績により評価します。
平常点は授業内課題への取り組み、提出物によって判定を行います。
すべての講義への出席が前提です。
期末試験は主要アプリケーションの操作技能を中心にした実技試験を行い、到達度を判定します。

【学生の意見等からの気づき】
Ⅰ・Ⅱがセットになっている講義ですが、Ⅱ期で急に難しくなったと感じる方が多いようです。主に Excel の関数を扱うのが原因です。対策として、この時期は問題演習の時間を多く取るなどいたしますが、受講生の方も是非復習をしてください。

【その他の重要事項】
教員に連絡が必要な場合は、以下のメールアドレスをご利用ください。
okajima@tamacc.chuo-u.ac.jp
http://researchers.chuo-u.ac.jp/Profiles/4/0000383/profile.html
教員は総合研究所での勤務経験を活かし、実務に即した技術を中心にお話しします。

【Outline and objectives】
The aim of this lesson is to learn how to express your own information. To master the operation skills and applied skills of the main application that you will use when you get a job.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

岡嶋　裕史

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「情報処理演習 I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことと、社会に出た際に利用するであろう主要アプリケーションの操作技能、応用技能を習得することです。また、将来的に新種の技術やアプリケーションが普及しても柔軟に対応できるリテラシを身につけることも目標とします。

【到達目標】
大学の講義を受講するに際して、あるいは社会人として職務に就くときに困らない程度のアプリケーション操作技能習得を目標としています。Excel の応用レベルを修了し、PowerPoint のプレゼンテーションを作れる水準に到達します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理、情報科学についての考え方を深めます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	表計算ソフト応用 1	ブックの活用
2	表計算ソフト応用 2	高度な関数
3	表計算ソフト応用 3	シートの分析と入力規則
4	表計算ソフト応用 4	グラフの応用
5	表計算ソフト応用 5	データベース機能の活用
6	表計算ソフト応用 6	ピボットテーブル
7	表計算ソフト応用 7	マクロによる作業の自動化
8	プレゼンテーションソフト 1	スライドの基本操作
9	プレゼンテーションソフト 2	プレゼンテーションの編集
10	プレゼンテーションソフト 3	整列した図の作成
11	プレゼンテーションソフト 4	オブジェクトの挿入
12	プレゼンテーションソフト 5	スライドショーと特殊効果の追加
13	プログラミング初歩、もしくはデータベース（受講者のスキルによって決定します）	足し算ゲームなどの簡単なプログラミング、もしくはデータベースソフトの操作
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストを読んで、当日実施する実技内容の手順を確認してください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
複数の教科書を使いますので、初回授業で詳しく指示します.

【参考書】
実習情報リテラシ（サイエンス社）
Microsoft Excel 2013 応用 セミナーテキスト（日経 BP 社）など

【成績評価の方法と基準】
平常点 30%、期末試験 70%をあわせた成績により評価します。
平常点は授業内課題への取り組み、提出物によって判定を行います。
すべての講義への出席が前提です。
期末試験は主要アプリケーションの操作技能を中心にした実技試験を行い、到達度を判定します。

【学生の意見等からの気づき】
Ⅰ・Ⅱがセットになっている講義ですが、Ⅱ期で急に難しくなったと感じる方が多いようです。主に Excel の関数を扱うのが原因です。対策として、この時期は問題演習の時間を多く取るなどいたしますが、受講生の方も是非復習をしてください。

【その他の重要事項】
教員に連絡が必要な場合は、以下のメールアドレスをご利用ください。
okajima@tamacc.chuo-u.ac.jp
http://researchers.chuo-u.ac.jp/Profiles/4/0000383/profile.html
教員は総合研究所での勤務経験を活かし、実務に即した技術を中心にお話しします。

【Outline and objectives】
The aim of this lesson is to learn how to express your own information. To master the operation skills and applied skills of the main application that you will use when you get a job.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

重定　如彦

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：2 **単位**
法文営 1〜2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。
　秋学期の情報処理演習 II では、情報処理演習 I で学んだ内容を元に文書作成、表計算ソフト、プレゼンテーションといった内容を学びます。

【到達目標】
情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文書作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
基本的に毎回の授業の前半に講義を行い、後半に一人一台のコンピュータを使った演習を行います。コンピュータを学ぶ上で、実際に手を動かすことは非常に重要です。授業では後半の演習の時間に様々な実習課題をこなすことで実践を通じて学びます。
授業は後述のテキストを使って行います。また、課題もテキストから出しますので、必ず購入して授業に持参して下さい。
資料の配布、アンケート、課題の提出などは学習支援システムや e ポートフォリオを使って行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ワードプロセッサーその 1	テキストエディタとワードプロセッサの基本について学ぶ ワープロと、HTML による文章の構造化について学ぶ
第 2 回	ワードプロセッサーその 2	段落、タブ、ルーラー、文章の検索、置換、校正について学ぶ
第 3 回	ワードプロセッサーその 3	表紙、ヘッダーとフッター、表の挿入と編集について学ぶ
第 4 回	ワードプロセッサーその 4	図形、描画キャンバスの挿入と編集について学ぶ
第 5 回	ワードプロセッサーその 5	画像、SmartArt、スクリーンショットの挿入と編集について学ぶ レポートを作成する上で必要となる機能（目次、参考文献、脚注の挿入など）について学ぶ
第 6 回	表計算ソフトその 1	表計算ソフトウェアの概念、データの入力、セルの操作、データの種類と式、セルの修飾について学ぶ
第 7 回	表計算ソフトその 2	セルの表示形式、カットアンドペースト、オートフィルなどによるデータのコピー、式によるデータの計算、時系列データについて学ぶ
第 8 回	表計算ソフトその 3	式のコピーと相対参照、絶対参照、セルに名前を付ける方法、関数の基礎について学ぶ
第 9 回	表計算ソフトその 4	条件分岐について学び、条件分岐を使った応用例として実用的な表の作成方法について学ぶ
第 10 回	表計算ソフトその 5	グラフについて学ぶ
第 11 回	表計算ソフトその 6	データベース機能（並べ替え、検索、フィルター）、串刺し集計、Word への表やグラフの貼り付け、エラー表記について学ぶ
第 12 回	プレゼンテーション 1	プレゼンテーションとは何か、プレゼンテーションソフトの概念、スライド作成について学ぶ
第 13 回	プレゼンテーション 2	図形、画像、グラフなどの利用方法、画面切り替え効果について学ぶ
第 14 回	プレゼンテーション 3	アニメーション、スライドショー、発表練習、質疑応答について学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。
また、課題が出されている場合は、締め切りに間に合うように課題を行い、学習支援システムに指示に従って提出すること。
なお、教科書にある、課題としなかった練習問題や章末問題も、余裕があれば行うことが望ましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
「実習情報リテラシ　第 3 版」　重定、河内谷　著　サイエンス社
第 2 版の「実習情報リテラシ」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされている Windows 10 や Microsoft Office に対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】
「キーワードで理解する最新情報リテラシー　第 2 版」久野、辰巳、佐藤　監修　日経 BP ソフトプレス
「実習 Word」　入戸野、重定、児玉、河内谷　著　サイエンス社

【成績評価の方法と基準】
「配分」
平常点 10 %、レポート 70 %、タッチタイピングのテスト 20 %
「評価基準」
平常点は授業の参加態度で評価します。また、4 回以上欠席した場合は成績の上限を B とします。6 回以上欠席した場合は成績を E とします。
レポートは内容および表現の適切さを評価します。
タッチタイピングのテストは入力する文字の量と正確さを評価します。

【学生の意見等からの気づき】
講義の時間が長く、実習の時間を増やしてほしいとの要望があったので、実習の時間をなるべく多くとるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】
情報実習室で各自 1 台のコンピュータを用いて授業を行う。

【その他の重要事項】
情報処理演習Ⅱは春学期の情報処理演習 I とセットになる科目です。情報処理演習Ⅱを受講する方は必ず春学期の情報処理演習 I を受講して下さい。

【Outline and objectives】
Objectives of this class are to acquire the ability to collect necessary information from various inforamation, and to process the collected information to original form, an to process them to other people. In Autumn, themes of this class are, word processing, spreadsheet, and presentation.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

重定　如彦

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：2 **単位**
法文営 1〜2 **年**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。
　秋学期の情報処理演習 II では、情報処理演習 I で学んだ内容を元に文書作成、表計算ソフト、プレゼンテーションといった内容を学びます。

【到達目標】
情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文書作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
基本的に毎回の授業の前半に講義を行い、後半に一人一台のコンピュータを使った演習を行います。コンピュータを学ぶ上で、実際に手を動かすことは非常に重要です。授業では後半の演習の時間に様々な実習課題をこなすことで実践を通じて学びます。
授業は後述のテキストを使って行います。また、課題もテキストから出しますので、必ず購入して授業に持参して下さい。
資料の配布、アンケート、課題の提出などは学習支援システムや e ポートフォリオを使って行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ワードプロセッサーその 1	テキストエディタとワードプロセッサの基本について学ぶ ワープロと、HTML による文章の構造化について学ぶ
第 2 回	ワードプロセッサーその 2	段落、タブ、ルーラー、文章の検索、置換、校正について学ぶ
第 3 回	ワードプロセッサーその 3	表紙、ヘッダーとフッター、表の挿入と編集について学ぶ
第 4 回	ワードプロセッサーその 4	図形、描画キャンバスの挿入と編集について学ぶ
第 5 回	ワードプロセッサーその 5	画像、SmartArt、スクリーンショットの挿入と編集について学ぶ レポートを作成する上で必要となる機能（目次、参考文献、脚注の挿入など）について学ぶ
第 6 回	表計算ソフトその 1	表計算ソフトウェアの概念、データの入力、セルの操作、データの種類と式、セルの修飾について学ぶ
第 7 回	表計算ソフトその 2	セルの表示形式、カットアンドペースト、オートフィルなどによるデータのコピー、式によるデータの計算、時系列データについて学ぶ
第 8 回	表計算ソフトその 3	式のコピーと相対参照、絶対参照、セルに名前を付ける方法、関数の基礎について学ぶ
第 9 回	表計算ソフトその 4	条件分岐について学び、条件分岐を使った応用例として実用的な表の作成方法について学ぶ
第 10 回	表計算ソフトその 5	グラフについて学ぶ
第 11 回	表計算ソフトその 6	データベース機能（並べ替え、検索、フィルター）、串刺し集計、Word への表やグラフの貼り付け、エラー表記について学ぶ
第 12 回	プレゼンテーション 1	プレゼンテーションとは何か、プレゼンテーションソフトの概念、スライド作成について学ぶ
第 13 回	プレゼンテーション 2	図形、画像、グラフなどの利用方法、画面切り替え効果について学ぶ
第 14 回	プレゼンテーション 3	アニメーション、スライドショー、発表練習、質疑応答について学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。
また、課題が出されている場合は、締め切りに間に合うように課題を行い、学習支援システムに指示に従って提出すること。
なお、教科書にある、課題としなかった練習問題や章末問題も、余裕があれば行うことが望ましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
「実習情報リテラシ　第 3 版」　重定、河内谷　著　サイエンス社
第 2 版の「実習情報リテラシ」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされている Windows 10 や Microsoft Office に対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】
「キーワードで理解する最新情報リテラシー　第 2 版」久野、辰巳、佐藤　監修　日経 BP ソフトプレス
「実習 Word」　入戸野、重定、児玉、河内谷　著　サイエンス社

【成績評価の方法と基準】
「配分」
平常点 10 %、レポート 70 %、タッチタイピングのテスト 20 %
「評価基準」
平常点は授業の参加態度で評価します。また、4 回以上欠席した場合は成績の上限を B とします。6 回以上欠席した場合は成績を E とします。
レポートは内容および表現の適切さを評価します。
タッチタイピングのテストは入力する文字の量と正確さを評価します。

【学生の意見等からの気づき】
講義の時間が長く、実習の時間を増やしてほしいとの要望があったので、実習の時間をなるべく多くとるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】
情報実習室で各自 1 台のコンピュータを用いて授業を行う。

【その他の重要事項】
情報処理演習Ⅱは春学期の情報処理演習 I とセットになる科目です。情報処理演習Ⅱを受講する方は必ず春学期の情報処理演習 I を受講して下さい。

【Outline and objectives】
Objectives of this class are to acquire the ability to collect necessary information from various inforamation, and to process the collected information to original form, an to process them to other people. In Autumn, themes of this class are, word processing, spreadsheet, and presentation.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

松田　裕幸

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
プログラミング構造の基本を学び、自力でプログラミングが出来るまでを体験する。

【到達目標】
プログラムの基本構造は代入、条件判定、繰り返しの３つのみである。これら３つの操作をデータ構造（定数、配列）と組み合わせることでプログラミングの基本を理解する。最終的には、コンピュータと対戦するオセロゲーム作りを体験する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
全体の３分の２を講義に充て、残り３分の１を演習に充てる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	変数の概念	変数の概念
2	プログラムの基本構造 ー代入、条件分岐、繰り返し	代入、条件分岐、繰り返し。
3	配列 ー表操作	配列。
4	双六ゲーム ー内部表現	内部表現と表面 GUI と分離。
5	双六ゲーム ー GUI 設計	GUI 設計。
6	オセロゲーム ー 基本設計	問題の定義 [仕様]
7	オセロゲーム ー 配置問題	アルゴリズム。
8	オセロゲーム ー 置き換えアルゴリズム (1)	アルゴリズム。
9	オセロゲーム ー 置き換えアルゴリズム (2)	アルゴリズム。
10	オセロゲーム ー 勝敗決定アルゴリズム	アルゴリズム。
11	オセロゲーム ー コンピュータと対戦 アプローチ 1	対戦アルゴリズム。
12	オセロゲーム ー コンピュータと対戦 アプローチ 2	対戦アルゴリズム。
13	オセロゲーム ー コンピュータと対戦 アプローチ 3	対戦アルゴリズム。
14	プログラム評価	プログラム評価。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回の課題を通して、プログラム構造とプログラミング技術を復習する。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
なし。

【参考書】
すべてのテキストは授業支援のページに置かれる。

【成績評価の方法と基準】
14 個の短い課題の総合評価： 40%
最終課題の評価： 60%
全評価点を 100 点として、60 点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】
無し。

【学生が準備すべき機器他】
無し。

【その他の重要事項】
講師は、自動プログラミング、コンピュータに人間の知識、特に自然言語を教える研究および仕事に従事している。

【Outline and objectives】
You will learn the basic structure of programs and write programs by yourself.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

松田　裕幸

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：2 **単位**
法文営 1〜2 **年**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
プログラミング構造の基本を学び、自力でプログラミングが出来るまでを体験する。

【到達目標】
プログラムの基本構造は代入、条件判定、繰り返しの３つのみである。これら３つの操作をデータ構造（定数、配列）と組み合わせることでプログラミングの基本を理解する。最終的には、コンピュータと対戦するオセロゲーム作りを体験する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
全体の３分の２を講義に充て、残り３分の１を演習に充てる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	変数の概念	変数の概念
2	プログラムの基本構造 ー代入、条件分岐、繰り返し	代入、条件分岐、繰り返し。
3	配列 ー表操作	配列。
4	双六ゲーム ー内部表現	内部表現と表面 GUI と分離。
5	双六ゲーム ー GUI 設計	GUI 設計。
6	オセロゲーム ー 基本設計	問題の定義 [仕様]
7	オセロゲーム ー 配置問題	アルゴリズム。
8	オセロゲーム ー 置き換えアルゴリズム (1)	アルゴリズム。
9	オセロゲーム ー 置き換えアルゴリズム (2)	アルゴリズム。
10	オセロゲーム ー 勝敗決定アルゴリズム	アルゴリズム。
11	オセロゲーム ー コンピュータと対戦 アプローチ 1	対戦アルゴリズム。
12	オセロゲーム ー コンピュータと対戦 アプローチ 2	対戦アルゴリズム。
13	オセロゲーム ー コンピュータと対戦 アプローチ 3	対戦アルゴリズム。
14	プログラム評価	プログラム評価。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回の課題を通して、プログラム構造とプログラミング技術を復習する。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
なし。

【参考書】
すべてのテキストは授業支援のページに置かれる。

【成績評価の方法と基準】
14 個の短い課題の総合評価： 40%
最終課題の評価： 60%
全評価点を 100 点として、60 点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】
無し。

【学生が準備すべき機器他】
無し。

【その他の重要事項】
講師は、自動プログラミング、コンピュータに人間の知識、特に自然言語を教える研究および仕事に従事している。

【Outline and objectives】
You will learn the basic structure of programs and write programs by yourself.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

河内谷　幸子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「情報処理演習 I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。
Word，Excel，PowerPoint，パソコンの仕組みを学びます。
初心者でも Word や Excel の資格試験合格レベルまで上達できます。
当科目は、専門科目の情報科目と両方履修できます。両方履修すると相乗効果で上達が期待できます。

【到達目標】
文書作成ソフト Word において、レポートや卒業論文の作成に必要な技術として、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引などの機能を習得します。また、共同作業に必要な技術として、履歴・コメント・パスワード付与などの機能を習得します。
表計算ソフト Excel において、条件処理、アンケート集計に便利なピボットテーブル、連続する操作を登録するマクロ機能などを習得します。
データベースソフト ACCESS の使い方を体験します。
プレゼンテーションソフト PowerPoint を利用して発表ができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
ボアソナードタワー内にあるパソコン実習室で、1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理や情報科学の理論についての考え方を深めます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	春学期の復習 秋学期ガイダンス 情報倫理	春学期に学んだ文書作成と表計算の内容を復習する実習を行う。
2	文書作成 1	文書作成ソフト Word を使って、文字スタイル、高度な検索・置換、クイックパーツ、段組み、透かしなどの機能の実習を行う。
3	文書作成 2	文書作成ソフト Word を使って、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引、差し込み印刷などの機能の実習を行う。
4	文書作成 3	文書作成ソフト Word を使って、文章校正、変更履歴、コメント、テンプレート、ユーザの編集制限、パスワード付与、図番の付与、画像編集などの機能の実習を行う。
5	文書作成 4	文書作成に関するこれまでのまとめ演習を行う。
6	データベースソフト	データベースソフト Access を使って、リレーショナルデータベースについて理論を学び、実習する。
7	コンピュータのしくみ IT 時事問題	コンピュータの基礎知識を学ぶ。また、ＩＴ時事問題を紹介し、それについて考え、まとめる。
8	表計算 1	表計算ソフト Excel を利用して、条件処理を学ぶ。関数 IF、SUMIF、AVERAGEIF、COUNTIF などを使った実習を行う。また条件付き書式の実習を行う。
9	表計算 2	アンケート処理を目的として、表計算ソフト Excel のピボットテーブル機能について実習する。また、効果的なグラフを書くことを目的として、Excel のグラフテンプレートについて実習する。
10	表計算 3	EXCEL のマクロを入門体験する。
11	表計算 4	表計算に関するこれまでのまとめ演習を行う。
12	文書作成と表計算の連携	Word の差し込み印刷機能と、Excel で作成した住所録を利用して、ラベル作成およびハガキ作成を実習する。
13	プレゼンテーションソフト 1	プレゼンテーションソフト PowerPoint の入力、デザイン、アニメーション、スライドショーなどについて実習する。
14	プレゼンテーションソフト 2	PowerPoint を使って発表資料を作成する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業中の指示に従って前回の授業の復習を行います。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業中に指示します。

【参考書】
実習 情報リテラシ [第３版]
著者：重定如彦・河内谷幸子 共著
出版：サイエンス社

【成績評価の方法と基準】
授業中の提出物 (80%) と平常点 (20%) で評価します。

【学生の意見等からの気づき】
一人一人の席をまわって個別にわからない点を指導する点に高い評価をいただきましたので、今年度も丁寧に個別指導をしていきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
1 人 1 台パソコンを使用します。
この授業を履修するためには、４月初旬に抽選手続きが必要です。

【その他の重要事項】
コンピュータが苦手でも履修可能です。

【Outline and objectives】
This course targets students who completed the "Information Processing Exercise I" course or has equivalent basic skills. This course teaches various techniques to express your information better and helps you acquire the attitude to proactively study future new-type software. Advanced lectures of Word, Excel, PowerPoint, and PC internals are included in this course.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

河内谷　幸子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「情報処理演習 I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。
Word，Excel，PowerPoint，パソコンの仕組みを学びます。
初心者でも Word や Excel の資格試験合格レベルまで上達できます。
当科目は、専門科目の情報科目と両方履修できます。両方履修すると相乗効果で上達が期待できます。

【到達目標】
文書作成ソフト Word において、レポートや卒業論文の作成に必要な技術として、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引などの機能を習得します。また、共同作業に必要な技術として、履歴・コメント・パスワード付与などの機能を習得します。
表計算ソフト Excel において、条件処理、アンケート集計に便利なピボットテーブル、連続する操作を登録するマクロ機能などを習得します。
データベースソフト ACCESS の使い方を体験します。
プレゼンテーションソフト PowerPoint を利用して発表ができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
ボアソナードタワー内にあるパソコン実習室で、1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理や情報科学の理論についての考え方を深めます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	春学期の復習 秋学期ガイダンス 情報倫理	春学期に学んだ文書作成と表計算の内容を復習する実習を行う。
2	文書作成 1	文書作成ソフト Word を使って、文字スタイル、高度な検索・置換、クイックパーツ、段組み、透かしなどの機能の実習を行う。
3	文書作成 2	文書作成ソフト Word を使って、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引、差し込み印刷などの機能の実習を行う。
4	文書作成 3	文書作成ソフト Word を使って、文章校正、変更履歴、コメント、テンプレート、ユーザの編集制限、パスワード付与、図番の付与、画像編集などの機能の実習を行う。
5	文書作成 4	文書作成に関するこれまでのまとめ演習を行う。
6	データベースソフト	データベースソフト Access を使って、リレーショナルデータベースについて理論を学び、実習する。
7	コンピュータのしくみ IT 時事問題	コンピュータの基礎知識を学ぶ。また、ＩＴ時事問題を紹介し、それについて考え、まとめる。
8	表計算 1	表計算ソフト Excel を利用して、条件処理を学ぶ。関数 IF、SUMIF、AVERAGEIF、COUNTIF などを使った実習を行う。また条件付き書式の実習を行う。
9	表計算 2	アンケート処理を目的として、表計算ソフト Excel のピボットテーブル機能について実習する。また、効果的なグラフを書くことを目的として、Excel のグラフテンプレートについて実習する。
10	表計算 3	EXCEL のマクロを入門体験する。
11	表計算 4	表計算に関するこれまでのまとめ演習を行う。
12	文書作成と表計算の連携	Word の差し込み印刷機能と、Excel で作成した住所録を利用して、ラベル作成およびハガキ作成を実習する。
13	プレゼンテーションソフト 1	プレゼンテーションソフト PowerPoint の入力、デザイン、アニメーション、スライドショーなどについて実習する。
14	プレゼンテーションソフト 2	PowerPoint を使って発表資料を作成する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業中の指示に従って前回の授業の復習を行います。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業中に指示します。

【参考書】
実習 情報リテラシ [第３版]
著者：重定如彦・河内谷幸子 共著
出版：サイエンス社

【成績評価の方法と基準】
授業中の提出物 (80%) と平常点 (20%) で評価します。

【学生の意見等からの気づき】
一人一人の席をまわって個別にわからない点を指導する点に高い評価をいただきましたので、今年度も丁寧に個別指導をしていきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
1 人 1 台パソコンを使用します。
この授業を履修するためには、４月初旬に抽選手続きが必要です。

【その他の重要事項】
コンピュータが苦手でも履修可能です。

【Outline and objectives】
This course targets students who completed the "Information Processing Exercise I" course or has equivalent basic skills. This course teaches various techniques to express your information better and helps you acquire the attitude to proactively study future new-type software. Advanced lectures of Word, Excel, PowerPoint, and PC internals are included in this course.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

久東　義典

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
現代社会はコンピュータ機能をもった機器がいたるところに存在している．このような機器をきちんと扱えることが生活する上でとても大事である．コンピュータ機能をもった機器の情報処理技術について，その考え方，基礎的な知識，利用事例，最新動向を解説する．主に Office 系のソフト（Word、Excel、PowerPoint）を利用するが，データベースや Web 関連の最新知識についても説明する．
この授業は、実践的な情報処理の知識と技術をマスターすることを目的にする．

【到達目標】
現代社会にかかわる情報技術に関する知識を，基本から実践まで体系的に身につけることができる．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
基本の知識については講義と演習で進め，必要に応じてコンピュータを用いた実習を行う．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業を進めるにあたって，諸注意をします． （1）ルールとマナーの理解 （2）ツールとメールの利用の理解 （3）デジタル資料作成（Excel・Word・PowerPoint の基本操作とファイル保存）の理解
2	集計表の入ったデジタル資料作成	いろいろなデータを使って，「集計する」ことを学習します．以下の項目について理解します． （1）Excel の基本操作（前回の復習） （2）集計表の作法の理解 （3）データと式 （4）合計関数と相対参照 （5）相対参照と絶対参照 （6）Word の基本操作（前回の復習） （7）Excel の表のコピー （8）Word で作表 （9）行間・列間調整 （１０）表をオブジェクトとして扱う （１１）PowerPoint の基本操作（前回の復習） （１２）PowerPoint で作表 （１３）それぞれのソフトウェアの作表しやすさを比較
3	データの集約	「目的をもって，分かり易く集約する」ことを学習します．以下の項目について理解します． （1）Excel の基本操作（前回の復習） （2）シートとブック （3）平均，標準偏差，度数分布関数 （4）ピボット
4	Excel・Word・PowerPoint を使ったグラフの展開	「目的をもって，分かり易く表現する」ことを学習します．以下の項目について理解します． （1）Excel の基本操作（前回の復習） （2）棒グラフ （3）折れ線グラフ （4）円グラフ （5）散布図と回帰直線 （6）Word の基本操作（第２回目の復習） （7）Excel のグラフのコピー （8）グラフをオブジェクトとして扱う （9）PowerPoint の基本（第２回目の復習） （１０）PowerPoint でグラフを作成 （１１）それぞれのソフトウェアで，グラフの作り易さを比較
5	Excel のデータベース機能	「たくさんのデータを分類・整理する方法」を学習します．以下の項目について理解します． （1）実体とデータ （2）並べ替えとフィルタ （3）データベース関数 （4）いろいろな形式のファイル保存
6	サイコロの模擬	Excel を使って，１から６の目をもつサイコロをシミュレート（模擬）し，無作為なこと（サイコロで言えば 1 から 6 まで同じ確率で目がでること）について学習します．テレビゲームの原理を学ぶことにもなります．余裕のある学生は，じゃんけんゲームを作ってみましょう． （1）無作為な数の表示（乱数の発生） （2）サイコロ関数の作成（ユーザー定義関数） （3）サイコロ・シミュレーション作ったサイコロを 6 回，60 回，600 回ふった時の出る目の回数を表にする．参考までに作ったサイコロを 10 回，100 回，1000 回ふった時の出る目の回数を表にする． （4）サイコロ評価 確率（1/6）とかけ離れていないか評価する（第２回から第５回まで学習内容の復習）．

7	データの分布	Excel を使って，無作為なデータから分布のある（正規分布）データを作る過程を視覚的に理解します． （1）体重を表している無作為なデータを作り，表やグラフにする． （2）そのデータを 10 個ずつ平均して，その平均値を表やグラフにする． （3）平均値からの範囲を指定するとその範囲に何個のデータが入るか調べる． （4）このデータから範囲を指定すると起こる得る可能性を割合で計算できることを理解する．
8	アンケート調査	授業内でアンケート調査を実施して統計処理（仮説を検定）するまでの過程を学習します． （1）出る目にかたよりがない正しいサイコロか否かを判定する．（第６回と第７回の復習） （2）上記の考え方を受けて，性別による飲み物の嗜好の違いをアンケート調査し，集計した結果をもとに嗜好の違いがあるかないかを判定する．
9	インターネットを利用した情報収集と資料作成	インターネットを利用して，情報を収集しデジタル資料を作成することを学習します． （1）青空文庫と著作権についてデータ収集する． （2）数字でみる日本と題してデータを収集する． （3）Word や Excel を使って収集した画像データや表データを整理する．
10	発表資料（レジメ）の作成	Word を使って，発表資料を作成します． （1）発表資料（レジメ）の作法を理解する． （2）段組を理解する． （3）ページ区切りを理解する． （4）図や表の挿入を理解する． （5）レイアウトを理解する． （6）参考文献等の書き方を理解する． （7）特殊な式や記号の書き方（挿入の仕方）を理解する．
11	コンピュータを使った発表１ 題目「データベースとは」	PowerPoint を使ったスライド作成を学習します． 次の内容をよく理解して，各自で「データベース」を説明するスライドを作成します． （1）データベースシステムの例を理解する． （2）データベースシステムには，データの独立性，データの完全性，データの安全性の特性があることを理解する． （3）データベースのデータを表す単位（レコード）を理解する． （4）レコード間の関係を表す代表的な表現，階層的表現，網的表現，関係的表現を理解する． （5）関係的表現の操作，合併，共通部分，差，直積を理解する．
12	コンピュータを使った発表２ 題目「データベース記述」	PowerPoint を使ったスライドに動きを付けることを学習します． 次の内容をよく理解して，各自で「データベース記述」を説明するスライドを作成します． （1）SQL を理解する． （2）SQL の基本構文を理解する． （3）条件検索を理解する． （4）並べ替えを理解する． （5）結合を理解する．
13	コンピュータを使った発表３ 題目「データベースと正規化」	発表に関する PowerPoin の便利な機能を学習します． 次の内容をよく理解して，各自で「データベースと正規化」を説明するスライドを作成します． （1）ふだんよく見る領収書やレシートは複雑な構造をした表であることを理解する． （2）複雑な構造の表を単純な構造の表にする過程を第一正規形，第二正規形，第三正規形を使って理解する．
14	データベースソフトの操作	データベースソフト Access の操作を学習します． （1）基本操作の画面を理解する． （2）テーブルを作成する． （3）Excel の表をインポートする． （4）Excel のファイルとしてエクスポートする． （5）クエリを使う． （6）SQL を書く．

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
以下に紹介するホームページをよく読んで，話題になったソフトウェアの使い方を復習しておく課題が出されます．授業時間内で完了できない場合は，次の授業開始前に指示に従って課題提出することになります．
＜授業で紹介するホームページの URL＞
情報技術の基礎（知識定着ための教材）
lect-ip.cocolog-nifty.com
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
情報処理の実践（Excel・Word・PowerPoint を使った課題提出のための教材）
pract-ip.cocolog-nifty.com

【テキスト（教科書）】
実習　情報リテラシ [第２版]』重定　如彦・河内谷　幸子（共著）
サイエンス社 ISBN:978-4-7819-1352-0
初版ではなく第２版を購入のこと．
情報処理演習Ｉと情報処理演習Ⅱは、同じテキスト（教科書）を使用.

【参考書】
講義中に紹介するホームページなど使って指示します．

【成績評価の方法と基準】
平常点（受講態度ならびに授業内提出課題の成果）５０％レポート課題３０％小テスト２０％

【学生の意見等からの気づき】
授業中に指示されたホームページをよく読んで，授業外で行う学習活動を必ず遂行してください．

【学生が準備すべき機器他】
1 人 1 台パソコンを使用します．

【Outline and objectives】
The purpose of this course is to help students master the advance information and Communication Technology. It starts with the twin themes of internet society, public and private, then students learn and understand how to practically use all of the mandatory applications while the problem solving. Upon successfully completion of the course, students should be able to understand the practical methods and concepts of information science.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

久東　義典

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
現代社会はコンピュータ機能をもった機器がいたるところに存在している．このような機器をきちんと扱えることが生活する上でとても大事である．コンピュータ機能をもった機器の情報処理技術について，その考え方，基礎的な知識，利用事例，最新動向を解説する．主に Office 系のソフト（Word、Excel、PowerPoint）を利用するが，データベースや Web 関連の最新知識についても説明する．
この授業は、実践的な情報処理の知識と技術をマスターすることを目的にする．

【到達目標】
現代社会にかかわる情報技術に関する知識を，基本から実践まで体系的に身につけることができる．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
基本の知識については講義と演習で進め，必要に応じてコンピュータを用いた実習を行う．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業を進めるにあたって，諸注意をします． （1）ルールとマナーの理解 （2）ツールとメールの利用の理解 （3）デジタル資料作成（Excel・Word・PowerPoint の基本操作とファイル保存）の理解
2	集計表の入ったデジタル資料作成	いろいろなデータを使って，「集計する」ことを学習します．以下の項目について理解します． （1）Excel の基本操作（前回の復習） （2）集計表の作法の理解 （3）データと式 （4）合計関数と相対参照 （5）相対参照と絶対参照 （6）Word の基本操作（前回の復習） （7）Excel の表のコピー （8）Word で作表 （9）行間・列間調整 （１０）表をオブジェクトとして扱う （１１）PowerPoint の基本操作（前回の復習） （１２）PowerPoint で作表 （１３）それぞれのソフトウェアの作表しやすさを比較
3	データの集約	「目的をもって，分かり易く集約する」ことを学習します．以下の項目について理解します． （1）Excel の基本操作（前回の復習） （2）シートとブック （3）平均，標準偏差，度数分布関数 （4）ピボット
4	Excel・Word・PowerPoint を使ったグラフの展開	「目的をもって，分かり易く表現する」ことを学習します．以下の項目について理解します． （1）Excel の基本操作（前回の復習） （2）棒グラフ （3）折れ線グラフ （4）円グラフ （5）散布図と回帰直線 （6）Word の基本操作（第２回目の復習） （7）Excel のグラフのコピー （8）グラフをオブジェクトとして扱う （9）PowerPoint の基本（第２回目の復習） （１０）PowerPoint でグラフを作成 （１１）それぞれのソフトウェアで，グラフの作り易さを比較
5	Excel のデータベース機能	「たくさんのデータを分類・整理する方法」を学習します．以下の項目について理解します． （1）実体とデータ （2）並べ替えとフィルタ （3）データベース関数 （4）いろいろな形式のファイル保存
6	サイコロの模擬	Excel を使って，１から６の目をもつサイコロをシミュレート（模擬）し，無作為なこと（サイコロで言えば 1 から 6 まで同じ確率で目がでること）について学習します．テレビゲームの原理を学ぶことにもなります．余裕のある学生は，じゃんけんゲームを作ってみましょう． （1）無作為な数の表示（乱数の発生） （2）サイコロ関数の作成（ユーザー定義関数） （3）サイコロ・シミュレーション作ったサイコロを 6 回，60 回，600 回ふった時の出る目の回数を表にする．参考までに作ったサイコロを 10 回，100 回，1000 回ふった時の出る目の回数を表にする． （4）サイコロ評価 確率（1/6）とかけ離れていないか評価する（第２回から第５回まで学習内容の復習）．

7	データの分布	Excel を使って，無作為なデータから分布のある（正規分布）データを作る過程を視覚的に理解します． （1）体重を表している無作為なデータを作り，表やグラフにする． （2）そのデータを 10 個ずつ平均して，その平均値を表やグラフにする． （3）平均値からの範囲を指定するとその範囲に何個のデータが入るか調べる． （4）このデータから範囲を指定すると起こる得る可能性を割合で計算できることを理解する．
8	アンケート調査	授業内でアンケート調査を実施して統計処理（仮説を検定）するまでの過程を学習します． （1）出る目にかたよりがない正しいサイコロか否かを判定する．（第６回と第７回の復習） （2）上記の考え方を受けて，性別による飲み物の嗜好の違いをアンケート調査し，集計した結果をもとに嗜好の違いがあるかないかを判定する．
9	インターネットを利用した情報収集と資料作成	インターネットを利用して，情報を収集しデジタル資料を作成することを学習します． （1）青空文庫と著作権についてデータ収集する． （2）数字でみる日本と題してデータを収集する． （3）Word や Excel を使って収集した画像データや表データを整理する．
10	発表資料（レジメ）の作成	Word を使って，発表資料を作成します． （1）発表資料（レジメ）の作法を理解する． （2）段組を理解する． （3）ページ区切りを理解する． （4）図や表の挿入を理解する． （5）レイアウトを理解する． （6）参考文献等の書き方を理解する． （7）特殊な式や記号の書き方（挿入の仕方）を理解する．
11	コンピュータを使った発表１ 題目「データベースとは」	PowerPoint を使ったスライド作成を学習します． 次の内容をよく理解して，各自で「データベース」を説明するスライドを作成します． （1）データベースシステムの例を理解する． （2）データベースシステムには，データの独立性，データの完全性，データの安全性の特性があることを理解する． （3）データベースのデータを表す単位（レコード）を理解する． （4）レコード間の関係を表す代表的な表現，階層的表現，網的表現，関係的表現を理解する． （5）関係的表現の操作，合併，共通部分，差，直積を理解する．
12	コンピュータを使った発表２ 題目「データベース記述」	PowerPoint を使ったスライドに動きを付けることを学習します． 次の内容をよく理解して，各自で「データベース記述」を説明するスライドを作成します． （1）SQL を理解する． （2）SQL の基本構文を理解する． （3）条件検索を理解する． （4）並べ替えを理解する． （5）結合を理解する．
13	コンピュータを使った発表３ 題目「データベースと正規化」	発表に関する PowerPoin の便利な機能を学習します． 次の内容をよく理解して，各自で「データベースと正規化」を説明するスライドを作成します． （1）ふだんよく見る領収書やレシートは複雑な構造をした表であることを理解する． （2）複雑な構造の表を単純な構造の表にする過程を第一正規形，第二正規形，第三正規形を使って理解する．
14	データベースソフトの操作	データベースソフト Access の操作を学習します． （1）基本操作の画面を理解する． （2）テーブルを作成する． （3）Excel の表をインポートする． （4）Excel のファイルとしてエクスポートする． （5）クエリを使う． （6）SQL を書く．

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
以下に紹介するホームページをよく読んで，話題になったソフトウェアの使い方を復習しておく課題が出されます．授業時間内で完了できない場合は，次の授業開始前に指示に従って課題提出することになります．
＜授業で紹介するホームページの URL＞
情報技術の基礎（知識定着ための教材）
lect-ip.cocolog-nifty.com
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
情報処理の実践（Excel・Word・PowerPoint を使った課題提出のための教材）
pract-ip.cocolog-nifty.com

【テキスト（教科書）】
実習　情報リテラシ [第２版]』重定　如彦・河内谷　幸子（共著）
サイエンス社 ISBN:978-4-7819-1352-0
初版ではなく第２版を購入のこと．
情報処理演習Ｉと情報処理演習Ⅱは、同じテキスト（教科書）を使用.

【参考書】
講義中に紹介するホームページなど使って指示します．

【成績評価の方法と基準】
平常点（受講態度ならびに授業内提出課題の成果）５０％レポート課題３０％小テスト２０％

【学生の意見等からの気づき】
授業中に指示されたホームページをよく読んで，授業外で行う学習活動を必ず遂行してください．

【学生が準備すべき機器他】
1 人 1 台パソコンを使用します．

【Outline and objectives】
The purpose of this course is to help students master the advance information and Communication Technology. It starts with the twin themes of internet society, public and private, then students learn and understand how to practically use all of the mandatory applications while the problem solving. Upon successfully completion of the course, students should be able to understand the practical methods and concepts of information science.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

名児耶　厚

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 1/Fri.1
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
大学での学習や社会の様々な分野で必要とされる情報利活用のため、現代社会にて必要となる ICT 関連や情報リテラシーのより広いスキル・知識の習得を目指します。実習を中心に、情報リテラシーやその活用、集計・データ処理について習得していきます。

【到達目標】
事務作業などを想定した一般的な情報系知識・スキルを習得し、活用できる。応用的な文書作成・調査・集計・管理などにて必要となる基盤的な技術を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
実習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出していく演習・実習形式が中心となります。授業内の実習と課題は分離せず、実習室の環境だけに限らない一般的知識の習得を目指します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第 2 回	確認と復習	これまでの確認と復習
第 3 回	表計算の応用例	一利用例としての統計分析
第 4 回	書類の構成・構造	総合的な書類作成・応用
第 5 回	グラフや図表の利用	表計算の利用例、集計資料作成
第 6 回	Web ページ作成基礎	Web の基本と作成実習
第 7 回	文書作成総合	書式に従った文書の作成
第 8 回	Web ページ応用知識	Web サイト作成と情報発信
第 9 回	検索とデータ取込	表からの検索、外部データ利用
第 10 回	複雑な文書の作成	集計・計算等を含む文書の作成
第 11 回	条件分岐と判定	条件判断、結果の更新と変更
第 12 回	情報の蓄積と管理	データベースの基礎と体験
第 13 回	情報処理と文書管理	情報や文書の逐次・自動処理
第 14 回	まとめ・総合実習	これまでの知識に基づく総合演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
学習内容の多くが連続しているため、過去の内容を把握・理解しておくことが必要です。授業内実習・課題を行い、特に授業時に不十分と感じた項目を中心に準備・復習をしてください。本授業の準備・復習時間は各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
実習室の環境に合わせる必要があるため、初回授業で説明します。春学期授業の同欄も参照してください。

【参考書】
昨年度教科書：「実習 情報リテラシ [第 2 版]」、重定 如彦・河内谷 幸子、サイエンス社、￥1,980。
その他一般：情報基礎系の書籍や同類授業での教科書が広く該当します。

【成績評価の方法と基準】
各回・単元ごとに設定する課題（40%）、授業内実習と平常点（60%）。授業内での実技・実習を中心に課題部分を追記するため、提出物が実習・課題の両方を兼ねる形となります。

【学生の意見等からの気づき】
皆に理解してもらえるよう丁寧な説明を心がけつつ、進捗が合わないと感じる人に気づけるような機会を増やしていくつもりです。

【学生が準備すべき機器他】
情報実習室での授業のため、備え付けの機材を使用します。配布・提出に授業支援システムを使用します。

【その他の重要事項】
この科目は春学期・秋学期を通じて履修することを勧めます。

【Outline and objectives】
In the recent years, ICT and related technologies have become essential to our life. The objective is to improve skills and knowledge of ICT. This lesson will focus on practical training.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

名児耶　厚

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
大学での学習や社会の様々な分野で必要とされる情報利活用のため、現代社会にて必要となる ICT 関連や情報リテラシーのより広いスキル・知識の習得を目指します。実習を中心に、情報リテラシーやその活用、集計・データ処理について習得していきます。

【到達目標】
事務作業などを想定した一般的な情報系知識・スキルを習得し、活用できる。応用的な文書作成・調査・集計・管理などにて必要となる基盤的な技術を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
実習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出していく演習・実習形式が中心となります。授業内の実習と課題は分離せず、実習室の環境だけに限らない一般的知識の習得を目指します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第 2 回	確認と復習	これまでの確認と復習
第 3 回	表計算の応用例	一利用例としての統計分析
第 4 回	書類の構成・構造	総合的な書類作成・応用
第 5 回	グラフや図表の利用	表計算の利用例、集計資料作成
第 6 回	Web ページ作成基礎	Web の基本と作成実習
第 7 回	文書作成総合	書式に従った文書の作成
第 8 回	Web ページ応用知識	Web サイト作成と情報発信
第 9 回	検索とデータ取込	表からの検索、外部データ利用
第 10 回	複雑な文書の作成	集計・計算等を含む文書の作成
第 11 回	条件分岐と判定	条件判断、結果の更新と変更
第 12 回	情報の蓄積と管理	データベースの基礎と体験
第 13 回	情報処理と文書管理	情報や文書の逐次・自動処理
第 14 回	まとめ・総合実習	これまでの知識に基づく総合演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
学習内容の多くが連続しているため、過去の内容を把握・理解しておくことが必要です。授業内実習・課題を行い、特に授業時に不十分と感じた項目を中心に準備・復習をしてください。本授業の準備・復習時間は各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
実習室の環境に合わせる必要があるため、初回授業で説明します。春学期授業の同欄も参照してください。

【参考書】
昨年度教科書：「実習 情報リテラシ [第 2 版]」、重定 如彦・河内谷 幸子、サイエンス社、￥1,980。
その他一般：情報基礎系の書籍や同類授業での教科書が広く該当します。

【成績評価の方法と基準】
各回・単元ごとに設定する課題（40%）、授業内実習と平常点（60%）。授業内での実技・実習を中心に課題部分を追記するため、提出物が実習・課題の両方を兼ねる形となります。

【学生の意見等からの気づき】
皆に理解してもらえるよう丁寧な説明を心がけつつ、進捗が合わないと感じる人に気づけるような機会を増やしていくつもりです。

【学生が準備すべき機器他】
情報実習室での授業のため、備え付けの機材を使用します。配布・提出に授業支援システムを使用します。

【その他の重要事項】
この科目は春学期・秋学期を通じて履修することを勧めます。

【Outline and objectives】
In the recent years, ICT and related technologies have become essential to our life. The objective is to improve skills and knowledge of ICT. This lesson will focus on practical training.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

名児耶　厚

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
大学での学習や社会の様々な分野で必要とされる情報利活用のため、現代社会にて必要となる ICT 関連や情報リテラシーのより広いスキル・知識の習得を目指します。実習を中心に、情報リテラシーやその活用、集計・データ処理について習得していきます。

【到達目標】
事務作業などを想定した一般的な情報系知識・スキルを習得し、活用できる。応用的な文書作成・調査・集計・管理などにて必要となる基盤的な技術を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
実習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出していく演習・実習形式が中心となります。授業内の実習と課題は分離せず、実習室の環境だけに限らない一般的知識の習得を目指します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第 2 回	確認と復習	これまでの確認と復習
第 3 回	表計算の応用例	一利用例としての統計分析
第 4 回	書類の構成・構造	総合的な書類作成・応用
第 5 回	グラフや図表の利用	表計算の利用例、集計資料作成
第 6 回	Web ページ作成基礎	Web の基本と作成実習
第 7 回	文書作成総合	書式に従った文書の作成
第 8 回	Web ページ応用知識	Web サイト作成と情報発信
第 9 回	検索とデータ取込	表からの検索、外部データ利用
第 10 回	複雑な文書の作成	集計・計算等を含む文書の作成
第 11 回	条件分岐と判定	条件判断、結果の更新と変更
第 12 回	情報の蓄積と管理	データベースの基礎と体験
第 13 回	情報処理と文書管理	情報や文書の逐次・自動処理
第 14 回	まとめ・総合実習	これまでの知識に基づく総合演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
学習内容の多くが連続しているため、過去の内容を把握・理解しておくことが必要です。授業内実習・課題を行い、特に授業時に不十分と感じた項目を中心に準備・復習をしてください。本授業の準備・復習時間は各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
実習室の環境に合わせる必要があるため、初回授業で説明します。春学期授業の同欄も参照してください。

【参考書】
昨年度教科書：「実習 情報リテラシ [第 2 版]」、重定 如彦・河内谷 幸子、サイエンス社、￥1,980。
その他一般：情報基礎系の書籍や同類授業での教科書が広く該当します。

【成績評価の方法と基準】
各回・単元ごとに設定する課題（40%）、授業内実習と平常点（60%）。授業内での実技・実習を中心に課題部分を追記するため、提出物が実習・課題の両方を兼ねる形となります。

【学生の意見等からの気づき】
皆に理解してもらえるよう丁寧な説明を心がけつつ、進捗が合わないと感じる人に気づけるような機会を増やしていくつもりです。

【学生が準備すべき機器他】
情報実習室での授業のため、備え付けの機材を使用します。配布・提出に授業支援システムを使用します。

【その他の重要事項】
この科目は春学期・秋学期を通じて履修することを勧めます。

【Outline and objectives】
In the recent years, ICT and related technologies have become essential to our life. The objective is to improve skills and knowledge of ICT. This lesson will focus on practical training.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

名児耶　厚

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
大学での学習や社会の様々な分野で必要とされる情報利活用のため、現代社会にて必要となる ICT 関連や情報リテラシーのより広いスキル・知識の習得を目指します。実習を中心に、情報リテラシーやその活用、集計・データ処理について習得していきます。

【到達目標】
事務作業などを想定した一般的な情報系知識・スキルを習得し、活用できる。応用的な文書作成・調査・集計・管理などにて必要となる基盤的な技術を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
実習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出していく演習・実習形式が中心となります。授業内の実習と課題は分離せず、実習室の環境だけに限らない一般的知識の習得を目指します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第 2 回	確認と復習	これまでの確認と復習
第 3 回	表計算の応用例	一利用例としての統計分析
第 4 回	書類の構成・構造	総合的な書類作成・応用
第 5 回	グラフや図表の利用	表計算の利用例、集計資料作成
第 6 回	Web ページ作成基礎	Web の基本と作成実習
第 7 回	文書作成総合	書式に従った文書の作成
第 8 回	Web ページ応用知識	Web サイト作成と情報発信
第 9 回	検索とデータ取込	表からの検索、外部データ利用
第 10 回	複雑な文書の作成	集計・計算等を含む文書の作成
第 11 回	条件分岐と判定	条件判断、結果の更新と変更
第 12 回	情報の蓄積と管理	データベースの基礎と体験
第 13 回	情報処理と文書管理	情報や文書の逐次・自動処理
第 14 回	まとめ・総合実習	これまでの知識に基づく総合演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
学習内容の多くが連続しているため、過去の内容を把握・理解しておくことが必要です。授業内実習・課題を行い、特に授業時に不十分と感じた項目を中心に準備・復習をしてください。本授業の準備・復習時間は各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
実習室の環境に合わせる必要があるため、初回授業で説明します。春学期授業の同欄も参照してください。

【参考書】
昨年度教科書：「実習 情報リテラシ [第 2 版]」、重定 如彦・河内谷 幸子、サイエンス社、￥1,980。
その他一般：情報基礎系の書籍や同類授業での教科書が広く該当します。

【成績評価の方法と基準】
各回・単元ごとに設定する課題（40%）、授業内実習と平常点（60%）。授業内での実技・実習を中心に課題部分を追記するため、提出物が実習・課題の両方を兼ねる形となります。

【学生の意見等からの気づき】
皆に理解してもらえるよう丁寧な説明を心がけつつ、進捗が合わないと感じる人に気づけるような機会を増やしていくつもりです。

【学生が準備すべき機器他】
情報実習室での授業のため、備え付けの機材を使用します。配布・提出に授業支援システムを使用します。

【その他の重要事項】
この科目は春学期・秋学期を通じて履修することを勧めます。

【Outline and objectives】
In the recent years, ICT and related technologies have become essential to our life. The objective is to improve skills and knowledge of ICT. This lesson will focus on practical training.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

星　善光

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：2 **単位**
法文営 1〜2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
情報処理演習Ⅰに引き続き、様々なソフトウェアや情報機器を効果的に利用できるように、身の回りに溢れる「情報」を取り扱うために必要な基礎力を習得することを目的とする。

【到達目標】
一般的な表計算ソフトウェアである Microsoft Excel を使うことができる。HTML、PHP、HTML5 を用いた Web ページを作成することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
情報処理演習Ⅰと同様に、授業と実習の組み合わせで進めていきます。パソコンを使用した実習を行います。表計算や様々なアプリケーションソフトウェアを利用します。また、ホームページの作成、簡単なプログラム作成も行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Microsoft Excel の基礎	Microsoft Excel の基礎について学ぶ。
第 2 回	計算式・関数・書式	Microsoft Excel の計算式や関数、書式等について学ぶ。
第 3 回	ページレイアウト・データツール	Microsoft Excel のページレイアウトやデータツールについて学ぶ。
第 4 回	課題発表会	情報処理演習Ⅰで作成したプレゼンテーション資料を用いて発表する。
第 5 回	グラフ	Microsoft Excel のグラフ作成機能を学ぶ。
第 6 回	外部データの処理	Microsoft Excel を用いて外部データの処理を行う方法を学ぶ。
第 7 回	課題④	Microsoft Excel を活用する課題に取り組む。
第 8 回	アプリケーションソフトウェア②	パソコンで利用する様々なアプリケーションソフトウェアについて学ぶ。
第 9 回	コンピュータネットワークの基礎	コンピュータネットワークに関する基礎知識を学ぶ。
第 10 回	コンピュータセキュリティの基礎	コンピュータセキュリティに関する基礎知識を学ぶ。
第 11 回	HTML の基礎	HTML を用いたホームページ作成の基礎を学ぶ。
第 12 回	PHP の基礎	HTML 自動生成に役立つ PHP 言語についての基礎を学ぶ。
第 13 回	HTML5	HTML5 を用いたホームページ作成方法の基礎を学ぶ。
第 14 回	まとめ	講義内容をまとめる。コンピュータの将来展望や問題について学ぶ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
第 1 回の授業の前に、ログインＩＤとパスワードを確認しておくこと。宿題を出すことがあります。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用しません。

【参考書】
適時指示します。必要に応じてプリントを配布します。また、ホームページでパワーポイント資料を閲覧できます。
（参考情報 http://hoshilab.net/ ）

【成績評価の方法と基準】
課題（80%）、平常点（20%）として評価します。課題に積極的に取り組み、提出して下さい。

【学生の意見等からの気づき】
可能な限り多くの基礎的な課題を用意し、楽しみながら授業を進められるようにしていきます。

【学生が準備すべき機器他】
演習室のパソコンを利用します。

【Outline and objectives】
You learn how to use various application software including Microsoft Excel, various information devices effectively.You learn about web development related languages such as HTML, HTML5, PHP and laern about network structure too.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

星　善光

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：2 **単位**
法文営 1〜2 **年**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
情報処理演習Ⅰに引き続き、様々なソフトウェアや情報機器を効果的に利用できるように、身の回りに溢れる「情報」を取り扱うために必要な基礎力を習得することを目的とする。

【到達目標】
一般的な表計算ソフトウェアである Microsoft Excel を使うことができる。HTML、PHP、HTML5 を用いた Web ページを作成することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
情報処理演習Ⅰと同様に、授業と実習の組み合わせで進めていきます。パソコンを使用した実習を行います。表計算や様々なアプリケーションソフトウェアを利用します。また、ホームページの作成、簡単なプログラム作成も行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Microsoft Excel の基礎	Microsoft Excel の基礎について学ぶ。
第 2 回	計算式・関数・書式	Microsoft Excel の計算式や関数、書式等について学ぶ。
第 3 回	ページレイアウト・データツール	Microsoft Excel のページレイアウトやデータツールについて学ぶ。
第 4 回	課題発表会	情報処理演習Ⅰで作成したプレゼンテーション資料を用いて発表する。
第 5 回	グラフ	Microsoft Excel のグラフ作成機能を学ぶ。
第 6 回	外部データの処理	Microsoft Excel を用いて外部データの処理を行う方法を学ぶ。
第 7 回	課題④	Microsoft Excel を活用する課題に取り組む。
第 8 回	アプリケーションソフトウェア②	パソコンで利用する様々なアプリケーションソフトウェアについて学ぶ。
第 9 回	コンピュータネットワークの基礎	コンピュータネットワークに関する基礎知識を学ぶ。
第 10 回	コンピュータセキュリティの基礎	コンピュータセキュリティに関する基礎知識を学ぶ。
第 11 回	HTML の基礎	HTML を用いたホームページ作成の基礎を学ぶ。
第 12 回	PHP の基礎	HTML 自動生成に役立つ PHP 言語についての基礎を学ぶ。
第 13 回	HTML5	HTML5 を用いたホームページ作成方法の基礎を学ぶ。
第 14 回	まとめ	講義内容をまとめる。コンピュータの将来展望や問題について学ぶ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
第 1 回の授業の前に、ログインＩＤとパスワードを確認しておくこと。宿題を出すことがあります。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用しません。

【参考書】
適時指示します。必要に応じてプリントを配布します。また、ホームページでパワーポイント資料を閲覧できます。
（参考情報 http://hoshilab.net/ ）

【成績評価の方法と基準】
課題（80%）、平常点（20%）として評価します。課題に積極的に取り組み、提出して下さい。

【学生の意見等からの気づき】
可能な限り多くの基礎的な課題を用意し、楽しみながら授業を進められるようにしていきます。

【学生が準備すべき機器他】
演習室のパソコンを利用します。

【Outline and objectives】
You learn how to use various application software including Microsoft Excel, various information devices effectively.You learn about web development related languages such as HTML, HTML5, PHP and laern about network structure too.

IDN200LA

法政学の探究ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

古俣　達郎

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火** 4/Tue.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キＧ 1 年～

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、「学生（法政大学の学生＝法大生）」の歴史と文化に焦点をあてます。法政大学で学生生活を過ごすなか、ふと疑問に思ったことや関心を抱いたことを日本近現代史、大学史などの学問的な観点から検証します。具体的なテーマとして、体育会・文化系団体・サークルの由来、自主法政祭の歴史、留学生の変遷、法政大学におけるジェンダー、そして、外濠・神楽坂を中心とした周辺地域の特徴などを挙げることができます。法政大学の歴史を通して、日本の近現代や日本の大学のあり方を捉え直す機会となるでしょう。

また、2020 年度に開設された HOSEI ミュージアムの展示コンテンツやデジタルアーカイブをはじめ、映像資料なども活用し、様々な資料から「法政学」を探究します。

【到達目標】

1. 法政大学の歴史はもちろんのこと、日本近現代史や大学の歴史に関する基礎的な知識を得ることができます。
2. 身近なテーマを学問的な「問い」へと発展させる視野を養います。
3. 調査研究の前提となるテーマ設定の具体化や各種資料の調査方法・読解方法について学ぶことができます。
4. 演習形式が中心となるため、各学部の専門ゼミ履修への準備になります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

授業計画に則り、講義形式と演習形式を組み合わせて進行します。第 4 回では HOSEI ミュージアムで見学調査を行い、第 7・14 回では上映された映像について議論を行います。なお、受講生は授業内で報告（1 回）を行う必要があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	導入	本授業の目標、スケジュール等を説明します。
第 2 回	法政大学の歴史－東京法学社創立から大学昇格まで－	法律学校時代の法政大学の歴史を主に「学生」の観点から振り返ります。
第 3 回	法政大学の歴史－大学昇格から現在まで－	大学昇格後の法政大学の歴史を主に「学生」の観点から振り返ります。
第 4 回	HOSEI ミュージアムでの学び	HOSEI ミュージアムを訪問し、展示内容から法政大学に関わる様々なテーマについて知見を得ます。
第 5 回	デジタルアーカイブの使い方	HOSEI ミュージアムデジタルアーカイブをはじめ、各種デジタルアーカイブ、データベースの使用方法を学びます。
第 6 回	テーマ設定方法と報告の基礎を学ぶ	「問い」の立て方、テーマ設定の方法をはじめ、レジュメの作成やプレゼンテーション方法など、報告の基礎を学びます。
第 7 回	映像から学ぶ法政大学	法政大学を舞台にした映画『横道世之介』を鑑賞し、そこで描かれた学生像について議論します。
第 8 回	体育会・文化系団体・サークルに関するテーマ設定と資料紹介	体育会・文化系団体・サークルに関するテーマ設定を科目担当者とともに行います。
第 9 回	その他、学生活動や学生の歴史に関するテーマ設定と資料紹介	上記（体育会・文化系団体・サークル）以外の学生活動や学生の歴史に関するテーマ設定を科目担当者とともに行います。
第 10 回	地域などに関するテーマ設定と資料紹介	主に外濠・神楽坂など法政大学の周辺地域に関するテーマ設定を科目担当者とともに行います。
第 11 回	体育会・文化系団体・サークルをテーマとした報告	体育会・文化系団体・サークルをテーマとした受講生の報告を行います。
第 12 回	その他、学生活動や学生の歴史をテーマとした報告	上記（体育会・文化系団体・サークル）以外の学生活動や学生の歴史をテーマとした受講生の報告を行います。
第 13 回	地域などをテーマとした報告	主に地域などをテーマとした受講生の報告を行います。
第 14 回	映像上映と総括	法政大学創立百周年記念映画『オレンジのその情熱と…』を鑑賞し、科目担当者による総括を行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前学習では、HOSEI ミュージアムに展示されているコンテンツ、同デジタルアーカイブの調査や授業内で紹介された文献の読解を行います。復習では、毎回科目担当者が配布した資料と授業支援システムにアップロードされた資料を読み直します。
なお、本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用せず、毎回、科目担当者が資料を配布します。

【参考書】

『法政大学八十年史』（1961 年）、『法政大学百年史』（1980 年）、『法政大学と戦後五〇年』（2004 年）、『法律学の夜明けと法政大学』（1992 年）、唐澤富太郎『学生の歴史－学生生活の社会史的考察』（1955 年）

【成績評価の方法と基準】

平常点と授業内の報告（各 50 %）にて判断します。

【学生の意見等からの気づき】

学部を超えた交流の機会となるよう、受講者が自由に発言できる「場」を形成したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

報告用の PC などの機器は科目担当者が用意します。

【その他の重要事項】

関連科目「大学を知ろう　＜法政学＞への招待」で学んだ内容を前提としますので、同科目の既修者か、それと同等の前提知識を得てから受講してください。後者の場合、大学公式 HP に掲載されている「HOSEI MUSEUM」が参考になります。

【Outline and objectives】

This course explores the history and culture of Hosei students. We examine questions and interests in student life from an academic perspective. Students will learn the modern and contemporary history of Japan, the history of Universities through the history of Hosei University.

IDN200LA

法政学の探究ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

古俣　達郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キＧ 1 年～

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、「大学を知ろう ＜法政学＞への招待」（旧科目名「法政学への招待」）をすでに受講し、法政大学が経てきた 140 年の歴史と現状について一通りの理解をもつ学生を主対象にして、本学ゆかりの特定の人物を媒介に、法政大学についてより深く考える場を提供する発展科目として設定しました。

「大学を知ろう ＜法政学＞への招待」における学習を前提に、本授業では、法政大学で教えた教員や、学んだ学生を具体的に取り上げます。教員の場合なら、その人物が法政大学でどういう教育研究に携わったのか、そのことで本学や社会の発展にいかに貢献したか、などを追います。卒業生の場合なら、本学で何を学んだのか、あるいは学んだことをその後の本人の人生や、社会に向けてどう役立てたかなどについて、探究することになるでしょう。

法政大学ゆかりの特定の人物を詳しく追うことで、「自由と進歩」の理念や、時代のフロントランナー養成を掲げる本学の歴史と現在が、より具体性を帯びて理解できるようになるはずです。

【到達目標】

本学の経てきた道を、具体的な人物に即して、実証的・実感的に把握できることを目指します。時代の大きな流れの中で、本学ゆかりのその人物が何に興味をもち、どんな活動をし、何を目指し、何に悩んだかなど、時代の潮流や雰囲気を受講生個々人の知性と感性で感じられるようにします。それを、自分の学生生活や将来像へとつなげて考える契機を得るよう努めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

科目責任者の教員が毎回同席し、授業をコーディネートします。講義は、毎回のテーマに最適な本学内外の講師陣（科目責任者含む）が、分担して担当します。

授業の最後に毎回、リアクションペーパーを書いていただきます。受講生の声を反映した参加型・双方向型授業になるよう努めます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	導入	この授業の狙いや、全体の構成について説明する。 あわせて、本学の経てきた歴史の概略を復習する。（科目責任者=古俣達郎）
2	世界を知りつくした本学の祖 箕作麟祥	本学の前身である和仏法律学校の初代校長の箕作麟祥は、明治期の有数の啓蒙家であった。彼は、洋学を学んで、西洋の法律や歴史を日本に紹介し、日本の「民権」のために活躍した。彼の仕事を振り返って、そこから学ぶものを探りたい。（南塚信吾）
3	本学草創期を支えた日本近代法の父 ボアソナード	フランス人法学者のボアソナード（1825-1910 年）は、明治政府顧問として来日し、近代法典の整備と法学教育に尽力した。ボアソナードの事績と薫陶を受けた教え子たちの活動を紹介し、その歴史的意義を考える。（村松玄太）
4	「民法の父」・和仏法律学校初代総理 梅謙次郎	日本民法典起草者の一人であり、帝国大学法学部教授、法政大学の初代総理（総長）であった梅謙次郎について、韓国（大韓帝国、1897-1910 年）政府の法律顧問として活動していた頃の足跡を辿る。（李英美）
5	能楽研究の開拓者である野上豊一郎	法政大学は古典芸能の「能楽」と深い結び付きがあるが、その縁は、戦後間もなく総長を務めた野上豊一郎が創出したものである。本回は、野上と能楽との出会いから、彼が残した功績を概観する。（伊海孝充）
6	漱石門下生たちに学んで作家になった椋鳩十	伊那谷出身の椋鳩十（本名：久保田彦穂）は、とくに動物物語の作者として広く知られる。初の詩集を出し、学生結婚もした法政大学時代をはじめ、戦前戦後にわたる椋の歩みを時代の中で振り返る。（髙柳俊男）
7	「法政スピル（法政精神）」を体現した中野勝義	中野勝義は本学の卒業生で、ANA の創業者である。随筆家内田百閒の愛弟子であった中野の生涯は法政と航空に捧げられたといっても過言ではない。中野の生涯を、郷里の北海道、法政大学、民間航空を軸に振り返る。（古俣達郎）
8	写真家鬼海弘雄氏に聞く、哲学者福田定良のこと	戦時下の本学を卒業し、日常生活や生活者に根差した哲学を語り続けた福田定良。福田の教え子であり、長年にわたり市井の人々を撮り続けている写真家鬼海弘雄氏（本学文学部哲学科卒業）に師の哲学とその人物像についてお話いただく。（鬼海弘雄）
9	城戸幡太郎、波多野完治、宮原誠一、乾孝～生涯学習の時代を切り拓いた人々	戦前の法政大学高等師範部教授の城戸幡太郎、波多野完治、宮原誠一らは、本学を舞台に教育科学研究会や保育問題研究会を組織したが、そのねらいは現場の教員と研究者とが共同して教育実践を研究することにあった。キャリアデザイン学部へと引き継がれるこの伝統を明らかにしたい。（笹川孝一）
10	「女性である前にまず人間であれ」 野上弥生子と法政大学	日本を代表する作家野上弥生子。法政大学女子高等学校名誉校長もつとめた弥生子は同校の生徒たちに「女性である前にまず人間であれ」という言葉をのこした。弥生子の思想と人物像を探るとともに、その日記に記された法政大学の逸話を紹介する。（古俣達郎）
11	戦争の中を生きた学友たち～久納好孚を例に	終戦直前のわずか 10 ヶ月足らずの間に 5,845 名もの戦死者を出した「特攻」。その第一号となったのが、本学に学んだ学友の一人・久納好孚であった。彼はなぜ「特攻」を志願したのか。その短い生涯を辿りながら、戦前戦中の本学の歴史と学友たちの生きざまを追体験してみたい。（鈴木靖）

12	思想史家藤田省三と法政大学の戦後精神	丸山眞男に学び、法政大学に着任後、大学の歩みをともにした思想史家藤田省三。藤田は大学紛争期には中村哲総長を支え、紛争解決の中心的役割を果たす。そして、一時の「浪人時代」を経て、同時代への「抵抗者」として新たな境地へと踏み出す。（飯田泰三）
13	法政スポーツの伝統を探る	法政スポーツは 100 年以上の歴史をもつ。法政スポーツを体現する方をお招きし、法政スポーツの伝統とその精神を探る。
14	学生の目と教員の目から見る法政大学	学生として本学で学び、のちに本学で教えるに至った方を授業にお招きし、2 つの立場から見た法政大学について体験的に語っていただき、授業全体のまとめとする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の講師が授業内で言及した文献は、積極的に参照してください。また、開館したばかりの HOSEI ミュージアムの展示には、授業で取り上げた人物や事象に関するコンテンツが豊富に含まれていますので、準備学習・復習に活用してください。その他、授業に関連する特別展示などが学内外で開催される場合には、随時お知らせしますので、極力足を運んでみてください。

なお、本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストはありません。講義担当者がプリントを適宜配付します。

【参考書】

各担当教員が、その都度お知らせします。

本学の歴史を通史的にまとめた書籍には、『法政大学 1880-2000：そのあゆみと展望』のほか、『法政大学参拾年史』『法政大学八十年史』『法政大学百年史』『法政大学と戦後五〇年』などがあります。図書館などで適宜参照してください。

【成績評価の方法と基準】

毎回のリアクションペーパーに反映された授業に取り組む姿勢 40 %、学期末のレポート 60 %を基準にして、総合的に評価します。受講者数によっては若干の変更があるかもしれませんが、その場合は授業の場でお知らせします。なお、レポートの作成に際しては、必ず文献に当たるよう心がけてください。

【学生の意見等からの気づき】

学術的でありながら、同時に自らの生き方の参考になるような授業を目指します。

【学生が準備すべき機器他】

とくにありません。授業支援システムを適宜活用します。

【その他の重要事項】

上述のように、「大学を知ろう ＜法政学＞への招待」で学んだ内容を前提に進めますので、原則として同科目の既修者か、それと同程度の前提知識がある方が受講対象者になります。

「大学を知ろう ＜法政学＞への招待」とこの「法政学の探究 LA」を履修し、さらに学びを深めたい方には、より演習に近い少人数の科目として、「法政学の探究 LB」（春学期）も用意されています。

【Outline and objectives】

This intermediate class aims to explore the history and the spirit of Hosei University, by following the achievements and personality of several specific individuals.

LIT200LA

日本文学と文化ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**絵画化された『源氏物語』**

阿部　真弓

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木 4**/Thu.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

絵巻の鑑賞方法等について解説した後、院政期に作られたとされる国宝『源氏物語絵巻』について講義します。種々の源氏絵、また現代のマンガ等とも比較しながら、『源氏物語』がどのように解釈され、絵画化されてきたか考察します。『源氏物語絵巻』を学ぶことを通し、日本の古典文学や美術に関する理解を深めます。

< 2020 年 4 月 18 日追記>

オンライン授業実施にともない、以下のいくつかの項目について、追記または変更点があります。それも合わせて、よく確認してください。

【到達目標】

①絵巻に関する基礎的な知識を習得する。
②『国宝 源氏物語絵巻』の特質を理解する。
③平安時代の人々が『源氏物語』をどのように解釈し、イメージしたかについて理解する。
④現代に至るまで、『源氏物語』がどのように絵画化されてきたか、源氏絵の様相を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを使い、講義形式で行います。現代語訳のプリントを用いる等、古典文学の読解が苦手な人に配慮しつつ、授業を進めます。

< 2020 年 4 月 18 日追記>

教室での授業が始まるまでは学習支援システムを使った、教員によるオンライン授業で進めます（パワーポイント文書・ワード文書等の教材をアップします）。

〈2020 年 4 月 20 日追記〉

本授業の開始日は 4 月 23 日とします。この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の概要
第 2 回	絵巻とは (1)	絵巻の歴史について
第 3 回	絵巻とは (2)	絵巻に見られる技法について
第 4 回	絵巻とは (3)	絵巻の鑑賞方法について
第 5 回	『源氏物語絵巻』(1)	『源氏物語絵巻』概説
第 6 回	『源氏物語』第一部概説	『源氏物語』第一部の解説
第 7 回	『源氏物語』第一部概要	『源氏物語』第一部のあらすじ
第 8 回	『源氏物語絵巻』(2)	『源氏物語絵巻』蓬生巻について
第 9 回	『源氏物語』第二部概説	『源氏物語』第二部の解説およびあらすじ
第 10 回	『源氏物語絵巻』(3)	『源氏物語絵巻』柏木巻（一）について

第 11 回	『源氏物語絵巻』(4)	『源氏物語絵巻』柏木巻（三）について
第 12 回	『源氏物語絵巻』(5)	『源氏物語絵巻』横笛巻について
第 13 回	『源氏物語絵巻』(6)	『源氏物語絵巻』鈴虫巻（二）について
第 14 回	総括	授業のまとめ、試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
授業内容を復習し、理解した上で、次の授業に臨むようにすること。

【テキスト（教科書）】
プリントを配布します。
< 2020 年 4 月 18 日追記>
教室での授業が始まるまでは、学習支援システムに教材をアップロードしますので、それをダウンロードしてください。

【参考書】
参考文献は授業中に紹介します。
< 2020 年 4 月 18 日追記>
教室での授業が始まるまでは、学習支援システムにアップロードする教材内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】
学期末に行う試験（70 %）、平常点（30 %）によって評価します。試験は【到達目標】①～④に照らして採点します。また平常点については、毎回提出してもらうリアクションペーパーによって、授業の理解度を確認します。
< 2020 年 4 月 18 日追記>
オンライン授業実施中においては、学習支援システムを通じて課された課題の提出状況およびその内容を「平常点」として評価します。
なお、教室での試験が行えない場合は、代替措置として学期末にレポートを提出してもらいます（70 %）。

【学生の意見等からの気づき】
パワーポイントのスライドのプリントアウトにノートを取ってもらう形を、今年度も継続します。出席調査票の「感想・コメント欄」に記入された質問やコメントは、次週の講義でできる限り紹介・回答し、疑問点を残さないようにしていきます。

【Outline and objectives】
This course deals with *The Tale of Genji illustrated Scrolls*(源氏物語絵巻, designated a National Treasure) and the other works(including Manga) painted *The Tale of Genji*. The aim of this course is to help students acquire an understanding of Japanese classical literature and art.

LIT200LA

日本文学と文化ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**説話のメディア展開**

阿部　真弓

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
安珍・清姫伝説として知られる、道成寺にまつわる説話について講義します。絵巻や能・歌舞伎の題材として有名なこの説話が、これまで人々にどのように享受されてきたのかについて学び、日本の古典文学や古典芸能に関する理解を深めます。

【到達目標】
①説話文学の特質について理解する。
②絵巻に関する基礎的な知識を習得する。
③能、歌舞伎など古典芸能に関する基礎的な知識を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
DVD 等の視聴覚資料を適宜鑑賞しながら、パワーポイントを使い、講義形式で行います。現代語訳のプリントを用いる等、古典文学の読解が苦手な人に配慮しつつ、授業を進めます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の概要
第 2 回	説話について	説話文学に関する解説
第 3 回	道成寺にまつわる説話	説話集に収められた道成寺説話
第 4 回	絵巻について	絵巻の鑑賞方法に関する解説
第 5 回	道成寺縁起絵巻 (1)	『道成寺縁起絵巻』鑑賞
第 6 回	道成寺縁起絵巻 (2)	『道成寺縁起絵巻』解説
第 7 回	道成寺縁起絵巻 (3)	熊野信仰について
第 8 回	道成寺縁起絵巻 (4)	『道成寺縁起絵巻』の異本について
第 9 回	能について	能の歴史・鑑賞の仕方に関する解説
第 10 回	能『道成寺』(1)	能『道成寺』を読む
第 11 回	能『道成寺』(2)	能『道成寺』解説
第 12 回	能『道成寺』(3)	能『道成寺』鑑賞
第 13 回	道成寺物について	日本伝統芸能における「道成寺」の解説
第 14 回	総括	授業のまとめ、試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
授業内容を復習し、理解した上で、次の授業に臨むようにすること。

【テキスト（教科書）】
プリントを配布します。

【参考書】
参考文献は授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】
学期末に行う試験（70 %）、平常点（30 %）によって評価します。試験は【到達目標】①～③に照らして採点します。また平常点については、毎回提出してもらうリアクションペーパーによって、授業の理解度を確認します。

【学生の意見等からの気づき】
パワーポイントのスライドのプリントアウトにノートを取ってもらう形を、今年度も継続します。出席調査票の「感想・コメント欄」に記入された質問やコメントは、次週の講義でできる限り紹介・回答し、疑問点を残さないようにしていきます。

【Outline and objectives】
This course deals with the picture scrolls *Dojoji Engi* and the Noh program *Dojoji*. The aim of this course is to help students acquire an understanding of Japanese classical literature and art and performing arts.

LIT200LA

日本文学と文化ＬＣ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**日本中世仏教と能楽**

今泉　隆裕

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義では能（謡曲）とその周辺事項について、とくに日本仏教とのかかわりについて考える。
俳句や短歌が固定した形式をもつゆえに、かえって人々の想像力を刺激するように、能もいくつかの決まった形式をもっている。この形式（話の枠）には、この芸能が胎動した当時の時代状況や、人々の期待が反映されている。どのような状況下で、どのようなことがこの芸能に要請されたのか。どのような歴史や、社会状況に影響を受けたためにそれらの形式が確立され、その形式からどのような想像力が新たに促がされたのか。本講義では、とくに能と宗教文化（おもに日本仏教）との関連を紹介しながら、その一端を垣間見たいと考える。
とはいえ、能に関する知識はそれほど一般的ではない。はじめの数回、能楽に関する入門的内容をふまえることになる。また時間に余裕があれば、近代における能楽の動向を紹介しつつ、文化がいかに歴史社会とのかかわりの中で存続するのか（あるいは消滅するのか）を考える機会も持ちたい。
そののち勧進興行と能という視点から、一般的に「夢幻能」といわれるもの、なかでも幽霊を主人公（シテ）とする曲を主に扱う。また、離ればなれになった親子の再開を描く、いわゆる「親子物狂能」を取り上げ、その周辺的な事柄を紹介する。
※夢幻能に関する講義が「日本文学と文化ＬＣ」（旧「文学Ⅰ」）、おもに親子物狂能に関する講義が「日本文学と文化ＬＤ」（旧「文学Ⅱ」）となる予定である。ただし、講義内容はその都度変更する場合がある。

【到達目標】
能楽に関する基本的な知識を身につけることを目指す。
と同時に、文芸作品が歴史社会とのかかわりのなかで、いかに規制されるのか、また、その規制された視点がどのような想像を促し、どのような表現を創造するのか、その一端を垣間見る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
コロナウィルスの状況から講義ができない期間は課題提出とします。
ただし課題を提出させる方法について、担当者が不慣れなため、発信日程は 4 月 24 日から 5 月 1 日までの 1 週間以内とさせてください。
また、状況が改善され次第、授業形態は、講義形式とします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	能楽入門①	能楽入門 基本的な用語などについて解説する（5 回程度）。DVD 映像を参照して説明していく。
2	能楽入門②	上記、能楽入門つづき 能舞台解説・能の歴史（1）
3	能楽入門③	上記、能楽入門つづき 能舞台解説・能の歴史（2）
4	能楽入門④	上記、能楽入門つづき 能舞台解説・能の歴史（3） 基本用語解説（1）
5	能楽入門⑤	上記、能楽入門つづき 基本用語解説（2）

6	夢幻能について① （幽霊能について）	夢幻能のなかでも幽霊を主人公（シテ）とするものを取り上げ、その特徴について論じる（9 回程度）。 ・本講義の概要について
7	夢幻能について② （幽霊能について）	上記、夢幻能について（つづき） 〈求塚〉鑑賞① 作品概要・及び鑑賞
8	夢幻能について③ （幽霊能について）	上記、夢幻能について（つづき） 〈求塚〉鑑賞② 〈求塚〉にみるシテ（幽霊）とワキ（僧ワキ）との関係
9	夢幻能について④ （幽霊能について）	上記、夢幻能について（つづき） 〈求塚〉鑑賞③ ・宗教学からみた能〈求塚〉の幽霊の特殊性／僧ワキの機能について
10	夢幻能について⑤ （幽霊能について）	上記、夢幻能について（つづき） 〈船橋〉〈鵜飼〉ほか幽霊能の鑑賞① 作品概要・及び鑑賞
11	夢幻能について⑥ （幽霊能について）	上記、夢幻能について（つづき） 〈船橋〉〈鵜飼〉② 〈鵜飼〉にみるシテ（幽霊）とワキ（僧ワキ）との関係
12	夢幻能について⑦ （幽霊能について）	上記、夢幻能について（つづき） 〈船橋〉〈鵜飼〉③ ・宗教学からみた能〈求塚〉の幽霊の特殊性／僧ワキの機能について
13	夢幻能について⑧ （幽霊能について）	上記、夢幻能について（つづき） 前期まとめ１
14	夢幻能について⑨ （幽霊能について）	上記、夢幻能について（つづき） 前期まとめ２、および試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業内で指示した課題にしっかり取り組む。
本講義ではいくつかの曲を取り上げる予定である。
その際には【参考書】『謡曲集』『謡曲百番』等で本文を事前に確認することが望ましい。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特に指定しない。必要な際は授業内で指示する。

【参考書】
本文
『謡曲集』上・下（表章日本古典文学大系、岩波書店）
『謡曲百番』（新日本古典文学大系、岩波書店）
『謡曲集』一・二（日本古典文学全集、小学館）など
入門書
西野春雄『能・狂言・風姿花伝』（新潮社、1992 年）など
ほかは授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】
出席状況と、学期末の授業内レポートを持って評価する。目安としてはレポート 80 %、平常 20 %とする。ただし、出席状況だけでは判断しない。したがって、レポートを提出しないものは評価できないと考えて下さい。出席はあくまでレポートの評価を補うものとします。
講義内容の曲解や、また講義内容に言及しないレポートの評価は低くなることは言うまでもありません。到達目標を参照し、それを加味したレポートを作成して下さい。

【学生の意見等からの気づき】
試験解答をみていると、そもそも質問の意味を了解していないものが散見される。能に関する知識は、あまり一般的ではないので、図書館等を積極的に活用し、理解を深めてほしい。

【学生が準備すべき機器他】
特にありません。

【その他の重要事項】
※取り上げるテーマは進度等、都合により変更されることがあります。

【Outline and objectives】
In this lecture, we will think about Noh (Kayo) and its surroundings, especially concerning Japanese Buddhism.
Haiku and Tanka have a fixed form, so they stimulate the imagination of people. It is needless to say that this form (the framework of the story) reflects the circumstances and expectations of people when this entertainment is created. Under such circumstances, what was expected for this entertainment? what kind of historical society did affect the establishment of the form? What kind of imagination from that form was newly promoted?

LIT200LA

日本文学と文化ＬＤ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**日本中世仏教と能楽**

今泉　隆裕

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義では能（謡曲）とその周辺事項について、とくに日本仏教とのかかわりについて考える。
俳句や短歌が固定した形式をもつゆえに、かえって人々の想像力を刺激するように、能もいくつかの決まった形式をもっている。この形式（話の枠）には、この芸能が胎動した当時の時代状況や、人々の期待が反映されている。どのような状況下で、どのようなことがこの芸能に要請されたのか。どのような歴史や、社会状況に影響を受けたためにそれらの形式が確立され、その形式からどのような想像力が新たに促がされたのか。本講義では、とくに能と宗教文化（おもに日本仏教）との関連を紹介しながら、その一端を垣間見たいと考える。
とはいえ、能に関する知識はそれほど一般的ではない。はじめの数回、能楽に関する入門的内容をふまえることになる。また時間に余裕があれば、近代における能楽の動向を紹介しつつ、文化がいかに歴史社会とのかかわりの中で存続するのか（あるいは消滅するのか）を考える機会も持ちたい。
そののち勧進興行と能という視点から、一般的に「夢幻能」といわれるもの、なかでも幽霊を主人公（シテ）とする曲を主に扱う。また、離ればなれになった親子の再開を描く、いわゆる「親子物狂能」を取り上げ、その周辺的な事柄を紹介する。
※夢幻能に関する講義が「日本文学と文化ＬＣ」（旧「文学Ⅰ」）、おもに親子物狂能に関する講義が「日本文学と文化ＬＤ」（旧「文学Ⅱ」）となる予定である。ただし、講義内容はその都度変更する場合がある。

【到達目標】
能楽に関する基本的な知識を身につけることを目指す。と同時に、文芸作品が歴史社会とのかかわりのなかで、いかに規制されるのか、また、その規制された視点がどのような想像を促し、どのような表現を創造するのか、その一端を垣間見る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業形態は、講義形式とする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	能楽入門（補足①）	入門的事項の補足説明と「日本文学と文化（前期）」（旧「文学Ⅰ」）の内容をおさらいする（2 回程度）。ただし、連続して講義を受けていない学生が多い場合は、内容を変更して対応したい。
2	能楽入門（補足②）	上記、能楽入門つづき

3	夢幻能について① （神能について）	夢幻能のなかでも神を主人公（シテ）とするものを取り上げ、その特徴について論じる（4 回程度）。 ここでは以下のような項目を取り上げる予定である。 ・鑑賞 ・本説（典拠）と能との比較検討 ・夢幻能（神能）の特徴とその機能について ・シテ（神）とワキ（大臣ワキ）との関係 ・宗教学からみた能の神の特殊性 ・大臣ワキの機能について など
4	夢幻能について② （神能について）	上記、夢幻能、とくに神能について（つづき）〈高砂〉鑑賞① ／作品解説
5	夢幻能について③ （神能について）	上記、夢幻能、とくに神能について（つづき）〈高砂〉鑑賞②／本説（典拠）と能との比較検討 ・シテ（神）とワキ（大臣ワキ）との関係
6	夢幻能について④ （神能について）	上記、夢幻能、とくに神能について（つづき）〈高砂〉鑑賞③／宗教学からみた能の神の特殊性 ・大臣ワキの機能について など
7	親子物狂能について①	春学期でみた勧進興行との関連で寺社の霊験譚として、離ればなれになった親子の再開を描く親子物狂能とその特色などについて論じる（6 回程度）。 ここでは以下のような項目を取り上げる予定である。 ・講義概要
8	親子物狂能について②	上記、親子物狂能について（つづき） 〈隅田川〉鑑賞①／鑑賞
9	親子物狂能について③	上記、親子物狂能について（つづき） 〈隅田川〉鑑賞②／本説（典拠）と能との比較検討
10	親子物狂能について④	上記、親子物狂能について（つづき） 〈隅田川〉鑑賞③／〈弱法師〉と俊徳丸説話、さらにその淵源
11	親子物狂能について⑤	上記、親子物狂能について（つづき） そのほかの親子物狂能　鑑賞①／本説（典拠）と能との比較検討
12	親子物狂能について⑥	上記、親子物狂能について（つづき） そのほかの親子物狂能　鑑賞②／親子物狂能と仏教との関係（まとめ）
13	能楽の近代について①	近代化の中で一時期廃れていた能楽がいかに復活したかについて論じ、文化がいかに歴史社会とのかかわりの中で存続するのか（あるいは消滅するのか）を考える（2 回程度）。
14	能楽の近代について②	上記、能楽の近代について（つづき） 後期まとめ、および試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業内で指示した課題にしっかり取り組む。
本講義ではいくつかの曲を取り上げる予定である。
その際には【参考書】『謡曲集』『謡曲百番』等で本文を事前に確認することが望ましい。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特に指定しない。必要な際は授業内で指示する。

【参考書】
本文
『謡曲集』上・下（表章日本古典文学大系、岩波書店）
『謡曲百番』（新日本古典文学大系、岩波書店）
『謡曲集』一・二（日本古典文学全集、小学館）など
入門書
西野春雄『能・狂言・風姿花伝』（新潮社、1992 年）など
ほかは授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】
出席状況と、学期末の授業内レポートを持って評価する。目安としてはレポート 80 %、平常 20 %とする。ただし、出席状況だけでは判断しない。したがって、レポートを提出しないものは評価できないと考えて下さい。出席はあくまでレポートの評価を補うものとします。
講義内容の曲解や、また講義内容に言及しないレポートの評価は低くなることは言うまでもありません。到達目標を参照し、それを加味したレポートを作成して下さい。

【学生の意見等からの気づき】
試験解答をみていると、そもそも質問の意味を了解していないものが散見される。能に関する知識は、あまり一般的ではないので、図書館等を積極的に活用し、理解を深めてほしい。

【学生が準備すべき機器他】
特にありません。

【その他の重要事項】
※取り上げるテーマは進度等、都合により変更されることがあります。

【Outline and objectives】
In this lecture, we will think about Noh (Kayo) and its surroundings, especially concerning Japanese Buddhism.
Haiku and Tanka have a fixed form, so they stimulate the imagination of people. It is needless to say that this form (the framework of the story) reflects the circumstances and expectations of people when this entertainment is created. Under such circumstances, what was expected for this entertainment? what kind of historical society did affect the establishment of the form? What kind of imagination from that form was newly promoted?

LIT200LA

日本文学と文化ＬＥ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

伊海　孝充

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
日本の幽霊に纏わる伝承・物語について学ぶ。幽霊の物語はその話が生まれた時代や伝播した環境によって、その姿には大きな隔たりがある。この授業では、物語が生まれた土壌について学ぶのと同時に、幽霊が何を表現しているのかを考えていく。

【到達目標】
授業内容は、専門的な文学研究の領域にも及ぶが、専門外の学生にもわかるように説明していく。本講義では、日本の物語がどのような土壌で生まれ、どのような媒介を通して現代まで伝わってきたのかを知ることを目標としている。単に「昔話」の一言では括れない、豊潤な世界を体感してほしい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
まず作品を受講者に分析してもらい、その後解説を加える。授業開始日は５月４日とする。詳しくは学習支援システムを参照すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方について具体例をもとに説明する。
第 2 回	日本の幽霊の特徴	日本の幽霊の伝承・物語について概説する。
第 3 回	「耳なし芳一」の概要	話の概要と様々な話柄を紹介する。
第 4 回	「耳なし芳一」と小泉八雲	『怪談』を中心に「「耳なし芳一」話の広がりを考える。
第 5 回	「耳なし芳一」と琵琶法師	阿弥陀寺の伝承について解説する。
第 6 回	源融と河原院」の概説	話の概要と様々な話柄を紹介する。
第 7 回	怪談話の歴史	説話文学の中の幽霊
第 8 回	幽霊の屋敷の歴史	「場所」の重要性を考える。
第 9 回	「鵜飼いのゆうれい」の概説	話の概要と能「鵜飼」との関係について紹介する。
第 10 回	鵜飼と殺生	殺生にかかわる物語を参看し、漁師の罪を考える。
第 11 回	「鵜飼いの幽霊」と日蓮宗	物語成立の背景とその伝播について考える。
第 12 回	「「百物語」の概説	話の概要と百物語に関わる物語を紹介する。
第 13 回	百物語の座	百物語が行われた場と作法について考える。
第 14 回	まとめ	幽霊譚を形成と展開を確認する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
授業にのぞむ前に、扱う話を一読してくることが望ましい。

【テキスト（教科書）】
毎回プリントを配布する。

【参考書】
授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】
授業内の課題７０％
学期末レポート３０％

【学生の意見等からの気づき】
専門外の学生も授業についていけるよう心がける。

【Outline and objectives】
We learn about Japanese ghost traditions and stories. Ghost stories vary widely in their appearance, depending on when they were born and the environment in which they were transmitted. In this lesson, we will learn about the soil on which the story was born, as well as think about what the ghost is expressing.

LIT200LA

日本文学と文化ＬＦ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

伊海　孝充

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
日本の狐・狸に纏わる伝承・物語について学ぶ。狐と狸は昔話でよく登場する動物だが、人間に災いをもたらすモノとして描かれる一方で、人間に親近性があるモノとして描かれることもある。本講義では、その狐と狸の両義性を学ぶと同時に、人間はこれらの動物に何を投影してきたのかを考えていく。

【到達目標】
授業内容は、専門的な文学研究の領域にも及ぶが、専門外の学生にもわかるように説明していく。本講義では、日本の狸・狐の物語がどのような形成され、どのような媒介を通して現代まで伝わってきたのかを知ることを目標としている。昔話の本質を知り、それを後代へ伝えてほしい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は講義形式に進める。ただし、基本的な話柄を確認するために「まんが日本昔ばなし」などのビデオを用いる。さらに文学作品の広がりを確認するため、視聴覚資料を多用する。鑑賞に際しては、話の疑問点を探しながら集中して観ることが望まれる。また、毎回コメントカードを配布し、それに授業内容に関する疑問点を書いてもらう。それに対する回答は、適宜授業冒頭で行なう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方について具体例をもとに説明する。
第 2 回	「カチカチ山」の概説	話の概要と様々な話柄を紹介する。
第 3 回	残酷な昔話	狸と罪と罰を考える。
第 4 回	「ぶんぶく茶釜」の概説	話の概要と様々な話柄を紹介する。
第 5 回	茂林寺・茶釜	物語の要素と背景を考え。
第 6 回	「たぬきの腹鼓」	狸と腹鼓の結びつきの背景
第 7 回	「きつね女房」の概説	話の概要と様々な話柄を紹介する。
第 8 回	異類婚姻譚	狐と特殊能力
第 9 回	「玉藻の前」の概説	話の概要と様々な話柄を紹介する。
第 10 回	国家を揺るがす狐	狐と災いの関係
第 11 回	「稲荷の物語」の概説	話の概要と様々な話柄を紹介する。
第 12 回	稲荷信仰の多重性	狐への信仰の背景
第 13 回	狐・狸の物語の類似点と相違点	狐・狸の伝承・物語について整理する。
第 14 回	まとめ	狐と狸の物語の展開を確認する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。授業にのぞむ前に、扱う話を一読してくることが望ましい。

【テキスト（教科書）】
毎回プリントを配布する。

【参考書】
授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】
授業内のコメントカード　７０％
学期末レポート　３０％

【学生の意見等からの気づき】
専門用語の解説は丁寧に行なう。

【Outline and objectives】
We learn the traditions and stories of Japanese foxes and raccoons. Foxes and raccoons are animals that often appear in old tales, and they are often described as things that bring harm to humans, but are also things that are close to humans. In this lecture, while learning the ambiguity of the fox and the raccoon, we will also consider what humans have projected onto these animals.

LIT200LA

日本文学と文化 LG

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**現代日本文学と映像表現**

榎本　正樹

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 3/Tue.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
現代日本文学を原作として映画化された作品の一部を観賞した上で、原作の小説を講読します。2019 年に劇場公開された以下の作品から厳選して、6 作品を取りあげる予定です（作品の配列は劇場公開日順です）。
同一の物語内容を含んだ文学表現と映像表現を比較対照し、分析することで、言葉と映像それぞれのメディア固有の表現や技法について考えを深め、「文学固有の表現とは何か？」という視点から小説を読む力の獲得を目指します。
よしもとばなな『デッドエンドの思い出』（チェ・ヒョンヨン監督）
角田光代『愛がなんだ』（今泉力哉監督）
朝井リョウ『チア男子!!』（風間太樹監督）
中島京子『長いお別れ』（中野量太監督）
恩田陸『蜜蜂と遠雷』（石川慶監督）
吉田修一『犯罪小説集』（瀬々敬久監督）
平野啓一郎『マチネの終わりに』（西谷弘監督）
＊劇場公開順。本リストの中からセレクトします。

【到達目標】
現代日本文学の多様なジャンルの小説を深く読むことで、議論の礎となる要素を抽出し、整理し、分析することができるようになります。さらに、個人の生き方や社会システム、性、生、死、ジェンダー、家族、事件、歴史などの諸問題について思考する力を養います。言語表現と映像表現を比較対照することで、メディア固有の表現やメディア間の相互接続性についても理解を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
■本授業は、4 月 28 日（火）から開始します。変更時には再度連絡します。
講義形式をとります。映画の一部を観賞した後、原作小説を精読し、作品分析を行っていきます。映像メディアである映画と言語メディアである小説を比較検討することによって、情報提示の仕方、叙述の方法、人物設定、物語構成の違いなど、表現上の相違点を明らかにしていきます。
履修者には、現代日本文学の多様な表現世界や作品固有の表現に触れ、作品について深く思考し、考えをまとめ、批評的な言葉でアウトプットする力が求められます。小説を事前に読んでいなくても理解できる形で授業を進めていきますが、取りあげる作品については、事前に読んで授業に臨むのがベストです。
本科目は抽選科目です。授業開始前に抽選に参加する必要があります。
抽選の結果当選した学生のみ、履修をすることができます。
抽選エントリー日時： 4 月 15 日（水）午前 10 ： 00〜4 月 20 日（月）午前 9 ： 00
詳細は、以下に掲載の「2020 年度 ILAC 科目/市ヶ谷基礎科目大人数授業　抽選ガイド」
(https://hosei-rinji.com/ilac/rishuguide2020/) を確認してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	ガイダンス授業
2	映画観賞 (1)	原作の映画鑑賞
3	原作小説の講読 (1)	小説の講読＆分析＆考察
4	映画観賞 (2)	原作の映画鑑賞
5	原作小説の講読 (2)	小説の講読＆分析＆考察
6	映画観賞 (3)	原作の映画鑑賞
7	原作小説の講読 (3)	小説の講読＆分析＆考察
8	映画観賞 (4)	原作の映画鑑賞
9	原作小説の講読 (4)	小説の講読＆分析＆考察
10	映画観賞 (5)	原作の映画鑑賞
11	原作小説の講読 (5)	小説の講読＆分析＆考察
12	映画観賞 (6)	原作の映画鑑賞
13	原作小説の講読 (6)	小説の講読＆分析＆考察
14	レポート提出	授業時間内レポート提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
事前に原作小説を読んでいなくても理解できる形で授業を進めていきますが、物語内容や人物関係を把握する上でも、小説を読んで授業に臨むのがベストです。授業で取りあげた小説や映像作品は、授業外の環境で、もう一度読み直し観賞し直し、作品の理解を深めるよう努めてください。
最終授業時に提出するレポート執筆の事前準備として、対象作品を精読し、その中で得た「気づき」をメモにとったり、疑問点や重要なポイントと思われる箇所についてまとめる作業を随時行ってください。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業で扱う小説の文庫本。

【参考書】
必要な資料はプリントで配付します。

【成績評価の方法と基準】
レポートで評価します（100 %）。
試験や小テストはありません。
レポートは春学期最終授業時間に提出です。レポート内容は、「授業でとりあげた作品の中から一作を選び、作品論を展開する」というものです。授業内容を踏まえ、自分が選んだ作品について、自分で設定したテーマに基づき、自分の言葉で「論」を展開してください。分析の鋭さ、論考の深さ、文章の正確さ、構成の巧みさなどを見て採点します。詳細は、初回のガイダンス授業時に説明します。

【学生の意見等からの気づき】
映画を観る時間を増やしてほしいとの意見が多くあるので、可能な限り鑑賞時間を増やす努力をします。
専門科目ではないので、現代日本文学になじみのない学生にも分かりやすい言葉で、分析と解説を行うよう心がけます。

【その他の重要事項】
現代日本文学のみならず、映像メディアに関心をもつ学生の履修を歓迎します。
榎本のプロフィールや研究・評論活動は、サイト（http://enmt.jp）で確認できます。ツイッター（@enmt）での情報発信も行っていますので、履修時の参考にしてください。

【Outline and objectives】
We will read through the original novels after watching films based on contemporary Japanese literature. We plan to highlight the following 6 titles after carefully selecting from the works released in 2019.
By comparing and analyzing literary expressions and visual expressions of the same story events, we will deepen our thoughts about specific expressions and techniques of the book and film media. We aim to acquire the ability to read novels from the perspective of "what literature-specific expressions are."

LIT200LA

日本文学と文化 LH

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**新海誠の映像表現と文学世界**

榎本　正樹

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 3/Tue.3
単位数：2 **単位**
法文営国環キ 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
新海誠監督のアニメーション映画『君の名は。』は、アニメーション界や映画界を超えた近年の日本映画最大のヒット作品として、多くの観客の支持と共感を得ました。国内観客動員数 1,900 万人を突破、興行収入 250 億円を超える大ヒットとなり、邦画興行収入歴代 2 位を記録、アジア圏では 7 冠達成を記録し、日本のみならず世界各国の記録を塗り替えることになりました。2019 年には最新作『天気の子』が封切られ、前作同様の評価を得ました。アニメーションというジャンルの枠を越えた同時代の重要な表現者として、新海誠という存在をとらえ直す必要があります。
新海誠というクリエーターの名前を、『君の名は。』で初めて知った人が多いかもしれませんが、新海監督のキャリアは 2000 年代初頭に遡ることができます。新海作品の根底にあるのは「言葉」に重きを置いた世界造形、言い換えれば「文学」への強い視線です。人と人の間の繊細なコミュニケーションを、精緻な言葉と独自の映像美学によって表現するその姿勢は、「アニメーションという表現手段を用いた文学」と形容可能なものです。
新海誠は「アニメーション監督」であるとともに「小説家」でもあります。新海は自身の手で代表作をノベライゼーション（小説化）を手がけていますが、それらは単に映像作品を言葉に置き換えたものではなく、小説作品として自立しています。同一の作者による映画版と小説版を比較検討することで、映像表現と小説表現の違いを検証することが可能です。
本講義では、新海誠の初期作品から最新作まで入手可能な映像作品を参観しつつ、「新海誠の文学世界」を紐解いていきます。同時代の先端的な表現者である新海誠の主要作品を「網羅的」に観賞し、かつ「分析的」に解読する経験を通して、作品批評のための技術を獲得します。

【到達目標】
映像作品であるアニメーションを分析的に解読する技術を身につけ、表現や仕掛けや物語構造などについて、自分の言葉で論述できるレベルを目指します。関連資料を参照し、さまざまな他人の意見やコメントに目を通し、作品のモデルとなった場所に実際に赴くことで、作品の背景にある文化的、歴史的、地理的背景について深く学び、作品を客観的に論じる力を得ます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は講義形式とプレゼンテーション形式を合わせた形で行います。新海誠作品を初期から最新作まで（場合によっては作品の一部を）を観賞し、各シーンについて解説と分析を加えていきます。アニメーションで重要なのはシーンを構成するカットです。カットにはクリエーターの「世界そのものへの純粋な視線」が投影されています。もう一つ重要なのは、言葉（ナレーションや科白や対話）です。本授業では新海作品の言葉に特に注目し、物語の中で言葉がどのように作用しあい、コミュニケーションの主題を提示していくのかを細かく探っていきます。
新海監督自身の言葉、関連資料の紹介や他の論者の考察など、作品をめぐる多様な言説を紹介する機会も設けます。
本科目は抽選科目です。授業開始前に抽選に参加する必要があります。
抽選の結果当選した学生のみ、履修をすることができます。
抽選エントリー日時： 4 月 15 日（水）午前 10 ： 00～4 月 20 日（月）午前 9 ： 00
詳細は、以下に掲載の「2020 年度 ILAC 科目/市ヶ谷基礎科目大人数授業　抽選ガイド」
(https://hosei-rinji.com/ilac/rishuguide2020/) を確認してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	新海誠、その人と作品について
2	『遠い世界』と『彼女と彼女の猫』	最初期作品を概観する
3	『ほしのこえ』	物理的な「距離」と精神的な「距離」
4	『雲のむこう、約束の場所』	ＳＦの趣向を通して表現された世界
5	『秒速５センチメートル』	人物と風景、あるいは速度をめぐる物語
6	『星を追う子ども』	異界に移動し帰還する「子ども」たち
7	『言の葉の庭』	独自の映像美学を支える文学性
8	『小説 言の葉の庭』	ノベライゼーションの方法
9	短編作品＆ CM 作品	新海誠のアザーワークス
10	『君の名は。』その 1	「すれ違い」と「入れ替わり」の趣向をめぐって
11	『君の名は。』その 2	共苦する魂のゆくえ
12	『天気の子』その 1	オリンピック後の未来はいかに描かれたか
13	『天気の子』その 2	人身御供譚としての読みとり
14	レポート提出	授業時間内レポート提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
アニメーションを観たり小説を読む際に受動的に観賞するのではなく、作品の細部について自分の言葉で客観的に書いたり話したりする習慣をつけましょう。授業で取りあげる映像作品や小説を繰り返し観たり読んだりして、その中で得た「気づき」をメモにとったり、疑問点や重要なポイントと思われる箇所についてまとめる作業を随時行ってください。
また機会があれば、作品の中に登場する場所に赴く「聖地巡礼」に挑戦してみてください。実在する場所が物語のシーンでどのような意味を与えられているのか、体験的に学習してください。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
榎本による新海誠についての評論本が、2020 年夏頃までに刊行される予定です。秋学期の授業開始には間に合うと思われますので、刊行が正式にアナウンス可能な時期になった段階で、使用教科書として改めて告知します。

【参考書】
授業で扱う新海誠のノベライゼーション作品は参考書とします。必要に応じて、個人で入手してください。『小説 秒速５センチメートル』『小説 言の葉の庭』『小説 君の名は。』『小説 天気の子』とも、角川文庫で入手可能です（電子書籍版もあります）。
http://www.kadokawa.co.jp/product/321510000146/
http://www.kadokawa.co.jp/product/321510000145/
http://www.kadokawa.co.jp/product/321603000121/
https://www.kadokawa.co.jp/product/321903000333/
その他の参考書・参考文献や参考サイトは膨大にあるので、教室で示します。
必要な資料はプリントで配付します。

【成績評価の方法と基準】
レポートで評価します（100 %）。
試験や小テストはありません。

レポートは秋学期最終授業時間に提出です。レポート内容は、「授業で取りあげた新海監督作品の中から、一作品または複数の作品を選び、作品論を展開する」というものです。授業内容を踏まえ、自分が選んだ作品について、自分で設定したテーマに基づき、自分の言葉で論を展開してください。
分析の鋭さ、論考の深さ、文章の正確さ、構成の巧みさなどを中心に採点します。詳細は、初回のガイダンス授業時に説明します。

【学生の意見等からの気づき】
専門用語など難易度が高いタームの使用を控え、初級者にも理解しやすい授業を心がけます。
可能な限り映像作品を観る機会を増やします。

【その他の重要事項】
アニメーションや現代日本文学に関心をもつ学生の履修を歓迎します。
榎本のプロフィールや研究・評論活動は、サイト（http://enmt.jp）で確認できます。ツイッター（@enmt）での情報発信も行っていますので、履修時の参考にしてください。

【Outline and objectives】
Shinkai Makoto is Japanese animation director. His animation film is highly acclaimed not only in Japan but also overseas. Last summer, his latest work " Weathering With You" was released. I decode Shinkai's all animation works from various viewpoints.

LIT200LA

外国文学と文化ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**西洋文学と音楽**

鈴木　正道

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、西洋の文学、特に音楽とかかわりの深い作品を扱います。音声や文字という記号の表現である文学と、直接感性に訴える音の連なりである音楽は、元来切っても切れない関係にあります。「詩」は「うたふ」ものであり、かつて物語は韻律をともない楽器にのせて語られました。
春学期では、ミュージカルの名作として愛され続けている『レ・ミゼラブル』を原作を参照しつつ分析します。さらに最も人気の高いオペラの一つである『椿姫』を扱います。次にシェークスピアの名高い『ロミオとジュリエット』を取り上げます。この作品は様々な作曲家により音楽化されています。さらにこの現代への翻案として創られたミュージカル『ウエストサイド物語』を扱います。

【到達目標】
芸術作品を観賞しつつ、批評、分析する手法を身につけます。春学期に設定されたこの科目では、基礎として小論文の書き方を学びます。この授業を履修することで、報告、論述文を書く基礎的な力がつきます。また出版、メディア、教育などの分野で働くうえで必要な基礎的な知識を身につけることができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
主に講義の形をとりますが、教員が投げかける疑問に学生が考えて答えることが求められます。学生の側からの疑問の投げかけも歓迎されます。
また提出する小論文の題材は自分で選ぶので、常日ごろ自ら積極的に題材を探しておく必要があります。
ヴィクトル・ユゴーによる『レ・ミゼラブル』の原作を概観したうえで、ミュージカルを鑑賞し、分析します。またほぼ同時期に書かれた小説かつ戯曲をもとに創られたオペラ『椿姫』を扱います。
『ロミオとジュリエット』を概観し、鍵となる場面を詳しく検討します。そのうえで音楽家によるさまざまな作品を鑑賞し、分析します。さらに『ロミオとジュリエット』の現代への翻案として創られた『ウエストサイド物語』を、元ネタとのかかわりを含めて鑑賞し、分析します。時代も背景も異なる状況で書かれた物語にも、シェイクスピアの名高い作品の影が映っていることを見ます。
春学期では、いわゆる「芸術系」の「論文」、「報告文」とはどのようなものか、どのようなものであるべきかも学びます。
　春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日は 4 月 27 日とします。この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムでお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	授業の説明、 『レ・ミゼラブル』1 そもそもこれはどのような作品か	ヴィクトル・ユーゴー：ロマン主義運動の総帥 小説『レ・ミゼラブル』
2	『レ・ミゼラブル』2 ぶつかる二人の主要人物	ミュージカル： ジャン・ヴァルジャン とジャヴェール
3	『レ・ミゼラブル』3 ハッピーエンドのカップルともう一人	コゼットとマリウス エポニヌという存在
4	『レ・ミゼラブル』4 様々な作品	英語によるミュージカルということ 他の英語による映画、フランス語によるドラマなど
5	『椿姫』1 そもそもどのような作品か。「椿」の「お姫様」とは？	アレクサンドル・デュマ（息子）の小説と戯曲『椿姫』
6	『椿姫』２ 誰もが知っているあのメロディー	ジュゼッペ・ヴェルディのオペラ『椿姫』 序曲と冒頭 「乾杯の歌」
7	『椿姫』３ 父と息子、息子の妻	アルフレードの父とヴィオレッタ
8	『椿姫』４ 原作とオペラでなぜ最後が異なるのか 芸術論の書き方	最終場面 小説と戯曲とオペラの比較 論文と感想文の違い 引用の仕方 著作権について
9	『ロミオとジュリエット』1 誰もが聞いたことはあるあの作家、あの作品、 誰もが見たことのあるあの場面	ウィリアム・シェイクスピアの戯曲：元ネタと著作権 映画版：ゼフィレッリ監督 1968 年 冒頭とバルコニーの場面
10	『ロミオとジュリエット』2 どう描くか、演出による違い	決闘の場面 最終場面 ゼフィレッリ版とルールマン版（1966 年）
11	『ロミオとジュリエット』3 バレエ：セリフがないシェイクスピア演劇	セルゲイ・プロコフィエフのバレエ音楽 冒頭 「騎士たちの踊り」 （シンセサイザーなどによる ELP 版） バルコニーの場面
12	『ロミオとジュリエット』4 原作と最後が大きく違うオペラ	シャルル・グノーのオペラ： 冒頭とバルコニーの場面 決闘の場面 最終場面
13	『ウエストサイド物語』1 誰もが見たことのあるあの振り付け	現代への翻案 ジャズ的表現：裏拍； 悪魔の？ 魅惑の？ 減 5 度 『ロミオとジュリエット』との比較： 登場人物と設定の共通点と違い 冒頭場面 Tonight America（The Nice による編曲）
14	『ウエストサイド物語』2 どこが、そしてなぜ「原作」と異なるのか	決闘場面 Cool 最終場面 永遠のテーマ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
扱われる作品の原作をあらかじめ読んでおいて下さい。さらに AV ライブラリなどで借りて映像作品をみておくといいかと思います。また授業中に作品に関する疑問を投げかけることがありますので、それについて調べて考えておいてください。こうした作業を通して、常日頃から小論文の題材を探して吟味しておくことが大切です。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
決まった教科書はありません。
プリントを配ります

【参考書】
【参考書 / References】
『大学生のためのレポート・論文術』小笠原喜康、講談社現代新書 1603.
『論文レポートの文章作法』古郡廷治、有斐閣新書 C164
『著作権とは何か』、福井建策、集英社新書 0924A
他にも随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】
授業で行った小論文の書き方に沿って、学期末に小論文を書いて提出していただきます。これを主な材料として（80%）評価します。授業で紹介されたことを取っ掛かりとして、自分で主題を絞ってそれに関して詳しく調べ、わかりやすく述べることが大切です。授業への参加状況（発言や質問など）をも考慮して（20%) 成績を出します。春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も 変更します。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示します。

【学生の意見等からの気づき】
授業では作品の一部をコマ切れに見せられたが、通して鑑賞したいという声をいただきました。確かにオペラなどはＤＶＤやブルーレイディスクでも自分で買って見ることが難しいかもしれません。時間の限度もありますが、できるだけ多くの場面を見ることができるようにしたいと思います。

【Outline and objectives】
This course deals with occidental literature, especially works adapted for music. Literature, which expresses its objects by signs, and music, which appeals to sentiments by sequences of sounds, are closely related to each other. Stories were once sung accompanied by musical instruments.
The works dealt with during the spring term will be:
"Les Misérables" (musical), "La Traviata"(opera), "Romeo and Juliet" (movie, ballet, opera), "West Side Story" (musical).

LIT200LA

外国文学と文化ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**西洋文学と音楽**

鈴木　正道

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に引き続いて、西洋の文学、特に音楽とかかわりの深い作品を扱います。モーツァルトとサリエリのライヴァル関係を描いた演劇および映画『アマデウス』を軸に、モーツァルトの『フィガロの結婚』、『ドン・ジオヴァンニ』、サリエリの『タラール』といったオペラ、モリエールの『ドン・ジュアン』、ボーマルシェの『フィガロの結婚』などの戯曲を分析します。その次に、ミュージカルとして人気を博しているルルー原作の『オペラ座の怪人』を扱います。

【到達目標】
芸術作品を観賞しつつ、さらには批評、分析する手法を身につけます。この授業を履修することで、報告、論述文を書く基礎的な力がつきます。また出版、メディア、教育などの分野で働くための基礎的な知識を身につけることができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
主に講義の形をとりますが、教員が投げかける疑問に学生が考えて答えることが求められます。学生の側からの疑問の投げかけも歓迎されます。
また常日頃、提出する小論文の題材を積極的に探しておくことが必要です。
秋学期には、イギリスの劇作家ピーター・シェファーの『アマデウス』を軸に、その中に登場するヨーロッパの 17 世紀から 18 世紀の文学作品、またそれにちなむ音楽作品を扱います。『アマデウス』は作者自身が脚色して映画化されて多くの人々に評価されたので、知っている方も多いことでしょう。まず、この作品の概要を見渡し、それからこの作品の中に登場する音楽、その原作となった文学作品を概観し、分析します。分析の方法論も学びます。学生の皆さんには討論や分析を実践していただきます。
『オペラ座の怪人』は 20 世紀の初めにフランスのミステリー作家ガストン・ルルーによって発表された作品ですが、英語によるミュージカルで今では人気を博しています。美と醜、歴史的な建物に潜む謎など、ある意味では定番の数々のテーマを分析します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	授業の説明、 『アマデウス』とは	演劇と映画;「神に愛されたる者」の物語
2	『アマデウス』 衝撃の出会い	モーツァルトとサリエリのライヴァル関係 戯曲と映画
3	『フィガロの結婚』1 原作者はどんな人か オペラへの翻案	ボーマルシェの戯曲：政治的な意味合い ダ・ポンテの台本とモーツァルトのオペラ： 序曲と冒頭
4	『フィガロの結婚』2 ケルビーノというトリックスター	「自分で自分がわからない」 「もう飛ぶまいぞこの蝶々」 映画『アマデウス』におけるサリエリの行進曲の変奏
5	『フィガロの結婚』3 『アマデウス』で見せられる場面と実際の譜面の違い	第 2 幕の最終場面の 7 重唱 結婚式の場面 第 4 幕のどんでん返し 最終場面
6	『タラール』とはどんな作品か	ボーマルシェ自身が台本を書いたサリエリのオペラは当時のお手本オペラ
7	ドン・ファン伝説 モリエールの『ドン・ジュアン』1 唯物論者にして快楽主義者？	女たらしの伝説 無神論の誘惑者？ モリエールの演劇：フランス古典主義の時代 冒頭 貧者との対話の場面
8	『ドン・ジュアン』2 父親という法、掟	騎士隊長の像 亡霊 晩餐 最終場面
9	オペラ『ドン・ジオヴァンニ』1 グロテスク：おぞましくも滑稽	ダ・ポンテの台本とモーツァルトのオペラ：序曲、 女のリスト
10	『ドン・ジオヴァンニ』2 超自然をどう演出するか	村の娘の誘惑 騎士隊長の像
11	『ドン・ジオヴァンニ』3 再び『アマデウス』 歴史上の謎をどう演出するか	晩餐 最終場面のさまざまな演出： 映画『アマデウス』版 ロゼー版 精神分析：科学か 20 世紀の骨相学か 『アマデウス』の最終場面
12	『オペラ座の怪人』1 これはオペラではない、オペラ劇場を扱った作品。	原作者のガストン・ルルーとは？ 小説『オペラ座の怪人』 2004 年の映画版ミュージカル
13	『オペラ座の怪人』2 読み手／観客を惹きつける設定	ミュージカル： 人気スターと新進の歌い手、 謎と恐怖
14	『オペラ座の怪人』3 捕り物という定番クライマックスと余韻を残す最終場面	ミュージカル： 表の二枚目と裏のヒーロー

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
扱われる作品の原作をあらかじめ読んでおいて下さい。さらに AV ライブラリなどで借りて映像作品をみておくといいかと思います。また授業中に作品に関する疑問を投げかけることがありますので、それについて調べて考えておいてください。こうした作業を通して、常日頃から小論文の題材を探して吟味しておくことが大切です。
常日ごろから、提出すべき小論文の題材を探して調べておくことが必要です。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
指定した教科書はありません。プリントを配ります。

【参考書】
『大学生のためのレポート・論文術』小笠原喜康、講談社現代新書 1603.
『論文レポートの文章作法』古郡廷治、有斐閣新書 C164
『著作権とは何か』、福井建策、集英社新書 0924A
他にも随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】
授業で行った小論文の書き方に沿って、学期末に小論文を書いて提出していただきます。これを主な材料として（80%）評価します。授業で紹介されたことを取っ掛かりとして、自分で主題を絞ってそれに関して詳しく調べ、わかりやすく述べることが大切です。授業への参加状況（発言や質問などー 20 %）をも考慮して成績を出します。

【学生の意見等からの気づき】
せっかくのオペラなのだから、コマ切れでなく通して鑑賞したいという声をいただきました。確かに映画と異なり、ＤＶＤやブルーレイディスクでも買ったり借りたりするのが難しいオペラは個人では鑑賞しにくいかもしれません。時間の限度もありますが、できるだけ多くの場面を見ることができるようにしたいと思います。

【Outline and objectives】
As in the spring semester, this course deals with occidental literature, especially works adapted for music. The works dealt with during the fall term will be:
"The Marriage of Figaro", "Tarare", "Don Giovanni" (opera works presented in Peter Shaffer's "Amadeus", which will be also treated in this course); "Le Fantôme de l'opéra", one of the most popular musicals, originally written by Gaston Leroux.

LIT200LA

外国文学と文化ＬＥ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**イタリア・オペラに親しむ（1）**

大﨑　さやの

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月 2**/Mon.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
オペラは１６世紀末にイタリアで生まれた舞台芸術形式です。本講義では、イタリア・オペラの代表的な作品をとりあげ、さまざまな演出により上演された舞台を映像で鑑賞、オペラという舞台芸術の歴史を学びつつ、現代におけるあり方を考えます。日本では比較的馴染みが薄いオペラですが、特にイタリア・オペラはありふれた内容のものが多く、肩肘張って見るような難しいものでは決してありません。楽しみながらヨーロッパ文化の神髄であるオペラに親しんでいきましょう。

【到達目標】
イタリアの文化と社会について理解を深めることにより、ヨーロッパの文化や社会全般に関する教養を身につけることが本講義の目標です。さまざまな興味を持つみなさんの参加を期待しています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
オペラの誕生したルネサンスから１８世紀までのオペラを講義形式で扱います。プリントの他、視聴覚教材を用います。また適宜、課題を提出してもらいます。
【2020/04/20 更新】春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日は 4 月 30 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	イントロダクション	授業紹介、Zoom を用いた同時双方向通信と授業支援システムを用いた授業方法の説明
②	ルネサンスの舞台芸術（1）	宮廷演劇とルネサンスの劇場
③	ルネサンスの舞台芸術（2）	コンメディア・デッラルテとマドリガル・コメディー
④	オペラの誕生（1）	カメラータ・フィオレンティーナとオペラの誕生、モンテヴェルディの生涯
⑤	オペラの誕生（2）	モンテヴェルディ作曲のオペラ（1）
⑥	バロック・オペラ（1）	モンテヴェルディ作曲のオペラ（2）
⑦	バロック・オペラ（2）	ヘンデルの生涯と作品。ヘンデル作曲のオペラ
⑧	バロック・オペラ（3）	ヘンデル作曲のオペラの続き
⑨	オペラ・セーリアとオペラ改革（1）	グルック作曲のオペラ（1）生涯と作品

⑩	オペラ・セーリアとオペラ改革（２）	グルック作曲のオペラ（２）作品鑑賞
⑪	オペラ・ブッファについて	ガルッピ、ハイドン作曲のオペラほか
⑫	古典派オペラ（１）	モーツァルト作曲のオペラ（１）生涯と作品
⑬	古典派オペラ（２）	モーツァルト作曲のオペラ（２）作品の前半部の鑑賞
⑭	古典派オペラ（３）	モーツァルト作曲のオペラ（３）作品の後半部の鑑賞

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業内で指示します。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業支援システムで資料を配布します。教科書は使用しません。

【参考書】
授業内、または授業支援システムで紹介します。

【成績評価の方法と基準】
平常点（課題提出も含む）50 %、期末試験 50 %を予定していますが、オンライン授業の今後の状況により変更する可能性（たとえば期末試験を期末レポートにするなど）があります。

【学生の意見等からの気づき】
わかりやすい授業をこころがけます。

【学生が準備すべき機器他】
【重要】通常の対面授業と異なり、課題提出のレポートを作成し、オンラインで提出するにあたり、ワード等のワープロ機能（大学の Office 365 に入っています）が使えることが望ましいです（難しい場合は手書きレポートを写真に撮ったものの送付も可）。また、授業では映像を多用しますので、通信容量が多く必要となります。

【Outline and objectives】
Opera is a performing art form born in Italy at the end of the sixteenth century. In this class, I will take up representative works of Italian opera and give a lecture on its history.

LIT200LA

外国文学と文化ＬＦ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**イタリア・オペラに親しむ（2）**

大﨑　さやの

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
オペラは１６世紀末にイタリアで生まれた舞台芸術形式です。本講義では、イタリア・オペラの代表的な作品をとりあげ、さまざまな演出により上演された舞台を映像で鑑賞、オペラという舞台芸術の歴史を学びつつ、現代におけるあり方を考えます。外国文学と文化Ｆでは、春学期の外国文学と文化Ｅに引き続き、１９世紀から２０世紀にかけての爛熟期のイタリア・オペラを扱います。

【到達目標】
イタリアの文化と社会について理解を深めることにより、ヨーロッパの文化や社会全般に関する教養を身につけることが本講義の目標です。さまざまな興味を持つみなさんの参加を期待しています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は講義形式です。プリントの他、DVD やビデオ等の視聴覚教材を用います。また適宜、課題を提出してもらいます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	ロマン派オペラ（１）	ロッシーニ作曲のオペラ（１）生涯と作品
②	ロマン派オペラ（２）	ロッシーニ作曲のオペラ（２）作品鑑賞
③	ロマン派オペラ（３）	ドニゼッティ作曲のオペラ（１）生涯と作品
④	ロマン派オペラ（４）	ドニゼッティ作曲のオペラ（２）作品鑑賞
⑤	ロマン派オペラ（５）	ベッリーニ作曲のオペラ
⑥	ロマン派オペラ（６）	ヴェルディ作曲のオペラ（１）その前半生
⑦	ロマン派オペラ（７）	ヴェルディ作曲のオペラ（２）その後半生
⑧	ロマン派オペラ（８）	ヴェルディ作曲のオペラ（３）作品について
⑨	ロマン派オペラ（９）	ヴェルディ作曲のオペラ（4）作品の前半部の鑑賞
⑩	ロマン派オペラ（１０）	ヴェルディ作曲のオペラ（５）作品の後半部の鑑賞
⑪	ヴェリズモ・オペラ	マスカーニ作曲のオペラ
⑫	世紀末から２０世紀にかけてのオペラ（１）	プッチーニ作曲のオペラ（１）生涯と作品
⑬	世紀末から２０世紀にかけてのオペラ（２）	プッチーニ作曲のオペラ（２）作品の前半部の鑑賞
⑭	世紀末から２０世紀にかけてのオペラ（３）	プッチーニ作曲のオペラ（３）作品の後半部の鑑賞

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業内で指示します。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
プリントを配布します。教科書は使用しません。

【参考書】
授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】
平常点（課題提出も含む）50 %、期末試験 50 %

【学生の意見等からの気づき】
分り易い授業を心がけます。

【Outline and objectives】
Opera is a performing art form born in Italy at the end of the sixteenth century. In this class, I will take up representative works of Italian opera and give a lecture on its history.

LIT200LA

文学と社会ＬＣ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**江戸の印刷・出版物**

白戸　満喜子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では江戸時代の文学作品『御存商売物』を通読します。作品を通して江戸の出版文化の多様性に触れていきます。江戸という地域・時代に暮らした人々が手にしていた、読んでいた、眼にしていた、時には聴いていたさまざまなメディアを、実際に読んだり聴いたりすることで江戸を体感します。

【到達目標】
江戸時代の特徴的な文化や慣習・感覚をテキスト『御存商売物』を通じて理解することが目標。
くずし字（変体仮名）で書かれた簡単な出版・印刷物を判読できるようになることがもう一つの目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
『御存商売物』という江戸時代の印刷・出版物を人物になぞらえた作品を通読しながら講義を行います。
あわせて作品の中に登場人物として描かれている印刷・出版物を読解する演習形式を取り入れます。
意匠絵本（デザイン集）・暦など、簡単な読み物の翻字（くずし字を現代仮名遣いにすること）の仕方を解説します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・江戸時代の文学について ・テキスト『御存商売物』について ・外国人から見た江戸
2	テキスト『御存商売物』の解説	・日本の書物 ・江戸後期の文学作品 ・江戸の出版
3	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の紋様 ・大坂と江戸
4	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の人気小説 ・江戸の食べ物
5	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の絵画 ・江戸時代までの紙 ・江戸の流行歌
6	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・「見立（みたて）」という表現 ・小道具と物語の関係 ・絵と文の関係を読み取る
7	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の慣習 ・江戸の街並み
8	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の繁華街「吉原」 ・浮世絵と鑑賞の基礎知識

9	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・現在と異なる暦 ・江戸の教養を支えた書物
10	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の土産物 ・江戸時代の夫婦喧嘩
11	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の占い ・江戸のおまじない
12	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の学問書 ・江戸時代の情報伝達
13	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸時代の流行り廃り ・江戸の刑罰
14	授業のまとめ	・江戸時代の豊かな出版文化

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業中に随時、レポートに関する情報を話しますので、その情報を参考にしながら江戸に関する知識を広げて下さい。
くずし字の読解に必要な資料（配布プリント）は毎回持参し、授業前には一読しておくこと。くずし字読解の準備と復習には各時間必要とします。

【テキスト（教科書）】
授業中にプリントを配布します

【参考書】
くずし字読解のための参考文献は以下の 2 冊ですが、読解に必要なプリントは別途授業中に配布します。
・笠間影印叢刊刊行会『字典かな』笠間書院
・松尾聡編『変体平仮名演習』笠間書院

【成績評価の方法と基準】
レポート 40 ％　筆記試験（最後の授業時に一回）40 ％　平常点（授業への取り組み・発言）20 ％　として評価します。
詳細は開講時にお知らせします。

【学生の意見等からの気づき】
「高校までは学んでこなかった、非常に興味深い内容だった」という感想が寄せられています。古典文学でもなく、現在の小説とも異なる、江戸の大人の娯楽と教養を『御存商売物』という作品を通じて楽しんで下さい。

【Outline and objectives】
In this class, we read through the literary work "Gozonji-no-shobaimono" in the Edo Period. Through the work we can touch on the diversity of Edo's publishing culture. You will experience Edo by actually reading and listening to various media that people were living in in the region & the era of Edo. Sometimes you can listen the audible media.

LIT200LA

文学と社会ＬＤ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**江戸の絵本で読む百人一首**

白戸　満喜子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
浮世絵が添えられた絵本『錦百人一首あづま織』https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2533227 を受講生全員で分担し、読解・解釈をします。最近では競技としての知名度が上がってきた百人一首が、いつ、どのようにして成立し、また現在まで人々に愛されてきたのか。江戸時代の人々が楽しんだ百人一首を読み解き、和歌の解釈と描かれた歌人について学んでいきます。

【到達目標】
くずし字で書かれた和歌（ひらかなの部分）を判読し、くずし字で書かれた和歌（ひらかなの部分）を判読し、解釈することが各受講生の目標です。
各自の担当する和歌について、１：翻字をする、２：解釈（意味や技法）する、という 2 点から考察・発表をし、『錦百人一首あづま織』という絵本の成立を理解し、和歌の知識を深めます。。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
はじめは百人一首と『錦百人一首あづま織』について講義を行います。その後は分担する和歌についての読解・解釈を順番に発表します。発表者以外はそれぞれの読解・解釈を準備しておき、発表内容に対して発言して意見交換をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション 百人一首とは何か くずし字読解の方法と解釈	テキスト『錦百人一首あづま織』の発表順番決定
2	テキスト『錦百人一首あづま織』の構成について解説	テキストに関する講義
3	テキスト『錦百人一首あづま織』序文	テキストの翻字・解釈の具体的な方法・内容
4	勅撰和歌集に関する講義１および受講者による発表１回目	・勅撰和歌集とは何か：八代集 ・担当者による発表
5	勅撰和歌集に関する講義２および受講者による発表２回目	・八代集以降の勅撰和歌集 ・担当者による発表
6	歌合に関する講義および受講者による発表３回目	・歌合とは何か ・担当者による発表
7	歌道に関する講義１および受講者による発表４回目	・歌道とは何か：その発生と古今伝授 ・担当者による発表
8	歌道に関する講義２および受講者による発表５回目	・江戸時代以降の和歌 ・担当者による発表

9	百人一首写本に関する講義１および受講者による発表６回目	・手で書き写された百人一首の世界：中世 ・担当者による発表
10	百人一首写本に関する講義２および受講者による発表７回目	・手で書き写された百人一首の世界：近世 ・担当者による発表
11	百人一首版本に関する講義１および受講者による発表８回目	・印刷された百人一首 ・担当者による発表
12	百人一首版本に関する講義２および受講者による発表９回目	・浮世絵と百人一首 ・担当者による発表
13	百人一首版本に関する講義３および受講者による発表１０	・かるたとは何か ・担当者による発表
14	テキスト『錦百人一首あづま織』のまとめ	教員による全体の解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
受講生全員に担当が割り振られますから、担当部分に関しての翻字ができるよう自習して下さい。
解釈に必要な資料の検索・利用方法については、授業中にデモンストレーションを実施予定。
翻字や発表について不明な点は毎回の授業前後に質問して下さい。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
初回授業でプリントを配布します。

【参考書】
くずし字を読むための参考文献は以下の 2 冊ですが、読解用のプリントは別途授業中に配布します。
・笠間影印叢刊刊行会『字典かな』笠間書院
・松尾聡編『変体平仮名演習』笠間書院

【成績評価の方法と基準】
発表時の内容 30 %　レポート 40 %　平常点（授業への参加・発言）30 %　として評価します。

【学生の意見等からの気づき】
「江戸時代の文字を翻字すること、内容を読み解くこと、どちらも謎解きのようで楽しかった」という感想が寄せられています。
くずし字の読解は、昔の日本人たちと時空を越えたコミュニケーションをするようなもの。
語学習得に似ているものの、ひと味異なる独特の達成感を味わって下さい。

【その他の重要事項】
関連部分があるので文学と社会ＬＣを履修していることが望ましいが、前向きな性格・柔軟な思考・気合などのどれかがあれば秋学期のみの履修も可能。

【Outline and objectives】
In this class, we read the original book of "Nishiki Hyakunin Isshu Azuma Ori" https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2533227 with ukiyo-e. Hyakunin Isshu has been loved by people, and recently it has gained recognition as a sport. We will read Hyakunin Isshu which was made in the Edo period, and learn about the interpretation of waka and the singer drawn.

LIT200LA

文学と社会ＬＥ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**文学作品を読む技術**

中澤　忠之

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
小説を読むとき、私たちはどんなところを重視するでしょう。たとえば、泣けるかどうかとか、感情移入できるかどうか、とかいったところでしょうか。実際、これまで中学校や高校の現国の授業では、主人公の心情を素直に読み取るトレーニングを受けてきたはずです。しかし、小説の書き方・読み方は一様ではありません。この講義は、小説の書き方・読み方には多様性があることを知り（夏目漱石とライトノベルを優劣関係ではなく多様性の一つとして捉えること）、それを身に付ける土台作りとなるでしょう。そのためにはまず、小説の成り立ちをおさらいすることからはじめます。そして文学史にしたがって、小説の書き方・読み方が変化し、新たな書き方・読み方の発見が文学史を豊かに形成してきたことを確認します。戦前の文学史がメインですが、最近の文学史にも積極的にふれます。マンガや映画、美術など、文学に隣接するジャンルにもしばしば言及したい。

【到達目標】
創作物を単に主観的に受容するのではなく、対象化して評価する技術と教養を身に付け、作品受容の許容範囲が広がることを目指します。文学に関心がある学生はもちろん、ポップカルチャーやサブカルチャーのジャンルに関心がある学生も歓迎します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義中心です。
教室で授業ができない期間は、毎週水曜日の 13 時には「学習支援システム」に教材をアップします。ラジオ講義の予定です。初回は 4 月 22 日です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	講義の概要説明および導入。
第 2 回	現在の文学が置かれた状況	最近の文学事情を、他のジャンルとの関係から明らかにする。
第 3 回	文学作品の読み方	文学の仕組みを解説して、高校時代までの読み方を相対化する。
第 4 回	近代文学の誕生①	言文一致（いわゆる近代日本語）を中心に、近代文学が形になったプロセスを解説。 言文一致形成の全体像を確認する。
第 5 回	近代文学の誕生②	言文一致形成の初期（明治 10 から 20 年代）の状況を作品を参照しながら確認する。
第 6 回	近代文学の誕生③	言文一致形成の後期（明治 30 から 40 年代）の状況を作品を参照しながら確認する。

第 7 回	文学史第 1 期（明治 20～40 年の文学）	リアリズム（写実主義）は近代に確立した表現法だが、そのリアリズムが確立した時代の表現パターンを解説。
第 8 回	文学史第 2 期（大正時代の文学）	私小説がはやった時代の表現パターンを解説。文学における自己表現を問題にしたい。
第 9 回	文学史第 3 期（1920 年代）①	社会が大衆化したモダニズムの時代の表現パターンを解説。
第 10 回	文学史第 3 期（1920 年代）②	具体的な文学作品を参照する。
第 11 回	文学史第 4 期（1930 年代）①	文学表現が成熟した時代の表現パターンを解説。現代の表現とも関係させる。
第 12 回	文学史第 4 期（1930 年代）②	具体的な文学作品を参照する。
第 13 回	まとめ	これまでの講義の総括。今後の現代文学の読み方についても触れる。
第 14 回	試験・解説	論述試験を行い、出題の解説をする。また関連作品を紹介する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
少しでも文学作品に触れてください。しかし闇雲に読むのではなく、ジャンルを意識しながら読むことをおすすめします。ジャンルが分からなければ、大きめの本屋に行って書棚がどういう配置になっているのか、どういう本が収まっているのかを確認してみるのもよいです。たとえば、映画をよく観る人は TSUTAYA の棚陳列がどういうジャンル区分に従っているのかよくわかっているはずです。AKB48 のファンは、素人目には同じように見える顔が、それぞれ個性を持ち、ジャンル分けできることを知っているはずです。文学も同じです。小説を全く読まない人は、まず『ノルウェイの森』（村上春樹）と『時をかける少女』（筒井康隆）と『涼宮ハルヒの憂鬱』（谷川流）の 3 冊を読み比べてみてください。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
随時プリントを配布します。

【参考書】
なし。

【成績評価の方法と基準】
最後に行う期末試験が評価の主要な対象となります。授業への参加度（平常点）も評価したい。評価の割合は期末試験が 70 %、平常点を 30 %とします。

【学生の意見等からの気づき】
基本的に口述と板書が多いので、「授業の概要を示すプリントがあればよい」という意見がありました。重要なポイントとなるところではプリントで示すことも考慮に入れようと思います。

【Outline and objectives】
This lecture aims to give techniques and cultures to read novels, using the work of modern Japanese literature.
How to write and read novels is not single. In this lecture, you can learn that diversity exists in how to write and read novels. Let's begin by reviewing the origins of the novel. And according to the history of literature, We confirm that the way of writing and reading the novel has changed.

LIT200LA

文学と社会ＬＦ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**文学作品の政治性・社会性**

中澤　忠之

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
普段何気なく読んでいる小説が、きわめて政治的で社会的なものであるということを考えたことがあるでしょうか。文学作品は、人畜無害な単なるフィクションではありません。ときに世の中の差別や偏見を生み出し助長するものであり、特定の個人や集団を傷つけるものでもあります。あるいはまた、社会秩序を乱すとして批判される過激な暴力や性表現も無視できないでしょう。もちろんその一方で、社会の差別や偏見と戦ってきた歴史も、文学にはあります。文学作品における、こういった政治的かつ社会的な側面を、本講義では取り上げます。素材は性表現と差別表現がメインです。
メディア環境が激変している昨今の事情に対応させて、取り上げる表現は文学のみならず、映画やマンガなど多岐にわたる予定です。現在進行形の話題も積極的に扱います。

【到達目標】
これまでなんとなくイメージしてきた表現の自由や表現の暴力性といった概念を、法規制や表現史を通して具体的に捉えられる教養の獲得を到達目標とします。文学に関心がある学生のみならず、法律等社会の制度設計に関心のある学生も歓迎します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義中心です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	講義の概要説明および導入。
第 2 回	文学が置かれた社会状況	表現規制の最近の動向を解説。
第 3 回	性表現・暴力表現と規制①	性・暴力表現とその規制の歴史を振り返る。
第 4 回	性表現・暴力表現と規制②	「わいせつ罪」を中心に、現代社会における性・暴力表現を考える。
第 5 回	性表現・暴力表現と規制③	「青少年保護」を中心に、現代社会における性・暴力表現を考える。
第 6 回	性表現・暴力表現と規制④	「児童ポルノ」を中心に、現代社会における性・暴力表現を考える。
第 7 回	性表現・暴力表現と規制⑤	ネット社会における性・暴力表現について解説する。
第 8 回	差別表現と規制①	差別表現とその規制の概要を解説する。
第 9 回	差別表現と規制②	差別の仕組みを知るために、具体的な作品を参照する。
第 10 回	差別表現と規制③	戦後の日本における差別の歴史を振り返る。
第 11 回	差別表現と規制④	差別表現とその規制の現在。特にネット社会における差別表現を考える。

第 12 回　差別表現と規制⑤	最近話題になる嫌韓・嫌中的な「ヘイトスピーチ」について考察する。
第 13 回　まとめ	これまでの講義の総括。表現の自由とその規制の社会的バランスを考える。 また、補足として、著作権やプライバシーの問題から表現の社会性をにも言及したい。
第 14 回　試験・解説	論述試験を行い、出題の解説をする。また関連作品を紹介する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
まず何より活字や映像作品に触れてください。そして、表現規制の話題は常時ニュースになるので、そのつど気にかけて、新聞やウェブでの議論に触れてほしい。たとえば、昨今話題になっている性表現なり差別表現に対する規制強化の動き、あるいはネット上で盛んに行われている著作物の無断コピーや二次創作等について考えてみるのもよいでしょう。
ここ数年は、美術家の性的な表現物がわいせつ罪に問われたり、また差別的なヘイトスピーチがメディアで盛んに取り扱われています。文学作品にとらわれず、こういった表現にかかわる社会的問題に注目してください。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
随時プリントを配布します。

【参考書】
なし。

【成績評価の方法と基準】
最後に行う期末試験が評価の主要な対象となります。授業への参加度（平常点）も評価したい。評価の割合は期末試験が 70 %、平常点を 30 %とします。

【学生の意見等からの気づき】
基本的に口述と板書が多いので、「授業の概要を示すプリントがあればよい」という意見がありました。重要なポイントとなるところではプリントで示すことも考慮に入れようと思います。
2016 年度は、映像を積極的に導入し、時事的な話題も取り入れました。

【Outline and objectives】
The novel has a very political and social part. Literary works are not mere fiction. They sometimes produce discrimination and prejudice of the world, and they also hurt certain individuals and groups.Or you can not ignore radical violence or sexual expression that is criticized as disturbing the social order.
On the other hand, literature also has a history of fighting social discrimination and prejudice. This lecture will cover these political and social aspects of literary works. Sexual expression and discrimination are the main material.

LIT200LA

日本文学と文化 LG

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**現代日本文学と映像表現**

榎本　正樹

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火 4**/Tue.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
現代日本文学を原作として映画化された作品の一部を観賞した上で、原作の小説を講読します。2019 年に劇場公開された以下の作品から厳選して、6 作品を取りあげる予定です（作品の配列は劇場公開日順です）。
同一の物語内容を含んだ文学表現と映像表現を比較対照し、分析することで、言葉と映像それぞれのメディア固有の表現や技法について考えを深め、「文学固有の表現とは何か？」という視点から小説を読む力の獲得を目指します。
よしもとばなな『デッドエンドの思い出』（チェ・ヒョンヨン監督）
角田光代『愛がなんだ』（今泉力哉監督）
朝井リョウ『チア男子!!』（風間太樹監督）
中島京子『長いお別れ』（中野量太監督）
恩田陸『蜜蜂と遠雷』（石川慶監督）
吉田修一『犯罪小説集』（瀬々敬久監督）
平野啓一郎『マチネの終わりに』（西谷弘監督）
＊劇場公開順。本リストの中からセレクトします。

【到達目標】
現代日本文学の多様なジャンルの小説を深く読むことで、議論の礎となる要素を抽出し、整理し、分析することができるようになります。さらに、個人の生き方や社会システム、性、生、死、ジェンダー、家族、事件、歴史などの諸問題について思考する力を養います。言語表現と映像表現を比較対照することで、メディア固有の表現やメディア間の相互接続性についても理解を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
■本授業は、4 月 28 日（火）から開始します。変更時には再度連絡します。
講義形式をとります。映画の一部を観賞した後、原作小説を精読し、作品分析を行っていきます。映像メディアである映画と言語メディアである小説を比較検討することによって、情報提示の仕方、叙述の方法、人物設定、物語構成の違いなど、表現上の相違点を明らかにしていきます。
履修者には、現代日本文学の多様な表現世界や作品固有の表現に触れ、作品について深く思考し、考えをまとめ、批評的な言葉でアウトプットする力が求められます。小説を事前に読んでいなくても理解できる形で授業を進めていきますが、取りあげる作品については、事前に読んで授業に臨むのがベストです。
本科目は抽選科目です。授業開始前に抽選に参加する必要があります。
抽選の結果当選した学生のみ、履修をすることができます。
抽選エントリー日時： 4 月 15 日（水）午前 10 ： 00〜4 月 20 日（月）午前 9 ： 00
詳細は、以下に掲載の「2020 年度 ILAC 科目/市ヶ谷基礎科目大人数授業　抽選ガイド」
(https://hosei-rinji.com/ilac/rishuguide2020/) を確認してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	ガイダンス授業
2	映画観賞 (1)	原作の映画鑑賞
3	原作小説の講読 (1)	小説の講読＆分析＆考察
4	映画観賞 (2)	原作の映画鑑賞
5	原作小説の講読 (2)	小説の講読＆分析＆考察
6	映画観賞 (3)	原作の映画鑑賞
7	原作小説の講読 (3)	小説の講読＆分析＆考察
8	映画観賞 (4)	原作の映画鑑賞
9	原作小説の講読 (4)	小説の講読＆分析＆考察
10	映画観賞 (5)	原作の映画鑑賞
11	原作小説の講読 (5)	小説の講読＆分析＆考察
12	映画観賞 (6)	原作の映画鑑賞
13	原作小説の講読 (6)	小説の講読＆分析＆考察
14	レポート提出	授業時間内レポート提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
事前に原作小説を読んでいなくても理解できる形で授業を進めていきますが、物語内容や人物関係を把握する上でも、小説を読んで授業に臨むのがベストです。授業で取りあげた小説や映像作品は、授業外の環境で、もう一度読み直し観賞し直し、作品の理解を深めるよう努めてください。
最終授業時に提出するレポート執筆の事前準備として、対象作品を精読し、その中で得た「気づき」をメモにとったり、疑問点や重要なポイントと思われる箇所についてまとめる作業を随時行ってください。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業で扱う小説の文庫本。

【参考書】
必要な資料はプリントで配付します。

【成績評価の方法と基準】
レポートで評価します（100 %）。
試験や小テストはありません。
レポートは春学期最終授業時間に提出です。レポート内容は、「授業でとりあげた作品の中から一作を選び、作品論を展開する」というものです。授業内容を踏まえ、自分が選んだ作品について、自分で設定したテーマに基づき、自分の言葉で「論」を展開してください。分析の鋭さ、論考の深さ、文章の正確さ、構成の巧みさなどを見て採点します。詳細は、初回のガイダンス授業時に説明します。

【学生の意見等からの気づき】
映画を観る時間を増やしてほしいとの意見が多くあるので、可能な限り鑑賞時間を増やす努力をします。
専門科目ではないので、現代日本文学になじみのない学生にも分かりやすい言葉で、分析と解説を行うよう心がけます。

【その他の重要事項】
現代日本文学のみならず、映像メディアに関心をもつ学生の履修を歓迎します。
榎本のプロフィールや研究・評論活動は、サイト（http://enmt.jp）で確認できます。ツイッター（@enmt）での情報発信も行っていますので、履修時の参考にしてください。

【Outline and objectives】
We will read through the original novels after watching films based on contemporary Japanese literature. We plan to highlight the following 6 titles after carefully selecting from the works released in 2019.
By comparing and analyzing literary expressions and visual expressions of the same story events, we will deepen our thoughts about specific expressions and techniques of the book and film media. We aim to acquire the ability to read novels from the perspective of "what literature-specific expressions are."

LIT200LA

日本文学と文化 LH

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**新海誠の映像表現と文学世界**

榎本　正樹

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 4/Tue.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
新海誠監督のアニメーション映画『君の名は。』は、アニメーション界や映画界を超えた近年の日本映画最大のヒット作品として、多くの観客の支持と共感を得ました。国内観客動員数 1,900 万人を突破、興行収入 250 億円を超える大ヒットとなり、邦画興行収入歴代 2 位を記録、アジア圏では 7 冠達成を記録し、日本のみならず世界各国の記録を塗り替えることになりました。2019 年には最新作『天気の子』が封切られ、前作同様の評価を得ました。アニメーションというジャンルの枠を越えた同時代の重要な表現者として、新海誠という存在をとらえ直す必要があります。
新海誠というクリエーターの名前を、『君の名は。』で初めて知った人が多いかもしれませんが、新海監督のキャリアは 2000 年代初頭に遡ることができます。新海作品の根底にあるのは「言葉」に重きを置いた世界造形、言い換えれば「文学」への強い視線です。人と人の間の繊細なコミュニケーションを、精緻な言葉と独自の映像美学によって表現するその姿勢は、「アニメーションという表現手段を用いた文学」と形容可能なものです。
新海誠は「アニメーション監督」であるとともに「小説家」でもあります。新海は自身の手で代表作をノベライゼーション（小説化）を手がけていますが、それらは単に映像作品を言葉に置き換えたものではなく、小説作品として自立しています。同一の作者による映画版と小説版を比較検討することで、映像表現と小説表現の違いを検証することが可能です。
本講義では、新海誠の初期作品から最新作まで入手可能な映像作品を参観しつつ、「新海誠の文学世界」を紐解いていきます。同時代の先端的な表現者である新海誠の主要作品を「網羅的」に観賞し、かつ「分析的」に解読する経験を通して、作品批評のための技術を獲得します。

【到達目標】
映像作品であるアニメーションを分析的に解読する技術を身につけ、表現や仕掛けや物語構造などについて、自分の言葉で論述できるレベルを目指します。関連資料を参照し、さまざまな他人の意見やコメントに目を通し、作品のモデルとなった場所に実際に赴くことで、作品の背景にある文化的、歴史的、地理的背景について深く学び、作品を客観的に論じる力を得ます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は講義形式とプレゼンテーション形式を合わせた形で行います。新海誠作品を初期から最新作まで（場合によっては作品の一部を）を観賞し、各シーンについて解説と分析を加えていきます。アニメーションで重要なのはシーンを構成するカットです。カットにはクリエーターの「世界そのものへの純粋な視線」が投影されています。もう一つ重要なのは、言葉（ナレーションや科白や対話）です。本授業では新海作品の言葉に特に注目し、物語の中で言葉がどのように作用しあい、コミュニケーションの主題を提示していくのかを細かく探っていきます。
新海監督自身の言葉、関連資料の紹介や他の論者の考察など、作品をめぐる多様な言説を紹介する機会も設けます。
本科目は抽選科目です。授業開始前に抽選に参加する必要があります。
抽選の結果当選した学生のみ、履修をすることができます。

抽選エントリー日時： 4 月 15 日（水）午前 10 ： 00～4 月 20 日（月）午前 9 ： 00
詳細は、以下に掲載の「2020 年度 ILAC 科目/市ヶ谷基礎科目大人数授業　抽選ガイド」
(https://hosei-rinji.com/ilac/rishuguide2020/) を確認してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	新海誠、その人と作品について
2	『遠い世界』と『彼女と彼女の猫』	最初期作品を概観する
3	『ほしのこえ』	物理的な「距離」と精神的な「距離」
4	『雲のむこう、約束の場所』	ＳＦの趣向を通して表現された世界
5	『秒速５センチメートル』	人物と風景、あるいは速度をめぐる物語
6	『星を追う子ども』	異界に移動し帰還する「子ども」たち
7	『言の葉の庭』	独自の映像美学を支える文学性
8	『小説 言の葉の庭』	ノベライゼーションの方法
9	短編作品＆ CM 作品	新海誠のアザーワークス
10	『君の名は。』その 1	「すれ違い」と「入れ替わり」の趣向をめぐって
11	『君の名は。』その 2	共苦する魂のゆくえ
12	『天気の子』その 1	オリンピック後の未来はいかに描かれたか
13	『天気の子』その 2	人身御供譚としての読みとり
14	レポート提出	授業時間内レポート提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
アニメーションを観たり小説を読む際に受動的に観賞するのではなく、作品の細部について自分の言葉で客観的に書いたり話したりする習慣をつけましょう。授業で取りあげる映像作品や小説を繰り返し観たり読んだりして、その中で得た「気づき」をメモにとったり、疑問点や重要なポイントと思われる箇所についてまとめる作業を随時行ってください。
また機会があれば、作品の中に登場する場所に赴く「聖地巡礼」に挑戦してみてください。実在する場所が物語のシーンでどのような意味を与えられているのか、体験的に学習してください。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
榎本による新海誠についての評論本が、2020 年夏頃までに刊行される予定です。秋学期の授業開始には間に合うと思われますので、刊行が正式にアナウンス可能な時期になった段階で、使用教科書として改めて告知します。

【参考書】
授業で扱う新海誠のノベライゼーション作品は参考書とします。必要に応じて、個人で入手してください。『小説 秒速５センチメートル』『小説 言の葉の庭』『小説 君の名は。』『小説 天気の子』とも、角川文庫で入手可能です（電子書籍版もあります）。
http://www.kadokawa.co.jp/product/321510000146/
http://www.kadokawa.co.jp/product/321510000145/
http://www.kadokawa.co.jp/product/321603000121/
https://www.kadokawa.co.jp/product/321903000333/
その他の参考書・参考文献や参考サイトは膨大にあるので、教室で示します。
必要な資料はプリントで配付します。

【成績評価の方法と基準】
レポートで評価します（100 %）。
試験や小テストはありません。
レポートは秋学期最終授業時間に提出です。レポート内容は、「授業で取りあげた新海監督作品の中から、一作品または複数の作品を選び、作品論を展開する」というものです。授業内容を踏まえ、自分が選んだ作品について、自分で設定したテーマに基づき、自分の言葉で論を展開してください。
分析の鋭さ、論考の深さ、文章の正確さ、構成の巧みさなどを中心に採点します。詳細は、初回のガイダンス授業時に説明します。

【学生の意見等からの気づき】
専門用語など難易度が高いタームの使用を控え、初級者にも理解しやすい授業を心がけます。
可能な限り映像作品を観る機会を増やします。

【その他の重要事項】
アニメーションや現代日本文学に関心をもつ学生の履修を歓迎します。
榎本のプロフィールや研究・評論活動は、サイト（http://enmt.jp）で確認できます。ツイッター（@enmt）での情報発信も行っていますので、履修時の参考にしてください。

【Outline and objectives】
Shinkai Makoto is Japanese animation director. His animation film is highly acclaimed not only in Japan but also overseas. Last summer, his latest work " Weathering With You" was released. I decode Shinkai's all animation works from various viewpoints.

LIN200LA

音声学Ｌ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

江村　裕文

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「言語」は、音声の形式という表現面と意味の形式という内容面が結びついた言語記号が単位であるようなシステムであり、このシステムの解明を対象とする学問分野のことを「言語学」と称します。

この「言語」の表現面の「音声」を扱う分野を「音韻論」と称します。「音韻論」は言語の音声の形式面を対象とします。これのに対して、言語の音声の実質面を扱うのが「音声学」です。つまり「音声学」は、この言語の表現面である音声の実質を対象とする経験科学です。

この授業では、言語音（「単音」）の記述方法および記述された記号の実現化（再現つまり実際に発音できるようになること）を授業内容とします。

【到達目標】

この授業では、「音声学」の記述方法であるＩＰＡの方法論的な考え方を身につけ、ＩＰＡを音声化したり、実際の音声をＩＰＡによって記述するための基礎的な技能を訓練することを目的とします。

補足として、音声の形式面である「音韻論」（「音素論」）にも触れます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

まず「言語学」は言語をどういうものとして見ているかを概説し、表現面の形式である「音韻」が実質である「音声」によって実現されているという発想に慣れ、実践的な訓練に入ります。具体的には、人間の発声器官の呼称を確認し、個々の単音について母音と子音に分けて調音の方法および聞き取り、記述について詳述しながら発音指導を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	導入　1	教材の配布 言語とは
2	導入　2	音声とは
3	調音（発音器官）	どこでどのように発音するか
4	発音記号（音声記号）	音声記述の方法
5	母音 ダニエル・ジョーンズの基本母音を中心に 閉鎖音・鼻濁音	聞き取ってみる 調音してみる
6	子音 閉鎖音（破裂音） 摩擦音　1	聞き取ってみる 調音してみる
7	子音 摩擦音　2	聞き取ってみる 調音してみる
8	子音 その他 子音のまとめ	聞き取ってみる 調音してみる
9	韻律的問題	アクセント イントネーション （プロソディー）
10	「音声学」試験	「音声学」の概念に関する理解
11	「音韻論（音素論）」	音素とは何か 対立について
12	日本語の形態音韻変化　1	「転音」について
13	日本語の形態音韻変化　2	「連濁」について
14	最終試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

音声学はスポーツと同じです。いくら水泳の仕方や自転車の乗り方を詳しく教わって、浮力や水流、足の漕ぎ方やバランスのとり方等を頭で理解したとしても、泳げるわけもないし自転車に乗れるわけでもありません。

できない発音があっても、訓練すればだれでもできるようになります。できないのはやる気がないからだけです。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

決まったテキストを使う予定はありません。発音器官の図とＩＰＡの表は、最初の授業時間に配布します。

【参考書】

聞いて発音してみる授業ですが、読んで理解したい学生のためにふさわしい参考書は紹介・指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点４０点、（理論）試験の得点３０点、（実施）試験の得点３０点、合計１００点で評価します。
ただし、必要に応じてレポートを課すことがあります。その場合はそのレポートも評価に反映します。

【学生の意見等からの気づき】

２０１８年度に受講した学生は、ドイツ語・フランス語・スペイン語・ロシア語・朝鮮語・中国語・沖縄方言等の履修をしていたが、異口同音に「発音」について理解が深まったと感想を述べています。「（一般）音声学」をマスターすれば、世界のあらゆる言語の音声について自信が持てるようになります。

【Outline and objectives】

There are two aspects in language. The first is a aspect of "form", the essence of language. The second is a aspect of "substance". The aspect of "substance" is the sound use for language, human voice for language. The field treats human voice for language is "Phonetics".
The title of this class is "Phonetisc". The purpose of this class is to master what is IPA, and how use the this symbol.

PHL200LA

哲学ＬＩ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

大西　正人

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
哲学の基本的性格と歴史と基本問題を概観します。この概観によって、教養知の原理を理解し、現代人が直面する諸問題を、広くて新しい視野から考え、解決すること目的とします。
特にこのＩの講義は、人間とは何か、その本質に迫ろうとする哲学的人間論です。新技術の開発などによってこれまで考えられもしなかった人間の新しいあり方について選択と決断を迫られる現代においてこそ、人間らしさとは何かが切実に問われます。なお、日本の哲学や 20 世紀以降の思想にも焦点を当てます。

【到達目標】
基本的性格と歴史と基本問題の探究を通して教養知の原理としての哲学を理解できるようにします。到達目標は、受講生が実際に名著の思想世界に触れてみる体験をし、またその体験を表現できるようにすることです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式により進めます。一人の思想家ごとに、その作品を二三週間に分けて集中的に読みます。→ 以下の通り変更
☆春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 28 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	哲学とは？
2	プラトン (1)	「イデアの萌芽」としての人間存在
3	プラトン (2)	『饗宴』アリストファネスの話
4	プラトン (3)	『饗宴』ソクラテスの話
5	西田幾多郎 (1)	『善の研究』-『知即愛』の命題
6	西田幾多郎 (2)	「主客合一」としての人間存在
7	和辻哲郎 (1)	『倫理学』-「間柄」としての人間存在
8	和辻哲郎 (2)	「矛盾的統一」としての人間存在
9	和辻哲郎 (3)	『風土』-「風土」のうちに己を見出す人間存在
10	和辻哲郎 (4)	主体としての風土
11	ブーバー (1)	『我と汝』
12	ブーバー (2)	「汝」としての世界
13	ブーバー (3)	「本質行為」としての人間
14	まとめ	ふりかえりと試験対策

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
講義で取り上げられ、その一部が教材プリントとして授業内でも配布される下記の文献は、すべて岩波文庫で入手できるので、学生は、授業計画に合わせてこれらの文献を読むことが推奨される。
プラトン『饗宴』、西田幾多郎『善の研究』、和辻哲郎『倫理学』(一)、和辻哲郎『風土』、マルティン・ブーバー『我と汝・対話』
復習として、講義の内容をノートで整理すること。
本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
こちらでプリントを用意します。

【参考書】
授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】
原則、期末試験 100 %で評価。→ 以下の通り変更
☆春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
期末の参照可テストに備えて、板書の仕方を工夫したい。

【学生が準備すべき機器他】
なし

【その他の重要事項】
ノートをとることが大切です。

【Outline and objectives】
This lecture is a philosophical human theory trying to think about human nature. In modern times where we are forced to make choices and decisions about the new way of human beings that we have never considered before,such as through the development of new technologies,something is being deeply questioned about humanness. We will also focus on Japanese philosophy and ideas after the 20th century.

PHL200LA

哲学ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

大西　正人

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：2 **単位**
法文営国環キ 1〜4 **年**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
古代から現代に到る哲学の根本問題を、古代から現代の主要学説を手がかりにしながらできるだけ平明に解説します。哲学が古い常識を批判し、新しい常識をクリエートすることであることをテーマとします。西洋哲学は、万物の根源を人間の理性の力で探り、そうして捉えられた全体としての世界の中に自分を位置づけたいという人間的欲求とともに始まりました。講義では、こうした「形而上学的」な欲求が、世界を全体として非常に生き生きとした自己形成的なものと見る自己形成的世界観として、現代にいたるまでの様々な知的探求の背景になっている様子をみます。

【到達目標】
主要な哲学説の根本問題を学習することを通して常識批判としての哲学を理解することを到達目標とします。受講生が実際に名著の思想世界に触れてみる体験をし、またその体験を表現できるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式により進めます。一人の思想家ごとに、その作品を二三週間に分けて集中的に読みます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	哲学への導入
2	今西錦司	生命的自然観－自己形成的存在論の前哨として
3	その 2	今西錦司『生物の世界』を読む
4	アリストテレス	自己形成的存在論としての形而上学
5	その 2	アリストテレス『形而上学』を読む
6	自己形成的存在論の展開としての近代哲学	近代化の原理としての主観客観二元論
7	デカルトの近代的世界観	近代的主客二元論とは?
8	デカルト (2)	『省察』を読む
9	デカルト (3)	デカルトの機械論的自然観-「近代的分裂」の予告としての近代的主客二元論
10	「近代的分裂」の予告としての近代的主客二元論	近代哲学の分裂－合理論と経験論
11	カントとヘーゲル	カントによる近代哲学の分裂克服の試み
12	カントとヘーゲル (2)	カントのアンチノミー論
13	カントとヘーゲル (3)	ヘーゲルの弁証法的世界観
14	カントとヘーゲル (4)	ヘーゲルの弁証法的世界観その 2

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
講義で扱われる下記の文献などは事前に読むことが推奨される。
今西錦司『生物の世界』、アリストテレス『形而上学』、デカルト『省察』
復習として、講義の内容をノートで整理すること。
本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
こちらでプリントを用意します。

【参考書】
授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】
原則、期末試験 100 %で評価。

【学生の意見等からの気づき】
期末の参照可テストに備えて、板書の仕方を工夫したい。

【学生が準備すべき機器他】
なし

【その他の重要事項】
ノートをとることが大切です。

【Outline and objectives】
Western philosophy began with human desire to explore the root of all things with the power of human reason and to position himself in the whole world captured as such. In the lecture, we see how these metaphysical needs are behind various intellectual explorations up to the present age, becoming a self-organizing-world-view that the world as a whole is very vivid and self-organizing.

PHL200LA

哲学ＬＩ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

白根　裕里枝

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では西洋の哲学の基礎を学ぶ。哲学は古代ギリシアに誕生した。どのような考えのもとで、哲学が生まれたのか、その後、どのような変遷を辿ったのか、そもそも哲学が問題としたことは何であるのか、古代ギリシアの源流から探りたい。
哲学というと難しいという印象があるかもしれないが，何も特別のことではない。私たちは生きてゆく上で、常に様々な行為を選んで、様々な幸せを目指している。善く生きて幸福になるためには、よりよく、正しく考えること、つまり哲学が必要なのである。人間の尊厳は考えるということにある。誰もが、正しく考えるために、幸せのために、哲学を学ぶことが必要とされている。

【到達目標】
学生は、まずは哲学のオーソドックスな基礎を学ぶことで、哲学のそもそもの誕生の現場を知ることができる。それは学問の誕生の場でもあるから、すべての学問を学ぶ上での、基本的な見取り図を手に入れることができるだろう。哲学はあらゆる学問の基礎である。何を学ぶにしても、哲学がその根本に関わることを知るだろう。さらには他の学問、とりわけ、今日、絶大なる信頼を持ってその地位の確立されている近代科学のあり方を振り返ることで、哲学の重要性も再確認できるだろう。その上で、哲学を学ぶことで、私たちが幸せによく生きるためにはどうしたらよいかを考えてみたい。哲学とは、本来、学ぶものではなく、自分で考えるものなのだから。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
哲学（Ｉ）では、哲学の源である古代ギリシア哲学に遡って、哲学とは何か、その根本的な特徴を捉えた上で、哲学はその他の学問や科学とはどう異なるのか、また、なぜ哲学が必要とされるのかなどを探ってみたい。授業は基本的にプリントを用いての講義形式である。哲学者たちの生き方をめぐるエピソードなども交えながら、オーソドックスな哲学の考え方をわかりやすく講義してゆく。補助資料によって著名な哲学者たちの言葉に直接に触れることで、理解を深めてゆきたい。毎回の学生のコメントや質問に丁寧に答えて、わかりやすい授業を目指す。出席を重視する。
★授業の開始日は４月３０日をめどとしましたが、学習支援にうまく教材をアップできないので、５月１０日からとします。また再度お知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	序論	足の裏に影はあるか？
2	Ｉ. 哲学とは何か１	「哲学」の語の由来、成立、原義
3	哲学の語の用例と変遷	ギリシアにおける「哲学」の誕生
4	哲学の出発点１	無知の自覚
5	哲学の出発点２	ソクラテスの無知の自覚と愛知
6	哲学の出発点３	その他、懐疑、驚き、絶望…。
7	哲学の目指すところ	愛についての考察、イデア論とプラトニック・ラブ
8	愛の３つの対象と哲学	愛の３つの対象と知への愛
9	知についての考察	知についての考察。哲学と学問知
10	Ⅱ. 哲学と科学１	対象の違い　部分と全体、本質と現象
11	哲学と科学２	方法の違い　仮説と真理、分析と反省
12	哲学と科学３	事実と価値、目的と手段、主体知と客観知
13	哲学と科学４	主体知と客観知
14	前期まとめ	まとめと復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業で取り上げた著作を、実際に手に取って読んでみること。本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特に指定しないが、下記の参考書を何冊か読むこと。

【参考書】
『西洋哲学史 古代・中世編―フィロソフィアの源流と伝統』内山 勝利、中川 純男、ミネルヴァ書房
『哲学の歴史』１～５、中央公論新社
『哲学のすすめ』岩崎武雄、講談社現代新書
『はじめて学ぶ哲学』渡辺二郎、ちくま学芸文庫

【成績評価の方法と基準】
平常点（40 %）と学期末試験（60 %）によって評価する。試験は、手書きのノートと配布プリントのみ持ち込み可。授業で扱った内容をめぐる論述形式である。

【学生の意見等からの気づき】
難しそうという印象の哲学だったが、授業は分かりやすく、楽しく哲学を学ぶことができたということなので、引き続き、哲学の面白さ、素晴しさをじっくり伝えてゆきたい。生きて行く上で、哲学をますます身近なものとしてもらいたい。授業中の私語と板書の写メ、スマホは禁止する。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help students understand how important philosophy is, by studying the philosophical thoughts in ancient Greece and their relation to science.

PHL200LA

哲学ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

白根　裕里枝

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

哲学 Ⅱ では、「Ⅲ. 哲学と宗教」、「Ⅳ. 哲学と幸福」について考察する。宗教というと嫌いだとか怖いと思う人もいるかも知れないが、ユダヤ教、イスラム教、キリスト教はどれも同じ神を信じながら、今日、様々な問題を引き起こしているのも事実である。まずは、その思想と歴史的事実をよりよく知ることが重要である。

宗教の成立過程を見ることで、宗教の思索の持つ素晴しい面や意義を知ることができ、また逆に、その問題点や危険性を知ることもできるだろう。哲学の観点から、今日における宗教の問題を考え、哲学の意義を再考してみたい。

他方で、哲学は人間の真の幸福を探求する。幸福、つまり、善き生とは何か。われわれは誰もが幸福になりたいと思っているが、たとえば、科学だけで、あるいは、宗教によって、幸福になれるのだろうか？ 幸福になるには何よりも哲学が必要である。幸福になるための条件とは何であり、そもそも幸福とは何なのだろうか。哲学の観点から幸福について考えてみたい。

【到達目標】

西洋の文化や思想、芸術に大きな影響を与えてきたキリスト教だが、その教義の形成にはギリシア哲学が大きな影響を与えてきた。学生は、哲学との対比を通して、キリスト教やその他の宗教というものについて、付かず離れずに見る視点を確保することができるだろう。偉大な宗教は、人間の弱さ、惨めさをとことん見つめようとする。哲学は、人間の知の可能性を可能な限り追求する。「信じる」ことと「知る」こととの緊張関係において、哲学と宗教の接点を考えてみたい。

また、幸福とは何か？ どうしたらわれわれは幸福な生を送ることができるのか？ 古代ギリシア・ローマの幸福論をみることで、私たちの幸福について考え直してみたい。幸福になるには、よく知るということがいかに大事か、真の幸福の鍵が哲学にあることが、理解されるだろう。愚かさこそが、私たちの不幸の原因なのだから。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

授業は基本的にプリントを用いての講義形式で進めます。まずは、哲学と宗教の根本的相違点である知と信の問題に触れる。その上で、ユダヤ教、キリスト教、ギリシア哲学者たちの神観などについて、補助プリントや DVD なども用いて概要を把握した上で、哲学と宗教との関わりについて考えたい。また、補助資料によって、哲学者たちの生き方をめぐるユニークなエピソードなども交えながら、著名な哲学者たちの言葉に直接に触れることで、オーソドックスな哲学の考え方をわかりやすく講義して理解を深めてゆきたい。

毎回の学生のコメントや質問に丁寧に答えて、分かりやすい授業を目指します。出席を重視します。なるべく哲学Ｉから取るようにして下さい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	序論	哲学とは何か。哲学と科学と宗教
2	Ⅲ. 哲学と宗教	信の立場と知の立場
3	ユダヤ教の歴史	ユダヤ教の歴史と旧約聖書
4	聖書はいつ書かれたか	旧約聖書とメソポタミア文明
5	キリスト教の成立	イエスとキリスト教の教義化
6	ギリシア哲学とキリスト教	知と信の関係　ギリシア哲学とキリスト教
7	現代における宗教の意義	理性の時代、デカルトと近代哲学
8	宗教の存在理由	パスカルにおける人間の条件
9	哲学と宗教の立場	アウグスティヌスの自由意志と悪の問題。哲学の可能性
10	Ⅵ. 哲学と幸福	幸福になるには～哲学の勧め
11	幸福と知	ソクラテスのパラドクス、アクラシアーの否定
12	幸福とは	ソクラテス・プラトンの幸福論
13	幸福論の歴史	ソクラテスの後継者たち、禁欲主義と快楽主義
14	後期まとめ	まとめと復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で触れて、興味を持った哲学者の著作を、自分で手に取って読んでみて下さい。本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特に指定しないが、下記の参考書を何冊か読むこと。

【参考書】

『西洋哲学史 古代・中世編―フィロソフィアの源流と伝統』
　内山 勝利、中川 純男著、ミネルヴァ書房
『哲学の歴史』１～５、中央公論新社
『哲学のすすめ』岩崎武雄、講談社現代新書
『はじめて学ぶ哲学』渡辺二郎、ちくま学芸文庫

【成績評価の方法と基準】

平常点（40 %）と学期末試験（60 %）によって評価する。試験は手書きのノートと配布プリントのみ持ち込み可。授業で扱った内容をめぐる論述形式。

【学生の意見等からの気づき】

難しそうという印象の哲学だったが、授業は分かりやすく、じっくり哲学を学ぶことができたということなので、引き続き、哲学の面白さ、素晴しさを伝えてゆきたい。生きて行く上で、哲学をますます身近なものとしてもらいたい。授業中の私語と板書の写メ、スマホは禁止する。

【Outline and objectives】

The aim of this course is to help students understand how important philosophy is, by studying the philosophical thoughts in ancient Greece and their relation to religion. And also this course introduces the philosophical theory of eudaemonics (happiness) to students taking this course.

PHL200LA

倫理学ＬⅠ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

森村　修

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
《授業の概要》
本科目は、「ケアと正義のグローバル倫理」の観点に基づき、「ケアとは何か」という問いから、「誰が誰をケアするのか」、さらに「グローバル・エシックスにおけるケア倫理学とは何か」という問いへとシフトしながら、様々な角度から「ケアの倫理」を考察する。
「ケアの倫理」の重要概念として、倫理学における「ケア」概念を検討する。その際に、自己と他者、自己へのケア・他者へのケアという観点から、「ケアの倫理」の基礎を学んでいく。その流れのなかで、「グローバル正義とケアの倫理」、「正義の倫理」と「ケアの倫理」との対比、さらには「グローバル正義とケアの倫理」への進展を検討することにしたい。特に、「愛とケア」に重点を置いて「ケアの倫理学」を考えていく。新しい「愛とケアのグローバル倫理」を構築することが、本授業の最終的なテーマである。
《授業の目的》
「ケアと正義のグローバル倫理」を通して、現代社会の倫理性の問題を哲学的・倫理学的に分析する力を得ることができる。

【到達目標】
(1)「倫理学」という学問について、近隣諸学（哲学、法学、宗教学、政治学など）との違いを説明することができる。
(2)「応用倫理学」のなかで、「生命倫理学」と「ケアの倫理学」との異同について比較することができる。
(3)「正義の倫理」と「ケアの倫理」についての歴史的経緯について、具体的に述べることができる。
(4)「ケア」概念を包括的に理解し、学際的な立場から、科学と倫理学の学問性の違いについて説明することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
【授業の方法】
基本的に、授業は「講義形式」で行う。場合によっては、受講生の皆さんと討論することも考えている。
【授業開始日】
４月２７日（月）４時限（15:00-16:40）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	・履修上の注意 ・「ケアの倫理」についての概要説明
2	ケアと道徳哲学①: ケアの倫理とは何か？(1)	①道徳理論としての「ケアの倫理」(1) ・「ケアの倫理」の特徴
3	ケアと道徳哲学②: ケアの倫理とは何か？(2)	①道徳理論としての「ケアの倫理」(2) ・自由主義的個人主義の批判
4	ケアと道徳哲学③: 実践としてのケアと価値(1)	①ケアすること（Taking Care） ②実践としてのケア
5	ケアと道徳哲学④: 実践としてのケアと価値(2)	①価値としてのケア ②ケア関係
6	ケアと道徳哲学⑤: ケアするひと（Caring Person）	①ケアの倫理における「ひと（Person）」とは何か？ ②ケアすることと自律（autonomy）
7	ケアと道徳哲学⑥: 正義・有用性・ケア	①フェミニズム道徳研究 ②ケア vs 正義 ③フェミニズムと権利の言説
8	ケアと道徳哲学⑦: リベラリズムとケアの倫理	①ケアと市民 ②リベラリズム批判とケアの倫理
9	ケアと道徳哲学⑧: ケア関係と正義の原理	①ケアの倫理と正義の射程
10	ケアと社会①: ケアと市場の拡張	①女性労働と市場 ②市場の限界
11	ケアと社会②: 市民社会・権利・ケアの確信／厚かましさ（presumption）・「愛という労働」	①ケアの倫理と市民社会 ②ケアの社会（Caring Society）
12	ケアと社会③:　権力・ケア、法の射程	①法と権利の保証 ②フェミニズムによる権利の再定義
13	ケアと社会④: グローバルな世界におけるケアと正義（1）	①グローバルな転換の意味するもの ②ケアと政治経済学
14	ケアと社会⑤: グローバルな世界におけるケアと正義（2）	①ケアの未来

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業内で触れたことについて、様々な書籍、雑誌、新聞やインターネットで確認し、自分の知識を増やすように心がけること。倫理学は、生き方に関わる学問である。座学では何も身につかない。積極的に、倫理的な問題を考え、自ら主体的に学ぶように日頃から気をつける必要がある。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
森村修『ケアの倫理』（大修館書店、2000 年）
森村修『ケアの倫理 2』（大修館書店、2020 年）（近刊）
Virginia Held, *THe Ethics of Care: Personal, Political, and Global*, Oxford University Press, 2006.

【参考書】
竹田純郎・伊坂青司・森秀樹編『生と死の現在――家庭・学校・地域のなかのデス・エデュケーション』（ナカニシヤ出版、2002 年）

【成績評価の方法と基準】
毎回のリアクションペーパー（20 %）と期末試験で評価する（80 %）
※要注意【変更】
春学期の少なくとも前半がオンライン開講となったことに伴い、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。
初回授業日に、その時点での成績評価の方針について、「学習支援システム」で受講者に通知する。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
ビデオ、DVD など AV 機器を用いる場合がある。

【その他の重要事項】

「ケアの倫理」は、単に授業ですわっていれば自然と身につくものではない。自らの主体的な実践を伴わない「ケア」や「〈癒しと救い〉」は、単なる「絵に描いた餅」でしかなく、生きるためには何の役にも立たない。受講生各自が、自らの日々の生活のなかで、「ケアとは何か」「何をケアするのか」「ケアするためには何が必要なのか」「ケアとは何をしなければならないことなのか」などという問いを自らに問いかけ、それに答える努力を欠かさないようにしてもらいたい。

【Outline and objectives】

In this course, we examine the question "What is care?" from the perspective of "Global Ethics of Care and Justice". At that time, in this subject, we will consider the problem of care labor by examining the specific question of "who cares who". In addition, we will ask the contemporary significance of the previously controversial issue of the conflict between care and justice. From there, As described above, we will examine the question of "What is care ethics in global ethics" in the 21st century from various angles.

PHL200LA

倫理学ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

森村　修

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

《授業の概要》

本科目は、「ケアと正義のグローバル倫理」の観点に基づき、「正義とは何か」という問いから、「誰の何のための正義なのか」、さらに「グローバル正義におけるケア倫理学とは何か」という問いへとシフトしながら、様々な「ケアと正義の倫理」を概観する。

そこで「愛と正義の倫理」の重要概念として、倫理学における「愛」と「正義」のそれぞれの概念を検討する。その際に、正義とは何か、正義とはどのような価値かなどの「正義の倫理」の基礎と、愛とは何か、愛とケアとの関係や、「愛と正義」のケア倫理学を学んでいく。その際に、「グローバル正義とケアの倫理」、「正義の倫理」と「ケアの倫理」との対比、さらには「グローバル正義とケアの倫理」への進展を検討することにしたい。新しい「ケアと正義のグローバル倫理」を構築することが、本授業の最終的なテーマである。

《授業の目的》

「ケアと正義のグローバル倫理」を通して、現代社会の倫理性の問題を哲学的・倫理学的に分析する力を得ることができる。

【到達目標】

(1)「倫理学」という学問について、近隣諸学（哲学、法学、宗教学、政治学など）との違いを説明することができる。
(2)「正義の倫理」と「ケアの倫理」についての歴史的経緯について、具体的に述べることができる。
(3)「ケア」概念を「愛」の概念とともに包括的に理解し、学際的な立場から、科学と倫理学の学問性の違いについて説明することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

【授業の方法】

基本的に、授業は「講義形式」で行う。場合によっては、受講生の皆さんと討論することも考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	・履修上の注意 ・「正義のグローバル倫理」についての概要説明
2	ロールズ『正義論』の意義①	①ロールズ『正義論』とは何か？ ②「公正としての正義」
3	ロールズ『正義論』の意義②	①ロールズ正義論の影響力 ②ロールズ正義論の限界
4	ロールズ正義論のグローバル正義への応用①	①国境を超える正義 ②コスモポリタニズムの可能性
5	ロールズ正義論のグローバル正義への応用②	①コスモポリタニズムのロールズ批判

6	コスモポリタニズムの正義論――ポッゲの正義論	①コスモポリタニズムと正義論 ②ポッゲの資源主義
7	アマルティア・センの経済哲学①	①センとは誰か？ ②経済学と倫理学
8	アマルティア・センの経済哲学②	①経済行動と道徳感情 ②自己利益と合理的行動
9	アマルティア・センの経済哲学③	①経済的判断と道徳哲学 ②
10	アマルティア・センの「自由と正義のアイデア」①	①行為主体性と豊かな生 ②自由と厚生経済学
11	アマルティア・センの「自由と正義のアイデア」②	①潜在能力アプローチ ②ロールズとセンの正義論
12	アマルティア・センの「自由と正義のアイデア」③	①正義のアイデア
13	マーサ・ヌスバウムのグローバル正義論①	①ヌスバウムの潜在能力アプローチ ②「愛の倫理学」に向けて
14	マーサ・ヌスバウムのグローバル正義論②	①中心的潜在能力 ②動物・外国人・障がい者への「愛とケアの倫理学」

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業内で触れたことについて、様々な書籍、雑誌、新聞やインターネットで確認し、自分の知識を増やすように心がけること。倫理学は、生き方に関わる学問である。座学では何も身につかない。積極的に、倫理的な問題を考え、自ら主体的に学ぶように日頃から気をつける必要がある。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
森村修『ケアの倫理』（大修館書店、2000 年）
森村修『ケアの倫理 2』（大修館書店、2020 年）（近刊）
アマルティア・セン『経済学と倫理学』徳永澄憲・松本保美・青山治城訳、ちくま学芸文庫、2016 年
マーサ・ヌスバウム『正義のフロンティア――障碍者・外国人・動物という境界を超えて』法政大学出版局、2012 年

【参考書】
神島裕子『ポスト・ロールズの正義論――ポッゲ・セン・ヌスバウム』ミネルヴァ書房、2015 年

【成績評価の方法と基準】
期末試験（80 %）と小テストなど（20 %）で評価する。

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【学生が準備すべき機器他】
ビデオ、DVD など AV 機器を用いる場合がある。

【その他の重要事項】
「ケアと正義のグローバル倫理」は、単に授業ですわっていれば自然と身につくものではない。自らの主体的な実践を伴わない「ケア」や「〈癒しと救い〉」は、単なる「絵に描いた餅」でしかなく、生きるためには何の役にも立たない。受講生各自が、自らの日々の生活のなかで、「ケアとは何か」「何をケアするのか」「ケアするためには何が必要なのか」「ケアとは何をしなければならないことなのか」などという問いを自らに問いかけ、それに答える努力を欠かさないようにしてもらいたい。

【Outline and objectives】
The purpose of this lecture is to consider various "care and justice ethics" based on "global ethics of care." Finally, we will aim to raise an ethics of care to an ethics of love as global ethics.

PHL200LA

倫理学ＬⅠ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

佐藤　英明

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この講義では、おもに人の生命誕生に関わる生命倫理問題に目を向けながら、倫理学の基本的な概念を学びます。

【到達目標】
いま何が問われ、それに対してどのような倫理学上の立場が存在するのかを学ぶことを通して、倫理学の基本的な知識を身につけるとともに、具体的な生命倫理問題を通じて自ら思索を深めることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
少なくとも前半がオンラインでの開講となることに変更されたが、それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 30 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	倫理学の基本概念	倫理学とはどのようなことを研究対象とする学問なのか、倫理学全般に関する説明する。
第 2 回	規範倫理学・記述倫理学・メタ倫理学	倫理学の 3 つのレベルについて、その概要を説明する。
第 3 回	バイオエシックスの誕生	1970 年代に米国においてバイオエシックスが誕生した背景を解説する。
第 4 回	バイオエシックスの諸問題	バイオエシックスにおいて取り扱われるテーマを解説する。
第 5 回	倫理的価値としての生命	生命や健康は価値あるものとされているが、それはいかなる理由からかを考える。
第 6 回	生命の誕生と人工妊娠中絶の問題	生殖に関する生命倫理問題を考察する。
第 7 回	人口抑制と環境問題	生殖に関する生命倫理問題と人口問題や環境問題との関係を考察する。
第 8 回	「自然」とは何か	倫理問題を考えるうえで「自然」という概念がいかなる意味を持つのかを解説する。
第 9 回	優生思想	優秀な子孫を残し劣った子孫の出生を防止するという「優生思想」に関する問題を解説する。
第 10 回	社会ダーウィニズムと人種主義	優生思想と社会ダーウィニズムとの関係を解説し、ナチズムにおける位置づけを考察する。
第 11 回	人工授精と体外受精	具体的な生殖医療における生命倫理問題を概観する。

第 12 回	ウォーノック報告と自由主義	英国のウォーノック報告の基本的考え方を解説し、生命倫理学における自由主義について考察する。
第 13 回	凍結保存の倫理的意味	配偶子や受精卵の凍結保存の持つ意味とそれによってもたらされる倫理的問題を考察する。
第 14 回	まとめ ※別途定期試験を実施する	これまでの授業全体を振り返り、理解を深める。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
次回の授業内容に関するテキストの該当箇所を一読しておくこと。またプリントやノートを用いて授業内容について復習し，自分自身の思索を深めること。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
テキストとして今井道夫『生命倫理学入門［第４版］』（産業図書）を使用し、他に資料を配付します。

【参考書】
授業内で提示します。

【成績評価の方法と基準】
少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
板書方法の改善。

【Outline and objectives】
In this lecture, we will focus on bioethical issues concerning the birth of people and learn the basic concepts of ethics.

PHL200LA

倫理学ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

佐藤　英明

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この講義では、おもに人の死に関わる生命倫理問題に目を向けながら、倫理学の基本的な概念を学びます。

【到達目標】
いま何が問われ、それに対してどのような倫理学上の立場が存在するのかを学ぶことを通して、倫理学の基本的な知識を身につけるとともに、具体的な生命倫理問題を通じて自らの思索を深めることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式でおこないますが、授業中にとりあげた問題に対して受講者自身の意見を求めることもあります。脳死、臓器移植、安楽死、尊厳死等の生命倫理問題に関する報道や世論にも目を向けながら、その倫理的背景を考えます。原則として毎回リアクションペーパーの提出を求めます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	倫理的観点から見た「人の死」	人の死とはどのようなことかをあらためて生命倫理学の視点から考察する。
第 2 回	脳死に関する倫理的諸問題	脳死とはどのような状態かを確認し、生命倫理学においてどのような問題を孕んでいるのかを概観する。
第 3 回	臓器移植と功利主義	臓器移植という医療が、功利主義的な考え方によってどのように正当化されるかを具体的に考察する。
第 4 回	功利主義の問題	功利主義とはどのような考え方かを確認し、その問題点を明らかにする。
第 5 回	義務論と目的論	功利主義を義務論と対比し、義務論的な考え方について概観する。
第 6 回	幸福加算の可能性	「最大多数の最大幸福」を原則とする功利主義が前提とする幸福計算の可能性について考察する。
第 7 回	社会的コンセンサスの倫理的意味	合意形成の可能性について倫理学的視点から考察する。
第 8 回	安楽死・尊厳死・自然死	安楽死とはどのようなことかを解説し、安楽死に関する生命倫理問題を概観する。
第 9 回	生命の質	安楽死容認の根拠とされる考え方を考察する。
第 10 回	パターナリズム	自律原理に基づく医療とは対置されるパターナリズムの内容とその問題点を明らかにする。

第 11 回	自己決定の問題	安楽死の根拠とされる自律原理に関わる問題を明らかにする。
第 12 回	「判断能力」の有無	自己決定権行使の前提となる「判断能力」について、その内容を考察するとともに、問題とされる具体的事例を考察する。
第 13 回	「人格」概念	人間とはいかなる存在かをパーソン論の観点から考察する。
第 14 回	まとめ ※別途定期試験を実施する	これまでの授業全体を振り返り、理解を深める。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
次回の授業内容に関するテキストの該当箇所を一読しておくこと。またプリントやノートを用いて授業内容について復習し，自分自身の思索を深めること。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
テキストとして今井道夫『生命倫理学入門［第４版］』（産業図書）を使用し、他に資料を配付します。

【参考書】
授業内で提示します。

【成績評価の方法と基準】
原則として毎時間小テストを実施するほか、期末試験を実施します（ノート・テキストなどの参照不可）。期末試験の成績に小テストの結果を加味して評価をおこないます（試験 60%・小テスト 40%）。

【学生の意見等からの気づき】
板書方法の改善。

【Outline and objectives】
In this lecture, we will focus on bioethical issues concerning human death and learn basic concepts of ethics.

PHL200LA

倫理学ＬⅠ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**情報社会の倫理**

杉本　隆久

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
情報社会の倫理は、現代の情報社会の中で起こる具体的な倫理的問題に対して、理論的な知をさらに深め、応用していくための倫理学である。そのため、この授業では、グローバルな情報社会において生じている具体的な倫理的問題をいくつも取り上げながら、その問題に対して倫理学的にどのように対応していくべきかを各学生がそれぞれの立場で考察できるように促す。
倫理学ＬⅠでは、情報社会における倫理的問題の中でも、特に「ネットにおけるコミュニケーション」、「メディア・リテラシー」、「情報技術とセキュリティ」、「インターネットと犯罪」「個人情報と知的財産」、「SNS と情報モラル」などインターネット社会を生きるための情報倫理に関連する諸問題を取り上げる。

【到達目標】
この授業では、現代に生きる私たちが、グローバルな情報社会の中で、一個の人間としてどのように生きるべきかを倫理学的に考察することを目指す。その中で、様々な倫理的問題を解決する実践的・応用的な知を獲得することを目標とする。また、様々な倫理的問題と対峙した際に必要となる思考力と判断力を養うことを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
この授業では、基本的には、講義形式で行う。ただし春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。本授業の開始日は 5 月 11 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。オンラインでの授業は基本的に学習支援システム上で行い、教材や講義資料を配布し、小テストなどの課題を提出してもらう。
またオンラインでの開港に伴う各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	情報と情報社会と情報倫理	授業ガイダンスを行う。また、情報と情報社会と情報倫理についての概説も行う。
第 2 回	情報通信社会とインターネット	情報通信社会とインターネットの進化と変遷を概観し、その中で生じてきた倫理的問題について検討する。
第 3 回	ネット時代のコミュニケーション	ネットにおけるコミュニケーションとマナーについて倫理学的に検討する。
第 4 回	メディアの変遷とメディア・リテラシー	メディアの変遷とメディア・リテラシーについて倫理学的に検討する。
第 5 回	情報技術とセキュリティ	情報セキュリティとネット被害の問題を倫理学的に検討する。

第 6 回	インターネットと犯罪	ネット社会におけるトラブルと犯罪について倫理学的に検討する。
第 7 回	個人情報とプライバシー	個人情報の流出と保護の問題について倫理学的に検討する。
第 8 回	知的所有権とコンテンツ	知的財産の問題と知的財産権について倫理学的に検討する。
第 9 回	企業と情報倫理	企業の社会的責任や企業倫理について倫理学的に検討する。
第 10 回	科学技術と倫理	科学技術と倫理の問題や技術者倫理について検討する。
第 11 回	デジタルデバイドとユニバーサルデザイン	デジタルデバイドの問題とユニバーサルデザインについて倫理学的に検討する。
第 12 回	SNS と情報モラル	ソーシャルネットワークサービス（SNS）と情報モラルについて倫理学的に検討する。
第 13 回	情報社会とリテラシー	情報社会を生き抜くリテラシーについて倫理学的に検討する。
第 14 回	まとめ	まとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
事前に配布した資料を読み、分からなかった部分についてはノートに抜き書きするなどして、問題意識を持った上で授業に臨むこと。受講後は、不明点を理解できたかどうか復習すること。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
基本的にテキストは使用しない。授業のテーマに関係するプリントを配付する。

【参考書】
・高橋慈子他著『情報倫理―ネット時代のソーシャル・リテラシー』（技術評論社）
・情報教育学研究会『インターネット社会を生きるための情報倫理（改訂版）』（実務出版）
・勢力尚雅編著『科学技術時代の倫理学』（梓出版社）
・大黒岳彦『情報社会の〈哲学〉―グーグル・ビッグデータ・人工知能』（勁草書房）

【成績評価の方法と基準】
オンライン授業では、講義資料と課題を提示し、課題を提出してもらう。また期末にレポートを提出してもらう。以上の 2 点を総合して評価する。
評価の比率は、課題 60%、期末レポート 40%とする。

【学生の意見等からの気づき】
掲示板を活用することで、受講生からの意見を授業に反映させるようにする。

【その他の重要事項】
積極的・意欲的な態度で授業に臨んでもらいたい。

【Outline and objectives】
Ethics of information society is ethics to deepen and apply theoretical knowledge to specific ethical problems occurring in modern information society. From this reason, in this class, we will take up a variety of ethical issues arising from global information society, and consider a ethical reaction to those.

PHL200LA

倫理学ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**情報社会の倫理**

杉本　隆久

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
情報社会の倫理は、現代の情報社会の中で起こる具体的な倫理的問題に対して、理論的な知をさらに深め、応用していくための倫理学である。そのため、この授業では、グローバルな情報社会において生じている具体的な倫理的問題をいくつも取り上げながら、その問題に対して倫理学的にどのように対応していくべきかを各学生がそれぞれの立場で考察できるように促す。
倫理学ＬⅡでは、＜身体＞というパースペクティヴから、特に「人工知能（AI）」、「ロボット、アンドロイド、サイボーグ」という問題を中心に、他にも「技術的特異点（テクノロジカル・シンギュラリティ）」、「2045 年問題」、「Google」、「ビッグデータ」、「SNS」、「ウェアラブル」など現代を生きるための情報社会に関連する様々な倫理的問題を取り上げる。

【到達目標】
この授業では、現代に生きる私たちが、グローバルな情報社会の中で、一個の人間としてどのように生きるべきかを倫理学的に考察することを目指す。その中で、様々な倫理的問題を解決する実践的・応用的な知を獲得することを目標とする。また、様々な倫理的問題と対峙した際に必要となる思考力と判断力を養うことを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は基本的に講義形式で行う。ただし、積極的・意欲的な参加を希望するため、授業で取り上げる応用倫理学的な諸問題について、受講生から意見を聞いたり、ディスカッションを行ったりすることも考えている。また、リアクションペーパーを提出してもらうことで、受講生の意見を積極的に授業に反映させることも考えている。講義内容の理解度を確認するために、1 回は小論文を提出してもらう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	情報社会と 2045 年問題	授業ガイダンスを行う。また、情報社会と技術的特異点の問題についての概説も行う。
第 2 回	技術的特異点という倫理学的問題（1）―切迫的状況と指数関数的な爆発	技術的特異点という倫理学的問題について検討する。
第 3 回	技術的特異点という倫理学的問題（2）―来るべき未来と終末論	技術的特異点という倫理学的問題について検討する。
第 4 回	マスメディアの終焉とメディア史観	マスメディアの終焉とメディア史観について倫理学的に検討する。
第 5 回	グーグルによる「汎知」の企図と哲学の終焉	「汎知」の思想史を概観しながら、「グーグル」という問題について倫理学的に検討する。
第 6 回	ビッグデータの社会哲学的位相	ビッグデータをめぐる倫理的問題について検討する。

第 7 回	SNS によるコミュニケーションの変様と社会システム論	SNS によるコミュニケーションの変様について、社会システム論的見地を踏まえ、倫理学的に検討する。
第 8 回	ロボットから倫理を考える	ロボットをめぐる倫理的問題について検討する。
第 9 回	人間をつくり変える？	クローン、サイボーグ、アンドロイドをめぐる倫理的問題について検討する。
第 10 回	人工知能とロボットの新次元	人工知能とロボットの展開（未来）について、「身体」というパースペクティヴから倫理学的に検討する。
第 11 回	情報社会において倫理は可能か？	情報社会において倫理は可能かどうかを、「身体」というパースペクティヴから倫理学的に検討する。
第 12 回	メルロ＝ポンティと身体の哲学	メルロ＝ポンティと身体の哲学について倫理学的に検討する。
第 13 回	ニヒリズムと人間の終焉とポスト・ヒューマンの倫理学	ニヒリズムと人間の終焉とポスト・ヒューマンの倫理学について検討する。
第 14 回	まとめ、そして『公審判と第二の受肉―再び受肉する意味について、或いは天国に生きる永続ゾンビについて』	まとめを行う。そして、今後の問題としてキリスト教（特に正教会およびカトリック教会）における私審判と公審判の問題について「身体」というパースペクティヴから倫理学的に検討する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
事前に配布した資料を読み、分からなかった部分についてはノートに抜き書きするなどして、問題意識を持った上で授業に臨むこと。受講後は、不明点を理解できたかどうか復習すること。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
基本的にテキストは使用しない。授業のテーマに関係するプリントを配付する。

【参考書】
・ニック・ボストロム著『スーパーインテリジェンス 超絶 AI と人類の命運』（日本経済新聞出版社）
・レイ・カーツワイル著『ポスト・ヒューマン誕生 コンピュータが人類の知性を超えるとき』（NHK 出版）
・大黒岳彦著『情報社会の〈哲学〉―グーグル・ビッグデータ・人工知能』（勁草書房）
・ジャン＝ガブリエル・ガナシア著『そろそろ、人工知能の真実を話そう』（早川書房）
・三宅陽一郎著『人工知能のための哲学塾』（BNN 新社）
・久木田水生他著『ロボットからの倫理学入門』（名古屋大学出版会）
・岡本裕一郎著『12 歳からの現代思想』（ちくま新書）
・松田卓也著『2045 年問題　コンピュータが人類を超える日』（廣済堂新書）
・松尾豊著『人工知能は人間を超えるか　ディープラーニングの先にあるもの』（角川 EPUB 選書）
・弥永真生他編『ロボット・AI と法』（有斐閣）
・岡本裕一郎著『人工知能に哲学を教えたら』（SB 新書）

【成績評価の方法と基準】
リアクションペーパー＆ディスカッション 20%、小論文 20%、期末試験 60%。
リアクションペーパー＆ディスカッションでは授業へ積極的・意欲的に参加しているかどうかまた授業内容を理解できているかどうか、小論文では講義で扱った問題に関する議論を十分に理解した上で自分の考えを明確に表現できているかどうか、試験では倫理的問題を解決する実践的・応用的な知や思考力・判断力を獲得できているかどうかが評価の基準となる。

【学生の意見等からの気づき】
ディスカッションなどを授業に取り入れ、アクティブ・ラーニングにも力を入れて行きたい。

【その他の重要事項】
積極的・意欲的な態度で授業に臨んでもらいたい。

【Outline and objectives】
Ethics of information society is ethics to deepen and apply theoretical knowledge to specific ethical problems occurring in modern information society. From this reason, in this class, we will take up a variety of ethical issues arising from global information society, and consider a ethical reaction to those.

PHL200LA

倫理学ＬⅠ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

伊藤　直樹

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：2 **単位**
法文営国環キ 1〜4 **年**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義では、倫理の基底である自己と他者との関わりを学んでゆく。とくに他者とはなにかということを問題とし、他者と自己との関わりを考察してゆくことになる。
私はたった一人で生きているのではなく、私の前や隣には人がいて、その私以外の他人とともに生きているという、このあたりまえのことに、あらためて気づくためである。

【到達目標】
講義を終えた後、受講生が、上記の諸問題について自分なりに考えてゆくことができるようになることが、到達目標である。具体的には、学期末のテストにおいて、それを行なってもらう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は４月 24 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。いずれかの方法で、毎授業ごとにコメントを提出してもらいます。
授業開始日 4 月 24 日

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	はじめに；問題設定	単位取得方法、および講義の概要についての説明；他者という問題。なぜ「他者」が問題なのか。
第 2 回	デカルトの他者論（その 1）	デカルト哲学の紹介
第 3 回	デカルトの他者論（その 2）	デカルトの他者論（コギト、神の存在証明）
第 4 回	カントへの展開（その 1）	問題提起、カント哲学の紹介
第 5 回	カントへの展開（その 2）	超越論的観念論、超越論的統覚という問題
第 6 回	カントへの展開（その 3）	カント哲学における他者の構成という問題、カント倫理学における他者の不在
第 7 回	フッサールの他者論（その 1）	フッサール哲学の紹介
第 8 回	フッサールの他者論（その 2）	フッサールの他者論へ　間主観性・共現前という問題
第 9 回	フッサールの他者論（その 3）	フッサールの他者論の問題点と可能性（自己移入論、超越論的間主観性という立論）
第 10 回	シェーラーの他者論（その 1）	シェーラー哲学の紹介、シェーラーの類推説・自己移入論批判
第 11 回	シェーラーの他者論（その 2）	「体験流」からの出発、共同感情について
第 12 回	ハイデガーの他者論（その１）	ハイデガー哲学の紹介
第 13 回	ハイデガーの他者論（その２）	顧慮的気遣い、本来的な他者
第 14 回	テスト	講義内容を元にしたテストを行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
前回の講義内容に関して、自分なりの理解をまとめておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
内容が多岐にわたるため、特定のテキストは用いない。授業毎に、資料を配付する。

【参考書】
参考文献等は、そのつどの 講義で紹介する。

【成績評価の方法と基準】
出席は、授業形態に関わらず２／３以上参加してください。
学期末にレポートを課します。

【学生の意見等からの気づき】
毎回コメントペーパーを書いてもらい、授業冒頭でそれに応答をします。
コメントペーパーを見ていると、４月のはじめに書かれたものと最後の講義時に書いているコメントペーパーでは、ずいぶん内容が変わってきている印象をもちます。
「Ｌ」の付いている授業なので、内容は発展的で、やや高度な場合もあります。受講のさい、その点は注意してください。

【Outline and objectives】
This course deals with the relation between self and the Other. Specifically, we inquire will analyze the concept of the Other. The Other is the basic concept in ethics. If the Other doesn't exist, then ethics may not exist. Therefore we must define what the Other is. First, we will treat the Other as a Question. The Other is not an obvious fact to us. Then, we will go over various theories on Others, for example, Descartes', Kant's, Husserl's, Max Scheler's and Cassirer's. After thorough explications on each philosopher's concept, we will grasp the main point of theories on Others in it. Finally, we will be able to obtain the knowledge about the significance of the Other.

PHL200LA

倫理学ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

伊藤　直樹

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：2 **単位**
法文営国環キ 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義では、倫理の基底である自己と他者との関わりを学んでゆく。とくに他者とはなにかということを問題とし、他者と自己との関わりを考察してゆくことになる。
私はたった一人で生きているのではなく、私の前や隣には人がいて、その私以外の他人とともに生きているという、このあたりまえのことに、あらためて気づくためである。

【到達目標】
講義を終えた後、受講生が、上記の諸問題について自分なりに考えてゆくことができるようになることが、到達目標である。具体的には、学期末のテストにおいて、それを行なってもらう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
まず、他者論の問題設定の発生を明らか にして、そのうえで、ディルタイ、サルトル、和辻哲郎、M・ブーバー、E・レヴィナスなどが、その問題をどのように考えているかを見てゆく。
基本的に講義形式を取るが、内容に応じて映像資料なども用いる。また、受講者からの質問、コメントをもとに、それに答えるかたちで講義内容を補足してゆく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	はじめに	単位取得方法、および講義の概要についての説明
第 2 回	問題設定	他者という問題（デカルト、カント、フッサールの問題設定）
第 3 回	ディルタイの他者論	ディルタイの紹介、およびその他者論
第 4 回	サルトルの他者論（その 1）	サルトル哲学の紹介
第 5 回	サルトルの他者論（その 2）	サルトルの対他存在
第 6 回	和辻哲郎の倫理学（その 1）	和辻哲郎という人物、「面とペルソナ」について
第 7 回	和辻哲郎の倫理学（その 2）	和辻倫理学の主要論点（個と全体、二人共同体）
第 8 回	和辻哲郎の倫理学（その 3）	和辻倫理学の問題点
第 9 回	M・ブーバーの思想（その 1）	ブーバーという人物、「わたし-きみ」「わたし-それ」
第 10 回	M・ブーバーの思想（その２）	ブーバーの人間観
第 11 回	M・ブーバーの思想（その３）	ブーバーの思想の問題点、E・レヴィナスによる批判
第 12 回	E・レヴィナスの他者論（その２）	レヴィナス哲学の紹介
第 13 回	E・レヴィナスの他者論（その２）	レヴィナスの他者論（顔、他者）
第 14 回	他者論のまとめ	これまでの議論を総括し、問題点を析出する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
前回の講義内容に関して、自分なりの理解をまとめておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
内容が多岐にわたるため、特定のテキストは用いない。授業毎に、資料を配付する。

【参考書】
参考文献等は、そのつどの 講義で紹介する。

【成績評価の方法と基準】
学期末にレポートを提出してもらいます。
成績評価の基準は次のようにする。
平常点３５％；レポート６５％

【学生の意見等からの気づき】
毎回コメントペーパーを書いてもらい、授業冒頭でそれに応答をします。
コメントペーパーを見ていると、９月のはじめに書かれたものと最後の講義時に書いているコメントペーパーでは、ずいぶん内容が変わってきている印象をもちます。
「Ｌ」の付いている授業なので、内容は発展的で、やや高度な場合もあります。受講のさい、その点に注意してください。
昨年度の受講生に感想を書いてもらいました。
まず、次のように、難しいが面白いという矛盾？ したものが多くありました。
「私は、前期と後期どちらも履修させていただきましたが、哲学、倫理学ともに深い知見を得られたと思います。最初はなんとなく面白そうだなぁというような割とふわっとした理由で履修したのですが、内容はたしかに面白いといえども、まぁえげつなく難しい。目から正気が消え果てました。半分地獄かと思えるような授業でしたが、テストがなければ、内容を聞いているだけならとてつもなく楽しい授業でした。」（文・日文１年）
次も、似た内容のもの。
「今まで生きてきて哲学に関する勉強に全く触れてこなかった身としては、初回の授業はさっぱり分からずこの授業をとって正解なのか分かりませんでした。しかし。回を追うごとに具体例を絡めた説明（地下鉄での話など）で理解の手助けをしていただき、他者という抽象的なテーマに対しても理解を深めることが出来、とてもいい経験になりました」。（経営・経営２年）
政治学科の受講者は次のような感想をよせてくれました。
「社会科学の一分野である政治学を学ぶ私にとっては、孤立した個人に立脚した倫理学をどう社会という構造の中で議論できるのであろうかということについていくらかの疑問を抱いていた。この講義を受けて倫理学の中でもサルトルや和辻のように自我の議論を社会の中に落とし込むような議論を学べたごとで人文科学領域と社会科学領域の間をうまく行き来する一つの架け橋を持つきっかけができたように思います。講義そのものについても身近な例に引きつけて議論を展開していただいたことでより実感的に議論を理解でき大変勉強となりました。」（法・政２年）
哲学対話を取り入れたので、それについても含めての感想です。
「授業についてですが、知らないことを学べることは新鮮で､特に他の全然知らない人と漠然としたテーマについて話す哲学対話についてはいろんな意見があって、意外なところから反論が来たことが面白かったです。意見をぶつけ合ううちに話しやすくなっていったり、共感してくれた人がいたりしたことに議論の凄みを感じました。また自分は朝が弱いので２限が終わったあとの昼飯の時間や３限の時間を少し倫理学のことに頭を割いて考えて、ああでもないこうでもないと右往左往していましたが、普通に生きていたら見落としてしまいそうなことを考えることはとても刺激になりました。」（経営・経営２年）
コメントペーパーについての感想もありました。
「少人数の講義だったこともあって、毎回コメントペーパーに対するフィードバックがあり、とても楽しかったです。また、著名な哲学者の理論の解説のみならず、哲学対話のように自分たちで考え、発表する取り組みがあったことも印象的でした。

コメントペーパーと哲学対話に共通することとして、「自分の考えを言語化する」点が挙げられます。このことは大学における学びにおいて重要なことだと私は考えます。受け身の講義だけでなく、きちんと講義内容に対する自身の考えを明らかにすることで、はじめて意義のある学びになると思います。このことを、私は先生の講義で感じました。」（CD ２年）

【Outline and objectives】
This course deals with the relation between self and the Other. Specifically, we inquire will analyze the concept of the Other. The Other is the basic concept in ethics. If the Other doesn't exist, then ethics may not exist. Therefore we must define what the Other is. First, we will treat the Other as a Question. The Other is not an obvious fact to us. Then, we will go over various theories on Others, for example, Dilthey's, Sartre's, Tetsuro Watsuji's, Buber's and Lévinas'. After thorough explications on each philosopher's concept, we will grasp the main point of theories on Others in it. Finally, we will be able to obtain the knowledge about the significance of the Other.

PHL200LA

倫理学ＬⅠ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**生きることと死ぬことを考える**

田島　樹里奈

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、生命倫理学という応用倫理学の一分野を通じて、人間にとって生（生命、人生、生活）（life）とは何であるかを中心に、生きること・死ぬことについて考察することを目的とする。とりわけ本授業では、「幸福とは何か」を出発点としながら、人間の生／死、人格、医療（技術）に焦点を当てながら、私たち人間とはどのような存在であるかをじっくり倫理学的な視点から考え直していきたい。
かつて人間の生命は、「神のみが知る」ものであった。現代では、自然界に生まれた生命に人間の科学技術が介入することは当たり前であるが、人工授精・体外受精、デザイナーベイビー、新型出生前診断、人工妊娠中絶、臓器移植、延命治療など、現代社会でよく耳にするこれらの人工的な生命操作は、明らかに反自然的な行為である。もちろん、私たちの日常生活において医療技術は欠くことができず、医療技術の進歩によって多くの命が救われてもいる。そしてこれらの問題は、私たちが生きていく中で、いずれ関わるかもしれない身近な問題でもある。本授業では、具体的な事例や現代的な問題を取り上げながら、命（生と死）・医療・科学技術などについて、今一度考え直すきっかけを提供していきたい。
※授業支援システムが機能しない状況に関して※（4/20）
現在、アクセス数集中のためか、支援システムがダウンしてしまう時間帯があるようです。
そのため、このクラスでは Google Classroom に新規クラスを開設しました。おそらく皆さんの大学用のメールアドレスを使用して Google Classroom に入れると思います。（右上のアプリ選択のようなマークの下の方にあります）こちらのシラバスを見た人は試してみてください。
クラスコード： zjweclh

【到達目標】
① 生命、死、存在、医療、看護、QOL などの言葉を、自分の頭の中で相互に関連づけながら思考する力を身につける。② 医療現場、患者および患者家族側、生命倫理学の多様な価値観を学ぶことで、様々な立場の考え方を多角的に把握する力を身につける。③ 学問的な理論の構築法を学ぶことで、各自の問題意識を学問的に分析する力を身につける。
本授業では、生命倫理学について、たんなる知識を身につけるだけに終わらせることなく、複雑な現代を生きる一人の人間として、より広い視野を培い、深い思考力を持てることを最終的な目標としている。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業開始日：４月２２日（水）
初回は動画にて配信。今後、なるべくプリント類も添付していく予定。
初回の授業動画は、授業支援システム並びに Google Class（クラスコード： zjweclh）にアップしてあります。
２９日は学部授業なしのため、第２回目は５月６日です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業内容の説明 生命倫理学とは？ 自然界の生命に医学（医療）が介入すること
第 2 回	倫理学の基礎理論①——幸福とは何か	「幸福」はどのように決まるか？ 善く生きるの「善い」とは？
第 3 回	バイオエシックスの成立	医療と倫理 バイオエシックス／生命倫理はどのような背景から出てきたか
第 4 回	倫理学の基礎理論②——功利主義	「最大多数の最大幸福」 平等原理は存在するか？
第 5 回	人間の生命と人格①	生物学的生命と人格的生命 人格とは何か？
第 6 回	人間の生命と人格②	人格と責任能力 胎児に人格はあるか？ 自己意識と生存の権利
第 7 回	人間の生命と人格③	パーソン論とは 人工妊娠中絶は殺人か？
第 8 回	生存の義務と死ぬ権利	私たちは死ぬ権利をもつことができるか 自己決定権と生命 医療と人体実験
第 9 回	伝える義務と知る権利	医療とインフォームド・コンセント 情報開示と自己決定権
第 10 回	命は誰のものか？	医療とパターナリズム 患者の権利と医師の義務——生命の維持と自己決定権
第 11 回	医療と倫理と法	看護業務と医療事故 様々な医療事故の裁判例
第 12 回	誰が生／死を決定するのか	患者の自己決定権 宗教・信条と生命
第 13 回	医療の倫理と法	医療技術の進歩と医療現場 医療事故と医療過誤
第 14 回	まとめ	生きることと死ぬことの倫理

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回の授業の復習をよくすること。とくに授業内で気付いたことや疑問に思ったことは各自で調べたり掘り下げて考えてみること。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特になし

【参考書】
塩野寛、清水惠子『生命倫理への招待』南山堂、2012 年。
曽我英彦、棚橋實、長島隆編『生命倫理のキーワード』理想社、1999 年。
H・T・エンゲルハート『バイオエシックス の基礎』東海大学出版会、1988/2005。

【成績評価の方法と基準】
毎授業ごとのリアクションペーパー（20 %）、期末試験またはレポート（80 %）

【学生の意見等からの気づき】
基礎から学ぶので、倫理学を受けたことのない人でも関心を持って受講することで、少しずつ理解でき、視野が広がってくると思います。

【Outline and objectives】
This course is an introduction and survey course in Bioethics. The purpose of this course is introduce students to bioethics through critical thinking contemporary issues. Through this course, students will be given not only the knowledge and comprehension of relationship between biotechnology and ethics, but also the opportunity to focus on their life and death. Students will first be introduced the history of ethics, foundational theories in bioethics, and the basic concepts and theoretical framework of bioethics.
Topics will include: what is happiness, health-care, responsibility, system of value, informed consent, death and dying, and the issue of beginning of life(on abortion, designer baby, prenatal testing etc.).
Through this course, students will be able to think carefully and to express their own views more clearly through their own positions on bioethical/ medical issues.

PHL200LA

倫理学ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：「いのち」を多角的に考える

田島　樹里奈

開講時期：秋学期授業/Fall ｜ 曜日・時限：水 2/Wed.2
単位数：2 単位
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、生命倫理学という応用倫理学の一分野を通じて、人間にとって生（生命、人生、生活）（life）とは何であるかを中心に、生きること・死ぬことについて考察することを目的とする。とりわけ本授業の後半では、宗教の視点から生命倫理を考察することにより、様々な宗教的思想を背景にした死生観と生命倫理観を学んでいく。そもそも宗教は生死と密接に関わり、それぞれの仕方で「あの世／この世」「現世／来世」を語ってきた。本授業ではこれら全てを網羅することはできないが、私たちが今・ここで生きることの意義や、死や死後を考察するための手掛かりとして、それぞれの宗教的思想の意義を検討していきたい。
倫理学という学問領域は、私たちの日常生活や生きること・死ぬことに直接関わる部分を含んでいる。それゆえ、本授業を通じて、受講生各自が関心を持ったテーマに対して、積極的にアプローチをすることで、それぞれの興味・関心を深めていきながら、死生観や生命観を構築し、さらに倫理的な問題意識を持って学問的に掘り下げてもらいたい。
　以上の観点を持って、受講生各自が本授業を通して、私たち人間とはどのような存在であるか、生きるとは、死ぬとはどういうことなのかをじっくり倫理学的な視点から考え直していくきっかけを提供していきたい。

【到達目標】
① 生命、死、人格、医学、宗教などの言葉を、自分の頭の中で相互に関連づけながら思考する力を身につける。② 多様な生命の在り方や、宗教的思想を背景とした多様な価値観を学ぶことで、様々な立場から生命倫理を考える力を身につける。③ 学問的な理論の構築法を学ぶことで、各自の問題意識を学問的に分析する力を身につける。本授業では、生命倫理学について、たんなる知識を身につけるだけに終わらせることなく、複雑な現代を生きる一人の人間として、より広い視野を培い、深い思考力を持てることを最終的な目標としている。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
基本的には講義形式で行なう。場合によっては、グループディスカッションをしたり、学生の皆さんに質問を投げかけたりしながら、受講者が主体的に考えられるような授業にしたい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	生命倫理学とは何か？
第 2 回	生命の誕生と倫理①	生殖医療の倫理——生殖技術の発展と拡大 人工授精の歴史と現状
第 3 回	生命の誕生と倫理②	生殖医療の倫理——体外受精と卵子の老化
第 4 回	生命の誕生と倫理③	生殖技術の倫理——精子バンク、代理母問題
第 5 回	生命と医学①	再生医療とクローン技術
第 6 回	生命と医学②	遺伝子技術と生命倫理 デザイナーベイビーとは
第 7 回	生命と医学③	遺伝子とゲノム ゲノム解析とは
第 8 回	生命と医学④	性転換手術と医療倫理 自然界の性転換と人工的性転換、LBGT
第 9 回	宗教と生命倫理①	宗教とは何か？ 宗教的価値観と倫理的判断
第 10 回	宗教と生命倫理②	神道における死後観と人間観
第 11 回	宗教と生命倫理③	ヒンドゥー教の死生観
第 12 回	宗教と生命倫理④	イスラームにおける生命観
第 13 回	宗教と生命倫理⑤	キリスト教と生命倫理
第 14 回	まとめ	宗教／非宗教から生命倫理を考える

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回の授業の復習をよくすること。とくに授業内で気付いたことや疑問に思ったことは各自で調べたり掘り下げて考えてみること。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特になし

【参考書】
曽我英彦、棚橋實、長島隆編『生命倫理のキーワード』理想社、1999 年。
小松美彦、土井健司編『宗教と生命倫理』ナカニシヤ出版、2005 年。

【成績評価の方法と基準】
毎授業ごとのリアクションペーパー（20 %）、期末試験またはレポート（80 %）

【学生の意見等からの気づき】
倫理学 L 1から継続して受講すると理解しやすい

【Outline and objectives】
This course is intended to develop student's understanding of ethical issues of bioethics and medical care. Especially, this course will focus upon major bioethical issues which related to artificial insemination, genetic testing and human right. In addition, the second half of this course, we will explore various ethical problems within several religious traditions. Through comparison of bioethical perspectives on selected themes, students will be able to recognize the interconnections between bioethical issues and religious system. This course will help students to develop the ability to analyze diverse perspective and to recognize the importance of ethical considerations.

PHL200LA

倫理学ＬⅠ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

吉永　明弘

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
倫理学の基礎知識を学び、応用倫理学の内容に親しむとともに、具体的な倫理問題について議論する。

【到達目標】
倫理学の基本的な考え方や主要な理論（功利主義、義務論、徳倫理学、社会契約論、正義論）および応用倫理学の内容を把握し、それをもとに具体的な倫理問題について議論することができることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義とコメントペーパーへの応答。
この授業は 4 月 28 日（火）から行います。
連絡は学習支援システムで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	倫理学を学ぶ意味	なぜ倫理学を学ぶ必要があるのかについて説明する
2	倫理学の三大理論（1）功利主義	ミルの自由論を基軸に功利主義について説明する
3	倫理学の三大理論（2）徳倫理学と義務論	アリストテレスとカントの倫理学の概要を紹介する
4	倫理学と政治哲学（1）社会契約論	ホッブズ、ロック、ルソーらの社会契約論を概説する
5	倫理学と政治哲学（2）正義論	ロールズ、ノージック、サンデルらの正義論を紹介する
6	倫理学と公共哲学	公共性について倫理学の視点から論じる
7	応用倫理学（1）生命倫理学	脳死と臓器移植、医師・患者関係フォームドコンセントを中心に説明する
8	応用倫理学（2）情報倫理学	情報化社会の倫理問題について紹介する
9	応用倫理学（3）環境倫理学	環境問題への倫理学からのアプローチについて紹介する
10	応用倫理学の多様な広がり	技術者倫理、研究倫理、脳神経倫理、宇宙倫理などを紹介する
11	対話型講義（1）市民の力	社会に対する市民の力について議論する
12	対話型講義（2）内部告発	内部告発について議論する
13	対話型講義（3）21 世紀の労働倫理	IT・AI の時代がもたらす新たな労働倫理について議論する
14	対話型講義（4）21 世紀の教育	IT・AI の時代の教育のあり方について議論する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
参考文献をよく読んでおくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
テキストは使用しない。

【参考書】
加藤尚武『現代倫理学入門』講談社学術文庫、1997 年
新田孝彦『入門講義　倫理学の視座』世界思想社、2000 年
宇都宮芳明『倫理学入門』ちくま学芸文庫、2019 年
川本隆史『現代倫理学の冒険』創文社、1994 年
國分功一郎『近代政治哲学』ちくま新書、2015 年
児玉聡『功利と直観』勁草書房、2010 年
梅津光弘『ビジネスの倫理学』丸善、2002 年

【成績評価の方法と基準】
試験（50 %）、レポート（50 %）。

【学生の意見等からの気づき】
学生から意見がありませんでした。

【Outline and objectives】
You can understand ethical theory and applied ethics.

PHL200LA

倫理学ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

吉永　明弘

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
環境哲学・環境倫理学の基本的文献の内容を紹介する。このなかから各自の興味のある文献を読み、レポートを書いてもらう。

【到達目標】
環境倫理学の基本的文献の内容を把握し、それをもとに現実の環境問題に対する自分なりの構えをもつことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式で行う。適宜、ディスカッションを取り入れる。レポートを添削し、必要があれば個別に面談を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	この授業の進め方を説明する
2	現代倫理学の射程	現代倫理学の基本文献を紹介する
3	欧米の環境倫理	欧米の環境倫理の基本文献を紹介する
4	グローバルな環境倫理	グローバルな環境倫理に関する文献を紹介する
5	ローカルな環境倫理	ローカルな環境倫理に関する文献を紹介する
6	科学技術の倫理	科学技術の倫理を論じた文献を紹介する
7	公害と環境正義	公害と環境正義に関する文献を紹介する
8	自然保護から生物多様性保全へ	自然保護・生物多様性保全に関する文献を紹介する
9	環境問題と社会科学	社会科学の視点から環境問題を論じた文献を紹介する
10	環境論を問いなおす	環境論に批判を加えている文献を紹介する
11	地域環境保全と市民の力	地域環境や市民運動に関する文献を紹介する
12	場所論と風土論	場所論と風土論の基本文献を紹介する
13	景観保全と都市環境	景観保全と都市環境に関する文献を紹介する
14	都市の環境倫理をめざして	都市の環境倫理の構想を紹介する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
教科書のなかで紹介している文献を読むこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
吉永明弘『ブックガイド　環境倫理』勁草書房、2017 年

【参考書】
吉永明弘『都市の環境倫理』勁草書房、2014 年
吉永明弘・福永真弓編『未来の環境倫理学』勁草書房、2018 年

【成績評価の方法と基準】
試験（50 %）とレポート（50 %）。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【Outline and objectives】
You can understand Environmental Ethics by Environmental Reading and Writing.

PHL200LA

論理学ＬⅠ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**論理的読解のトレーニング**

佐々木　護

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
論点が明確で、筋の通った議論や文章は「論理的」だと言われます。この授業では、分野を問わず多様な文章を論理的に把握し、それを吟味検討したうえで、自分の見解を論理的に表現する訓練を行います。論理的読解力や論述力を身につけることは、みなさんが今後研究活動や社会生活を送る上で大いに役立つはずです。

【到達目標】
本授業の到達目標は以下の２点です。
（1）新聞記事や新書レベルの文章を読み、そこから論証構造を抽出し、内容をよく理解した上で、的確な要約を行うことができる。
（2）上記の文章を吟味検討し、自分の見解を論理的に展開することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業前半は講義形式ですが、後半は問題演習とその検討が中心となります。そのため、受講者には主体的な参加を求めます。また、論述力の向上を図るため、定期的に小論文を作成する回を設けます。提出答案は添削・評価の上、翌週返却・解説します。
（追記： 4 月 17 日）
春学期前半はオンラインでの開講となります。本授業開始日は 4 月 27 日です。具体的なオンライン授業の進め方については、授業開始日までに学習支援システムで提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス／論理学とは	論理学には分析論と弁証術の 2 つの流れがあることを理解する。
第 2 回	論理的説明と論証	トゥールミン・モデルなどを参照しつつ、論理的な説明には、根拠の提示が不可欠であることを理解する。
第 3 回	論理的読解と論証	論理的読解には、文章全体を論証と捉え、結論とそれを支える根拠を見きわめることが有効であることを理解する。
第 4 回	論証の構造	論証図の作成を通じて、論証構造を的確に把握する仕方を身につける。
第 5 回	要約の技法	文章から論証構造を取り出し、それを軸に要約する技法を身につける。
第 6 回	隠れた前提	論証を論理的に理解するには、隠れた前提を自覚的に取り出すことが必要な場合があることを理解する。
第 7 回	論証の評価（1）	論証の適切さや妥当性を評価するにあたって着目すべきポイントを理解する。
第 8 回	論証の評価（2）	論証を検討する仕方を実践的に身につける。
第 9 回	誤った論証	論証の誤りの代表的なパターンを理解する。
第 10 回	論証への反論（1）	現代の社会問題に関連した論証に対する反論を作成する。
第 11 回	論証への反論（2）	前回作成答案を基にして、発展的検討を行う。
第 12 回	文章読解と見解論述（1）	現代の社会問題に関連した文章を読み、それに対する見解論述を作成する。
第 13 回	文章読解と見解論述（2）	前回作成答案を基にして、発展的検討を行う。
第 14 回	試験日	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
毎回、講義内容に関連した宿題が課されます。
授業中に配布したプリントにはよく目を通しておいてください。

【テキスト（教科書）】
配布プリントを使用します。
教科書は使用しません。

【参考書】
苅谷剛彦『知的複眼思考法』（講談社プラスアルファ文庫、2002 年）
野矢茂樹『新版・論理トレーニング』（産業図書、2006 年）

【成績評価の方法と基準】
期末試験の成績（80 %）および平常点（20 %）で評価します。
平常点は、授業内課題や宿題の提出状況および内容で判断します。
期末試験の評価基準については、授業中に何度か実施する小論文課題の評価基準を参考にしてください。
（追記： 4 月 17 日）
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更します。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示します。

【学生の意見等からの気づき】
今まで文章を書く機会の少なかった受講者の場合、最初は小論文作成に時間がかかり、難しく感じることもあるようです。しかし、書き続けるうちに徐々に慣れていきますので、その点についてあまり心配する必要はありません。

【Outline and objectives】
We call a reasonable argument as "logical". In this course, we will practice to logically read various texts regardless of the field, examine them, and express your own view logically. If you acquire the ability of logical reading and argumentation, it will be useful for your future academic activities and social life.

PHL200LA

論理学ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**批判的思考のトレーニング**

佐々木　護

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
批判的思考（クリティカル・シンキング）教育の一環として、複数の視点から仮説を立てたり、対立する意見も視野に入れつつ望ましい問題解決策を見出す訓練を行います。自分が自明とする考えからいったん距離を置き、異なる他者の考えにも目を向ける態度を身につけることは、みなさんが今後研究活動や社会生活を送る上でも大いに役立つはずです。

【到達目標】
本授業の到達目標は以下の２点です。
（1）統計資料などを手がかりに仮説を立て、それに基づく解決策を提示することができる。
（2）与えられたテーマに関して、対立する意見も視野に入れつつ、説得力ある見解論述を展開することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業の前半は講義形式ですが、後半は問題演習とその検討が中心となります。そのため、受講者には主体的な参加を求めます。また、文章作成力の向上を図るため、定期的に小論文を作成する回を設けます。提出答案は添削・評価の上、翌週返却・解説します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス／推論の分類	演繹、帰納、仮説推量という推論の３つのタイプを概観する。
第 2 回	演繹と仮説推量	演繹と仮説推量の関連性と相違点を理解したうえで、新たな発想やアイデアを導く上で仮説推量が果たす意義を押さえる。
第 3 回	統計資料の分析と仮説推量	統計資料の分析の基本を理解し、資料からどのような仮説を立てることができるかを考える。
第 4 回	相関関係と因果関係	２つの現象の間に何らかの関係が認められる場合に、どんな仮説が立てられるのかを理解する。
第 5 回	原因分析と対策提言	ある仮説に基づくならば、どのような対策が必要かを考える。仮説が異なれば、必要な対策も大きく異なることを理解する。
第 6 回	価値前提	それぞれの論証がどのような価値判断や価値基準を前提としているかに注目することで、議論の争点を整理する仕方を身につける。
第 7 回	対策提言の評価（1）	現代の社会問題に関連した論証に対する検討を行う。
第 8 回	対策提言の評価（2）	前回作成答案を基に、発展的検討を行う。
第 9 回	立論・批判・異論（1）	対立する意見を視野に入れつつ、それに対する批判や異論を展開する仕方を身につける。
第 10 回	立論・批判・異論（2）	批判と異論の違いを見きわめる。
第 11 回	立論・批判・異論（3）	あるテーマに対し、立論・批判・異論から構成される小論文を作成する。
第 12 回	立論・批判・異論（4）	前回作成答案を基に、発展的検討を行う。
第 13 回	誤った二分法	二分法が陥りがちな罠を理解する。
第 14 回	試験日	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
講義内容に関連した宿題を課す場合があります。
授業中に配布したプリントにはよく目を通しておいてください。
また、日頃から政治や経済、社会等のニュースに関心を持ち、批判的にチェックする習慣を身につけていきましょう。

【テキスト（教科書）】
配布プリントを使用します。教科書は使用しません。

【参考書】
苅谷剛彦『知的複眼思考法』（講談社プラスアルファ文庫、2002 年）
野矢茂樹『新版・論理トレーニング』（産業図書、2006 年）

【成績評価の方法と基準】
期末試験の成績（80 %）および平常点（20 %）で評価します。
平常点は、授業内課題や宿題の提出状況および内容で判断します。
期末試験の評価基準については、授業中に何度か実施する小論文課題の評価基準を参考にしてください。

【学生の意見等からの気づき】
テーマに関連したアウトプットを繰り返す授業形式を通して、考えて書く力がアップしたと感じる受講者が多かったようです。

【Outline and objectives】
As part of the critical thinking education, we will make hypotheses from multiple perspectives, and practice to find solutions while taking into account the opposite opinion. If you learn how to think critically, you will be of great help in your future academic activities and social life.

HIS200LA

東洋史ＬＩ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

岡安　勇

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 1/Tue.1
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国古代の国家構造については皇帝を頂点とする一元的支配（＝個別人身的支配）という概念で理解されている。
しかし皇帝権力の絶対性の側面を強調すると、その絶対的権力を打倒して新王朝が出現する王朝交替のメカニズムを解明する糸口が見失われてしまう。
また「例外において本質が顕現する」（C. シュミット）と言われるように、皇帝支配における例外的措置としてこれまであまり顧みられることのなかった王朝の「賓・客」（旧王朝の子孫）の存在とその待遇問題について注目して新たに中国古代の国家構造を明らかにしてみたい。
つまり、本授業では中国古代の国家構造を「二王の後（旧王朝の子孫）」の視点から解明する。
漢文講読の経験の有無にかかわらず、中国に興味関心のある学生が本授業を受講することによって、これまでにない中国古代の国家構造を理解することができる。

【到達目標】
中国古代（おもに堯・舜・禹の伝説時代から殷・周〜秦・漢・三国時代）の社会・思想のうち興味深い事柄が理解できる。また、そのような社会や思想を理解した上で、一般に知られていない中国古代の「二王の後」の存在も明らかになる。「二王の後」の視点から中国古代の王朝交替のメカニズムが明確に理解できるようになる。
なお、授業では現代に溶け込んでいる中国古代の故事なども取り上げるので、これまでとは違う知識が得られる。また、授業で漢文を読むことになるが、初心者でも次第に漢文の読み方が上達すると考えられる。
試験では授業で扱った漢文史料を引用して自分自身で中国古代の王朝交替のメカニズムをこれまでにない視点から説明することが出来るようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義で講読する史料や参考資料はプロジェクターを使用してスクリーンに映しだして説明を加えるので、黒板に書くチョークの文字よりも見やすいと思われる。また、黒板に書く作業が省略される分時間の短縮に繋がり、教師と学生が常に対面できるという利点もある。
講義形式 (漢文初心者にも理解できるように説明し、丁寧な解説を加える）で行う。授業計画にも示してあるが、講義では、中国古代史上における興味ある話題について参考資料などを示して紹介するつもりである。
なお、授業の概要、重要事項などを確認するリアクションペーパーの提出を義務づけているが、その中で提出された質問のうち共有化すべきものについては、次回の授業で回答する。
上記の予定は 2020 年度春学期には実行できず、春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は４月 28 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	二王の後とはなにか	授業内容:春学期授業のガイダンスと中国古代の国家構造について
第 2 回	伝説上の王朝について	堯・舜・禹の伝説上の帝王間の政権交替についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 3 回	実在する最古の王朝について	夏王朝から殷王朝への王朝交替と「二王の後」についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 4 回	殷王朝から周王朝へ	殷王朝から周王朝への王朝交替と「二王の後」についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 5 回	周王朝から秦王朝へ	周王朝から秦王朝への王朝交替と「二王の後」についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 6 回	秦王朝から漢王朝へ	秦王朝から漢王朝への王朝交替についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 7 回	漢王朝初期	漢王朝初期の二王の後についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 8 回	漢の武帝の初期	漢の武帝初期の二王の後礼遇の再建についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 9 回	漢の武帝期②	漢の武帝期の二王の後についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 10 回	漢の宣帝・元帝期	漢の宣帝・元帝期の二王の後についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 11 回	漢の成帝期	漢の成帝期の二王の後についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 12 回	王莽時代	王莽時代の二王の後についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 13 回	後漢・三国時代 まとめ	後漢・三国時代の二王の後についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介 春学期講義のまとめおよび結論。
第 14 回	試験・まとめ	試験についての説明を行った後、試験実施　　まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習時間は、各２時間を標準とする。参考図書などについてはテキストに記載してあるが、それ以外のものについては、授業中に紹介するので、それらの参考図書を授業前後に読み、取り扱うテーマとその歴史的背景を理解すること。
なお、中国に関する展覧会などにも積極的に出掛けて、中国への関心と理解を高めることに心がけてもらうとよい。

【テキスト（教科書）】
岡安勇『中国古代の国家構造』　生協扱い。
必要に応じてプリントを配布する。

【参考書】
なし。ただし、参考図書などについてはテキストに紹介してある。

【成績評価の方法と基準】
期末試験： 70 %
平常点： 30 %（毎時間、授業の理解度確認のためのリアクションペーパー提出）

合計： 100 %
成績は毎時間に提出するリアクションペーパーによる平常点と期末試験で評価する。リアクションペーパーを一定枚数以上提出した者が成績の評価対象となる。期末試験では講義で使用するテキストやプリントとその説明のためにとったノートがなければ解答できないと思われる。すなわち出席を重視するゆえんである。なお、試験問題は授業の個々の内容から出題する。
上記の予定は 2020 年度春学期には実行できず、春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
今後も知的好奇心を刺激する授業を展開するよう心がける。また、専門的な分野を理解できるように、これからも工夫を加えていきたい。

【その他の重要事項】
春学期の「二王の後」という視点、秋学期の「中国古代の席次」という視点の両面から中国古代の国家構造というテーマを解明していくので、両者の視点によってより明確にテーマを理解できると思われる。そのため、履修者には通年での履修を勧める。

【Outline and objectives】
「This program is designed to lecture on "descendants of the previous two dynasties" in ancient China.

HIS200LA

東洋史ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

岡安　勇

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 1/Tue.1
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期では、王朝の「賓・客」（旧王朝の子孫）の存在とその待遇問題に注目して中国古代の国家構造の解明を行ったが、秋学期ではこれとは反対に禅譲されて新王朝を樹立した者の、旧王朝末期における君臣関係というこれまであまり扱われることのなかった例外的措置について取り上げ、中国古代の新旧両王朝一体となった国家構造を明らかにしてみたい。
そこで本授業では中国古代の国家構造を席次という序列関係を手掛かりにして解明を試みる。
なお、この解明には君臣間、賓主間という性質の異なる席次の序列関係も重要な手掛かりとなるが、人口に膾炙した『史記』の有名な「鴻門の会」はその代表例として取り上げることになるので、親しみやすいと思われる。対象学生は春学期と同じ。

【到達目標】
中国古代に行われていた席次（席に座る順序）を用いるというこれまで考えられなかった視点から王朝交替のメカニズムを解明する糸口を見いだすことが出来る。
一般にもよく知られている鴻門の会での項羽と劉邦の席がどのようにして決まったのか興味のある問題であるが、この点についてはビデオを用いることによって、視覚的に理解ができる。
中国古代の席次が理解できれば、皇帝が西面することがいかに異例のことだったのかが分かり、するとこれまで考えても見なかった王朝交替のメカニズムが判明することにもつながる。
なお、秋学期でも春学期と同じように、授業では現代に溶け込んでいる中国古代の故事なども取り上げるので、これまでとは違う知識が得られる。また、授業で漢文を読むことになるが、初心者でも次第に漢語への理解や漢文の読み方が上達すると考えられる。
試験では授業で扱った漢文史料を引用して自分自身で中国古代の王朝交替のメカニズムをこれまでにない視点から説明することが出来るようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義で講読する史料や参考資料はプロジェクターを使用してスクリーンに映しだして説明を加えるので、黒板に書くチョークの文字よりも見やすいと思われる。また、黒板に書く作業が省略される分時間の短縮に繋がり、教師と学生が常に対面できるという利点もある。
講義形式 (漢文初心者にも理解できるように説明し、丁寧な解説を加える）で行う。授業計画にも示してあるが、講義では、中国古代史上における興味ある話題について参考資料などを示して紹介するつもりである。
なお、授業の概要、重要事項などを確認するリアクションペーパーの提出を義務づけているが、その中で提出された質問のうち共有化すべきものについては、次回の授業で回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	授業内容:秋学期授業のガイダンスと中国古代の国家構造について	授業内容ガイダンスと君臣間の席次についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 2 回	君臣間の席次	君臣間の席次についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 3 回	階層化する君臣間の席次	階層化する君臣間の席次についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 4 回	賓主間の席次	賓主間の席次のうち基本的なものについてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 5 回	君臣間の席次と賓主間の席次の相違点	君臣間の席次と賓主間の席次の相違点の確認と理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 6 回	賓主間から君臣間の席次への移行	賓主間から君臣間への席次の移行の意味についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 7 回	複雑な賓主間の席次	複雑な賓主間の席次についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 8 回	複雑な賓主間の席次の上下関係	複雑な賓主間の席次の上下関係についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 9 回	私的場面で賓主間の席次に着く皇帝	私的場面で賓主間の席次に着く皇帝の存在についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 10 回	公的場面で賓主間の席次に着く皇帝	公的場面で賓主間の席次に着く皇帝の存在についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 11 回	臣下に対して賓主間の席次に着く皇帝	臣下に対して賓主間の席次に着く皇帝の意味についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 12 回	賓客の席を与えられた臣下の変化	臣下が賓客の席に着くことにより皇帝との関係が主客関係に変化していくこととその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 13 回	席次から見た王朝交替 まとめ	賓主間の席次に着く皇帝の意味から王朝交替のメカニズムを明らかにすることとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介 秋学期講義のまとめおよび結論
第 14 回	試験・まとめ	試験についての説明を行った後、試験実施　　まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習時間は、各２時間を標準とする。参考図書などについてはテキストに記載してあるが、それ以外のものについては、授業中に紹介するので、それらの参考図書を授業前後に読み、取り扱うテーマとその歴史的背景を理解すること。
なお、中国に関する展覧会などにも積極的に出掛けて、中国への関心と理解を高めることに心がけてもらうとよい。

【テキスト（教科書）】
岡安勇『中国古代の国家構造』　生協扱い
必要に応じてプリントを配布する。

【参考書】
なし。ただし、参考図書などについてはテキストに紹介してある。

【成績評価の方法と基準】
期末試験： 70 %
平常点： 30 %（毎時間、授業の理解度確認のためのリアクションペーパー提出）
合計： 100 %
成績は毎時間に提出するリアクションペーパーによる平常点と期末試験で評価する。リアクションペーパーを一定枚数以上提出した者が成績の評価対象となる。期末試験では講義で使用するテキストやプリントとその説明のためにとったノートがなければ解答できないと思われる。すなわち出席を重視するゆえんである。なお、試験問題は授業の個々の内容から出題する。

【学生の意見等からの気づき】
今後も知的好奇心を刺激する授業を展開するよう心がける。また、専門的な分野を理解できるように、これからも工夫を加えていきたい。

【その他の重要事項】
春学期の「二王の後」という視点、秋学期の「中国古代の席次」という視点の両面から中国古代の国家構造というテーマを解明していくので、両者の視点によってより明確にテーマを理解できると思われる。そのため、履修者には通年での履修を勧める。

【Outline and objectives】
Solution on the National Structure in Ancient China with Reference to the Precedence between Soverign and Subject, Guest and Host.

HIS200LA

東洋史ＬＩ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**イスラーム史 1**

長谷部　圭彦

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：2 **単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本科目では、イスラームが誕生した 7 世紀から、オスマン帝国がビザンツ帝国を滅ぼす 15 世紀までの「中東・イスラーム地域」の歴史を概観する。また、イスラームの教義や戒律、そして世界秩序観などについても解説する。受講者が、当該地域への理解を深めつつ、他の地域との比較や連関ができるようになることを目的とする。

【到達目標】
本科目の目標は、受講者が、15 世紀までの「中東・イスラーム地域」の歴史と、イスラームの教義に関する基礎的な知識を習得し、それを論理的に表現できるようになることである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
オンライン授業となったことにより、本授業の開始日は 4 月 23 日（木）とする。この日に、授業方法などを学習支援システムで発信する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	現代の中東・イスラーム地域	2000 年以降の中東・イスラーム地域について概観する。
第 2 回	イスラーム生誕	イスラーム、ムハンマド、コーランについて概観する。
第 3 回	スンナ派とシーア派	正統カリフ、スンナ派、シーア派、ウマイヤ朝、アッバース朝について概観する。
第 4 回	イスラーム的世界秩序と法	イスラーム的世界秩序、シャリーア、フィクフ、法源について概観する。
第 5 回	法の担い手とその養成	スンナ派四法学派、シーア派一法学派、ウラマー、マドラサ、ワクフについて概観する。
第 6 回	マムルークとイクター制	マムルーク、カリフの鼎立、イクター制について概観する。
第 7 回	スーフィーと聖者	スーフィズム、聖者、タリーカについて概観する。
第 8 回	スンナ派の時代	セルジューク朝、ムラービト朝、ムワッヒド朝、アイユーブ朝について概観する。
第 9 回	モンゴルの時代	フレグ・ウルス、ジョチ・ウルスについて概観する。
第 10 回	モンゴル後の世界 1 —マムルーク朝	マムルーク朝について概観する。
第 11 回	モンゴル後の世界 2 —オスマン朝	15 世紀までのオスマン朝について概観する。
第 12 回	モンゴル後の世界 3 —ティムール朝	ティムール朝について概観する。
第 13 回	イスラームの普及 1 —アフリカ・インド	アフリカとインドへのイスラームの普及について概観する。
第 14 回	イスラームの普及 2 —東南アジア・中国	東南アジアと中国へのイスラームの普及について概観する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。
準備学習：レジュメに記載されている参考文献を読むこと。
復習：講義内容を、自身の専門と比較したり関連付けたりすること。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用しない。レジュメおよび資料を配付する。

【参考書】
大塚和夫他編『岩波イスラーム辞典』岩波書店、2002 年。
東長靖『イスラームのとらえ方』山川出版社、1996 年。
屋形禎亮・佐藤次高『西アジア』上巻、朝日新聞社、1993 年。

【成績評価の方法と基準】
オンライン授業となったことにより、本項目も以下のように変更する。
70%：小レポート（数回）
30%：授業への参加度

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更のため、フィードバックできず。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業となったことにより、端末（パソコンやスマートフォン）とインターネット（通信容量が十分にあること）を用意されたい。

【その他の重要事項】
秋学期に開講される「東洋史 LII（イスラーム史 2）」も受講することが望ましい。

【Outline and objectives】
We survey a history of Islamic area from 7th to 15th century and review the Islamic technical terms. We aim to understand the area and to compare and connect it with another.

HIS200LA

東洋史ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**イスラーム史 2**

長谷部　圭彦

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：2 **単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本科目では、オスマン・サファヴィー・ムガルの三王朝が並び立った 16 世紀から現代までの「中東・イスラーム地域」の歴史を概観する。とくに、この地域の大部分を支配したオスマン帝国（1300 頃〜1922）に焦点をあてる。受講者が、オスマン帝国への理解を深めつつ、他の政治体との比較や連関ができるようになることを目的とする。

【到達目標】
本科目の目標は、受講者が、オスマン帝国の歴史に関する基礎的な知識を習得し、それを論理的に表現できるようになることである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式で行う。毎回質問用紙を配布するので、質問・意見・感想等を記入してほしい。それらには、翌週の講義において可能な限り回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	15 世紀までの中東・イスラーム地域	7 世紀から 15 世紀までの中東・イスラーム地域について概観する。
第 2 回	オスマン集団の登場	14 世紀のオスマン帝国について概観する。
第 3 回	コンスタンティノープルの征服	15 世紀前半のオスマン帝国について概観する。
第 4 回	「世界帝国」への道	15 世紀後半から 16 世紀初頭にかけてのオスマン帝国について概観する。
第 5 回	スレイマンの時代	スレイマン大帝期（1520-66）のオスマン帝国について概観する。
第 6 回	古典的支配体制の成立	スレイマンの頃に成立した支配体制について概観する。
第 7 回	ティマール制から徴税請負制へ	16 世紀後半から 17 世紀前半にかけてのオスマン帝国について概観する。
第 8 回	回復と喪失	17 世紀後半のオスマン帝国について概観する。
第 9 回	分権化の時代	18 世紀のオスマン帝国について概観する。
第 10 回	オスマン帝国が迎えた「近代」	19 世紀初頭のオスマン帝国について概観する。
第 11 回	オスマン帝国の「洋務」	タンズィマート期（1839-76）のオスマン帝国について概観する。
第 12 回	専制と立憲制	19 世紀末のオスマン帝国について概観する。
第 13 回	帝国の終焉	20 世紀初頭のオスマン帝国について概観する。
第 14 回	オスマン帝国崩壊後の中東・イスラーム地域	20 世紀の中東・イスラーム地域について概観する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。
準備学習：レジュメに記載されている参考文献を読むこと。
復習：講義内容を、自身の専門と比較したり関連付けたりすること。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用しない。レジュメおよび資料を配付する。

【参考書】
新井政美『トルコ近現代史』みすず書房、2001 年。
大塚和夫他編『岩波イスラーム辞典』岩波書店、2002 年。
小笠原弘幸『オスマン帝国』中央公論新社、2018 年。
鈴木董『オスマン帝国』講談社、1992 年。
鈴木董『オスマン帝国の解体』筑摩書房、2000 年。
永田雄三・羽田正『成熟のイスラーム社会』中央公論社、1998 年。
林佳世子『オスマン帝国の時代』山川出版社、1997 年。
林佳世子『オスマン帝国 500 年の平和』講談社、2008 年。

【成績評価の方法と基準】
70%：試験
30%：講義への参加度

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更のため、フィードバックできず。

【学生が準備すべき機器他】
なし。

【その他の重要事項】
春学期に開講される「東洋史 LI（イスラーム史 1）」も受講することが望ましい。

【Outline and objectives】
We survey a history of the Ottoman Empire. We aim to understand it and to compare and connect it with another political body.

HIS200LA

西洋史ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

宮﨑　亮

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
前 500 頃から前 323 にいたる古代ギリシア史。
講義の名称は「西洋史」となっているが、扱う内容は西洋史の中でも古代史、それも通常「古典期」と呼ばれる時代の古代ギリシア史である。
学生が古代ギリシア史についての基本的な知識（これは、私たちが「ヨーロッパ」とは何かを考える場合には、いまだに重要である）を獲得し、史料に基づいて考える姿勢を身につけること、それがこの授業の目的である。こうした思考法は、他の地域・他の時代の歴史事象を考える場合にも、応用が利くはずである。

【到達目標】
学生が古代ギリシアの重要な歴史事象を具体的に考え、理解し、自分の言葉で説明できるようになることを到達目標とする（つまり、試験で問われるところでもある）。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式。プリント使用。
追記：春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は５月６日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション (1)	授業の概要について、説明と確認；ギリシア＝エーゲ海世界の地勢と気候
第 2 回	イントロダクション (2)	古代ギリシア史で用いる史料と時代区分
第 3 回	イントロダクション (3)	ポリスとエトノス
第 4 回	ギリシア世界の覇権をめぐって〜前五世紀 (1)	ペルシア戦争とは何であったか
第 5 回	ギリシア世界の覇権をめぐって〜前五世紀 (2)	アテーナイとデーロス同盟
第 6 回	ギリシア世界の覇権をめぐって〜前五世紀 (3)	ペロポネーソス戦争
第 7 回	余談Ａ：ポリス社会の諸相 (1) 〜アテーナイ	アテーナイ民主政
第 8 回	余談Ｂ：ポリス社会の諸相 (2) 〜スパルタ	スパルタ社会の構造
第 9 回	ギリシア世界の覇権をめぐって〜前四世紀 (1)	スパルタ「帝国」
第 10 回	ギリシア世界の覇権をめぐって〜前四世紀 (2)	テーバイの勃興と失墜
第 11 回	余談Ｃ：前四世紀の危機？	前四世紀のポリス社会の社会・経済的状況
第 12 回	ギリシア世界の覇権をめぐって〜前四世紀 (3)	フィリッポス２世
第 13 回	アレクサンドロス	アレクサンドロスの東征とその帝国
第 14 回	まとめ	古代ギリシア史と現代

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
１）人名・地名等でわからないものがあれば、自分で確認しておくこと。
２）授業前に前回の授業を反芻する程度のことは行なっておくこと。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
使用しない。その理由は、１）適当なものがない。２）教科書を用いると、教科書に記述してあることが「正しい」ことで、試験の時にはこれを覚えればよいという愚かな姿勢を生み出しやすい（教科書とは、本来、いかがわしいものである）。

【参考書】
R. オズボン『ギリシアの古代』（刀水書房、2011 年）
伊藤貞夫『古代ギリシアの歴史』（講談社学術文庫、2004 年）

【成績評価の方法と基準】
学期末に行なう筆記試験（論述形式、持ち込み不可）の成績で評価する。試験は、授業内容をどの程度理解できているか（授業で扱った問題をどの程度自分の言葉で説明できるか）、そこを問うものになるだろう。
追記：春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで暫定提示する。

【学生の意見等からの気づき】
実施していない。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
1) 私語を慎まない学生に対しては厳しい措置をとる。
2) 授業計画はあくまで「予定」と考えられたい。
3) 出欠は成績評価にカウントしないが、授業に出席しない者が授業についていくことは難しいだろう。クラブ活動や就活などで出席が見込めない者は、履修に当たってそのことを十分に考えること。

【Outline and objectives】
This lecture class deals with the Greek world in the classical period (i.e. the fifth and forth centuries B.C.), a general history from the Persian War to the death of Alexander the Great. The aim of the class is to provide participants with basic and up-to-date historical knowledge of classical Greece.

HIS200LA

西洋史ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

宮﨑　亮

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
講義の名称は「西洋史」となっているが、扱うのは西洋史全般ではなく、古代ギリシア史である。通常ヘレニズム時代と呼ばれる時期のギリシア世界を、政治史と社会経済史の観点から概観する。
学生が古代ギリシア史についての基本的な知識（これは、私たちが「ヨーロッパ」とは何かを考える場合には、いまだに重要である）を獲得し、史料に基づいて考える姿勢を身につけること、それがこの授業の目的である。こうした思考法は、他の地域・他の時代の歴史事象を考える場合にも、応用が利くはずである。

【到達目標】
学生が古代ギリシアの重要な歴史事象を具体的に考え、理解し、自分の言葉で説明できるようになることを到達目標とする（つまり、試験で問われるところでもある）。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式。授業支援システムを用いてプリントを配布する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の説明と確認
2	後継者たち	アレクサンドロスの死後（前323）、その後継者の地位をめぐる争い、それによる東地中海世界の変貌
3	連邦国家 (1)	「連邦」とは何か？ ；ポリスとエトノス；アイトーリア連邦
4	連邦国家 (2)	アカイア連邦とアラートス
5	連邦国家 (3)	アカイア連邦とスパルタ；スパルタの改革
6	連邦国家 (4)	ペロポネーソスをめぐるアカイア連邦、スパルタ、マケドニアの角逐
7	ローマの東地中海進出：その１	ギリシア世界とローマ人
8	ローマの東地中海進出：その２	ローマ共和政の政治システムについて概略説明
9	ローマの東地中海進出：その３	マケドニアとローマ（第１および第２マケドニア戦争）
10	ローマの東地中海進出：その４	シリア戦争；親ローマ路線と反ローマ路線
11	ローマの東地中海進出：その５	前 168 年の意義；アカイア戦争
12	ヘレニズム期のギリシア社会：その１	世界の拡大と移動する人びと
13	ヘレニズム期のギリシア社会：その２	ポリス間のさまざまな交渉；弛緩するポリスの封鎖性
14	ヘレニズム期のギリシア社会：その３	貧富の差の拡大とエヴェルジェティスム

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
１）人名・地名等でわからないものがあれば、自分で確認しておく（もしくは教師に聞く）。
２）授業前に前回の授業を反芻する程度のことは行なっておく。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
使用しない。その理由は、１）適当なものがない。２）教科書を用いると、教科書に記述してあることが「正しい」ことで、試験の時にはこれを覚えればよいという愚かな姿勢を生み出しやすい（教科書とは、本来、いかがわしいものである）。

【参考書】
F. ウォールバンク『ヘレニズム世界』（教文館、1988 年）
吉村忠典『支配の天才ローマ人』（三省堂、1981 年）
以上はいづれも少々古い本だが、名著と評してさしつかえない本なので参考書としてあげておく。

【成績評価の方法と基準】
学期末に筆記試験（論述形式、持ち込み不可）を行なう（予定）。試験は、授業内容をどの程度理解できているか（授業で扱った問題をどの程度自分の言葉で説明できるか）、そこを問うものになるだろう。

【学生の意見等からの気づき】
実施していない。

【その他の重要事項】
1) 私語を慎まない学生に対しては厳しい措置をとる。
2) 授業計画はあくまで「予定」と考えられたい。

【Outline and objectives】
The theme of this class is the history of Greece after the death of Alexander the Great. Students are to learn about the political as well as socio-economic history of Greece from the third to the second centuries B.C.

HIS200LA

西洋史ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

宮﨑　亮

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
前 500 頃から前 323 にいたる古代ギリシア史。
講義の名称は「西洋史」となっているが、扱う内容は西洋史の中でも古代史、それも通常「古典期」と呼ばれる時代の古代ギリシア史である。
学生が古代ギリシア史についての基本的な知識（これは、私たちが「ヨーロッパ」とは何かを考える場合には、いまだに重要である）を獲得し、史料に基づいて考える姿勢を身につけること、それがこの授業の目的である。こうした思考法は、他の地域・他の時代の歴史事象を考える場合にも、応用が利くはずである。

【到達目標】
学生が古代ギリシアの重要な歴史事象を具体的に考え、理解し、自分の言葉で説明できるようになることを到達目標とする（つまり、試験で問われるところでもある）。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式。プリント使用。
追記：春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は５月６日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション (1)	授業の概要について、説明と確認；ギリシア＝エーゲ海世界の地勢と気候
第 2 回	イントロダクション (2)	古代ギリシア史で用いる史料と時代区分
第 3 回	イントロダクション (3)	ポリスとエトノス
第 4 回	ギリシア世界の覇権をめぐって〜前五世紀 (1)	ペルシア戦争とは何であったか
第 5 回	ギリシア世界の覇権をめぐって〜前五世紀 (2)	アテーナイとデーロス同盟
第 6 回	ギリシア世界の覇権をめぐって〜前五世紀 (3)	ペロポネーソス戦争
第 7 回	余談Ａ：ポリス社会の諸相 (1) 〜アテーナイ	アテーナイ民主政
第 8 回	余談Ｂ：ポリス社会の諸相 (2) 〜スパルタ	スパルタ社会の構造
第 9 回	ギリシア世界の覇権をめぐって〜前四世紀 (1)	スパルタ「帝国」
第 10 回	ギリシア世界の覇権をめぐって〜前四世紀 (2)	テーバイの勃興と失墜
第 11 回	余談Ｃ：前四世紀の危機？	前四世紀のポリス社会の社会・経済的状況
第 12 回	ギリシア世界の覇権をめぐって〜前四世紀 (3)	フィリッポス２世
第 13 回	アレクサンドロス	アレクサンドロスの東征とその帝国
第 14 回	まとめ	古代ギリシア史と現代

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
１）人名・地名等でわからないものがあれば、自分で確認しておくこと。
２）授業前に前回の授業を反芻する程度のことは行なっておくこと。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
使用しない。その理由は、１）適当なものがない。２）教科書を用いると、教科書に記述してあることが「正しい」ことで、試験の時にはこれを覚えればよいという愚かな姿勢を生み出しやすい（教科書とは、本来、いかがわしいものである）。

【参考書】
R. オズボン『ギリシアの古代』（刀水書房、2011 年）
伊藤貞夫『古代ギリシアの歴史』（講談社学術文庫、2004 年）

【成績評価の方法と基準】
学期末に行なう筆記試験（論述形式、持ち込み不可）の成績で評価する。試験は、授業内容をどの程度理解できているか（授業で扱った問題をどの程度自分の言葉で説明できるか）、そこを問うものになるだろう。
追記：春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで暫定提示する。

【学生の意見等からの気づき】
実施していない。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
1) 私語を慎まない学生に対しては厳しい措置をとる。
2) 授業計画はあくまで「予定」と考えられたい。
3) 出欠は成績評価にカウントしないが、授業に出席しない者が授業についていくことは難しいだろう。クラブ活動や就活などで出席が見込めない者は、履修に当たってそのことを十分に考えること。

【Outline and objectives】
This lecture class deals with the Greek world in the classical period (i.e. the fifth and forth centuries B.C.), a general history from the Persian War to the death of Alexander the Great. The aim of the class is to provide participants with basic and up-to-date historical knowledge of classical Greece.

HIS200LA

西洋史ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

宮﨑　亮

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
講義の名称は「西洋史」となっているが、扱うのは西洋史全般ではなく、古代ギリシア史である。通常ヘレニズム時代と呼ばれる時期のギリシア世界を、政治史と社会経済史の観点から概観する。
学生が古代ギリシア史についての基本的な知識（これは、私たちが「ヨーロッパ」とは何かを考える場合には、いまだに重要である）を獲得し、史料に基づいて考える姿勢を身につけること、それがこの授業の目的である。こうした思考法は、他の地域・他の時代の歴史事象を考える場合にも、応用が利くはずである。

【到達目標】
学生が古代ギリシアの重要な歴史事象を具体的に考え、理解し、自分の言葉で説明できるようになることを到達目標とする（つまり、試験で問われるところでもある）。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式。授業支援システムを用いてプリントを配布する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の説明と確認
2	後継者たち	アレクサンドロスの死後（前323）、その後継者の地位をめぐる争い、それによる東地中海世界の変貌
3	連邦国家 (1)	「連邦」とは何か？ ；ポリスとエトノス；アイトーリア連邦
4	連邦国家 (2)	アカイア連邦とアラートス
5	連邦国家 (3)	アカイア連邦とスパルタ；スパルタの改革
6	連邦国家 (4)	ペロポネーソスをめぐるアカイア連邦、スパルタ、マケドニアの角逐
7	ローマの東地中海進出：その１	ギリシア世界とローマ人
8	ローマの東地中海進出：その２	ローマ共和政の政治システムについて概略説明
9	ローマの東地中海進出：その３	マケドニアとローマ（第１および第２マケドニア戦争）
10	ローマの東地中海進出：その４	シリア戦争；親ローマ路線と反ローマ路線
11	ローマの東地中海進出：その５	前 168 年の意義；アカイア戦争
12	ヘレニズム期のギリシア社会：その１	世界の拡大と移動する人びと
13	ヘレニズム期のギリシア社会：その２	ポリス間のさまざまな交渉；弛緩するポリスの封鎖性
14	ヘレニズム期のギリシア社会：その３	貧富の差の拡大とエヴェルジェティスム

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
１）人名・地名等でわからないものがあれば、自分で確認しておく（もしくは教師に聞く）。
２）授業前に前回の授業を反芻する程度のことは行なっておく。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
使用しない。その理由は、１）適当なものがない。２）教科書を用いると、教科書に記述してあることが「正しい」ことで、試験の時にはこれを覚えればよいという愚かな姿勢を生み出しやすい（教科書とは、本来、いかがわしいものである）。

【参考書】
F. ウォールバンク『ヘレニズム世界』（教文館、1988 年）
吉村忠典『支配の天才ローマ人』（三省堂、1981 年）
以上はいづれも少々古い本だが、名著と評してさしつかえない本なので参考書としてあげておく。

【成績評価の方法と基準】
学期末に筆記試験（論述形式、持ち込み不可）を行なう（予定）。試験は、授業内容をどの程度理解できているか（授業で扱った問題をどの程度自分の言葉で説明できるか）、そこを問うものになるだろう。

【学生の意見等からの気づき】
実施していない。

【その他の重要事項】
1) 私語を慎まない学生に対しては厳しい措置をとる。
2) 授業計画はあくまで「予定」と考えられたい。

【Outline and objectives】
The theme of this class is the history of Greece after the death of Alexander the Great. Students are to learn about the political as well as socio-economic history of Greece from the third to the second centuries B.C.

HIS200LA

西洋史ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

渡辺　知

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

16 世紀以降、イギリス人は積極的に海外に進出し、一大帝国を築くに至ります。近年のイギリス史研究では帝国の存在がイギリスの歴史を強く規定してきたことを強調する傾向にあります。また、イギリス帝国への関心はその経済的側面に留まらず、文化や社会のあり方にまで広がっています。この授業では、こうしたイギリス帝国の多様なあり方を見ていくこととします。

【到達目標】

ただ、過去の事実の確認にとどまらず、それがなぜ起きたのか、また、過去の出来事が現在のイギリスの社会といかに関係するのか、あるいは、イギリスの動向が世界のその他の地域の動向といかに密接に結びついているのかといった点に力点を置きつつ、歴史学における多様なものの捉え方をあわせて提示できればと希望します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日は 5 月 7 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	授業内容の紹介	16 世紀から 19 世紀にかけてのイギリスの歴史の流れを概観します。
第 2 回	16 世紀のイギリス 1	バラ戦争や宗教改革、ウェールズとの合同を通じて国家統合が進む過程を説明します。
第 3 回	16 世紀のイギリス 2	16 世紀のイギリス経済が停滞していたこと、それに伴って浮浪者問題など社会が混乱していたことを説明します。
第 4 回	イギリス帝国の形成 1	15 世紀末からの初期の海外進出から 17 世紀初頭の海外進出が軌道に乗るまでの過程を説明します。
第 5 回	イギリス帝国の形成 2	17 世紀へゲモニー国家として繁栄したオランダと対立する中、航海法体制を確立する過程を説明します。
第 6 回	イギリス帝国の形成 3	17 世紀末からのフランスとの対立の中 18 世紀中頃に第一帝国を完成させる過程を説明します。
第 7 回	イギリス商業革命 1	イギリス帝国の形成がイギリスの経済にどのような影響を与えたのか貿易面に焦点をあて説明します。
第 8 回	イギリス商業革命 2	イギリス帝国の形成が貿易に留まらず、経済全般に影響を与え、結果、産業革命をもたらした過程を説明します。
第 9 回	イギリス生活革命	イギリス帝国の形成がイギリスの生活文化に与えた影響について説明します。
第 10 回	砂糖と西インド諸島	イギリス商業革命、イギリス生活革命で重要な役割を果たしたのが砂糖ですが、その生産を行っていた西インド諸島がその結果低開発の道を進むことになったことを説明します。
第 11 回	大西洋黒人奴隷貿易	イギリスは植民地経営に必要な労働力を獲得する手段として大西洋黒人奴隷貿易を盛んに行いました。この貿易がイギリス帝国およびアフリカに与えた影響について説明します。
第 12 回	13 植民地の独立	13 植民地の独立の過程と独立がイギリスに与えた影響について説明します。
第 13 回	産業革命と帝国	産業革命の展開と帝国が果たした役割について説明します。
第 14 回	まとめ	第一イギリス帝国の形成がイギリスの内外に与えた影響について総括します

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義の前に前回のノートを読み返して下さい。
また、紹介する参考文献を積極的に読むようにして下さい。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特に使用しません。

【参考書】

授業中に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更します。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示します。

【学生の意見等からの気づき】

視覚教材を積極的に活用したいと思います。

【Outline and objectives】

British History from the 16th century to the 19th century
In this lecture, the formation of the British Empire and the influence of the empire on Britain and her dependencies will be discussed.

HIS200LA

西洋史ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

渡辺　知

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
19 世紀〜 20 世紀にかけてのイギリスの歴史を階級、ジェンダー、人種・民族、地域、帝国を切り口に概観し、近代イギリスの特徴を考えていくこととします。

【到達目標】
ただ、過去の事実の確認にとどまらず、それがなぜ起きたのか、また、過去の出来事が現在のイギリスの社会といかに関係するのか、あるいは、イギリスの動向が世界のその他の地域の動向といかに密接に結びついているのかといった点に力点を置きつつ、歴史学における多様なものの捉え方をあわせて提示できればと希望します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	授業内容の紹介	19 世紀〜 20 世紀にかけてののイギリスのあゆみを概観します。
第 2 回	二重革命の時代１	産業革命の特徴とそれがイギリスの政治、経済、社会に与えた影響を検討します。
第 3 回	二重革命の時代２	フランス革命がイギリスにどのような影響を与えたか検討します。
第 4 回	二重革命の時代３	フランス革命がイギリスにどのような栄光を与えたか、引き続き検討します。
第 5 回	帝国の再編	二重革命の時代は、イギリスの帝国が第一帝国から第二帝国へと再編された時期でもありました。その再編の過程を説明します。
第 6 回	ミドル・クラス	二重革命の影響で、イギリスではミドル・クラスが台頭してきます。このミドル・クラスの特徴を「リスペクタビリティー」という言葉をキーワードに検討します。
第 7 回	ミドル・クラスのジェントルマン化	台頭してきたミドル・クラス層が従来の支配者層であるジェントルマンと融合していく過程を検討します。
第 8 回	労働者階級	ジェントルマンとミドル・クラスが 19 世紀のイギリスの繁栄の恩恵を受けたのに対し、労働者階級の大多数はその恩恵から排除されていました。労働者階級を取り巻く状況を説明します。
第 9 回	アイルランド移民	労働者階級の中でも最下層を形成したのがアイルランドからの移民でした。アイルランド移民を切り口にアイルランド、スコットランド、イングランドの地域の問題を検討します。
第 10 回	怠惰な女性と善良な女性１	19 世紀のイギリスにおいて女性たちがどのようなことを求められていたのか「怠惰な女性」と「善良な女性」をキーワードに検討します。
第 11 回	怠惰な女性と善良な女性２	19 世紀のイギリスにおいて女性たちがどのようなことを求められていたのか「怠惰な女性」と「善良な女性」をキーワードに、引き続き、検討します。
第 12 回	帝国主義の時代	1870 年代以降のイギリスの経済、社会について概観します。
第 13 回	社会帝国主義	イギリスの国内問題の解決の場として帝国の果たす役割がこの時期大きくなったことを検討します。
第 14 回	まとめ	19 世紀のイギリスがどのような特徴を持つ社会であったのか総括します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
講義の前に前回のノートを読み返して下さい。
また、紹介する参考文献を積極的に読むようにして下さい。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特に定めません。

【参考書】
授業中に適宜、紹介します。

【成績評価の方法と基準】
授業の区切りに授業内容や感想を書いていただきます。これら平常点と学期末の試験の総合評価とします（平常点 20 %、学期末の試験 80 %）。

【学生の意見等からの気づき】
視覚教材を積極的に活用したいと思います。

【Outline and objectives】
Britain in the 19th Century
In this lecture we analyse British society in the 19th century through class, gender, ethnicity and the British Empire.

HIS200LA

西洋史ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

渡辺　知

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

16 世紀以降、イギリス人は積極的に海外に進出し、一大帝国を築くに至ります。近年のイギリス史研究では帝国の存在がイギリスの歴史を強く規定してきたことを強調する傾向にあります。また、イギリス帝国への関心はその経済的側面に留まらず、文化や社会のあり方にまで広がっています。この授業では、こうしたイギリス帝国の多様なあり方を見ていくこととします。

【到達目標】

ただ、過去の事実の確認にとどまらず、それがなぜ起きたのか、また、過去の出来事が現在のイギリスの社会といかに関係するのか、あるいは、イギリスの動向が世界のその他の地域の動向といかに密接に結びついているのかといった点に力点を置きつつ、歴史学における多様なものの捉え方をあわせて提示できればと希望します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日は 5 月 7 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	授業内容の紹介	16 世紀から 19 世紀にかけてのイギリスの歴史の流れを概観します。
第 2 回	16 世紀のイギリス 1	バラ戦争や宗教改革、ウェールズとの合同を通じて国家統合が進む過程を説明します。
第 3 回	16 世紀のイギリス 2	16 世紀のイギリス経済が停滞していたこと、それに伴って浮浪者問題など社会が混乱していたことを説明します。
第 4 回	イギリス帝国の形成 1	15 世紀末からの初期の海外進出から 17 世紀初頭の海外進出が軌道に乗るまでの過程を説明します。
第 5 回	イギリス帝国の形成 2	17 世紀へゲモニー国家として繁栄したオランダと対立する中、航海法体制を確立する過程を説明します。
第 6 回	イギリス帝国の形成 3	17 世紀末からのフランスとの対立の中 18 世紀中頃に第一帝国を完成させる過程を説明します。
第 7 回	イギリス商業革命 1	イギリス帝国の形成がイギリスの経済にどのような影響を与えたのか貿易面に焦点をあて説明します。
第 8 回	イギリス商業革命 2	イギリス帝国の形成が貿易に留まらず、経済全般に影響を与え、結果、産業革命をもたらした過程を説明します。
第 9 回	イギリス生活革命	イギリス帝国の形成がイギリスの生活文化に与えた影響について説明します。
第 10 回	砂糖と西インド諸島	イギリス商業革命、イギリス生活革命で重要な役割を果たしたのが砂糖ですが、その生産を行っていた西インド諸島がその結果低開発の道を進むことになったことを説明します。
第 11 回	大西洋黒人奴隷貿易	イギリスは植民地経営に必要な労働力を獲得する手段として大西洋黒人奴隷貿易を盛んに行いました。この貿易がイギリス帝国およびアフリカに与えた影響について説明します。
第 12 回	13 植民地の独立	13 植民地の独立の過程と独立がイギリスに与えた影響について説明します。
第 13 回	産業革命と帝国	産業革命の展開と帝国が果たした役割について説明します。
第 14 回	まとめ	第一イギリス帝国の形成がイギリスの内外に与えた影響について総括します

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義の前に前回のノートを読み返して下さい。
また、紹介する参考文献を積極的に読むようにして下さい。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特に使用しません。

【参考書】

授業中に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更します。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示します。

【学生の意見等からの気づき】

視覚教材を積極的に活用したいと思います。

【Outline and objectives】

British History from the 16th century to the 19th century
In this lecture, the formation of the British Empire and the influence of the empire on Britain and her dependencies will be discussed.

HIS200LA

西洋史ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

渡辺　知

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
19 世紀〜 20 世紀にかけてのイギリスの歴史を階級、ジェンダー、人種・民族、地域、帝国を切り口に概観し、近代イギリスの特徴を考えていくこととします。

【到達目標】
ただ、過去の事実の確認にとどまらず、それがなぜ起きたのか、また、過去の出来事が現在のイギリスの社会といかに関係するのか、あるいは、イギリスの動向が世界のその他の地域の動向といかに密接に結びついているのかといった点に力点を置きつつ、歴史学における多様なものの捉え方をあわせて提示できればと希望します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	授業内容の紹介	19 世紀〜 20 世紀にかけてののイギリスのあゆみを概観します。
第 2 回	二重革命の時代１	産業革命の特徴とそれがイギリスの政治、経済、社会に与えた影響を検討します。
第 3 回	二重革命の時代２	フランス革命がイギリスにどのような影響を与えたか検討します。
第 4 回	二重革命の時代３	フランス革命がイギリスにどのような栄光を与えたか、引き続き検討します。
第 5 回	帝国の再編	二重革命の時代は、イギリスの帝国が第一帝国から第二帝国へと再編された時期でもありました。その再編の過程を説明します。
第 6 回	ミドル・クラス	二重革命の影響で、イギリスではミドル・クラスが台頭してきます。このミドル・クラスの特徴を「リスペクタビリティー」という言葉をキーワードに検討します。
第 7 回	ミドル・クラスのジェントルマン化	台頭してきたミドル・クラス層が従来の支配者層であるジェントルマンと融合していく過程を検討します。
第 8 回	労働者階級	ジェントルマンとミドル・クラスが 19 世紀のイギリスの繁栄の恩恵を受けたのに対し、労働者階級の大多数はその恩恵から排除されていました。労働者階級を取り巻く状況を説明します。
第 9 回	アイルランド移民	労働者階級の中でも最下層を形成したのがアイルランドからの移民でした。アイルランド移民を切り口にアイルランド、スコットランド、イングランドの地域の問題を検討します。
第 10 回	怠惰な女性と善良な女性１	19 世紀のイギリスにおいて女性たちがどのようなことを求められていたのか「怠惰な女性」と「善良な女性」をキーワードに検討します。
第 11 回	怠惰な女性と善良な女性２	19 世紀のイギリスにおいて女性たちがどのようなことを求められていたのか「怠惰な女性」と「善良な女性」をキーワードに、引き続き、検討します。
第 12 回	帝国主義の時代	1870 年代以降のイギリスの経済、社会について概観します。
第 13 回	社会帝国主義	イギリスの国内問題の解決の場として帝国の果たす役割がこの時期大きくなったことを検討します。
第 14 回	まとめ	19 世紀のイギリスがどのような特徴を持つ社会であったのか総括します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
講義の前に前回のノートを読み返して下さい。
また、紹介する参考文献を積極的に読むようにして下さい。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特に定めません。

【参考書】
授業中に適宜、紹介します。

【成績評価の方法と基準】
授業の区切りに授業内容や感想を書いていただきます。これら平常点と学期末の試験の総合評価とします（平常点 20 %、学期末の試験 80 %）。

【学生の意見等からの気づき】
視覚教材を積極的に活用したいと思います。

【Outline and objectives】
Britain in the 19th Century
In this lecture we analyse British society in the 19th century through class, gender, ethnicity and the British Empire.

HIS200LA

日本史ＬＩ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**近世社会の成立と確立**

横濱　文孝

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
テーマ：近世社会の成立と確立
近世社会は、江戸幕府とその支配下にあった藩が統治した政治体制下の社会であり、封建支配体制が長期に持続した時代でもありました。本講座では、この近世という社会の特徴を様々な視点から掘り起こすことで、豊かな歴史像を提示したいと考えています。

【到達目標】
教科書を通して学んだ歴史は、年号や用語を丸ごと覚えるなど、苦手だ、面白くないといったイメージがあります。しかし、本来、歴史は様々な事象を、資料を通して読み解いていく創造する学問です。本講座は、特に豊富な資料を有する近世という時代を取り上げ、具体的な事例をあげながら、楽しく歴史を学び、考える力を養います。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業では、適宜配布するプリントをもとに講義形式とする予定です。さらに歴史、とりわけ近世のイメージを広げるために、江戸時代の資料（古文書）を取り上げながら、時代を探る視点として積極的に活用します。しかし、春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始は 4 月 21 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示します。但し、現状では、パワーポイントを利用しながら十分なフォローが出来るように努めたいと思います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の内容と進め方について説明します
第 2 回	日本の時代区分の始まり	先駆者の考えた時代の画期を探ります
第 3 回	封建制の語義と一・二の学説	封建制社会のあり方を学びます
第 4 回	近世の範囲	近世 300 年を探ります
第 5 回	豊臣政権の成立	豊臣の平和令を探ります
第 6 回	関ヶ原合戦と徳川・豊臣の関係	合戦を通じて豊臣の処遇を考察します
第 7 回	江戸幕府の成立	徳川の時代の到来を学びます
第 8 回	幕藩制確立期の要素 (1)	石高制・身分制などについて学びます
第 9 回	幕藩制確立期の要素 (2)	17 世紀半ばの幕藩制確立期の諸要素を探ります
第 10 回	鎖国と「四つの口」	幕府の対外政策を学びます
第 11 回	近世の将軍と天皇	近世の天皇の処遇について考えます
第 12 回	為政者の肖像画と近世の肖像画の特徴	肖像画から見えてくる近世像を探ります
第 13 回	慶安期とは、どういう時代だったのか (1)	慶安の御触書と慶安の検地条令とは何だったのかを探ります
第 14 回	慶安期とは、どういう時代だったのか (2)	慶安の軍役令とは何だったのかを探ります

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
常にノートを整理し、配布したプリントを改めて読み直すなど、次回に備えてください。なお、本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
適宜プリントを配布しますので、テキストは必要ありません。

【参考書】
参考となる文献は、講義の中で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
期末試験（80 %）と平常点等（20 %）をもとに評価します。
しかし、春学期の少なくも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更します。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示します。
但し、現状では課題・アンケートなどの取り組み方をもとに、平常点で評価するように考えています。

【学生の意見等からの気づき】
江戸時代の理解を深めるために、より具体的な古文書や絵画資料などを積極的に活用するようにします。

【Outline and objectives】
Explores the features of the early modern society from the perspective of people's life and an abundant historical image.

HIS200LA

日本史ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**近世の庶民文化**

横濱　文孝

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
テーマ：近世の庶民文化
近世は、士農工商とする封建的な身分制社会でした。しかし、その一方で文化は成熟し、時代とともに俳諧などの文芸を中心に大衆化するようになり、次第に身分の平準化をもたらしていきました。本講座は、その過程を探りつつ、庶民や下級武士層の文化にも触れながら、近世の文化の実像を考えてみたいと思います。

【到達目標】
従来、近世は封建的な身分制社会のもとに四民が厳格に編成されていました。しかし、庶民の文化や文芸に触れることで、これまで教科書で学んできた時代とは別に、そこには豊かな歴史イメージを膨らますことができます。本講座では、当時の人々の生活を様々な資料を読み解きながら、歴史を学ぶ視点や研究の方法論などを培います。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は、適宜配布するプリントをもとに講義形式とする予定です。さらに文化の大衆化を探る手がかりとして、江戸時代の資料（古文書）を積極的に活用し、当該期のイメージを具体的に掘り下げていきたいと思います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の内容と進め方について説明します
第 2 回	外国人から見た日本人のイメージ	外国人の書き残した文献をもとに日本人のイメージを探ります
第 3 回	近世社会と庶民教育	寺子屋教育のあり方と川柳に見る子どもたちの生き生きとした姿に触れます
第 4 回	近世社会に見る女子教育の実情	滑稽本『浮世風呂』に描かれた女の子の一日に触れながら、その内実を探ります
第 5 回	近世俳諧の流れ	俳諧の潮流を探りながら、庶民文化への影響を考えます
第 6 回	近世社会と文芸 (1)	俳諧史の時代区分について考察します
第 7 回	近世社会と文芸 (2)	芭蕉没後の彼の顕彰活動と俳諧のあり方を探ります
第 8 回	芭蕉の虚像と実像 (1)	学説から見えてくる芭蕉の実像を探ります
第 9 回	芭蕉の虚像と実像 (2)	芭蕉が江戸日本橋から何故深川に移居したのか歴史的事象から考察します
第 10 回	芭蕉の肖像画から見えてくるもの (1)	芭蕉の肖像画研究の現状と新たな研究視点について触れます
第 11 回	芭蕉の肖像画から見えてくるもの (2)	芭蕉の肖像画の類型化とデフォルメの過程を探ります
第 12 回	芭蕉句碑建立と俳諧の浸透	芭蕉句碑が何故全国に多く建立されてきたのかを探ります
第 13 回	下級武士層と俳諧集団の形成	下級武士層を通して庶民との文化の交流を探ります
第 14 回	近世社会と俳諧集団の権威化	文化の大衆化と俳諧集団のあり方について考えます

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
常にノートを整理し、配布したプリントなどを改めて読みなすなど、次回に備えるようにしてください。なお、本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
適宜プリントを配布しますので、テキストは必要ありません。

【参考書】
参考となる文献は、講義の中で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
期末試験（80 %）と平常点等（20 %）をもとに評価します。

【学生の意見等からの気づき】
江戸時代の理解を深めるために、より具体的な古文書や絵画資料などを積極的に活用するようにします。

【Outline and objectives】
Explores the culture of Japan in the early modern period including the culture of common people and the lower samurai.

HIS200LA

日本史ＬＩ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

仁平　義孝

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 4/Tue.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
鎌倉時代の幕府政治史を概観する。数多くある論点のなかから、和田合戦や霜月騒動など幕府内部で繰り返された内紛と、幕府政治機構の中枢である評定・引付・寄合について、関連する史料を読みながら検討し、その意義を考えていきたい。

【到達目標】
鎌倉幕府政治史の流れを理解し、史料に基づく検証方法を学ぶことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式で行う。
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 28 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要の説明。
2	源頼朝執政期の幕府政治 (1)	寿永 2 年 10 月宣旨、文治勅許などの検討。
3	源頼朝執政期の幕府政治 (2)	頼朝上洛、建久 7 年の政変などの検討。
4	将軍源頼家・実朝、北条政子期の幕府政治 (1)	13 人の合議制、比企氏事件などの検討。
5	将軍源頼家・実朝、北条政子期の幕府政治 (2)	和田合戦、承久の乱などの検討。
6	執権北条泰時期の幕府政治 (1)	伊賀氏事件、連署制などの検討。
7	執権北条泰時期の幕府政治 (2)	評定、御成敗式目などの検討。
8	執権北条経時期の幕府政治	経時の制度改革などの検討。
9	執権北条時頼・長時期の幕府政治 (1)	寛元の政変、宝治合戦などの検討。
10	執権北条時頼・長時期の幕府政治 (2)	引付、得宗時頼などの検討。
11	得宗北条時宗期の幕府政治	引付廃止・再設置、寄合、二月騒動などの検討。
12	得宗北条貞時・高時期の幕府政治 (1)	弘安徳政、霜月騒動などの検討。
13	得宗北条貞時・高時期の幕府政治 (2)	平禅門の乱、執奏制などの検討。
14	試験	まとめと解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
参考書や授業時に紹介する文献を読む。
本授業の準備・復習時間は各 2 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
なし。プリント配布の予定。

【参考書】
本郷恵子『京・鎌倉　ふたつの王権』（小学館、2008 年）
川合　康『源平の内乱と公武政権』（吉川弘文館、2009 年）
小林一岳『元寇と南北朝の動乱』（吉川弘文館、2009 年）
近藤成一『鎌倉幕府と朝廷』（岩波新書、2016 年）
その他、授業時に紹介する。

【成績評価の方法と基準】
期末試験 80 %、平常点 20 %
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準は授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【Outline and objectives】
The purpose of this course is to study political history of the Kamakura Shogunate.

HIS200LA

日本史ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

仁平　義孝

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 4/Tue.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
鎌倉幕府の基本法である御成敗式目を読む。その内容は多岐にわたるが、ここでは犯罪や訴訟手続きに関する条文を読み、鎌倉幕府法の特質を考えていきたい。

【到達目標】
鎌倉幕府法の特質を理解し、史料に基づく検証方法を学ぶことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	御成敗式目について (1)	御成敗式目制定の目的などの解説。
2	御成敗式目について (2)	御成敗式目の条文構成などの解説。
3	御成敗式目第 9 条を読む	謀叛の罪について考える。
4	御成敗式目第 10 条を読む	殺害・刃傷の罪について考える。
5	御成敗式目第 11 条を読む	第 9・10 条の関連規定について考える。
6	御成敗式目第 32 条を読む	第 9・10 条の関連規定について考える。
7	御成敗式目第 33 条を読む	強盗・窃盗の罪について考える。
8	御成敗式目第 34 条を読む	密懐の罪について考える。
9	御成敗式目第 12 条を読む	悪口の罪について考える。
10	御成敗式目第 13・14 条を読む	殴人の罪および９～13 条の関連規定について考える。
11	御成敗式目第 15 条を読む	謀書の罪について考える。
12	御成敗式目第 51 条を読む	訴訟手続きについて考える。
13	御成敗式目第 35 条を読む	召文違背の罪について考える。
14	試験	まとめと解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
参考書や授業時に紹介する文献を読む。
本授業の準備・復習時間は各 2 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
なし。プリント配布の予定。

【参考書】
『中世政治社会思想　上』（日本思想大系 21、岩波書店、1972 年）
笠松宏至編『中世を考える　法と訴訟』（吉川弘文館、1992 年）
水林彪・大津透・新田一郎・大藤修編『法社会史』（新体系日本史２、山川出版社、2001 年）
その他、授業時に紹介する。

【成績評価の方法と基準】
期末試験 80 %、平常点 20 %

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【Outline and objectives】
The purpose of this course is to study low of the Kamakura Shogunate by reading the Goseibai shikimoku.

HIS200LA

日本史ＬⅠ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**日本中世社会を理解するために**

貫井　裕恵

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ユネスコ世界記憶遺産に採択された国宝「東寺百合文書」をおもな題材として、歴史を学ぶための基本的な考え方を習得し、史料読解の方法を身につけます。「東寺百合文書」は寺院社会のみならず、朝廷・公家・武家・民衆といったあらゆる階層の人々のすがたをいまに伝える貴重な文書群です。「東寺百合文書」を通じて日本中世社会への理解を深めましょう。＊日本史ＬⅡもあわせて受講することを推奨します。

【到達目標】
・「東寺百合文書」を通じて日本の中世社会への理解を深める。
・歴史研究における論理展開の発想と、文献に基づく議論構築の手法を学ぶ。
・文化財のもつ多様な価値と多様な見方を学ぶ。
・くずし字に親しみ、解読できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
毎回の講義ごとに、レビューシート（リアクションペーパー）の提出を求めます。次の授業で、レビューシートに寄せられた疑問や質問、気づきに応答するかたちで復習を行います。
通常の講義とは別に１回、美術館・博物館での見学に行っていただきます（オンラインミュージアムや文化財データベースでの代替も検討する）。
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 5 月 11 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	本授業の目的と課題、評価方法などの説明
2	歴史学の流れと日本中世史	日本における歴史学の発達史と、そのなかでの日本中世史研究の大きな流れを学ぶ
3	中世社会と東寺	日本中世社会の構造と、そのなかでの東寺の位置づけなど、本授業のおおまかな流れや前提となる知識を学ぶ
4	東寺百合文書について	東寺百合文書の特質とユネスコ記憶遺産について学ぶ
5	寺院組織	東寺をはじめとする中世寺院の組織と構造を学ぶ
6	文書管理（アーカイブズ）	中世寺院における文書管理のありかたを学ぶ
7	芸能	能・狂言の淵源となった、中世寺院周辺で行われた様々な芸能を学ぶ
8	喫茶文化	中世寺院における僧侶や民間における喫茶文化を学ぶ
9	寺誌・縁起	寺院における歴史叙述のありかたを学ぶ
10	絵巻	『弘法大師行状絵巻』など寺院における絵巻作成の背景や利用方法などを学ぶ
11	荘園の構造・荘園絵図の世界	荘園制について学び、現存する荘園絵図から中世社会の諸問題を学ぶ
12	まとめ	受講者の質疑応答とレポート内容の報告会および講評、本講義のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・使用テキストは事前に予習しておく。（各回 2 時間程度。予習の仕方については教場で説明します。）
・プリントやノートを用いた復習を行う。（各回 2 時間程度。復習の仕方については教場で説明します。）
・１回の美術館・博物館見学を行う。（場所と展覧会は教場でお伝えします。）
・本授業の最終にレポートをまとめて提出する。（テーマや執筆方法については、教場でお伝えします。）

【テキスト（教科書）】
適宜配布します。

【参考書】
・佐藤進一『新版　古文書学入門』法政大学出版局、2003 年
・京都府立総合資料館編『東寺百合文書にみる日本の中世』京都新聞出版センター、1998 年
このほか、授業の進行状況に応じてお伝えします。

【成績評価の方法と基準】
レポート 60 %、平常点 40 %で評価する。ただし、平常点には、毎回提出を求めるレビューシートでの意見・感想の内容を含む。

【学生の意見等からの気づき】
毎回提出を求めているレビューシートに基づき、次回の授業の冒頭でレビューシートの内容を紹介しながら復習を行い、授業内容のフォローアップを実施する。

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【その他の重要事項】
日本史ＬⅡもあわせて受講することを推奨します。
日本の古代・中世に関心のある方はもちろん、日本の文化、美術館や博物館、文化財に興味を抱く学生の履修をとくにお待ちしております。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and knowledge needed to understand the medieval history of Japan.

HIS200LA

日本史ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**日本中世社会と寺院**

貫井　裕恵

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ユネスコ世界記憶遺産に採択された国宝「東寺百合文書」をおもな題材として、歴史を学ぶための基本的な考え方を習得し、史料読解の方法を身につけます。「東寺百合文書」は寺院社会のみならず、朝廷・公家・武家・民衆といったあらゆる階層の人々のすがたをいまに伝える貴重な文書群です。「東寺百合文書」を通じて日本中世社会への理解を深めましょう。＊日本史ＬⅠもあわせて受講することを推奨します。同授業の発展的内容になります。

【到達目標】
・「東寺百合文書」を通じて日本の中世社会への理解を深める。
・歴史研究における論理展開の発想と、文献に基づく議論構築の手法を学ぶ。
・文化財のもつ多様な価値と多様な見方を学ぶ。
・くずし字に親しみ、解読できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
毎回の講義ごとに、レビューシート（リアクションペーパー）の提出を求めます。次の授業で、レビューシートに寄せられた疑問や質問、気づきに応答するかたちで復習を行います。
通常授業とは別に１回、美術館・博物館での見学に行っていただきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	本授業の概要や評価方法を知る
2	歴史学と日本中世史	日本における歴史学の流れと、中世史の歩みを学ぶ
3	寺院史料論	中世寺院における史料とその社会について学ぶ
4	寺院史料と東寺百合文書	中世史料として伝存する寺院史料を概観し、東寺百合文書の特質を探る
5	中世東寺の幕開け	古代から鎌倉初期に至る東寺の歴史を学ぶ
6	鎌倉幕府と東寺	建久年間の文覚上人による東寺復興事業から蒙古襲来までの歴史を学ぶ
7	本末相論	鎌倉中〜末期における東大寺・醍醐寺の本末相論との関わりに焦点をあてながら、同時期の東寺の宗教環境を学ぶ
8	文書の管理と利用	中世寺院における文書・聖教の管理のありかたを学ぶ
9	東寺領荘園の展開	鎌倉末期から南北朝期にかけて拡充した東寺領荘園とその展開を学ぶ
10	室町期修造事業	東寺大勧進職が推進した室町期修造事業について学ぶ
11	弘法大師信仰の展開	東寺御影堂を中心に展開した弘法大師信仰とその社会的意義を学ぶ
12	寺院の芸能	室町期に発達した寺院における芸能を学ぶ
13	応仁・文明の乱	応仁・文明の乱下における東寺の状況と、有事における対策のありかたを学ぶ
14	まとめ	本講義のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・使用テキストは事前に予習しておく。（各回 2 時間程度。予習の仕方については教場で説明します。）
・プリントやノートを用いた復習を行う。（各回 2 時間程度。復習の仕方については教場で説明します。）
・１回の美術館・博物館見学を行う。（場所と展覧会は教場でお伝えします。）
・本授業の最終にレポートをまとめて提出する。（テーマや執筆方法については、教場でお伝えします。）

【テキスト（教科書）】
適宜配布します。

【参考書】
・佐藤進一『新版　古文書学入門』法政大学出版局、2003 年
・京都府立総合資料館編『東寺百合文書にみる日本の中世』京都新聞出版センター、1998 年
このほか、授業の進行状況に応じてお伝えします。

【成績評価の方法と基準】
レポート 60 %、平常点 40 %で評価する。ただし、平常点には、毎回提出を求めるレビューシートでの意見・感想の内容を含む。

【学生の意見等からの気づき】
毎回提出を求めているレビューシートに基づき、次回の授業の冒頭でレビューシートの内容を紹介しながら復習を行い、授業内容のフォローアップを実施する。

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【その他の重要事項】
日本史ＬⅠもあわせて受講することを推奨します。
日本の古代・中世に関心のある方はもちろん、日本の文化、美術館や博物館、文化財に興味を抱く学生の履修をとくにお待ちしております。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and knowledge needed to understand the medieval history of Japan.

HIS200LA

日本史ＬＩ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

鈴木　多聞

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**土** 2/Sat.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義は日本近代史（政治史、社会史）に関する知識を身につけるとともに、歴史学、政治学の基礎的概念を理解することを目的としています。史料やデーターを正確に解釈し、全体像をバランスよく把握する能力は、現代社会を生きていく上でも重要です。

【到達目標】
日本近代史に関する基礎的な知識を習得し、簡単な文章を書けるようになることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更につ
いては、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 5 月 9 日（土曜日）とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	明治維新について考える	明治維新や明治時代について考える。
2	ペリー来航と外圧	外圧下における内政と外交について理解を深める。
3	西郷隆盛と西南戦争	西郷隆盛や武士の果たした役割についても言及する。
4	明治憲法と戦前の日本	いわゆる明治憲法体制の形成と崩壊について考える。
5	日清戦争と三国干渉	対外戦争が国内政治に与えたインパクトについて考える。
6	日露戦争と鈴木貫太郎	近年の研究動向をふまえ、日露戦争のインパクトについて考える。
7	第一次世界大戦と日本	ヨーロッパを舞台とした第一次世界大戦が日本に与えた影響について考える。
8	満州事変と日本外交	「満洲事変」が日本の国内政治をどのように変容させたのかについて考える。
9	五・一五事件とその影響	五・一五事件とその後の影響について考える。
10	二・二六事件と陸軍	二・二六事件とその思想的背景について考える。
11	昭和天皇と天皇機関説事件	いわゆる「天皇機関説」について、当時の史料を読みながら、この問題について考察を深める。
12	外務省とアジア・太平洋戦争	日本外務省の「戦前」と「戦後」について考える。
13	近衛新体制と大政翼賛会	様々なネットワークが、この時期の政治に与えた影響について考える。
14	日本近代史を考える	日本近代史の見方や解釈について、先行研究の論点を整理し、考察を深める。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
教科書に目を通しておくこと。本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
阿川弘之ほか『二十世紀日本の戦争』（文春新書 112、文藝春秋、二〇〇〇年）

【参考書】
開講時に指示する。

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も
変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【Outline and objectives】
This course will help students understand modern Japanese history, especially political and social history. Students will also gain a general understanding of the disciplines of history and political science. The ability to analyze historical materials and data to obtain a balanced view of a topic is a critical skill for modern life.

HIS200LA

日本史ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

鈴木　多聞

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**土** 2/Sat.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義は日本現代史（政治史）に関する知識を身につけるとともに、歴史学、政治学の基礎的概念を理解することを目的としています。史料やデーターを正確に解釈し、全体像をバランスよく把握する能力は、現代社会を生きていく上でも重要です。

【到達目標】
日本現代史に関する基礎的な知識を習得し、簡単な文章を書けるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式。毎回、パワーポイントを使用し、かつ、レジュメと史料のコピーを配布します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	日本現代史について考える	「戦前」と「戦後」について考える。
2	日中戦争の拡大と米内光政	日中戦争がどのような論理と政治力学によって拡大したのかを考察する。
3	日独伊三国同盟と第二次世界大戦　国民精神の総動員と統制	「同盟」を理論的、比較的観点から考える。
4	開戦と東条英機	日米開戦にいたる政治過程を概観する。
5	戦場の諸相と戦時下の生活	当時の国民生活や戦場の実態について理解を深める。
6	戦局の悪化と日本の降伏	日本降伏の要因について検討する。
7	占領と改革　米ソの冷戦の開始	米ソの対立が日本にどのような影響を与えたのかを考える。
8	新憲法の制定過程	日本国憲法の制定過程について概観する。
9	占領政策の転換と吉田茂	吉田茂とその政治グループの位置づけについて考える。
10	55 年体制の成立と岸信介	岸信介とその政治グループの位置づけについて考える
11	高度経済成長下の自民党政権と佐藤栄作	佐藤栄作とその政治グループの位置づけについて考える
12	日中国交正常化と高度成長	戦後の日中関係について概観する。
13	冷戦の終結と日米関係	日米関係を長期的視点から考察する。
14	21 世紀の日本外交　相互理解にむけて	日本の内政と外交がどのような関連性を持っているのかを理解する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
教科書に目を通しておくこと。本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
半藤一利ほか『大人のための昭和史入門』（文春新書 1038、文藝春秋、二〇一五年）

【参考書】
開講時に指示する。

【成績評価の方法と基準】
小テスト 20%、期末試験 80%

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【Outline and objectives】
This course will help students understand modern Japanese history, especially political and social history. Students will also gain a general understanding of the disciplines of history and political science. The ability to analyze historical materials and data to obtain a balanced view of a topic is a critical skill for modern life.

PHL200LA

宗教論ＬⅠ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**宗教論の歴史（古代から近代まで）**

須藤　孝也

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
現代日本人にとって、宗教は縁遠いものに思われがちですが、少なくともこれまでの歴史のなかでは宗教は非常に大きな役割を果たしてきたと言うことができます。どのような経緯があって現在があるのか、それを知るために、宗教について知ることは不可欠です。本授業では、宗教論の重要文献を読み、その内容についてオンラインで質問、議論し、レポートを書いてもらいます。

【到達目標】
①宗教論の名著を読んでみる。
②文献を精読し、その内容を把握する。
③不明な点について質問する。
④そこで述べられていることについて自分なりに考え、レポートにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインで゛の開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更につ いては、学習支援システムで゛その都度提示する。本授業の開始日は５月１日とし、この日まで゛に具体的なオンライン授業の方法など゛を、学習支援システムで゛提示する。
２単位＝９０時間程度の学習を目安に、宗教論の名著から３冊程度読んでもらい、それについて質問、議論をし、それを踏まえてレポートを書いてもらう予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の内容、目的、進め方、成績の付け方等について説明する。
2	古代（1）	ソクラテス、プラトン
3	古代（2）	アリストテレス
4	中世（1）	ボナヴェントゥラ等
5	中世（2）	トマス・アクィナス等
6	近代（1）	デカルト、スピノザ
7	近代（2）	J. ロック
8	近代（3）	ヒューム
9	近代（4）	ルソー
10	近代（5）	カント
11	近代（6）	ヘーゲル
12	近代（7）	フォイエルバッハ
13	近代（8）	キルケゴール（1）
14	近代（9）	キルケゴール（2）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
講義形式の授業を行わず、読書と、オンラインでの質問、議論がメインとなる。

【テキスト（教科書）】
特に用いない。

【参考書】
授業中に挙げる。

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半が゛オンラインで゛の開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。
①文献の緻密な読解を評価する。
②文献に述べられていることに関する積極的な質問、議論を評価する。
細かい基準については、その都度学習支援システムで゛提示する。

【学生の意見等からの気づき】
事例の解説とそれに対する私のコメントの比率を若干修正しようと思っています。

【学生が準備すべき機器他】
なし。

【その他の重要事項】
秋学期の宗教論２と合わせて受講することを勧めます。
扱う事例は若干変わることがあります。

【Outline and objectives】
In order to understand the present age we have to know what happened in the past. We survey the history of religion.

PHL200LA

宗教論ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**宗教論の歴史（近代から現代まで）**

須藤　孝也

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
現代日本人にとって、宗教は縁遠いものに思われがちですが、少なくともこれまでの歴史のなかでは宗教は非常に大きな役割を果たしてきたと言うことができます。どのような経緯があって現在があるのか、それを知るために、宗教について知ることは不可欠です。本授業では、宗教がいかに信じられ、語られ、批判されてきたのか、その歴史を概観します。

【到達目標】
①各々の時代、あるいは各々の思想家がどのようなものとして宗教を理解していたのか、説明することができる。
②宗教論の大まかな流れについて説明することができる。
③宗教と宗教以外の事柄の関係について考え、自説を述べることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
こちらからの講義がメインだが、こちらが話したことについて議論してもらうこともある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の内容、目的、進め方、成績の付け方等について説明する。
2	近代（1）	キルケゴール（1）
3	近代（2）	キルケゴール（2）
4	近代（3）	ニーチェ
5	現代（1）	シモーヌ・ヴェイユ
6	現代（2）	ヴィトゲンシュタイン
7	現代（3）	J. デリダ
8	現代（4）	M. フーコー
9	現代（5）	デュルケーム
10	現代（6）	ウェーバー
11	現代（7）	P.L. バーガー
12	現代（8）	E. サイード
13	現代（9）	ガンディー
14	現代（１０）	日本の宗教

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業中に挙げる文献のうち、少なくとも 1 冊は読むこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特に用いない。

【参考書】
授業中に挙げる。

【成績評価の方法と基準】
平常点 40 点:積極的に取り組んでいる者を評価します。
期末小論文 60 点:①授業から学んだこと、②文献から学んだこと、③自ら考えたことを総合して書いてください。質と量で評価します。

【学生の意見等からの気づき】
事例の解説とそれに対する私のコメントの比率を若干修正しようと思っています。

【学生が準備すべき機器他】
なし。

【その他の重要事項】
扱う事例は若干変わることがあります。
春学期の宗教論 1 と合わせて受講することを勧めます。

【Outline and objectives】
In order to understand the present age we have to know what happened in the past. We survey the history of religion.

ECN200LA

経済学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

中平　千彦

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
＜学習支援システムで講義が開始される予定日＞
⇒5 月 1 日 (金) または 5 月 8 日 (金) を予定しています。(未確定)
この講義は、春学期開講『経済学 LA』(担当:中平) です。この講義で学んだ内容は、秋学期開講『経済学 LB』(担当:中平) に接続されます。
受講生の皆さんは、「経済学」に対してどのような印象を持っているでしょうか？
経済学は、我々の形成する社会で観察される、経済主体の活動や相互依存関係によって導かれた多様な経済問題を分析し、その中に存在する経済法則を究明することによって、望ましい社会的経済厚生を研究する学問です。あるいは、希少性を有する財・サービスの最適な選択と配分を、相互に競合する目的を考慮しながら決定し、また、その決定を行うための方法を研究する学問です。
春学期開講『経済学 LA』では、「ミクロ (マイクロ) 経済学」と「マクロ経済学」の基礎をコンパクトに解説し、受講生にそれらを速習してもらうことを目指します。

【到達目標】
・ミクロ (マイクロ) 経済学とマクロ経済学の理論的基礎を説明できるようになる。
・ミクロ (マイクロ) 経済学とマクロ経済学に関する基本的問題を、社会科学的に思考・表現することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
⇒ 講義開始日は、5 月 1 日 (金) または 5 月 8 日 (金) を予定しています。(未確定)
経済理論を大別すると、「ミクロ (マイクロ) 経済学」と「マクロ経済学」に分類できます。「ミクロ (マイクロ) 経済学」は、個々の経済主体における最適化された行動を前提に、市場における経済主体間の相互関係、資源配分と所得分配の決定における市場機構の役割などを分析する、あるいは、いくつかの代表的な公理に依拠した最適化行動に基づき、個から市場、そして経済全体へとアプローチする研究分野です。一方、「マクロ経済学」は、消費者部門における消費、企業部門における投資と生産物供給、政府部門における財政支出と貨幣供給、貿易バランス、そして、それらの相互連関によって決定される国民所得、インフレーションと失業、景気変動などに着目し、経済全体についての集計変数における均衡水準と決定経路を分析する研究分野です。これらの 2 分野は相互補完的な関係にあります。例えば、「ミクロ (マイクロ) 経済学」において、個々の経済主体の最適な行動がマクロ経済にいかなる影響を与えるかを分析するには、「マクロ経済学」の理論が必要となります。また、「現代マクロ経済学」にとって「マクロ経済学のミクロ (マイクロ) 的基礎」は不可欠な要素となっています。
この講義では「ミクロ (マイクロ) 経済学」と「マクロ経済学」の基礎理論を学びますが、講義時間に余裕があれば、「ミクロ (マイクロ) 経済学」の理論と現実との関係、また、マクロ経済学や公共政策学のミクロ (マイクロ) 的基礎などのトピックも採り入れるよう努力します。
我々には、講義回数 14 回という厳しい時間制約が課されていますが、担当教員は、受講生諸氏が要領よくミクロ (マイクロ) 経済学とマクロ経済学の基礎項目を学ぶことができるよう努力し、また、この講義が、受講生各位における将来の発展的学習・研究に役立つものとなることを願っています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 01 回	経済学の基本問題と経済システム	経済学の基本問題と市場の仕組み、経済システム
第 02 回	消費者と生産者の行動 (Ⅰ)	選好と効用関数、需要関数
第 03 回	消費者と生産者の行動 (Ⅱ)	生産技術と費用関数 (1)
第 04 回	消費者と生産者の行動 (Ⅲ)	生産技術と費用関数 (2)、供給関数
第 05 回	市場均衡 (Ⅰ)	完全競争市場と調整過程、余剰と比較静学
第 06 回	市場均衡 (Ⅱ)	部分均衡と一般均衡、独占市場と独占的競争市場
第 07 回	経済厚生	市場の失敗、パレート効率性、厚生経済学の基本定理
第 08 回	国民所得分析の基礎	SNA、マクロ経済指標
第 09 回	消費関数	消費と消費関数
第 10 回	投資関数	投資と投資関数
第 11 回	有効需要と乗数理論	有効需要の原理、乗数効果
第 12 回	IS・LM 曲線と総需要曲線・総供給曲線	IS 曲線・LM 曲線および総需要曲線・総供給曲線による経済分析
第 13 回	インフレ需要曲線	インフレ需要曲線による経済分析
第 14 回	インフレ供給曲線	インフレ供給曲線による経済分析

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
受講後に、テキストやノートによって講義内容を復習してください。また、余裕があれば予習を行ってください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
・塩澤修平 (著)『基礎コース 経済学 (第 2 版)』新世社，2011 年.

【参考書】
・浅田統一郎 (著)『マクロ経済学基礎講義 (第 3 版)』中央経済社，2016 年.
・浅田統一郎 (著)『ミクロ経済学の基礎 (第 2 版)』中央経済社，2017 年.
・井原哲夫／桜本光／辻村和佑／牧厚志 (著)『経済学入門－現実の経済を理解するために (第 2 版)』日本評論社，2008 年.
・スティグリッツ，ジョセフ・E．/ウォルシュ，カール・E．(著), 薮下史郎/秋山太郎/蟻川靖浩/大阿久博/木立力/宮田亮/清野一治 (訳)『スティグリッツ入門経済学 (第 4 版)』東洋経済新報社，2012 年.
・福岡正夫 (著)『ゼミナール経済学入門 (第 4 版)』日本経済新聞出版社，2008 年.
・マンキュー，N．グレゴリー (著), 足立英之/石川城太/小川英治/地主敏樹/中馬宏之/柳川隆 (訳)『マンキュー入門経済学 (第 2 版)』東洋経済新報社，2014 年.
・Bade, Robin and Michael Parkin, *Essential Foundation of Economics*(8th ed.)(pap.), Pearson, 2017.
・Hirshleifer, Jack, Amihai Glazer and David Hirshleifer, *Price Theory and Applications: Decisions, Markets, and Information*(7th ed.)(pap.), Cambridge Univ. Press, 2005.
・Hubbard, R. Glenn and Anthony Patrick O'Brien, *Essentials of Economics*(6th ed.), Pearson, 2018.
・Hubbard, R. Glenn and Anthony Patrick O'Brien, *Economics*(7th ed.), Pearson, 2018.
・Krugman, Paul and Robin Wells, *Economics*(5th ed.), Worth Publishers, 2018.

【成績評価の方法と基準】
・今年度、春学期は新型コロナウイルス対策期間の特別な措置によって、成績を決定します。(詳細未定)

【学生の意見等からの気づき】
受講生による講義アンケートの結果は、講義内容を改善するための参考資料とします。

【その他の重要事項】
・出席確認を行いますので注意してください。
・テキストは購入し、参考文献の購入は、必要性に応じて判断してください。
・本講義の趣旨は、アカデミックな経済学の基礎理論を平易に解説することですが、公務員、国税専門官、公認会計士、不動産鑑定士、中小企業診断士、ファイナンシャル・プランナーなどの、各種資格・就職試験で経済学を受験科目として選択する受講生にも配慮した解説を行います。

【関連科目】
・秋学期のリベラルアーツ科目『経済学 LB』(担当：中平) 。また、リベラルアーツ科目、あるいは各学部で開講されている科目で、経済学、統計学に関わるもの。

【Outline and objectives】
This course is designed to provide the student with an opportunity to understand the basic theory of microeconomics and macroeconomics. Generally, economic theory broadly divided into two parts - microeconomics and macroeconomics. Microeconomics focuses on decision making at the individual level, while macroeconomics studies the economy as a whole.
This course is a comprehensive guide on how to get started with microeconomics and macroeconomics.

ECN200LA

経済学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

中平　千彦

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義では、応用経済学の一分野としての「観光経済学」を学びます。
観光経済学のトピックの中で、特に基本的フレームワークを形成する主要な項目を、ミクロ (マイクロ) 経済学とマクロ経済学の理論に立脚して理解することを目指します。

【到達目標】
・観光経済学の基礎的事項を説明できるようになる。
・観光経済学に関する基本的問題をミクロ (マイクロ)・マクロ経済学理論に基づいて思考・表現することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
観光経済学は、経済学理論に基づき、また、経済学の関連領域に属する学問を包含し、広義の観光活動を分析する、応用経済学の一種と位置付けられるものです。さらに、現代における広義の観光経済学は、観光客の支出決定、観光市場の構造、観光行動における意思決定、観光企業間の連携、観光による外貨発生の効果と範囲、観光資源の貢献可能性、観光政策などを包括的に研究する分野となっています。
本講義では、観光の現状と課題、観光統計、投資理論、消費理論、消費者行動と観光、観光需要、観光サービス供給、観光市場の機能、観光市場の失敗、経済成長と観光、世界遺産と観光、我が国の観光と課題などの項目を学びます。なお、必要に応じて、公共経済学などの知識を補充し、学習内容の拡充を試みます。
我々には、講義回数 14 回という厳しい時間制約が課されていますが、担当教員は、受講生諸氏が要領よく観光経済学の基礎項目を学ぶことができるよう努力し、また、この講義が、受講生各位における将来の発展的学習・研究に役立つものとなることを願っています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 01 回	観光の現状と課題、SNA と観光統計 (1)	観光のもたらす課題、SNA の概念と観光統計
第 02 回	SNA と観光統計 (2)	SNA の基本構造、サテライト勘定の意義と分類
第 03 回	観光市場の機能	市場需要曲線と市場供給曲線、市場均衡と市場調整、観光財・サービスの価格決定メカニズム
第 04 回	消費理論と観光 (1)	消費と消費関数、消費関数における短期と長期
第 05 回	消費理論と観光 (2)	消費決定の仮説、観光消費の性質
第 06 回	投資理論と観光 (1)	投資と投資の決定要因、限界効率と投資判断
第 07 回	投資理論と観光 (2)	投資の限界効率表と投資量の決定
第 08 回	消費者行動と観光 (1)	消費者行動と需要曲線、観光サービスの対象と選択
第 09 回	消費者行動と観光 (2), 観光需要	観光需要と弾力性、観光需要の実際
第 10 回	観光サービス供給	観光サービス供給、観光市場の構造
第 11 回	観光市場の失敗	市場の失敗と観光分析
第 12 回	公共財とコモンプール財	公共財、コモンプール財と資源の過剰利用
第 13 回	観光成長と観光	インバウンド市場とアウトバウンド市場、観光発展の将来
第 14 回	世界遺産とエコツーリズム, 観光の課題と将来	世界遺産の基礎知識、エコツーリズムの事例と課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
受講後に、テキストやノートによって講義内容を復習してください。また、余裕があれば予習を行ってください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
・中平千彦／薮田雅弘 (編著)『観光経済学の基礎講義』九州大学出版会，2017 年.

【参考書】
・M.T. シンクレア／ M. スタブラー (著), 小沢健市 (監訳)『観光の経済学』学文社，2001 年.
・ジェームズ・マック (著), 瀧口／藤井 (監訳)『観光経済学入門』日本評論社，2005 年.
・中崎茂 (著)『観光の経済学入門− 観光・環境・交通と経済の関わり』古今書院，2002 年.
・スティーブン・J. ページ (著), 木谷／松下／図師 (訳)『交通と観光の経済学』日本経済評論社，2001 年.
・A. ブル (著), 諸江／吉岡／菊池／小沢／原田／池田／和久井 (訳)『旅行・観光の経済学』文化書房博文社，1998 年.
・Bull, Adrian(1995), *The Economics of Travel and Tourism*(2nd revised ed.), Longman.
・Dwyer, Larry, Forsyth, Peter, and Wayne Dwyer(2010), *Tourism Economics and Policy*, Channel View Publications.
・Stabler, Mike J., Papatheodorou, Andreas., and M. Thea Sinclair(2009), *The Economics of Tourism*, 2nd. ed., Routledge.
・Sullivan, Charlotte(ed.)(2016), *Leisure and Tourism Economics*, Willford Press.

【成績評価の方法と基準】
・[試験 (90 %) ＋平常点 (10 %) ＝総合点 (100 %)] の評点配分で成績が決定されます。
・各種公式行事の出席などによる止むを得ない欠席は、申告によって出席扱いとすることがありますので、これに該当する可能性がある場合は、早期に講義担当者に相談してください。
・出席数が規定数を下回る場合は、特別な場合を除き、単位を認定しません。

【学生の意見等からの気づき】
受講生による講義アンケートの結果は、講義内容を改善するための参考資料とします。

【学生が準備すべき機器他】
・必要に応じて講義内で指示を行います。

【その他の重要事項】
・出席確認を行いますので注意してください。
・テキストは購入し、参考文献の購入は、必要性に応じて判断してください。

【Outline and objectives】
The aim of the course is to provide students with an oppotunity to gain and enhance the knowledge of economics of tourism. Namely, this course is designed to provide a basic understanding of the scientific approaches to economics of tourism, particularly in the field of economic theory. In this course, you will learn how the microeconomics and macroeconomis are applied to the analysis of tourism.

ECN200LA

経済学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**経済理論から 21 世紀の課題を考える**

水野　和夫

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
経済学とは、どのような考え方に基づいて理論を構築しているかを身に着けることができる。21 世紀が抱える課題、具体的にはⅠ. 米中新冷戦、Ⅱ. ゼロ金利とプラザ合意、Ⅲ. 歴史の危機と金利の三つにテーマを取り上げて、近代経済学はどのように対処しようとしているのかを学ぶことができる。
現実には、近代経済学はこれらの問題に対して有効な処方箋を提示できないでいる。「近代経済学」を再検討することで、経済学にとって何が求められているのかを理解できるようになる。

【到達目標】
18 世紀後半に誕生した経済学の基本的概念は、そのときどきの時代環境とともに変化してきたことを学ぶことで、米中新冷戦や日本の「失われた 20 年」の背景を考えることができる。
なぜ、20 年にわたるデフレが続いているのか、ゼロ金利は何を意味しているのか、トランプ大統領誕生によりグローバリゼーションは曲がり角を迎えているのか否かを、自ら考える能力を身に着けることができる。
秋学期の「経済学 LB」を合わせて受講することで、春学期の到達目標がさらに高まる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義中心。授業支援システムや質問表を通じて、質問をうけ、回答をすることで双方向のコミュニケーションを図る。
春学期の少なくとも前半はオンラインでの授業となるため、各回の授業計画の変更については「学習支援システム」でその都度提示する。本授業のオンラインでの開始は 5 月 16 日（木）とする。それ以前の第 1 回目の 4 月 23 日（木）の授業については自習とし、具体的な自習方法は「学習支援システム」の「お知らせ」欄で提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	春学期と秋学期を通じて、講義全体の流れを説明	経済学の考え方とはなにかについて、概略の説明、春学期に三つのテーマを取り上げる理由
第 2 回	Ⅰ－①. 米中新冷戦について	支配と非支配の正当性
第 3 回	Ⅰ－②. 米中新冷戦についてーその 2	国際収支構造と国際収支発展段階説、債権国の定義
第 4 回	Ⅰ－③. 米中新冷戦について	対外純資産（NIIP）と所得収支の関係
第 5 回	Ⅰ－④. 米中新冷戦について	米国の対外戦略と「中国の夢」、債務の罠戦略、リアクションペーパーへの回答
第 6 回	Ⅱ—①. ゼロ金利政策とプラザ合意	デフレとゼロ金利、名目金利と実質金利、潜在成長率
第 7 回	Ⅱ—②. ゼロ金利政策とプラザ合意	1980 年代米ソ軍拡競争と 1985 年プラザ合意
第 8 回	Ⅱ—③. ゼロ金利政策とプラザ合意	ROE 革命と利子率革命
第 9 回	Ⅱ—④. ゼロ金利政策とプラザ合意	資本の過剰性、帝国の本質、リアクションペーパーへの回答
第 10 回	Ⅲ－①. 歴史の危機と金利	歴史の危機とは、「蒐集」の歴史、階級闘争の歴史
第 11 回	Ⅲ－②. 歴史の危機と金利	金利の歴史、金利とは、「長い 16 世紀」の金利
第 12 回	Ⅲ－③. 歴史の危機と金利	利子と利潤の相違点、低下する利子と上昇する利潤率（ROE)、長期停滞の背景
第 13 回	Ⅲ－④. 歴史の危機と金利	賃金の決まり方、借入金利の決まり方
第 14 回	まとめ	春学期全体のまとめ、リアクションペーパーへの回答

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間が理想であるが、講義で使用したレジメ（授業支援システムに掲載）を教科書と照らし合わせながら、復習をしっかりすること。

【テキスト（教科書）】
なし

【参考書】
『経済学の考え方』宇沢弘文、岩波新書、1989
https://www.iwanami.co.jp/book/b267872.html
『経済学とは何だろうか』佐和隆光、岩波新書、1982
https://www.iwanami.co.jp/book/b267615.html

【成績評価の方法と基準】
受講態度 50 %+期末レポート 50 %
受講態度は 4 回程度提出したリアクションペーパーで評価

【学生の意見等からの気づき】
授業支援システムや質問票の配布を通じて学生からの意見を取り入れ、授業内容の改善を図る。

【学生が準備すべき機器他】
事前に PC などで授業支援システムにアクセスして、レジメをダウンロードできる環境を整えることが望ましい。

【その他の重要事項】
経済学Ⅰ、経済学Ⅱを履修している必要はない。

【Outline and objectives】
Why should you,as a student in the 21st century ,embark on the study of ecomics?There are three reason.The first reason to study economics is that is will help you understand the world in which you live.The second reason to study economics is that it will make you a more astute particpant in the economy.The third reason to study economics is that it will give you a better understanding of both the potential and limits of economic policy.

ECN200LA

経済学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**経済理論から 21 世紀の課題を考える**

水野　和夫

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
経済学とは、どのような考え方に基づいて理論を構築しているかを身に着けることができる。21 世紀が抱える課題、秋学期ではⅠ. 格差とグローバリゼーション、Ⅱ.IS バランスと日本の財政の持続性、Ⅲ. 日本のエネルギー問題の三つのテーマを取り上げて、近代経済学はどのように対処しようとしているのかを学ぶことができる。
現実には、近代経済学はこれらの問題に対して有効な処方箋を提示できないでいる。「近代経済学」を再検討することで、経済学にとって何が求められているのかを理解できるようになる。

【到達目標】
「近代経済学の再検討」を通じて、21 世紀の世界経済が抱える問題の背景、原因を考えることができる。さらに、「近代とはいかなる時代か」を考えることができるようになる。そして、近代が「発見」した社会とはいかなる概念であるかを考えることで、21 世紀の抱える課題を理解することができる。
春学期の「経済学 LA」で到達目標としたことをさらに高めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義中心。授業支援システムを通じて、質問をうけ、回答をすることで双方向のコミュニケーションを図る。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	秋学期に三つのテーマと取り上げる理由
第 2 回	Ⅰ－①. 格差とグローバリゼーション	グローバリゼーションとインターナショナリゼーション、国民国家と帝国
第 3 回	Ⅰ－②. 格差とグローバリゼーション	ピケティの『21 世紀の資本』、ｒ（資本収益率）とｇ（経済成長率）の関係
第 4 回	Ⅰ－③. 格差とグローバリゼーション	ジニ係数、エレファントカーブ、オックスファムレポート
第 5 回	Ⅰ－④. 格差とグローバリゼーション	グローバリゼーション論争、リアクションペーパーへの回答
第 6 回	Ⅱ－①. IS バランスと日本の財政の持続性	日本の財政の現状
第 7 回	Ⅱ－②. IS バランスと日本の財政の持続性	ドーマー定理
第 8 回	Ⅱ－③. IS バランスと日本の財政の持続性	IS バランス（貯蓄投資差額）と資金過不足
第 9 回	Ⅱ－④. IS バランスと日本の財政の持続性	投資と消費、税と社会保障改革、リアクションペーパーへの回答
第 10 回	Ⅲ－①. 日本のエネルギー問題	貿易収支、経常収支、交易条件
第 11 回	Ⅲ－②. 日本のエネルギー問題	日本の貿易収支構造、鉱物性燃料代収支と自動車収支
第 12 回	Ⅲ－③. 日本のエネルギー問題	生産性、機械化、エネルギー消費の関係
第 13 回	Ⅲ－④. 日本のエネルギー問題	エネルギー収支（ROEI）
第 14 回	まとめ	秋学期全体の復習、リアクションペーパーへの回答

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間が理想であるが、講義で使用したレジメ（授業支援システムに掲載）を教科書と照らし合わせながら、復習をしっかりすること。

【テキスト（教科書）】
なし、授業支援システムを通じて事前にレジメを配布

【参考書】
『経済学の考え方』宇沢弘文、岩波新書、1989
https://www.iwanami.co.jp/book/b267872.html
『経済学とは何だろうか』佐和隆光、岩波新書、1982
https://www.iwanami.co.jp/book/b267615.html

【成績評価の方法と基準】
受講態度 50 %+期末レポート 50 %
受講態度は 4 回程度提出したリアクションペーパーで評価

【学生の意見等からの気づき】
授業支援システムや質問票を通じて学生からの意見を取り入れ、授業内容の改善を図る。

【学生が準備すべき機器他】
事前に PC などで授業支援システムにアクセスして、レジメをダウンロードできる環境を整えることが望ましい。

【その他の重要事項】
経済学Ⅰ、経済学Ⅱを履修している必要はない。

【Outline and objectives】
This course introduces the Principles of Economics and ethics to students taking this course. Economics is a study of mankind in the ordinary business of life.

ECN200LA

経済学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**東アジア経済論**

陳　文挙

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
２１世紀はアジアの時代であり、中国やアジア新興国の台頭によってアジア地域のみならず、世界の政治経済、社会文化、安全保障の構図は変りつつある。本講義では東アジア地域経済発展の原動力および諸問題を中心とした基礎理論を考察し、分析を行う。また、最近中国で発生した新型肺炎による東アジア地域経済に与える影響、そして米中貿易紛争、日中韓、ASEAN 等地域経済連携問題についても考察、分析する。

【到達目標】
現在、国際関係における一国主義やアンチグローバル的な考え方が強まる中、東アジア地域の多様性、複雑性、可能性について立体的な視点から考察することによって学生諸君の考察力、思考力、分析力を高めることができる。また、最近中国で発生した新型肺炎による経済社会の混乱に対してどう対応すればよいかを考えることを通じて危機対応型思考力の向上も可能になる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それに伴う各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は４月２２日（水）とし、具体的なオンライン授業の方法などを学習支援システムで提示し、それに沿って学習を進めてください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	授業紹介	東アジア経済論の基礎、研究概要、成績評価等
2	現代経済の仕組み	家計、企業、政府；資本、労働、技術進歩；市場の原理；経済成長と経済発展
3	東アジア近代経済史１	商業の発達、シルクロード、国際貿易、アヘン戦争、アジアの植民地化
4	東アジア近代経済史２	明治維新と日本の近代化、戊変法と中国の半植民地化
5	農業の発展１：緑の革命	伝統農業から近代農業へ：食糧問題は如何に解決されたのか
6	農業の発展２：労働移動	工業化、賃金格差、過剰都市化とスラム現象
7	工業の発展１：比較優位仮説	脱植民地運動、自力更生、輸入代替と輸出振興、貿易立国
8	工業の発展２：産業移転	ペティ・クラークの法則、雁行形態、中国製造、産業空洞化
9	東アジアの格差問題	経済発展と格差問題、クズネッツ逆 U 字仮説、エレファントカーブ
10	東アジアの人口問題	人口爆発、少子高齢化問題の本質
11	東アジアの環境問題	経済発展と環境問題、新型肺炎の発生、影響と対策
12	東アジア経済共同体と経済連携	FTA、RCEP、TPP、ASEAN+3 とは何か
13	政府開発援助と中国「一帯一路」国家戦略	国際援助の在り方、日本政府の ODA と中国の AIIB
14	まとめ	復習と期末レポート作成要領

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
指定参考書、配布資料等を参考し、予習復習を行う。
講義内容に応じて宿題として課題レポートを完成する。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
なし。

【参考書】
『現代東アジア経済論』、三重野文晴・深川由起子（編集)、ミネルヴァ書房。
『開発経済学―諸国民の貧困と富』、速水佑次郎、創文社。
『現代アジア経済論』、原洋之介（著)、岩波書店。

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことに伴い、成績評価の方法や基準も変更する。具体的な方法や基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
１、学生皆さんの関心事をよく聞く、確認すること。
２、授業中の私語をしっかり対応すること。
３、遅刻対策を講じること。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
後期『経済学 LB ：中国経済発展論』の継続履修をお勧め。

【Outline and objectives】
Asian countries has gain power in 21 century. Because of the rapid growth of China and other developing countries in Asia, the structures of international politics, economics, social-culture, and security have changed dramatically and globally. During this course, students will learn and analyse the important theories and factors that drives the economic development in east Asia region; some important issues which arose under this specific social context will also be discussed. Furthermore, we will discuss some current economic-related topics: how the corona-virus is affecting economic activities in east Asia, how China-US trade conflict is going on and other regional economic partnerships.

ECN200LA

経済学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**中国経済発展論**

陳　文挙

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国経済の規模は 2010 年に日本に追い付き、追い越し、アメリカに次ぐ世界第 2 位に上り詰めた。2018 年に中国の GDP は日本の 2.5 倍、アメリカの 4 分の 3 まで拡大した。本講義では前期授業で学習した経済発展論の基礎に基づき、まず計画経済期および市場経済移行期の経済発展状況を考察し、中国経済停滞および成長の諸要因を明らかにする。そして、中国の「改革・開放」政策により中国の農業発展、労働移動、工業化、国際貿易、新しい産業の興隆などについてケース・スタディを通じて中国経済のダイナミックな発展に対して理解を深める。

【到達目標】
現在、国際関係における一国主義やアンチグローバル的な考え方が強まる中、東アジア地域の多様性、複雑性、可能性について、特に世界第２位の経済規模を持つ中国の諸動向について立体的な視点から考察することによって学生諸君の考察力、思考力、分析力を高めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
主にパワーポイントによる講義。講義に並行してビデオ鑑賞、授業内演習を行うこともある。講義内容に応じてリアクションペーパーの提出を求めることもある。新聞、雑誌および Web サイト等の最新参考資料を配布し、講義内容を深め、予習復習に活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	授業紹介	中国経済発展論基礎、講義概要、成績評価等
2	中華人民共和国建国	中国共産党の土地革命から政権奪取、社会主義建国への道程
3	社会主義経済建設	国の社会主義改造、計画経済、人民公社、大躍進へ突き進み
4	計画経済の失敗	政治闘争、文化大革命、毛沢東の死と鄧小平時代の到来
5	改革開放の始まり	改革開放はなぜ始まったのか？
6	農業の発展と農村工業化	郷鎮企業の発展、産業集積と世界の工場
7	農業労働の移動	世界工場、都市化の原動力
8	工業の発展	国有企業改革、技術導入と外資企業
9	企業改革	ハイアール、吉利汽車の事例
10	外資導入	日本企業中国進出事例研究
11	経済成長と構造変化	経済のサービス化と新経済
12	新経済とニュービジネス	大衆消費社会、ネット通販、スマホ決済、シェア自転車、配車アプリ
13	高度成長から安定成長へ	環境、エネルギー、少子高齢化、米中貿易紛争、新型肺炎などの問題
14	まとめ	復習と期末レポート作成要領

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
指定参考書、配布資料等を参考し、予習復習を行う。
講義内容に応じて宿題として課題レポートを完成する。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
なし

【参考書】
『中国経済入門』（第 4 版）、南亮進・牧野文雄編、日本評論社。
『現代中国経済』、丸川知雄、有斐閣アルマ。

【成績評価の方法と基準】
授業に対する理解、授業内演習および期末レポートの完成状況（50 %）
授業態度、リアクションペーパーなどの平常点（50 %）

【学生の意見等からの気づき】
１、学生皆さんの関心事をよく聞く、確認すること。
２、授業中の私語をしっかり対応すること。
３、遅刻対策を講じること。

【学生が準備すべき機器他】
特にない。

【その他の重要事項】
『経済学 LA ：東アジア経済論』の履修は望ましい。

【Outline and objectives】
China economy caught up with and even surpassed Japan standing in the second place following America in 2010. The GDP of China has increased by 2.5 times of Japan and three-quarters of America in 2018. This study aims at clearing up the causes for both the development as well as the decline of Chinese economy, by observing its economic development situations during the period of the planned economy and the market economy, based on the foundation of the economic development theory studied in the first semester. This study will also deepen the understanding about the dynamic development of the Chinese economy after the market-opening and reform policy, through the way of case studies in the field of Chinese agricultural development, labor movement, industrialization, international trade and the rising of new industry.

ECN200LA

経済学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**利子と資本から日本の課題を考える**

水野　和夫

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期は資本主義経済においてもっとも重要な概念である資本および資本とはなにかについて考え、両者の関係を理解することができる。
最終的には資本主義の命運が利子率のわずかに数パーセントの動きにかかっていることを学ぶことができる。

【到達目標】
春学期の授業では、資本とは、利子とはなにかを理解することを到達目標とする。そのことにようって、資本主義が現在抱えている課題が何であるかがわかる。資本、利子の本来有している性質からして、「過剰・飽満・過多」に行き着く可能性が高いことを理解すると、その対処法がわかるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義中心の授業を行ない、リアクションペーパーで質問することで疑問点を解消することができる。
春学期の少なくとも前半はオンラインでの授業となるため、各回の授業計画の変更については「学習支援システム」でその都度提示する。本授業のオンラインでの開始は 5 月 15 日（水）とする。それ以前の第 1 回目の 4 月 22 日（水）の授業については自習とし、具体的な自習方法は「学習支援システム」の「お知らせ」欄で提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	春学期で学ぶことの概要
第 2 回	資本について―経済学、会計学、商法からみた資本①	経済学の「資本」－迂回生産の手段、資本と設備投資の関係、貯蓄投資バランス
第 3 回	資本について―経済学、会計学、商法からみた資本②	会計学の「資本」とは、「商法」の資本とは、内部留保金、資本金
第 4 回	資本の重要性	生産関数と成長理論
第 5 回	古典派の資本	生存基本説
第 6 回	新古典派の資本	資本の限界生産力
第 7 回	マルクスの資本	G（貨幣）-W（商品）-G’（貨幣）、資本の神秘性
第 8 回	ケインズの資本	資本の限界効率
第 9 回	ピケティの『21 世紀の資本』	ｒ（資本利潤率）とｇ（経済成長率）の関係
第 10 回	利子はなぜ生ずるか	貯蓄と投資、利子と利潤の違い
第 11 回	キリスト教の利子理論	「救済」としてのコレクションとSave(蓄え)、13 世紀に利子が容認された背景,「1 3世紀の資本論」（オリ―ヴィ）、「１６世紀の資本論」（『ヴェニスの商人』）、利子はお金の使用料か
第 12 回	近代の利子理論	
第 13 回	資本と利子の関係について	利子は利潤の派生的所得
第 14 回	春学期のまとめ	重要な概念の復習と質疑応答

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間が理想であるが、講義で使用したレジメ（授業支援システムに掲載）を教科書と照らし合わせながら、復習をしっかりすること。

【テキスト（教科書）】
なし（授業支援システムに授業で使用する資料を掲載）

【参考書】
『経済学の考え方』宇沢弘文、岩波新書、1989
https://www.iwanami.co.jp/book/b267872.html

【成績評価の方法と基準】
受講態度（50 %）と期末レポート（50 %）
受講態度はリアクションペーパーの内容で評価

【学生の意見等からの気づき】
リアクションペーパーで質問をし、次回の授業の冒頭で回答。

【学生が準備すべき機器他】
事前に PC などで授業支援システムにアクセスして、レジメをダウンロードできる環境を整えることが望ましい。

【その他の重要事項】
経済学Ⅰ、経済学Ⅱを履修している必要はない。

【Outline and objectives】
This course introduces a a concept of interest rate and capital to students taking this course.Students can uenderstand tht a destiny.of capitalism depends interest rate,

ECN200LA

経済学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**利子と資本から日本の課題を考える**

水野　和夫

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
利子と資本の概念から、２１世紀の現在日本やドイツで起きているゼロ金利はどういうメッセージを発しているのかを学ぶことができる。成長を前提としてきた近代システムがなぜ至るところで機能不全に陥っているか、その理由を理解することができる。

【到達目標】
秋学期の授業における到達目標は、ゼロ金利とグローバリゼーションの関係を理解することにある。資本主義にとって「例外状況」であるゼロ金利に直面したことで、新たな利潤機会の場として「電子・金融空間（バーチャル空間）」をつくり、グローバリゼーションが世界を席巻してきたことを理解できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義中心の授業を行ない、リアクションペーパーで質問することで疑問点を解消することができる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	秋学期で学ぶことの概要説明
第 2 回	利子率と成長率、物価の関係①	自然利子率、自然成長率
第 3 回	利子率と成長率、物価の関係②	イールドカーブ、期待インフレ率
第 4 回	ゼロ金利をどう解釈するか	「利子生活者の安楽死」（ケインズ）、「過剰・飽満・過多」（スーザン・ソンタグ）
第 5 回	ゼロ金利と株高	貨幣数量説、ROE(自己資本利益率）経営
第 6 回	ゼロ金利とグローバリゼーション	グローバリゼーションの本質はなにか、「実物投資空間」と「電子・金融空間（バーチャル空間）」
第 7 回	資本の過剰性	資本の神秘性、食品ロス、空き家率、衣類の廃棄
第 8 回	将来に備えて節約重視か現在を楽しむのか	貯蓄とは、消費とは
第 9 回	経常収支、貯得投資バランス、資金過不足の関係	経常収支はなにを意味しているのか、企業の貯蓄超過、家計の貯蓄超過の背景
第 10 回	財政赤字	政府部門の財政赤字の原因は？、1000 兆円をこえる日本の国家債務の何が問題か？
第 11 回	経常黒字	経常黒字の原因は？、日本は世界最大の純債権国
第 12 回	経常黒字	貿易黒字は誰が稼いでいるのか？
第 13 回	対外交易条件	対外交易条件は何によって決定されるのか？、エネルギー問題は実質賃金にどのような影響を与えるのか？
第 14 回	秋学期のまとめ	重要な概念の整理と質疑応答

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間が理想であるが、講義で使用したレジメ（授業支援システムに掲載）を教科書と照らし合わせながら、復習をしっかりすること。

【テキスト（教科書）】
なし（授業支援システムに授業で使用する資料を掲載）

【参考書】
『経済学の考え方』宇沢弘文、岩波新書、1989
https://www.iwanami.co.jp/book/b267872.html

【成績評価の方法と基準】
受講態度（50 %）と期末レポート（50 %）
受講態度はリアクションペーパーの内容で評価

【学生の意見等からの気づき】
リアクションペーパーで質問をし、次回の授業の冒頭で回答。

【学生が準備すべき機器他】
事前に PC などで授業支援システムにアクセスして、レジメをダウンロードできる環境を整えることが望ましい。

【その他の重要事項】
経済学Ⅰ、経済学Ⅱを履修している必要はない。

【Outline and objectives】
This course introduces a a concept of interest rate and capital to students taking this course.Students can uenderstand tht a relationship of zero interest rate and globalization,

PSY200LA

心理学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

海部　紀行

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「心理学Ⅰ/Ⅱ」など，アカデミックな心理学〔行動心理学，認知心理学，発達心理学，パーソナリティ心理学 etc.〕の基礎・基盤（ベーシック）履修を前提とし，より発展・応用的な心理学〔社会心理学+臨床心理学 ⇒ 臨床社会心理学〕を学びます。
陰キャ・陽キャって何？　浮いたら終わり？　地雷だらけ？「普通」って何？「らしさ」って何？「大人」って何？　時折そんなふうに感じてしまうことがあるとしたら，それはなぜなのか…，どうしたらよいのだろうか…，といったことを思い考えます。

【到達目標】
行動や出来事の原因の探り方，そのとき起きる錯誤，自己注目と抑うつなどを考えることが目標です。
知識を身につけるとともに，潜在的な可能性を生かす技能を鍛え，一面的な決めつけや思い込みにとらわれず，いつも新鮮で柔軟な態度をとれる選択肢・キャパシティを増やします。
自ら問題（テーマ）を設定し，批判的な検討・検証のうえで，的確な意見を論じることができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
テキストに沿って講義を進めますが，リアクションペーパーへのリプライ・フィードバックにも時間を費やします。
この科目は「抽選対象」です。履修希望の場合，抽選ガイドを参照したうえで，抽選の申し込みが必要です。「当選」した学生のみ，履修できます。
抽選エントリー日時： 4 月 15 日（水）午前 10 ： 00〜4 月 20 日（月）午前 9 ： 00
詳細は，以下の「2020 年度 ILAC 科目/市ヶ谷基礎科目大人数授業　抽選ガイド」
(https://hosei-rinji.com/ilac/rishuguide2020/) を確認してください。
【補足・改定】
当面，講義が不可能なので，各自が指定テキストを読み進めていくことを踏まえた「進め方と方法」になる見込みです。
4 月 22 日（水）を「学習支援システム」での開始日とし，改めて告知します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
	実質「休講」	同左
	実質「休講」	同左
1	ガイダンス	「心」とは何か？　「心」はどこにある？　／基礎から応用へ
2	社会心理学とは？　／臨床心理学とは？　／臨床社会心理学とは？	臨床社会心理学〔テキスト序章〕
3	帰属のバイアス	対応推論・因果スキーマ〔テキスト第 1 章①]
4	「なぜ？」を読み解く	原因推測の誤りと偏り〔テキスト第 1 章②]
5	なぜ憂うつになる？	誤帰属や帰属スタイルの傾向〔テキスト第 2 章①〕
6	帰属療法／原因想起	成長期・対人関係／多様性と選択合理性〔テキスト第 2 章②〕
7	勉強ができない…／原因の考え方	期待-価値モデルと統制の位置／感情の帰属モデル〔テキスト第 3 章①〕
8	学習性無力感／知能は変わる？	努力しても成功しない？　試験前は遊ぼう？〔テキスト第 3 章②〕
9	見る自己と見られる自己	自己意識と自己注目〔テキスト第 4 章①〕
10	自己を意識すると…／自己注目の研究	客体的自覚理論と制御理論／「適切さの基準」〔テキスト第 4 章②〕
11	落ち込みと自己注目	気分一致効果／自己確証／自己没入〔テキスト第 5 章①〕
12	抑うつの予防	注意の向け方／気晴らし〔テキスト第 5 章②〕

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
「準備学習・復習時間は，各 2 時間を標準とします。」〔文部科学省基準のデフォルト〕
幾らかでもテキストに目を通す「準備学習」によって，理解を促します。講義後も，「復習」的に整理します。
ともあれ，“何を覚えるか” ではなく，自分が・自分で考えることのトレーニングを重視します。

【テキスト（教科書）】
『はじめての臨床社会心理学：自己と対人関係から読み解く臨床心理学』坂本真士・佐藤健二（編）　有斐閣
http://www.yuhikaku.co.jp/books/detail/4641076812
必ず用意してください。初回からテキスト講読を進めます。
【補足・改定】
大学生協書籍部で通信販売を実施します。以下を参照のこと。
https://www.univcoop.jp/hosei/order/order_82.html

【参考書】
『よくわかる臨床心理学：改訂新版』下山晴彦編　ミネルヴァ書房
http://www.minervashobo.co.jp/book/b49970.html

【成績評価の方法と基準】
試験点（100 %）：試験（レポート形式の小論文）は，テキスト（教科書）内容の理解を前提とし，自ら設定したテーマについて，学術論文からの適切な引用など的確な根拠を示したうえで，自身の意見・主張を論じることを課題とします。
テーマは適切か，論理に飛躍や矛盾がないか，批判的・主体的な意見を述べているか，といった観点で評価します。
レポートカバーおよび試験課題など（添付ファイル｜ 2019 年度秋学期の例：参照）を配付以降，締切日までの提出を求めます。
試験課題提出締切日（電子機器・情報機器を含むすべて持ち込み・参照可）にも記述できます。
レポートカバーなど配付後の講義日〜締切日に提出できない場合，最終回の講義日まで，「追試」代替としての提出を認めます。
【補足・改定】
上記の考え方を踏まえながらも，このとおりの「方法と基準」が困難なため，日常普段の取り組みを基本とする見込みです。
「学習支援システム」での開始日である 4 月 22 日（水）に改めて告知します。

【学生の意見等からの気づき】
任意のリアクションペーパー記述を合わせ，十人十色，千差万別の反応があります。好き嫌い（？）が分かれるのかもしれません。
興味・関心を抱き，集中して参加した学生の多くは，リアクションペーパーを活用し，“自分が・自分で考えることのトレーニング” をしているようです。
（日常的な取り組みの姿勢・態度と課題とが直結しているとは限りませんが）そのような例では，正解がない and/or 不明な「心」に関し，自ら問題を立て，批判的に検討・検証して論じる，という試験課題をも活用し，独自の格別な出来を見せていました。
「授業改善アンケート」（匿名）で特徴的に表現されていた自由記述を「気づき」とします。
「自分の悩みなどをリアクションペーパーに自由に書くことで，考えや気持ちを整理するよい機会になった」

「日々の苛立ちやモヤモヤと結びつくことが多く，おもしろかった」「セクシャルマイノリティのこと，メンヘラのこと，さまざまな事件のこと，など深く感じた」

【その他の重要事項】
(1) 履修希望が多いときは，自動・無作為の「抽選」で，登録の可否が決まります。「選定」された場合，「選定」から外れた方の思いも受けて参加くださるよう望みます。
(2) 心理学 LA（春学期）と心理学 LB（秋学期）は連動します。続けての履修を期待します。
(3) 年度や受講生によって講義のスタイルを（講義時の勝手気ままな言動などへの対応も同様に）変えます。“裏シラバス” や “クチコミ” を当てにしないでください。
(4)「臨床心理士」として，さまざまな方々と接してきたことの反映が多いかもしれません。
(5) オフィスアワー（Q&A タイム？ なんでもお喋りタイム？）は原則として水曜・木曜の各 6 時限に設ける見込みです。同予約その他のリクエストは，口頭またはリアクションペーパーで伝えてください。もしくは，kikoh.kaihu.65@hosei.ac.jp へ。

【Outline and objectives】
We survey advanced applied psychology on the basis of academic psychology such as behavioral psychology, cognitive psychology, developmental psychology, and personality psychology.
We study clinical social psychology.

PSY200LA

心理学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

海部　紀行

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「心理学Ⅰ/Ⅱ」など，アカデミックな心理学〔行動心理学，認知心理学，発達心理学，パーソナリティ心理学 etc.〕の基礎・基盤（ベーシック）履修を前提とし，より発展・応用的な心理学〔社会心理学+臨床心理学 ⇒ 臨床社会心理学〕を学びます。
陰キャ・陽キャって何？ 浮いたら終わり？ 地雷だらけ？「普通」って何？「らしさ」って何？「大人」って何？ 時折そんなふうに感じてしまうことがあるとしたら，それはなぜなのか…，どうしたらよいのだろうか…，といったことを思い考えます。

【到達目標】
他者と自己とが織りなす対人関係，そこから生じる葛藤やストレスへの対処などを考えることが目標です。
知識を身につけるとともに，潜在的な可能性を生かす技能を鍛え，一面的な決めつけや思い込みにとらわれず，いつも新鮮で柔軟な態度をとれる選択肢・キャパシティを増やします。
自ら問題（テーマ）を設定し，批判的な検討・検証のうえで，的確な意見を論じることができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
テキストに沿って講義を進めますが，リアクションペーパーへのリプライ・フィードバックにも時間を費やします。
この科目は「抽選対象」です。履修希望の場合，抽選ガイドを参照したうえで，抽選の申し込みが必要です。抽選の結果当選した学生のみ、履修をすることができます。
抽選エントリー日時： 4 月 15 日（水）午前 10 ： 00〜4 月 20 日（月）午前 9 ： 00
詳細は、以下に掲載の「2020 年度 ILAC 科目/市ヶ谷基礎科目大人数授業　抽選ガイド」
(https://hosei-rinji.com/ilac/rishuguide2020/) を確認してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	春学期の振り返りと秋学期の特徴
2	「自分」が脅かされる…	私への関心と恐怖感〔テキスト第 6 章①〕
3	妄想・自我障害の原因／どう克服するか	帰属のパラドクス／認知療法・自閉療法〔テキスト第 6 章②〕
4	本当の自分？	自分のことを打ち明ける：自己開示〔テキスト第 7 章①〕
5	仮面の自分？	自分をよく見せる：自己呈示〔テキスト第 7 章②〕
6	自己開示と健康	メンタル＆フィジカル〔テキスト第 8 章①〕
7	トラウマの開示は…	認知的再評価あるいは否定的影響〔テキスト第 8 章②〕

8	不安と対人恐怖	社会不安障害？〔テキスト第 9 章①〕
9	よく見せたいが自信がない…／認知モデル	自己呈示の欲求と効力感／認知行動療法〔テキスト第 9 章②〕
10	援助行動とソーシャルサポート	助けること・助けられること〔テキスト第 10 章〕
11	攻撃行動	何が「攻撃」？　その目標・機能は？〔テキスト第 11 章①〕
12	怒り	怒りとは？　なぜ「攻撃」する？〔テキスト第 11 章②〕
13	試験課題提出締切日（当日記述も可）	試験課題：レポート形式の小論文
14	なぜ援助を求めない？	症状認知／情報不足と偏見／コミュニティ〔テキスト終章〕

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
「準備学習・復習時間は，各 2 時間を標準とします。」〔文部科学省基準のデフォルト〕
幾らかでもテキストに目を通す「準備学習」によって，理解を促します。講義後も，「復習」的に整理します。
ともあれ，“何を覚えるか” ではなく，自分が・自分で考えることのトレーニングを重視します。

【テキスト（教科書）】
『はじめての臨床社会心理学：自己と対人関係から読み解く臨床心理学』坂本真士・佐藤健二（編）　有斐閣
http://www.yuhikaku.co.jp/books/detail/4641076812
必ず用意してください。初回からテキスト講読を進めます。

【参考書】
『よくわかる臨床心理学：改訂新版』下山晴彦編　ミネルヴァ書房
http://www.minervashobo.co.jp/book/b49970.html

【成績評価の方法と基準】
試験点（100 %）：試験（レポート形式の小論文）は，テキスト（教科書）内容の理解を前提とし，自ら設定したテーマについて，学術論文からの適切な引用など的確な根拠を示したうえで，自身の意見・主張を論じることを課題とします。
テーマは適切か，論理に飛躍や矛盾がないか，批判的・主体的な意見を述べているか，といった観点で評価します。
レポートカバーおよび試験課題など（添付ファイル｜ 2019 年度秋学期の例：参照）を配付以降，締切日までの提出を求めます。
試験課題提出締切日（電子機器・情報機器を含むすべて持ち込み・参照可）にも記述できます。
レポートカバーなど配付後の講義日～締切日に提出できない場合，最終回の講義日まで，「追試」代替としての提出を認めます。

【学生の意見等からの気づき】
任意のリアクションペーパー記述を合わせ，十人十色，千差万別の反応があります。好き嫌い（？）が分かれるのかもしれません。
興味・関心を抱き，集中して参加した学生の多くは，リアクションペーパーを活用し，“自分が・自分で考えることのトレーニング” をしているようです。
（日常的な取り組みの姿勢・態度と課題とが直結しているとは限りませんが）そのような例では，正解がない and/or 不明な「心」に関し，自ら問題を立て，批判的に検討・検証して論じる，という試験課題をも活用し，独自の格別な出来を見せていました。
「授業改善アンケート」（匿名）で特徴的に表現されていた自由記述を「気づき」とします。
「自分の悩みなどをリアクションペーパーに自由に書くことで，考えや気持ちを整理するよい機会になった」
「日々の苛立ちやモヤモヤと結びつくことが多く，おもしろかった」
「セクシャルマイノリティのこと，メンヘラのこと，さまざまな事件のこと，など深く感じた」

【その他の重要事項】
（1） 履修希望が多いときは，自動・無作為の「抽選」で，登録の可否が決まります。「選定」された場合，「選定」から外れた方の思いも受けて参加くださるよう望みます。
（2） 心理学 LA（春学期）と心理学 LB（秋学期）は連動します。続けての履修を期待します。
（3） 年度や受講生によって講義のスタイルを（講義時の勝手気ままな言動などへの対応も同様に）変えます。“裏シラバス” や “クチコミ” を当てにしないでください。
（4）「臨床心理士」として，さまざまな方々と接してきたことの反映が多いかもしれません。
（5） オフィスアワー（Q&A タイム？　なんでもお喋りタイム？）は原則として水曜・木曜の各 6 時限に設ける見込みです。同予約その他のリクエストは，口頭またはリアクションペーパーで伝えてください。もしくは，kikoh.kaihu.65@hosei.ac.jp へ。

【Outline and objectives】
We survey advanced applied psychology on the basis of academic psychology such as behavioral psychology, cognitive psychology, developmental psychology, and personality psychology.
We study clinical social psychology.

PSY200LA

心理学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

海部　紀行

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 5/Thu.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「心理学Ⅰ/Ⅱ」など，アカデミックな心理学〔行動心理学，認知心理学，発達心理学，パーソナリティ心理学 etc.〕の基礎・基盤（ベーシック）履修を前提とし，より発展・応用的な心理学〔社会心理学+臨床心理学 ⇒ 臨床社会心理学〕を学びます。
陰キャ・陽キャって何？　浮いたら終わり？　地雷だらけ？「普通」って何？「らしさ」って何？「大人」って何？　時折そんなふうに感じてしまうことがあるとしたら，それはなぜなのか…，どうしたらよいのだろうか…，といったことを思い考えます。

【到達目標】
行動や出来事の原因の探り方，そのとき起きる錯誤，自己注目と抑うつなどを考えることが目標です。
知識を身につけるとともに，潜在的な可能性を生かす技能を鍛え，一面的な決めつけや思い込みにとらわれず，いつも新鮮で柔軟な態度をとれる選択肢・キャパシティを増やします。
自ら問題（テーマ）を設定し，批判的な検討・検証のうえで，的確な意見を論じることができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
テキストに沿って講義を進めますが，リアクションペーパーへのリプライ・フィードバックにも時間を費やします。
この科目は「抽選対象」です。履修希望の場合，抽選ガイドを参照したうえで，抽選の申し込みが必要です。「当選」した学生のみ，履修できます。
抽選エントリー日時： 4 月 15 日（水）午前 10 ： 00〜4 月 20 日（月）午前 9 ： 00
詳細は，以下の「2020 年度 ILAC 科目/市ヶ谷基礎科目大人数授業　抽選ガイド」
(https://hosei-rinji.com/ilac/rishuguide2020/) を確認してください。
【補足・改定】
当面，講義が不可能なので，各自が指定テキストを読み進めていくことを踏まえた「進め方と方法」になる見込みです。
4 月 23 日（木）を「学習支援システム」での開始日とし，改めて告知します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
	実質「休講」	同左
	実質「休講」	同左
1	ガイダンス	「心」とは何か？　「心」はどこにある？　／基礎から応用へ
2	社会心理学とは？　／臨床心理学とは？　／臨床社会心理学とは？	臨床社会心理学〔テキスト序章〕
3	帰属のバイアス	対応推論・因果スキーマ〔テキスト第 1 章①]
4	「なぜ？」を読み解く	原因推測の誤りと偏り〔テキスト第 1 章②]
5	なぜ憂うつになる？	誤帰属や帰属スタイルの傾向〔テキスト第 2 章①〕
6	帰属療法／原因想起	成長期・対人関係／多様性と選択合理性〔テキスト第 2 章②〕
7	勉強ができない…／原因の考え方	期待-価値モデルと統制の位置／感情の帰属モデル〔テキスト第 3 章①〕
8	学習性無力感／知能は変わる？	努力しても成功しない？　試験前は遊ぼう？〔テキスト第 3 章②〕
9	見る自己と見られる自己	自己意識と自己注目〔テキスト第 4 章①〕
10	自己を意識すると…／自己注目の研究	客体的自覚理論と制御理論／「適切さの基準」〔テキスト第 4 章②〕
11	落ち込みと自己注目	気分一致効果／自己確証／自己没入〔テキスト第 5 章①〕
12	抑うつの予防	注意の向け方／気晴らし〔テキスト第 5 章②〕

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
「準備学習・復習時間は，各 2 時間を標準とします。」〔文部科学省基準のデフォルト〕
幾らかでもテキストに目を通す「準備学習」によって，理解を促します。講義後も，「復習」的に整理します。
ともあれ，“何を覚えるか” ではなく，自分が・自分で考えることのトレーニングを重視します。

【テキスト（教科書）】
『はじめての臨床社会心理学：自己と対人関係から読み解く臨床心理学』坂本真士・佐藤健二（編）　有斐閣
http://www.yuhikaku.co.jp/books/detail/4641076812
必ず用意してください。初回からテキスト講読を進めます。
【補足・改定】
大学生協書籍部で通信販売を実施します。以下を参照のこと。
https://www.univcoop.jp/hosei/order/order_82.html

【参考書】
『よくわかる臨床心理学：改訂新版』下山晴彦編　ミネルヴァ書房
http://www.minervashobo.co.jp/book/b49970.html

【成績評価の方法と基準】
試験点（100 %）：試験（レポート形式の小論文）は，テキスト（教科書）内容の理解を前提とし，自ら設定したテーマについて，学術論文からの適切な引用など的確な根拠を示したうえで，自身の意見・主張を論じることを課題とします。
テーマは適切か，論理に飛躍や矛盾がないか，批判的・主体的な意見を述べているか，といった観点で評価します。
レポートカバーおよび試験課題など（添付ファイル｜ 2019 年度秋学期の例：参照）を配付以降，締切日までの提出を求めます。
試験課題提出締切日（電子機器・情報機器を含むすべて持ち込み・参照可）にも記述できます。
レポートカバーなど配付後の講義日〜締切日に提出できない場合，最終回の講義日まで，「追試」代替としての提出を認めます。
【補足・改定】
上記の考え方を踏まえながらも，このとおりの「方法と基準」が困難なため，日常普段の取り組みを基本とする見込みです。
「学習支援システム」での開始日である 4 月 23 日（木）に改めて告知します。

【学生の意見等からの気づき】
任意のリアクションペーパー記述を合わせ，十人十色，千差万別の反応があります。好き嫌い（？）が分かれるのかもしれません。
興味・関心を抱き，集中して参加した学生の多くは，リアクションペーパーを活用し，“自分が・自分で考えることのトレーニング” をしているようです。
（日常的な取り組みの姿勢・態度と課題とが直結しているとは限りませんが）そのような例では，正解がない and/or 不明な「心」に関し，自ら問題を立て，批判的に検討・検証して論じる，という試験課題をも活用し，独自の格別な出来を見せていました。
「授業改善アンケート」（匿名）で特徴的に表現されていた自由記述を「気づき」とします。
「自分の悩みなどをリアクションペーパーに自由に書くことで，考えや気持ちを整理するよい機会になった」

「日々の苛立ちやモヤモヤと結びつくことが多く，おもしろかった」「セクシャルマイノリティのこと，メンヘラのこと，さまざまな事件のこと，など深く感じた」

【その他の重要事項】
(1) 履修希望が多いときは，自動・無作為の「抽選」で，登録の可否が決まります。「選定」された場合，「選定」から外れた方の思いも受けて参加くださるよう望みます。
(2) 心理学 LA（春学期）と心理学 LB（秋学期）は連動します。続けての履修を期待します。
(3) 年度や受講生によって講義のスタイルを（講義時の勝手気ままな言動などへの対応も同様に）変えます。“裏シラバス” や “クチコミ” を当てにしないでください。
(4)「臨床心理士」として，さまざまな方々と接してきたことの反映が多いかもしれません。
(5) オフィスアワー（Q&A タイム？ なんでもお喋りタイム？）は原則として水曜・木曜の各 6 時限に設ける見込みです。同予約その他のリクエストは，口頭またはリアクションペーパーで伝えてください。もしくは，kikoh.kaihu.65@hosei.ac.jp へ。

【Outline and objectives】
We survey advanced applied psychology on the basis of academic psychology such as behavioral psychology, cognitive psychology, developmental psychology, and personality psychology.
We study clinical social psychology.

PSY200LA

心理学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

海部　紀行

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 5/Thu.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「心理学Ⅰ/Ⅱ」など，アカデミックな心理学〔行動心理学，認知心理学，発達心理学，パーソナリティ心理学 etc.〕の基礎・基盤（ベーシック）履修を前提とし，より発展・応用的な心理学〔社会心理学+臨床心理学 ⇒ 臨床社会心理学〕を学びます。
陰キャ・陽キャって何？ 浮いたら終わり？ 地雷だらけ？「普通」って何？「らしさ」って何？「大人」って何？ 時折そんなふうに感じてしまうことがあるとしたら，それはなぜなのか…，どうしたらよいのだろうか…，といったことを思い考えます。

【到達目標】
他者と自己とが織りなす対人関係，そこから生じる葛藤やストレスへの対処などを考えることが目標です。
知識を身につけるとともに，潜在的な可能性を生かす技能を鍛え，一面的な決めつけや思い込みにとらわれず，いつも新鮮で柔軟な態度をとれる選択肢・キャパシティを増やします。
自ら問題（テーマ）を設定し，批判的な検討・検証のうえで，的確な意見を論じることができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
テキストに沿って講義を進めますが，リアクションペーパーへのリプライ・フィードバックにも時間を費やします。
この科目は「抽選対象」です。履修希望の場合，抽選ガイドを参照したうえで，抽選の申し込みが必要です。抽選の結果当選した学生のみ、履修をすることができます。
抽選エントリー日時： 4 月 15 日（水）午前 10 ： 00〜4 月 20 日（月）午前 9 ： 00
詳細は、以下に掲載の「2020 年度 ILAC 科目/市ヶ谷基礎科目大人数授業　抽選ガイド」
(https://hosei-rinji.com/ilac/rishuguide2020/) を確認してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	春学期の振り返りと秋学期の特徴
2	「自分」が脅かされる…	私への関心と恐怖感〔テキスト第 6 章①〕
3	妄想・自我障害の原因／どう克服するか	帰属のパラドクス／認知療法・自閉療法〔テキスト第 6 章②〕
4	本当の自分？	自分のことを打ち明ける：自己開示〔テキスト第 7 章①〕
5	仮面の自分？	自分をよく見せる：自己呈示〔テキスト第 7 章②〕
6	自己開示と健康	メンタル＆フィジカル〔テキスト第 8 章①〕
7	トラウマの開示は…	認知的再評価あるいは否定的影響〔テキスト第 8 章②〕

8	不安と対人恐怖	社会不安障害？〔テキスト第 9 章①〕
9	よく見せたいが自信がない…／認知モデル	自己呈示の欲求と効力感／認知行動療法〔テキスト第 9 章②〕
10	援助行動とソーシャルサポート	助けること・助けられること〔テキスト第 10 章〕
11	攻撃行動	何が「攻撃」？　その目標・機能は？〔テキスト第 11 章①〕
12	怒り	怒りとは？　なぜ「攻撃」する？〔テキスト第 11 章②〕
13	試験課題提出締切日（当日記述も可）	試験課題：レポート形式の小論文
14	なぜ援助を求めない？	症状認知／情報不足と偏見／コミュニティ〔テキスト終章〕

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
「準備学習・復習時間は，各 2 時間を標準とします。」〔文部科学省基準のデフォルト〕
幾らかでもテキストに目を通す「準備学習」によって，理解を促します。講義後も，「復習」的に整理します。
ともあれ，“何を覚えるか” ではなく，自分が・自分で考えることのトレーニングを重視します。

【テキスト（教科書）】
『はじめての臨床社会心理学：自己と対人関係から読み解く臨床心理学』坂本真士・佐藤健二（編）　有斐閣
http://www.yuhikaku.co.jp/books/detail/4641076812
必ず用意してください。初回からテキスト講読を進めます。

【参考書】
『よくわかる臨床心理学：改訂新版』下山晴彦編　ミネルヴァ書房
http://www.minervashobo.co.jp/book/b49970.html

【成績評価の方法と基準】
試験点（100 %）：試験（レポート形式の小論文）は，テキスト（教科書）内容の理解を前提とし，自ら設定したテーマについて，学術論文からの適切な引用など的確な根拠を示したうえで，自身の意見・主張を論じることを課題とします。
テーマは適切か，論理に飛躍や矛盾がないか，批判的・主体的な意見を述べているか，といった観点で評価します。
レポートカバーおよび試験課題など（添付ファイル｜ 2019 年度秋学期の例：参照）を配付以降，締切日までの提出を求めます。
試験課題提出締切日（電子機器・情報機器を含むすべて持ち込み・参照可）にも記述できます。
レポートカバーなど配付後の講義日～締切日に提出できない場合，最終回の講義日まで，「追試」代替としての提出を認めます。

【学生の意見等からの気づき】
任意のリアクションペーパー記述を合わせ，十人十色，千差万別の反応があります。好き嫌い（？）が分かれるのかもしれません。
興味・関心を抱き，集中して参加した学生の多くは，リアクションペーパーを活用し，“自分が・自分で考えることのトレーニング” をしているようです。
（日常的な取り組みの姿勢・態度と課題とが直結しているとは限りませんが）そのような例では，正解がない and/or 不明な「心」に関し，自ら問題を立て，批判的に検討・検証して論じる，という試験課題をも活用し，独自の格別な出来を見せていました。
「授業改善アンケート」（匿名）で特徴的に表現されていた自由記述を「気づき」とします。
「自分の悩みなどをリアクションペーパーに自由に書くことで，考えや気持ちを整理するよい機会になった」
「日々の苛立ちやモヤモヤと結びつくことが多く，おもしろかった」
「セクシャルマイノリティのこと，メンヘラのこと，さまざまな事件のこと，など深く感じた」

【その他の重要事項】
（1） 履修希望が多いときは，自動・無作為の「抽選」で，登録の可否が決まります。「選定」された場合，「選定」から外れた方の思いも受けて参加くださるよう望みます。
（2） 心理学 LA（春学期）と心理学 LB（秋学期）は連動します。続けての履修を期待します。
（3） 年度や受講生によって講義のスタイルを（講義時の勝手気ままな言動などへの対応も同様に）変えます。“裏シラバス” や “クチコミ” を当てにしないでください。
（4）「臨床心理士」として，さまざまな方々と接してきたことの反映が多いかもしれません。
（5） オフィスアワー（Q&A タイム？　なんでもお喋りタイム？）は原則として水曜・木曜の各 6 時限に設ける見込みです。同予約その他のリクエストは，口頭またはリアクションペーパーで伝えてください。もしくは，kikoh.kaihu.65@hosei.ac.jp へ。

【Outline and objectives】
We survey advanced applied psychology on the basis of academic psychology such as behavioral psychology, cognitive psychology, developmental psychology, and personality psychology.
We study clinical social psychology.

GEO200LA

地理学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

長沢　利明

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
地理学の基本的な研究方法、考え方、方法論などについて学ぶ。さまざまなテーマを取り上げてそれを考えていく。特に環境問題に重点を置いて、授業を進めていく。

【到達目標】
さまざまなテーマと話題を取り上げながら、地理学の方法論や考え方を学び、身につけることを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
本授業の開始日は５月１２日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。
本授業では、毎回プリントを配布して講義をおこなう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	プロローグ	授業内容の説明、成績評価の方法などを解説する。
2	文化・生態・環境	地理学と生態・環境問題との関係について解説する。
3	都市の生態環境①	都市の生態環境の特色について解説する。
4	都市の生態環境②	都市の生態環境の特色について解説する。
5	都市の生態環境③	都市の生態環境の特色について解説する。
6	日本の野生動物相①	日本の野生動物相の特色について解説する。
7	日本の野生動物相②	日本の野生動物相の特色について解説する。
8	日本の植生①	日本の植生の特色について解説する。
9	日本の植生②	日本の植生の特色について解説する。
10	生業条件と生態環境	生業経済と生態環境との関係について解説する。
11	森林問題①	都市の森林問題、里山林の問題などについて解説する。
12	森林問題②	都市の森林問題について解説する。
13	調査とレポート	フィールドワークの方法について解説する。
14	全体的な補足	全体的な補足をおこなう。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
準備学習および復習を自宅でおこなうことがのぞましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特にありません。授業内で必要に応じてプリントを配布します。

【参考書】
随時、授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】
授業内試験 (100%) で評価します。

【学生の意見等からの気づき】
アンケート調査結果などを参照し、授業内容の改善につとめる。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【Outline and objectives】
You can study on this program about general theory of cultural geography.

GEO200LA

地理学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

長沢　利明

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
地理学の基本的な考え方、研究方法などを学ぶために、さまざまな話題を取り上げ、解説をおこなう。特に環境問題に重点を置いて講義をおこなう。

【到達目標】
地理学的な物の見方とは、どういうことをいっているのか、あるいはその視点・立脚点とはどのようなものか、などなどを身につけることが到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
毎回異なったテーマを取り上げる。プリントを配布し、それをテキストとして用いながら授業を進めていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	プロローグ	授業の進め方や注意事項などについて解説する。
2	文化・生態・環境	授業を構成する文化・生態・環境の三つのキーワードについて解説する。
3	焼畑農業	焼畑農業の持つ諸課題について解説する。
4	農業の起源と赤米①	日本における農業の起源と赤米の問題について解説する。
5	農業の起源と赤米②	日本における農業の起源と赤米の問題について解説する。
6	海辺の環境①	海辺の環境の特色について解説する。
7	海辺の環境②	海辺の環境の特色について解説する。
8	海辺の環境③	海辺の環境の特色について解説する。
9	海辺の環境④	海辺の環境の特色について解説する。
10	海辺の環境⑤	海辺の環境と漁業問題について解説する。
11	森林問題	森林問題、里山林の環境的特性などについて解説する。
12	調査とレポート	フィールドワークの方法などについて解説する。
13	まとめ	全体的なまとめをおこない、総括する。
14	補足	補足的なテーマを適宜選んで取り上げる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
自宅での予習・復習をおこなうことがのぞましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特に指定はありません。必要に応じて、授業内でプリントを配布します。

【参考書】
授業内で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
授業内試験 (100%) で評価します。

【学生の意見等からの気づき】
地理学の基本から学びますので、高校時代に地理を選択していなかった学生も遠慮なく履修してください。

【Outline and objectives】
You can study on this program about general theory of cultural geography.

GEO200LA

地理学ＬＣ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

片岡　義晴

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
現代世界の地域・社会問題を学んでいきます。

【到達目標】
食料、人口、貧困問題などを手がかりにして、現代世界の地域・社会問題を学んでいきます。それら問題が相互に関連し、問題を如何に複雑化させているのか、その構造を学んでいきます。それらの結果、現代社会の地域・社会問題のとらえ方を理解できるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
[授業の進め方]
「発展」から取り残されている地域・国を事例にして、現代世界の地域・社会問題を考えていきます。主としてアジア諸地域を例に挙げて、「発展」の仕組みを、その「裏側」から考えていくつもりです。取り扱うテーマは世界の食料、人口、貧困にかかわる諸問題です。それらの出来事は個別に存在するわけではなく、相互に関連し、問題を複雑化させています。したがって結論や解決策を単純に見いだすことはできません。現実の「構造」を知ることができるようにしていきたいと思います。
[授業の方法]
学習支援システムと講義形式を併用して授業を進めていきます。2020 年度春学期授業は 4 月 23 日（木）から開始します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	世界の食糧問題 (1)	先進国と途上国の食料自給率
第 2 回	世界の食糧問題 (2)	食糧輸出国と輸入国
第 3 回	世界の食糧問題 (3)	農業生産性の向上－「緑の革命」－
第 4 回	世界の人口 (1) －人口の趨勢－	人口爆発とその後－ 70 億人突破－
第 5 回	世界の人口 (2) －二つの人口論－	マルサスとマルクス
第 6 回	世界の人口 (3) －死亡率・出生率変化の検討－	死亡率の急減と出生率低下の緩慢さ
第 7 回	世界の人口 (4)	人口問題と人権
第 8 回	貧困と援助・協力 (1)	世界の貧困－先進国、途上国それぞれに貧困－
第 9 回	貧困と援助・協力 (2)	衛生問題－乳児死亡率の地域差と女性の権利－
第 10 回	貧困と援助協力 (3)	教育の不平等－教育と識字率－
第 11 回	貧困と援助協力 (4)	難民問題の拡大と日本
第 12 回	貧困と援助協力 (5)	ODA と日本、世界の児童労働
第 13 回	まとめ	まとめ
第 14 回	まとめ	まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
「食料」「人口」「貧困」に関わる報道に目を向けて下さい。それら問題は「なぜ」生じているか、さらにそれら問題が私たちと如何に関連しているのか、それを考えようとして下さい。時間をとって机に向かうことも重要ですが、それら問題を普段から意識することがより重要です。
なお、本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
テキストは使用しません。資料プリントを配布します。場合によっては PowerPoint を使用します。

【参考書】
西川 潤（2008）『データブック 食料』、同『データブック 人口』、同『データブック 貧困』いずれも岩波ブックレット。その他は授業時に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】
期末試験（80 %）とレポート（20 %）で成績評価（100 %）します。

【学生の意見等からの気づき】
プリントの多さに対する意見もありますが、必要ならば配布せざるを得ません。また使用データの古さも指摘されました。しかし途上国のデータは信頼性に欠ける場合もあり、新しいから正確というわけでもないのです。日本の労働に関する、特に近年の統計の杜撰さ、隠蔽・歪曲体質を思い出せば、それは容易に想像できるはずです。データは読みこなさなければなりません。

【学生が準備すべき機器他】
特にありません。

【その他の重要事項】
2020 年度春学期授業は 4 月 23 日（木）から開始します。

【Outline and objectives】
Rigional Problems in underdeveloped countries under the World Systems.

GEO200LA

地理学ＬＤ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

片岡　義晴

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
日本の地域問題・社会問題について学んでいきます。

【到達目標】
日本の地域性、地域格差、地域開発、公害問題を手がかりにして、日本の地域問題・社会問題を学んでいきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
（授業の進め方）
国籍の如何に関わらず、日本居住者は日本のことを「知っている」と思い込んでいます。しかし現代日本の地域・社会問題を「知っている」「理解している」人がどれくらい居るでしょうか。地域居住者の「権利」を侵害するような問題は、いつの時代も、どの地域でも発生していますし、発生するように「仕組まれ」ているといわなければなりません。具体例を挙げ、日本の「裏側」から日本の地域・社会問題に迫っていこうと思います。
（授業の方法）
講義形式で授業を進めます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	日本の地域性 (1)	「裏日本」の形成
第 2 回	日本の地域性 (2)	「裏日本」の役割
第 3 回	明治期の産業の始動と地域	「途上国」日本の産業化と地域
第 4 回	地域格差とその指標 (1)	格差の指標
第 5 回	地域格差とその指標 (2)	経済格差と指標
第 6 回	SDGs と日本の地域格差	様々な地域格差－女性、高齢者、若者、外国人－
第 7 回	日本の地域開発 (1)	全国総合開発計画（全総、新全総）
第 8 回	日本の地域開発 (2)	全国総合開発計画（三全総、四全総、グランドデザイン）
第 9 回	地域経済の実態	経済の地域間相互依存
第 10 回	公害と地域 (1)	イタイイタイ病と神岡鉱山
第 11 回	公害と地域 (2)	イタイイタイ病訴訟
第 12 回	公害と地域 (3)	水俣病の「発見」とチッソ
第 13 回	公害と地域 (4)	水俣病訴訟
第 14 回	まとめ	「公害問題」と「環境問題」

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
日本の「地域問題」「社会問題」に関わる報道に目を向けて下さい。それら問題は「なぜ」生じているか、それら問題が私たちと如何に関連しているのか、それを考えて下さい。それら問題は「身近」に存在しています。それら問題について普段から関心を持って下さい。
なお、本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
テキストは使用しません。授業時に資料プリントを配布します。

【参考書】
政野淳子（2013）『四大公害病』中公新書
その他は授業時に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】
期末試験（論述形式の筆記試験）で成績評価（期末試験 100 %）します。

【学生の意見等からの気づき】
プリントの多さに対する意見もありますが、必要ならば配布せざるを得ません。また使用データの古さも指摘されました。しかし途上国のデータは信頼性に欠ける場合もあり、新しいから正確というわけでもないのです。「先進国」と思われている日本において、日本の労働に関する、特に近年の統計の杜撰さ、隠蔽・歪曲体質を思い出せば、それは容易に想像できるはずです。データを作る、操るのは、あくまでも権力の側なのです。データは読みこなさなければなりません。

【Outline and objectives】
Regional Problems and Pollution Dieases in Japan.

GEO200LA

地理学ＬＣ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

高木　正

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
地理学そのものを学ぶというよりも、地理学を通じて現代世界の理解を深めるといったスタイルで勉強していきます。高校時代に地理科目を履修した経験がなくても構いません。ここでは世界情勢を大きく把握することを目的とします。

【到達目標】
現在、学生の皆さんが持っている歴史観・地域観・世界観をより確かなものにしていきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式で行います。配布したプリントで進めていきます。
学習支援システムで授業を開始するのは、５月１１日からとします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Ⅰ	はじめに－地理学の学問的性格	高校時代とは異なる地理学本来の特徴を押さえる。
Ⅱ－１	単線的発展史観	ロストウの単線的発展史観を紹介する。
Ⅱ－２	両極的発展史観	A・G・フランクの両極的発展史観を紹介します。
Ⅲ－３	世界システム	現代世界を世界システムとして捉える視点を紹介します。
Ⅲ－１	ヨーロッパ世界経済の成立	大航海時代に始まるヨーロッパ世界経済を捉えなおします。
Ⅲ－２	産業資本主義段階と植民地支配	ヨーロッパの工業化、植民地支配、パックス・ブリタニカ
Ⅲ－３	社会主義諸国の形成	ロシア革命から 20 世紀における社会主義諸国の形成をみます。
Ⅲ－４	第２次世界大戦後の先進国	パックス・アメリカーナの形成を解説します。
Ⅲ－５	ヨーロッパの統合	EU の成立と拡大、通貨統合をみます。
Ⅲ－６	植民地の独立と発展戦略	発展途上国の成立過程をみます。
Ⅲ－７	発展途上国の多様化	いわゆる南南問題を理解します。
Ⅲ－８	冷戦の終結	社会主義諸国の変容と冷戦の終結をみます。
Ⅲ－９	地域紛争	現在の地域紛争を概観します。
Ⅳ	まとめ	復習と試験に向けての諸注意。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
準備は特に必要としませんが、前の授業に配布したプリントは持参してください。配布するプリントは予備がないので後で渡すことはできません。なお少なくとも 1 時間は復習時間に充ててください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特に使いません。

【参考書】
室井義雄『南北・南南問題』世界史リブレット 56（山川出版社）

【成績評価の方法と基準】
試験で評価します。試験の方法は最初の授業で説明します。成績の要素配分は試験 80 %、平常点 20 %とします。

【学生の意見等からの気づき】
滑舌をよくします。

【Outline and objectives】
Main subjects ： Regional or geographical issues in the modern world.

GEO200LA

地理学ＬＤ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

高木　正

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
地理学 LD では、できるだけ多くの地域を取り上げて、その社会経済的な実態を地理的な視点からみていきます。

【到達目標】
アフリカと西アジアの現状を理解することで世界の多様性を認識します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式で行います。教材は配布するプリントを使います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Ⅰ－1	アフリカの概観と辺境化	アフリカの概要理解と歴史的背景を理解します。
Ⅰ－2	モノカルチャー経済の実態－①	コートジボアールのカカオ豆を扱います。
Ⅰ－3	モノカルチャー経済の実態－②	マリの綿花を扱います。
Ⅰ－4	南アフリカ共和国の現状－①	アパルトヘイト政策を振り返ります。
Ⅰ－5	南アフリカ共和国の現状－②	アパルトヘイト以上の経緯をみます。
Ⅱ－1	南アフリカ共和国の現状－③	南アの現状をみます。
Ⅱ－2	パレスチナ問題－①	歴史的経緯をみます。
Ⅱ－3	パレスチナ問題－②	中東戦争、レバノン戦争をみます。
Ⅱ－4	パレスチナ問題－③	オスロ合意から現在までの流れをみます。
Ⅱ－5	西アジアの石油資源	石油資源の開発みます。
Ⅱ－6	資源ナショナリズム	産油国とメジャーの対立、OPEC と石油ショックを理解します。
Ⅱ－7	石油開発の主導権の移りかわり	OPEC の弱体化、湾岸戦争、価格決定権の変化などをみます。
Ⅱ－8	近年の西アジア・北アフリカ情勢	「アラブの春」以降を概観します。
Ⅲ	まとめ	授業内容の復習。試験に向けての諸注意。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
準備は特に必要としませんが、前の授業に配布したプリントは持参してください。配布するプリントは予備がないので、後で渡すことはできません。なお少なくとも 1 時間は復習時間に充ててください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特に使いません。

【参考書】
松本仁一『アフリカ・レポート』岩波新書 1146、ダニエル・ヤーギン『石油の世紀』(日本放送出版会)

【成績評価の方法と基準】
試験を行います。試験方法は最初の授業で説明します。成績の要素配分は、試験 80 %、平常点 20 %とします。

【学生の意見等からの気づき】
滑舌をよくします。

【Outline and objectives】
Main subjects ： Regional or geographical issues in the modern world.

GEO200LA

地理学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

長沢　利明

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
さまざまなテーマを毎回ひとつずつ取り上げ、解説していく。全体を通して地理学的な物の見方や考え方を学ぶ。

【到達目標】
授業を通し、地理学的な物の見方と考え方をつかんでいくことがのぞましい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
本授業の開始日は５月１１日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。
毎回、プリントを配布して授業を進めていくことにする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	プロローグ	授業の進め方、おおまかな計画について解説する。
2	文化・生態・環境	授業の基本的なテーマである三つのキーワードについて解説する。
3	都市の生態環境（1）	都市の生態環境の特色をとらえるため、タンポポの生態について注目してみる。
4	都市の生態環境（2）	都市の生態環境の特色をとらえるため、河川環境について考えてみる。
5	都市の生態環境（3）	都市の生態環境の特色をとらえるため、河川環境について考えてみる。
6	日本の野生動物相（1）	日本の野生動物の特色について解説する。
7	日本の野生動物（2）	日本の野生動物、とくにオオカミについて注目してみる。
8	日本の植生（1）	日本の植生のうち、特に落葉広葉樹林帯について解説する。
9	日本の植生（2）	日本の植生のうち、特に照葉樹林帯について解説する。
10	補足（1）	全体的な補足をおこなう。
11	補足（2）	全体 t 歴な補足をおこなう。
12	調査とレポート	地理学的な調査方法と成果のまとめ方について解説する。
13	まとめ（1）	全体のまとめと総括をおこなう。
14	まとめ（2）	全体のまとめと総括をおこなう。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
自宅での予習と復習をおこなうことがのぞましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特になし。

【参考書】
授業時間内に適宜、紹介する。

【成績評価の方法と基準】
試験の成績 (100%) によって評価をおこなう。

【学生の意見等からの気づき】
学生からの要望を極力取り入れて授業内容の改善につとめる。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
特になし。

【Outline and objectives】
You can study on this program about general theory of cultural geography.

GEO200LA

地理学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

長沢　利明

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
授業では毎回ひとつずつ異なったテーマを取り上げて解説する。

【到達目標】
全体を通して地理学的な物の見方と考え方を学んでいく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業では、毎回、プリントを配布して解説をおこなう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	プロローグ	授業の進め方や注意事項などを解説する。
2	文化・生態・環境	授業の基本テーマであるこの三つのキーワードについて解説する。
3	日本の焼畑農業	日本の農業問題、特に焼畑農業について解説する。
4	稲作農業と赤米（1）	日本の稲作農業、特に赤米をめぐる諸問題を解説する。
5	稲作農業と赤米（2）	日本の稲作農業、特に赤米をめぐる諸問題解説する。
6	生業条件と資源	生業条件と資源環境の問題について注目する。
7	海岸の環境（1）	海をめぐる環境問題について解説する。
8	海岸の環境（2）	海をめぐる環境問題について解説する。
9	海岸の環境（3）	海をめぐる環境問題について解説する。
10	海岸の環境（4）	海をめぐる環境問題について解説する。
11	里山の環境	里山環境と人間生活の歴史について解説する。
12	補足	全体の補足をおこなう。
13	調査とレポート	地理学的な調査方法とそのまとめ方について解説する。
14	まとめ・試験	全体的なまとめと試験をおこなう。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
自宅での予習と復習をおこなうことがのぞましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特になし。

【参考書】
授業時間内に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
試験 (50%) およびレポート (50%) によって成績評価をおこなう。

【学生の意見等からの気づき】
学生からの要望は極力取り入れ、授業内容の改善につとめる。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
特になし。

【Outline and objectives】
You can study on this program about general theory of cultural geography.

GEO200LA

地理学ＬＣ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**身近な社会を地理学で考える**

前川　明彦

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。本科目の開始日は４月２２日とし、具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示します。この科目も含めてに関連する地理学 LC,LD, Ⅰ、Ⅱではシラバスの添付ファイルを最初に確認してください。今後長引いたりした場合には、双方向などの授業になる可能性もあり、常に支援システム、お知らせメール、教材・課題などには注意してください。

この授業は、基本的に LC で問題発見や問題意識の醸成から、主にグローバリゼーションにおける世界や日本の課題を主に人文地理学でとらえてみる。そして、LD で解決方法の一端を共に考えるという方向性です。世界や日本の課題を少子高齢化や格差、情報化などを中心に身近な課題から一緒に考えます。これは、学生自身が課題や問題意識を考え、多様なものの考え方ができるることを目的としています。

【到達目標】

グローバリゼーションの中で、人や地域社会が格差・分断、また不寛容になりつつあります。今回の PANDEMIC を見ると日本ばかりか世界も分断や差別などが広がっており、自分の目でしっかりと見ていく必要があると思います。さｔ、こうしたことを学生が、身近なことから論理的に課題をみつけ、多様性を意識しながら、その背景や要因などを自ら考え、解決の方向性に応用できることを目標にしています。このため、身近な課題や地域的な問題などから地理学的に考察することを目指していきたい。そして、1 つの答えだけでなく柔軟に多様性を意識して考えることを最初の到達目標の 1 つにしたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

本講義は基本的に講義形式で行うが、課題解決型の方向性の一歩を目指していきたい。とはいえ、今後のパンデミックの影響から、オンデマンド授業となり、これまで行ってきた映像、動画などの視覚的共通認識が同時にできるとは限らないので、可能な段階などで説明します。また、様々なものを前もって支援システムなどで指示します（例、ガイダンス的なものはすでに出してあります）。本格的な再開時やシステムの立ち上げなどから AL、アクティブラーニングに近いことができるようになった場合には従来行ってきた下記のようにできるかぎり始めたい。

グローバリゼーションのもとで、日本や世界の格差や不平等、AI も含めた変化の中で、複雑に絡み合った地域の諸問題を地理学的視点から考えていく。知識の共有のために、視覚的映像などを多用するが、多角的視点に立つために、レポートなどでのフィールドワーク、さらには GW、GD などのＡＬなども行う。この授業が自分のプラスになるかは自分次第かもしれません。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	地域とは、グローバルとは 何かを身近なことから考える
2	グローバル化と地域社会の格差・分断	AI が考える将来の日本 地域社会の分岐点
3	日本の課題 1	周回遅れの日本　AI　ビックデータ　リスクマネージメント　災害比較
4	日本の課題 2	格差・分断される地域社会を日本から考える・・ブラック企業⁇ブラックバイト、就活それでも労働力不足
5	日本の課題 3	先進国か　日本の若者や高齢者の格差を就職や貧困の連鎖から再考する　ホームレス大学生
6	日本の課題 4	女性の貧困と格差社会を再考する　子ども食堂ほか
7	グローバリゼーションと地域社会 1	市場という考え方と地域 大量生産から多品種少量生産、サプライチェーン
8	グローバリゼーションと地域社会	グローバルと若者の就職・雇用と今後の変化
9	グローバリゼーションの課題 1	AI/第 4 次産業革命と格差社会‥立地や仕事が変わる
10	グローバリゼーションの課題 2	ＡＩ／ＩｏＴ／ Big　Data 社会とこれまで
11	グローバリゼーションの課題 3	人口ボーナスと労働力不足をどう考えるのか
12	グローバリゼーションの課題 4	ローカライゼーションと地域
13	グローバリゼーションの課題 5	多様化社会の必要性と孤独感、外国人との共生で考える
14	グローバリゼーションと日本の課題	地域をどう考えるか

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

普段から何事にも興味・関心を持ち、最初の一歩を踏み出してください。参考資料、支援システムなどを積極的に活用してもらいたい。フィールドワーク的なレポートを予定しているので活動的に日本や海外のことを新聞、TV, ネットなどで調べ知識化し、自ら問題を考え応用できるようにしたい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

基本的になし

【参考書】

授業時や支援システム等に指示

【成績評価の方法と基準】

春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日（4 月 22 日）に学習支援システムで提示しますが、原則的には、複数レポートによる評価の可能性があります。なお、従来は以下でした。

試験（授業内 60 %）　レポート（30 %）授業中のコメントシートあるいはリアクションペーパー（10 %）

なお、上記試験が今後変更し、複数レポートあるいは WEB 試験になる可能性もありますから、お知らせなど注意してください。

【学生の意見等からの気づき】

映像資料（写真や DVD, 映画など）は好評でしたので、いろいろと鑑賞する機会をもうけます。また、AL などの関係でグルーピングで授業を行うときもありますが、知り合いがいなくとも心配はまったくありません。むしろ、知り合いが増え、ネットワークが広がるという意見がありました。なんでも前向きに考えてみましょう。また、できるだけ理解しやすく、授業の知識を応用することを心がけて、受講生の成長に結び付けたい。

【学生が準備すべき機器他】
授業支援システム等や映像を多用するため、これらや事前、事後に関連性のある情報、資料等を各自調べるなど活用してもらいたい。ほかの科目もで予想されるが、WEB 授業等に係るものは用意されたほうが・・・

【その他の重要事項】
秋学期の地理学 LD と合わせて受講することを勧める。通年でなくとも構わないが、先に春学期の LC での問題意識や問題の発見を基礎や理論を理解し、秋学期の LD で知識の応用を目指し、課題解決型講義の方向をともに目指したい。また、フィールドワーク的なレポートや GD などから、なかなか一歩踏み出せないが踏み出したい人や柔軟な思考を持ちたい人が一歩先に進めるかもしれません。不安な人は、先輩など、これまでの受講した学生に聞くのも良いかもしれません。
なお、担当者の地理学ＬＣ，ＬＤと基礎編Ⅰ、Ⅱの内容とはやや異なる予定です。このため授業内容の詳細に関しては 4 月（9 月）に授業内で説明します。この講義が楽かどうかは学生次第です。

【Outline and objectives】
This lesson is basically a direction of considering challenges in globalization by LC as geography and considering part of its solution method mainly on LD. I think about the problems of the world and Japan together from familiar tasks centering on a declining birthrate, aging population, disparities, employment, etc. This is aimed at allowing students themselves to think about tasks and problem consciousness and to think about various things.

GEO200LA

地理学ＬＤ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**身近な社会を地理学で考える**

前川　明彦

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
秋学期の地理学 LD に関して、4 月のガイダンスが難しく、例年のフィールドワークの楽しみなども含めて、このガイダンスに付属するファイル、さらには支援システム内のお知らせ、添付ファイルなどを参考にしてください。なお、今後、各回のテーマも変更する可能性がありますので、注意してください。地理学Ⅰ・Ⅱも同様です。
この授業では、地域社会の課題解決の方向性を考えます。具体的には、グローバリゼーションの影響が多い地域社会を地域再生論やコミュニティデザイン、などの視点から地理学を考えます。支援システムの教材ファイルをまず見てください。解決策モデル等を紹介しながら、解決方法の糸口や方法論を地理学ロジックで学びます。そこから学生自身が多様性のある社会という方向性で解決方法を模索、検討できることを目的としています。

【到達目標】
秋学期には春学期の問題意識や地域的課題を解決方向へと踏み出したい。このため、街づくり、地域再生を主なテーマとし、学生が、地域社会に関連するコミュニティデザインやソーシャルビジネスなどから多様性のある様々な問題解決の方向性を示せることを到達目標としたい。そして、自らの考えをもち行動し、将来的には世界の地域社会を解決する一員になってほしい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
地域再生を軸とした解決方法のモデル的紹介も含めて、講義形式だけでなく多様な意見や価値観の認識、コミュニケーションスキル等のためにグループワークなどによる問題解決学習も試みたい。また、春学期同様に地理学的視点も含めたフィールドワーク的レポートなども考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	地域社会課題の再考 東京だけを・・・
2	日本の課題再考	先進国なの・同調性ばかり・リスクを考えなければ
3	日本の地域社会 1	ネットワーク社会なのに 彼氏・彼女はいらない　・つながる孤独と孤独社会
4	日本の地域社会 2	居場所・場の重要性　なぜポツンと一軒家
5	都市再生 1	AKIBA の魅力を考える
6	都市再生 2	関係人口と地域文化の情報発信から考える　常識を変える
7	都市再生 3	コミュニティデザインを考える RESAS　GIS
8	都市再生 4	コミュニティデザイン　郊外・地方・21 世紀型

9	地域再生 1	インバウンド・クールジャパン・聖地巡礼・アニメ発信
10	地域再生 2	失敗から学ぶ　サービス、ホスピタリティと観光戦略の失敗
11	地域再生 3	コミュニティと多様性
12	地域再生 4	ソーシャルビジネス・移住若者の意欲と解決から学ぶ
13	地域再生 5	共生社会を世界や地域で活躍している人々から考える
14	まとめに	地域への想いと現実・・震災から

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
ネットやニュースなどから多様な考え方を学んでください。問題をどう解決するかは、さまざまな方法があり、必ずしも 1 つの方法が正解ではありません。日本はどんどん世界から遅れ始めていることに気が付いていますか。将来の自分が想像できますか、自ら考え、行動する意欲を常に持ち、失敗を恐れずむしろ失敗から学び、前向きになる自分を想像してください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
基本的にはないが使用する場合は、授業時に指示

【参考書】
授業時に指示

【成績評価の方法と基準】
期末試験もしくは授業内試験（持ち込み可： 60 %）、レポート（30 %）授業中のコメントシート・平常点など（10 %）で評価する。詳細に関しては最初の授業時等で話します。
秋学期の状況次第で変更もあるかもしれません。、

【学生の意見等からの気づき】
映像資料（写真や DVD, 映画など）は好評でしたので、いろいろと鑑賞し、考える機会をもうけます。また、AL などの関係でグルーピングで授業を行うときもありますが、知り合いがいなくとも心配はまったくありません。むしろ、知り合いが増え、ネットワークが広がるという意見がありました。これまでの地理学は分析は得意だが解決方法は示さないといわれてきました。課題を社会をどう解決するかを新しい地理学という世界が見えるかもしれませんから、何でもポジティブに考えてみましょう

【学生が準備すべき機器他】
授業支援システム等をかなり利用するので仕様の仕方等に習熟してほしい。

【その他の重要事項】
春学期の地理学 LC と合わせて受講することを勧める。通年でなくとも構わないが、先に春学期の LC での問題意識や問題の発見を基礎や理論を理解し、秋学期の LD で知識の応用を目指し、課題解決型講義の方向をともに目指したい。また、なかなか一歩踏み出せないが踏み出したい人や柔軟な思考を持ちたい人はフィールドワークなどで先に進めるかもしれません。グルーピングで授業を行うときもありますが、一人で来ても不安にならずに仲間や知り合いが増えると前向きに考えられると思います。不安な人は先輩など、これまでの受講した学生に聞くのも良いかもしれません。
なお、担当者の地理学ＬＣ，ＬＤと基礎編Ⅰ、Ⅱの内容とは異なる予定です。このため授業内容の詳細に関しては 4 月（9 月）に授業内で説明します。楽かどうかは学生次第です

【Outline and objectives】
In this lesson, I will consider the direction of problem solving in the local community. Specifically, we consider geography from a viewpoint of regional revitalization theory, community design, etc. in a community where globalization has a lot of influence. Learn clues and methodology of solution method with geography logic while introducing solution models etc. related to foreigners, etc., and even symbiosis with people. From that point on, students themselves aim to be able to explore and consider solutions with the direction of society of diversity.

SOC200LA

社会学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**文化の社会学**

松下　優一

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火 1**/Tue.1
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、文化社会学、特に表象文化を対象とする社会学について扱う。文化を社会学的な記述対象に据えるためには、文化を把捉するための概念・視角（文化理論）の知識が不可欠となる。国内外の文化社会学や文化研究の古典的重要文献を紹介しつつ、文化を社会学するための言葉と視座の獲得を目指す。

【到達目標】
・個別の文化テクストや文化現象の具体的特徴について的確に記述し、考察することができる。
・文化社会学的な着眼点や問題設定や分析方法について、基本的な知識を得ることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
基本的にレジュメを用いた講義形式で進める。文化社会学の重要文献や具体的な文化テクスト・文化現象を読み解きつつ、文化社会学における視座と方法、分析事例についての理解を深める。受講生には各回のテーマに関連した作業課題に取り組んでもらうことがある。
［追記］春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それに伴う各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 5 月 11 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	「文化と社会意識」という社会学の領域について
第 2 回	文化と芸術の社会学小史（1）国外	R・ウィリアムズらのテキストをもとに概説する
第 3 回	文化と芸術の社会学小史（2）国内	井上俊らのテキストをもとに概説する
第 4 回	欲望と模倣	作田啓一『個人主義の運命』を中心に
第 5 回	文化記号論	R・バルト「イメージの修辞学」「神話作用」を中心に
第 6 回	文化テクストの分析（1）	新海誠『君の名は。』にみる二項対立と境界侵犯
第 7 回	文化テクストの分析（2）	岩井俊二『Love Letter』にみる記憶とノスタルジア
第 8 回	表象とイデオロギー	マルクス主義的アプローチの系譜
第 9 回	メディア文化	ベンヤミン「複製技術時代の芸術作品」を読む
第 10 回	文化と卓越化	ブルデュー『ディスタンクシオン』『芸術の規則』を読む
第 11 回	受容と流用	セルトー『日常的実践のポイエティーク』を読む
第 12 回	現代日本の文化社会学	『フラット・カルチャー』をテキストに
第 13 回	文化テクストの分析（3）	『シン・ゴジラ』にみる現代日本社会
第 14 回	まとめ	授業の振り返りと補足、および課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。授業で扱うテキストや作品に事前に目を通しておく。

【テキスト（教科書）】
特に指定しない。

【参考書】
・井上俊／長谷正人編『文化社会学入門』（ミネルヴァ書房、2010 年）
・遠藤知巳編『フラット・カルチャー―現代日本の社会学』（せりか書房、2010 年）

【成績評価の方法と基準】
授業内課題（40 %）と期末レポート（60 %）により評価する。
［追記］春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことに伴い、成績評価の方法と基準も変更することがある。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【Outline and objectives】
This course introduces students to the key concepts in sociology of culture and to the ways of thinking about culture in the contemporary world.

SOC200LA

社会学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**現代社会論**

松下　優一

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 1/Tue.1
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、社会学における現代社会論を取り上げ、現代社会に生起する諸々の現象・問題を歴史的・構造的に分析・記述・考察するための社会学的視野の獲得を目指します。

【到達目標】
・基本的な現代社会の理論について理解し、説明できる。
・現代社会において生起する個別具体的な社会現象を、そのコンテクストとともに記述・考察することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は、担当教員作成の配布資料を用いた講義形式で進める。但し、テーマによって提出課題（小レポート）を課したり、口頭発表やディスカッションをもうけたりすることがある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	近代化とグローバル化の現在
第 2 回	リスク社会論	〈リスク〉から考える現代社会の諸相
第 3 回	少子高齢化社会論	〈高齢化〉とそれに伴う諸現象から考える現代社会
第 4 回	消費社会論	〈消費〉から考える現代社会
第 5 回	格差社会論	〈格差〉から考える現代社会
第 6 回	監視社会論	監視テクノロジーから考える現代社会
第 7 回	心理主義化社会論	感情管理と自己啓発
第 8 回	情報社会論	ネット社会化は何をもたらしてきたか
第 9 回	コンプライアンス社会論	後期近代の諸相
第 10 回	再帰的近代化論	ここまでのまとめと補足
第 11 回	沖縄から考える現代日本社会（1）	基地問題について
第 12 回	沖縄から考える現代日本社会（2）	反基地闘争という社会運動について
第 13 回	あいちトリエンナーレ展示中止事件から考える現代日本社会	歴史認識問題について
第 14 回	まとめ	授業の振り返りと補足、課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。各回のテーマに沿った具体的事例の収集と報告を行う。

【テキスト（教科書）】
特に使用しない。

【参考書】
・長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志『社会学［新版］』（有斐閣、2019 年）
・本田由紀編『現代社会論―社会学で探る私たちの生き方』（有斐閣、2015 年）

【成績評価の方法と基準】
授業内課題（40 %）および期末レポート（60 %）で評価します。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【Outline and objectives】
This course introduces students to the key concepts of contemporary sociological theory and to the ways of thinking about current social changes.

SOC200LA

社会学ＬＣ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**労働倫理と消費美学**

徐　玄九

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業の目的は、社会的連帯やアイデンティティの観点から「労働と消費」に関する社会学の成果を学ぶことである。ほとんどの人が自らの人生の中で最も活動的な時期を労働時間にその相当の部分を費やし、そこで得た貨幣の相当の部分を基本的な欲求や必要をはるかに超えた「モノ」を手に入れることに費やしている。しかも「マジメ」にである。このような「常識/当たり前」も長い歴史からすればつい最近のことである。この「常識/当たり前」のもとにそれだけの時間と貨幣を費やす人間の活動（労働と消費）が、どのような「意味」をもち、どのように「説明」されてきたかを歴史的・思想的に辿りながら、現代社会の構成原理についての理解を高める。

【到達目標】
（1）労働観の変遷と宗教との関係が理解できる。
（2）消費社会論の登場を歴史的な文脈で理解できる。
（3）自らの「労働と消費」に関する考え方を相対化できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 27 日とし、開始日に具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の趣旨、全体内容の概略的な説明
2	神からの「罰」としての労働	ヨーロッパにおける古代の労働観を宗教との関連で学ぶ
3	神との「契約/義務」としての労働	ヨーロッパにおける初期キリスト教時代から中世カトリック時代までの労働観を学ぶ
4	「天職」としての労働	M・ウェーバーの『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』に即して M・ルターの「天職」概念を学ぶ
5	自己開発型人間の誕生	M・ウェーバーの『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』に即して「二重予定説」と労働の性格の変化を学ぶ
6	近代理性啓蒙主義時代の労働観	J・ロック、A・スミスの労働観について学ぶ
7	K・マルクスの労働観	K・マルクスの労働観について学ぶ
8	近代における労働信仰	自己実現と労働
9	消費社会の歴史	フォードと GM の戦略とその結果を事例に消費社会の登場とその後の歴史を概観的に学ぶ
10	「顕示的消費」	T・ヴェブレン『有閑階級の論理』の一部講読
11	「アウラの消滅」	W・ベンヤミン『複製技術時代の芸術作品』の一部講読
12	「記号価値」と「差異への欲求」	J・ボードリヤール『消費社会の神話と構造』の一部講読
13	労働倫理から消費美学へ	Z・バウマン『新しい貧困』の一部講読
14	試験	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用せず、配布資料を用いります。

【参考書】
必要に応じて追加で配布または提示しますが、さしあたっては以下を参照してください（●は必読）。
今村仁司（1998）『近代の労働観』岩波文庫。
●見田宗介（1996）『現代社会の理論』岩波新書。
ジャン・ボードリヤール（2015）今村仁司他訳『消費社会の神話と構造（新装版）』紀伊國屋書店。
マックス・ウェーバー（1989）大塚久雄訳『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』岩波文庫。
ジグムント・バウマン（2008）伊藤茂訳『新しい貧困』青土社。
ジグムント・バウマン（2016）奥井智之訳『社会学の考え方〔第 2 版〕』ちくま学芸文庫。

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始 1 週間前に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
①提出した課題に対してコメントを付けて返す。
②より多くの質疑応答の時間を設けて受講生との疎通を図ります。

【学生が準備すべき機器他】
授業支援システムを利用しての課題提出や告知がありますので、必ず頻繁に使用するメールアドレスを登録してください。

【Outline and objectives】
What is the meaning of labor and consumption in sociology? How have interpretations of labor and consumption changed historically? The purpose of this course is to learn basic theories about labor and consumption.

SOC200LA

社会学ＬＤ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**支配と服従**

徐　玄九

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業の目的は支配と服従の観点から近代における国家に関する社会学の見解を学ぶことである。具体的には、社会契約論が提示する「主権的政治共同体」をはじめ、M・ウェーバーによって定義された支配と服従、国家などの概念と共に「市民」、「自由主義」、「民主主義」、「ナショナリズム」などに関する理論を学ぶ。これをとおして現代における国家の本質、機能、市民の役割などについて学び、受講者自らの「国家」に対する考え方の相対化を試みる。

【到達目標】
（1）近代における国家論の変遷を歴史的な文脈で理解できる
（2）国家に対して見解を異にする立場の理解を高める。
（3）最終的には、社会や時代の問題に気づき、その意味を理解し、その解決に向けて考える力を付ける（＝教養を身に付ける）。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は基本的に講義形式で行うが、可能なかぎり双方的な進め方を心がける。とくに、テーマごとの関連性を重視しながら、出来る限り具体的な事例を用いて身近なものから抽象的なものへと話題を進める。場合によっては、絵画、映像資料などの教材も取り入れて視覚的な理解も図る。また数回、予習・復習の課題も課す予定であり、講義の終わりにリアクションペーパーを兼ねたミニテストを行う。この際出された質問や感想については、次回の講義で質問に答え、感想を紹介する時間を設ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の趣旨、全体内容の概略的な説明
2	国家の基本性格（正当な暴力の独占）	M・ウェーバー『職業としての政治』を参照しながら国家やこれに関連する基礎的な概念を学ぶ
3	社会契約論①	T・ホッブズの近代的国家主権の基礎づけを学ぶ
4	社会契約論②	J・ロック『統治二論』を参照しながら法治国家に関する基本的な理論を学ぶ
5	社会契約論③	「政治的共同体」に関する J・J ルソーと T・ホッブズと J・ロックの議論の比較
6	公共財の供給者としての国家	A・スミス『国富論』を参照しながら、いわゆる自由主義の立場からの国家観を学ぶ
7	市民的不服従	ソローやガンディーの思想を例に国家主義や自由主義の国家観と市民の自由の関係を考える
8	階級支配の道具としての国家	K・マルクスの国家論について学ぶ
9	ナショナリズムの二つの顔	J・G・フィヒテと E.・ルナンのナショナリズムに関する立場を確認する
10	ナショナリズムのパラドックス	B・アンダーソン『想像の共同体』の一部講読
11	誰が統治者になるべきか	K・ポパー『開かれた社会とその敵』の一部講読
12	政治家の倫理基準（「心情倫理」と「責任倫理」）	M・ウェーバー『職業としての政治』の一部講読
13	個人と国家の道徳的理想の分裂	R・ニーバー『道徳的人間と非道徳的社会』の一部講読
14	試験	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用せず、配布資料を用いります。

【参考書】
必要に応じて追加で配布または提示しますが、さしあたっては以下を参照してください（●は必読）。
大澤真幸編（2002）『ナショナリズム論の名著５０』平凡社。
佐藤成基（2014）『国家の社会学』青弓社
ベネディクト アンダーソン（2007）白石隆他訳『定本 想像の共同体』書籍工房早山。
●マックス・ウェーバー（1980）脇圭平訳『職業としての政治』岩波文庫。

【成績評価の方法と基準】
平常点（40%）と論述型の期末試験（60%）で評価します。平常点は、質疑応答、ミニテスト形式のリアクションペーパー、予習・復習の課題などで評価します。期末試験は、基本的には論述式ですが「授業の到達目標」に応じて、かつ講義内容をふまえながら論理的に書き述べているかを基準に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
①より多くの質疑応答の時間を設けて受講生との疎通を図ります。
②提出した課題に対してコメントを付けて返す。

【学生が準備すべき機器他】
授業支援システムを利用しての課題提出や告知がありますので、必ず頻繁に使用するメールアドレスを登録してください。

【Outline and objectives】
The purpose of this course is to understand the basic theories of sociology about the nature and function of nation-states and the role of citizens in modern society.

POL200LA

政治学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**音楽と政治（1）**

木村　正俊

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
テーマ：「黄金の時代」における政治と音楽
「黄金の時代」における政治とボブ・ディランの交錯を考察することによって現代政治に関する見方を養うことを目指します。

【到達目標】
20 世紀後半の US の社会と政治について知識を得ること。
時代・社会・政治の変遷とボブ・ディランの変容について理解すること。
US のフォークの政治との関係、およびビート・ジェネレーションの次世代に対する影響について理解すること。
ジョン・レノンの音楽と政治との関係について理解すること。
ボブ・ディランを中心にしながら 20 世紀のポピュラー・ミュージックに関する基礎知識を得ること。
以上を踏まえて、政治について考察を深めること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
オンライン授業で行います。
具体的な方法は授業支援システムを通じてお知らせしますが、ライヴ形式は採用しない予定です。
（2020 年 4 月 7 日段階）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
＃ 1	Intro.	講義の概要と受講上必要な情報について
＃ 2	ボブ・ディランの歩みと US の政治・経済・社会	ボブ・ディランの音楽的背景と US の 40 年代〜50 年代について
#3	大衆消費社会における政治	テーマについての講義：「黄金の時代」特徴と「抑制によるデモクラシー」について
＃ 4	日本における「黄金の時代」の政治	「黄金の時代」における US の政治と日本の比較
＃ 5	US の社会運動とフォーク・ミュージック	US におけるフォーク・ミュージック歴史と政治との関係について
＃ 6	ビートとは何か	ビート・ジェネレーションの特徴と誕生の背景背景について
＃ 7	冷戦と核	抑止論を中心に核兵器に関する基本的な知識とキューバ危機について
#8	60 年代の US とボブ・ディラン（1）：公民権運動と「風に吹かれて」	プロテスト・シンガーとしてのボブ・ディラン誕生の政治的・社会的背景について
＃ 9	60 年代の US とボブ・ディラン（2）：「激しい雨が降る」	核戦争の恐怖と終末論について
#10	How Does It Feel?	ロックの誕生とボブ・ディランのフォークからロックへの移行について
#11	ベトナム反戦運動と音楽 (1) ：サイケデリック・ロック	Grateful Dead を中心にしながら、カウンター・カルチャーについて
＃ 12	ベトナム反戦運動と音楽 (2) ：ジョン・レノン	ジョン・レノンの音楽活動、反戦運動とアメリカの政治
＃ 13	アナーキストとしてのボブ・ディランと	ボブ・ディランの政治に対する見方
＃ 14	Outro.	春学期の講義のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業前に授業の際に与えられた課題に対応し、各種メディアを用いて曲や PV にアクセスすることなどを行い、授業後に講義内容を振り返ることなどを 2 時間程度行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
湯浅学『ボブ･ディラン　ロックの精霊』（岩波新書､2013 年）￥760 ＋税

【参考書】
必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】
授業前に調べたペーパー　40 %
授業で学んだ知識と自分の意見を論理的に展開する能力を確認するための試験　60 %

【学生の意見等からの気づき】
ポピュラーミュージックやロックについての授業ではないことに注意してください。
しかしながら、洋楽やボブ・ディランについての知識がない学生に配慮して授業を行います。

【その他の重要事項】
ボブ・ディランや「洋楽」についての知識がなくても受講可能です。
政治や音楽に関する基本的知識は学生によって差があるので、すべてを授業で提供できません。
わからないことや知らないことは教員に尋ねる、あるいは、自分で文献やネットで調べるようにしてください。
大学における講義、シラバスの内容、予習・復習に 2 時間を要することなどに関して興味のある人は、佐藤郁哉『大学改革の迷走』（ちくま新書、2019 年）を参照してください。

【Outline and objectives】
Theme:Politics and Popular Music in the Golden Age
This course deals with the interaction between Bob Dylan and politics in the Golden Age.
The fundamental aim of this course to acquire lens through which contemporary politics can be viewed by considering interaction Bob Dylan and politics.

POL200LA

政治学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**音楽と政治（２）**

木村　正俊

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
テーマ：「黄金の時代」の終焉後の時代の政治と音楽
US における福音派の影響力の拡大とボブ・ディランの改宗の意味と「黄金の時代」の終焉時代の政治について考える。
パレスチナ問題について考える。

【到達目標】
現在、US の政治に大きな影響力を持つ福音派についての理解すること。
ボブ・ディランにとっての信仰を考察することによって、ユダヤ教とキリスト教についての基本的な知識と、宗教と政治の関係について理解すること。
パレスチナ問題について理解すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式で行う。受講者の人数によってはディスカッションを取り入れたい。
＜ 2020 年 4 月 8 日追記＞
状況によっては春学期と同じようにオンライン授業を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
＃ 1	Intro.	講義の概要と受講上必要な情報
＃ 2	ユダヤ人としてのボブ・ディラン	US におけるユダヤ系移民の歴史
＃ 3	ボブ・ディランと聖書	旧新約聖書が US 文化に与えた影響について
＃ 4	ボブ・ディランの改宗	福音派と政治の関係について
＃ 5	福音派の歴史的展開	近代化・世俗化に対する一つの対応の形として福音派の歴史的展開の考察
＃ 6	終末論	ユダヤ教とキリスト教の終末論について
#7	ボブ・ディランと終末論	終末論がボブ・ディランに与えた影響について
＃ 8	パレスチナ問題	パレスチナ問題の歴史展開と現状について
＃ 9	ボブ・ディランとイスラエル	ボブ・ディランのイスラエル国家に対する姿勢
#10	BDS とミュージシャン	BDS 運動に対するミュージシャンの対応
#11	モリッシーと BDS	モリッシーの BDS への対応
＃ 12	頭脳警察／ PANTA とパレスチナ問題（1）	頭脳警察／ PANTA の歴史と現在
＃ 13	頭脳警察／ PANTA とパレスチナ問題（2）	『ライラのバラード』〜日本とパレスチナの関係について
#14	Outro.	秋学期の講義のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業前に授業の際に与えられた課題に対応し、各種メディアを用いて曲や PV にアクセスすることなどを行い、授業後に講義内容を振り返ることなどを 2 時間程度行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
湯浅学『ボブ・ディラン　ロックの精霊』（岩波新書、2013 年、760 円＋税

【参考書】
必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】
授業前に調べたペーパー　40 %
授業で学んだ知識と自分の意見を論理的に展開する能力を確認するための試験　60 %

【学生の意見等からの気づき】
ポピュラー・ミュージックやロックについての授業ではないことに注意してください。
洋楽についての知識がなくてもかまいませんが、興味・関心を持っていることは必要です。

【その他の重要事項】
ボブ・ディランや「洋楽」についての知識がなくても受講可能です。
政治や音楽に関する基本的知識は学生によって差があるので、すべてを授業で提供できません。
わからないことや知らないことは教員に尋ねる、あるいは、自分で文献やネットで調べるようにしてください。
大学における講義、シラバスの内容、予習・復習に 2 時間を要することなどに関して興味のある人は、佐藤郁哉『大学改革の迷走』（ちくま新書、2019 年）を参照してください。

【Outline and objectives】
Theme: Politics and Popular Music after the end of the Golden Age
This course deals with the interaction between Bob Dylan and politics after the end of the Golden Age.
The fundamental aim of this course to acquire lens through which contemporary politics can be viewed by considering interaction Bob Dylan and politics.

CUA200LA

文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**政治人類学への招待**

ベル　裕紀

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
政治人類学は、文化人類学の中でも権力や秩序といった問題を中心に扱ってきた領域である。学生は、政治人類学的な研究を体系的に学習し、国家、グローバル化、移民、マイノリティ、アイデンティティ、多文化主義といった、現代の問題に関する理解を深める。

【到達目標】
学生は、国家と統治に関する理解を深めるとともに、政治人類学が培ってきた、社会の動態的な把握という視点を身に付け、安易な本質主義に陥らない社会の認識を身に付ける。それを通じて、政治的な過程としての「本質化」に敏感になり、またなぜそれが行われているのかを深く考察する視点を養うことを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式を取り、随時映像などの資料を用いる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第一回	政治人類学の関心	政治人類学の初期における基本的な関心から出発し、エヴァンス・プリチャード以降の政治人類学の議論の大きな流れを紹介する。これが本講義のイントロダクションとなる。
第二回	国家なき統治	政治人類学における「未開社会」の研究、特に政治体系の研究を紹介する。
第三回	法と政治と人類学と	法人類学における法の捉え方、諸研究を概観し、とりわけ規範と制裁をめぐる議論に焦点を当てる。
第四回	暴力の人類学	暴力という問題は、秩序や政治にとって非常に重要な問題であるものの、法や規範と比べると、人類学で積極的に論じられてきたテーマとは言い難い。本講義では、暴力を扱った人類学的な研究を取り上げることで、前回講義とは別の角度から秩序の問題に接近する。
第五回	言語と政治	言語および発話行為と政治に着目した人類学的な研究の展開を概観し、理解を深める。
第六回	国民国家とナショナリズム	A. ゲルナーや B. アンダーソンなど、国民国家をめぐる代表的な議論を学習する。
第七回	人種、民族、階級、ジェンダー	政治人類学の重要な概念である、人種、民族、階級、ジェンダーの定義を踏まえ、それらが政治的なアイデンティティ、あるいはアイデンティティの本質化とどのように関係するのかという問題を事例を交えて紹介する。
第八回	社会運動論と人類学	人類学における社会運動研究を概観し、集合的アイデンティティの形成、生活と運動との乖離、「歴史性」といったトピックを学習する。
第九回	人権と人類学	1945 年以降の人類学における人権の捉え方を通時的に把握した上で、近年の人権に関する議論について学習する。
第十回	ポストコロニアリズムと人類学	植民地化やそれに伴う「眼差し」は、人類学の調査対象となる多くの社会で、制度や慣習、そして「自文化」観に多くの影響を与えてきた。また「異文化」という研究対象の設定そのものを含め、人類学という学問にも強い影響を与えてきた。この講義では、80 年代以降の人類学が、「植民地以後」という時代認識の下で、それまでの人類学的な研究を批判的に検討し、人類学における民族誌やフィールドワークという方法論の価値を再認識していった過程を追う。そのことで、人類学に対する理解を深めることを目的とする。
第十一回	難民の人類学	難民という存在を H. アーレントを手がかりに、国民国家を基本とした国際秩序の枠組みの中で捉えた上で、人類学的な難民研究を紹介する。
第十二回	移住労働の人類学	移民政策を理解する上での基本的な考え方を理解した上で、東アジア諸国において特徴的な政策である、在留期間と活動に制限を加え、ホスト社会に定着しないような形での労働力移入政策と、それの下での移住労働者たちの活動について紹介する。
第十三回	文化と権利	文化と権利という視点から、グローバル化、多文化主義、アイデンティティ、人権といった、これまで授業で取り扱ってきた問題を捉え直す。
第十四回	試験	これまでの講義および授業外の学習を踏まえた記述試験を行う。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業内で紹介する参考文献を、各自の関心に応じて読みこみ、理解と思考を深めることが望ましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
なし。毎回の授業で講義レジュメを配布する。

【参考書】
授業時間内に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
出席および毎回のリアクションペーパー 40%、最終授業での記述式試験 60 %で評価する。

【学生の意見等からの気づき】
毎回のリアクション・ペーパーの提出を求め、毎回の授業の冒頭に前回のリアクション・ペーパーの紹介および応答を行うことで、学生の理解を深めていく。

【Outline and objectives】
This class aims basic understanding of political anthropology / anthropology of politics that has been mainly dealing with topics related to the order and power. Students should study traditional topics as well as contemporary issues such as nation-states, human rights, social movements, global migration, essentialism and so on.

CUA200LA

文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

長沢　利明

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文化人類学の基礎について学ぶ。人間と文化との関係の構造的な理解をめざし、さまざまなテーマからそれを見ていく。

【到達目標】
文化人類学のもっとも基本的な研究課題としての「人間と文化との関係」を、さまざまな具体的テーマを提示しながら、考えていく。特に、文化の変容面・動態的側面に注目しつつ、生態環境・生活空間・儀礼構造・民間信仰・民族問題などの諸側面から、この問題を検討していってみることとする。この作業を通じて、文化人類学的な物の考え方や研究方法、分析視角などを学んでいくことにし、極力わかりやすい形で、それを講義していってみたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
毎回ひとつずつ基本テーマを取り上げ、それに関する詳細情報やデータ類を提示しつつ、解説と検討をおこなう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	プロローグ	受講にあたっての注意事項、授業の全体計画などについて解説。
②	焼畑と植生Ⅰ	焼畑農業と環境条件との関係について学ぶ。
③	焼畑と植生Ⅱ	〃
④	住居と生活空間	住居と居住空間の多様性について学ぶ。
⑤	年中行事の構造	日本の年中行事の構造分析について学ぶ。
⑥	民間信仰と文化変容	宗教人類学および日本の民間信仰の特性について学ぶ。
⑦	台湾の社会と民族問題	多民族社会の実情と問題点について学ぶ。
⑧	アミ族の社会変化	母系制社会の変容の実態について学ぶ。
⑨	ブヌン族の社会変化	夫系制社会の変容の実態について学ぶ。
⑩	アイヌ問題	日本の少数民族問題の実情について学ぶ。
⑪	沖縄文化の特色	沖縄の固有文化の特色について学ぶ。
⑫	冬季フィールドワーク解説	冬休みのフィールドワークとレポート作成について解説。
⑬	補足説明	全体の補足解説をおこなう。
⑭	秋学期授業のまとめ	秋学期授業の全体的な総括をおこなう。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
自宅での復習をおこない、配布されたプリント資料などを通読し、整理しておくこと。教員への質問事項なども用意しておくことがのぞましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書は特に使用せず、そのかわりに毎回、教室でプリント資料を配布する。それが、いわばテキストがわりとなる。

【参考書】
必要な文献資料や読んでおくべき参考書類は、授業時間内に適宜紹介していく。

【成績評価の方法と基準】
学期末試験およびレポート提出によって、成績評価をおこなう。特にレポートの内容の評価に重点を置くので、すぐれたレポートを作成することがのぞましい。

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケート結果を尊重し、極力受講者からの要望を取り入れ、つねに授業内容の改善につとめていく。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
特になし。

【Outline and objectives】
You can study on this program about general theory of cultural anthropology.

CUA200LA

文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**文化人類学を通じて考える現代世界**

岩原　紘伊

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
現代世界が直面するさまざまな課題を、異文化理解の学問である文化人類学の視点を通して理解する。

【到達目標】
①文化人類学的な視座がいかに現代の世界を知るうえで役立つかを理解し、人に説明できるようにする。
②文化人類学を学ぶことで、わたしたちと異文化に生きる他者の間にある文化の違いに由来する衝突について総体的に理解する視線を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
文化人類学は、地球に生きる人間の様々な生のあり方を文化や社会に注目して理解することを目指す学問である。この授業では、グローバリゼーション、医療、環境、開発、観光という文化人類学が得意とする現代的テーマを掘り下げることにより、文化人類学の考え方が現代の世界が直面する課題を深く理解するのにいかに役立つかを解説する。毎回の授業では授業内容の理解度を確かめるためにコメントシートを記入してもらう。翌週には受講生のコメントの一部を取りあげて復習をしつつ、できるだけ質問に答えていく。なお、本授業では写真や映像資料を多用し、異なる文化や社会の様子を視覚的に理解できるようにする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業計画、成績評価など
2	グローバリゼーション①	グローバリゼーションと文化
3	グローバリゼーション②	ドキュメンタリー映画『バベルの学校』を視聴と解説
4	グローバリゼーション③	越境する人びと
5	医療①	医療と文化
6	医療②	生殖技術の発展と現代社会
7	環境①	環境保護と文化人類学
8	環境②	捕鯨問題から再考する文化
9	開発①	開発と文化
10	開発②	フェアトレード
11	観光①	観光と文化
12	観光②	エコ・ツーリズム
13	観光③	ヘリテージ・ツーリズム
14	授業内試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
新聞やテレビなどのメディアを通して授業テーマに関する事象に触れた際、文化人類学的な視点でからどのように理解できるか考えてみる。また、資料や参考書を読んで予習・復習する。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特に指定しないが、毎回の授業でレジュメを配布する。

【参考書】
山下晋司・船曳建夫編『文化人類学キーワード（改訂版）』（有斐閣、2008 年）
山下晋司編『観光人類学』（新曜社、1996 年）
その他、授業時に適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】
コメントシートの内容（30 %）と試験の点数（70 %）により総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】
資料を授業支援システムにアップロードする際にファイル名を統一するなど工夫する。

【その他の重要事項】
文化人類学（春学期開講）とあわせて受講することが望ましい。

【Outline and objectives】
This class explores 'global issues' by introducing the perspectives and arguments of anthropology/anthropologists. Especially by focusing on cultural side on the issues, you will gain the perspectives how culture matters in order to solve and overcome them.

CUA200LA

文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**今日の文化人類学**

阿部　朋恒

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文化人類学は他者理解のための方法であると同時に、自らが拠って立つ場所を見つめ直し、その未来を見通すために役立つ道具でもある。この授業では、開発や観光化、情報通信技術の発達、移動の増大といった今日の世界に共通してみられる現象に焦点を当て、そうした変化の過程が同時代にありながら多様であることを学ぶ。さらに、世界各地で生起する出来事を具体的かつ深く知ることで、環境変動や政治的リスクの変動、感染症の流行などわれわれが直面する大きな課題に対する思考の幅を広げることを目指す。

【到達目標】
テーマごとに文化人類学の基礎的な考え方を知り、併せてフィールドワークにもとづく良質な民族誌に触れることで、異文化を深く理解するための方法を学ぶ。また、身の回りで生じる出来事やメディアを通じて知る世界各地の記事について、その背景へと一歩踏み込んで理解するための粘り強い思考を身に付けることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
毎回の授業は、パワーポイントおよびレジュメ資料にもとづく講義形式で実施する。授業数回分ごとにテーマを設定し、必要に応じて映像資料なども交えながら関連する方法論と事例を解説していく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業のねらいと進め方、成績評価の方法について説明する。
第 2 回	文化人類学の成り立ち	学説史の概略を知り、文化人類学が時代ごとに切り拓いてきた知的領域の広がりを学ぶ。
第 3 回	文化人類学の課題	今日の文化人類学が直面する課題と、これを乗り越えるための試みを学ぶ。
第 4 回	フィールドワークの再検討	文化人類学におけるフィールドワークの魅力と、その誕生以来一世紀のあいだに生じた方法と実践の変化を学ぶ。
第 5 回	移動と人類学①	旅とフィールドワークの類似と相違を知り、人類学的研究の奥行きを学ぶ。
第 6 回	移動と人類学②	人間の移動のみならずモノや情報、技術、概念、さらには動植物やウィルスなどのモビリティが高まる世界における文化人類学の意義を学ぶ。
第 7 回	開発と人類学①	人類学者はこれまで開発の現場で何をしてきたのか、開発援助に携わる人たちとどのように関わってきたのかを学ぶ。

第 8 回　開発と人類学②	「貧困」「援助」「復興」などさまざまな言説がせめぎあいながら構成される現象として開発を捉える方法を学び、今日の世界を多角的に理解する視点を身につける。
第 9 回　環境と人類学①	人類学者はこれまで環境変動の現場で何をしてきたのか、環境保護にたずさわる人たちとどのようにかかわってきたのかを学ぶ。
第 10 回　環境と人類学②	「地球温暖化」「持続可能性」「保全」「汚染」などさまざまな言説がせめぎあいながら構成される現象として環境変動を捉える方法を学び、今日の世界を多角的に理解する視点を身につける。
第 11 回　観光と人類学	観光化によって創られる文化のダイナミズムを理解するための視座を学ぶ。
第 12 回　食と人類学	食をめぐる実践の多様性を学び、われわれをとりまく食と健康に関連するさまざまな知識を反省的に検討する。
第 13 回　映像資料鑑賞	第 12 回までの授業内容に関連する映像資料を鑑賞する。
第 14 回　まとめ	授業内容の総括と、期末試験についての説明を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
新聞や雑誌のニュースに関心を払い、遠くの国や地域で生じた出来事であっても少しの時間を割いて考えてみること。その際、文化人類学の考え方を応用するとどのような発見があるのかを意識してほしい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
テキストは特に指定しない。ただし、毎回の授業で関連する文献について紹介するので、各自の関心に合わせて読み進めてほしい。

【参考書】
『グローバリゼーションのなかの文化人類学案内』中島成久（編）明石書店、2003 年。
上記の他にも、毎回の授業で関連する基礎文献を紹介する。

【成績評価の方法と基準】
授業への出席率およびリアクションペーパーによる平常点（40 %）、記述型式の期末試験（60 %）により評価する。なお、期末試験は紙媒体資料の持ち込みのみ可とする。

【学生の意見等からの気づき】
授業進度がやや早く、とくに難解な概念や用語についての理解が追い付かないことがあったとの意見が複数あったため、難易度に応じて緩急をつけたきめ細やかな解説を行いたい。また、教室内の気温や騒音など授業を受ける環境について改善を求める意見も受けている。学生がその場で気兼ねなく要望を伝えられるような雰囲気づくりを心掛け、空調設備や音響機器の調整にも気を配っていきたい。また、周囲の受講生の私語が気になるとの指摘もあり、教室内の静粛性保持にもより一層配慮したい。

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【その他の重要事項】
学生の理解度に応じて、授業計画の内容や順序を変更する場合がある。

【Outline and objectives】
By studying perspectives that look extensively at present world, we aim to develop the ability to link this learning to practical tasks. Based on this, students will acquire viewpoint to understand multicultural and overheated world. Specifically, students will learn about field works, mechanisms to create various discourses about “development” or “environment” After that, students will think independently how to create a future that accepts diverse cultures.

CUA200LA

文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**政治人類学への招待**

ベル　裕紀

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
政治人類学は、文化人類学の中でも権力や秩序といった問題を中心に扱ってきた領域である。学生は、政治人類学的な研究を体系的に学習し、国家、グローバル化、移民、マイノリティ、アイデンティティ、多文化主義といった、現代の問題に関する理解を深める。

【到達目標】
学生は、国家と統治に関する理解を深めるとともに、政治人類学が培ってきた、社会の動態的な把握という視点を身に付け、安易な本質主義に陥らない社会の認識を身に付ける。それを通じて、政治的な過程としての「本質化」に敏感になり、またなぜそれが行われているのかを深く考察する視点を養うことを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式を取り、随時映像などの資料を用いる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第一回	政治人類学の関心	政治人類学の初期における基本的な関心から出発し、エヴァンス・プリチャード以降の政治人類学の議論の大きな流れを紹介する。これが本講義のイントロダクションとなる。
第二回	国家なき統治	政治人類学における「未開社会」の研究、特に政治体系の研究を紹介する。
第三回	法と政治と人類学と	法人類学における法の捉え方、諸研究を概観し、とりわけ規範と制裁をめぐる議論に焦点を当てる。
第四回	暴力の人類学	暴力という問題は、秩序や政治にとって非常に重要な問題であるものの、法や規範と比べると、人類学で積極的に論じられてきたテーマとは言い難い。本講義では、暴力を扱った人類学的な研究を取り上げることで、前回講義とは別の角度から秩序の問題に接近する。
第五回	言語と政治	言語および発話行為と政治に着目した人類学的な研究の展開を概観し、理解を深める。
第六回	国民国家とナショナリズム	A. ゲルナーや B. アンダーソンなど、国民国家をめぐる代表的な議論を学習する。

第七回	人種、民族、階級、ジェンダー	政治人類学の重要な概念である、人種、民族、階級、ジェンダーの定義を踏まえ、それらが政治的なアイデンティティ、あるいはアイデンティティの本質化とどのように関係するのかという問題を事例を交えて紹介する。
第八回	社会運動論と人類学	人類学における社会運動研究を概観し、集合的アイデンティティの形成、生活と運動との乖離、「歴史性」といったトピックを学習する。
第九回	人権と人類学	1945 年以降の人類学における人権の捉え方を通時的に把握した上で、近年の人権に関する議論について学習する。
第十回	ポストコロニアリズムと人類学	植民地化やそれに伴う「眼差し」は、人類学の調査対象となる多くの社会で、制度や慣習、そして「自文化」観に多くの影響を与えてきた。また「異文化」という研究対象の設定そのものを含め、人類学という学問にも強い影響を与えてきた。この講義では、80 年代以降の人類学が、「植民地以後」という時代認識の下で、それまでの人類学的な研究を批判的に検討し、人類学における民族誌やフィールドワークという方法論の価値を再認識していった過程を追う。そのことで、人類学に対する理解を深めることを目的とする。
第十一回	難民の人類学	難民という存在を H. アーレントを手がかりに、国民国家を基本とした国際秩序の枠組みの中で捉えた上で、人類学的な難民研究を紹介する。
第十二回	移住労働の人類学	移民政策を理解する上での基本的な考え方を理解した上で、東アジア諸国において特徴的な政策である、在留期間と活動に制限を加え、ホスト社会に定着しないような形での労働力移入政策と、それの下での移住労働者たちの活動について紹介する。
第十三回	文化と権利	文化と権利という視点から、グローバル化、多文化主義、アイデンティティ、人権といった、これまで授業で取り扱ってきた問題を捉え直す。
第十四回	試験	これまでの講義および授業外の学習を踏まえた記述試験を行う。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業内で紹介する参考文献を、各自の関心に応じて読みこみ、理解と思考を深めることが望ましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
なし。毎回の授業で講義レジュメを配布する。

【参考書】
授業時間内に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
出席および毎回のリアクションペーパー 40%、最終授業での記述式試験 60 %で評価する。

【学生の意見等からの気づき】
毎回のリアクション・ペーパーの提出を求め、毎回の授業の冒頭に前回のリアクション・ペーパーの紹介および応答を行うことで、学生の理解を深めていく。

【Outline and objectives】
This class aims basic understanding of political anthropology / anthropology of politics that has been mainly dealing with topics related to the order and power. Students should study traditional topics as well as contemporary issues such as nation-states, human rights, social movements, global migration, essentialism and so on.

CUA200LA

文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**今日の文化人類学**

阿部　朋恒

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文化人類学は他者理解のための方法であると同時に、自らが拠って立つ場所を見つめ直し、その未来を見通すために役立つ道具でもある。この授業では、開発や観光化、情報通信技術の発達、移動の増大といった今日の世界に共通してみられる現象に焦点を当て、そうした変化の過程が同時代にありながら多様であることを学ぶ。さらに、世界各地で生起する出来事を具体的かつ深く知ることで、環境変動や政治的リスクの変動、感染症の流行などわれわれが直面する大きな課題に対する思考の幅を広げることを目指す。

【到達目標】
テーマごとに文化人類学の基礎的な考え方を知り、併せてフィールドワークにもとづく良質な民族誌に触れることで、異文化を深く理解するための方法を学ぶ。また、身の回りで生じる出来事やメディアを通じて知る世界各地の記事について、その背景へと一歩踏み込んで理解するための粘り強い思考を身に付けることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
毎回の授業は、パワーポイントおよびレジュメ資料にもとづく講義形式で実施する。授業数回分ごとにテーマを設定し、必要に応じて映像資料なども交えながら関連する方法論と事例を解説していく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業のねらいと進め方、成績評価の方法について説明する。
第 2 回	文化人類学の成り立ち	学説史の概略を知り、文化人類学が時代ごとに切り拓いてきた知的領域の広がりを学ぶ。
第 3 回	文化人類学の課題	今日の文化人類学が直面する課題と、これを乗り越えるための試みを学ぶ。
第 4 回	フィールドワークの再検討	文化人類学におけるフィールドワークの魅力と、その誕生以来一世紀のあいだに生じた方法と実践の変化を学ぶ。
第 5 回	移動と人類学①	旅とフィールドワークの類似と相違を知り、人類学的研究の奥行きを学ぶ。
第 6 回	移動と人類学②	人間の移動のみならずモノや情報、技術、概念、さらには動植物やウィルスなどのモビリティが高まる世界における文化人類学の意義を学ぶ。
第 7 回	開発と人類学①	人類学者はこれまで開発の現場で何をしてきたのか、開発援助に携わる人たちとどのように関わってきたのかを学ぶ。
第 8 回	開発と人類学②	「貧困」「援助」「復興」などさまざまな言説がせめぎあいながら構成される現象として開発を捉える方法を学び、今日の世界を多角的に理解する視点を身につける。
第 9 回	環境と人類学①	人類学者はこれまで環境変動の現場で何をしてきたのか、環境保護にたずさわる人たちとどのようにかかわってきたのかを学ぶ。
第 10 回	環境と人類学②	「地球温暖化」「持続可能性」「保全」「汚染」などさまざまな言説がせめぎあいながら構成される現象として環境変動を捉える方法を学び、今日の世界を多角的に理解する視点を身につける。
第 11 回	観光と人類学	観光化によって創られる文化のダイナミズムを理解するための視座を学ぶ。
第 12 回	食と人類学	食をめぐる実践の多様性を学び、われわれをとりまく食と健康に関連するさまざまな知識を反省的に検討する。
第 13 回	映像資料鑑賞	第 12 回までの授業内容に関連する映像資料を鑑賞する。
第 14 回	まとめ	授業内容の総括および期末試験についての説明を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
新聞や雑誌のニュースに関心を払い、遠くの国や地域で生じた出来事であっても少しの時間を割いて考えてみること。その際、文化人類学の考え方を応用するとどのような発見があるのかを意識してほしい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
テキストは特に指定しない。ただし、毎回の授業で関連する文献について紹介するので、各自の関心に合わせて読み進めてほしい。

【参考書】
『グローバリゼーションのなかの文化人類学案内』中島成久（編）明石書店、2003 年。
上記の他にも、毎回の授業で関連する基礎文献を紹介する。

【成績評価の方法と基準】
授業への出席率およびリアクションペーパーによる平常点（40 %）、記述型式の期末試験（60 %）により評価する。なお、期末試験は紙媒体資料の持ち込みのみ可とする。

【学生の意見等からの気づき】
授業進度がやや早く、とくに難解な概念や用語についての理解が追い付かないことがあったとの意見が複数あったため、難易度に応じて緩急をつけたきめ細やかな解説を行いたい。また、教室内の気温や騒音など授業を受ける環境について改善を求める意見も受けている。学生がその場で気兼ねなく要望を伝えられるような雰囲気づくりを心掛け、空調設備や音響機器の調整にも気を配っていきたい。また、周囲の受講生の私語が気になるとの指摘もあり、教室内の静粛性保持にもより一層配慮したい。

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【その他の重要事項】
学生の理解度に応じて、授業計画の内容や順序を変更する場合がある。

【Outline and objectives】
By studying perspectives that look extensively at present world, we aim to develop the ability to link this learning to practical tasks. Based on this, students will acquire viewpoint to understand multicultural and overheated world. Specifically, students will learn about field works, mechanisms to create various discourses about “development” or “environment”. After that, students will think independently how to create a future that accepts diverse cultures.

CUA200LA

文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**今日の文化人類学**

阿部　朋恒

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文化人類学は他者理解のための方法であると同時に、自らが拠って立つ場所を見つめ直し、その未来を見通すために役立つ道具でもある。この授業では、開発や観光化、情報通信技術の発達、移動の増大といった今日の世界に共通してみられる現象に焦点を当て、そうした変化の過程が同時代にありながら多様であることを学ぶ。さらに、世界各地で生起する出来事を具体的かつ深く知ることで、環境変動や政治的リスクの変動、感染症の流行などわれわれが直面する大きな課題に対する思考の幅を広げることを目指す。

【到達目標】
テーマごとに文化人類学の基礎的な考え方を知り、併せてフィールドワークにもとづく良質な民族誌に触れることで、異文化を深く理解するための方法を学ぶ。また、身の回りで生じる出来事やメディアを通じて知る世界各地の記事について、その背景へと一歩踏み込んで理解するための粘り強い思考を身に付けることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
毎回の授業は、パワーポイントおよびレジュメ資料にもとづく講義形式で実施する。授業数回分ごとにテーマを設定し、必要に応じて映像資料なども交えながら関連する方法論と事例を解説していく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業のねらいと進め方、成績評価の方法について説明する。
第 2 回	文化人類学の成り立ち	学説史の概略を知り、文化人類学が時代ごとに切り拓いてきた知的領域の広がりを学ぶ。
第 3 回	文化人類学の課題	今日の文化人類学が直面する課題と、これを乗り越えるための試みを学ぶ。
第 4 回	フィールドワークの再検討	文化人類学におけるフィールドワークの魅力と、その誕生以来一世紀のあいだに生じた方法と実践の変化を学ぶ。
第 5 回	移動と人類学①	旅とフィールドワークの類似と相違を知り、人類学的研究の奥行きを学ぶ。
第 6 回	移動と人類学②	人間の移動のみならずモノや情報、技術、概念、さらには動植物やウィルスなどのモビリティが高まる世界における文化人類学の意義を学ぶ。
第 7 回	開発と人類学①	人類学者はこれまで開発の現場で何をしてきたのか、開発援助に携わる人たちとどのように関わってきたのかを学ぶ。
第 8 回	開発と人類学②	「貧困」「援助」「復興」などさまざまな言説がせめぎあいながら構成される現象として開発を捉える方法を学び、今日の世界を多角的に理解する視点を身につける。
第 9 回	環境と人類学①	人類学者はこれまで環境変動の現場で何をしてきたのか、環境保護にたずさわる人たちとどのようにかかわってきたのかを学ぶ。
第 10 回	環境と人類学②	「地球温暖化」「持続可能性」「保全」「汚染」などさまざまな言説がせめぎあいながら構成される現象として環境変動を捉える方法を学び、今日の世界を多角的に理解する視点を身につける。
第 11 回	観光と人類学	観光化によって創られる文化のダイナミズムを理解するための視座を学ぶ。
第 12 回	食と人類学	食をめぐる実践の多様性を学び、われわれをとりまく食と健康に関連するさまざまな知識を反省的に検討する。
第 13 回	映像資料鑑賞	第 12 回までの授業内容に関連する映像資料を鑑賞する。
第 14 回	まとめ	授業内容の総括および期末試験についての説明を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
新聞や雑誌のニュースに関心を払い、遠くの国や地域で生じた出来事であっても少しの時間を割いて考えてみること。また、身の回りで生じるさまざまな出来事について、異なる立場にある人の見方を想像してみること。その際、文化人類学の考え方を応用するとどのような発見があるのかを意識してほしい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
テキストは特に指定しない。ただし、毎回の授業で関連する文献について紹介するので、各自の関心に合わせて読み進めてほしい。

【参考書】
『グローバリゼーションのなかの文化人類学案内』中島成久（編）明石書店、2003 年。
上記の他にも、毎回の授業で関連する基礎文献を紹介する。

【成績評価の方法と基準】
授業への出席率およびリアクションペーパーによる平常点（40 %）、記述型式の期末試験（60 %）により評価する。なお、期末試験は紙媒体資料の持ち込みのみ可とする。

【学生の意見等からの気づき】
授業進度がやや早く、とくに難解な概念や用語についての理解が追い付かないことがあったとの意見が複数あったため、難易度に応じて緩急をつけたきめ細やかな解説を行いたい。また、教室内の気温や騒音など授業を受ける環境について改善を求める意見も受けている。学生がその場で気兼ねなく要望を伝えられるような雰囲気づくりを心掛け、空調設備や音響機器の調整にも気を配っていきたい。また、周囲の受講生の私語が気になるとの指摘もあり、教室内の静粛性保持にもより一層配慮したい。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
学生の理解度に応じて、授業計画の内容や順序を変更する場合がある。

【Outline and objectives】
By studying perspectives that look extensively at present world, we aim to develop the ability to link this learning to practical tasks. Based on this, students will acquire viewpoint to understand multicultural and overheated world. Specifically, students will learn about field works, mechanisms to create various discourses about “development” or “environment”. After that, students will think independently how to create a future that accepts diverse cultures.

CUA200LA

文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**文化人類学を通じて考える現代世界**

岩原　紘伊

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 3/Tue.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
現代世界が直面するさまざまな課題を、異文化理解の学問である文化人類学の視点を通して理解する。

【到達目標】
①文化人類学的な視座がいかに現代の世界を知るうえで役立つかを理解し、人に説明できるようにする。
②文化人類学を学ぶことで、わたしたちと異文化に生きる他者の間にある文化の違いに由来する衝突について総体的に理解する視線を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
文化人類学は、地球に生きる人間の様々な生のあり方を文化や社会に注目して理解することを目指す学問である。この授業では、グローバリゼーション、医療、環境、開発、観光という文化人類学が得意とする現代的テーマを掘り下げることにより、文化人類学の考え方が現代の世界が直面する課題を深く理解するのにいかに役立つかを解説する。毎回の授業では授業内容の理解度を確かめるためにコメントシートを記入してもらう。翌週には受講生のコメントの一部を取りあげて復習をしつつ、できるだけ質問に答えていく。なお、本授業では写真や映像資料を多用し、異なる文化や社会の様子を視覚的に理解できるようにする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業計画、成績評価など
2	グローバリゼーション①	グローバリゼーションと文化
3	グローバリゼーション②	ドキュメンタリー映画『バベルの学校』を視聴と解説
4	グローバリゼーション③	越境する人びと
5	医療①	医療と文化
6	医療②	生殖技術の発展と現代社会
7	環境①	環境保護と文化人類学
8	環境②	捕鯨問題から再考する文化
9	開発①	開発と文化
10	開発②	フェアトレード
11	観光①	観光と文化
12	観光②	エコ・ツーリズム
13	観光③	ヘリテージ・ツーリズム
14	授業内試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
新聞やテレビなどのメディアを通して授業テーマに関する事象に触れた際、文化人類学的な視点でからどのように理解できるか考えてみる。また、資料や参考書を読んで予習・復習する。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特に指定しないが、毎回の授業でレジュメを配布する。

【参考書】
山下晋司・船曳建夫編『文化人類学キーワード（改訂版）』（有斐閣、2008 年）
山下晋司編『観光人類学』（新曜社、1996 年）
その他、授業時に適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】
コメントシートの内容（30 %）と試験の点数（70 %）により総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】
資料を授業支援システムにアップロードする際にファイル名を統一するなど工夫する。

【その他の重要事項】
文化人類学（春学期開講）とあわせて受講することが望ましい。

【Outline and objectives】
This class explores ’global issues’ by introducing the perspectives and arguments of anthropology/anthropologists. Especially by focusing on cultural side on the issues, you will gain the perspectives how culture matters in order to solve and overcome them.

CUA200LA

文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**開発と文化の人類学**

石森　大知

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、開発人類学、すなわち開発援助および国際協力のテーマを文化人類学の視点から取り上げる。現在、世界の各地で、2015 年に国連で定められた「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けたさまざまな取り組みが実施され、その有効性に関する調査・研究も進んでいる。21 世紀において人類に課せられた課題は数多くあるが、貧困撲滅、健康向上（国際保健）、環境問題などへの対処は重要である。本授業では、これらの同時代的なグローバル・イシューを通して、開発とローカルな社会・文化・環境の持続的共存関係について考察する。

【到達目標】
・文化人類学、とくに開発人類学の専門的な概念や理論を習得する。
・ものごとを相対的に捉えることによって得られる他者理解の洞察力を身に付ける。
・同時代的なグローバル・イシューを理解するとともに、開発とローカルな社会・文化・環境の持続的共存関係について自らの視点から考察・検討する視点を得る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は基本的に講義形式とし、必要に応じて映像資料を用います。授業の理解度や平常の取り組みを評価するため、随時、授業の感想や質疑応答を求めるリアクションペーパーを課します。なお、遅刻、授業中の私語およびスマホ等の使用は原則厳禁（とくに他の受講生の迷惑にもなる私語については厳しく対処します）。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の概要、成績評価方法の説明
第 2 回	開発概念と関連理論①	開発の誕生
第 3 回	開発概念と関連理論②	社会開発への転換
第 4 回	日本による開発援助	なぜ ODA を行うのか
第 5 回	貧困撲滅の取り組み①	貧しい／豊かとは何か
第 6 回	貧困撲滅の取り組み②	マイクロファイナンス
第 7 回	健康な生活①	プライマリヘルスケア
第 8 回	健康な生活②	感染症対策と DOTS
第 9 回	森林開発と環境問題①	近代化と環境破壊
第 10 回	森林開発と環境問題②	ソロモン諸島の事例
第 11 回	温暖化と環境言説①	ツバルにおける浸水の事例
第 12 回	温暖化と環境言説②	ツバルにおける海岸浸食の事例
第 13 回	観光開発と自然環境	ボルネオ島の事例
第 14 回	試験・まとめと解説	授業の総括、授業内試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・授業内で紹介する関連文献を読み、授業の理解を深める。
・図書館などで関連文献を調べ、自らの興味関心を広げる。
・本授業の準備学修・復習時間は各２時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
教科書はとくに指定せず、必要に応じて関連資料を配布する。

【参考書】
授業中に適宜紹介するが、以下のものを挙げておく。
信田敏宏ほか編『グローバル支援の人類学―変貌する NGO・市民活動の現場から』昭和堂、2017 年。
佐藤寛・藤掛洋子編『開発援助と人類学―冷戦・蜜月・パートナーシップ』明石書店、2011 年。
佐藤寛『開発援助の社会学』世界思想社、2005 年。
青柳まちこ編『開発の文化人類学』古今書院、2000 年。
関根久雄『開発と向き合う人びと』東洋出版、1997 年。

【成績評価の方法と基準】
試験:70 %、平常点（リアクションペーパーや授業参加態度など）:30 %として評価する。なお、試験では持ち込みは一切認められない。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【Outline and objectives】
This course covers the basics of development anthropology, which seeks to the application of anthropological perspectives to the multidisciplinary branch of development studies. The goals of this course are to obtain basic knowledge about the development anthropology, and understand the impacts of development on the local culture, environment and society.

CUA200LA

文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**今日の文化人類学**

阿部　朋恒

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文化人類学は他者理解のための方法であると同時に、自らが拠って立つ場所を見つめ直し、その未来を見通すために役立つ道具でもある。この授業では、開発や観光化、情報通信技術の発達、移動の増大といった今日の世界に共通してみられる現象に焦点を当て、そうした変化の過程が同時代にありながら多様であることを学ぶ。さらに、世界各地で生起する出来事を具体的かつ深く知ることで、環境変動や政治的リスクの変動、感染症の流行などわれわれが直面する大きな課題に対する思考の幅を広げることを目指す。

【到達目標】
テーマごとに文化人類学の基礎的な考え方を知り、併せてフィールドワークにもとづく良質な民族誌に触れることで、異文化を深く理解するための方法を学ぶ。また、身の回りで生じる出来事やメディアを通じて知る世界各地の記事について、その背景へと一歩踏み込んで理解するための粘り強い思考を身に付けることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
毎回の授業は、パワーポイントおよびレジュメ資料にもとづく講義形式で実施する。授業数回分ごとにテーマを設定し、必要に応じて映像資料なども交えながら関連する方法論と事例を解説していく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業のねらいと進め方、成績評価の方法について説明する。
第 2 回	文化人類学の成り立ち	学説史の概略を知り、文化人類学が時代ごとに切り拓いてきた知的領域の広がりを学ぶ。
第 3 回	文化人類学の課題	今日の文化人類学が直面する課題と、これを乗り越えるための試みを学ぶ。
第 4 回	フィールドワークの再検討	文化人類学におけるフィールドワークの魅力と、その誕生以来一世紀のあいだに生じた方法と実践の変化を学ぶ。
第 5 回	移動と人類学①	旅とフィールドワークの類似と相違を知り、人類学的研究の奥行きを学ぶ。
第 6 回	移動と人類学②	人間の移動のみならずモノや情報、技術、概念、さらには動植物やウィルスなどのモビリティが高まる世界における文化人類学の意義を学ぶ。
第 7 回	開発と人類学①	人類学者はこれまで開発の現場で何をしてきたのか、開発援助に携わる人たちとどのように関わってきたのかを学ぶ。
第 8 回	開発と人類学②	「貧困」「援助」「復興」などさまざまな言説がせめぎあいながら構成される現象として開発を捉える方法を学び、今日の世界を多角的に理解する視点を身につける。
第 9 回	環境と人類学①	人類学者はこれまで環境変動の現場で何をしてきたのか、環境保護にたずさわる人たちとどのようにかかわってきたのかを学ぶ。
第 10 回	環境と人類学②	「地球温暖化」「持続可能性」「保全」「汚染」などさまざまな言説がせめぎあいながら構成される現象として環境変動を捉える方法を学び、今日の世界を多角的に理解する視点を身につける。
第 11 回	観光と人類学	観光化によって創られる文化のダイナミズムを理解するための視座を学ぶ。
第 12 回	食と人類学	食をめぐる実践の多様性を学び、われわれをとりまく食と健康に関連するさまざまな知識を反省的に検討する。
第 13 回	映像資料鑑賞	第 12 回までの授業内容に関連する映像資料を鑑賞する。
第 14 回	まとめ	授業内容の総括および期末試験についての説明を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
新聞や雑誌のニュースに関心を払い、遠くの国や地域で生じた出来事であっても少しの時間を割いて考えてみること。また、身の回りで生じるさまざまな出来事について、異なる立場にある人の見方を想像してみること。その際、文化人類学の考え方を応用するとどのような発見があるのかを意識してほしい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
テキストは特に指定しない。ただし、毎回の授業で関連する文献について紹介するので、各自の関心に合わせて読み進めてほしい。

【参考書】
『グローバリゼーションのなかの文化人類学案内』中島成久（編）明石書店、2003 年。
上記の他にも、毎回の授業で関連する基礎文献を紹介する。

【成績評価の方法と基準】
授業への出席率およびリアクションペーパーによる平常点（40 %）、記述型式の期末試験（60 %）により評価する。なお、期末試験は紙媒体資料の持ち込みのみ可とする。

【学生の意見等からの気づき】
授業進度がやや早く、とくに難解な概念や用語についての理解が追い付かないことがあったとの意見が複数あったため、難易度に応じて緩急をつけたきめ細やかな解説を行いたい。また、教室内の気温や騒音など授業を受ける環境について改善を求める意見も受けている。学生がその場で気兼ねなく要望を伝えられるような雰囲気づくりを心掛け、空調設備や音響機器の調整にも気を配っていきたい。また、周囲の受講生の私語が気になるとの指摘もあり、教室内の静粛性保持にもより一層配慮したい。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
学生の理解度に応じて、授業計画の内容や順序を変更する場合がある。

【Outline and objectives】
By studying perspectives that look extensively at present world, we aim to develop the ability to link this learning to practical tasks. Based on this, students will acquire viewpoint to understand multicultural and overheated world. Specifically, students will learn about field works, mechanisms to create various discourses about “development” or “environment”. After that, students will think independently how to create a future that accepts diverse cultures.

SOS200LA

社会思想ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

洪　貴義

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では在日朝鮮人の歴史と文化を学びます。日本と朝鮮半島（南北）の近現代史の諸関係から生み出され、この 3 ヶ国のはざまにあって日本で存在しているコリアンが在日朝鮮人という存在です。この授業では 3 ヶ国の近現代史をふまえながら、在日朝鮮人のアイデンティティーのありかた、その詩や文学、映画や音楽、芸能などの作品世界を学びます。

【到達目標】
テキストや講義を通して日本や朝鮮半島の近現代史を理解することができる
テキストや講義を通して在日朝鮮人に対する正確な理解を持つことができる
テキストや講義を通して考えたことをコメントやレポートに表現することができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
（2020 年度春学期の変更点）
※ 2020 年度春学期はオンラインで授業を行い、4 月 27 日に学習支援システムを通して授業を開始します。その際初回ガイダンスを行いますので、詳細は提示するガイダンスのファイルを確認するようにしてください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	講義の内容、授業の進め方、受講の仕方、成績評価の方法などについての説明
2	導入	在日朝鮮人という存在
3	発生	日本の近代と在日朝鮮人の発生
4	定着化	定着化と二世の誕生
5	運動	さまざまな運動
6	コミュニティ	朝鮮人コミュニティの変容
7	強制動員	戦時下の在日朝鮮人
8	戦後	占領政策
9	帰国	帰国運動
10	二世（1）	二世たちの挑戦
11	二世（2）	転換期の思想と文化
12	グローバル化（1）	多民族化する日本社会
13	グローバル化（2）	国民の論理を超えて
14	まとめ	在日朝鮮人と日本の進む道

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各回ごとに指定するテキスト数十ページを、1 時間ほど事前に読んでおくと授業の理解の助けになります。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業中に配布します。

【参考書】
授業中に説明します。

【成績評価の方法と基準】
平常点 50 パーセント
期末レポート 50 パーセント

【学生の意見等からの気づき】
授業の中で出席者のコメントメールを紹介することによって刺激になり、他の受講者の理解が進むことが多いようです。また映像資料の視聴は理解、関心を深めるのに有用なので、映画や動画も使用する場合もあります。

【Outline and objectives】
This course introduces the history and cultures of the Korean residents in Japan to students taking this course.They are also called Korean minority in Japan or ZAINICHI in Japanese.The aim of this course is to guide students acquire an understanding of the modern history of ZAINICHI Koreans and a variety of their identities ,poetry,literature,movies,music,and some other cultural works.

SOS200LA

社会思想ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

洪　貴義

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では在日朝鮮人の歴史と文化を学びます。日本と朝鮮半島（南北）の近現代史の諸関係から生み出され、この 3 ヶ国のはざまにあって日本で存在しているコリアンが在日朝鮮人という存在です。この授業では 3 ヶ国の近現代史をふまえながら、在日朝鮮人のアイデンティティーのありかた、その詩や文学、映画や音楽、芸能などの作品世界を学びます。

【到達目標】
テキストや講義を通して日本や朝鮮半島の近現代史を理解することができる
テキストや講義を通して在日朝鮮人に対する正確な理解を持つことができる
テキストや講義を通して考えたことをコメントやレポートに表現することができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は講義形式で行います。各回ともリアクションペーパーやメールを提出してもらい、授業のなかで
紹介しながら理解を深めていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	講義の内容、授業の進め方、受講の仕方、成績評価の方法などについての説明
2	導入	在日朝鮮人という存在
3	事件	歴史的背景
4	1960 年代（1）	民族の問題
5	1960 年代（2）	民族責任
6	小松川事件（1）	李珍宇の犯罪
7	小松川事件（2）	李珍宇の手紙
8	金嬉老事件（1）	事件の発生
9	金嬉老事件（2）	事件の意味
10	詩と文学（1）	金時鐘と金石範
11	詩と文学（2）	鷺沢萌・柳美里・崔実
12	映画（1）	崔洋一と大島渚
13	映画（2）	浦山桐郎と井筒和幸
14	音楽	在日音楽の百年

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各授業ごとに指定されたテキストの数十ページを、１時間ほど読んでおくと授業の理解が進みます。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業中に配布します。

【参考書】
授業中に説明します。

【成績評価の方法と基準】
平常点 50 パーセント
期末レポート 50 パーセント

【学生の意見等からの気づき】
授業中に受講者のコメントを紹介することで他の受講者の理解が進むようです。
また、映像資料の視聴も関心を深めるのに有用なので、映画や動画も利用する場合もあります。

【Outline and objectives】
This course introduces the history and cultures of the Korean residents in Japan to students taking this course.They are also called Korean minority in Japan or ZAINICHI in Japanese.The aim of this course is to guide students acquire an understanding of the modern history of ZAINICHI Koreans and a variety of their identities ,poetry,literature,movies,music,and some other cultural works.

SOS200LA

社会思想ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

洪　貴義

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業ではヨーロッパの近代社会思想史を学びます。
16 世紀から 19 世紀初頭の思想家たち、例えばホッブズ、ルソー、カント、ヘーゲルらが生きた西洋の歴史を背景として、その上で各思想家の思考方法、政治社会の構成、個人と社会の関係や経済社会の構造などについての考えかたを学ぶことを目的とします。

【到達目標】
近代の骨格を作る思想家たちのものの見方、考え方を身につけることができる。
歴史的思考について学び、思想家たちの目を通して、現在わたしたちが生きている現代社会の政治、経済、社会のあり方を根本原理として考えることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
（2020 年度春学期の変更点）
※ 2020 年度春学期はオンラインで授業を行い、4 月 27 日に学習支援システムを通して授業を開始します。その際初回ガイダンスを行いますので、詳細は提示するガイダンスのファイルを確認するようにしてください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	講義のねらい、進め方、成績評価の方法等
第 2 回	導入（1）	ヨーロッパ、歴史、近代、社会、思想、言語などの基礎概念（1）
第 3 回	導入（2）	ヨーロッパ、歴史、近代、社会、思想、言語などの基礎概念（2）
第 4 回	ホッブズ（1）	リヴァイアサン（1）
第 5 回	ホッブズ（2）	リヴァイアサン（2）
第 6 回	ルソー（1）	人間不平等起源論
第 7 回	ルソー（2）	社会契約論
第 8 回	カント（1）	純粋理性批判
第 9 回	カント（2）	実践理性批判
第 10 回	カント（3）	永遠平和のために
第 11 回	ヘーゲル（1）	精神現象学（1）
第十 12 回	ヘーゲル（2）	精神現象学（2）
第十 13 回	ヘーゲル（3）	法の哲学
第 14 回	ヘーゲル（4）	ヘーゲル左派

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
講義をうけるにあたって、1 時間ほど参考文献を自ら進んで読み、問題意識を持って授業に臨むことが求められます。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
ガイダンス時に説明します。

【参考書】
授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】
各授業ごとの平常点（50 %）と学期末のレポート（50 %）の両方を成績評価の基準とします。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【Outline and objectives】
This course introduces the history of ideas of modern western philosophers.
From 16's century to 19's century philosophers thought about a fundamental principle of modern society.
The aim of this course is to guide students acquire an understanding of ideas of modern philosopher Thomas Hobbes,Jean-Jacques Rousseau,Immanuel Kant,and Georg Wilhelm Friedrich Hegel.

SOS200LA

社会思想ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

洪　貴義

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業ではヨーロッパにおける世紀転換期の思想史を学びます。西洋の 19 世紀末から 20 世紀初頭という転換期の歴史を踏まえて、マルクス、キルケゴール、
ニーチェ、ウェーバー、フロイト、ベンヤミンらが根源から考察した人間、社会、歴史、芸術、政治についての思想史を学ぶことがこの授業の目的です。

【到達目標】
各思想家たちのものの見方、考え方を身につけることができる。
世紀転換期の歴史を理解し、もう一つの転換期である現代社会を思想家の目を通して自ら考えることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は講義形式をとりますが、出席者からは各回リアクションペーパーやメールを提出してもらい、授業へのフィードバックに活かして、アクティブ・ラーニングを行っていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	講義のねらい、進め方、成績評価の方法等の説明
第 2 回	導入（1）	現代という時代の思想経験（1）
第 3 回	導入（2）	現代という時代の思想経験（2）
第 4 回	マルクス（1）	初期マルクス（1）
第 5 回	マルクス（2）	初期マルクス（2）
第 6 回	マルクス（3）	資本論の世界
第 7 回	ニーチェ（1）	ニヒリズム
第 8 回	ニーチェ（2）	力への意志
第 9 回	ウェーバー（1）	プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神
第 10 回	ウェーバー（2）	職業としての政治・職業としての学問
第 11 回	フロイト（1）	精神分析の誕生
第 12 回	フロイト（2）	認められたいの正体
第 13 回	ベンヤミン（1）	１９世紀の首都ーパリ
第 14 回	ベンヤミン（2）	歴史哲学テーゼ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
講義をうけるにあたって、1 時間ほど参考文献を自ら進んで読み、問題意識を
持って授業に臨むことが求められます。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
ガイダンス時に説明します。

【参考書】
講義の中で説明します。

【成績評価の方法と基準】
各授業ごとの平常点（５０％）と学期末のレポート（５０％）の両方を成績評価の基準とします。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【Outline and objectives】
This course introduces the history of modern western ideas of the turn of the century from 19's to 20's. There was a fundamental transformation of ideas between the end of 19'century and the beginning of 20's century.
The aim of this course is to guide students acquire an understanding of the history of ideas of some philosophers, Karl Marx, Friedrich Nietzsches,
Max Weber,Sigmund Freud and Walter Benjamin.

MAT200LA

数学特講ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**線型代数学Ａ**

安東　祐希

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
線型（形）代数学の基礎を学ぶ。線型代数学は、微分積分学と並び、数学の基礎を成し、社会科学などを含めて様々な分野で応用されている。この春期授業では、線型代数の基本的な道具である行列と行列式に関し、計算方法を学んでゆく。

【到達目標】
・行列の定義を理解し、行列演算に関する計算ができる。
・行列式の定義を理解し、行列式に関する計算ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
毎回、授業中にいくつかの例題を解く。例題を考える際、わからない点などは積極的に質問してほしい。なお、内容を理解するためには、自ら問題練習に取り組むことが重要である。また、授業のはじめには前回の復習問題を解く時間があり、その解答は解説に従って自己添削のうえ、授業内レポートとして提出をする。
（4 月 20 日追記）
教室使用ができない期間については、学習支援システムを通じた授業となり、その開始日は 5 月 7 日とする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	線型代数の第一歩	鶴亀算
第 2 回	ベクトルとは	数ベクトル
第 3 回	ベクトルと図形	幾何ベクトル
第 4 回	行列とは	行列の定義
第 5 回	行列演算	行列の積
第 6 回	行列演算の性質	結合律、非可換性
第 7 回	行列を用いた表現	連立一次方程式
第 8 回	行列の逆演算	正則性と逆行列
第 9 回	簡単な行列式	低次の行列式
第 10 回	行列式の性質	多重線型、交代的
第 11 回	一般の行列式	行列式の定義
第 12 回	行列式の計算	行展開、列展開
第 13 回	行列式と逆行列	余因子行列
第 14 回	半期のまとめ	総復習の問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
演習問題を充分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
指定しない。例題などは印刷したものを授業中に配布する。

【参考書】
線型代数（線形代数）に関する書籍は実に沢山あり、おそらくそのいずれもが本授業の参考となるものと思う。次の三つはそれらの中の例である。
・松坂和夫『線型代数入門』（岩波書店）1980 年、新装版 2018 年
・川久保勝夫『線形代数学』（日本評論社）1999 年、新装版 2010 年
・H. アントン［山下純一 訳］『アントンのやさしい線型代数』（現代数学社）1980 年、新装版 2020 年

【成績評価の方法と基準】
到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（60 %）において、また、演習問題への取り組み具合を授業内レポート（40 %）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】
質問に答える時間をより多くとれるようにしたい。

【その他の重要事項】
秋期科目「数学特講ＬＢ」の予備知識となる内容を含む。

【Outline and objectives】
This course deals with basic concepts and tools of linear algebra, especially matrices and determinants.

MAT200LA

数学特講ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**線型代数学Ｂ**

安東　祐希

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
線型（形）代数学の基礎を学ぶ。線型代数学は、微分積分学と並び、数学の基礎を成し、社会科学などを含めて様々な分野で応用されている。この秋期授業では、連立一次方程式の線型代数による一般的解法や、線型空間の理論を学んでゆく。

【到達目標】
・階数の定義を理解し、連立一次方程式を一般に解くことができる。
・線型写像の定義を理解し、固有値・固有ベクトルを求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
毎回、授業中にいくつかの例題を解く。例題を考える際、わからない点などは積極的に質問してほしい。なお、内容を理解するためには、自ら問題練習に取り組むことが重要である。また、授業のはじめには前回の復習問題を解く時間があり、その解答は解説に従って自己添削のうえ、授業内レポートとして提出をする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	線型代数の応用	鶴亀算再考
第 2 回	基本変形とは	行と列の基本変形
第 3 回	基本変形の行列表現	基本行列
第 4 回	基本変形と方程式	連立一次方程式の解法
第 5 回	基本変形と逆行列	逆行列の計算
第 6 回	階数とは	階数と基本変形
第 7 回	階数の別定義	階数と行列式
第 8 回	階数再考の準備	一次独立、一次従属
第 9 回	階数再考	階数と一次独立性
第 10 回	線型空間とは	線型空間とその基底
第 11 回	線型写像とは	線型写像と表現行列
第 12 回	線型写像を見やすく	固有値・固有ベクトル
第 13 回	線型写像の繰り返し	行列の冪
第 14 回	半期のまとめ	総復習の問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
演習問題を充分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
指定しない。例題などは印刷したものを授業中に配布する。

【参考書】
線型代数（線形代数）に関する書籍は実に沢山あり、おそらくそのいずれもが本授業の参考となるものと思う。次の三つはそれらの中の例である。
・松坂和夫『線型代数入門』（岩波書店）1980 年、新装版 2018 年
・川久保勝夫『線形代数学』（日本評論社）1999 年、新装版 2010 年
・H. アントン［山下純一 訳］『アントンのやさしい線型代数』（現代数学社）1980 年、新装版 2020 年

【成績評価の方法と基準】
到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（60 %）において、また、演習問題への取り組み具合を授業内レポート（40 %）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】
質問に答える時間をより多くとれるようにしたい。

【その他の重要事項】
春期科目「数学特講ＬＡ」で扱う内容を既知として授業を進める。

【Outline and objectives】
This course deals with basic concepts and tools of linear algebra, especially linear equations and linear mappings.

MAT200LA

発展数学ＬＩ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

池田　宏一郎

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

〜 社会科学に必要不可欠な数学（１変数関数の微積分）〜

さまざまな社会現象が１変数関数で表現され、それらをより深く分析する手段が微分と積分である。微積分は、数理的解析を行うための基本的かつ重要な道具であり、応用も極めて広い。

【到達目標】
いろいろな微分法を用いて、導関数を求めることができる。さらに微分を用いて、関数のさまざまな性質（グラフの形など）を調べることができる。積分の定義を理解し、不定積分や定積分の計算ができる。さらに積分を用いて、面積・体積・長さを求めることができる。また、２変数関数の微分を扱う秋学期科目「発展数学 II」を履修する際に必要となる手法を身につけることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞いたり板書を写したりするだけでなく、自ら問題を解いてみることが求められる。質問歓迎。
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は４月２３日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	導入	授業概要の説明
第 2 回	微分１	微分の定義と基本性質
第 3 回	微分２	積の微分，商の微分，合成関数の微分
第 4 回	微分３	陰関数の微分
第 5 回	微分４	曲線の傾きと極値
第 6 回	微分の応用１	曲線の凹凸と変曲点
第 7 回	微分の応用２	テイラー展開
第 8 回	微分の応用３	マクローリン展開
第 9 回	微分の応用４	近似計算
第 10 回	積分１	定積分と不定積分
第 11 回	積分２	リーマン積分
第 12 回	積分３	微分積分法の基本定理
第 13 回	積分の応用１	図形の面積
第 14 回	積分の応用２	立体の体積

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
演習問題を充分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特に指定しない。例題などは印刷したものを授業中に配布する。

【参考書】
「基礎数学 I・II」の教科書である、藤田岳彦ほか『Primary 大学ノート よくわかる微分積分』実教出版 (2011) は参考になる。さらに学習する際は、微積分学を主題とした書物であれば参考となる。

【成績評価の方法と基準】
到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（80%）において、また、演習問題への取り組み具合を課題提出（20%）において評価する。当面の間、オンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
双方向の授業になるよう心がける。

【その他の重要事項】
この科目を履修するためには、「基礎数学 I・II」で取り扱う内容について、おおよそ理解していることが必要である。

【Outline and objectives】
This course deals with basic concepts and tools of mathematics, especially differentiation and integration of functions of one variable.

MAT200LA

発展数学ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

池田　宏一郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 **年**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

〜 社会科学に必要不可欠な数学（２変数関数の微分）〜

社会現象を解析するために、複数の量の変化を調べる必要がでてくる。その際の基本的な道具が多変数関数であり、多変数関数の性質をより深く知るための手段が偏微分である。ここでは特に２変数関数を扱うが、この授業で学んだ内容は、多くの社会現象を網羅するはずである。

【到達目標】
与えられた２変数関数に対して、そのグラフの概形を理解できる。偏導関数の基本的な計算ができる。さらに、偏微分を用いて、グラフの正確な形を把握し、極値を求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞いたり板書を写したりするだけでなく、自ら問題を解いてみることが求められる。質問歓迎。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	導入	授業概要の説明
第 2 回	２変数関数１	多変数関数とは
第 3 回	２変数関数２	平面のグラフ
第 4 回	２変数関数３	曲面のグラフ
第 5 回	偏微分１	偏微分とは
第 6 回	偏微分２	極限値
第 7 回	偏微分３	偏導関数の計算
第 8 回	偏微分４	合成関数の微分
第 9 回	偏微分５	全微分と接平面
第 10 回	偏微分の応用１	極値問題
第 11 回	偏微分の応用２	陰関数の微分法
第 12 回	偏微分の応用３	条件付極値問題
第 13 回	重積分１	重積分とは
第 14 回	重積分２	体積

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
演習問題を充分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特に指定しない。例題などは印刷したものを授業中に配布する。

【参考書】
「基礎数学 I・II」の教科書である、藤田岳彦ほか『Primary 大学ノート よくわかる微分積分』実教出版 (2011) は参考になる。さらに学習する際は、微積分学を主題とした書物であれば参考となる。

【成績評価の方法と基準】
到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（80%）において、また、演習問題への取り組み具合を課題提出（20%）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】
双方向の授業になるよう心がける。

【その他の重要事項】
この科目を履修するためには、「発展数学 LI」で取り扱う内容について、おおよそ理解していることが必要である。

【Outline and objectives】
This course deals with basic concepts and tools of mathematics, especially differentiation and integration of functions of more than one variable.

MAT200LA

発展数学ＬⅠ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

倉田　俊彦

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

〜 社会科学に必要不可欠な数学（１変数関数の微積分）〜

さまざまな社会現象が１変数関数で表現され、それらをより深く分析する手段が微分と積分である。微積分は、数理的解析を行うための基本的かつ重要な道具であり、応用も極めて広い。

【到達目標】
いろいろな微分法を用いて、導関数を求めることができる。さらに微分を用いて、関数のさまざまな性質（グラフの形など）を調べることができる。積分の定義を理解し、不定積分や定積分の計算ができる。さらに積分を用いて、面積・体積・長さを求めることができる。また、２変数関数の微分を扱う秋学期科目「発展数学 II」を履修する際に必要となる手法を身につけることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日（概要資料のアップロード）は 4 月 27 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 01 回	導入	授業概要の説明
第 02 回	微分の導入１	導関数と曲線の傾き
第 03 回	微分の導入２	直線によるグラフの近似
第 04 回	微分の導入３	ニュートン法
第 05 回	関数の形式と微分１	合成関数の微分
第 06 回	関数の形式と微分２	陰関数と微分
第 07 回	関数の形式と微分３	媒介変数表示と微分
第 08 回	高階導関数１	２階導関数と曲線のしなり
第 09 回	高階導関数２	放物線によるグラフの近似
第 10 回	高階導関数３	マクローリン展開
第 11 回	高階導関数４	社会科学への応用例
第 12 回	積分１	積分と微分の関係
第 13 回	積分２	積分と面積の関係
第 14 回	試験	要点の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
練習問題を充分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。（計算などが上手くいかないときは、悲観的に考える必要は全くなく、むしろ自力を高める良い機会だと思いますので気軽に相談頂けたらと思います。）本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
指定しない。印刷した資料を授業で配布する。（資料配付等は授業支援システムからも入手できるようにします。）

【参考書】
微積分学を主題とした書物は参考となる。数多くの書籍が出版されているので、説明が自分に合っていると思うものを利用するとよい。

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
紹介した応用例は専門科目の中でも扱われる機会がある様子ですので、履修者にとって、その後の学習で得ができるような内容を充実させていきたいと思います。

【その他の重要事項】
この科目を履修するためには、「基礎数学 I・II」で取り扱う内容について、おおよそ理解していることが必要である。

【Outline and objectives】
This course deals with basic concepts and tools of mathematics, especially differentiation and integration of functions of one variable.

MAT200LA

発展数学ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

倉田　俊彦

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 **年**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

〜 社会科学に必要不可欠な数学（２変数関数の微分）〜

社会現象を解析するために、複数の量の変化を調べる必要がでてくる。その際の基本的な道具が多変数関数であり、多変数関数の性質をより深く知るための手段が偏微分である。ここでは特に２変数関数を扱うが、この授業で学んだ内容は、多くの社会現象を網羅するはずである。

【到達目標】
与えられた２変数関数に対して、そのグラフの概形を理解できる。偏導関数の基本的な計算ができる。さらに、偏微分を用いて、グラフの正確な形を把握し、極値を求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞いたり板書を写したりするだけでなく、自ら問題を解いてみることが求められる。質問歓迎。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 01 回	導入	授業概要の説明
第 02 回	空間の数学１	空間ベクトルの基礎
第 03 回	空間の数学２	２変数の１次式と平面
第 04 回	空間の数学３	２変数の多項式と曲面
第 05 回	偏微分１	偏微分とその意味
第 06 回	偏微分２	偏導関数の計算
第 07 回	偏微分３	全微分と接平面
第 08 回	偏微分４	２変数関数と最適化
第 09 回	偏微分５	社会科学への応用
第 10 回	偏微分と極値１	２階偏導関数の計算
第 11 回	偏微分と極値２	２変数関数の極値の計算
第 12 回	偏微分と極値３	公務員試験での出題事例
第 13 回	偏微分と極値４	制約条件付きの極値の計算
第 14 回	試験	要点の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
練習問題を充分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。（計算などが上手くいかないときは、悲観的に考える必要は全くなく、むしろ自力を高める良い機会だと思いますので気軽に相談頂けたらと思います。）本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
指定しない。印刷した資料を授業で配布する。（資料配付等は授業支援システムからも入手できるようにします。）

【参考書】
微積分学を主題とした書物は参考となる。数多くの書籍が出版されているので、説明が自分に合っていると思うものを利用するとよい。

【成績評価の方法と基準】
平常点 (15%)，試験 (15%)，練習問題（70%）

【学生の意見等からの気づき】
紹介した応用例は専門科目の中でも扱われる機会がある様子ですので、履修者にとって、その後の学習で得ができるような内容を充実させていきたいと思います。

【その他の重要事項】
この科目を履修するためには、「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」で取り扱う内容について、おおよそ理解していることが必要である。

【Outline and objectives】
This course deals with basic concepts and tools of mathematics, especially differentiation and integration of functions of more than one variable.

PHY200LA

教養物理学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**宇宙と地球**

石川　壮一

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
サブタイトルを「宇宙と地球」とする。
我々が住んでいる地球という惑星がどのような存在であるのか、地球を含む宇宙に関する理解がどのように進んでいるのか、地球と宇宙との関りがどのようになっているのか、というようなテーマについて、物理学の視点から理解を深める。

【到達目標】
・最近の観測により得られた宇宙や地球に関する知見への理解を深める。
・自然現象を基本法則から理解する態度を身につけ、基礎法則の応用力を養う。
・宇宙の中における地球の位置付けについて理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
・春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 22 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。本講義では、まず、我々の住む世界（宇宙）の理解がどのように変遷してきたか振り返り、背後にある物理学の法則の内容を簡潔に講義する。その上で、宇宙・地球におけるいろいろな現象の紹介と、それらが如何にして基本法則に基づいて理解されているか、いくつか実例を示し、自然現象を科学的に理解することの意味を説明する。更には、宇宙・地球の構造や歴史、宇宙と地球との関わりを探る最近の研究にも触れる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	はじめに	各回の講義概要
第 2 回	世界観の変遷	我々の住む世界（宇宙）に関する理解の歴史
第 3 回	我々の住む地球 (1)	地球の形と大きさ、表面（大気圏、海）
第 4 回	我々の住む地球 (2)	地球の内部構造
第 5 回	我々の住む地球 (3)	大気圏外、オーロラ、地球に対する太陽の影響
第 6 回	色々な天体	天体の階層性、星の光の観測から何がわかるか
第 7 回	宇宙の広がり	宇宙はどこまで広がっているか
第 8 回	宇宙の歴史	膨張宇宙、宇宙の始まり
第 9 回	星の一生と進化 (1)	恒星の誕生と死、元素合成
第 10 回	星の一生と進化 (2)	恒星の死、超新星爆発、中性子星、パルサー、ブラックホール
第 11 回	太陽系 (1)	太陽系のあらまし
第 12 回	太陽系 (2)	太陽系の誕生（太陽、地球の誕生）、月、系外惑星
第 13 回	宇宙の謎	暗黒物質、暗黒エネルギー
第 14 回	まとめ	地球と宇宙との関り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回、授業支援システムで提示する講義資料を用いて講義内容の予習と復習をしておくこと。
本授業の準備・復習時間は、各２時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
テキストは特に設けないが、講義資料は授業支援システムを用いて提示する。

【参考書】
・「物理学入門」大西直毅著（東京大学出版会、1996）
・「物理学への招待」大槻義彦著（培風館、1989）
・シップマン・自然科学入門「新物理学」（増補改訂版）J. T. Shipman 著、勝守寛監訳（学術図書出版社、2002）
（その他、必要に応じて授業中に紹介する。）

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
昨年度から始まった授業であるので、より分かりやすくなるよう内容を工夫しながら授業を進めたい。

【学生が準備すべき機器他】
資料配布のために授業支援システムを利用する。

【Outline and objectives】
This class introduces physics point of view to understand various phenomena about the earth and the universe.

PHY200LA

教養物理学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**宇宙と地球**

石川　壮一

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
サブタイトルを「宇宙と地球」とする。
我々が住んでいる地球という惑星がどのような存在であるのか、地球を含む宇宙に関する理解がどのように進んでいるのか、地球と宇宙との関りがどのようになっているのか、というようなテーマについて、物理学の視点から理解を深める。

【到達目標】
・最近の観測により得られた宇宙や地球に関する知見への理解を深める。
・自然現象を基本法則から理解する態度を身につけ、基礎法則の応用力を養う。
・宇宙の中における地球の位置付けについて理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
本講義では、まず、我々の住む世界（宇宙）の理解がどのように変遷してきたか振り返り、背後にある物理学の法則の内容を簡潔に講義する。その上で、宇宙・地球におけるいろいろな現象の紹介と、それらが如何にして基本法則に基づいて理解されているか、いくつか実例を示し、自然現象を科学的に理解することの意味を説明する。更には、宇宙・地球の構造や歴史、宇宙と地球との関わりを探る最近の研究にも触れる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	はじめに	各回の講義概要
第 2 回	世界観の変遷	我々の住む世界（宇宙）に関する理解の歴史
第 3 回	我々の住む地球 (1)	地球の形と大きさ、表面（大気圏、海）
第 4 回	我々の住む地球 (2)	地球の内部構造
第 5 回	我々の住む地球 (3)	大気圏外、オーロラ、地球に対する太陽の影響
第 6 回	色々な天体	天体の階層性、星の光の観測から何がわかるか
第 7 回	宇宙の広がり	宇宙はどこまで広がっているか
第 8 回	宇宙の歴史	膨張宇宙、宇宙の始まり
第 9 回	星の一生と進化 (1)	恒星の誕生と死、元素合成
第 10 回	星の一生と進化 (2)	恒星の死、超新星爆発、中性子星、パルサー、ブラックホール
第 11 回	太陽系 (1)	太陽系のあらまし
第 12 回	太陽系 (2)	太陽系の誕生（太陽、地球の誕生）、月、系外惑星
第 13 回	宇宙の謎	暗黒物質、暗黒エネルギー
第 14 回	まとめ	地球と宇宙との関り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回、授業支援システムで提示する講義資料を用いて講義内容の予習と復習をしておくこと。
本授業の準備・復習時間は、各２時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
テキストは特に設けないが、講義資料は授業支援システムを用いて提示する。

【参考書】
・「物理学入門」大西直毅著（東京大学出版会、1996）
・「物理学への招待」大槻義彦著（培風館、1989）
・シップマン・自然科学入門「新物理学」（増補改訂版）J. T. Shipman 著、勝守寛監訳（学術図書出版社、2002）
（その他、必要に応じて授業中に紹介する。）

【成績評価の方法と基準】
期末試験により評価する。

【学生の意見等からの気づき】
昨年度から始まった授業であるので、より分かりやすくなるよう内容を工夫しながら授業を進めたい。

【学生が準備すべき機器他】
資料配布のために授業支援システムを利用する。

【Outline and objectives】
This class introduces physics point of view to understand various phenomena about the earth and the universe.

PHY200LA

教養物理学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

吉田　智

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
様々な物理学的な発見はどのようにしてなされてきたのか。物理学上の幾つかの事柄について、歴史的な経緯を踏まえつつ紹介する。また、内容の理解を深めると共に、他の分野に与えた影響や応用等についても紹介したい。最新の研究も合わせて紹介する予定である。

【到達目標】
単に結果のみでなく、そこに至るプロセスや社会への影響等を学ぶことによって、様々な現象に対して自分自身で判断する能力を身に付けることができるようにすることを目標としている。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。
それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。
本授業の開始日は 4 月 21 日（火）とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	序章	講義全体について紹介する。
第 2 回	万有引力：ガリレオ研究	17 世紀のガリレオの研究について紹介する。
第 3 回	万有引力：ケプラーの研究	17 世紀のケプラーの研究について紹介する。
第 4 回	万有引力：万有引力の法則	万有引力の法則、それに付随してキャベンディシュの研究についても紹介する。
第 5 回	万有引力：万有引力の証明	ハレー彗星や惑星の運動について紹介する。
第 6 回	宇宙：太陽系	第 4 回に関連して地球について、更に太陽系の天体について紹介する。
第 7 回	宇宙：アポロ計画	1960 年代のアポロ計画を中心に、宇宙開発について紹介する。
第 8 回	宇宙：スペースシャトル計画	1980 年代のスペースシャトル計画を中心とした宇宙開発について紹介する。
第 9 回	宇宙：冥王星探査・小惑星探査計画	地球上の生命はどこから来たのか。2000 年代の冥王星探査・小惑星探査等について紹介する。
第 10 回	ラジウム：原子核	原子核について紹介する。
第 11 回	ラジウム：マリ・キュリー	マリ・キュリーの研究について紹介する。
第 12 回	ラジウム：ラジウム狂詩曲	ラジウム発見による当時の騒動について紹介する。
第 13 回	ラジウム：原子核の応用について	マリ・キュリーが目指した医療への応用等について紹介する。
第 14 回	まとめ	全体のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
次回以降の講義内容の理解を助けるためにも、内容を復習しておくことが必要である。本授業の準備・復習時間は、各２時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用しない。

【参考書】
授業内で適宜紹介する予定である。

【成績評価の方法と基準】
期末試験の成績 70%と授業への積極的な貢献度 30%で評価する。
なお、春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更します。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムにて提示します。

【学生の意見等からの気づき】
コメントシート等を活用して、疑問や質問に答えていきたいと思います。

【Outline and objectives】
This course teaches some subjects of physics based on historical episode.

PHY200LA

教養物理学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

吉田　智

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 3/Tue.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
様々な物理学的な発見はどのようにしてなされてきたのか。物理学上の幾つかの事柄について、歴史的な経緯を踏まえつつ紹介する。また、内容の理解を深めると共に、他の分野に与えた影響や応用等についても紹介したい。最新の研究も合わせて紹介する予定である。

【到達目標】
単に結果のみでなく、そこに至るプロセスや社会への影響等を学ぶことによって、様々な現象に対して自分自身で判断する能力を身に付けることができるようにすることを目標としている。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
スライドと共に、配付プリントを使用した講義形式で行う。時にはビデオや実験装置を使用する予定である。随時最新の話題を取り入れながら、高校にて物理学を履修していなくても理解してもらえるように進めていく予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	序章	講義全体について紹介する。
第 2 回	万有引力：ガリレオ研究	17 世紀のガリレオの研究について紹介する。
第 3 回	万有引力：ケプラーの研究	17 世紀のケプラーの研究について紹介する。
第 4 回	万有引力：万有引力の法則	万有引力の法則、それに付随してキャベンディシュの研究についても紹介する。
第 5 回	万有引力：万有引力の証明	ハレー彗星や惑星の運動について紹介する。
第 6 回	宇宙：太陽系	第 4 回に関連して地球について、更に太陽系の天体について紹介する。
第 7 回	宇宙：アポロ計画	1960 年代のアポロ計画を中心に、宇宙開発について紹介する。
第 8 回	宇宙：スペースシャトル計画	1980 年代のスペースシャトル計画を中心とした宇宙開発について紹介する。
第 9 回	宇宙：冥王星探査・小惑星探査計画	地球上の生命はどこから来たのか。2000 年代の冥王星探査・小惑星探査等について紹介する。
第 10 回	ラジウム：原子核	原子核について紹介する。
第 11 回	ラジウム：マリ・キュリー	マリ・キュリーの研究について紹介する。
第 12 回	ラジウム：ラジウム狂詩曲	ラジウム発見による当時の騒動について紹介する。
第 13 回	ラジウム：原子核の応用について	マリ・キュリーが目指した医療への応用等について紹介する。
第 14 回	まとめ	全体のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
次回以降の講義内容の理解を助けるためにも、内容を復習しておくことが必要である。本授業の準備・復習時間は、各２時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用しない。

【参考書】
授業内で適宜紹介する予定である。

【成績評価の方法と基準】
期末試験の成績 70%と授業への積極的な貢献度 30%で評価する。

【学生の意見等からの気づき】
コメントシート等を活用して、疑問や質問に答えていきたいと思います。

【Outline and objectives】
This course teaches some subjects of physics based on historical episode.

BIO200LA

教養生物学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**私たちの体を作る細胞の構造と働き**

沼田　治

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
我々の体は、37 兆 2 千億個の細胞から構成されていると言われている。この授業では、我々の体を構成する細胞について理解することを目的とする。学生諸君が自分の体を構成する基本単位である細胞の実態を理解できる授業を展開する。学生諸君が生活の中で毎日経験している活動、外界からの情報を感じて行動するしくみ、食事からエネルギーを獲得し、エネルギーを利用して運動することなどを、細胞レベルから理解することを目指す。自分の体を構成する細胞について学ぶことで、命の本質を理解してもらいたい。

【到達目標】
私たちの体を構成している細胞がどのような構造をしているのか、細胞がどのような働きをしているのかを学び、細胞が活動するエネルギーがどのように作られるのか、細胞がどのように動くのか、細胞がどのように増えるのか、細胞がどのように組織や器官を形成するのかを理解する。生命の最小単位である細胞についての最新の知見をベースとして、我々が生きているということ、生命の本質について、理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Zoom を用いたオンライン授業と、沼田の「細胞学概論」の動画の視聴の二本柱で授業を進める。スタートは 5 月 4 日（月）13 時からである。オンライン授業では授業の概要とキーポイントについて解説する。その後、各自で動画を視聴してもらいたい。「細胞学概論」の動画に関するレポート課題を課すので、期限内にレポートと質問がある場合は質問をメールで提出すること。レポート課題の回答と良い質問に関する説明は次のオンライン授業の最初に解説する。学生諸君が積極的に授業に参加できるように工夫して授業を進める。適宜、授業改善を目的とする簡単なアンケートを実施して、授業内容の向上に努める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回　5 月 4 日	オンライン授業の説明	12 回の授業内容と評価の方法を説明する。
2 回　5 月 11 日	細胞膜の構造と機能	細胞膜の構造と働きについて理解する。細胞膜を介しての外界との物質のやり取りと、神経の興奮の伝播を例にして、解説する。
3 回　5 月 18 日	核の構造と染色体（1）	遺伝子を保存している核の構造について理解する。遺伝子を収納している染色体の構造と、その働きについて解説する。
4 回　5 月 25 日	核の構造と染色体（2）	染色体の末端構造であるテロメアの働きとテロメアの複製のしくみを理解する。遺伝子発現のダイナミックな調節機構を解説する。
5 回　6 月 1 日	ミトコンドリアと葉緑体（1）	エネルギーの元である ATP の合成に関わる解糖と脂肪酸分解、そしてクエン酸回路について理解する。
6 回　6 月 8 日	ミトコンドリアと葉緑体（2）	ミトコンドリアと葉緑体のしくみを理解する。ミトコンドリアの電子伝達系、葉緑体の光化学系とカルビン回路について解説する。
7 回　6 月 15 日	細胞骨格タンパク質（1）	細胞の形態維持や細胞運動に関わる細胞骨格について理解する。細胞骨格を構成する中間径繊維とアクチン繊維について解説する。
8 回　6 月 22 日	細胞骨格タンパク質（2）	細胞骨格を構成する微小管について解説する。微小管の構造と機能を理解する。
9 回　6 月 29 日	モータータンパク質	細胞の運動に関わる 3 種類のモータータンパク質、ミオシン、キネシン、ダイニンについて解説する。
10 回　7 月 6 日	細胞運動	アメーバ運動や精子の運動、細胞の内部での物質輸送について解説する。
11 回　7 月 13 日	タンパク質合成	リボソームの構造と働きを理解する。タンパク質の翻訳のしくみを解説する。
12 回	授業ナシ	授業ナシ
13 回	授業ナシ	授業ナシ
14 回	授業ナシ	授業ナシ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習のためにテキストを事前に読むこと、復習のためにテキストの演習問題を行うことが望ましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。教材として指定した沼田の「細胞学概論」の動画は必ず視聴すること。https://ocw.tsukuba.ac.jp/course/biology/cellbiology/

【テキスト（教科書）】
教科書名：「細胞生物学」
著者：　沼田治編著、千葉智樹、中野賢太郎、中田和人著
出版社：　化学同人
出版年：　2012 年第 1 版発行
価格：　3,000 円

【参考書】
参考書は指定しませんが、教材として指定した沼田の「細胞学概論」の動画は必ず視聴すること。https://ocw.tsukuba.ac.jp/course/biology/cellbiology/

【成績評価の方法と基準】
授業で「細胞学概論」の動画に関するレポート課題を課すので、期限内にレポートを提出すること。また、質問がある場合は質問をメールで提出すること。10 回のレポートの評価点で、成績評価を行うが、質問内容に関してもポジティブに評価する。

【学生の意見等からの気づき】
授業に関する「質問・コメント・感想等」、学生の忌憚ない意見をレポート送付時に書いてもらい、授業の改善に役立てる。また、学生からの質問で重要なものに関しては、次の授業の冒頭で質問に対する回答と解説を行う。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業が可能な PC を準備する。

【その他の重要事項】
オフィスアワー:月曜日の 4 時限終了後、17 ： 00 から 20 ： 00 まで
火曜日の 17 ： 00 から 20 ： 00 まで

【Outline and objectives】
Our body is said to be composed of 37.2 trillion cells. The purpose of this lesson is to understand the cells that make up our body. We develop classes that allow students to understand the actual conditions of cells, which are basic units that make up their bodies. A class that allows students to understand the activities they are experiencing everyday in their lives, how they feel and act from the outside world, acquire energy from diet, exercise using energy, etc.. I would like you to understand the essence of life by learning about the cells that make up your body.

BIO200LA

教養生物学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**不思議な生物テトラヒメナが教えてくれたこと**

沼田　治

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
テトラヒメナは、ノーベル賞に輝いたリボザイムとテロメアの発見に貢献した優れた研究材料である。現在でも、テトラヒメナを研究材料として、ヒストンの化学修飾によるエピジェネティック調節や低分子 RNA による遺伝子再編集などの優れた研究がなされている。本講義では、テトラヒメナを用いて明らかになった素晴らしい研究成果を紹介し、学生諸君が現代生物学の最先端を理解することを目的とする。さらに、学生諸君は研究者がテトラヒメナを利用して、いかに生物学の大発見に到達したかを学び、生物学の面白さとテトラヒメナの魅力を理解してもらいたい。

【到達目標】
テトラヒメナを研究材料として明らかにされた生物学上の大発見について学ぶ。リボザイムの発見が生命誕生のなぞの解明につながったこと、テロメアの発見が我々の老化のしくみの理解に貢献していること、エピジェネティック調節が個体の発生分化を調節していること、エピジェネティック調節がガン化にも関係していることなどを学ぶ。水たまりにいる単細胞生物、テトラヒメナが現代生物学の進歩に如何に貢献したかを理解し、研究材料の重要さと研究者の熱意が大発見につながること、その発見が我々の人生にも影響していることを理解してもらいたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義を主に授業は進める。随時、質問等質疑応答を行い、学生諸君が積極的に授業に参加できるように授業を進める。また、3 回目、6 回目、9 回目、12 回目の授業の後にレポート課題を出し、授業内容理解の向上を目指す。レポートと同時に授業改善を目的とする簡単なアンケートを実施する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	不思議な生物テトラヒメナ	テトラヒメナの不思議な性質を紹介する。具体的には、2 種類の核を持つこと、7 つの性を持つこと、細胞口と細胞肛門と収縮胞を持つことなど。
2 回	テトラヒメナの小核（生殖核）と大核（栄養核）の働き	テトラヒメナが持つ 2 種類の核、生殖核と栄養核の働きを、我々の体を構成する生殖細胞と体細胞と比較しながら説明する。
3 回	テトラヒメナは 7 つの性を持つ。生物の性とは何か？	テトラヒメナは 7 つの性を持つが、ほとんどの生物は 2 つの性しか持たない。生物の性とは何か、性を決めるしくみは何かを学ぶ。

4 回	テトラヒメナの繊毛を動かすモータータンパク質	精子の鞭毛運動や、テトラヒメナの繊毛運動を引きおこすモータータンパク質、ダイニンの発見と、ダイニンの性状について紹介する。
5 回	染色体末端構造テロメアの発見	染色体の末端問題と染色体末端構造であるテロメアの発見、テロメアを合成するテロメラーゼの発見について紹介する。
6 回	テロメアは生物の寿命を決めるか？	生物の寿命とは何か？ 生殖細胞、体細胞、そして不死化したガン細胞のテロメアから生物の寿命について考察する。
7 回	酵素活性を持つ RNA, リボザイムの発見	テトラヒメナの RNA が酵素活性を持つことが発見された。リボザイムの発見である。その発見の経緯と、リボザイムの働きを解説する。
8 回	リボザイムはセントラルドグマを覆すか？	セントラルドグマでは遺伝情報は「DNA→mRNA→ タンパク質」の順に伝達される。生命誕生は DNA からか？ タンパク質からか？ それが問題だ。リボザイムの発見はこの問題に解答を出した。
9 回	大核分化で生じる DNA 再編成	接合過程で、小核から大核が分化する時、DNA の大規模な再編成が起きる。我々の体の中で起きる DNA の組み換えと比較して、DNA 再編成について解説する。
10 回	大核の DNA 再編成を指揮する scnRNA	核の大規模な DNA 再編成をコントロールしている scnRNA の発見と scnRNA の働きについて解説する。
11 回	遺伝子の発現を調節するヒストンの化学修飾	大核は盛んに遺伝子発現し、小核は全く遺伝子発現しない。この違いの原因は何と DNA が巻き付いているヒストンの化学修飾であった。ヒストンの化学修飾が遺伝子発現を調節するしくみを解説する。
12 回	ヒストンの化学修飾による遺伝子発現調節はすべての生物で起きている。	ヒストンの化学修飾による遺伝子発現調節はエピジェネティック調節と呼ばれている。エピジェネティック調節による発生分化の調節について解説する。
13 回	テトラヒメナの 7 つの性を司る DNA 再編成	テトラヒメナが持つ 7 つの性が、どのような遺伝子によって調節されているか、どのように個体の性が決まるかが明らかになった。大核の DNA 再編集によって，7 つの性のから一つが選択されるしくみを説明する。
14 回	テトラヒメナが教えてくれたこと	4　5 年間テトラヒメナを研究材料として、研究してきた沼田治にテトラヒメナが教えてくれたこと。研究者と研究材料の間の交流、交感について話す。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書名：ノーベル賞に二度も輝いた不思議な生物　テトラヒメナの魅力
著者：　沼田治
出版社：　慶応義塾大学出版会
出版年：　2018 年 10 月 12 日
価格：　1,800 円

【参考書】
参考書は指定しません。

【成績評価の方法と基準】
3 回目、6 回目、9 回目、12 回目の授業の後にレポート課題を出す。4 回のレポートの評価点と期末試験の点で成績評価を行う。4 回のレポートの評価点を 50 %、期末試験の成績を 50 %として、合計 100 %として、成績評価を行う。

【学生の意見等からの気づき】
出席調査票の、「質問・コメント・感想等」の欄に学生の忌憚ない意見を書いてもらい、授業の改善に役立てる。また、学生からの質問で重要なものに関しては、次の授業の冒頭で質問に対する回答と解説を行う。

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【その他の重要事項】
オフィスアワー:月曜日の 4 時限終了後、16 ： 40 から 18 ： 00 まで

【Outline and objectives】
Tetrahymena is a research material that led to the discovery of ribozymes and the telomere, which won the Nobel Prize. Even now, discoveries such as epigenetic regulation by chemically modifying histones and genetic reediting by low-molecular RNA have been made using Tetrahymena as a research material. In this lecture, we introduce wonderful research results revealed using Tetrahymena, with the aim of students to understand the cutting edge of modern biology. In addition, students want to learn how researchers have reached a major discovery of biology by using Tetrahymena and understand the interest of biology and the wonders of Tetrahymena.

BIO200LA

教養生物学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**私たちの体を作る細胞の構造と働き**

沼田　治

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
我々の体は、37 兆 2 千億個の細胞から構成されていると言われている。この授業では、我々の体を構成する細胞について理解することを目的とする。学生諸君が自分の体を構成する基本単位である細胞の実態を理解できる授業を展開する。学生諸君が生活の中で毎日経験している活動、外界からの情報を感じて行動するしくみ、食事からエネルギーを獲得し、エネルギーを利用して運動することなどを、細胞レベルから理解することを目指す。自分の体を構成する細胞について学ぶことで、命の本質を理解してもらいたい。

【到達目標】
私たちの体を構成している細胞がどのような構造をしているのか、細胞がどのような働きをしているのかを学び、細胞が活動するエネルギーがどのように作られるのか、細胞がどのように動くのか、細胞がどのように増えるのか、細胞がどのように組織や器官を形成するのかを理解する。生命の最小単位である細胞についての最新の知見をベースとして、我々が生きているということ、生命の本質について、理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Zoom を用いたオンライン授業と、沼田の「細胞学概論」の動画の視聴の二本柱で授業を進める。スタートは 5 月 4 日（月）13 時からである。オンライン授業では授業の概要とキーポイントについて解説する。その後、各自で動画を視聴してもらいたい。「細胞学概論」の動画に関するレポート課題を課すので、期限内にレポートと質問がある場合は質問を授業支援システムで提出すること。レポート課題の回答と良い質問に関する説明は次のオンライン授業の最初に解説する。学生諸君が積極的に授業に参加できるように工夫して授業を進める。適宜、授業改善を目的とする簡単なアンケートを実施して、授業内容の向上に努める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回　5 月 4 日	オンライン授業の説明	12 回の授業内容と評価の方法を説明する
2 回　5 月 11 日	細胞膜の構造と機能	細胞膜の構造と働きについて理解する。細胞膜を介しての外界との物質のやり取りと、神経の興奮の伝播を例にして、解説する。
3 回　5 月 18 日	核の構造と染色体（1）	遺伝子を保存している核の構造について理解する。遺伝子を収納している染色体の構造と、その働きについて解説する。
4 回　5 月 25 日	核の構造と染色体（2）	染色体の末端構造であるテロメアの働きとテロメアの複製のしくみを理解する。遺伝子発現のダイナミックな調節機構を解説する。
5 回　6 月 1 日	ミトコンドリアと葉緑体（1）	エネルギーの元である ATP の合成に関わる解糖と脂肪酸分解、そしてクエン酸回路について理解する。
6 回　6 月 8 日	ミトコンドリアと葉緑体（2）	ミトコンドリアと葉緑体のしくみを理解する。ミトコンドリアの電子伝達系、葉緑体の光化学系とカルビン回路について解説する。
7 回　6 月 15 日	細胞骨格タンパク質（1）	細胞の形態維持や細胞運動に関わる細胞骨格について理解する。細胞骨格を構成する中間径繊維とアクチン繊維について解説する。
8 回　6 月 22 日	細胞骨格タンパク質（2）	細胞骨格を構成する微小管について解説する。微小管の構造と機能を理解する。
9 回　6 月 29 日	モータータンパク質	細胞の運動に関わる 3 種類のモータータンパク質、ミオシン、キネシン、ダイニンについて解説する。
10 回　7 月 6 日	細胞運動	アメーバ運動や精子の運動、細胞の内部での物質輸送について解説する。
11 回　7 月 13 日	タンパク質合成	リボソームの構造と働きを理解する。タンパク質の翻訳のしくみを解説する。
12 回	授業ナシ	ナシ
13 回	授業ナシ	ナシ
14 回	授業ナシ	ナシ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習のためにテキストを事前に読むこと、復習のためにテキストの演習問題を行うことが望ましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。教材として指定した沼田の「細胞学概論」の動画は必ず視聴すること。https://ocw.tsukuba.ac.jp/course/biology/cellbiology/

【テキスト（教科書）】
教科書名：「細胞生物学」
著者：　沼田治編著、千葉智樹、中野賢太郎、中田和人著
出版社：　化学同人
出版年：　2012 年第 1 版発行
価格：　3,000 円

【参考書】
参考書は指定しませんが、教材として指定した沼田の「細胞学概論」の動画は必ず視聴すること。https://ocw.tsukuba.ac.jp/course/biology/cellbiology/

【成績評価の方法と基準】
授業で「細胞学概論」の動画に関するレポート課題を課すので、期限内にレポートを提出すること。また、質問がある場合は質問をメールで提出すること。10 回のレポートの評価点で、成績評価を行うが、質問内容に関してもポジティブに評価する。

【学生の意見等からの気づき】
授業に関する「質問・コメント・感想等」、学生の忌憚ない意見をレポート送付時に書いてもらい、授業の改善に役立てる。また、学生からの質問で重要なものに関しては、次の授業の冒頭で質問に対する回答と解説を行う。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業が可能な PC を準備する。

【その他の重要事項】
オフィスアワー:月曜日の 4 時限終了後、17 ： 00 から 20 ： 00 まで
火曜日の 17 ： 00 から 20 ： 00 まで

【Outline and objectives】

Our body is said to be composed of 37.2 trillion cells. The purpose of this lesson is to understand the cells that make up our body. We develop classes that allow students to understand the actual conditions of cells, which are basic units that make up their bodies. A class that allows students to understand the activities they are experiencing everyday in their lives, how they feel and act from the outside world, acquire energy from diet, exercise using energy, etc.. I would like you to understand the essence of life by learning about the cells that make up your body.

BIO200LA

教養生物学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**不思議な生物テトラヒメナが教えてくれたこと**

沼田　治

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テトラヒメナは、ノーベル賞に輝いたリボザイムとテロメアの発見に貢献した優れた研究材料である。現在でも、テトラヒメナを研究材料として、ヒストンの化学修飾によるエピジェネティック調節や低分子 RNA による遺伝子再編集などの優れた研究がなされている。本講義では、テトラヒメナを用いて明らかになった素晴らしい研究成果を紹介し、学生諸君が現代生物学の最先端を理解することを目的とする。さらに、学生諸君は研究者がテトラヒメナを利用して、いかに生物学の大発見に到達したかを学び、生物学の面白さとテトラヒメナの魅力を理解してもらいたい。

【到達目標】

テトラヒメナを研究材料として明らかにされた生物学上の大発見について学ぶ。リボザイムの発見が生命誕生のなぞの解明につながったこと、テロメアの発見が我々の老化のしくみの理解に貢献していること、エピジェネティック調節が個体の発生分化を調節していること、エピジェネティック調節がガン化にも関係していることなどを学ぶ。水たまりにいる単細胞生物、テトラヒメナが現代生物学の進歩に如何に貢献したかを理解し、研究材料の重要さと研究者の熱意が大発見につながること、その発見が我々の人生にも影響していることを理解してもらいたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

講義を主に授業は進める。随時、質問等質疑応答を行い、学生諸君が積極的に授業に参加できるように授業を進める。また、3 回目、6 回目、9 回目、12 回目の授業の後にレポート課題を出し、授業内容理解の向上を目指す。レポートと同時に授業改善を目的とする簡単なアンケートを実施する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	不思議な生物テトラヒメナ	テトラヒメナの不思議な性質を紹介する。具体的には、2 種類の核を持つこと、7 つの性を持つこと、細胞口と細胞肛門と収縮胞を持つことなど。
2 回	テトラヒメナの小核（生殖核）と大核（栄養核）の働き	テトラヒメナが持つ 2 種類の核、生殖核と栄養核の働きを、我々の体を構成する生殖細胞と体細胞と比較しながら説明する。
3 回	テトラヒメナは 7 つの性を持つ。生物の性とは何か？	テトラヒメナは 7 つの性を持つが、ほとんどの生物は 2 つの性しか持たない。生物の性とは何か、性を決めるしくみは何かを学ぶ。

4 回	テトラヒメナの繊毛を動かすモータータンパク質	精子の鞭毛運動や、テトラヒメナの繊毛運動を引きおこすモータータンパク質、ダイニンの発見と、ダイニンの性状について紹介する。
5 回	染色体末端構造テロメアの発見	染色体の末端問題と染色体末端構造であるテロメアの発見、テロメアを合成するテロメラーゼの発見について紹介する。
6 回	テロメアは生物の寿命を決めるか？	生物の寿命とは何か？ 生殖細胞、体細胞、そして不死化したガン細胞のテロメアから生物の寿命について考察する。
7 回	酵素活性を持つ RNA, リボザイムの発見	テトラヒメナの RNA が酵素活性を持つことが発見された。リボザイムの発見である。その発見の経緯と、リボザイムの働きを解説する。
8 回	リボザイムはセントラルドグマを覆すか？	セントラルドグマでは遺伝情報は「DNA→mRNA→ タンパク質」の順に伝達される。生命誕生は DNA からか？ タンパク質からか？ それが問題だ。リボザイムの発見はこの問題に解答を出した。
9 回	大核分化で生じる DNA 再編成	接合過程で、小核から大核が分化する時、DNA の大規模な再編成が起きる。我々の体の中で起きる DNA の組み換えと比較して、DNA 再編成について解説する。
10 回	大核の DNA 再編成を指揮する scnRNA	大核の大規模な DNA 再編成をコントロールしている scnRNA の発見と scnRNA の働きについて解説する。
11 回	遺伝子の発現を調節するヒストンの化学修飾	大核は盛んに遺伝子発現し、小核は全く遺伝子発現しない。この違いの原因は何と DNA が巻き付いているヒストンの化学修飾であった。ヒストンの化学修飾が遺伝子発現を調節するしくみを解説する。
12 回	ヒストンの化学修飾による遺伝子発現調節はすべての生物で起きている。	ヒストンの化学修飾による遺伝子発現調節はエピジェネティック調節と呼ばれている。エピジェネティック調節による発生分化の調節について解説する。
13 回	テトラヒメナの 7 つの性を司る DNA 再編成	テトラヒメナが持つ 7 つの性が、どのような遺伝子によって調節されているか、どのように個体の性が決まるかが明らかになった。大核の DNA 再編集によって，7 つの性のから一つが選択されるしくみを説明する。
14 回	テトラヒメナが教えてくれたこと	45 年間テトラヒメナを研究材料として、研究してきた沼田治にテトラヒメナが教えてくれたこと。研究者と研究材料の間の交流、交感について話す。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書名：ノーベル賞に二度も輝いた不思議な生物　テトラヒメナの魅力
著者：　沼田治
出版社：　慶応義塾大学出版会
出版年：　2018 年 10 月 12 日
価格：　1,800 円

【参考書】
参考書は指定しません。

【成績評価の方法と基準】
3 回目、6 回目、9 回目、12 回目の授業の後にレポート課題を出す。4 回のレポートの評価点と期末試験の点で成績評価を行う。4 回のレポートの評価点を 50 %、期末試験の成績を 50 %として、合計 100 %として、成績評価を行う。

【学生の意見等からの気づき】
出席調査票の、「質問・コメント・感想等」の欄に学生の忌憚ない意見を書いてもらい、授業の改善に役立てる。また、学生からの質問で重要なものに関しては、次の授業の冒頭で質問に対する回答と解説を行う。

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【その他の重要事項】
オフィスアワー:月曜日の 4 時限終了後、16 ： 40 から 18 ： 00 まで

【Outline and objectives】
Tetrahymena is a research material that led to the discovery of ribozymes and the telomere, which won the Nobel Prize. Even now, discoveries such as epigenetic regulation by chemically modifying histones and genetic reediting by low-molecular RNA have been made using Tetrahymena as a research material. In this lecture, we introduce wonderful research results revealed using Tetrahymena, with the aim of students to understand the cutting edge of modern biology. In addition, students want to learn how researchers have reached a major discovery of biology by using Tetrahymena and understand the interest of biology and the wonders of Tetrahymena.

BIO200LA

教養生物学ＬＣ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

町田　郁子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、『命とはなにか？』という問いをテーマに掲げて、生物学の立場から生物に共通する生命機能に対する理解を深め、命について考えることを目的として展開します。地球上に存在する多種多様な生物は、すべて細胞から構成されており、生物の遺伝形質は細胞内に収納されている遺伝子によって決定されています。この、細胞・遺伝子について学ぶことによって、「生命はなにからできているのか？」、「命はどのようにしてこの世に誕生するのか？」、「なぜ病気になるのか？」などの問いに対する答えを見つけていきます。また、この非常に複雑で精巧な生命のしくみに手を加える技術が近年急速に発展していますが、再生医療等の分野へどのように応用されているのか、またどのような倫理的課題をもたらしているのかについても考えます。

【到達目標】
生命現象を理解する上で必要とされる生物学の基本的な知識を会得し、生物学に関する最近の話題を理解できるようになるとともに、命というものの存在意義について自分なりの考えを持てるようになることを目標とします。
また、頭の中で理解した事柄や自身の考えを、自分の言葉として発信して人に伝える力を高めることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
＊４月２０日より、学習支援システムに繋がりにくい状態が生じてしまったため、授業開始日を５月６日に延期します。
本授業の開始日は５月６日とし、学習支援システムに資料や課題を提示しますので必ず確認してください。
５月１３日以降の授業は、Zoom を用いた同時双方向型のオンライン授業を行います。
各回の授業計画の変更については、学習支援システムにてお伝えします。
授業は、パワーポイント資料やビデオ映像等を用いた講義形式で行います。
また、毎回授業の終わりに、その回の授業内容に関する課題に取り組んでいただきます。
（授業は、生物学初心者でも理解できるように展開します。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方についてのガイダンスおよび授業のテーマに関する導入。
第 2 回	命ある生物とは？	命ある生物とはどんな特徴をもつのか、そしてその生物を対象とする生物学とはどんな学問なのかについて概説します。
第 3 回	命の材料とは？	生物体はどんな物質からできているのか、そして生命の最小単位である細胞とはなにかについて概説します。
第 4 回	命の設計図とは？	生命活動を営むための情報をもつ DNA とはどのような働きをしているのかについて、その構造および複製のしくみ、また遺伝情報に基づいてタンパク質が作られるしくみを概説します。
第 5 回	命をつくる細胞の一生とは？	細胞の分裂や分化のしくみ、また細胞死やがん化について概説します。
第 6 回	命の誕生とは？	命はどのようにして誕生するのかについて、ひとつの受精卵から個体が形成されるまでの過程を、細胞の分裂・分化に着目しながら概説します。
第 7 回	命の要、タンパク質とは？	生体内において様々な役割を担うタンパク質の構造や機能について概説します。
第 8 回	命を支える細胞膜の機能とは？	生命活動に欠かせない細胞の機能について、細胞膜に発現している種々のタンパク質の働きに着目して概説します。
第 9 回	命をつなぐ情報伝達とは？	細胞が外部からの情報を受容し伝達するしくみについて概説します。
第 10 回	命を動かす細胞の運動とは？	細胞が周辺の環境や状況に応じて形態を変化させながら動いて個体の生命活動を支える現象について概説します。
第 11 回	命を守るしくみとは？	体内に侵入した異物に対する防御のシステムについて概説します。
第 12 回	命のしくみを利用した新しい医療とは？	細胞・遺伝子を扱う技術を用いた新たな治療法である再生医療について概説します。
第 13 回	命に手を加えるとは？	生命科学分野の技術発展がもたらす倫理的課題について、歴史的背景とともに、実験動物の扱いや、遺伝子・幹細胞に関する技術などを例にあげながら概説します。
第 14 回	授業のまとめ・試験	最終回に授業のまとめをして、試験を実施します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
授業は、基礎的な事項からスタートして土台を作り上げてゆくことにより、徐々に複雑な内容の理解が可能となるように構成されています。そのため、毎回の授業内容をしっかり復習して、不明点をなくした状態で翌週の授業に臨むようにしてください。また、新聞等で日々とりあげられる生物学に関する事柄をチェックすることにより、授業で学ぶ内容をより深く理解するように心がけてください。

【テキスト（教科書）】
テキストは使用しません。

【参考書】
必要に応じてお知らせします。

【成績評価の方法と基準】
オンライン授業の実施に伴い、成績評価の方法と基準を変更します。
各回の授業時に提出する課題（５０％）および試験（５０％）。
（必要に応じてレポート課題等を出した場合、それらも加味します。）

【学生の意見等からの気づき】
生物学に関する事柄を、できるだけ身近に感じられるように、理解しやすく整理して教えるように努めます。

【Outline and objectives】
This course introduces the basis of biological science, focusing on the principle of life. The aim of this course is to help students acquire an understanding of the mechanism of life phenomenon.

Lectures will also discuss current technologies related to cells and genes.

BIO200LA

教養生物学ＬＤ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

町田　郁子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、『人間とはなにものか？』という問いをテーマに掲げて、地球上に存在する多種多様な生物の関係性について理解を深め、その中でのヒトの特徴について生物学の立場から考えることを目的として展開します。地球上に生息するすべての生物は、自らを取り巻く環境と相互作用することにより生命活動を営んでおり、私たちヒトも例外ではありません。自分自身を知るためにも、まずは自分がどのような環境でどのようなものに囲まれて生きているのかを知る必要があるでしょう。「どうして地球上にはたくさんの種類の生物がいるのか？」、「ヒトと他の動物にはどんな共通点・相違点があるのか？」などの問いに対する答えを探りながら、ヒト（皆さん自身）が地球環境の中で他の生物と共生していくとはどのようなことなのかについて様々な側面から考えます。

【到達目標】
生物の多様性についての知識を会得し、近年大きな課題となっている生物多様性保全の重要性に関して理解を深めるとともに、ヒト（自分自身）のあり方について自分なりの考えを持てるようになることを目標とします。
また、頭の中で理解した事柄や自身の考えを、自分の言葉として発信して人に伝える力を高めることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は、パワーポイント資料やビデオ映像等を用いた講義形式で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方についてのガイダンスおよび授業のテーマに関する導入。
第 2 回	多種多様な生物とは？	地球上にはどれほどの種の生物が存在し、どのような特徴をもつのかについて、動物の分類方法を学びながら概説します。
第 3 回	生態系の中のヒトとは？	地球上の多くの生物がどのような関係性の上に存在しているのかについて、ヒトの関わりにふれながら概説します。
第 4 回	生物と地球環境のつながりとは？	ヒトを含めた全ての生物を構成している物質とは何なのか、またそれらの物質と地球環境とはどのような関わりをもつのかについて概説します。
第 5 回	生物、そしてヒトの起源とは？	地球上に生命が誕生した背景、そして生物の進化とヒトの誕生について概説します。

第 6 回	進化学とは？	ヒトはどのようにして生物の進化の謎をひも解いてきたのかについて、進化学分野の研究手法等を概説します。
第 7 回	生物の体のしくみとは？	生物の生命の維持に関わる複雑かつ巧みな体のしくみについて、ヒトと他の生物との間で共通する点・異なる点に着目しながら概説します。
第 8 回	行動の進化とは？	生物の行動と進化の関係について、また進化論が人々にどのような生物の行動と進化の関係について、また進化論がヒトの社会にどのような影響を及ぼしてきたかについて概説します。影響を及ぼしてきたかについて概説します。
第 9 回	生物の行動にみられる特徴とは？	ヒトを含めた生物の様々な行動が引き起こされるしくみや意味について概説します。
第 10 回	種の存続とは？	生物のオスとメスの特性、また種の存続に際しヒトを含む様々な生物の配偶者選びにはどのような特徴があるのかについて概説します。
第 11 回	ヒトによる動物の家畜化とは？	地球上に存在する動物の中で、ヒトの管理下で生きる家畜化された動物に着目し、ヒトと動物の関わりについて概説します。
第 12 回	ヒトの動物観とは？	ヒトは他の動物をどのように見てきたのか、そしてヒトと他の動物の共生とはどのようなことなのかについて概説します。
第 13 回	ヒトの食とは？	自然界にある「食う・食われる」という関係の中で、現代のヒトは他の生物をどのように食しているのか、命を食べるとはどのようなことなのかについて概説します。
第 14 回	授業のまとめ・試験	最終回に授業のまとめをして、試験を実施します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
授業は、基礎的な事項からスタートして土台を作り上げてゆくことにより、徐々に複雑な内容の理解が可能となるように構成されています。そのため、毎回の授業内容をしっかり復習して、不明点をなくした状態で翌週の授業に臨むようにしてください。また、新聞等で日々とりあげられる生物学に関する事柄をチェックすることにより、授業で学ぶ内容をより深く理解するように心がけてください。

【テキスト（教科書）】
テキストは使用しません。

【参考書】
必要に応じてお知らせします。

【成績評価の方法と基準】
試験（１００％）。（必要に応じてレポート課題等を出した場合、それらも加味します。）

【学生の意見等からの気づき】
生物学に関する事柄を、できるだけ身近に感じられるように、理解しやすく整理して教えるように努めます。

【Outline and objectives】
This course introduces the basis of biological science, focusing on biodiversity. The aim of this course is to help students acquire an understanding of the characteristics of human beings compared to other living things.
Lectures will also discuss harmonious symbiosis of nature and humans from many points of view.

BIO200LA

教養生物学ＬＣ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

町田　郁子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、『命とはなにか？』という問いをテーマに掲げて、生物学の立場から生物に共通する生命機能に対する理解を深め、命について考えることを目的として展開します。地球上に存在する多種多様な生物は、すべて細胞から構成されており、生物の遺伝形質は細胞内に収納されている遺伝子によって決定されています。この、細胞・遺伝子について学ぶことによって、「生命はなにからできているのか？」、「命はどのようにしてこの世に誕生するのか？」、「なぜ病気になるのか？」などの問いに対する答えを見つけていきます。また、この非常に複雑で精巧な生命のしくみに手を加える技術が近年急速に発展していますが、再生医療等の分野へどのように応用されているのか、またどのような倫理的課題をもたらしているのかについても考えます。

【到達目標】
生命現象を理解する上で必要とされる生物学の基本的な知識を会得し、生物学に関する最近の話題を理解できるようになるとともに、命というものの存在意義について自分なりの考えを持てるようになることを目標とします。
また、頭の中で理解した事柄や自身の考えを、自分の言葉として発信して人に伝える力を高めることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
＊４月２０日より、学習支援システムに繋がりにくい状態が生じてしまったため、授業開始日を５月６日に延期します。
本授業の開始日は５月６日とし、学習支援システムに資料や課題を提示しますので必ず確認してください。
５月１３日以降の授業は、Zoom を用いた同時双方向型のオンライン授業を行います。
各回の授業計画の変更については、学習支援システムにてお伝えします。
授業は、パワーポイント資料やビデオ映像等を用いた講義形式で行います。
また、毎回授業の終わりに、その回の授業内容に関する課題に取り組んでいただきます。
（授業は、生物学初心者でも理解できるように展開します。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方についてのガイダンスおよび授業のテーマに関する導入。
第 2 回	命ある生物とは？	命ある生物とはどんな特徴をもつのか、そしてその生物を対象とする生物学とはどんな学問なのかについて概説します。

第 3 回	命の材料とは？	生物体はどんな物質からできているのか、そして生命の最小単位である細胞とはなにかについて概説します。
第 4 回	命の設計図とは？	生命活動を営むための情報をもつ DNA とはどのような働きをしているのかについて、その構造および複製のしくみ、また遺伝情報に基づいてタンパク質が作られるしくみを概説します。
第 5 回	命をつくる細胞の一生とは？	細胞の分裂や分化のしくみ、また細胞死やがん化について概説します。
第 6 回	命の誕生とは？	命はどのようにして誕生するのかについて、ひとつの受精卵から個体が形成されるまでの過程を、細胞の分裂・分化に着目しながら概説します。
第 7 回	命の要、タンパク質とは？	生体内において様々な役割を担うタンパク質の構造や機能について概説します。
第 8 回	命を支える細胞膜の機能とは？	生命活動に欠かせない細胞の機能について、細胞膜に発現している種々のタンパク質の働きに着目して概説します。
第 9 回	命をつなぐ情報伝達とは？	細胞が外部からの情報を受容し伝達するしくみについて概説します。
第 10 回	命を動かす細胞の運動とは？	細胞が周辺の環境や状況に応じて形態を変化させながら動いて個体の生命活動を支える現象について概説します。
第 11 回	命を守るしくみとは？	体内に侵入した異物に対する防御のシステムについて概説します。
第 12 回	命のしくみを利用した新しい医療とは？	細胞・遺伝子を扱う技術を用いた新たな治療法である再生医療について概説します。
第 13 回	命に手を加えるとは？	生命科学分野の技術発展がもたらす倫理的課題について、歴史的背景とともに、実験動物の扱いや、遺伝子・幹細胞に関する技術などを例にあげながら概説します。
第 14 回	授業のまとめ・試験	最終回に授業のまとめをして、試験を実施します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
授業は、基礎的な事項からスタートして土台を作り上げてゆくことにより、徐々に複雑な内容の理解が可能となるように構成されています。そのため、毎回の授業内容をしっかり復習して、不明点をなくした状態で翌週の授業に臨むようにしてください。また、新聞等で日々とりあげられる生物学に関する事柄をチェックすることにより、授業で学ぶ内容をより深く理解するように心がけてください。

【テキスト（教科書）】
テキストは使用しません。

【参考書】
必要に応じてお知らせします。

【成績評価の方法と基準】
オンライン授業の実施に伴い、成績評価の方法と基準を変更します。
各回の授業時に提出する課題（５０％）および試験（５０％）。
(必要に応じてレポート課題等を出した場合、それらも加味します。)

【学生の意見等からの気づき】
生物学に関する事柄を、できるだけ身近に感じられるように、理解しやすく整理して教えるように努めます。

【Outline and objectives】
This course introduces the basis of biological science, focusing on the principle of life. The aim of this course is to help students acquire an understanding of the mechanism of life phenomenon.
Lectures will also discuss current technologies related to cells and genes.

BIO200LA

教養生物学ＬＤ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

町田　郁子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、『人間とはなにものか？』という問いをテーマに掲げて、地球上に存在する多種多様な生物の関係性について理解を深め、その中でのヒトの特徴について生物学の立場から考えることを目的として展開します。地球上に生息するすべての生物は、自らを取り巻く環境と相互作用することにより生命活動を営んでおり、私たちヒトも例外ではありません。自分自身を知るためにも、まずは自分がどのような環境でどのようなものに囲まれて生きているのかを知る必要があるでしょう。「どうして地球上にはたくさんの種類の生物がいるのか？」、「ヒトと他の動物にはどんな共通点・相違点があるのか？」などの問いに対する答えを探りながら、ヒト（皆さん自身）が地球環境の中で他の生物と共生していくとはどのようなことなのかについて様々な側面から考えます。

【到達目標】
生物の多様性についての知識を会得し、近年大きな課題となっている生物多様性保全の重要性に関して理解を深めるとともに、ヒト（自分自身）のあり方について自分なりの考えを持てるようになることを目標とします。
また、頭の中で理解した事柄や自身の考えを、自分の言葉として発信して人に伝える力を高めることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は、パワーポイント資料やビデオ映像等を用いた講義形式で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方についてのガイダンスおよび授業のテーマに関する導入。
第 2 回	多種多様な生物とは？	地球上にはどれほどの種の生物が存在し、どのような特徴をもつのかについて、動物の分類方法を学びながら概説します。
第 3 回	生態系の中のヒトとは？	地球上の多くの生物がどのような関係性の上に存在しているのかについて、ヒトの関わりにふれながら概説します。
第 4 回	生物と地球環境のつながりとは？	ヒトを含めた全ての生物を構成している物質とは何なのか、またそれらの物質と地球環境とはどのような関わりをもつのかについて概説します。
第 5 回	生物、そしてヒトの起源とは？	地球上に生命が誕生した背景、そして生物の進化とヒトの誕生について概説します。
第 6 回	進化学とは？	ヒトはどのようにして生物の進化の謎をひも解いてきたのかについて、進化学分野の研究手法等を概説します。
第 7 回	生物の体のしくみとは？	生物の生命の維持に関わる複雑かつ巧みな体のしくみについて、ヒトと他の生物との間で共通する点・異なる点に着目しながら概説します。
第 8 回	行動の進化とは？	生物の行動と進化の関係について、また進化論が人々にどのような生物の行動と進化の関係について、また進化論がヒトの社会にどのような影響を及ぼしてきたかについて概説します。影響を及ぼしてきたかについて概説します。
第 9 回	生物の行動にみられる特徴とは？	ヒトを含めた生物の様々な行動が引き起こされるしくみや意味について概説します。
第 10 回	種の存続とは？	生物のオスとメスの特性、また種の存続に際しヒトを含む様々な生物の配偶者選びにはどのような特徴があるのかについて概説します。
第 11 回	ヒトによる動物の家畜化とは？	地球上に存在する動物の中で、ヒトの管理下で生きる家畜化された動物に着目し、ヒトと動物の関わりについて概説します。
第 12 回	ヒトの動物観とは？	ヒトは他の動物をどのように見てきたのか、そしてヒトと他の動物の共生とはどのようなことなのかについて概説します。
第 13 回	ヒトの食とは？	自然界にある「食う・食われる」という関係の中で、現代のヒトは他の生物をどのように食しているのか、命を食べるとはどのようなことなのかについて概説します。
第 14 回	授業のまとめ・試験	最終回に授業のまとめをして、試験を実施します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
授業は、基礎的な事項からスタートして土台を作り上げてゆくことにより、徐々に複雑な内容の理解が可能となるように構成されています。そのため、毎回の授業内容をしっかり復習して、不明点をなくした状態で翌週の授業に臨むようにしてください。また、新聞等で日々とりあげられる生物学に関する事柄をチェックすることにより、授業で学ぶ内容をより深く理解するように心がけてください。

【テキスト（教科書）】
テキストは使用しません。

【参考書】
必要に応じてお知らせします。

【成績評価の方法と基準】
試験（１００％）。（必要に応じてレポート課題等を出した場合、それらも加味します。）

【学生の意見等からの気づき】
生物学に関する事柄を、できるだけ身近に感じられるように、理解しやすく整理して教えるように努めます。

【Outline and objectives】
This course introduces the basis of biological science, focusing on biodiversity. The aim of this course is to help students acquire an understanding of the characteristics of human beings compared to other living things.
Lectures will also discuss harmonious symbiosis of nature and humans from many points of view.

CHM200LA

教養化学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**エネルギーの科学**

向井　知大

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
物質の変化には、エネルギーの出入りが伴います。社会や生命はこれらを上手に利用することで活動しています。エネルギーを題材にして身の回りの現象や物質について理解を深め、現在の我々の生活を支えている技術に対する興味を持って下さい。

【到達目標】
エネルギーについて原子核や電子の振る舞いをもとに理解し、科学的な思考で物事を説明する能力を高めることを目標とします。エネルギー問題に関する近年の話題について、自分なりの考察ができるようになることを目標にして下さい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は５月６日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。
本科目は抽選科目です。授業開始前に抽選に参加する必要があります。
抽選の結果当選した学生のみ、履修をすることができます。
抽選エントリー日時： 4 月 15 日（水）午前 10 ： 00〜4 月 20 日（月）午前 9 ： 00
詳細は、以下に掲載の「2020 年度 ILAC 科目/市ヶ谷基礎科目大人数授業　抽選ガイド」
(https://hosei-rinji.com/ilac/rishuguide2020/) を確認してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	講義計画と概要についての説明
第 2 回	エネルギーの基礎	エネルギーの定義やエネルギー変換についての概説
第 3 回	原子の構造	原子を構成する成分とそれらの性質について
第 4 回	電子と電気	電磁誘導と発電機の仕組みについて
第 5 回	放射性同位体	原子核の壊変について
第 6 回	原子力発電	核分裂連鎖反応について
第 7 回	原子爆弾と核融合	ウラン濃縮や臨界量について
第 8 回	電磁波のエネルギー	電磁波の性質と光量子仮説について
第 9 回	化学結合のエネルギー	化学結合が形成されるしくみについて
第 10 回	有機化合物	炭素原子を含む化学物質の構造
第 11 回	砂糖のエネルギー	分子の立体構造と、糖類の代謝について
第 12 回	エネルギー物質	爆薬や危険物の特徴について
第 13 回	蓄電池と燃料電池	化学電池の原理と変遷について
第 14 回	まとめ	これまでの内容の復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
講義の内容に関連すると考えられる現象や用語について、各自が興味を持って書籍や Web 検索などで調査してみて下さい。本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
使用しません。毎時間プリントを配布します。

【参考書】
使用しません。

【成績評価の方法と基準】
期末試験により評価します。(配分 100%)

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【Outline and objectives】
This course introduces fundamental principles of familiar natural phenomena. The aim of the course is to improve students' science literacy.

CHM200LA

教養化学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**エネルギーと化学**

中島　弘一

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業ではエネルギーと環境をテーマに、エネルギーを作り出す仕組みとそれに伴う環境問題について理解することを目標にします。
原子力は事故があったときの放射能漏れだけが問題なのではありません。温室効果ガスと地球温暖化も理屈を知っておく必要があります。太陽電池や燃料電池もそのメリット、デメリットを知っておく必要があります。社会の一員として今後のエネルギー利用を、問題点を理解したうえで、自らが適切に判断できる理解力を養います。

【到達目標】
原子力エネルギーとは何か、利用に際してどういう問題があるのかという知識が身につく。石油や石炭を燃やしてどのように電気に変換されるのか？ 温暖化とどうリンクしているのかを理解できる。自然エネルギーが抱える問題点は何か？ 水素を利用した燃料電池の特徴に関する知識が得られる。また、現状残されている課題を知識として得ることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
原子の構造から放射能や原子力を学び、化学結合からなぜ燃えると熱が発生するかを理解することができます。太陽電池や燃料電池も原子や分子の中の電子の動きで理解することができます。これらをいずれも化学の基礎から講義形式で解説し、あわせて社会的な問題も考察したいと思います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	化学の基礎（1）	原子の構造と電子配置について振り返ります。
第 2 回	化学の基礎（2）	原子量と質量数、モルの考え方を理解します。
第 3 回	原子力エネルギーとその源は何か	質量がエネルギーに変換されること、どういう核変化がエネルギーを生み出すのかを学びます。
第 4 回	放射能とは何か	どういう物質が放射能を持つのか、放射能の特質と核分裂反応との関係を学びます。
第 5 回	放射能の人体に与える影響について	過去に日本や海外で起こった原子力関連の事故を振り返り、人体への影響を学びます。
第 6 回	原子力発電の構造と種類	原子力発電の構造を理解し、その特徴を学びます。
第 7 回	原子力の問題点	プルトニウムやその他の放射性廃棄物の処理について考察します。
第 8 回	化石燃料の種類と分子構造の違い	石油、石炭、天然ガスの特徴を学びます。
第 9 回	燃焼による発熱の仕組み	共有結合の考え方、酸素との反応によるエネルギーの発生の仕組みを学びます。
第 10 回	化石燃料の問題点	化石燃料の利用に伴う問題点 (二酸化炭素による温暖化を含む）を考察します。
第 11 回	既存のエネルギーシステムの問題点	原子力、火力、水力発電のエネルギー変換効率の低さや電力の貯蔵が難しいなどその問題点を整理します。
第 12 回	自然エネルギーの利用と問題点	太陽光、風力、地熱発電などの自然エネルギーの特徴を学びます。
第 13 回	水素エネルギーと燃料電池	エネルギー源として水素の利用に伴う問題点を学びます。
第 14 回	まとめ	授業全体の振り返りを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。テーマや内容に記載のある項目について、中学校や高校の教科書の関連のあるところを復習してくるとともに、インターネットでの検索によって事前に学習する。

【テキスト（教科書）】
授業内で適宜プリントを配布します。

【参考書】
エネルギー資源学会編「エネルギーと未来社会」, 省エネルギーセンター,1990.

【成績評価の方法と基準】
毎時限、講義の最後に小テストを行い、その結果（20 %）と期末試験の成績（80 %）をもとに評価する。

【学生の意見等からの気づき】
2011 年３月の大震災のため特に興味を持って授業に臨む学生さんが多く、原子力に関しては今年もできるだけ詳しく解説したいと考えています。

【学生が準備すべき機器他】
使いません。

【その他の重要事項】
　専門用語がいろいろ出てきます。もちろん、始めに説明をしますが、同じ説明は二度も行いません。従って、欠席や遅刻があれば、それ以降の内容が理解できなくなることが予想されます。

【Outline and objectives】
This course introduces the mechanism of producing energy from atomic energy and fossil fuels and also environmental issues related with them to students taking this course. It also deals with performance of new energy sources such as solar, wind, geothermal energies, and especially hydrogen energy.

CHM200LA

教養化学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**身近な食や健康に関する環境問題**

中島　弘一

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
科学技術の発達によって、人類は着実に生命のなぞを解き明かしつつあります。そして不完全ながらもその知識をもとに、多種多様な薬品、食品添加物、あるいは技術が生み出され応用されて来ています。ホルモンの仕組みから筋肉増強剤や避妊薬の開発、遺伝子操作による害虫や農薬に強い作物への改良、倫理的な問題が不透明なまま利用されているものも少なくありません。この授業では、はじめに過去の公害事例についてその原因等を概説した後、日用品や食品など、身の回りの化学物質についての環境問題を取り上げながら、生命を構成する物質（糖質、脂質、たんぱく質、核酸）の働きなどとの関連を解説します。

【到達目標】
過去の公害問題の概要を理解する。
生命に関係する物質がどういう分子構造をもち、どのような働きを持って機能しているかを理解することができる。例えば、食事を取って、それがエネルギーに変換される、あるいは、身体そのものに変化する仕組みを理解できる。
体の中での物質の認識の仕組みを理解できる。例えば、免疫反応の仕組みや、でんぷんを消化できて、セルロースを消化できない理由を理解できる。
合成品が生命に与える影響を理解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
（授業は 4 月 27 日から、学習支援システムを使って始めます。初日に、授業内容や当分の間の授業の進め方などの説明を行います。27 日にまずは学習支援システムにアクセス願います。）講義形式ですすめます。質問等は適宜授業内で受け付けますが、リアクションペーパーに書かれたものは翌週、解説します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	日本の過去の公害事例（1）	明治に始まる鉱山、精錬からの環境問題について
第 2 回	日本の過去の公害事例（2）	昭和の高度成長期にあった工場廃液、排ガスによる環境問題について
第 3 回	有機化合物の基礎	有機化合物の結合と構造、反応性について解説します。
第 4 回	日本の過去の公害事例（3）	有機塩素系化合物による環境汚染について
第 5 回	糖質（1）	エネルギー源としての利用だけではない糖質の多様性を学びます
第 6 回	糖質（2）	砂糖の歴史や合成甘味料などの食品添加物の紹介と味覚についての話題を紹介します。
第 7 回	脂質（1）	脂質の特徴と洗剤のしくみについて学びます
第 8 回	脂質（2）	コレステロールや、ステロイドなどのドーピングの話題を紹介します。
第 9 回	窒素化合物の働きと代謝（1）	生命にとって重要な働きのあるアミノ酸とタンパク質の働きを学び、老化との関係について解説します。
第 10 回	窒素化合物の働きと代謝（2）	核酸と核酸塩基の多様な働き、呼吸によるエネルギーの獲得について学びます。
第 11 回	体内での物質認識（1）	アレルギー、免疫反応の仕組みを学びます。
第 12 回	体内での物質認識（2）	味覚と嗅覚の仕組みを学びます。
第 13 回	薬物汚染	大麻、覚せい剤、麻薬など、その危険性について学びます。
第 14 回	まとめ	全般的な振り返りを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
テーマや内容に関係する項目について、中学校や高校の教科書の関連のあるところを復習するとともに、インターネットでの検索によって事前に学習する。

【テキスト（教科書）】
特に使いません、適宜プリントを配布します。

【参考書】
取り上げる項目が多岐にわたるため、適当な参考書が見当たりません。気になるキーワードを使用して図書館で検索してみてください。

【成績評価の方法と基準】
基本的には期末試験の成績（80 %）をもとにしますが、毎回出席を取り、授業への積極的な参加度（20 %）も勘案します。

【学生の意見等からの気づき】
できるだけ身近な物質を例に挙げて説明をしていますが、網羅的になりすぎて、その関係の理解が難しいと感じる人が多いようです。ポイントをもっと明確にする必要があると考えています。

【その他の重要事項】
たくさんの化学物質を取り上げ、分子構造とともにその性質を考えます。個々の物質の名称や構造を暗記する必要はありませんが、その違いがどこにあるのかを知ってもらう必要があり、複雑な分子構造やカタカナで表記された物質名が出てきます。化学の基礎から説明を行いますが、繰り返し同じことは説明しません。したがって、欠席をした場合などは翌週以降の授業が理解できなくなる可能性があります。欠席、遅刻は単位習得に大きく影響します。

【Outline and objectives】
This course introduces the functions of chemical compounds related with life and also the risk of synthetic chemicals applied to foods, cosmetics or drugs to students taking this course. It also enhances the mechanism of material recognition in our body.

CHM200LA

教養化学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**環境問題を考えるための化学**

西村　直美

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
現在、地球が直面している環境問題は深刻である。環境問題を解決するためには、その問題点をメカニズムから理解することが大切である。そのためには基本的な化学の理解が必須である。本講座は環境問題を考えることを最終目的とするが、まずはこれに必須な化学の知識を身につけてもらうことを目的とした。

【到達目標】
最終的には現在地球が直面している問題点を理解してもらい、その解決策を探るために必要な知識としての化学を理解してもらうことが目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
はじめの 3 回はこの授業を受ける上で必要な化学の習得に努めます。その後は様々な環境問題を取り上げて、化学的な見地から説明する予定です。質問は随時受け付けており、それを基に授業を進めていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
No.1	イントロダクション	本講座を理解するのに必要な基本的な化学法則、構造式、単位などをざっと説明。個々人がどれだけの知識があるかのミニテストを行う。
No.2	化学基礎 1	これから講義で必要な化学の基礎を集中学習
No.3	化学基礎 2	これから講義で必要な化学の基礎を集中学習
No.4	化学基礎 3	これから講義で必要な化学の基礎を集中学習
No.5	小テスト	これまでの学習を振り返る
No.6	世界の環境問題	大きなトピックとして話すほどではないが、個々の環境問題を取り上げる
No.7	オゾン層破壊	オゾン層破壊のメカニズムについて
No.8	大気汚染の健康への影響	大気汚染全般と酸性雨について。さらにその人体への影響
No.9	温室効果ガス	温室効果ガスとはなにか
No.10	小テスト	これまでの学習を振り返る
No.11	ゴミ問題から土壌汚染まで	なぜゴミの分別が必要なのか。環境を破壊するゴミ問題に関して
No.12	水質汚染と水質浄化	汚染水に含まれる化学物質と水質浄化法
No.13	エネルギー	現行の発電をメインに、新エネルギー等も学習する
No.14	テスト	最終テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
レポート、及びテスト前の復習として春学期中を通じで約 10 時間の授業外学習を必要とします。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
なし。適宜プリントを配布します。講義で使うパワーポイントを授業支援システムにアップします。必要ならそれを印刷して持参してください。

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
出席 (10 %)、小テスト (20 %)、最終テスト (40 %)、リアクションペーパー (30 %) を総合的に評価します。テストだけ受験しても単位は取れません。

【学生の意見等からの気づき】
「私たち文系なので、わかりやすく教えてください」とコメントいただくので、わかりやすく、急がずに授業を進めていきます。毎回、質問に答える時間を多くとって、なるべく授業中に疑問点を解消するように努めていきます。

【学生が準備すべき機器他】
なし。ただし、自宅もしくは学内で授業支援システムに接続できることが望ましい。

【その他の重要事項】
必ずしも化学が好きである必要はありませんが、新しいことを知りたいという熱意があることが望ましい。

【Outline and objectives】
One of the most pressing issues the Earth is facing is environmental problems. Such environmental problems are universal issues, so all the people on the earth should cooperate to solve these problems. At the beginning of this course, each environmental problem will be focused from the chemical viewpoint. Then, the students with different backgrounds will delve into the matters. The ultimate goal of this course is that we think about these problems deeply by sharing possible solutions with each other.

CHM200LA

教養化学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**エネルギーの科学**

中田　和秀

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
近年、現代文明の成長や持続性への関心から、各種エネルギー資源について注目が集まっています。それらの話題を理解するためには、科学的な考察が必要不可欠です。本授業では、現代文明が大きく依存している化石燃料について利用の実態を学習し、それらが枯渇の危機に瀕していることを理解します。また、新たなエネルギー社会構築の可能性について議論します。これらの話題を化学の視点から理解することが本授業の目的です。

【到達目標】
本授業では、化石燃料である石炭、石油、天然ガスについて、その構造、性質、燃焼反応、燃焼熱等について学習します。また、新しいエネルギー社会として提唱されている水素経済社会やメタノール経済社会について学習します。これらの話題を的確に理解するために必要な化学理論（化学結合論、熱力学、結合エネルギー等）を合わせて習得することが到達目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
新型コロナウイルスの感染拡大のため、本授業はオンラインで行われます。履修者は、毎回、学習支援システムを通して授業メモやスライド資料をダウンロードします。また、必要に応じてプリント教材を配布します。履修者は、授業メモをよく読み、スライド資料・プリント教材や教科書とあわせて内容をよく理解してください。その際、自分なりのノート（レジュメ）を作成することをお勧めします。質問等は学習支援システムを通して受付けます。その後、その回の内容に関して興味を持った箇所を、発展的な読書やインターネット上の資料調査を通してより深く学習して下さい。春学期中に何度かレポート課題を課しますので、指示にしたがってレポートを学習支援システムを利用して提出します。本授業は、化学の知識が無くても授業を理解できるように配慮します。なお、状況に応じて授業計画が変更になることがありますが、その場合は、学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日は 5 月 7 日（木）とし、この日までに第 1 回「イントロダクション」の資料を授業支援システムで提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	講義計画と学習の仕方について講義する。
第 2 回	物質とは？	物質の基本単位である分子について学習する。
第 3 回	化学反応	物質の変化、すなわち、化学反応について学習する。
第 4 回	反応熱・エネルギー	化学反応にともなって反応系から出入りする反応熱について学習する。また、その他のエネルギー形態についても解説する。
第 5 回	石炭	現代文明で大きな役割を演じている石炭の性質や用途について学習する。
第 6 回	石油（1）	現代文明で大きな役割を演じている石油の性質や精製について学習する。
第 7 回	石油（2）	現代文明で大きな役割を演じている石油の用途について学習する。
第 8 回	天然ガス・その他の化石燃料	現代文明で大きな役割を演じている天然ガスの性質や用途について学習する。また、その他の化石燃料について紹介する。
第 9 回	水素経済社会（1）	将来のエネルギー資源の候補である水素について、性質や用途を学習する。
第 10 回	水素経済社会（2）	水素を利用する社会システム（水素経済社会）について、その長所と短所を学習する。
第 11 回	メタノール経済社会（1）	将来のエネルギ資源の候補であるメタノールおよびジメチルエーテルについて、性質や用途を学習する。
第 12 回	メタノール経済社会（2）	メタノールを利用する社会システム（メタノール経済社会）について学習する。
第 13 回	該当無し	該当無し
第 14 回	該当無し	該当無し

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。できるだけ早い段階で、教科書を通読して学習に臨んでください。各回終了後は、発展的な読書を行うと共に、指示にしたがってレジュメ作成やレポート作成等を行ってください。

【テキスト（教科書）】
下記書籍を教科書として使用しますので、各自購入してください。教科書は、法政大学生協 Web サイトにて購入することができます。
.
書名：新版　エネルギーの科学（第２版）
著者名：安井伸郎
出版社：三共出版

【参考書】
授業中に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
成績は、レポート（100%）によって決定されます。レポート課題の詳細については、授業内でお伝えします。

【学生の意見等からの気づき】
昨年度の授業内容について概ね好評であったので今年度も同様に授業を進めます。

【学生が準備すべき機器他】
PC やタブレット端末等、オンライン授業に必要な機器を準備しておく必要があります。

【その他の重要事項】
新型コロナウイルスの感染状況により、授業形態や内容などが今後変更になることもあります。その場合には、学習支援システムを通してお知らせします。

【Outline and objectives】
In recent years, various kinds of energy resources are attracting attention in connection with the interest in the growth and sustainability of modern civilization. To understand such topics, natural sciences play crucial roles. In this lecture, the actual state of use of fossil fuels on which modern civilization largely depend will be discussed to understand that such the fuels are on the crisis of exhaustion. In addition, some ideas that may bring sustainable civilization will be presented. Understanding chemistry fundamental to such topics is the aim of this lecture.

CHM200LA

教養化学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**エネルギーの科学**

中田　和秀

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
近年、現代文明の成長や持続性への関心から、各種エネルギー資源について注目が集まっています。それらの話題を理解するためには、科学的な考察が必要不可欠です。本授業では、現代文明が大きく依存している化石燃料について利用の実態を学習し、それらが枯渇の危機に瀕していることを理解します。また、新たなエネルギー社会構築の可能性について議論します。これらの話題を化学の視点から理解することが本授業の目的です。

【到達目標】
本授業では、化石燃料である石炭、石油、天然ガスについて、その構造、性質、燃焼反応、燃焼熱等について学習します。また、新しいエネルギー社会として提唱されている水素経済社会やメタノール経済社会について学習します。これらの話題を的確に理解するために必要な化学理論（化学結合論、熱力学、結合エネルギー等）を合わせて習得することが到達目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
新型コロナウイルスの感染拡大のため、本授業はオンラインで行われます。履修者は、毎回、学習支援システムを通して授業メモやスライド資料をダウンロードします。また、必要に応じてプリント教材を配布します。履修者は、授業メモをよく読み、スライド資料・プリント教材や教科書とあわせて内容をよく理解してください。その際、自分なりのノート（レジュメ）を作成することをお勧めします。質問等は学習支援システムを通して受付けます。その後、その回の内容に関して興味を持った箇所を、発展的な読書やインターネット上の資料調査を通してより深く学習して下さい。春学期中に何度かレポート課題を課しますので、指示にしたがってレポートを学習支援システムを利用して提出します。本授業は、化学の知識が無くても授業を理解できるように配慮します。なお、状況に応じて授業計画が変更になることがありますが、その場合は、学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日は 5 月 8 日（金）とし、この日までに第 1 回「イントロダクション」の資料を授業支援システムで提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	講義計画と学習の仕方について講義する。
第 2 回	物質とは？	物質の基本単位である分子について学習する。
第 3 回	化学反応	物質の変化、すなわち、化学反応について学習する。
第 4 回	反応熱・エネルギー	化学反応にともなって反応系から出入りする反応熱について学習する。また、その他のエネルギー形態についても解説する。
第 5 回	石炭	現代文明で大きな役割を演じている石炭の性質や用途について学習する。
第 6 回	石油（1）	現代文明で大きな役割を演じている石油の性質や精製について学習する。
第 7 回	石油（2）	現代文明で大きな役割を演じている石油の用途について学習する。
第 8 回	天然ガス・その他の化石燃料	現代文明で大きな役割を演じている天然ガスの性質や用途について学習する。また、その他の化石燃料について紹介する。
第 9 回	水素経済社会（1）	将来のエネルギー資源の候補である水素について、性質や用途を学習する。
第 10 回	水素経済社会（2）	水素を利用する社会システム（水素経済社会）について、その長所と短所を学習する。
第 11 回	メタノール経済社会（1）	将来のエネルギ資源の候補であるメタノールおよびジメチルエーテルについて、性質や用途を学習する。
第 12 回	メタノール経済社会（2）	メタノールを利用する社会システム（メタノール経済社会）について学習する。
第 13 回	該当無し	該当無し
第 14 回	該当無し	該当無し

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。できるだけ早い段階で、教科書を通読して学習に臨んでください。各回終了後は、発展的な読書を行うと共に、指示にしたがってレジュメ作成やレポート作成等を行ってください。

【テキスト（教科書）】
下記書籍を教科書として使用しますので、各自購入してください。教科書は、法政大学生協 Web サイトにて購入することができます。
.
書名：新版　エネルギーの科学（第２版）
著者名：安井伸郎
出版社：三共出版

【参考書】
授業中に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
成績は、レポート（100%）によって決定されます。レポート課題の詳細については、授業内でお伝えします。

【学生の意見等からの気づき】
昨年度の授業内容について概ね好評であったので今年度も同様に授業を進めます。

【学生が準備すべき機器他】
PC やタブレット端末等、オンライン授業に必要な機器を準備しておく必要があります。

【その他の重要事項】
新型コロナウイルスの感染状況により、授業形態や内容などが今後変更になることもあります。その場合には、学習支援システムを通してお知らせします。

【Outline and objectives】
In recent years, various kinds of energy resources are attracting attention in connection with the interest in the growth and sustainability of modern civilization. To understand such topics, natural sciences play crucial roles. In this lecture, the actual state of use of fossil fuels on which modern civilization largely depend will be discussed to understand that such the fuels are on the crisis of exhaustion. In addition, some ideas that may bring sustainable civilization will be presented. Understanding chemistry fundamental to such topics is the aim of this lecture.

HSS200LA

健康の科学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

清野　諭

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「健康の科学 LA」では、総論と「青年期、壮年期、中年期の健康づくり」を主要テーマとして学習する。本授業を通して、健康管理に関する基本的な知識を習得し、身近な健康課題について考える。

【到達目標】
1. 青年期〜中年期に生じる健康問題とその基本的な予防・対処法について理解する。
2. 学習したことを自身や家族の健康づくりに役立てる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。
本授業の開始日は 5 月 11 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス 健康を測るものさし	授業の概要説明、健康指標の国際比較 健康の定義、平均余命と健康余命
第 2 回	地域特性と健康	都道府県別にみた健康寿命やがんの罹患率の差異とその要因
第 3 回	肥満とメタボリックシンドローム	メタボリックシンドロームとは何か
第 4 回	高血圧	高血圧の診断、要因と予防法
第 5 回	糖尿病と脂質異常症	糖尿病、脂質異常症の診断、要因と予防法
第 6 回	骨の健康	骨粗鬆症の診断、要因と予防法
第 7 回	がん、COPD	がん、COPD の現状と予防
第 8 回	体重管理の理論と実際	確かな減量方法と実例
第 9 回	健康づくりのための食事	適切な食習慣とは
第 10 回	健康づくりのための運動	適切な運動習慣とは 健康づくりのための身体活動基準
第 11 回	健康づくり無関心層	無関心層にはたらきかけるための理論と実際
第 12 回	現場における健康行動促進事例	つい健康行動を実践してしまうための仕掛け
第 13 回	健康経営	健康経営とは 企業内での健康づくり
第 14 回	メンタルヘルス まとめ	自身の精神的健康状態を評価する 授業全体の総括と総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
配布資料をもとに、授業内容を復習すること。本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とする。今日では、メディア（テレビ、新聞、インターネットなど）を通して、多くの健康情報が発信されている。これらの情報に関心を持ち、正しい情報かどうかについて考える姿勢を身につけること。

【テキスト（教科書）】
特に指定しない。授業テーマに合わせた資料を配布する。

【参考書】
適宜、関連する書籍などを授業のなかで紹介する。

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
講義だけではなく、健康づくりの課題について考える機会を設ける予定である。

【その他の重要事項】
授業の進捗状況によって、若干の変更があり得る。

【Outline and objectives】
In this class, we will study the general topic and "Maintaining Health in Adolescent, Mature and Middle Ages" as the main theme. Through this class, students acquire basic knowledge on health management and think about familiar health problems.

HSS200LA

健康の科学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

阿部　巧

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
健康の科学 LB」では、「健康の科学 LA」で学習した内容に続いて、「高齢期の健康づくり」を主要テーマとして学習する。特に、現在の日本は世界でも類を見ない超高齢社会を迎えている。本授業を通して、日本が直面している少子・高齢化問題に対して、どのように貢献できるかについて考える。また、高齢期の健康問題には、若齢期の生活習慣が影響するものもあるため、ライフコースアプローチについて理解する。

【到達目標】
1. 高齢期に生じる健康問題とその基本的な予防・対処法について理解する。
2. 学習したことを自身や家族の健康づくりに役立てる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義を中心に各テーマの学習を進める。毎回の授業終了時に、テーマに関する自身の考えや意見・質問などをまとめたリアクションペーパーの提出を求める。提出された意見や質問は次の授業時に紹介・解説する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業概要の説明
第 2 回	本邦の高齢化の現状	高齢化の現状と要因・課題
第 3 回	高齢期の健康：生活機能と体力	高齢期における生活機能と体力の特徴
第 4 回	高齢期の健康：老年症候群（転倒）	高齢者における転倒の現状と予防法
第 5 回	高齢期の健康：老年症候群（低栄養）	高齢者における低栄養の現状と予防法
第 6 回	高齢期の健康：老年症候群（尿失禁、閉じこもり）	高齢者における尿失禁、閉じこもりの現状と予防法
第 7 回	高齢期の健康：老年症候群（うつ、認知症）	高齢者におけるうつ、認知症の現状と予防法
第 8 回	高齢期の健康：フレイル、ロコモティブシンドローム、サルコペニア	高齢者におけるフレイル、ロコモティブシンドローム、サルコペニアの意味、現状と予防法
第 9 回	健康づくりの三本柱：運動	高齢者を対象とした運動処方
第 10 回	健康づくりの三本柱：食習慣	高齢者を対象とした食習慣へのアプローチ
第 11 回	健康づくりの三本柱：社会参加	高齢期における社会参加の重要性
第 12 回	超高齢者の生活習慣	百寿者の生活習慣から探る健康長寿の要因
第 13 回	地域・職域での健康づくり：介護予防の方法論	地域に介護予防の取り組みを広げる方法
第 14 回	地域・職域での健康づくり：介護予防の実例	さまざまな地域や職域における介護予防の取り組みについて実例の紹介

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
配布資料をもとに、授業内容を復習すること。また、今日では、メディア（テレビ、新聞、インターネットなど）を通して、多くの健康情報が発信されている。これらの情報に関心を持ち、正しい情報かどうかについて考える姿勢を身につけること。本授業の準備、復習時間は１回の授業につき各２時間（計４時間）以上を標準とする。

【テキスト（教科書）】
特に指定しない。授業テーマに合わせた資料を配布する。

【参考書】
適宜、関連する書籍などを授業のなかで紹介する。

【成績評価の方法と基準】
授業ごとのリアクションペーパー（授業への参加・取り組み・理解度： 50%）、レポート課題（50%）

【学生の意見等からの気づき】
講義だけではなく、健康づくりの課題について考える機会を設ける予定である。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
授業の進捗状況によって、若干の変更があり得る。

【Outline and objectives】
The health science LB aims to learn about health promotion among older adults as a next step of the health science LA. Japan has been a super-aged society. This class provides the opportunity to understand public issues related to a declining birth rate and an aging population in Japan and a life course approach.

HSS200LA

健康の科学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

谷本　都栄

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
人生 100 年時代を迎え人々の生き方が多様化する中で、身体的な健康だけでなく、生きがいや人間の尊厳をも含めたホリスティック・ヘルス（包括的健康）の視点が重要になってきている。本講義では、バイオ・サイコ・ソーシャル・ヘルスに関わる様々なトピックスから個人の健康や社会の健康につい考え、ウェルネスの確立に向けて自ら実践に結びつけていくことを目指す。

【到達目標】
・健康の概念や健康観の変遷から、健康とは何かについて理解を深める。
・包括的健康の視点から、自己の生活の質や地域の課題について考える。
・個人及び社会におけるウェルネスの確立に向けて主体的に行動できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
・本授業の開始日は 4 月 24 日（金）とします。
・各回の授業計画の変更については学習支援システムで提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の概要、授業の進め方
第 2 回	健康観・健康概念の多様化	世界における健康観・健康概念がどのように多様化してきたかについて理解を深める。
第 3 回	日本における健康観の変遷	日本における健康観・健康概念の変遷について、時代背景を踏まえて理解を深める。
第 4 回	ホリスティック・ヘルスとは	ホリスティック・ヘルスの視点から現代人の心身の健康について考える。
第 5 回	心身の健康とストレス特性	自己の身体的・精神的・社会的ストレス度を測り、ストレス特性を知る。
第 6 回	ストレスマネジメント	自己のストレス特性に応じたストレス対処、セルフマネジメントについて学ぶ。
第 7 回	日本人の生活と健康課題	我が国の健康政策から日本人の生活と健康課題について理解を深める。
第 8 回	健康のための環境づくり： 0 次予防の考え方	健康のための環境づくりの先進事例をとおして地域の課題について考える。
第 9 回	健康のための環境づくり：各領域の取り組み事例	健康のための環境づくりの先進事例をとおして地域の課題について考える。
第 10 回	ライフサイクルと健康	ライフサイクル、各ライフステージにおける健康課題について理解を深める。
第 11 回	ライフスタイルと健康	ライフコースの多様化とワークライフバランスについて考える。
第 12 回	次世代社会と健康：働き方を考える	Society5.0 の社会における人間の生き方や QOL について考える。
第 13 回	次世代社会と健康：人生 100 年時代をどう生きるか	Society5.0 の社会における人間の生き方や QOL について考える。
第 14 回	まとめ	全体の振り返りと総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・本授業の準備・復習時間は、関連する記事や文献を読む、学んだことを実践する等、各 2 時間を標準とする。
・レポート課題は、複数の文献を読み込み、授業で学んだ知識も含めて総合的に論じるための準備が必要である。

【テキスト（教科書）】
・毎回オリジナルプリントを使用する。

【参考書】
・適宜テーマに関連する文献等を紹介する。

【成績評価の方法と基準】
・平常点（ワークシート、リアクションペーパー）70 %
・期末レポート 30 %

【学生の意見等からの気づき】
・映像資料を用いるなどして具体的に把握できるようにする。
・ワークシートにより各自が考えながら取り組めるようにする。
・リアクションペーパーを活用し、インタラクティブな授業になるよう工夫する。

【Outline and objectives】
With the 100-Year Life, a life-course has become increasingly dynamic and diversified. Regarding the quality of individual lives, not only physical health but also perspective of holistic health including “ikigai” and human dignity is becoming an important concept.
Health Sciences for ways of living is based on the biopsychosocial model, which posits that biological, psychological and social well-being are interactively. The program has the following objectives.
1. Introduce students to the field of Health Sciences of body, mind, and spirit
2. Provide a basic understanding of the theory and specific issues of biopsychosocial health
3. Encourage students to practice for health promotion in their life and community

HSS200LA

健康の科学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

谷本　都栄

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：2 **単位**
法文営国環キ 1〜4 **年**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
健康はいきいきと生きていくための資源であり、自ら健康をコントロールし、改善していくことは重要なライフスキルである。本講義では、ヘルスプロモーションの視点から、栄養・運動・休養に関わる基礎的知識、健康的な生活習慣や環境づくりについて学び、各自の生活における意識の向上、具体的な実践に結びつけていくことを目指す。

【到達目標】
・栄養・運動・休養に関わる基礎的知識を身に付け、自己の生活習慣を見直す。
・健康的なライフスタイルを意識して、学んだことを日々の生活に活かす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
・オリジナルテキストや各種資料を用いて、身近な題材を交え分かり易く解説する。
・セルフチェックや時事的な問題を取り上げ、具体的に考えられるようにする。
・毎回のワークシートやリアクションペーパーにより、随時フィードバックしていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の概要、授業の進め方
第 2 回	生活習慣・健康度チェック	チェックシートにより自己の生活習慣や健康度を確認する。
第 3 回	ボディイメージとウエイトコントロール	適正体重やボディイメージを知り、健康的なウエイトコントロールについて学ぶ。
第 4 回	エネルギー必要量と摂取量	エネルギー必要量と摂取量、食事内容をチェックし、改善点を認識する。
第 5 回	食の安全と健康	食の安全、スポーツと栄養、サプリメント等、食と健康について理解を深める。
第 6 回	運動によるトレーニング効果	人間の身体の特徴、運動・スポーツによるトレーニング効果について学ぶ。
第 7 回	適切な運動量と運動内容	適切な運動量と運動内容を知り、運動習慣の改善点を認識する。
第 8 回	生活習慣病と予防	各種生活習慣病とその予防について学ぶ。
第 9 回	生体リズムと健康	生体リズムと健康の関係について理解を深める。
第 10 回	積極的休養のすすめ	睡眠や積極的休養の役割について学ぶ。
第 11 回	健康経営：日本人の労働環境と健康	企業の健康経営、日本人の労働環境と健康について考える。
第 12 回	健康格差：経済格差と健康	現代社会における経済格差と健康について考える。
第 13 回	ウェルエイジング	加齢による心身の変化を知り、老いをどう生きるかについて考える。
第 14 回	まとめ	全体の振り返りと総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・本授業の準備・復習時間は、関連する記事や文献を読む、学んだことを実践する等、各 2 時間を標準とする。
・レポート課題は、複数の文献を読み込み、授業で学んだ知識も含めて総合的に論じるための準備が必要である。

【テキスト（教科書）】
・毎回オリジナルプリントを使用する。

【参考書】
・適宜テーマに関連する文献等を紹介する。

【成績評価の方法と基準】
・平常点（ワークシート、リアクションペーパー）70 %
・期末レポート 30 %

【学生の意見等からの気づき】
・映像資料を用いるなどして具体的に把握できるようにする。
・ワークシートにより各自が考えながら取り組めるようにする。
・リアクションペーパーを活用し、インタラクティブな授業になるよう工夫する。

【Outline and objectives】
Health promotion is the process of enabling people to increase control over, and to improve, their health. It moves beyond a focus on individual behaviour towards a wide range of social and environmental interventions. (WHO)
To maintain a healthy body and mind is an essential life skill improving a quality of life. Developing healthy habits are needed not only to keep your life long but enhance your happiness and vitality. The program has the following objectives.
1. Provide students the foundational knowledge and skills required for healthy lifestyle
2. Encourage students to practice for health promotion in their life

LANe100LA

入門英語 (SSI) Ⅰ

2017 年度以降入学者

山崎　暁子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 1 年～（SSI 生のみ）

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
英文法の基礎を復習しながら、会話や短い文章のリスニング、発音練習を行う。学んだ表現を応用して発話することで、日常的な英語表現を身につける。

【到達目標】
英語の音に慣れ、日本語の音との違いを意識することで、聴き取りと発音の能力を高める。英文の基本的な構造を理解して、簡単な英文を読み、書き、発話できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
基本的に 1 つのユニットを 2 回で扱う。1 週目は文法の復習と練習、音読練習、リスニングをする。2 週目は内容理解、英文を書く練習、会話練習を行う。学んだ表現を覚えて使えるようになることをめざす。教室での授業ができない間は、学習支援システムで出題する課題学習が中心となる。可能であればペアワークを取り入れる。
履修希望者は学習支援システムに仮登録し、「お知らせ」の説明を読んだうえで、選抜アンケートに回答すること。説明とアンケートが掲載され次第、仮登録者にはメールで通知する。アンケートの回答締切は 4 月 23 日（木）12:20 の予定だが、学習支援システムにつながりにくい状態が続く場合は、必要に応じて延長する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方を説明し、選抜のためのアンケートをする。
2	Unit 1	be 動詞／一般動詞
3	Unit 1	自己紹介をする
4	Unit 2	現在形・現在進行形／過去形・過去進行形
5	Unit 2	過去の活動について話す
6	Unit 3	未来形／未来を表す表現
7	Unit 3	予定について話す
8	Unit 4	現在完了形・現在完了進行形
9	Unit 4	経験について話す
10	Unit 6	助動詞
11	Unit 6	ルールについて話す
12	Unit 7	受動態
13	Unit 7	受動態を使って話す
14	試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
①テキストの指定範囲の英文の意味を調べ、テキストの音声ファイルをダウンロードして、練習問題をすべて解く。
②学習した内容が定着するよう、課題の模範解答を使って復習する。

【テキスト（教科書）】
Let's Output in Basic English　金星堂　2020 年　1900 円（税別）

【参考書】
課題学習の際、参照してよいのは教科書、教科書の音声ファイル、辞書のみとする。

【成績評価の方法と基準】
平常点 30 %、課題 30 %、試験 40 %。
第 1 回の授業で選抜のためのアンケートを実施するので、必ず期限までに回答すること。
4 回分の課題を提出できなかった時点で単位修得の資格を失うので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】
実践的なスピーキング練習方法を模索する。

【学生が準備すべき機器他】
毎週、連絡と課題に学習支援システムを使用する。履修が決まったらお知らせ配信メールのチェックを怠らないようにすること。

【Outline and objectives】
Students will renew their memory of basic English grammar and learn to communicate in simple sentences. They will listen to and read conversations and short passages, which will help them write and speak their own sentences.

LANe100LA

入門英語 (SSI) Ⅱ

2017 年度以降入学者

山崎　暁子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 1 年～（SSI 生のみ）

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
英文法の基礎を復習しながら、会話や短い文章のリスニング、発音練習を行う。学んだ表現を応用して発話することで、日常的な英語表現を身につける。

【到達目標】
英語の音に慣れ、日本語の音との違いを意識することで、聴き取りと発音の能力を高める。英文の基本的な構造を理解して、簡単な英文を読み、書き、発話できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
基本的に 1 つのユニットを 2 回で扱う。1 週目は文法の復習と練習、音読練習、リスニングをする。2 週目は内容理解、英文を書く練習、会話練習を行う。学んだ表現を覚えて使えるようになることをめざす。授業ではなるべくペアワークを取り入れる。学習支援システムのテスト機能で出題する予習問題や復習問題を全員が自習していることを前提として授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の確認
	Unit 8	to 不定詞
2	Unit 8	将来の夢・希望について話す
3	Unit 9	動名詞
4	Unit 9	興味について話す
5	Unit 10	現在分詞・過去分詞
6	Unit 10	描写する
7	Unit 11	接続詞
8	Unit 11	尊敬する人物について話す
9	Unit 12	比較級（原級／比較級）
10	Unit 12	比較する
11	Unit 13	比較級（最上級・最上級を表す比較表現）
12	Unit 13	自分の町について話す
13	Unit 14	関係代名詞（主格・目的格）
14	試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
①テキストの指定範囲の英文の意味を調べ、テキストの音声ファイルをダウンロードして、練習問題をすべて解いた上で授業に出席する。
②学習システムのテスト機能を使って、予習問題・復習問題を課すので、期限内に回答する。
③学習した内容が定着するよう、毎回の授業後に復習する。
具体的には、毎週、学習支援システムで指示する。やむを得ない事情で欠席する場合も、必ず①と②の予習を行い、学習支援システムにアップロードする教材を使って欠席した回の内容を自習すること。

【テキスト（教科書）】
Let's Output in Basic English　金星堂　2020 年　1900 円（税別）

【参考書】
特になし。辞書は必ず授業に持参すること。

【成績評価の方法と基準】
平常点 30 %、予習・宿題 20 %、筆記試験 50 %。
第 1 回の授業で選抜のためのアンケートを実施するので、必ず出席すること。登録期間終了後、欠席が 4 回以上の場合は原則として単位修得を認めない。遅刻・早退は減点の対象とする。

【学生の意見等からの気づき】
すべてのユニットについて、実践的なペアワーク（英文の応用と会話練習）をすることをめざす。

【学生が準備すべき機器他】
毎週、連絡とテストに学習支援システムを使用する。履修が決まったらすぐに登録すること。

【Outline and objectives】
Students will renew their memory of basic English grammar and learn to communicate in simple sentences. They will listen to and read conversations and short passages, which will help them write and speak their own sentences.

LANe100LA

入門英語 (SSI) Ⅰ

2017 年度以降入学者

前川　裕

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 1 年～（SSI 生のみ）

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツサイエンスインスティテュート所属学生のための英語であり、それ以外のものは受講できない。学生は基礎的な文法力および英会話力を身につけることを目的とする。

【到達目標】
スポーツ選手である学生が、海外等に出たときに、ある程度外国の競技者と英語で話ができるようになるために必要な英語基礎力の養成を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 22 日とし、この日までに具体的なオンラインの授業の方法などを学習支援システムで提示する。
(対面授業の場合）簡単な英文法のテキストを使って、演習形式で授業を進める。また、英語に慣れるため、毎回、英語の音楽を聴き、平易な書き取り演習も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Unit1	be 動詞（現在形）の解説。
2	Unit2	一般動詞（現在形）の解説。
3	Unit3	be 動詞（過去形）の解説。
4	Unit4	一般動詞（過去形、規則変化）の解説
5	Unit5	一般動詞（過去形、不規則変化）の解説。
6	Unit6	進行形の解説。
7	Unit7	未来形の解説。
8	Unit8	助動詞（１）must や can の用法の解説。
9	Unit9	助動詞（２）should や may の用法の解説。
10	Unit10	名詞・冠詞の解説。
11	Unit11	代名詞の解説。
12	Unit12	前置詞の解説。
13	Unit13	形容詞の解説。
14	英語学習の方法	春学期授業内容の総まとめ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストを予習し、練習問題は教室に来る前にすべて解いてくること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Everyday English Grammar ーー大学生のためのコミュニケーション英文法（南雲堂）

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講になったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。
(対面授業が実施できた場合）平常点（６０％）、授業内試験（４０％）
各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
リスニングの強化重要性およびいかに英語に関心を持たせるかの重要性。

【学生が準備すべき機器他】
学生が用意すべき情報機器は特になし。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to provide the students with the basic knowledege of English which makes it possible for them to speak English in everyday conversation. The students are expected to review the basic English grammar and usage which they have ever learnt. This course is limited to S.S.I students.

LANe100LA

入門英語 (SSI) Ⅱ

2017 年度以降入学者

前川　裕

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 1 年～（SSI 生のみ）

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツサイエンスインスティテュート所属学生のための英語であり、それ以外のものは受講できない。学生が基礎的な文法力および英会話力を身につけることを目的とする。

【到達目標】
スポーツ選手である学生が海外での競技生活が可能になる程度の英語力の養成を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
簡単な英文法のテキストを使って、演習形式で授業を進める。また、英語に慣れるため、毎回、英語の音楽を聴き、平易な書き取り演習も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Unit15	比較（1）比較級の用法の解説。
2	Unit16	比較（2）最上級の用法の解説。
3	Unit13	接続詞の解説。
4	Unit14	前置詞の解説
5	Unit15	受動態の解説。
6	Unit16	不定詞の解説。
7	Unit17	動名詞の解説。
8	Unit18	分詞の解説。
9	Unit19	現在完了の解説。
10	英語学習法	それまで学習した基本文法の総復習。
11	旅行英会話（1）	プリントを使い、簡単な旅行英会話の練習をする。
12	旅行英会話（2）	具体的な場面設定をして、学生諸君に英語を話してもらう。
13	英語スピーチの練習	自分のとり組んでいるスポーツについて、英語で説明する練習をしてもらう。
14	英語学習の方法	最終試験に備えて、もう一度授業内容を総復習する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストを予習し、練習問題は教室に来る前にすべて解いてくること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Everyday English Grammar ーー大学生のためのコミュニケーション英文法（南雲堂）

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
平常点（６０％）、授業内試験（４０％）各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
英語を楽しく学習することの重要性

【学生が準備すべき機器他】
学生が用意すべき情報機器は特になし。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to provide the students with the basic knowledge of English whichi makes it possible for them to speak English in everyday conversation. The students are expected to review the basic English grammar and usage which they have ever learnt. This course is limited to S.S.I students.

LANe100LA

入門英語 (SSI) Ⅰ

2017 年度以降入学者

須藤　祐二

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 1 年～（SSI 生のみ）

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
SSI の学生のなかで、英語を苦手とする学生が英語の基本文法や表現を習得することを目的とする。英語のレベルは基礎的なものから始めるが、徐々にさまざまな場面で使用可能な表現の解説に移る。

【到達目標】
受講生は、英語の基本的な構造を理解できるようにする。また、挨拶や自己紹介など、身の回りの日常会話のための表現を身につけるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
予習をして授業に参加すること。まずテキストの演習と解説を行う。その後、テキストのテーマの発展問題を行うこともある。さらに、口頭表現に養うための演習を行う。受講者には積極的に演習を行うことが求められる。
ただし、春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 23 日とし、この日に具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	導入	春学期の授業の進め方を紹介する。必要であれば、受講者の選抜をする
第 2 回	Unit1	Unit1 を演習する
第 3 回	Unit2	Unit2 を演習する
第 4 回	Unit3	Unit3 を演習する
第 5 回	Unit4	Unit4 を演習する
第 6 回	Unit5	Unit5 を演習する
第 7 回	Unit6	Unit6 を演習する
第 8 回	Unit7	Unit7 を演習する
第 9 回	Unit8	Unit8 を演習する
第 10 回	Unit9	Unit9 を演習する
第 11 回	Unit10	Unit10 を演習する
第 12 回	Unit11	Unit11 を演習する
第 13 回	Unit12	Unit12 を演習する
第 14 回	春学期のまとめ	春学期に学んだ英語表現や文法の再確認をする

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各回、予習をして授業に参加すること。課題が出された場合には、遅れることなく提出すること。本授業の準備・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Focus on Basic English for Communcation（ベーシック・大学英語入門）Chiharu Higuchi and Kaoru Fukutomi. 松柏社
英和・和英辞書を必ず持参すること

【参考書】
特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】
学期末試験 50 %、授業時の応答や参加度 50 %。
4 回以上欠席した者は、成績評価の対象から外れる。また、遅刻 2 回で欠席 1 回に換算するので、注意すること。
授業に出ていても、予習を行っていない、または、演習に積極的に参加しない受講生は出席と認めないことがある。
なお、春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
ひきつづき、受講生の英語のレベルに合わせながら進度を調節する。

【Outline and objectives】
In this course designed for SSI students, they will learn basic English grammar and vocabulary, starting off by learning the basics of English, including developing a knowledge of English phrases and vocabulary used on a daily basis.

LANe100LA

入門英語 (SSI) Ⅱ

2017 年度以降入学者

須藤　祐二

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 1 年～（SSI 生のみ）

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
SSI の学生のうち英語を苦手とする学生に、英語の基本から解説と演習を行う。春学期よりも多少難しい文法項目まで範囲に収め、基礎的な英語の運用能力の習得を目指す。

【到達目標】
受講生は、英語の基本的な構造を理解できるようにする。また、挨拶や自己紹介だけでなく、時制や適切な語句の選択等などを通じて、春学期よりも多少高い英語表現能力を身につけるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
予習をして授業に参加すること。まずテキストの演習と解説を行う。その後、テキストのテーマの発展問題を行うこともある。さらに、口頭表現に養うための演習を行う。受講者には積極的に演習を行うことが求められる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	春学期の振り返り	春学期に学んだ文法項目等の再確認を行う
第 2 回	Unit13	Unit13 を演習する
第 3 回	Unit14	Unit14 を演習する
第 4 回	Unit15	Unit15 を演習する
第 5 回	Unit16	Unit16 を演習する
第 6 回	Unit17	Unit17 を演習する
第 7 回	Unit18	Unit18 を演習する
第 8 回	Unit19	Unit19 を演習する
第 9 回	Unit20	Unit20 を演習する
第 10 回	Unit21	Unit21 を演習する
第 11 回	Unit22	Unit22 を演習する
第 12 回	Unit23	Unit23 を演習する
第 13 回	Unit24	Unit24 を演習する
第 14 回	秋学期のまとめ	秋学期に学んだ英語表現や文法の再確認をする

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各回、予習をして授業に参加すること。課題が出された場合には、遅れることなく提出すること。本授業の準備・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Focus on Basic English for Communcation（ベーシック・大学英語入門）Chiharu Higuchi and Kaoru Fukutomi. 松柏社
英和・和英辞書を必ず持参すること

【参考書】
特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】
学期末試験 50 %、授業時の応答や参加度 50 %。
4 回以上欠席した者は、成績評価の対象から外れる。また、遅刻 2 回で欠席 1 回に換算するので、注意すること。
授業に出ていても、予習を行っていない、または、演習に積極的に参加しない受講生は出席と認めないことがある。

【学生の意見等からの気づき】
ひきつづき、受講生の英語のレベルに合わせながら進度を調節する。

【Outline and objectives】
In this course designed for SSI students, they will learn basic English grammar and vocabulary, starting off by learning the basics of English, including developing a knowledge of English phrases and vocabulary used on a daily basis.

LANe100LA

入門英語 (SSI) Ⅰ

2017 年度以降入学者

光野　昭雄

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 1 年～（SSI 生のみ）

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
英語に慣れる。

【到達目標】
初歩的な英語を読み書けるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
毎回プリントを用いて、英語の基礎を習得できるように指導する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	単語、品詞	名詞、形容詞、動詞等の違いの説明
第 2 回	句と節	単語のつながりについて
第 3 回	文の型	第 1 文型
第 4 回	文の型	第 2 文型
第 5 回	文の型	第 3 文型
第 6 回	文の型	第 4 文型
第 7 回	文の型	第 5 文型
第 8 回	文の種類	単文
第 9 回	文の種類	複文
第 10 回	文の種類	重文
第 11 回	文の種類	肯定文
第 12 回	文の種類	否定文
第 13 回	文の種類	疑問文
第 14 回	文の種類	感嘆文

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
必ず復習をし英語の構造を理解できるようにする。本授業の準備学習・復習時間は 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
プリント使用

【参考書】
マスター英文法（吾妻書房）

【成績評価の方法と基準】
平常点 20 %、期末試験 80 %
各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得は認めない。

【学生の意見等からの気づき】
説明の明瞭性を求められるので、できるだけ分かりやすく説明したい。

【その他の重要事項】
春学期・秋学期連続して履修することが原則となります。Ⅱ (秋学期) のみを履修する場合でも、そのⅡに対応するⅠのの科目の春学期 1 回目の授業に出席し、受講許可を得て 9 月に履修登録を行なって下さい。定員を超える場合は、選抜を行う場合がありす。その際には、春学期に受講許可を得た人を優先します。

【Outline and objectives】
This class will show you how your basic English skill can be developed.

LANe100LA

入門英語 (SSI) Ⅱ

2017 年度以降入学者

光野　昭雄

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 1 年～（SSI 生のみ）

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
英語に慣れる。

【到達目標】
初歩的な英語を読み書けるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
毎回プリントを用いて、英語の基礎を習得できるように指導する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	準動詞	不定詞①
第 2 回	準動詞	不定詞②
第 3 回	準動詞	動名詞①
第 4 回	準動詞	動名詞②
第 5 回	準動詞	分詞①
第 6 回	準動詞	分詞②
第 7 回	関係詞	関係代名詞①
第 8 回	関係詞	関係代名詞②
第 9 回	関係詞	関係代名詞③
第 10 回	関係詞	関係代名詞④
第 11 回	仮定法	仮定法現在
第 12 回	仮定法	仮定法未来
第 13 回	仮定法	仮定法過去
第 14 回	仮定法	仮定法過去完了

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
必ず復習をして英文の構造に慣れる事。本授業の準備学習・復習時間は 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
プリント使用

【参考書】
マスター英文法（吾妻書房）

【成績評価の方法と基準】
平常点 20 %、期末試験 80 % 各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
説明の明瞭性を求められるので、できるだけ分かりやすく説明する。

【その他の重要事項】
春学期、秋学期で連続して履修することが原則となります。Ⅱ (秋学期) のみを履修する場合でも、そのⅡに対応するⅠの科目の 4 月の春学期 1 回目の授業に出席し、受講許可をえて 9 月に履修登録を行なって下さい。定員を超える場合は、選抜を行う場合があります。その際には、春学期に受講許可を得た人を優先します。

【Outline and objectives】
This class will show you how your basic English skill can be developed.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English-Speaking World

佐藤　陽子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法 2 年、文（史地心）2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

【到達目標】
1) Students will read and understand English texts and become familiar with relevant writing styles and vocabulary items.
2) Students will critically evaluate the reading and listening materials by paying attention to the style and conducting research.
3) Students will learn to express their own opinions in speech and in writing, including group discussions, presentations and an essay.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students participate in a variety of activities that involves the four skills of reading, writing, listening and speaking. These activities include group discussion and presentations based on short reading or audio-visual materials on current affairs in the English-speaking world. The overall class atmosphere is friendly and informal.【Below is updated on 23 Apr】Our lessons have to be held in the online format *at least* for the first half of the Spring Semester. I will let you know about the changes in the syllabus/schedule on our first Zoom lesson on 27 April. Information and materials will be uploaded on HOPPII and Google Classroom (which can be accessed ONLY FROM YOUR HOSEI ACCOUNT: class code lyrilww).

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Getting to know each other (communicative activities), plans for the semester
2	Understanding Current Issue 1	Vocabulary quiz on reading HW on Topic 1, reading HW comprehension check, listening to audio-visual material (1) on Topic 1
3	Understanding and discussing Current Issue 1	Review vocabulary quiz on reading HW, listening to audio-visual material (2), group discussion (1) on Topic 1
4	Discussing Current Issue 1	Vocabulary quiz on listening material, Group discussion (2) on Topic 1
5	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1
6	Feedback on presentations 1, understanding Current Issue 2	Peer- and teacher feedback on presentation 1, Vocabulary quiz on reading HW on Topic 2, reading HW comprehension check
7	Understanding Current Issue 2	Review vocabulary quiz on Topic 2, listening to audio-visual material on Topic 2
8	Discussing Current Issue 2	Vocabulary quiz on listening material, group discussion on Topic 2
9	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2
10	Feedback on presentations 2, understanding Current Issue 3	Peer- and teacher feedback on presentation 2, Vocabulary quiz on reading HW on Topic 3, reading HW comprehension check
11	Discussing Current Issue 3	Group discussion on Topic 3
12	Discussing essay on Current Issue 3 (1)	Discussing a draft essay HW on Topic 3 (1)
13	Discussing essay on Current Issue 3 (2)	Discussing a draft essay HW on Topic 3 (2)
14	Submission of the essay, recap of the semester & student feedback	Submission of the essay, recap of the semester; student feedback; vocabulary quiz

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to do homework assignments and prepare for regular vocabulary quizzes and presentations. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
No textbook is assigned. Materials will be provided by the instructor. Students are recommended to have an A4 folder/file to store the materials.

【参考書】
Always bring your dictionary to class. (Both paper and electronic dictionaries are accepted.)

【成績評価の方法と基準】
Students will be assessed based on the following criteria:
Class participation: 20%
Homework and quizzes: 40%
Presentations and an essay: 40%
【Below is updated on 23 Apr】Any changes will be notified on our first Zoom lesson on 27 April and via HOPPII and Google Classroom (which can be accessed ONLY FROM YOUR HOSEI ACCOUNT: class code lyrilww).

【学生の意見等からの気づき】
You may find this course demanding, but it will pay off!

【学生が準備すべき機器他】
Students are required to use slides (e.g. PowerPoint) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g. Word). Some important information will be distributed via HOPPII and Google Classroom.

【Outline and objectives】
English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current issues in the English-speaking world

佐藤　陽子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法 2 年、文（史地心）2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

【到達目標】
1) Students will read and understand English texts and become familiar with relevant writing styles and vocabulary items.
2) Students will critically evaluate the reading and listening materials by paying attention to the style and conducting research.
3) Students will learn to express their own opinions in speech and in writing, including group discussions, presentations and an essay.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students participate in a variety of activities that involves the four skills of reading, writing, listening and speaking. These activities include group discussion and presentations based on short reading or audio-visual materials on current affairs in the English-speaking world. The overall class atmosphere is friendly and informal.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Warm up communicative activities, recap of last semester, plans for the semester
2	Understanding Current Issue 1; choosing and checking the topics of individual presentations	Vocabulary quiz on reading HW on Topic 1, reading HW comprehension check, listening to audio-visual material (1) on Topic 1, checking the topics of the individual presentations
3	Discussing Current Issue 1 (1); discussing topics of individual presentations (1)	Review vocabulary quiz on reading HW, group discussion (1) on Topic 1, discussing the topics of the individual presentations (1)
4	Discussing Current Issue 1 (2); discussing topics of individual presentations (2)	group discussion (2) on Topic 1, discussing the topics of the individual presentations (2)

5	Group presentation on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1
6	Feedback on presentations 1, reflection; listening, discussion of the topics of individual presentations (3)	Peer- and teacher- feedback on presentation 1, reflection and self-evaluation; listening to audio-visual material on Topic 2, discussion of the topics of individual presentations (3)
7	Individual presentations 1	Individual presentations (1), peer- and teacher-feedback
8	Individual presentations 2; review of the basics of essay writing	Individual presentations (2), peer- and teacher-feedback, review of the basic rules of essay writing
9	Individual presentations 3; essay outline	Individual presentations (3), peer- and teacher-feedback, checking the outline of the essays
10	Individual presentations 4; first draft	Individual presentations (4), peer- and teacher-feedback, checking the first draft of the essays
11	Individual presentations 5; second draft	Individual presentations (5), peer- and teacher-feedback, checking the second draft of the essays
12	Individual presentations 6; third draft	Individual presentations (6), peer- and teacher-feedback, checking the third draft of the essays
13	Individual presentations 7; fourth draft	Individual presentations (7), peer- and teacher-feedback, checking the fourth draft of the essays
14	Submission of the essay, recap of the semester & student feedback	Submission of the essay, recap of the semester; student feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to do homework assignments and prepare for regular vocabulary quizzes and presentations. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No textbook is assigned. Materials will be provided by the instructor. Students are recommended to have an A4 folder/file to store the materials.

【参考書】

Always bring your dictionary to class. (Both paper and electronic dictionaries are accepted.)

【成績評価の方法と基準】

Students will be assessed based on the following criteria:
Class participation: 20%
Homework and quizzes: 40%
Presentations and an essay: 40%
Please note that attendance and participation are *extremely* important. Any student who misses more than 3 classes without an acceptable reason will be automatically dropped from the class. Please also note that students are responsible for obtaining the homework information and handout materials when they are absent by contacting other students, and for coming back to class in the following week with the homework and preparation done.

【学生の意見等からの気づき】

You may find this course demanding, but it will pay off! A lot of time will be spent on individual presentations and essay writing.

【学生が準備すべき機器他】

Students are required to use slides (e.g. PowerPoint) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g. Word). Some important information will be distributed via *Jugyo Shien System*.

【Outline and objectives】

This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

ジェイソン・ポール・スミス

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法 2 年、文（史地心）2 年：上級／英語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Students will develop their abilities to effectively express their opinions, knowledge and experience both orally and in written form. Group work will be aimed at facilitating discussions; group presentations are required. The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary.

【到達目標】
The purpose English 3 is to further develop student's English proficiency in this course is to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening and writing skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
This class will start on Monday, May 11, 2020 in its regularly scheduled period using the online HOPPII Learning Management System. Students should try to self-register into the class student roster in HOPPII Learning Management System.
The class will be conducted online using the HOPPII Learning Management System until further notice. The HOPPII System will be used as the initial meeting point and communication platform, but students will be expected to branch out and use other technology platforms and/or websites as the course progresses.
The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Class intro	go over syllabus, introductions, discuss what you did during your spring break
第 2 回	2020 Olympics	Hosting the Olympics in Japan Typed opinion paragraph due next week.
第 3 回	Peer editing	Peer editing of above paragraph and group discussion of same Make groups for presentations based on theme list provided by instructor.
第 4 回	Changes	Immigration Reform through authentic source such as TED or VOA. Group discussion. Start outline for group presentation
第 5 回	inside looking out	A.TED Talk,"Your Body Language May Shape Who You Are" (21:02) Q & A B.Work on presentations
第 6 回	Comparing Health Insurance	A.National Health Insurance in Japan compared to Canada, America and Norway. -Group discussions- Work on presentations. Group presentation outline due. Essay outline due.
第 7 回	Tradition against modernity	A. Japan's Endless Search for Modernity article https://www.theatlantic.com B. Group work on presentations
第 8 回	Peer editing	A. Peer editing on typed paragraphs B. Group work on presentations C. Japan and its neighbors
第 9 回	Discussion	Discussion on Japan and it's neighbors. Article: How Toyota Helped Create A Thriving Japanese Food Culture In Kentucky. Opinion paragraph on week 10
第 10 回	TED Talk	A.Tony Robbins TED Talk,"Why We Do What We Do" (21:45) Q & A Technological change in Japan compared to the world
第 11 回	Presentation Prep	Entire class utilized by solidifying group presentations. Topics will be covered in class. One page essay due.
第 12 回	Presentations	2～3 group presentations + Q & A
第 13 回	get ready	2～3 group presentations + Q & A
第 14 回	Active feedback	Voicing your opinion on what you would like to see added or omitted in this class.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
The typed paragraphs are to be completed before coming to class. Highlighting, vocabulary work along with opinion and or summaries of all the handouts provided in class are also required before coming to class. Late work without an official documented excuse will result in a lower grade.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
『元経済産業省英文校閲者が書いたビジネスによく効く英語の本』ジリアン・ヨーク/森下　均著、一般財団法人経済産業調査会（￥2,200）

【参考書】
As described throughout this syllabus

【成績評価の方法と基準】
Group work & participation = 30% Paragraphs and essay = 35% Presentations = 35%
There are no tests in this class. Without a train delay slip students will be counted absent if more than 15 minutes late. Maximum of 3 absences. Speaking in English will result in higher participation points. Any form of plagiarism is unacceptable. Elaboration on this will be provided in class. is unacceptable. Elaboration on this will be provided in class.

【学生の意見等からの気づき】
None

【Outline and objectives】
Students will develop their abilities to effectively express their opinions, knowledge and experience both orally and in written form. Group work will be aimed at facilitating discussions; group presentations are required. The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

ジェイソン・ポール・スミス

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法 2 年、文（史地心）2 年：上級／英語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Students will develop their abilities to effectively express their opinions, knowledge and experience both orally and in written form.

【到達目標】
The purpose of this course is to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening and writing skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Group work will be aimed at facilitating discussions; group presentations are required. The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Welcome back	Discuss what you did during your spring break. The Convenience of Living in Japan article Highlight etc. in class
第 2 回	Peer editing	Discussion on article from week 1. Peer editing of above paragraph and group discussion of same. Make groups for presentations based on theme list provided by instructor.
第 3 回	Your choice	A. Select a short article related to Japan and the world; you must be prepared (highlighting, vocab work and opinion) before class. Discuss in groups. Group presentation work
第 4 回	Differences/ commonalities	TED: What does it mean to be a citizen of the world? Hugh Evans (16:57) Group discussion Group presentation work
第 5 回	Inside looking out	Single women living in poverty article Usual highlighting and vocab work. Discuss in small groups
第 6 回	Outline	A. Outline due for one page essay. Essay due on week 11. B. In class work on essay.

第 7 回	discussion	A. Select a short article from VOA (Voice of America), highlight important points and discuss it in small groups, You must be prepared before class. B. Group work on presentations
第 8 回	Peer editing	A. Peer editing on typed paragraphs B. Group work on presentations
第 9 回	Short speeches	Short speeches based on topic list provided by the instructor.
第 10 回	Japan Times	Tokyo's internet cafe 'refugees' number 4,000, survey says Japan Times
第 11 回	Preparation	Entire class utilized by solidifying group presentations. Topics will be covered in class. One page essay due.
第 12 回	Presentations	2～3 group presentations + Q & A
第 13 回	Presentations	2～3 group presentations + Q & A
第 14 回	Sayonara	Fun conversation board game done in small groups.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
The typed paragraphs are to be completed before coming to class. Highlighting, vocabulary work along with opinion and or summaries of all the handouts provided in class are also required before coming to class. Late work without an official documented excuse will result in a lower grade.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
『元経済産業省英文校閲者が書いたビジネスによく効く英語の本』ジリアン・ヨーク/森下　均著、一般財団法人経済産業調査会（￥2,200）

【参考書】
As described throughout this syllabus

【成績評価の方法と基準】
Group work & participation = 30% Paragraphs and essay = 35% Presentations = 35%
There are no tests in this class. Without a train delay slip students will be counted absent if more than 15 minutes late. Maximum of 3 absences. Speaking in English will result in higher participation points. Any form of plagiarism is unacceptable. Elaboration on this will be provided in class.

【学生の意見等からの気づき】
None

【Outline and objectives】
Students will develop their abilities to effectively express their opinions, knowledge and experience both orally and in written form.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**社会と文化の諸相**

岩坪　友子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法 2 年、文（史地心）2 年：上級／日本語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次に習得した英語の４技能を融合・向上させながら、世界のさまざまな側面を取り上げて紹介・問題提起する英文と関連教材に取り組みます。教科書の実用的な各種問題および発信（要約・意見）の練習を通じて、クリティカル・シンキング力を鍛えながら、高レベルの語彙や幅広い問題意識と表現力を身につけて、総合的な英語コミュニケーション力をのばします。

【到達目標】
(1) 英語での発信・受信に使える、より高い語彙力がある
(2) 英語で書かれた／話されたことがらについて、内容・趣旨を把握できる
(3) 英語で書かれた／話されたことがらについて、日本語や英語で要約・コメントできる
(4) 自分の意見・知識などを、英語で聞き手に伝わりやすく口頭で表現し、他の人の意見に質問やコメントができる
(5) トピックについて、多面的・客観的に考察・情報収集・分析し、自分の見解や知識を、論理的なパラグラフ構成の英語で書くことができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
※学習支援システムでこの授業が開始されるのは、4 月 27 日 (月) です。
※シラバスの変更点については、その際に具体的にお知らせします。
予習を前提として、授業では基本的に教科書に沿って問題・内容確認・練習を行います。進捗状況に応じて、テーマに関連するビデオクリップや記事その他の副教材を活用します。理解と考察を促すために、適宜日本語や英語で発問します（話され／書かれたもの全体やパラグラフの趣旨、語彙・指示語・構文、話者や筆者の立場、受講生の意見など）。日本語や英語で要約・説明したり、論理的に意見を述べる／書く練習を行います。リスニングとスピーキングに役立つ音読練習も行います。授業を通じて身につけた力を、中間・期末試験と、学期末のプレゼンテーションで発揮する流れになります。（下記授業計画は、状況に応じて変更の場合があります。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 (4/13)	イントロダクション。Unit 1 Multisensory Art 導入	授業の概要説明。アンケート。The Arts について、語彙と大意把握
2 (4/20)	Multisensory Art 詳細理解と考察	The Arts について、精読・要約・ディスカッション。リスニングなど練習問題
3 (4/27)	Unit 2 Personality and Inner Growth 導入	Identity について、語彙と大意把握
4 (5/4)	Personality and Inner Growth 詳細理解と考察	Identity について、精読・要約・ディスカッション。リスニングなど練習問題

5 (5/11)	Unit 3 The Subterranean World 導入	Nature and Humanity について、語彙と大意把握
6 (5/18)	The Subterranean World 詳細理解と考察	Nature and Humanity について、精読・要約・ディスカッション。リスニングなど練習問題
7 (5/25)	中間試験。Unit 4 Elements of Genius 導入	中間試験。Achievement について、語彙と大意把握
8 (6/1)	Elements of Genius 詳細理解と考察	Achievement について、精読・要約・ディスカッション。リスニングなど練習問題
9 (6/8)	Unit 5 Sports Medicine 導入	Careers について、語彙と大意把握
10 (6/15)	Sports Medicine 詳細理解と考察	Careers について、精読・要約・ディスカッション。リスニングなど練習問題
11 (6/22)	Unit 6 Cultural Awareness 導入	Culture について、語彙と大意把握
12 (6/29)	Cultural Awareness 詳細理解と考察	Culture について、精読・要約・ディスカッション。リスニングなど練習問題
13 (7/6)	期末試験。翌週の準備	期末試験。プレゼンテーション・リハーサル
14 (7/13)	プレゼンテーション。まとめ	発表・意見交換・講評。学期を振り返る（アンケート）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

①予習： STEP 1 テキストの練習問題を解き、解答の根拠も言えるようにする。STEP 2 英文全体を読み、趣旨を把握する。未知の単語は文脈から類推し、それから辞書で確認する。STEP 3 文章構成を意識して、各段落・文章全体の要約を日本語と英語で練習する。STEP 4 付属の音声を聴き、音読練習する。（関連教材についてもほぼ同様。）
②復習： STEP 5 内容を確認しながらテキストを再読する。STEP 6 付属の音声を（テキストを見ながら／見ないで）聴く、リピート／シャドーイングする。STEP 7 テキストで使われている表現・文や要約を自分で言って／書いてみる。STEP 8 題材に関連する出版物やウェブで情報収集、視野を広げ、考察し、自分の意見を言って／書いてみる。（関連教材についてもほぼ同様。）
③ プレゼン準備： STEP 9 授業内容を参考にして少しずつ学期末のプレゼンテーションを準備する。
※上達の度合いは、英語に触れた時間と相関関係があると考えられるため、①②③および英語で情報収集・好きなコンテンツを楽しむ・書く・話すなど繰り返すほど、英語力の伸びが期待されます。

【テキスト（教科書）】
Andrew E. Bennett, *Reading Fusion 3* 南雲堂、本体 2,200 円＋税（※関連教材は、随時配布・指示します。）

【参考書】
英語マスメディアのウェブサイト例： BBC Learning English (http://www.bbc.co.uk/learningenglish/), VOA Learning English (https://learningenglish.voanews.com/), CNN 10 (http://edition.cnn.com/cnn10), TED: Ideas Worth Spreading (https://www.ted.com), NPR (https://www.npr.org/), ABC News video (http://abcnews.go.com/video), 攻略！ABC ニュース英語 (www6.nhk.or.jp), CBS 60 Minutes (https://www.cbsnews.com/60minutes/), The *New York Times* (http://www.nytimes.com/), The *Guardian* (http://www.theguardian.com/uk). 参考書：『CNN ® ENGLISH EXPRESS』、『CNN ニュース・リスニング　2019［春夏］』（朝日出版社）、『「英語モード」でライティング』（講談社）、『コンピューター対応 TOEFL ® テストライティング完全制覇』、『英語で書く力。』、『英語で話す力。』（三修社）、『英語ライティングルールブック』、『映画英語のリスニング』(DHC)、『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 1-6』、『公式 TOEIC Listening & Reading トレーニング リスニング編』、『同リーディング編』、『TOEIC Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック』、『TOEIC ® テスト公式問題で学ぶボキャブラリー』、『TOEIC ® Speaking & Writing 公式テストの解説と練習問題』（一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会）ほか。国際文化学部 HP→ 関連リンク「英語リスニング・ハンドブック」、図書館、AV ライブラリー（BT3 階）など活用して自分のレベルやスタイルに合ったものを探しましょう。

【成績評価の方法と基準】
※オンラインでの開講になったことに伴う変更点について、授業開始日に学習支援システムで提示します。
平常点（予習・授業への取り組み）40%、試験 40%（中間・期末各 20%）、プレゼンテーション 20%の割合で、上記到達目標 (1)〜(5) に照らして評価します。原則として欠席が 4 回以上になると単位取得の資格を失います。次のような姿勢で取り組んでください： STEP ①予習して目標を持って出席／ STEP ②授業では理解を深め積極的に参加・練習／ STEP ③復習と自習で定着・苦手克服／ STEP ④試験・プレゼンテーションで成果を発揮

【学生の意見等からの気づき】
前年度該当科目なし

【その他の重要事項】
授業で使えるように辞書を持参してください。

【Outline and objectives】
The aim of the course is to help students integrate and enhance their skills and knowledge acquired in English 1 and 2. Students will practice listening to, speaking, reading and writing about various aspects of cultures and societies today, while building vocabulary, learning about the topics and improving their critical thinking skills. Students will give a short oral presentation, developing their confidence and proficienty in English communication.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**社会と文化の諸相**

岩坪　友子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法 2 年、文（史地心）2 年：上級／日本語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次および春学期に習得した英語の４技能を融合・向上させながら、世界のさまざまな側面を取り上げて紹介・問題提起する英文と関連教材に取り組みます。教科書の実用的な各種問題および発信（要約・意見）の練習を通じて、クリティカル・シンキング力を鍛えながら、高レベルの語彙や幅広い問題意識と表現力を身につけて、総合的な英語コミュニケーション力をのばします。

【到達目標】
(1) 英語での発信・受信に使える、より高い語彙力がある
(2) 英語で書かれた／話されたことがらについて、内容・趣旨を把握できる
(3) 英語で書かれた／話されたことがらについて、日本語や英語で要約・コメントできる
(4) 自分の意見・知識などを、英語で聞き手に伝わりやすく口頭で表現し、他の人の意見に質問やコメントができる
(5) トピックについて、多面的・客観的に考察・情報収集・分析し、自分の見解や知識を、論理的なパラグラフ構成の英語で書くことができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
予習を前提として、授業では基本的に教科書に沿って問題・内容確認・練習を行います。進捗状況に応じて、テーマに関連するビデオクリップや記事その他の副教材を活用します。理解と考察を促すために、適宜日本語や英語で発問します（話され／書かれたもの全体やパラグラフの趣旨、語彙・指示語・構文、話者や筆者の立場、受講生の意見など）。日本語や英語で要約・説明したり、論理的に意見を述べる／書く練習を行います。リスニングとスピーキングに役立つ音読練習も行います。授業を通じて身につけた力を、中間・期末試験と、学期末のプレゼンテーションで発揮する流れになります。（下記授業計画は、状況に応じて変更の場合があります。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 (9/21)	Unit 7 Living off the Grid 導入	Lifestyles について、語彙と大意把握
2 (9/28)	Living off the Grid 詳細理解と考察	Lifestyles について、精読・要約・ ディスカッション。リスニングな ど練習問題
3 (10/5)	Unit 8 The Actor's Craft 導入	The Performing Arts について、語彙と大意把握
4 (10/12)	The Actor's Craft 詳細理解と考察	The Performing Arts について、精読・要約・ ディスカッション。リスニングなど練習問題
5 (10/19)	Unit 9 Eco-Packaging 導入	Conservation について、語彙と大意把握
6 (10/26)	Eco-packaging 詳細理解と考察	Conservation について、精読・要約・ ディスカッション。リスニングな ど練習問題
7 (11/2)	中間試験。Unit 10 Pop-up Shops 導入	Business Trends について、語彙と大意把握
8 (11/9)	Pop-up Shops 詳細理解と考察	Business Trends について、精読・要約・ ディスカッション。リスニングなど練習問題
9 (11/16)	Unit 11 Screen Time 導入	Growing Up について、語彙と大意把握
10 (11/30)	Screen Time 詳細理解と考察	Growing Up について、精読・要約・ ディスカッション。リスニングな ど練習問題
11 (12/7)	Unit 12 The World of the Super Rich 導入	Wealth and Giving について、語彙と大意把握
12 (12/14)	The World of the Super Rich 詳細理解と考察	Wealth and Giving について、精読・要約・ ディスカッション。リスニングな ど練習問題
13 (12/21)	期末試験。翌週の準備	期末試験。プレゼンテーション・リハーサル
14 (1/18)	プレゼンテーション。まとめ	発表・意見交換・講評。学期を振り返る（アンケート）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

①予習： STEP 1 テキストの練習問題を解き、解答の根拠も言えるようにする。STEP 2 英文全体を読み、趣旨を把握する。未知の単語は文脈から類推し、それから辞書で確認する。STEP 3 文章構成を意識して、各段落・文章全体の要約を日本語と英語で練習する。STEP 4 付属の音声を聴き、音読練習する。（関連教材についてもほぼ同様。）
②復習： STEP 5 内容を確認しながらテキストを再読する。STEP 6 付属の音声を（テキストを見ながら／見ないで）聴く、リピート／シャドーイングする。STEP 7 テキストで使われている表現・文や要約を自分で言って／書いてみる。STEP 8 題材に関連する出版物やウェブで情報収集、視野を広げ、考察し、自分の意見を言って／書いてみる。（関連教材についてもほぼ同様。）
③ プレゼン準備： STEP 9　授業内容を参考にして少しずつ学期末のプレゼンテーションを準備する。
※上達の度合いは、英語に触れた時間と相関関係があると考えられるため、①②③および英語で情報収集・好きなコンテンツを楽しむ・書く・話すなど繰り返すほど、英語力の伸びが期待されます。

【テキスト（教科書）】
Andrew E. Bennett, *Reading Fusion 3*　南雲堂、本体 2,200 円＋税（※関連教材は、随時配布・指示します。）

【参考書】
英語マスメディアのウェブサイト例： BBC Learning English (http://www.bbc.co.uk/learningenglish/), VOA Learning English (https://learningenglish.voanews.com/), CNN 10 (http://edition.cnn.com/cnn10), TED: Ideas Worth Spreading (https://www.ted.com), NPR (https://www.npr.org/), ABC News video (http://abcnews.go.com/video), 攻略！ABC ニュース英語 (www6.nhk.or.jp), CBS 60 Minutes (https://www.cbsnews.com/60minutes/), The *New York Times* (http://www.nytimes.com/), The *Guardian* (http://www.theguardian.com/uk). 参考書：『CNN ® ENGLISH EXPRESS』、『CNN ニュース・リスニング　2019［春夏］』（朝日出版社）、『「英語モード」でライティング』（講談社）、『コンピューター対応 TOEFL ® テストライティング完全制覇』、『英語で書く力。』、『英語で話す力。』（三修社）、『英語ライティングルールブック』、『映画英語のリスニング』(DHC)、『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 1-6』、『公式 TOEIC Listening & Reading トレーニング リスニング編』、『同リーディング編』、『TOEIC Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック』、『TOEIC ® テスト公式問題で学ぶボキャブラリー』、『TOEIC ® Speaking & Writing 公式テストの解説と練習問題』（一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会）ほか。国際文化学部 HP→ 関連リンク「英語リスニング・ハンドブック」、図書館、AV ライブラリー（BT3 階）など活用して自分のレベルやスタイルに合ったものを探しましょう。

【成績評価の方法と基準】
平常点（予習・授業への取り組み）40%、試験 40%（中間・期末各 20%）、プレゼンテーション 20%の割合で、上記到達目標 (1)〜(5) に照らして評価します。原則として欠席が 4 回以上になると単位取得の資格を失います。次のような姿勢で取り組んでください： STEP ①予習して目標を持って出席／ STEP ②授業では理解を深め積極的に参加・練習／ STEP ③復習と自習で定着・苦手克服／ STEP ④試験・プレゼンテーションで成果を発揮

【学生の意見等からの気づき】
前年度該当科目なし

【その他の重要事項】
授業で使えるように辞書を持参してください。

【Outline and objectives】
The aim of the course is to help students integrate and enhance their skills and knowledge acquired in English 1, 2 and the spring semester. Students will practice listening to, speaking, reading and writing about various aspects of cultures and societies today, while building vocabulary, learning about the topics and improving their critical thinking skills. Students will give a short oral presentation, developing their confidence and proficienty in English communication.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**楽しみながら英語を学ぶ**

宇野　毅

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法 2 年、文（史地心）2 年：上級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
・現代英語の総合的学力向上
・平易な英文を読んで、背後にある文化的な事柄を的確に理解する。
・併せて、英語の 4 技能の実際的な向上

【到達目標】
・平易な英文で書かれたイギリス文化に関する文章を読み、併せて現代イギリス社会の理解に努める。英語が解っても、その背後にある文化の理解なくしては、本当に理解したとは言えないであろう。
・本講義では、英語を通してその背後にある社会や文化を修得して、グローバルな異文化の世界に対応できるようになることが、究極的な到達目標といえるであろう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
・受講生諸君は、必ず予習をして忘れずに辞書を持参する事。次週の学習範囲の予習が毎週の宿題である。出席は極めて重要であるが、教室にいるだけでは出席にはならないので、注意が必要である。
【補足】新型コロナウイルスの蔓延に伴う ＜緊急事態宣言＞ 発出 並びに 授業準備の為に、2020 年度の授業開始は 5 月 11 日と致します。授業開始日迄には、使用教科書を準備しておいて下さい。なお、当面の間、2020 年度前期の授業は ＜資料・課題提示型＞ となります。
【補足 2】教科書を入手しましたら、Chapter 1 から予習に取り掛かって下さい。参考書については、追って指示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Chapter 1 Britain and Europe (前半)	イギリスとヨーロッパ 本文の理解と文化的背景の解説
第 2 回	Chapter 1 Britain and Europe (後半)	イギリスの EU 離脱 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 3 回	Chapter 2 The Memories of Empire (前半)	大英帝国の繁栄 本文の理解と文化的背景の解説
第 4 回	Chapter 2 The Memories of Empire (後半)	大英帝国の名残 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 5 回	Chapter 3 Who Are the British? (前半)	イギリス人とは？ 本文の理解と文化的背景の解説
第 6 回	Chapter 3 Who Are the British? (後半)	スコットランドや北アイルランドの歴史的推移 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 7 回	Chapter 4 British Business and the Strange Case of Doctor Death (前半)	イギリスの経営 本文の理解と文化的背景の解説

第 8 回	Chapter 4 British Business and the Strange Case of Doctor Death (後半)	経営の日英比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 9 回	Chapter 5 The Salaryman (前半)	イギリスのサラリーマン事情 本文の理解と文化的背景の解説
第 10 回	Chapter 5 The Salaryman (後半)	日英労働比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 11 回	Chapter 6 The Worship of the Individual (前半)	イギリスの個人主義 本文の理解と文化的背景の解説
第 12 回	Chapter 6 The Worship of the Individual (後半)	個人主義の日英比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 13 回	Chapter 7 The Battle for the Schools (前半)	イギリスの教育 本文の理解と文化的背景の解説
第 14 回	Chapter 7 The Battle for the Schools (後半)	日英教育比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ 試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・授業出席には、必ず予習が必須である。
・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて【最低でも】2 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
The View from the Brits『生まれ変わるイギリス』(金星堂)

【参考書】
『（増補版）現代イギリスの社会と文化 ゆとりと思いやりの国』（彩流社）

【成績評価の方法と基準】
・平常点４０点・期末試験等６０点を基準として評価する。
・原則として、欠席が４回以上の場合は、単位修得を認めない事になっている。

【学生の意見等からの気づき】
・真面目にきちんと努力した人が報われる。

【Outline and objectives】
・Perfect understanding of English Language and culture
・Improvement of the English 4 skill

LANe200LA

English ３Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**楽しみながら英語を学ぶ**

宇野　毅

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法 2 年、文（史地心）2 年：上級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
・現代英語の総合的学力向上
・平易な英文を読んで、背後にある文化的な事柄を的確に理解する。
・併せて、英語の４技能の実際的な向上

【到達目標】
・平易な英文で書かれたイギリス文化に関する文章を読み、併せて現代イギリス社会の理解に努める。英語が解っても、その背後にある文化の理解なくしては、本当に英語を理解したとは言えないであろう。
・本講義では、英語を通してその背後にある社会や文化を修得して、グローバルな異文化の世界に対応できるようになることが、究極的な到達目標といえるであろう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
・受講生諸君は、必ず予習をして忘れずに辞書を持参する事。次週の学習範囲の予習が毎週の宿題である。出席は極めて重要であるが、教室にいるだけでは出席にはならないので、注意が必要である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Chapter 8 Is British Politics Based on Cricket? (前半)	イギリス政治 本文の理解と文化的背景の解説
第 2 回	Chapter 8 Is British Politics Based on Cricket? (後半)	日英政治比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 3 回	Chapter 9 Changing Fashions (前半)	イギリスのファッション 本文の理解と文化的背景の解説
第 4 回	Chapter 9 Changing Fashions (後半)	日英ファッション比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 5 回	Chapter 10 The Changing Media (前半)	イギリスのメディア 本文の理解と文化的背景の解説
第 6 回	Chapter 10 The Changing Media (後半)	日英メディア比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 7 回	Chapter 11 The British Discover Food (前半)	イギリスの食事情 本文の理解と文化的背景の解説
第 8 回	Chapter 11 The British Discover Food (後半)	日英食文化比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 9 回	Chapter 12 Cars with Personality (前半)	イギリスの車事情 本文の理解と文化的背景の解説

第 10 回	Chapter 12 Cars with Personality (後半)	日英車事情比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 11 回	Chapter 13 The Love Affair with Gardens (前半)	イギリスのガーデニング 本文の理解と文化的背景の解説
第 12 回	Chapter 13 The Love Affair with Gardens (後半)	日英ガーデニング事情比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第 13 回	Chapter 14 The Battle for the Countryside (前半)	イギリスの田園 本文の理解と文化的背景の解説
第 14 回	Chapter 14 The Battle for the Countryside (後半)	日英田園比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ 試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・授業出席には、必ず予習が必須である。
・本授業の準備学習・復習時間は、【最低でも】2 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
The View from the Brits『生まれ変わるイギリス』(金星堂)

【参考書】
『（増補版）現代イギリスの社会と文化 ゆとりと思いやりの国』（彩流社）

【成績評価の方法と基準】
・平常点４０点・期末試験等６０点を基準として評価する。
・原則として、欠席が４回以上の場合は、単位修得を認めない事になっている。

【学生の意見等からの気づき】
・真面目にきちんと努力した人が報われる。

【Outline and objectives】
・Perfect understanding of English Language and culture
・Improvement of the English 4 skill

LANe200LA

English ３ I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**ヴィクトリア朝の文化と社会を通して現代生活のルーツを探る**

高井　美紀子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法 2 年、文（史地心）2 年：上級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、Victorians －総合教材：ヴィクトリア朝からの贈りもの—（英宝社）を主テキストとして用いますが、必要に応じて様々な英文資料を配布します。学生は、ヴィクトリア朝のイギリスについて書かれた様々な英文資料を読み、読解力を鍛えるとともに、異文化理解を深めます。さらに、授業テーマに関連した内容のライティング課題やディスカッション、プレゼンテーションを通して、英語で自分の意見を発信する能力を身につけます。世界で最初に産業革命を達成し、今日の産業資本主義社会の礎を築いたイギリスのヴィクトリア朝について学ぶことは、我々が生きる現代社会のルーツを知ることにつながります。本授業を通じて学生は、英語力とともに、このような 21 世紀のグローバル社会を生きる上での必須の知見を養います。

【到達目標】
①学生は、英文で書かれたエッセイを読み、わからない単語や表現があっても、文章の流れを通じて全体の意味を把握する能力を養う。正確な英文法の知識を身に着ける。
②学生は、英語を聞き取りディクテーションできる。
③学生は、異文化であるイギリスの歴史や文化に興味を持ち、それについて英語で自分の考えを発信することができる。クラスメイトや教師と英語で意見交換し、英語でプレゼンテーションする。
④学生は、異文化を学ぶことで、慣れ親しんだ日本文化を相対化し、グローバルな視点を身に着ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業は演習形式で行い、Cgapter1～5 までを学習します。
授業開始日は 4 月 27 日（月）です。
授業は、授業支援システムを用いてオンラインで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
4 月 27 日	第 1 回授業	課題１ リスニング課題 エリザベス女王新型コロナメッセージ動画の翻訳
5 月 4 日	第 2 回授業 Chapter 1	課題２ ライティング課題 （課題英作文） リスニング課題 （動画翻訳）
5 月 9 日	第 3 回授業 Chapter 1	課題３ リーディング課題 （テキストリーディング）

5 月 11 日	第 4 回授業 Chapter 2	課題４ ライティング課題 （課題英作文） リスニング課題 （動画翻訳）
5 月 18 日	第 5 回授業 Chapter 2	課題５ リーディング課題 （テキストリーディング）
5 月 25 日	第 6 回授業 Chapter 3	課題６ ライティング課題 （課題英作文） リスニング課題 （動画翻訳）
6 月 1 日	第 7 回授業 Chapter 3	課題７ リーディング課題 （テキストリーディング）
6 月 8 日	第 8 回授業 Chapter 4	課題８ ライティング課題 （課題英作文） リスニング課題 （動画翻訳）
6 月 15 日	第 9 回授業 Chapter 4	課題９ リーディング課題 （テキストリーディング）
6 月 20 日	第 10 回授業 Chapter 5	課題 10 ライティング課題 （課題英作文） リスニング課題 （動画翻訳）
6 月 22 日	第 11 回授業 Chapter 5	課題 11 リーディング課題 （テキストリーディング）
6 月 29 日	第 12 回授業 Chapter 6	課題 12 ライティング課題 （課題英作文） リスニング課題 （動画翻訳）
7 月 6 日	第 13 回授業 Chapter 6	課題 13 リーディング課題 （テキストリーディング）
7 月 13 日	第 14 回授業 学期末試験	課題 14 1 学期の授業理解度確認のための筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4
hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
予習として、リーディングの内容に簡単に目を通しておいてください。授業理解がスムーズになります。
その他にも半期中に３～４回ほど課題英作文の宿題を出します。

【テキスト（教科書）】
【テキスト名】Victorians －総合教材：ヴィクトリア朝からの贈りもの―
【著者】杉村醇子、古瀬明里、山崎麻由美
【出版社】英宝社
【出版年】2011 年
【価格】2000 円＋税

【参考書】
適宜授業中に案内します。

【成績評価の方法と基準】
今学期出す 14 回分の課題のうち 4 回分を提出しなかった場合は、原則として単位取得の資格を失います。
評価の内訳
第 1～13 回課題： 70 ％
第 14 回課題（学期末筆記試験）： 30%

【学生の意見等からの気づき】
前回授業は講義中心であったために単調になってしまうこともあった。また、プレゼンテーションは経験の差が如実に影響し、これまでプレゼン機会の少なかった学生が不利になることもあった。今年度はグループワークを取り入れ、学生が積極的に協力し合って自らの力で課題の解決にあたる機会を増やしたい。

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【その他の重要事項】
課題の提出を添付ファイルで行う場合、必ず Word を用いること。添削できないので、PDF や写真を添付してはならない。
英語のオンライン授業は、学生の課題を教師が添削することが中心となります。したがって、添削の書き込みができるように、Word を用いてください。

【Outline and objectives】
This class is intended to teach students English using the text written about Victorian England and variouos supplementary materials. In this course, students will not only increase their English reading skills, they will also learn skills to express their own ideas or opinions in English through doing many exercises related to knowledge learned from the course, such as writing, discussion, and presentation. Knowing Victorian England, which experienced the Industorial Revolution first in the world and laid the foundation of Today's global society, will lead us to have better understanding of the roots of today's world. The aim of this course is to develop students' ability to use English as well as learn knowledge which is indespensable for us to live in the global society in the 21 century.

LANe200LA

English ３Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**ヴィクトリア朝の文化と社会を通して現代生活のルーツを探る**

高井　美紀子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法 2 年、文（史地心）2 年：上級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、Victorians －総合教材：ヴィクトリア朝からの贈りもの―（英宝社）を主テキストとして用いますが、必要に応じて様々な英文資料を配布します。学生は、ヴィクトリア朝のイギリスについて書かれた様々な英文資料を読み、読解力を鍛えるとともに、異文化理解を深めます。さらに、授業テーマに関連した内容のライティング課題やディスカッション、プレゼンテーションを通して、英語で自分の意見を発信する能力を身につけます。世界で最初に産業革命を達成し、今日の産業資本主義社会の礎を築いたイギリスのヴィクトリア朝について学ぶことは、我々が生きる現代社会のルーツを知ることにつながります。本授業を通じて学生は、英語力とともに、このような 21 世紀のグローバル社会を生きる上での必須の知見を養います。

【到達目標】
①学生は、英文で書かれたエッセイを読み、わからない単語や表現があっても、文章の流れを通じて全体の意味を把握する能力を養う。正確な英文法の知識を身に着ける。
②学生は、英語を聞き取りディクテーションできる。
③学生は、異文化であるイギリスの歴史や文化に興味を持ち、それについて英語で自分の考えを発信することができる。クラスメイトや教師と英語で意見交換し、英語でプレゼンテーションする。
④学生は、異文化を学ぶことで、慣れ親しんだ日本文化を相対化し、グローバルな視点を身に着ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業は演習形式で行い、Cgapter8～15 までを学習します。
クラスの状況を見て、グループワークの形式を取ることもあります。Further Reading で、テキストで学習した内容を深めるための文献講読を行います。
ライティングの課題作文は、宿題として３回から４回ほど出す予定です。
学期末試験の前に、英語グループプレゼンテーションを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
10 月 28 日	Chapter 8 Life below Stairs	リーディング、リスニング、ライティング指導、ディスカッション
10 月 5 日	Chapter 9 Victorian Schooling	リーディング、リスニング、ライティング指導、ディスカッション
10 月 12 日	Chapter 10 Art and Archtecture	リーディング、リスニング、ライティング指導、ディスカッション
10 月 19 日	Chapter 11 A New Reading Public	リーディング、リスニング、ライティング指導、ディスカッション
10 月 26 日	Chapter 12 Social Reform	リーディング、リスニング、ライティング指導、ディスカッション
11 月 2 日	Chapter 13 Highdays and HOlidays	リーディング、リスニング、ライティング指導、ディスカッション
11 月 9 日	Chapter 14 Empire-builders	リーディング、リスニング、ライティング指導、ディスカッション
11 月 16 日	Chapter 15 The Victorian Legacy	リーディング、リスニング、ライティング指導、ディスカッション
11 月 30 日	Further Reading (1)	リーディング
12 月 7 日	Fuither Reading (2)	リーディング
12 月 14 日	映画視聴 ディスカッション	学習した内容に関連するな映画を視聴しその内容についてデ英語でィスカッションする。
12 月 21 日	プレゼンテーション	英語によるグループプレゼンテーション
1 月 18 日	学期末試験	筆記試験による学習理解の確認
1 月 19 日	まとめ	授業の総括、復習、今後の学習の案内

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4
hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
予習として、リーディングの内容に簡単に目を通しておいてください。授業理解がスムーズになります。
その他にも半期中に３～４回ほど課題英作文の宿題を出します。

【テキスト（教科書）】
【テキスト名】Victorians －総合教材：ヴィクトリア朝からの贈りもの
【著者】杉村醇子、古瀬明里、山崎麻由美
【出版社】英宝社
【出版年】2011 年
【価格】2000 円＋税

【参考書】
授業中に適宜案内します。

【成績評価の方法と基準】
学期末筆記試験 50 %、ライティング課題 20 %、グループプレゼンテーション 20 %、ディスカッション等における授業貢献 10 %
欠席が４回以上になった者は原則として単位取得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
前回授業は講義中心であったために単調になってしまうこともあった。また、プレゼンテーションは経験の差が如実に影響し、これまでプレゼン機会の少なかった学生が不利になることもあった。今年度はグループワークを取り入れ、学生が積極的に協力し合って自らの力で課題の解決にあたる機会を増やしたい。

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【その他の重要事項】
必ず電子辞書または本の辞書を持参すること。携帯電話は原則として授業中は使用しない。

【Outline and objectives】
This class is intended to teach students English using the text written about Victorian England and variouos supplementary materials. In this course, students will not only increase their English reading skills, they will also learn skills to express their own ideas or opinions in English through doing many exercises related to knowledge learned from the course, such as writing, discussion, and presentation. Knowing Victorian England, which experienced the Industorial Revolution first in the world and laid the foundation of Today's global society, will lead us to have better understanding of the roots of today's world. The aim of this course is to develop students' ability to use English as well as learn knowledge which is indespensable for us to live in the global society in the 21 century.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界に映る日本**

前川　裕

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法 2 年、文（史地心）2 年：上級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
学生が、英語の新聞・雑誌等の読解を通して、世界が日本の政治・社会・文化をどのように見ているかを理解し、英語の読解力を増すだけでなく、高度な異文化理解の能力を涵養することを目指す。また、Listening, Reading, Speaking, Writing の 4 技能を総合的に学習するために、学生が英文の内容を理解していることを確認する方法として、英問英答を導入して、ときに英文の大意を英語で要約する能力を身につける訓練をすることもある。さらに、学生が英語の表現と日本語の表現の違いを考察し、それが単に言語的差異であるだけでなく、文化的差異でもあることを認識し、比較文化的な意識を高めることも、授業の重要な目的である。

【到達目標】
学生が、英語で書かれた高度な新聞・雑誌記事を理解でき、それについて議論できること。また、そういう時事英語で使用される独特の英語表現に精通すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は、4 月 27 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。（対面授業が実施できた場合）輪読による演習形式。学生はあらかじめ予習をし、UNIT ごとに付けられている練習問題を解いてこなければならない。最初に問題に対する答え合わせをしたあと、本文を精読する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
オリエンテーション	英語学習および授業の進め方に関するオリエンテーション	授業方針を示し、授業を生かして効果的な英語学習をするために、学生が取り組むべきことを話す。
UNIT 1	海外における日本の食文化	寿司専門学校の日本人学生が、海外で寿司職人として働こうとしていることに関する、The New York Times の記事を読む。
UNIT 2	日本の政治	日本の政治的リーダーシップを皮肉った The New York Times の記事を読む。
UNIT 3	日本の相撲	大相撲における野球賭博事件を取り上げている The New York Times の記事を読む。
UNIT 4	中国漁船衝突事件	尖閣列島近辺で起った漁船衝突事件を取り上げている The New York Times の記事を読む。
UNIT 5	日本の行方不明者	日本における高齢者の行方不明事件を取り上げている The New York Times の記事を読む。

UNIT 6	日本のアニメ	日本のアニメについて、宮崎駿を取り上げている The Independent の記事を読む。
UNIT 7	オスカーとイルカ	イルカの問題をテーマにした映画『ザ・コーブ』の日本における上映問題を取り扱った The Sydney Moening Herald の記事を読む。
UNIT 8	東日本巨大地震と原子力発電所の事故（前半）	日本の原発事故を扱った WalesOnline の記事を読む。
UNIT 9	東日本巨大地震と原子力発電所の事故（後半）	日本の原発事故を扱った WalesOnline の記事を読む。
UNIT 10	被爆国日本と平和	被爆国日本と平和の問題を扱った Kazakhstam Today の記事を読む。
UNIT 11	インドと日本	インドと日本の歴史的関係や現在の関係を説明する India PRwire の記事を読む。
UNIT 12	日本の看護師試験	日本の看護師試験に一人だけ合格したフィリピン人看護師に関する、Philippine Daily Inquirer の記事を読む。
授業内試験	復習とまとめ	授業内試験を実施し、試験終了後、問題の解説を行ない、これまでの英語学習を総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
学生はテキストを読み、問題すべてを解いて、出席しなければならない。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
The World Watches Japan ーー世界から見た日本（南雲堂）

【参考書】
参考書は指定しない。

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。
(対面授業が実施できた場合) 授業内試験（８０％）、平常点（２０％）
各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
予習が十分なされていれば、効果が倍増するような授業を心がけたい。授業中、学生に訳読してもらい、誤訳を丁寧に直すように心がけたい。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help the students to understand how people in the world look at the Japanese politics, society, and culture through reading some English essays on Japan, and speaking and writing your opinions about them. The students are also expected to develop the ability to comprehend English passages and acquire a high level of understanding of cross-cultural problems.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界に映る日本**

前川　裕

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法 2 年、文（史地心）2 年：上級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
学生が、英語の新聞・雑誌等の読解を通して、世界が日本の政治・社会・文化をどのように見ているかを理解し、英語の読解力を増すだけでなく、高度な異文化理解の能力を涵養することを目指す。また、Listening, Reading, Speaking, Writing の 4 技能を総合的に学習するために、学生が英文の内容を理解していることを確認する方法として、英問英答を導入して、ときに英文の大意を英語で要約する能力を身につける訓練をすることもある。さらに、学生が英語の表現と日本語の表現の違いを考察し、それが単に言語的差異であるだけでなく、文化的差異でもあることを認識し、比較文化的な意識を高めることも、授業の重要な目的である。

【到達目標】
学生が、英語で書かれた高度な新聞・雑誌記事を理解でき、それについて議論できること。また、そういう時事英語で使用される独特の英語表現に精通すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
輪読による演習形式。学生はあらかじめ予習をし、UNIT ごとに付けられている練習問題を解いてこなければならない。最初に問題に対する答え合わせをしたあと、本文を精読する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
オリエンテーション	秋学期の授業の進め方の解説	テキストとプリントの併用とその意義を解説。
UNIT 13	日本の国債の格付け	アメリカの格付け会社が発表した日本経済の評価に関する、Daily News の記事を読む。
UNIT 14	マーケットとしての中東	日本のキャラクター「ハロー・キティー」が中東にも進出しようとしていることに関する ynetnews の記事を読む。
UNIT 15	日本の領土問題	日本の領土問題に関して、アルゼンチンの新聞 Buenos Aires Herald が報道している記事を読む。
UNITb 16	日本の茶道と南アフリカ	茶道を通して行なわれた日本と南アフリカの交流に関する、City Press の記事を読む。
Time 記事	Time を読む（1）	Time に掲載された日本文化論を読み、日本とアメリカの比較文化論を考察する。プリント授業。
Time 記事	Time を読む（2）	Time に掲載された cancel culture に関するエッセイを読み、日本とアメリカの比較文化論を考察する。プリント授業。

Time 記事	Time を読む（３）	アメリカの国内テロに関する、最新の記事を読み、アメリカの司法制度と日本の司法制度を比較する。プリント授業。
日本文学の英訳	芥川龍之介『地獄変』（１）	Norman による『地獄変』の英訳の一部抜粋を読む。プリント授業。
日本文学の英訳	芥川龍之介『地獄変』（２）	Norman による『地獄変』の英訳の一部抜粋を読む。プリント授業。
日本文学の英訳	芥川龍之介『地獄変』（３）	Norman による『地獄変』の英訳の一部抜粋を読む。プリント授業。
日本論	ラフカディオ・ハーン『見知らぬ日本の面影』（１）	ハーンのエッセイを読む。プリント授業。
日本論	ラフカディオ・ハーン『見知らぬ日本の面影』（２）	ハーンのエッセイを読む。
授業内試験	復習とまとめ	授業内試験を実施し、試験終了後、解説を行い、これまでの英語学習を総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
学生はテキストを読み、問題すべてを解いて、出席しなければならない。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて１時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
The World Watches Japan ーー世界から見た日本（南雲堂）
配布プリント

【参考書】
参考書は指定しない。

【成績評価の方法と基準】
授業内試験（８０％）、平常点（２０％）各学期欠席が４回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
予習が十分なされていれば、効果が倍増するような授業を心がけたい。授業中、学生に訳読してもらい、誤訳を丁寧に直すように心がけたい。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help the students understand how people in the world look at Japanese politics, society, and culture through reading some English essays on Japan, and speaking and writing your opinions about them. The atudents are also expected to develop the ability to comprehend English passages and acquire a high level of understanding of cross-cultural problems.

LANe200LA

English ３ I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

ジェイソン・ポール・スミス

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法２年：上級／英語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Enhancing English language proficiency in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment

【到達目標】
This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
This class will start on Monday, May 11, 2020 in its regularly scheduled period using the online HOPPII Learning Management System. Students should try to self-register into the class student roster in HOPPII Learning Management System.
The class will be conducted online using the HOPPII Learning Management System until further notice. The HOPPII System will be used as the initial meeting point and communication platform, but students will be expected to branch out and use other technology platforms and/or websites as the course progresses.
The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Getting to know each other
Week 2	Unit 1 Working life	Watching video (TED Talks); Speaking exercise: giving mini-presentation about your job/studies (pair work); Grammar: present simple, expressions of frequency
Week 3	Unit 1 Working life	Reading exercise: skills for the 21st century; Listening exercise: asking about jobs; Writing assignment: a formal letter inquiring about a job

Week 4	Unit 2 Trends	Watching video (TED Talks); Vocabulary review; Speaking exercise: critical thinking about leadership and following others; Presentation tips
Week 5	Unit 2 Trends	Grammar: present simple and present continuous; Reading exercise: identifying trends; Writing exercise: formal and informal emails; Speaking: meetings and introductions, group work
Week 6	Unit 3 Money	Explanation of presentation No. 1 (parroting); Watching video (TED Talks); Vocabulary in context; Grammar: countable and uncountable nouns, expressions of quantity
Week 7	Unit 3 Money	Reading exercise: financial literacy; Vocabulary review; Speaking: critical thinking – talking about money, pair & group work
Week 8	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting; Explaining requirements and introducing topics for presentation No. 2
Week 9	Unit 4 Success	Watching video (TED Talks); Key words review; Grammar explanation and practice: past simple, past continuous, past perfect; Speaking: critical thinking – key factors for success in life
Week 10	Unit 4 Success	Reading exercise: topic about reward and motivation; Speaking: giving reasons for actions; Writing exercise: prepositions in messages
Week 11	Unit 5 Marketing	Watching video (TED Talks); Vocabulary review; Grammar: comparatives and superlatives; Speaking: critical thinking – companies giving control to customers
Week 12	Unit 5 Marketing	Reading with comprehension: effective marketing; Speaking exercise: comparison, pair work
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on the chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a song

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Paul Dummett, Helen Stephenson & Lewis Lansford: Keynote Intermediate, Cengage Learning, 2016. Student's Book + Online Workbook Code ISBN: 978-1-305-88061-0
『元経済産業省英文校閲者が書いたビジネスによく効く英語の本』ジリアン・ヨーク/森下　均著、一般財団法人経済産業調査会（￥2,200）

【参考書】

English to English dictionary:
https://dictionary.cambridge.org/
Further references will be provided by the instructor during the class.

【成績評価の方法と基準】

Students are expected to actively participate in class, prepare two presentations, complete writing assignments and pass the final test.
- Active participation in class: 20%
(In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit for the course)
- Writing assignments and tests: 40%
- Presentations: 40%

【学生の意見等からの気づき】

Since the course is being led by the current instructor for the first time, there are no student comments.

【学生が準備すべき機器他】

Textbook. Students should also bring a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.

【Outline and objectives】

Enhancing English language proficiency in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

ジェイソン・ポール・スミス

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：上級／英語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Enhancing English language proficiency in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment

【到達目標】
This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
This course will be conducted entirely in English. Students will develop speaking skills by participating in a variety of activities, such as pair & group work, delivering a presentation and practicing parroting. They will be given the opportunity to converse on topics related to current issues and to present their own ideas. There will also be regular listening and reading exercises, as well as writing assignments based on the topics discussed in each unit.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Review of the main points studied in the spring semester
Week 2	Unit 6 Communication	Watching video (TED Talks); Key words; Speaking exercise: giving mini-presentation about your interests/hobbies or area of study (pair work); Grammar: Verb patterns with infinitive and -ing
Week 3	Unit 6 Communication	Reading exercise: good communication; Listening and speaking exercise: small talk; Writing assignment: short emails
Week 4	Unit 7 Experience	Watching video (TED Talks); Vocabulary in context; Speaking exercise: critical thinking about a speaker's authority and credibility; Presentation tips
Week 5	Unit 7 Experience	Grammar: present perfect simple; Reading exercise: encouraging diversity; Vocabulary; Speaking: life experiences
Week 6	Unit 8 Seeing the future	Explanation of presentation No. 1 (parroting); Watching video (TED Talks); Key vocabulary; Grammar: future predictions (will/might)
Week 7	Unit 8 Seeing the future	Reading exercise: new gadgets; Speaking: phrases in telephoning, pair work; Writing assignment: reported speech
Week 8	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting; Explaining requirements and introducing topics for presentation No. 2
Week 9	Unit 9 Being effective	Watching video (TED Talks); Key words review; Grammar explanation and practice: zero and first conditional; Speaking: critical thinking – identifying the main idea of a speech
Week 10	Unit 9 Being effective	Reading exercise: small details matter; Speaking: giving instructions
Week 11	Unit 10 The environment	Watching video (TED Talks); Key words review; Grammar: comparatives and superlatives; Speaking: critical thinking – recognizing tone of a speaker
Week 12	Unit 10 The environment	Reading with comprehension: greenhouse gas emissions; Speaking exercise: ways to save the environment, pair & group work
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on the chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a poem

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Paul Dummett, Helen Stephenson & Lewis Lansford: Keynote Intermediate, Cengage Learning, 2016. Student's Book + Online Workbook Code ISBN: 978-1-305-88061-0
『元経済産業省英文校閲者が書いたビジネスによく効く英語の本』ジリアン・ヨーク/森下　均著、一般財団法人経済産業調査会（￥2,200）

【参考書】
English to English dictionary:
https://dictionary.cambridge.org/
Further references will be provided by the instructor during the class.

【成績評価の方法と基準】
Students are expected to actively participate in class, prepare two presentations, complete writing assignments and pass the final test.
- Active participation in class: 20%
(In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive academic credit for the course)
- Writing assignments and tests: 40%
- Presentations: 40%

【学生の意見等からの気づき】
Since the course is being led by the current instructor for the first time, there are no student comments.

【学生が準備すべき機器他】
Textbook. Students should also bring a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.

【Outline and objectives】
Enhancing English language proficiency in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English-Speaking World

佐藤　陽子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

【到達目標】
1) Students will read and understand English texts and become familiar with relevant writing styles and vocabulary items.
2) Students will critically evaluate the reading and listening materials by paying attention to the style and conducting research.
3) Students will learn to express their own opinions in speech and in writing, including group discussions, presentations and an essay.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students participate in a variety of activities that involves the four skills of reading, writing, listening and speaking. These activities include group discussion and presentations based on short reading or audio-visual materials on current affairs in the English-speaking world. The overall class atmosphere is friendly and informal.【Below is updated on 23 Apr】Our lessons have to be held in the online format *at least* for the first half of the Spring Semester. I will let you know about the changes in the syllabus/schedule on our first Zoom lesson on 27 April. Information and materials will be uploaded on HOPPII and Google Classroom (which can be accessed ONLY FROM YOUR HOSEI ACCOUNT: class code uby5dm7).

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Getting to know each other (communicative activities), plans for the semester
2	Understanding Current Issue 1	Vocabulary quiz on reading HW on Topic 1, reading HW comprehension check, listening to audio-visual material (1) on Topic 1
3	Understanding and discussing Current Issue 1	Review vocabulary quiz on reading HW, listening to audio-visual material (2), group discussion (1) on Topic 1

4	Discussing Current Issue 1	Vocabulary quiz on listening material, Group discussion (2) on Topic 1
5	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1
6	Feedback on presentations 1, understanding Current Issue 2	Peer- and teacher feedback on presentation 1, Vocabulary quiz on reading HW on Topic 2, reading HW comprehension check
7	Understanding Current Issue 2	Review vocabulary quiz on Topic 2, listening to audio-visual material on Topic 2
8	Discussing Current Issue 2	Vocabulary quiz on listening material, group discussion on Topic 2
9	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2
10	Feedback on presentations 2, understanding Current Issue 3	Peer- and teacher feedback on presentation 2, Vocabulary quiz on reading HW on Topic 3, reading HW comprehension check
11	Discussing Current Issue 3	Group discussion on Topic 3
12	Discussing essay on Current Issue 3 (1)	Discussing a draft essay HW on Topic 3 (1)
13	Discussing essay on Current Issue 3 (2)	Discussing a draft essay HW on Topic 3 (2)
14	Submission of the essay, recap of the semester & student feedback	Submission of the essay, recap of the semester; student feedback; vocabulary quiz

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to do homework assignments and prepare for regular vocabulary quizzes and presentations. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
No textbook is assigned. Materials will be provided by the instructor. Students are recommended to have an A4 folder/file to store the materials.

【参考書】
Always bring your dictionary to class. (Both paper and electronic dictionaries are accepted.)

【成績評価の方法と基準】
Students will be assessed based on the following criteria:
Class participation: 20%
Homework and quizzes: 40%
Presentations and an essay: 40%
【Below is updated on 23 Apr】Any changes will be notified on our first Zoom lesson on 27 April and via HOPPII and Google Classroom (which can be accessed ONLY FROM YOUR HOSEI ACCOUNT: class code uby5dm7).

【学生の意見等からの気づき】
You may find this course demanding, but it will pay off!

【学生が準備すべき機器他】
Students are required to use slides (e.g. PowerPoint) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g. Word). Some important information will be distributed via HOPPII and Google Classroom.

【Outline and objectives】
English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English-Speaking World

佐藤　陽子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

【到達目標】
1) Students will read and understand English texts and become familiar with relevant writing styles and vocabulary items.
2) Students will critically evaluate the reading and listening materials by paying attention to the style and conducting research.
3) Students will learn to express their own opinions in speech and in writing, including group discussions, presentations and an essay.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students participate in a variety of activities that involves the four skills of reading, writing, listening and speaking. These activities include group discussion and presentations based on short reading or audio-visual materials on current affairs in the English-speaking world. The overall class atmosphere is friendly and informal.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Warm up communicative activities, recap of last semester, plans for the semester
2	Understanding Current Issue 1; choosing and checking the topics of individual presentations	Vocabulary quiz on reading HW on Topic 1, reading HW comprehension check, listening to audio-visual material (1) on Topic 1, checking the topics of the individual presentations
3	Discussing Current Issue 1 (1); discussing topics of individual presentations (1)	Review vocabulary quiz on reading HW, group discussion (1) on Topic 1, discussing the topics of the individual presentations (1)
4	Discussing Current Issue 1 (2); discussing topics of individual presentations (2)	group discussion (2) on Topic 1, discussing the topics of the individual presentations (2)
5	Group presentation on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1
6	Feedback on presentations 1, reflection; listening, discussion of the topics of individual presentations (3)	Peer- and teacher- feedback on presentation 1, reflection and self-evaluation; listening to audio-visual material on Topic 2, discussion of the topics of individual presentations (3)
7	Individual presentations 1	Individual presentations (1), peer- and teacher-feedback
8	Individual presentations 2; review of the basics of essay writing	Individual presentations (2), peer- and teacher-feedback, review of the basic rules of essay writing
9	Individual presentations 3; essay outline	Individual presentations (3), peer- and teacher-feedback, checking the outline of the essays
10	Individual presentations 4; first draft	Individual presentations (4), peer- and teacher-feedback, checking the first draft of the essays
11	Individual presentations 5; second draft	Individual presentations (5), peer- and teacher-feedback, checking the second draft of the essays
12	Individual presentations 6; third draft	Individual presentations (6), peer- and teacher-feedback, checking the third draft of the essays
13	Individual presentations 7; fourth draft	Individual presentations (7), peer- and teacher-feedback, checking the fourth draft of the essays
14	Submission of the essay, recap of the semester & student feedback	Submission of the essay, recap of the semester; student feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
Students are expected to do homework assignments and prepare for regular vocabulary quizzes and presentations.

【テキスト（教科書）】
No textbook is assigned. Materials will be provided by the instructor. Students are recommended to have an A4 folder/file to store the materials.

【参考書】
Always bring your dictionary to class. (Both paper and electronic dictionaries are accepted.)

【成績評価の方法と基準】
Students will be assessed based on the following criteria:
Class participation: 20%
Homework and quizzes: 40%
Presentations and an essay: 40%
Please note that attendance and participation are *extremely* important. Any student who misses more than 3 classes without an acceptable reason will be automatically dropped from the class. Please also note that students are responsible for obtaining the homework information and handout materials when they are absent by contacting other students, and for coming back to class in the following week with the homework and preparation done.

【学生の意見等からの気づき】
You may find this course demanding, but it will pay off! A lot of time will be spent on individual presentations and essay writing.

【学生が準備すべき機器他】
Students are required to use slides (e.g. PowerPoint) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g. Word). Some important information will be distributed via *Jugyo Shien System*.

【Outline and objectives】
This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**ヴィクトリア朝の文化と社会を通して現代生活のルーツを探る**

高井　美紀子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：上級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、Victorians －総合教材：ヴィクトリア朝からの贈りもの―（英宝社）を主テキストとして用いますが、必要に応じて様々な英文資料を配布します。学生は、ヴィクトリア朝のイギリスについて書かれた様々な英文資料を読み、読解力を鍛えるとともに、異文化理解を深めます。さらに、授業テーマに関連した内容のライティング課題やディスカッション、プレゼンテーションを通して、英語で自分の意見を発信する能力を身につけます。世界で最初に産業革命を達成し、今日の産業資本主義社会の礎を築いたイギリスのヴィクトリア朝について学ぶことは、我々が生きる現代社会のルーツを知ることにつながります。本授業を通じて学生は、英語力とともに、このような 21 世紀のグローバル社会を生きる上での必須の知見を養います。

【到達目標】
①学生は、英文で書かれたエッセイを読み、わからない単語や表現があっても、文章の流れを通じて全体の意味を把握する能力を養う。正確な英文法の知識を身に着ける。
②学生は、英語を聞き取りディクテーションできる。
③学生は、異文化であるイギリスの歴史や文化に興味を持ち、それについて英語で自分の考えを発信することができる。クラスメイトや教師と英語で意見交換し、英語でプレゼンテーションする。
④学生は、異文化を学ぶことで、慣れ親しんだ日本文化を相対化し、グローバルな視点を身に着ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業は演習形式で行い、Cgapter1～5 までを学習します。
授業開始日は 4 月 27 日（月）です。
授業は、授業支援システムを用いてオンラインで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
4 月 27 日	第 1 回授業	課題 1 リスニング課題 エリザベス女王新型コロナメッセージ動画の翻訳
5 月 4 日	第 2 回授業 Chapter 1	課題 2 ライティング課題 （課題英作文） リスニング課題 （動画翻訳）
5 月 9 日	第 3 回授業 Chapter 1	課題 3 リーディング課題 （テキストリーディング）
5 月 11 日	第 4 回授業 Chapter 2	課題 4 ライティング課題 （課題英作文） リスニング課題 （動画翻訳）

5 月 18 日	第 5 回授業 Chapter 2	課題５ リーディング課題 （テキストリーディング）
5 月 25 日	第 6 回授業 Chapter 3 Working Lives	課題６ ライティング課題 （課題英作文） リスニング課題 （動画翻訳）
6 月 1 日	第 7 回授業 Chapter 3	課題７ リーディング課題 （テキストリーディング）
6 月 8 日	第 8 回授業 Chapter 4	課題８ ライティング課題 （課題英作文） リスニング課題 （動画翻訳）
6 月 15 日	第 9 回授業 Chapter 4	課題９ リーディング課題 （テキストリーディング）
6 月 20 日	第 10 回授業 Chapter 5	課題 10 ライティング課題 （課題英作文） リスニング課題 （動画翻訳）
6 月 22 日	第 11 回授業 Chapter 5	課題 11 リーディング課題 （テキストリーディング）
6 月 29 日	第 12 回授業 Chapter 6	課題 12 ライティング課題 （課題英作文） リスニング課題 （動画翻訳）
7 月 6 日	第 13 回授業 Chapter 6	課題 13 リーディング課題 （テキストリーディング）
7 月 13 日	第 14 回授業 学期末試験	課題 14 1 学期の授業理解度確認のための筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4
hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
予習として、リーディングの内容に簡単に目を通しておいてください。授業理解がスムーズになります。
その他にも半期中に３～４回ほど課題英作文の宿題を出します。

【テキスト（教科書）】
【テキスト名】Victorians －総合教材：ヴィクトリア朝からの贈りもの―
【著者】杉村醇子、古瀬明里、山崎麻由美
【出版社】英宝社
【出版年】2011 年
【価格】2000 円＋税

【参考書】
適宜授業中に案内します。

【成績評価の方法と基準】
今学期出す 14 回分の課題のうち 4 回分を提出しなかった場合は、原則として単位取得の資格を失います。
評価の内訳
第 1～13 回課題： 70 %
第 14 回課題（学期末筆記試験）： 30%

【学生の意見等からの気づき】
前回授業は講義中心であったために単調になってしまうこともあった。また、プレゼンテーションは経験の差が如実に影響し、これまでプレゼン機会の少なかった学生が不利になることもあった。今年度はグループワークを取り入れ、学生が積極的に協力し合って自らの力で課題の解決にあたる機会を増やしたい。

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【その他の重要事項】
課題の提出を添付ファイルで行う場合、必ず Word を用いること。添削できないので、PDF や写真を添付してはならない。
英語のオンライン授業は、学生の課題を教師が添削することが中心となります。したがって、添削の書き込みができるように、Word を用いてください。

【Outline and objectives】
This class is intended to teach students English using the text written about Victorian England and variouos supplementary materials. In this course, students will not only increase their English reading skills, they will also learn skills to express their own ideas or opinions in English through doing many exercises related to knowledge learned from the course, such as writing, discussion, and presentation. Knowing Victorian England, which experienced the Industorial Revolution first in the world and laid the foundation of Today's global society, will lead us to have better understanding of the roots of today's world. The aim of this course is to develop students' ability to use English as well as learn knowledge which is indespensable for us to live in the global society in the 21 century.

LANe200LA

English ３Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**ヴィクトリア朝の文化と社会を通して現代生活のルーツを探る**

高井　美紀子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：上級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、Victorians －総合教材：ヴィクトリア朝からの贈りもの―（英宝社）を主テキストとして用いますが、必要に応じて様々な英文資料を配布します。学生は、ヴィクトリア朝のイギリスについて書かれた様々な英文資料を読み、読解力を鍛えるとともに、異文化理解を深めます。さらに、授業テーマに関連した内容のライティング課題やディスカッション、プレゼンテーションを通して、英語で自分の意見を発信する能力を身につけます。世界で最初に産業革命を達成し、今日の産業資本主義社会の礎を築いたイギリスのヴィクトリア朝について学ぶことは、我々が生きる現代社会のルーツを知ることにつながります。本授業を通じて学生は、英語力とともに、このような 21 世紀のグローバル社会を生きる上での必須の知見を養います。

【到達目標】
①学生は、英文で書かれたエッセイを読み、わからない単語や表現があっても、文章の流れを通じて全体の意味を把握する能力を養う。正確な英文法の知識を身に着ける。
②学生は、英語を聞き取りディクテーションできる。
③学生は、異文化であるイギリスの歴史や文化に興味を持ち、それについて英語で自分の考えを発信することができる。クラスメイトや教師と英語で意見交換し、英語でプレゼンテーションする。
④学生は、異文化を学ぶことで、慣れ親しんだ日本文化を相対化し、グローバルな視点を身に着ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業は演習形式で行い、Cgapter8～15 までを学習します。
クラスの状況を見て、グループワークの形式を取ることもあります。Further Reading で、テキストで学習した内容を深めるための文献講読を行います。
ライティングの課題作文は、宿題として３回から４回ほど出す予定です。
学期末試験の前に、英語グループプレゼンテーションを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
9 月 28 日	Chapter 8 Life below Stairs	リーディング、リスニング、ライティング指導、ディスカッション
10 月 5 日	Chapter 9 Victorian Schooling	リーディング、リスニング、ライティング指導、ディスカッション
10 月 12 日	Chapter 10 Art and Archtecture	リーディング、リスニング、ライティング指導、ディスカッション
10 月 19 日	Chapter 11 A New Reading Public	リーディング、リスニング、ライティング指導、ディスカッション
10 月 26 日	Chapter 12 Social Reform	リーディング、リスニング、ライティング指導、ディスカッション
11 月 2 日	Chapter 13 Highdays and HOlidays	リーディング、リスニング、ライティング指導、ディスカッション
11 月 9 日	Chapter 14 Empire-builders	リーディング、リスニング、ライティング指導、ディスカッション
11 月 16 日	Chapter 15 The Victorian Legacy	リーディング、リスニング、ライティング指導、ディスカッション
12 月 30 日	映画視聴、ディスカッション	学習した内容に関連する映画を視聴し、その内容についてデ英語でィスカッションする。
12 月 7 日	Further Reading (1)	リーディング補習
12 月 14 日	Further Reading (2) プレゼンテーション準備	リーディング補習、プレゼン指導
12 月 21 日	プレゼンテーション	英語によるグループプレゼンテーション
1 月 18 日	学期末試験	筆記試験による学習理解の確認
1 月 19 日	まとめ	試験の講評、授業の総括、復習、今後の学習の案内

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4
hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
予習として、リーディングの内容に簡単に目を通しておいてください。授業理解がスムーズになります。
その他にも半期中に３～４回ほど課題英作文の宿題を出します。

【テキスト（教科書）】
【テキスト名】Victorians －総合教材：ヴィクトリア朝からの贈りもの―
【著者】杉村醇子、古瀬明里、山崎麻由美
【出版社】英宝社
【出版年】2011 年
【価格】2000 円＋税

【参考書】
適宜授業中に案内します。

【成績評価の方法と基準】
学期末筆記試験 50 %、ライティング課題 20 %、グループプレゼンテーション 20 %、ディスカッション等における授業貢献 10 %
欠席が４回以上になった者は原則として単位取得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
前回授業は講義中心であったために単調になってしまうこともあった。また、プレゼンテーションは経験の差が如実に影響し、これまでプレゼン機会の少なかった学生が不利になることもあった。今年度はグループワークを取り入れ、学生が積極的に協力し合って自らの力で課題の解決にあたる機会を増やしたい。

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【その他の重要事項】
必ず電子辞書または本の辞書を持参すること。携帯電話は原則として授業中は使用しない。

【Outline and objectives】
This class is intended to teach students English using the text written about Victorian England and variouos supplementary materials. In this course, students will not only increase their English reading skills, they will also learn skills to express their own ideas or opinions in English through doing many exercises related to knowledge learned from the course, such as writing, discussion, and presentation. Knowing Victorian England, which experienced the Industorial Revolution first in the world and laid the foundation of Today's global society, will lead us to have better understanding of the roots of today's world. The aim of this course is to develop students' ability to use English as well as learn knowledge which is indespensable for us to live in the global society in the 21 century.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界に映る日本**

前川　裕

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：上級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
学生が、英語の新聞・雑誌等の読解を通して、世界が日本の政治・社会・文化をどのように見ているかを理解し、英語の読解力を増すだけでなく、高度な異文化理解の能力を涵養することを目指す。また、Listening, Reading, Speaking, Writing の 4 技能を総合的に学習するために、学生が英文の内容を理解していることを確認する方法として、英問英答を導入して、ときに英文の大意を英語で要約する能力を身につける訓練をすることもある。さらに、学生が英語の表現と日本語の表現の違いを考察し、それが単に言語的差異であるだけでなく、文化的差異でもあることを認識し、比較文化的な意識を高めることも、授業の重要な目的である。

【到達目標】
学生が、英語で書かれた高度な新聞・雑誌記事を理解でき、それについて議論できること。また、そういう時事英語で使用される独特の英語表現に精通すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各国の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は、4 月 27 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。（対面授業が実施できた場合）輪読による演習形式。学生はあらかじめ予習をし、UNIT ごとに付けられている練習問題を解いてこなければならない。最初に問題に対する答え合わせをしたあと、本文を精読する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
オリエンテーション	英語学習および授業の進め方に関するオリエンテーション	授業方針を示し、授業を生かして効果的な英語学習をするために、学生が取り組むべきことを話す。
UNIT 1	歌舞伎を革新する松本幸四郎	日本の伝統文化である歌舞伎に関する英文記事を読み、それがどういう表現で伝えられているかを考える。文型研究。
UNIT 2	日本の知性　池上彰	日本の著名なジャーナリストを取りあげている英文を読み、時制について、研究する。
UNIT 3	傑物　田中角栄	日本の政治家田中角栄を取りあげている英文を読み、助動詞の有効な使用法を研究する。
UNIT 4	オバマヒロシマスピーチ	オバマ大統領が広島の原爆記念館で行なった演説に関する記事を読み、名詞・代名詞について研究する。
UNIT 5	多様化する IoT	日本のインターネットに関する英文を読み、形容詞について研究する。

UNIT 6	金融効率化 フィンテック	日本の新しい金融サービスに関する英文を読み、副詞について研究する。
UNIT 7	ガンの救世主オプシーボ	日本のガン治療の最先端しに関する英文を読み、英語の比較表現を研究する。
UNIT 8	生態系を解析　環境DNA	日本の生態系に関する英文を読み、受動態について研究する。
UNIT 9	北限のつばき	岩手県のつばきに関する英文を読み、英語の分詞について研究する。
UNIT 10	至上の米　金色の風	日本の米に関する英文を読み、動名詞について研究する。
UNIT 11	働き方改革のストレスチェック	日本の働き方改革に関する英文を読み、不定詞について研究する。
UNIT 12	リーズナブルなゲネリック医薬	日本のジェネリック医薬品に関する英文を読んで、、前置詞について研究する。
授業内試験	復習とまとめ	授業内試験を実施し、試験終了後、問題の解説を行ない、これまでの英語学習の総括を行なう。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
学生はテキストを読み、問題すべてを解いて、出席しなければならない。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Japan Evolution ーー進化する日本（南雲堂）

【参考書】
参考書は指定しない。

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講になったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。
(対面授業が実施できた場合) 授業内試験（８０％)、平常点（２０％）
各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
予習が十分なされていれば、効果が倍増するような授業を心がけたい。授業中、学生に訳読してもらい、誤訳を丁寧に直すように心がけたい。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help the students understand how people in the world look at the Japanese politics, society, and culture through reading some English essays on Japan, and speaking and writing your opinions about them. The students are also expected to develop the ability to comprehend English passages and acquire a high level of understanding of cross-cultural problems.

LANe200LA

English ３Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界に映る日本**

前川　裕

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：上級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
学生が、英語の新聞・雑誌等の読解を通して、世界が日本の政治・社会・文化をどのように見ているかを理解し、英語の読解力を増すだけでなく、高度な異文化理解の能力を涵養することを目指す。また、Listening, Reading,Speaking, Writing の４技能を総合的に学習するために、学生が英文の内容を理解していることを確認する方法として、英問英答を導入し、ときに英文の大意を英語で要約する能力を身につける訓練をすることもある。学生が英語の表現と日本語の表現の違いを考察し、それが単に言語的差異であるだけでなく、文化的差異でもあることを認識し、比較文化的な意識を高めることも、授業の重要な目的である。

【到達目標】
学生が、英語で書かれた高度な新聞・雑誌記事を理解でき、それについて議論できること。また、そういう時事英語で使用される独特の英語表現に精通すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
輪読による演習形式。学生はあらかじめ予習をし、UNIT ごとに付けられている練習問題を解いてこなければならない。最初に問題に対する答え合わせをしたあと、本文を精読する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
オリエンテーション	秋学期の授業の進め方の解説	テキストとプリントの併用とその意義を解説。
UNIT 13	夢の自動運転車	日本の自動運転車に関する英文をを読み、英語の接続詞について研究する。
UNIT 14	無限の再生可能エネルギー	日本のエネルギー問題に関する英文を読み、仮定法について研究する。
UNIT 15	活躍する３ D プリンター	日本の３ D プリンターに関する英文を読んで、英語の関係詞について研究する。
UNITb 16	日本の貿易摩擦	過去に起こった日本とアメリカの貿易摩擦に関する、Time の記事を読む。プリント授業。
Time	Time を読む（１）	日本文化に関連するエッセイを読み、日本とアメリカの文化的差異について、考察する。プリント授業。
Time	Time を読む（２）	cancel cuture び関する記事を読み、アメリカ社会と日本社会の差異を考察する。プリント授業。

Time	Time を読む（３）	アメリカの国内テロに関する記事を読み、アメリカの司法制度と日本の司法制度の差異を考察する。プリント授業。
日本文学の英訳	芥川龍之介『地獄変』（１）	Norman による『地獄変』の英訳の一部抜粋を読む。プリント授業。
日本文学の英訳	芥川龍之介『地獄変』（２）	Norman による『地獄変』の英訳の一部抜粋を読む。プリント授業。
日本文学の英訳	芥川龍之介『地獄変』（３）	Norman による『地獄変』の英訳の一部抜粋を読む。プリント授業。
日本論	ラフカディオ・ハーン『見知らぬ日本の面影』（１）	ハーン n のエッセイを読む。プリント授業。
日本論	ラフカディオ・ハーン『見知らぬ日本の面影』（２）	ハーンのエッセイを読む。
授業内試験	復習とまとめ	授業内試験を実施し、試験終了後、解説を行い、これまでの英語学習を総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
学生はテキストを読み、問題すべてを解いて、出席しなければならない。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Japan Evolution 進化する日本（南雲堂）
配布プリント

【参考書】
参考書は指定しない。

【成績評価の方法と基準】
授業内試験（８０％）、平常点（２０％）各学期欠席が４回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
予習が十分なされていれば、効果が倍増するような授業を心がけたい。授業中、学生に訳読してもらい、誤訳を丁寧に直すように心がけたい。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help the students to understand how people in the world look at the Japanese politics, society, and culture through reading some English essays on Japan, and speaking and writing your opinions about them. The students are also expected to develop the ability to comprehend English passages and acquire a high level of understanding of cross-cultural problems.

LANe200LA

English ３ I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Affairs - Understanding English News

ロジャー　エドウィン　パティモア

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／英語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Course Summary and Objectives
English 3 is a 4-skills course for second-year or intermediate level students. The category of the course is Current Affairs, and the theme is understanding US news. The base of the course is a simple textbook: “Broadcast: ABC World News”. We will broaden our study by looking at specific issues from the textbook. Students will be expected to find their own news stories and report back to the class as well as write about them.
The spring course has five main objectives:
1.To develop effective discussion skills using my Basic Discussion Skills (BDS) program
2.To develop research and presentation skills by reporting on students’ own news stories
3.To improve writing skills by writing summaries
4.To improve writing skills by writing an Eiken Level Pre-1 style essay
5.To improve critical thinking skills through (批判的思考スキル)

【到達目標】
Course Goals
The course has two goals:
1.For students to improve their understanding of current affairs outside of Japan and especially in the United States
2.For students to improve English skills to a level suitable for working or studying in an international environment

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
The course will use a Content and Language Integrated Learning (CLIL) approach. We willbe studying interesting and important world current affairs with pauses to learn specific points of English and English speaking stategies.
Other Important Points:
1. The course will be taught in English with limited use of Japanese.
2. The textbook is partially supported with Japanese.
3. The textbook is a base for discussing broader issues. We will spend some time checking vocabulary, doing textbook listening exercises, and checking comprehension questions.
4. Students will be responsible for many parts of each class. (Student-centered).
5. Some of the class will include watching US news stories featured in the textbook, and stories that students find.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introduction to the Course	Orientation to the course, rules, policies Textbook overview Introduction to the vocabulary component HW: Vocabulary for News Story 1 (NS 1)
Lesson 2	Gender Roles	Basic Discussion Skill (BDS) General Group Making and Classroom Language for Discussion Textbook (TB Ref) NS 1 Reference: Legacy of Captain Mariner Introduction to reporting component (Complete plan with units and dates for reports)
Lesson 3	Gender Roles	BDS 1: Introduction to Discussion, Issues BDS 2: Issues TB Ref: NS 1 Legacy of Captain Mariner HW: Vocabulary for NS 2
Lesson 4	Aging Society	BDS 3: Start questions TB Ref: NS 2 America Strong: Foster Grandparents
Lesson 5	Aging Society	BDS 4: Giving Opinions TB Ref: NS 2 America Strong: Foster Grandparents Introduction to writing component (Complete plan with units and dates for summaries and semester essay) HW: Vocabulary for NS 3
Lesson 6	Gun Violence	BDS 5: Reasons TB Ref: NS 3 Assault Weapons Ban in New Zealand
Lesson 7	Gun Violence	BDS 6: Support TB Ref: NS 3 Assault Weapons Ban in New Zealand HW: Vocabulary for NS 4
Lesson 8	Evaluation / Progress Check	Mid-term Exam / Report, Summary, Essay progress check-in
Lesson 9	Japan / US Relations	BDS 7: Agree and Disagree TB Ref: NS 4 Sumo Diplomacy Essay writing
Lesson 10	Japan / US Relations	TB Ref: NS 4 Sumo Diplomacy Essay writing HW: Vocabulary for NS5
Lesson 11	Terrorism	TB Ref: NS 5 American ISIS Bride Essay writing
Lesson 12	Terrorism	TB Ref: NS 5 American ISIS Bride Essay writing
Lesson 13	Evaluation	Exam and Interactive Discussion (Speaking) Test
Lesson 14	Course Wrap-up	Return of exam and other assignments Grade estimate Things to do over the summer break Print file check

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course such as this one.
Types of preparation:
1. Vocabulary homework: 15 minutes every two weeks
2. Searching for and reporting on related news stories: 2 hours per semester
3. Writing summaries: 2-3 hours per semester
4. Essay: 4-5 hours over the semester

【テキスト（教科書）】

Broadcast: ABC World News Tonight2

【参考書】

Students should have a dictionary such as an electronic dictionary with:
1. English - Japanese and Japanese English capabilites
2. An English - English (英英辞典) such as Oxford Advanced Learner's Dictionary
We may add optional apps (アプリ) to your Smartphone such as:
https://www.wordhippo.com/
...or website links
https://www.google.com/ (English)
https://en.wikipedia.org/wiki/Main_Page

【成績評価の方法と基準】

1.Print File 5%
2.Answering homework questions (5%)
3.Independent research and reports on related news stories. (10%)
4.Written summary or summaries (10%)
5.Vocabulary Tests (10%)
6.Mid-term Test (5%)
7.Final Exam (10%)
8.Discussion Test (20%)
9.Essay (25%)
Students are expected to attend class regularly. The department guideline is "In principle, no more than 3 absences per term are allowed." I will give details about attendance not covered by the university guideline, in particular tardiness and missing tests.

【学生の意見等からの気づき】

The biggest change will be the textbook. Students from last year said they didn't like the textbook. Hopefully this year's will be better.
More time will be spent on writing.

【学生が準備すべき機器他】

Standard equipment such as pens, pencils, dictionary (above)

【Outline and objectives】

Same as above

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Affairs - Understanding the News

ロジャー　エドウィン　パティモア

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／英語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Course Summary and Objectives
The course idea is the same as the spring semester but with upgraded objectives. The category of the course is Current Affairs, and the theme is understanding US news. We will continue to use “Broadcast: ABC World News” and focus on specific issues discussed in the textbook. The content of the course may be flexible as we won’t have time to complete the whole textbook. Again students will be expected to find their own news stories and report back to the class as well as write about them.
The Fall course has five main objectives:
1.To develop effective discussion skills using my Advanced Discussion Skills (XDS) program
2.To develop research and presentation skills buy reporting on students’ own news stories
3.To improve presentation skills by preparing a longer group presentation on a current world issue.
4.To improve writing skills by writing a research-style essay
5.To improve critical thinking skills through (批判的思考スキル)

【到達目標】
Course Goals
The course goals are the same as the spring semester:
1.For students to improve their understanding of current affairs outside of Japan and especially in the United States
2.For students to improve English skills to a level suitable for working or studying in an international environment

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Methods
The course will use a Content and Language Integrated Learning (CLIL) approach. We will be studying interesting and important world current affairs with pauses to learn specific points of English and English speaking strategies.
Other Important Points:
1. The course will be taught in English with limited use of Japanese.
2. The textbook is partially supported with Japanese.
3. The textbook is a base for discussing broader issues. We will spend some time checking vocabulary, doing textbook listening exercises, and checking comprehension questions.
4. Students will be responsible for many parts of each class. (Student-centered).
5. Some of the class will include watching US news stories featured in the textbook, and stories that students find.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introduction to the Course	Introduction to the fall semester Review of course rules, policies Overview of the fall semester content HW: Vocabulary for News Story 6 (NS 6)
Lesson 2	Space Travel	Advanced Discussion Skill 1 (XDS 1) Elicitation TB Ref NS 6: Milestone Mission: Virgin Galactic Introduction to reporting component (Complete plan with units and dates for reports)
Lesson 3	Space Travel	XDS 2: Advanced Start Questions TB Ref NS 6: Milestone Mission: Virgin Galactic HW: Vocabulary for News Story 9 (NS 2)
Lesson 4	Climate Change	XDS 3: Nuanced Opinions TB Ref NS 9: Journey to the Edge
Lesson 5	Climate Change	XDS 4: Socratic Discussion TB Ref NS 9: Journey to the Edge Introduction to the research essay (Complete plan with units and dates for each step) HW: Vocabulary for NS 11
Lesson 6	War and Peace	XDS 5: Critical Thinking TB Ref NS 11: American Heroes in Vietnam
Lesson 7	War and Peace	TB Ref NS 11: American Heroes in Vietnam HW: Vocabulary for NS 12
Lesson 8	Evaluation / Progress Check	Mid-term Exam / Essay progress check-in Introduction to the group presentation Choose a unit and issue
Lesson 9	Epidemics and Quarantines	TB Ref NS 12: Measles Outbreak and Quarantine in Los Angeles Presentation progress check
Lesson 10	Epidemics and Quarantines	TB Ref NS 12: Measles Outbreak and Quarantine in Los Angeles Presentation Preparation HW: Vocabulary for NS 15
Lesson 11	College Entrance System	TB Ref NS 15: College Scandal Shock Waves Presentations
Lesson 12	College Entrance System	TB Ref NS 15: College Scandal Shock Waves Presentations
Lesson 13	Evaluation	Exam Interactive Discussion (Speaking) Test
Lesson 14	Course Wrap-up	Return of exam and other assignments Grade estimate Things to do over the summer break Print file check

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
1. Vocabulary HW - about 15-20 minutes every two weeks
2. Researching and preparing short presentations of news stories 1-2 hours per semester
3. Research type essay - 4-6 hours per semester
4. Presentation of an issue from the textbook - 3-4 hours per semester

【テキスト（教科書）】
Broadcast: ABC World News Tonight

【参考書】
References are similar to the spring semester:
Good dictionary with E-J / J-E and E-E capabilities
Some online apps (アプリ)

【成績評価の方法と基準】
Grading:
1.Print File 5%
2.Answering homework questions (5%)
3.Independent research and reports on related news stories. (10%)
4.Vocabulary Tests (10%)
5.Mid-term Test (5%)
6.Group Presentation (20%)
7.Final Exam (10%)
8.Discussion Test (10%)
9.Essay (25%)
Attendance: The guideline for this department is 'In principle, students must not be absent for more than 3 classes.'
For this course in particular, being content based and including group work, students are expected to attend regularly. We will review the attendance policies in the first class of this semester.

【学生の意見等からの気づき】
The main change is the textbook which was mentioned in this space in the spring semester. I upgraded the essay assignment and will make it clearer since students last year had a great deal of trouble with this.

【学生が準備すべき機器他】
Standard equipment such as pens, pencils, dictionary

【Outline and objectives】
Same as above

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Presentation and Discussion

コートランド　D　スミス

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Welcome to this class. This course will integrate all language skill areas; listening and reading will be used to familiarize students with the content of global issue topics, speaking and writing will be employed to enable students to organize content, their ideas and opinions and communicate these to other members of the class; providing the basis for discussion and debate during class sessions.

【到達目標】
The goal of this course is to enable students to learn about various social and cultural practices from around the world. Students should be able to contextualize their own culture within diverse cultural frameworks. Through the use of various authentic materials offered in English, students should learn how to think critically about the important issues that surround them today, and develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions. Furthermore, this course should enable students to further develop their English proficiency by drawing on the skills they have learned in English 1&2. To achieve this goal, all four language skills of reading, writing, speaking and listening will be integrated into the curriculum.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Weekly listening homework will be assigned. This involves listening to a recording, and completing a transcript of its content. In class, students will review the listening assignments, do a pair-work dictation exercise and briefly review vocabulary and grammatical structures contained therein, and ask and answer questions relating to the assignment. Grammatical accuracy, vocabulary expansion, improvement of fluency and pronunciation are the objectives of homework assignments.
Students will perform multimedia presentations individually or in groups on a variety of global issues topics. The content of these presentations will provide the basis for subsequent debate and discussion. The focus of these presentations will be finding solutions to the problems or conflicts presented. Students viewing presentations will be required to complete an information form, noting the key points included in each presentation. Selected members of the class will also evaluate the presentations, providing written feedback to presenters so they may improve their delivery technique.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	1. Introductions HW/L1	Getting started

2	2. Tips on effective presentations HW/L2	Presentation DVD. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
3	3. Choose presentation topics HW/L3	Scheduling presentations. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
4	4. Japan's territorial disputes HW/L4	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
5	5. Nuclear power issue HW/L5	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
6	6. Climate change HW/L6	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
7	7. Women's rights HW/L7	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
8	8. Aging society HW/L8	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
9	9. Refugee problem HW/L9	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
10	10. Immigra-tion/migration HW/L10	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
11	11. Problems of EU HW/L11	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
12	12. Threats to world peace/N. Korea issue HW/L12	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcription sheet. In addition, students will research a variety of topics and selected students will prepare and perform multimedia presentations on a similar topic each week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook for this class. Instructor will distribute handouts for homework each week.

【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:
www.bbc.co.uk/learningenglish/ www.ted.com www.npr.com www.rt.com/documentary and English Wikipedia. The homework listening recordings can be streamed or downloaded from http://groups.yahoo.com/group/aief56/ Students will have to create a yahoo.com email address, join the group, and download the mp3 recordings from 'files' labeled 'NT2 Listening'.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on three criteria: Class participation, 25%; Presentations, 50%; Tests, quizzes, written work, 25%. Unexplained/unjustified absences exceeding three class sessions may disqualify students from obtaining credit for the course. Lateness exceeding 15 minutes without justification will count as one-third absence.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【学生が準備すべき機器他】

Students should bring their presentation slides to class on a memory stick. They can also download these files from their email accounts or dropbox.

【その他の重要事項】

IMPORTANT NOTICE Because of the current emergency situation, all classes will be held online, at the usual time and day as scheduled. So, the class will be held online on Mondays, fourth period. Zoom video conferencing will be used, so please install Zoom onto your computer, smartphone, or tablet(zoom.us). Invitations to these online classes will be sent to Hosei student email accounts and posted on Hoppi, and learning materials will be sent to student email accounts.
The first class will be held online on Monday, April 27.

【Outline and objectives】

Most class activities will consist of reading and writing, grammar drills, delivering presentations and discussion.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Presentation and Discussion

コートランド　D　スミス

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Welcome to this class. This course will integrate all language skill areas; listening and reading will be used to familiarize students with the content of global issue topics, speaking and writing will be employed to enable students to organize content, their ideas and opinions and communicate these to other members of the class; providing the basis for discussion and debate during class sessions.

【到達目標】
The goal of this course is to enable students to learn about various social and cultural practices from around the world. Students should be able to contextualize their own culture within diverse cultural frameworks. Through the use of various authentic materials offered in English, students should learn how to think critically about the important issues that surround them today, and develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions. Furthermore, this course should enable students to further develop their English proficiency by drawing on the skills they have learned in English 1&2. To achieve this goal, all four language skills of reading, writing, speaking and listening will be integrated into the curriculum.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Weekly listening homework will be assigned. This involves listening to a recording, and completing a transcript of its content. In class, students will review the listening assignments, do a pair-work dictation exercise and briefly review vocabulary and grammatical structures contained therein, and ask and answer questions relating to the assignment. Grammatical accuracy, vocabulary expansion, improvement of fluency and pronunciation are the objectives of homework assignments.
Students will perform multimedia presentations individually or in groups on a variety of global issues topics. The content of these presentations will provide the basis for subsequent debate and discussion. The focus of these presentations will be finding solutions to the problems or conflicts presented. Students viewing presentations will be required to complete an information form, noting the key points included in each presentation. Selected members of the class will also evaluate the presentations, providing written feedback to presenters so they may improve their delivery technique.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	1. Summer vacation/choose presentation topics HW/L13	Getting started. Students choose topics and schedule their presentations.
2	2. Japan/China relations HW/L14	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
3	3. Food safety/GMO foods HW/L15	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
4	4. US military in Japan HW/L16	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
5	5. Religious extremism HW/L17	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
6	6. Globalization/free trade HW/L18	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
7	7. Death penalty HW/L19	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
8	8. Japan economic problems/debt HW/L20	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
9	9. Illegal drugs/legalization HW/L21	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
10	10. Smartphones/social networking dangers-health and mental illness risk HW/L22	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
11	11. Globalization/social and economic inequality HW/L23	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
12	12. Cultural/linguistic uniformity vs diversity HW/none	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
13	13. Automa-tion/robotization and structural unemployment HW/none	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
14	14 Review/summary	Finish the term. Review and evaluation.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are required to do listening homework, which involves completing a transcription sheet. In addition, students will research a variety of topics and selected students will prepare and perform multimedia presentations on a similar topic each week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
There is no textbook for this class. Instructor will distribute handouts for listening homework each week.

【参考書】
Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:

www.bbc.co.uk/learningenglish/ www.ted.com www.npr.com www.rt.com/documentary and English Wikipedia. The homework listening recordings can be streamed or downloaded from http://groups.yahoo.com/group/aief56/ Students will have to create a yahoo.com email address, join the group, and download the mp3 recordings from 'files' labeled 'NT2 Listening'.

【成績評価の方法と基準】
Grading will be based on three criteria: Class participation, 25%; Presentations, 50%; Tests, quizzes, written work, 25%. Unexplained/unjustified absences exceeding three class sessions may disqualify students from obtaining credit for the course. Lateness exceeding 15 minutes without justification will count as one-third absence.

【学生の意見等からの気づき】
None.

【Outline and objectives】
Most class activities will consist of reading and writing, grammar drills, delivering presentations and discussion.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japanese culture in global context.

ジョナサン・エーブル

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／英語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

【到達目標】
Students will read, write,hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.
There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction.	Class methods and familiarisation with types of material.
2	A Place in the World 1	Global Perspectives.
3	A Place in the World 2	How Japan is Viewed Abroad.
4	Tradition 1	How History Informs our Present.
5	Tradition 2	Tradition Across the English Speaking World.
6	Popular Culture 1	The Fast Pace of Fashion.
7	Popular Culture 2	How Japanese Popular Culture Influences Others
8	Presentation Preparation	Topics, Groups and Ideas.
9	Presentations	Group Presentations In Class.
10	Media 1	Where We Get our News.
11	Media 2	Advertising and Commercial Communication.
12	Media 3	Movies and TV. How Entertainment Works.

13	Hello and Goodbye.	How We Meet and Take Our Leave.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interviews.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Text Previews and Preparation for Presentations in class will be expected. The task will be set each week as required.(本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。)University guidelines suggest preparation and review are around 4
hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Materials will be provided. See references.

【参考書】
NHK/NHK Educational
Japan Times
BBC News
British Council online resources (Word on the Street et al.)
Channel 4 News (UK)
CNN
Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】
Writing 25%
Presentation 15%
Class Participation 30%
Final Interview Test 30%
In principle, no more than 3 absences per term are allowed

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【Outline and objectives】
English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japanese culture in global context.

ジョナサン・エーブル

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／英語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

【到達目標】
Students will read, write,hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.
There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction to Part II	Review and Look Forward.
2	Language.	How Languages Feed Each Other in a Globalising World.
3	Art.	Historical and Modern Views of Japanese Visual Art.
4	Performance.	How Japanese Performing Arts Influence the Worlds of Theatre and Dance.
5	Film.	Cross-cultural Storytelling.
6	Food 1.	What we Eat and Why.
7	Food 2.	Where and How we Eat.
8	Presentation Preparation.	Topics Groups and Planning.
9	Presentation.	Group Presentations in Class.
10	Travel.	From Commuters to Tourists.
11	Transport.	How Mobility Shapes Social Behaviour.
12	Soocial issues 1.	Ageing and Booming Populations

13	Social Issues 2.	Crime and Punishment.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interview.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Text reading and review and presentation preparation will be required. Tasks will be set each week as appropriate.(本授業の準備学習・復習時間は、合わせて１時間を標準とします。)University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Materials will be provided. See References.

【参考書】
NHK/NHK Educational.
Japan Times.
BBC News
British Council online resources (Word on the Street et al.)
Channel 4 News (UK)
CNN
Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】
Writing 25%
Presentation 15%
Class Participation 30%
Final Interview Test 30%
n principle, no more than 3 absences per term are allowed

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【Outline and objectives】
English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

LANe200LA

English ３Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**映像文化と現代社会**

吉川　直澄

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法２年：中級／日本語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 1 と English 2 で身に着けた読む、書く、聞く、話すという四技能の英語運用能力を用いて、English 3 では、国際語としての英語を通じて、世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力や多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を学習目標とします。本授業では、こうした作業を行いながら、いくつかのキーワードを探求し、日本とイギリスの現代社会における文化的アイコンと政治・経済の関係について考えてみようと思います。教科書に加えて論文の抜粋を読み、イギリス映画や英語吹き替え版のアニメ映画を視聴し、グループ単位で発表し、可能であれば質疑応答を行うことで、上記の技能を向上させることを目指します。

【到達目標】
受講生は、英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読めるようになる。英語の文章をある程度の速度を持って読み、目的とする情報を読み取ることができるようになる。専門知識を要さない英米映画であれば、字幕なしでも重要な情報を聞き取り、それなりに楽しむことができるようになる。英語吹き替え版の日本製アニメを見ながら、異文化コミュニケーションにおいて、起こり得る問題への解決のヒントを学ぶことができる。英語のリスニングに慣れ、リスニング学習の習慣を身につけることができる。文法的に正確で、形式の整った英文パラグラフを書けるようになる。英語である程度まとまった自分の意見を表明できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業の前半は教科書、後半は DVD を使用した演習を行います。また、英語文献・資料の抜粋を読む回とグループ単位でプレゼンテーションをしてもらう回があります。学期末には、一つのテーマについての英文課題を提出してもらいます。
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日は５月４日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第１回	ガイダンス	授業テーマの確認と授業方法の説明
第２回	Unit 1. A Fortunate Accident	リーディング、リスニングと DVD を使用した演習を行います。コミュニケーションにおいてどんなことが「アイス・ブレーカー」となるのか学習します。

第 3 回	Unit 2. Britain's Best Ride	リーディング、リスニングと DVD を使用した演習を行います。ロンドン名物の旧式ダブルデッカー「ルートマスター」について調べてみましょう。
第 4 回	Unit 3. The Meaning of Bond	リーディング、リスニングと DVD を使用した演習を行います。文化的アイコンとしてのジェイムズ・ボンドの役割を考えます。
第 5 回	Unit 4. The Changing High Street	リーディング、リスニングと DVD を使用した演習を行います。日英の商店街の盛衰を比較します。チャリティーショップについて調べてみましょう。
第 6 回	Unit 5. Mild and Cloudy with a Chance of Rain	リーディング、リスニングと DVD を使用した演習を行います。イギリスの天気に関するステレオタイプを考察します。
第 7 回	マンガ・アニメの中のイギリス	英語資料の理解と分析、英訳されたコンテンツ（『黒執事』・『魔法使いの嫁』・『絢爛たるグランドセーヌ』）の中で描かれるイギリス像を考察します。
第 8 回	Unit 6. Expressive Expressions	リーディング、リスニングと DVD を使用した演習を行います。日英のイディオムを比較します。
第 9 回	Unit 7. A Woman of Some Importance	リーディング、リスニングと DVD を使用した演習を行います。文化的アイコンとしてのエリザベス二世の役割を考えます。
第 10 回	Unit 8. Shakespeare Lives On	リーディング、リスニングと DVD を使用した演習を行います。シェークスピアの生涯と作品について調べてみましょう。
第 11 回	マンガとマイノリティ	英語資料の精読と理解、マイノリティの生活史を描いたマンガ『ゴールデンカムイ』を取り上げ、アイヌ工芸作家の貝沢徹氏の大英博物館「マンガ展」のためのこの作品の推薦文と共に考察します。
第 12 回	アニメとシンパシーとエンパシー	プレゼンテーション、英語吹き替え版のアニメーション映画『聲の形』（A Silent Voice) をテーマとして、グループ発表をしてもらいます。
第 13 回	試験の説明と復習	試験範囲の説明と復習を行います。
第 14 回	試験・まとめと解説	期末試験を実施します。試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等)】
予習と復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。教科書を何度も音読すること。教科書と同様に英語のプリントもよく予習しておいてください。英語の専用ノートを作成し、表現や語彙を書き出し必ず例文も記入しておいてください。

【テキスト（教科書)】
Realise Britain,Colin Joyce, 金星堂, 2014 年, 1800 円,ISBN978-4-7647-3982-6.

【参考書】
Nicole Coolidge Rousmaiere,(2019)Manga マンガ,London: Thames & Hudson. ただし購入する必要はありません。

【成績評価の方法と基準】
学期末試験　：40%、英文作成もしくは英文要約の課題　：20%, 平常点（予習、発表、授業への積極的な参加）：40%。欠席が 4 回以上になった者は原則として単位習得の資格を失う。
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更します。具体的な方法と基準は、授業開始日以降に学習支援システムで提示します。

【学生の意見等からの気づき】
学生の皆さんの期待に沿えるように努力します。

【Outline and objectives】
The aims of this course are:
1. To encourage students to further develop their English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2.
2. To train students to learn how to think critically by examining closely various authentic materials offered in English, and thus to develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions.
3. To introduce students to the connections between cultural icons and political economy, focusing on specific keywords like 'Manga' and 'Anime'.
4. To provide students with an opportunity to participate in discussion, improving their presentational skills on a group or individual basis.

LANe200LA

English ３Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**映像文化と現代社会**

吉川　直澄

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 1 と English 2 で身に着けた読む、書く、聞く、話すという四技能の英語運用能力を用いて、English 3 では、国際語としての英語を通じて、世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力や多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を学習目標とします。本授業では、こうした作業を行いながら、イギリスの EU 離脱を巡るいくつかのキーワードを探求し、日本とイギリスの現代社会における文化的アイコンと政治・経済の関係について考えてみようと思います。教科書に加えて論文の抜粋を読み、イギリス映画を視聴し、グループ単位で発表し、可能であれば質疑応答を行うことで、上記の技能を向上させることを目指します。

【到達目標】
受講生は、英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読めるようになる。英語の文章をある程度の速度を持って読み、目的とする情報を読み取ることができるようになる。専門知識を要さない英米映画であれば、字幕なしでも重要な情報を聞き取り、それなりに楽しむことができるようになる。英語のリスニングに慣れ、リスニング学習の習慣を身につけることができる。文法的に正確で、形式の整った英文パラグラフを書けるようになる。英語である程度まとまった自分の意見を表明できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業の前半は教科書、後半は DVD を使用した演習を行います。また、英語論文の抜粋を読む回とグループ単位でプレゼンテーションをしてもらう回があります。学期末には、一つのテーマについての英文課題を提出してもらいます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	試験の返却	春学期の学期末試験の返却と授業方法の確認
第 2 回	Unit 9. British Food: Better Than Awful	リーディング、リスニングと DVD を使用した演習を行います。現代のイギリスの食文化について学びます。日本の食文化と比較した時、何が見えてくるでしょうか。
第 3 回	Unit 10. A Complicated Country	リーディング、リスニングと DVD を使用した演習を行います。イギリスの正式の国名や国歌について学びます。
第 4 回	Unit 11. The Quite Fab Four	リーディング、リスニングと DVD を使用した演習を行います。ビートルズについて調べてみましょう。
第 5 回	Unit 12. A Vulgar Custom	リーディング、リスニングと DVD を使用した演習を行います。現代イギリスの若者文化と入れ墨の普及について考えます。
第 6 回	The Establishment (1)	精読、オーウェン・ジョーンズの『エスタブリッシュメント』の抜粋を読みます。保守党とエスタブリッシュメントの関係を示す資料として、イギリス映画『ウィンストン・チャーチル』（２０１７）を鑑賞します。イギリスの小選挙区制について考察します。
第 7 回	The Establishment (2)	精読、引き続きオーウェン・ジョーンズの著作の抜粋を読み、炭鉱労働者ストライキを背景とするイギリス映画『リトル・ダンサー』（２０００）を鑑賞し、警察とエスタブリッシュメントの関係を考察します。
第 8 回	The Establishment (3)	精読、引き続きオーウェン・ジョーンズの著作の抜粋を読みます。資料として公共サービス民営化やゼロ時間契約を描いたイギリス映画『家族を想うとき』（２０１９）を鑑賞します。
第 9 回	Unit 13. The "Invension" of Sport	リーディング、リスニングと DVD を使用した演習を行います。イギリス発祥のスポーツについて調べてみましょう。
第 10 回	Unit 14 Changing Classes	リーディング、リスニングと DVD を使用した演習を行います。階級制度について学びます。
第 11 回	Unit 15 The Little Plane That "Won" the War	リーディング、リスニングと DVD を使用した演習を行います。文化的アイコンとしてのスピットファイアについて考察します。バトルオブブリテンについて調べてみましょう。
第 12 回	Presentation	本講義で取り上げたイギリス映画が提起する様々な問題からテーマを一つ選んで、グループ単位のプレゼンテーションをしてもらいます。
第 13 回	試験の説明と復習	試験範囲の説明と復習を行います。
第 14 回	試験・まとめと解説	期末試験を実施します。試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習と復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。教科書を何度も音読すること。教科書と同様に英語のプリントもよく予習しておいてください。英語の専用ノートを作成し、表現や語彙を書き出し必ず例文も記入しておいてください。

【テキスト（教科書）】
春学期のテキストを引き続き使用します。

【参考書】
Owen Jones.(2015)The Establishment.London:Penguin. ただし購入する必要はありません。

【成績評価の方法と基準】
学期末試験　：40%、英文作成もしくは英文要約の課題　：20%, 平常点（予習、プレゼンテーション、授業への積極的な参加）：40%。欠席が 4 回以上になった者は原則として単位習得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
学生の皆さんの期待に沿えるように努力します。

【Outline and objectives】
The aims of this course are:
1. To encourage students to further develop their English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2.

2. To train students to learn how to think critically by examining closely various authentic materials offered in English, and thus to develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions.
3. To introduce students to the connections between cultural icons and political economy, focusing on specific keywords like 'Brexit' and 'the Establishment'.
4. To help students to get access to interpretations of contemporary social and cultural issues and events through training their skills in linguistic and cultural competencies as well as stimulating the imagination.
5. To provide students with an opportunity to participate in discussion, improving their presentational skills on a group or individual basis.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカ文化・社会を学ぶ**

田中　裕希

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
英語圏のドラマを通して英語を学ぶ授業。英語圏の文化を学びつつ、話す・聞く・書く・読むといった 4 技能を、生の英語を教材にして伸ばしていく。

【到達目標】
英語圏のドラマを通じて英語を学び、文化的背景を踏まえた上で鑑賞できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
本授業の開始日は 4 月 27 日です。オンライン授業の方法や課題は、学習支援システムでお知らせします。
アクティビティーとディスカッションを中心に授業をすすめる。ビデオクリップを活用し、リスニングの訓練もする。プレゼンテーションを通じてスピーキングも高める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Introduction	Course introduction
第 2 回	Unit 1 Pilot	Viewing & Post-viewing activities
第 3 回	Unit 2 Pilot	Viewing & Post-viewing activities
第 4 回	Supplementary Episode	Previewing activities & Viewing
第 5 回	Supplementary Episode	Post-viewing activities
第 6 回	Presentation practice	Enhancing eye contact
第 7 回	Review	Mid-term presentations
第 8 回	Unit 3 Run for your wife	Viewing & Post-viewing activities
第 9 回	Unit 4 Run for your wife	Viewing & Post-viewing activities
第 10 回	Supplementary Episode	Previewing activities & Viewing
第 11 回	Supplementary Episode	Post-viewing activities
第 12 回	Unit 5 The bicycle thief	Viewing & Post-viewing activities
第 13 回	Review	Final presentations
第 14 回	Review	Final presentations & Feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎日予習復習をし、プレゼンテーションの準備をする。本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Modern Family Episode 1-5 ／海外ドラマ総合教材「モダン・ファミリー」松柏社.

【参考書】
授業で紹介する。

【成績評価の方法と基準】
プレゼンテーション (40%)
小テスト (30%)
平常点 (30%)
４回以上の欠席した場合、単位取得資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
より一層アクティブにディスカッションしていく。

【Outline and objectives】
This is a content-based course aimed at helping students improve English in the areas of reading, listening, writing, and speaking. In this course, students will practice and improve their English while learning about the culture of English speaking countries.

LANe200LA

English ３Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカ文化・社会を学ぶ**

田中　裕希

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法２年：中級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
英語を英語圏のドラマをつかって伸ばしていく授業。英語圏の文化を学びつつ、話す・聞く・書く・読むといった４技能を、生の英語を教材にして学ぶ。

【到達目標】
英語圏のドラマを通じて生の英語を学び、文化的背景を踏まえた上でドラマ鑑賞できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
アクティビティーとディスカッションを中心に授業をすすめる。ビデオクリップを活用し、リスニングの訓練もする。プレゼンテーションを通じてスピーキングも高める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Unit 6 The bicycle thief	Viewing & Post-viewing activities
第 2 回	Supplementary Episode	Previewing activities & Viewing
第 3 回	Supplementary Episode	Post-viewing activities
第 4 回	Unit 7 Come fly with me	Viewing & Post-viewing activities
第 5 回	Unit 8 Come fly with me	Viewing & Post-viewing activities
第 6 回	Presentation practice	Posture and eye contact
第 7 回	Review	Mid-term presentations
第 8 回	Unit 9 The incident	Viewing & Post-viewing activities
第 9 回	Unit 10 The incident	Viewing & Post-viewing activities
第 10 回	Supplementary Episode	Viewing & Post-viewing activities
第 11 回	Supplementary Episode	Previewing activities & Viewing
第 12 回	Supplementary Episode	Post-viewing activities
第 13 回	Review	Final presentations
第 14 回	Review	Final presentations & Feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎日予習復習をし、プレゼンテーションの準備をする。本授業の準備・復習時間は、各１時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Modern Family Episode 1-5 ／海外ドラマ総合教材「モダン・ファミリー」松柏社.

【参考書】
授業で紹介する。

【成績評価の方法と基準】
プレゼンテーション (40%)
小テスト (30%)
平常点 (30%)
４回以上の欠席した場合、単位取得資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
より一層アクティブにディスカッションしていく。

【Outline and objectives】
This is a content-based course aimed at helping students improve English in the areas of reading, listening, writing, and speaking. In this course, students will practice and improve their English while learning about the culture of English speaking countries (e.g., USA, UK, and New Zealand) through television programs.

LANe200LA

English ３ I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English speaking countries facing global trends

URBANOVA Jana

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
今まで皆さんが学んできた英語の「聞く」「読む」「書く」「話す」という 4 技能の能力をレベルアップすることによって、国際環境における知識の獲得や、各自の意見を英語で述べることができる自信を身に付けることを目指す。

【到達目標】
1）様々なトピックに関するリーディング、リスニング、スピーキングやライティングの練習を通じて、自分の意見を英語で自在に表現できる
2）発表の練習を通じて、プレゼンテーションスキルや英語能力を身に付ける
3）ディスカッション、ペアワーク、グループワークなどで英語のコミュニケーション能力や自由考察を高める

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
1）ペアワーク、会話、グループワーク、グループディスカッション（スピーキング練習）
2）発表（プレゼンテーション練習）
3）リーディング、リスニング、ライティング、自由考察の練習
IMPORTANT UPDATE:
Please check the Hosei Learning Management System (HOPPII) for this class to get the updated information regarding the online classes. The guidance and the fi rst assignment will be uploaded by the day of the start of this class (April 27).
授業に関する更新の情報を学習支援システム HOPPII に載せますので、ご確認ください。４月２７日までにガイダンスと課題を掲載しますので、必ずチェックをお願いします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Getting to know each other
Week 2	Unit 1 Conservation	Listening and speaking exercise: talking about endangered animals; Grammar explanation and practice: present simple and present continuous
Week 3	Unit 1 Conservation	Watching video (TED Talks); Vocabulary in context; Homework: reading with comprehension
Week 4	Unit 2 Family connections	Listening and speaking exercise: talking about family; Grammar used when talking about future plans

Week 5	Unit 2 Family connections	Watching video (TED Talks); Vocabulary review; Reading exercise: A passion for genealogy
Week 6	Unit 3 Global stories	Explanation of presentation No. 1 (parroting); Speaking exercise: talking about books; Grammar: defining relative clauses
Week 7	Unit 3 Global stories	Watching video (TED Talks); Vocabulary in context; Writing exercise: writing a book review
Week 8	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting; Explaining requirements for presentation No. 2 and watching model presentation
Week 9	Unit 4 Music	Listening and speaking: talking about music; Grammar explanation and practice: countable and uncountable nouns
Week 10	Unit 4 Music	Watching video (TED Talks); Key words review; Reading exercise: Music and the brain
Week 11	Unit 5 Good design	Listening and speaking: talking about design; Grammar explanation and practice: prepositions and adverbs of place
Week 12	Unit 5 Good design	Watching video (TED Talks); Vocabulary review; Reading with comprehension: Chicago's much loved flag
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on the chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a song

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
David Bohlke and Stephanie Parker: Keynote Pre-Intermediate, Cengage Learning, 2018. Student's Book ISBN: 978-1-337-27392-3

【参考書】
English to English dictionary:
https://dictionary.cambridge.org/
その他の参考書については授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】
積極的な授業への参加が期待される。また、発表、宿題、最終テストなどを勘案して成績を評価する。なお、4 回以上欠席した場合は、原則として単位の取得を認めない。
- Class attendance and active participation: 20%
- Writing assignments, homeworks and tests: 40%
- Two presentations: 40%

IMPORTANT UPDATE:
Please check the Hosei Learning Management System (HOPPII) for this class to get the updated information regarding the online classes and grading criteria. The guidance and the first assignment will be uploaded by the day of the start of this class (April 27).
授業に関する更新の情報を学習支援システム HOPPII に載せますので、ご確認ください。４月２７日までにガイダンスと課題を掲載しますので、必ずチェックをお願いします。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
● 教科書
● 授業内容を見返すためのノート
● 辞書／電子辞書
（英和・和英辞典の他に、English-English dictionary も必要。スマートフォンなどの通信端末を含むオンラインアクセスが望ましい。）

【その他の重要事項】
授業を登録した学生の英語レベルに応じて実際の授業内容はシラバスの内容と異なることもある。

【Outline and objectives】
Enhancing English language proficiency in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English speaking countries facing global trends

URBANOVA Jana

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
今まで皆さんが学んできた英語の「聞く」「読む」「書く」「話す」という 4 技能の能力をレベルアップすることによって、国際環境における知識の獲得や、各自の意見を英語で述べることができる自信を身に付けることを目指す。

【到達目標】
1）様々なトピックに関するリーディング、リスニング、スピーキングやライティングの練習を通じて、自分の意見を英語で自在に表現できる
2）発表の練習を通じて、プレゼンテーションスキルや英語能力を身に付ける
3）ディスカッション、ペアワーク、グループワークなどで英語のコミュニケーション能力や自由考察を高める

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
1）ペアワーク、会話、グループワーク、グループディスカッション（スピーキング練習）
2）発表（プレゼンテーション練習）
3）リーディング、リスニング、ライティング、自由考察の練習

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Review of the main points studied in the spring semester
Week 2	Unit 6 Inspiring people	Speaking exercise: talking about an inspirational person; Grammar explanation and practice: reported speech
Week 3	Unit 6 Inspiring people	Watching video (TED Talks); Key words; Writing assignment: describing an inspiring person
Week 4	Unit 7 Ethical choices	Listening and speaking exercise: talking about ethical choices; Grammar: predictions
Week 5	Unit 7 Ethical choices	Watching video (TED Talks); Vocabulary in context; Presentation skills
Week 6	Unit 8 Better cities	Explanation of presentation No. 1 (parroting); Listening: Living abroad; Grammar: phrasal verbs
Week 7	Unit 8 Better cities	Watching video (TED Talks); Key vocabulary; Reading with comprehension: Having a say about your city
Week 8	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting; Explaining requirements and introducing topics for presentation No. 2
Week 9	Unit 9 Giving	Listening and speaking: talking about good cuases; Grammar explanation and practice: *will* for offers and first conditionals
Week 10	Unit 9 Giving	Watching video (TED Talks); Key words review; Communication: choosing a charity
Week 11	Unit 10 Mind and machine	Vocabulary related to brain functions; Speaking: talking about a game; Grammar: adverbs and adverbial phrases
Week 12	Unit 10 Mind and machine	Watching video (TED Talks); Key words review; Reading with comprehension: The power of the mind
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on the chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a poem

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
David Bohlke and Stephanie Parker: Keynote Pre-Intermediate, Cengage Learning, 2018. Student's Book ISBN: 978-1-337-27392-3

【参考書】
English to English dictionary:
https://dictionary.cambridge.org/
その他の参考書については授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】
積極的な授業への参加が期待される。また、発表、宿題、最終テストなどを勘案して成績を評価する。なお、4 回以上欠席した場合は、原則として単位の取得を認めない。
- Class attendance and active participation: 20%
- Writing assignments, homeworks and tests: 40%
- Two presentations: 40%

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
● 教科書
● 授業内容を見返すためのノート
● 辞書／電子辞書
（英和・和英辞典の他に、English-English dictionary も必要。スマートフォンなどの通信端末を含むオンラインアクセスが望ましい。）

【その他の重要事項】
授業を登録した学生の英語レベルに応じて実際の授業内容はシラバスの内容と異なることもある。

【Outline and objectives】
Enhancing English language proficiency in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment

LANe200LA

English ３ Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカ映画にみる社会と文化**

遠藤　郁子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法２年：中級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

アメリカの文化と社会を理解するための鍵となるトピックについて学びます。

English ３は English １と２で身に付けた英語運用能力のさらなる養成とともに、英語で物事を批判的にくみ取って、意見を発信することを目的としています。この授業では英語を学びつつ、さまざまな角度からアメリカの文化やその社会が抱えてきた問題について考えましょう。

この授業の履修者はアメリカの文化や社会を、アメリカ映画の分析や英語で書かれた資料の読解を通して学びます。さらに、学んだトピックについて英語でレポートを書き、ディスカッションやプレゼンテーションを行うことで自分の意見を英語で表現する能力を強化します。こうした作業を通して、アメリカという国家について知るだけでなく、人種や階級、ジェンダーやエスニシティなどの問題について批評的に考える能力を身につけるところまでをこの授業の目的とします。

【到達目標】

この授業は以下の５つを到達目標とします：
①アメリカの歴史的・文化的特色をよくあらわすトピックを把握し、アメリカという国家に対する理解を深める。
②英語の文章の構成をすばやく把握し、わからない語句や文法があっても出来るだけ正確に推測する能力を習得する。
③ある程度難易度の高い英文を丁寧に正確に読む。
④英語で読んだ・聞いた情報を適切な方法で相手に伝える。
⑤人種や階級、ジェンダーやエスニシティといった問題を批評的に考える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

この授業の初回授業は 4 月 27 日（月）に学習支援システムを通して行います。
この授業ではアメリカを理解するうえで重要となるアメリカ映画を５本扱い、各映画につき２回授業を行います。１回目は映画の一部を鑑賞し、英語でのリスニングとディスカッションを行います。その後、講師が映画を理解するための鍵となるトピックについて説明をします。２回目は１回目で学んだ映画やキーワードに関連する英語資料の読解を行います。読んだ文章の語彙や構造を確認し、それを分析・要約します。

これらの授業に加え、学期末には学生によるグループ・プレゼンテーションの回を設け、アメリカの音楽や食、政治などそれぞれ興味のあるテーマについてグループ毎に調査をし、英語でプレゼンテーションを行ってもらいます。それまでの授業では英語で効果的なプレゼンテーションするための方法を学びます。

中間試験のかわりに中間レポートの提出を課します。それまでの授業では英語でレポートを書くための方法を学びます。また、学習内容の理解を確認・復習するための期末試験を実施します。
＊進度や各回の具体的な内容は学生の関心や理解度に応じて変更する可能性があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業方針・内容の説明
2	戦争・地域①	映画 Gone with the Wind の観賞・分析、Listening& Speaking
3	戦争・地域②	Reading &Writing、レポートの準備
4	人種・階級・美醜①	映画 Hairspray の観賞・分析、Listening& Speaking
5	人種・階級・美醜②	Reading &Writing、レポートの準備
6	ハートランドの文化・肥満①	映画 What's Eating Gilbert Grape の観賞・分析、Listening& Speaking
7	ハートランドの文化・肥満② ☆中間レポート提出☆	Reading &Writing、プレゼンテーションの準備
8	政治・ジェンダー・セクシュアリティ①	映画 Milk の観賞・分析、Listening& Speaking
9	政治・ジェンダー・セクシュアリティ②	Reading &Writing、プレゼンテーションの準備
10	移民①	映画 The Namesake の観賞・分析、Listening& Speaking
11	移民②	Reading &Writing、プレゼンテーションの準備
12	グループ・プレゼンテーション①	学生によるプレゼンテーション
13	グループ・プレゼンテーション②	学生によるプレゼンテーション
14	期末試験	期末試験の実施、解説・復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
・リーディングの授業
各自辞書を丁寧にひきながら指定された資料を読んできて下さい。また、その英文に関するプリントを事前に配布するので、プリントの問題を解いた上で授業に臨んでください。
・グループプレゼンテ―ション
学期末に 1 人 1 回グループ・プレゼンテーションを担当し、同じグループの仲間と一緒に資料集め、パワーポイント作成、プレゼンテーション練習などを行うことになります。各プレゼンテーションは 20 分程度です。各グループはプレゼンテーションを行う 1 週間前までに講師にパワーポイントのスライドおよび原稿を E-mail で送り、不足点や改善すべき点などを話し合います。
・レポート
各履修者はアメリカに対する理解を深めると考えられるアメリカ映画／ドラマを１本選んで視聴し、その要旨と分析を 300words 程度の英語で書き、授業支援システムを通じて提出します。詳細は授業中に指示します。提出日は 5 月 25 日で、提出の遅れたレポートは受け取りません。

【テキスト（教科書）】

プリントを配布します。
＊毎回の授業に必ず辞書を持参すること。

【参考書】

英語学習ウェブサイトやアプケーション、文学作品など、授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

春学期の少なくとも前半がオンライン開講となったことに伴い、成績評価の方法と基準も変更します。
期末試験 40%、グループプレゼンテーション 20%、レポート 30%、授業への貢献 (グループ／ペアワーク、ディスカッションへの参加) 10%
＊各学期欠席が４回以上の場合は、原則として単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度に引き続き、効果的なプレゼンテーションのためのレクチャーを織り交ぜながら、授業内でもグループプレゼンテーションの準備を進められるようにします。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to further develop students' English proficiency by drawing on what the students have learned in English 1 and English 2. Students will learn some key concepts in understanding American culture and history by referring to American films and written materials. This course will help students acquire the complex notions of race, class, gender as well as ethnicity and contextualize their own culture within diverse cultural frameworks.

LANe200LA

English ３Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**現代アイルランド**

小野瀬　宗一郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では主に文学作品を通して、アイルランドの文化と社会について学び、様々なアクティビティを用いて１年次に習得した「読む・書く・話す・聴く」の英語の四技能を更に向上させることを目指します。アイルランドは、宗教・人種・言語が異なる民族からなる、多民族国家です。規模が小さい国ながらもノーベル文学賞受賞者を４人輩出し、アイルランドが「文学大国」として知られるようになったのも、ひとえには異なる民族の文化や感性が（時には激しく衝突しながらも）混交し、個性的な文学を生み出したからでしょう。授業では１９世紀から現代に至るまで、様々な時代・背景・ジャンルの作品を読み、関連する映画を視聴し、アイルランドの文化と社会について学びます。この授業を受講することにより、英語の文学テキストを読解する基礎スキルを身に付け、日本のみならず他の英語圏の文化や社会を相対的に捉える視点も培えると思います。

【到達目標】
・英語の文学テキストを読解し、語彙と表現力の幅を広げる。
・アイルランドの文化と社会について学び、異文化の理解を深める。
・文学テキストを解釈・議論するための基礎スキルを身に付ける。
・英語で読んだ・聞いた内容を相手に伝える能力を磨く。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業では、１９世紀以降のアイルランド史を四つの時代に分け、それぞれの時代を代表する文学テキストを読み、関連するテーマの映画を視聴します。文学テキストを扱う回はリーディングに重点を置き、語彙や構文を確認しながら、作品についてグループ／クラス全体で議論し、文学テキストを分析するための基礎スキルを学びます。映画を視聴するフォローアップ・セッションでは、英語でのリスニングとディスカッションを中心に行い、それぞれの時代のアイルランドの文化と社会についての理解を深めます。各フォローアップ・セッションの冒頭に、その前に読んだ文学テキストの英語と内容についての小テストを実施します。最終課題として、授業で扱った文学テキストについて英語でレポートを書いてもらいます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	A Short History of Ireland 視聴
第 2 回	１９世紀前半のアイルランドの文化・社会①	Mary Anne Hoare, "A Sketch of Famine" 前半
第 3 回	１９世紀前半のアイルランドの文化・社会②	Mary Anne Hoare, "A Sketch of Famine" 後半
第 4 回	フォローアップ・セッション①	*第１回小テスト実施、Angela's Ashes 視聴
第 5 回	１９世紀後半のアイルランドの文化・社会①	Joseph Sheridan Le Fanu, "An Authentic Narrative of a Haunted House" 前半
第 6 回	１９世紀後半のアイルランドの文化・社会②	Joseph Sheridan Le Fanu, "An Authentic Narrative of a Haunted House" 後半

第 7 回	フォローアップ・セッション②	*第２回小テスト実施、The Last September 視聴
第 8 回	２０世紀前半のアイルランドの文化・社会①	James Joyce, “A Mother” 前半
第 9 回	２０世紀前半のアイルランドの文化・社会②	James Joyce, “A Mother” 後半
第 10 回	フォローアップ・セッション③	*第３回小テスト実施、Michael Collins 視聴
第 11 回	２０世紀後半の北アイルランドの文化・社会①	John Montague, “Cry” 前半
第 12 回	２０世紀後半の北アイルランドの文化・社会②	John Montague, “Cry” 後半
第 13 回	フォローアップ・セッション④	*第４回小テスト実施、Hunger 視聴
第 14 回	ピアレビュー	レポートのピアレビューの実施

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて１時間を標準とします。
　文学テキストを読む際、分からない単語や表現があれば辞書を引いて下さい。歴史用語についても、参考書として挙げた事典等を駆使し、出来る限り調べてきて下さい。配布するワークシートの設問にしっかり答え、ディスカッションに備えて下さい。
　レポートの書き方・提出については、授業で詳しく指示しますが、最終回（第１４回）までに 400-500 語のドラフトを書いてもらい、ピアレビューと教員のコメントを参考に原稿を推敲し、最終的に 800-1000 語のレポートを提出してもらう予定です。

【テキスト（教科書）】
授業で読む文学テキストについては、事前にコピーを配布します。
＊辞書を必ず持参して下さい。

【参考書】
海老島均・山下理恵子編著『アイルランドを知るための７０章』第３版（明石書店、２０１９年）
波多野裕造『物語アイルランドの歴史――欧州連合に賭ける “妖精の国”』（中央公論新社、１９９４年）
松村賢一編『アイルランド文学小事典』（研究者出版、１９９９年）
Lalor, Brian. Ed. The Encyclopedia of Ireland. Gill & Macmillan. 2003.
McGuire, James and James Quinn. Eds. Dictionary of Irish Biography. Cambridge University Press. 2009.
Pa š eta, Senia. Modern Ireland: A Very Short Introduction. Oxford University Press. 2003.

【成績評価の方法と基準】
小テスト 40%、授業への貢献（ディスカッション・ワークシート）30%、レポート課題 30%
*４回以上の欠席で単位修得不可となります。遅刻は２回で欠席とし、大幅な遅刻は欠席扱いとします。

【学生の意見等からの気づき】
ディスカッションの時間をなるべく多く取り、履修者が主体的に授業に参加出来るよう配慮したいと思います。

【Outline and objectives】
The aim of the course is two-fold: (1) to further develop the “4 essential skills” that you have acquired in the first year, and (2) to learn in depth about Ireland’s culture and society by reading representative works from Irish literature in the modern period (from 1801 up to the present) and by watching films with related themes. Ireland is a multicultural society composed of many groups, each differing in race, religion, and language from one another. This difference has often led to violent clashes (which still occur today) between the groups, but it has also produced distinctive literature, the high caliber of which has been recognized worldwide, not least by the Nobel Prize Committee for Literature. In this course, we will read literary works by authors from different periods and backgrounds and acquire the basic skills to critically read and discuss literary texts while learning about the different cultures within Ireland that they represent. Using this insight, we will discuss the various challenges that a multicultural and multiracial society like Ireland has faced and continues to face. The knowledge and insight gained through this course should further your interest in studying different languages and cultures.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**外国の視点による日本文化の特徴**

吉江　秀和

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

数十年後の日本の社会に関する様々な事象について予想した内容のテキスト『日本社会の未来予想図を読んで考える Future Times - News Reports from Japan's Next Generation』を中心とした英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、English 1 と English 2 で学んだ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の 4 技能の能力を包括的に高めていきます。その際に、構文を意識したより正確な英文読解力を身につけていくことを軸とし、その読解で得た情報を批判的に考察し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英語で発信する土台を構築していきます。

【到達目標】

テキストなどの読解や問題を通じて以下のことを目標とする。
①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
③テキストなどの英文を繰り返し聞いたり音読したりすることにより、英語のリスニング力やスピーキング力を鍛えていく。
④テキストの問題を活用しながら、トピックに関する自分の意見を英語で書く力を鍛えていく。
⑤自分の意見を英語で他社に伝え、聞き手はその意見を聞き取る能力をつけていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

テキスト『日本社会の未来予想図を読んで考える Future Times - News Reports from Japan's Next Generation』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、文章理解の正確性を高めるために構文を意識してもらう作業をしてもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。また、14 回の授業の中の何回かでは、授業内で扱ってきたトピックから選択し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英文でまとめたものでプレゼンテーションをおこないます。聞き手には、各発表者の発言の聞き取りをおこないます（当初）。

ただし、春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日はガイダンスとしての 4 月 27 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	予習のやり方や授業の進め方など、授業を受けるうえでの注意点の説明をします。
2	News 1	Cash loses out to electronic money
3	News 2	Japanime overtakes Disneyland as world's most popular theme park
4	News 3	Japan's unemployment hits 30% as AI advances
5	News 4	Burger McMoss sells its last hamburger made of real beef
6	復習	News 1～4 の復習
7	プレゼンテーション	News 1～4 の内容に関するプレゼンテーション テキストの内容について自分の意見を述べ、その意見の聞き取りをおこないます
8	News 5	Shinkansen takes its last passenger
9	News 6	English removed from the Center Test
10	News 7	Passports no longer required for international travel
11	復習	News 5～7 の復習
12	プレゼンテーション	News 5～7 の内容に関するプレゼンテーション テキストの内容について自分の意見を述べ、その意見の聞き取りをおこないます
13	全体の復習	News 1～7 の復習
14	期末試験	今まで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。授業中におこなうプレゼンテーションのためにもテキストの英文のリスニングや音読を普段からおこなうことを心がけてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Paul Stapleton, Atsuko Uemura『日本社会の未来予想図を読んで考える Future Times - News Reports from Japan's Next Generation』センゲージ ラーニング, 2,150 円+税

【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）とライティングおよび記述したものを基にしたプレゼンテーションとそのリスニング（40%）、そして期末試験 (40%) から総合的に評価。欠席が 4 回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が 4 回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります）。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います（当初）。

ただし、春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、上記の成績評価の方法と基準も変更します。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示します。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

【学生が準備すべき機器他】
辞書を必ず持参してください。

【その他の重要事項】
春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline and objectives】
Through reading stories and doing exercises in the textbook "Future Times" which consists of 15 predictions about Japan's future, we study how to read the sentences correctly, how to think about the topics critically and how to express our opinions. When we read the sentences, we try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each unit, we have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the unit. During the spring term, we will have one or two presentations on the topics in the textbook.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**外国の視点による日本文化の特徴**

吉江　秀和

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
数十年後の日本の社会に関する様々な事象について予想した内容のテキスト『日本社会の未来予想図を読んで考える Future Times - News Reports from Japan's Next Generation』を中心とした英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、English 1 と English 2 で学んだ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の 4 技能の能力を包括的に高めていきます。その際に、構文を意識したより正確な英文読解力を身につけていくことを軸とし、その読解で得た情報を批判的に考察し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英語で発信する土台を構築していきます。

【到達目標】
テキストなどの読解や問題を通じて以下のことを目標とする。
①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
③テキストなどの英文を繰り返し聞いたり音読したりすることにより、英語のリスニング力やスピーキング力を鍛えていく。
④テキストの問題を活用しながら、トピックに関する自分の意見を英語で書く力を鍛えていく。
⑤自分の意見を英語で他社に伝え、聞き手はその意見を聞き取る能力をつけていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキスト『日本社会の未来予想図を読んで考える Future Times - News Reports from Japan's Next Generation』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、文章理解の正確性を高めるために構文を意識してもらう作業をしてもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。また、14 回の授業の中の何回かでは、授業内で扱ってきたトピックから選択し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英文でまとめたものでプレゼンテーションをおこないます。聞き手には、各発表者の発言の聞き取りをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	News 8	Eleven Mart reintroduces human staff
2	News 9	Japanese are first humans to set foot on Mars
3	News 10	Japan joins NPTO(North Pacific Trade Organization)
4	News 11	Japan's population no longer declining
5	復習	News 8～11 の復習

6	プレゼンテーション	News 8～11 の内容に関するプレゼンテーション テキストの内容について自分の意見を述べ、その意見の聞き取りをおこないます
7	News 12	Japan's two biggest brewers merge
8	News 13	Government introduces radical new university curriculum
9	News 14	Two die in first flying car accident
10	News 15	First snowless year on Mt. Fuji
11	復習	News 12～15 の復習
12	プレゼンテーション	News 12～15 の内容に関するプレゼンテーション テキストの内容について自分の意見を述べ、その意見の聞き取りをおこないます
13	全体の復習	News 8～15 の復習
14	期末試験	今まで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。授業中におこなうプレゼンテーションのためにもテキストの英文のリスニングや音読を普段からおこなうことを心がけてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Paul Stapleton, Atsuko Uemura『日本社会の未来予想図を読んで考える Future Times - News Reports from Japan's Next Generation』センゲージ ラーニング, 2,150 円+税

【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）とライティングおよび記述したものを基にしたプレゼンテーションとそのリスニング（40%）、そして期末試験 (40%) から総合的に評価。欠席が 4 回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が 4 回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります）。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline and objectives】

Throurgh reading stories and doing exercises in the textbook "Future Times" which consists of 15 predictions about Japan's future, we study how to read the sentences correctly, how to think about the topics critically and how to express our opinions. When we read the sentences, we try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each unit, we have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the unit. During the autumn term, we will have one or two presentations on the topics in the textbook.

LANe200LA

English ３ I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**日本の立ち位置は？ - アメリカ文化との比較を通して**

吉川　太恵子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 では、English 1 と English 2 で学んだ「読む、書く、聞く、話す」という 4 技能力をさらに高めていきます。
日本の学生が国際的な視野を身につけるには、まずは海外で「普通」や「一般的」と思われていることを知る必要があります。この授業では、アメリカ文化の諸相を例として、日本人の視点とアメリカ人の視点の両方から考察します。それは「海外の普通」を知ることで、「世界の中の日本」がどのように見られているかを知ることが可能になると考えるからです。また、異なる文化を知ることで、急速に世界で変化していく物の考え方や、常識についての知見を深めることを目指します。

【到達目標】
・日本語に訳すことにこだわらず、英語で書かれた文章を英語で理解することができる。
・英文の内容を正確に把握することが出来ると同時に、知らない単語があっても、前後の内容で
　推察することができる。
・リスニング力、スピーキング力を高める。
・自分の考えをある程度の長さの文章で表現できる。
・外国の文化を知ることで日本についての理解を深め、自ら発信することができる。
・文化間の意識を高める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
＞重要＜　本授業の開始日は、4 月 22 日 (水) とします。このクラスの授業日は本来月曜日ですが、初回をなるべく早くスタートをすることで、オンライン授業を軌道に乗せたいと考えています。
・　この日までに具体的なオンライン授業の方法などを学習支援システムで提示します。なお、ご承知のように春学期の少なくとも前半は、オンラインでの授業となります。それにともなう授業内容の変更については、学習支援システムでその都度提示します。
・　各チャプターは 3 つのユニットで構成され、1 回の授業で 1 unit をカバーします。この他に、読む量を確保するために、トピックスに関連したものや、時事問題記事を使用する場合があるので、授業の流れが必ずしもスケジュール通りにはならないこともあります。この段階においては (4 月 18 日)、授業支援システムを利用したものがどのように展開できるかが未知であり、シラバスの通りには運べないことがある可能性があることをご理解ください。
・　グループワークが出来ないため、授業支援システムの「課題」機能を用いて授業の理解度と、教師との意思の疎通を図ります。可能であれば、少なくとも 1-2 回は、Skype などのビデオ機能を用いて 1 対 1 で Web 上で対面で授業や質問などをしたいと考えています。
・　授業には、テキストブック及びサブ・テキストブックの読み込みを必須とします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業支援システムを用いての授業の進め方、テキストブック及び補助教材について、出欠の扱い・インターネット環境、その他の注意点について
2	Chapter 1: Seeking Good Health(1) *Expressions for Everyday Actions*	Unit 1: The American love of vitamins A Japanese Viewpoint 1 An American Viewpoint 1
3	Chapter 1: Seeking Good Health(2) *Expressions for Everyday Actions*	Unit 2: Americans who prefer weak stuff A Japanese Viewpoint 2 An American Viewpoint 2
4	Chapter 1: Seeking Good Health (3) *Expressions for Everyday Actions*	Unit 3: Watch out for joggers! A Japanese Viewpoint 3 An American Viewpoint 3
5	Chapter 2: Good American Ideas(1) *Expressions for Everyday Actions*	Unit 4: Buying in bulk A Japanese Viewpoint 4 An American Viewpoint 4
6	Chapter 2: Good American Ideas (2) *Expressions for Everyday Actions*	Unit 5: Getting a driver's license easily A Japanese Viewpoint 5 An American Viewpoint 5
7	Chapter 2: Good American Ideas (3) *Expressions for Everyday Actions*	Unit 6: Selling textbooks after exam A Japanese Viewpoint 6 An American Viewpoint 6
8	Chapter 3: Admirable American Manners (1) *Expressions for Everyday Actions*	Unit 7: The rules of introduction A Japanese Viewpoint 7 An American Viewpoint 7
9	Chapter 3: Admirable American Manners (2) *Expressions for Everyday Actions*	Unit 8: Holding the door for other people A Japanese Viewpoint 8 An American Viewpoint 8
10	Chapter 3: Admirable American Manners (3) *Expressions for Everyday Actions*	Unit 9: Never letting anyone cut in line A Japanese Viewpoint 9 An American Viewpoint 9
11	Chapter 4: American Attitudes Against The United States (1) *Expressions for Everyday Actions*	Unit 10: Public Drunkenness A Japanese Viewpoint 10 An American Viewpoint 10
12	Chapter 4: American Attitudes Against The United States (2) *Expressions for Everyday Actions*	Unit 11: A total attack on smokers A Japanese Viewpoint 11 An American Viewpoint 11

13	Chapter 4: American Attitudes Against The United States (3) *Expressions for Everyday Actions*	Unit 12: Where are all the vending machines? A Japanese Viewpoint 12 An American Viewpoint 12
14	期末試験	テキストブック、サブ・テキストブック、配布したプリントから出題。試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は大学のガイドラインにおいて、1 単位の学科では合わせて週に 1 時間を標準としています。ただし、これは最低限の勉強時間数であり、テキストブックの読み込みや単語の意味調べなどの準備学習や復習を行うには、当然、これ以上の勉強時間数が必要となります。
(University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for an one-credit course.)
学生はテキストブックを予習し準備すること。単語の使い方などについて自ら学習することが大事です。また、レポートなどの提出は、期日をきちんと守ることが必要です。期日を守らない場合は受け取りませんので、減点の対象になります。

【テキスト（教科書）】
1.*Eye on America: Japanese and American Views of U.S. Culture*、Kobayashi Toshihiko/Shawn M. Clankie、三修社、2017 年、2400 円
2. *Expressions For Everyday Actions*、Hidehiko Konaka、南雲堂、2016 年、700 円

【参考書】
総合英語 *Evergreen*、いいずな書店、2018 年、1520 円

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更することになります。具体的な方法と基準は、実際にオンライン授業を始めてみて、その内容と期間を考慮のうえ、学習支援ステム上に提示します。
単位取得に必要となる成績評価については、初回授業 (4 月 22 日に提示します。

【学生の意見等からの気づき】
時事問題への関心が高いことから、新聞やネットなどからの記事を適宜授業に取り入れていて、毎年好評です。

【学生が準備すべき機器他】
英語辞書又は電子辞書

【Outline and objectives】
The purpose of this class is to enhance students' skills in reading, writing, listening, and speaking. Each unit provides two perspectives based on the same topic written by the non-Japanese author and the Japanese author. By reading the textbook, students will learn what is "standard" for the people in western countries such as the United States. Thereby, it would help students learn how Japan or Japanese are viewed from non-Japanese people and what's going on in the world.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**日本の立ち位置は？ - アメリカ文化との比較を通して**

吉川　太恵子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に引き続き English 3 では、English 1 と English 2 で学んだ「読む、書く、聞く、話す」という 4 技能力をさらに高めていきます。
日本の学生が国際的な視野を身につけるには、まずは海外で「普通」と言われることを知る必要があります。アメリカ文化の諸相を例として、日本人の視点とアメリカ人の視点の両方から考察します。「海外の普通」を知ることで、「世界の中の日本」がどのように見られているかを知ることが出来ると考えます。また、異なる文化を知ることで、急速に世界で変化していく物の考え方や、常識についての知見を深めることを目指します。
尚、No.10 - No.13 の授業では、イギリス人著者の『わかる日本と不思議な日本』(*Your Japan, My Japan*) から 4 つのエッセイを取り上げ、異なる視点から「世界の中の日本」について考察します。

【到達目標】
・日本語に訳すことにこだわらず、英語で書かれた文章を英語で理解することができる。
・英文の内容を正確に把握することが出来ると同時に、知らない単語があっても、前後の内容で
　推察することができる。
・リスニング力、スピーキング力を高める。
・自分の考えをある程度の長さの文章で表現できる。
・外国の文化を知ることで日本についての理解を深め、自ら発信することができる。
・文化間の意識を高める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各チャプターは 3 つのユニットで構成され、1 回の授業で 1unit をカバーします。この他に、読む量を確保するために、トピックスに関連したものや、時事問題記事を使用する場合があるので、授業の流れが必ずしもスケジュール通りにはならないこともあります。
グループワークを積極的に取り入れ、リアクションペーパーを用いて授業の理解度と、教師との意思の疎通を図ります。
授業には、テキストブック及びサブ・テキストブックの予習をしてくることを必須とします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Chapter 5: Customer Service(1) *Expressions for Everyday Actions*	Unit 13: Impolite store clerks A Japanese Viewpoint 13 An American Viewpoint 13
2	Chapter 5: Customer Service(2) *Expressions for Everyday Actions*	Unit 14: The troublesome custom of tipping A Japanese Viewpoint 14 An American Viewpoint 14

3	Chapter 5: Customer Service(3) *Expressions for Everyday Actions*	Unit 15: Senior-sized meals A Japanese Viewpoint 15 An American Viewpoint 15
4	Chapter 6: How Can They Do That?(1) *Expressions for Everyday Actions*	Unit 16: Noisy movie theaters A Japanese Viewpoint 16 An American Viewpoint 16
5	Chapter 6: How Can They Do That?(2) *Expressions for Everyday Actions*	Unit 17: Sharing a room with a stranger A Japanese Viewpoint 17 An American Viewpoint 17
6	Chapter 6: How Can They Do That?(3) *Expressions for Everyday Actions*	Unit 18: Scary public restrooms A Japanese Viewpoint 18 An American Viewpoint 18
7	Chapter 7: This Is An American Family(1) *Expressions for Everyday Actions*	Unit 19: Independent-minded children A Japanese Viewpoint 19 An American Viewpoint 19
8	Chapter 7: This Is An American Family(2) *Expressions for Everyday Actions*	Unit 20: Husbands controlling the family budget A Japanese Viewpoint 20 An American Viewpoint 20
9	Chapter 7: This Is An American Family(3) *Expressions for Everyday Actions*	Unit 21: Protecting the family with guns A Japanese Viewpoint 21 An American Viewpoint 21
10	*Your Japan, My Japan: An Englishman's Perspective*(1)	The Graduates
11	*Your Japan, My Japan: An Englishman's Perspective*(2)	Power to the People
12	*Your Japan, My Japan: An Englishman's Perspective*(3)	A Change for the Worse
13	*Your Japan, My Japan: An Englishman's Perspective*(4)	The Land of the Loudspeaker
14	期末試験	テキストブック、サブ・テキストブック、配布したプリントから出題。 試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は大学のガイドラインにおいて、1 単位の学科では合わせて週に 1 時間を標準としています。ただし、これは最低限の勉強時間数であり、テキストブックの読み込みや単語の意味調べなどの準備学習や復習を行うには、当然、これ以上の勉強時間数が必要となります。
(University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for an one-credit course.)

【テキスト（教科書）】
1. *Eye on America: Japanese and American Views of U.S. Culture*、Kobayashi Toshihiko/Shawn M. Clankie、三修社、2017 年、2400 円
2. *Expressions For Everyday Actions*、Hidehiko Konaka、南雲堂、2016 年、700 円
3. No.10 - No.13 で使用するエッセイはプリントを配布する。

【参考書】
総合英語 *Evergreen*、いいずな書店、2018 年、1520 円

【成績評価の方法と基準】
学期末試験 (40%)、小テスト (20%)、宿題 (20%)、平常点：学習状況や参加度 (20%) として総合評価します。成績評価は 100 点満点で 60 点以上が合格となります。
欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位を与えません。始業時間から 30 分以上遅刻した場合は、たとえ出席しても欠席扱いとなります。また、15 分以上の遅刻 2 回は欠席 1 回とみなします。

【学生の意見等からの気づき】
時事問題への関心が高いことから、新聞やネットなどからの記事を適宜授業に取り入れていて、毎年好評です。

【学生が準備すべき機器他】
英語辞書又は電子辞書

【その他の重要事項】
授業中に教師からの指示があった場合や、辞書代わりに使うことを教師に求めた場合以外にスマートフォンを使用することを厳禁とします。
授業目的以外にスマートフォンを使用したことを教師がみつけた場合は、平常点からの減点対象となります。

【Outline and objectives】
The purpose of this class is to enhance students' skills in reading, writing, listening, and speaking. Each unit provides two perspectives based on the same topic written by the non-Japanese author and the Japanese author. By reading the textbook, students will learn what is "standard" for the people in western countries such as the United States. Thereby, it would help students learn how Japan or Japanese are viewed from non-Japanese people and what's going on in the world.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカの文化と社会**

吉田　季実子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
映像資料を用いて、アメリカの歴史と文化を学ぶ。
English3 では English1 2 で身に着けた英語運用能力のさらなる養成とともに英語で物事を理解し発信することを目的とする。
また英語の学習だけでなく、アメリカの文化についての理解を深めることも目的とする。
ニュース画像を見てリスニング、リーディング力を高めるとともに授業内に学んだ表現での
スピーキング、ライティングも行う

【到達目標】
授業内で視聴する教材の英語に関しては内容をほぼ理解できるようにリスニング能力を高める。またその論点をくみ取ったうえでそれを受けて英語で自分の考えをまとめるだけでなく、アメリカの文化に関する知識を身に着ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストに沿って、ビデオ教材、CD 教材を用いたリスニングを行う。扱われている内容に関してのテキストの精読も行い、語彙力の養成や構文の理解を
確認する。
初回は 5 月 11 日としますのでそれまでに通信販売を利用して教科書を準備のこと

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	導入	授業の進め方や評価についての説明
2	Unit1	映像資料を用いたリスニングと語彙の確認
3	Unit1	CD 資料を用いたリスニングと関係テキストの精読
4	Unit2	映像資料を用いたリスニングと語彙の確認
5	Unit2	CD 資料を用いたリスニングと関係テキストの精読
6	Unit3	映像資料を用いたリスニングと語彙の確認
7	Unit3	CD 資料を用いたリスニングと関係テキストの精読
8	Unit4	映像資料を用いたリスニングと語彙の確認
9	Unit4	CD 資料を用いたリスニングと関係テキストの精読
10	Unit5	映像資料を用いたリスニングと語彙の確認
11	Unit5	CD 資料を用いたリスニングと関係テキストの精読
12	Unit6	映像資料を用いたリスニングと語彙の確認
13	Unit6	CD 資料を用いたリスニングと関係テキストの精読
14	まとめ	Unit1-6 の復習、補足

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
教材の予習のところを適宜指示に従って解き、新出単語の確認をすること。
小テストに向けての復習をすること。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
American Culture. Video Listening/『アメリカン・カルチャー―ビデオで辿る歴史と文化』(2006) 朝日出版社

【参考書】
指定なし

【成績評価の方法と基準】
小テスト 70%
授業中の問題演習等 30%
各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない
・今学期出す 14 回分の課題のうち、4 回分を提出しなかった場合は、原則として単位修得の資格 を失います。

【学生の意見等からの気づき】
空調音響照明などの授業環境への配慮をする
題材に関連する事柄を適宜紹介する

【Outline and objectives】
This course introduces writing and listening skills to students taking this course by using news videos about American culture.

LANe200LA

English ３Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカの文化と社会**

吉田　季実子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
映像資料を用いて、アメリカの歴史と文化を学ぶ。
English3 では English1 2 で身に着けた英語運用能力のさらなる養成とともに英語で物事を理解し発信することを目的とする。
また英語の学習だけでなく、アメリカの文化についての理解を深めることも目的とする。
ニュース映像を通してリスニング、リーディング力を高めるとともに授業内に学んだ表現での
スピーキング、ライティングも行う

【到達目標】
授業内で視聴する教材の英語に関しては内容をほぼ理解できるようにリスニング能力を高める。またその論点をくみ取ったうえでそれを受けて英語で自分の考えをまとめるだけでなく、アメリカの文化に関する知識を身に着ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストに沿って、ビデオ教材、CD 教材を用いたリスニングを行う。扱われている内容に関してのテキストの精読も行い、語彙力の養成や構文の理解を
確認する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Unit7	映像資料を用いたリスニングと語彙の確認
2	Unit7	CD 資料を用いたリスニングと関係テキストの精読
3	Unit8	映像資料を用いたリスニングと語彙の確認
4	Unit8	CD 資料を用いたリスニングと関係テキストの精読
5	Unit9	映像資料を用いたリスニングと語彙の確認
6	Unit9	CD 資料を用いたリスニングと関係テキストの精読
7	Unit10	映像資料を用いたリスニングと語彙の確認
8	Unit10	CD 資料を用いたリスニングと関係テキストの精読
9	Unit11	映像資料を用いたリスニングと語彙の確認
10	Unit11	CD 資料を用いたリスニングと関係テキストの精読
11	Unit12	映像資料を用いたリスニングと語彙の確認
12	Unit12	CD 資料を用いたリスニングと関係テキストの精読
13	まとめ１	Unit7-12 の復習、補足
14	まとめ２	Unit1-12 の復習、補足

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
教材の予習のところを適宜指示に従って解き、新出単語の確認をすること。
小テストに向けての復習をすること。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします

【テキスト（教科書）】
American Culture. Video Listening/『アメリカン・カルチャー―ビデオで辿る歴史と文化』(2006) 朝日出版社

【参考書】
指定なし

【成績評価の方法と基準】
小テスト 70%
授業中の問題演習等 30%
各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない

【学生の意見等からの気づき】
教室の環境へ配慮する

【Outline and objectives】
This course introduces writing and listening skills to students taking this course by using news videos about American culture.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Affairs - Understanding English News

ロジャー　エドウィン　パティモア

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／英語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Course Summary and Objectives
English 3 is a 4-skills course for second-year or intermediate level students. The category of the course is Current Affairs, and the theme is understanding US news. The base of the course is a simple textbook: “Broadcast: ABC World News”. We will broaden our study by looking at specific issues from the textbook. Students will be expected to find their own news stories and report back to the class as well as write about them.
The spring course has five main objectives:
1.To develop effective discussion skills using my Basic Discussion Skills (BDS) program
2.To develop research and presentation skills by reporting on students’ own news stories
3.To improve writing skills by writing summaries
4.To improve writing skills by writing an Eiken Level Pre-1 style essay
5.To improve critical thinking skills through (批判的思考スキル)

【到達目標】
Course Goals
The course has two goals:
1.For students to improve their understanding of current affairs outside of Japan and especially in the United States
2.For students to improve English skills to a level suitable for working or studying in an international environment

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
The course will use a Content and Language Integrated Learning (CLIL) approach. We willbe studying interesting and important world current affairs with pauses to learn specific points of English and English speaking stategies.
Other Important Points:
1. The course will be taught in English with limited use of Japanese.
2. The textbook is partially supported with Japanese.
3. The textbook is a base for discussing broader issues. We will spend some time checking vocabulary, doing textbook listening exercises, and checking comprehension questions.
4. Students will be responsible for many parts of each class. (Student-centered).
5. Some of the class will include watching US news stories featured in the textbook, and stories that students find.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introduction to the Course	Orientation to the course, rules, policies Textbook overview Introduction to the vocabulary component HW: Vocabulary for News Story 1 (NS 1)
Lesson 2	Gender Roles	Basic Discussion Skill (BDS) General Group Making and Classroom Language for Discussion Textbook (TB Ref) NS 1 Reference: Legacy of Captain Mariner Introduction to reporting component (Complete plan with units and dates for reports)
Lesson 3	Gender Roles	BDS 1: Introduction to Discussion, Issues BDS 2: Issues TB Ref: NS 1 Legacy of Captain Mariner HW: Vocabulary for NS 2
Lesson 4	Aging Society	BDS 3: Start questions TB Ref: NS 2 America Strong: Foster Grandparents
Lesson 5	Aging Society	BDS 4: Giving Opinions TB Ref: NS 2 America Strong: Foster Grandparents Introduction to writing component (Complete plan with units and dates for summaries and semester essay) HW: Vocabulary for NS 3
Lesson 6	Gun Violence	BDS 5: Reasons TB Ref: NS 3 Assault Weapons Ban in New Zealand
Lesson 7	Gun Violence	BDS 6: Support TB Ref: NS 3 Assault Weapons Ban in New Zealand HW: Vocabulary for NS 4
Lesson 8	Evaluation / Progress Check	Mid-term Exam / Report, Summary, Essay progress check-in
Lesson 9	Japan / US Relations	BDS 7: Agree and Disagree TB Ref: NS 4 Sumo Diplomacy Essay writing
Lesson 10	Japan / US Relations	TB Ref: NS 4 Sumo Diplomacy Essay writing HW: Vocabulary for NS5
Lesson 11	Terrorism	TB Ref: NS 5 American ISIS Bride Essay writing
Lesson 12	Terrorism	TB Ref: NS 5 American ISIS Bride Essay writing
Lesson 13	Evaluation	Exam and Interactive Discussion (Speaking) Test
Lesson 14	Course Wrap-up	Return of exam and other assignments Grade estimate Things to do over the summer break Print file check

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course such as this one.
Types of preparation:
1. Vocabulary homework: 15 minutes every two weeks
2. Searching for and reporting on related news stories: 2 hours per semester
3. Writing summaries: 2-3 hours per semester
4. Essay: 4-5 hours over the semester

【テキスト（教科書）】
Broadcast: ABC World News Tonight2

【参考書】
Students should have a dictionary such as an electronic dictionary with:
1. English - Japanese and Japanese English capabilites
2. An English - English (英英辞典) such as Oxford Advanced Learner's Dictionary
We may add optional apps (アプリ) to your Smartphone such as:
https://www.wordhippo.com/
...or website links
https://www.google.com/ (English)
https://en.wikipedia.org/wiki/Main_Page

【成績評価の方法と基準】
1.Print File 5%
2.Answering homework questions (5%)
3.Independent research and reports on related news stories. (10%)
4.Written summary or summaries (10%)
5.Vocabulary Tests (10%)
6.Mid-term Test (5%)
7.Final Exam (10%)
8.Discussion Test (20%)
9.Essay (25%)
Students are expected to attend class regularly. The department guideline is "In principle, no more than 3 absences per term are allowed." I will give details about attendance not covered by the university guideline, in particular tardiness and missing tests.

【学生の意見等からの気づき】
The biggest change will be the textbook. Students from last year said they didn't like the textbook. Hopefully this year's will be better.
More time will be spent on writing.

【学生が準備すべき機器他】
standard equipment such as pens, pencils, dictionary (above)

【Outline and objectives】
Same as above

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Affairs - Understanding English News

ロジャー　エドウィン　パティモア

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／英語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Course Summary and Objectives
The course idea is the same as the spring semester but with upgraded objectives. The category of the course is Current Affairs, and the theme is understanding US news. We will continue to use "Broadcast: ABC World News" and focus on specific issues discussed in the textbook. The content of the course may be flexible as we won't have time to complete the whole textbook. Again students will be expected to find their own news stories and report back to the class as well as write about them.
The Fall course has five main objectives:
1.To develop effective discussion skills using my Advanced Discussion Skills (XDS) program
2.To develop research and presentation skills buy reporting on students' own news stories
3.To improve presentation skills by preparing a longer group presentation on a current world issue.
4.To improve writing skills by writing a research-style essay
5.To improve critical thinking skills through (批判的思考スキル)

【到達目標】
Course Goals
The course goals are the same as the spring semester:
1.For students to improve their understanding of current affairs outside of Japan and especially in the United States
2.For students to improve English skills to a level suitable for working or studying in an international environment

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Methods
The course will use a Content and Language Integrated Learning (CLIL) approach. We will be studying interesting and important world current affairs with pauses to learn specific points of English and English speaking strategies.
Other Important Points:
1. The course will be taught in English with limited use of Japanese.
2. The textbook is partially supported with Japanese.
3. The textbook is a base for discussing broader issues. We will spend some time checking vocabulary, doing textbook listening exercises, and checking comprehension questions.
4. Students will be responsible for many parts of each class. (Student-centered).
5. Some of the class will include watching US news stories featured in the textbook, and stories that students find.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introduction to the Course	Introduction to the fall semester Review of course rules, policies Overview of the fall semester content HW: Vocabulary for News Story 6 (NS 6)
Lesson 2	Space Travel	Advanced Discussion Skill 1 (XDS 1) Elicitation TB Ref NS 6: Milestone Mission: Virgin Galactic Introduction to reporting component (Complete plan with units and dates for reports)
Lesson 3	Space Travel	XDS 2: Advanced Start Questions TB Ref NS 6: Milestone Mission: Virgin Galactic HW: Vocabulary for News Story 9 (NS 2)
Lesson 4	Climate Change	XDS 3: Nuanced Opinions TB Ref NS 9: Journey to the Edge
Lesson 5	Climate Change	XDS 4: Socratic Discussion TB Ref NS 9: Journey to the Edge Introduction to the research essay (Complete plan with units and dates for each step) HW: Vocabulary for NS 11
Lesson 6	War and Peace	XDS 5: Critical Thinking TB Ref NS 11: American Heroes in Vietnam
Lesson 7	War and Peace	TB Ref NS 11: American Heroes in Vietnam HW: Vocabulary for NS 12
Lesson 8	Evaluation / Progress Check	Mid-term Exam / Essay progress check-in Introduction to the group presentation Choose a unit and issue
Lesson 9	Epidemics and Quarantines	TB Ref NS 12: Measles Outbreak and Quarantine in Los Angeles Presentation progress check
Lesson 10	Epidemics and Quarantines	TB Ref NS 12: Measles Outbreak and Quarantine in Los Angeles Presentation Preparation HW: Vocabulary for NS 15
Lesson 11	College Entrance System	TB Ref NS 15: College Scandal Shock Waves Presentations
Lesson 12	College Entrance System	TB Ref NS 15: College Scandal Shock Waves Presentations
Lesson 13	Evaluation	Exam Interactive Discussion (Speaking) Test
Lesson 14	Course Wrap-up	Return of exam and other assignments Grade estimate Things to do over the summer break Print file check

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

1. Vocabulary HW - about 15-20 minutes every two weeks
2. Researching and preparing short presentations of news stories 1-2 hours per semester
3. Research type essay - 4-6 hours per semester
4. Presentation of an issue from the textbook - 3-4 hours per semester

【テキスト（教科書）】

Broadcast: ABC World News Tonight

【参考書】

References are similar to the spring semester:
Good dictionary with E-J / J-E and E-E capabilities
Some online apps (アプリ)

【成績評価の方法と基準】

Grading:
1.Print File 5%
2.Answering homework questions (5%)
3.Independent research and reports on related news stories. (10%)
4.Vocabulary Tests (10%)
5.Mid-term Test (5%)
6.Group Presentation (20%)
7.Final Exam (10%)
8.Discussion Test (10%)
9.Essay (25%)
Attendance: The guideline for this department is 'In principle, students must not be absent for more than 3 classes.'
For this course in particular, being content based and including group work, students are expected to attend regularly. We will review the attendance policies in the first class of this semester.

【学生の意見等からの気づき】

The main change is the textbook which was mentioned in this space in the spring semester. I upgraded the essay assignment and will make it clearer since students last year had a great deal of trouble with this.

【学生が準備すべき機器他】

Standard equipment such as pens, pencils, dictionary

【Outline and objectives】

Same as above

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Presentation and Discussion

コートランド　D　スミス

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Welcome to this class. This course will integrate all language skill areas; listening and reading will be used to familiarize students with the content of global issue topics, speaking and writing will be employed to enable students to organize content, their ideas and opinions and communicate these to other members of the class; providing the basis for discussion and debate during class sessions.

【到達目標】
The goal of this course is to enable students to learn about various social and cultural practices from around the world. Students should be able to contextualize their own culture within diverse cultural frameworks. Through the use of various authentic materials offered in English, students should learn how to think critically about the important issues that surround them today, and develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions. Furthermore, this course should enable students to further develop their English proficiency by drawing on the skills they have learned in English 1&2. To achieve this goal, all four language skills of reading, writing, speaking and listening will be integrated into the curriculum.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Weekly listening homework will be assigned. This involves listening to a recording, and completing a transcript of its content. In class, students will review the listening assignments, do a pair-work dictation exercise and briefly review vocabulary and grammatical structures contained therein, and ask and answer questions relating to the assignment. Grammatical accuracy, vocabulary expansion, improvement of fluency and pronunciation are the objectives of homework assignments.
Students will perform multimedia presentations individually or in groups on a variety of global issues topics. The content of these presentations will provide the basis for subsequent debate and discussion. The focus of these presentations will be finding solutions to the problems or conflicts presented. Students viewing presentations will be required to complete an information form, noting the key points included in each presentation. Selected members of the class will also evaluate the presentations, providing written feedback to presenters so they may improve their delivery technique.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	1. Introductions HW/L1	Getting started
2	2. Tips on effective presentations HW/L2	Presentation DVD. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
3	3. Choose presentation topics HW/L3	Scheduling presentations. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
4	4. Japan's territorial disputes HW/L4	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
5	5. Nuclear power issue HW/L5	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
6	6. Climate change HW/L6	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
7	7. Women's rights HW/L7	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
8	8. Aging society HW/L8	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
9	9. Refugee problem HW/L9	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
10	10. Immigra-tion/migration HW/L10	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
11	11. Problems of EU HW/L11	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
12	12. Threats to world peace/N. Korea issue HW/L12	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are required to do listening homework, which involves completing a transcription sheet. In addition, students will research a variety of topics and selected students will prepare and perform multimedia presentations on a similar topic each week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
There is no textbook for this class. Instructor will distribute handouts for homework each week.

【参考書】
Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:
www.bbc.co.uk/learningenglish/ www.ted.com www.npr.com www.rt.com/documentary and English Wikipedia. The homework listening recordings can be streamed or downloaded from http://groups.yahoo.com/group/aief56/ Students will have to create a yahoo.com email address, join the group, and download the mp3 recordings from 'files' labeled 'NT2 Listening'.

【成績評価の方法と基準】
Grading will be based on three criteria: Class participation, 25%; Presentations, 50%; Tests, quizzes, written work, 25%. Unexplained/unjustified absences exceeding three class sessions may disqualify students from obtaining credit for the course. Lateness exceeding 15 minutes without justification will count as one-third absence.

【学生の意見等からの気づき】
None.

【学生が準備すべき機器他】
Students should bring their presentation slides to class on a memory stick. They can also download these files from their email accounts or dropbox.

【その他の重要事項】
IMPORTANT NOTICE Because of the current emergency situation, all classes will be held online, at the usual time and day as scheduled. So, the class will be held online on Mondays, fifth period. Zoom video conferencing will be used, so please install Zoom onto your computer, smartphone, or tablet(zoom.us). Invitations to these online classes will be sent to Hosei student email accounts and posted on Hoppi, and learning materials will be sent to student email accounts.
The first class will be held online on Monday, April 27.

【Outline and objectives】
Most class activities will consist of reading and writing, grammar drills, delivering presentations and discussion.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Presentation and Discussion

コートランド　D　スミス

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Welcome to this class. This course will integrate all language skill areas; listening and reading will be used to familiarize students with the content of global issue topics, speaking and writing will be employed to enable students to organize content, their ideas and opinions and communicate these to other members of the class; providing the basis for discussion and debate during class sessions.

【到達目標】
The goal of this course is to enable students to learn about various social and cultural practices from around the world. Students should be able to contextualize their own culture within diverse cultural frameworks. Through the use of various authentic materials offered in English, students should learn how to think critically about the important issues that surround them today, and develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions. Furthermore, this course should enable students to further develop their English proficiency by drawing on the skills they have learned in English 1&2. To achieve this goal, all four language skills of reading, writing, speaking and listening will be integrated into the curriculum.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Weekly listening homework will be assigned. This involves listening to a recording, and completing a transcript of its content. In class, students will review the listening assignments, do a pair-work dictation exercise and briefly review vocabulary and grammatical structures contained therein, and ask and answer questions relating to the assignment. Grammatical accuracy, vocabulary expansion, improvement of fluency and pronunciation are the objectives of homework assignments.
Students will perform multimedia presentations individually or in groups on a variety of global issues topics. The content of these presentations will provide the basis for subsequent debate and discussion. The focus of these presentations will be finding solutions to the problems or conflicts presented. Students viewing presentations will be required to complete an information form, noting the key points included in each presentation. Selected members of the class will also evaluate the presentations, providing written feedback to presenters so they may improve their delivery technique.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	1. Summer vacation/choose presentation topics HW/L13	Getting started. Students choose topics and schedule their presentations.
2	2. Japan/China relations HW/L14	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
3	3. Food safety/GMO foods HW/L15	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
4	4. US military in Japan HW/L16	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
5	5. Religious extremism HW/L17	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
6	6. Globalization/free trade HW/L18	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
7	7. Death penalty HW/L19	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
8	8. Japan economic problems/debt HW/L20	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
9	9. Illegal drugs/legalization HW/L21	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
10	10. Smartphones/social networking dangers-health and mental illness risk HW/L22	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
11	11. Globalization/social and economic inequality HW/L23	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
12	12. Cultural/linguistic uniformity vs diversity HW/none	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
13	13. Automa-tion/robotization and structural unemployment HW/none	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
14	14 Review/summary	Finish the term. Review and evaluation.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcription sheet. In addition, students will research a variety of topics and selected students will prepare and perform multimedia presentations on a similar topic each week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook for this class. Instructor will distribute handouts for listening homework each week.

【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include: www.bbc.co.uk/learningenglish/ www.ted.com www.npr.com www.rt.com/documentary and English Wikipedia. The homework listening recordings can be streamed or downloaded from http://groups.yahoo.com/group/aief56/ Students will have to create a yahoo.com email address, join the group, and download the mp3 recordings from 'files' labeled 'NT2 Listening'.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on three criteria: Class participation, 25%; Presentations, 50%; Tests, quizzes, written work, 25%. Unexplained/unjustified absences exceeding three class sessions may disqualify students from obtaining credit for the course. Lateness exceeding 15 minutes without justification will count as one-third absence.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【Outline and objectives】

Most class activities will consist of reading and writing, grammar drills, delivering presentations and discussion.

LANe200LA

English ３ Ｉ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**映像文化と現代社会**

吉川　直澄

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 1 と English 2 で身に着けた読む、書く、聞く、話すという四技能の英語運用能力を用いて、English 3 では、国際語としての英語を通じて、世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力や多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を学習目標とします。本授業では、こうした作業を行いながら、いくつかのキーワードを探求し、日本とイギリスの現代社会における文化的アイコンと政治・経済の関係について考えてみようと思います。教科書に加えて論文の抜粋を読み、イギリス映画や英語吹き替え版のアニメ映画を視聴し、グループ単位で発表し、可能であれば質疑応答を行うことで、上記の技能を向上させることを目指します。

【到達目標】
受講生は、英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読めるようになる。英語の文章をある程度の速度を持って読み、目的とする情報を読み取ることができるようになる。専門知識を要さない英米映画であれば、字幕なしでも重要な情報を聞き取り、それなりに楽しむことができるようになる。英語吹き替え版の日本製アニメを見ながら、異文化コミュニケーションにおいて、起こり得る問題への解決のヒントを学ぶことができる。英語のリスニングに慣れ、リスニング学習の習慣を身につけることができる。文法的に正確で、形式の整った英文パラグラフを書けるようになる。英語である程度まとまった自分の意見を表明できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業の前半は教科書、後半は DVD を使用した演習を行います。また、英語文献・資料の抜粋を読む回とグループ単位でプレゼンテーションをしてもらう回があります。学期末には、一つのテーマについての英文課題を提出してもらいます。
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日は５月４日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業テーマの確認と授業方法の説明
第 2 回	Unit 1. A Fortunate Accident	リーディング、リスニングと DVD を使用した演習を行います。コミュニケーションにおいてどんなことが「アイス・ブレーカー」となるのか学習します。
第 3 回	Unit 2. Britain's Best Ride	リーディング、リスニングと DVD を使用した演習を行います。ロンドン名物の旧式ダブルデッカー「ルートマスター」について調べてみましょう。
第 4 回	Unit 3. The Meaning of Bond	リーディング、リスニングと DVD を使用した演習を行います。文化的アイコンとしてのジェイムズ・ボンドの役割を考えます。
第 5 回	Unit 4. The Changing High Street	リーディング、リスニングと DVD を使用した演習を行います。日英の商店街の盛衰を比較します。チャリティーショップについて調べてみましょう。
第 6 回	Unit 5. Mild and Cloudy with a Chance of Rain	リーディング、リスニングと DVD を使用した演習を行います。イギリスの天気に関するステレオタイプを考察します。
第 7 回	マンガ・アニメの中のイギリス	英語資料の理解と分析、英訳されたコンテンツ（『黒執事』・『魔法使いの嫁』・『絢爛たるグランドセーヌ』）の中で描かれるイギリス像を考察します。
第 8 回	Unit 6. Expressive Expressions	リーディング、リスニングと DVD を使用した演習を行います。日英のイディオムを比較します。
第 9 回	Unit 7. A Woman of Some Importance	リーディング、リスニングと DVD を使用した演習を行います。文化的アイコンとしてのエリザベス二世の役割を考えます。
第 10 回	Unit 8. Shakespeare Lives On	リーディング、リスニングと DVD を使用した演習を行います。シェークスピアの生涯と作品について調べてみましょう。
第 11 回	マンガとマイノリティ	英語資料の精読と理解、マイノリティの生活史を描いたマンガ『ゴールデンカムイ』を取り上げ、アイヌ工芸作家の貝沢徹氏の大英博物館「マンガ展」のためのこの作品の推薦文と共に考察します。
第 12 回	アニメとシンパシーとエンパシー	プレゼンテーション、英語吹き替え版のアニメーション映画『聲の形』（A Silent Voice) をテーマとして、グループ発表をしてもらいます。
第 13 回	試験の説明と復習	試験範囲の説明と復習を行います。
第 14 回	試験・まとめと解説	期末試験を実施します。試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習と復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。教科書を何度も音読すること。教科書と同様に英語のプリントもよく予習しておいてください。英語の専用ノートを作成し、表現や語彙を書き出し必ず例文も記入しておいてください。

【テキスト（教科書）】
Realise Britain,Colin Joyce, 金星堂, 2014 年, 1800 円,ISBN978-4-7647-3982-6.

【参考書】
Nicole Coolidge Rousmaiere,(2019)Manga マンガ,London: Thames & Hudson. ただし購入する必要はありません。

【成績評価の方法と基準】
学期末試験　：40%、英文作成もしくは英文要約の課題　：20%, 平常点（予習、発表、授業への積極的な参加）：40%。欠席が 4 回以上になった者は原則として単位習得の資格を失う。
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更します。具体的な方法と基準は、授業開始日以降に学習支援システムで提示します。

【学生の意見等からの気づき】
学生の皆さんの期待に沿えるように努力します。

【Outline and objectives】
The aims of this course are:
1. To encourage students to further develop their English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2.
2. To train students to learn how to think critically by examining closely various authentic materials offered in English, and thus to develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions.
3. To introduce students to the connections between cultural icons and political economy, focusing on specific keywords like 'Manga' and 'Anime'.
4. To provide students with an opportunity to participate in discussion, improving their presentational skills on a group or individual basis.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**映像文化と現代社会**

吉川　直澄

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 1 と English 2 で身に着けた読む、書く、聞く、話すという四技能の英語運用能力を用いて、English 3 では、国際語としての英語を通じて、世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力や多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を学習目標とします。本授業では、こうした作業を行いながら、イギリスの EU 離脱を巡るいくつかのキーワードを探求し、日本とイギリスの現代社会における文化的アイコンと政治・経済の関係について考えてみようと思います。教科書に加えて論文の抜粋を読み、イギリス映画を視聴し、グループ単位で発表し、可能であれば質疑応答を行うことで、上記の技能を向上させることを目指します。

【到達目標】
受講生は、英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読めるようになる。英語の文章をある程度の速度を持って読み、目的とする情報を読み取ることができるようになる。専門知識を要さない英米映画であれば、字幕なしでも重要な情報を聞き取り、それなりに楽しむことができるようになる。英語のリスニングに慣れ、リスニング学習の習慣を身につけることができる。文法的に正確で、形式の整った英文パラグラフを書けるようになる。英語である程度まとまった自分の意見を表明できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業の前半は教科書、後半は DVD を使用した演習を行います。また、英語論文の抜粋を読む回とグループ単位でプレゼンテーションをしてもらう回があります。学期末には、一つのテーマについての英文課題を提出してもらいます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	試験の返却	春学期の学期末試験の返却と授業方法の確認
第 2 回	Unit 9. British Food: Better Than Awful	リーディング、リスニングと DVD を使用した演習を行います。現代のイギリスの食文化について学びます。日本の食文化と比較した時、何が見えてくるでしょうか。
第 3 回	Unit 10. A Complicated Country	リーディング、リスニングと DVD を使用した演習を行います。イギリスの正式の国名や国歌について学びます。
第 4 回	Unit 11. The Quite Fab Four	リーディング、リスニングと DVD を使用した演習を行います。ビートルズについて調べてみましょう。

第 5 回	Unit 12. A Vulgar Custom	リーディング、リスニングと DVD を使用した演習を行います。現代イギリスの若者文化と入れ墨の普及について考えます。
第 6 回	The Establishment (1)	精読、オーウェン・ジョーンズの『エスタブリッシュメント』の抜粋を読みます。保守党とエスタブリッシュメントの関係を示す資料として、イギリス映画『ウィンストン・チャーチル』（２０１７）を鑑賞します。イギリスの小選挙区制について考察します。
第 7 回	The Establishment (2)	精読、引き続きオーウェン・ジョーンズの著作の抜粋を読み、炭鉱労働者ストライキを背景とするイギリス映画『リトル・ダンサー』（２０００）を鑑賞し、警察とエスタブリッシュメントの関係を考察します。
第 8 回	The Establishment (3)	精読、引き続きオーウェン・ジョーンズの著作の抜粋を読みます。資料として公共サービス民営化やゼロ時間契約を描いたイギリス映画『家族を想うとき』（２０１９）を鑑賞します。
第 9 回	Unit 13. The "Invension" of Sport	リーディング、リスニングと DVD を使用した演習を行います。イギリス発祥のスポーツについて調べてみましょう。
第 10 回	Unit 14 Changing Classes	リーディング、リスニングと DVD を使用した演習を行います。階級制度について学びます。
第 11 回	Unit 15 The Little Plane That "Won" the War	リーディング、リスニングと DVD を使用した演習を行います。文化的アイコンとしてのスピットファイアについて考察します。バトルオブブリテンについて調べてみましょう。
第 12 回	Presentation	本講義で取り上げたイギリス映画が提起する様々な問題からテーマを一つ選んで、グループ単位のプレゼンテーションをしてもらいます。
第 13 回	試験の説明と復習	試験範囲の説明と復習を行います。
第 14 回	試験・まとめと解説	期末試験を実施します。試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習と復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。教科書を何度も音読すること。教科書と同様に英語のプリントもよく予習しておいてください。英語の専用ノートを作成し、表現や語彙を書き出し必ず例文も記入しておいてください。

【テキスト（教科書）】
春学期のテキストを引き続き使用します。

【参考書】
Owen Jones.(2015)The Establishment.London:Penguin. ただし購入する必要はありません。

【成績評価の方法と基準】
学期末試験　：40%、英文作成もしくは英文要約の課題　：20%, 平常点（予習、プレゼンテーション、授業への積極的な参加）：40%。欠席が 4 回以上になった者は原則として単位習得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
学生の皆さんの期待に沿えるように努力します。

【Outline and objectives】
The aims of this course are:
1. To encourage students to further develop their English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2.
2. To train students to learn how to think critically by examining closely various authentic materials offered in English, and thus to develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions.
3. To introduce students to the connections between cultural icons and political economy, focusing on specific keywords like 'Brexit' and 'the Establishment'.
4. To help students to get access to interpretations of contemporary social and cultural issues and events through training their skills in linguistic and cultural competencies as well as stimulating the imagination.
5. To provide students with an opportunity to participate in discussion, improving their presentational skills on a group or individual basis.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカ文化・社会から考える**

利根川　真紀

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、1 年次に習得した 4 技能の英語運用能力を用いて、アメリカ文化や社会について書かれたり話されたりした情報を理解し、様々な角度から考察し、また自らの意見を発信する練習を行ないます。さらに、雑誌や新聞の記事やビデオクリップなどのインターネット上の情報を利用することにより、身の回りにある教科書でない英語にもなるべく多く触れるようにしていきます。

【到達目標】
1．　アクセントや発音にも注意を払いつつ、語彙力を高める
2．　英語で発信された情報を理解する
3．　自分の意見を英語で表現できるようにする
4．　アメリカ文化・社会についての知識を身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日は 4 月 27 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示します。
パワーポイントを適宜利用し、予習してわからなかった部分の解説を行なうほか、ペアワークやグループワークも取り入れて、内容理解の確認や英語表現の練習を行ないます。英語の発音やアクセントにも注意を払うことによって、リスニングやスピーキングの力も同時につけていきます。プレゼンテーションにも取り組み、また根拠を示して意見を述べるライティングの力もつけていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	イントロダクション	授業の内容・進め方の説明
2 回目	家族 ①	*The New York Times* ビデオクリップとスクリプト
3 回目	家族 ②	Lesson 12 ： Good Question
4 回目	家族 ③	関連資料、ディスカッション
5 回目	銃規制 ①	Lesson 11 ： "Don't Shoot"
6 回目	銃規制 ②	*The Japan Times* 記事
7 回目	銃規制 ③	関連資料、ライティング
8 回目	新聞・雑誌記事等　選択	記事を持ち寄り、プレゼンテーションの準備をする
9 回目	食生活、健康 ①	Lesson 2 ： A Spreading Problem
10 回目	食生活、健康 ②	*TED* ビデオクリップとスクリプト
11 回目	食生活、健康 ③	関連資料、リスニング
12 回目	記事のプレゼンテーション（1〜11）	例えば日米比較を中心に
13 回目	記事のプレゼンテーション（12〜24）	例えば英米比較を中心に
14 回目	期末テスト・まとめと解説	春学期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。授業は予習を前提にして進みますので、予習として、本文を少なくとも 3 回は音読し、わからない単語は調べ、段落ごとに 1 行程度に要約し、練習問題を解きます。また、各レッスン（記事）から内容的に一番印象に残る 1 文、英語として一番難しい 1 文をそれぞれ選んでから、授業に出席するようにします。復習に関しては、翌週の授業開始時のチェックに備えて取り組みます。プレゼンテーションに向けて、各自が関心のある記事を探して読み、提出課題を作成します。

【テキスト（教科書）】
『U.S.A. Update（いま、アメリカを読む）』、Jim Knudsen 著、南雲堂

【参考書】
辞書等は初回の授業で紹介します。

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更します。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示します。
平常点 50 %、記事紹介プレゼン課題関連 30 %、期末テスト 20%。
原則として欠席が 4 回以上になると、単位修得の資格を失います。遅刻・早退は減点の対象になります。

【学生の意見等からの気づき】
授業開始時の復習チェックにより語彙が定着したという意見が多かったので、続ける予定です。

【Outline and objectives】
This course aims to introduce various aspects of American society and its culture while using and improving 4 skills of English, reading, writing, listening and speaking. Through pair work practices and group activities, the course will help students to expand their active vocabulary and get used to expressing their opinions in written and spoken English and responding to others. The textbook includes essays on racial and regional differences, current affairs as well as historical backgrounds in the USA. In addition to studying the textbook, students will also familiarize themselves with authentic materials offered in English. Besides, each student will search independently for an interesting article on a current topic in American life found in English newspapers and magazines and then will give a presentation on it.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカ文化・社会から考える**

利根川　真紀

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、1 年次に習得した 4 技能の英語運用能力を用いて、アメリカ文化や社会について書かれたり話されたりした情報を理解し、様々な角度から考察し、また自らの意見を発信する練習を行ないます。さらに、雑誌や新聞の記事やビデオクリップなどのインターネット上の情報を利用することにより、身の回りにある教科書でない英語にもなるべく多く触れるようにしていきます。

【到達目標】
1．　アクセントや発音にも注意を払いつつ、語彙力を高める
2．　英語で発信された情報を理解する
3．　自分の意見を英語で表現できるようにする
4．　アメリカ文化・社会についての知識を身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
パワーポイントを適宜利用し、予習してわからなかった部分の解説を行なうほか、ペアワークやグループワークも取り入れて、内容理解の確認や英語表現の練習を行ないます。英語の発音やアクセントにも注意を払うことによって、リスニングやスピーキングの力も同時につけていきます。根拠を示して意見を述べるライティングの力もつけていきます。なお、春学期の終わりに詳しく説明しますが、夏休み中に洋書を一冊読んでおいてください。秋学期の授業で、読んだ本について各自がプレゼンテーションを行ないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	イントロダクション	授業の内容・進め方の説明、ブック・プレゼンテーションの準備
2 回目	裁判制度 ①	Lesson 14: And Justice for All
3 回目	裁判制度 ②	*The New York Times* 記事
4 回目	裁判制度 ③	関連資料、ディスカッション
5 回目	移民、人種、ホリデイ ①	Lesson 3: Juneteenth
6 回目	移民、人種、ホリデイ ②	Lesson 7 ： Illegal
7 回目	移民、人種、ホリデイ ③	関連資料、ライティング
8 回目	ブック・プレゼンテーション (1～11)	夏休みに読んだ洋書のプレゼン（前半）とレスポンス
9 回目	ブック・プレゼンテーション (12～24)	夏休みに読んだ洋書のプレゼン（後半）とレスポンス
10 回目	パッセージについてのフォローアップ	単語・イディオム・構文のチェック
11 回目	環境問題、地域的多様性 ①	*TED* ビデオクリップとスクリプト
12 回目	環境問題、地域的多様性 ②	関連資料、リスニング
13 回目	環境問題、地域的多様性 ③	Lesson 6 ： A New York State of Mind
14 回目	期末テスト・まとめと解説	秋学期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。授業は予習を前提にして進みますので、予習として、本文を少なくとも 3 回は音読し、わからない単語は調べ、段落ごとに 1 行程度に要約し、練習問題を解きます。また、各レッスン（記事）から内容的に一番印象に残る 1 文、英語として一番難しい 1 文をそれぞれ選んでから、授業に出席するようにします。復習に関しては、翌週の授業開始時のチェックに備えて取り組みます。プレゼンテーションに向けて、クラスメートが選んだパッセージにもすべて目を通して課題を提出します。

【テキスト（教科書）】
『U.S.A. Update（いま、アメリカを読む）』、Jim Knudsen 著、南雲堂

【参考書】
辞書等は初回の授業で紹介します。

【成績評価の方法と基準】
平常点 50 %、プレゼンテーション課題関連 30 %、期末テスト 20%。原則として欠席が 4 回以上になると、単位修得の資格を失います。遅刻・早退は減点の対象になります。

【学生の意見等からの気づき】
授業開始時の復習チェックにより語彙が定着したという意見が多かったので、続ける予定です。

【Outline and objectives】
This course aims to introduce various aspects of American society and its culture while using and improving 4 skills of English, reading, writing, listening and speaking. Through pair work practices and group activities, the course will help students to expand their active vocabulary and get used to expressing their opinions in written and spoken English and responding to others. The textbook includes essays on racial and regional differences, current affairs as well as historical backgrounds in the USA. In addition to studying the textbook, students will also familiarize themselves with authentic materials offered in English. Besides, each student will give a 5-minute presentation on an English book of his or her own choice.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English speaking countries facing global trends

URBANOVA Jana

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
今まで皆さんが学んできた英語の「聞く」「読む」「書く」「話す」という 4 技能の能力をレベルアップすることによって、国際環境における知識の獲得や、各自の意見を英語で述べることができる自信を身に付けることを目指す。

【到達目標】
1）様々なトピックに関するリーディング、リスニング、スピーキングやライティングの練習を通じて、自分の意見を英語で自在に表現できる
2）発表の練習を通じて、プレゼンテーションスキルや英語能力を身に付ける
3）ディスカッション、ペアワーク、グループワークなどで英語のコミュニケーション能力や自由考察を高める

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
1）ペアワーク、会話、グループワーク、グループディスカッション（スピーキング練習）
2）発表（プレゼンテーション練習）
3）リーディング、リスニング、ライティング、自由考察の練習
IMPORTANT UPDATE:
Please check the Hosei Learning Management System (HOPPII) for this class to get the updated information regarding the online classes. The guidance and the fi rst assignment will be uploaded by the day of the start of this class (April 27).
授業に関する更新の情報を学習支援システム HOPPII に載せますので、ご確認ください。４月２７日までにガイダンスと課題を掲載しますので、必ずチェックをお願いします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Getting to know each other
Week 2	Unit 1 Conservation	Listening and speaking exercise: talking about endangered animals; Grammar explanation and practice: present simple and present continuous
Week 3	Unit 1 Conservation	Watching video (TED Talks); Vocabulary in context; Homework: reading with comprehension
Week 4	Unit 2 Family connections	Listening and speaking exercise: talking about family; Grammar used when talking about future plans
Week 5	Unit 2 Family connections	Watching video (TED Talks); Vocabulary review; Reading exercise: A passion for genealogy
Week 6	Unit 3 Global stories	Explanation of presentation No. 1 (parroting); Speaking exercise: talking about books; Grammar: defining relative clauses
Week 7	Unit 3 Global stories	Watching video (TED Talks); Vocabulary in context; Writing exercise: writing a book review
Week 8	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting; Explaining requirements for presentation No. 2 and watching model presentation
Week 9	Unit 4 Music	Listening and speaking: talking about music; Grammar explanation and practice: countable and uncountable nouns
Week 10	Unit 4 Music	Watching video (TED Talks); Key words review; Reading exercise: Music and the brain
Week 11	Unit 5 Good design	Listening and speaking: talking about design; Grammar explanation and practice: prepositions and adverbs of place
Week 12	Unit 5 Good design	Watching video (TED Talks); Vocabulary review; Reading with comprehension: Chicago's much loved flag
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on the chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a song

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
David Bohlke and Stephanie Parker: Keynote Pre-Intermediate, Cengage Learning, 2018. Student's Book ISBN: 978-1-337-27392-3

【参考書】
English to English dictionary:
https://dictionary.cambridge.org/
その他の参考書については授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】
積極的な授業への参加が期待される。また、発表、宿題、最終テストなどを勘案して成績を評価する。なお、4 回以上欠席した場合は、原則として単位の取得を認めない。
- Class attendance and active participation: 20%
- Writing assignments, homeworks and tests: 40%
- Two presentations: 40%

IMPORTANT UPDATE:
Please check the Hosei Learning Management System (HOPPII) for this class to get the updated information regarding the online classes and grading criteria. The guidance and the fi rst assignment will be uploaded by the day of the start of this class (April 27).
授業に関する更新の情報を学習支援システム HOPPII に載せますので、ご確認ください。４月２７日までにガイダンスと課題を掲載しますので、必ずチェックをお願いします。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
● 教科書
● 授業内容を見返すためのノート
● 辞書／電子辞書
（英和・和英辞典の他に、English-English dictionary も必要。スマートフォンなどの通信端末を含むオンラインアクセスが望ましい。）

【その他の重要事項】
授業を登録した学生の英語レベルに応じて実際の授業内容はシラバスの内容と異なることもある。

【Outline and objectives】
Enhancing English language proficiency in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English speaking countries facing global trends

URBANOVA Jana

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
今まで皆さんが学んできた英語の「聞く」「読む」「書く」「話す」という 4 技能の能力をレベルアップすることによって、国際環境における知識の獲得や、各自の意見を英語で述べることができる自信を身に付けることを目指す。

【到達目標】
1）様々なトピックに関するリーディング、リスニング、スピーキングやライティングの練習を通じて、自分の意見を英語で自在に表現できる
2）発表の練習を通じて、プレゼンテーションスキルや英語能力を身に付ける
3）ディスカッション、ペアワーク、グループワークなどで英語のコミュニケーション能力や自由考察を高める

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
1）ペアワーク、会話、グループワーク、グループディスカッション（スピーキング練習）
2）発表（プレゼンテーション練習）
3）リーディング、リスニング、ライティング、自由考察の練習

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Review of the main points studied in the spring semester
Week 2	Unit 6 Inspiring people	Speaking exercise: talking about an inspirational person; Grammar explanation and practice: reported speech
Week 3	Unit 6 Inspiring people	Watching video (TED Talks); Key words; Writing assignment: describing an inspiring person
Week 4	Unit 7 Ethical choices	Listening and speaking exercise: talking about ethical choices; Grammar: predictions
Week 5	Unit 7 Ethical choices	Watching video (TED Talks); Vocabulary in context; Presentation skills
Week 6	Unit 8 Better cities	Explanation of presentation No. 1 (parroting); Listening: Living abroad; Grammar: phrasal verbs
Week 7	Unit 8 Better cities	Watching video (TED Talks); Key vocabulary; Reading with comprehension: Having a say about your city

Week 8	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting; Explaining requirements and introducing topics for presentation No. 2
Week 9	Unit 9 Giving	Listening and speaking: talking about good cuases; Grammar explanation and practice: *will* for offers and first conditionals
Week 10	Unit 9 Giving	Watching video (TED Talks); Key words review; Communication: choosing a charity
Week 11	Unit 10 Mind and machine	Vocabulary related to brain functions; Speaking: talking about a game; Grammar: adverbs and adverbial phrases
Week 12	Unit 10 Mind and machine	Watching video (TED Talks); Key words review; Reading with comprehension: The power of the mind
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on the chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a poem

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
David Bohlke and Stephanie Parker: Keynote Pre-Intermediate, Cengage Learning, 2018. Student's Book ISBN: 978-1-337-27392-3

【参考書】
English to English dictionary:
https://dictionary.cambridge.org/
その他の参考書については授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】
積極的な授業への参加が期待される。また、発表、宿題、最終テストなどを勘案して成績を評価する。なお、4 回以上欠席した場合は、原則として単位の取得を認めない。
- Class attendance and active participation: 20%
- Writing assignments, homeworks and tests: 40%
- Two presentations: 40%

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
● 教科書
● 授業内容を見返すためのノート
● 辞書／電子辞書
（英和・和英辞典の他に、English-English dictionary も必要。スマートフォンなどの通信端末を含むオンラインアクセスが望ましい。）

【その他の重要事項】
授業を登録した学生の英語レベルに応じて実際の授業内容はシラバスの内容と異なることもある。

【Outline and objectives】
Enhancing English language proficiency in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカ映画にみる社会と文化**

遠藤　郁子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
アメリカの文化と社会を理解するための鍵となるトピックについて学びます。
English 3は English 1と2で身に付けた英語運用能力のさらなる養成とともに、英語で物事を批判的にくみ取って、意見を発信することを目的としています。この授業では英語を学びつつ、さまざまな角度からアメリカの文化やその社会が抱えてきた問題について考えましょう。
この授業の履修者はアメリカの文化や社会を、アメリカ映画の分析や英語で書かれた資料の読解を通して学びます。さらに、学んだトピックについて英語でレポートを書き、ディスカッションやプレゼンテーションを行うことで自分の意見を英語で表現する能力を強化します。こうした作業を通して、アメリカという国家について知るだけでなく、人種や階級、ジェンダーやエスニシティなどの問題について批評的に考える能力を身につけるところまでをこの授業の目的とします。

【到達目標】
この授業は以下の５つを到達目標とします：
①アメリカの歴史的・文化的特色をよくあらわすトピックを把握し、アメリカという国家に対する理解を深める。
②英語の文章の構成をすばやく把握し、わからない語句や文法があっても出来るだけ正確に推測する能力を習得する。
③ある程度難易度の高い英文を丁寧に正確に読む。
④英語で読んだ・聞いた情報を適切な方法で相手に伝える。
⑤人種や階級、ジェンダーやエスニシティといった問題を批評的に考える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業の初回授業は 4 月 27（月）、学習支援システムを通して行います。

この授業ではアメリカを理解するうえで重要となるアメリカ映画を５本扱い、各映画につき２回授業を行います。１回目は映画の一部を鑑賞し、英語でのリスニングとディスカッションを行います。その後、講師が映画を理解するための鍵となるトピックについて説明をします。２回目は１回目で学んだ映画やキーワードに関連する英語資料の読解を行います。読んだ文章の語彙や構造を確認し、それを分析・要約します。
これらの授業に加え、学期末には学生によるグループ・プレゼンテーションの回を設け、アメリカの音楽や食、政治などそれぞれ興味のあるテーマについてグループ毎に調査をし、英語でプレゼンテーションを行ってもらいます。それまでの授業では英語で効果的なプレゼンテーションするための方法を学びます。
中間試験のかわりに中間レポートの提出を課します。それまでの授業では英語でレポートを書くための方法を学びます。また、学習内容の理解を確認・復習するための期末試験を実施します。
＊進度や各回の具体的な内容は学生の関心や理解度に応じて変更する可能性があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業方針・内容の説明
2	戦争・地域①	映画 Gone with the Wind の観賞・分析、Listening& Speaking
3	戦争・地域②	Reading &Writing、レポートの準備
4	人種・階級・美醜①	映画 Hairspray の観賞・分析、Listening& Speaking
5	人種・階級・美醜②	Reading &Writing、レポートの準備
6	ハートランドの文化・肥満①	映画 What's Eating Gilbert Grape の観賞・分析、Listening& Speaking
7	ハートランドの文化・肥満② ☆中間レポート提出☆	Reading &Writing、プレゼンテーションの準備
8	政治・ジェンダー・セクシュアリティ①	映画 Milk の観賞・分析、Listening& Speaking
9	政治・ジェンダー・セクシュアリティ②	Reading &Writing、プレゼンテーションの準備
10	移民①	映画 The Namesake の観賞・分析、Listening& Speaking
11	移民②	Reading &Writing、プレゼンテーションの準備
12	グループ・プレゼンテーション①	学生によるプレゼンテーション
13	グループ・プレゼンテーション②	学生によるプレゼンテーション
14	期末試験	期末試験の実施、解説・復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
・リーディングの授業
各自辞書を丁寧にひきながら指定された資料を読んできて下さい。また、その英文に関するプリントを事前に配布するので、プリントの問題を解いた上で授業に臨んでください。
・グループプレゼンテ―ション
学期末に 1 人 1 回グループ・プレゼンテーションを担当し、同じグループの仲間と一緒に資料集め、パワーポイント作成、プレゼンテーション練習などを行うことになります。各プレゼンテーションは 20 分程度です。各グループはプレゼンテーションを行う 1 週間前までに講師にパワーポイントのスライドおよび原稿を E-mail で送り、不足点や改善すべき点などを話し合います。
・レポート
各履修者はアメリカに対する理解を深めると考えられるアメリカ映画／ドラマを 1 本選んで視聴し、その要旨と分析を 300words 程度の英語で書き、授業支援システムを通じて提出します。詳細は授業中に指示します。提出日は 5 月 25 日で、提出の遅れたレポートは受け取りません。

【テキスト（教科書）】
プリントを配布します。
＊毎回の授業に必ず辞書を持参すること。

【参考書】
英語学習ウェブサイトやアプケーション、文学作品など、授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンライン開講となったことに伴い、成績評価の方法と基準も変更します。
期末試験 40%、グループプレゼンテーション 20%、レポート 30%、授業への貢献 (グループ／ペアワーク、ディスカッションへの参加) 10%
＊各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】
昨年度に引き続き、効果的なプレゼンテーションのためのレクチャーを織り交ぜながら、授業内でもグループプレゼンテーションの準備を進められるようにします。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to further develop students' English proficiency by drawing on what the students have learned in English 1 and English 2. Students will learn some key concepts in understanding American culture and history by referring to American films and written materials. This course will help students acquire the complex notions of race, class, gender as well as ethnicity and contextualize their own culture within diverse cultural frameworks.

LANe200LA

English ３Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**現代アイルランドの文学と文化**

小野瀬　宗一郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法２年：中級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では主に文学作品を通して、アイルランドの文化と社会について学び、様々なアクティビティを用いて１年次に習得した「読む・書く・話す・聴く」の英語の四技能を更に向上させることを目指します。アイルランドは、宗教・人種・言語が異なる民族からなる、多民族国家です。規模が小さい国ながらもノーベル文学賞受賞者を４人輩出し、アイルランドが「文学大国」として知られるようになったのも、ひとえには異なる民族の文化や感性が（時には激しく衝突しながらも）混交し、個性的な文学を生み出したからでしょう。授業では１９世紀から現代に至るまで、様々な時代・背景・ジャンルの作品を読み、関連する映画を視聴し、アイルランドの文化と社会について学びます。この授業を受講することにより、英語の文学テキストを読解する基礎スキルを身に付け、日本のみならず他の英語圏の文化や社会を相対的に捉える視点も培えると思います。

【到達目標】
・英語の文学テキストを読解し、語彙と表現力の幅を広げる。
・アイルランドの文化と社会について学び、異文化の理解を深める。
・文学テキストを解釈・議論するための基礎スキルを身に付ける。
・英語で読んだ・聞いた内容を相手に伝える能力を磨く。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業では、１９世紀以降のアイルランド史を四つの時代に分け、それぞれの時代を代表する文学テキストを読み、関連するテーマの映画を視聴します。文学テキストを扱う回はリーディングに重点を置き、語彙や構文を確認しながら、作品についてグループ／クラス全体で議論し、文学テキストを分析するための基礎スキルを学びます。映画を視聴するフォローアップ・セッションでは、英語でのリスニングとディスカッションを中心に行い、それぞれの時代のアイルランドの文化と社会についての理解を深めます。各フォローアップ・セッションの冒頭に、その前に読んだ文学テキストの英語と内容についての小テストを実施します。最終課題として、授業で扱った文学テキストについて英語でレポートを書いてもらいます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第１回	ガイダンス	A Short History of Ireland 視聴
第２回	１９世紀前半のアイルランドの文化・社会①	Mary Anne Hoare, “A Sketch of Famine” 前半
第３回	１９世紀前半のアイルランドの文化・社会②	Mary Anne Hoare, “A Sketch of Famine” 後半
第４回	フォローアップ・セッション①	*第１回小テスト実施、Angela’s Ashes 視聴
第５回	１９世紀後半のアイルランドの文化・社会①	Joseph Sheridan Le Fanu, “An Authentic Narrative of a Haunted House” 前半
第６回	１９世紀後半のアイルランドの文化・社会②	Joseph Sheridan Le Fanu, “An Authentic Narrative of a Haunted House” 後半
第７回	フォローアップ・セッション②	*第２回小テスト実施、The Last September 視聴
第８回	２０世紀前半のアイルランドの文化・社会①	James Joyce, “A Mother” 前半
第９回	２０世紀前半のアイルランドの文化・社会②	James Joyce, “A Mother” 後半
第10回	フォローアップ・セッション③	*第３回小テスト実施、Michael Collins 視聴
第11回	２０世紀後半の北アイルランドの文化・社会①	John Montague, “Cry” 前半
第12回	２０世紀後半の北アイルランドの文化・社会②	John Montague, “Cry” 後半
第13回	フォローアップ・セッション④	*第４回小テスト実施、Hunger 視聴
第14回	ピアレビュー	レポートのピアレビューの実施

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて１時間を標準とします。
　文学テキストを読む際、分からない単語や表現があれば辞書を引いて下さい。歴史用語についても、参考書として挙げた事典等を駆使し、出来る限り調べてきて下さい。配布するワークシートの設問にしっかり答え、ディスカッションに備えて下さい。
　レポートの書き方・提出については、授業で詳しく指示しますが、最終回（第１４回）までに 400-500 語のドラフトを書いてもらい、ピアレビューと教員のコメントを参考に原稿を推敲し、最終的に 800-1000 語のレポートを提出してもらう予定です。

【テキスト（教科書）】
授業で読む文学テキストについては、事前にコピーを配布します。
＊辞書を必ず持参して下さい。

【参考書】
海老島均・山下理恵子編著『アイルランドを知るための７０章』第３版（明石書店、２０１９年）
波多野裕造『物語アイルランドの歴史――欧州連合に賭ける “妖精の国”』（中央公論新社、１９９４年）
松村賢一編『アイルランド文学小事典』（研究者出版、１９９９年）
Lalor, Brian. Ed. The Encyclopedia of Ireland. Gill & Macmillan. 2003.
McGuire, James and James Quinn. Eds. Dictionary of Irish Biography. Cambridge University Press. 2009.
Pa š eta, Senia. Modern Ireland: A Very Short Introduction. Oxford University Press. 2003.

【成績評価の方法と基準】
小テスト 40%、授業への貢献（ディスカッション・ワークシート）30%、レポート課題 30%
*４回以上の欠席で単位修得不可となります。遅刻は２回で欠席とし、大幅な遅刻は欠席扱いとします。

【学生の意見等からの気づき】
ディスカッションの時間をなるべく多く取り、履修者が主体的に授業に参加出来るよう配慮したいと思います。

【Outline and objectives】
The aim of the course is two-fold: (1) to further develop the “4 essential skills” that you have acquired in the first year, and (2) to learn in depth about Ireland’s culture and society by reading representative works from Irish literature in the modern period (from 1801 up to the present) and by watching films with related themes. Ireland is a multicultural society composed of many groups, each differing in race, religion, and language from one another. This difference has often led to violent clashes (which still occur today) between the groups, but it has also produced distinctive literature, the high caliber of which has been recognized worldwide, not least by the Nobel Prize Committee for Literature. In this course, we will read literary works by authors from different periods and backgrounds and acquire the basic skills to critically read and discuss literary texts while learning about the different cultures within Ireland that they represent. Using this insight, we will discuss the various challenges that a multicultural and multiracial society like Ireland has faced and continues to face. The knowledge and insight gained through this course should further your interest in studying different languages and cultures.

LANe200LA

English ３Ｉ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**外国の視点による日本文化の特徴**

吉江　秀和

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
数十年後の日本の社会に関する様々な事象について予想した内容のテキスト『日本社会の未来予想図を読んで考える Future Times - News Reports from Japan’s Next Generation』を中心とした英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、English 1 と English 2 で学んだ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の 4 技能の能力を包括的に高めていきます。その際に、構文を意識したより正確な英文読解力を身につけていくことを軸とし、その読解で得た情報を批判的に考察し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英語で発信する土台を構築していきます。

【到達目標】
テキストなどの読解や問題を通じて以下のことを目標とする。
①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
③テキストなどの英文を繰り返し聞いたり音読したりすることにより、英語のリスニング力やスピーキング力を鍛えていく。
④テキストの問題を活用しながら、トピックに関する自分の意見を英語で書く力を鍛えていく。
⑤自分の意見を英語で他社に伝え、聞き手はその意見を聞き取る能力をつけていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキスト『日本社会の未来予想図を読んで考える Future Times - News Reports from Japan’s Next Generation』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、文章理解の正確性を高めるために構文を意識してもらう作業をしてもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。また、14 回の授業の中の何回かでは、授業内で扱ってきたトピックから選択し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英文でまとめたものでプレゼンテーションをおこないます。聞き手には、各発表者の発言の聞き取りをおこないます（当初）。
ただし、春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日はガイダンスとしての 4 月 27 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	予習のやり方や授業の進め方など、授業を受けるうえでの注意点の説明をします。

2	News 1	Cash loses out to electronic money
3	News 2	Japanime overtakes Disneyland as world's most popular theme park
4	News 3	Japan's unemployment hits 30% as AI advances
5	News 4	Burger McMoss sells its last hamburger made of real beef
6	復習	News 1～4 の復習
7	プレゼンテーション	News 1～4 の内容に関するプレゼンテーション テキストの内容について自分の意見を述べ、その意見の聞き取りをおこないます
8	News 5	Shinkansen takes its last passenger
9	News 6	English removed from the Center Test
10	News 7	Passports no longer required for international travel
11	復習	News 5～7 の復習
12	プレゼンテーション	News 5～7 の内容に関するプレゼンテーション テキストの内容について自分の意見を述べ、その意見の聞き取りをおこないます
13	全体の復習	News 1～7 の復習
14	期末試験	今まで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。授業中におこなうプレゼンテーションのためにもテキストの英文のリスニングや音読を普段からおこなうことを心がけてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Paul Stapleton, Atsuko Uemura『日本社会の未来予想図を読んで考える Future Times - News Reports from Japan's Next Generation』センゲージ ラーニング, 2,150 円+税

【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）とライティングおよび記述したものを基にしたプレゼンテーションとそのリスニング（40%）、そして期末試験 (40%) から総合的に評価。欠席が 4 回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が 4 回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります）。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います（当初）。

ただし、春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、上記の成績評価の方法と基準も変更します。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示します。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline and objectives】

Through reading stories and doing exercises in the textbook "Future Times" which consists of 15 predictions about Japan's future, we study how to read the sentences correctly, how to think about the topics critically and how to express our opinions. When we read the sentences, we try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each unit, we have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the unit. During the spring term, we will have one or two presentations on the topics in the textbook.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**外国の視点による日本文化の特徴**

吉江　秀和

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

数十年後の日本の社会に関する様々な事象について予想した内容のテキスト『日本社会の未来予想図を読んで考える Future Times - News Reports from Japan's Next Generation』を中心とした英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、English 1 と English 2 で学んだ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の 4 技能の能力を包括的に高めていきます。その際に、構文を意識したより正確な英文読解力を身につけていくことを軸とし、その読解で得た情報を批判的に考察し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英語で発信する土台を構築していきます。

【到達目標】

テキストなどの読解や問題を通じて以下のことを目標とする。
①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
③テキストなどの英文を繰り返し聞いたり音読したりすることにより、英語のリスニング力やスピーキング力を鍛えていく。
④テキストの問題を活用しながら、トピックに関する自分の意見を英語で書く力を鍛えていく。
⑤自分の意見を英語で他社に伝え、聞き手はその意見を聞き取る能力をつけていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

テキスト『日本社会の未来予想図を読んで考える Future Times - News Reports from Japan's Next Generation』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、文章理解の正確性を高めるために構文を意識してもらう作業をしてもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。また、14 回の授業の中の何回かでは、授業内で扱ってきたトピックから選択し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英文でまとめたものでプレゼンテーションをおこないます。聞き手には、各発表者の発言の聞き取りをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	News 8	Eleven Mart reintroduces human staff
2	News 9	Japanese are first humans to set foot on Mars
3	News 10	Japan joins NPTO(North Pacific Trade Organization)
4	News 11	Japan's population no longer declining
5	復習	News 8～11 の復習
6	プレゼンテーション	News 8～11 の内容に関するプレゼンテーション テキストの内容について自分の意見を述べ、その意見の聞き取りをおこないます
7	News 12	Japan's two biggest brewers merge
8	News 13	Government introduces radical new university curriculum
9	News 14	Two die in first flying car accident
10	News 15	First snowless year on Mt. Fuji
11	復習	News 12～15 の復習
12	プレゼンテーション	News 12～15 の内容に関するプレゼンテーション テキストの内容について自分の意見を述べ、その意見の聞き取りをおこないます
13	全体の復習	News 8～15 の復習
14	期末試験	今まで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。授業中におこなうプレゼンテーションのためにもテキストの英文のリスニングや音読を普段からおこなうことを心がけてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Paul Stapleton, Atsuko Uemura『日本社会の未来予想図を読んで考える Future Times - News Reports from Japan's Next Generation』センゲージ ラーニング, 2,150 円+税

【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）とライティングおよび記述したものを基にしたプレゼンテーションとそのリスニング（40%）、そして期末試験 (40%) から総合的に評価。欠席が 4 回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が 4 回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります）。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline and objectives】
Throurgh reading stories and doing exercises in the textbook "Future Times" which consists of 15 predictions about Japan's future, we study how to read the sentences correctly, how to think about the topics critically and how to express our opinions. When we read the sentences, we try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each unit, we have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the unit. During the autumn term, we will have one or two presentations on the topics in the textbook.

LANe200LA

English ３Ｉ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカの文化と社会**

吉田　季実子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
映像資料を用いて、アメリカの歴史と文化を学ぶ。
English3 では English1 2 で身に着けた英語運用能力のさらなる養成とともに英語で物事を理解し発信することを目的とする。
また英語の学習だけでなく、アメリカの文化についての理解を深めることも目的とする。
ニュース映像をみてリスニング、リーディング能力を高めるとともに授業内に学んだ表現での
スピーキング、ライティングも行う

【到達目標】
授業内で視聴する教材の英語に関しては内容をほぼ理解できるようにリスニング能力を高める。またその論点をくみ取ったうえでそれを受けて英語で自分の考えをまとめるだけでなく、アメリカの文化に関する知識を身に着ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストに沿って、ビデオ教材、CD 教材を用いたリスニングを行う。扱われている内容に関してのテキストの精読も行い、語彙力の養成や構文の理解を
確認する。
初回は 5 月 11 日としますのでそれまでに通信販売を利用しテキストを入手してください

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	導入	授業の進め方や評価についての説明
2	Unit1	映像資料を用いたリスニングと語彙の確認
3	Unit1	CD 資料を用いたリスニングと関係テキストの精読
4	Unit2	映像資料を用いたリスニングと語彙の確認
5	Unit2	CD 資料を用いたリスニングと関係テキストの精読
6	Unit3	映像資料を用いたリスニングと語彙の確認
7	Unit3	CD 資料を用いたリスニングと関係テキストの精読
8	Unit4	映像資料を用いたリスニングと語彙の確認
9	Unit4	CD 資料を用いたリスニングと関係テキストの精読
10	Unit5	映像資料を用いたリスニングと語彙の確認
11	Unit5	CD 資料を用いたリスニングと関係テキストの精読

12	Unit6	映像資料を用いたリスニングと語彙の確認
13	Unit6	CD 資料を用いたリスニングと関係テキストの精読
14	まとめ	Unit1-6 の復習、補足

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
教材の予習のところを適宜指示に従って解き、新出単語の確認をすること。
小テストに向けての復習をすること。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
American Culture. Video Listening/『アメリカン・カルチャー―ビデオで辿る歴史と文化』(2006) 朝日出版社

【参考書】
指定なし

【成績評価の方法と基準】
小テスト 70%
授業中の問題演習等 30%
各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない
・今学期出す 14 回分の課題のうち、4 回分を提出しなかった場合は、原則として単位修得の資格 を失います。

【学生の意見等からの気づき】
空調音響照明などの授業環境への配慮をする
題材に関連する事柄を適宜紹介する

【Outline and objectives】
This course introduces writing and listening skills to students taking this course by using news videos about American culture.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカの文化と社会**

吉田　季実子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
映像資料を用いて、アメリカの歴史と文化を学ぶ。
English3 では English1 2 で身に着けた英語運用能力のさらなる養成とともに英語で物事を理解し発信することを目的とする。
また英語の学習だけでなく、アメリカの文化についての理解を深めることも目的とする。
ニュース映像を通してリスニング、リーディング力を高めるとともに授業内に学んだ表現での
スピーキング、ライティングも行う

【到達目標】
授業内で視聴する教材の英語に関しては内容をほぼ理解できるようにリスニング能力を高める。またその論点をくみ取ったうえでそれを受けて英語で自分の考えをまとめるだけでなく、アメリカの文化に関する知識を身に着ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストに沿って、ビデオ教材、CD 教材を用いたリスニングを行う。扱われている内容に関してのテキストの精読も行い、語彙力の養成や構文の理解を
確認する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Unit7	映像資料を用いたリスニングと語彙の確認
2	Unit7	CD 資料を用いたリスニングと関係テキストの精読
3	Unit8	映像資料を用いたリスニングと語彙の確認
4	Unit8	CD 資料を用いたリスニングと関係テキストの精読
5	Unit9	映像資料を用いたリスニングと語彙の確認
6	Unit9	CD 資料を用いたリスニングと関係テキストの精読
7	Unit10	映像資料を用いたリスニングと語彙の確認
8	Unit10	CD 資料を用いたリスニングと関係テキストの精読
9	Unit11	映像資料を用いたリスニングと語彙の確認
10	Unit11	CD 資料を用いたリスニングと関係テキストの精読
11	Unit12	映像資料を用いたリスニングと語彙の確認
12	Unit12	CD 資料を用いたリスニングと関係テキストの精読

13	まとめ１	Unit7-12 の復習、補足
14	まとめ２	Unit1-12 の復習、補足

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
教材の予習のところを適宜指示に従って解き、新出単語の確認をすること。
小テストに向けての復習をすること。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
American Culture. Video Listening/『アメリカン・カルチャー―ビデオで辿る歴史と文化』(2006) 朝日出版社

【参考書】
指定なし

【成績評価の方法と基準】
小テスト 70%
授業中の問題演習等 30%
各学期欠席が４回以上の場合は、原則として単位修得を認めない

【学生の意見等からの気づき】
教室の環境へ配慮する

【Outline and objectives】
This course introduces writing and listening skills to students taking this course by using news videos about American culture.

LANe200LA

English ３Ｉ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**ニュースで学ぶ英語**

大和久　悌一郎

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法２年：中級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
国際社会の中で、専門的な学問領域のみならず、一般的な時事問題・日常生活においても英語読解は、現在、重要になってきている。そうした社会の中で用いられている英語に対応するために必要な英語読解能力の習得を目的として、語彙力や文法の理解をより確実に身につけるとともに、ニュースを素材とした教科書を用いて読解・リスニング・ライティング・スピーキングの４技能の学習を通して、海外の社会のあり方についての理解も深めながら、英語運用能力の充実を進めていきたい。

【到達目標】
・TOEIC レベルのリーディングで用いられる文法事項の基礎を理解する。
・TOEIC レベルのリーディングで用いられる語彙の基礎を身につける。
・英語時事ニュースの要旨を把握できる、基礎力を身につける。
・英語で自分の考えを表現できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日は 5 月 11 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示します。（4 月 15 日追記）
日本のニュースについて英語で発信されたテキストを用いて、読解を進めていく。基本的にテキスト１章分を２回の授業で扱う。また補助資料として、適宜プリントで、時事問題やエッセイ、短編小説など、英語の新聞雑誌記事を読むこととする。毎回出欠の確認をする。授業にあたっては該当ページについての予習をおこなうこと。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第一回	ガイダンス	授業の進め方等の確認。
第二回	Chapter 1	Chapter 1　Washoku on the rise　和食が人気に（精読）
第三回	Chapter 1	Chapter 1　Washoku on the rise　和食が人気に（再読、リスニング、質疑応答）
第四回	Chapter 2	Chapter 2 Female android helps men become fashionistas　女性型アンドロイドが男性をファッショニスタに（精読）
第五回	Chapter 2	Chapter 2 Female android helps men become fashionistas　女性型アンドロイドが男性をファッショニスタに（再読、リスニング、質疑応答）

第六回	Chapter 3	Chapter 3 Quarter of high schoolers net-dependent: study　高校生の４分の１がネット依存（精読）
第七回	Chapter 3	Chapter 3 Quarter of high schoolers net-dependent: study　高校生の４分の１がネット依存（再読、リスニング、質疑応答）
第八回	Chapter 4	Chapter 4 Japan local products　日本の地産品を世界へ（精読）
第九回	Chapter 4	Chapter 4 Japan local products　日本の地産品を世界へ（再読、リスニング、質疑応答）
第十回	Chapter 5	Chapter 5 Hachiko finally reunited with master　ついに飼い主に会えたハチ公（精読）
第十一回	Chapter 5	Chapter 5 Hachiko finally reunited with master　ついに飼い主に会えたハチ公（再読、リスニング、質疑応答）
第十二回	Chapter 6	Chapter 6 Hi-tech handrail aims to ease passage for the elderly　高齢者のてすり（精読）
第十三回	Chapter 6	Chapter 6 Hi-tech handrail aims to ease passage for the elderly　高齢者のてすり（再読、リスニング、質疑応答）
第十四回	まとめ	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキスト内にある英文に事前に目を通し、知らない語彙等はあらかじめ調べておくこと。リスニング、講読を終えた後は、授業内で指定された語彙、表現等を復習しておき、後のパラグラフライティングで活用すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて１時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
津田晶子、金志佳代子、Kelly MacDonald 著『NTV News24 English ―日テレ News24 English で考える日本事情』英宝社、2017 年

【参考書】
例文の多い英和・和英辞典（『ジーニアス英和・和英辞典』（大修館）など）
英英辞典（『ロングマン現代英英辞典』(OUP）など）

【成績評価の方法と基準】
平常点（出席・予習・小テスト等）６０%、期末試験４０%で評価します。３０分以上の遅刻は欠席とみなし、また３回の遅刻は１回の欠席とみなします。４回以上の欠席者は成績評価の対象から外すので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【Outline and objectives】
With reading text book, learning English grammar and words. First of all, I have set a goal of reading articles in English, not only in the classroom, but also in daily life. And toward this goal, I use educational textbook and handouts. As a procedure in one lesson, first, reading one chapter in the textbook, and in the rest of time, reading handouts for 15-30 minutes. Handouts including news stories, essays, and short fiction in newspapers and magazines. Topic is mainly on the current world news. And reading these hangouts, I encourage to read articles in English, not only classroom but also everyday life.

LANe200LA

English ３Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**ニュースで学ぶ英語**

大和久　悌一郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法２年：中級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
国際社会の中で、専門的な学問領域のみならず、一般的な時事問題・日常生活においても英語読解は、現在、重要になってきている。そうした社会の中で用いられている英語に対応するために必要な英語読解能力の習得を目的として、語彙力や文法の理解をより確実に身につけるとともに、ニュースを素材とした教科書を用いて読解・リスニング・ライティング・スピーキングの４技能の学習を通して、海外の社会のあり方についての理解も深めながら、英語運用能力の充実を進めていきたい。

【到達目標】
・TOEIC レベルのリーディングで用いられる文法事項の基礎を理解する。
・TOEIC レベルのリーディングで用いられる語彙の基礎を身につける。
・英語時事ニュースの要旨を把握できる、基礎力を身につける。
・英語で自分の考えを表現できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
日本のニュースについて英語で発信されたテキストを用いて、読解を進めていく。基本的にテキスト１章分を２回の授業で扱う。また補助資料として、適宜プリントで、時事問題やエッセイ、短編小説など、英語の新聞雑誌記事を読むこととする。毎回出欠の確認をする。授業にあたっては該当ページについての予習をおこなうこと。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第一回	Chapter 7	Chapter 7 26-year-old designs Honda's new sports car　26 歳がスポーツカーをデザイン（精読、リスニング、質疑応答）
第二回	Chapter 8	Chapter 8 Flight attendants compete to be Master of Hospitality　客室乗務員のおもてなしコンテスト（精読）
第三回	Chapter 8	Chapter 8 Flight attendants compete to be Master of Hospitality　客室乗務員のおもてなしコンテスト（再読、リスニング、質疑応答）
第四回	Chapter 9	Chapter 9 Japan unveils rescue robot　日本の災害救助ロボット（精読）
第五回	Chapter 9	Chapter 9 Japan unveils rescue robot　日本の災害救助ロボット（再読、リスニング、質疑応答）

第六回	Chapter １０	Chapter 10 Japanese tea ceremony celebrates peace at UN　国連でお茶会（精読）
第七回	Chapter １０	Chapter 10 Japanese tea ceremony celebrates peace at UN　国連でお茶会（再読、リスニング、質疑応答）
第八回	Chapter １１	Chapter 11 Nation's workers to undergo stress tests　全国の労働者にストレステスト（精読）
第九回	Chapter １１	Chapter 11 Nation's workers to undergo stress tests　全国の労働者にストレステスト（再読、リスニング、質疑応答）
第十回	Chapter １２	Chapter 12 New high-rise to tower over　都心に新構想のビルの発表（精読）
第十一回	Chapter １２	Chapter 12 New high-rise to tower over　都心に新構想のビルの発表（再読、リスニング、質疑応答）
第十二回	Chapter １３	Chapter 13 Historic festival kicks off In Nagasaki　長崎のおくんち、始まる（精読、リスニング、質疑応答）
第十三回	Chapter １４	Chapter 14 UN Women opens Japan office　国連女性事務所を東京に開設（精読、リスニング、質疑応答）
第十四回	まとめ	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキスト内にある英文に事前に目を通し、知らない語彙等はあらかじめ調べておくこと。リスニング、レーディングを終えた後は、授業内で指定された語彙、表現等を復習しておき、後のパラグラフライティングで活用すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
津田晶子、金志佳代子、Kelly MacDonald 著『NTV News24 English ―日テレ News24 English で考える日本事情』英宝社、2017 年

【参考書】
例文の多い英和・和英辞典（『ジーニアス英和・和英辞典』（大修館）など）
英英辞典（『ロングマン現代英英辞典』(OUP）など）

【成績評価の方法と基準】
平常点（出席・予習・小テスト等）６０%、期末試験４０%で評価します。３０分以上の遅刻は欠席とみなし、また３回の遅刻は１回の欠席とみなします。４回以上の欠席者は成績評価の対象から外すので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【Outline and objectives】
With reading text book, learning English grammar and words. First of all, I have set a goal of reading articles in English, not only in the classroom, but also in daily life. And toward this goal, I use educational textbook and handouts. As a procedure in one lesson, first, reading one chapter in the textbook, and in the rest of time, reading handouts for 15-30 minutes. Handouts including news stories, essays, and short fiction in newspapers and magazines. Topic is mainly on the current world news. And reading these hangouts, I encourage to read articles in English, not only classroom but also everyday life.

LANe200LA

English ３Ｉ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカのニュース（英語圏の文化と社会）**

飛田　英伸

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：初級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
アメリカの学生向けニュース番組である CNN10 を通して、英語圏の文化や社会への理解を深めるとともに、「読む、聞く、話す、書く」の 4 つの技能を向上させ、英語で発信される情報に対応できるようになる。

【到達目標】
・英語のニュースの発話スピードに慣れ、最低限の情報を聞き取ることができるようになる。
・ある程度ゆっくり話された英語を十分に聞き取ることができるようになる。
・文章の構造を意識しながら英語の文章を読むことができるようになる。
・アクセントや区切りを意識して英語の文章を読み上げることができるようになる。
・簡単な表現を用いて自分の言いたいことを英語で話せるようになる。
・英語で簡潔な文章を書けるようになる。
・ニュースで用いられるような基本単語や基本表現を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
【重要】春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は【4 月 27 日】とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。
教科書に収められているニュースの中から、特に科学技術に関するものを取り上げる。
ユニット 1 つにつき、2 回の授業を充てる。予習を前提に、1 回目の授業の最初に、単語（教科書の Vocabulary Exercise）とトピックの内容（何についてのニュースかを日本語で簡単に説明）を問う小テストを行う。また、2 回目の授業の最初に、リスニングの確認（穴埋め）テストを行う。
各授業の最後にリアクションペーパーを配布し、予習で苦労した箇所や授業でわからなかったことを書いてもらう。
1 回目の授業は、リスニングと発音、読解を中心に進める。2 回目の授業では、リアクションペーパーを踏まえて 1 回目の補足を行った後、ニュースの内容を英語でまとめるグループワークを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の内容・進め方についての説明
2	No Phones in French Schools フランスの学校はスマートフォン持ち込み禁止？	小テスト（単語・内容確認）、リスニング、発音、読解

3	No Phones in French Schools フランスの学校はスマートフォン持ち込み禁止？	小テスト（リスニング確認）、補足、グループワーク（口頭要約、作文）
4	Food on Instagram 「インスタ映え」の影響力	小テスト（単語・内容確認）発音、読解
5	Food on Instagram 「インスタ映え」の影響力	小テスト（リスニング確認）、補足、グループワーク（口頭要約、作文）
6	Knocker-Uppers 早起きするにはどうしたらよい？	小テスト（単語・内容確認）、リスニング、発音、読解
7	Knocker-Uppers 早起きするにはどうしたらよい？	小テスト（リスニング確認）、補足、グループワーク（口頭要約、作文）
8	New TVs 未来型のテレビ	小テスト（単語・内容確認）、リスニング、発音、読解
9	New TVs 未来型のテレビ	小テスト（リスニング確認）、補足、グループワーク（口頭要約、作文）
10	Smart Park in Dubai 技術を駆使したドバイの最新型公園	小テスト（単語・内容確認）、リスニング、発音、読解
11	Smart Park in Dubai 技術を駆使したドバイの最新型公園	小テスト（リスニング確認）、補足、グループワーク（口頭要約、作文）
12	A New Way of Farming 中東の農業スタイル	小テスト（単語・内容確認）、リスニング、発音、読解
13	A New Way of Farming 中東の農業スタイル	小テスト（リスニング確認）、補足、グループワーク（口頭要約、作文）
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
［予習］ニュースの動画を視聴する。動画の原稿をゆっくりと読み直した音声があるので、それを聞いて内容を大まかに理解し、教科書の問題を一通り解いておく。次回の授業で単語（教科書の Vocabulary Exercise）と内容確認（何についてのニュースかを日本語で簡単に説明）の小テストを行う。
［復習］ゆっくりと読み直した音声を聞き取れるようにしておく。次回の授業で穴埋めによる確認テストを行う。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
CNN 10 Student News Vol.8（関戸冬彦ほか、朝日出版社、2020 年、1800 円＋税）

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
【重要】春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
本年度からの担当であるため、フィードバックはありません。

【学生が準備すべき機器他】
辞書（電子辞書可）

【その他の重要事項】
ニュースの動画やリスニングの音声の視聴方法については、教科書を参照のこと。また、第 1 回の授業の際に説明する。

【Outline and objectives】
Through watching CNN10, students will deepen their knowledge about various aspects of English speaking world, and improve their skills to communicate in English.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカのニュース（英語圏の文化と社会）**

飛田　英伸

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：初級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
アメリカの学生向けニュース番組である CNN10 を通して、英語圏の文化や社会への理解を深めるとともに、「読む、聞く、話す、書く」の 4 つの技能を向上させ、英語で発信される情報に対応できるようになる。

【到達目標】
・英語のニュースの発話スピードに慣れ、最低限の情報を聞き取ることができるようになる。
・ある程度ゆっくり話された英語を十分に聞き取ることができるようになる。
・文章の構造を意識しながら英語の文章を読むことができるようになる。
・アクセントや区切りを意識して英語の文章を読み上げることができるようになる。
・簡単な表現を用いて自分の言いたいことを英語で話せるようになる。
・英語で簡潔な文章を書けるようになる。
・ニュースで用いられるような基本単語や基本表現を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書に収められているニュースの中から、特にライフスタイルに関するものを取り上げる。
ユニット 1 つにつき、2 回の授業を充てる。予習を前提に、1 回目の授業の最初に、単語（教科書の Vocabulary Exercise）とトピックの内容（何についてのニュースかを日本語で簡単に説明）を問う小テストを行う。また、2 回目の授業の最初に、リスニングの確認（穴埋め）テストを行う。
各授業の最後にリアクションペーパーを配布し、予習で苦労した箇所や授業でわからなかったことを書いてもらう。
1 回目の授業は、リスニングと発音、読解を中心に進める。2 回目の授業では、リアクションペーパーを踏まえて 1 回目の補足を行った後、ニュースの内容を英語でまとめるグループワークを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の内容・進め方についての説明
2	Largest Model Train 世界最大級の鉄道模型ジオラマ	小テスト（単語・内容確認）、リスニング、発音、読解
3	Largest Model Train 世界最大級の鉄道模型ジオラマ	小テスト（リスニング確認）、補足、グループワーク（口頭要約、作文）
4	Adventure Healing カヌーでヒーリング効果	小テスト（単語・内容確認）、リスニング、発音、読解
5	Adventure Healing カヌーでヒーリング効果	小テスト（リスニング確認）、補足、グループワーク（口頭要約、作文）

6	Burgers and Antibiotics ハンバーガーと抗生物質	小テスト（単語・内容確認）、リスニング、発音、読解
7	Burgers and Antibiotics ハンバーガーと抗生物質	小テスト（リスニング確認）、補足、グループワーク（口頭要約、作文）
8	Teaching English as a Second Language アメリカで英語を第二外国語として教える	小テスト（単語・内容確認）、リスニング、発音、読解
9	Teaching English as a Second Language アメリカで英語を第二外国語として教える	小テスト（リスニング確認）、補足、グループワーク（口頭要約、作文）
10	Ikigai あなたの生きがいは？	小テスト（単語・内容確認）、リスニング、発音、読解
11	Ikigai あなたの生きがいは？	小テスト（リスニング確認）、補足、グループワーク（口頭要約、作文）
12	Workers in South Korea 韓国の労働状況	小テスト（単語・内容確認）、リスニング、発音、読解
13	Workers in South Korea 韓国の労働状況	小テスト（リスニング確認）、補足、グループワーク（口頭要約、作文）
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
［予習］ニュースの動画を視聴する。動画の原稿をゆっくりと読み直した音声があるので、それを聞いて内容を大まかに理解し、教科書の問題を一通り解いておく。次回の授業で単語（教科書の Vocabulary Exercise）と内容確認（何についてのニュースかを日本語で簡単に説明）の小テストを行う。
［復習］ゆっくりと読み直した音声を聞き取れるようにしておく。次回の授業で穴埋めによる確認テストを行う。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
CNN 10 Student News Vol.8（関戸冬彦ほか、朝日出版社、2020 年、1800 円＋税）

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
平常点（小テスト、リスニング確認テスト、受講態度）40%
期末試験 60%
欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位取得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
本年度からの担当であるため、フィードバックはありません。

【学生が準備すべき機器他】
辞書（電子辞書可）

【その他の重要事項】
ニュースの動画やリスニングの音声の視聴方法については、教科書を参照のこと。また、第 1 回の授業の際に説明する。

【Outline and objectives】
Through watching CNN10, students will deepen their knowledge about various aspects of English speaking world, and improve their skills to communicate in English.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本　日本の若者文化と社会**

猪俣　佳瑞美

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：初級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English1,2 での学びを踏まえ、4 技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。

【到達目標】
講義の到達目標は、以下である。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 27 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。
3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。

4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。
5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。
6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの 24 時間営業について考える。各学生が 24 時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。
7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019 年５月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。
8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。
9	Unit 8 Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。
10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10 万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。
11	Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どこの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。
12	プレゼンテーション準備と確認	13、14 回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。
13	プレゼンテーション１	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する１回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
14	プレゼンテーション２ 小テストとまとめ	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する２回目。 春学期に扱った語彙を中心とする小テストも実施。学びを総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。
準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。
準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】
英語で考え、英語で発信する 2　　Two Sides to Every Discussion 2
Jonathan Lynch / 委文　光太郎 著
成美堂 2020 年　1,900 円（税込 2,090 円）

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も 変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。
今学期出す課題 14 回のうち、4 回分を提出しなかった場合は、原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【学生が準備すべき機器他】
電子辞書を必ず持参すること

【Outline and objectives】
This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay.

LANe200LA

English ３Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本　日本の若者文化と社会**

猪俣　佳瑞美

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：初級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English1,2 での学びを踏まえ、４技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。

【到達目標】
講義の到達目標は、以下である。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各 Unit を１回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	秋学期スタートにあたって	夏休みにあったことを英語で話す 秋学期の講義進め方確認 次講義の事前学習範囲の確認
2	Unit 11　More Foreign Visitors	インバウンドについて考える。日本を訪れる外国人観光客に関する英文を読んだ上で、東京オリンピックも踏まえ、各学生が感じていることを英語でまとめ、意見交換する。
3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。
4	Unit 13　April Fools'Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。
5	Unit 14 Summer-Vacation Assignments	「夏休みの宿題」について考える。日本の小中学校における夏休みの宿題に関する英文を読んだ上で、各自が自身の体験を踏まえ、その功罪を客観的に分析し、英語での意見交換を行う。
6	Unit 15 Halloween Is Best!	日本で楽しまれている「外国のお祭り」について考える。特に昨今、広く浸透し、時に問題点も指摘されているハロウィーンを取り上げ、各自の意見を理論的にまとめ、意見交換を行う。
7	Unit 16 Valentine's Day in Japan	「日本のバレンタインデー」について考える。海外との習慣の違いなどを踏まえた英文を読んだ上で、日本独自に発展したバレンタインデーを英語で説明できるよう練習を行う。最後には、各自のバレンタインデーに対する見解を英語で述べ合う。
8	Unit 17 Smartphone Lock Screens	「スマートフォンのロック」及び「ロック解除方法」について考える。日常で行っている行為を英語で表現するために必要な語彙を増やし、個人情報を守るために必要だと考えていることを英語で伝える練習を行う。
9	Unit 18 YouTube vs. Normal TV	「テレビ番組」と「YouTube」について考える。２つのメディアを比較した英文を読んだ上で、各自がそれぞれのメディアに対して感じていることを述べ合い、それぞれのメディアをどのように利用しているのか情報交換を行う。
10	Unit 19　Internet vs. Bricks-and-Mortar	「買い物」について考える。特にオンラインショップと実店舗を比較した英文を読んだ上で、各自が買い物をするときに重視していることや注意していることなど、身近な内容をわかりやすく英語で説明する練習を行う。
11	Unit 20 Translation Software	「翻訳ソフト」について考える。英語の宿題に翻訳ソフトを使用するべきか否かを取り上げた英文を読んだ上で、各自が立場を明らかにした上で、賛成または反対の意見を客観的に述べ、議論を行う。
12	プレゼンテーション１	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する１回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
13	プレゼンテーション２	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する２回目。
14	小テストとまとめ	秋学期に扱った語彙などを中心とする小テストを実施。学びを総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。
準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。
準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】
英語で考え、英語で発信する 2　　Two Sides to Every Discussion 2
Jonathan Lynch / 委文　光太郎 著
成美堂 2020 年　1,900 円（税込 2,090 円）

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
平常点 40 %　発表 40 %　小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【学生が準備すべき機器他】
電子辞書を必ず持参すること

【Outline and objectives】
This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay.

LANe200LA

English ３Ｉ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**多様化する社会問題及びグローバルな事象**

吉川　太恵子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：初級／日本語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 では、English 1 と English 2 で学んだ 4 技能をさらに高めることを目的とします。学生は文化間意識、経済、社会、健康、旅行、教育、芸術、コンピューター、戦争、グローバル化などの多様な課題を英語で読むことで、英語力を高めるだけでなく現代の多様な社会問題やグローバルな事象について学びます。
この授業では、自分の考えをディスカッション、ライティング、プレゼンテーションで発表できる能力を伸ばすことを目指します。

【到達目標】
・日本語に訳すことにこだわらず、英語で書かれた文章を英語で理解することができる。
・英文の内容を正確に把握することが出来ると同時に、知らない単語を前後関係で推察できる。
・リスニング力、スピーキング力を高める。
・自分の考えをある程度の長さの文章で表現できる。
・単に英語を学ぶだけでなく現代社会で起きている事象を深く理解することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
＞重要＜　本授業の開始日は、4 月 22 日 (水) とします。このクラスの授業日は本来月曜日ですが、初回をなるべく早くスタートをすることで、オンライン授業を軌道に乗せたいと考えています。
・　この日までに具体的なオンライン授業の方法などを学習支援システムで提示します。なお、ご承知のように春学期の少なくとも前半は、オンラインでの授業となります。それにともなう授業内容の変更については、学習支援システムでその都度提示します。
・　基本的に 1 Unit を 2 回の授業でカバーします。各チャプターは 3 つのユニットで構成され、
1 回の授業で 1 unit をカバーします。この他に、読む量を確保するために、トピックスに関連したものや、時事問題記事を使用する場合があるので、授業の流れが必ずしもスケジュール通りにはならないこともあります。
・　この段階においては (4 月 18 日)、授業支援システムを利用したものがどのように展開できるかが未知であり、シラバスの通りには運べないことがある可能性があることをご理解ください。
・　グループワークが出来ないため、授業支援システムの「課題」機能を用いて授業の理解度と、教師との意思の疎通を図ります。可能であれば、少なくとも 1-2 回は、Skype などのビデオ機能を用いて教員と 1 対 1 で Web 上で対面で授業や質問などをしたいと考えています。
・　授業には、テキストブック及びサブ・テキストブックの読み込みを必須とします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Unit 2: Understand Intercultural Awareness(1) *Expressions for Everyday Actions*	1.Brainstorming 2.Word info 1 3.Word info 2
2	Unit 2: Understand Intercultural Awareness(2) *Expressions for Everyday Actions*	4.Reading graphs & charts 1 5.Reading graphs & charts 2 6.Discussion and presentation
3	Unit 3: Be a Good Consumer (1) *Expressions for Everyday Actions*	1.Brainstorming 2.Word info 1 3.Word info 2
4	Unit 3: Be a Good Consumer (2) *Expressions for Everyday Actions*	4.Reading graphs & charts 1 5.Reading graphs & charts 2 6.Discussion and presentation
5	Unit 4: Learn about Food, Culture and Society (1)	1.Brainstorming 2.Word info 1 3.Word info 2
6	Unit 4: Learn about Food, Culture and Society (2)	4.Reading graphs & charts 1 5.Reading graphs & charts 2 6.Discussion and presentation
7	Unit 5: Have Better Lifestyles in Different Cultures (1)	1.Brainstorming 2.Word info 1 3.Word info 2
8	Unit 5: Have Better Lifestyles in Different Cultures (2)	4.Reading graphs & charts 1 5.Reading graphs & charts 2 6.Discussion and presentation
9	Unit 6: Be an Intercultural Traveler (1)	1.Brainstorming 2.Word info 1 3.Word info 2
10	Unit 6: Be an Intercultural Traveler (2)	4.Reading graphs & charts 1 5.Reading graphs & charts 2 6.Discussion and presentation
11	Unit 7: Cultivate Global Citizenship (1)	1.Brainstorming 2.Word info 1 3.Word info 2
12	Unit 7: Cultivate Global Citizenship (2)	4.Reading graphs & charts 1 5.Reading graphs & charts 2 6.Discussion and presentation
13	Reading	Articles from various sources.
14	期末試験	テキストブック、サブ・テキストブック、配布したプリントから出題。 試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は大学のガイドラインにおいて、1 単位の学科では合わせて週に 1 時間を標準としています。ただし、これは最低限の勉強時間数であり、テキストブックの読み込みや単語の意味調べなどの準備学習や復習を行うには、当然、これ以上の勉強時間数が必要となります。

(University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for an one-credit course.)

学生はテキストブックを予習し準備すること。単語の使い方などについて自ら学習することが大事です。また、レポートなどの提出は、期日をきちんと守ることが必要です。期日を守らない場合は受け取りませんので、減点の対象になります。

【テキスト（教科書）】

1. *Intercultural Awareness:CLIL* で培う文化間意識、笹島茂その他、三修社、2020 年、2000 円
2. *Expressions For Everyday Actions*、Hidehiko Konaka、南雲堂、2016 年、700 円

【参考書】

総合英語 *Evergreen*、いいずな書店、2018 年、1520 円

【成績評価の方法と基準】

春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更することになります。具体的な方法と基準は、実際にオンライン授業を始めてみて、その内容と期間を考慮のうえ、学習支援ステム上に提示します。

単位取得に必要となる成績評価については、初回授業 (4 月 22 日に提示します。

【学生の意見等からの気づき】

時事問題への関心が高いことから、新聞やネットなどからの記事を適宜授業に取り入れていて、毎年好評です。

【学生が準備すべき機器他】

英語辞書又は電子辞書

【Outline and objectives】

The purpose of this class is to further enhance the students' skills in reading, writing, listening and speaking. Students will study about various topics such as intercultural awareness, economics, society, education, and wars, etc. Also, students will be provided with articles from newspapers, web sites and magazines to expand their vocabulary as well as to open their minds about global issues.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**多様化する社会問題及びグローバルな事象**

吉川　太恵子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：初級／日本語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に引き続き、English 1 と English 2 で学んだ 4 技能をさらに高めることを目的とします。学生は文化間意識、経済、社会、健康、旅行、教育、芸術、コンピューター、戦争、グローバル化などの多様な課題を英語で読むことで、英語力を高めるだけでなく現代の多様な社会問題やグローバルな事象について学びます。
この授業では、自分の考えをディスカッション、ライティング、プレゼンテーションで発表できる能力を伸ばすことを目指します。

【到達目標】
・日本語に訳すことにこだわらず、英語で書かれた文章を英語で理解することができる。
・英文の内容を正確に把握することが出来ると同時に、知らない単語を前後関係で推察できる。
・リスニング力、スピーキング力を高める。
・自分の考えをある程度の長さの文章で表現できる。
・単に英語を学ぶだけでなく現代社会で起きている事象を深く理解することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
基本的に 1 Unit を 2 回の授業でカバーします。読解力を伸ばすために、テキストブックに関連した記事や時事問題についての記事を取り上げることもあります。そのため、授業は必ずしもシラバスにあるスケジュール通りにはならないことがあります。
グループワークを積極的に取り入れ、リアクションペーパーを用いて授業の理解度と、教師との意思の疎通を図ります。
テキストブック及びサブ・テキストブックの予習をしてくることを必須とします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Unit 8: Study the Education System (1) *Expressions for Everyday Actions*	1.Brainstorming 2.Word info 1 3.Word info 2
2	Unit 8: Study the Education System (2) *Expressions for Everyday Actions*	4.Reading graphs & charts 5.Reading graphs & charts 2 6.Discussion and presentation
3	Unit 10: See the Potential of Artificial Intelligence (AI)(1) *Expressions for Everyday Actions*	1.Brainstorming 2.Word info 1 3.Word info 2
4	Unit 10: See the Potential of Artificial Intelligence (AI)(2) *Expressions for Everyday Actions*	4.Reading graphs & charts 1 5.Reading graphs & charts 2 6.Discussion and presentation
5	Unit 11: Change Your Attitude toward Gender Roles (1)	1.Brainstorming 2.Word info 1 3.Word info 2
6	Unit 11: Change Your Attitude toward Gender Roles (2) *Expressions for Everyday Actions*	4.Reading graphs & charts 5.Reading graphs & charts 2 6.Discussion and presentation
7	Unit 12: Live Well in a Cashless Society (1) *Expressions for Everyday Actions*	1.Brainstorming 2.Word info 1 3.Word info 2
8	Unit 12: Live Well in a Cashless Society (2) *Expressions for Everyday Actions*	4.Reading graphs & charts 5.Reading graphs & charts 2 6.Discussion and presentation
9	Unit 13: Pray for No More Wars and Just Peace (1)	1.Brainstorming 2.Word info 1 3.Word info 2
10	Unit 13: Pray for No More Wars and Just Peace (2) *Expressions for Everyday Actions*	4.Reading graphs & charts 5.Reading graphs & charts 2 6.Discussion and presentation
11	Unit 14: Address Immigration Issues (1) *Expressions for Everyday Actions*	1.Brainstorming 2.Word info 1 3.Word info 2
12	Unit 14: Address Immigration Issues (2) *Expressions for Everyday Actions*	4.Reading graphs & charts 5.Reading graphs & charts 2 6.Discussion and presentation
13	Reading and discussion	Articles from various sources
14	期末試験	テキストブック、サブ・テキストブック、配布したプリントから出題。 試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は大学のガイドラインにおいて、1 単位の学科では合わせて週に 1 時間を標準としています。ただし、これは最低限の勉強時間数であり、テキストブックの読み込みや単語の意味調べなどの準備学習や復習を行うには、当然、これ以上の勉強時間数が必要となります。
(University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for an one-credit course.)

【テキスト（教科書）】
1.*Intercultural Awareness:CLIL* で培う文化間意識、笹島茂その他、三修社、2020 年、2000 円
2. *Expressions For Everyday Actions*、Hidehiko Konaka、南雲堂、2016 年、700 円

【参考書】
総合英語 *Evergreen*、いいずな書店、2018 年、1520 円

【成績評価の方法と基準】
学期末試験 (40%)、小テスト (20%)、宿題 (20%)、平常点：学習状況や参加度 (20%) として総合評価します。成績評価は 100 点満点で 60 点以上が合格となります。
欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位を与えません。 始業時間から 30 分以上遅刻した場合は、たとえ出席しても欠席扱いとなります。また、15 分以上の遅刻 2 回は欠席 1 回とみなします。

【学生の意見等からの気づき】
時事問題への関心が高いことから、新聞やネットなどからの記事を適宜授業に取り入れていて、毎年好評です。

【学生が準備すべき機器他】
英語辞書又は電子辞書

【その他の重要事項】
授業中に教師からの指示があった場合や、辞書代わりに使うことを教師に求めた場合以外にスマートフォンを使用することを厳禁とします。
授業目的以外にスマートフォンを使用したことを教師がみつけた場合は、平常点からの減点対象となります。

【Outline and objectives】
The purpose of this class is to further enhance the students' skills in reading, writing, listening and speaking. Students will study about various topics such as intercultural awareness, economics, society, education, and wars, etc. Also, students will be provided with articles from newspapers, web sites and magazines to expand their vocabulary as well as to open their minds about global issues.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本　日本の若者文化と社会**

猪俣　佳瑞美

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：初級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English1,2 での学びを踏まえ、4 技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。

【到達目標】
講義の到達目標は、以下である。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 27 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。
3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。

4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。
5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。
6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの 24 時間営業について考える。各学生が 24 時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。
7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019 年５月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。
8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。
9	Unit 8 Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。
10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10 万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。
11	Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どこの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。
12	プレゼンテーション準備と確認	13、14 回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。
13	プレゼンテーション１	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する１回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
14	プレゼンテーション２ 小テストとまとめ	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する２回目。 春学期に扱った語彙を中心とする小テストも実施。学びを総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。
準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。
準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】
英語で考え、英語で発信する 2　　Two Sides to Every Discussion 2
Jonathan Lynch / 委文　光太郎 著
成美堂 2020 年　1,900 円（税込 2,090 円）

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も 変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。
今学期出す課題 14 回のうち、4 回分を提出しなかった場合は、原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【学生が準備すべき機器他】
電子辞書を必ず持参すること

【Outline and objectives】
This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay.

LANe200LA

English ３Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本　日本の若者文化と社会**

猪俣　佳瑞美

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：初級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English1,2 での学びを踏まえ、４技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。

【到達目標】
講義の到達目標は、以下である。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各 Unit を１回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	秋学期スタートにあたって	夏休みにあったことを英語で話す 秋学期の講義進め方確認 次講義の事前学習範囲の確認
2	Unit 11　More Foreign Visitors	インバウンドについて考える。日本を訪れる外国人観光客に関する英文を読んだ上で、東京オリンピックも踏まえ、各学生が感じていることを英語でまとめ、意見交換する。
3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。
4	Unit 13　April Fools'Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。
5	Unit 14 Summer-Vacation Assignments	「夏休みの宿題」について考える。日本の小中学校における夏休みの宿題に関する英文を読んだ上で、各自が自身の体験を踏まえ、その功罪を客観的に分析し、英語での意見交換を行う。
6	Unit 15 Halloween Is Best!	日本で楽しまれている「外国のお祭り」について考える。特に昨今、広く浸透し、時に問題点も指摘されているハロウィーンを取り上げ、各自の意見を理論的にまとめ、意見交換を行う。
7	Unit 16 Valentine's Day in Japan	「日本のバレンタインデー」について考える。海外との習慣の違いなどを踏まえた英文を読んだ上で、日本独自に発展したバレンタインデーを英語で説明できるよう練習を行う。最後には、各自のバレンタインデーに対する見解を英語で述べ合う。
8	Unit 17 Smartphone Lock Screens	「スマートフォンのロック」及び「ロック解除方法」について考える。日常で行っている行為を英語で表現するために必要な語彙を増やし、個人情報を守るために必要だと考えていることを英語で伝える練習を行う。
9	Unit 18 YouTube vs. Normal TV	「テレビ番組」と「YouTube」について考える。２つのメディアを比較した英文を読んだ上で、各自がそれぞれのメディアに対して感じていることを述べ合い、それぞれのメディアをどのように利用しているのか情報交換を行う。
10	Unit 19　Internet vs. Bricks-and-Mortar	「買い物」について考える。特にオンラインショップと実店舗を比較した英文を読んだ上で、各自が買い物をするときに重視していることや注意していることなど、身近な内容をわかりやすく英語で説明する練習を行う。
11	Unit 20 Translation Software	「翻訳ソフト」について考える。英語の宿題に翻訳ソフトを使用するべきか否かを取り上げた英文を読んだ上で、各自が立場を明らかにした上で、賛成または反対の意見を客観的に述べ、議論を行う。
12	プレゼンテーション１	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する１回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
13	プレゼンテーション２	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する２回目。
14	小テストとまとめ	秋学期に扱った語彙などを中心とする小テストを実施。学びを総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。
準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。
準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】
英語で考え、英語で発信する 2　　Two Sides to Every Discussion 2
Jonathan Lynch / 委文　光太郎 著
成美堂 2020 年　1,900 円（税込 2,090 円）

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
平常点 40 %　発表 40 %　小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【学生が準備すべき機器他】
電子辞書を必ず持参すること

【Outline and objectives】
This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Modern Society

ALAN　M　NICHOLLS

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：上級／英語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This English 3 course builds upon the skills and knowledge students gained in English 1 and English 2. and requires students to exercise all four communication skills: reading, writing, listening and speaking. The course explores different topics related to "Modern Society", from the perspectives of an international journalist. the course will compare Japanese society/lifestyle and other cultures. There are three major themes of the course which are inter-related:
1) The importance of food in cultures
2) Meeting people from different cultures
3) Living in different cities

【到達目標】
Students will enhance their English reading skills and critical thinking through reading various texts and will deepen their understanding of different cultures in the process. Students will improve their communication ability by practicing voicing their opinions about important issues related to society and lifestyle.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
The textbook for this subject will be supplemented by additional BBC News articles or TED Talks, that will require comprehension analysis. Students will be required to prepare questions for discussion in small (random) groups and present their group opinions to the class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Overview and join CMS. Grading and Attendance Basic structures review
2	Food cultures	Listening: Vocabulary Climate and food
3	Food culture	Speaking: Food staples Describing food
4	Food culture	Writing: Japanese food Video: Different food
5	Meeting people from other cultures	Vocabulary: Describe life experience Small talk topics
6	Meeting people from other cultures	Speaking: "Breaking the Ice" Overcome language barriers

7	Meeting people from other cultures	Writing: Video:
8	Urbanization	Listening and Note taking Video and Script. Changing cities
9	Urbanisation	Vocabulary: The future of cities. Video: ECO cities
10	Urbanisation	Speaking: What more do we need to make a great city?
11	Urbanisation	TED Video: How food shapes our cities (and our bodies)
12	Ancient cities	The History of Tokyo and food culture
13	Modern cities	Video: Having fun in the city
14	Bring it all together	Group work. Prepare and present a summary of the topics covered in this course.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
There will be some short, simple, written homework assignments designed to test the students understanding of the ideas presented in the major themes of the course. Each homework assignment will be 10% of total course value.

【テキスト（教科書）】
World English 2, (3rd Edition), Kristin L. Johannsen and Rebecca Tarver Chase, CENGAGE LEARNING

【参考書】
To be advised

【成績評価の方法と基準】
Homework Assignments: 40%
Classroom Worksheets: 40%
Pair and Group Participation: 20%
There will be 10 assessments during the semester. Each assessment will have a course value of 10%.
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable

【学生が準備すべき機器他】
Please bring Japanese/English and English/English Dictionaries.
A Thesaurus will also be useful. Apps for smartphones / mobile devices are acceptable.
Also, a portable device that supports a Word Processor (all assignments should be submitted in Google Docs format)
Access to Cloud computing may be an advantage.
Voice recognition software may be an advantage.
Students should know their Hosei University Gmail account details.

【その他の重要事項】
We will use Google “Classroom” to send, submit and record all assignments. Students will be required to join the subject using “Classroom” and will be required to change their profile on Gmail with their "Class Number). Please download Google Classroom to your device before our first class. Course code is: mnla5l6

【Outline and objectives】
Students will be able to discuss, and give opinions on, some contemporary issues using English communication.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Modern Society

ALAN M NICHOLLS

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：上級／英語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This English 3 course builds upon the skills and knowledge students gained in English 1, English 2 and English 3 1. It requires students to exercise all four communication skills: reading, writing, listening and speaking. The course explores different Aspects of Modern society, from the perspectives of an International journalist. The course will compare Japanese society/lifestyle and other cultures. There are three major themes of the course which are inter-related:
1) Health and health systems
2) Facing and overcoming challenges
3) Change and change management

【到達目標】
Students will enhance their English reading skills and critical thinking through reading various articles and will deepen their understanding of different cultures. Students will improve their communication ability by practicing voicing their opinions, in small groups, about important issues related to society and lifestyle.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
The textbook for this subject will be supplemented by additional BBC World News articles or TED topics, that will require comprehension analysis. Students will be required to prepare questions for discussion in small (random) groups and present their group opinions to the class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Overview, Grading and Attendance. Organs and systems. Comparatives and superlatives
2	Health and Health systems	Listening: Genetics vs lifestyle
3	Health and Health systems	Reading: Natural Remedies
4	Health and Health systems	Video: The Human body
5	Facing and overcoming challenges	Vocabulary of "challenge". Practice using Basic Past structures
6	Facing and overcoming challenges	Speaking about past accomplishments.
7	Facing and overcoming challenges	Reading / Writing about challenges Video: A challenging vocation

8	Change and Change management	Vocabulary of life stages. Unfinished business
9	Change and Change management	Listening: Life stages Vocabulary expansion adjectives and adjective opposites
10	Change and Change management	Video 1 Overcoming change. Video 2: Cultural differences
11	Change and Change management	TED Video: Economics, Technology and social equity
12	Changes in Technology	A.I., Blockchain and Robotics. Will these help or hinder us?
13	Changes in technology	Our aging society and do we really want to live forever?
14	Bring it all together	Group work. Prepare and present a summary of the topics covered in this course.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
There will be some short, simple, written homework assignments designed to test the students understanding of the ideas presented in the major themes of the course. Each homework assignment will be 10% of total course value.

【テキスト（教科書）】
World English 2, (3rd Edition), Kristin L. Johannsen and Rebecca Tarver Chase, CENGAGE LEARNING

【参考書】
To be advised

【成績評価の方法と基準】
Homework Assignments: 40%
Classroom Worksheets: 40%
Pair and Group Participation: 20%
There will be 10 assessments during the semester. Each assessment will have a course value of 10%.
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable

【学生が準備すべき機器他】
Please bring Japanese/English and English/English Dictionaries.
A Thesaurus will also be useful. Apps for smartphones / mobile devices are acceptable.
Also, a portable device that supports a Word Processor (all assignments should be submitted in Google Docs format)
Access to Cloud computing will be required.
Voice recognition software may be an advantage.

【その他の重要事項】
We will use Google “Classroom” to send, submit and record all assignments. Students will be required to join the subject using “Classroom” and will be required to change their profile on Gmail with their "Class Number". The Google Classroom course code is: To Be Advised.

【Outline and objectives】
Students will be able to discuss, and give their opinions about, contemporary issues

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Exploring intercultural perspective.

ジョナサン・エーブル

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures in the English-speaking world, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

【到達目標】
Students will read, write,hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the English-speaking world will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.
There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction.	Class methods and familiarisation with types of material.
2	A Place in the World 1	Global Perspectives.
3	A Place in the World 2	How English varies across cultures.
4	Tradition 1	How History Informs our Present.
5	Tradition 2	Tradition Acros the English Speaking World.
6	Popular Culture 1	The Fast Pace of Fashion.
7	Popular Culture 2	How Popular Culture spreads
8	Presentation Preparation	Topics, Groups and Ideas.
9	Presentations	Group Presentations In Class.
10	Media 1	Where We Get our News.
11	Media 2	Advertising and Commercial Communication.
12	Media 3	Movies and TV. How Entertainment Works.

13	Hello and Goodbye.	How We Meet and Take Our Leave.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interviews.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Text Previews and Preparation for Presentations in class will be expected. The task will be set each week as required.(本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。)University guidelines suggest preparation and review are around 4
hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Materials will be provided. See references.

【参考書】
NHK/NHK Educational
Japan Times
BBC News
British Council online resources (Word on the Street et al.)
Channel 4 News (UK)
CNN
Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】
Writing 25%
Presentation 15%
Class Participation 30%
Final Interview Test 30%
n principle, no more than 3 absences per term are allowed

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【Outline and objectives】
English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures in the English speaking world, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Art-Based Learning of Social Activism in the World

石原　紀子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
While exercising the four skills of listening, speaking, reading, and writing in English in an integrated manner, you will be exposed to artistic expressions of social activism in the world. You will learn the language presented in the works as well as the messages conveyed through the activism and its social, historical, and political backgrounds. You will also have a chance to consider the relationship between art and social activism, namely, the role that various forms of art plays in maintaining, restoring, regaining, or enhancing human rights in the world.

【到達目標】
This course is designed to develop your English proficiency further as you learn about various cultural and social practices of the world. You will also learn to think critically about important issues that surround us today and develop the ability to effectively express your own ideas, feelings, and opinions. The main goal is communication, not translation or accuracy. You will become aware of some issues related to human rights in the world and able to express your ideas and questions about them in English. You will also gain an enhanced understanding of global cultures.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Before class, read the assigned pages of the textbook and study the vocabulary and cultural background on our own. In class you will have a chance to appreciate artistic expressions. You will also be asked to exchange your ideas and feelings and discuss relevant issues in pairs or small groups. You will also be giving presentations about your chosen humanitarian activist. You are encouraged to actively participate in the task/problem-based learning (TBL/PBL) and group work.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Course information, getting to know each other
2	Poetry, Marshall Rosenberg	Learning language from poetry, Nonviolent communication
3	Poetry, Mother Teresa	Developing language identities through poetry
4	Poetry or film, Mahatma & Kasturabai Gandhi	Poetry or film for art and social justice
5	Story-telling, H.H. The Dalai Lama	Learning language through narratives

6	Paintings, photographs, and peace linguistics, Nelson Mandela	Language learning and peace
7	Music, Mairead Corrigan McGuire& BettynWilliams	Learning language through music
8	Music	Social activism through music
9	Children's literature, Chief Joseph	Social justice education in picture books and kamishibai theater
10	Learning language through literature, Cesar Chavez	Learning language through literature
11	Novels, Meena Keshwar Kamal	Learning language through literature
12	Film, Danilo Dolci	Learning language through (documentary) film
13	Public speeches, Peter Benson	Learning language through the art of speech
14	Wrap-up	Reflection an the future

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

You must finish assigned reading or listening tasks and other creative assignments before coming to class. As you will be discussing your ideas, reactions, and questions, you are expected to become familiar with the topic of the week and come ready for discussion. Preview and review your lesson thoroughly after class for at least one hour each week.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Censor, Meera. (2011). Humanitarians for justice, nonviolence, and peace. San Bernadino, California.
Purchase a copy of this textbook in the Sanseido bookstore on campus. Handouts related to the course content may be provided in class. Bring a notebook or loose sheets of paper.

【参考書】

Meera Censor website: https://www.meeracensor.com/
The Center for Nonviolent Communication: https://www.cnvc.org/
Amnesty International: https://www.amnesty.org/en/
Amnesty International in Japanese: https://www.amnesty.or.jp/

【成績評価の方法と基準】

You will receive a formal evaluation of your work at the end of the term. The grade on a late assignment will be lowered. You will be graded on:
1) Attendance and participation (20%)*
2) Discussion reports and assignments (35%)
3) Group presentation and visual material (30%)
4) Final reflection (15%)
* Regular attendance is essential in order to benefit from the interactive nature of this course. You will not be able to pass this course if you miss more than three class periods a semester except in extreme circumstances.

【学生の意見等からの気づき】

This will be the first time for me to teach this course.

【Outline and objectives】

While exercising the four skills of listening, speaking, reading, and writing in English in an integrated manner, you will be exposed to artistic expressions of social activism in the world. You will learn the language presented in the works as well as the messages conveyed through the activism and its social, historical, and political backgrounds. You will also have a chance to consider the relationship between art and social activism, namely, the role that various forms of art plays in maintaining, restoring, regaining, or enhancing human rights in the world.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Undercover Boss

ロバート・D・ヒントン

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is a content based course aimed at helping
students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American
culture and society.

【到達目標】
The goal of this course is to increase fluency,
accuracy and confidence in the areas of speaking,listening, reading
and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
This class will start on Friday, April 24, 2020 in its regularly scheduled period using the online HOPPII Learning Management System. Students should try to self-register into the class student roster in HOPPII Learning Management System.
The class will be conducted online using the HOPPII Learning Management System until further notice. The HOPPII System will be used as the initial meeting point and communication platform, but students will be expected to branch out and use other technology platforms and/or websites as the course progresses.
Each week students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate is discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Introductions, explanations	Information about the course and survey questions
Week 2	The Beginning of Undercover Boss - 7-11	Research 20 interesting facts about 7-11 - group discussion
Week 3	Roto Rooter	Review the Roto Rooter website and a comparable Japanese company - present findings
Week 4	CSI Commerce	Writing about shopping/buying habits
Week 5	Herschend Entertainment	Writing about a favorite entertainment venue
Week 6	Waste Management	Report about an ecological issue
Week 7	Loehman's	Fashion report
Week 8	Menchies	Writing about favorite fast food outlet
Week 9	Alfred Angelo	Unique wedding customs in the world
Week 10	Hudson Group	Design dream vacation
Week 11	Cinnabon	Report about women in business
Week 12	Mohecan Sun	Minority group report
Week 13	Dutch Brother's Coffee	Coffee facts and figures
Week 14	Utah Jazz	Report about a sport

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
No text will be used in this course.

【参考書】
None.

【成績評価の方法と基準】
This class will start on Friday, April 24, 2020 in its regularly scheduled period using the online HOPPII Learning Management System. Students should try to self-register into the class student roster in HOPPII Learning Management System.
The class will be conducted online using the HOPPII Learning Management System until further notice. The HOPPII System will be used as the initial meeting point and communication platform, but students will be expected to branch out and use other technology platforms and/or websites as the course progresses.

【学生の意見等からの気づき】
The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline and objectives】
This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking,reading and writing.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Undercover Boss

ロバート・D・ヒントン

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is a content based course aimed at helping
students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American
culture and society.

【到達目標】
The goal of this course is to increase fluency,
accuracy and confidence in the areas of speaking,listening, reading
and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Each week students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate is discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	The Beginning of Undercover Boss - 7-11	Research 20 interesting facts about 7-11 - group discussion
Week 2	Herschend Entertainment	Partner interview of selected entertainment venue
Week 3	Roto Rooter	Review the Roto Rooter website and a comparable Japanese company - present findings
Week 4	CSI Commerce	Discussion of on-line shopping and websites
Week 5	Loehman's	Retail outlet presentation
Week 6	Alfred Angelo	Discuss 3 reasons for each of the 5 chosen CEOs or owners
Week 7	CEO/Owner presentation planning	Group work for CEO or owner presentation
Week 8	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions
Week 9	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions
Week 10	Cinnabon	Share research findings of fast food retail outlets - small group discussion
Week 11	Dutch Bros Coffee	Presentation of coffee facts and figures
Week 12	Mohecan Sun	Minority group presentations
Week 13	Peavey Electronics	Ecology quiz and group brainstorming
Week 14	Hudson Group	Partner interview sheet - "dream vacation"

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
No text will be used in this course.

【参考書】
None.

【成績評価の方法と基準】
Students will be evaluated based on weekly homework (40%), classroom activities such as: listening comprehension worksheets, note taking, participation in discussions (40%), and presentations (20%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester to receive academic credit for the course.

【学生の意見等からの気づき】
The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline and objectives】
This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking,reading and writing.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English Speaking World : Part I

Genc Burcu

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is a course aiming to assist students in becoming fluent English speakers by sharing their ideas on cultural and social content popularly discussed in the English speaking world.

【到達目標】
In this course, students will read a variety of content-based articles, and readings will be supplemented with listening exercises to help students improve their fluency in English. The classes are designed for pair and group discussions to provide the students with a friendly environment to express themselves in English. Students will also be required to complete some writing tasks such as paragraphs and short essays to express their ideas in a more organized way.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students will participate in a variety of activities that involve all four skills, but with a special emphasis on reading and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion, usually in pairs or groups.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines.
2	Unit 1: The Urge to Explore What is scientific curiosity?	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
3	Unit 1: The Urge to Explore Current science in the English Speaking World	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
4	Unit 1: The Urge to Explore Current scientific developments	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
5	Unit 2: Success and Failure An overall understanding of the education system in the English speaking countries	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
6	Unit 2: Success and Failure Failures in the Education System	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
7	Unit 2: Success and Failure Higher Education in the English Speaking World	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
8	Group Presentations Unit 3:Power Shifts Business world in the English speaking countries	Each group will deliver a presentation following the course contents and objectives. In the remaining time, students will start with unit 3 topic discussion.
9	Unit 3:Power Shifts Business and Gender: Equality in the workplace	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
10	Unit 3: Power Shifts Gender Issues: Representation in different contexts	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
11	Unit 4:Creative Sparks Media and Literature What is creativity?	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
12	Unit 4: Creative Sparks Media and Literature Famous writers	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
13	Unit 4: Creative Sparks Media and Literature Journalistic writing	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
14	Final Exam	Final exam of the semester will be conducted

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 4, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams. ￥ 2840
Additional newspaper articles will also be provided by the instructor in class.

【参考書】
These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.
https://japantoday.com/
https://www.japantimes.co.jp/news/
https://www.yahoo.com/news/
http://www.bbc.com/news
https://news.google.com/news/

【成績評価の方法と基準】
Class participation: 20%
Group Presentation: 30%
Writing assignments: 10%
Final Exam: 40%
More than 3 absences will result in automatic failure of the course.

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable

【Outline and objectives】
In this course, students will improve their confidence and skills in overall English communication while familiarizing themselves with the contemporary cultural, political, social concerns of the English speaking world.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English Speaking World: Part II

Genc Burcu

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is the second part of the course, “Current Issues in the English Speaking World,” aiming to continue helping students to become more fluent English speakers by sharing their ideas on cultural and social content popularly discussed in the English speaking world.

【到達目標】
In this course, students will read a variety of content-based articles, and readings will be supplemented with listening exercises to help students improve their fluency in English. The classes are designed for pair and group discussions to provide the students with a friendly environment to express themselves in English. Students will also be required to complete some writing tasks such as paragraphs and short essays to express their ideas in a more organized way.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students will participate in a variety of activities that involve all four skills, but with a special emphasis on reading and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion, usually in pairs or groups.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Course orientation	introductions & class guidelines.
2	Unit 5: Hope and Quality Social Equality in the English Speaking World	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
3	Unit 5: Hope and Equality Living on a Dollar a Day	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
4	Unit 5: Hope and Equality Invisible Poverty	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
5	Unit 6: Backing Up History Why Archaeology?	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
6	Unit 6: Backing Up History Scientific developments in archaeological research	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.

7	Unit 6: Backing Up History Ancient Wonders Captured in 3-D	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
8	Group Presentations Unit 7: Food for All Superfood and Supplement Boom	Each group will deliver a presentation following the course contents and objectives. In the remaining time, students will start with unit 3 topic discussion.
9	Unit 7: Food for All Balanced Diet vs. Snacks	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
10	Unit 7: Food for All Excessive Consumption and Food Waste	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
11	Unit 8: Future Jobs Changing Business World in the English Speaking Countries	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
12	Unit 8: Future Jobs Predicting some problems	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
13	Unit 8: Future Jobs Recipes for Innovation	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
14	Final Exam	Final exam of the semester will be conducted

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 4, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams (The same textbook from part I). ￥ 2840
Additional newspaper articles will also be provided by the instructor in class.

【参考書】
These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.
https://japantoday.com/
https://www.japantimes.co.jp/news/
https://www.yahoo.com/news/
http://www.bbc.com/news
https://news.google.com/news/

【成績評価の方法と基準】
Class participation: 20%
Group Presentation: 30%
Writing assignments: 10%
Final Exam: 40%
More than 3 absences will result in automatic failure of the course.

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable

【Outline and objectives】
In this course, students will improve their confidence and skills in overall English communication while familiarizing themselves with the contemporary cultural, political, social concerns of the English speaking world.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English Communication & Conversing

Robert Durham

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：上級／英語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

【到達目標】
Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
NEW INFORMATION: BECAUSE OF THE COVID-19 STATE OF EMERGENCY, OUR CLASSES WILL BEGIN (ONLINE) FROM APRIL 24, 2020

Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills via pair practice conversations with their classmates & professor.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	[All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events.] Introductions, in smoothly, natural, friendly English. News video #1/TED Talk video #1.	Introduction vocabulary; & 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.
第 2 回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English.	How to say your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.

第 3 回	Using the Future tense in English, to explain your Golden Week plans.	Active English spoken expressions, re: Golden Week future plans. News video/TED video #2.
第 4 回	Actively explaining your Golden Week activities, in spoken English.	Actively speaking about Golden Week, in spoken English, using the Past Tense. News video/TED Talk #2 (continued).
第 5 回	”How are you?”	Pairwork will be used to practice many, various ways to reply dynamically in English, to questions such as ”How’s it going?” News video/TED Talk #3, part 1.
第 6 回	Expressing your opinions about Current Affairs News videos/TED Talks, in active, dynamic spoken English.	Pair practice: speaking your opinions about News videos/TED Talks, in active English.
第 7 回	Video documentary or News clips, with questions about it.	Students will learn how to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic.
第 8 回	News or TED Talk video #4, part 1.	Pair practice in spoken English, to explain student opinions about the topics raised by the video.
第 9 回	News or TED Talk video #4, part 2.	Explaining, in spoken English, student opinions about the topics in the video.
第 10 回	Use of many different English adjectives, to explain opinions and comments.	Students will explain their opinions about many current topics to classmates, in smooth, Modern English.
第 11 回	News or TED Talk video #5, part 1.	Students will watch the News or TED video clip...and will be asked to discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English.
第 12 回	News or TED Talk video #5, part 2./ Exam, re: topics studied and discussed during the Spring 2018 semester.	Students will watch the News or TED video clip; will be asked to answer questions about it; and will then discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English./ Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Spring semester.
第 13 回	.	.
第 14 回	.	.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please do homework well before the deadline [NOT ”ichiyazukke”]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; please don’t work at part-time jobs excessively; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

A textbook might be chosen, depending on students levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

【参考書】

–

【成績評価の方法と基準】

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams spoken replies (approximately 25%); attendance/on-time arrival (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

*IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. *

【学生の意見等からの気づき】

–

【学生が準備すべき機器他】

Please bring to each class: a notebook/binder; a black pen; a red pen; an English-Japanese/Japanese-English dictionary [paper or electronic]; an English language LARGE namecard; and a daily planner/schedule book [a ’techo’, in Nihongo].

【その他の重要事項】

NEW INFORMATION; Because of the Covid-19 ’State of Emergency’, classes will start ONLINE, April 24th, via HOPPII. Please contact me via Hoppii, and/or via e-mail (import4u@gmail.com). We are all novices at ’Online Learning’, so we will all probably make some ’mis-steps’. Please PERSEVERE...and keep in touch.

We MIGHT try to arrange some Online video classes/chats...after resolving technical issues. Please make sure that you have an Internet-enabled PC. Also, maybe Docomo, Au, & Sofbank will permit you to have an extra 50GB of access, free. (Please check.)

————-

Please participate ACTIVELY in class; please sit together with other students, in class, AT THE FRONT OF THE ROOM; and please speak together with your classmates, using lots of eye contact & good Body Language. If you’re not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering ”I don’t know”.

* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. *

【Outline and objectives】

This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Communication & Conversing

Robert　Durham

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：上級／英語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is a Fall semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

【到達目標】
Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills via pair practice conversations with their classmates & professor.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	[All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events.] ”How was tour Summer Break?”[Discussing Summer events is smooth, Modern English, using the English Past tense.] News video #1/TED Talk video #1.	Summer Past Tense vocabulary; & ’EQ’ responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.
第 2 回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English.	How to say your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.
第 3 回	Using the Future tense in English, to explain your Hallowe’en plans.	/Active English spoken expressions, re: Hallowe’en future plans. News video/TED video #2.
第 4 回	Actively explaining your possible Hallowe’en activities, in spoken English.	Actively speaking about Hallowe’en, in spoken English, using the Past Tense. News video/TED Talk #2 (continued).
第 5 回	”How was your ____ ?”, & also News video/TED Talk #3, part 1.	Pairwork will be used to practice many, various ways to reply dynamically in English, to questions such as ”How was your weekend...?” News video/TED Talk #3, part 1.
第 6 回	Expressing your opinions about Current Affairs News videos.	TED Talk #3 part 2, in active, dynamic spoken English.
第 7 回	Video documentary or News clips, with questions about it.	Students will learn how to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic.
第 8 回	News or TED Talk video #4, part 1.	Pair practice in spoken English, to explain student opinions about the topics raised by the video.
第 9 回	News or TED Talk video #4, part 2.	Explaining, in spoken English, student opinions about the topics in the video.
第 10 回	Use of many different English adjectives, to explain opinions and comments.	Students will explain their opinions about many current topics to classmates, in smooth, Modern English.
第 11 回	News or TED Talk video #5, part 1.	Students will watch the News or TED video clip...and will be asked to discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English.
第 12 回	News or TED Talk video #5, part 2.	Students will watch the News or TED video clip; will be asked to answer questions about it; and will then discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English.
第 13 回	Exam, re: topics studied and discussed during the Fall 2018 semester.	Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Fall semester.
第 14 回	News video/ TED talk; Summer Break.Students will be asked to give opinions in spoken English, re: the video, and/or Winter Break plans.	Students will be asked to give opinions in spoken English, re: the video, and/or Winter Break plans.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Please do homework well before the deadline [NOT ”ichiyazukke”]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; please don’t work at part-time jobs excessively; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.
University guidelines suggest preparation and review are around 4　hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
A textbook might be chosen, depending on students levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

【参考書】
—

【成績評価の方法と基準】
Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams spoken replies (approximately 25%); attendance/on-time arrival (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).
IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.

【学生の意見等からの気づき】
—

【学生が準備すべき機器他】
Please bring to each class: a notebook/binder; a black pen; a red pen; an English-Japanese/Japanese-English dictionary [paper or electronic]; an English language LARGE namecard; and a daily planner/schedule book [a 'techo', in Nihongo].

【その他の重要事項】
Please participate ACTIVELY in class; please sit together with other students, in class, AT THE FRONT OF THE ROOM; and please speak together with your classmates, using lots of eye contact & good Body Language. If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".
* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. *

【—-】
–

【Outline and objectives】
This is a Fall semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**英語圏の文化と社会**

榊原　益子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：上級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
今、アメリカに何が起こっているかを様々な角度から見ることで、アメリカの現状を知る。政治、経済、文化、流行、音楽等の分野で、学生の興味を引くような新聞記事、インターネット、雑誌等から最新の情報を得て、それを正確に且つ迅速に読み込むテクニックを習得する。さらに、グループごとにテーマについて話し合い、要約、コメント力を磨く。さらに、各学生は自分の興味のある話題を他の学生と共有することで互いのアメリカの知識を深めていく。
この授業を通して読む、書く、話す、聞くの４技能を学習する。
2020 年はアメリカ大統領選に当たる。混迷する民主党候補選びに注目していく。

【到達目標】
スラッシュリーディング習得。
リスニングで内容理解の確認。
グループアクティビティで要約、コメント力をつける。
paragraph writing & essay writing (summarization,expressing own opinions involved)
アメリカの現状のさらなる理解。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は５月１日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1.	Marked for life タトゥーはアメリカ人の意識の中でどのように変化しているの？	タトゥーは君にとって OK それとも NO？
2.	Watch your lauguage 手書きはキーボードに取って代わられるのか？	手書き、キーボードの長所、短所を考えよう。
3.	What is the latest news?	ニュースの内容把握。グループでの討論。
4.	Food & cuisine アメリカ人の肥満の現状	アメリカ人はなぜ痩せられない？
5.	What is the latest news?	ニュースの内容把握。グループ内での討論。
6.	Getting a driver's license 驚くほど日本とは異なる運転免許の取り方	車社会ならではの運転免許取得法？

7.	Medical tourism 医療技術最先端を行くアメリカ、しかし、医療費も高額、その現実は？	今や、治療目的の旅行に、ある人々は群がる。その現状を見る。
8.	What is the latest news?	ニュースの内容把握。グループ内で討論。
9.	What men want? 男性はどんな女性を好むのか？	男女お互いに魅力ある相手とは？
10.	Why are they smoking marijuana? アメリカ人とマリファナ	レクレーショナルマリファナを合法化していく州の増加をどう見るか？
11.	Why are American strict about alcohol? アメリカ人にとってアルコールを飲める年齢。	アメリカはアルコール飲酒年齢にかなり厳しい、その理由とは？
12	Waht is the latest news	ニュースの内容把握。グループ内で討論。
13.	Final test	wrap up
14.	presentation	自分の関心のあるテーマで発表

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
paragraph & essay writing の課題 /preparing for presentation

University guidelines suggest preparation and review are around 4　hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
教科書は使用しない。

【参考書】
Japan Times,New York Times、Web などで情報を集める。

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
教室内のグループアクティビティでお互いの親密度が回数を追うごとに増していくのは良かった。

【学生が準備すべき機器他】
presentation などの発表には USB、PC などをを積極的に使用することも薦める。

【Outline and objectives】
This class focuses on America from various perspectives; politics, culture, social issues, music, fads and so forth. In doing so, the students will be exposed to what's going on in America right now. If a particular topic dealt in class gets to their hearts, they might be inspired to learn more and eventually their English skills may be improved as a communication tool. Furthermore this class involves plenty of group activities through which they can enhance the skills to discuss, summarize and express their opinions.
This year's American presidential race will be unpredictable. Whether will Trump be reelected? Who will be the democrat candidate? Progressive or moderate candidate?

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

榊原　益子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：上級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
前期と同じくアメリカに焦点を当て、今のアメリカに迫る。
さらに、アメリカに関する記事を読み、それについてのコメントや要約を書き、CD, 映像からの情報を聞いたり話したりすることで英語の 4 技能である聞く、話す、書く、読む能力を習得する。
2020 年は大統領選の年に当たる、Trump 大統領が再選されるのか、それとも民主党の候補が勝利するのか、それに関連するニュースに注目していきたい。

【到達目標】
前期と同じ目標を目指し、さらなる強化と学生の動機づけを行う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
前期のシステムを踏襲し、積極的に学生の独自の目線で選んだトピックをクラス内で取り上げていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1..	Jackpot justice アメリカはなぜ訴訟が多い？	コーヒーこぼしただけで一獲千金？
2.	What's the latest news?	ニュースの内容把握。グループで討論。
3.	Don't shoot なぜ、アメリカは銃をあきらめられないのか？	なぜ銃にまつわる犯罪が減らないのに銃規制ができないのか？
4.	African American and Caucasian students don't mix いまだ根強く残る人種偏見。	なぜ、白人社会は有色人種を受け入れられないのか？
5.	What's the latest news?	ニュースの内容把握。グループ内で討論。
6.	Illegal アメリカにおける不法移民の現実。	トランプの移民政策はアメリカにとって有益なのか？
7.	American can't speak English? 英語を喋れないアメリカ人。	多人種からなるアメリカ、母国語で会話する彼らは？
8.	What's the latest news?	ニュースの内容把握。グループ内で討論。
9.	Holidays アメリカ人の祝日。	Happy Christmas それとも Merry Cristmas?
1o.	Yoga, Old but New アメリカのヨガ事情	進化するアメリカのヨガ。
11.	What's the latest news?	ニュースの内容把握。グループ内で討論。

12.	The Megachurch 今流行っている教会とは？	宗教離れが進むアメリカで人を引き付ける教会の形態。
13	final test	wrap up
14.	presentation	関心のあるトピックについて発表

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
writing an essay/ preparing for presentation
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
なし。

【参考書】
no

【成績評価の方法と基準】
期末テスト (60%) / ライティング、発表、グループ活動等平常点 (40%)
各学期の欠席回数が 4 回以上の場合、原則として単位習得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
学生は日本語での討論も許されているので、精神的に楽。

【学生が準備すべき機器他】
presentation には USB、PC など有効に使う。

【その他の重要事項】
積極的な参加こそこのクラスを最大限に生かす条件。常にアメリカのニュース等にアンテナを張っておく。

【Outline and objectives】
We will follow the previous semester style and enhance the students' motivation and curiosity to know more about America. Through group activities, the students stimulate each other to express their own opinions more convincingly.
This year's American presidential race will really be interesting. Whether can Trump be reelected even though quite a few people want to oust him from White House. The students are supposed to pay attention to the presidential debate.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Communicating English To The World: Analyzing Social Issues

Richard Wilcox

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／英語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

【到達目標】
Media and Culture: Communicating In English To Explain Japan To The World
Students will find this course useful for building their English and academic abilities and broadening their understanding of the world. Topics may include: media and culture; women's empowerment in social and economic life; career goals; modern Japanese culture and subcultures; nature and environment; human health, nutrition and exercise; global economic development and international relations. Students will use graded reader books, journals, a textbook and practical English conversation handouts to improve their communication skills. Tests will include written and oral types and informal and power point presentation formats.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Textbook, English Conversation Practice handouts, Written assignments and tests, Journals, Graded Readers, Viewing educational DVDs; Teacher explanations
Handouts:
English Conversation Practice
Excerpts "From Paragraph to Essay"
Research Proposal Outline
Designing Research: Surveys
Designing a Survey Outline
Analyzing Data Outline
Describing Graphs
DVD Discussion Outline
Internet Search Techniques
Speech Outline
Audience Q & A Outline
Presentation Slides
Powerpoint Outline
Presentation Delivery
Presentation Evaluation Form

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	英語／現代の諸相	Orientation; English Conversation Practice (ECP) Handouts; Text Unit 1
2	英語／現代の諸相	Graded Reader (GR); ECP Handouts; Text Unit 2
3	英語／現代の諸相	GR; ECP Handouts; Text Unit 3
4	英語／現代の諸相	GR; ECP Handouts; Unit 4
5	英語／現代の諸相	GR Discussion; Written Test on Textbook
6	英語／現代の諸相	Return test results; GR 2; ECP Handouts: Unit 5
7	英語／現代の諸相	GR 2; ECP Handouts: Unit 6
8	英語／現代の諸相	DVD: Queen of the Sun (30 min.); Discussion
9	英語／現代の諸相	Queen of the Sun (30 – 60 min.); Discussion
10	英語／現代の諸相	GR 2; ECP Handouts; Unit 7
11	英語／現代の諸相	GR 2; ECP Handouts; Unit 8
12	英語／現代の諸相	GR 2 Discussion (students hand in final GR reports); ECP Handouts; Text Unit 9
13	英語／現代の諸相	Return GR reports; Prepare Informal Group Presentation
14	英語／現代の諸相	Informal Group Presentations (Individuals present in small groups)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Pre-reading of assignments; completion of textbook homework assignments; preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
No more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

【テキスト（教科書）】

Life Topics (Advanced)

【参考書】

Wilcox Handouts
Google Scholar
Wikipedia

【成績評価の方法と基準】

Participation 20%; Written assignments 10%; 2 Written Tests 30%; Informal Group Presentation 20%; Final Individual Powerpoint Presentation 20%;
Students should be aware that no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed
otherwise they will fail the course.

【学生の意見等からの気づき】

Adjustment to length of devotion to various topics based on student interest

【学生が準備すべき機器他】

Bring textbook and notebook and clear folder to keep handouts in class; laptop computers are recommended.

【その他の重要事項】

Please arrive at class on time and attend regularly. As noted above, students who are often late or absent will suffer lowering of grades and possibility of class failure.

【Outline and objectives】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Communicating English To The World: Analyzing Environment Issues

Richard Wilcox

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／英語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

【到達目標】
Media and Culture: Communicating In English To Explain Japan To The World
Students will find this course useful for building their English and academic abilities and broadening their understanding of the world. Topics may include: media and culture; women's empowerment in social and economic life; career goals; modern Japanese culture and subcultures; nature and environment; human health, nutrition and exercise; global economic development and international relations. Students will use graded reader books, journals, a textbook and practical English conversation handouts to improve their communication skills. Tests will include written and oral types and informal and power point presentation formats.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Textbook, English Conversation Practice handouts, Written assignments and tests, Journals, Graded Readers, Viewing educational DVDs; Teacher explanations
Handouts:
English Conversation Practice
Excerpts "From Paragraph to Essay"
Research Proposal Outline
Designing Research: Surveys
Designing a Survey Outline
Analyzing Data Outline
Describing Graphs
DVD Discussion Outline
Internet Search Techniques
Speech Outline
Audience Q & A Outline
Presentation Slides
Powerpoint Outline
Presentation Delivery
Presentation Evaluation Form

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	英語／現代の諸相	Journal; ECP Handouts; Text Unit 9
2	英語／現代の諸相	Journal; ECP Handouts; Text Unit 10
3	英語／現代の諸相	Journal; ECP Handouts; Text Unit 11
4	英語／現代の諸相	18. ECP Handouts; Unit 12; Homework: Read "Fukushima" DVD transcript; Write report for pages 1 – 4
5	英語／現代の諸相	Watch "Fukushima" (20 min); Discussion; Homework: Write report 5 - 8
6	英語／現代の諸相	Watch "Fukushima" (21 – 40 min); Discussion; Write report 9 - 11
7	英語／現代の諸相	Watch "Fukushima" (41 – 60); Discussion; Hand in Fukushima reports
8	英語／現代の諸相	Journal; ECP Handouts: Unit 13
9	英語／現代の諸相	Journal; ECP Handouts; Unit 14
10	英語／現代の諸相	Hand in Journals; Written Test on Textbook
11	英語／現代の諸相	Return journals and test results; Prepare Final Individual Powerpoint Presentations
12	英語／現代の諸相	Presentations (1) Student Q & A
13	英語／現代の諸相	Presentations (2) Student Q & A
14	英語／現代の諸相	Course Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Pre-reading of assignments; completion of textbook homework assignments; preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Life Topics (Advanced)

【参考書】
Wilcox handouts
Google Scholar
Wikipedia

【成績評価の方法と基準】
Participation 20%; Written assignments 10%; 2 Written Tests 30%; Informal Group Presentation 20%; Final Individual Powerpoint Presentation 20%; Students should be aware that no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed otherwise they will fail the course.

【学生の意見等からの気づき】
Adjustment of lessons based on student interest

【学生が準備すべき機器他】
Bring textbook and notebook and clear folder to keep handouts in class; laptop computers are recommended.

【その他の重要事項】
Please arrive at class on time and attend regularly. As noted above, students who are often late or absent will suffer lowering of grades and possibility of class failure.

【Outline and objectives】
1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;

2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

マイケル　マーフィー

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. In this course students will spend time using English to learn about American culture from a number of diverse perspectives. Students will learn about American culture through various sources of information and will incorporate a variety of topics about which they will express their opinion. In addition, students will also practice the fundamental English skills necessary to accomplish the above.

【到達目標】
Students will read and understand rather simple English texts without relying too much on dictionaries for understanding.
Students will learn to express their own opinion in speaking and writing, including how to examine content from a critical thinking perspective.
Students will not only learn about American culture, which continues to have a large impact on the world, but will also be able to apply that knowledge while improving their English skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Due to the State of Emergency and technical difficulties, this class will begin Wednesday, May 6, 2020 from Period 4 using the online HOPPII Learning Management System. Students should try to self-register into the class student roster using the Romanized version (ローマ字) of their Given and Family names and their university email address.
The class will be conducted online using the HOPPII Learning Management System until further notice. The HOPPII System will be used as the initial meeting point and communication platform, but students will be expected to branch out and use other technology platforms and/or websites as the course progresses.
Warm up activities will include listening practice from various English websites. Various target language objectives will be emphasized during each class period. For example, while reading from text, an emphasis may be placed on building vocabulary as well as the comprehension of passages. When presentations are the focus, an emphasis will be placed on using the appropriate posture and body language.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction to English 3	Course overview: policies, procedures and student expectations.
2	American Food and Wine	Reading and Listening practice using DVD video.
3	American food and wine	Reading and Writing practice using the expressions from the textbook.
4	American Food and Culture.	Listening and Vocabulary Quiz; Preparation for Presentation 1.
5	American Food Culture.	Group presentations 1: Images of American food culture and products; Student reactions.
6	Sports in the United States	Listening and Reading practice from DVD and text.
7	Sports in the United States: Baseball	Reading and Writing practice using expressions from the textbook.
8	Sports in the U.S.	Listening and Vocabulary Quiz 2. Practice and Preparation for Sports Presentations.
9	Sports in the U.S. and Japan	Group Presentations 2: Sports in the U.S. and Japan. Student reactions.
10	The World of Disney	Listening practice from DVD; Reading comprehension from text.
11	The World of Disney	Reading and Writing practice using expressions from the textbook
12	Disney Movies and Gender.	Discussion of how gender is depicted in scenes from Disney movies. Listening and Reading practice from Unit 4.
13	Entertainment: Hollywood, California	Group presentations on chosen topics from Disney and Hollywood entertainment; Student reactions
14	Term end review.	Review Test on Units 1-4: Listening , Reading and Writing.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

American Dream: Video Reading and Listening in American culture.(Asahi Press, Japan)

【参考書】

An English-Japanese/Japanese-English dictionary is highly recommended for each class session. Other supplemental readings and handouts will be provided at the discretion of the instructor.

【成績評価の方法と基準】

Grading criteria for this course will be based on the following:
*Class participation: 25% (including the timely completion of homework assigned in the previous class.)
Individual and small group presentations: 25%
Oral dictation quizzes, Unit Quizzes and Final Review Test: 50%
*Please note that in principle no more than three absences are permitted throughout the term. Without a valid reason (i.e. medical emergency/family problem) a fourth absence will result in failure for the term.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【Outline and objectives】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. In this course students will spend time using English to learn about American culture from a number of diverse perspectives. Students will learn about American culture through various sources of information and will incorporate a variety of topics about which they will express their opinion. In addition, students will also practice the fundamental English skills necessary to accomplish the above.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

マイケル　マーフィー

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 II builds upon the skills and knowledge gained from English 1,2 and the first semester of English 3. It will continue to aim to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. Students will spend time using English to learn about American culture from a number of diverse perspectives. Students will learn about American culture through various sources of information and will incorporate a variety of topics about which they will express their opinion. In addition, students will also practice the fundamental English skills necessary to accomplish the above.

【到達目標】
Students will read and understand rather simple English texts without relying too much on dictionaries for understanding.
Students will learn to express their own opinion in speaking and writing, including how to examine content from a critical thinking perspective.
Students will not only learn about American culture, which continues to have a large impact on the world, but also be able to apply that knowledge while improving their English skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Various target language objectives will be emphasized during each class period. For example, while reading from text, an emphasis may be placed on building vocabulary as well as the comprehension of passages. When presentations are the focus, an emphasis will be placed on using the appropriate posture and body language.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction to the Fall term.	Review of class policies and procedures; student expectations for Fall term. assignment for next class.
2	Unit 5: The Statue of Liberty.	Reading and Listening practice using DVD video.
3	The Statue of Liberty.	Readings and Writing practice using the expressions from the textbook.
4	The Statue of Liberty	Unit 5 Listening and Vocabulary Quiz. Preparation for first group presentations.
5	The Melting Pot	Group Presentations on the meaning of freedom and student reactions. Introduction to Unit 6.
6	The Melting Pot	Practice reading and listening using the text and DVD video
7	The Melting Pot	Practice reading and writing using the expressions and vocabulary in the textbook.
8	Unit 6 Review	Unit 6: Listening and Vocabulary Quiz; preparation for Presentations
9	Cultural Diversity	Group presentations on chosen topics of culture; student reactions.
10	Jazz, Gospel, Blues and Rock n Roll	Reading and Listening practice using the text and DVD video.
11	Jazz, Gospel, Blues and Rock n Roll	Practice reading and writing using the expressions and vocabulary in the textbook.
12	Cars and Planes	Listening and Vocabulary Quiz on Unit 7; Introduction to Unit 9 Reading and Listening practice using the text and DVD video.
13	Cars and Planes	Final Group presentations on chosen topics from Units 7,8 and 9.
14	Term End Review	Units 5-9 Final Test: Listening, Reading and Writing.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to come to class fully prepared, having completed any readings, writings or listening tasks assigned from the previous week. This is of utmost importance in order to fully participate in class activities (see Grading criteria below) and for the benefit of the class as a whole.
University guidelines suggest preparation and review are around 4　hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
American Dream: Video Reading and Listening in American Culture.(Asahi Press, Japan)

【参考書】
An English-Japanese/Japanese-English dictionary is highly recommended for each class session. Other supplemental readings will be provided at the discretion of the instructor.

【成績評価の方法と基準】
Grading criteria for this course will be based on the following:
*Class participation: 25% (including the timely completion of homework assigned in the previous class)
Individual and small group presentations: 25%
Oral dictation and vocabulary quizzes, Unit quizzes and final test: 50%
*Please be aware that in principle no more than three absences are permitted throughout the term. Without a valid reason (i.e. medical emergency/ family problem) a fourth absence will result in a failing grade for the term.

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【Outline and objectives】
English 3 II builds upon the skills and knowledge gained from English 1,2 and the first semester of English 3. It will continue to aim to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. Students will spend time using English to learn about American culture from a number of diverse perspectives. Students will learn about American culture through various sources of information and will incorporate a variety of topics about which they will express their opinion. In addition, students will also practice the fundamental English skills necessary to accomplish the above.

LANe200LA

English ３ Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**イギリスのニュース**

井上　紗央里

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／日本語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
海外で使用されているニュース教材を使用し、リーディング、リスニング、ライティングの演習を行います。

【到達目標】
海外のニュースを音声と映像で理解し、ニュースを通して国際社会への意識を高め、自分の意見を英語でアウトプットすることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
【2020 年 4 月 16 日追記】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日は 5 月 6 日とします。この日までに具体的なオンライン授業の方法などを学習支援システムで提示します。
【2020 年 4 月 20 日追記】
5 月 6 日の授業開始日までに法政大学生協テキストオンライン販売で指定テキストを購入してください。
【変更前記述】
テキスト British News Update 2 を使用して授業をすすめます。テキスト内の演習問題を使用して、語彙の確認、リスニング練習を行います。その後ニュースの内容を受講者全員で確認し、Summary を使用した単語テストを行います。ニュースに関する自分の意見、感想等の英作文、ディスカッションも行います。授業には必ず辞書を持参してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction, Unit 1 A Coffee Shop in a Phone Box 前半	授業の進め方の説明　英作文についての説明 Unit1 のディクテーション
2	Introduction, Unit 1 A Coffee Shop in a Phone Box 後半	Unit 1 News Story の解説、会話練習、テキスト P6 Summary のリスニングテスト
3	Unit 2 Breakdancing at the Olympics 前半	Unit 2 News Story のディクテーション、本文解説前半、会話練習
4	Unit 2 Breakdancing at the Olympics 後半	Unit 2 News Story の解説後半、テキスト P12 Summary のリスニングテスト、英作文
5	Unit 3 Shopping without Plastic 前半	Unit 3 News Story のディクテーション、本文解説前半、会話練習
6	Unit 3 Shopping without Plastic 後半	Unit 3 News Story の解説後半、テキスト P18 Summary のリスニングテスト、英作文
7	Unit 4 Edinburgh to Tax Tourists 前半	Unit 4 News Story のディクテーション、本文解説前半、会話練習
8	Unit 4 Edinburgh to Tax Tourists 後半	Unit 4 News Story の解説後半、テキスト P24 Summary のリスニングテスト、英作文
9	Unit 5 A Four-Day Week 前半	Unit 5 News Story のディクテーション、本文解説前半、会話練習
10	Unit 5 A Four-Day Week　後半	Unit 5 News Story の解説後半、テキスト P30 Summary のリスニングテスト、英作文
11	Unit 6 The Fashion Industry and the Environment 前半	Unit 6 News Story のディクテーション、本文解説前半、会話練習
12	Unit 6 The Fashion Industry and the Environment 後半	Unit 6 News Story の解説後半、テキスト P36 Summary のリスニングテスト、英作文
13	Unit 7 Community Cycling	Unit 7 News Story のディクテーション、本文解説、会話練習、テキスト P42 Summary のリスニングテスト、英作文
14	期末試験とまとめ	第 1 回から 13 回までの授業内容を試験範囲とします。春学期全体のまとめ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストにニュース映像閲覧用のパスワードが記載されているので、それを使用して事前にネット上のニュース映像を見て、News Story の英文を事前に読んできて下さい。受講者が予習をしていることを前提にスクリプトのディクテーション、内容理解、演習問題の答え合わせなどを進めていきます。各ユニットの Making a Summary のリスニングの小テストをユニットの最後に行いますので、問題を事前に解いておいてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
British News Update 2（金星堂 2020）￥2,600（+ Tax) ISBN 978-4-7647-4097-6 価格 2,600 円 (+税)

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
【2020 年 4 月 16 日追記】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更します。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示します。
【2020 年 4 月 20 日追記】
授業日に毎回学習支援システム上で提出する課題を課し、その課題の内容で評価を行います。各課題には提出の締め切りが設定されます。今学期出す 14 回分の課題のうち 4 回分を提出しなかった場合は原則として単位取得の資格を失います。5 月 6 日の授業開始日より学習支援システムで課題の指示を出します。
【変更前評価方法】
試験の平均点 60 %、平常点（授業内での発言等の貢献度、提出物など）25 %　小テストの点数 15 %で総合的に評価します。欠席が 4 回以上になった受講生は原則として単位取得の資格を失います。欠席、遅刻の回数に応じて減点となります。30 分以上の遅刻は欠席分の減点がつきます。

【学生の意見等からの気づき】
受講生同士のディスカッションなどの機会を増やしたいと思います。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to improve students' reading, speaking, writing, and listening skills through watching and reading current affairs in English. At the end of the course, participants are expected to acquire basic English skills and enlarge knowledge of current events.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**イギリスのニュース**

井上　紗央里

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／日本語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
海外で使用されているニュース教材を使用し、リーディング、リスニング、ライティングの演習を行います。

【到達目標】
海外のニュースを音声と映像で理解し、ニュースを通して国際社会への意識を高め、自分の意見を英語でアウトプットすることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキスト British News Update 2 を使用して授業をすすめます。テキスト内の演習問題を使用して、語彙の確認、リスニング練習を行います。その後ニュースの内容を受講者全員で確認し、Summary を使用した単語テストを行います。ニュースに関する自分の意見、感想等の英作文、ディスカッションも行います。授業には必ず辞書を持参してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction, Unit 8 Smartphone Amnesty 前半	授業の進め方の説明　英作文についての説明 Unit8 のディクテーション
2	Unit 8 Smartphone Amnesty 後半	Unit 8 News Story の解説、会話練習、テキスト P48 Summary のリスニングテスト
3	Unit 9 Guide Dog Discrimination 前半	Unit 9 News Story のディクテーション、本文解説前半、会話練習
4	Unit 9 Guide Dog Discrimination 後半	Unit 9 News Story の解説後半、テキスト P54 Summary のリスニングテスト、英作文
5	Unit 10 Financial Literacy at Shool 前半	Unit 10 News Story のディクテーション、本文解説前半、会話練習
6	Unit 10 Financial Literacy at Shool 後半	Unit 10 News Story の解説後半、テキスト P60 Summary のリスニングテスト、英作文
7	Unit 11 A Da Vinci Dispute 前半	Unit 11 News Story のディクテーション、本文解説前半、会話練習
8	Unit 11 A Da Vinci Dispute 後半	Unit 11 News Story の解説後半、テキスト P66 Summary のリスニングテスト、英作文
9	Unit 12 The Success of Hip and Knee Replacements 前半	Unit 12 News Story のディクテーション、本文解説前半、会話練習
10	Unit 12 The Success of Hip and Knee Replacements　後半	Unit 12 News Story の解説後半、テキスト P72 Summary のリスニングテスト、英作文
11	Unit 13 Britons Apply for German Citizenship	Unit 13 News Story のディクテーション、本文解説、会話練習、P78 Summary のリスニングテスト、英作文
12	Unit 14 Squirrel on the Menu	Unit 14 News Story のディクテーション、本文解説、会話練習、P84 Summary のリスニングテスト、英作文
13	Unit 15 Climate Change Protests	Unit 15 News Story のディクテーション、本文解説、会話練習、P91 Summary のリスニングテスト、英作文
14	期末試験とまとめ	第 1 回から 13 回までの授業内容を試験範囲とします。秋学期全体のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストにニュース映像閲覧用のパスワードが記載されているので、それを使用して事前にネット上のニュース映像を見て、News Story の英文を事前に読んできて下さい。受講者が予習をしていることを前提にスクリプトのディクテーション、内容理解、演習問題の答え合わせなどを進めていきます。各ユニットの Making a Summary のリスニングの小テストをユニットの最後に行いますので、問題を事前に解いておいてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
British News Updat 2（金星堂 2020）￥2,600（+ Tax)

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
試験の平均点 60 %、平常点（授業内での発言等の貢献度、提出物など）25 %　小テストの点数 15 %で総合的に評価します。欠席が 4 回以上になった受講生は原則として単位取得の資格を失います。欠席、遅刻の回数に応じて減点となります。30 分以上の遅刻は欠席分の減点がつきます。

【学生の意見等からの気づき】
受講生同士のディスカッションなどの機会を増やしたいと思います。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to improve students' reading, speaking, writing, and listening skills through watching and reading current affairs in English. At the end of the course, participants are expected to acquire basic English skills and enlarge knowledge of current events.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English-Speaking World

佐藤　陽子

開講時期：**春学期授業**/Spring　|　曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 では、English 1 と 2 で学んだことをもとに、様々な英語の素材を批判的に吟味し、それぞれのトピックについて自分の意見を述べる力を養います。具体的には、新聞やニュースに取り上げられた英語圏の時事問題を理解したのち、group discussion や group presentation の中で自分の意見を英語で表現する練習をします。

【到達目標】
1) 英語の素材の理解を通して、時事問題、文化、文体、発音、単語などを学びます。
2) 関連情報を調べ分析することによって、情報収集能力や素材を批判的に吟味する力をつけます。
3) ディスカッションやプレゼンテーションを通して、英語で意見を表現する方法を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
いわゆる 4 技能（reading, writing, listening, speaking）を用いたアクティビティやタスクが中心となります。具体的には、短いテキストを読んだり、短いオーディオ/ビジュアル・クリップを見聞きしたあとに、そのトピックについて group discussion を行い、結果を group presentation として発表します。授業の雰囲気は informal & friendly です。【以下 4 月 20 日追加】春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更につ いては、学習支援システムでその都度お知らせします。本授業の開始日は 4 月 22 日 (水) とし、この日に具体的なオンライン授業の方法などをお知らせします。（現在アクセスが難しいようなので Google Classroom でクラスサイトを作りました！ 法政のアカウントで Google Classroom を表示し、クラスコード　je4lk2a を入力すれば入れます！

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Getting to know each other (communicative activities), plans for the semester
2	Understanding Current Issue 1	Vocabulary quiz on reading HW on Topic 1, reading HW comprehension check, listening to audio-visual material on Topic 1
3	Understanding and discussing Current Issue 1 (1)	Review vocabulary quiz on reading HW, group discussion (1) on Topic 1
4	Discussing Current Issue 1 (2)	Vocabulary quiz on listening material, Group discussion (2) on Topic 1
5	Preparing for the presentations on Current Issue 1 (1)	Review vocabulary quiz on listening material, Preparing for the group presentation on Topic 1 (1)
6	Preparing for the presentations on Current Issue 1 (2)	Preparing for the group presentation on Topic 1 (2)
7	Presentations on Current Issue 1	Presentations on Topic 1
8	Feedback on presentations, Current Issue 2	Peer- and teacher-feedback on presentations, Vocabulary quiz on reading HW on Topic 2, listening to audio-visual material on Topic 2
9	Discussing Current Issue 2 (1)	Review vocabulary quiz on reading HW, group discussion (1) on Topic 2
10	Discussing Current Issue 2 (2)	Vocabulary quiz on listening material, Group discussion (2) on Topic 2
11	Preparation for the presentations on Current Issue 2	Review vocabulary quiz on listening material, Preparing for the group presentations on Topic 2
12	Presentations on Current Issue 2	Presentations on Topic 2
13	Feedback on presentations on Current Issue 2	Peer- and teacher-feedback on presentations on Topic 2, writing a reaction paper
14	Recap of the semester & student feedback	Recap of the semester; student feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回出される宿題を完璧にこなすこと、ほぼ毎回の単語のテストの準備をすること、ディスカッションやプレゼンテーションの準備をすることが必須です。宿題に基づくグループワークが多いので、宿題をしていないと他のメンバーに迷惑をかけることになります。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書はありません。ほぼ毎回ハンドアウトが渡されます。ハンドアウトを管理するため、A4 のフォルダーやバインダーを用意してください。

【参考書】
辞書を必ず毎回持参してください。（紙版、電子版は問いません）

【成績評価の方法と基準】
成績は以下の基準で評価されます。
授業への積極的参加（出席ではありません）: 20%
宿題と単語の豆テスト: 40%
Presentations: 40%
注意事項：
【以下 4 月 20 日追加】春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する必要があると思われます。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムでお知らせします。今のところ授業 4 回分以上の課題を提出しなかった場合は原則として単位取得ができない大まかな方針です。

【学生の意見等からの気づき】
You may find this course demanding, but it will pay off!

【学生が準備すべき機器他】
プレゼンテーションにはスライド（e.g. PowerPoint) が必要です。重要なお知らせの配信には授業支援システムを使います。

【Outline and objectives】
English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English-Speaking World

佐藤　陽子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 II では、English 3 I で学んだことをもとに、様々な英語の素材を批判的に吟味し、それぞれのトピックについて自分の意見を述べる力をさらに養います。具体的には、新聞やニュースに取り上げられた英語圏の時事問題を理解したのち、group discussion や presentation、essay の中で自分の意見を英語で表現する練習をします。

【到達目標】
1) 英語の素材の理解を通して、時事問題、文化、文体、発音、単語などを学びます。
2) 関連情報を調べ分析することによって、情報収集能力や素材を批判的に吟味する力をつけます。
3) ディスカッション、プレゼンテーション、エッセイを通して、英語で意見を表現する方法を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
いわゆる 4 技能（reading, writing, listening, speaking）を用いたアクティビティやタスクが中心となります。具体的には、短いテキストを読んだり、短いオーディオ/ビジュアル・クリップを見聞きしたあとに、そのトピックについて group discussion を行い、結果を group presentation として発表したり、自分で調べたことをもとに presentation や essay にまとめます。授業の雰囲気は informal & friendly です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Warm up communicative activities, recap of last semester, plans for the semester
2	Understanding Current Issue 1 (1)	Vocabulary quiz on reading HW on Topic 1, reading HW comprehension check, listening to audio-visual material (1) on Topic 1, checking the topics of the individual presentations
3	Discussing Current Issue 1 (1), preparation for the individual presentations (1)	Review vocabulary quiz on reading HW, group discussion (1) on Topic 1, discussing the topics of the individual presentations (1)
4	Discussing Current Issue 1 (2), preparation for the individual presentations (2)	group discussion (2) on Topic 1, discussing the topics of the individual presentations (2)

5	Preparing for the presentations on Current Issue 1, preparation for the individual presentations (3)	Preparing for the presentation on Topic 1, discussing the topics of individual presentations (3)
6	Presentation on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1
7	Feedback & reflection on group presentations, preparing for individual presentations	Peer- and teacher-feedback on group presentations, reflection, preparing for the individual presentations
8	Individual presentations (1), review of the basics of essay writing	Individual presentations (1), peer- and teacher-feedback, review of the basic rules of essay writing
9	Individual presentations (2), essay outline	Individual presentations (2), peer- and teacher-feedback, checking the outline of the essays
10	Individual presentations (3), first draft	Individual presentations (3), peer- and teacher-feedback, checking the first draft of the essays
11	Individual presentations (4), second draft	Individual presentations (4), peer- and teacher-feedback, checking the second draft of the essays
12	Individual presentations (5), third draft	Individual presentations (5), peer- and teacher-feedback, checking the third draft of the essays
13	Individual presentations (6), fourth draft	Individual presentations (6), peer- and teacher-feedback, checking the fourth draft of the essays
14	Submission of the essay, recap of the semester & student feedback	Submission of the essay, recap of the semester, student feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。毎回出される宿題を完璧にこなすこと、ほぼ毎回の単語のテストの準備をすること、presentation と essay の準備をすることが必須です。宿題に基づくグループワークが多いので、宿題をしていないと他のメンバーに迷惑をかけることになります。

【テキスト（教科書）】
教科書はありません。ハンドアウトを管理するため、A4 のフォルダーやバインダーを用意してください。

【参考書】
辞書を必ず毎回持参してください。（紙版、電子版は問いません）

【成績評価の方法と基準】
成績は以下の基準で評価されます。
授業への積極的参加（出席ではありません）: 20%
宿題と単語の豆テスト: 40%
Presentation と essay: 40%
注意事項：出席と積極的参加は非常に重要です。授業を 4 回以上欠席した場合は原則として単位取得はできません。欠席してしまった際には、その回のハンドアウトや宿題の情報をクラスメイトから入手し、次回の授業には他のクラスメイトと同様に予習、宿題を済ませて臨んでください。欠席は予習・宿題をしていない言い訳にはなりません。

【学生の意見等からの気づき】
ペアワークやグループワークを楽しみ、宿題や豆テスト、プレゼンテーションやエッセイを頑張ってこなすうちに力がついたと感じる方がとても多く嬉しく思います。

【学生が準備すべき機器他】
プレゼンテーションには PowerPoint などのスライドを、エッセイ関係の宿題には Word などのワープロソフトを使う必要があります。重要なお知らせの配信には授業支援システムを使います。

【Outline and objectives】
English 3 II builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA

English ３ Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本文化**

今井　澄子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）２年：中級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English1 および 2 で習得した英語運用能力である読む、書く、聴く、話すの四技能を使い、国際語である英語を通じて日本文化を世界的文脈の中で相対化し、英語資料を理解して批判的に分析したうえで英語による意見の発信ができる能力を養成する。

【到達目標】
・英語資料により世界における日本文化受容について理解を持つ
・日本文化に関する一般的英文を読み、コメントを英語で書く
・日本文化に関するアカデミックな英文を精読し、読解力を上げる
・日本に関する語彙の知識により英語の聴解力を上げる
・大学ﾚﾍﾞﾙのｱｶﾃﾞﾐｯｸ・ｽｷﾙ (Writing, Presentation) を身につける
・Oxford English Dictionary をﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽとして使えるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は４月２２日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	世界の日本文化受容 OED 採録の日本語	授業内容や課題の説明 ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ OED 利用案内
第 2 回	世界の中の日本文化 (Ceremony) Long-Established Business *() 内は Listening 小ﾃｽﾄﾃｰﾏ	(Listening 小テスト１) Unit １ DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 3 回	世界の中の日本文化 (School Life) Uniforms and Identity	(Listening 小テスト２) Unit ２ DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 4 回	世界の中の日本文化 (Transportation) Volunteer Work and Helping Others	(Listening 小テスト３) Unit ３ DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 5 回	世界の中の日本文化 (Outdoor Activities) High-Tech Living [Automobiles]	(Listening 小テスト４) Unit ４ DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 6 回	世界の中の日本文化 (Weather) Japanese Tableware	(Listening 小テスト５) Unit ５ DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 7 回	世界の中の日本文化 (Holiday Plans) Homemakers of Japan	(Listening 小テスト６) Unit ６ DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 8 回	世界の中の日本文化 (Resort Area) Voice Actors	(Listening 小テスト７) Unit ７ DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 9 回	日本社会と文化 (Directions) Approaches to the Japanese History (1)	(Listening 小テスト８) Reading Essay １ R.J.Davis. Japanese Culture の記事
第 10 回	日本文化の背景 (Job Experience) Approaches to the Japanese History (2)	(Listening 小テスト９) Reading Essay ２ R.J.Davis. Japanese Culture の記事
第 11 回	日本文化の背景 (Summer Sale) Lonely Planet	(Listening 小テスト 10) Reading Essay ３ Ch.Rawthorn. Japan: Understand Japan の記事
第 12 回	Writing 試験	Presentation の原稿 Writing
第 13 回	Presentation 試験	OED にある日本語の英語説明
第 14 回	期末試験	Reading および Listening

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
ﾃｷｽﾄの音声は Web ｽﾄﾘｰﾐﾝｸﾞで視聴可能。PartI と II があるが、ﾃｷｽﾄには II のｽｸﾘﾌﾟﾄしかないため I については Dictation 用の冊子を配布する。授業では Dictation と要所の説明を行うが、ｽｸﾘﾌﾟﾄの和訳はしない。より理解するには予め目を通してくるとよい。Reading は速読用の比較的易しいものから Web 上の記事、学術文などさまざまなものを用意する。内容や英文の質の高度なものを扱うときは、自宅での十分な予習が必要。また、Writing や Presentation に用いる Oxford English Dictionary を調べた資料は期日までに必ず準備する。準備できていないと授業中に Writing、Presentation が行えず、試験未受験扱いとなる。Listening 小ﾃｽﾄは準備の必要なし。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Discovering Cool Japan (2019). 成美堂 (PartI の Dictation 用ｽｸﾘﾌﾟﾄはコピー冊子を配布)
Practical Situations for the TOEIC ® Test Listening (2020). 成美堂
Reading 教材はコピーを配布。

【参考書】
Oxford English Dictionary.
R.J. Davies. Japanese Culture:The Religious and Philosophical Foundations. 2016.
https://blogs.wsj.com/japanrealtime/
https://www.japantimes.co.jp/
https://www.bbc.co.uk/
https://edition.cnn.com/

【成績評価の方法と基準】
当面の間、オンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。
具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
昨年度 Reading 教材の英文が難しいとの意見が出た。English1 で比較的容易な英文を読んだクラス出身の学生は英語の学術文献や新聞記事の英文レベルに慣れていないためと考えられる。今年度は比較的平易なものも速読に使用する。このほか、数は減らすが、学術文献や Web、新聞記事など、求められるべきレベルの英文読解も昨年度と同様に行う。

【学生が準備すべき機器他】
授業には辞書を持参し、ｽﾏｰﾄﾌｫﾝ等でｲﾝﾀｰﾈｯﾄ上の辞書を使用することは原則として認めない。

【Outline and objectives】
This class aims to provide students with further opportunities to improve their English proficiency acquired in English 1 and 2 classes. Students will read, write, hear and speak about various topics of Japan, especially Japanese culture in the world in English in order fully to have an academic skill. The spring semester focuses on understanding how Japan and Japanese culture are recognized, accepted, or sometimes criticized in the world. The various reading and listening materials can give students a lot of information, and based on these, they try to write a comment or speak his/her opinion in English. To see the acceptance of Japanese culture, students will look into an entry of Japanese words in Oxford English Dictionary. Analyzing the definition and quotations of these words contributes to students' understanding Japanese culture. Concerning the class procedure, students take a listening test at the beginning, try to read a short English passage and write a comment after watching DVD. They also read an English essay on the background of Japanese culture and characteristics in class. It is essential for students to take three kinds of exams — writing, presentation, and final reading & listening.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本文化**

今井　澄子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English1 および 2 で習得した英語運用能力である読む､書く､聴く、話すの四技能を使い、国際語である英語を通じて日本文化を世界的文脈の中で相対化し、英語資料を理解して批判的に分析したうえで英語による意見の発信ができる能力を養成する。

【到達目標】
・英語資料により世界における日本文化受容について理解を持つ
・日本文化に関する一般的英文を読み、コメントを英語で書く
・日本文化に関するアカデミックな英文を精読し、読解力を上げる
・日本に関する語彙の知識により英語の聴解力を上げる
・大学ﾚﾍﾞﾙのｱｶﾃﾞﾐｯｸ・ｽｷﾙ (Writing, Presentation) を身につける
・Oxford English Dictionary をﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽとして使えるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業始めにﾘｽﾆﾝｸﾞ小ﾃｽﾄ、その後 DVD 視聴または英文読解、学習内容に関するｺﾒﾝﾄを英語で書いて提出、添削して返却する。DVD 視聴のないときは英文読解を行い、音読・日本語訳等が課される。今期は日本文化の世界への発信をﾃｰﾏとするため、興味ある事象を調べ、英語ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝを行う。よって、日本文化の事象に関する書籍等で英文資料の収集、それに基づく Writing、Speaking が課される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	世界の中の日本文化 (Restaurant) Seafood-Japanese Cuisine *() 内は Listening 小テストﾃｰﾏ	(Listening 小テスト１) Unit ８ DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 2 回	世界の中の日本文化 (Arts & Entertainment) Japanized Foreign Dishes	(Listening 小テスト２) Unit ９ DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 3 回	世界の中の日本文化 (Sports Events) Bag-Culture	(Listening 小テスト３) Unit10DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 4 回	世界の中の日本文化 (Having a Party) Senior Citizens [Medical Checkups]	(Listening 小テスト４) Unit11DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 5 回	世界の中の日本文化 (Health) Money	(Listening 小テスト５) Unit12DVD 視聴 Short Reading Comment writing

第 6 回	世界の中の日本文化 (Christmas) Zodiac	(Listening 小テスト６) Unit13DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 7 回	日本人とは何か (Cleanup) What is a Japanese?	(Listening 小テスト７) Reading Essay １ R. Pulvers. Delighting in Cultures の記事
第 8 回	現代日本に残るｻﾑﾗｲﾈｰﾑ (Our Traditions & Customs) Samurai Spirit	(Listening 小テスト８) Reading Essay ２ Wall Street Journal の記事
第 9 回	Inbound Japan (Examinations) A New Era or An Era of Newness? Integrating Immigrants	(Listening 小テスト９) Reading Essay ３ M.Pronko.Inbound/Outbound Japan の記事
第 10 回	Outbound Japan (Housing) The Right Amount of Confidence "Get Out! Why Not Go?"	(Listening 小テスト 10) Reading Essay ４ M.Pronko.Inbound/Outbound Japan の記事
第 11 回	日本語を英語にする方法 引用元表記のしかた	英語における外来語表記 外来語＋言い換え MLA または APA によるﾚﾌｧﾚﾝｽ
第 12 回	Writing 試験	Presentation の原稿 Writing
第 13 回	Presentation 試験	日本文化の事象を英語で説明
第 14 回	期末試験	Reading および Listening

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ﾃｷｽﾄの音声は Web ｽﾄﾘｰﾐﾝｸﾞで視聴可能。PartI と II があるが、ﾃｷｽﾄには II のｽｸﾘﾌﾟﾄしかないため I については Dictation 用の冊子を配布する。授業では Dictation と要所の説明を行うが、ｽｸﾘﾌﾟﾄの和訳はしない。より理解するには予め目を通してくるとよい。Reading は速読用の比較的易しいものから Web 上の記事、学術文などさまざまなものを用意する。内容や英文の質の高度なものを扱うときは、自宅での十分な予習が必要。また、Writing や Presentation に用いる資料は期日までに必ず準備する。準備できていないと授業中に Writing、Presentation が行えず、試験未受験扱いとなる。Listening 小ﾃｽﾄは準備の必要なし。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Discovering Cool Japan (2019). 成美堂 (PartI の Dictation 用ｽｸﾘﾌﾟﾄはコピー冊子を配布)

Practical Situations for the TOEIC ® Test Listening (2020). 成美堂

Reading 教材はコピーを配布。

【参考書】

Oxford English Dictionary.

R.J.Davies & Osamu Ikeno. The Japanese Mind: Understanding Contemporary Japanese Culture. 2002.

https://blogs.wsj.com/japanrealtime/

https://www.japantimes.co.jp/

https://www.bbc.co.uk/

https://edition.cnn.com/

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%、平常点 40%。平常点は授業参加度 10%、ﾘｽﾆﾝｸﾞ小ﾃｽﾄ平均点 10%、Writing・Presentation・Speaking10%、その他授業内での課題 10%が原則。よって、評価点は試験 60 点、平常点 40 点の合計 100 点で、60 %以上の得点で合格。授業初めのﾘｽﾆﾝｸﾞ小ﾃｽﾄ終了後は遅刻と認めず欠席とし、ﾘｽﾆﾝｸﾞ小ﾃｽﾄも 0 点となる。学期末の Presentation、原稿作成 Writing は授業内試験として扱い、単位取得に必須。このほか授業中の課題を遂行しない、あらかじめ割り当てられた担当課題があるのに無断欠席などは評価点がﾏｲﾅｽされる。授業では全員が担当をこなすため出席状況の良いことが必須で、欠席 4 回以上の者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度 Reading 教材の英文が難しいとの意見が出た。English1 で比較的容易な英文を読んだクラス出身の学生は英語の学術文献や新聞記事の英文レベルに慣れていないためと考えられる。今年度は比較的平易なものも速読に使用する。このほか、数は減らすが、学術文献や Web、新聞記事など、求められるべきレベルの英文読解も昨年度と同様に行う。

【学生が準備すべき機器他】

授業には辞書を持参し、ｽﾏｰﾄﾌｫﾝ等でｲﾝﾀｰﾈｯﾄ上の辞書を使用することは原則として認めない。

【Outline and objectives】

This class aims to provide students with further opportunities to improve their English proficiency acquired in English 1 and 2 classes. Students will read, write, hear and speak about various topics of Japan, especially Japanese culture in the world in English in order fully to have an academic skill. The autumn semester focuses on explaining Japanese culture in English to the world. The various reading and listening materials can give students a lot of information, and based on these, they try to write a comment or speak his/her opinion in English. To train an ability to explain Japanese culture in English, students will give a presentation of a topic of Japanese culture which interests them. Concerning the class procedure, students take a listening test at the beginning, try to read a short English passage and write a comment after watching DVD. They also read an English essay on Inbound/Outbound Japan in class. It is essential for students to take three kinds of exams — writing, presentation, and final reading & listening.

LANe200LA

English３Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**近代日本と世界**

佐々木　一惠

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水 4**/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、一年次に English1 ならびに Enlgish2 で培った力をベースに、日本の歴史（近代）に関する英語の文献・画像・視聴覚資料を用いて、英語の四技能（読む・聴く・話す・書く）をさらに高めていくことを目指します。

【到達目標】
●英語を用いて日本の歴史 (近代）に関する情報の受発信ができるようになること。
●大学レベルの英語のアカデミック・スキル（プレゼンテーション、スピーチ、ライティング）を身につけること。
●大学での学びに必要な英語の語彙力とその運用力を身につけること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
今学期は 4 月 22 日（水）の週から授業を Hoppii(https://hoppii.hosei.ac.jp) で行っていきます。授業の方法とスケジュール、成績評価について、以下の通り変更となります。
毎週水曜日に、「教材」に今週の課題で使用する教材をアップロードします。こちらをダウンロードして学習してください。また、「テスト」や「課題」にアップロードされているテストや課題を行い、提出するようにしてください。毎週水曜日、みなさんにやってもらいたいことについては、「お知らせ」でお伝えします。
●毎週水曜日に「教材」にアップロードされるもの：
単語（25 語）リスト、リーディング教材など
●毎週水曜日に「テスト」にアップロードされるもの：
単語テスト（25 語）、リスニング音声＋リスニングテスト（穴埋め問題)、リーディング小テストなど　→ その週の土曜日が提出期限となります。＊ただし、4 月 22 日（水）にアップロードされたテストの締め切りは 5 月 9 日（土）となります。
【成績評価】
単語テスト（含む期末単語テスト）30 ％リースニング・テスト　20 ％
リーディング小テスト 30 ％ライティング課題　15 ％
スピーチ課題　5 ％
変更後のスケジュールについては Hoppii の「お知らせ」をみてください。
●語彙とリスニングのエクササイズ
●リーディング課題の内容理解
●文字・映像資料に関するグループ・ワーク
●パラグラフ・ライティングとスピーチの演習

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の内容や課題についての説明
2	ペリー来航	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング： A Journal of The Perry Expedition to Japan
3	明治維新	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング： A letter of resignation of the last Shogun, 1867
4	西郷隆盛と征韓論	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング： A letter from Saigo Takamori to Itagaki Taisuke on the Korean question, July 29, 1873
5	文明開化とジェンダー	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング： Distinguish the equal rights of husband and wives
6	明治期の改革１	●語彙・リスニングのエクササイズ ●ドキュメンタリー：Japan-Meiji Reforms（前半）とグループディスカッション
7	明治期の改革２	●語彙・リスニングのエクササイズ ●ドキュメンタリー：Japan-Meiji Reforms（後半）とグループディスカッション
8	近代国家と教育 1	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング： Military-style physical training
9	近代国家と教育２	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング： The imperial rescript of education, the opening, 1890
10	日清戦争	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング： Jishu teki gaiko no igi
11	岡倉天心	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング： The Book of Tea
12	明治期の日本について書く	●語彙・リスニングのエクササイズ ●パラグラフ・ライティング演習
13	明治期の日本について話す	●語彙・リスニングのエクササイズ ●スピーチ演習
14	期末試験	学期のまとめと試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等)】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
●語彙エクササイズ、リーディング課題の予習・復習
●ライティング、スピーチ課題の準備

【テキスト（教科書)】
プリントを配布します。

【参考書】
授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】
単語テスト（含む期末単語テスト）30 ％
リースニング・テスト　20 ％
リーディング小テスト 30 ％
ライティング課題　15 ％
スピーチ課題　5 ％

【学生の意見等からの気づき】
ビデオ教材をもう少しわかりやすいものに変える。

【学生が準備すべき機器他】
辞書を必ず授業に持ってくるようにしてください。

【その他の重要事項】
欠席が 4 回以上になった場合、原則として単位取得の資格を失います。

【Outline and objectives】
The course is designed for second-year students to further develop the ability to read, listen, speak, and write in English, by utilizing written documents (both primary and secondary) and audiovisual materials on modern Japanese history.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**現代日本社会と世界**

佐々木　一惠

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、一年次に English1 ならびに Enlgish2 で培った力をベースに、日本の社会や文化に関する英語の文献・画像・視聴覚資料を用いて、英語の四技能（読む・聴く・話す・書く）をさらに高めていくことを目指します。

【到達目標】
●英語を用いて日本の社会や文化に関する情報の受発信ができるようになること。
●大学レベルの英語のアカデミック・スキル（プレゼンテーション、スピーチ、ライティング）を身につけること。
●大学での学びに必要な英語の語彙力とその運用力を身につけること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
●語彙とリスニングのエクササイズ
●リーディング課題の内容理解
●文字・映像資料に関するグループ・ワーク
●パラグラフ・ライティングとスピーチの演習

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の内容や課題に関する説明
2	ポップ・カルチャー	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング： Character Cafes
3	刺青／タトゥー	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング： The Tattoo Taboo
4	外国人観光客	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング： 7,800 Yen a Day
5	プレゼンテーション演習 1	●語彙・リスニングのエクササイズ ●東京 1 日観光プラン (準備)
6	プレゼンテーション演習 2	●語彙・リスニングのエクササイズ ●東京 1 日観光プラン（発表）
7	人種観 1	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング： Face Value
8	人種観 2	●語彙・リスニングのエクササイズ ●ドキュメンタリー： Black in Japan とグループ・ディスカッション

9	ペット・ブームの陰	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング： Stray Observations on Booming Pet Culture
10	少子化問題	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング： Time for Mass Immigration
11	現金好きは変わる？	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング： Should Cash be King?
12	現代の日本社会について書く	●語彙・リスニングのエクササイズ ●パラグラフ・ライティング演習
13	現代の日本社会について話す	●語彙・リスニングのエクササイズ ●スピーチ演習
14	期末試験	学期のまとめと試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
●語彙エクササイズ、リーディング課題の予習・復習
●ライティング、スピーチ課題の準備

【テキスト（教科書）】
プリントを配布します。

【参考書】
授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】
語彙エクササイズ　30%
リーディング小テスト　30%
プレゼンテーション　20%
ライティング演習　10%
リスニング期末試験　10%

【学生の意見等からの気づき】
ビデオ教材をもう少しわかりやすいものに変えたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
辞書を必ず授業に持ってくるようにしてください。

【その他の重要事項】
欠席が 4 回以上になった場合、原則として単位取得の資格を失います。

【Outline and objectives】
The course is designed for second-year students to further develop the ability to read, listen, speak, and write in English, by utilizing written documents (both primary and secondary) and audiovisual materials on modern Japanese society and culture.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Aspects of the English Speaking World

トビー　トラブ

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Learning English for communicating in a global society.

【到達目標】
This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students will participate in a variety of activities that involve all four skills of reading, writing, listening and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion by briefly writing their opinions, and then participate in discussions, usually in pairs. Reading comprehension will be checked, and new vocabulary will be reviewed after matching activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines. handout discussion activities
2	Unit 1: Getting to Know Each Other Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..
3	Unit 1 Environmental Issues Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.

4	The Way we Live Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
5	Unit 2 Technology: Friend or Foe Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
6	Unit 2 Political Refugees Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
7	Protests and dissent Research report/ mini- Presentations Connecting the dots Love and Loss Death	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
8	Music and Art Unit 3: Global thinking Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
9	Unit 3: Seize the day Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
10	Unit 3: Swim against the stream. Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
11	Unit 4: What will your verse be? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
12	The road less traveled. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment. Tips for the Quiz
13	Meritocracy and Theocracy Quiz Song lesson	Quiz Song lesson
14	Wrap-up	Go over quiz Speaking activity

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete a writing assignment every week in preparation for discussion. This writing assignment will usually require research. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course

【テキスト（教科書）】

There is no textbook. Handouts will be given in class.

【参考書】

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.
https://japantoday.com/
https://www.japantimes.co.jp/news/
https://www.yahoo.com/news/
http://www.bbc.com/news
https://news.google.com/news/

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 40%
Quizzes, writing assignments, presentations:60%
Departmental guidelines state that more than three absences will result in automatic failure of the course.
Obviously, when you are absent, it will hurt your class participation grade.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】
Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK). Translation software is strictly forbidden. You may use your phone in class ONLY for a dictionary app. Or, on a rare occasion, they could be used for purposes related to the class. I recommend using a dedicated electronic dictionary.

【その他の重要事項】
This is a challenging course, but you will learn a lot, and improve your English a lot. Because the course is challenging, you will have a proud sense of accomplishment when you have finished the course.
This syllabus is subject to revision, and likely will change based on the students' needs, and topics will be based on relevant social issues of the moment.

【Outline and objectives】
This is a content based course with the objective of helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of the world with an emphasis on American social, political, and popular culture.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Aspects of the English Speaking World

トビー　トラブ

開講時期：秋学期授業/Fall ｜ 曜日・時限：金 3/Fri.3
単位数：1 単位
文（哲日英）2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Learning English for communicating in a global society.

【到達目標】
This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students will participate in a variety of activities that involve all four skills of reading, writing, listening and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion by briefly writing their opinions, and then participate in discussions, usually in pairs. Reading comprehension will be checked, and new vocabulary will be reviewed after matching activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Welcome back	What I did over summer break. Recent happenings in the news. Research and writing assignment.
2	Homelessness Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..
3	Art and War Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.

4	Human Compassion Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
5	Is telling lies bad? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
6	Immigration good, or bad? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
7	How neighborhoods happen. Introduce big presentation. Create teams. Go over expectations.	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
8	Rules versus freedom Presentation topics due. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
9	Japan surveillance state. Outline of presentations due. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
10	Fabulous Japan Draft of words of presentations due. Current events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
11	Christmas and holidays. 5 Powerpoints due Christmas/holiday comprehension skill building activity.Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
12	Presentation Day.	Tips for the Quiz
13	Song lesson My Winter break Pandemics	Song lesson Discussion activity. No homework except to study for big quiz.
14	Big quiz	Quiz Games Puzzle

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are given a writing assignment almost every week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course

【テキスト（教科書）】

There is no textbook. Handouts will be given in class.

【参考書】

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.
https://japantoday.com/
https://www.japantimes.co.jp/news/
https://www.yahoo.com/news/
http://www.bbc.com/news
https://news.google.com/news/

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 40%
Quizzes, writing assignments, presentations:60%
Departmental guidelines state that more than three absences will result in automatic failure of the course.
Obviously, when you are absent, it will hurt your class participation grade.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】

Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK). Translation software is strictly forbidden. You may use your phone in class ONLY for a dictionary app. Or, on a rare occasion, they could be used for purposes related to the class. I recommend using a dedicated electronic dictionary.

【その他の重要事項】

This is a challenging course, but you will learn a lot, and improve your English a lot. Because the course is challenging, you will have a proud sense of accomplishment when you have finished the course.

【Outline and objectives】
This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**英語圏の映画**

川野　芽生

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
現代社会の諸問題を扱った映画を鑑賞することを通して、英語圏の社会と文化について学ぶ。英語を使って社会問題と文化・芸術に触れ、教養と思考力を養う。社会の多様性を理解し、自分の意見を持つことができるようになる。英語で自分の考えを表現することができるようになる。英語の四技能を伸ばし、英語で情報を取り入れるとともにみずから発信できるようになる。

【到達目標】
・複数のパラグラフからなる文章を正確に読み取ることができるようになる。
・英文を聞き取り、意味を掴むことができるようになる。
・語彙力を高める。
・芸術・文化や社会問題に対する理解を深める。
・英語で自分の考えを表現することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。
本授業の開始日は 5 月 1 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。
1 回の授業につき 1unit を扱う。映画に関する説明文を読み、課題を解いて提出する。
最終的に、授業で扱った映画のうち好きなものを選び、英語でエッセイを書いて提出する（2 回程度を予定）。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Unit 1	『スリー・ビルボード』
2	Unit 2	『ムーンライト』
3	Unit 3	『ドリーム』
4	Unit 4	『それでも夜は明ける』
5	Unit 5	『ブルックリン』
6	Unit 6	『グラン・トリノ』
7	Unit 7	『扉をたたく人』
8	Unit 8	『マダム・イン・ニューヨーク』
9	Unit 9	『ロスト・イン・トランスレーション』
10	Unit 10	『わたしは、ダニエル・ブレイク』
11	Unit 11	『博士と彼女のセオリー』
12	Unit 12	『ダラス・バイヤーズ・クラブ』
13	Unit 13	『アメリカン・スナイパー』
14	Unit 14	『ホテル・ルワンダ』

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。事前に Reading の文章を読み、訳してくること。

【テキスト（教科書）】
Joseph Tabolt, 森永弘司/Our Society, Our Diversity, Our Movies（映画に観る多文化社会のかたち）金星堂、2020 年、1900 円

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。
今学期出す 14 回分の課題のうち、4 回分を提出しなかった場合は、原則として単位修得の資格を失う。
成績評価は毎回の課題とエッセイによって行う。

【学生の意見等からの気づき】
本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【Outline and objectives】
In this course students will learn about cultures and societies in English-speaking countries through watching movies dealing with various social problems.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Aspects of English: Health

鈴木　眞奈美

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、英語圏のニュースや新聞記事などを通じて健康について学びます。英語の 4 技能を統合的に学習することを目標とします。指導言語は日本語ですが、英語を使用するたくさんの機会があります。徐々に英語を使用する時間を増やし、今学期末には、すべて英語でコミュニケーションできるようになることを目指します。

【到達目標】
This course aims at four goals: 1) To learn health in the English speaking countries' context; and 2) To improve your English proficiency holistically; 3) To get accustomed to communicating in English gradually; and 4) To have opportunities to think of your life and express ideas in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
1) You will read articles about the theme of this course in English speaking countries' media.
2) You will take a quiz of vocabulary and English summary writing of your reading assignment every week.
3) You will watch the news about the theme of this course.
4) You will discuss the topic of each class with your classmates.
5) You will write a summary of the articles and your reactions to them.
6) You will research one topic of this course and make a presentation with your group members.
7) You need to bring an English-English dictionary.
8) You will do a lot of pair work and group work.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Review of what you learned and Reflection on your study in the spring semester Introduction Writing: Goal Setting and Self-Introduction	You will review and reflect on your study in the spring semester. I will introduce this course. You will set your goals for this semester and this course. You will also write about your self-introduction.
2	Speaking: Self-Introduction Reading Strategies Reading and Discussion: Exercise for Health	You will introduce yourself to your classmates. You will learn about the organization of English writing and topic sentences. You will read about exercises good for our health. You will also speak about what you do for your health.

3	Review of Reading Strategies Reading and Speaking: Benefits of Friendship Listening and Speaking: How to make our life happy, healthy, and long	You will review effective reading strategies. We will read about benefits of friendship and why friendship is good for us and discuss your opinions about this article. You will listen to the passage about how to make our life happy and healthy and discuss about it, while reviewing topic sentences.
4	Reading: Music and Health I	You will read about music and health.
5	Discussion: Music and Health II	You will discuss the article about music and health. You will also discuss your favorite music and music in your life.
6	Reading and Discussion: Education and Health	We will read a passage about the relationship between education and health and discuss the passage. You will also discuss your purposes for your study at university.
7	Reading and Speaking: Mind and Health Listening and Speaking: Obesity	You will read about how to discipline our mind and discuss the passage. You will watch the news about obesity and discuss your diet.
8	Reading and Discussion: Superfood	We will learn the effect of superfood on our health and several kinds of superfood. You will express your opinions about superfood.
9	Reading and Discussion: Tea and Health	You will read about how tea influences our body and discuss the passage. You will also discuss your favorite drink.
10	Preparation for a Presentation	You will decide the topic of your presentation and prepare for the presentation with your group members.
11	Presentation	You will make a group presentation.
12	Presentation	You will make a group presentation.
13	Review and Discussion	You will review what you have learned in this class and think of the way to keep yourself in good health, based on your study. You will discuss it in class.
14	Writing: Self-Reflection	You will reflect on your academic performance and set your goals for the next semester.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
1) to read assigned reading before the class.
2) to look up words you don't know in the dictionary when you read reading assignments before the class.
3) to prepare for weekly quizzes
4) to watch the English news or program(s) regularly
5) to read English journals or magazines regularly
6) to do assignments, submit them, and meet the deadline
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Handouts

【参考書】
Longman Dictionary of Contemporary English

【成績評価の方法と基準】
class participation (20%), assignments (10%), presentation (30%), and final examinations (40%)
*If you have four absences per semester without permission, do not make a presentation, or do not take a final examination, you cannot receive a credit for this course.

【学生の意見等からの気づき】
This is the second time for me to teach this course. I will welcome your feedback on my class.

【学生が準備すべき機器他】
Hosei's Educational Online Learning System, E-mail, and Computer (Word and Power Point)

【その他の重要事項】
You are expected to participate in this class actively. Good manners and collaborative learning are important in this class. You need to contact me when you are absent from class.

【Outline and objectives】
This course theme is health. We are learning the theme in the English speaking countries' context. You will also learn English holistically in this course. The class instruction language is Japanese. However, you will have a lot of opportunities to use English in this class and I hope that we will communicate in English at the end of the semester.

LANe200LA

English３Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本　日本の若者文化と社会**

猪俣　佳瑞美

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English1,2 での学びを踏まえ、４技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。

【到達目標】
講義の到達目標は、以下である。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 24 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明自己紹介など
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。
3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。
4	Unit 3　Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。
5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。
6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの 24 時間営業について考える。各学生が 24 時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。
7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019 年５月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。
8	Unit 7　Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。
9	Unit 8　Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。
10	Unit 9　Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10 万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。
11	Unit 10　Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どこの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。
12	プレゼンテーション準備と確認	13、14 回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。
13	プレゼンテーション１	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する１回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。

14	プレゼンテーション２ 小テストとまとめ	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する２回目。 春学期に扱った語彙を中心とする小テストも実施。学びを総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。
準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。
準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】
英語で考え、英語で発信する 2　　Two Sides to Every Discussion 2
Jonathan Lynch / 委文　光太郎 著
成美堂 2020 年　1,900 円（税込 2,090 円）

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も 変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。
今学期出す課題 14 回のうち、4 回分を提出しなかった場合は、原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【学生が準備すべき機器他】
電子辞書を必ず持参すること

【Outline and objectives】
This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本　日本の若者文化と社会**

猪俣　佳瑞美

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English1,2 での学びを踏まえ、4 技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。

【到達目標】
講義の到達目標は、以下である。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各 Unit を 1 回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	秋学期スタートにあたって	夏休みにあったことを英語で話す 秋学期の講義進め方確認 次講義の事前学習範囲の確認
2	Unit 11　More Foreign Visitors	インバウンドについて考える。日本を訪れる外国人観光客に関する英文を読んだ上で、東京オリンピックも踏まえ、各学生が感じていることを英語でまとめ、意見交換する。
3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。

4	Unit 13 April Fools'Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。
5	Unit 14 Summer-Vacation Assignments	「夏休みの宿題」について考える。日本の小中学校における夏休みの宿題に関する英文を読んだ上で、各自が自身の体験を踏まえ、その功罪を客観的に分析し、英語での意見交換を行う。
6	Unit 15 Halloween Is Best!	日本で楽しまれている「外国のお祭り」について考える。特に昨今、広く浸透し、時に問題点も指摘されているハロウィーンを取り上げ、各自の意見を理論的にまとめ、意見交換を行う。
7	Unit 16 Valentine's Day in Japan	「日本のバレンタインデー」について考える。海外との習慣の違いなどを踏まえた英文を読んだ上で、日本独自に発展したバレンタインデーを英語で説明できるよう練習を行う。最後には、各自のバレンタインデーに対する見解を英語で述べ合う。
8	Unit 17 Smartphone Lock Screens	「スマートフォンのロック」及び「ロック解除方法」について考える。日常で行っている行為を英語で表現するために必要な語彙を増やし、個人情報を守るために必要だと考えていることを英語で伝える練習を行う。
9	Unit 18 YouTube vs. Normal TV	「テレビ番組」と「YouTube」について考える。２つのメディアを比較した英文を読んだ上で、各自がそれぞれのメディアに対して感じていることを述べ合い、それぞれのメディアをどのように利用しているのか情報交換を行う。
10	Unit 19 Internet vs. Bricks-and-Mortar	「買い物」について考える。特にオンラインショップと実店舗を比較した英文を読んだ上で、各自が買い物をするときに重視していることや注意していることなど、身近な内容をわかりやすく英語で説明する練習を行う。
11	Unit 20 Translation Software	「翻訳ソフト」について考える。英語の宿題に翻訳ソフトを使用するべきか否かを取り上げた英文を読んだ上で、各自が立場を明らかにした上で、賛成または反対の意見を客観的に述べ、議論を行う。
12	プレゼンテーション１	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する１回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
13	プレゼンテーション２	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する２回目。
14	小テストとまとめ	秋学期に扱った語彙などを中心とする小テストを実施。学びを総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。
準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。
準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】
英語で考え、英語で発信する 2　　Two Sides to Every Discussion 2
Jonathan Lynch / 委文　光太郎 著
成美堂 2020 年　1,900 円（税込 2,090 円）

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
平常点 40 %　発表 40 %　小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【学生が準備すべき機器他】
電子辞書を必ず持参すること

【Outline and objectives】
This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay.

LANe200LA

English ３ Ｉ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**現代の諸相**

宮本　三恵子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）２年：初級／日本語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English1 と２で学んだ「読む、書く、聴く、話す」という英語の４技能をさらに身に着けることを目的の一つとします。その際、あるテーマに焦点を当てて進めていきます。現在、世界中で様々な争いが絶えません。それらを「現代の諸相」ととらえて、理由や解決方法を考えていくことをテーマとします。そのための材料として英字新聞、映画、音楽が役立つでしょう。

【到達目標】
英字新聞では英語の文章を構文・語彙を理解して正確に読解できるようにしましょう。映画では英会話のせりふが聞き取れるように努力し, 自分で使えるようにもしましょう。英語の歌でもリスニングの努力をして意味をつかめるようにしましょう。脚韻が把握できるようになりましょう。主にメッセージソングやプロテストソングを使って反戦をどのように訴えているか学びます。自分の考えを英語で表現したり、書いたりもできるようにしましょう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
英字新聞ではヘッドラインを読み取ることから始めて徐々に本文の文章にも触れていきます。そのために必要な文法的特徴も学んでいきます。映画ではビデオを観て聞き取りの練習などします。自分で観てきた映画についての報告などもします。その中で覚えた英語の会話を実際に使ってみます。音楽でもビデオをみて聞き取りの練習をします。脚韻についても学びます。テーマについて自分の意見を英語で書いてみます。これらに関連して毎回問題を出すので、解答を提出してもらいます。
なお、春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それに伴う各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。この授業の開始日は５月６日とし、この日までに具体的な授業の方法などを、学習支援システムで提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回 5 月 6 日	ガイダンス及びインターネット環境の調査	授業のテーマと授業の進め方を説明します。パソコンやスマートフォンは持ってますか？ プリンターは？
第 2 回	英字新聞について学ぶ。	英字新聞の種類や特徴を学びます。問題を出してやってもらいます。
第 3 回	映画を観る。	映画についての情報を調べてもらいます。あるシーンの聞き取りをして提出してもらいます。
第 4 回	音楽を聴く。	歌詞を検索して書きます。単語調べなどもします。ビデオを使って聞き取り練習などします。学んだことを提出してもらいます。
第 5 回	英字新聞を読む。	ｈｅａｄｌｉｎｅの特徴を学びます。学んだことを提出してもらいます。
第 6 回	映画を観る。	映画についての情報を報告します。別のシーンから聞き取りの報告をします。
第 7 回	音楽を聴く。	歌詞を検索して書きます。脚韻について学び、提出します。
第 8 回	英字新聞を読む。	２種類以上の新聞でｈｅａｄｌｉｎｅｓを比較してみます。その過程を書いて提出します。
第 9 回	映画を観る。	映画のテーマについて考える。それを英語でかいてみる。別のシーンの聞き取りをする。これらについて提出。
第 10 回	音楽を聴く。	歌詞からメッセージを読み取る。それを英語で書いてみて提出。
第 11 回	レポートについて：headline のレポートと映画についてのレポート。	レポートについて説明します。読み書き、聞き取りは通常通りで提出。
第 12 回	レポート評。	やってきたレポート（未完でも可）を交換してチェックし合います。その評を提出。
第 13 回	レポート評。	より良くしてきたレポートを前回と別の学生と交換してチェックしあう。その評を提出。
第 14 回	レポート提出。	完成したレポート 2 つを提出 (必ずＢ５用紙で)。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
指定した映画はあらかじめ観ておいてください。テーマにふさわしい本を図書館で自分で調べてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4
hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
主にプリント使用。プリントは毎授業すべて持参すること。英字新聞を各自持ってきてもらいます。
英和・和英・国語辞書を持参のこと（電子辞書が便利）。携帯電話の辞書使用は認めません。

【参考書】
各自が参考文献にする本を読んで報告してください。あるいはネットで参考になるホームページなどチェックしておいてください。

【成績評価の方法と基準】
平常点５０％、レポート５０％で６０％以上で合格です。
平常点の内容は、授業中の集中度、毎回の小テスト・提出物（レポート評も含め) をみます。
全出席が単位の条件です。やむをえず欠席したら、必ず理由を報告してください。理由があれば３回まで欠席を認めます。報告書は家でＰＣで作成のこと。できるだけ具体的に詳しく丁寧に書くこと。２回続けての欠席は認めません。３年生の就職活動の欠席も認めません。

【学生の意見等からの気づき】
この科目は今年度から担当するので、特にありません。

【学生が準備すべき機器他】
スマートフォンで調べものをしたり、歌詞を検索したりしてもらいます。授業に関係ないことでの使用は禁止です。英字新聞も持参する。

【その他の重要事項】
提出物はすべてＢ５用紙使用です。レポート提出日は第１４回より早い場合もあります。

【Outline and objectives】
The aim of English ３ is to further develop students' English proficiency which they
acquired in English １ (reading and listening) and English ２ (speaking and writing).

To do so, thinking "Current Affairs," the students in this class should read English
newspapers, watch the movies, and listen to the music.

LANe200LA

English ３Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**現代の諸相**

宮本　三恵子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）２年：初級／日本語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 1 と２で学んだ「読む、書く、聴く、話す」という英語の４技能をさらに身に付けることを目的の一つとします。その際、あるテーマに焦点を当てて進めていきます。現在、世界中で様々な争いが絶えません。それらを「現代の諸相」ととらえて理由や解決方法を考えていくことをテーマとします。そのための材料として、英字新聞、映画、音楽などが役立つでしょう。

【到達目標】
英字新聞では英語の文章を構文や語彙を理解して正確に読解できるようにしましょう。映画では英会話のせりふが聞き取れるように努力し、自分で使えるようにもしましょう。英語の歌でもリスニングの努力をして意味をつかめるようにしましょう。脚韻が把握できるようになりましょう。主にメッセージソングやプロテストソングを使って反戦をどのように訴えているか学びます。自分の考えを英語で表現したり書いたりできるようにしましょう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
英字新聞ではヘッドラインを読み取ることから始めて、徐々に本文の文章にも触れていきます。そのために必要な文法的特徴も学んでいきます。映画ではビデオを観て聞き取りの練習などします。自分で観てきた映画についての報告などもします。その中で覚えた英語の会話を実際に使ってみます。音楽でもビデオを観て聞き取りの練習をします。脚韻についても学びます。テーマについて自分の意見を英語で書いてみます。これらに関連して毎回問題を出すので、解答を提出してもらいます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業のテーマと授業の進め方を説明します。
第 2 回	英字新聞について学ぶ。	英字新聞の種類や特徴を学びます。問題を出すので提出してもらいます。
第 3 回	映画を観る。	映画についての情報を調べます。あるシーンの聞き取りをして提出してもらいます。
第 4 回	音楽を聴く。	歌詞を検索して書きます。単語なども調べます。ビデオを使って聞き取りの練習をしたり英語の勉強をします。学んだことを提出してもらいます。
第 5 回	英字新聞を読む。	ｈｅａｄｌｉｎｅの特徴を学びます。学んだことを提出します。
第 6 回	映画を観る。	映画についての情報を報告します。別のシーンの聞き取りをして提出してもらいます。
第 7 回	音楽を聴く。	歌詞を検索して書きます。脚韻について学び、提出します。

第 8 回	英字新聞を読む。	２種類以上の新聞でｈｅａｄｌｉｎｅｓを比較してみて書いて提出します。
第 9 回	映画を観る。	映画のテーマについて考える。それを英語で書いてみる。別のシーンの聞き取りをして書いて提出。
第 10 回	音楽を聴く。	歌詞からメッセージを読み取り、英語で書いてみて提出。
第 11 回	レポートについて；headline のレポートと映画についてのレポート。	レポートについて説明します。読み書きや聞き取りは通常通りで、提出。
第 12 回	レポート評。	やってきたレポート（未完でも可）を交換してチェックし合います。その評を提出。
第 13 回	レポート評。	より良くしてきたレポートを前回と別の学生と交換してチェックしあう。その評を提出。
第 14 回	レポート提出。	完成したレポート２つを提出 (必ずＢ５用紙で)。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等)】
指定した映画はあらかじめ観ておいてください。テーマにふさわしい本を図書館で調べておいてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4
hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書)】
主にプリント使用。プリントは毎授業すべて持参すること。英字新聞を各自持ってきてもらいます。
英和・和英・国語辞書を持参のこと（電子辞書が便利)。携帯電話の辞書使用は認めません。

【参考書】
各自が参考文献にする本を読んで報告してください。あるいはネットで参考になるホームページなどチェックしておいてください。

【成績評価の方法と基準】
平常点５０％、レポート５０％で６０％以上で合格です。平常点の内容は、授業への集中度（授業中かけるビデオは必ず観ていること)、毎回の小テスト・提出物（レポート評も含め）をみます。全出席が単位の条件です。やむをえず欠席したら、必ず理由を報告してください。理由があれば３回までの欠席は認めます。報告書は家でＰＣで作成し、具体的にできるだけ詳しく丁寧に書くこと。２回続けての欠席は認めません。３年生の就職活動の欠席も認めません。

【学生の意見等からの気づき】
この科目は今年度から担当するので、特にありません。

【学生が準備すべき機器他】
スマートフォンで調べものをしたり、歌詞を検索したりしてもらいます。授業に関係ないことでの使用は禁止です。

【その他の重要事項】
提出物はすべてＢ５用紙使用です。レポート提出日は第１４回より早くなる場合もあります。

【Outline and objectives】
The aim of English ３ is to further develop students' English proficiency which they
acquired in English １ (reading and listening) and English 2(speaking and writing).
To do so, thinking "Current Affairs,"the students in this class should read English
Newspapers,watch movies and listning to music.

LANe200LA

English ３ I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカの文化と社会**

萩原　眞一

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水 4**/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：初級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか)】
大学生として必要とされる標準的な英語力を堅固なものにしながら、さらに向上させることを目標とします。
授業は 4 技能（リーディング、ライティング、リスニング、およびグラマー）の学習を中心に行います。春学期と秋学期のリーディングとリスニングの教科書としては、3 分程度の CNN（一般放送よりも英語が易しく簡潔）が 15 本精選され、それぞれに Comprehension Questions や Summary などの設問が付けられた形式のものを使用します。毎回授業中に DVD を視聴してもらい、親しみやすい英文に数多く触れてもらうことによって、リーディングとリスニングの能力の向上を図ります。
また、春学期・秋学期を通じて、グラマーとライティングの能力の向上も目指します。ライティングについては、人文科学系の論文を書く上で役立つ表現法の習得を目指します。

【到達目標】
学生が教科書の英文記事および付属問題を容易に聴解できること。学生が教科書の英文記事を、パラグラフと文の構造に留意しながら、正確に読解できること。最終的には学生が 100 点満点に換算した成績評価の基準点においてほぼ 60 点以上を獲得できること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それに伴う各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日は「4 月 22 日」を予定とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Unit 1 "Longest Model Train"［世界最大級の鉄道模型ジオラマ］①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 2 回	Unit 1 "Longest Model Train"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。英語で書く練習も行います。
第 3 回	Unit 2 "No Phones in French Schools"［フランスの学校はスマートフォン持ち込み禁止？］①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 4 回	Unit 2 "No Phones in French Schools"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。英語で書く練習も行います。

第 5 回	Unit 3 "Food on Instagram"[「インスタ映え」の影響力] ①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 6 回	Unit 3 "Food on Instagram"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。英語で書く練習も行います。
第 7 回	中間的な総括・試験	主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。
第 8 回	Unit 4 "Knocker-Uppers" [早起きするにはどうしたらよい？] ①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 9 回	Unit 4 "Knocker-Uppers"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。英語で書く練習も行います。
第 10 回	Unit 5 "New TVs" [未来型テレビ] ①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 11 回	Unit 5 "New TVs"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。英語で書く練習も行います。
第 12 回	Unit 6 "Teaching English as a Second Language"[アメリカで英語を第二外国語として教える] ①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 13 回	Unit 6 "Teaching English as a Second Language"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。英語で書く練習も行います。
第 14 回	全体的な総括・試験	主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
次回に行われる授業範囲を予習してください。適宜、宿題を出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
関戸冬彦他著『CNN 10 Student News Vol.8』（朝日出版社、2020 年）1800 円（税別）

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことに伴い、成績評価の方法と基準も変更します。具体的な方法と基準は、適宜、学習支援システムで提示します。
出席ガイドラインについては、今学期出す 14 回分の課題のうち、4 回分を提出しなかった場合、原則として単位修得の資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】
直近の授業アンケートを踏まえながら、分かりやすい授業を行なうよう心がけます。

【Outline and objectives】
The purpose of this course is to encourage participants to develop their reading and listening abilities by use of CNN News. Participants can live the stories and see America and the world widely and deeply, and learn about the historical, social, and cultural backgrounds of the videos.

This course also aims to improve participants's grammatical ability and their academic writing skill they will be asked to gain as undergraduates.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカの文化と社会**

萩原　眞一

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：初級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
大学生として必要とされる標準的な英語力を堅固なものにしながら、さらに向上させることを目標とします。
授業は 4 技能（リーディング、ライティング、リスニング、およびグラマー）の学習を中心に行います。春学期と秋学期のリーディングとリスニングの教科書としては、3 分程度の CNN（一般放送よりも英語が易しく簡潔）が 15 本精選され、それぞれに Comprehension Questions や Summary などの設問が付けられた形式のものを使用します。毎回授業中に DVD を視聴してもらい、親しみやすい英文に数多く触れてもらうことによって、リーディングとリスニングの能力の向上を図ります。
また、春学期・秋学期を通じて、グラマーとライティングの能力の向上も目指します。ライティングについては、人文科学系の論文を書く上で役立つ表現法の習得を目指します。

【到達目標】
学生が教科書の英文記事および付属問題を容易に聴解できること。学生が教科書の英文記事を、パラグラフと文の構造に留意しながら、正確に読解できること。最終的には学生が 100 点満点に換算した成績評価の基準点においてほぼ 60 点以上を獲得できること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
毎授業、講義と演習を繰り返します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Unit 7 "Burgers and Antibiotics"［ハンバーガーと抗生物質］①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 2 回	Unit 7 "Burgers and Antibiotics"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。英語で書く練習も行います。
第 3 回	Unit 8 "Workers in South Korea"［韓国の労働状況］①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 4 回	Unit 8 "Workers in South Korea"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。英語で書く練習も行います。
第 5 回	Unit 9 "Smart Park in Dubai"［技術を駆使したドバイの最新型公園］①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 6 回	Unit 9 "Smart Park in Dubai"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。英語で書く練習も行います。
第 7 回	中間的な総括・試験	主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。
第 8 回	Unit 10 "Smart Park in Dubai"［技術を駆使したドバイの最新型公園］①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 9 回	Unit 10 "Smart Park in Dubai"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。英語で書く練習も行います。
第 10 回	Unit 11 "A New Way of Farming"［中東の農業スタイル］①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 11 回	Unit 11 "A New Way of Farming"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。英語で書く練習も行います。
第 12 回	Unit 12 "Student Profile"［文武両道の学生生活］①	DVD を活用して News Story の聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第 13 回	Unit 12 "Student Profile"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。英語で書く練習も行います。
第 14 回	全体的な総括・試験	主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
次回に行われる授業範囲を予習してください。適宜、宿題を出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
関戸冬彦他著『CNN 10 Student News Vol.8』（朝日出版社、2020 年）1800 円（税別）

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
中間試験（45 点満点）と期末試験（45 点満点）を実施し、両試験の平均点を割り出し、その平均点に平常点（10 点満点）を加算した上で、100 点満点のうちほぼ 60 点以上を獲得した場合、合格とします。平常点の扱いに関しては初回授業等で明示します。また欠席を 4 回以上した場合、単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】
直近の授業アンケートを踏まえながら、分かりやすい授業を行なうよう心がけます。

【Outline and objectives】
The purpose of this course is to encourage participants to develop their reading and listening abilities by use of CNN News. Participants can live the stories and see America and the world widely and deeply, and learn about the historical, social, and cultural backgrounds of the videos.
This course also aims to improve participants's grammatical ability and their academic writing skill they will be asked to gain as undergraduates.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Global issues and Japan

青山　恵子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：初級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業の目的は「英語を読み聞く」を「英語で考え発信する」へと発展させていくことにあります（learning four skills of reading,listening, speaking and writing)。日本が直面する社会問題をグローバルな視点から考え学びます。

【到達目標】
1. 音読が適切にできるようになること
2. テクスト内容を正確に理解し英語で要約できるようになること
3. 授業で学んだ諸問題について解説と意見を論理的に英語で表現できるようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それに伴う各回の授業計画の変更については、学習支援システム (Hoppii) でその都度提示します。本授業の開始日は 4 月 29 日 (水）とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システム上に提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Self-introduction and explanation of the course
2	Understanding issue: International Society and Japan	Vocabulary check / paragraph reading / reading aloud practice / summarizing
3	Understanding issue: Budget for Education	Vocabulary check / paragraph reading / reading aloud practice / summarizing
4	Understanding issue: Childbirth	Vocabulary check / paragraph reading / reading aloud practice / summarizing
5	Understanding issue: Democracy(1)	Reading paragraphs on the issue and listening to model opinions
6	Understanding issue: Democracy(2)	Listening to model opinions and exchanging opinions
7	Presenting on Democracy	Mini-presentation practice based on the issue
8	Understanding issue: Japan in Globalization (1)	Reading paragraphs on the issue and listening to model opinions
9	Understanding issue: Japan in Globalization (2)	Listening to model opinions and exchanging opinions
10	Presenting on Japan and Globalization	Mini-presentation practice based on the issue
11	Understanding issue:Humans or AI?(1)	Listening to model opinions and exchanging opinions
12	Understanding issue: Humans or AI?(2)	Summary writing and paragraph writing on AI
13	Presenting on AI as workforce	Mini-presentation practice based on the issue
14	Review and Test	Reviewing the topics and test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course（本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします）
1 Weekly reading home assignments: テクストの指定箇所の予習（Vocabulary Check, Reading each “Case” and “Read On”)
2 Preparation for mini-presentation: 扱った問題の復習とプレゼンテーションの事前練習
3 Home assignments for Writing Workshop: 扱った問題について自分の意見を整理し立場を明らかにしたうえで論理的なパラグラフを書いてくる

【テキスト（教科書）】
植田一三 他, Take a Stance:Discussing Today’s Controversial Issues 2, Cengage Learning, 2018

【参考書】
Provided during sessions

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講になったことに伴い、成績評価の方法と基準も変更します。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示します。

【学生の意見等からの気づき】
No feedback from student because this is the first year of the class

【学生が準備すべき機器他】
Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline and objectives】
This is a content-based English learning class focusing on problematic issues in Japanese society and their correlation with global issues. You will practice systematic reading and presentation skills. In Writing Workshops, you will also practice well-organized paragraph writing skills.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Global issues and Japan

青山　恵子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：初級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
日本が直面する社会問題をグロー バルな視点から考え学びます。English 3 I に引き続き「英語を読み聞く」を「英語で考え発信する」へと発展させていくことを目的とします (learning four skills of reading,listening, speaking and writing)。

【到達目標】
1. 音読が適切にできるようになること
2. テクスト内容を正確に理解し英語で要約できるようになること
3. 授業で学んだ諸問題についての解説と意見を論理的に英語で表現できるようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students participate in some practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing:
1 Reading: paragraph reading
2 Listening and reading aloud practice
3 Speaking: exchanging opinions and mini-presentation
4 Writing workshop: summary writing and paragraph writing

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Explanation of the course topics and classroom methods; and exchanging ideas
2	Understanding issue: Global Citizenship (1)	Reading and listening to paragraphs on global citizenship / reading aloud practice
3	Understanding issue: Global Citizenship (2)	Reviewing the topic and exchanging opinions
4	Understanding issue: Human Rights and Japan (1)	Reading and listening to paragraphs on human rights / reading aloud practice
5	Understanding issue: Human Rights and Japan (2)	Reviewing the topic and exchanging opinions
6	Presenting on Human Rights	Mini-presentation on the topic
7	Understanding issue: War and Peace (1)	Reading and listening to paragraphs on Military Expenditure / reading aloud practice
8	Understanding issue: War and Peace (2)	Reading and listening to paragraphs on Nuclear Weapons and Japan
9	Understanding issue: War and Peace (3)	Reading and listening to paragraphs on Nuclear Weapon Ban Treaty
10	Presenting on War and Peace	Mini-presentation on the topic
11	Understanding issue: Japan's contribution to the World (1)	Reading and listening to paragraphs on foreign Aid / reading aloud practice
12	Understanding issue: Japan's contribution to the World (2)	Reading and listening to paragraph on Japan's contribution to World Peace, and exchanging opinions
13	Presenting on Japan's contribution to the World	Mini-presentation practice based on Japanese role in the world
14	Review and Test	Reviewing the topics and test.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and revie are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします)
1. Weekly reading home assignments: テクストの指定箇所の下読み、ボキャブラリーチェック、音読の練習
2. Preparation for mini-presentations: 取り上げた問題とトピックの内容の復習、プレゼンテーションの練習
3. Home assignments for Writing Workshops: 取り上げた問題について自分の意見を整理し立場を明らかにしたうえで論理的なパラグラフを書いてくる

【テキスト（教科書）】
Materials will be provided

【参考書】
Provided during sessions

【成績評価の方法と基準】
Active class participation including writing and presentation activities 30%
Home assignment 20%
Test 50%
In principle, no more than 3 absences per semester are allowed (各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】
No feedback because from student because this is the first year of the course.

【学生が準備すべき機器他】
Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline and objectives】
The course focuses on reading, listening, presenting and writing about "global issues in Japan" in English. Students will practice well-organized short essay writing and effective presentation skills.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

マイケル　マーフィー

開講時期：春学期授業/Spring　|　曜日・時限：水 5/Wed.5
単位数：1 単位
文（史地心）2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. In this course students will spend time using English to learn about American culture from a number of diverse perspectives. Students will learn about American culture through various sources of information and will incorporate a variety of topics about which they will express their opinion. In addition, students will also practice the fundamental English skills necessary to accomplish the above.

【到達目標】
Students will read and understand rather simple English texts without relying too much on dictionaries for understanding.
Students will learn to express their own opinion in speaking and writing, including how to examine content from a critical thinking perspective.
Students will not only learn about American culture, which continues to have a large impact on the world, but will also be able to apply that knowledge while learning and improving their English skills in reading, writing, listening and speaking.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Due to the State of Emergency and technical difficulties, this class will begin Wednesday, May 6, 2020 from Period 5 using the online HOPPII Learning Management System. Students should try to self-register into the class student roster using the Romanized version (ローマ字) of their Given and Family names and their university email address.
The class will be conducted online using the HOPPII Learning Management System until further notice. The HOPPII System will be used as the initial meeting point and communication platform, but students will be expected to branch out and use other technology platforms and/or websites as the course progresses.
Warm up activities will include listening practice from various English websites. Various target language objectives will be emphasized during each class period. For example, while reading from text, an emphasis may be placed on building vocabulary as well as the comprehension of passages. When presentations are the focus, an emphasis will be placed on using the appropriate posture and body language.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction to English 3	Course overview: policies, procedures and student expectations.
2	American Food and Wine	Reading and Listening practice using DVD video.
3	American food and wine	Reading and Writing practice using the expressions from the textbook.
4	American Food and Culture.	Listening and Vocabulary Quiz; Preparation for Presentation 1.
5	American Food Culture.	Group presentations 1: Images of American food culture and products; Student reactions.
6	Sports in the United States	Listening and Reading practice from DVD and text.
7	Sports in the United States: Baseball	Reading and Writing practice using expressions from the textbook.
8	Sports in the U.S.	Listening and Vocabulary Quiz 2. Practice and Preparation for Sports Presentations.
9	Sports in the U.S. and Japan	Group Presentations 2: Sports in the U.S. and Japan. Student reactions.
10	The World of Disney	Listening practice from DVD; Reading comprehension from text.
11	The World of Disney	Reading and Writing practice using expressions from the textbook
12	Disney Movies and Gender.	Discussion of how gender is depicted in scenes from Disney movies. Listening and Reading practice from Unit 4.
13	Entertainment: Hollywood, California	Group presentations on chosen topics from Disney and Hollywood entertainment; Student reactions
14	Term end review.	Review Test on Units 1-4: Listening , Reading and Writing.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
American Dream: Video Reading and Listening in American culture.(Asahi Press, Japan)

【参考書】
An English-Japanese/Japanese-English dictionary is highly recommended for each class session. Other supplemental readings and handouts will be provided at the discretion of the instructor.

【成績評価の方法と基準】
Grading criteria for this course will be based on the following:
*Class participation: 25% (including the timely completion of assignments)
Presentations (group and individual 25%
Oral dictation and vocabulary quizzes, and final end of term test: 50%
*Please note that in principle no more than three absences are permitted throughout the term. Without a valid reason (i.e. medical emergency/family problem) a fourth absence will result in failure for the term.

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【Outline and objectives】
English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. In this course students will spend time using English to learn about American culture from a number of diverse perspectives. Students will learn about American culture through various sources of information and will incorporate a variety of topics about which they will express their opinion. In addition, students will also practice the fundamental English skills necessary to accomplish the above.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

マイケル　マーフィー

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 II builds upon the skills and knowledge gained from English 1,2 and the first semester of English 3. It will continue to aim to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. Students will spend time using English to learn about American culture from a number of diverse perspectives. Students will learn about American culture through various sources of information and will incorporate a variety of topics about which they will express their opinion. In addition, students will also practice the fundamental English skills of listening, speaking, reading and writing necessary to accomplish the above.

【到達目標】
Students will read and understand rather simple English texts without relying too much on dictionaries for understanding.
Students will learn to express their own opinion in speaking and writing, including how to examine content from a critical thinking perspective.
Students will not only learn about American culture, which continues to have a large impact on the world, but also be able to apply that knowledge while improving their English skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Various target language objectives will be emphasized during each class period. For example, while reading from text, an emphasis may be placed on building vocabulary as well as the comprehension of passages. When presentations are the focus, an emphasis will be placed on using the appropriate posture and body language.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction to the Fall term.	Review of class policies and procedures; student expectations for Fall term. assignment for next class.
2	Unit 5: The Statue of Liberty.	Reading and Listening practice using DVD video.
3	The Statue of Liberty.	Readings and Writing practice using the expressions from the textbook.
4	The Statue of Liberty	Unit 5 Listening and Vocabulary Quiz. Preparation for first group presentations.

5	The Melting Pot	Group Presentations on the meaning of freedom and student reactions. Introduction to Unit 6.
6	The Melting Pot	Practice reading and listening using the text and DVD video
7	The Melting Pot	Practice reading and writing using the expressions and vocabulary in the textbook.
8	Unit 6 Review	Unit 6: Listening and Vocabulary Quiz; preparation for Presentations
9	Cultural Diversity	Group presentations on chosen topics of culture; student reactions.
10	Jazz, Gospel, Blues and Rock n Roll	Reading and Listening practice using the text and DVD video.
11	Jazz, Gospel, Blues and Rock n Roll	Practice reading and writing using the expressions and vocabulary in the textbook.
12	Native American Indians	Listening and Vocabulary Quiz on Unit 7; Introduction to Unit 9 Reading and Listening practice using the text and DVD video.
13	Native American Indians	Final Group presentations on chosen topics from Units 7,8 and 9.
14	Term End Review	Final Test, Units 5-9: Listening, Reading and Writing

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to come to class fully prepared, having completed any readings, writings or listening tasks assigned from the previous week. This is of utmost importance in order to fully participate in class activities (see Grading criteria below) and for the benefit of the class as a whole.
University guidelines suggest preparation and revie are around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

American Dream: Video Reading and Listening in American culture.(Asahi Press, Japan)

【参考書】

An English-Japanese/Japanese-English dictionary is highly recommended for each class session. Other supplemental readings will be provided at the discretion of the instructor.

【成績評価の方法と基準】

Grading criteria for this course will be based on the following:
*Class participation: 25% (including the timely completion of homework assigned in the previous class)
Presentations (individual and small group) 25%
Unit quizzes and final test: 50%
*Please be aware that in principle no more than three absences are permitted throughout the term. Without a valid reason (i.e. medical emergency/ family problem) a fourth absence will result in a failing grade for the term.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【Outline and objectives】

English 3 II builds upon the skills and knowledge gained from English 1,2 and the first semester of English 3. It will continue to aim to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. Students will spend time using English to learn about American culture from a number of diverse perspectives. Students will learn about American culture through various sources of information and will incorporate a variety of topics about which they will express their opinion. In addition, students will also practice the fundamental English skills of listening, speaking, reading and writing necessary to accomplish the above.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Communicating English To The World: Analyzing Social Issues

Richard Wilcox

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：中級／英語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

【到達目標】
Media and Culture: Communicating In English To Explain Japan To The World
Students will find this course useful for building their English and academic abilities and broadening their understanding of the world. Topics may include: media and culture; women's empowerment in social and economic life; career goals; modern Japanese culture and subcultures; nature and environment; human health, nutrition and exercise; global economic development and international relations. Students will use graded reader books, journals, a textbook and practical English conversation handouts to improve their communication skills. Tests will include written and oral types and informal and power point presentation formats.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Textbook, English Conversation Practice handouts, Written assignments and tests, Journals, Graded Readers, Viewing educational DVDs; Teacher explanations
Handouts:
English Conversation Practice
Excerpts "From Paragraph to Essay"
Research Proposal Outline
Designing Research: Surveys
Designing a Survey Outline
Analyzing Data Outline
Describing Graphs
DVD Discussion Outline
Internet Search Techniques
Speech Outline
Audience Q & A Outline
Presentation Slides
Powerpoint Outline
Presentation Delivery
Presentation Evaluation Form

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	英語／世界の中の日本	Orientation; English Conversation Practice (ECP) Handouts; Text Unit 1
2	英語／世界の中の日本	Graded Reader (GR); ECP Handouts; Text Unit 2
3	英語／世界の中の日本	GR; ECP Handouts; Text Unit 3
4	英語／世界の中の日本	GR; ECP Handouts; Unit 4
5	英語／世界の中の日本	GR Discussion; Written Test on Textbook
6	英語／世界の中の日本	Return test results; GR 2; ECP Handouts: Unit 5
7	英語／世界の中の日本	GR 2; ECP Handouts: Unit 6
8	英語／世界の中の日本	DVD: Queen of the Sun (30 min.); Discussion
9	英語／世界の中の日本	Queen of the Sun (30 – 60 min.); Discussion
10	英語／世界の中の日本	GR 2; ECP Handouts; Unit 7
11	英語／世界の中の日本	GR 2; ECP Handouts; Unit 8
12	英語／世界の中の日本	GR 2 Discussion (students hand in final GR reports); ECP Handouts; Text Unit 9
13	英語／世界の中の日本	Return GR reports; Prepare Informal Group Presentation
14	英語／世界の中の日本	Informal Group Presentations (Individuals present in small groups)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Pre-reading of assignments; completion of textbook homework assignments; preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
No more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

【テキスト（教科書）】
Life Topics (Advanced)

【参考書】
Wilcox Handouts
Google Scholar
Wikipedia

【成績評価の方法と基準】
Participation 20%; Written assignments 10%; 2 Written Tests 30%; Informal Group Presentation 20%; Final Individual Powerpoint Presentation 20%; Students should be aware that no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed otherwise they will fail the course.

【学生の意見等からの気づき】
Adjustment of lessons according to student interest

【学生が準備すべき機器他】
Bring textbook and notebook and clear folder to keep handouts in class; laptop computers are recommended.

【その他の重要事項】
Please arrive at class on time and attend regularly. Students who are often late or absent will suffer lowering of grades and possibility of class failure.

【Outline and objectives】
1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;

3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Communicating English To The World: Analyzing Environment

Richard Wilcox

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：中級／英語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

【到達目標】
Media and Culture: Communicating In English To Explain Japan To The World
Students will find this course useful for building their English and academic abilities and broadening their understanding of the world. Topics may include: media and culture; women's empowerment in social and economic life; career goals; modern Japanese culture and subcultures; nature and environment; human health, nutrition and exercise; global economic development and international relations. Students will use graded reader books, journals, a textbook and practical English conversation handouts to improve their communication skills. Tests will include written and oral types and informal and power point presentation formats.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Textbook, English Conversation Practice handouts, Written assignments and tests, Journals, Graded Readers, Viewing educational DVDs; Teacher explanations
Handouts:
English Conversation Practice
Excerpts "From Paragraph to Essay"
Research Proposal Outline
Designing Research: Surveys
Designing a Survey Outline
Analyzing Data Outline
Describing Graphs
DVD Discussion Outline
Internet Search Techniques
Speech Outline
Audience Q & A Outline
Presentation Slides
Powerpoint Outline
Presentation Delivery
Presentation Evaluation Form

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	英語／世界の中の日本	Journal; ECP Handouts; Text Unit 9 Women and Work
2	英語／世界の中の日本	Journal; ECP Handouts; Text Unit 10 The Internet
3	英語／世界の中の日本	Journal; ECP Handouts; Text Unit 11 Kawaii
4	英語／世界の中の日本	18. ECP Handouts; Unit 12; Homework: Read “Fukushima” DVD transcript; Write report for pages 1 – 4
5	英語／世界の中の日本	Watch “Fukushima” (20 min); Discussion; Homework: Write report 5 - 8
6	英語／世界の中の日本	Watch “Fukushima” (21 – 40 min); Discussion; Write report 9 - 11
7	英語／世界の中の日本	Watch “Fukushima” (41 – 60); Discussion; Hand in Fukushima reports
8	英語／世界の中の日本	Journal; ECP Handouts: Unit 13 Same Sex Marriage
9	英語／世界の中の日本	Journal; ECP Handouts; Unit 14 World Happiness
10	英語／世界の中の日本	Hand in Journals; Written Test on Textbook
11	英語／世界の中の日本	Return journals and test results; Prepare Final Individual Powerpoint Presentations
12	英語／世界の中の日本	Power Point Presentations (Group 1) Student Q & A
13	英語／世界の中の日本	Power Point Presentations (Group 2) Student Q & A
14	英語／世界の中の日本	Course Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Pre-reading of assignments; completion of textbook homework assignments; preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
No more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

【テキスト（教科書）】

Life Topics (Advanced)

【参考書】

Wilcox Handouts
Google Scholar
Wikipedia

【成績評価の方法と基準】

Participation 20%; Written assignments 10%; 2 Written Tests 30%; Informal Group Presentation 20%; Final Individual Powerpoint Presentation 20%; Students should be aware that no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed otherwise they will fail the course.

【学生の意見等からの気づき】

Adjust lessons according to student interest

【学生が準備すべき機器他】

Bring textbook and notebook and clear folder to keep handouts in class; laptop computers are recommended.

【その他の重要事項】

Please arrive at class on time and attend regularly. Students who are often late or absent will suffer lowering of grades and possibility of class failure.

【Outline and objectives】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**イギリスのニュース**

井上　紗央里

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：中級／日本語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
海外で使用されているニュース教材を使用し、リーディング、リスニング、ライティング、スピーキングの演習を行います。

【到達目標】
海外のニュースを音声と映像で理解し、ニュースを通して国際社会への意識を高め、自分の意見を英語でアウトプットすることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
【2020 年 4 月 16 日追記】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日は 5 月 6 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示します。
【2020 年 4 月 20 日追記】
法政大学生協オンラインテキスト販売で指定テキストを授業開始日までに購入してください。
【変更前の内容】
テキスト British News Update 2 を使用して授業をすすめます。テキスト内の演習問題を使用して、語彙の確認、リスニング練習を行います。その後ニュースの内容を受講者全員で確認し、Summary を使用した単語テストを行います。ニュースに関する自分の意見、感想等の英作文、ディスカッションも行います。授業には必ず辞書を持参してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction, Unit 1 A Coffee Shop in a Phone Box 前半	授業の進め方の説明　英作文についての説明 Unit1 のディクテーション
2	Introduction, Unit 1 A Coffee Shop in a Phone Box 後半	Unit 1 News Story の解説、会話練習、テキスト P6 Summary のリスニングテスト
3	Unit 2 Breakdancing at the Olympics 前半	Unit 2 News Story のディクテーション、本文解説前半、会話練習
4	Unit 2 Breakdancing at the Olympics 後半	Unit 2 News Story の解説後半、テキスト P12 Summary のリスニングテスト、英作文
5	Unit 3 Shopping without Plastic 前半	Unit 3 News Story のディクテーション、本文解説前半、会話練習
6	Unit 3 Shopping without Plastic 後半	Unit 3 News Story の解説後半、テキスト P18 Summary のリスニングテスト、英作文
7	Unit 4 Edinburgh to Tax Tourists 前半	Unit 4 News Story のディクテーション、本文解説前半、会話練習
8	Unit 4 Edinburgh to Tax Tourists 後半	Unit 4 News Story の解説後半、テキスト P24 Summary のリスニングテスト、英作文
9	Unit 5 A Four-Day Week 前半	Unit 5 News Story のディクテーション、本文解説前半、会話練習
10	Unit 5 A Four-Day Week　後半	Unit 5 News Story の解説後半、テキスト P30 Summary のリスニングテスト、英作文
11	Unit 6 The Fashion Industry and the Environment 前半	Unit 6 News Story のディクテーション、本文解説前半、会話練習
12	Unit 6 The Fashion Industry and the Environment 後半	Unit 6 News Story の解説後半、テキスト P36 Summary のリスニングテスト、英作文
13	Unit 7 Community Cycling	Unit 7 News Story のディクテーション、本文解説、会話練習、テキスト P42 Summary のリスニングテスト、英作文
14	期末試験とまとめ	第 1 回から 13 回までの授業内容を試験範囲とします。春学期全体のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストにニュース映像閲覧用のパスワードが記載されているので、それを使用して事前にネット上のニュース映像を見て、News Story の英文を事前に読んできて下さい。受講者が予習をしていることを前提にスクリプトのディクテーション、内容理解、演習問題の答え合わせなどを進めていきます。各ユニットの Making a Summary のリスニングの小テストをユニットの最後に行いますので、問題を事前に解いておいてください。授業時間外の学習: 事務にて自動入力してあった時間の記述「本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
British News Update 2（金星堂 2020）￥2,600（+ Tax) ISBN 978-4-7647-4097-6　価格　2,600 円 (+税)

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
【2020 年 4 月 16 日追記】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更します。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示します。
【2020 年 4 月 20 日追記】
授業日に毎回学習支援システム上で提出する課題を課し、その課題の内容で評価を行います。各課題には提出の締め切りが設定されます。今学期出す 14 回分の課題のうち 4 回分を提出しなかった場合は原則として単位取得の資格を失います。初回授業の 5 月 6 日より学習支援システム上で課題の指示を出します。
【変更前評価方法】
試験の平均点 60 %、平常点（授業内での発言等の貢献度、提出物など）25 %　小テストの点数 15 %で総合的に評価します。欠席が 4 回以上になった受講生は原則として単位取得の資格を失います。欠席、遅刻の回数に応じて減点となります。30 分以上の遅刻は欠席分の減点がつきます。

【学生の意見等からの気づき】
受講生同士のディスカッションなどの機会を増やしたいと思います。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to improve students' reading, speaking, writing, and listening skills through watching and reading current affairs in English. At the end of the course, participants are expected to acquire basic English skills and enlarge knowledge of current events.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**イギリスのニュース**

井上　紗央里

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：中級／日本語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
海外で使用されているニュース教材を使用し、リーディング、リスニング、ライティング、スピーキングの演習を行います。

【到達目標】
海外のニュースを音声と映像で理解し、ニュースを通して国際社会への意識を高め、自分の意見を英語でアウトプットすることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキスト British News Update 2 を使用して授業をすすめます。テキスト内の演習問題を使用して、語彙の確認、リスニング練習を行います。その後ニュースの内容を受講者全員で確認し、Summary を使用した単語テストを行います。ニュースに関する自分の意見、感想等の英作文、ディスカッションも行います。授業には必ず辞書を持参してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction, Unit 8 Smartphone Amnesty 前半	授業の進め方の説明　英作文についての説明 Unit8 のディクテーション
2	Unit 8 Smartphone Amnesty 後半	Unit 8 News Story の解説、会話練習、テキスト P48 Summary のリスニングテスト
3	Unit 9 Guide Dog Discrimination 前半	Unit 9 News Story のディクテーション、本文解説前半、会話練習
4	Unit 9 Guide Dog Discrimination 後半	Unit 9 News Story の解説後半、テキスト P54 Summary のリスニングテスト、英作文
5	Unit 10 Financial Literacy at Shool 前半	Unit 10 News Story のディクテーション、本文解説前半、会話練習
6	Unit 10 Financial Literacy at Shool 後半	Unit 10 News Story の解説後半、テキスト P60 Summary のリスニングテスト、英作文
7	Unit 11 A Da Vinci Dispute 前半	Unit 11 News Story のディクテーション、本文解説前半、会話練習
8	Unit 11 A Da Vinci Dispute 後半	Unit 11 News Story の解説後半、テキスト P66 Summary のリスニングテスト、英作文
9	Unit 12 The Success of Hip and Knee Replacements 前半	Unit 12 News Story のディクテーション、本文解説前半、会話練習
10	Unit 12 The Success of Hip and Knee Replacements　後半	Unit 12 News Story の解説後半、テキスト P72 Summary のリスニングテスト、英作文
11	Unit 13 Britons Apply for German Citizenship	Unit 13 News Story のディクテーション、本文解説、会話練習、P78 Summary のリスニングテスト、英作文
12	Unit 14 Squirrel on the Menu	Unit 14 News Story のディクテーション、本文解説、会話練習、P84 Summary のリスニングテスト、英作文
13	Unit 15 Climate Change Protests	Unit 15 News Story のディクテーション、本文解説、会話練習、P91 Summary のリスニングテスト、英作文
14	期末試験とまとめ	第 1 回から 13 回までの授業内容を試験範囲とします。秋学期全体のまとめ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストにニュース映像閲覧用のパスワードが記載されているので、それを使用して事前にネット上のニュース映像を見て、News Story の英文を事前に読んできて下さい。受講者が予習をしていることを前提にスクリプトのディクテーション、内容理解、演習問題の答え合わせなどを進めていきます。各ユニットの Making a Summary のリスニングの小テストをユニットの最後に行いますので、問題を事前に解いておいてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
British News Updat 2（金星堂 2020）￥2,600（+ Tax)

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
試験の平均点 60 %、平常点（授業内での発言等の貢献度、提出物など）25 %　小テストの点数 15 %で総合的に評価します。欠席が 4 回以上になった受講生は原則として単位取得の資格を失います。欠席、遅刻の回数に応じて減点となります。30 分以上の遅刻は欠席分の減点がつきます。

【学生の意見等からの気づき】
受講生同士のディスカッションなどの機会を増やしたいと思います。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to improve students' reading, speaking, writing, and listening skills through watching and reading current affairs in English. At the end of the course, participants are expected to acquire basic English skills and enlarge knowledge of current events.

LANe200LA

English ３ Ｉ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**英語で知る日本の現状**

戸嶋　まゆみ

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：中級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この講座では、日本の歴史について知り、日本のことを英語でアウトプットする力を伸ばすトレーニングを行います。簡単な文章を理解し、英語でアウトプットできることが目的です。本授業では、すべて網羅した総合的な学習を目標としています。本授業では、「4 技能」（英語を読み、聞き、書き、話す）の学習を行います。

【到達目標】
日本についてより深く知り、日本のことを英語でアウトプットする力を伸ばすトレーニングを行います。簡単な文章を理解し、英語でアウトプットできることが目的です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストを読み、得た知識の発表を個人及びグループで行います。グループ・ワーク及びグループ・プレゼンテーションを行い、アウトプットのトレーニングをします。
授業は、４月２２日（水）からを予定しています。課題を出しますので、詳細は、Hoppi を見て下さい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 講	ガイダンス	ガイダンス
第 2 項	発音練習	発音練習
第 3 講	Chapter 1 弥生、飛鳥、奈良時代 (1)	邪馬台国から壬申の乱まで
第 4 講	Chapter 1 弥生、飛鳥、奈良時代 (2)	藤原京から大仏建立まで
第 5 講	Chapter 1 弥生、飛鳥、奈良時代 (3)	Chapter 1 のふりかえり
第 6 講	Chapter 2 平安時代 (1)	平安遷都から承平・天慶の乱まで
第 7 講	Chapter 2 平安時代 (2)	前九年・後三年の役から源平の争乱まで
第 8 講	Chapter 3 鎌倉・室町時代 (1)	鎌倉開府から建武の新政まで
第 9 講	Chapter 3 鎌倉・室町時代 (2)	南北朝の動乱から応仁の乱まで
第 10 講	プレゼンテーション 1	プレゼンテーション 1 計画の立て方
第 11 講	プレゼンテーション 2	プレゼンテーション 2 練習とリハーサル
第 12 講	プレゼンテーション 3	プレゼンテーション 3 本番
復習	復習	復習
総括	総括	総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習及びグループ学習のための時間が必要です。具体的には、テキストを読んで、内容を日本語と英語でまとめておくことと、グループ発表のための計画をし、グループで集まり、発表の内容を考え、発表の練習をすることです。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
英語対訳で読む日本史　人物　事件　文化、　荻野豊著、　実業之日本社、　2016 年、ISBN978-4-408-11195-7

【参考書】
辞書。詳細は、教場指示とします。

【成績評価の方法と基準】
授業のための準備・予習等 (10%)、グループ・プレゼンテーション (30%), 提出物 (10%)、ペーパーテスト (50%) の総合点で評価します。尚、欠席が 4 回以上になった物は原則として単位取得の資格を失います。
本年度特殊事情により、前期の成績評価は、４回以上の課題提出の見込みです。

【学生の意見等からの気づき】
クラス人数が比較的多い場合は、一人一人の発言の機会が少ないという意見がでます。積極的な参加をしてもらえるような采配をするつもりです。

【学生が準備すべき機器他】
毎回、テキスト、ノート、辞書類を持参して下さい。また、授業の進行に伴って、あらかじめ映画や動画の視聴を求められることがあります。内容については、教場指示とします。

【その他の重要事項】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準としますが、個人差があり、授業時以外の時間の学習が毎回 60 分から 90 分程度必要だと思われます。また、プレゼンテーションでは、グループ性と、一人１分以上の英語を原稿なしで話すことが求められますので、グループ内での打ち合わせやリハーサルの時間が毎回 60 分から 90 分程度必要です。

【Outline and objectives】
The target of this course will be to improve students ability in English　reading and outputting about Japanese history. It is going to be quite important for university students nowadays to improve their English reading and outputting skills in order to function in the future global society. I hope that this course will help guide you to a new 'you' with efficient English skills.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中での日本の歴史**

戸嶋　まゆみ

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：中級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この講座では、日本の歴史について知り、日本のことを英語でアウトプットする力を伸ばすトレーニングを行います。簡単な文章を理解し、英語でアウトプットできることが目的です。本授業では、すべて網羅した総合的な学習を目標としています。「4 技能」（英語を読み、聞き、書き、話す）の学習を行います。

【到達目標】
日本についてより深く知り、日本のことを英語でアウトプットする力を伸ばすトレーニングを行います。簡単な文章を理解し、英語でアウトプットできることが目的です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストを読み、得た知識の発表を個人及びグループで行います。グループ・ワーク及びグループ・プレゼンテーションを行い、アウトプットのトレーニングをします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 講	ガイダンス	ガイダンス
第 2 項	発音練習	発音練習
第 3 講	ライティング練習 1	出来事について書く練習をします
第 4 講	ライティング練習 2	出来事の表現を広げる練習をします
第 5 講	Chapter 4	戦国時代について
第 6 講	Chapter 5	江戸時代について
第 7 講	Chapter 6	明治・大正時代について
第 8 講	Chapter 7	昭和・平成時代について
第 9 講	chapter 4-7 再考	Chapter 4 から 7 のふりかえり
第 10 講	プレゼンテーション 4	プレゼンテーション 4 (プレゼンスキルの確認)
第 11 講	プレゼンテーション 5	プレゼンテーション 5 (練習、リハーサル、フィードバック)
第 12 講	プレゼンテーション 6	プレゼンテーション 6 (実習)
復習	復習	復習 (ライティングの内容と学習スキルの復習及びプレゼンの振り返り)
総括	総括	総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準としますが、個人差があり、授業時以外の時間の学習が毎回 60 分から 90 分程度必要だと思われます。また、プレゼンテーションでは、グループ性と、一人 1 分以上の英語を原稿なしで話すことが求められますので、グループ内での打ち合わせやリハーサルの時間が毎回 60 分から 90 分程度必要です。

【テキスト（教科書）】
英語対訳で読む日本史　人物　事件　文化、　荻野豊著、　実業之日本社、　2016 年、ISBN978-4-408-11195-7

【参考書】
辞書等

【成績評価の方法と基準】
授業のための準備・予習等 (10%)、グループ・プレゼンテーション (30%), 提出物 (10%)、ペーパーテスト (50%) の総合点で評価します。尚、欠席が 4 回以上になった物は原則として単位取得の資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】
クラス人数が比較的多い場合は、一人一人の発言の機会が少ないという意見がでます。積極的な参加をしてもらえるような采配をするつもりです。

【学生が準備すべき機器他】
毎回、テキスト、ノート、辞書類を持参して下さい。また、授業の進行に伴って、あらかじめ映画や動画の視聴を求められることがあります。内容については、教場指示とします。

【その他の重要事項】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準としますが、個人差があり、授業時以外の時間の学習が毎回 60 分から 90 分程度必要だと思われます。また、プレゼンテーションでは、グループ性と、一人 1 分以上の英語を原稿なしで話すことが求められますので、グループ内での打ち合わせやリハーサルの時間が毎回 60 分から 90 分程度必要です。

【Outline and objectives】
The target of this course will be to improve students ability in English　reading and outputting about Japanese history. It is going to be quite important for university students nowadays to improve their English reading and outputting skills in order to function in the future global society. I hope that this course will help guide you to a new 'you' with efficient English skills.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English Speaking World

佐藤　陽子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 では、English 1 と 2 で学んだことをもとに、様々な英語の素材を批判的に吟味し、それぞれのトピックについて自分の意見を述べる力を養います。具体的には、新聞やニュースに取り上げられた英語圏の時事問題を理解したのち、group discussion や group presentation の中で自分の意見を英語で表現する練習をします。

【到達目標】
1) 英語の素材の理解を通して、時事問題、文化、文体、発音、単語などを学びます。
2) 関連情報を調べ分析することによって、情報収集能力や素材を批判的に吟味する力をつけます。
3) ディスカッションやプレゼンテーションを通して、英語で意見を表現する方法を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
いわゆる 4 技能（reading, writing, listening, speaking）を用いたアクティビティやタスクが中心となります。具体的には、短いテキストを読んだり、短いオーディオ/ビジュアル・クリップを見聞きしたあとに、そのトピックについて group discussion を行い、結果を group presentation として発表します。授業の雰囲気は informal & friendly です。【以下 4 月 20 日追加】春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムか Google Classroom（以下参照）でその都度お知らせします。本授業の開始日は 4 月 22 日 (水) とし、この日に具体的なオンライン授業の方法などをお知らせします。(現在アクセスが難しいようなので Google Classroom でクラスサイトを作りました! 法政のアカウントで Google Classroom を表示し、クラスコード d3nrhmr を入力すれば入れます!

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Getting to know each other (communicative activities), plans for the semester
2	Understanding Current Issue 1	Vocabulary quiz on reading HW on Topic 1, reading HW comprehension check, listening to audio-visual material on Topic 1
3	Understanding and discussing Current Issue 1 (1)	Review vocabulary quiz on reading HW, group discussion (1) on Topic 1
4	Discussing Current Issue 1 (2)	Vocabulary quiz on listening material, Group discussion (2) on Topic 1
5	Preparing for the presentations on Current Issue 1 (1)	Review vocabulary quiz on listening material, Preparing for the group presentation on Topic 1 (1)
6	Preparing for the presentations on Current Issue 1 (2)	Preparing for the group presentation on Topic 1 (2)
7	Presentations on Current Issue 1	Presentations on Topic 1
8	Feedback on presentations, Current Issue 2	Peer- and teacher-feedback on presentations, Vocabulary quiz on reading HW on Topic 2, listening to audio-visual material on Topic 2
9	Discussing Current Issue 2 (1)	Review vocabulary quiz on reading HW, group discussion (1) on Topic 2
10	Discussing Current Issue 2 (2)	Vocabulary quiz on listening material, Group discussion (2) on Topic 2
11	Preparation for the presentations on Current Issue 2	Review vocabulary quiz on listening material, Preparing for the group presentations on Topic 2
12	Presentations on Current Issue 2	Presentations on Topic 2
13	Feedback on presentations on Current Issue 2	Peer- and teacher-feedback on presentations on Topic 2, writing a reaction paper
14	Recap of the semester & student feedback	Recap of the semester; student feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。毎回出される宿題を完璧にこなすこと、ほぼ毎回の単語のテストの準備をすること、ディスカッションやプレゼンテーションの準備をすることが必須です。宿題に基づくグループワークが多いので、宿題をしていないと他のメンバーに迷惑をかけることになります。

【テキスト（教科書）】
教科書はありません。ほぼ毎回ハンドアウトが渡されます。ハンドアウトを管理するため、A4 のフォルダーやバインダーを用意してください。

【参考書】
辞書を必ず毎回持参してください。（紙版、電子版は問いません）

【成績評価の方法と基準】
成績は以下の基準で評価されます。
授業への積極的参加（出席ではありません）: 20%
宿題と単語の豆テスト: 40%
Presentations: 40%
【以下 4 月 20 日追加】春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する必要があると思われます。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムでお知らせします。今のところ授業 4 回分以上の課題を提出しなかった場合は原則として単位取得ができない大まかな方針です。

【学生の意見等からの気づき】
You may find this course demanding, but it will pay off!

【学生が準備すべき機器他】
プレゼンテーションにはスライド（e.g. PowerPoint) が必要です。重要なお知らせの配信には授業支援システムを使います。

【Outline and objectives】
English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English-Speaking World

佐藤　陽子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 II では、English 3 I で学んだことをもとに、様々な英語の素材を批判的に吟味し、それぞれのトピックについて自分の意見を述べる力をさらに養います。具体的には、新聞やニュースに取り上げられた英語圏の時事問題を理解したのち、group discussion や presentation、essay の中で自分の意見を英語で表現する練習をします。

【到達目標】
1) 英語の素材の理解を通して、時事問題、文化、文体、発音、単語などを学びます。
2) 関連情報を調べ分析することによって、情報収集能力や素材を批判的に吟味する力をつけます。
3) ディスカッション、プレゼンテーション、エッセイを通して、英語で意見を表現する方法を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
いわゆる 4 技能（reading, writing, listening, speaking）を用いたアクティビティやタスクが中心となります。具体的には、短いテキストを読んだり、短いオーディオ/ビジュアル・クリップを見聞きしたあとに、そのトピックについて group discussion を行い、結果を group presentation として発表したり、自分で調べたことをもとに presentation や essay にまとめます。授業の雰囲気は informal & friendly です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Warm up communicative activities, recap of last semester, plans for the semester
2	Understanding Current Issue 1 (1)	Vocabulary quiz on reading HW on Topic 1, reading HW comprehension check, listening to audio-visual material (1) on Topic 1, checking the topics of the individual presentations
3	Discussing Current Issue 1 (1), preparation for the individual presentations (1)	Review vocabulary quiz on reading HW, group discussion (1) on Topic 1, discussing the topics of the individual presentations (1)
4	Discussing Current Issue 1 (2), preparation for the individual presentations (2)	group discussion (2) on Topic 1, discussing the topics of the individual presentations (2)
5	Preparing for the presentations on Current Issue 1, preparation for the individual presentations (3)	Preparing for the presentation on Topic 1, discussing the topics of individual presentations (3)
6	Presentation on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1
7	Feedback & reflection on group presentations, preparing for individual presentations	Peer- and teacher-feedback on group presentations, reflection, preparing for the individual presentations
8	Individual presentations (1), review of the basics of essay writing	Individual presentations (1), peer- and teacher-feedback, review of the basic rules of essay writing
9	Individual presentations (2), essay outline	Individual presentations (2), peer- and teacher-feedback, checking the outline of the essays
10	Individual presentations (3), first draft	Individual presentations (3), peer- and teacher-feedback, checking the first draft of the essays
11	Individual presentations (4), second draft	Individual presentations (4), peer- and teacher-feedback, checking the second draft of the essays
12	Individual presentations (5), third draft	Individual presentations (5), peer- and teacher-feedback, checking the third draft of the essays
13	Individual presentations (6), fourth draft	Individual presentations (6), peer- and teacher-feedback, checking the fourth draft of the essays
14	Submission of the essay, recap of the semester & student feedback	Submission of the essay, recap of the semester, student feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。毎回出される宿題を完璧にこなすこと、ほぼ毎回の単語のテストの準備をすること、presentation と essay の準備をすることが必須です。宿題に基づくグループワークが多いので、宿題をしていないと他のメンバーに迷惑をかけることになります。

【テキスト（教科書）】
教科書はありません。ハンドアウトを管理するため、A4 のフォルダーやバインダーを用意してください。

【参考書】
辞書を必ず毎回持参してください。（紙版、電子版は問いません）

【成績評価の方法と基準】
成績は以下の基準で評価されます。
授業への積極的参加（出席ではありません）: 20%
宿題と単語の豆テスト: 40%
Presentation と essay: 40%
注意事項：出席と積極的参加は非常に重要です。授業を 4 回以上欠席した場合は原則として単位取得はできません。欠席してしまった際には、その回のハンドアウトや宿題の情報をクラスメイトから入手し、次回の授業には他のクラスメイトと同様に予習、宿題を済ませて臨んでください。欠席は予習・宿題をしていない言い訳にはなりません。

【学生の意見等からの気づき】
ペアワークやグループワークを楽しみ、宿題や豆テスト、プレゼンテーションやエッセイを頑張ってこなすうちに力がついたと感じる方がとても多く嬉しく思います。

【学生が準備すべき機器他】
プレゼンテーションには PowerPoint などのスライドを、エッセイ関係の宿題には Word などのワープロソフトを使う必要があります。重要なお知らせの配信には授業支援システムを使います。

【Outline and objectives】
English 3 II builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Various Aspects of the World

磯部　芳恵

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course builds upon skills on knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with opportunities to have critical thinking skills and express their opinions on different topics in English, using the textbook and authentic materials.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures, while building their communication skills in all aspects. Therefore they will acquire four skills, reading,listening, speaking and writing skills.

【到達目標】
The first goal of this course is to enable students to learn about various cultural aspects from around the world.The second goal is for students to develop discussion and critical thinking skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 23 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introductions	Student introductions Course outline Getting started: reading an article
2	Unit 1 Largest Model Train	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
3	Breaking News English	Vocabulary Summary Discussion
4	Unit 2 No Phones in French Schools	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
5	News in levels	Vocabulary Summary Discussion
6	Unit 3 Food on Instagram	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
7	Review	Review Unit 1-3 Try this , one more time

8	Unit 4 Adventure Healing	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
9	Breaking News English	Vocabulary Summary Discussion
10	Unit 5 Knocker-Uppers	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
11	News in Levels	Vocabulary Summary Discussion
12	Unit 6 Hungarian Cake	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
13	Review & Summary writing	Review Unit 4-6 Vocabulary/Idioms Writing a summary of an article
14	Wrap up and feed back	End of term review and Q & A

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are required to do listening homework, which involves completing a transcript exercise. In addition, students will research a variety of topics and selected students will prepare and perform presentations on a similar topic each week.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
CNN 10 Vol. 2 − Student News −＜ 2020 年＞（朝日出版社）1800 円。

【参考書】
Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:
http://www.bbc.co.uk/learningenglish
https://learningenglish.voanews.com/
https://www.newsinlevels.com/
https://breakingnewsenglish.com

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
None

【学生が準備すべき機器他】
Students should bring their presentation slides to class on a memory stick.

【Outline and objectives】
This course builds upon skills on knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with opportunities to have critical thinking skills and express their opinions on different topics in English, using the textbook and authentic materials.Students will learn about aspects of culture and society across cultures, while building their communication skills in all aspects. Furthermore they will learn to give a presentation.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Various Aspects of the World

磯部　芳恵

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course builds upon skills on knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with opportunities to have critical thinking skills and express their opinions on different topics in English, using the textbook and authentic materials.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures, while building their communication skills in all aspects. Therefore they will acquire four skills, reading,listening, speaking and writing skills.

【到達目標】
The first goal of this course is to enable students to learn about various cultural aspects from around the world.The second goal is for students to develop discussion and critical thinking skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
The first language of the classroom is English.
Classroom methods include:
1. The textbook includes various activities
2. short lectures and explanations by the teacher
3. pair and group discussions
4. short oral reports
5. short written comments and reports

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Reading an article	Breaking News English Vocabulary Summary Discussion
2	Unit 7 New TVs	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
3	VOA news	Vocabulary Summary Discussion
4	Unit 8 Teaching English as a Second Language	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
5	Breaking News English	Vocabulary Summary Discussion
6	Unit 9 Burgers and Antibiotics	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion

7	Review	Review Unit 7-9 Try this, one more time!
8	Unit 10 Ikigai	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
9	Breaking News English	Vocabulary Summary Discussion
10	Unit 11 Workers in South Korea	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
11	VOA news	Vocabulary Summary Discussion
12	Unit 12 Smart Park in Dubai	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
13	Review and summary writing	Review Unit 10-12 Summary Discussion Writing a summary of an article
14	Wrap up and feed back	End of the term review and Q & A

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are required to do listening homework, which involves completing a transcript exercise. IN addition, students will research a variety of topics and selected students will prepare and perform presentations on a similar topic each week.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
CNN 10 Vol. 2 − Student News −＜ 2020 年＞（朝日出版社）1800 円。

【参考書】
Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:
http://www.bbc.co.uk/learningenglish
https://learningenglish.voanews.com/
https://www.newsinlevels.com/
https://breakingnewsenglish.com

【成績評価の方法と基準】
Grading will be based on three criteria:
Class participation, 30 %, Presentations, 10 %, Tests, quizzes, 60 %.
Unexplained/Unjustified absences exceeding three class sessions may disqualify students from obtaining credit for the course. Lateness exceeding 15 minutes without justification will count as one-third absence.

【学生の意見等からの気づき】
None

【学生が準備すべき機器他】
Students should bring their presentation slides to class on a memory stick.

【Outline and objectives】
This course builds upon skills on knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with opportunities to have critical thinking skills and express their opinions on different topics in English, using the textbook and authentic materials.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures, while building their communication skills in all aspects. Furthermore they will learn to give a presentation.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本文化**

今井　澄子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：中級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English1 および 2 で習得した英語運用能力である読む、書く、聴く、話すの四技能を使い、国際語である英語を通じて日本文化を世界的文脈の中で相対化し、英語資料を理解して批判的に分析したうえで英語による意見の発信ができる能力を養成する。

【到達目標】
・英語資料により世界における日本文化受容について理解を持つ
・日本文化に関する一般的英文を読み、コメントを英語で書く
・日本文化に関するアカデミックな英文を精読し、読解力を上げる
・日本に関する語彙の知識により英語の聴解力を上げる
・大学ﾚﾍﾞﾙのｱｶﾃﾞﾐｯｸ・ｽｷﾙ (Writing, Presentation) を身につける
・Oxford English Dictionary をﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽとして使えるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は４月２２日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	世界の日本文化受容 OED 採録の日本語	授業内容や課題の説明 ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ OED 利用案内
第 2 回	世界の中の日本文化 (Ceremony) Long-Established Business *() 内は Listening 小ﾃｽﾄﾃｰﾏ	(Listening 小テスト１) Unit 1 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 3 回	世界の中の日本文化 (School Life) Uniforms and Identity	(Listening 小テスト２) Unit 2 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 4 回	世界の中の日本文化 (Transportation) Volunteer Work and Helping Others	(Listening 小テスト３) Unit 3 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 5 回	世界の中の日本文化 (Outdoor Activities) High-Tech Living [Automobiles]	(Listening 小テスト４) Unit 4 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 6 回	世界の中の日本文化 (Weather) Japanese Tableware	(Listening 小テスト５) Unit 5 DVD 視聴 Short Reading Comment writing

第 7 回	世界の中の日本文化 (Holiday Plans) Homemakers of Japan	(Listening 小テスト６) Unit ６ DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 8 回	世界の中の日本文化 (Resort Area) Voice Actors	(Listening 小テスト７) Unit ７ DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 9 回	日本社会と文化 (Directions) Approaches to the Japanese History (1)	(Listening 小テスト８) Reading Essay １ R.J.Davis. Japanese Culture の記事
第 10 回	日本文化の背景 (Job Experience) Approaches to the Japanese History (2)	(Listening 小テスト９) Reading Essay ２ R.J.Davis. Japanese Culture の記事
第 11 回	日本文化の背景 (Summer Sale) Lonely Planet	(Listening 小テスト 10) Reading Essay ３ Ch.Rawthorn. Japan: Understand Japan の記事
第 12 回	Writing 試験	Presentation の原稿 Writing
第 13 回	Presentation 試験	OED にある日本語の英語説明
第 14 回	期末試験	Reading および Listening

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ﾃｷｽﾄの音声は Web ｽﾄﾘｰﾐﾝｸﾞで視聴可能。PartI と II があるが、ﾃｷｽﾄには II のｽｸﾘﾌﾟﾄしかないため I については Dictation 用の冊子を配布する。授業では Dictation と要所の説明を行うが、ｽｸﾘﾌﾟﾄの和訳はしない。より理解するには予め目を通してくるとよい。Reading は速読用の比較的易しいものから Web 上の記事、学術文などさまざまなものを用意する。内容や英文の質の高度なものを扱うときは、自宅での十分な予習が必要。また、Writing や Presentation に用いる Oxford English Dictionary を調べた資料は期日までに必ず準備する。準備できていないと授業中に Writing、Presentation が行えず、試験未受験扱いとなる。Listening 小ﾃｽﾄは準備の必要なし。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Discovering Cool Japan (2019). 成美堂 (PartI の Dictation 用ｽｸﾘﾌﾟﾄはコピー冊子を配布)
Practical Situations for the TOEIC ® Test Listening (2020). 成美堂
Reading 教材はコピーを配布。

【参考書】

Oxford English Dictionary.
R.J. Davies. Japanese Culture:The Religious and Philosophical Foundations. 2016.
https://blogs.wsj.com/japanrealtime/
https://www.japantimes.co.jp/
https://www.bbc.co.uk/
https://edition.cnn.com/

【成績評価の方法と基準】

当面の間、オンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。
具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度 Reading 教材の英文が難しいとの意見が出た。English1 で比較的容易な英文を読んだクラス出身の学生は英語の学術文献や新聞記事の英文レベルに慣れていないためと考えられる。今年度は比較的平易なものも速読に使用する。このほか、数は減らすが、学術文献や Web、新聞記事など、求められるべきレベルの英文読解も昨年度と同様に行う。

【学生が準備すべき機器他】

授業には辞書を持参し、ｽﾏｰﾄﾌｫﾝ等でｲﾝﾀｰﾈｯﾄ上の辞書を使用することは原則として認めない。

【Outline and objectives】

This class aims to provide students with further opportunities to improve their English proficiency acquired in English 1 and 2 classes. Students will read, write, hear and speak about various topics of Japan, especially Japanese culture in the world in English in order fully to have an academic skill. The spring semester focuses on understanding how Japan and Japanese culture are recognized, accepted, or sometimes criticized in the world. The various reading and listening materials can give students a lot of information, and based on these, they try to write a comment or speak his/her opinion in English. To see the acceptance of Japanese culture, students will look into an entry of Japanese words in Oxford English Dictionary. Analyzing the definition and quotations of these words contributes to students' understanding Japanese culture. Concerning the class procedure, students take a listening test at the beginning, try to read a short English passage and write a comment after watching DVD. They also read an English essay on the background of Japanese culture and characteristics in class. It is essential for students to take three kinds of exams — writing, presentation, and final reading & listening.

LANe200LA

English ３Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本文化**

今井　澄子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：中級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English1 および 2 で習得した英語運用能力である読む、書く、聴く、話すの四技能を使い、国際語である英語を通じて日本文化を世界的文脈の中で相対化し、英語資料を理解して批判的に分析したうえで英語による意見の発信ができる能力を養成する。

【到達目標】
・英語資料により世界における日本文化受容について理解を持つ
・日本文化に関する一般的英文を読み、コメントを英語で書く
・日本文化に関するアカデミックな英文を精読し、読解力を上げる
・日本に関する語彙の知識により英語の聴解力を上げる
・大学ﾚﾍﾞﾙのｱｶﾃﾞﾐｯｸ・ｽｷﾙ (Writing, Presentation) を身につける
・Oxford English Dictionary をﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽとして使えるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業始めにﾘｽﾆﾝｸﾞ小ﾃｽﾄ、その後 DVD 視聴または英文読解、学習内容に関するｺﾒﾝﾄを英語で書いて提出、添削して返却する。DVD 視聴のないときは英文読解を行い、音読・日本語訳等が課される。今期は日本文化の世界への発信をﾃｰﾏとするため、興味ある事象を調べ、英語ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝを行う。よって、日本文化の事象に関する書籍等で英文資料の収集、それに基づく Writing、Speaking が課される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	世界の中の日本文化 (Restaurant) Seafood-Japanese Cuisine *() 内は Listening 小テストﾃｰﾏ	(Listening 小テスト１) Unit ８ DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 2 回	世界の中の日本文化 (Arts & Entertainment) Japanized Foreign Dishes	(Listening 小テスト２) Unit ９ DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 3 回	世界の中の日本文化 (Sports Events) Bag-Culture	(Listening 小テスト３) Unit10DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 4 回	世界の中の日本文化 (Having a Party) Senior Citizens [Medical Checkups]	(Listening 小テスト４) Unit11DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 5 回	世界の中の日本文化 (Health) Money	(Listening 小テスト５) Unit12DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 6 回	世界の中の日本文化 (Christmas) Zodiac	(Listening 小テスト６) Unit13DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 7 回	日本人とは何か (Cleanup) What is a Japanese?	(Listening 小テスト７) Reading Essay １ R. Pulvers. Delighting in Cultures の記事
第 8 回	現代日本に残るｻﾑﾗｲﾈｰﾑ (Our Traditions & Customs) Samurai Spirit	(Listening 小テスト８) Reading Essay ２ Wall Street Journal の記事
第 9 回	Inbound Japan (Examinations) A New Era or An Era of Newness? Integrating Immigrants	(Listening 小テスト９) Reading Essay ３ M.Pronko.Inbound/Outbound Japan の記事
第 10 回	Outbound Japan (Housing) The Right Amount of Confidence "Get Out! Why Not Go?"	(Listening 小テスト 10) Reading Essay ４ M.Pronko.Inbound/Outbound Japan の記事
第 11 回	日本語を英語にする方法 引用元表記のしかた	英語における外来語表記 外来語＋言い換え MLA または APA によるﾚﾌｧﾚﾝｽ
第 12 回	Writing 試験	Presentation の原稿 Writing
第 13 回	Presentation 試験	日本文化の事象を英語で説明
第 14 回	期末試験	Reading および Listening

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
ﾃｷｽﾄの音声は Web ｽﾄﾘｰﾐﾝｸﾞで視聴可能。PartI と II があるが、ﾃｷｽﾄには II のｽｸﾘﾌﾟﾄしかないため I については Dictation 用の冊子を配布する。授業では Dictation と要所の説明を行うが、ｽｸﾘﾌﾟﾄの和訳はしない。より理解するには予め目を通してくるとよい。Reading は速読用の比較的易しいものから Web 上の記事、学術文などさまざまなものを用意する。内容や英文の質の高度なものを扱うときは、自宅での十分な予習が必要。また、Writing や Presentation に用いる資料は期日までに必ず準備する。準備できていないと授業中に Writing、Presentation が行えず、試験未受験扱いとなる。Listening 小ﾃｽﾄは準備の必要なし。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Discovering Cool Japan (2019). 成美堂 (PartI の Dictation 用ｽｸﾘﾌﾟﾄはコピー冊子を配布)
Practical Situations for the TOEIC ® Test Listening (2020). 成美堂
Reading 教材はコピーを配布。

【参考書】
Oxford English Dictionary.
R.J.Davies & Osamu Ikeno. The Japanese Mind: Understanding Contemporary Japanese Culture.　2002.https://blogs.wsj.com/japanrealtime/
https://www.japantimes.co.jp/
https://www.bbc.co.uk/
https://edition.cnn.com/

【成績評価の方法と基準】
期末試験 60%、平常点 40%。平常点は授業参加度 10%、ﾘｽﾆﾝｸﾞ小ﾃｽﾄ平均点 10%、Writing・Presentation・Speaking10%、その他授業内での課題 10%が原則。よって、評価点は試験 60 点、平常点 40 点の合計 100 点で、60 %以上の得点で合格。授業初めのﾘｽﾆﾝｸﾞ小ﾃｽﾄ終了後は遅刻と認めず欠席とし、ﾘｽﾆﾝｸﾞ小ﾃｽﾄも 0 点となる。学期末の Presentation、原稿作成 Writing は授業内試験として扱い、単位取得に必須。このほか授業中の課題を遂行しない、あらかじめ割り当てられた担当課題があるのに無断欠席などは評価点がﾏｲﾅｽされる。授業では全員が担当をこなすため出席状況の良いことが必須で、欠席 4 回以上の者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
昨年度 Reading 教材の英文が難しいとの意見が出た。English1 で比較的容易な英文を読んだクラス出身の学生は英語の学術文献や新聞記事の英文レベルに慣れていないためと考えられる。今年度は比較的平易なものも速読に使用する。このほか、数は減らすが、学術文献や Web、新聞記事など、求められるべきレベルの英文読解も昨年度と同様に行う。

【学生が準備すべき機器他】
授業には辞書を持参し、ｽﾏｰﾄﾌｫﾝ等でｲﾝﾀｰﾈｯﾄ上の辞書を使用することは原則として認めない。

【Outline and objectives】
This class aims to provide students with further opportunities to improve their English proficiency acquired in English 1 and 2 classes. Students will read, write, hear and speak about various topics of Japan, especially Japanese culture in the world in English in order fully to have an academic skill. The autumn semester focuses on explaining Japanese culture in English to the world. The various reading and listening materials can give students a lot of information, and based on these, they try to write a comment or speak his/her opinion in English. To train an ability to explain Japanese culture in English, students will give a presentation of a topic of Japanese culture which interests them. Concerning the class procedure, students take a listening test at the beginning, try to read a short English passage and write a comment after watching DVD. They also read an English essay on Inbound/Outbound Japan in class. It is essential for students to take three kinds of exams — writing, presentation, and final reading & listening.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**ヴィクトリア時代のイギリス社会**

永井　大輔

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：初級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
小説、ドラマ、漫画などで何かと舞台になる（だがよくは知らない）ヴィクトリア時代の英国について学びながら、英語の基本 4 技能（reading, listening, writing, speaking）の向上を目指します。

【到達目標】
英語の基本 4 技能については、以下の目標を設定します。
・英語に関することであろうとなかろうと、読んでいて分からないことは、自主的に調べる習慣を身につける。
・あまり知識のないトピックに関する英語音声を聴く際にも障害にならない程度に、基本的なフレーズや文法、発音のルールを覚える。
・今まで使ったことのない語彙を用いて、品詞や節、文のルールを守った文章が書ける。
・質疑応答のパターンを身につけ、トピックが変わっても動揺せずにロジカルな発言ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
基本的に教科書を進めていきます。1 章あたり 2 授業回を費やします。各章の初回は speaking と reading のタスクを行ない、ペアを組ませての質疑応答練習や、文章の内容に関する質問をします。次の回は listening と writing のタスクを行ない、ディクテーションや英作文をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	シラバスに書かれていること以外の細かいルールについて説明します。 持っている辞書を確認しますので、辞書を必ず持参して下さい。
第 2 回	Chapter 1 (1)	Queen Victoria's Reign Speaking & reading
第 3 回	Chapter 1 (2)	（前回の続き） Listening & writing
第 4 回	Chapter 2 (1)	First Industrial Nation Speaking & reading
第 5 回	Chapter 2 (2)	（前回の続き） Listening & writing
第 6 回	Chapter 3 (1)	Coming of the Railways Speaking & reading
第 7 回	Chapter 3 (2)	（前回の続き） Listening & writing
第 8 回	Chapter 4 (1)	The Great Exhibition Speaking & reading
第 9 回	Chapter 4 (2)	（前回の続き） Listening & writing
第 10 回	Chapter 5 (1)	Working Lives Speaking & reading

第 11 回	Chapter 5 (2)	（前回の続き） Listening & writing
第 12 回	Chapter 6 (1)	Victorian Cities Speaking & reading
第 13 回	Chapter 6 (2)	（前回の続き） Listening & writing
第 14 回	Chapter 1~6 のまとめ	内容のおさらい TOEIC 形式の小テストを 2 本実施します。単位取得希望者は必ず受けて下さい。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎授業回の質問は、予習・復習を前提としたものになります (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間以上を標準とします)。
・質問等にはみずから調べた事柄が必要になる場合もあります。予習や調べ物には相応の時間をかけねばならず、授業前に他の受講生から聞きかじる程度では単位を落とすと覚悟して下さい。
・Listening の問題については、予習が必須となるでしょう。Speaking 能力の向上のために、Listening の音声を真似る'shadowing' という作業を行なってみて下さい。
・Speaking のタスクについては、教科書で紹介された例文以外にも、自分で考えた回答を何パターンか用意しておいて下さい。

【テキスト（教科書）】
杉村醇子・古瀬明里・山崎麻由美（編注）『ヴィクトリア朝からの贈りもの - VICTORIANS』、英宝社、2011 年。2000 円＋税　ISBN ： 978-4-269-15014-0 C1082
毎授業回に辞書（英和もしくは英英、場合によっては和英も）持参が必須です。授業中使用できるのは紙媒体の辞書もしくは専用装置型の電子辞書のみです。

【参考書】
コリン・マシュー編『19 世紀: 1815 年-1901 年』（オックスフォードブリテン諸島の歴史 第 9 巻）、慶應義塾大学出版会、2009 年。
A. ブリッグズ『ヴィクトリア朝の人びと』（Minerva 西洋史ライブラリー 9）、ミネルヴァ書房、1995 年。
フリードリヒ・エンゲルス『イギリスにおける労働者階級の状態: 19 世紀のロンドンとマンチェスター』（岩波文庫、白 (34)-129-0,1）、岩波書店、1990 年。
ヘンリー・メイヒュー『ヴィクトリア朝ロンドンの下層社会』（Minerva 西洋史ライブラリー 84）、ミネルヴァ書房、2009 年。
ジャック・ロンドン『どん底の人びと: ロンドン 1902』（岩波文庫、赤-315-2,32-315-2）、岩波書店、1995 年。
松村昌家の著作（例えば『大英帝国博覧会の歴史』など）多数。
Asa Briggs, The Age of Improvement, 1783-1867, 2nd ed. (Longman, 2000).
G. Kitson Clark, The Making of Victorian England (1962).
Boyd Hilton, The Age of Atonement: The Influence of Evangelicalism on Social and Economic Thought, 1785-1865 (Clarendon Press, 1988).

【成績評価の方法と基準】
毎授業回の授業参加度： 70%
・質疑応答練習の出来栄え
・質問に対して十分な予習をふまえた回答ができたか
・ディクテーション
・作文
第 14 回授業回の小テスト 2 本： 30%
・春学期学修内容の理解度
・TOEIC 形式の設問に対する順応
欠席および遅刻について
学期中に 4 回欠席した受講生は単位取得資格を失なう。遅刻は累積 3 回で欠席 1 回と同等の扱いとする。その他授業に対する貢献が著しく低いと教員が判断し、授業中にペナルティ（初回授業時に説明）を受けた場合は、遅刻と同等の扱いとし、遅刻と同じ累積勘定に加えられる。30 分以上の遅刻は、出席簿上欠席扱いとする。欠席・遅刻・ペナルティは平常点の減点対象となる。
不正について
各課題においてコピペ、他受講者の引き写し、著作物の剽窃、機械翻訳を行なったことが発覚した場合、該当受講生に対する該当授業回の評価を無しとする。再犯が発覚した場合、単位取得資格を停止したうえで教務課に通報する。複数の受講生が関与した場合、全員同様の処分の対象となる。他受講生の不正を黙認した場合も同様である（したがって「他の人もやっている」という抗弁は通用しない）。

【学生の意見等からの気づき】
タスクが多すぎるのは、４技能およびコンテンツ理解のそれぞれについて成績評価を行なわなければならない English 3 の宿命です。視覚的情報の不足を補うため、写真・図像だけでなく、English Heritage 公式チャンネルなどの動画も、時間が許すならば見せて説明します。

【Outline and objectives】
In this course, students will improve their skills in English (i.e. reading, listening, writing, and speaking) through various topics on Victorian Britain.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**ヴィクトリア時代のイギリス社会**

永井　大輔

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：初級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
小説、ドラマ、漫画などで何かと舞台になる（だがよくは知らない）ヴィクトリア時代の英国について学びながら、英語の基本 4 技能（reading, listening, writing, speaking）の向上を目指します。

【到達目標】
英語の基本 4 技能については、以下の目標を設定します。
・英語に関することであろうとなかろうと、読んでいて分からないことは、自主的に調べる習慣を身につける。
・あまり知識のないトピックに関する英語音声を聴く際にも障害にならない程度に、基本的なフレーズや文法、発音のルールを覚える。
・今まで使ったことのない語彙を用いて、品詞や節、文のルールを守った文章が書ける。
・質疑応答のパターンを身につけ、トピックが変わっても動揺せずにロジカルな発言ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
基本的に教科書を進めていきます。1 章あたり 2 授業回を費やします。各章の初回は speaking と reading のタスクを行ない、ペアを組ませての質疑応答練習や、文章の内容に関する質問をします。次の回は listening と writing のタスクを行ない、ディクテーションや英作文をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Chapter 7 (1)	Angel in the Home Speaking & reading 最初の授業回から教科書を進めます。予習・準備を忘れないで下さい。
第 2 回	Chapter 7 (2)	（前回の続き） Listening & writing
第 3 回	Chapter 8 (1)	Life below Stairs Speaking & reading
第 4 回	Chapter 8 (2)	（前回の続き） Listening & writing
第 5 回	Chapter 9 (1)	Victorian Schooling Speaking & reading
第 6 回	Chapter 9 (2)	（前回の続き） Listening & writing
第 7 回	Chapter 10 (1)	Art and Architecture Speaking & reading
第 8 回	Chapter 10 (2)	（前回の続き） Listening & writing
第 9 回	Chapter 11 (1)	A New Reading Public Speaking & reading
第 10 回	Chapter 11 (2)	（前回の続き） Listening & writing
第 11 回	Chapter 12 (1)	Social Reform Speaking & reading
第 12 回	Chapter 12 (2)	（前回の続き） Listening & writing
第 13 回	予備日	教科書でやり残した箇所を扱います。やり残した箇所がなければ、Chapter 13~15 の内容を概観することとします。
第 14 回	Chapter 7~12 のまとめ	内容のおさらい TOEIC 形式の小テストを 2 本実施します。単位取得希望者は必ず受けて下さい。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎授業回の質問は、予習・復習を前提としたものになります (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間以上を標準とします)。
・質問等にはみずから調べた事柄が必要になる場合もあります。予習や調べ物には相当の時間をかけねばならず、授業前に他の受講生から聞きかじる程度では単位を落とすと覚悟して下さい。
・Listening の問題については､予習が必須となるでしょう。Speaking 能力の向上のために、listening の音声を真似る'shadowing' という作業を行なってみて下さい。
・Speaking のタスクについては、教科書で紹介された例文以外にも、自分で考えた回答を何パターンか用意しておいて下さい。

【テキスト（教科書）】
杉村醇子・古瀬明里・山崎麻由美（編注）『ヴィクトリア朝からの贈りもの - VICTORIANS』、英宝社、2011 年。2000 円＋税　ISBN ： 978-4-269-15014-0 C1082
毎授業回に辞書（英和もしくは英英、場合によっては和英も）持参が必須です。授業中使用できるのは紙媒体の辞書もしくは専用装置型の電子辞書のみです。

【参考書】
コリン・マシュー編『19 世紀: 1815 年-1901 年』（オックスフォードブリテン諸島の歴史 第 9 巻）、慶應義塾大学出版会、2009 年。
A. ブリッグズ『ヴィクトリア朝の人びと』（Minerva 西洋史ライブラリー 9）、ミネルヴァ書房、1995 年。
フリードリヒ・エンゲルス『イギリスにおける労働者階級の状態: 19 世紀のロンドンとマンチェスター』（岩波文庫、白 (34)-129-0,1）、岩波書店、1990 年。
ヘンリー・メイヒュー『ヴィクトリア朝ロンドンの下層社会』（Minerva 西洋史ライブラリー 84）、ミネルヴァ書房、2009 年。
ジャック・ロンドン『どん底の人びと: ロンドン 1902』（岩波文庫、赤-315-2,32-315-2）、岩波書店、1995 年。
松村昌家の著作（例えば『大英帝国博覧会の歴史』など）多数。
Asa Briggs, The Age of Improvement, 1783-1867, 2nd ed. (Longman, 2000).
G. Kitson Clark, The Making of Victorian England (1962).
Boyd Hilton, The Age of Atonement: The Influence of Evangelicalism on Social and Economic Thought, 1785-1865 (Clarendon Press, 1988).

【成績評価の方法と基準】
毎授業回の授業参加度： 70%
・質疑応答練習の出来栄え
・質問に対して十分な予習をふまえた回答ができたか
・ディクテーション
・作文
第 14 回授業回の小テスト 2 本： 30%
・春学期学修内容の理解度
・TOEIC 形式の設問に対する順応
欠席および遅刻について
学期中に 4 回欠席した受講生は単位取得資格を失なう。遅刻は累積 3 回で欠席 1 回と同等の扱いとする。その他授業に対する貢献が著しく低いと教員が判断し、授業中にペナルティ（初回授業時に説明）を受けた場合は、遅刻と同等の扱いとし、遅刻と同じ累積勘定に加えられる。30 分以上の遅刻は、出席簿上欠席扱いとする。欠席・遅刻・ペナルティは平常点の減点対象となる。
不正について

各課題においてコピペ、他受講者の引き写し、著作物の剽窃、機械翻訳を行なったことが発覚した場合、該当受講生に対する該当授業回の評価を無しとする。再犯が発覚した場合、単位取得資格を停止したうえで教務課に通報する。複数の受講生が関与した場合、全員同様の処分の対象となる。他受講生の不正を黙認した場合も同様である（したがって「他の人もやっている」という抗弁は通用しない）。

【学生の意見等からの気づき】
タスクが多すぎるのは、４技能およびコンテンツ理解のそれぞれについて成績評価を行なわなければならない English 3 の宿命です。視覚的情報の不足を補うため、写真・図像だけでなく、English Heritage 公式チャンネルなどの動画も、時間が許すならば見せて説明します。

【Outline and objectives】
In this course, students will improve their skills in English (i.e. reading, listening, writing, and speaking) through various topics on Victorian Britain.

LANe200LA

English ３ I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Global issues and Japan

青山　恵子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：初級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業の目的は「英語を読み聞く」を「英語で考え発信する」へと発展させていくことにあります（learning four skills of reading,listening, speaking and writing)。日本が直面する社会問題をグローバルな視点から考え学びます。

【到達目標】
1. 音読が適切にできるようになること
2. テクスト内容を正確に理解し英語で要約できるようになること
3. 授業で学んだ諸問題について解説と意見を論理的に英語で表現できるようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それに伴う各回の授業計画の変更については、学習支援システム (Hoppii) でその都度提示します。本授業の開始日は 4 月 29 日 (水）とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システム上に提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Self-introduction and explanation of the course
2	Understanding issue: International Society and Japan	Vocabulary check / paragraph reading / reading aloud practice / summarizing
3	Understanding issue: Budget for Education	Vocabulary check / paragraph reading / reading aloud practice / summarizing
4	Understanding issue: Childbirth	Vocabulary check / paragraph reading / reading aloud practice / summarizing
5	Understanding issue: Democracy(1)	Reading paragraphs on the issue and listening to model opinions
6	Understanding issue: Democracy(2)	Listening to model opinions and exchanging opinions
7	Presenting on Democracy	Mini-presentation practice based on the issue
8	Understanding issue: Japan in Globalization (1)	Reading paragraphs on the issue and listening to model opinions
9	Understanding issue: Japan in Globalization (2)	Listening to model opinions and exchanging opinions
10	Presenting on Japan and Globalization	Mini-presentation practice based on the issue

11	Understanding issue:Humans or AI?(1)	Listening to model opinions and exchanging opinions
12	Understanding issue: Humans or AI?(2)	Summary writing and paragraph writing on AI
13	Presenting on AI as workforce	Mini-presentation practice based on the issue
14	Review and Test	Reviewing the topics and test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course（本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします）
1 Weekly reading home assignments: テクストの指定箇所の予習（Vocabulary Check, Reading each “Case” and “Read On”）
2 Preparation for mini-presentation: 扱った問題の復習とプレゼンテーションの事前練習
3 Home assignments for Writing Workshop: 扱った問題について自分の意見を整理し立場を明らかにしたうえで論理的なパラグラフを書いてくる

【テキスト（教科書）】
James M. Vardaman, Japan in International Society: A comparison of Facts and Figures (『データから考える日本と世界』）, 音羽書房鶴見書店, 2011

【参考書】
Provided during sessions

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講になったことに伴い、成績評価の方法と基準も変更します。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示します。

【学生の意見等からの気づき】
No feedback from student because this is the first year of the class

【学生が準備すべき機器他】
Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline and objectives】
This is a content-based English learning class focusing on problematic issues in Japanese society and their correlation with global issues. You will practice systematic reading and presentation skills. In Writing Workshops, you will also practice well-organized paragraph writing skills.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Global issues and Japan

青山　恵子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：初級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
日本が直面する社会問題をグロー バルな視点から考え学びます。English 3 I に引き続き「英語を読み聞く」を「英語で考え発信する」へと発展させていくことを目的とします (learning four skills of reading,listening, speaking and writing)。

【到達目標】
1. 音読が適切にできるようになること
2. テクスト内容を正確に理解し英語で要約できるようになること
3. 授業で学んだ諸問題についての解説と意見を論理的に英語で表現できるようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students participate in some practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing:
1 Reading: paragraph reading
2 Listening and reading aloud practice
3 Speaking: exchanging opinions and mini-presentation
4 Writing workshop: summary writing and paragraph writing

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Explanation of the course topics and classroom methods; and exchanging ideas
2	Understanding issue: Global Citizenship (1)	Reading and listening to paragraphs on global citizenship / reading aloud practice
3	Understanding issue: Global Citizenship (2)	Reviewing the topic and exchanging opinions
4	Understanding issue: Human Rights and Japan (1)	Reading and listening to paragraphs on human rights / reading aloud practice
5	Understanding issue: Human Rights and Japan (2)	Reviewing the topic and exchanging opinions
6	Presenting on Human Rights	Mini-presentation on the topic
7	Understanding issue: War and Peace (1)	Reading and listening to paragraphs on Military Expenditure / reading aloud practice
8	Understanding issue: War and Peace (2)	Reading and listening to paragraphs on Nuclear Weapons and Japan

9	Understanding issue: War and Peace (3)	Reading and listening to paragraphs on Nuclear Weapon Ban Treaty
10	Presenting on War and Peace	Mini-presentation on the topic
11	Understanding issue: Japan's contribution to the World (1)	Reading and listening to paragraphs on foreign Aid / reading aloud practice
12	Understanding issue: Japan's contribution to the World (2)	Reading and listening to paragraph on Japan's contribution to World Peace, and exchanging opinions
13	Presenting on Japan's contribution to the World	Mini-presentation practice based on Japanese role in the world
14	Review and Test	Reviewing the topics and test.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and revie are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします)
1. Weekly reading home assignments: テクストの指定箇所の下読み、ボキャブラリーチェック、音読の練習
2. Preparation for mini-presentations: 取り上げた問題とトピックの内容の復習、プレゼンテーションの練習
3. Home assignments for Writing Workshops: 取り上げた問題について自分の意見を整理し立場を明らかにしたうえで論理的なパラグラフを書いてくる

【テキスト（教科書）】
Materials will be provided

【参考書】
Provided during sessions

【成績評価の方法と基準】
Active class participation including writing and presentation activities 30%
Home assignment 20%
Test 50%
In principle, no more than 3 absences per semester are allowed (各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】
No feedback because from student because this is the first year of the course.

【学生が準備すべき機器他】
Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline and objectives】
The course focuses on reading, listening, presenting and writing about "global issues in Japan" in English. Students will practice well-organized short essay writing and effective presentation skills.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Modern Society

ALAN M NICHOLLS

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／英語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This English 3 course builds upon the skills and knowledge students gained in English 1 and English 2. and requires students to exercise all four communication skills: reading, writing, listening and speaking. The course explores different topics related to "Modern Society", from the perspectives of an international journalist. the course will compare Japanese society/lifestyle and other cultures. There are three major themes of the course which are inter-related:
1) The importance of food in cultures
2) Meeting people from different cultures
3) Living in different cities

【到達目標】
Students will enhance their English reading skills and critical thinking through reading various texts and will deepen their understanding of different cultures in the process. Students will improve their communication ability by practicing voicing their opinions about important issues related to society and lifestyle.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
The textbook for this subject will be supplemented by additional BBC News articles or TED Talks, that will require comprehension analysis. Students will be required to prepare questions for discussion in small (random) groups and present their group opinions to the class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Overview and join CMS. Grading and Attendance Basic structures review
2	Food cultures	Listening: Vocabulary Climate and food
3	Food culture	Speaking: Food staples Describing food
4	Food culture	Writing: Japanese food Video: Different food
5	Meeting people from other cultures	Vocabulary: Describe life experience Small talk topics
6	Meeting people from other cultures	Speaking: "Breaking the Ice" Overcome language barriers

7	Meeting people from other cultures	Writing: Video:
8	Urbanization	Listening and Note taking Video and Script. Changing cities
9	Urbanisation	Vocabulary: The future of cities. Video: ECO cities
10	Urbanisation	Speaking: What more do we need to make a great city?
11	Urbanisation	TED Video: How food shapes our cities (and our bodies)
12	Ancient cities	The History of Tokyo and food culture
13	Modern cities	Video: Having fun in the city
14	Bring it all together	Group work. Prepare and present a summary of the topics covered in this course.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
There will be some short, simple, written homework assignments designed to test the students understanding of the ideas presented in the major themes of the course. Each homework assignment will be 10% of total course value.

【テキスト（教科書）】
World English 2, (3rd Edition), Kristin L. Johannsen and Rebecca Tarver Chase, CENGAGE LEARNING

【参考書】
BBC World News
TED.com

【成績評価の方法と基準】
Homework Assignments: 40%
Classroom Worksheets: 40%
Pair and Group Participation: 20%
There will be 10 assessments during the semester. Each assessment will have a course value of 10%.
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable

【学生が準備すべき機器他】
Please bring Japanese/English and English/English Dictionaries.
A Thesaurus will also be useful. Apps for smartphones / mobile devices are acceptable.
Also, a portable device that supports a Word Processor (all assignments should be submitted in Google Docs format)
Access to Cloud computing may be an advantage.
Voice recognition software may be an advantage.
Students should know their Hosei University Gmail account details.

【その他の重要事項】
We will use Google “Classroom” to send, submit and record all assignments. Students will be required to join the subject using “Classroom” and will be required to change their profile on Gmail with their "Class Number). Please download Google Classroom to your device before our first class. Course code is: t2gtm7n

【Outline and objectives】
Students will be able to discuss, and give opinions on, some contemporary issues using English communication.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Modern Society

ALAN M NICHOLLS

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／英語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This English 3 course builds upon the skills and knowledge students gained in English 1, English 2 and English 3 1. It requires students to exercise all four communication skills: reading, writing, listening and speaking. The course explores different Aspects of Modern society, from the perspectives of an International journalist. The course will compare Japanese society/lifestyle and other cultures. There are three major themes of the course which are inter-related:
1) Health and health systems
2) Facing and overcoming challenges
3) Change and change management

【到達目標】
Students will enhance their English reading skills and critical thinking through reading various articles and will deepen their understanding of different cultures. Students will improve their communication ability by practicing voicing their opinions, in small groups, about important issues related to society and lifestyle.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
The textbook for this subject will be supplemented by additional BBC World News articles or TED topics, that will require comprehension analysis. Students will be required to prepare questions for discussion in small (random) groups and present their group opinions to the class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Overview, Grading and Attendance. Organs and systems. Comparatives and superlatives
2	Health and Health systems	Listening: Genetics vs lifestyle
3	Health and Health systems	Reading: Natural Remedies
4	Health and Health systems	Video: The Human body
5	Facing and overcoming challenges	Vocabulary of "challenge". Practice using Basic Past structures
6	Facing and overcoming challenges	Speaking about past accomplishments.
7	Facing and overcoming challenges	Reading / Writing about challenges Video: A challenging vocation

8	Change and Change management	Vocabulary of life stages. Unfinished business
9	Change and Change management	Listening: Life stages Vocabulary expansion adjectives and adjective opposites
10	Change and Change management	Video 1 Overcoming change. Video 2: Cultural differences
11	Change and Change management	TED Video: Economics, Technology and social equity
12	Changes in Technology	A.I., Blockchain and Robotics. Will these help or hinder us?
13	Changes in technology	Our aging society and do we really want to live forever?
14	Bring it all together	Group work. Prepare and present a summary of the topics covered in this course.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
There will be some short, simple, written homework assignments designed to test the students understanding of the ideas presented in the major themes of the course. Each homework assignment will be 10% of total course value.

【テキスト（教科書）】
World English 2, (3rd Edition), Kristin L. Johannsen and Rebecca Tarver Chase, CENGAGE LEARNING

【参考書】
To be advised

【成績評価の方法と基準】
Homework Assignments: 40%
Classroom Worksheets: 40%
Pair and Group Participation: 20%
There will be 10 assessments during the semester. Each assessment will have a course value of 10%.
In principle, no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable

【学生が準備すべき機器他】
Please bring Japanese/English and English/English Dictionaries.
A Thesaurus will also be useful. Apps for smartphones / mobile devices are acceptable.
Also, a portable device that supports a Word Processor (all assignments should be submitted in Google Docs format)
Access to Cloud computing will be required.
Voice recognition software may be an advantage.

【その他の重要事項】
We will use Google “Classroom” to send, submit and record all assignments. Students will be required to join the subject using “Classroom” and will be required to change their profile on Gmail with their "Class Number". The Google Classroom course code is: To Be Advised.

【Outline and objectives】
Students will be able to discuss, and give their opinions about, contemporary issues

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Undercover Boss

ロバート・D・ヒントン

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is a content based course aimed at helping
students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American
culture and society.

【到達目標】
The goal of this course is to increase fluency,
accuracy and confidence in the areas of speaking,listening, reading
and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
This class will start on Friday, April 24, 2020 in its regularly scheduled period using the online HOPPII Learning Management System. Students should try to self-register into the class student roster in HOPPII Learning Management System.
The class will be conducted online using the HOPPII Learning Management System until further notice. The HOPPII System will be used as the initial meeting point and communication platform, but students will be expected to branch out and use other technology platforms and/or websites as the course progresses.
Each week students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate is discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Introductions, explanations	Information about the course and survey questions
Week 2	The Beginning of Undercover Boss - 7-11	Research 20 interesting facts about 7-11 - group discussion
Week 3	Roto Rooter	Review the Roto Rooter website and a comparable Japanese company - present findings

Week 4	CSI Commerce	Writing about shopping/buying habits
Week 5	Herschend Entertainment	Writing about a favorite entertainment venue
Week 6	Waste Management	Report about an ecological issue
Week 7	Loehman's	Fashion report
Week 8	Menchies	Writing about favorite fast food outlet
Week 9	Alfred Angelo	Unique wedding customs in the world
Week 10	Hudson Group	Design dream vacation
Week 11	Cinnabon	Report about women in business
Week 12	Mohecan Sun	Minority group report
Week 13	Dutch Brother's Coffee	Coffee facts and figures
Week 14	Utah Jazz	Report about a sport

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
No text will be used in this course.

【参考書】
None.

【成績評価の方法と基準】
This class will start on Friday, April 24, 2020 in its regularly scheduled period using the online HOPPII Learning Management System. Students should try to self-register into the class student roster in HOPPII Learning Management System.
The class will be conducted online using the HOPPII Learning Management System until further notice. The HOPPII System will be used as the initial meeting point and communication platform, but students will be expected to branch out and use other technology platforms and/or websites as the course progresses.

【学生の意見等からの気づき】
The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline and objectives】
This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking,reading and writing.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Undercover Boss

ロバート・D・ヒントン

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is a content based course aimed at helping
students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American
culture and society.

【到達目標】
The goal of this course is to increase fluency,
accuracy and confidence in the areas of speaking,listening, reading
and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Each week students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate is discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	The Beginning of Undercover Boss - 7-11	Research 20 interesting facts about 7-11 - group discussion
Week 2	Herschend Entertainment	Partner interview of selected entertainment venue
Week 3	Roto Rooter	Review the Roto Rooter website and a comparable Japanese company - present findings
Week 4	CSI Commerce	Discussion of on-line shopping and websites
Week 5	Loehman's	Retail outlet presentation
Week 6	Alfred Angelo	Discuss 3 reasons for each of the 5 chosen CEOs or owners
Week 7	CEO/Owner presentation planning	Group work for CEO or owner presentation
Week 8	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions
Week 9	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions

Week 10	Cinnabon	Share research findings of fast food retail outlets - small group discussion
Week 11	Dutch Bros Coffee	Presentation of coffee facts and figures
Week 12	Mohecan Sun	Minority group presentations
Week 13	Peavey Electronics	Ecology quiz and group brainstorming
Week 14	Hudson Group	Partner interview sheet - "dream vacation"

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
No text will be used in this course.

【参考書】
None.

【成績評価の方法と基準】
Students will be evaluated based on weekly homework (40%), classroom activities such as: listening comprehension worksheets, note taking, participation in discussions (40%), and presentations (20%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester to receive academic credit for the course.

【学生の意見等からの気づき】
The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline and objectives】
This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking,reading and writing.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Aspects of the English Speaking World

クレッグ　ジョンストン

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
To develop students' ability to think critically and express their own thoughts and opinions on current issues and topics observed in the English speaking world

【到達目標】
Students will further develop their English communication proficiency by integrating the four skills of reading, writing, speaking, and listening in the communication tasks undertaken during the course.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
The first day of class will be held on April 24, 2020 via Zoom at the normal class time: 3:00 pm. Please refer to the announcement on Hoppii for the URL and login details.
The course will utilize pair work and group work for discussion activities. There will also be regular presentations made by students on topics covered throughout the course.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Chapter 1 Embrace stress	Vocabulary and listening development Introduction of Response Journals (RJ)
Week 2	Reading: The stressed-out generation TED talks: How to make stress your friend	Involving the audience Gerund/infinitives
Week 3	Quiz chapter 1 Chapter 2 Media influences	Vocabulary and listening development
Week 4	Reading: Superheros as role models TED talks: How movies teach manhood	Relative clauses Effect of Media Knowing your audience
Week 5	Quiz chapter 2 Ch 3 Development	Vocabulary and listening development
Week 6	Reading: The economics of happiness TED talks: Global population growth	Describing goals and ambitions Adding points to an explanation Present perfect simple/continuous

Week 7	Quiz chapter 3 Presentation: Favorite fictional character/Wealth distribution in a country	Presentations on Favorite fictional character/Wealth distribution in a country
Week 8	Ch 4 Secrets & lies	Vocabulary and listening development
Week 9	Reading: Lies we need to tell TED talks: How to spot a liar	Collocations Giving examples Modals of deduction & speculation
Week 10	Quiz chapter 4 Ch 5 To the edge	Vocabulary and listening development
Week 11	Reading: Magic man TED talks: How I held my breath for 17 minutes	Time expressions Stating challenges and successes Explaining technical words
Week 12	Quiz chapter 5 Ch 6 Money matters	Vocabulary and listening development
Week 13	Reading: Giving something back TED talks: Giving away wealth	Collocations Listening for main ideas Phrasal verbs Authenticity
Week 14	Quiz chapter 6 Presentation: Explaining a significant achievement	Presentation: Explain your most significant acheivement

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Vocabulary review for speaking activities and quizzes
Presentation preparation, including preparing visuals
Assigned textbook exercises
Regular writing assignments on topics covered in the course kept in a A4 sized notebook to be used as a response journal (RJ)
Preparation and review are around 1 hour a week.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Dummett, Stephenson, Lansford; Keynote 4, Cengage Learning, ISBN: 978-1-305-96505-5

【参考書】
www.vocabularysize.com
https://quizlet.com/KreggJ/folders
https://owl.english.purdue.edu/owl/section/1/

【成績評価の方法と基準】
Homework 10%
Writing 25%
Class participation 15%
Quizzes/Tests 40%
Speech/Presentation 10%
* Students must attend class regularly in order to pass. Excessive absences and tardiness will result in failure of the course
No more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
Increased emphasis on expressing and responding to opinions

【Outline and objectives】
Students will learn about issues facing cultures around the world and will develop their ability to form and express their own opinions on these topics and react to the opinions of others.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Aspects of the English Speaking World

クレッグ　ジョンストン

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
To develop students' ability to think critically and express their own thoughts and opinions on current issues and topics observed in the English speaking world

【到達目標】
Students will further develop their English communication proficiency by integrating the four skills of reading, writing, speaking, and listening in the communication tasks undertaken during the course.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
The course will utilize pair work and group work for discussion activities. There will also be regular presentations made by students on topics covered throughout the course.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Chapter 7 Medical frontiers	Vocabulary and listening development
Week 2	Reading: Just press print TED talks: Problem of prosthetic limbs	Modals of probability Signpost language Body movement & gestures
Week 3	Quiz chapter 7 Chapter 8 Life decisions	Vocabulary and listening development
Week 4	Reading: The defining decade TED talks: Why the 30's is not the new 20's	Future perfect/future perfect progressive Listing for opinions Describing milestones
Week 5	Quiz chapter 8 Ch 9 Technology & innovation	Vocabulary and listening development
Week 6	Reading: Drones TED talks: Robots that can fly and cooperate	Clues from context 1st & 2nd conditional Referring to visuals Debating
Week 7	Quiz chapter 9 Presentation: Robotic surgery: for or against	Presentations whether robotic surgery should be allowed
Week 8	Ch 10 Connections	Vocabulary and listening development
Week 9	Reading: The lost art of listening TED talks: 5 ways to listen better	Reported speech Identifying cause & effect Summarizing with acronyms

Week 10	Quiz chapter 10 Ch 11 Life in the slow lane	Vocabulary and listening development
Week 11	Reading: Your brain on nature TED talks: Cloudy w/ a chance of joy	Articles & quantifiers Repeating main ideas Showing enthusiasm
Week 12	Quiz chapter 11 Ch 12 Make yourself heard	Vocabulary and listening development
Week 13	Reading: Whistle blowers TED talks: Dare to disagree	3rd & mixed conditionals Listen for stressed words Using pauses
Week 14	Quiz chapter 12 Presentation: A vacation spot where people can slow down and enjoy nature	Presentation on a place where people can slow down and enjoy nature

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Vocabulary review for speaking activities and quizzes
Presentation preparation, including preparing visuals
Assigned textbook exercises
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
Regular writing assignments on topics covered in the course kept in a A4 sized notebook to be used as a response journal (RJ)
Preparation and review are around 1 hour a week.

【テキスト（教科書）】
Dummett, Stephenson, Lansford; Keynote 4, Cengage Learning, ISBN: 978-1-305-96505-5

【参考書】
www.vocabularysize.com
https://quizlet.com/KreggJ/folders
https://owl.english.purdue.edu/owl/section/1/

【成績評価の方法と基準】
Homework 10%
Writing 25%
Class participation 15%
Quizzes/Tests 40%
Speech/Presentation 10%
* Students must attend class regularly in order to pass. Excessive absences and tardiness will result in failure of the course
No more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
Increased emphasis on expressing and responding to opinions

【Outline and objectives】
Students will learn about issues facing cultures around the world and will develop their ability to form and express their own opinions on these topics and react to the opinions of others.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Communication & Conversing

Robert Durham

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／英語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

【到達目標】
Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
NEW INFORMATION: BECAUSE OF THE COVID-19 STATE OF EMERGENCY, OUR CLASSES WILL BEGIN (ONLINE) FROM APRIL 24, 2020

Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills via pair practice conversations with their classmates & professor.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	[All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events.] Introductions, in smoothly, natural, friendly English. News video #1/TED Talk video #1.	Introduction vocabulary; & 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.
第 2 回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English.	How to say your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.

第 3 回	Using the Future tense in English, to explain your Golden Week plans.	Active English spoken expressions, re: Golden Week future plans. News video/TED video #2.
第 4 回	Actively explaining your Golden Week activities, in spoken English.	Speaking about Golden Week, in spoken English, using the Past Tense. News video/TED Talk #2 (continued).
第 5 回	”How are you?”	Pairwork will be used to practice many, various ways to reply dynamically in English, to questions such as ”How’s it going?” News video/TED Talk #3, part 1.
第 6 回	Expressing your opinions about Current Affairs News videos/TED Talk #3 part 2, in active, dynamic spoken English.	Pair practice: speaking your opinions about News videos/TED Talks, in active English.
第 7 回	Video documentary or News clips, with questions about it.	Students will learn how to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic.
第 8 回	News or TED Talk video #4, part 1.	Pair practice in spoken English, to explain student opinions about the topics raised by the video.
第 9 回	News or TED Talk video #4, part 2.	Explaining, in spoken English, student opinions about the topics in the video.
第 10 回	Use of many different English adjectives, to explain opinions and comments.	Students will explain their opinions about many current topics to classmates, in smooth, Modern English.
第 11 回	News or TED Talk video #5, part 1.	Students will watch the News or TED video clip...and will be asked to discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English.
第 12 回	News or TED Talk video #5, part 2./ Exam, re: topics studied and discussed during the Spring 2019 semester.	Students will watch the News or TED video clip; will be asked to answer questions about it; and will then discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English./ Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Spring semester.
第 13 回	.	.
第 14 回	.	.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please do homework well before the deadline [NOT ”ichiyazukke”]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; please don’t work at part-time jobs excessively; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

A textbook might be chosen, depending on students levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

【参考書】

—-

【成績評価の方法と基準】

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams spoken replies (approximately 25%); in-class perfomance(approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.

【学生の意見等からの気づき】

—

【学生が準備すべき機器他】

Please bring to each class: a notebook/binder; a black pen; a red pen; an English-Japanese/Japanese-English dictionary [paper or electronic]; an English language LARGE namecard; and a daily planner/schedule book [a ’techo’, in Nihongo].

【その他の重要事項】

NEW INFORMATION; Because of the Covid-19 ’State of Emergency’, classes will start ONLINE, April 24th, via HOPPII. Please contact me via Hoppii, and/or via e-mail (import4u@gmail.com). We are all novices at ’Online Learning’, so we will all probably make some ’mis-steps’. Please PERSEVERE...and keep in touch.

We MIGHT try to arrange some Online video classes/chats...after resolving technical issues. Please make sure that you have an Internet-enabled PC. Also, maybe Docomo, Au, & Sofbank will permit you to have an extra 50GB of access, free. (Please check.)

———————

Please participate ACTIVELY in class; please sit together with other students, in class, AT THE FRONT OF THE ROOM; and please speak together with your classmates, using lots of eye contact & good Body Language. If you’re not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering ”I don’t know”.

* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. *

【-】

—

【Outline and objectives】

This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Communication & Conversing

Robert　Durham

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／英語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is a Fall semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

【到達目標】
Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills via pair practice conversations with their classmates & professor.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	[All SCHEDULE	Summer Past Tense
第 1 回:	items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events.] ”How was tour Summer Break?”[Discussing Summer events is smooth, Modern English, using the English Past tense.] News video #1/TED Talk video #1.	vocabulary; & ’EQ’ responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.
第 2 回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English.	How to say your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.
第 3 回	Using the Future tense in English, to explain your Hallowe’en plans.	Active English spoken expressions, re: Hallowe’en future plans. News video/TED video #2.
第 4 回	Actively explaining your possible Hallowe’en activities, in spoken English.	Actively speaking about Hallowe’en, in spoken English, using the Past Tense. News video/TED Talk #2 (continued).
第 5 回	”How was your ____ ?”, & also News video/TED Talk #3, part 1.	Pairwork will be used to practice many, various ways to reply dynamically in English, to questions such as ”How was your weekend...?” News video/TED Talk #3, part 1.
第 6 回	Expressing your opinions about Current Affairs News videos.	TED Talk #3 part 2, in active, dynamic spoken English.
第 7 回	Video documentary or News clips, with questions about it.	Students will learn how to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic.
第 8 回	News or TED Talk video #4, part 1.	Pair practice in spoken English, to explain student opinions about the topics raised by the video.
第 9 回	News or TED Talk video #4, part 2.	Explaining, in spoken English, student opinions about the topics in the video.
第 10 回	Use of many different English adjectives, to explain opinions and comments.	Students will explain their opinions about many current topics to classmates, in smooth, Modern English.
第 11 回	News or TED Talk video #5, part 1.	Students will watch the News or TED video clip...and will be asked to discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English.
第 12 回	News or TED Talk video #5, part 2.	Students will watch the News or TED video clip; will be asked to answer questions about it; and will then discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English.
第 13 回	Exam, re: topics studied and discussed during the Fall 2019 semester.	Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Fall semester.
第 14 回	Students will be asked to give opinions in spoken English, re: the video, and/or Winter Break plans.	Students will be asked to give opinions in spoken English, re: the video, and/or Winter Break plans.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Please do homework well before the deadline [NOT ”ichiyazukke”]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; please don’t work at part-time jobs excessively; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.
University guidelines suggest preparation and review are around 4　hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
A textbook might be chosen, depending on students levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

【参考書】
—

【成績評価の方法と基準】
Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams spoken replies (approximately 25%);in-class perfomance(approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).
IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.

【学生の意見等からの気づき】
—

【学生が準備すべき機器他】
Please bring to each class: a notebook/binder; a black pen; a red pen; an English-Japanese/Japanese-English dictionary [paper or electronic]; an English language LARGE namecard; and a daily planner/schedule book [a 'techo', in Nihongo].

【その他の重要事項】
Please participate ACTIVELY in class; please sit together with other students, in class, AT THE FRONT OF THE ROOM; and please speak together with your classmates, using lots of eye contact & good Body Language. If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".
* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. *

【–】
–

【Outline and objectives】
This is a Fall semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本**

宇治谷　義英

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
世界の中の日本——日本は世界からどう見られているか
English 3 では、English1 と English2 で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力を更に深めます。またこれら 4 技能を総合的に駆使し、あるテーマについて英語で情報を得、その情報を批判的に考察し、さらに自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。
本授業では，英米のニュースメディアにおける日本についての情報を読み，聴くことを通して上記の力を伸ばしていきます.

【到達目標】
・複雑に見える英語の正確な読解ができること.
・英文記事全体の要旨を正確に把握できること.
・ニュースの英語が聞き取れるようになること.
・正確な英語で作文が出来るようになること.
・英語でニュース記事について発表そして質疑応答が出来るようになること.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
4/24 正式授業開始です
担当教員の選んだニュース記事の精読，グループによるニュース記事についての発表，ニュース記事についての作文，ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロ	席決め，グループ決め，授業の説明，ウォームアップ.
2	"Carlos Ghosn's lawyers say his treatment is illegal and inhuman"（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
3	"Carlos Ghosn's lawyers say his treatment is illegal and inhuman"の続き（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
4	グループの持ち寄り記事	グループ発表とディスカッション
5	"'We wanted a new vibe'_ the Japanese town that outlawed sprawl"（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.

6	"'We wanted a new vibe'_ the Japanese town that outlawed sprawl"の続き（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
7	グループの持ち寄り記事	グループ発表とディスカッション
8	"Japan apologises to victims of forced sterilisation"（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
9	"Japan apologises to victims of forced sterilisation"の続き（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
10	グループの持ち寄り記事	グループ発表とディスカッション
11	"Japan ruling party distributes 'anti-gaffe' guide after litany of blunders"（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
12	"Japan ruling party distributes 'anti-gaffe' guide after litany of blunders"の続き（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
13	グループの持ち寄り記事	グループ発表とディスカッション
14	まとめと達成度の確認	グループでディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
講読では，辞書とネットを駆使して不明な単語，表現を下調べして準備しておくこと．発表は，資料の準備，そして必ずリハーサルをしておくこと．課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します．
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
扱う記事の入手方法（URL 等）は前週までに指示します．

【参考書】
『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社, 1999)，および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます．

【成績評価の方法と基準】
オンライン開講になったので成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、学習支援システムで提示する。
　課題を含む平常点 (20%) と 2 回の試験 (80%) から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合，正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります．病気などのやむを得ない事情を除いて，原則として全授業出席する必要があります．
　病欠も含めた欠席回数が 4 回を数えた時点で単位取得の資格を失います．未予習での出席は欠席扱いとし，授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し，その日は欠席扱いとします．遅刻は授業開始の合図から 20 分以内に入室した者だけ認めますが，2 回の遅刻につき 1 回の欠席と見なします．

【学生の意見等からの気づき】
学生の発表に対するフィードバックにも重点を置きたいと思います．ニュース英語のリスニングを苦手とする学生が多いので内容と同時に聴き取りのコツを説明します．

【Outline and objectives】
In this course, students learn how Japan is viewed from outside through US or UK media and try to express their own opinion in English.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本**

宇治谷　義英

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
世界の中の日本――日本は世界からどう見られているか
English 3 では、English1 と English2 で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力を更に深めます。またこれら 4 技能を総合的に駆使し、あるテーマについて英語で情報を得、その情報を批判的に考察し、さらに自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。
本授業では，春学期に引き続いて英米，またそれ以外の国のニュースメディアにおける日本についての情報を読み，聴くことを通して上記の力を伸ばしていきます.

【到達目標】
・複雑に見える英語の正確な読解ができること.
・英文記事全体の要旨を正確に把握できること.
・ニュースの英語が聞き取れるようになること.
・正確な英語で作文が出来るようになること.
・英語でニュース記事について発表そして質疑応答が出来るようになること.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
担当教員の選んだニュース記事の精読，グループによるニュース記事についての発表，ニュース記事についての作文，ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	"#KuToo_ Japanese women submit anti-high heels petition"（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げた）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
2	"#KuToo_ Japanese women submit anti-high heels petition"の続き（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げた）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
3	グループの持ち寄り記事	グループ発表とディスカッション
4	"High heels at work are necessary, says Japan's labour minister"（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げた）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
5	"High heels at work are necessary, says Japan's labour minister"の続き（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げた）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
6	グループの持ち寄り記事	グループ発表とディスカッション
7	"The Tokyo neighbourhood where people come to disappear"（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げた）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
8	"The Tokyo neighbourhood where people come to disappear"の続き（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げた）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
9	グループの持ち寄り記事	グループ発表とディスカッション
10	"Fukushima fishermen concerned"（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げた）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
11	"Fukushima fishermen concerned"の続き（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げた）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
12	グループの持ち寄り記事	グループ発表とディスカッション
13	"Japan's Korean residents"（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げた）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
14	まとめと達成度の確認	グループでディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
講読では，辞書とネットを駆使して不明な単語，表現を下調べして準備しておくこと．発表は，資料の準備，そして必ずリハーサルをしておくこと．課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します.
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
扱う記事の入手方法（URL など）は前週までに指示します.

【参考書】
『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社, 1999)，および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます.

【成績評価の方法と基準】
課題を含む平常点 (20%) と 2 回の試験 (80%) から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合，正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります．病気などのやむを得ない事情を除いて，原則として全授業出席する必要があります.
病欠も含めた欠席回数が 4 回を数えた時点で単位取得の資格を失います．未予習での出席は欠席扱いとし，授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し，その日は欠席扱いとします．遅刻は授業開始の合図から 20 分以内に入室した者だけ認めますが，2 回の遅刻につき 1 回の欠席と見なします.

【学生の意見等からの気づき】
学生の発表についてのフィードバックにも力を入れたいと思います．ニュース英語のリスニングを苦手とする学生が多いので内容と同時に聴き取りのコツを説明します.

【Outline and objectives】
In this course, students learn how Japan is viewed from outside world through US or UK media, and try to express their opinions in English.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Undercover Boss

ロバート・D・ヒントン

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is a content based course aimed at helping
students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American
culture and society.

【到達目標】
The goal of this course is to increase fluency,
accuracy and confidence in the areas of speaking,listening, reading
and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
This class will start on Friday, April 24, 2020 in its regularly scheduled period using the online HOPPII Learning Management System. Students should try to self-register into the class student roster in HOPPII Learning Management System.
The class will be conducted online using the HOPPII Learning Management System until further notice. The HOPPII System will be used as the initial meeting point and communication platform, but students will be expected to branch out and use other technology platforms and/or websites as the course progresses.
Each week students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate is discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Introductions, explanations	Information about the course and survey questions
Week 2	The Beginning of Undercover Boss - 7-11	Research 20 interesting facts about 7-11 - group discussion
Week 3	Roto Rooter	Review the Roto Rooter website and a comparable Japanese company - present findings

Week 4	CSI Commerce	Writing about shopping/buying habits
Week 5	Herschend Entertainment	Writing about a favorite entertainment venue
Week 6	Waste Management	Report about an ecological issue
Week 7	Loehman's	Fashion report
Week 8	Menchies	Writing about favorite fast food outlet
Week 9	Alfred Angelo	Unique wedding customs in the world
Week 10	Hudson Group	Design dream vacation
Week 11	Cinnabon	Report about women in business
Week 12	Mohecan Sun	Minority group report
Week 13	Dutch Brother's Coffee	Coffee facts and figures
Week 14	Utah Jazz	Report about a sport

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
No text will be used in this course.

【参考書】
None.

【成績評価の方法と基準】
This class will start on Friday, April 24, 2020 in its regularly scheduled period using the online HOPPII Learning Management System. Students should try to self-register into the class student roster in HOPPII Learning Management System.
The class will be conducted online using the HOPPII Learning Management System until further notice. The HOPPII System will be used as the initial meeting point and communication platform, but students will be expected to branch out and use other technology platforms and/or websites as the course progresses.

【学生の意見等からの気づき】
The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline and objectives】
This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking,reading and writing.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Undercover Boss

ロバート・D・ヒントン

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is a content based course aimed at helping
students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American
culture and society.

【到達目標】
The goal of this course is to increase fluency,
accuracy and confidence in the areas of speaking,listening, reading
and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Each week students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate is discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	The Beginning of Undercover Boss - 7-11	Research 20 interesting facts about 7-11 - group discussion
Week 2	Herschend Entertainment	Partner interview of selected entertainment venue
Week 3	Roto Rooter	Review the Roto Rooter website and a comparable Japanese company - present findings
Week 4	CSI Commerce	Discussion of on-line shopping and websites
Week 5	Loehman's	Retail outlet presentation
Week 6	Alfred Angelo	Discuss 3 reasons for each of the 5 chosen CEOs or owners
Week 7	CEO/Owner presentation planning	Group work for CEO or owner presentation
Week 8	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions
Week 9	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions

Week 10	Cinnabon	Share research findings of fast food retail outlets - small group discussion
Week 11	Dutch Bros Coffee	Presentation of coffee facts and figures
Week 12	Mohecan Sun	Minority group presentations
Week 13	Peavey Electronics	Ecology quiz and group brainstorming
Week 14	Hudson Group	Partner interview sheet - "dream vacation"

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
No text will be used in this course.

【参考書】
None.

【成績評価の方法と基準】
Students will be evaluated based on weekly homework (40%), classroom activities such as: listening comprehension worksheets, note taking, participation in discussions (40%), and presentations (20%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester to receive academic credit for the course.

【学生の意見等からの気づき】
The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline and objectives】
This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking,reading and writing.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Communication & Conversing

Robert Durham

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／英語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

【到達目標】
Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
NEW INFORMATION: BECAUSE OF THE COVID-19 STATE OF EMERGENCY, OUR CLASSES WILL BEGIN (ONLINE) FROM APRIL 24, 2020
———————-
Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills via pair practice conversations with their classmates & professor.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	[All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events.] Introductions, in smoothly, natural, friendly English. News video #1/TED Talk video #1.	Introduction vocabulary; & 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.
第 2 回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English.	How to say your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.

第 3 回	Using the Future tense in English, to explain your Golden Week plans.	Active English spoken expressions, re: Golden Week future plans. News video/TED video #2.
第 4 回	Actively explaining your Golden Week activities, in spoken English.	Actively speaking about Golden Week, in spoken English, using the Past Tense. News video/TED Talk #2 (continued).
第 5 回	”How are you?”	Pairwork will be used to practice many, various ways to reply dynamically in English, to questions such as ”How’s it going?” News video/TED Talk #3, part 1.
第 6 回	Expressing your opinions about Current Affairs News videos/TED Talk #3 part 2, in active, dynamic spoken English.	Pair practice: speaking your opinions about News videos/TED Talks, in active English.
第 7 回	Video documentary or News clips, with questions about it.	Students will learn how to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic.
第 8 回	News or TED Talk video #4, part 1.	Pair practice in spoken English, to explain student opinions about the topics raised by the video.
第 9 回	News or TED Talk video #4, part 2.	Explaining, in spoken English, student opinions about the topics in the video.
第 10 回	Use of many different English adjectives, to explain opinions and comments.	Students will explain their opinions about many current topics to classmates, in smooth, Modern English.
第 11 回	News or TED Talk video #5, part 1.	Students will watch the News or TED video clip...and will be asked to discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English.
第 12 回	News or TED Talk video #5, part 2./ Exam, re: topics studied and discussed during the Spring 2019 semester.	Students will watch the News or TED video clip; will be asked to answer questions about it; and will then discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English./ Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Spring semester.
第 13 回	.	.
第 14 回	.	.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please do homework well before the deadline [NOT ”ichiyazukke”]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; please don’t work at part-time jobs excessively; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

A textbook might be chosen, depending on students levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

【参考書】

–

【成績評価の方法と基準】

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams spoken replies (approximately 25%);in-class perfomance(approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).
* IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. *

【学生の意見等からの気づき】

—

【学生が準備すべき機器他】

Please bring to each class: a notebook/binder; a black pen; a red pen; an English-Japanese/Japanese-English dictionary [paper or electronic]; an English language LARGE namecard; and a daily planner/schedule book [a ’techo’, in Nihongo].

【その他の重要事項】

NEW INFORMATION; Because of the Covid-19 ’State of Emergency’, classes will start ONLINE, April 24th, via HOPPII. Please contact me via Hoppii, and/or via e-mail (import4u@gmail.com). We are all novices at ’Online Learning’, so we will all probably make some ’mis-steps’. Please PERSEVERE...and keep in touch.
We MIGHT try to arrange some Online video classes/chats...after resolving technical issues. Please make sure that you have an Internet-enabled PC. Also, maybe Docomo, Au, & Sofbank will permit you to have an extra 50GB of access, free. (Please check.)

———————

Please participate ACTIVELY in class; please sit together with other students, in class, AT THE FRONT OF THE ROOM; and please speak together with your classmates, using lots of eye contact & good Body Language. If you’re not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering ”I don’t know”.
* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. *

【-】

–

【Outline and objectives】

This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Communication & Conversing

Robert　Durham

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／英語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is a Fall semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

【到達目標】
Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills via pair practice conversations with their classmates & professor.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	[All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events.] ”How was tour Summer Break?”[Discussing Summer events is smooth, Modern English, using the English Past tense.] News video #1/TED Talk video #1.	Summer Past Tense vocabulary; & ’EQ’ responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.
第 2 回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English.	How to say your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.
第 3 回	Using the Future tense in English, to explain your Hallowe’en plans.	Active English spoken expressions, re: Hallowe’en future plans. News video/TED video #2.
第 4 回	Actively explaining your possible Hallowe’en activities, in spoken English.	Actively speaking about Hallowe’en, in spoken English, using the Past Tense. News video/TED Talk #2 (continued).
第 5 回	”How was your ____ ?”, & also News video/TED Talk #3, part 1.	Pairwork will be used to practice many, various ways to reply dynamically in English, to questions such as ”How was your weekend...?” News video/TED Talk #3, part 1.
第 6 回	Expressing your opinions about Current Affairs News videos.	TED Talk #3 part 2, in active, dynamic spoken English.
第 7 回	Video documentary or News clips, with questions about it.	Students will learn how to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic.
第 8 回	News or TED Talk video #4, part 1.	Pair practice in spoken English, to explain student opinions about the topics raised by the video.
第 9 回	News or TED Talk video #4, part 2.	Explaining, in spoken English, student opinions about the topics in the video.
第 10 回	Use of many different English adjectives, to explain opinions and comments.	Students will explain their opinions about many current topics to classmates, in smooth, Modern English.
第 11 回	News or TED Talk video #5, part 1.	Students will watch the News or TED video clip...and will be asked to discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English.
第 12 回	News or TED Talk video #5, part 2.	Students will watch the News or TED video clip; will be asked to answer questions about it; and will then discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English.
第 13 回	Exam, re: topics studied and discussed during the Fall 2019 semester.	Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Fall semester.
第 14 回	Students will be asked to give opinions in spoken English, re: the video, and/or Winter Break plans.	Students will be asked to give opinions in spoken English, re: the video, and/or Winter Break plans.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Please do homework well before the deadline [NOT ”ichiyazukke”]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; please don’t work at part-time jobs excessively; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.
University guidelines suggest preparation and review are around 4　hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
A textbook might be chosen, depending on students levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

【参考書】
—

【成績評価の方法と基準】
Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams spoken replies (approximately 25%);in-class perfomance(approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).
IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.

【学生の意見等からの気づき】
—

【Outline and objectives】
This is a Fall semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界のニュースから見る現代事情**

宇治谷　義英

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／日本語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 では、English1 と English2 で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力を更に深めます。またこれら 4 技能を総合的に駆使し、あるテーマについて英語で情報を得、その情報を批判的に考察し、さらに自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。
本授業では，英米のニュース記事を読み，またニュース動画を見て聴くことを通して上記の力を伸ばしていきます.

【到達目標】
・複雑に見える英語の正確な読解ができること.
・英文記事全体の要旨を正確に把握できること.
・ニュースの英語が聞き取れるようになること.
・正確な英語で作文が出来るようになること.
・英語でニュース記事について発表そして質疑応答が出来るようになること.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
4/24 正式授業開始です
担当教員の選んだニュース記事の精読，グループによるニュース記事についての発表，ニュース記事についての作文，ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロ	席決め，グループ決め，授業の説明，ウォームアップ.
2	"Hong Kong's new extradition laws open the gates to Chinese repression"（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
3	"Hong Kong's new extradition laws open the gates to Chinese repression" の続き（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
4	グループの持ち寄り記事	グループ発表とディスカッション
5	"The Guardian view on religious freedom_ protect believers"（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.

6	"The Guardian view on religious freedom_ protect believers"の続き（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
7	グループの持ち寄り記事	グループ発表とディスカッション
8	"The Guardian view on abortion_ protecting a human right"（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
9	"The Guardian view on abortion_ protecting a human right"の続き（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
10	グループの持ち寄り記事	グループ発表とディスカッション
11	"Madonna's age isn't relevant"（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
12	"Madonna's age isn't relevant"の続き（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
13	グループの持ち寄り記事	グループ発表とディスカッション
14	まとめと達成度の確認	グループでディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
講読では，辞書とネットを駆使して不明な単語，表現を下調べして準備しておくこと．発表は，資料の準備，そして必ずリハーサルをしておくこと．課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します．
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
扱う記事の入手方法（URL など）は前週までに指示します．

【参考書】
『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社, 1999)，および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます．

【成績評価の方法と基準】
オンライン開講になったので成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、学習支援システムで提示する。
　課題を含む平常点 (20%) と 2 回の試験 (80%) から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合，正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります．病気などのやむを得ない事情を除いて，原則として全授業出席する必要があります．
　病欠も含めた欠席回数が 4 回を数えた時点で単位取得の資格を失います．未予習での出席は欠席扱いとし，授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し，その日は欠席扱いとします．遅刻は授業開始の合図から 20 分以内に入室した者だけ認めますが，2 回の遅刻につき 1 回の欠席と見なします．

【学生の意見等からの気づき】
学生の発表についてフィードバックをおこないたいと思います．ニュース英語のリスニングを苦手とする学生が多いので内容と同時に聴き取りのコツを説明します．

【Outline and objectives】
In this course, students learn how the world is going through reading UK or US media, and try to express their opinions on various world issues in English.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界のニュースから見る現代事情**

宇治谷　義英

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／日本語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 では、English1 と English2 で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力を更に深めます。またこれら 4 技能を総合的に駆使し、あるテーマについて英語で情報を得、その情報を批判的に考察し、さらに自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。

本授業では，春学期に引き続いて，英米のニュース記事を読み，またニュース動画を見て聴くことを通して上記の力を伸ばしていきます.

【到達目標】

・複雑に見える英語の正確な読解ができること.
・英文記事全体の要旨を正確に把握できること.
・ニュースの英語が聞き取れるようになること.
・正確な英語で作文が出来るようになること.
・英語でニュース記事について発表そして質疑応答が出来るようになること.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

担当教員の選んだニュース記事の精読，グループによるニュース記事についての発表，ニュース記事についての作文，ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	"Fifa's dirty laundry does not cause such a stench in murky times of today"（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	席決め，グループ決め，記事の精読，ニュース英語のリスニング.
2	"Fifa's dirty laundry does not cause such a stench in murky times of today"の続き（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
3	"We have to avoid 'integration' becoming another form of racism"（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
4	グループの持ち寄り記事	グループ発表とディスカッション
5	"We have to avoid 'integration' becoming another form of racism"の続き（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
6	"The Naga Munchetty row shows diversity is still about optics"（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
7	グループの持ち寄り記事	グループ発表とディスカッション
8	"The Naga Munchetty row shows diversity is still about optics"の続き（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
9	"Why China fears sending the tanks"（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
10	グループの持ち寄り記事	グループ発表とディスカッション
11	"Why China fears sending the tanks"の続き（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
12	"Stories of have-a-go forex trading heroes belie a quiet market"（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
13	"Stories of have-a-go forex trading heroes belie a quiet market"の続き（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	グループ発表とディスカッション
14	まとめと達成度の確認	グループでディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講読では，辞書とネットを駆使して不明な単語，表現を下調べして準備しておくこと．発表は，資料の準備，そして必ずリハーサルをしておくこと．課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します．本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

扱う記事の入手方法（URL など）は前週までに指示します.

【参考書】

『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社, 1999)，および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます.

【成績評価の方法と基準】

課題を含む平常点 (20%) と 2 回の試験 (80%) から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合，正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります．病気などのやむを得ない事情を除いて，原則として全授業出席する必要があります.

病欠も含めた欠席回数が 4 回を数えた時点で単位取得の資格を失います．未予習での出席は欠席扱いとし，授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し，その日は欠席扱いとします．遅刻は授業開始の合図から 20 分以内に入室した者だけ認めますが，2 回の遅刻につき 1 回の欠席と見なします．

【学生の意見等からの気づき】
学生の発表についてフィードバックをおこないたいと思います．．ニュース英語のリスニングを苦手とする学生が多いので内容と同時に聴き取りのコツを説明します．

【Outline and objectives】
In this course, students learn how the world is going through reading UK or US media, and try to express their opinions on various world issues in English.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Aspects of the English Speaking World: Reading the News

川澄　亜岐子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
インターネットの発達によって、現代社会はかつてない規模の情報化と国際化に直面しています。SNS の登場により、誰もが容易に意見を発信できるようになりました。それに伴って、価値観の多様化も進んでいます。その一方、情報の信頼性は下がり、正確な情報かどうかを判断することは、個人の裁量にゆだねられるようになりました。現代は、情報を読み解く力がこれまで以上に求められる時代といえるでしょう。
この授業では、English 1・2 で学んだ英語を基礎として、英語の四技能（Reading, Writing, Listening, Speaking）を養います。また、英語圏で報道されるニュースを見たり、読んだりすることで、現代社会が抱える問題を知り、自分たちの社会や文化を相対的な観点から考えます。ニュースの内容を正確に把握するとともに、それらを批判的に検討し、説得力を以って自分の意見を周りの人に伝えられるようになることを目指します。これらを通して多様な価値観や考え方に触れ、自分が慣れ親しんできた「常識」と照らし合わせることで、英語圏の社会や文化だけでなく、自分たちの社会や文化についても理解を深めていきます。

【到達目標】
・　英字新聞の記事の形式に慣れ、その内容を正確に把握できるようになる。
・　国際社会が抱える問題や状況について、英語で説明することができるようになる。
・　記事の内容を批判的に検討し、自分のなりの考えを持てるようになる。
・　自分の知識や考えを、英語でわかりやすく伝えることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
今学期の授業は、原則としてテキストに沿って進めます。テキストに掲載されたものの中からさまざまな分野の新聞記事を読み、まずは形式に慣れることを目指します。取り扱う記事について、（1）単語リスト、（2）要約、（3）自分の意見、（4）ディスカッション・クエスチョンを作成してきてください。教室では記事の内容を全員で確認したり、ニュースに特有の表現や形式を紹介したりした後、グループで記事の内容について話し合います。
【オンライン授業に伴う変更について】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日は４月２４日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	授業の説明と今学期の目標
Week 2	News and Features (1)	Reading and Discussion

Week 3	News and Features (2)	The media and you
Week 4	Opinion (1)	Reading and Discussion
Week 5	Opinion (2)	Making yourself familiar with a newspaper
Week 6	Business (1)	Reading and Discussion
Week 7	Business (2)	News story structure
Week 8	Lifestyle (1)	Reading and Discussion
Week 9	Lifestyle (2)	Summarizing stories
Week 10	Arts and Entertainment (1)	Reading and Discussion
Week 11	Arts and Entertainment (2)	Headlines
Week 12	Technology and Science	Reading and Discussion
Week 13	Health	Reading and Discussion
Week 14	Review	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4
hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
授業で取り上げる新聞記事について、（1）単語リスト、（2）要約、（3）自分の意見、（4）ディスカッション・クエスチョンを作成してきてください。普段から新聞やニュース番組に触れ、各分野に関連する話題の理解に努めるとよいでしょう。

【テキスト（教科書）】
International Herald Tribune, Reading the News Components (Cengage Learning, 2007) ￥2,160

【参考書】
- BBC Learning English http://www.bbc.co.uk/learningenglish/
- VOA Learning English https://learningenglish.voanews.com/
- CNN10 https://edition.cnn.com/cnn10
- ABC News video https://abcnews.go.com/video

【成績評価の方法と基準】
・ 期末試験 40% 平常点（授業への参加度、小テスト、提出物）60%
・ 原則として、4 回以上欠席すると単位の修得が認められません。

【学生の意見等からの気づき】
昨年度は、クラスメートと意見を交換する機会を設けたことが好評でした。また、各自の興味に合わせてニュースの記事を集める課題を通して、新聞を読む習慣がついたという声もありました。今年度も引き続き、社会で話題になっているニュースをとりあげたり、英語を話す時間を積極的に取り入れたりしていきたいと思います。

【その他の重要事項】
・ 毎回の授業に辞書を持参してください（電子辞書でも構いません）。

【Outline and objectives】
As the Internet has developed, society faces more opportunities to judge the value of information. Many people can send a message through SNS though the reliability of each message is ambiguous. Now, it can be said that the society in which we live wants us to have literacy of information.
Based on the skills and knowledge acquired in English 1 and 2, students will improve their four English skills (reading, writing, listening, and speaking). They will also learn about various international cultural and social issues in this course. Through this course, they will be encouraged to consider the society they have been living in within an international context.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Aspects of the English Speaking World: Reading the News

川澄　亜岐子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に引き続き、English1・2 で学んだことを基礎として、英語の四技能（Reading, Writing, Listening, Speaking）を養うとともに、現代社会について考えていきます。今学期は、英語圏で報道されるニュースの内容を把握するだけでなく、その背景にはどのような出来事があるのか、それに対して各メディアはどのような姿勢を取っているのか、その姿勢はニュースの報道のされ方にどのように表れているのか、などニュースの本質にも迫ります。記事を通して英語圏の人々の価値観や考え方に触れ、自分が慣れ親しんできた「常識」と照らし合わせることで、英語圏の社会や文化とともに自分たちの社会や文化についても理解を深めていきます。

【到達目標】
・ 英字新聞の記事の形式に慣れ、その内容を正確に把握できるようになる。
・ 国際社会が抱える問題や状況について、英語で説明することができるようになる。
・ 記事の内容を批判的に検討し、自分のなりの考えを持てるようになる。
・ 自分の知識や考えを、英語でわかりやすく伝えることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
原則としてテキストを使用せず、各自の興味に従って集めてきたニュース記事を扱います。それぞれの記事の内容を文章で説明したり、クラスメートと意見を述べ合ったりするグループ・ディスカッションを行います。学期の後半では、ニュースが作られる背景についても考えます。メディアに関する資料を観たり読んだりしてジャーナリストの仕事のやりがいや困難について考えたり、みなさん自身がニュースの記事を書いたりする機会を設けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	授業の説明と今学期の目標
Week 2	The media of English news	News sources and agencies
Week 3	News Point	The news point and time order of a story
Week 4	Headlines (1)	The purpose of headlines
Week 5	Headlines (2)	Headline writing techniques
Week 6	What makes a story news? (1)	Types of articles, understanding news values
Week 7	What makes a story news? (2)	Writing a news article
Week 8	What makes a story news? (3)	Editing the article
Week 9	Genre of articles (1)	Editorials and opinion articles
Week 10	Genre of articles (2)	Reading editorials from newspapers

Week 11	Genre of articles (3)	Reading interview and personality profile
Week 12	Journalist's job (1)	Think about media job through a film
Week 13	Journalist's job (2)	Discussion on media jobs
Week 14	Review & Course summary	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4
hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
毎週一つのテーマを決め、それに関するニュースの記事を集めます。それぞれの記事について、（1）単語リスト、（2）要約、（3）自分の意見、（4）ディスカッション・クエスチョンを作成してください。普段から新聞やニュース番組などに触れ、テーマに関連する話題の理解に努めるとよいでしょう。

【テキスト（教科書）】
原則としてテキストは使いません。必要な教材や資料は、適宜配布します。

【参考書】
- BBC Learning English http://www.bbc.co.uk/learningenglish/
- VOA Learning English https://learningenglish.voanews.com/
- CNN10 https://edition.cnn.com/cnn10
- ABC News video https://abcnews.go.com/video
- International Herald Tribune, Reading the News Components (Cengage Learning, 2007)

【成績評価の方法と基準】
・ 期末課題 40% 平常点（授業への参加度、小テスト、提出物など）60%
・ 原則として、4 回以上欠席すると単位の修得が認められません。

【学生の意見等からの気づき】
昨年度は、クラスメートと意見を交換する機会を設けたことが好評でした。また、各自の興味に合わせてニュースの記事を集める課題を通して、新聞を読む習慣がついたという声もありました。今年度も引き続き、社会で話題になっているニュースをとりあげたり、英語を話す時間を積極的に取り入れたりしていきたいと思います。

【その他の重要事項】
・ 毎回の授業に辞書を持参してください（電子辞書でも構いません）。

【Outline and objectives】
Following the spring semester, based on the skills and knowledge acquired in English 1 and 2, students will improve their four English skills (reading, writing, listening, and speaking). They will also learn about various international cultural and social issues in this course. In the fall semester, students try to understand news deeply — they will be expected to think about it from various perspectives — historically, socially, diplomatically, and so on. Through this course, they will be encouraged to consider the society they have been living in within an international context.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**現代イギリス社会の諸相**

永井　大輔

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
英語の基本 4 技能（Listening; Reading; Writing; Speaking）を要するタスクをこなしながら、国制から個別の社会的・文化的側面にいたるまで、これまでの思い込みやステレオタイプとは異なるイギリスの実像を学びます。

【到達目標】
英語の基本 4 技能については、以下の目標を設定します。
・英語に関することであろうとなかろうと、読んでいて分からないことは、自主的に調べる習慣を身につける。
・あまり知識のないトピックに関する英語音声を聴く際にも障害にならない程度に、基本的なフレーズや文法、発音のルールを覚える。
・今まで使ったことのない語彙を用いて、品詞や節、文のルールを守った文章が書ける。
・質疑応答のパターンを身につけ、トピックが変わっても動揺せずにロジカルな発言ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
基本的に教科書を進めていきます。1 章あたり 2 授業回を費やします。各章の初回は reading のタスクを行ない、文章の内容に関する質問をします。また、前章についての小テストを実施します。次の回は reading の残りと listening および writing のタスクを行ない、ディクテーションや英作文をします。章によってはグループディスカッションのタスクも行ないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	シラバスに書かれていること以外の細かいルールについて説明します。 持っている辞書を確認しますので、辞書を必ず持参して下さい。
第 2 回	Chapter 1 (1) The United Kingdom?	Reading: Part 1&2
第 3 回	Chapter 1 (2) The United Kingdom?	Reading: Part 3 Structure Practice Listening Challenge Going Further
第 4 回	Chapter 2 (1) Multicultural Britain	小テスト（Chapter 1） Reading: Part 1&2
第 5 回	Chapter 2 (2) Multicultural Britain	Reading: Part 3 Structure Practice Listening Challenge Going Further
第 6 回	Chapter 3 (1) The UK and the EU	小テスト（Chapter 2） Reading: Part 1&2

第 7 回	Chapter 3 (2) The UK and the EU	Reading: Part 3 Structure Practice Listening Challenge
第 8 回	Chapter 4 (1) Tea	小テスト（Chapter 3） Reading: Part 1&2
第 9 回	Chapter 4 (2) Tea	Reading: Part 3 Structure Practice Listening Challenge Going Further
第 10 回	Chapter 5 (1) Social class	小テスト（Chapter 4） Reading: Part 1&2
第 11 回	Chapter 5 (2) Social class	Reading: Part 3 Structure Practice Listening Challenge Going Further
第 12 回	Chapter 6 (1) Schools and education	小テスト（Chapter 5） Reading: Part 1&2
第 13 回	Chapter 6 (2) Schools and education	Reading: Part 3 Structure Practice Listening Challenge Going Further
第 14 回	Chapter 1~6 のまとめ・試験	小テスト（Chapter 6） 内容のおさらい 筆記試験を実施します。単位取得希望者は必ず受けて下さい。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎授業回の質問は、予習・復習を前提としたものになります（本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間以上を標準とします）。
・質問等にはみずから調べた事柄が必要になる場合もあります。予習や調べ物には相当の時間をかけねばならず、授業前に他の受講生から聞きかじる程度では単位を落とすと覚悟して下さい。
・Listening の問題については、予習が必須となるでしょう。Speaking 能力の向上のために、Listening の音声を真似る'shadowing' という作業を行なってみて下さい。
・Speaking のタスクについては、教科書で紹介された例文以外にも、自分で考えた回答を何パターンか用意しておいて下さい。

【テキスト（教科書）】
ティム・ナイト編著『英国の〈いま〉を知りたい [改訂新版]』(Tim Knight, Welcome to Britain, Revised Edition) 、音羽書房鶴見書店、2018 年。1800 円+税。ISBN 978-4-7553-0383-8
毎授業回に辞書（英和もしくは英英、場合によっては和英も）持参が必須です。授業中使用できるのは紙媒体の辞書もしくは専用装置型の電子辞書のみです。

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
毎授業回の授業参加度： 50%
・質問に対して十分な予習をふまえた回答ができたか
・ディクテーション
・作文
・Speaking 練習の出来栄え
Chapter ごとの小テスト： 10%
・各 Chapter の学修内容の理解度
第 14 回授業回の筆記試験： 40%
・春学期学修内容の理解度
欠席および遅刻について
学期中に 4 回欠席した受講生は単位取得資格を失なう。遅刻は累積 3 回で欠席 1 回と同等の扱いとする。その他授業に対する貢献が著しく低いと教員が判断し、授業中にペナルティ（初回授業時に説明）を受けた場合は、遅刻と同等の扱いとし、遅刻と同じ累積勘定に加えられる。30 分以上の遅刻は、出席簿上欠席扱いとする。欠席・遅刻・ペナルティは平常点の減点対象となる。
不正について
各課題においてコピペ、他受講者の引き写し、著作物の剽窃、機械翻訳を行なったことが発覚した場合、該当受講生に対する該当授業回の評価を無しとする。再犯が発覚した場合、単位取得資格を停止したうえで教務課に通報する。複数の受講生が関与した場合、全員同様の処分の対象となる。他受講生の不正を黙認した場合も同様である（したがって「他の人もやっている」という抗弁は通用しない）。

【学生の意見等からの気づき】
前年度では少なすぎた読解問題量を増やしました。

【Outline and objectives】
Students will engage with the information and ideas about modern Britain, from its constitution to specific cultural and social aspects, while tackling the tasks to challenge their reading, listening, writing, and speaking skills.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**現代イギリス社会の諸相**

永井　大輔

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
英語の基本 4 技能（Listening; Reading; Writing; Speaking）を要するタスクをこなしながら、国制から個別の社会的・文化的側面にいたるまで、これまでの思い込みやステレオタイプとは異なるイギリスの実像を学びます。

【到達目標】
英語の基本 4 技能については、以下の目標を設定します。
・英語に関することであろうとなかろうと、読んでいて分からないことは、自主的に調べる習慣を身につける。
・あまり知識のないトピックに関する英語音声を聴く際にも障害にならない程度に、基本的なフレーズや文法、発音のルールを覚える。
・今まで使ったことのない語彙を用いて、品詞や節、文のルールを守った文章が書ける。
・質疑応答のパターンを身につけ、トピックが変わっても動揺せずにロジカルな発言ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
基本的に教科書を進めていきます。1 章あたり 2 授業回を費やします。各章の初回は reading のタスクを行ない、文章の内容に関する質問をします。また、前章についての小テストを実施します。次の回は reading の残りと listening および writing のタスクを行ない、ディクテーションや英作文をします。章によってはグループディスカッションのタスクも行ないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	前学期筆記試験の総括 シラバス内容の確認
第 2 回	Chapter 7 (1) University students and higher education	Reading: Part 1&2
第 3 回	Chapter 7 (2) University students and higher education	Reading: Part 3 Structure Practice Listening Challenge Going Further
第 4 回	Chapter 8 (1) Women in society	小テスト（Chapter 7） Reading: Part 1&2
第 5 回	Chapter 8 (2) Women in society	Reading: Part 3 Structure Practice Listening Challenge Going Further
第 6 回	Chapter 9 (1) Science, inventions and business	小テスト（Chapter 8） Reading: Part 1&2
第 7 回	Chapter 9 (2) Science, inventions and business	Reading: Part 3 Structure Practice Listening Challenge Going Further
第 8 回	Chapter 10 (1) Politics and government	小テスト（Chapter 9） Reading: Part 1&2
第 9 回	Chapter 10 (2) Politics and government	Reading: Part 3 Structure Practice Listening Challenge Going Further
第 10 回	Chapter 11 (1) Food	小テスト（Chapter 10） Reading: Part 1&2
第 11 回	Chapter 11 (2) Food	Reading: Part 3 Structure Practice Listening Challenge Going Further
第 12 回	Chapter 12 (1) Music and fashion	小テスト（Chapter 11） Reading: Part 1&2
第 13 回	Chapter 12 (2) Music and fashion	Reading: Part 3 Structure Practice Listening Challenge Going Further
第 14 回	Chapter 7~12 のまとめ・試験	小テスト（Chapter 12） 内容のおさらい 筆記試験を実施します。単位取得希望者は必ず受けて下さい。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎授業回の質問は、予習・復習を前提としたものになります（本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間以上を標準とします）。
・質問等にはみずから調べた事柄が必要になる場合もあります。予習や調べ物には相当の時間をかけねばならず、授業前に他の受講生から聞きかじる程度では単位を落とすと覚悟して下さい。
・Listening の問題については、予習が必須となるでしょう。Speaking 能力の向上のために、Listening の音声を真似る'shadowing' という作業を行なってみて下さい。
・Speaking のタスクについては、教科書で紹介された例文以外にも、自分で考えた回答を何パターンか用意しておいて下さい。

【テキスト（教科書）】
ティム・ナイト編著『英国の〈いま〉を知りたい [改訂新版]』(Tim Knight, Welcome to Britain, Revised Edition)、音羽書房鶴見書店、2018 年。1800 円+税。ISBN 978-4-7553-0383-8
毎授業回に辞書（英和もしくは英英、場合によっては和英も）持参が必須です。授業中使用できるのは紙媒体の辞書もしくは専用装置型の電子辞書のみです。

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
毎授業回の授業参加度： 50%
・質問に対して十分な予習をふまえた回答ができたか
・ディクテーション
・作文
・Speaking 練習の出来栄え
Chapter ごとの小テスト： 10%
・各 Chapter の学修内容の理解度
第 14 回授業回の筆記試験： 40%
・春学期学修内容の理解度
欠席および遅刻について
学期中に 4 回欠席した受講生は単位取得資格を失なう。遅刻は累積 3 回で欠席 1 回と同等の扱いとする。その他授業に対する貢献が著しく低いと教員が判断し、授業中にペナルティ（初回授業時に説明）を受けた場合は、遅刻と同等の扱いとし、遅刻と同じ累積勘定に加えられる。30 分以上の遅刻は、出席簿上欠席扱いとする。欠席・遅刻・ペナルティは平常点の減点対象となる。
不正について

各課題においてコピペ、他受講者の引き写し、著作物の剽窃、機械翻訳を行なったことが発覚した場合、該当受講生に対する該当授業回の評価を無しとする。再犯が発覚した場合、単位取得資格を停止したうえで教務課に通報する。複数の受講生が関与した場合、全員同様の処分の対象となる。他受講生の不正を黙認した場合も同様である（したがって「他の人もやっている」という抗弁は通用しない）。

【学生の意見等からの気づき】
前年度では少なすぎた読解問題量を増やしました。

【Outline and objectives】
Students will engage with the information and ideas about modern Britain, from its constitution to specific cultural and social aspects, while tackling the tasks to challenge their reading, listening, writing, and speaking skills.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English for the world

ウォルター　カズマー

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／英語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
To expand on skills gained in English 1 or 2

【到達目標】
Students will gain additional skills in reading, writing, listening, and speaking.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Reading skills- skimming, scanning, and summarizing
Writing- structuring paragraphs
Speaking- giving speeches and presentations
Listening- listening for gist and details

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Introduction	Introduction of syllabus	Cover syllabus and basic ground rules for regular classes and tests.
communities I	Community values Teaching tips I	Examining social values for societies. Exploring cultural bonds. class activities
communities II	Unwritten Community rules Teaching tips II	Deepening understanding of social boundaries and possible conflicts. time flow, use of variety
Communities III	Why some communities collapse teaching tips 3	Discussion of taboos and social misdeeds
responsible tourism I	Tourism barbs and unintended consequences	Discuss tourism negatives and positive outcomes
Responsible tourism II	Value brought by tourism	Tourism effects on our lives in both positive and negative ways.
Responsible tourism III	Rise of ecotourism and fair trade	Tourist initiatives to improve local lifestyles
World her-itage I	Looking at historical buildings and the events they show	Why are these buildings important for remembering history?
World her-itage II	Protecting our cultural artifacts	How buildings are preserved and design shows our history

World heritage III	Zoning and how it affects heritage buildings	Zoning code- the balance between modern life and showing our historical roots
Engineered food I	Science and side effects	Science and its end goals and how they might ruin our health
Engineered food II	health influences of diet	Researching food sources and why variety is important
Engineered food III	Benefits of science engineered food	How radiation and mutations shape our diet
Summary	summary of course themes	Discuss various course themes

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Prepare for teaching lessons by submitting lesson plan 1 week before.
Review reading for further discussion.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Issues that matter - Kinseido
ISBN 9784764740617 or 1921082018006

【参考書】
N/a

【成績評価の方法と基準】
Class participation 33%
Teaching 34%
Homework 33%

【学生の意見等からの気づき】
Additional time given for take home quizzes.

【学生が準備すべき機器他】
PC or smartphone, writing instrument, paper

【その他の重要事項】
Blog work

【Outline and objectives】
Students will improve their English in 4 skill areas (writing, reading, listening, and speaking).
Students will particularly focus on discussions and short essay writing.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English for the world

ウォルター　カズマー

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／英語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
To expand on skills gained in English 1 or 2

【到達目標】
Students will gain additional skills in reading, writing, listening, and speaking.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Reading skills- skimming, scanning, and summarizing
Writing- structuring paragraphs
Speaking- giving speeches and presentations
Listening- listening for gist and details

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Introduction	Introduction of syllabus	Cover syllabus and basic ground rules for regular classes and tests.
Disappearing countries I	Climate change Teaching tips I	How do we combat global climate change? class activities
Disappearing countries II	Climate change Teaching tips II	Positives and negatives of climate change time flow, use of variety
Disappearing countries III	Teaching tips III	Climate change and access to water class work vs. homework
Economic inequality I	Poverty and government regulation	Show and discuss government regulations that try to reduce poverty
Economic inequality II	Poverty and its effects on society	Look at how inequalities affect our lives
Economic Inequality III	How big business affects poverty	Big business around the world
War on sugar I	Debate of sugar effects	Look at diabetes and other health related problems

War on sugar II	Looking at health aspects affected by sugar	Diet, and balancing of other health aspects is explored
War on sugar III	Nutrition: is all sugar the same?	Explore types of sugar
Closing the loop I	Handling waste removal	Where does it go?
Closing the loop II	Recycling vs reusing	Discuss which is better: recycling or reusable materials
Closing the loop III	Saving energy	Cost effecting alternative energy approaches
Summary	Summary of course themes	Discussion of course themes

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Prepare for teaching lessons by submitting lesson plan 1 week before.
Review reading for further discussion.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Issues that matter - Kinseido
ISBN 9784764740617 or 1921082018006

【参考書】
N/a

【成績評価の方法と基準】
Class participation 33%
Teaching 34%
Homework 33%

【学生の意見等からの気づき】
Allow more time for take home quizzes to be completed.

【学生が準備すべき機器他】
PC or smartphone, paper, writing instrument

【その他の重要事項】
Blog work

【Outline and objectives】
Students will improve discussion and short essay writing skills.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Exploring the world of movies

フィル　ケニー

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
To develop a deeper appreciation of movies by understanding the creative process by which they are made.

【到達目標】
To develop a deeper understanding of story telling and the world of movie making.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
This class will start on Friday May 8, 2020 in its regularly scheduled period using the online HOPPII Learning Management System. Students should try to self-register into the class student roster in HOPPII Learning Management System.
This class will be conducted online using the HOPPII Learning Management system until further notice. The HOPPII System will be used as the initial meeting point and communication platform, but students will be expected to branch out and use other technology and/or websites as the course progresses.
Each film will be introduced through a short lecture. The story/movie will be reviewed and discussed each week until finished. You will need to take notes and write an essay about how you feel/think about each movie we watch.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	An introduction to the movies business.	The people involved and what they do.
2	Story structure.	Starting a story.
3	Keeping it going.	Confrontation.
4	Ending the story.	Resolution.
5	A love story.	How a story is told in film using the camera and editing.
6	Creating atmosphere.	Costume and music.
7	Historical drama.	Hollywood is not history.
8	Relationship-lines and action lines.	Following different stories in the same movie..
9	The use of music.	Playing with ypur emotions.
10	Twists and turns.	Surprises in film.
11	Slice of life.	Feels real, but it's not.
12	Screenplays.	How screenplays are used.
13	Different story structures.	Predicting where the story will go.
14	Story endings.	Write your own ending.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Homework. You should be prepared to produce written assignments and review all work covered class. 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
No textbook required.

【参考書】
References/materials will be given in class when needed.

【成績評価の方法と基準】
Attendance and participation 40%. Essays 60%
As a general rule, if you fail to submit four assignments or more, including the ones assigned between April 21 and May 29, you will lose your rights to be awarded credits.
In principle no more than 3 absences per semester are allowed.
今学期出す 14 回分の課題（共通教材期間の課題 4 回分を含む）のうち、4 回分を提出しなか った場合は、原則として単位修得の資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】
You will need access to the Internet.

【その他の重要事項】
Please note that some of these films contain bad language, sex scenes and violence that some people may find upsetting.

【Outline and objectives】
We will examine the structure of various movies to see how the story is told using the elements of film: script, production design, actors, camera, lighting, costume, music, production design and editing.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Exploring the world of movies.

フィル　ケニー

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Continue to explore the human experience through film from English speaking countries.

【到達目標】
To develop a deeper understanding of story telling in film and the world of movie making.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Each film will be introduced through a short lecture. The story/movie will be reviewed and discussed each week until finished. You will need to take notes and write an essay about how you feel/think about each movie we watch.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	A deeper look at the movies business	The people involved and what they do.
2	Different story structures.	Starting a story.
3	Keeping it going.	Confrontation.
4	Ending the story.	Resolution.
5	A love story.	How a story is told in film using the camera/editing.
6	Creating atmosphere.	Costume and music.
7	Historical drama.	Hollywood is not history.
8	Relationship-lines and action lines.	What's the character does/ wants.
9	A look at the actorsl.	Actors role.
10	Twists and turns.	Surprises in film.
11	Slice of life.	Feels real, but it's not.
12	Stories and flashback.	How they are used.
13	Different story structures.	Predicting where the story will go.
14	Story endings.	Write your own ending.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Each film will be introduced through a short lecture. The story/movie will be reviewed and discussed each week until finished. You will need to take notes and write an essay about how you feel/think about each movie we watch.

【テキスト（教科書）】
No textbook is required.

【参考書】
References/materials will be given in class when needed.

【成績評価の方法と基準】
Attendance and participation 40%. Essays 60%
As a general rule, if you fail to submit four assignments or more, including the ones assigned between April 21 and May 29, you will lose your rights to be awarded credits.
In principle no more than 3 absences per semester are allowed.
今学期出す 14 回分の課題（共通教材期間の課題 4 回分を含む）のうち、4 回分を提出しなか った場合は、原則として単位修得の資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】
Access to the Internet is required.

【その他の重要事項】
Some of these films contain bad language, sex scenes and violence that some people may find upsetting. Please note that things may change so stay in touch with the university web site. Lesson order may change.

【Outline and objectives】
Continue to examine the structure of various movies to see how the story is told using the elements of film: script, production design, actors, camera, lighting, costume, music, production design and editing

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカ社会**

本間　章郎

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。
English 3 では、English 1 と English 2 に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の 4 技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】
授業の到達目標としては、英語の 4 技能の運用能力の向上を目指して次の 4 つの目標を意識してほしいと思います。
(1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
(2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
(3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
(4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進度と受講者の教科書の内容への理解に応じて、適宜、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日は 4 月 24 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第 2 回	Unit 1:What's for Lunch?: In Japanese Schools It's Always healthy	リスニング及び内容理解
第 3 回	Unit 1:What's for Lunch?: In Japanese Schools It's Always healthy	問題演習及び読解
第 4 回	Unit 2: BYOB: California Bans Single-Use Plastic Bags	リスニング及び内容理解

第 5 回	Unit 2: BYOB: California Bans Single-Use Plastic Bags	問題演習及び読解
第 6 回	Unit 3: How a Dog Can Improve Your Health	リスニング及び内容理解
第 7 回	Unit 3: How a Dog Can Improve Your Health	問題演習及び読解
第 8 回	Unit 4: The Shoe That Grows : Expandable Shoes Aim to Keep Up with Kids' Growing Feet	リスニング及び内容理解
第 9 回	Unit 4: The Shoe That Grows : Expandable Shoes Aim to Keep Up with Kids' Growing Feet	問題演習及び読解
第 10 回	Unit 5: Cat Library Offers Purrfect Solution to Stress	リスニング及び内容理解
第 11 回	Unit 5: Cat Library Offers Purrfect Solution to Stress	問題演習及び読解
第 12 回	Unit 6: The Evolution of Comic Books in the Digital Age	リスニング及び内容理解
第 13 回	Unit 6: The Evolution of Comic Books in the Digital Age	問題演習及び読解
第 14 回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
CBS NewsBreak 3（『CBS ニュースブレイク 3』）
熊井信弘他著　成美堂　2017 年　2400 円

【参考書】
参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】
学期末テスト（50%）、英作文（15%）、発表（15%）、小テスト（20%）から成績を評価します。主に到達目標の (1) と (2) を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3) を英作文から、(4) を発表から判断します。
なお、各学期の欠席が 4 回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、上記の成績評価の方法と基準を変更する必要が生じる可能性があります。変更した場合、成績評価の方法と基準は学習支援システムで提示します。

【学生の意見等からの気づき】
前年度の英語の発表を振り返ると、十分な時間を確保できず、時間的に押し迫った状況での発表となりました。今年度は時間的な余裕を十分に取れるよう授業を計画したいと思います。

【Outline and objectives】
In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society. Watching the news reports, students can improve their listening ability. The news videos are useful to get the gist of them. By reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカ社会**

本間　章郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。
English 3 では、English 1 と English 2 に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の 4 技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】
授業の到達目標としては、英語の 4 技能の運用能力の向上を目指して次の 4 つの目標を意識してほしいと思います。
(1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
(2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
(3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
(4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進度と受講者の教科書の内容への理解に応じて、適宜、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明及び春学期の授業内容のまとめ	授業の目標と進め方、春学期の授業の内容の確認
第 2 回	Unit 7: Can Drinking Soda Make You Age Faster?	リスニング及び内容理解
第 3 回	Unit 7: Can Drinking Soda Make You Age Faster?	問題演習及び読解
第 4 回	Unit 8: What You Like on Facebook Could Affect Your Job Search	リスニング及び内容理解
第 5 回	Unit 8: What You Like on Facebook Could Affect Your Job Search	問題演習及び読解
第 6 回	Unit 9: Is Sitting the New Smoking?	リスニング及び内容理解
第 7 回	Unit 9: Is Sitting the New Smoking?	問題演習及び読解
第 8 回	Unit 10: Matcha Madness Sparks New Tea Craze	リスニング及び内容理解
第 9 回	Unit 10: Matcha Madness Sparks New Tea Craze	問題演習及び読解
第 10 回	Unit 11: Daddy Duty: Stay-at-Home Dads Putting Kids Before Careers	リスニング及び内容理解
第 11 回	Unit 11: Daddy Duty: Stay-at-Home Dads Putting Kids Before Careers	問題演習及び読解
第 12 回	Unit 12: One Man's Long Journey to Help a Stranger Walk Again	リスニング及び内容理解
第 13 回	Unit 12: One Man's Long Journey to Help a Stranger Walk Again	問題演習及び読解
第 14 回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
CBS NewsBreak 3（『CBS ニュースブレイク 3』）
熊井信弘他著　成美堂　2017 年　2400 円

【参考書】
参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】
学期末テスト（50%）、英作文（15%）、発表（15%）、小テスト（20%）から成績を評価します。主に到達目標の (1) と (2) を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3) を英作文から、(4) を発表から判断します。
なお、各学期の欠席が 4 回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

【学生の意見等からの気づき】
前年度の英語の発表を振り返りると、十分な時間を確保できず、時間的に押し迫った状況での発表となりました。今年度は時間的な余裕を十分に取れるよう授業を計画したいと思います。

【Outline and objectives】
In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society. Watching the news reports, students can improve their listening ability. The news videos are useful to get the gist of them. By reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English Speaking World: From Science to Business I

Genc Burcu

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is a course aiming to assist students in gaining fluency in English to sharing their ideas on business and science related content popularly discussed in the English speaking world.

【到達目標】
In this course, students will read a variety of content-based articles, and readings will be supplemented with listening exercises to help students improve their fluency in English. The classes are designed for pair and group discussions to provide the students with a friendly environment to express themselves in English. Students will also be required to complete some writing tasks such as paragraphs and short essays to express their ideas in a more organized way.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students will participate in a variety of activities that involve all four skills, but with a special emphasis on reading and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion, usually in pairs or groups.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines.
2	Unit 1: Starting Up What is leadership?	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
3	Unit 1: Starting Up Famous Leaders of the English Speaking World	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
4	Unit 1: Starting Up How to Start a Movement	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
5	Unit 2: Fragile Forests Environmental Issues of the Age	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
6	Unit 2: Fragile Forests	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
7	Unit 2: Fragile Forests Conserving the Canopy	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
8	Group Presentations Unit 3:Bright Ideas Advances in the Medical Field in the English Speaking World	Each group will deliver a presentation following the course contents and objectives. In the remaining time, students will start with unit 3 topic discussion.
9	Unit 3: Bright Ideas Big Problems, Simple Solutions	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
10	Unit 3: Bright Ideas A Warm Embrace that Saves Lives	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
11	Unit 4:Game Changers Gaming and Teenagers in the English Speaking World	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
12	Unit 4: Game Changers Is Gaming Good for you?	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
13	Unit 4: Game Changers Gaming can make a better world?	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
14	Final Exam	Final exam of the semester will be conducted

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 2, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams. ￥ 2840
Additional newspaper articles will also be provided by the instructor in class.

【参考書】
These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.
https://japantoday.com/
https://www.japantimes.co.jp/news/
https://www.yahoo.com/news/
http://www.bbc.com/news
https://news.google.com/news/

【成績評価の方法と基準】
Class participation: 20%
Group Presentation: 30%
Writing assignments: 10%
Final Exam: 40%
More than 3 absences will result in automatic failure of the course.

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable

【Outline and objectives】
In this course, students will improve their confidence and skills in overall English communication while familiarizing themselves with the contemporary cultural, political, social concerns of the English speaking world.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English Speaking World: From Science to Business II

Genc Burcu

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is the second part of the course, “English Speaking World: From Science to Business” aiming to continue helping students to gain fluency in English and express their ideas on science and business related content popularly discussed in the English speaking world.

【到達目標】
In this course, students will read a variety of content-based articles, and readings will be supplemented with listening exercises to help students improve their fluency in English. The classes are designed for pair and group discussions to provide the students with a friendly environment to express themselves in English. Students will also be required to complete some writing tasks such as paragraphs and short essays to express their ideas in a more organized way.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students will participate in a variety of activities that involve all four skills, but with a special emphasis on reading and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion, usually in pairs or groups.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Course orientation	introductions & class guidelines.
2	Unit 5: Lessons in Learning Engaging Learners	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
3	Unit 5: Lessons in Learning Technology in the Classroom	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
4	Unit 5:Lessons in Learning The Key to Success?	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
5	Unit 6: Food for Life Food Revolution	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
6	Unit 6: Food for Life Teaching Children about Food	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
7	Unit 6: Food for Life Famous Cook: Jamie Oliver	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
8	Group Presentations Unit 7: Body Signs Non-verbal Communication	Each group will deliver a presentation following the course contents and objectives. In the remaining time, students will start with unit 3 topic discussion.
9	Unit 7: Body Signs Power of Body Language	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
10	Unit 7: Body Signs Your Body Language Shapes Who You are	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
11	Unit 8: Energy Builders Innovative Ideas	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
12	Unit 8: Energy Builders Engineers of the Future	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
13	Unit 8: Energy Builders Harnessing the Wind	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
14	Final Exam	Final exam of the semester will be conducted

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 2, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams (The same textbook from part I). ￥ 2840
Additional newspaper articles will also be provided by the instructor in class.

【参考書】
These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.
https://japantoday.com/
https://www.japantimes.co.jp/news/
https://www.yahoo.com/news/
http://www.bbc.com/news
https://news.google.com/news/

【成績評価の方法と基準】
Class participation: 20%
Group Presentation: 30%
Writing assignments: 10%
Final Exam: 40%
More than 3 absences will result in automatic failure of the course.

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable

【Outline and objectives】
In this course, students will improve their confidence and skills in overall English communication while familiarizing themselves with the contemporary cultural, political, social concerns of the English speaking world.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japanese culture in global context.

ジョナサン・エーブル

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／英語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

【到達目標】
Students will read, write,hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.
There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction.	Class methods and familiarisation with types of material.
2	A Place in the World 1	Global Perspectives.
3	A Place in the World 2	How Japan is Viewed Abroad.
4	Tradition 1	How History Informs our Present.
5	Tradition 2	Tradition Across the English Speaking World.
6	Popular Culture 1	The Fast Pace of Fashion.
7	Popular Culture 2	How Japanese Popular Culture Influences Others
8	Presentation Preparation	Topics, Groups and Ideas.
9	Presentations	Group Presentations In Class.
10	Media 1	Where We Get our News.
11	Media 2	Advertising and Commercial Communication.
12	Media 3	Movies and TV. How Entertainment Works.
13	Hello and Goodbye.	How We Meet and Take Our Leave.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interviews.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Text Previews and Preparation for Presentations in class will be expected. The task will be set each week as required.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Materials will be provided. See references.

【参考書】
NHK/NHK Educational
Japan Times
BBC News
British Council online resources (Word on the Street et al.)
Channel 4 News (UK)
CNN
Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】
Writing 25%
Presentation 15%
Class Participation 30%
Final Interview Test 30%
In principle, no more than 3 absences per term are allowed

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【Outline and objectives】
English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japanese culture in global context.

ジョナサン・エーブル

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／英語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

【到達目標】
Students will read, write,hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.
There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction to Part II	Review and Look Forward.
2	Language.	How Languages Feed Each Other in a Globalising World.
3	Art.	Historical and Modern Views of Japanese Visual Art.
4	Performance.	How Japanese Performing Arts Influence the Worlds of Theatre and Dance.
5	Film.	Cross-cultural Storytelling.
6	Food 1.	What we Eat and Why.
7	Food 2.	Where and How we Eat.
8	Presentation Preparation.	Topics Groups and Planning.
9	Presentation.	Group Presentations in Class.
10	Travel.	From Commuters to Tourists.
11	Transport.	How Mobility Shapes Social Behaviour.
12	Soocial issues 1.	Ageing and Booming Populations
13	Social Issues 2.	Crime and Punishment.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interview.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Text reading and review and presentation preparation will be required. Tasks will be set each week as appropriate.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Materials will be provided. See References.

【参考書】
NHK/NHK Educational.
Japan Times.
BBC News
British Council online resources (Word on the Street et al.)
Channel 4 News (UK)
CNN
Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】
Writing 25%
Presentation 15%
Class Participation 30%
Final Interview Test 30%
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【Outline and objectives】
English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

LANe200LA

English ３ Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会**

余田　剛

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
カテゴリー：現代の諸相
サブタイトル：メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会
CBS で配信されたニュースを素材として扱ったテキストを主教材とし、アメリカを主とした現代の様々な諸問題を扱いながら、英語の情報を的確に理解・分析し、問題点を考察した上で自らの意見を発信する力を身に着けることを目指し、インプットとアウトプットのバランスを取りながら英語の総合的な語学の学習をすることをテーマとする。

【到達目標】
１）英語の運用能力
English 1 と English2 で学んだことをベースとして、英語の 4 技能をさらに向上させる。
２）文化理解
コーヒーの効用、寝不足によるビジネスへの悪影響、日本の新しいレンタルサービスなどに関する、現代社会の様々な問題について見聞を広め、独自の分析ができる。
３）分からないことを調べる姿勢
さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業開始日は 4 月 24 日（金）です。４限 15 ： 00 までに説明文を Hoppii に掲載します。
テキストは、各 Unit がニュースのスクリプトと内容把握を目的とした問題から成っている。テキストの各 Unit に 2 回分をかけ、１回目はセクション 2,3 を解き、成美堂のサイトでニュース動画を見たうえで、ディクテーションとしてセクション４の穴埋めをし、2 回目はニュースのスクリプトを熟読し一部の英文を別の英語で言い換える。また、テキストで扱ったテーマに基づいて、プレゼンテーション（あるいは、エッセイの作成）を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明 課題①：自己紹介等
2	テキスト Unit1 前半	リスニング、リーディング 課題②：セクション２，３，４の答え提出
3	テキスト Unit1 後半	リーディング、ライティング 課題③：訳と書き換え＋ 課題④：セクション 5，6 の答え提出
4	テキスト Unit2 前半	リスニング、リーディング 課題⑤：セクション２，３，４の答え提出
5	テキスト Unit2 後半	リーディング、ライティング 課題⑥：訳と書き換え
6	プレゼンテーションあるいはエッセイの作成	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーションあるいはエッセイの作成（グループ１） 課題⑦：エッセイの作成と他学生のエッセイに対するコメント
7	テキスト Unit3 前半	リスニング、リーディング 課題⑧：セクション２，３，４の答え提出
8	テキスト Unit3 後半	リーディング、ライティング 課題⑨：訳と書き換え
9	テキスト Unit4 前半	リスニング、リーディング 課題⑩：セクション２，３，４の答え提出＋ 課題⑪：セクション 5，6 の答え提出
10	テキスト Unit4 後半	リーディング、ライティング 課題⑫：訳と書き換え
11	プレゼンテーションあるいはエッセイの作成	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーションあるいはエッセイの作成（グループ 2） 課題⑬：エッセイの作成と他学生のエッセイに対するコメント
12	試験あるいはレポート	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポートの提出・まとめと解説 課題⑭：レポート等の提出
13	なし	なし
14	なし	なし

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。テキスト中のスクリプトは、Web 動画を各自で観て穴埋めをして完成させたうえで、分からない単語などを調べてしっかり読み、また、問題は、あらかじめ指定された箇所を解いてくること。

【テキスト（教科書）】
CBS NewsBreak 4, Nobuhiro Kumai 他著, (成美堂, 2019 年), ￥2,400 + tax

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
授業計画に示した 14 回分の課題から評価する。課題を 4 回以上提出しなかった者は、単位取得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
授業外学習の時間を少しでも増やしてもらえるよう、復習や予習についてより具体的に働きかけるよう心がけます。

【Outline and objectives】
Category: Current Affairs
Subtitle: Learning Modern American Culture and Society through Media
This course aims to improve students' four core English language skills − reading, writing, listening, and speaking − using a textbook made up of the news stories drawn from CBS News shows that feature various current topics, especially in the US. Students will develop their abilities to accurately understand the information, think critically about the important current issues, and effectively express their ideas.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会**

余田　剛

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
カテゴリー：現代の諸相
サブタイトル：メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会
CBS で配信されたニュースを素材として扱ったテキストを主教材とし、アメリカを主とした現代の様々な諸問題を扱いながら、英語の情報を的確に理解・分析し、問題点を考察した上で自らの意見を発信する力を身に着けることを目指し、インプットとアウトプットのバランスを取りながら英語の総合的な語学の学習をすることをテーマとする。

【到達目標】
１）英語の運用能力
English 1 と English2 で学んだことをベースとして、英語の 4 技能をさらに向上させる。
２）文化理解
寄付して利益を上げる新しいビジネスモデル、海洋汚染、人型ロボットの開発などに関する、現代社会の様々な問題について見聞を広め、独自の分析ができる。
３）分からないことを調べる姿勢
さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストは、各 Unit がニュースのスクリプトと内容把握を目的とした問題から成っている。スクリプトは、ある程度のまとまりで一人ずつあてて基本的には逐語訳をしてもらい、確認が必要な場合はこちらから質問をし、問題もあてて答えてもらう形式で進めていく。その為受講者は各授業で進む全ての範囲を予習しておく必要がある。また、テキストで扱ったテーマに基づいて、プレゼンテーションを行う。さらに、テキストには欠けている政治問題について扱った固めの記事等を準備し、精読を行う予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明
2	テキスト Unit7 前半	リスニング、リーディング
3	テキスト Unit7 後半	リスニング、ライティング
4	テキスト Uni10 前半	リスニング、リーディング
5	テキスト Unit10 後半	リスニング、ライティング
6	政治問題に触れる	新聞記事のリーディング
7	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ１）
8	テキスト Unit14 前半	リスニング、リーディング
9	テキスト Unit14 後半	リスニング、ライティング
10	テキスト Unit15 前半	リスニング、リーディング
11	テキスト Unit15 後半	リスニング、ライティング
12	政治問題に触れる	新聞記事のリーディング
13	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ 2）
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。授業前に必ずテキストの予習をしてください。テキスト中のスクリプトは、Web 動画を各自で観て穴埋めをして完成させたうえで、分からない単語などを調べてしっかり読み、また、問題は、あらかじめ指定された箇所を解いてくること。

【テキスト（教科書）】
CBS NewsBreak 4, Nobuhiro Kumai 他著, (成美堂, 2019 年), ￥2,400 + tax

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
期末試験の成績 (40%)、プレゼンテーション（20%）、授業参加度 (40%) とから総合的に評価する。欠席が 4 回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は 3 回に達するごとに 1 回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから 30 分以降の遅刻は欠席と見なす。交通機関の遅れに注意し、時間には余裕を持って来ること。

【学生の意見等からの気づき】
授業外学習の時間を少しでも増やしてもらえるよう、復習や予習についてより具体的に働きかけるよう心がけます。

【Outline and objectives】
Category: Current Affairs
Subtitle: Learning Modern American Culture and Society through Media
This course aims to improve students' four core English language skills − reading, writing, listening, and speaking − using a textbook made up of the news stories drawn from CBS News shows that feature various current topics, especially in the US. Students will develop their abilities to accurately understand the information, think critically about the important current issues, and effectively express their ideas.

LANe200LA

English ３ Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：TED TALKS で知る現代社会:英語四技能を学ぶ

金谷　優子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、TED TALKS のプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイディアに触れつつ、英語の 4 技能：読み、聴き、話し、書く–を総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKS の英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】
・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること

・複雑な構文や語句を理解すること
・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること

・英語の音声を聴いて、必要な情報を得ること

・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること

・沢山の人々の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各トピックについてそれぞれを３部構成とします。第 1 部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術 (Reading Skills) について学びます。第 2 部では、実際に TED TALK の発表を聴き、またその script を読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第３部では、学習事項の確認テストを行い、各トピックについて更にリサーチを進め、TED での発表に関する自分の考えを英語で表現する場を設けます。

[第一部]
第 2 週 Topic: Interdisciplinary
第 5 週 Topic: Business/ Leadership
第 8 週 Topic: Life Science
第 11 週 Topic: Sociology/ Fashion

[第二部]
第 3 週： TED TALK by Matt Cutts : Try Something New for 30 days
https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja

第 6 週：　TED TALK by Tom Wujec : Build a Tower
https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja

第 9 週：　TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments
https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript

第 12 週：　TED TALK by Jessi Arrington ： Wearing Nothing New
https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja

[第三部] ： 各 Unit テストと自己表現　第 4,7,10,13 週

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第一週	Introduction	What is TED?
第二週	Unit 1: Life Changes	Topic:Interdisciplinary Reading Skills: Understanding sequence words,... etc.
第 3 週	Unit 1: Life Changes	TED TALK by Matt Cutts Academic Skills: Understanding main ideas,...etc.
第 4 週	Review Unit 1	Review　Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 5 週	Unit 2: Team Power	Topic:Business Leadership Reading Skills: Identifying main ideas in paragraphs,...etc.
第 6 週	Unit 2: Team Power	TED TALK by Tom Wujec Academic Skills: Understanding stages in a process, ...ets.
第 7 週	Review Unit 2	Review　Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 8 週	Unit 3: Ocean Wonders	Topic: Life Science Reading Skills: Identifying purpose/ referents
第 9 週	Unit 3: Ocean Wonders	TED TALK by David Gallo Academic Skills:Understanding main ideas and key details,... etc.
第 10 週	Review Unit 3	Review　Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 11 週	Unit 4: What We Wear	Topic:Sociology/ Fashion Reading Skills: Making connections/ Understanding a process
第 12 週	Unit 4: What We Wear	TED TALK by Jessi Arrington Academic Skills: Recognizing point of view
第 13 週	Review Unit 4	Review　Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 14 週	期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
準備学習：学生は、各 Unit で扱う TED Talk をインターネット上で聞き、また、テキスト巻末のスクリプトを参照し、理解しにくかった語彙、表現、文章などを特定し、checksheet に記入しておく。
復習： checksheet に記入した事項を習得することができたか、確認する。
宿題：授業で扱った TED Talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5
その他、プリント配布

【参考書】
https://www.ted.com/

【成績評価の方法と基準】

評価基準：授業参加度（授業内での発言および checksheet の提出）40 %、小テスト 30 %、期末テスト 30 %

4 回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3 回遅刻あるいは早退すると、1 回欠席としてカウントされます。30 分以上の遅刻は欠席とみなされます。

【学生の意見等からの気づき】
教室内の換気、温度調節等にも気を配り、より快適な学習環境を心がけます。

【学生が準備すべき機器他】
授業には必ず辞書を持参すること。

【Outline and objectives】
This course is designed to increase the student's ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.
[Overall Objectives]
To help students
・increase vocabulary
・improve their reading/listening comprehension skills
・understand speeches without translating into Japanese
・identify main ideas
・clarify the structure of a speech
・develop global and cross-cultural awareness
・develop creative and critical thinking skills
・effectively express their opinions on current issues

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：TED TALKS で知る現代社会:英語四技能を学ぶ

金谷　優子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期同様に本授業では、TED TALKS のプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイディアに触れつつ、英語の 4 技能：読み、聴き、話し、書く—を総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKS の英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】
・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること

・複雑な構文や語句を理解すること
・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること

・英語の音声を聴いて、必要な情報を得ること
・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること

・沢山の人々の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各トピックについてそれぞれを 3 部構成とします。第 1 部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術 (Reading Skills) について学びます。第 2 部では、実際に TED TALK の発表を聴き、またその script を読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第 3 部では、学習事項の確認テストを行い、各トピックについて更にリサーチを進め、TED での発表に関する自分の考えを英語で表現する場を設けます。
[第一部] 第 2 週 Topic: Architecture and Design 第 5 週 Topic: Conservation/ Engineering 第 8 週 Topic: Visual Arts/ Sociology 第 11 週 Topic: Technology/ Robotics [第二部] 第 3 週: TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Un- expected Places https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_ unexpected_places?language=ja 第 6 週: TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral? language=ja 第 9 週: TED TALK by Cindy Chang: Before I die, I want to ... https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_ to?language=ja
第 12 週: TED TALK by Cynthia Breazeal: The Rise of Per- sonal Robots https://www.ted.com/talks/cynthia_breazeal_the_rise_of_personal_robots?language=ja [第三部]：各 Unit テストと自己表現 第 4,7,10,13 週

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 週	Introduction	授業進行、 テキスト、 評価方法についての説明
第 2 週	Unit6: Building Solutions	Topic:Artchitecture and Design Reading Skills: Organizing supporting details,... etc.
第 3 週	Unit6: Building Solutions	TED TALK by Iwan Baan Academic Skills: Understanding main ideas,summarizing ideas using a concept map,...etc.
第 4 週	Unit6: Review	Review　Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 5 週	Unit 7: Roads to Fame	Topic:Communication/ Sociology Reading Skills: Scanning for numbers,...etc.
第 6 週	Unit 7: Roads to Fame	TED TALK by Kevin Allocca
第 7 週	Unit 7: Review	Review　Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 8 週	Unit 9: Community Voices	Topic:Visual Arts / Sociology Reading Skills: Understanding a paragraph's purpose
第 9 週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Academic Skills: Understanding main ideas and key details/making predictions,...etc.
第 10 週	Unit 9: REview	Review　Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 11 週	Unit 10: Robots and Us	Topic:Technology/ Robotics Reading Skills: making comparisons
第 12 週	Unit 10: Robots and Us	TED TALK by Cynthia Breazeal Academic Skills: Understanding main ideas and key details/understanding sequence,...etc.
第 13 週	Unit 10: Review	Review　Test Research & Presentation Checksheet 回収
第 14 週	期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
準備学習：学生は、各 Unit で扱う TED Talk をインターネット上で聞き、また、テキスト巻末のスクリプトを参照し、理解しにくかった語彙、表現、文章などを特定し、checksheet に記入しておく。
復習： checksheet に記入した事項を習得することができたか、確認する。
宿題：授業で扱った TED Talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5
その他、プリント配布

【参考書】
https://www.ted.com/

【成績評価の方法と基準】
授業参加度（授業内での発言および checksheet の提出）40 %、小テスト 30 %、期末テスト 30 %
4 回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3 回遅刻あるいは早退すると、1 回欠席としてカウントされます。30 分以上の遅刻は欠席とみなされます。

【学生の意見等からの気づき】
教室内の換気、温度調節等にも気を配り、より快適な学習環境を心がけます。

【学生が準備すべき機器他】
授業には必ず辞書を持参すること。

【Outline and objectives】
This course is designed to increase the student's ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.
[Overall Objectives]
To help students
・increase vocabulary
・improve their reading/listening comprehension skills
・understand speeches without translating into Japanese
・identify main ideas
・clarify the structure of a speech
・develop global and cross-cultural awareness
・develop creative and critical thinking skills
・effectively express their opinions on current issues

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Aspects of the English Speaking World: Reading the News

川澄　亜岐子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

インターネットの発達によって、現代社会はかつてない規模の情報化と国際化に直面しています。SNS の登場により、誰もが容易に意見を発信できるようになりました。それに伴って、価値観の多様化も進んでいます。その一方、情報の信頼性は下がり、正確な情報かどうかを判断することは、個人の裁量にゆだねられるようになりました。現代は、情報を読み解く力がこれまで以上に求められる時代といえるでしょう。

この授業では、English 1・2 で学んだ英語を基礎として、英語の四技能（Reading, Writing, Listening, Speaking）を養います。また、英語圏で報道されるニュースを見たり、読んだりすることで、現代社会が抱える問題を知り、自分たちの社会や文化を相対的な観点から考えます。ニュースの内容を正確に把握するとともに、それらを批判的に検討し、説得力を以って自分の意見を周りの人に伝えられるようになることを目指します。これらを通して多様な価値観や考え方に触れ、自分が慣れ親しんできた「常識」と照らし合わせることで、英語圏の社会や文化だけでなく、自分たちの社会や文化についても理解を深めていきます。

【到達目標】

・　英英辞典を引き、もっとも適切な語義を選ぶことができるようになる。
・　英字新聞の記事の形式に慣れ、その内容を正確に把握できるようになる。
・　記事の内容を批判的に検討し、自分のなりの考えを持てるようになる。
・　自分の意見を、英語でわかりやすく伝えることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

今学期の授業は、原則としてテキストに沿って進めます。テキストに掲載されたものの中からさまざまな分野の新聞記事を読み、まずは形式に慣れることを目指します。取り扱う記事について、（1）単語リスト、（2）要約、（3）自分の意見、（4）ディスカッション・クエスチョンを作成してきてください。教室では記事の内容を全員で確認したり、ニュースに特有の表現や形式を紹介したりした後、グループで記事の内容について話し合います。

【オンライン授業に伴う変更について】

春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日は４月２４日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	授業の説明と今学期の目標
Week 2	News and Features (1)	Reading and Discussion
Week 3	News and Features (2)	The media and you
Week 4	Opinion (1)	Reading and Discussion
Week 5	Opinion (2)	Making yourself familiar with a newspaper
Week 6	Business (1)	Reading and Discussion
Week 7	Business (2)	News story structure
Week 8	Lifestyle (1)	Reading and Discussion
Week 9	Lifestyle (2)	Summarizing stories
Week 10	Arts and Entertainment (1)	Reading and Discussion
Week 11	Arts and Entertainment (2)	Headlines
Week 12	Technology and Science	Reading and Discussion
Week 13	Health	Reading and Discussion
Week 14	Review	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

授業で扱う新聞記事について、（1）単語リスト、（2）要約、（3）自分の意見、（4）ディスカッション・クエスチョンを作成してきてください。普段から新聞やニュース番組に触れ、各分野に関連する話題の理解に努めるとよいでしょう。

【テキスト（教科書）】

International Herald Tribune, Reading the News Components (Cengage Learning, 2007) ￥2,160

【参考書】

- BBC Learning English http://www.bbc.co.uk/learningenglish/
- VOA Learning English https://learningenglish.voanews.com/
- CNN10　https://edition.cnn.com/cnn10
- ABC News video　https://abcnews.go.com/video

【成績評価の方法と基準】

・　期末試験 40%　平常点（授業への参加度、小テスト、提出物）60%
・　原則として、4 回以上欠席すると単位の修得が認められません。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度は、クラスメートと意見を交換する機会を設けたことが好評でした。また、各自の興味に合わせてニュースの記事を集める課題を通して、社会を知ることができたとの声もありました。今年度も引き続き、社会で話題になっているニュースをとりあげたり、英語を話す時間を積極的に取り入れたりしていきたいと思います。

【その他の重要事項】

・　毎回の授業に辞書を持参してください（電子辞書でも構いません）。

【Outline and objectives】

As the Internet has developed, society faces more opportunities to judge the value of information. Many people can send a message through SNS though the reliability of each message is ambiguous. Now, it can be said that the society in which we live wants us to have literacy of information.

Based on the skills and knowledge acquired in English 1 and 2, students will improve their four English skills (reading, writing, listening, and speaking). They will also learn about various international cultural and social issues in this course. Through this course, they will be encouraged to consider the society they have been living in within an international context.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Aspects of the English Speaking World: Reading the News

川澄　亜岐子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に引き続き、English1・2 で学んだことを基礎として、英語の四技能（Reading, Writing, Listening, Speaking）を養うとともに、現代社会について考えていきます。今学期は、英語圏で報道されるニュースの内容を把握するだけでなく、その背景にはどのような出来事があるのか、それに対して各メディアはどのような姿勢を取っているのか、その姿勢はニュースの報道のされ方にどのように表れているのか、などニュースの本質にも迫ります。記事を通して英語圏の人々の価値観や考え方に触れ、自分が慣れ親しんできた「常識」と照らし合わせることで、英語圏の社会や文化とともに自分たちの社会や文化についても理解を深めていきます。

【到達目標】
・　英英辞典を引き、もっとも適切な語義を選ぶことができるようになる。
・　英字新聞の記事の形式に慣れ、その内容を正確に把握できるようになる。
・　記事の内容を批判的に検討し、自分のなりの考えを持てるようになる。
・　自分の意見を、英語でわかりやすく伝えることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
原則としてテキストを使用せず、各自の興味に従って集めてきたニュース記事を扱います。それぞれの記事の内容を文章で説明したり、クラスメートと意見を述べ合ったりするグループ・ディスカッションを行います。学期の後半では、ニュースが作られる背景についても考えます。メディアに関する資料を観たり読んだりしてジャーナリストの仕事のやりがいや困難について考えたり、みなさん自身がニュースの記事を書いたりする機会を設けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	授業の説明と今学期の目標
Week 2	The media of English news	News sources and agencies
Week 3	News Point	The news point and time order of a story
Week 4	Headlines (1)	The purpose of headlines
Week 5	Headlines (2)	Headline writing techniques
Week 6	What makes a story news? (1)	Types of articles, understanding news values
Week 7	What makes a story news? (2)	Writing a news article
Week 8	What makes a story news? (3)	Editing the article
Week 9	Genre of articles (1)	Editorials and opinion articles
Week 10	Genre of articles (2)	Reading editorials from newspapers
Week 11	Genre of articles (3)	Reading interview and personality profile
Week 12	Journalist's job (1)	Think about media job through a film
Week 13	Journalist's job (2)	Discussion on media jobs
Week 14	Review & Course summary	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4
hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
毎週一つのテーマを決め、それに関するニュースの記事を集めます。それぞれの記事について、（1）単語リスト、（2）要約、（3）自分の意見、（4）ディスカッション・クエスチョンを作成してください。普段から新聞やニュース番組などに触れ、テーマに関連する話題の理解に努めるとよいでしょう。

【テキスト（教科書）】
原則としてテキストは使いません。必要な教材や資料は、適宜配布します。

【参考書】
- BBC Learning English http://www.bbc.co.uk/learningenglish/
- VOA Learning English https://learningenglish.voanews.com/
- CNN10　https://edition.cnn.com/cnn10
- ABC News video　https://abcnews.go.com/video
- International Herald Tribune, Reading the News Components (Cengage Learning, 2007)

【成績評価の方法と基準】
・　期末課題 40%　平常点（授業への参加度、小テスト、提出物など）60%
・　原則として、4 回以上欠席すると単位の修得が認められません。

【学生の意見等からの気づき】
昨年度は、クラスメートと意見を交換する機会を設けたことが好評でした。また、各自の興味に合わせてニュースの記事を集める課題を通して、新聞を読む習慣がついたという声もありました。今年度も引き続き、社会で話題になっているニュースをとりあげたり、英語を話す時間を積極的に取り入れたりしていきたいと思います。

【その他の重要事項】
・　毎回の授業に辞書を持参してください（電子辞書でも構いません）。

【Outline and objectives】
Following the spring semester, based on the skills and knowledge acquired in English 1 and 2, students will improve their four English skills (reading, writing, listening, and speaking). They will also learn about various international cultural and social issues in this course. In the fall semester, students try to understand news deeply — they will be expected to think about it from various perspectives — historically, socially, diplomatically, and so on. Through this course, they will be encouraged to consider the society they have been living in within an international context.

LANe200LA

English ３Ｉ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカの文化と社会の特徴**

須藤　祐二

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営２年：中級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次に習得した４技能の英語運用能力に基づき、アメリカの地域ごとの文化的・社会的な特徴の一端を題材にしながら、英語資料の理解や英語で批判的に意見を発信する能力の向上を目指す。また、受講生は、日本の地域の文化的・社会的特徴を英語で発信する演習にも取り組むことが求められる。

【到達目標】
受講生は簡単な英語で書かれたものであれば、辞書にあまり頼らなくてもある程度正確に読めるようにする。
受講生は発信された内容をまとめ、論点を批判的にくみ取りながら自分の意見を英語で表現できるようにする。
世界に大きな影響力をもつアメリカについて、特に、地域ごとの文化や社会の多様性を学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
受講生のレベルに合わせながら、ウォーム・アップとしてリスニングを行う。リーディング、ライティング、スピーキング（プレゼンテーション）にうち、各回に割り当てられた技能の演習を中心に進める。例えば、テキストを読む回では、語彙力の養成や構文の理解を重視する。内容理解の確認は内容を日本語でまとめることを通して行う。プレゼンテーションの回では、英語表現や構成の適切な使用だけでなく、発表時の姿勢やボディ・ランゲージなども指導する。
　英語パラグラフ・ライティングの指導の機会を作り、そこで確認したルールに従って、学期末にレポートを提出してもらう。
ただし、春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 24 日とし、この日に具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	導入	授業のテーマの確認と授業方法の説明
2	Chapter1 (Boston) の精読とリスニング演習	Boston の歴史を読み、現代のこの都市についてのリスニング演習を行う
3	Chapter2 (Maine) の速読とリスニング演習	Maine の文化的特徴についてのエッセイを読み、大意をつかむ練習をする。リスニング演習を行う
4	Chapter3 (New York City1) の速読とスピーキング演習	New York 市と LGBT の歴史を読み、大意をつかむ練習をする。スピーキングの演習を行う
5	Chapter4 (New York City2) の精読とスピーキング演習	New York 市の地域ごとの多様性の記事を読み、スピーキングの演習を行う
6	プレゼンテーション原稿の作成方法	プレゼンテーションの構成や言葉遣いなどについての指導を行う
7	プレゼンテーション (1)	第１グループ）身の回りの生活用品や食文化等でアメリカ発のもの、または、日本のある地域の文化的な特色を取り上げて、その簡単な紹介を英語で行う。受講生同士で講評を行う
8	プレゼンテーション (2)	（第２グループ）身の回りの生活用品や食文化等でアメリカ発のもの、または、日本のある地域の文化的な特色を取り上げて、その簡単な紹介を英語で行う。受講生同士で講評を行う
9	Chapter5(Washington, D.C) の精読とリスニング演習	連邦政治の舞台としてのワシントン D.C について書かれたエッセイを読み、リスニング演習を行う
10	Chapter6(Charleston) の速読とリスニング演習	Charleston と南北戦争について学び、リスニング演習を行う
11	エッセイ・ライティングの準備 (1)	プレゼンテーションの原稿を参考または修正しながら、英語エッセイ・ライティングの基礎を学ぶ——エッセイ・ライティングの基本構造について リスニング演習を行う
12	エッセイ・ライティングの準備 (2)	プレゼンテーションの原稿を参考または修正しながら、英語エッセイ・ライティングの基礎を学ぶ——スタイルの選択がどのような影響をもたらすかについて リスニング演習を行う
13	アメリカのニュース記事の精読とライティング演習	与えられた記事について学生間で講評し、自分の意見を英語でまとめて書く
14	試験とまとめ	この授業で学んだことのまとめと振り返りを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストの指定箇所および配布する資料の予習が必須となる。プレゼンテーションの回の前には、必ず原稿を作成して授業に出席する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
American Vibes: People, Places and Perspectives. （Todd Rucynski 他著、金星堂）
必ず英和・和英辞書を持参すること。
PC、タブレット、スマートフォン等の辞書アプリの使用は認めない。

【参考書】
特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】
期末試験 50 %、ライティングの課題 25 %、授業の参加度合（スピーキングやプレゼンテーションも含む）25 %。4 回以上欠席した者は単位を認定しない。欠席回数や遅刻による減点もあるので注意すること。
なお、春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
担当初年度のため、特になし。

【Outline and objectives】
Based on the English proficiency improved in the first year and by using as educational materials the cultural and social characteristics of American states and major cities, students develop further their ability to comprehend articles written in English and present their critical opinions in this language. Also, students will be demanded to present their opinions on the cultural and social characteristics of a region in Japan.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカの文化と社会の特徴**

須藤　祐二

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次に習得した４技能の英語運用能力に基づき、アメリカの地域ごとの文化的・社会的な特徴の一端を題材にしながら、英語資料の理解や英語で批判的に意見を発信する能力の向上を目指す。また、受講生は、日本の地域の文化的・社会的特徴を英語で発信する演習にも取り組むことが求められる。

【到達目標】
受講生は簡単な英語で書かれたものであれば、辞書にあまり頼らなくてもある程度正確に読めるようにする。
受講生は発信された内容をまとめ、論点を批判的にくみ取りながら自分の意見を英語で表現できるようにする。
世界に大きな影響力をもつアメリカについて、特に、地域ごとの文化や社会の多様性を学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
受講生のレベルに合わせながら、ウォーム・アップとしてリスニングを行う。リーディング、ライティング、スピーキング（プレゼンテーション）にうち、各回に割り当てられた技能の演習を中心に進める。例えば、テキストを読む回では、語彙力の養成や構文の理解を重視する。内容理解の確認は内容を日本語でまとめることを通して行う。プレゼンテーションの回では、英語表現や構成の適切な使用だけでなく、発表時の姿勢やボディ・ランゲージなども指導する。
　英語パラグラフ・ライティングの指導の機会を作り、そこで確認したルールに従って、学期末にレポートを提出してもらう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	春学期の復習と秋学期の授業の概要説明	春学期に学んだことの振り返りを行い、秋学期の授業でなにを学ぶかを説明する
2	Chapter7 (Savannah) の精読とリスニング演習	Savannah の記事および DVD でその観光資源について学ぶ。リスニング演習を行う
3	Chapter9 (Austin) の速読とリスニング演習	Austin の文化的特徴についての紹介文を読み、大意をつかむ練習をする。リスニング演習を行う
4	Chapter10 (Saint Jo, Texas) の速読とスピーキング演習	Texas の紹介文を読み、大意をつかむ練習をする。スピーキングの演習を行う
5	Chapter11 (Santa Fe, New Mexico) の精読とスピーキング演習	Santa Fe の歴史についての記事を読み、スピーキングの演習を行う
6	Chapter12(Arizona) の精読とスピーキング演習	Route 66 の文化的な意味についての記事を読み、スピーキングの演習を行う
7	プレゼンテーション (1)	（第１グループ）身の回りの生活用品や食文化等でアメリカ発のもの、または、日本のある地域の文化的な特色を取り上げて、その簡単な紹介を英語で行う。春学期とは別のものを扱い、少し長く深いプレゼンテーションを行う。 受講生同士で講評を行う
8	プレゼンテーション (2)	（第２グループ）身の回りの生活用品や食文化等でアメリカ発のもの、または、日本のある地域の文化的な特色を取り上げて、その簡単な紹介を英語で行う。春学期とは別のものを扱い、少し長く深いプレゼンテーションを行う。 受講生同士で講評を行う
9	Chapter 13(Los Angeles 1) の精読とリスニング演習	ハリウッドについて書かれたエッセイを読み、リスニング演習を行う
10	Chapter 14(Los Angeles 2) の速読とリスニング演習	Los Angeles の多様な食文化について学び、リスニング演習を行う
11	エッセイ・ライティングの準備 (1)	プレゼンテーションの原稿を参考または修正しながら、英語エッセイ・ライティングの基礎を学ぶ――春学期とは違うスタイルでエッセイを書く リスニング演習を行う
12	エッセイ・ライティングの準備 (2)	プレゼンテーションの原稿を参考または修正しながら、英語エッセイ・ライティングの基礎を学ぶ――スタイルの選択がどのような影響をもたらすかについて リスニング演習を行う
13	アメリカのニュース記事の精読とライティング演習	与えられた記事について学生間で講評し、自分の意見を英語でまとめて書く
14	試験とまとめ	この授業で学んだことのまとめと振り返りを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストの指定箇所および配布する資料の予習が必須となる。プレゼンテーションの回の前には、必ず原稿を作成して授業に出席する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
American Vibes: People, Places and Perspectives. （Todd Rucynski 他著、金星堂）
必ず英和・和英辞書を持参すること。
PC、タブレット、スマートフォン等の辞書アプリの使用は認めない。

【参考書】
特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】
期末試験 50 %、ライティングの課題 25 %、授業の参加度合（スピーキングやプレゼンテーションも含む）25 %。4 回以上欠席した者は単位を認定しない。欠席回数や遅刻による減点もあるので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】
担当初年度のため、特になし。

【Outline and objectives】
Based on the English proficiency improved in the first year and by using as educational materials the cultural and social characteristics of American states and major cities, students develop further their ability to comprehend articles written in English and present their critical opinions in this language. Also, students will be demanded to present their opinions on the cultural and social characteristics of a region in Japan.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**多元的な思考と自文化理解**

森永　豊

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English3 では、English1 と English2 で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力を更に深める。またこれら 4 技能を総合的に駆使し、あるテーマについて英語で情報を得、その情報を批判的に考察し、さらに自分の意見を英語で発信していく能力を養成する。
本授業ではこうした作業を、日本人のイメージと実像という課題の下に行う。手がかりとして、あるアメリカ人が見た日本の人・社会・文化を、テキストの読解資料を使って理解する。さらにニュース番組や文化的な映像コンテンツを視聴し、要点を把握した上で同じトピックについての意見を形成し、クラスの前で発表し、質疑応答を行うことで、上記の能力を伸ばしていく。

【到達目標】
・英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読解することができる。
・英語の文章をある程度の速度をもって読み、目的とする情報をそこから読み取ることができる。
・英語のリスニングに慣れ、日々のリスニング学習の習慣を身に着ける。
・文法的に正確で、形式の整った英文パラグラフを書くことが出来る。
・日本の人、社会、文化に関する自分の意見を英語で表明し、関連するトピックで他人と英語で質疑応答することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
少なくとも学期の前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。学習支援システムで授業が開始される日を５月８日 (金) とする。第２回の授業までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。
テキストの Part1 Inbound Japan の各 Unit のエッセーと付属の音声素材を使って授業を進める。学期をさらに二つのセクションに区切る。セクションごとのトピックを軸にして、エッセーの作成とプレゼンテーションを行う。
セクション１「日本人の人間関係の作り方」
Unit 1 What's in a Name?
Unit 2 Country of Eyes
Unit 3 The Language Dance
セクション２「日本人の社会との向き合い方」
Unit 6 Politics So Far from Home
Unit 7 In Japan in Decline?
Unit 8 A New Era or An Era of Newness?

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	授業説明	授業のテーマの確認と授業方法の説明
2	日本人の人間関係の作り方 I Unit 1 What's in a Name?	セクションテーマと課題 (プレゼンテーション) の通知 Unit 1 (Using the keywords, Comprehending the essay, Summarizing the essay)
3	日本人の人間関係の作り方 II Unit 2 Country of Eyes	Unit 2 (Using the keywords, Comprehending the essay, Summarizing the essay)
4	日本人の人間関係の作り方 III Unit 3 The Language Dance	Unit 3 (Using the keywords, Comprehending the essay, Summarizing the essay)
5	日本人の人間関係の作り方 IV	プレゼンテーションの方法と準備、アウトライン提出
6	日本人の人間関係の作り方 V	プレゼンテーション資料の推敲と練習
7	日本人の人間関係の作り方 VI	プレゼンテーション本番、スクリプト提出
8	日本人の社会との向き合い方 I Unit 6 Politics So Far from Home	セクションテーマと課題 (プレゼンテーション) の通知 Unit 1 (Using the keywords, Comprehending the essay, Summarizing the essay)
9	日本人の社会との向き合い方 II Unit 7 In Japan in Decline?	Unit 2 (Using the keywords, Comprehending the essay, Summarizing the essay)
10	日本人の社会との向き合い方 III Unit 8 A New Era or An Era of Newness?	Unit 2 (Using the keywords, Comprehending the essay, Summarizing the essay)
11	日本人の社会との向き合い方 IV	プレゼンテーションの技術とコツ、アウトライン提出
12	日本人の社会との向き合い方 V	プレゼンテーション資料の推敲と練習
13	日本人の社会との向き合い方 VI	プレゼンテーション本番、スクリプト提出
14	期末試験・学期のまとめ・自主学習のアドバイス	期末試験はテキストの Unit から読解、リスニング。試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。読む、聞く、話す、書くという 4 技能のいずれか（あるいは複数）に関する課題が毎週必ず出る。授業の予習、復習、および課題提出は必須である。学期中に２回語彙テストを行うので単語やフレーズの暗記も必要になる。

【テキスト（教科書）】
『Inbound / Outbound』Michael Pronko、金星堂、2020 年、1900 円 (税別)。

【参考書】
・『LINKS 1500 ―大学生のためのトピック別必修英単語―』、金星堂、2013 年、1800 円（税別）（以下の URL で無料にてダウンロードできる音声ファイルが付属している。http://www.kinsei-do.co.jp/download/3963）
・綿貫陽、マーク・ピ゜ーターセン (共著)、『表現のための実践ロイヤル英文法』、旺文社、 2011 年、1944 円 (税込)
・『Oxford Learner's Thesaurus オックスフォード゛英語類語活用辞典』、オックスフォード゛大学出版局、2008 年、4700 円 (税別)
その他、授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
少なくとも学期の前半がオンラインでの開講となったことにともない、以下に定めた成績評価の方法と基準を変更する。具体的な方法と基準は、第２回の授業までに学習支援システムで提示する。
ライティング課題： 25 %、プレゼンテーション： 25%、期末テスト： 25 %、平常点（予習、授業内課題の提出、授業時のパフォーマンス）： 25 %。
欠席が四回以上の場合は原則として単位を与えない。30 分以上の遅刻は欠席と見なし、3 回の遅刻は欠席 1 回とカウントする。

【学生の意見等からの気づき】
授業の進め方については、定期的かつ高い頻度で学生からのフィード゛バ゛ックを行う。

【その他の重要事項】
辞書を必ず゛持参すること。

【Outline and objectives】
English3, based on those skills you learned in English1 and 2, helps you further improve your language ability by integrated learning of the skills. In the class, you collect relevant information on certain topics, analyze it with critical eyes and create your opinion. Then, you are required to read(listen to) several English materials (news sources, videos, the text) to write down(speak out) your opinion in English. The topics are on the images and realities of Japanese.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**多元的な思考と自文化理解**

森永　豊

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English3 では、English1 と English2 で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力を更に深める。またこれら 4 技能を総合的に駆使し、あるテーマについて英語で情報を得、その情報を批判的に考察し、さらに自分の意見を英語で発信していく能力を養成する。
学期を通じてグローバルな視野と多様性に開かれた外向きのマインドセットを持つことの意義を考察する。アカデミックライティングの基礎を理解し、ショートエッセーを書く。さらに、ショートエッセーの内容をプレゼンテーションする。

【到達目標】
・英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読解することができる。
・英語の文章をある程度の速度をもって読み、目的とする情報をそこから読み取ることができる。
・英語のリスニングに慣れ、日々のリスニング学習の習慣を身に着ける。
・文法的に正確で、形式の整った英文パラグラフを書くことが出来る。
・日本の人、社会、文化に関する自分の意見を英語で表明し、関連するトピックで他人と英語で質疑応答することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストの Part2 Outbound Japan の各 Unit のエッセーと付属の音声素材を使って授業を進める。学期全体で課す課題を軸にしてリスニング、和訳、読解、ディスカッション、ショートエッセーのライティング、プレゼンテーションを行っていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	授業説明	授業のテーマの確認と授業方法の説明 学期の課題 (ショートエッセー、プレゼンテーション) の通知
2	アカデミックライティング 1	ショートエッセーの見本の読解 アカデミックライティングの講義 1 (論理的な文章) プロセスライティング (Idea Generation)
3	ショートエッセー Unit 13 The Art of Conversation	プロセスライティング (Idea Generation) Unit 13 (Using the keywords, Comprehending the essay, Summarizing the essay)
4	ショートエッセー Unit 14 "Get Out! Why Not Go?"	プロセスライティング (Idea Generation) Unit 14 (Using the keywords, Comprehending the essay, Summarizing the essay)

5	ショートエッセー Unit 15 Passion for English	プロセスライティング (Idea Generation) Unit 15 (Using the keywords, Comprehending the essay, Summarizing the essay)
6	ショートエッセー アカデミックライティング２	アカデミックライティングの講義２ (形式通りに書くことの意味) プロセスライティング (Organization, エッセーアウトラインの提出)
7	ショートエッセー	プロセスライティング (エッセーアウトラインの提出, First Draft)
8	ショートエッセー	プロセスライティング (First Draft, Rewriting)
9	ショートエッセー アカデミックライティング３	アカデミックライティングの講義３ (エッセーを仕上げる際に気をつけること) プロセスライティング (Rewriting)
10	ショートエッセー、プレゼンテーション	プロセスライティング (Rewriting) ショートエッセーの提出 プレゼンテーションの見本の聞き取り プレゼンテーションの技術とコツ
11	プレゼンテーション	プレゼンテーション資料の作成
12	プレゼンテーション	プレゼンテーションの資料の作成、練習
13	プレゼンテーション	プレゼンテーション本番
14	期末試験・学期のまとめ・自主学習のアドバイス	期末試験はテキストの Unit から読解、リスニング。試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。読む、聞く、話す、書くという 4 技能のいずれか（あるいは複数）に関する課題が毎週必ず出る。授業の予習、復習、および課題提出は必須である。学期中に２回語彙テストを行うので単語やフレーズの暗記も必要になる。

【テキスト（教科書）】
『Inbound / Outbound』Michael Pronko、金星堂、2020 年、1900 円 (税別)。

【参考書】
・『LINKS 1500 ―大学生のためのトピック別必修英単語―』、金星堂、2013 年、1800 円（税別）（以下の URL で無料にてダウンロードできる音声ファイルが付属している。http://www.kinsei-do.co.jp/download/3963）
・綿貫陽、マーク・ピ゜ーターセン (共著)、『表現のための実践ロイヤル英文法』、旺文社、 2011 年、1944 円 (税込)
・『Oxford Learner's Thesaurus オックスフォート゛英語類語活用辞典』、オックスフォート゛大学出版局、2008 年、4700 円 (税別)
その他、授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
ライティング課題： 25 %、プレゼンテーション： 25%、期末テスト： 25 %、平常点（予習、授業内課題の提出、授業時のパフォーマンス）： 25 %。
欠席が四回以上の場合は原則として単位を与えない。30 分以上の遅刻は欠席と見なし、3 回の遅刻は欠席 1 回とカウントする。

【学生の意見等からの気づき】
授業の進め方については、定期的かつ高い頻度で学生からのフィート゛バ゛ックを行う。

【その他の重要事項】
辞書を必ず゛持参すること。

【Outline and objectives】
English3, based on those skills you learned in English1 and 2, helps you further improve your language ability by integrated learning of the skills. In the class, you collect relevant information on certain topics, analyze it with critical eyes and create your opinion. Then, you are required to read(listen to) several English materials (news sources, videos, the text) to write down(speak out) your opinion in English. The topics are on the images and realities of Japanese.

LANe200LA

English ３ Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本（NHK World で学ぶ日本事情＆カズオ・イシグロを読む）**

西　あゆみ

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、NHK World ニュースと日系英国人作家カズオ・イシグロの作品を題材に、4 技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目指します。NHK World ニュースを英語で理解し、現代日本の諸問題について自分の意見を発信する力を養うとともに、カズオ・イシグロの短編や小説を仲間とともに読む楽しみを経験します。

【到達目標】
（1）インタビューやニュースから必要な情報を聞き取ることができる。
（2）自分の意見をわかりやすくパラグラフにまとめることができる。
（3）自分の意見をわかりやすく口頭で説明することができる。
（4）英語で書かれた短編や小説を読み、内容を理解することができる。
（5）新出語彙や表現の意味を自ら調べ、正しい文脈で使うことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業の前半は NHK World の日本に関するニュースやドキュメンタリーを視聴し、リスニング問題に取り組んだあと、ペアやグループで意見交換をしたり、会話文の練習を行います。また、扱ったトピックについての自分の意見をパラグラフにまとめます。
授業の後半は、カズオ・イシグロの短編"A Family Supper"と小説 The Remains of the Day（日の名残り）を読みます。授業外の課題として、毎週一定の分量（20 ページほどを予定しています）を読み進めた後、内容把握クイズの答案をオンラインで提出し、語彙を調べてきてもらいます。授業内では、担当者を決めあらすじや重要表現を発表してもらったあと、グループで抜粋箇所の精読に取り組み、映画版との比較を行います。
授業進度や学生の関心に応じて進め方は変更することがあります。
※オンライン授業への移行に伴い、授業内容が変更になる可能性があります。
※授業開始日は 5 月 8 日（金）です。授業開始前にオンライン環境についてのアンケートを授業支援システム上にアップロードしますので、期日までにご回答ください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Introduction	ガイダンス
第 2 回	Unit 1 Gunning for Glory A Family Supper	NHK Newsline Unit 1 語彙の確認＆内容理解、短編 A Family Supper の精読。
第 3 回	Unit 1 Gunning for Glory A Family Supper	NHK Newsline Unit 1 ディクテーション＆パラグラフ・ライティング、短編 A Family Supper の精読。
第 4 回	Unit 2 Video Bingeing The Remains of the Day	NHK Newsline Unit 2 語彙の確認＆内容理解、The Remains of the Day の精読。
第 5 回	Unit 2 Video Bingeing The Remains of the Day	NHK Newsline Unit ２ ディクテーション＆パラグラフ・ライティング、The Remains of the Day の精読。
第 6 回	Unit 3 Speaking Their Language The Remains of the Day	NHK Newsline Unit 3 語彙の確認＆内容理解、The Remains of the Day の精読。
第 7 回	中間試験、および前半のまとめ	第 6 回までの確認として中間テストを行う
第 8 回	Unit 4 Creativity from the Campus The Remains of the Day	NHK Newsline Unit 4 語彙の確認＆内容理解、The Remains of the Day の精読。
第 9 回	Unit 4 Creativity from the Campus The Remains of the Day	NHK Newsline Unit 4 ディクテーション＆パラグラフ・ライティング、The Remains of the Day の精読。
第 10 回	Unit 5 Firms Help Fight Plastic Pollution The Remains of the Day	NHK Newsline Unit 5 語彙の確認＆内容理解、The Remains of the Day の精読。
第 11 回	Unit 5 Firms Help Fight Plastic Pollution The Remains of the Day	NHK Newsline Unit 5 ディクテーション＆パラグラフ・ライティング、The Remains of the Day の精読。
第 12 回	Unit 6 Foreign Students Get Helping Hand The Remains of the Day	NHK Newsline Unit 6 語彙の確認＆内容理解、The Remains of the Day の精読。
第 13 回	Unit 6 Foreign Students Get Helping Hand The Remains of the Day	NHK Newsline Unit 6 ディクテーション＆パラグラフ・ライティング、The Remains of the Day の精読。
第 14 回	期末テスト	第 8 回～第 13 回までの確認として期末テストを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
準備学習：カズオ・イシグロ作品のその週の範囲を読み、オンライン上の簡単な内容理解クイズに答える。
課題：ライティング課題をメールで提出する。

【テキスト（教科書）】
NHK Newsline 3, Tatsuroh Yamazaki, Stella M. Yamazaki, 金星堂, 2020 年, 2400 円
The Remains of the Day, Kazuo Ishiguro, Faber & Faber, 1294 円

【参考書】
指定しない。

【成績評価の方法と基準】
平常点（積極的な授業参加）： 20 %
課題（予習課題、ライティング課題など）： 40 %
中間テスト：２０%
期末テスト：２０%
学期内の欠席が 4 回以上ある場合は、単位修得は認めません。
※オンライン授業への移行に伴い、評価方法が変更になる可能性があります。

【学生の意見等からの気づき】
本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【その他の重要事項】
辞書を持参してください。授業中に携帯電話を使うことは原則認めません。

【Outline and objectives】
This class is a four-skill integrated course. The course is designed to improve students' ability to read authentic English materials (Kazuo Ishiguro's novels) and discuss their opinions with their peers orally. Students will also develop the ability to obtain necessary information from various audiovisual sources in English (such as NHK World Newsline) as well as to write their ideas clearly in a short paragraph.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本（NHK World で学ぶ日本事情＆カズオ・イシグロ**

西　あゆみ

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、NHK World ニュースと日系英国人作家カズオ・イシグロの作品を題材に、4 技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目指します。NHK World ニュースを英語で理解し、現代日本の諸問題について自分の意見を発信する力を養うとともに、カズオ・イシグロの短編や小説を仲間とともに読む楽しみを経験します。

【到達目標】
（1）インタビューやニュースから必要な情報を聞き取ることができる。
（2）自分の意見をわかりやすくパラグラフにまとめることができる。
（3）自分の意見をわかりやすく口頭で説明することができる。
（4）英語で書かれた短編や小説を読み、内容を理解することができる。
（5）新出語彙や表現の意味を自ら調べ、正しい文脈で使うことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業の前半は NHK World の日本に関するニュースやドキュメンタリーを視聴し、リスニング問題に取り組んだあと、ペアやグループで意見交換をしたり、会話文の練習を行います。また、扱ったトピックについての自分の意見をパラグラフにまとめます。
授業の後半は、カズオ・イシグロの小説 Never Let Me Go (『わたしを離さないで』) を読みます。授業外の課題として、毎週一定の分量（20 ページほどを予定しています）を読み進めた後、オンラインの内容把握クイズに解答してもらいます。授業内では、担当者を決めあらすじや重要表現を発表してもらったあと、グループで抜粋箇所の精読に取り組み、映画版との比較を行います。
授業進度や学生の関心に応じて進め方は変更することがあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Introduction	ガイダンス
第 2 回	Unit 7 Fighting Food Waste Never Let Me Go	NHK Newsline Unit 7 語彙の確認＆内容理解、Never Let Me Go の精読
第 3 回	Unit 7 Fighting Food Waste Never Let Me Go	NHK Newsline Unit 7 ディクテーション＆パラグラフ・ライティング、Never Let Me Go の精読
第 4 回	Unit 8 Insulator Promises Energy Savings Never Let Me Go	NHK Newsline Unit 8 語彙の確認＆内容理解、Never Let Me Go の精読
第 5 回	Unit 8 Insulator Promises Energy Savings Never Let Me Go	NHK Newsline Unit 8 ディクテーション＆パラグラフ・ライティング、Never Let Me Go の精読

第 6 回	Unit 9 The Fight of Their Life Never Let Me Go	NHK Newsline Unit 9 語彙の確認＆内容理解、Never Let Me Go の精読
第 7 回	中間テストとこれまでのまとめ	第 6 回までの確認として中間テストを行う
第 8 回	Unit 10 Not-So-Human Resources Never Let Me Go	NHK Newsline Unit 10 語彙の確認＆内容理解、Never Let Me Go の精読
第 9 回	Unit 10 Not-So-Human Resources Never Let Me Go	NHK Newsline Unit 10 ディクテーション＆パラグラフ・ライティング、Never Let Me Go の精読
第 10 回	Unit 11 Adapting to a Tourist Influx Never Let Me Go	NHK Newsline Unit 11 語彙の確認＆内容理解、Never Let Me Go の精読
第 11 回	Unit 11 Adapting to a Tourist Influx Never Let Me Go	NHK Newsline Unit 11 ディクテーション＆パラグラフ・ライティング、Never Let Me Go の精読
第 12 回	Unit 12 Japan's Creative Classrooms Never Let Me Go	NHK Newsline Unit 12 語彙の確認＆内容理解、Never Let Me Go の精読
第 13 回	Unit 12 Japan's Creative Classrooms Never Let Me Go	NHK Newsline Unit 12 ディクテーション＆パラグラフ・ライティング、Never Let Me Go の精読
第 14 回	期末テスト	第８回～第１３回のまとめとして期末テストを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
準備学習：カズオ・イシグロ作品のその週の範囲を読み、オンライン上の簡単な内容理解クイズに答える。
課題：ライティング課題をメールで提出する。

【テキスト（教科書）】
NHK Newsline 3, Tatsuroh Yamazaki, Stella M. Yamazaki, 金星堂, 2020 年, 2400 円（先学期と同じ）
Never Let Me Go, Kazuo Ishiguro, Vintage International, 2010, 981 円

【参考書】
辞書を持参してください。

【成績評価の方法と基準】
平常点（積極的な授業参加、プレゼンテーション）： 20 %
課題（予習課題、ライティング課題など）： 4 0％
中間テスト：２０％
期末テスト：２０％
学期内の欠席が 4 回以上ある場合は、単位修得は認めません。

【学生の意見等からの気づき】
本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【その他の重要事項】
辞書を持参してください。授業中に携帯電話を使うとこは原則認めません。

【Outline and objectives】
This class is a four-skill integrated course. The course is designed to improve students' ability to read authentic English materials (Kazuo Ishiguro's novels) and discuss their opinions with their peers orally. Students will also develop the ability to obtain necessary information from various audiovisual sources in English (such as NHK World Newsline) as well as to write their ideas clearly in a short paragraph.

LANe200LA

English ３ I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Aspects of the English Speaking World

トビー　トラブ

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Learning English for communicating in a global society.

【到達目標】
This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students will participate in a variety of activities that involve all four skills of reading, writing, listening and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion by briefly writing their opinions, and then participate in discussions, usually in pairs. Reading comprehension will be checked, and new vocabulary will be reviewed after matching activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines. handout discussion activities
2	Unit 1: Getting to Know Each Other Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..
3	Unit 1 Environmental Issues Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.

4	The Way we Live Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
5	Unit 2 Technology: Friend or Foe Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
6	Unit 2 Political Refugees Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
7	Protests and dissent Research report/ mini- Presentations Connecting the dots Love and Loss Death	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
8	Music and Art Unit 3: Global thinking Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
9	Unit 3: Seize the day Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
10	Unit 3: Swim against the stream. Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
11	Unit 4: What will your verse be? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
12	The road less traveled. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment. Tips for the Quiz
13	Meritocracy and Theocracy Quiz Song lesson	Quiz Song lesson
14	Wrap-up	Go over quiz Speaking activity

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete a writing assignment every week in preparation for discussion. This writing assignment will usually require research. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course

【テキスト（教科書）】

There is no textbook. Handouts will be given in class.

【参考書】

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.
https://japantoday.com/
https://www.japantimes.co.jp/news/
https://www.yahoo.com/news/
http://www.bbc.com/news
https://news.google.com/news/

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 40%
Quizzes, writing assignments, presentations:60%
Departmental guidelines state that more than three absences will result in automatic failure of the course.
Obviously, when you are absent, it will hurt your class participation grade.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】
Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK). Translation software is strictly forbidden. You may use your phone in class ONLY for a dictionary app. Or, on a rare occasion, they could be used for purposes related to the class. I recommend using a dedicated electronic dictionary.

【その他の重要事項】
This is a challenging course, but you will learn a lot, and improve your English a lot. Because the course is challenging, you will have a proud sense of accomplishment when you have finished the course.
This syllabus is subject to revision, and likely will change based on the students' needs, and topics will be based on relevant social issues of the moment.

【Outline and objectives】
This is a content based course with the objective of helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of the world with an emphasis on American social, political, and popular culture.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Aspects of the English Speaking World

トビー　トラブ

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Learning English for communicating in a global society.

【到達目標】
This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students will participate in a variety of activities that involve all four skills of reading, writing, listening and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion by briefly writing their opinions, and then participate in discussions, usually in pairs. Reading comprehension will be checked, and new vocabulary will be reviewed after matching activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Welcome back	What I did over summer break. Recent happenings in the news. Research and writing assignment.
2	Homelessness Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..
3	Art and War Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.

4	Human Compassion Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
5	Is telling lies bad? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
6	Immigration good, or bad? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
7	How neighborhoods happen. Introduce big presentation. Create teams. Go over expectations.	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
8	Rules versus freedom Presentation topics due. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
9	Japan surveillance state. Outline of presentations due. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
10	Fabulous Japan Draft of words of presentations due. Current events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
11	Christmas and holidays. 5 Powerpoints due Christmas/holiday comprehension skill building activity.Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
12	Presentation Day.	Tips for the Quiz
13	Song lesson My Winter break Pandemics	Song lesson Discussion activity. No homework except to study for big quiz.
14	Big quiz	Quiz Games Puzzle

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are given a writing assignment almost every week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course

【テキスト（教科書）】

There is no textbook. Handouts will be given in class.

【参考書】

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.
https://japantoday.com/
https://www.japantimes.co.jp/news/
https://www.yahoo.com/news/
http://www.bbc.com/news
https://news.google.com/news/

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 40%
Quizzes, writing assignments, presentations:60%
Departmental guidelines state that more than three absences will result in automatic failure of the course.
Obviously, when you are absent, it will hurt your class participation grade.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】

Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK). Translation software is strictly forbidden. You may use your phone in class ONLY for a dictionary app. Or, on a rare occasion, they could be used for purposes related to the class. I recommend using a dedicated electronic dictionary.

【その他の重要事項】

This is a challenging course, but you will learn a lot, and improve your English a lot. Because the course is challenging, you will have a proud sense of accomplishment when you have finished the course.

【Outline and objectives】
This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English Speaking World: From Science to Business I

Genc Burcu

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is a course aiming to assist students in gaining fluency in English to sharing their ideas on business and science related content popularly discussed in the English speaking world.

【到達目標】
In this course, students will read a variety of content-based articles, and readings will be supplemented with listening exercises to help students improve their fluency in English. The classes are designed for pair and group discussions to provide the students with a friendly environment to express themselves in English. Students will also be required to complete some writing tasks such as paragraphs and short essays to express their ideas in a more organized way.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students will participate in a variety of activities that involve all four skills, but with a special emphasis on reading and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion, usually in pairs or groups.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines.
2	Unit 1: Starting Up What is leadership?	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
3	Unit 1: Starting Up Famous Leaders of the English Speaking World	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
4	Unit 1: Starting Up How to Start a Movement	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
5	Unit 2: Fragile Forests Environmental Issues of the Age	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.

6	Unit 2: Fragile Forests	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
7	Unit 2: Fragile Forests Conserving the Canopy	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
8	Group Presentations Unit 3:Bright Ideas Advances in the Medical Field in the English Speaking World	Each group will deliver a presentation following the course contents and objectives. In the remaining time, students will start with unit 3 topic discussion.
9	Unit 3: Bright Ideas Big Problems, Simple Solutions	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
10	Unit 3: Bright Ideas A Warm Embrace that Saves Lives	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
11	Unit 4:Game Changers Gaming and Teenagers in the English Speaking World	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
12	Unit 4: Game Changers Is Gaming Good for you?	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
13	Unit 4: Game Changers Gaming can make a better world?	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
14	Final Exam	Final exam of the semester will be conducted

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 2, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams. ￥ 2840
Additional newspaper articles will also be provided by the instructor in class.

【参考書】
These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.
https://japantoday.com/
https://www.japantimes.co.jp/news/
https://www.yahoo.com/news/
http://www.bbc.com/news
https://news.google.com/news/

【成績評価の方法と基準】
Class participation: 20%
Group Presentation: 30%
Writing assignments: 10%
Final Exam: 40%
More than 3 absences will result in automatic failure of the course.

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable

【Outline and objectives】
In this course, students will improve their confidence and skills in overall English communication while familiarizing themselves with the contemporary cultural, political, social concerns of the English speaking world.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English Speaking World: From Science to Business II

Genc Burcu

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is the second part of the course, “English Speaking World: From Science to Business” aiming to continue helping students to gain fluency in English and express their ideas on science and business related content popularly discussed in the English speaking world.

【到達目標】
In this course, students will read a variety of content-based articles, and readings will be supplemented with listening exercises to help students improve their fluency in English. The classes are designed for pair and group discussions to provide the students with a friendly environment to express themselves in English. Students will also be required to complete some writing tasks such as paragraphs and short essays to express their ideas in a more organized way.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students will participate in a variety of activities that involve all four skills, but with a special emphasis on reading and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion, usually in pairs or groups.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Course orientation	introductions & class guidelines.
2	Unit 5: Lessons in Learning Engaging Learners	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
3	Unit 5: Lessons in Learning Technology in the Classroom	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
4	Unit 5:Lessons in Learning The Key to Success?	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
5	Unit 6: Food for Life Food Revolution	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
6	Unit 6: Food for Life Teaching Children about Food	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
7	Unit 6: Food for Life Famous Cook: Jamie Oliver	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
8	Group Presentations Unit 7: Body Signs Non-verbal Communication	Each group will deliver a presentation following the course contents and objectives. In the remaining time, students will start with unit 3 topic discussion.
9	Unit 7: Body Signs Power of Body Language	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
10	Unit 7: Body Signs Your Body Language Shapes Who You are	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
11	Unit 8: Energy Builders Innovative Ideas	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
12	Unit 8: Energy Builders Engineers of the Future	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
13	Unit 8: Energy Builders Harnessing the Wind	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
14	Final Exam	Final exam of the semester will be conducted

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 2, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams (The same textbook from part I). ￥ 2840
Additional newspaper articles will also be provided by the instructor in class.

【参考書】
These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.
https://japantoday.com/
https://www.japantimes.co.jp/news/
https://www.yahoo.com/news/
http://www.bbc.com/news
https://news.google.com/news/

【成績評価の方法と基準】
Class participation: 20%

Group Presentation: 30%
Writing assignments: 10%
Final Exam: 40%
More than 3 absences will result in automatic failure of the course.

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable

【Outline and objectives】
In this course, students will improve their confidence and skills in overall English communication while familiarizing themselves with the contemporary cultural, political, social concerns of the English speaking world.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japanese culture in global context.

ジョナサン・エーブル

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／英語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

【到達目標】
Students will read, write,hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.
There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction.	Class methods and familiarisation with types of material.
2	A Place in the World 1	Global Perspectives.
3	A Place in the World 2	How Japan is Viewed Abroad.
4	Tradition 1	How History Informs our Present.
5	Tradition 2	Tradition Across the English Speaking World.
6	Popular Culture 1	The Fast Pace of Fashion.
7	Popular Culture 2	How Japanese Popular Culture Influences Others
8	Presentation Preparation	Topics, Groups and Ideas.
9	Presentations	Group Presentations In Class.
10	Media 1	Where We Get our News.
11	Media 2	Advertising and Commercial Communication.
12	Media 3	Movies and TV. How Entertainment Works.

13	Hello and Goodbye.	How We Meet and Take Our Leave.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interviews.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Text Previews and Preparation for Presentations in class will be expected. The task will be set each week as required.(本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。)University guidelines suggest preparation and review are around 4
hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Materials will be provided. See references.

【参考書】
NHK/NHK Educational
Japan Times
BBC News
British Council online resources (Word on the Street et al.)
Channel 4 News (UK)
CNN
Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】
Writing 25%
Presentation 15%
Class Participation 30%
Final Interview Test 30%
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【Outline and objectives】
English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japanese culture in global context.

ジョナサン・エーブル

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／英語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

【到達目標】
Students will read, write,hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.
There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction to Part II	Review and Look Forward.
2	Language.	How Languages Feed Each Other in a Globalising World.
3	Art.	Historical and Modern Views of Japanese Visual Art.
4	Performance.	How Japanese Performing Arts Influence the Worlds of Theatre and Dance.
5	Film.	Cross-cultural Storytelling.
6	Food 1.	What we Eat and Why.
7	Food 2.	Where and How we Eat.
8	Presentation Preparation.	Topics Groups and Planning.
9	Presentation.	Group Presentations in Class.
10	Travel.	From Commuters to Tourists.
11	Transport.	How Mobility Shapes Social Behaviour.
12	Soocial issues 1.	Ageing and Booming Populations

13	Social Issues 2.	Crime and Punishment.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interview.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Text reading and review and presentation preparation will be required. Tasks will be set each week as appropriate.(本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。)University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Materials will be provided. See References.

【参考書】
NHK/NHK Educational.
Japan Times.
BBC News
British Council online resources (Word on the Street et al.)
Channel 4 News (UK)
CNN
Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】
Writing 25%
Presentation 15%
Class Participation 30%
Final Interview Test 30%
In principle, no more than 3 absences per term are allowed

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【Outline and objectives】
English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会**

余田　剛

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
カテゴリー：現代の諸相
サブタイトル：メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会
CBS で配信されたニュースを素材として扱ったテキストを主教材とし、アメリカを主とした現代の様々な諸問題を扱いながら、英語の情報を的確に理解・分析し、問題点を考察した上で自らの意見を発信する力を身に着けることを目指し、インプットとアウトプットのバランスを取りながら英語の総合的な語学の学習をすることをテーマとする。

【到達目標】
１）英語の運用能力
English 1 と English2 で学んだことをベースとして、英語の 4 技能をさらに向上させる。
２）文化理解
コーヒーの効用、寝不足によるビジネスへの悪影響、日本の新しいレンタルサービスなどに関する、現代社会の様々な問題について見聞を広め、独自の分析ができる。
３）分からないことを調べる姿勢
さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業開始日は 4 月 24 日（金）です。5 限 16 ： 50 までに説明文を Hoppii に掲示します。
テキストは、各 Unit がニュースのスクリプトと内容把握を目的とした問題から成っている。テキストの各 Unit に 2 回分をかけ、1 回目はセクション 2,3 を解き、成美堂のサイトでニュース動画を見たうえで、ディクテーションとしてセクション 4 の穴埋めをし、2 回目はニュースのスクリプトを熟読し一部の英文を別の英語で言い換える。また、テキストで扱ったテーマに基づいて、プレゼンテーション（あるいは、エッセイの作成）を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明 課題①：自己紹介等
2	テキスト Unit1 前半	リスニング、リーディング 課題②：セクション２，３，４の答え提出
3	テキスト Unit1 後半	リーディング、ライティング 課題③：訳と書き換え＋ 課題④：セクション 5，6 の答え提出
4	テキスト Unit2 前半	リスニング、リーディング 課題⑤：セクション２，３，４の答え提出

5	テキスト Unit2 後半	リーディング、ライティング 課題⑥：訳と書き換え
6	プレゼンテーションあるいはエッセイの作成	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーションあるいはエッセイの作成（グループ１） 課題⑦：エッセイの作成と他学生のエッセイに対するコメント
7	テキスト Unit3 前半	リスニング、リーディング 課題⑧：セクション２，３，４の答え提出
8	テキスト Unit3 後半	リーディング、ライティング 課題⑨：訳と書き換え
9	テキスト Unit4 前半	リスニング、リーディング 課題⑩：セクション２，３，４の答え提出＋ 課題⑪：セクション 5，6 の答え提出
10	テキスト Unit4 後半	リーディング、ライティング 課題⑫：訳と書き換え
11	プレゼンテーションあるいはエッセイの作成	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーションあるいはエッセイの作成（グループ 2） 課題⑬：エッセイの作成と他学生のエッセイに対するコメント
12	試験あるいはレポート	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポートの提出・まとめと解説 課題⑭：レポート等の提出
13	なし	なし
14	なし	なし

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。テキスト中のスクリプトは、Web 動画を各自で観て穴埋めをして完成させたうえで、分からない単語などを調べてしっかり読み、また、問題は、あらかじめ指定された箇所を解いてくること。

【テキスト（教科書）】
CBS NewsBreak 4, Nobuhiro Kumai 他著, (成美堂, 2019 年), ￥2,400 + tax

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
授業計画に示した 14 回分の課題から評価する。課題を 4 回以上提出しなかった者は、単位取得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
授業外学習の時間を少しでも増やしてもらえるよう、復習や予習についてより具体的に働きかけるよう心がけます。

【Outline and objectives】
Category: Current Affairs
Subtitle: Learning Modern American Culture and Society through Media
This course aims to improve students' four core English language skills − reading, writing, listening, and speaking − using a textbook made up of the news stories drawn from CBS News shows that feature various current topics, especially in the US. Students will develop their abilities to accurately understand the information, think critically about the important current issues, and effectively express their ideas.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会**

余田　剛

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
カテゴリー：現代の諸相
サブタイトル：メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会
CBS で配信されたニュースを素材として扱ったテキストを主教材とし、アメリカを主とした現代の様々な諸問題を扱いながら、英語の情報を的確に理解・分析し、問題点を考察した上で自らの意見を発信する力を身に着けることを目指し、インプットとアウトプットのバランスを取りながら英語の総合的な語学の学習をすることをテーマとする。

【到達目標】
１）英語の運用能力
English 1 と English2 で学んだことをベースとして、英語の 4 技能をさらに向上させる。
２）文化理解
寄付して利益を上げる新しいビジネスモデル、海洋汚染、人型ロボットの開発などに関する、現代社会の様々な問題について見聞を広め、独自の分析ができる。
３）分からないことを調べる姿勢
さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストは、各 Unit がニュースのスクリプトと内容把握を目的とした問題から成っている。スクリプトは、ある程度のまとまりで一人ずつあてて基本的には逐語訳をしてもらい、確認が必要な場合はこちらから質問をし、問題もあてて答えてもらう形式で進めていく。その為受講者は各授業で進む全ての範囲を予習しておく必要がある。また、テキストで扱ったテーマに基づいて、プレゼンテーションを行う。さらに、テキストには欠けている政治問題について扱った固めの記事等を準備し、精読を行う予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明
2	テキスト Unit7 前半	リスニング、リーディング
3	テキスト Unit7 後半	リスニング、ライティング
4	テキスト Uni10 前半	リスニング、リーディング
5	テキスト Unit10 後半	リスニング、ライティング
6	政治問題に触れる	新聞記事のリーディング
7	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ１）
8	テキスト Unit14 前半	リスニング、リーディング
9	テキスト Unit14 後半	リスニング、ライティング
10	テキスト Unit15 前半	リスニング、リーディング
11	テキスト Unit15 後半	リスニング、ライティング

12	政治問題に触れる	新聞記事のリーディング
13	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ 2）
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。授業前に必ずテキストの予習をしてください。テキスト中のスクリプトは、Web 動画を各自で観て穴埋めをして完成させたうえで、分からない単語などを調べてしっかり読み、また、問題は、あらかじめ指定された箇所を解いてくること。

【テキスト（教科書）】
CBS NewsBreak 4, Nobuhiro Kumai 他著, (成美堂, 2019 年), ￥2,400 + tax

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
期末試験の成績 (40%)、プレゼンテーション（20%）、授業参加度 (40%) とから総合的に評価する。欠席が 4 回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は 3 回に達するごとに 1 回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから 30 分以降の遅刻は欠席と見なす。交通機関の遅れに注意し、時間には余裕を持って来ること。

【学生の意見等からの気づき】
授業外学習の時間を少しでも増やしてもらえるよう、復習や予習についてより具体的に働きかけるよう心がけます。

【Outline and objectives】
Category: Current Affairs
Subtitle: Learning Modern American Culture and Society through Media
This course aims to improve students' four core English language skills − reading, writing, listening, and speaking − using a textbook made up of the news stories drawn from CBS News shows that feature various current topics, especially in the US. Students will develop their abilities to accurately understand the information, think critically about the important current issues, and effectively express their ideas.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**TED TALKS で知る現代社会:英語四技能を学ぶ**

金谷　優子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、TED TALKS のプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイディアに触れつつ、英語の 4 技能：読み、聴き、話し、書く–を総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKS の英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】
・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること

・複雑な構文や語句を理解すること
・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること

・英語の音声を聴いて、必要な情報を得ること
・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること

・沢山の人々の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各トピックについてそれぞれを 3 部構成とします。第 1 部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術 (Reading Skills) について学びます。第 2 部では、実際に TED TALK の発表を聴き、またその script を読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第 3 部では、学習事項の確認テストを行い、各トピックについて更にリサーチを進め、TED での発表に関する自分の考えを英語で表現する場を設けます。

[第一部]
第 2 週 Topic: Interdisciplinary
第 5 週 Topic: Business/ Leadership
第 8 週 Topic: Life Science
第 11 週 Topic: Sociology/ Fashion

[第二部]
第 3 週： TED TALK by Matt Cutts : Try Something New for 30 days
https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja

第 6 週：　TED TALK by Tom Wujec : Build a Tower
https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja

第 9 週：　TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments
https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript

第 12 週：　TED TALK by Jessi Arrington ： Wearing Nothing New
https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja

[第三部] ： 各 Unit テストと自己表現　第 4,7,10,13 週

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 週	Introduction	What is TED?
第 2 週	Unit 1: Life Changes	Topic:Interdisciplinary Reading Skills: Understanding sequence words,... etc.
第 3 週	Unit 1: Life Changes	TED TALK by Matt Cutts Academic Skills: Understanding main ideas,...etc.
第 4 週	Unit 1: Review	Review　/ Unit test Research & Presentation checksheet 回収
第 5 週	Unit 2: Team Power	Topic:Business Leadership Reading Skills: Identifying main ideas in paragraphs,...etc
第 6 週	Unit 2: Team Power	TED TALK by Tom Wujec
第 7 週	Unit 2: Review	Review　/ Unit test Research & Presentation checksheet 回収
第 8 週	Unit 3: Ocean Wonders	Topic: Life Science Reading Skills: Identifying purpose/ referents
第 9 週	Unit 3: Ocean Wonders	TED TALK by David Gallo Academic Skills:Understanding main ideas and key details,... etc
第 10 週	Unit 3: Ocean Wonders	Review　/ Unit test Research & Presentation checksheet 回収
第 11 週	Unit 4: What We Wear	Topic:Sociology/ Fashion Reading Skills: Making connections/ Understanding a process
第 12 週	Unit 4: What We Wear	TED TALK by Jessi Arrington Academic Skills: Recognizing point of view
第 13 週	Unit 4: Review	Review　/ Unit test Research & Presentation checksheet 回収
第 14 週	期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
準備学習：学生は、各 Unit で扱う TED Talk をインターネット上で聞き、また、テキスト巻末のスクリプトを参照し、理解しにくかった語彙、表現、文章などを特定し、checksheet に記入しておく。
復習： checksheet に記入した事項を習得することができたか、確認する。
宿題：授業で扱った TED Talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5
その他、プリント配布

【参考書】
https://www.ted.com/

【成績評価の方法と基準】
評価基準：授業参加度（授業内での発言および checksheet の提出）40 %、Unit test30 %、期末テスト 30 %

4 回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3 回遅刻あるいは早退すると 1 回欠席としてカウントされます。30 分以上の遅刻は欠席とみなされます。

【学生の意見等からの気づき】
教室内の換気、温度調節等に気を配って、より快適な学習環境になるように心がけます。

【学生が準備すべき機器他】
授業には必ず辞書を持参すること。

【Outline and objectives】
This course is designed to increase the student's ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.
[Overall Objectives]
To help students
・increase vocabulary
・improve their reading/listening comprehension skills
・understand speeches without translating into Japanese
・identify main ideas
・clarify the structure of a speech
・develop global and cross-cultural awareness
・develop creative and critical thinking skills
・effectively express their opinions on current issues

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：TED TALKS で知る現代社会:英語四技能を学ぶ

金谷　優子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期同様に本授業では、TED TALKS のプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイディアに触れつつ、英語の 4 技能：読み、聴き、話し、書く–を総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKS の英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】
・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること

・複雑な構文や語句を理解すること
・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること

・英語の音声を聴いて、必要な情報を得ること
・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること

・沢山の人々の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各トピックについてそれぞれを 3 部構成とします。第 1 部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術 (Reading Skills) について学びます。第 2 部では、実際に TED TALK の発表を聴き、またその script を読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第 3 部では、学習事項の確認テストを行い、各トピックについて更にリサーチを進め、TED での発表に関する自分の考えを英語で表現する場を設けます。
[第一部] 第 2 週 Topic: Architecture and Design 第 5 週 Topic: Conservation/ Engineering 第 8 週 Topic: Visual Arts/ Sociology 第 11 週 Topic: Technology/ Robotics [第二部] 第 3 週: TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Un- expected Places https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_ unexpected_places?language=ja 第 6 週: TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral? language=ja 第 9 週: TED TALK by Cindy Chang: Before I die, I want to ... https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_ to?language=ja
第 12 週: TED TALK by Cynthia Breazeal: The Rise of Per- sonal Robots https://www.ted.com/talks/cynthia_breazeal_the_rise_of_personal_robots?language=ja [第三部]：各 Unit テストと自己表現 第 4,7,10,13 週

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 週	Introduction	授業進行、 テキスト、 評価方法についての説明
第 2 週	Unit6: Building Solutions	Topic:Artchitecture and Design Reading Skills: Organizing supporting details,... etc.
第 3 週	Unit6: Building Solutions	TED TALK by Iwan Baan Academic Skills: Understanding main ideas,summarizing ideas using a concept map,...etc.
第 4 週	Unit6: Review	Unit test Research, presentation checksheet 回収
第 5 週	Unit 7: Roads to Fame	Topic:Communication/ Sociology Reading Skills: Scanning for numbers,...etc.
第 6 週	Unit 7: Roads to Fame	TED TALK by Kevin Allocca Academic Skills: Understanding main ideas,summarizing ideas using a concept map,...etc.
第 7 週	Unit 7: Review	Unit Test Research & Presentation checksheet 回収
第 8 週	Unit 9: Community Voices	Topic:Visual Arts / Sociology Reading Skills: Understanding a paragraph's purpose
第 9 週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Academic Skills: Understanding main ideas and key details/making predictions,...etc.
第 10 週	Unit 9: Review	Unit test Research, presentation checksheet 回収
第 11 週	Unit 10: Robots and Us	Topic:Technology/ Robotics Reading Skills: making comparisons
第 12 週	Unit 10: Robots and Us	TED TALK by Cynthia Breazeal Academic Skills: Understanding main ideas and key details/understanding sequence,...etc.
第 13 週	Unit 10: Robots and Us	Unit test Research, presentation checksheet 回収
第 14 週	期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
準備学習：学生は、各 Unit で扱う TED Talk をインターネット上で聞き、また、テキスト巻末のスクリプトを参照し、理解しにくかった語彙、表現、文章などを特定し、checksheet に記入しておく。
復習： checksheet に記入した事項を習得することができたか、確認する。
宿題：授業で扱った TED Talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5
その他、プリント配布

【参考書】
https://www.ted.com/

【成績評価の方法と基準】
評価基準：授業参加度（授業内での発言および checksheet の提出）40 %、小テスト 30 %、期末テスト 30 %
4 回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3 回遅刻あるいは早退すると、1 回欠席としてカウントされます。30 分以上の遅刻は欠席とみなされます。

【学生の意見等からの気づき】
教室内の換気、温度調節等にも気を配り、より快適な学習環境を心がけます。

【学生が準備すべき機器他】
授業には必ず辞書を持参すること。

【Outline and objectives】
This course is designed to increase the student's ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.
[Overall Objectives]
To help students
・increase vocabulary
・improve their reading/listening comprehension skills
・understand speeches without translating into Japanese
・identify main ideas
・clarify the structure of a speech
・develop global and cross-cultural awareness
・develop creative and critical thinking skills
・effectively express their opinions on current issues

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**英語圏の文化と社会―イギリスの歴史と伝統―**

田口　清一

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English3 では、English1 と English2 で身に付けた英語の 4 技能 (読む・書く・聞く・話す) を更に深めることを目的とする、また、この 4 技能を有機的に関連させながら、知的内容を英語で理解し、英語で発信する能力を高めていく。

【到達目標】
＊知的内容を持った英文を文法的に正確に読解できるようにする。
＊英文の内容について常に批判的に読む習慣を身に付ける。
＊日々の英語学習においてリスニングを習慣化し、英語の耳を養う。
＊文法的に正確できちんとした英語の体を成すセンテンスとパラグラフが書けるようにする。
＊知的内容を持った意見を英語で発表できるようにする。
＊英語の根本的論理を理解し、「日本語モード」ではなく「英語モード」で英語を捉えられる　ようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各 Chapter において、本文の読解、リスニング、ライティング (センテンス・レヴェル)、スピーキングはテキストに沿って行ない、ライティング (パラグラフ・レヴェル) に関しては別途課題を提示する。読解に関しては、語彙・文法・背景知識 (一般教養) が三位一体となった精読を行い、テーマであるイギリスの歴史や文化に対する認識を深めていく。4 技能全てにおいて、無味乾燥な「暗記語学」ではなく、「知的に考える語学」というものを実践する。

春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となるため、それに伴う授業計画の変更については学習支援システムで随時提示する。本授業の開始日は 5 月 8 日とし、この日までに具体的な方法などを学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	年間の授業についての説明
第 2 回	英語の論理と考え方	名詞を中心とした論理①：日本語と英語の相違
第 3 回	英語の論理と考え方	名詞を中心とした論理②：冠詞と限定詞
第 4 回	Chapter1:ケルト時代のイギリス①	読解、リスニング、スピーキング
第 5 回	Chapter1:ケルト時代のイギリス②	読解、リスニング、スピーキング
第 6 回	Chapter1:ケルト時代のイギリス③ Chapter2:ローマ時代のイギリス①	ライティング 読解、リスニング、スピーキング
第 7 回	Chapter2:ローマ時代のイギリス②	読解、リスニング、スピーキング

第 8 回	Chapter2 ：ローマ時代のイギリス③	リスニング、ライティング
第 9 回	Chapter3:アングロ・サクソン時代のイギリス①	読解、リスニング、スピーキング
第 10 回	Chapter3:アングロ・サクソン時代のイギリス②	読解、リスニング、スピーキング
第 11 回	Chapter3:アングロ・サクソン時代イギリス③ Chapter4:ノルマン人による征服①	ライティング 読解、リスニング、スピーキング
第 12 回	Chapter4:ノルマン人による征服②	読解、リスニング、スピーキング
第 13 回	chapter4:ノルマン人による征服③	リスニング、ライティング
第 14 回	学期末試験	春学期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習形式の授業なので、しっかりした予習が必須である。本文演習においては必ず英文を数回音読した上で精読すること。その際に辞書を調べる場合には用例も含めて必ずその項目を全て読むこと。また、文法・構文的にあやふやな場合には必ず文法書を調べること。問題演習 (ライティング) においては必ず自分の解答を用意して臨み、授業中に自ら添削すること。各回の授業のポイントは必ず次回までに復習しておくこと。尚、予習・復習に必要な時間は個人差があると思われるが、少なくとも 2・3 時間は割いて頂きたい。

【テキスト（教科書）】

Facets of Britain(珠玉の英国)　　朝日出版社　　1,900 円 (税別)

【参考書】

特に指定はしないが、必ず文法書 (体系的にある程度詳しく記述されたもの) を一冊は備え、予習・復習の際や自分で英文を読み書きする際には、辞書だけではなく必ず文法書も参照することが重要である。

【成績評価の方法と基準】

平常の取り組み方を重視し、これに期末試験を加えて総合的に評価する。具体的には「平常点」(課題提出を含む)50 %、「試験」50 % で評価する。平常点では何よりも学問的意欲を評価するので、予習の質が重要である。到達目標に掲げた項目がどの程度達成されているかを重視する。尚、原則として欠席が 4 回以上の場合は不合格とする。

春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となるため、成績評価の方法と基準も変更することになる。具体的なことは授業開始日に学習支援システムで提示する。

尚、今学期に出す 14 回分の課題の内、4 回分を提出しなかった場合は、原則として単位修得の資格を失うものとする。

【学生の意見等からの気づき】

英語の背景として重要なイギリスの歴史や文化に関する知識が身に付けられて良かったという意見があったので、今年度も広い観点からの英語力を高められるような授業にしたい。

【その他の重要事項】

年間を通してのレヴェル・アップを目指すので、春学期・秋学期を通しての履修を原則とする。

【Outline and objectives】

The main purpose of English3 is to improve the four skills of reading, writing, listening and speaking in English acquired in English1 and English2. Furthermore, with these four skills connected organically, the ability to understand and express intellectual content in English will be cultivated.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**英語圏の文化と社会―イギリスの歴史と伝統―**

田口　清一

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English3 では、English1 と English2 で身に付けた英語の 4 技能 (読む・書く・聞く・話す) を更に深めることを目的とする。また、この 4 技能を有機的に関連させながら、知的内容を英語で理解し、英語で発信する能力を高めていく。

【到達目標】

＊知的内容を持った英文を文法的に正確に読解できるようにする。
＊英文の内容について常に批判的に読む習慣を身に付ける。
＊日々の英語学習においてリスニングを習慣化し、英語の耳を養う。
＊文法的に正確できちんとした英語の体を成すセンテンスとパラグラフが書けるようにする。
＊知的内容を持った意見を英語で発表できるようにする。
＊英語の根本的論理を理解し、「日本語モード」ではなく「英語モード」で英語を捉えられる　ようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

各 Chapter において、本文の読解、リスニング、ライティング (センテンス・レヴェル)、スピーキングはテキストに沿って行い、ライティング (パラグラフ・レヴェル) は別途課題を提示する。読解に関しては、語彙・文法・背景知識 (一般教養) が三位一体となった精読を行い、テーマであるイギリスの歴史や文化に対する認識を深めていく。4 技能全てにおいて、無味乾燥な「暗記語学」ではなく、「知的に考える語学」というものを実践する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Chapter5:中世のイギリス①	読解、リスニング、スピーキング
第 2 回	Chapter5:中世のイギリス②	読解、リスニング、スピーキング
第 3 回	Chapter5:中世のイギリス③ Chapter6:キリスト教の到来①	ライティング 読解、リスニング、スピーキング
第 4 回	Chapter6:キリスト教の到来②	読解、リスニング、スピーキング
第 5 回	Chapter6:キリスト教の到来③	リスニング、ライティング
第 6 回	Chapter7:教会と国家①	読解、リスニング、スピーキング
第 7 回	Chapter7:教会と国家②	読解、リスニング、スピーキング
第 8 回	Chapter7:教会と国家③ Chapter8:産業革命①	ライティング 読解、リスニング、スピーキング
第 9 回	Chapter8:産業革命②	読解、リスニング、スピーキング
第 10 回	Chapter8:産業革命③	リスニング、ライティング

第 11 回	Chapter9:伝説と物語 ①	読解、リスニング、スピーキング
第 12 回	Chapter9:伝説と物語 ②	読解、リスニング、スピーキング
第 13 回	Chapter9:伝説と物語 ③	ライティング 年間のまとめと総評
第 14 回	学期末試験	秋学期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
演習形式の授業なので、しっかりした予習が必須である。本文演習においては必ず英文を数回音読した上で精読すること。その際に辞書を調べる場合には用例も含めて必ずその項目を全て読むこと。また、文法・構文的にあやふやな場合には必ず文法書を調べること。問題演習 (ライティング) においては必ず自分の解答を用意して臨み、授業中に自ら添削すること。各回の授業のポイントは必ず次回までに復習しておくこと。尚、予習・復習に必要な時間は個人差があると思われるが、少なくとも 2・3 時間は割いて頂きたい。

【テキスト（教科書）】
Facets of Britain(珠玉の英国)　朝日出版社　1,900 円 (税別)

【参考書】
特に指定はしないが、必ず文法書 (体系的にある程度詳しく記述されたもの) を一冊は備え、予習・復習の際や自分で英文を読み書きする際には、辞書だけではなく必ず文法書も参照することが重要である。

【成績評価の方法と基準】
平常の取り組み方を重視し、これに期末試験を加えて総合的に評価する。具体的には「平常点」(課題提出を含む)50 %、「試験」50 % で評価する。平常点では何よりも学問的意欲を評価するので、予習の質が重要である。到達目標に掲げた項目がどの程度達成されているかを重視する。秋学期は春学期の習熟度も考慮する。尚、原則として欠席が 4 回以上の場合は不合格とする。

【学生の意見等からの気づき】
英語の背景として重要なイギリスの歴史や文化に関する知識が身に付けられて良かったという意見があったので、今年度も幅広い観点から英語力を高められるような授業にしたい。

【その他の重要事項】
年間を通してのレヴェル・アップを目指すので、春学期・秋学期を通しての履修を原則とする。

【Outline and objectives】
The main purpose of English3 is to improve the four skills of reading, writing, listening and speaking in English acquired in English1 and English2. Furthermore, with these four skills connected organically, the ability to understand and express intellectual content in English will be cultivated.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカの文化と社会の特徴**

須藤　祐二

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次に習得した４技能の英語運用能力に基づき、アメリカの地域ごとの文化的・社会的な特徴の一端を題材にしながら、英語資料の理解や英語で批判的に意見を発信する能力の向上を目指す。また、受講生は、日本の地域の文化的・社会的特徴を英語で発信する演習にも取り組むことが求められる。

【到達目標】
受講生は簡単な英語で書かれたものであれば、辞書にあまり頼らなくてもある程度正確に読めるようにする。
受講生は発信された内容をまとめ、論点を批判的にくみ取りながら自分の意見を英語で表現できるようにする。
世界に大きな影響力をもつアメリカについて、特に、地域ごとの文化や社会の多様性を学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
受講生のレベルに合わせながら、ウォーム・アップとしてリスニングを行う。リーディング、ライティング、スピーキング（プレゼンテーション）にうち、各回に割り当てられた技能の演習を中心に進める。例えば、テキストを読む回では、語彙力の養成や構文の理解を重視する。内容理解の確認は内容を日本語でまとめることを通して行う。プレゼンテーションの回では、英語表現や構成の適切な使用だけでなく、発表時の姿勢やボディ・ランゲージなども指導する。
英語パラグラフ・ライティングの指導の機会を作り、そこで確認したルールに従って、学期末にレポートを提出してもらう。
ただし、春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 24 日とし、この日に具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	導入	授業のテーマの確認と授業方法の説明
2	Chapter1 (Boston) の精読とリスニング演習	Boston の歴史を読み、現代のこの都市についてのリスニング演習を行う
3	Chapter2 (Maine) の速読とリスニング演習	Maine の文化的特徴についてのエッセイを読み、大意をつかむ練習をする。リスニング演習を行う
4	Chapter3 (New York City1) の速読とスピーキング演習	New York 市と LGBT の歴史を読み、大意をつかむ練習をする。スピーキングの演習を行う
5	Chapter4 (New York City2) の精読とスピーキング演習	New York 市の地域ごとの多様性の記事を読み、スピーキングの演習を行う
6	プレゼンテーション原稿の作成方法	プレゼンテーションの構成や言葉遣いなどについての指導を行う

7	プレゼンテーション (1)	第１グループ）身の回りの生活用品や食文化等でアメリカ発のもの、または、日本のある地域の文化的な特色を取り上げて、その簡単な紹介を英語で行う。受講生同士で講評を行う
8	プレゼンテーション (2)	（第２グループ）身の回りの生活用品や食文化等でアメリカ発のもの、または、日本のある地域の文化的な特色を取り上げて、その簡単な紹介を英語で行う。受講生同士で講評を行う
9	Chapter5(Washington, D.C) の精読とリスニング演習	連邦政治の舞台としてのワシントン D.C について書かれたエッセイを読み、リスニング演習を行う
10	Chapter6(Charleston) の速読とリスニング演習	Charleston と南北戦争について学び、リスニング演習を行う
11	エッセイ・ライティングの準備 (1)	プレゼンテーションの原稿を参考または修正しながら、英語エッセイ・ライティングの基礎を学ぶ——エッセイ・ライティングの基本構造について リスニング演習を行う
12	エッセイ・ライティングの準備 (2)	プレゼンテーションの原稿を参考または修正しながら、英語エッセイ・ライティングの基礎を学ぶ——スタイルの選択がどのような影響をもたらすかについて リスニング演習を行う
13	アメリカのニュース記事の精読とライティング演習	与えられた記事について学生間で講評し、自分の意見を英語でまとめて書く
14	試験とまとめ	この授業で学んだことのまとめと振り返りを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストの指定箇所および配布する資料の予習が必須となる。プレゼンテーションの回の前には、必ず原稿を作成して授業に出席する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
American Vibes: People, Places and Perspectives. （Todd Rucynski 他著、金星堂）
必ず英和・和英辞書を持参すること。
PC、タブレット、スマートフォン等の辞書アプリの使用は認めない。

【参考書】
特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】
期末試験 50 %、ライティングの課題 25 %、授業の参加度合（スピーキングやプレゼンテーションも含む）25 %。4 回以上欠席した者は単位を認定しない。欠席回数や遅刻による減点もあるので注意すること。
なお、春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
担当初年度のため、特になし。

【Outline and objectives】
Based on the English proficiency improved in the first year and by using as educational materials the cultural and social characteristics of American states and major cities, students develop further their ability to comprehend articles written in English and present their critical opinions in this language. Also, students will be demanded to present their opinions on the cultural and social characteristics of a region in Japan.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカの文化と社会の特徴**

須藤　祐二

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次に習得した４技能の英語運用能力に基づき、アメリカの地域ごとの文化的・社会的な特徴の一端を題材にしながら、英語資料の理解や英語で批判的に意見を発信する能力の向上を目指す。また、受講生は、日本の地域の文化的・社会的特徴を英語で発信する演習にも取り組むことが求められる。

【到達目標】
受講生は簡単な英語で書かれたものであれば、辞書にあまり頼らなくてもある程度正確に読めるようにする。
受講生は発信された内容をまとめ、論点を批判的にくみ取りながら自分の意見を英語で表現できるようにする。
世界に大きな影響力をもつアメリカについて、特に、地域ごとの文化や社会の多様性を学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
受講生のレベルに合わせながら、ウォーム・アップとしてリスニングを行う。リーディング、ライティング、スピーキング（プレゼンテーション）にうち、各回に割り当てられた技能の演習を中心に進める。例えば、テキストを読む回では、語彙力の養成や構文の理解を重視する。内容理解の確認は内容を日本語でまとめることを通して行う。プレゼンテーションの回では、英語表現や構成の適切な使用だけでなく、発表時の姿勢やボディ・ランゲージなども指導する。
　英語パラグラフ・ライティングの指導の機会を作り、そこで確認したルールに従って、学期末にレポートを提出してもらう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	春学期の復習と秋学期の授業の概要説明	春学期に学んだことの振り返りを行い、秋学期の授業でなにを学ぶかを説明する
2	Chapter7 (Savannah) の精読とリスニング演習	Savannah の記事および DVD でその観光資源について学ぶ。リスニング演習を行う
3	Chapter9 (Austin) の速読とリスニング演習	Austin の文化的特徴についての紹介文を読み、大意をつかむ練習をする。リスニング演習を行う
4	Chapter10 (Saint Jo, Texas) の速読とスピーキング演習	Texas の紹介文を読み、大意をつかむ練習をする。スピーキングの演習を行う
5	Chapter11 (Santa Fe, New Mexico) の精読とスピーキング演習	Santa Fe の歴史についての記事を読み、スピーキングの演習を行う
6	Chapter12(Arizona) の精読とスピーキング演習	Route 66 の文化的な意味についての記事を読み、スピーキングの演習を行う

7	プレゼンテーション (1)	（第１グループ）身の回りの生活用品や食文化等でアメリカ発のもの、または、日本のある地域の文化的な特色を取り上げて、その簡単な紹介を英語で行う。春学期とは別のものを扱い、少し長く深いプレゼンテーションを行う。 受講生同士で講評を行う
8	プレゼンテーション (2)	（第２グループ）身の回りの生活用品や食文化等でアメリカ発のもの、または、日本のある地域の文化的な特色を取り上げて、その簡単な紹介を英語で行う。春学期とは別のものを扱い、少し長く深いプレゼンテーションを行う。 受講生同士で講評を行う
9	Chapter 13(Los Angeles 1) の精読とリスニング演習	ハリウッドについて書かれたエッセイを読み、リスニング演習を行う
10	Chapter 14(Los Angeles 2) の速読とリスニング演習	Los Angeles の多様な食文化について学び、リスニング演習を行う
11	エッセイ・ライティングの準備 (1)	プレゼンテーションの原稿を参考または修正しながら、英語エッセイ・ライティングの基礎を学ぶ——春学期とは違うスタイルでエッセイを書く リスニング演習を行う
12	エッセイ・ライティングの準備 (2)	プレゼンテーションの原稿を参考または修正しながら、英語エッセイ・ライティングの基礎を学ぶ——スタイルの選択がどのような影響をもたらすかについて リスニング演習を行う
13	アメリカのニュース記事の精読とライティング演習	与えられた記事について学生間で講評し、自分の意見を英語でまとめて書く
14	試験とまとめ	この授業で学んだことのまとめと振り返りを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストの指定箇所および配布する資料の予習が必須となる。プレゼンテーションの回の前には、必ず原稿を作成して授業に出席する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
American Vibes: People, Places and Perspectives. （Todd Rucynski 他著、金星堂）
必ず英和・和英辞書を持参すること。
PC、タブレット、スマートフォン等の辞書アプリの使用は認めない。

【参考書】
特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】
期末試験 50 %、ライティングの課題 25 %、授業の参加度合（スピーキングやプレゼンテーションも含む）25 %。4 回以上欠席した者は単位を認定しない。欠席回数や遅刻による減点もあるので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】
担当初年度のため、特になし。

【Outline and objectives】
Based on the English proficiency improved in the first year and by using as educational materials the cultural and social characteristics of American states and major cities, students develop further their ability to comprehend articles written in English and present their critical opinions in this language. Also, students will be demanded to present their opinions on the cultural and social characteristics of a region in Japan.

LANe200LA

English ３Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本（NHK World で学ぶ日本事情＆カズオ・イシグロ**

西　あゆみ

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、NHK World ニュースと日系英国人作家カズオ・イシグロの作品を題材に、4 技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目指します。NHK World ニュースを英語で理解し、現代日本の諸問題について自分の意見を発信する力を養うとともに、カズオ・イシグロの短編や小説を仲間とともに読む楽しみを経験します。

【到達目標】
（1）インタビューやニュースから必要な情報を聞き取ることができる。
（2）自分の意見をわかりやすくパラグラフにまとめることができる。
（3）自分の意見をわかりやすく口頭で説明することができる。
（4）英語で書かれた短編や小説を読み、内容を理解することができる。
（5）新出語彙や表現の意味を自ら調べ、正しい文脈で使うことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業の前半は NHK World の日本に関するニュースやドキュメンタリーを視聴し、リスニング問題に取り組んだあと、ペアやグループで意見交換をしたり、会話文の練習を行います。また、扱ったトピックについての自分の意見をパラグラフにまとめます。
授業の後半は、カズオ・イシグロの短編"A Family Supper"と小説 The Remains of the Day（日の名残り）を読みます。授業外の課題として、毎週一定の分量（20 ページほどを予定しています）を読み進めた後、内容把握クイズの答案をオンラインで提出し、語彙を調べてきてもらいます。授業内では、担当者を決めあらすじや重要表現を発表してもらったあと、グループで抜粋箇所の精読に取り組みます。
授業進度や学生の関心に応じて進め方は変更することがあります。
※オンライン授業への移行に伴い、授業内容が変更になる可能性があります。
※授業開始日は 5 月 8 日（金）です。授業開始前にオンライン環境についてのアンケートを授業支援システム上にアップロードしますので、期日までにご回答ください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Introduction	ガイダンス
第 2 回	Unit 1 Gunning for Glory A Family Supper	NHK Newsline Unit 1 語彙の確認＆内容理解、短編 A Family Supper の精読。
第 3 回	Unit 1 Gunning for Glory A Family Supper	NHK Newsline Unit 1 ディクテーション＆パラグラフ・ライティング、短編 A Family Supper の精読。

第 4 回	Unit 2 Video Bingeing The Remains of the Day	NHK Newsline Unit 2 語彙の確認＆内容理解、The Remains of the Day の精読。
第 5 回	Unit 2 Video Bingeing The Remains of the Day	NHK Newsline Unit ２ ディクテーション＆パラグラフ・ライティング、The Remains of the Day の精読。
第 6 回	Unit 3 Speaking Their Language The Remains of the Day	NHK Newsline Unit 3 語彙の確認＆内容理解、The Remains of the Day の精読。
第 7 回	中間試験、および前半のまとめ	第 6 回までの確認として中間テストを行う
第 8 回	Unit 4 Creativity from the Campus The Remains of the Day	NHK Newsline Unit 4 語彙の確認＆内容理解、The Remains of the Day の精読。
第 9 回	Unit 4 Creativity from the Campus The Remains of the Day	NHK Newsline Unit 4 ディクテーション＆パラグラフ・ライティング、The Remains of the Day の精読。
第 10 回	Unit 5 Firms Help Fight Plastic Pollution The Remains of the Day	NHK Newsline Unit 5 語彙の確認＆内容理解、The Remains of the Day の精読。
第 11 回	Unit 5 Firms Help Fight Plastic Pollution The Remains of the Day	NHK Newsline Unit 5 ディクテーション＆パラグラフ・ライティング、The Remains of the Day の精読。
第 12 回	Unit 6 Foreign Students Get Helping Hand The Remains of the Day	NHK Newsline Unit 6 語彙の確認＆内容理解、The Remains of the Day の精読。
第 13 回	Unit 6 Foreign Students Get Helping Hand The Remains of the Day	NHK Newsline Unit 6 ディクテーション＆パラグラフ・ライティング、The Remains of the Day の精読。
第 14 回	期末テスト	第 8 回～第 13 回までの確認として期末テストを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4
hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
NHK Newsline 3, Tatsuroh Yamazaki, Stella M. Yamazaki, 金星堂, 2020 年, 2400 円
The Remains of the Day, Kazuo Ishiguro, Faber & Faber, 1294 円

【参考書】
辞書を持参してください。

【成績評価の方法と基準】
平常点（積極的な授業参加）： 20 %
課題（予習課題、ライティング課題など）： 40 %
中間テスト：２０%
期末テスト： ２０%
※オンライン授業への移行に伴い、評価方法が変更になる可能性があります。

【学生の意見等からの気づき】
本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【その他の重要事項】
学期内の欠席が 4 回以上ある場合は、単位修得は認めません。
辞書を持参してください。授業中に携帯電話を使うことは原則認めません。

【Outline and objectives】
This class is a four-skill integrated course. The course is designed to improve students' ability to read authentic English materials (Kazuo Ishiguro's novels) and discuss their opinions with their peers orally. Students will also develop the ability to obtain necessary information from various audiovisual sources in English (such as NHK World Newsline) as well as to write their ideas clearly in a short paragraph.

LANe200LA

English ３Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本（NHK World で学ぶ日本事情＆カズオ・イシグロを読む）**

西　あゆみ

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、NHK World ニュースと日系英国人作家カズオ・イシグロの作品を題材に、4 技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目指します。NHK World ニュースを英語で理解し、現代日本の諸問題について自分の意見を発信する力を養うとともに、カズオ・イシグロの短編や小説を仲間とともに読む楽しみを経験します。

【到達目標】
（1）インタビューやニュースから必要な情報を聞き取ることができる。
（2）自分の意見をわかりやすくパラグラフにまとめることができる。
（3）自分の意見をわかりやすく口頭で説明することができる。
（4）英語で書かれた短編や小説を読み、内容を理解することができる。
（5）新出語彙や表現の意味を自ら調べ、正しい文脈で使うことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業の前半は NHK World の日本に関するニュースやドキュメンタリーを視聴し、リスニング問題に取り組んだあと、ペアやグループで意見交換をしたり、会話文の練習を行います。また、扱ったトピックについての自分の意見をパラグラフにまとめます。
授業の後半は、カズオ・イシグロの小説 Never Let Me Go (『わたしを離さないで』）を読みます。授業外の課題として、毎週一定の分量（20 ページほどを予定しています）を読み進めた後、オンラインの内容把握クイズに解答してもらいます。授業内では、担当者を決めあらすじや重要表現を発表してもらったあと、グループで抜粋箇所の精読に取り組み、映画版との比較を行います。
授業進度や学生の関心に応じて進め方は変更することがあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Introduction	ガイダンス
第 2 回	Unit 7 Fighting Food Waste Never Let Me Go	NHK Newsline Unit 7 語彙の確認＆内容理解、Never Let Me Go の精読
第 3 回	Unit 7 Fighting Food Waste Never Let Me Go	NHK Newsline Unit 7 ディクテーション＆パラグラフ・ライティング、Never Let Me Go の精読
第 4 回	Unit 8 Insulator Promises Energy Savings Never Let Me Go	NHK Newsline Unit 8 語彙の確認＆内容理解、Never Let Me Go の精読
第 5 回	Unit 8 Insulator Promises Energy Savings Never Let Me Go	NHK Newsline Unit 8 ディクテーション＆パラグラフ・ライティング、Never Let Me Go の精読
第 6 回	Unit 9 The Fight of Their Life Never Let Me Go	NHK Newsline Unit 9 語彙の確認＆内容理解、Never Let Me Go の精読
第 7 回	中間テストとこれまでのまとめ	第 6 回までの確認として中間テストを行う
第 8 回	Unit 10 Not-So-Human Resources Never Let Me Go	NHK Newsline Unit 10 語彙の確認＆内容理解、Never Let Me Go の精読
第 9 回	Unit 10 Not-So-Human Resources Never Let Me Go	NHK Newsline Unit 10 ディクテーション＆パラグラフ・ライティング、Never Let Me Go の精読
第 10 回	Unit 11 Adapting to a Tourist Influx Never Let Me Go	NHK Newsline Unit 11 語彙の確認＆内容理解、Never Let Me Go の精読
第 11 回	Unit 11 Adapting to a Tourist Influx Never Let Me Go	NHK Newsline Unit 11 ディクテーション＆パラグラフ・ライティング、Never Let Me Go の精読
第 12 回	Unit 12 Japan's Creative Classrooms Never Let Me Go	NHK Newsline Unit 12 語彙の確認＆内容理解、Never Let Me Go の精読
第 13 回	Unit 12 Japan's Creative Classrooms Never Let Me Go	NHK Newsline Unit 12 ディクテーション＆パラグラフ・ライティング、Never Let Me Go の精読
第 14 回	期末テスト	第８回～第１３回のまとめとして期末テストを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
準備学習：カズオ・イシグロ作品のその週の範囲を読み、オンライン上の簡単な内容理解クイズに答える。
課題：ライティング課題をメールで提出する。

【テキスト（教科書）】
NHK Newsline 3, Tatsuroh Yamazaki, Stella M. Yamazaki, 金星堂, 2020 年, 2400 円（先学期と同じ）
Never Let Me Go, Kazuo Ishiguro, Vintage International, 2010, 981 円

【参考書】
辞書を持参してください。

【成績評価の方法と基準】
平常点（積極的な授業参加、プレゼンテーション）： 20 %
課題（予習課題、ライティング課題など）： ４０%
中間テスト：２０%
期末テスト：２０%

【学生の意見等からの気づき】
本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【その他の重要事項】
学期内の欠席が 4 回以上ある場合は、単位修得は認めません。
辞書を持参してください。授業中に携帯電話を使うとこは原則認めません。

【Outline and objectives】
This class is a four-skill integrated course. The course is designed to improve students' ability to read authentic English materials (Kazuo Ishiguro's novels) and discuss their opinions with their peers orally. Students will also develop the ability to obtain necessary information from various audiovisual sources in English (such as NHK World Newsline) as well as to write their ideas clearly in a short paragraph.

LANe200LA

English ３ Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本**

岩崎　博

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
日本に関するニューズ・ストーリーを教材に使い、読み、聴き、話し、書くという４技能を総合的に身につけることを目標とする。ニューズ・ストーリーを読み・聴くことによって読解力とリスニング能力を高める。教材の内容を理解したうえで、自分の意見を口頭あるいはエッセーで表現することによって、発話能力と書く技術を身につける。日本に関する様々なニューズ・ストーリー通して、日本的な慣習の長所・弱点を理解したうえで、日本に関する自らの考えを発信できるようになりたい。

【到達目標】
英字新聞の記事を理解する能力を養う。
英和辞典が適切に使えるようになる。
基本的な英語ニューズ・ストーリーが聴き取れるようになる。
英語らしい発音ができるようになる。
自分の考えを英語で口頭で表現できるようになる。
４パラグラフからなるエッセーを作成し、自分の考えを論理的に表現できるようになる。
英語の文章作成にあたり、必要な辞書を使いこなすことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
オンライン授業開始は５月１日。
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は５月１日（金）とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。以下対面式授業の場合だが、オンライン授業でも基本的にこれに準じる授業を行う予定。
テキストのエッセイを読みその内容について他の学生と英語で意見を交換し、自分の意見を簡単な英語で発表する。各ユニットが終了した後、クラスに向けて本格的なプレゼンテーションを行う。学期中に一度、教材の中から好きなものを選び４パラグラフから成るエッセーを作成する。
リスニングは、教科書を中心に聴き取りの練習を行う。英語の音声上の特徴を理解し、自分で英語らしい発音ができるようにするために、シャドーイングという音声学習を徹底的にやる。
教科書以外に、最新のあるいは興味深いアメリカのテレビニュース及び英字新聞の記事を随時教材に使う予定。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	授業説明とリスニング	授業説明の後少年の拒食症についてのニュースを聴く。
2	Unit 1 Japanese Cultural Invasion 漫画・アニメの国際的価値を知る	日本の漫画とアニメに関するエッセーを読み、その内容について英語で話し合う。
3	Unit 1 Japanese Cultural Invasion クールジャパンとは何がクールなのか	日本の漫画とアニメに関するエッセーを読み、その内容について英語で話し合う。 プレゼンテーションのやり方を学ぶ。 シャドーイングの実践。
4	Unit 2 Emoji:From Japan to the World 絵文字の起源を知る	Unit 1 の内容に関して自分の意見を英語で発表する。 絵文字誕生に関するエッセーを読んで批判的に考察する。
5	ナキウサギ絶滅の危機に関するニュースを聞く	前回読んだ絵文字の背景に関するエッセーを読んみ、その内容について英語で話し合う。 日本の大雪山にも生息する可愛い生き物ナキウサギが抱える問題を ABC ニュースで聞き取る。また音声を使ってシャドーイングを行う。
6	IR 疑獄を扱う新聞記事を読む。	IR 関連議員が不正に関連業者から金を受領した件に関する記事を読み、ギャンブル依存による経済活性の問題点について考察し議論する。
7	Unit 3 Tokyo 2020:Chance for a New Beginning 東京オリンピックの意義を考える	IR 疑獄を扱う新聞記事のないようについて英語で自分の考えを発表する。 東京オリンピックの意義に関するエッセーを読んで、東京開催の賛否について考える。
8	東京オリンンピックのマラソンの開催地が札幌に移転したことを伝える記事を読む。	マラソン札幌移転の是非について考え話し合う。また酷暑の東京でオリンピックを開催することの是非について考える。
9	Unit 4 Pet Obsession 現代のペットブームの特徴を知る	マラソン移転関連の記事の内容について英語で自分の意見を発表する。 現代のペットブームの本質を理解する。
10	Unit 4 Pet Obsession 現代のペットブームの問題点を考察する	日本のペット好きを歴史的に説明しているが、この主張を批判的に読む。 パラグラフ・ライティングの基礎を学び、エッセーのドラフトを作成。
11	エッセイの書き方を学ぶ	Unit 4 の内容に関する自分の意見を英語で発表する。 4 パラグラフから成るエッセイの作成の仕方を学ぶ。
12	エッセイのアウトラインの確認	自宅で作成してきたアウトラインを元に、エッセイの内容を他の学生に説明し、またその学生に問題点を指摘してもらうことによって、内容を再考し最終的なアウトラインを作成する。
13	春学期末試験を行う	学習内容の理解度を測定する。
14	提出したエッセイのフィードバックを行う	添削されたエッセイをコメントを添えて返却する。 学生が作成したエッセーの代表的な間違いを辞書を活用しながら正しく書き直す。その際に、英語文章を作成するために必要な辞書の活用法を学習する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。
リスニングで聴いた教材のシャドーイングの復習を行い、次の授業でその成果を披露する。
リーディング教材の指定箇所を読んで意味を理解できるようにしておく。辞書を引いて単語の定義を決定する場合、何故その定義がふさわしいのか、その根拠を説明できるように準備する。

スピーチは原稿を作成し、完全に暗唱し、口頭で発表できるよう練習する。

【テキスト（教科書）】
Paul Stapleton 他『Portraits of Japan』センゲージラーニング

【参考書】
特に無し。

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。
以下対面式授業に戻った場合。
授業参加 50 パーセント、レポート・スピーチ・試験 50 パーセントの比率で評価する。授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まる。
一度休むごとに平常点から 2 点ずつ引いていく。
４回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。
原則的に遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】
アウトプットの比重を高めたい。

【その他の重要事項】
この授業は演習中心なので、出席を重視しています。遅刻・欠席に関しては厳しく対処します。また、授業中私語をするなど、常識的におかしいと思われる行為は慎んで下さい。必ず英和・和英辞書を持参して下さい。教師と学生の対話を通して、適度に楽しくて為になる双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline and objectives】
This course is to help students improve their skills of reading, listening, speaking, and writing. In order to acquire better listening and speaking skills, participants learn distinctive sounds of English and are expected to be able to pronounce them correctly. Participants are required to make presentations about what they have read or heard in class. Regarding writing, participants learn the basic structure of the academic essay and how to make an essay composed of four paragraphs on what they have read or heard in class by making good use of various kinds dictionaries useful for writing good English.

LANe200LA

English ３Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本**

岩崎　博

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
日本に関するニューズ・ストーリーを教材に使い、読み、聴き、話し、書くという４技能を総合的に身につけることを目標とする。ニューズ・ストーリーを読 み・聴くことによって読解力とリスニング能力を高める。教材の内容を理解したうえで、自分の意見を口頭あるいはエッセーで表現することによって、発話能力 と書く技術を身につける。日本に関する様々なニューズ・ストーリー通して、日本的な慣習の長所・弱点を理解したうえで、日本に関する自らの考えを発信でき るようになりたい。

【到達目標】
英字新聞の記事を理解する能力を養う。
英和辞典が適切に使えるようになる。
基本的な英語ニューズ・ストーリーが聴き取れるようになる。
英語らしい発音ができるようになる。
自分の考えを英語で口頭で表現できるようになる。
４パラグラフからなるエッセーを作成し、自分の考えを論理的に表現できるようになる。
英語の文章作成にあたり、必要な辞書を使いこなすことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストのエッセイを読みその内容について他の学生と英語で意見を交換し、自分の意見を簡単な英語で発表する。各ユニットが終了した後、クラスに向けて本 格的なプレゼンテーションを行う。学期中に一度、教材の中から好きなものを選び４パラグラフから成るエッセーを作成する。
リスニングは、教科書を中心に聴き取りの練習を行う。英語の音声上の特徴を理解し、自分で英語らしい発音ができるようにするために、シャドーイングという音声学習を徹底的にやる。
教科書以外に、興味深いアメリカのテレビニュース及び英字新聞の記事を随時教材に使う予定。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	友好的なクマ捕殺に関するニュースを聞く	人間に近づき餌をもらっていた人気者のクマが何故殺されなくてはならなかったのかを学ぶ。人間と野生動物の関係のあり方を考察する。
2	Unit 5 Silver Japan 高齢化社会を考える	前回のリスニングの内容を踏まえて、人間と野生動物の関わりについて英語で意見を言う。 高齢化の現状と将来への影響に関するエッセーを読み、どんな問題が起こりうるのかを考察する。

3	福島第一原発に関するニュースを聞く	高齢化に関して英語で自分の意見を発表する。 世界が注目する福島第一原発およびその周辺の立ち入り禁止地区の現状を伝える NBC ニュースを聞く。
4	桜を見る会スキャンダルを扱う新聞記事を読む	桜を見る会スキャンダルによって明らかになってきた現政権とそれが代表する日本の政治の問題点を、首相の国会軽視、説明拒否という実情をと含め、様々な観点から考察する。首相による国会軽視、野党に対する敵視、虚偽答弁、回答拒否、問題のすり替え、質問者への口汚いやじや侮辱、品位を欠く感情丸出しの発言、
5	Unit 6 Changing Gender Roles ジェンダーの意味を知り、その意義につて考える	男女の役割にの変化と日本の現状に関するエッセーを読み、日本の男女平等について考察する。
6	Unit 6 Changing Gender Roles ジェンダー・ロールの変化について考える	日本でも男女の役割が大きく変化しいる現状を知る。ただし、日本が男女の平等という点では世界でも最低ラインにいることを認識する。
7	日本の#MeToo 運動の象徴である伊藤詩織氏が性暴力被害を訴え民事訴訟で勝利したことに関する記事の前半を読む。	日本の#MeToo 運動の象徴である伊藤詩織氏の民事訴訟を通して、セカンドレイプの問題も含め、日本における女性の性被害がいかに深刻なのかを考察する。
8	伊藤詩織に関する記事の後半を読む。	被疑者に対する逮捕状が突然執行停止になった異例の事件であることを踏まえ、この事件がなぜこれほどまで海外のメディアで注目から注目を集めたのか、様々なかくどからこの問題を考察する。
9	Unit 7 Maternity Harassment 育児は誰が担うのかを考える	日本の女性が置かれている現状について英語で自分の意見を言う。 妊婦が受ける冷遇と批判の実情を知り、その問題点を考察する。
10	Unit 9 Japan's Peaceful Poor 日本の格差拡大と貧困問題を考える	マタハラ、イクメンパパに関して自分の考えを英語で発表する。 日本の貧困の実情と特徴に関するエッセーを読んで、貧困が日本にもたらす影響について知る。
11	日本人の子供の貧困に関する記事を読む	日本の子供の貧困率は途上国を含めても最悪であるという深刻な事実を受け止め、その問題点を考察する。
12	エッセイの書き方を学びアウトラインを作成する	4 パラグラフから成るエッセイの形式を踏まえ、各自のエッセイ作成のためのアウトラインを作る。 他の学生にアウトラインをもとにエッセイの概要を他の学生に話、フィードバックを得る。
13	春学期末試験を行う	授業の内容の理解度を測定する。
14	提出したエッセイのフィードバックを行う	添削されたエッセイをコメントを添えて返却する。 学生が作成したエッセーの代表的な間違いを辞書を活用しながら正しく書き直す。その際に、英語文章を作成するために必要な辞書の活用法を学習する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。
リスニングで聴いた教材のシャドーイングの復習を行い、次の授業でその成果を披露する。
リーディング教材の指定箇所を読んで意味を理解できるようにしておく。辞書を引いて単語の定義を決定する場合、何故その定義がふさわしいのか、その根拠を説明できるように準備する。
スピーチは原稿を作成し、完全に暗唱し、口頭で発表できるよう練習する。

【テキスト（教科書）】
Paul Stapleton 他『Portrait of Japan』センゲージラーニング

【参考書】
特に無し。

【成績評価の方法と基準】
授業参加 50 パーセント、レポート・スピーチ・試験 50 パーセントの比率で評価する。授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まる。
一度休むごとに平常点から 2 点ずつ引いていく。
４回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。
原則的に遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】
アウトプットの比重を高めたい。

【学生が準備すべき機器他】
英和・和英辞典。

【その他の重要事項】
この授業は演習中心なので、出席を重視しています。遅刻・欠席に関しては厳しく対処します。また、授業中私語をするなど、常識的におかしいと思われる行為 は慎んで下さい。必ず英和・和英辞書を持参して下さい。教師と学生の対話を通して、適度に楽しくて為になる双方向の授業を目指したいと思っています。みな さんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline and objectives】
This course is to help students improve their skills of reading, listening, speaking, and writing. In order to acquire better listening and speaking skills, participants learn distinctive sounds of English and are expected to be able to pronounce them correctly. Participants are required to make presentations about what they have read or heard in class. Regarding writing, participants learn the basic structure of the academic essay and how to make an essay composed of four paragraphs on what they have read or heard in class by making good use of various kinds dictionaries useful for writing good English.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカ社会**

本間　章郎

開講時期：**春学期授業**/Spring　|　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：初級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。
English 3 では、English 1 と English 2 に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の 4 技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】
授業の到達目標としては、英語の 4 技能の運用能力の向上を目指して次の 4 つの目標を意識してほしいと思います。
(1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
(2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
(3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
(4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進度と受講者の教科書の内容への理解に応じて、適宜、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日は 4 月 24 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第 2 回	Unit 1:What's for Lunch?: In Japanese Schools It's Always healthy	リスニング及び内容理解
第 3 回	Unit 1:What's for Lunch?: In Japanese Schools It's Always healthy	問題演習及び読解
第 4 回	Unit 2: BYOB: California Bans Single-Use Plastic Bags	リスニング及び内容理解
第 5 回	Unit 2: BYOB: California Bans Single-Use Plastic Bags	問題演習及び読解
第 6 回	Unit 3: How a Dog Can Improve Your Health	リスニング及び内容理解
第 7 回	Unit 3: How a Dog Can Improve Your Health	問題演習及び読解
第 8 回	Unit 4: The Shoe That Grows : Expandable Shoes Aim to Keep Up with Kids' Growing Feet	リスニング及び内容理解
第 9 回	Unit 4: The Shoe That Grows : Expandable Shoes Aim to Keep Up with Kids' Growing Feet	問題演習及び読解
第 10 回	Unit 5: Cat Library Offers Purrfect Solution to Stress	リスニング及び内容理解
第 11 回	Unit 5: Cat Library Offers Purrfect Solution to Stress	問題演習及び読解
第 12 回	Unit 6: The Evolution of Comic Books in the Digital Age	リスニング及び内容理解
第 13 回	Unit 6: The Evolution of Comic Books in the Digital Age	問題演習及び読解
第 14 回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
CBS NewsBreak 3（『CBS ニュースブレイク 3』）
熊井信弘他著　成美堂　2017 年　2400 円

【参考書】
参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】
学期末テスト（50%）、英作文（15%）、発表（15%）、小テスト（20%）から成績を評価します。主に到達目標の (1) と (2) を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3) を英作文から、(4) を発表から判断します。
なお、各学期の欠席が 4 回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、上記の成績評価の方法と基準を変更する必要が生じる可能性があります。変更した場合、成績評価の方法と基準は学習支援システムで提示します。

【学生の意見等からの気づき】
前年度の英語の発表を振り返ると、十分な時間を確保できず、時間的に押し迫った状況での発表となりました。今年度は時間的な余裕を十分に取れるよう授業を計画したいと思います。

【Outline and objectives】
In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society. Watching the news reports, students can improve their listening ability. The news videos are useful to get the gist of them. By reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカ社会**

本間　章郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：初級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。
English 3 では、English 1 と English 2 に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の 4 技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】
授業の到達目標としては、英語の 4 技能の運用能力の向上を目指して次の 4 つの目標を意識してほしいと思います。
(1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
(2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
(3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
(4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進度と受講者の教科書の内容への理解に応じて、適宜、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明及び春学期の授業内容のまとめ	授業の目標と進め方、春学期の授業の内容の確認
第 2 回	Unit 7: Can Drinking Soda Make You Age Faster?	リスニング及び内容理解
第 3 回	Unit 7: Can Drinking Soda Make You Age Faster?	問題演習及び読解
第 4 回	Unit 8: What You Like on Facebook Could Affect Your Job Search	リスニング及び内容理解
第 5 回	Unit 8: What You Like on Facebook Could Affect Your Job Search	問題演習及び読解
第 6 回	Unit 9: Is Sitting the New Smoking?	リスニング及び内容理解

第 7 回	Unit 9: Is Sitting the New Smoking?	問題演習及び読解
第 8 回	Unit 10: Matcha Madness Sparks New Tea Craze	リスニング及び内容理解
第 9 回	Unit 10: Matcha Madness Sparks New Tea Craze	問題演習及び読解
第 10 回	Unit 11: Daddy Duty: Stay-at-Home Dads Putting Kids Before Careers	リスニング及び内容理解
第 11 回	Unit 11: Daddy Duty: Stay-at-Home Dads Putting Kids Before Careers	問題演習及び読解
第 12 回	Unit 12: One Man's Long Journey to Help a Stranger Walk Again	リスニング及び内容理解
第 13 回	Unit 12: One Man's Long Journey to Help a Stranger Walk Again	問題演習及び読解
第 14 回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
CBS NewsBreak 3（『CBS ニュースブレイク 3』）
熊井信弘他著　成美堂　2017 年　2400 円

【参考書】
参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】
学期末テスト（50%）、英作文（15%）、発表（15%）、小テスト（20%）から成績を評価します。主に到達目標の (1) と (2) を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3) を英作文から、(4) を発表から判断します。
なお、各学期の欠席が 4 回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

【学生の意見等からの気づき】
前年度の英語の発表を振り返りると、十分な時間を確保できず、時間的に押し迫った状況での発表となりました。今年度は時間的な余裕を十分に取れるよう授業を計画したいと思います。

【Outline and objectives】
In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society. Watching the news reports, students can improve their listening ability. The news videos are useful to get the gist of them. By reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本　日本の若者文化と社会**

猪俣　佳瑞美

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：初級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English1,2 での学びを踏まえ、4 技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。

【到達目標】
講義の到達目標は、以下である。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 24 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。
3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。

4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。
5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。
6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの 24 時間営業について考える。各学生が 24 時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。
7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019 年５月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。
8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。
9	Unit 8 Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。
10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10 万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。
11	Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どこの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。
12	プレゼンテーション準備と確認	13、14 回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。
13	プレゼンテーション１	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する１回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
14	プレゼンテーション２ 小テストとまとめ	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する２回目。 春学期に扱った語彙を中心とする小テストも実施。学びを総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。
準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。
準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】
英語で考え、英語で発信する 2　　Two Sides to Every Discussion 2
Jonathan Lynch / 委文　光太郎 著
成美堂 2020 年　1,900 円（税込 2,090 円）

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も 変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。
今学期出す課題 14 回のうち、4 回分を提出しなかった場合は、原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【学生が準備すべき機器他】
電子辞書を必ず持参すること

【Outline and objectives】
This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay.

LANe200LA

English ３Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本　日本の若者文化と社会**

猪俣　佳瑞美

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：初級／日本語／世界の中の日本

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English1,2 での学びを踏まえ、４技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。

【到達目標】
講義の到達目標は、以下である。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各 Unit を１回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	秋学期スタートにあたって	夏休みにあったことを英語で話す 秋学期の講義進め方確認 次講義の事前学習範囲の確認
2	Unit 11　More Foreign Visitors	インバウンドについて考える。日本を訪れる外国人観光客に関する英文を読んだ上で、東京オリンピックも踏まえ、各学生が感じていることを英語でまとめ、意見交換する。
3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。
4	Unit 13　April Fools'Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。
5	Unit 14 Summer-Vacation Assignments	「夏休みの宿題」について考える。日本の小中学校における夏休みの宿題に関する英文を読んだ上で、各自が自身の体験を踏まえ、その功罪を客観的に分析し、英語での意見交換を行う。
6	Unit 15 Halloween Is Best!	日本で楽しまれている「外国のお祭り」について考える。特に昨今、広く浸透し、時に問題点も指摘されているハロウィーンを取り上げ、各自の意見を理論的にまとめ、意見交換を行う。
7	Unit 16 Valentine's Day in Japan	「日本のバレンタインデー」について考える。海外との習慣の違いなどを踏まえた英文を読んだ上で、日本独自に発展したバレンタインデーを英語で説明できるよう練習を行う。最後には、各自のバレンタインデーに対する見解を英語で述べ合う。
8	Unit 17 Smartphone Lock Screens	「スマートフォンのロック」及び「ロック解除方法」について考える。日常で行っている行為を英語で表現するために必要な語彙を増やし、個人情報を守るために必要だと考えていることを英語で伝える練習を行う。
9	Unit 18 YouTube vs. Normal TV	「テレビ番組」と「YouTube」について考える。２つのメディアを比較した英文を読んだ上で、各自がそれぞれのメディアに対して感じていることを述べ合い、それぞれのメディアをどのように利用しているのか情報交換を行う。
10	Unit 19　Internet vs. Bricks-and-Mortar	「買い物」について考える。特にオンラインショップと実店舗を比較した英文を読んだ上で、各自が買い物をするときに重視していることや注意していることなど、身近な内容をわかりやすく英語で説明する練習を行う。
11	Unit 20 Translation Software	「翻訳ソフト」について考える。英語の宿題に翻訳ソフトを使用するべきか否かを取り上げた英文を読んだ上で、各自が立場を明らかにした上で、賛成または反対の意見を客観的に述べ、議論を行う。
12	プレゼンテーション１	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する１回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
13	プレゼンテーション２	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する２回目。
14	小テストとまとめ	秋学期に扱った語彙などを中心とする小テストを実施。学びを総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。
準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。
準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】
英語で考え、英語で発信する 2　　Two Sides to Every Discussion 2
Jonathan Lynch / 委文　光太郎 著
成美堂 2020 年　1,900 円（税込 2,090 円）

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
平常点 40 %　発表 40 %　小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【学生が準備すべき機器他】
電子辞書を必ず持参すること

【Outline and objectives】
This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay.

LANe200LA

English ３ I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**現代の諸相　現代社会と若者文化**

猪俣　佳瑞美

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：初級／日本語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English1,2 での学びを踏まえ、4 技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、現代社会に存在する様々な事柄を身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。

【到達目標】
講義の到達目標は、以下である。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 24 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。
3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。

4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。
5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。
6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの 24 時間営業について考える。各学生が 24 時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。
7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019 年５月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。
8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。
9	Unit 8 Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。
10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10 万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。
11	Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どこの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。
12	プレゼンテーション準備と確認	13、14 回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。
13	プレゼンテーション１	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する１回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
14	プレゼンテーション２ 小テストとまとめ	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する２回目。 春学期に扱った語彙を中心とする小テストも実施。学びを総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。
準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。
準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】
英語で考え、英語で発信する 2　　Two Sides to Every Discussion 2
Jonathan Lynch / 委文　光太郎 著
成美堂 2020 年　1,900 円（税込 2,090 円）

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も 変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。
今学期出す課題 14 回のうち、4 回分を提出しなかった場合は、原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【学生が準備すべき機器他】
電子辞書を必ず持参すること

【Outline and objectives】
This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay.

LANe200LA

English ３Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**現代の諸相　現代社会と若者文化**

猪俣　佳瑞美

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：初級／日本語／現代の諸相

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English1,2 での学びを踏まえ、４技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、現代社会に存在する様々な事柄を身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。

【到達目標】
講義の到達目標は、以下である。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各 Unit を１回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	秋学期スタートにあたって	夏休みにあったことを英語で話す 秋学期の講義進め方確認 次講義の事前学習範囲の確認
2	Unit 11　More Foreign Visitors	インバウンドについて考える。日本を訪れる外国人観光客に関する英文を読んだ上で、東京オリンピックも踏まえ、各学生が感じていることを英語でまとめ、意見交換する。
3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。
4	Unit 13　April Fools'Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。
5	Unit 14 Summer-Vacation Assignments	「夏休みの宿題」について考える。日本の小中学校における夏休みの宿題に関する英文を読んだ上で、各自が自身の体験を踏まえ、その功罪を客観的に分析し、英語での意見交換を行う。
6	Unit 15 Halloween Is Best!	日本で楽しまれている「外国のお祭り」について考える。特に昨今、広く浸透し、時に問題点も指摘されているハロウィーンを取り上げ、各自の意見を理論的にまとめ、意見交換を行う。
7	Unit 16 Valentine's Day in Japan	「日本のバレンタインデー」について考える。海外との習慣の違いなどを踏まえた英文を読んだ上で、日本独自に発展したバレンタインデーを英語で説明できるよう練習を行う。最後には、各自のバレンタインデーに対する見解を英語で述べ合う。
8	Unit 17 Smartphone Lock Screens	「スマートフォンのロック」及び「ロック解除方法」について考える。日常で行っている行為を英語で表現するために必要な語彙を増やし、個人情報を守るために必要だと考えていることを英語で伝える練習を行う。
9	Unit 18 YouTube vs. Normal TV	「テレビ番組」と「YouTube」について考える。２つのメディアを比較した英文を読んだ上で、各自がそれぞれのメディアに対して感じていることを述べ合い、それぞれのメディアをどのように利用しているのか情報交換を行う。
10	Unit 19　Internet vs. Bricks-and-Mortar	「買い物」について考える。特にオンラインショップと実店舗を比較した英文を読んだ上で、各自が買い物をするときに重視していることや注意していることなど、身近な内容をわかりやすく英語で説明する練習を行う。
11	Unit 20 Translation Software	「翻訳ソフト」について考える。英語の宿題に翻訳ソフトを使用するべきか否かを取り上げた英文を読んだ上で、各自が立場を明らかにした上で、賛成または反対の意見を客観的に述べ、議論を行う。
12	プレゼンテーション１	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する１回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
13	プレゼンテーション２	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する２回目。
14	小テストとまとめ	秋学期に扱った語彙などを中心とする小テストを実施。学びを総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。
準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。
準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】
英語で考え、英語で発信する 2　　Two Sides to Every Discussion 2
Jonathan Lynch / 委文　光太郎 著
成美堂 2020 年　1,900 円（税込 2,090 円）

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
平常点 40 %　発表 40 %　小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【学生が準備すべき機器他】
電子辞書を必ず持参すること

【Outline and objectives】
This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay.

LANe200LA

English 3 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカ社会**

本間　章郎

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：初級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。
English 3 では、English 1 と English 2 に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の 4 技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】
授業の到達目標としては、英語の 4 技能の運用能力の向上を目指して次の 4 つの目標を意識してほしいと思います。
(1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
(2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
(3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
(4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進度と受講者の教科書の内容への理解に応じて、適宜、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日は 4 月 24 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第 2 回	Unit 1:What's for Lunch?: In Japanese Schools It's Always healthy	リスニング及び内容理解
第 3 回	Unit 1:What's for Lunch?: In Japanese Schools It's Always healthy	問題演習及び読解
第 4 回	Unit 2: BYOB: California Bans Single-Use Plastic Bags	リスニング及び内容理解

第 5 回	Unit 2: BYOB: California Bans Single-Use Plastic Bags	問題演習及び読解
第 6 回	Unit 3: How a Dog Can Improve Your Health	リスニング及び内容理解
第 7 回	Unit 3: How a Dog Can Improve Your Health	問題演習及び読解
第 8 回	Unit 4: The Shoe That Grows : Expandable Shoes Aim to Keep Up with Kids' Growing Feet	リスニング及び内容理解
第 9 回	Unit 4: The Shoe That Grows : Expandable Shoes Aim to Keep Up with Kids' Growing Feet	問題演習及び読解
第 10 回	Unit 5: Cat Library Offers Purrfect Solution to Stress	リスニング及び内容理解
第 11 回	Unit 5: Cat Library Offers Purrfect Solution to Stress	問題演習及び読解
第 12 回	Unit 6: The Evolution of Comic Books in the Digital Age	リスニング及び内容理解
第 13 回	Unit 6: The Evolution of Comic Books in the Digital Age	問題演習及び読解
第 14 回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
CBS NewsBreak 3（『CBS ニュースブレイク 3』）
熊井信弘他著　成美堂　2017 年　2400 円

【参考書】
参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】
学期末テスト（50%）、英作文（15%）、発表（15%）、小テスト（20%）から成績を評価します。主に到達目標の (1) と (2) を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3) を英作文から、(4) を発表から判断します。
なお、各学期の欠席が 4 回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、上記の成績評価の方法と基準を変更する必要が生じる可能性があります。変更した場合、成績評価の方法と基準は学習支援システムで提示します。

【学生の意見等からの気づき】
前年度の英語の発表を振り返ると、十分な時間を確保できず、時間的に押し迫った状況での発表となりました。今年度は時間的な余裕を十分に取れるよう授業を計画したいと思います。

【Outline and objectives】
In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society. Watching the news reports, students can improve their listening ability. The news videos are useful to get the gist of them. By reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society.

LANe200LA

English 3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカ社会**

本間　章郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：初級／日本語／英語圏の文化と社会

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。
English 3 では、English 1 と English 2 に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の 4 技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】
授業の到達目標としては、英語の 4 技能の運用能力の向上を目指して次の 4 つの目標を意識してほしいと思います。
(1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
(2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
(3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
(4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進度と受講者の教科書の内容への理解に応じて、適宜、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明及び春学期の授業内容のまとめ	授業の目標と進め方、春学期の授業の内容の確認
第 2 回	Unit 7: Can Drinking Soda Make You Age Faster?	リスニング及び内容理解
第 3 回	Unit 7: Can Drinking Soda Make You Age Faster?	問題演習及び読解
第 4 回	Unit 8: What You Like on Facebook Could Affect Your Job Search	リスニング及び内容理解
第 5 回	Unit 8: What You Like on Facebook Could Affect Your Job Search	問題演習及び読解
第 6 回	Unit 9: Is Sitting the New Smoking?	リスニング及び内容理解
第 7 回	Unit 9: Is Sitting the New Smoking?	問題演習及び読解
第 8 回	Unit 10: Matcha Madness Sparks New Tea Craze	リスニング及び内容理解
第 9 回	Unit 10: Matcha Madness Sparks New Tea Craze	問題演習及び読解
第 10 回	Unit 11: Daddy Duty: Stay-at-Home Dads Putting Kids Before Careers	リスニング及び内容理解
第 11 回	Unit 11: Daddy Duty: Stay-at-Home Dads Putting Kids Before Careers	問題演習及び読解
第 12 回	Unit 12: One Man's Long Journey to Help a Stranger Walk Again	リスニング及び内容理解
第 13 回	Unit 12: One Man's Long Journey to Help a Stranger Walk Again	問題演習及び読解
第 14 回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
CBS NewsBreak 3（『CBS ニュースブレイク 3』）
熊井信弘他著　成美堂　2017 年　2400 円

【参考書】
参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】
学期末テスト（50%）、英作文（15%）、発表（15%）、小テスト（20%）から成績を評価します。主に到達目標の (1) と (2) を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3) を英作文から、(4) を発表から判断します。
なお、各学期の欠席が 4 回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

【学生の意見等からの気づき】
前年度の英語の発表を振り返りると、十分な時間を確保できず、時間的に押し迫った状況での発表となりました。今年度は時間的な余裕を十分に取れるよう授業を計画したいと思います。

【Outline and objectives】
In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society. Watching the news reports, students can improve their listening ability. The news videos are useful to get the gist of them. By reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society.

LANe200LA

英語７

2017 年度以降入学者

北　文美子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**1 単位**
国 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
SA 先での授業についていくことができるよう、読解力ならびに語彙力を身につけます。さまざまな分野の文章を読み視野を広げるとともに、それぞれの内容について英語で自分の意見を述べることができるよう、語学力に加えて思考力ならびに批判力を養います。

【到達目標】
速読による多読を基本とし、大意を捉え咀嚼する力を養います。また、多岐にわたるテーマの文章を読むことで、さまざまな分野の語彙・表現を身につけることをめざします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業では、内容の精読に加えて、大意を把握する速読を組み合わせます。テキスト内の単語・慣用表現などの類義語・類似表現を解説し、語彙力ならびに表現力の向上をはかります。また、リーディングに加えて、読んだ内容の理解を深めるため、それぞれのテーマについて英語で意見を表現してもらいます。そのため、ライティングを組み合わせます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の解説
2	言語と文化（1）	英語公用語
3	言語と文化（2）	文化帝国主義
4	言語と文化（3）	文化の衝突
5	社会と環境（1）	地球環境問題
6	社会と環境（2）	難民問題
7	社会と環境（3）	民族差別
8	経済と社会（1）	南北問題
9	経済の社会（2）	児童労働
10	経済と社会（3）	国際紛争
11	技術と人間（1）	臓器移植
12	技術と人間（2）	プライバシー
13	技術と人間（3）	インターネット
14	学期末試験、まとめ	学期末試験、まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
事前に配布するプリントを授業前に必ず読んでおいてください。わからない単語・表現がある場合には、必ず辞書で確認しておいてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4
hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
プリントを配布します。

【参考書】
授業内で適宜、紹介します。

【成績評価の方法と基準】
平常点・課題　１０％
試験　　９０％

【学生の意見等からの気づき】
昨年度は国内研究で授業を担当しておりませんでした。

【Outline and objectives】
This course aims to prepare students to join the Hosei Study-Abroad programme in English speaking countries. It focuses on the development of reading and writing skills, and also helps to develop critical thinking skills.

LANe200LA

英語７

2017 年度以降入学者

須藤　祐二

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**1 単位**
国 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
SA 前に「英語を読むこと」を中心にした最後の授業になるので、移民について書かれた論説文や新聞記事の講読をテーマにする。これらの教材は英語学習者用に書かれたものではないが、専門的な内容を扱う割には平易に書かれている。この授業によって、専門的な内容のものでも読めるという自信を SA 前に身につけてもらいたい。また、読み取った内容を英語で表現する練習も取り入れる。英語圏 SA 先の社会は多様な人種背景をもった人々で成り立っているので、異文化体験を意義あるものにするためにも、こうした社会について、きちんとした基礎知識を身につけてほしい。

【到達目標】
学生は、簡単な英語で書かれたものであれば、専門的な内容でも読めるようにする。
専門的見地から書かれた論点を批判的にくみ取り、自分の意見を英語で表現できるようにする。英語運用能力の強化はもちろんとして、SA 前の学生が身につけるべき国際社会についての基礎知識の獲得も目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
段落ごとの内容を日本語で要約する。難しい内容や表現の箇所については訳読も取り入れて理解を促進する。また、読み取った内容を基に自分の意見を英語で表現するための演習も取り入れる。
ただし、春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 21 日とし、この日に具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業テーマの確認をする。
第 2 回	移民の歴史	移民の歴史について書かれた論説文を読む。
第 3 回	移民と現代社会	移民と現代社会の多様なかかわりを考える。
第 4 回	強制移住とは	強制移住の定義と歴史を考える。
第 5 回	自発的な移民とは	自発的な移民の特徴を考える。
第 6 回	グローバリゼーションと移民	移民とグローバリゼーションの関係を考える。
第 7 回	グローバリゼーション下の移民と多様性	グローバリゼーションと多様性の関係を考える。
第 8 回	移民と経済発展	移住先の国の開発・経済発展と移民の関係を考える。
第 9 回	移民と開発支援	移民の出身国の開発支援と移民の関係を考える。
第 10 回	欧州と移民	欧州における非合法移民を考える。
第 11 回	アメリカと移民	アメリカにおける非合法移民を考える。
第 12 回	難民とは	難民の現状と定義を考える。
第 13 回	難民と統合	亡命先社会への難民の統合と課題を考える。
第 14 回	移民と言語	移民と言語の関係を考える。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各回、予習が必要になる。また、有用と思われる資料を紹介した場合には、その読解や視聴を行ってから授業に出席すること。リスニング・ハンドブックに掲載のサイトを指定するので、各自でリスニングの練習をすること。本授業の準備・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
配布する。
必ず英和・和英辞書を持参して、授業に参加すること。

【参考書】
特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】
期末試験を 70 %、授業内に課した課題を含む平常評価を 30 %とする。4 回以上欠席した者は単位を認定しない。欠席回数や遅刻による減点もあるので注意すること。
なお、春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
ひきつづき、受講生の英語力に配慮しながら、進む速度を調整することがある。

【Outline and objectives】
Since English 7 is the last course focusing on developing reading skills in English before students embark on their respective Study Abroad programs, emphasis will be put on reading passages of essays and newspaper articles related to immigrants. These materials are level-appropriate for English learners, though not written specifically for them. Reading passages written for specialists will enable students to develop confidence in their reading skills. Practices will also be given to make summaries of passages. Since students will go to SA campuses in multiethnic countries, this course also aims to help them acquire knowledge about some characteristic aspects of their host countries in order to make their SA experiences fruitful.

LANe200LA

英語７

2017 年度以降入学者

北　文美子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火** 3/Tue.3
単位数：**1 単位**
国 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
SA 先での授業についていくことができるよう、読解力ならびに語彙力を身につけます。さまざまな分野の文章を読み視野を広げるとともに、それぞれの内容について英語で自分の意見を述べることができるよう、語学力に加えて思考力ならびに批判力を養います。

【到達目標】
速読による多読を基本とし、大意を捉え咀嚼する力を養います。また、多岐にわたるテーマの文章を読むことで、さまざまな分野の語彙・表現を身につけることをめざします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業では、内容の精読に加えて、大意を把握する速読を組み合わせます。テキスト内の単語・慣用表現などの類義語・類似表現を解説し、語彙力ならびに表現力の向上をはかります。また、リーディングに加えて、読んだ内容の理解を深めるため、それぞれのテーマについて英語で意見を表現してもらいます。そのため、ライティングを組み合わせます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の解説
2	言語と文化（1）	英語公用語
3	言語と文化（2）	文化帝国主義
4	言語と文化（3）	文化の衝突
5	社会と環境（1）	地球環境問題
6	社会と環境（2）	難民問題
7	社会と環境（3）	民族差別
8	経済と社会（1）	南北問題
9	経済の社会（2）	児童労働
10	経済と社会（3）	国際紛争
11	技術と人間（1）	臓器移植
12	技術と人間（2）	プライバシー
13	技術と人間（3）	インターネット
14	学期末試験、まとめ	学期末試験、まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
事前に配布するプリントを授業前に必ず読んでおいてください。わからない単語・表現がある場合には、必ず辞書で確認しておいてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4
hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
プリントを配布します。

【参考書】
授業内で適宜、紹介します。

【成績評価の方法と基準】
平常点・課題　１０％
試験　　９０％

【学生の意見等からの気づき】
昨年度は国内研究で授業を担当しておりませんでした。

【Outline and objectives】
This course aims to prepare students to join the Hosei Study-Abroad programme in English speaking countries. It focuses on the development of reading and writing skills, and also helps to develop critical thinking skills.

LANe200LA

英語７

2017 年度以降入学者

鹿子嶋 由佳

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 3/Tue.3
単位数：**1 単位**
国 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、日常生活や現代社会の様々なトピックについての英文を素早く正確に読む力を養います。授業内でのリーディングの練習の他に、SA 英語圏留学の際に生かせるように、情報収集と意見を述べることに必要な語彙力の向上を目指します。

【到達目標】
１．テキスト内の英文を素早く正確に読解することが出来るようになる。
２．既習事項を踏まえ、テキスト以外の様々なトピックについての英文を可能な限り速く読み、内容を正確に把握出来るようになる。
３．テキスト内の語彙や表現を理解し、情報収集や表現をする際に使えるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
テキスト Read, Read, Read（成美堂）を使いながら、Hoppii で課題提示をして進めていきます。配信曜日と時刻は、火曜日３限を原則とします。受講生は配信されたファイルで指示や説明を見ながら、テキストを用いた勉強を行います。双方向授業としては、Hoppii の「掲示板」を使用します。
使用テキストには ActeaBo というリーディング専用のウェブ教材があります。オンライン授業後に、授業で学習したことの確認とリーディングスキルの向上のための復習として、各自ウェブ上で課題を行ってください。
授業と復習課題の際には、素早く正確に読解できるようになることを目指しますので、リーディングにかかった時間を記録していきます。また、学期中には学習進捗状況を確認するために、語彙テストなどを行います。さらに、リスニング・ハンドブックを用いた課題もあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	自己紹介、授業説明、Placement Test
2	Unit 1: Register What It Looks Like	“Investing In Yourself” / リーディングでの単語認識を知る
3	Unit 2: Eye Movement (1) : “Move Your Eyes from Left to Right”	“The Circus” / リーディング中の目の動かし方について
4	Unit 3: Expand Your Eye: “Eye Span”	“I Touch the Future. I Teach.” / リーディングでの視野について
5	Unit 4: Eye Movement (2): “by Skipping Words with Little Meaning”	“Fruit, Vegie Lovers Not Immune to Weight Gain” / 内容語と機能語
6	Unit 5: Find It Quickly: “Scanning”	“International Exchange Programs” / 情報を探し出す
7	Unit 6: Get It Chunk by Chunk	“Cancer Rates in U.S. Keep Falling Report” / 自分の文法知識と語彙知識を活用する
8	Unit 7: Find What Will Come After: “Prediction”	“The Traveler’s Dilemma” / 文の構造から予測しながら読む
9	Unit 8: Imagine What Will Come After: “Anticipation”	“Little Charlie Goes on the Stage” / 文脈・内容から予想しながら読む
10	Unit 9: Read On and On without Turning Back: “Go Back Only When You’re Lost”	“Does Travel Broaden the Mind” / sight reading を行う
11	Unit 10: Read at Speed and Get the General Idea: “Skimming”	“Facebook Is Watching You” / 大まかな情報をつかむ
12	Unit 11: How a Paragraph Is Made	“Spanking Kids Can Cause Long-Term Harm – Canada Study” / 英文の論理構成の仕方を確認する
13	Unit 12: Read the Main Idea from the Details	“Being Green …” / Main Idea と Details を仕分けする
14	期末テスト	リーディングや語彙に関するテストを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。受講生は、授業後に該当 Unit の復習をし、さらに ActeaBo にてウェブ学習を行ってください。

【テキスト（教科書）】
テキスト名： Read, Read, Read -Enhance Your WPM & Comprehension-
著者：宮崎充保・貞光宮城
出版社：成美堂
出版年： 2015 年
価格： 2300 円＋税

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
（1）宿題・「掲示板」等での解答 40%
（2）復習（ActeaBo） 25%
（3）語彙テスト 25%
（4）リスニング・ハンドブックでの宿題 10%
今学期出す 14 回分の課題のうち、4 回分を提出しなかった場合は、原則として単位修得の資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】
授業では受講生の学習状況をみながら、基礎的な事項から応用的な事項まで確認していきます。受講生は、各回のポイントを念頭に置きながら学習を進めましょう。

【学生が準備すべき機器他】
・指定テキストには復習用のウェブ教材 (ActeaBo) が付いてきます。このウェブ教材での学習では、インターネット環境が必要です。画面が大きい方が読みやすいので、パソコンを推奨します。
・ウェブ教材で学習する際には、登録が必要です。ID は２週目以降から使用可能となります。初回授業 (４月 28 日) では登録手続きの説明を提示しますので、各自登録可能なメールアドレスを用意しておいてください（大学から発行されているメールアドレスの使用を推奨します）。

【その他の重要事項】
指定のテキストを準備しておいてください。オンラインでリアルタイムの指導をおこなう場合、指導の曜日・時限は火曜日３限とします。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help students acquire skills for reading accurately and fluently based on several daily and modern social topics in English. It also enhances students’ vocabulary knowledge needed to gather information and express their ideas. It will help students prepare for assignments when studying abroad.

LANe200LA

英語７

2017 年度以降入学者

衣笠　正晃

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**1 単位**
国 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
間近に迫っている英語圏 SA 留学での授業履修に最低限必要な英語力を「読む力」を中心に身につけることを目的として、現代社会の諸問題を取り上げた英文エッセイ（論説文）を読み進めます。

【到達目標】
1）まとまった量の英文を限られた時間のなかで読み、構成を踏まえつつ内容情報を正確に整理・把握する（これは留学先での授業の受講、課題の作成のために不可欠です）。
2）多様な話題についての英文を通じて、英語圏をはじめとする世界の情勢を理解するとともに、日本について語るために必要な知識や視点を身につける。
3）情報収集や意見表明、さらに議論のために必要な、大学生にふさわしいレベルの英語語彙・表現を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
※春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日は 4 月 28 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示します。

授業では、英文を逐語的に日本語に置き換えるのではなく、英語のままでその論旨・内容を把握することに重点を置きます。毎回の授業の主な構成は以下の通りです。
1）前回の復習とその回の予習の確認（小テスト／口頭）。
2）テキストのパラグラフごとの内容、重要表現の確認（担当者はアトランダムに指名します）。
3）授業内容の理解の確認・練習問題（小テスト／口頭）、書き取り。
4）授業内容についての討議、リアクションシートへの（感想・質問の）記入。
なお必要に応じてテキストを補完するためのプリントを配付・使用することがあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業計画の説明+ Multisensory Art (Unit 1) の講読
2	芸術の諸領域	Multisensory Art (Unit 1) の講読
3	アイデンティティ	Personality and Inner Growth (Unit 2) の講読
4	自然と人類	Nature and Humanity (Unit 3) の講読
5	キャリア形成	Sports Medicine (Unit 5) の講読
6	異文化理解	Culture Awareness (Unit 6) の講読
7	中間試験＋ライフスタイル	筆記による試験＋ Living off the Grid (Unit 7) の講読
8	環境保護	Eco-Packaging (Unit 9) の講読
9	ビジネスの動向	Pop-up Shops (Unit 10) の講読
10	子供の成長	Screen Time（Unit 11) の講読
11	貧富の格差	The world of the Super RIch (Unit 12) の講読
12	動物学	The Emotions of Animals (Unit 13) の講読
13	未来の世界	The Future of Reality (Unit 15) の講読
14	学期末試験とまとめ	筆記による試験＋学期授業内容の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各回とも次のとおり。
1）指定された箇所の予習。まずウォームアップ問題を解き、Part 1 の文章全体を時間を測って読み、大意を把握する。つぎに内容確認問題・語彙問題を解く。再度テキストを読み、理解できなかった語句・表現を調べ、Part 2 の練習問題を解く。最後にもう一度確認のため通読する。（大意把握、細部確認、再確認と、都合最低 3 回はテキストを読む）。また内容理解に必要な情報を自主的に収集する。
2）発音・イントネーションの確認。テキストに付属の CD を利用して音読練習をおこない、語句のアクセントを確認する。またニュースサイト等を利用したリスニング練習をおこなう。
3）授業を終えた個所の復習。テキストを再度読み、内容と理解度を確認する。
4）課題が出された場合、期日までに作成・提出する。
なお本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Andrew E. Bennett（著）、*Reading Fusion 3*（リーディングフュージョン 3）（南雲堂、2019 年）本体 2,200 円
※このほか必要に応じてプリントを配付・使用します。

【参考書】
参考書・辞書については、随時授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】
※春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更します。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示します。
平常点（授業参加度、課題、小テストなどによる。50 %）、試験（中間および期末。50 %）をあわせて評価します。評価にあたっては下記の各点に注目します。
1）英文をスピーディーに読むなかで、その構造・論旨を正確に把握できているか。
2）国際社会・日本社会の諸問題とその背景についての知識・関心を深めているか。
3）情報収集や意見表明、議論に欠かせない、一定レベルの語彙が習得できているか。

【学生の意見等からの気づき】
（昨年度は担当しなかったため、該当しません。）

【その他の重要事項】
・初回授業までに教科書を購入し、持参してください。
・出席者の状況に合わせて、進度や読む文章の順序を変えたり、文章を差し替えたりすることがあります。
・初回授業で授業履修にあたって守るべき事柄を説明しますので、かならず遵守してください。
・欠席が学期中 4 回を超えた場合は原則として単位修得の資格を失います。また遅刻 3 回を欠席 1 回としてカウントします。

【Outline and objectives】
This course is intended to provide students with minimal academic English (especially reading) skills needed during their upcoming studies abroad in English-speaking countries, through reading articles on topics and issues of current interest and relevance.

LANe200LA

英語７

2017 年度以降入学者

宇治谷　義英

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**1 単位**
国 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
最新の英米の新聞記事・論説から，英語圏で起きていること，そして英語圏から見た日本を含むアジアを読み解く．

【到達目標】
(1) ただ事実を報じた記事ではなく，論説などの英文を正確に読み，筆者の意見を把握すること，(2) それに対して自分で論評を加えられるようになること，(3) 英語圏のメディアがアジアをどのように見ているかを知っておくこと．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
4/21 正式授業開始です
毎回アットランダムに当てますので，指名された人には音読をして，日本語で内容の説明をしてもらいます．また，各自で選んだ気になる英文記事，そして日本について英語で発表してもらいます．毎回ニュース英語のリスニング練習をおこないます．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロ（席決めを含む）	ウォームアップを含めて授業の内容説明．初回の記事の配布．
2	記事講読 (1)	指定された記事を読み解く．発表の順番決め．ニュース英語のリスニング練習．
3	記事講読 (2)	指定された記事を読み解く．ニュース英語のリスニング練習．グループによるプレゼン (1)．
4	記事講読 (3)	指定された記事を読み解く．ニュース英語のリスニング練習．グループによるプレゼン (2)．
5	記事講読 (4)	指定された記事を読み解く．ニュース英語のリスニング練習．グループによるプレゼン (3)．
6	記事講読 (5)	指定された記事を読み解く．ニュース英語のリスニング練習．グループによるプレゼン (4)．
7	記事講読 (6)	指定された記事を読み解く．ニュース英語のリスニング練習．グループによるプレゼン (5)．
8	記事講読 (7)	指定された記事を読み解く．ニュース英語のリスニング練習．
9	記事講読 (8)	指定された記事を読み解く．ニュース英語のリスニング練習．
10	記事講読 (9)	指定された記事を読み解く．ニュース英語のリスニング練習．グループによるプレゼン (1')．
11	記事講読 (10)	指定された記事を読み解く．ニュース英語のリスニング練習．グループによるプレゼン (2')．
12	記事講読 (11)	指定された記事を読み解く．ニュース英語のリスニング練習．グループによるプレゼン (3')．
13	記事講読 (12)	指定された記事を読み解く．ニュース英語のリスニング練習．グループによるプレゼン (4')．
14	記事講読 (13)	指定された記事を読み解く．ニュース英語のリスニング練習．グループによるプレゼン (5')．

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
記事講読については，英和辞典は言うまでもなくネット等を利用して不明な語彙，表現をできる限り調べ，メモを作って授業に臨むこと．発表については，気になる記事を選び，スライド等の準備をして，授業では記事の要約，自身のコメントを英語で発表する．
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
使用する記事は新しいものをその都度指示します．

【参考書】
『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社, 1999)，および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます．

【成績評価の方法と基準】
オンライン開講になったので成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、学習支援システムで提示する。
　課題を含む平常点 (20%) と試験 (80%) から総合的に評価します．あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合，正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります．病気などのやむを得ない事情を除いて，原則として全授業出席する必要があります．
　病欠も含めた欠席回数が 4 回を数えた時点で単位取得の資格を失います．未予習での出席は欠席扱いとし，授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し，その日は欠席扱いとします．遅刻は授業開始の合図から 20 分以内に入室した者だけ認めますが，2 回の遅刻につき 1 回の欠席と見なします．朝の交通機関にはしばしば遅れが出ます．電車の遅延は 20 分以上遅れが出た場合のみ考慮します．

【学生の意見等からの気づき】
前年度は担当していませんが，丁寧な説明を心がけます．

【Outline and objectives】
In this course, students will learn what is happening outside Japan and how Japan is regarded from the outside through the latest articles of UK or US news media.

LANe200LA

英語７

2017 年度以降入学者

田中　邦佳

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 4/Tue.4
単位数：**1 単位**
国 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
世界のニュースを題材に、英字新聞の記事を読みます。授業のテーマの１つ目は、難解な英文になると把握が難しくなる文の主部・述部など英語のセンテンスの文法的構造を理解することです。２つ目のテーマは、パラグラフ全体の内容を日本語にまとめて説明することです。１文ずつの内容の把握だけではなく、より長い単位で記事の内容を把握し、他の人に説明できるようになることが授業の目標となります。

【到達目標】
・一文が長い英文や複雑な構造の英文を読解する
・ある程度まとまった量の英文の内容を人に伝わるような資料を作成し日本語で説明する
・様々な分野で用いられる英語の語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 28 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Introduction	授業の進め方と評価の方法の説明をします。
第 2 回	第二言語としての英語（前半）	英語を第二言語として学習することについての記事の前半の講読およびディスカッション。
第 3 回	第二言語としての英語（後半）	英語を第二言語として学習することについての記事の後半の講読およびディスカッション。
第 4 回	スマートフォン	スマートフォンの利用について焦点を当てた記事の講読およびディスカッション。
第 5 回	ソーシャルメディア	ソーシャルメディアの利用について焦点を当てた記事の講読およびディスカッション。
第 6 回	インターネットと個人情報	インターネットでの個人情報の扱いについて焦点を当てた記事の講読およびディスカッション。
第 7 回	中間テスト	これまでに講読した記事を振り返るテストです。
第 8 回	Immigration（歴史）	イギリスの移民の歴史についての記事の講読およびディスカッション。
第 9 回	Immigration（文化）	イギリスの移民がもたらした文化についての記事の講読およびディスカッション。
第 10 回	Immigration（課題）	イギリスの移民によって生じている社会的課題についての記事の講読およびディスカッション。
第 11 回	TPP（自動車市場）	日米の自動車市場に対する考え方の違いについて焦点を当てた記事の講読およびディスカッション。
第 12 回	TPP（非関税障壁）	アメリカ視点での日本の市場の問題点に焦点を当てた記事の講読およびディスカッション。
第 13 回	まとめ方を考察する	記事の内容をシンプルにまとめる方法を考察する。
第 14 回	期末テスト	中間テスト以降に講読した記事を振り返るテストです。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。具体的には、授業の前に予習として記事を読んでくる必要があります。わからない単語や表現があれば辞書などで調べることが必要です。また、記事で扱われている内容について馴染みがなければその分野について調べる必要があります。記事の内容について把握し、他の授業参加者と議論できる程度の予習が必要です。

【テキスト（教科書）】
主に英字新聞の記事を配布します。

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も
変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
単純な英文の読解からは達成感が得られにくいことがわかりました。英文の意味の把握を課題にするだけでなく、特に重点的に考えるべき項目を明示的に提示しようと考えています。

【Outline and objectives】
In this course, students will improve skills for English reading comprehension and for summarizing paragraphs.

LANe200LA

英語８

2017 年度以降入学者

菊池　かおり

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
国 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
英語圏への留学に備え、能動的な英語発信力を身に着け、アカデミック・ライティングの基本について学習する。授業では教科書の課題を行いながら、得られら情報を多角的観点から分析し、批判的思考力を養い、自分の意見を論理的に英語で書いたり、発表する練習を行う。

【到達目標】
学生が留学先でエッセイ・ライティングを行う時や、日本文化を紹介するときなどに、適確な英語で表現できるようになることを目指す。また、アカデミック・ライティングやプレゼンテーションなどで用いられる論述の手法を習得し、論理的思考力と批判的思考力を身に着ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 5 月 7 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の内容、方針、成績評価などを理解し、パラグラフの基本的な作り方を学ぶ。
2	Unit 1a: Life Experiences	現在完了形と過去形の使い方を復習し、パラグラフの構造について理解を深める。
3	Unit 1b: Life Experiences	BBC の動画を通して学習し、過去に興味があったことについてのライティングを行う。
4	Unit 2a: Events	過去形と過去進行形の使い方を復習し、パラグラフの構造について理解を深める。
5	Unit 2b: Events	BBC の動画を通して学習し、友達についてのライティングを行う。
6	Unit 3a: Opinions	プレゼンテーションの基本的な構造を理解し、グループ・プレゼンテーションの準備に取り掛かる。
7	Unit 3b: Opinions	BBC の動画を通して学習し、プレゼンテーションのスキルを身に着ける。
8	Unit 4a: Customs	不定詞や動名詞の使い方を復習し、文化の違いについて学習する。
9	Group Presentation	グループ・プレゼンテーションを行う。
10	Unit 4b: Customs	BBC の動画を通して学習し、日本文化についてのライティングを行う。
11	Unit 5a: Professions and Skills	現在完了形と現在完了進行形の違いを復習し、フォーマルな表現を身に着ける。
12	Unit 5b: Professions and Skills	cause and effect essay の書き方を理解する。
13	Unit 6: Recent Activities	現在完了進行形の使い方について、リーディングと BBC の動画を通して理解を深める。
14	期末テスト	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。課題がある場合は、授業中に指示します。

【テキスト（教科書）】
Stretch Multi-pack 3A Susan Stempleski Oxford University Press ISBN 978-0-19-460330-0

【参考書】
授業中に、適宜、紹介します。

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【Outline and objectives】
This is a content based course for second year students who will be in their final stage of preparation for studying abroad. Building on the English language skills acquired in their first year of university study, the course aims to provide students with opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics.

LANe200LA

英語８

2017 年度以降入学者

マーク・フィールド

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
国 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course is for second year students with a strong desire to improve their language skills since they will be in their final stage of preparation for studying abroad in a an English-speaking country. The course will focus on further developing students' ability to perform successfully in an all English-speaking academic and social environment.

【到達目標】
Building on the English language skills acquired in their first year of university study, the goal of this course is to help students become responsible international students capable of unsupervised independent language learning while studying abroad.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
This class will start on Thursday, April 23, 2020 in its regularly scheduled period using the online HOPPII Learning Management System. Students should try to self-register into the class student roster using the Romanized version (ローマ字) of their Given and Family names and their university email address.
The class will be conducted online using the HOPPII Learning Management System until further notice. The HOPPII System will be used as the initial meeting point and communication platform, but students will be expected to branch out and use other technology platforms and/or websites as the course progresses.
Students will be expected to not only acquire vocabulary and expressions, but also find and analyze information from various forms of English media independently and complete weekly homework assignments. Special emphasis will be given to developing listening and note taking skills as well as discussion and presentation skills necessary for successfully completing their study abroad programs in the Fall Semester.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	Class Orientation	How to Study More Effectively
2 回	Listening for Main Ideas	The Meaning of Family
3 回	Critical Thinking	Ranking Importance
4 回	Tips for Success	Giving Reasons and Explanations
5 回	Thinking on Your Feet	Impromptu Speeches
6 回	Listening Skills	Recognizing Facts and Opinions
7 回	Actively Communicating	Participating in Group Discussions
8 回	Tips for Success	Filling in words you didn't hear!
9 回	Thinking on Your Feet	A Persuasive Presentation
10 回	Taking Notes	Listening for Details
11 回	Vocabulary Skills	Collocations
12 回	Critical Thinking	Giving Examples
13 回	Discussion Skills	Role-playing
14 回	Review	Sustainable Progress

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to prepare weekly homework assignments at home, and review lessons to enhance their participation in classroom activities and discussions. Students are also expected to find and analyze information from various forms of English media independently as a means of increasing their vocabulary and general knowledge.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
本授業の準備学修・復習時間は各 1 時間を標準とします。
The standard preparation and review time for this class is two hours per week: 1 hour preparation and 1 hour review.

【テキスト（教科書）】
Course materials will be assigned by the instructor.

【参考書】
An English to English Dictionary is recommended.
This course will also use some online English News and Study Materials.

【成績評価の方法と基準】
40% In Class Evaluation
20% Homework
40% Final Project/Paper
**Class attendance is a course requirement.
Students are allowed no more than three absences in the semester.

【学生の意見等からの気づき】
Students have been happy with this course in the past and currently no student survey data is available to support major changes. Course materials are reviewed periodically and updated when necessary to maintain relevance.
The instructor always welcomes comments and encourages students to make suggestions to improve the course at anytime.

【その他の重要事項】
Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester. The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary.

【Outline and objectives】
This course is for second year students with a strong desire to improve their language skills since they will be in their final stage of preparation for studying abroad in a an English-speaking country. The course will focus on further developing students' ability to perform successfully in an all English-speaking academic and social environment.

LANe200LA

英語８

2017 年度以降入学者

マーク　バーンズ

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**1 単位**
国 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
The primary objective of this class is to develop both spoken and written communication skills, and confidence to prepare them for study abroad placement. The course provides practice in conversation, essay writing, and presentation in clear communicative English. Students will engage with a wide range of subjects but communicative activities will be based around the students' own experiences and ambitions.

【到達目標】
This subject aims to improve learners' overall confidence in communicating in English through a wide range of communicative activities. It will review useful grammar and provide ample opportunity to practice both spoken and written language.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Classes will be conducted in English and will cover each unit of the textbook. Students will be expected to participate fully in weekly conversational activities. Students will also be required submit the occasional written assignment and prepare a presentation.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Orientation	Overview of the course and warm up	Overview of the English 8 subject and explaining rules for participation and assignment submissions.
Unit 1a	Life Experiences 1	Review the use of present perfect and simple past tenses
Unit 1b	Life Experiences 2	Presentations focusing on old hobbies or club activities
Unit 2a	Events 1	Review the use of simple past and past continuous
Unit 2b	Events 2	Writing a 2-paragraph story about how you met a good friend
Unit 3a	Opinions 1	Review the use of too and enough with adjectives and nouns
Unit 3b	Opinions 2	Presentations focusing on suggestions for new rules
Unit 4a	Customs 1	Review the use of it & infinitives and gerunds as subjects
Unit 4b	Customs 2	Writing a 3-paragraph essay on customs
Unit 5a	Professions and skills 1	Review the use of how long, since and for with present perfect tense
Unit 5b	Professions and skills 2	Presentations focusing on your ideal job
Unit 6a	Recent activities 1	Review the use of the present perfect continuous tense
Unit 6b	Recent activities 2	Writing an instructional article
End-term Pre-senta-tions	Final presentations	Final presentations

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students will be expected to complete weekly homework (prepare for six short in-class unit review tests, and submit three short written assignments in addition to the academic written assignment and final presentation preparation.)

【テキスト（教科書）】
Stretch Multi-pack 3A Susan Stempleski Oxford University Press ISBN 978-0-19-460330-0

【参考書】
A good Japanese-English dictionary and the Hosei English 8 Academic Writing Guide (which will be provided)

【成績評価の方法と基準】
Assessment will consist of in-class participation (40%), academic written assignment (30%) and final presentation (30%)

【学生の意見等からの気づき】
The three short presentations have been dropped so more time can be spent on the final presentations.

【その他の重要事項】
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【Outline and objectives】
The primary objective of this class is to develop both spoken and written communication skills, and confidence to prepare them for study abroad placement. The course provides practice in conversation, essay writing, and presentation in clear communicative English. Students will engage with a wide range of subjects but communicative activities will be based around the students' own experiences and ambitions.

LANe200LA

英語８

2017 年度以降入学者

前川　裕

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
国 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
秋セメスターにおけるＳＡ留学の準備のための授業。特に、学生が留学先でのレポート提出にも対応できるような英作文力を身につけ、能動的な英語発進力を涵養することを目指す。

【到達目標】
学生が留学先でレポート提出をおこなうとき、あるいは、日本文化を紹介するとき、適確な英語で表現できるようになることを目指す。また、英語圏の大学で授業を聴く際、最低限要求されるアカデミックな用語の習得も目指す。また、学生は英文レポートの形式も学習する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は、4 月 23 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。
(対面授業が実施できた場合）まず授業の前に、各レッスンの英文を読んできてもらい、その英文に対する英語による質疑応答を行う。そのあと、英文の中に出てくる定型表現を使って、英作文を実践的に学習する。時に、テーマに即した長文の英文を書いてもらうこともある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	日本独自の風物の紹介（1）	比較文化論的な視点から、sashimi や sushi など日本特有の食文化を英語でどのように紹介するかを解説する。
2	日本独自の風物の紹介（2）	日本の受験戦争のシステムを「浪人」などの用語を交えながら、どう表現するかを解説する。
3	アメリカ人の考え方	「仕事」というものを例に取り、日本人とアメリカ人の取り組み方の違いを英語でどう表現するかを考える。
4	日本語の特性	D.Keene のエッセイを読みながら、日本語の特性を考え、それを欧米人に英語でどう説明するかを解説する。
5	戦争の歴史	D.Keene のエッセイを読みながら、過去の戦争について、自分の意見を英語で述べるとき、どのような表現が可能かを考える。
6	長文英文エッセイの練習（1）	「戦争と平和」のような抽象的な内容のテーマを英語でどう書くかを練習をする。
7	国際会議	国際会議で使う英語定型表現を学習する。
8	日本の国土	日本の国土の大きさや人口をどう表現するかを学習する。
9	スピーチの方法	日本について、各学生に英語でスピーチをしてもらい、そのスピーチに対して、他の学生から英語で質問してもらう。
10	民主主義の基準	「民主主義」という用語を取り上げ、その本質について英語で表現するには、どんな書き方があるかを解説する。
11	長文英文エッセイの練習（2）	自分の日常生活を、英文メールでどう書くかを解説し、実際にそういうメールを書いてもらう。
12	日本文化のアメリカ化	日本文化とアメリカ文化の差違だけでなく、その類似性をも英語でどう表現するかを考える。
13	飲酒に関する東西の議論	アルコール飲料の自動販売機を置くことの可否に関して、英語で debate してもらう。
14	授業内試験	授業内試験終了後、総まとめの解説を行なう。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各課の英文を読み、その内容を把握し、授業の冒頭で英語で行われる質疑応答に対応できるようにしてくること。また、和文英訳の練習問題もあらかじめ解いてこなければならない。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
英語発想による作文演習ーー新訂版ーー（天満美智子編者、朝日出版）

【参考書】
『英語変換力検定』（前川裕著、池田書店）

【成績評価の方法と基準】
少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。
(対面授業が実施できた場合）授業内試験（７０％）、平常点（２０％）、レポート課題（１０％）。各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
個人添削の機会を増やすように心がけたい。また、学生の能力に応じてきめの細かい指導を心がけたい。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help the students acquire the ability to express their ideas and opinions in English in preparation for studying abroad in the autumn semester. The students are expected to study basic paragraph structure with the ultimate purpose of producing an essay with some paragraphs. The students will also have the opportunity to develop their writing skills through reading a variety of Englis passages and memorizing important words and idioms used in them.
i

LANe200LA

英語８

2017 年度以降入学者

マーク　バーンズ

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
国 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
The primary objective of this class is to develop both spoken and written communication skills, and confidence to prepare them for study abroad placement. The course provides practice in conversation, essay writing, and presentation in clear communicative English. Students will engage with a wide range of subjects but communicative activities will be based around the students' own experiences and ambitions.

【到達目標】
This subject aims to improve learners' overall confidence in communicating in English through a wide range of communicative activities. It will review useful grammar and provide ample opportunity to practice both spoken and written language.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Classes will be conducted in English and will cover each unit of the textbook. Students will be expected to participate fully in weekly conversational activities. Students will also be required submit the occasional written assignment and prepare a presentation.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Orientation	Overview of the course and warm up	Overview of the English 8 subject and explaining rules for participation and assignment submissions.
Unit 1a	Life Experiences 1	Review the use of present perfect and simple past tenses
Unit 1b	Life Experiences 2	Presentations focusing on old hobbies or club activities
Unit 2a	Events 1	Review the use of simple past and past continuous
Unit 2b	Events 2	Writing a 2-paragraph story about how you met a good friend
Unit 3a	Opinions 1	Review the use of too and enough with adjectives and nouns
Unit 3b	Opinions 2	Presentations focusing on suggestions for new rules
Unit 4a	Customs 1	Review the use of it & infinitives and gerunds as subjects
Unit 4b	Customs 2	Writing a 3-paragraph essay on customs
Unit 5a	Professions and skills 1	Review the use of how long, since and for with present perfect tense
Unit 5b	Professions and skills 2	Presentations focusing on your ideal job
Unit 6a	Recent activities 1	Review the use of the present perfect continuous tense
Unit 6b	Recent activities 2	Writing an instructional article
End-term presen-tations	Final presentations	Final presentations

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
Students will be expected to complete weekly homework (prepare for six short in-class unit review tests, and submit three short written assignments in addition to the academic written assignment and final presentation preparation.)

【テキスト（教科書）】
Stretch Multi-pack 3A Susan Stempleski Oxford University Press ISBN 978-0-19-460330-0

【参考書】
A good Japanese-English dictionary and the Hosei English 8 Academic Writing Guide (which will be provided)

【成績評価の方法と基準】
Assessment will consist of in-class participation (40%), academic written assignment (30%) and final presentation (30%)

【学生の意見等からの気づき】
The three short presentations have been dropped so more time can be spent on the final presentations.

【その他の重要事項】
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【Outline and objectives】
The primary objective of this class is to develop both spoken and written communication skills, and confidence to prepare them for study abroad placement. The course provides practice in conversation, essay writing, and presentation in clear communicative English. Students will engage with a wide range of subjects but communicative activities will be based around the students' own experiences and ambitions.

LANe200LA

英語８

2017 年度以降入学者

ヴァイヒャート　ロビン　フランク

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
国 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Practice writing essays in English. Learn a process approach to writing academic texts, from single paragraphs to longer assignments.

【到達目標】
The course provides students with essential tools and procedures for essay writing. Students learn to analyze and write the types of paragraphs that commonly occur in academic contexts. They gain an understanding of how to organize the paragraph coherently and use appropriate vocabulary, grammar, and transitional devices in the paragraph body. By acquiring a set of strategies of how to develop a thesis, organize an outline, and write effective introductions and conclusions, students will eventually become competent also in writing longer essays on assigned topics and in test situations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】
In the course, students complete a series of tasks that guide them to effective essay writing in a step-by-step manner. Students will first work on recognizing and identifying key writing structures from model paragraphs and essays. They then manipulate the structures in short and manageable tasks, and finally apply them to their own writing. Students will work individually, with a partner and with a group. Exercises will be done online. Students are expected to submit one full-length essay based on their work by the end of the term.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction.	Process writing & pre-writing.
2	The structure of a paragraph.	Parts of a paragraph, topic sentences.
3	The development of a paragraph.	Paragraph support & concluding sentences, peer editing.
4	Descriptive paragraphs.	Organizing and writing descriptive paragraphs, connecting words.
5	Opinion paragraphs.	Expressing opinion and arguments, transition words.
6	Comparison/Contrast Paragraphs.	Comparing and contrasting, writing about advantages and disadvantages of a topic.
7	Problem/Solution paragraphs.	Using real conditionals, writing a two-paragraph paper.
8	The structure of an essay.	Formatting an essay, writing a thesis statement.
9	Outlining an essay.	Writing an outline.
10	Introductions and conclusions.	The purpose of an introduction/ a conclusion
11	Unity and coherence.	Editing an essay for unity.
12	Essays for examinations.	Instructions for essay tests, managing time.
13	Essay test.	Timed essay writing.
14	Semester review.	Essay submission.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
For this course, students are expected to check notes and review previous exercises in the textbook, as well as complete writing assignments.

【テキスト（教科書）】
Dorothy E. Zemach, Lisa A. Ghulldu. Writing Essays: From Paragraph to Essay (Student Book). Macmillan Education.

【参考書】
George Davidson (ed.) Roget's Thesaurus of English Words and Phrases (Penguin Reference). Penguin UK.

【成績評価の方法と基準】
Grading will be based on assignments and quizzes (50%) and a final essay (50%), to be submitted online. Students who fail to submit four or more of the assignments will lose their right to be awarded credits.

【学生の意見等からの気づき】
not applicable

【学生が準備すべき機器他】
Students should have a PC, notebook etc. so they are able to access google classroom and work on online assignments and quizzes.

【その他の重要事項】
Notes are sometimes used in subsequent classes, so students should make sure to save the files of their finished assignments.

【Outline and objectives】
Practice writing essays in English. Learn a process approach to writing academic texts, from single paragraphs to longer assignments.

LANe200LA

英語８

2017 年度以降入学者

マーク・フィールド

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
国 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course is for second year students with a strong desire to improve their language skills since they will be in their final stage of preparation for studying abroad in a an English-speaking country. The course will focus on further developing students' ability to perform successfully in an all English-speaking academic and social environment.

【到達目標】
Building on the English language skills acquired in their first year of university study, the goal of this course is to help students become responsible international students capable of unsupervised independent language learning while studying abroad.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
This class will start on Thursday, April 23, 2020 in its regularly scheduled period using the online HOPPII Learning Management System. Students should try to self-register into the class student roster using the Romanized version (ローマ字) of their Given and Family names and their university email address.
The class will be conducted online using the HOPPII Learning Management System until further notice. The HOPPII System will be used as the initial meeting point and communication platform, but students will be expected to branch out and use other technology platforms and/or websites as the course progresses.
Students will be expected to not only acquire vocabulary and expressions, but also find and analyze information from various forms of English media independently and complete weekly homework assignments. Special emphasis will be given to developing listening and note taking skills as well as discussion and presentation skills necessary for successfully completing their study abroad programs in the Fall Semester.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	Class Orientation	How to Study More Effectively
2 回	Listening for Main Ideas	The Meaning of Family
3 回	Critical Thinking	Ranking Importance
4 回	Tips for Success	Giving Reasons and Explanations
5 回	Thinking on Your Feet	Impromptu Speeches
6 回	Listening Skills	Recognizing Facts and Opinions
7 回	Actively Communicating	Participating in Group Discussions
8 回	Tips for Success	Filling in words you didn't hear!
9 回	Thinking on Your Feet	A Persuasive Presentation
10 回	Taking Notes	Listening for Details
11 回	Vocabulary Skills	Collocations
12 回	Critical Thinking	Giving Examples
13 回	Discussion Skills	Role-playing
14 回	Review	Sustainable Progress

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to prepare weekly homework assignments at home, and review lessons to enhance their participation in classroom activities and discussions. Students are also expected to find and analyze information from various forms of English media independently as a means of increasing their vocabulary and general knowledge.
本授業の準備学修・復習時間は各 1 時間を標準とします。
The standard preparation and review time for this class is two hours per week: 1 hour preparation and 1 hour review.

【テキスト（教科書）】
Course materials will be assigned by the instructor.

【参考書】
An English to English Dictionary is recommended.
This course will also use some online English News and Study Materials.

【成績評価の方法と基準】
40% In Class Evaluation
20% Homework
40% Final Project/Paper
**Class attendance is a course requirement.
Students are allowed no more than three absences in the semester.

【学生の意見等からの気づき】
Students have been happy with this course in the past and currently no student survey data is available to support major changes. Course materials are reviewed periodically and updated when necessary to maintain relevance.
The instructor always welcomes comments and encourages students to make suggestions to improve the course at anytime.

【その他の重要事項】
Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester. The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary.

【Outline and objectives】
This course is for second year students with a strong desire to improve their language skills since they will be in their final stage of preparation for studying abroad in a an English-speaking country. The course will focus on further developing students' ability to perform successfully in an all English-speaking academic and social environment.

LANe200LA
英語オーラル・コミュニケーション Ⅰ
2017 年度以降入学者

ALAN M NICHOLLS

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is an elective course that will provide students with the opportunity to develop their oral communication skills from a pre-intermediate level.
Students will be encouraged to discuss contemporary issues related to current world events and future changes in technology and society. Additional activities will include pronunciation and use of rhythm and intonation to assist oral communication.

【到達目標】
Students will practice skills needed to make effective use of their voices to achieve more natural communication. Students will also practice speaking in "ideas" rather than words. The course will use TED Talks and current news articles to enable students become more effective and proficient in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Students will be able to practice and develop their speaking skills using A++, BOOST and Yes/No/Key/Or techniques. Students will practice listening using Shadowing. We will also practice speaking through chanting of English poetry.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Course Introduction	Outline of course, grading criteria and class policies. Access Classroom
2	Unit Introduction and Main Theme	Introduction of Theme- related Vocabulary; A++
3	Theme Development	Theme Discussions: Building on Original Statement
4	Intensive and Extensive Reading	Theme-related topic study. Yes/No/Key/Or
5	TED Talk	Video Presentation Analysis and Discussion; Presentation Skills
6	Unit Introduction and Main Theme	Introduction of Theme - related Vocabulary; Oral Practice A++
7	Theme Development	Theme Discussions. Build on Original Statement
8	Intensive and Extensive Reading	Theme-related topic study. Negative Questions and TAG questions.
9	TED Talk	Video Presentation Analysis and Discussion; Presentation Skills
10	Unit Introduction and Main Theme	Chanting of Clancy:Stanza 1
11	Theme Development	Clancy: stanza 2
12	Intensive and Extensive Reading	Clancy Stanza 3
13	TED Talk	Clancy: Stanza 4
14	Term Exam	Group Presentation of Clancy

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
Class preparation; There will be some short, simple, written homework assignments designed to test the students understanding of the ideas presented in the major themes of the course. Each homework assignment will be 10% of total course value.

【テキスト（教科書）】
Keynote
Pre-Intermdiate (Combo Split B)
by David Bohlke
National Geographic Learning/Cengage

【参考書】
Please bring Japanese/English and English/English Dictionaries.
A Thesaurus will also be useful. (Most electronic dictionaries have all three functions).
Apps for smartphones / mobile devices are acceptable.
I use the dictionary function from Wikipedia (EN) and an App called “Imiwa”.

【成績評価の方法と基準】
Class Activities & Homework 30%
In Class Worksheets 30%
Presentation 20%
Participation 20%
In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】
NA

【学生が準備すべき機器他】
We will use Google “Classroom” to send, submit and record all assignments. Students can download "Classroom" from the Google Web site. The Classroom Code for this subject is: d2smgt4 Students will be required to join the subject using “Classroom” and will be required to change their profile on their Hosei Gmail Account with their "Class Number".
You will need a smartphone or laptop to access Classroom.

【その他の重要事項】
Above schedule is subject to change

【Outline and objectives】
This is an elective course that will provide students with the opportunity to develop their oral communication skills from a pre-intermediate level.
Students will be encouraged to discuss contemporary issues related to current world events and future changes in technology and society. Additional activities will include pronunciation and use of rhythm and intonation to assist oral communication.

LANe200LA

英語オーラル・コミュニケーションⅡ

2017 年度以降入学者

ALAN M NICHOLLS

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is an elective course that will provide students with the opportunity to develop their oral communication skills. The course will develop students ability for person to person communication and presentation skills.
The course will use TED Talks and Academic presentations to compare and contrast the different styles of presentations. Students will be required to make short presentations on a variety of topics including: alternative meat products, transport technology and climate change.

【到達目標】
The goal of this course is to further enhance students' oral communication skills. Students will practice making both formal and informal presentations. Students will practice using punctuation to join and separate ideas and using gesture to emphasize ideas. Students will practice techniques to increase eye contact during presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
The level of the material should suit students at a pre-intermediate level.
Students will be able to practice and develop their speaking skills using A++, BOOST and Yes/No/Key/Or techniques. Students will practice listening using Shadowing. Students will gain critical thinking skills through comparison of different articles on the same topic. Students will also practice presentation skills including gesture, voice control, eye contact, using notes and timing of presentation.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction & Review	Review Presentation Techniques; Presentation Practice
2	Unit Introduction and Main Theme	Introduction of Theme - related Vocabulary; Oral Practice
3	Theme Development	Theme Discussions
4	Intensive and Extensive Reading	Theme-related topic study
5	TED Talk	Video Presentation Analysis and Discussion; Presentation Skills
6	Unit Introduction and Main Theme	Introduction of Theme- related Vocabulary; Oral Practice
7	Theme Development	Theme Discussions
8	Intensive and Extensive Reading	Theme-related topic study
9	TED Talk	Video Presentation Analysis and Discussion; Presentation Skills
10	Unit Introduction and Main Theme	Introduction of Theme- related Vocabulary; Oral Practice
11	Theme Development	Theme Discussions
12	Intensive and Extensive Reading	Theme-related topic study
13	TED Talk	Video Presentation Analysis and Discussion; Presentation Skills
14	Review	Consolidation

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
There will be some short, simple, written homework assignments designed to test the students understanding of the ideas presented in the major themes of the course. Each homework assignment will be 10% of total course value.

【テキスト（教科書）】
Pre-Intermdiate (Combo Split B)
by David Bohlke
National Geographic Learning/Cengage

【参考書】
Please bring Japanese/English and English/English Dictionaries.
A Thesaurus will also be useful. (Most electronic dictionaries have all three functions).
Apps for smartphones / mobile devices are acceptable.
I use the dictionary function from Wikipedia (EN) and an App called "Imiwa".
TED.com

【成績評価の方法と基準】
Homework: 30%
In-Class Worksheets: 30%
Presentation: 20%
Participation: 20%

【学生の意見等からの気づき】
NA

【学生が準備すべき機器他】
We will use Google "Classroom" to send, submit and record all assignments. Students can download "Classroom" from the Google Web site. The Classroom Code for this subject is: TBA. Students will be required to join the subject using "Classroom" and will be required to change their profile on their Hosei Gmail Account with their "Class Number".
You will need a smartphone or laptop to access Classroom.

【その他の重要事項】
Above schedule is subject to change

【Outline and objectives】
This is an elective course that will provide students with the opportunity to develop their oral communication skills. The course will develop students ability for person to person communication and presentation skills.
The course will use TED Talks and Academic presentations to compare and contrast the different styles of presentations. Students will be required to make short presentations on a variety of topics including: alternative meat products, transport technology and climate change.

LANe200LA
英語オーラル・コミュニケーション Ⅰ
2017 年度以降入学者

リチャード・バロース

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
A comprehensive course in oral communication that focuses on introducing cultural issues in English. The course will employ audio-visual materials through which students will acquire the basic grammar and vocabulary of cultural explanation.

【到達目標】
「文化」について英語で理解し、表現するスキルをみがく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
The professor will use audio-visual materials and explain them, and students will give short lectures related to Japan, followed by class discourse.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】
春学期

回	テーマ	内容
第 1 回	Introduction	講義
第 2 回	Japanese culture in English 1	発表
第 3 回	Japanese culture in English 2	発表
第 4 回	Japanese culture in English 3	発表
第 5 回	Japanese culture in English 4	発表
第 6 回	Western culture in English 1	発表
第 7 回	Western culture in English 2	発表
第 8 回	Western culture in English 3	発表
第 9 回	Western culture in English 4	発表
第 10 回	Asian cultures in English 1	発表
第 11 回	Asian cultures in English 2	発表
第 12 回	Asian cultures in English 3	発表
第 13 回	Asian cultures in English 4	発表
第 14 回	Conclusion	講義

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
Read about traditional and contemporary culture.

【テキスト（教科書）】
毎回、教員が提供する。

【参考書】
毎回、教員が提供する。

【成績評価の方法と基準】
平常点 (50%) とリポート (50%)。

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【その他の重要事項】
The course will incorporate the uniquely bilingual perspective of the writer Levy Hideo.

【Outline and objectives】
A comprehensive course in oral communication that focuses on introducing cultural issues in English. The course will employ audio-visual materials through which students will acquire the basic grammar and vocabulary of cultural explanation.

LANe200LA
英語オーラル・コミュニケーション Ⅱ
2017 年度以降入学者

リービ　英雄

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
A comprehensive course in oral communication that focuses on introducing cultural issues in English. The course will employ audio-visual materials through which students will acquire the basic grammar and vocabulary of cultural explanation.

【到達目標】
「文化」について英語で理解し、表現するスキルをみがく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
The professor will use audio-visual materials and explain them, and students will give short lectures related to Japan, followed by class discourse.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】
春学期

回	テーマ	内容
第 1 回	Introduction	講義
第 2 回	Japanese culture in English 1	発表
第 3 回	Japanese culture in English 2	発表
第 4 回	Japanese culture in English 3	発表
第 5 回	Japanese culture in English 4	発表
第 6 回	Western culture in English 1	発表
第 7 回	Western culture in English 2	発表
第 8 回	Western culture in English 3	発表
第 9 回	Western culture in English 4	発表
第 10 回	Asian cultures in English 1	発表
第 11 回	Asian cultures in English 2	発表
第 12 回	Asian cultures in English 3	発表
第 13 回	Asian cultures in English 4	発表
第 14 回	Conclusion	講義

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
Read about traditional and contemporary culture.

【テキスト（教科書）】
毎回、教員が提供する。

【参考書】
毎回、教員が提供する。

【成績評価の方法と基準】
平常点 (50%) とリポート (50%)。

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【その他の重要事項】
The course will incorporate the uniquely bilingual perspective of the writer Levy Hideo.

【Outline and objectives】
A comprehensive course in oral communication that focuses on introducing cultural issues in English. The course will employ audio-visual materials through which students will acquire the basic grammar and vocabulary of cultural explanation.

LANe200LA
英語オーラル・コミュニケーション Ⅰ
2017 年度以降入学者

ロジャー　エドウィン　パティモア

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Course Summary
Oral Communication is a course for intermediate students of English who also enjoy talking about interesting topics in English. The ideal student will have no problem using everyday English and is ready to try more challenging English communication tasks.
Objectives: The spring course aims to build basic discussion and presentation skills. The base of the course is listening to a two person discussion or university level lecture. Then, some specific objectives are:
1. Learn specific ways or strategies to have an effective discussion (My Basic Discussion Skills program)
2. Use English as the first classroom language outside the classroom structure (My Change Japan program.)
3. Learn how to analyze a short oral discussion or university lecture from the textbook. (quick outlining, and oral and written summarizing)
4. Learn how to give effective short presentations

【到達目標】
Course Goals
1. Students will discuss interesting topics
2. Students will learn practical communication skills useful for work in an international setting such as:
A Japanese global company (日本のグローバル企業)
Foreign global company (in Japan) 外国のグローバル企業
Public servant positions (公務員)
Japanese non-governmental organizations (NGOs)
Or use in other courses taught in English

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Methods
English is the first language of the classroom. I will almost always use English, and in time students will almost always use English. Japanese may be used for clarification of difficult points or personal communication with me.
The teaching method is Content and Language Integrated Learning (CLIL). We will study interesting topics and ideas, and at the same time learn skills to support our understanding.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Lesson 1	Open class to screen students	Screening Class: 1. Overview of the course 2. Who should be in this course 3. Short screening test 4. Decision
Lesson 2	Introduction and Orientation to the course	Introduction to the Course Instructor / Student Introductions Administrative Tasks Basic Discussion Skills (BDS) O – Classroom language for discussion Overview of the textbook Homework: TB Unit 1 Task 2 Vocabulary Basic Discussion Skills (BDS) 1: What do you know?
Lesson 3	Technology (TB Unit 1)	BDS 2 Topics vs Issues Make temporary groups TB Tasks 2, 1, 3 Skills: summarizing, outlining, presenting
Lesson 4	Technology (TB Unit 1)	BDS 00 Reporting a discussion BDS 3 Start a Discussion TB Tasks 4-6, 7 Taks 8 (hybrid) Skills: summarizing, outlining, presenting
Lesson 5	Technology (TB Unit 1)	BDS 4 Giving an Opinion TB Task 8 hybrid = Mini-presentation on cool technologies HW: Unit 2 Task 2 Vocabulary
Lesson 6	Travel (TB Unit 2)	BDS 5 Giving Reasons TB Tasks 2, 1, 3 Skills: : summarizing, outlining, presenting
Lesson 7	Travel (TB Unit 2)	BDS 6: Supporting your Reasons TB Tasks 4-6, 7, 8 Skills: summarizing, outlining, presenting HW: Unit 3 Task 2 Vocabulary
Lesson 8	Evaluation (TB Unit 2)	Unit 2 Travel Paper Test Plan for completing two more units Outline and summarize a unit
Lesson 9	Culture (TB Unit 3)	BDS 7: Agree and Disagree TB Tasks 2, 1, 3 Presentation Preparation – Explain your culture
Lesson 10	Culture (TB Unit 3)	TB Tasks 4-6, 7, 8 Presentation Preparation – Explain your culture HW: Unit 4 Task 2 Vocabulary
Lesson 11	Volunteering (TB Unit 4)	Fast-track Unit 4 – All Tasks
Lesson 12	TB Unit test Volunteering (TB Unit 4)	Final TB Paper Test TB Unit 4 Focus on Task 7 Interactive Discussion Test Preparation
Lesson 13	Evaluation	Interactive Discussion Test
Lesson 14	Wrap up	Return of tests and assignments Grade idea calculation Ideas for further study Print file check

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Work to be done outside class:
“University guidelines suggest preparation and review are around […]an hour a week for a one-credit course.”
1. Textbook and online homework: Approximately 1 hour per unit, or 8 hours per semester.
2. Two presentations: 1-hour to research and practice each one

3. Preparation for the Interactive Discussion Test: two hours outside of class time with group members.

【テキスト（教科書）】
The textbook will be distributed in class.

【参考書】
A good dictionary, electronic or Smartphone acceptable
Other applications（アプリ） for Smartphone (ongoing uploads)

【成績評価の方法と基準】
Grading
1. Print File: (5%)
2. Online HW: (10%)
3. Mini-presentation 1: Technology (Cool Technology - Smartphone App / YouTube) (5%)
4. Mini-presentation 2: Explain an aspect of Japanese culture (10%)
5. Outlining a unit: (10%)
6. Mid-term Unit Test: (10%)
7. Final Unit Test: (20%)
8. Interactive Discussion Test: (30%)
All students in Oral Communication are expected to attend class regularly. Hosei University's guideline states: 'In principle, no more than 3 absences per term are allowed.'
Other details and policies about attendance will be explained in the second class of the semester.

【学生の意見等からの気づき】
Based on last year's groups, music cloze and dictation will be eliminated from the course. More audio-visual material such as news clips related to textbook units.

【学生が準備すべき機器他】
Textbook, writing instruments, 1 clear file

【その他の重要事項】
1. Students must attend the screening class (Lesson 1) and/or take the screening test.
2. We will review some basic speaking skills in the spring semester but the course can be difficult for low-level students. Start speaking and listening level should be above beginner.
**Starting level can be determined by some of these:
-Motivation – specific goal for joining the course, not a selfish goal (convenient day and time)
-Experience of 2/5 of these:
-1 month living abroad or more
-regular contact with native English speakers, Example: part-time job, ESS
-Proven ability: 英検２級、TOEIC ITP above 450, tried TOEIC, IELTS or TOEFL
-Having taken one or more university entrance exams (大学入試)is often a good base

【Outline and objectives】
Course Summary
Oral Communication is a course for intermediate students of English who also enjoy talking about interesting topics in English. The ideal student will have no problem using everyday English and is ready to try more challenging English communication tasks.
Objectives: The spring course aims to build basic discussion and presentation skills. The base of the course is listening to a two person discussion or university level lecture. Then, some specific objectives are:
1. Learn specific ways or strategies to have an effective discussion (My Basic Discussion Skills program)
2. Use English as the first classroom language outside the classroom structure (My Change Japan program.)
3. Learn how to analyze a short oral discussion or university lecture from the textbook. (quick outlining, and oral and written summarizing)
4. Learn how to give effective short presentations

LANe200LA
英語オーラル・コミュニケーションⅡ
2017 年度以降入学者

ロジャー　エドウィン　パティモア

開講時期：**秋学期授業/Fall** ｜ 曜日・時限：**水 3/Wed.3**
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Course Summary
Oral Communication II is a continuation of the spring course, Oral Communication I. It can be taken independently of the spring course. The course is for intermediate students of English who also enjoy talking about interesting topics in English. The ideal student for the fall semester will have no problem having a basic discussion in English and is ready to try advanced English discussion and presentation tasks. The course will focus on research and planning of a 'teaching' presentation.
Objectives: The spring course aims to build intermediate discussion and presentation skills. The base of the course is various listening passages such as a two person discussion or part of a university lecture. Then, some specific objectives are:
1.Learn specific ways or strategies to have an effective higher level discussion (My Advanced Discussion Skills program).
2.Use English as the first classroom language outside the classroom structure (My Change Japan program).
3.Continue analyzing, outlining and summarizing text book listening texts.
4.Learn how to watch and discuss a documentary film.
5.Learn to give a longer researched presentation with audiovisual support and with the goal of teaching other class members.

【到達目標】
Course Goals (Similar to the spring semester)
1.Students will use English to discuss topics of current interest.
2.Students will be provided with practical communication skills useful for work in an international setting such as:
A Japanese global company (日本のグローバル企業)
Foreign global company (in Japan) 外国のグローバル企業
Public servant positions (公務員)
Japanese non-governmental organizations (NGOs)
Or use in other courses taught in English

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
English is the first language of the classroom. I think we will all use English most of the time. Japanese may be used for clarification of difficult points or personal communication with me.
The teaching method is Content and Language Integrated Learning (CLIL). We will study interesting topics and ideas, and at the same time learn language skills to support our understanding.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introductions and Orientation	1.Overview of the fall course 2.Who should be in this course 3.New students meeting
Lesson 2	The News (TB Unit)	Advanced Discussion Skill 1 (XDS 1) – Elicitation Get the textbook (TB) Overview of the textbook TB Tasks 2, 3, 1
Lesson 3	The News (TB Unit 7)	XDS 2 – Advanced Discussion Start Questions TB Tasks 4-6, 7 Task 8 later Outlining and Summary HW: TB Unit 8 Study Abroad Task 2 Vocabulary
Lesson 4	Study Abroad (TB Unit 8)	XDS 3 – Nuanced Opinions TB Tasks 2, 1, 3 Outlining and Summary
Lesson 5	Study Abroad (TB Unit 8)	XDS 4 – Socratic Discussion TB Tasks 4-6, 7, 8 later Outlining and Summary HW: TB Unit 10 Education Task 2 Vocabulary
Lesson 6	Education (TB Unit 10)	XDS 5 – Critical Thinking TB Tasks 2, 1, 3 Outlining and Summary
Lesson 7	Education (TB Unit 10)	TB Tasks 4 – 6, 7, 8 later Documentary Movie (DM) – Off the Grid
Lesson 8	Evaluation	Textbook mid-term paper test Introduction to the research / teaching type presentation Documentary Movie (DM) – Off the Grid HW: TB Unit 11 Environment Task 2 Vocabulary
Lesson 9	The Environment (TB Unit 11)	TB Tasks 2, 1, 3 Documentary Movie (DM) – Off the Grid
Lesson 10	The Environment (TB Unit 11)	TB Tasks 4-6, 7, 8 maybe Documentary Movie (DM) – Off the Grid
Lesson 11	Presentations	Textbook Final Unit Test Presentations Documentary Movie (DM) – Off the Grid
Lesson 12	Presentations	Presentations Preparation for Interactive Discussion Test
Lesson 13	Evaluation	Interactive Discussion Test
Lesson 14	Wrap up	Return of tests and assignments Grade idea calculation Ideas for further study Print File Check

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Work to be done outside class:
Before the fall semester students should familiarize themselves with presentation software such as PowerPoint. There are many tutorials on YouTube.
During the Semester
"University guidelines suggest preparation and review are around […]an hour a week for a one-credit course."
1.Textbook and online homework: Approximately 1 hour per unit, or 8 hours per semester.
2.One Presentation: 2-3 hours to research and practice each one
3.Preparation for the Interactive Discussion Test: two hours outside of class time with group members.

【テキスト（教科書）】

The textbook will be the same as the spring semester

【参考書】

Dictionary, electronic or Smartphone OK

【成績評価の方法と基準】

1.Print File: (5%)
2.Online HW: (10%)
3.Outlining and Summarizing: (10%)
4.Mid-term Unit Test: (10%)
5.Final Unit Test: (20%)
6.Research Teaching Presentation (20%)
7.Interactive Discussion Test (Includes 'Off the Grid'): (25%)
All students in Oral Communication are expected to attend class regularly. Also, Hosei University's guideline states: 'In principle, no more than 3 absences per term are allowed.'
Other details and policies about attendance will be explained in the second class of the semester.

【学生の意見等からの気づき】

in 2019 school year, we watched part of a documentary. Unfortunately we couldn't finish, but students said they liked it. Music and dictation didn't work.

【学生が準備すべき機器他】

Textbook, writing instruments, dictionary, clear file

【Outline and objectives】

Course Summary
Oral Communication II is a continuation of the spring course, Oral Communication I. It can be taken independently of the spring course. The course is for intermediate students of English who also enjoy talking about interesting topics in English. The ideal student for the fall semester will have no problem having a basic discussion in English and is ready to try advanced English discussion and presentation tasks. The course will focus on research and planning of a 'teaching' presentation.
Objectives: The spring course aims to build intermediate discussion and presentation skills. The base of the course is various listening passages such as a two person discussion or part of a university lecture. Then, some specific objectives are:
1.Learn specific ways or strategies to have an effective higher level discussion (My Advanced Discussion Skills program).
2.Use English as the first classroom language outside the classroom structure (My Change Japan program).
3.Continue analyzing, outlining and summarizing text book listening texts.
4.Learn how to watch and discuss a documentary film.
5.Learn to give a longer researched presentation with audiovisual support and with the goal of teaching other class members.

LANe200LA

ビジネス・イングリッシュⅠ　2017 年度以降入学者

ジョン　ライリー

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火** 4/Tue.4
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course will help students to improve their English communications skills for business and to develop a better understanding of international business practices. Gaining insights into these practices will increase their knowledge and expand their worldview. The business skills learned, along with more general English language instruction received, will help students to communicate clearly and effectively in both global business environments and within Japanese companies that conduct international business

【到達目標】
Students will gain effectiveness and confidence in discussing a range of business topics in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Class activities will include pair work, group work and discussions. Students will make short presentations based on topics covered on class. Some written homework will be assigned.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Course introduction	Explaining the course
2	Nice to meet you	Introducing people
3	Where do you work?	Introducing people
4	Where do you work?	Describing companies
5	Can I have your name please?	Having telephone conversations
6	Can I have your name please?	Having telephone conversations
7	I'm a sales rep	Describing occupations
8	I'm a sales rep	Describing occupations
9	They work in shifts	Describing time and schedules
10	They work in shifts	Describing time and schedules
11	How's business?	Making small talk
12	Student Pair Speaking Examination	Final Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students will be required to prepare for classes by reviewing the next pages in the textbook and completing relevant textbook activities.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Communication Spotlight: Business 1 (Alastair Graham-Marr / ABAX ELT Publishers)

【参考書】
Students may be given readings in English from business newspapers, magazines and websites to increase their knowledge of business topics.

【成績評価の方法と基準】
75%: Pair Speaking Exam
25%: Class Participation

【学生の意見等からの気づき】
Class activities and course material will be modified based on student feedback and input.

【Outline and objectives】
This course will help students to improve their English communications skills for business and to develop a better understanding of international business practices. Gaining insights into these practices will increase their knowledge and expand their worldview. The business skills learned, along with more general English language instruction received, will help students to communicate clearly and effectively in both global business environments and within Japanese companies that conduct international business

LANe200LA

ビジネス・イングリッシュⅡ　2017 年度以降入学者

ジョン　ライリー

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 4/Tue.4
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course will help students to improve their English communications skills for business and to develop a better understanding of international business practices. Gaining insights into these practices will increase their knowledge and expand their worldview. The business skills learned, along with more general English language instruction received, will help students to communicate clearly and effectively in both global business environments and within Japanese companies that conduct international business

【到達目標】
Students will gain effectiveness and confidence in discussing a range of business topics in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Class activities will include pair work, group work and discussions. Students will make short presentations based on topics covered in class. Some written homework will be assigned.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Course introduction	Explaining the course
2	How many employees are there?	Working with large numbers
3	How many employees are there?	Working with large numbers
4	It was a long day	Describing past work
5	It was a long day	Describing past work
6	Can you send me that file?	Explaining procedures
7	Can you send me that file?	Explaining procedures
8	It's in the filing cabinet	Describing location
9	It's in the filing cabinet	Describing location
10	This is good! What is it?	Describing food
11	This is good! What is it?	Describing food
12	She's going to give a presentation	Describing future plans
13	She's going to give a presentation	Describing future plans
14	Student Pair Speaking Examination	Final exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students will be required to prepare for classes the next pages in the textbook and completing relevant textbook activities. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Communication Spotlight: Business 1 (Alastair Graham-Marr / ABAX ELT Publishers)

【参考書】
Students may be given readings in English from business newspapers, magazines and websites to increase their knowledge of business topics.

【成績評価の方法と基準】
75%: Pair Speaking Examination
25%: Class participations

【学生の意見等からの気づき】
Class activities and course material will be modified based on student feedback and input.

【Outline and objectives】
This course will help students to improve their English communications skills for business and to develop a better understanding of international business practices. Gaining insights into these practices will increase their knowledge and expand their worldview. The business skills learned, along with more general English language instruction received, will help students to communicate clearly and effectively in both global business environments and within Japanese companies that conduct international business

LANe200LA
English Reading and Vocabulary Ⅰ

2017 年度以降入学者

ウォルター　カズマー

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 3/Tue.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Students will learn English using 4 skill areas (speaking, listening, reading, and writing). Discussion and short essay writing skills will be focused on.

【到達目標】
Students will read and learn 5-10 new vocabulary items per class.
Students will also acquire ability to handle discussions about some text topics related to economic, political, and current events related issues

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Skimming, scanning, reading for detail, reading for deep comprehension, taking dictations with cloze exercises, and role-plays based on new vocabulary.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Introduction	Present basic goals of course with examples.	Cover syllabus and basic ground rules for regular classes and tests.
Sustainable communities I	Keeping the social peace	Examining social goals for societies. Exploring cultural bonds.
Sustainable communities II	Social peace	Deepening understanding of social boundaries and possible conflcts.
Dilemma for a responsible tourist I	Tourists and value they bring to societies	How tourism affects our lives in both positive and negative ways.
Dilemma for a responsible tourist II	New trends of tourism	Ponder tourism negatives and positive outcomes
Protecting world heritage I	Protecting our cultural artifacts	How buildings are preserved and design shows our history
Protecting world heritage II	Looking at historical buildings and the events they show	Why are these buildings important for remembering history?
No more Bananas I	Engineered food and possible consequences	Quiz 1 Researching food sources and why variety is important
No more Bananas II	Scientists develop strains and their goals	Science and its end goals and how they might ruin our health
Blowing whistles I	Corruption and its problems	Looking at corporate problems and how difficult they are to solve
Blowing whistles II	Witness to government waste	Trying to eliminate waste
Breaking the law I	Bad laws	Examining when do you have an obligation to protest
Breaking the law I	Well meaning laws	Quiz 2 Researching laws that don't cover all circumstances
Summary	Taking at look at useful words learned	Reviewing useful vocabulary and its parameters

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Some reading and vocabulary review.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Issues that matter - Kinseido
ISBN 9784764740617 or 1921082018006

【参考書】
N/A

【成績評価の方法と基準】
Class participation 50%
Homework 25%
Quizzes 25%

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【学生が準備すべき機器他】
English to English dictionary or web dictionary, paper, smartphone or PC

【Outline and objectives】
Students will learn English using 4 skill areas (speaking, listening, reading, and writing). Discussion and short essay writing skills will be focused on.

LANe200LA
English Reading and Vocabulary Ⅱ

2017 年度以降入学者

ウォルター　カズマー

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 3/Tue.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Students will learn English using four skill areas (listening, speaking, writing, and reading). Students will focus on improving discussion and short essay writing.

【到達目標】
Students will read and learn 5-10 new vocabulary items per class.
Students will acquire discussion skills to handle discussions about economic, political, and current events topics.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Skimming, scanning, reading for detail, reading for deep comprehension,
taking dictations with cloze exercises, and roleplays
based on new vocabulary.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Introduction	Present basic goals of course with examples.	Cover syllabus and basic ground rules for regular classes and tests.
Goodbye Maldives I	Rising oceans	How do we combat global climate change?
Goodbye Maldives II	Rising seas	Positives and negatives of climate change
Economic inequality I	Poverty and its effects on society	Look at how inequalities affect our lives
Economic inequality II	Poverty and government regulation	Show and discuss government regulations that try to reduce poverty
Presentation skills I	Covering aspects of structure and use of voice	Practicing presentation skills needed for the introduction, body, and conclusion
War on Sugar I	Looking at health aspects affected by sugar	Diet, and balancing of other health aspects is explored
War on Sugar II	Debate sugar effects	Look at diabetes and other health related problems
Presentation skills II	Covering slide improvements and gestures	Show and discuss slide enhancements.
Closing the loop	Handling waste removal	Discuss sanitation removal and various ways to reduce waste
Presentations	Presentations	Presentations on course theme climate change
Presentations	Presentations	Presentations on course theme economic inequalities
Presentations	Presentations	Presentations on course theme war on sugar
Summary	review course themes	Discuss course related themes.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Prepare presentation material and review vocabulary lists.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Issues that matter- Kinseido
ISBN 978-4-7647-4061-7

【参考書】
N/A

【成績評価の方法と基準】
Class participation 50%
Homework 25%
Quizzes 25%

【学生の意見等からの気づき】
Require more use of English by students

【学生が準備すべき機器他】
English to English dictionary or web dictionary, paper, writing instrument

【Outline and objectives】
Students will learn English using four skill areas (listening, speaking, writing, and reading). Students will focus on improving discussion and short essay writing.

LANe200LA
English Reading and Vocabulary Ⅰ

2017 年度以降入学者

ERIC J RITTER

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Students will improve their reading skills and vocabulary knowledge. Each lesson will be divided into learning new vocabulary and then practicing it via pair and group work. The vocabulary will be used in the readings that follow.

【到達目標】
1. Students will understand and utilize the writing process of planning, writing, and re-writing.
2. They will learn to understand the gist, details of short articles they read and summarize a magazine article.
3. Students will improve their reading speed and increase their vocabulary knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Students will learn new vocabulary from textbook and reinforce it via discussion and readings. Classes start 4/24 on Zoom.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Unit 1	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
2	Unit 2	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
3	Unit 3	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
4	Unit 4	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension.
5	Unit 5	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension.
6	Unit 6	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
7	Midterm	Feedback
8	Unit 7	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
9	Unit 8	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
10	Unit 9	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
11	Unit 10	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
12	Final Exam	Feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students will study vocabulary on Quizlet and read articles.

【テキスト（教科書）】
Paul Nation: 4000 Essentials Words Book 4 (2nd edition). Perfect Paperback

【参考書】
Book and Quizlet should be studied.

【成績評価の方法と基準】
50% quizzes and exams
25% writing exercises using new words
25% effort and participation
No more than 3 absences or missed assignments are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
No feedback

【学生が準備すべき機器他】
Internet enabled device to participate in class.

【Outline and objectives】
Students will improve their reading skills and vocabulary knowledge. Each lesson will be divided into learning new vocabulary and then practicing it via pair and group work. The vocabulary will be used in the readings that follow.

LANe200LA
English Reading and Vocabulary Ⅱ

2017 年度以降入学者

ERIC J RITTER

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Students will improve their reading skills and vocabulary knowledge. Each lesson will be divided into learning new vocabulary and then practicing it via pair and group work. The vocabulary will be used in the readings that follow.

【到達目標】
1. Students will understand and utilize the writing process of planning, writing, and re-writing.
2. They will learn to understand the gist, details of short articles they read and summarize a magazine article.
3. Students will improve their reading speed and increase their vocabulary knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Students will learn new vocabulary from textbook and reinforce it via discussion and readings.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Unit 13	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
2	Unit 14	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
3	Unit 15	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
4	Unit 16	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
5	Unit 17	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
6	Unit 18	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
7	Unit 19	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
8	Midterm Exam	Feedback
9	Unit 20	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
10	Unit 21	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
11	Unit 22	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
12	Unit 23	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
12	Unit 24	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
14	Final Exam	Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hour a week for a two-credit class for a 2 hour class and 1 hour a week for a 1 hour class.

【テキスト（教科書）】
Paul Nation: 4000 Essentials Words Book 4 (2nd edition). Perfect Paperback

【参考書】
Quizlet

【成績評価の方法と基準】
50% quizzes and exams
25% writing exercises using new words
25% effort and participation
No more than 3 absences allowed

【学生の意見等からの気づき】
No feedback

【Outline and objectives】
Students will improve their reading skills and vocabulary knowledge. Each lesson will be divided into learning new vocabulary and then practicing it via pair and group work. The vocabulary will be used in the readings that follow.

LANe200LA

English Academic Writing Ⅰ

2017 年度以降入学者

ロジャー　エドウィン　パティモア

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English Academic I is the first semester of a two-semester course. In the this semester we will be building skills specific to academic writing.
Some of the objectives of the this part of the course are:
1. Increase academic vobabulary (RVOS program)
2. Increase keyboarding skills
3. Improve word processing skills
4. Learn to outline quickly and effectively (RVOS program)
5. Learn to summarize information to support ideas in a paragraph or essay (RVOS program)
6. Learn the format and structure of paragraph
7. Write two paragraphs
8. Learn the structure and format of independent essays*
9. Write one or more independent essays suitable for a test such as Eiken 1, IELTS or TOEFL.
*Independent essays for the TOEFL and other proficiency tests do not, in principle, require any specialized knowledge.

【到達目標】
Some goals for the spring semester:
1. Learn writing skills well enough so we can focus more on what to write rather than how.
(The the structure and format of a paragraph or short essay should be as automatic as walking by the end of the spring semester!!)
2. Learn to write well enough to function in an international setting such as:
*Working at a global Japanese company
*Working at a non-Japanese global company
*Working at a metropolitan or prefectural office as a civil servant (公務員)
*Working at for an NGO
*Graduate studies

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
The method of teaching will be straightforward including the following activities:
1. Do vocabulary exercises for HW and check in class (RVOS program)
2. Independently improve keyboarding skills using https://www.typingclub.com
Includes diagnostic testing, setting goals, taking an exit test
3. Outlining skills taught in class followed by assignments (RVOS program)
4. Summarizing skills taught in class followed by assignments (RVOS program)
5. Instruction on writing a paragraphs followed by two paragraph assignments
6. Instruction on writing independent essays followed by two essay assignments

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Lesson 1	Screening Class	Overview of the course Self-elimination if not interested Writing sample if still interested
Lesson 2	Introduction to the course	Administration Attendance and other policies Teacher / student introductions Introduction to the vocabulary program Introduction to keyboarding program About computers and computer software
Lesson 3	Technology (RVOS) Main Task = Outline and summary	Inroduction to the Reading - Vocabulary - Outlining - Summary ecosystem or RVOS program Do Technology RVOS in class HW: Next reading + outline
Lesson 4	Travel (RVOS) Main Task = Paragraph	Vocabulary Quiz Paragraph format and structure HW: Next reading + outline
Lesson 5	Culture (RVOS) Main Task = Paragraph	Vocabulary Quiz Paragraph Planning (Pre-writing) Write the paragraph HW: Next reading + outline
Lesson 6	Volunteering (RVOS) Main Task = Paragraph	Vocabulary Quiz Paragraph 1 due Paragraph to essay: What's the difference? Essay, differences in format and structure Essay introduction paragraph HW: Next reading + outline
Lesson 7	Beliefs Main Task = Paragraph	Vocabulary Quiz Return of paragraph 1 Preparation and writing of the next paragraph and IMPROVE! Essay Introduction Paragraph HW: Next reading + outline Write an introductions
Lesson 8	Ads and Commercials Main Task = Essay	Vocabulary Quiz Check introduction Body Paragraphs and conclusion Outline: HW: Next reading + outline
Lesson 9	The News Main Task = Essay	Vocabulary Quiz Submit Essay 1 HW: Next reading + outline
Lesson 10	Study Abroad Main Task = Essay	Vocabulary Quiz Get Essay 1 back Essay 2 Prewriting (Outline) HW: Next reading
Lesson 11	Ecotourism Main Task = Essay	Vocabulary Quiz Check pre-writing Write Essay 2 HW: Next reading + outline
Lesson 12	Main Task = Essay	Vocabulary Quiz Work on Essay 2 Have it pre-checked by me if time

Lesson 13	Evaluation	Vocabulary, outline summary test Finish and submit essay 2
Lesson 14	Course Wrap Up	Getting tests and assignments back Grade idea Summer work Print File(s) Check

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

1. Vocabulary - (20 minutes per week)
2. Keyboarding (10 - 15 minutes per day)
3. Outlining and summarizing (1 hour per semester)
4. Paragraph including pre-writing, outline, and 2 paragraphs (4-6 hours over the semester)
5. Essay including pre-writing, outline, and final essay (8-10 hours over the semester)

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook for this course.

【参考書】

I recommend a good electronic dictionary with E-J, J-E, and at least one good E-E dictionary loaded plus a pronunciation feature.

These are various URLs that will be used or referred to in this course.

Main Website for TOEIC ®: http://www.toeic.or.jp/

Main Website for IELTS: http://www.ielts.org/test_takers_information/what_is_ielts/test_format.aspx

Eiken Main Website: https://www.eiken.or.jp/eiken/en/

Eiken 1 級 Essays https://www.cel-eigo.com/contents/essay/1706.html

Academic Word List: http://www.englishvocabularyexercises.com/

Online Typing Test: http://www.typingtest.com/

...and https://typingclub.com

【成績評価の方法と基準】

1. Print File (5%) Writing Portfolio (5%)
2. Vocabulary Quizzes checked in class (5%)
3. Outlines and Summaries (15%)
4. Paragraph 1 (5%)
5. Paragraph 2 (10%)
6. Essay 1 with outline (15%)
7. Essay 2 with outline (20%)
8. Exit keyboarding (5%) if you meet your goal
9. Final Vocabulary Test (15%)

【学生の意見等からの気づき】

Just from my own observation of the 2019 Academic Writing Course, students need a more structured course with shorter easier steps.

【学生が準備すべき機器他】

Dictionary EJ / JE / EE, I will recommend various smartphone apps in class

【その他の重要事項】

*Students must have good speaking and listening skills.

**Some students may want to try the IELTS or TOEFL test in 2020.

**If you plan to take the test after summer 2020, I will help you design your own independent study program. I will check the anything you want to write.

***Students who are taking either of these tests in the spring semester will not be allowed this extra service. TOEFL and IELTs take long-term planning, especially the writing parts. I will not check work that isn't part of such a plan.

【Outline and objectives】

English Academic I is the first semester of a two-semester course. In the this semester we will be building skills specific to academic writing.

Some of the objectives of the this part of the course are:

1. Increase academic vobabulary (RVOS program)
2. Increase keyboarding skills
3. Improve word processing skills
4. Learn to outline quickly and effectively (RVOS program)
5. Learn to summarize information to support ideas in a paragraph or essay (RVOS program)
6. Learn the format and structure of paragraph
7. Write two paragraphs
8. Learn the structure and format of independent essays*
9. Write one or more independent essays suitable for a test such as Eiken 1, IELTS or TOEFL.

*Independent essays for the TOEFL and other proficiency tests do not, in principle, require any specialized knowledge.

LANe200LA

English Academic Writing Ⅱ

2017 年度以降入学者

ロジャー　エドウィン　パティモア

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course is a continuation of Academic I in the spring semester. The ideal student will have taken the spring course. The fall course will be almost 100% writing in and out of class. We will learn about various essay types to upgrade what we learned in the spring semester. Planned activities:
1. Write an IELTS Task 1 report
2. Write a TOEFL Integrated task
3. Write a compare, compare / contrast, contrast type essay
4. Write a problem solution essay
5. Write a research essay

【到達目標】
While the course may be useful for general writing in an international setting (as in the spring semester), the main goal is preparation for academic writing in other university or post-graduate courses.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
The methods of the course are quite simple:
1. Learn how to write a specific kind of task or essay. To save time for writing, students will receive a complete 'how-to' guide to a particular type of task or essay.
2. I will introduce the task/essay package and be a 'facilitator' along the way to completion.
3. Students will then work independently to complete the task or essay.
4. Students pre-write and then write the task or essay and submit
4. Receive feedback from me
Repeat this pattern
Each assignment above will take from two to three weeks.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introduction to the fall semester	Short introduction to the second part of the course. Administrative *Intake of new students *Review classroom and attendance policies Warm-up - Review of Independent Essay
Lesson 2	IELTS Task 1	Print and Portfolio files Receive and discuss IELTS Task 1 guide package Do tasks indicated in the package
Lesson 3	IELTS Task 1	Analyzing graphs Pre-writing Task Assignment explanation
Lesson 4	IELTS Task 1	Complete, print and submit IELTS Task 1 Assignment Get the TOEFL Integrated Task Package and discuss
Lesson 5	TOEFL Integrated Task type writing	Discuss in details the TOEFL Integrated task Listening practice and notetaking practice
Lesson 6	TOEFL Integrated Task	More on this task Pre-writing
Lesson 7	TOEFL Integrated Task	Complete, print and submitTOEFL Integrated task assignment task Get the 'Compare / Contrast Essay' writing package and discuss
Lesson 8	Compare and Contrast Type Essay	More discussion on this type of essay Work on pre-write and essay
Lesson 9	Compare and Contrast Type Essay	Complete, print and submitthe your compare/contrast type essay Get the problem / solution type essay package and discuss
Lesson 10	Problem / Solution Type Essay	Complete, print, and submit the problem /solution type essay Get the research essay writing package
Lesson 11	Research Type Essay	Check the research essay package in detail Start reading and pre-writing
Lesson 12	Research Type Essay	Work on research essay
Lesson 13	Research Type Essay	Finish, Print and Submit Research Essay
Lesson 14	Wrap-up class	Get assignments and tests back Grade idea Ideas for continuing writing File check Portfolio check

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
1. Vocabulary - (20 minutes per week)
2. Keyboarding (10 - 15 minutes per day)
3. Outlining and summarizing (1 hour per semester)
4. Paragraph including pre-writing, outline, and 2 paragraphs (4-6 hours over the semester)
5. Essay including pre-writing, outline, and final essay (8-10 hours over the semester)
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
There is no textbook for this course.

【参考書】
Students should refer to the spring semester syllabus for information about electronic dictionaries and other references.

【成績評価の方法と基準】
Students will be graded on the following:
1. Print file (5%)
2. Writing portfolio (5%)
3. IELTS Task 1(15%)
4. TOEFL Integrated task (15%)
5. Write a compare, compare / contrast, contrast type essay (15%)

6. Write a problem solution essay(15%)
7. Write a research essay (30%)

【学生の意見等からの気づき】
There are many changes to the course:
1. Faster pace
2. Set course for all students
3. More writing, less skills building
4. Less direct instruction
5. More independent study according to the students own pace
6. Regular meetings with students about assignments
7. Role of teacher = facilitator

【学生が準備すべき機器他】
Computer, pens, pencils, other standard learning equipment, 2 clear files

【その他の重要事項】
New students are welcome to join the fall semester course, but...
Academic Writing (Level 4)is a progressive course and new students in the fall semester should be at the level of students continuing in the course from the spring. Students in the spring semester learned quite a few different skills to prepare for the fall semester. Please read the spring semester syllabus and consider your current vocabulary, outlining / summarizing skills, your keyboarding speed and accuracy, and your current level of writing.
Students who have not read the spring syllabus and understand its contents WILL NOT BE ABLE TO JOIN THIS COURSE.

【Outline and objectives】
This course is a continuation of Academic I in the spring semester. The ideal student will have taken the spring course. The fall course will be almost 100% writing in and out of class. We will learn about various essay types to upgrade what we learned in the spring semester. Planned activities:
1. Write an IELTS Task 1 report
2. Write a TOEFL Integrated task
3. Write a compare, compare / contrast, contrast type essay
4. Write a problem solution essay
5. Write a research essay

LANe200LA

English Academic Writing Ⅰ

2017 年度以降入学者

マーク　バーンズ

開講時期：春学期授業/Spring ｜ 曜日・時限：木 3/Thu.3
単位数：1 単位
法文営国 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
The primary objective of this class is to develop basic paragraph writing skills. The course provides practice in writing, structuring and ordering paragraphs in clear communicative English. Students will compose short 2-paragraph to 5-paragraph papers on a wide range of subjects and purposes.

【到達目標】
This subject aims to equip learners with the basics of written communication in English. It will help learners become familiar with clear paragraph structure. Starting from writing short 2-paragraph papers, students will finally be able to write longer well-structured 5-paragraph pieces.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
In this subject, classes will be conducted in English and will cover each unit of the textbook. Supplementary activities will be provided to increase familiarity with frequently used, but non-specific, academic language. Students will read and critique each others' essays and learn from the strengths of the best papers selected by the class. This will be done anonymously to prevent any embarrassment. Individual feedback will be provided.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Orientation	Overview of the course and warm up	Overview of Academic Writing I subject and explaining rules for assignment submissions and how the best assignments will be selected.
Unit 1a	Writing a paragraph about me	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write expository paragraphs and topic sentences
Unit 1b	Analysis of written assignment 1	Reading and selecting best paper. Focusing on paragraph format
Unit 2a	Writing a paragraph about another students possible career	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write logical conclusions
Unit 2b	Analysis of written assignment 2	Reading and selecting best paper. Focusing on the use of conjunctions
Unit 3a	Writing a paragraph about your partner's future success	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to support topic sentences with facts and examples

Unit 3b	Analysis of written assignment 3	Reading and selecting best paper. Focusing on direct and indirect speech
Unit 4a	Writing a paragraph about an invention	preparation, brainstorming main ideas, how to write definition paragraphs and attention getters
Unit 4b	Analysis of written assignment 4	Reading and selecting best paper. Focusing on avoiding repetition
Unit 5a	Writing a paragraph about an important event in your life	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write cause-and-effect and introductory paragraphs
Unit 5b	Analysis of written assignment 5	Reading and selecting best paper. Focusing on cause-and-effect words
Unit 6a	Writing a paragraph about an exciting destination	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write process paragraphs and make suggestions
Unit 6b	Analysis of written assignment 6	Reading and selecting best paper. Focusing on using modifiers
End-term assign-ment	Final assignment feedback	Final assignment feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to edit, type up and print out a written assignment once every 2 weeks.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Writing from Within 2 (2nd Edition) Curtis Kelly and Arlen Gargagliano Cambridge University Press ISBN 978-0-521-18834-0

【参考書】
A good Japanese-English dictionary

【成績評価の方法と基準】
Assessment will consist of in-class participation (40%), 7 written assignments (60%)

【学生の意見等からの気づき】
Supplementary activities have been added to increase familiarity with frequently used, but non-specific, academic language.

【その他の重要事項】
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【Outline and objectives】
The primary objective of this class is to develop basic paragraph writing skills. The course provides practice in writing, structuring and ordering paragraphs in clear communicative English. Students will compose short 2-paragraph to 5-paragraph papers on a wide range of subjects and purposes.

LANe200LA

English Academic Writing Ⅱ

2017 年度以降入学者

マーク　バーンズ

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
The primary objective of this class is to further develop basic paragraph writing skills. The course provides practice in writing, structuring and ordering paragraphs in clear communicative English. Students will compose short 2-paragraph to 5-paragraph papers on a wide range of subjects and purposes.

【到達目標】
This subject aims to equip learners with the basics of written communication in English. It will help learners become familiar with clear paragraph structure. Starting from writing short 2-paragraph papers, students will finally be able to write longer well-structured 5-paragraph pieces.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
In this subject, classes will be conducted in English and will cover each unit of the textbook. Supplementary activities will be provided to increase familiarity with frequently used, but non-specific, academic language. Students will read and critique each others' essays and learn from the strengths of the best papers selected by the class. This will be done anonymously to prevent any embarrassment. Individual feedback will be provided.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Orientation	Overview of the course and warm up	Overview of Academic Writing II subject and explaining rules for assignment submissions and how the best assignments will be selected.
Unit 7a	Writing a research report about your classmates	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write classification and concluding paragraphs
Unit 7b	Analysis of written assignment 7	Reading and selecting best paper. Focusing on punctuation
Unit 8a	Writing an article about good and bad interview techniques	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write comparison and contrast paragraphs
Unit 8b	Analysis of written assignment 8	Reading and selecting best paper. Focusing on giving advice
Unit 9a	Writing a letter to your future self about your goals	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write persuasive paragraphs

Unit 9b	Analysis of written assignment 9	Reading and selecting best paper. Focusing on parallel construction
Unit 10a	Writing a composition about your own dorm design	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write division paragraphs
Unit 10b	Analysis of written assignment 10	Reading and selecting best paper. Focusing on articles
Unit 11a	Writing a composition about an important person in your life	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to link paragraphs
Unit 11b	Analysis of written assignment 11	Reading and selecting best paper. Focusing on subject-verb agreement
Unit 12a	Writing a newspaper article	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write in objective, persuasive or entertaining styles
Unit 12b	Analysis of written assignment 12	Reading and selecting best paper. Focusing on verb variety
End-term assign-ment	Final assignment	Analysis of end-term assignments

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to edit, type up and print out a written assignment once every 2 weeks.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Writing from Within 2 (2nd Edition) Curtis Kelly and Arlen Gargagliano Cambridge University Press ISBN 978-0-521-18834-0

【参考書】
A good Japanese-English dictionary

【成績評価の方法と基準】
Assessment will consist of in-class participation (40%), 7 written assignments (60%)

【学生の意見等からの気づき】
Supplementary activities have been added to increase familiarity with frequently used, but non-specific, academic language.

【その他の重要事項】
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【Outline and objectives】
The primary objective of this class is to further develop basic paragraph writing skills. The course provides practice in writing, structuring and ordering paragraphs in clear communicative English. Students will compose short 2-paragraph to 5-paragraph papers on a wide range of subjects and purposes.

LANe200LA

English Academic Writing Ⅰ

2017 年度以降入学者

ALAN M NICHOLLS

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course will enable the student to acquire and develop academic writing skills. Among the methods used will be sharing & discussing your own work with class members, in pairs or small groups. This course will emphasize "Academic Writing as a Process."Students will learn the structure of Academic paragraphs, different paragraph styles (Opinion, comparison, description) and appropriate formatting techniques and correct use of punctuation.

【到達目標】
The student will be able to prepare a paragraph with the basic structure of: Topic sentence (with Main Idea), supporting ideas and detail sentences.
Students will be able to communicate his/her thoughts, in written format, to an Academic audience. The course will cover: paragraph development, grammar structures for different paragraph styles and paragraph organization.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Students will work in pairs or groups to develop paragraphs. In-class worksheets and homework assignments will check the students understanding of the different paragraph styles. Videos of Academic presentations will be used to compare the similarities between written and oral presentations.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1.	Introduction	Introductions Course overview Assessment Classroom Management
2.	Process Writing	Six Steps of Academic Writing. Using outlines
3.	Getting ready	Choosing a Topic Brainstorming Editing
4.	Paragraph structure	Topic Sentence Supporting sentences Concluding sentence
5.	Paragraph Development	Styles of support Detail, Explanation, Example
6.	Peer editing	Give constructive feedback using on-line sharing
7.	Descriptive Writing	Using Adjectives:describing people and places
8.	Descriptive Paragraphs	Describing a process using connectors
9.	Organising ideas	Keeping ideas connected and in order

10.	Opinion Paragraphs	Introduce opinion v.s. fact, opinion paragraphs discussion, homework
11.	Opinion Paragraphs	Persuade your readers to accept your opinion
12.	Modal Auxiliary Verbs	Grammar Review
13.	Using CausalAdverbs	Describing cause and effect ideas
14.	Presentation	Present your paragraphs to your peers

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
3 Homework assignments writing different styles of paragraph. Pre-reading of articles.
All assignments written in digital format and submitted via Google Classroom.
To assist in providing feedback, Google Docs format is preferred.

【テキスト（教科書）】
"Writing Essays: From Paragraph to Essay" by Dorothy E Zemach and Lisa A Ghulldu MACMILLAN Writing Series.

【参考書】
To be advised

【成績評価の方法と基準】
Homework Assignments:30%
Worksheet Assignments: 30%
Participation: 20%
Presentation:20%
In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】
None

【学生が準備すべき機器他】
A portable electronic device with a Word Processing capability. Access to a Cloud computing service will be useful.

【その他の重要事項】
We will use Google “Classroom” to send, submit and record all assignments. Students will be required to join the subject using “Classroom” and will be required to change their profile on their Hosei Gmail accounts to show their "Class Number". Please download Google Classroom to your device before our first class. The "Course Code is: ge43l4o

【Outline and objectives】
This course will enable the student to acquire and develop academic writing skills. Among the methods used will be sharing & discussing your own work with class members, in pairs or small groups. This course will emphasize "Academic Writing as a Process."Students will learn the structure of Academic paragraphs, different paragraph styles (Opinion, comparison, description) and appropriate formatting techniques and correct use of punctuation.

LANe200LA

English Academic Writing Ⅱ

2017 年度以降入学者

ALAN M NICHOLLS

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course will enable the student to acquire and develop academic writing skills. This course will emphasize "writing as a process.
Students will learn the structure of academic ESSAYS using different paragraph styles and appropriate formatting techniques. Students will learn cohesion and unity in an essay and the use of essay outlines. Finally, students will prepare and present an academic style Essay.

【到達目標】
This course will enable the student to acquire and develop academic writing skills for interview situations and written English tests (IELTS / TOFEL) where tests have a limited time to prepare an essay. A final document will be a document suitable for submission as an academic essay.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Among the methods used will be sharing & discussing one’s work with class members in pair work and small groups. Students will also practice using peer editing with online documents. In a final presentation, the student will demonstrate their understanding of the features of an academic essay.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1.	Introduction	Introduction Course Overview Assessment Classroom Management
2.	Comparing Paragraphs	Structures to compare similar ideas
3.	Contrasting Paragraphs	Structures to contrast dissimilar ideas
4.	Block Organization vs Point-by Point Organization	Different ways to present similar / contrasting ideas
5.	Advantages / Disadvantages	Making arguments for and against proposals
6.	Conditional Statements	Using conditional statements to support an argument.
7.	Problem / Solution Paragraphs	Linking problems with solutions
8.	Writing Essays	Thesis statements
9.	Writing Essays	Writing thesis statements
10.	Outlining Essays	Using modern software to create an essay outline.
11.	Outline development	Filling in the details

12.	Developing the Introduction and conclusion	The introduction to thesis statement. Linking the Conclusion to the thesis
13.	Presentation	Present your Essay to the class
14.	Review	Present your Essay to the class

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
3 or more short Homework assignments will be set. There will also be preparation of a presentation identifying the key components of an academic essay.

【テキスト（教科書）】
"Writing Essays from Paragraph to Essay" by D.E. Zemach and Lisa A Ghulldu, MACMILLIAN Writing Series.

【参考書】
To be advised

【成績評価の方法と基準】
Homework assignments: 30%
Classroom Worksheets: 30%
Group Participation:20%
Presentation:20%
In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】
None

【学生が準備すべき機器他】
A device (Laptop or Tablet) that supports word processor software. Smartphones are OK but are more difficult for students to use. Students will be required to know their Hosei Gmail account details. Students may use voice recognition software. Google Docs is the preferred format for submitting assignments.

【その他の重要事項】
We will use Google “Classroom” to send, submit and record all assignments. Students will be required to join the subject using “Classroom” and will be required to change their profile on Gmail with their "Class Number". Please download "Google Classroom" to your laptop or tablet at the start of semester.

【Outline and objectives】
This course will enable the student to acquire and develop academic writing skills. This course will emphasize "writing as a process.
Students will learn the structure of academic ESSAYS using different paragraph styles and appropriate formatting techniques. Students will learn cohesion and unity in an essay and the use of essay outlines. Finally, students will prepare and present an academic style Essay.

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**マスメディアで読む世界情勢**

田中　邦佳

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 3/Tue.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ニューヨークタイムズ紙の記事の読解をします。授業のテーマの１つ目は、難解な英文になると把握が難しくなる文の主部・述部など英語のセンテンスの文法的構造を理解することです。２つ目のテーマは、パラグラフ全体の内容を日本語にまとめて説明することです。１文ずつの内容の把握だけではなく、より長い単位で記事の内容を把握し、他の人に説明できるようになることが授業の目標となります。

【到達目標】
・一文が長い英文や複雑な構造の英文を読解する
・ある程度まとまった量の英文の内容を人に伝わるような資料を作成し日本語で説明する
・様々な分野で用いられる英語の語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 21 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Introduction	授業の進め方、評価についての説明します。
第 2 回	ドイツ発：みんなで減らそう食品ロス（前半）	記事を講読します。
第 3 回	ドイツ発：みんなで減らそう食品ロス（後半）	記事を講読します。
第 4 回	ソーダに受難の時代到来（前半）	記事を講読します。
第 5 回	ソーダに受難の時代到来（後半）	記事を講読します。
第 6 回	地撮り投稿を考える（前半）	記事を講読します。
第 7 回	地撮り投稿を考える（後半）	記事を講読します。
第 8 回	中間テスト	これまでに講読した記事を振り返るテストです。
第 9 回	デジタルデトックスのヒント（前半）	記事を講読します。
第 10 回	デジタルデトックスのヒント（後半）	記事を講読します。
第 11 回	中国発：一人っ子政策、その後（前半）	記事を講読します。
第 12 回	中国発：一人っ子政策、その後 （後半）	記事を講読します。

第 13 回	まとめ方を考察する	記事の内容をシンプルにまとめる方法を考察する。
第 14 回	期末テストとまとめ	中間テスト以降に講読した記事を振り返るテストとまとめです。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業の前に予習として記事を読んでくる必要があります。わからない単語や表現があれば辞書などで調べることが必要です。また、記事で扱われている内容について馴染みがなければその分野について調べる必要があります。記事の内容について把握し、他の授業参加者と議論できる程度の予習が必要です。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
・ニューヨークタイムズ社会点描 SCARCITY AND EXCESS Technological Troubles and Social Solutions, 喜多留女／ Keith Wesley ADAMS 編注, 英宝社. （¥ 2100 円＋税）

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も
変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
単純な英文の読解からは達成感が得られにくいことがわかりました。英文の意味の把握を課題にするだけでなく、特に重点的に考えるべき項目を明示的に提示しようと考えています。

【Outline and objectives】
In this course, students will improve skills for English reading comprehension and for summarizing paragraphs.

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**マスメディアで読む世界情勢**

田中　邦佳

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 3/Tue.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ニューヨークタイムズ紙の記事の読解をします。授業のテーマの１つ目は、難解な英文になると把握が難しくなる文の主部・述部など英語のセンテンスの文法的構造を理解することです。２つ目のテーマは、パラグラフ全体の内容を日本語にまとめて説明することです。１文ずつの内容の把握だけではなく、より長い単位で記事の内容を把握し、他の人に説明できるようになることが授業の目標となります。また英語の各種試験・検定に向けてのリスニング力の向上を目的に、リスニングのテキストを用いて練習を行います。

【到達目標】
・一文が長い英文や複雑な構造の英文を読解する
・ある程度まとまった量の英文の内容を人に伝わるような資料を作成し日本語で説明する
・様々な分野で用いられる英語の語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
テキストは目安として２〜 3 回の授業で 1 章分というペースで進めることを目標とします。特に難解な文については解説を行いますが、一字一句全て訳していくようなことはしません。適宜、グループワークを行い、参加者が自ら語彙・フレーズ・文法について確認し、パラグラフの要旨のまとめ方、提示された課題について考察します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Introduction	授業の進め方、評価についての説明します。
第 2 回	エアコンの寒さに耐える夏 （前半）	記事を講読します。
第 3 回	エアコンの寒さに耐える夏 （後半）	記事を講読します。
第 4 回	ソーダに受難の時代到来（前半）	記事を講読します。
第 5 回	ソーダに受難の時代到来（後半）	記事を講読します。
第 6 回	節水対策は互いの監視から （前半）	記事を講読します。
第 7 回	節水対策は互いの監視から （後半）	記事を講読します。
第 8 回	中間テスト	これまでに講読した記事を振り返るテストです。
第 9 回	善意で始まるペア型腎臓移植（前半）	記事を講読します。
第 10 回	善意で始まるペア型腎臓移植（後半）	記事を講読します。

第 11 回	中国発：英語？ フランス語？ ブランド名は意味不明（前半）	記事を講読します。
第 12 回	中国発：英語？ フランス語？ ブランド名は意味不明 （後半）	記事を講読します。
第 13 回	まとめ方を考察する	記事の内容をシンプルにまとめる方法を考察する。
第 14 回	期末テストとまとめ	中間テスト以降に講読した記事を振り返るテストとまとめです。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業の前に予習として記事を読んでくる必要があります。わからない単語や表現があれば辞書などで調べることが必要です。また、記事で扱われている内容について馴染みがなければその分野について調べる必要があります。記事の内容について把握し、他の授業参加者と議論できる程度の予習が必要です。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
・ニューヨークタイムズ社会点描 SCARCITY AND EXCESS Technological Troubles and Social Solutions, 喜多留女／ Keith Wesley ADAMS 編注, 英宝社. （¥ 2100 円＋税）
・STRIKE UP THE TOEIC ® TEST LISTENING 解法のコツを学ぶ TOEIC ®テストリスニング演習, 塚田幸光 著, 金星堂. （¥ 1,500）

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
平常点および課題（30%）、中間テストおよび期末テスト (70%）の配分で評価する。
欠席回数が通算 4 回に達した者は原則として単位取得の資格を失う。授業開始のチャイムから 30 分以降の遅刻は欠席と見なす。遅刻の回数が 3 回に達するごとに 1 回の欠席とする。
　未予習で出席した場合、私語など授業に積極的に参加する意志がみられない場合、その日を欠席と同等の扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】
単純な英文の読解からは達成感が得られにくいことがわかりました。英文の意味の把握を課題にするだけでなく、特に重点的に考えるべき項目を明示的に提示しようと考えています。

【Outline and objectives】
In this course, students will improve skills for English reading comprehension and for summarizing paragraphs.

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**社会と文化の諸相を知る**

岩坪　友子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木 3**/Thu.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
＜社会・文化の諸相を学び、英語の 4 技能をのばす＞
世界のさまざまな側面を扱う英語素材を通して、知識や問題意識、クリティカル・シンキング力を養いながら、英語の 4 技能をのばします。話された／書かれた内容を理解し、考察し、要約・説明したり意見を述べる練習を繰り返すことで、自信と興味が増すようにしていきます。

【到達目標】
(1) 英語での発信・受信に使える語彙力がある
(2) 英語で書かれたものについて、内容・趣旨を把握できる
(3) 英語で話されたものについて、内容・趣旨を把握できる
(4) 英語で発信されたものについて、日本語や英語で要約・説明できる
(5) さまざまなトピックについて、多面的・客観的に考察し、自分の見解を日本語や英語で論理的に表現できる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
※学習支援システムでこの授業が開始されるのは、4 月 23 日 (木) です。
※シラバスの変更点については、その際に具体的にお知らせします。
予習を前提として、授業では基本的に教科書に沿って問題・内容確認・解説・練習を行います。教科書の英語は難解ではなく、受信 → 考察 → 発信の流れを目指す構成です。進捗状況に応じて、テーマに関連するビデオクリップや記事その他の副教材を活用します。理解と考察を促すために、適宜日本語や英語で発問します（話され／書かれたもの全体やパラグラフの趣旨、語彙・指示語・構文、話者や筆者の立場、受講生の意見など）。教科書に沿って日本語や英語で要約・説明する練習、論理的に意見を発信する練習を行います。リスニングとスピーキングに役立つ音読練習も行います。授業を通じて身につけた力を、中間・期末試験と、学期末のショート・プレゼンテーションで発揮する流れになります。（下記授業計画は、状況に応じて変更の場合があります。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 (4/9)	イントロダクション。Unit 1 Cross-cultural understanding リスニング・パート。リーディング・パート導入	授業の概要説明。アンケート。リスニング・速読
2 (4/16)	Cross-cultural understanding リーディング・パート詳細理解と考察	精読・要約・ディスカッション

3 (4/23)	Unit 2 Foods リスニング・パート。リーディング・パート導入	リスニング・速読
4 (5/7)	Foods リーディング・パート詳細理解と考察	精読・要約・ディスカッション
5 (5/14)	Unit 3 Foreign language learning リスニング・パート。リーディング・パート導入	リスニング・速読
6 (5/21)	Foreign language learning リーディング・パート詳細理解と考察	精読・要約・ディスカッション
7 (5/28)	中間試験。Unit 4 Sports リスニング・パート。リーディング・パート導入	中間試験。リスニング・速読
8 (6/4)	Sports リーディング・パート詳細理解と考察	精読・要約・ディスカッション
9 (6/11)	Unit 5 Fashion リスニング・パート。リーディング・パート導入	リスニング・速読
10 (6/18)	Fashion リーディング・パート詳細理解と考察	精読・要約・ディスカッション
11 (6/25)	Unit 6 Living things リスニング・パート。リーディング・パート導入	リスニング・速読
12 (7/2)	Living things リーディング・パート詳細理解と考察	精読・要約・ディスカッション
13 (7/9)	期末試験。翌週の準備	期末試験。プレゼンテーション・リハーサル
14 (7/16)	プレゼンテーション。まとめ	発表・意見交換・講評。学期を振り返る（アンケート）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

①予習： STEP 1 テキストのリスニング・リーディング練習問題を解き、解答の根拠も言えるようにする。STEP 2 会話・文章全体を読み、知識と想像力を総合して趣旨を把握する。未知の単語は文脈から類推し、それから辞書で確認する。STEP 3 文章構成を意識して、各段落・文章全体の要約を日本語と英語で練習する。STEP 4 ダウンロード音声を聴き、音読練習する。（関連教材についてもほぼ同様。）
②復習： STEP 5 内容を確認しながらテキストを再読する。STEP 6 ダウンロード音声を（テキストを見ながら／見ないで）聴く、リピート／シャドーイングする。STEP 7 テキストで使われている表現・文や要約を自分で言って／書いてみる。STEP 8 題材に対する自分の意見を言って／書いてみる。STEP 9 出版物やウェブ上で情報収集、知識・視野を広げる。（関連教材についてもほぼ同様。）
③ プレゼン準備： STEP 10 授業内容を参考にして少しずつ学期末のプレゼンテーションの準備をする。
※上達の度合いは、英語に触れた時間と相関関係があると考えられるため、①②③および英語で情報収集・好きなコンテンツを楽しむ・書く・話すなどを繰り返すほど、英語力の伸びが期待されます。

【テキスト（教科書）】
VELC 研究会教材開発グループ、望月正道、静哲人、熊澤孝昭　編著、*AMBITIONS Intermediate*（４技能統合型で学ぶ英語コース：中級編）金星堂、2,000 円（税別）（※関連教材は、随時配布・指示します。）

【参考書】
英語マスメディアのウェブサイト例： BBC Learning English (http://www.bbc.co.uk/learningenglish/), VOA Learning English (https://learningenglish.voanews.com/), CNN 10 (http://edition.cnn.com/cnn10), TED: Ideas Worth Spreading (https://www.ted.com), NPR (https://www.npr.org/), ABC News video (http://abcnews.go.com/video), 攻略！ABC ニュース英語 (www6.nhk.or.jp), CBS 60 Minutes (https://www.cbsnews.com/60minutes/), The *New York Times* (http://www.nytimes.com/), The *Guardian* (http://www.theguardian.com/uk). 参考書：『CNN ® ENGLISH EXPRESS』、『CNN ニュース・リスニング　2019［春夏］』（朝日出版社）、『「英語モード」でライティング』（講談社）、『コンピューター対応 TOEFL ® テストライティング完全制覇』、『英語で書く力。』、『英語で話す力。』（三修社）、『英語ライティングルールブック』、『映画英語のリスニング』(DHC)、『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 1-6』、『公式 TOEIC Listening & Reading トレーニング リスニング編』、『同リーディング編』、『TOEIC Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック』、『TOEIC ® テスト公式問題で学ぶボキャブラリー』、『TOEIC ® Speaking & Writing 公式テストの解説と練習問題』（一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会）ほか。国際文化学部 HP→ 関連リンク「英語リスニング・ハンドブック」、図書館、AV ライブラリー（BT3 階）など活用して自分のレベルやスタイルに合ったものを探しましょう。

【成績評価の方法と基準】
※オンラインでの開講になったことに伴う変更点について、授業開始日に学習支援システムで提示します。
平常点（予習・授業への取り組み）40%、試験 40%（中間・期末各 20%）、プレゼンテーション 20%の割合で、上記到達目標 (1)〜(5) に照らして評価します。原則として欠席が 4 回以上になると単位取得の資格を失います。次のような姿勢で取り組んでください： STEP ①予習して目標を持って出席／ STEP ②授業では理解を深め積極的に参加・練習／ STEP ③復習と自習で定着・苦手克服／ STEP ④試験・プレゼンテーションで成果を発揮

【学生の意見等からの気づき】
前年度該当科目なし

【その他の重要事項】
授業で使えるように辞書を持参してください。

【Outline and objectives】
The aim of the course is to help students improve their confidence and skills in English communication. Students will practice listening to, speaking, reading and writing about various aspects of cultures and societies today, while building vocabulary, learning about the topics and developing their critical thinking skills. Students will give a short oral presentation, integrating skills and knowledge acquired during the course.

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**社会と文化の諸相を知る**

岩坪　友子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
＜社会・文化の諸相を学び、英語の４技能をのばす＞
世界のさまざまな側面を扱う英語素材を通して、知識や問題意識、クリティカル・シンキング力を養いながら、英語の４技能をのばします。話された／書かれた内容を理解し、考察し、要約・説明したり意見を述べる練習を繰り返すことで、自信と興味が増すようにしていきます。

【到達目標】
(1) 英語での発信・受信に使える語彙力がある
(2) 英語で書かれたものについて、内容・趣旨を把握できる
(3) 英語で話されたものについて、内容・趣旨を把握できる
(4) 英語で発信されたものについて、日本語や英語で要約・説明できる
(5) さまざまなトピックについて、多面的・客観的に考察し、自分の見解を日本語や英語で論理的に表現できる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
予習を前提として、授業では基本的に教科書に沿って問題・内容確認・解説・練習を行います。教科書の英語は難解ではなく、受信 → 考察 → 発信の流れを目指す構成です。進捗状況に応じて、テーマに関連するビデオクリップや記事その他の副教材を活用します。理解と考察を促すために、適宜日本語や英語で発問します（話され／書かれたもの全体やパラグラフの趣旨、語彙・指示語・構文、話者や筆者の立場、受講生の意見など）。教科書に沿って日本語や英語で要約・説明する練習、論理的に意見を発信する練習を行います。リスニングとスピーキングに役立つ音読練習も行います。授業を通じて身につけた力を、中間・期末試験と、学期末のショート・プレゼンテーションで発揮する流れになります。（下記授業計画は、状況に応じて変更の場合があります。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 (9/24)	Unit 7 Art リスニング・パート。リーディング・パート導入	リスニング・速読
2 (10/1)	Art リーディング・パート詳細理解と考察	精読・要約・ディスカッション
3 (10/8)	Unit 8 Global issues リスニング・パート。リーディング・パート導入	リスニング・速読
4 (10/15)	Global issues リーディング・パート詳細理解と考察	精読・要約・ディスカッション
5 (10/22)	Unit 9 Japanese culture リスニング・パート。リーディング・パート導入	リスニング・速読
6 (10/29)	Japanese culture リーディング・パート詳細理解と考察	精読・要約・ディスカッション
7 (11/12)	中間試験。Unit 10 Human rights リスニング・パート。リーディング・パート導入	中間試験。リスニング・速読
8 (11/19)	Human rights リーディング・パート詳細理解と考察	精読・要約・ディスカッション
9 (11/26)	Unit 11 Health & medical issues リスニング・パート。リーディング・パート導入	リスニング・速読
10 (12/3)	Health & medical issues　リーディング・パート詳細理解と考察	精読・要約・ディスカッション
11 (12/10)	Unit 12 Environmental issues リスニング・パート。リーディング・パート導入	リスニング・速読
12 (12/17)	Environmental issues リーディング・パート詳細理解と考察	精読・要約・ディスカッション
13 (12/24)	期末試験。翌週の準備	期末試験。プレゼンテーション・リハーサル
14 (1/14)	プレゼンテーション。まとめ	発表・意見交換・講評。学期を振り返る（アンケート）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

①予習： STEP 1 テキストのリスニング・リーディング練習問題を解き、解答の根拠も言えるようにする。STEP 2 会話・文章全体を読み、知識と想像力を総合して趣旨を把握する。未知の単語は文脈から類推し、それから辞書で確認する。STEP 3 文章構成を意識して、各段落・文章全体の要約を日本語と英語で練習する。STEP 4 ダウンロード音声を聴き、音読練習する。（関連教材についてもほぼ同様。）
②復習： STEP 5 内容を確認しながらテキストを再読する。STEP 6 ダウンロード音声を（テキストを見ながら／見ないで）聴く、リピート／シャドーイングする。STEP 7 テキストで使われている表現・文や要約を自分で言って／書いてみる。STEP 8 題材に対する自分の意見を言って／書いてみる。STEP 9 出版物やウェブ上で情報収集、知識・視野を広げる。（関連教材についてもほぼ同様。）
③ プレゼン準備： STEP 10　授業内容を参考にして少しずつ学期末のプレゼンテーションの準備をする。
※上達の度合いは、英語に触れた時間と相関関係があると考えられるため、①②③および英語で情報収集・好きなコンテンツを楽しむ・書く・話すなどを繰り返すほど、英語力の伸びが期待されます。

【テキスト（教科書）】
VELC 研究会教材開発グループ、望月正道、静哲人、熊澤孝昭　編著、*AMBITIONS Intermediate*（４技能統合型で学ぶ英語コース：中級編）金星堂、2,000 円（税別）（※関連教材は、随時配布・指示します。）

【参考書】
英語マスメディアのウェブサイト例： BBC Learning English (http://www.bbc.co.uk/learningenglish/), VOA Learning English (https://learningenglish.voanews.com/), CNN 10 (http://edition.cnn.com/cnn10), TED: Ideas Worth Spreading (https://www.ted.com), NPR (https://www.npr.org/), ABC News video (http://abcnews.go.com/video), 攻略！ABC ニュース英語 (www6.nhk.or.jp), CBS 60 Minutes (https://www.cbsnews.com/60minutes/), The *New York Times* (http://www.nytimes.com/), The *Guardian* (http://www.theguardian.com/uk). 参考書：『CNN ® ENGLISH EXPRESS』、『CNN ニュース・リスニング　2019［春夏］』（朝日出版社）、『「英語モード」でライティング』（講談社）、『コンピューター対応 TOEFL ® テストライティング完全制覇』、『英語で書く力。』、『英語で話す力。』（三修社）、『英語ライティングルールブック』、『映画英語のリスニング』(DHC)、『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 1-6』、『公式 TOEIC Listening & Reading トレーニング リスニング編』、『同リーディング編』、『TOEIC Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック』、『TOEIC ® テスト公式問題で学ぶボキャブラリー』、『TOEIC ® Speaking & Writing 公式テストの解説と練習問題』（一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会）ほか。国際文化学部 HP→ 関連リンク「英語リスニング・ハンドブック」、図書館、AV ライブラリー（BT3 階）など活用して自分のレベルやスタイルに合ったものを探しましょう。

【成績評価の方法と基準】
平常点（予習・授業への取り組み）40%、試験 40%（中間・期末各 20%）、プレゼンテーション 20%の割合で、上記到達目標 (1)〜(5) に照らして評価します。原則として欠席が 4 回以上になると単位取得の資格を失います。次のような姿勢で取り組んでください： STEP ①予習して目標を持って出席／ STEP ②授業では理解を深め積極的に参加・練習／ STEP ③復習と自習で定着・苦手克服／ STEP ④試験・プレゼンテーションで成果を発揮

【学生の意見等からの気づき】
前年度該当科目なし

【その他の重要事項】
授業で使えるように辞書を持参してください。

【Outline and objectives】
The aim of the course is to help students improve their confidence and skills in English communication. Students will practice listening to, speaking, reading and writing about various aspects of cultures and societies today, while building vocabulary, learning about the topics and developing their critical thinking skills. Students will give a short oral presentation, integrating skills and knowledge acquired during the course.

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**社会と文化の諸相を知る**

永井　大輔

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水 4**/Wed.4
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
海外の出来事が国内の政治やビジネス、日常生活に影響することもあれば、国内の出来事が海外に影響を及ぼすこともあるなかで、成功するため（あるいは失敗しないため）には、皆さんは国内外のニュースに常日頃から注意を向けなければなりません。
重要なニュースがすべて日本語になっているわけではないため、皆さんは世界各国のメディアが配信している英語のニュースから情報を得ることが必要になるでしょう。
この授業で皆さんは、みずからの今後を左右する情報の世界への鍵を手に入れるため、ニュースメディアの英語に触れて熟達することを目指します。

【到達目標】
・ニュースメディア独特の英語の使い方があることを知り、それに文体・語彙・熟語の面で対応できるようにする
・文法の知識をフル活用し、文章の内容・情報を正確に読み取れるようにする
・発音に対してこれまで以上に意識をし、音声でのニュースメディアの英語にも対応できるよう準備する
・未知の、あるいはやや複雑な時事問題について自主的に調べる習慣をつけ、見識を広める（最重要）

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
国内外の有名な新聞の記事で構成された教科書を使用します。ニュースの内容は社会・文化・政治経済から環境・娯楽・スポーツまで多岐にわたります。
授業中は、朗読の発音に気をつけつつ、アトランダムに指名しながら記事の内容を確認していきます。予習を怠って指名されてから初めて文章に目を通すような行為は、授業を共にしているクラス全体に迷惑がかかりますので、絶対にやめて下さい。
語彙やフレーズ、内容の把握具合、そして音声でのニュース理解を確認する小テストも実施する予定です。
当然のことですが、聞かなくてもよい授業は一回もありません。各文の読解のポイントは聞き逃さず、メモをとりましょう。毎回の出席が原則です。欠席や遅刻の回数には限度を設けます。たとえ限度内であったとしても、欠席した分の遅れを皆さん自身が取り戻す努力をしなければなりません。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	このシラバスに書かれた内容の説明だけでなく、学期中・授業中の注意点や、次回以降の授業に必要な課題についても言及しますので、必ず出席して下さい。出席数にもカウントされます。 秋学期のみの受講を希望する者も、この回で人数確認（あるいは選抜）を行ないますので、必ず出席して下さい。
2	Unit 2 (1)	英語はもはや英米人だけのものではない Brits and Americans no longer own English
3	Unit 2 (2)	（前回の続き） World English and World Englishes
4	Unit 3 (1)	なぜ第 5 世代携帯電話は安全ではないのか? Why isn't 5G secure?
5	Unit 3 (2)	（前回の続き） What Is 5G and How Will It Make My Life Better
6	Unit 4 (1)	アフリカにおける中国の優位性は貸付金のおかげ China's edge in Africa: Loans
7	Unit 4 (2)	（前回の続き） Can China dispel criticism of BRI as form of 'debt trap diplomacy'?
8	Unit 6 (1)	花崇拝を止めてコーランに Flower worship gives way to the Quran
9	Unit 6 (2)	（前回の続き） How religion dominates Indonesia's politics
10	Unit 7 (1)	ベネズエラから徒歩で脱出 Fleeing Venezuela, on foot
11	Unit 7 (2)	（前回の続き） The economic crisis in Venezuela
12	Unit 8 (1)	国境での米国の恥 Our Disgrace At the Border
13	Unit 8 (2)	（前回の続き） Border desperation grows. So do smugglers' fees.
14	筆記試験（期末）	単位取得資格がある人は必ず受けて下さい。授業内試験なので、通常の授業と同じ時間・同じ教室で実施します。試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学の習熟において大きな違いを生み出すのは、皆さんがそれぞれ授業外で行う学習です。この授業を履修した後、実際に役立つ英語運用能力が育つかどうかは、授業の進め方ではなく皆さんの意識と習慣にかかっているのです。

この授業では読解が中心になりますから、予習には、教科書の記事の内容を正確に理解することに一番の時間を割いて下さい (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間以上を標準とします)。

具体的には、

・初めて見る単語・フレーズだけでなく、自分の知っている日本語の意味をあててみても何かしっくりとこない、と感じたら、どんな基本的な言葉であれ、面倒くさがらずにこまめに辞書を引かなければいけません。

・代名詞が出てきた際に、文中の何（もしくは誰）を指しているのか、自分で本当に分かっているのかどうか確認しなければいけません。

・段落全体で見た場合に、その中の文の内容が他の文の内容と矛盾していないか、意味不明な支離滅裂な文章になっていないか確認しなければいけません。もしそうなっていたら、どこかで読み間違えているはずです。

・もし自分に馴染みのないテーマ（人物、国や地域、スポーツの種目など）を扱った記事を読む際には、知っていそうな人に訊いたり、インターネットで検索したりして、納得のいくまで自分で積極的に調べなければいけません。教科書にはある程度の注釈がついていますが、実物の英文記事にはついていません。今のうちから、実際に使われている英語と付き合っていくのに必要な意識と習慣を身につけます。

【テキスト（教科書）】

高橋優身（他）、『15 Selected Units of English through the News Media –– 2020 Edition –– （15 章版：ニュースメディアの英語 –– 演習と解説 2020 年度版–– ）』、朝日出版社、2020 年、1200 円（税別）

辞書（英和もしくは英英）の持参が必須です。授業中に使用可能なのは紙媒体もしくは専用装置型の辞書のみです（アプリ、WEB 辞書は不可）。

【参考書】

（皆さんの習熟度に配慮した教科書の英語ではなく）実生活や仕事で英語の文章を読むには、それ相応の項目数をもった辞書、いわゆる実用辞典が必要です。

大学卒業後も使い物になる辞書が欲しいのであれば、最も勧められるのは『リーダーズ英和辞典』（研究社）です。値段は安くありませんが、数少ない実用英和辞典の一つです。（電子辞書にせよ紙媒体にせよ）英和辞典を新しく購入する予定の人は、参考にして下さい。アプリもあります。

【成績評価の方法と基準】

筆記試験の結果と平常点で総合的に評価します。

前者が 70 %、後者が 30 %を占めます。

筆記試験では、授業で扱った全ての内容の中から、「授業の到達目標」で掲げた項目についてチェックします。

読解や語彙、知識についてそれぞれ出題しますので、予習・復習・授業中のメモを欠かさず行いましょう。

また、Summary と記事を音声化したファイルを各自ダウンロードして、リスニングに備えて下さい。

平常点には小テストの点数や課題も含まれます。絶対に安易な気持ちで欠席や遅刻をしないで下さい。

欠席および遅刻について

学期中に 4 回欠席した受講生は単位取得資格を失ないます。遅刻は累積 3 回で欠席 1 回と同等の扱いとします。その他授業に対する貢献が著しく低いと教員が判断し、授業中にペナルティ（初回授業時に説明）を受けた場合は、遅刻と同等の扱いとし、遅刻と同じ累積勘定に加えられます。30 分以上の遅刻は、出席簿上欠席扱いとします。欠席・遅刻・ペナルティは平常点の減点対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

テーマごとの背景事情の説明にもっと時間を割きます。

【その他の重要事項】

初回授業（イントロダクション）には春学期の受講希望者の人数確認を（場合によっては選抜も）行ないますので、必ず出席して下さい。

秋学期のみの受講を希望する学生も、初回授業（イントロダクション）に出席して説明を受けること。希望者の人数を確認して、場合によっては選抜を行ないます。

秋学期のみ受講する学生は、春学期のうちに教科書を購入しておいて下さい。

【Outline and objectives】

As events in other countries can have a significant impact on our domestic politics, business, or daily lives (and vice versa), we all have to pay attention to both worldwide and domestic news media every day.

Since not all news items are translated to Japanese, students will be required to obtain information from English news media around the world.

In this course, students will learn how to read and listen to English for mass communication.

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**社会と文化の諸相を知る**

永井　大輔

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
海外の出来事が国内の政治やビジネス、日常生活に影響することもあれば、国内の出来事が海外に影響を及ぼすこともあるなかで、成功するため（あるいは失敗しないため）には、皆さんは国内外のニュースに常日頃から注意を向けなければなりません。
重要なニュースがすべて日本語になっているわけではないため、皆さんは世界各国のメディアが配信している英語のニュースから情報を得ることが必要になるでしょう。
この授業で皆さんは、みずからの今後を左右する情報の世界への鍵を手に入れるため、ニュースメディアの英語に触れて熟達することを目指します。

【到達目標】
・ニュースメディア独特の英語の使い方があることを知り、それに文体・語彙・熟語の面で対応できるようにする
・文法の知識をフル活用し、文章の内容・情報を正確に読み取れるようにする
・発音に対してこれまで以上に意識をし、音声でのニュースメディアの英語にも対応できるよう準備する
・未知の、あるいはやや複雑な時事問題について自主的に調べる習慣をつけ、見識を広める（最重要）

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
国内外の有名な新聞の記事で構成された教科書を使用します。ニュースの内容は社会・文化・政治経済から環境・娯楽・スポーツまで多岐にわたります。
授業中は、朗読の発音に気をつけつつ、アトランダムに指名しながら記事の内容を確認していきます。予習を怠って指名されてから初めて文章に目を通すような行為は、授業を共にしているクラス全体に迷惑がかかりますので、絶対にやめて下さい。
語彙やフレーズ、内容の把握具合、そして音声でのニュース理解を確認する小テストも実施する予定です。
当然のことですが、聞かなくてもよい授業は一回もありません。各文の読解のポイントは聞き逃さず、メモをとりましょう。毎回の出席が原則です。欠席や遅刻の回数には限度を設けます。たとえ限度内であったとしても、欠席した分の遅れを皆さん自身が取り戻す努力をしなければなりません。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	秋学期の受講者に対する諸事項の確認 春学期の筆記試験（期末）にかんする総評 出・欠席にカウントされます。必ず出席して下さい。
2	Unit 9 (1)	大統領にユダヤ人が選ばれ、心穏やかでないウクライナのユダヤ人 Some Ukraine Jews Are Unhappy a Jew Was Elected President
3	Unit 9 (2)	（前回の続き） Politics in the nations of the former Soviet Union
4	Unit 10 (1)	イラン革命 40 周年でイデオロギーによる日常生活の支配が緩む Revolution at 40: Iranians Loosen Ideology's Grip on Daily Life
5	Unit 10 (2)	（前回の続き） In Iran's Crisis, the Middle Class Buckles in a Blink
6	Unit 11 (1)	ケニアでは足が速いと身を滅ぼす In Kenya, running can be a road to ruin
7	Unit 11 (2)	（前回の続き） Kenyan runners' career after retirement
8	Unit 12 (1)	高層アパート崩壊でロシアの背骨にひずみが判明 Strain on Russia's backbone
9	Unit 12 (2)	（前回の続き） Russia is clamping down on rap
10	Unit 13 (1)	フランス人 中国人によるぶどう園の名称変更に恐怖で縮み上がる French cringe as Chinese rename vineyards
11	Unit 13 (2)	（前回の続き） An Italian Luxury Brand Is Drawing Fire in China
12	Unit 15 (1)	ドイツ 高速道路で速度制限か? Speed limit on the autobahn!
13	Unit 15 (2)	（前回の続き） Germany's irrational debate on driving
14	筆記試験（期末）	単位取得資格がある人は必ず受けて下さい。授業内試験なので、通常の授業と同じ時間・同じ教室で実施します。試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
語学の習熟において大きな違いを生み出すのは、皆さんがそれぞれ授業外で行う学習です。この授業を履修した後、実際に役立つ英語運用能力が育つかどうかは、授業の進め方ではなく皆さんの意識と習慣にかかっているのです。
この授業では読解が中心になりますから、予習には、教科書の記事の内容を正確に理解することに一番の時間を割いて下さい (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間以上を標準とします)。
具体的には、
・初めて見る単語・フレーズだけでなく、自分の知っている日本語の意味をあててみても何かしっくりとこない、と感じたら、どんな基本的な言葉であれ、面倒くさがらずにこまめに辞書を引かなければいけません。
・代名詞が出てきた際に、文中の何（もしくは誰）を指しているのか、自分で本当に分かっているのかどうか確認しなければいけません。
・段落全体で見た場合に、その中の文の内容が他の文の内容と矛盾していないか、意味不明な支離滅裂な文章になっていないか確認しなければいけません。もしそうなっていたら、どこかで読み間違えているはずです。
・もし自分に馴染みのないテーマ（人物、国や地域、スポーツの種目など）を扱った記事を読む際には、知っていそうな人に訊いたり、インターネットで検索したりして、納得のいくまで自分で積極的に調べなければいけません。教科書にはある程度の注釈がついていますが、実物の英文記事にはついていません。今のうちから、実際に使われている英語と付き合っていくのに必要な意識と習慣を身につけます。

【テキスト（教科書）】
高橋優身（他）、『15 Selected Units of English through the News Media –– 2020 Edition –– （15 章版：ニュースメディアの英語 –– 演習と解説 2020 年度版–– ）』、朝日出版社、2020 年、1200 円（税別）
辞書（英和もしくは英英）の持参が必須です。授業中に使用可能なのは紙媒体もしくは専用装置型の辞書のみです（アプリ、WEB 辞書は不可）。

【参考書】
（学習者の習熟度に配慮した教科書の英語ではなく）実生活や仕事で英語の文章を読むには、それ相応の項目数をもった辞書、いわゆる実用辞典が必要です。
大学卒業後も使い物になる辞書が欲しいのであれば、最も勧められるのは『リーダーズ英和辞典』（研究社）です。値段は安くありませんが、数少ない実用英和辞典の一つです。（電子辞書にせよ紙媒体にせよ）英和辞典を新しく購入する予定の人は、参考にして下さい。アプリもあります。

【成績評価の方法と基準】
筆記試験の結果と平常点で総合的に評価します。
前者が 70 %、後者が 30 %を占めます。
筆記試験では、授業で扱った全ての内容の中から、「授業の到達目標」で掲げた項目についてチェックします。
読解や語彙、知識についてそれぞれ出題しますので、予習・復習・授業中のメモを欠かさず行いましょう。
また、Summary と記事を音声化したファイルを各自ダウンロードして、リスニングに備えて下さい。
平常点には小テストの点数や課題も含まれます。絶対に安易な気持ちで欠席や遅刻をしないで下さい。
欠席および遅刻について
学期中に 4 回欠席した受講生は単位取得資格を失ないます。遅刻は累積 3 回で欠席 1 回と同等の扱いとします。その他授業に対する貢献が著しく低いと教員が判断し、授業中にペナルティ（初回授業時に説明）を受けた場合は、遅刻と同等の扱いとし、遅刻と同じ累積勘定に加えられます。30 分以上の遅刻は、出席簿上欠席扱いとします。欠席・遅刻・ペナルティは平常点の減点対象となります。

【学生の意見等からの気づき】
テーマごとの背景事情の説明にもっと時間を割きます。

【Outline and objectives】
As events in other countries can have a significant impact on our domestic politics, business, or daily lives (and vice versa), we all have to pay attention to both worldwide and domestic news media every day.
Since not all news items are translated to Japanese, students will be required to obtain information from English news media around the world.
In this course, students will learn how to read and listen to English for mass communication.

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**マスメディアで読む世界情勢**

余田　剛

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
英米の新聞、雑誌、テレビのニュースなどのメディアの英語に触れながら、英語の語学の学習をすることをテーマとする。法学部国際政治学科生への推奨科目であるため、政治問題を中心的に扱うが、趣旨に賛同できる場合は他学部・他学科の学生も歓迎する。

【到達目標】
この授業では、政治情勢をはじめとし、その他、世界各国における現代社会の様々な問題についての基礎知識を獲得し、より多くの一般的な語彙・語法とさらに高校レベルまでではなかなか出てこないような英語圏でよく使われる口語などの表現方法を覚え、使っているようで意外と有効に使えていない辞書の引き方やその他資料の集め方に関する基本的技能を身につけ、ニュースの概要をつかめる程の基本的なリスニング力を獲得し、そして今後につなげることを考えると最も大事な点であるが、辞書やその他必要な情報源を粘り強くそして適切に参照しながら、文字と音声によるより複雑な情報も自力で丁寧に理解しようとする、あらゆる分野の専門的研究を行う際に重要であると思われる態度を身につけることができることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業開始日は 4 月 24 日（金）です。2 限 10 ： 40 までに説明文を Hoppii に掲示します。
BBC, Newsweek, The Times を扱う予定であるが、最新の記事をその都度選ぶため、授業計画に記した、メディアの種類、順番、記事の内容については変わる可能性がある。精読を重視するため進み方は遅い。毎回指定した箇所の英文を辞書を使って丁寧に読んでもらい、その箇所を対象とした課題を提出してもらう。また、ニュースなどのウェブサイトを使ったリスニングの演習を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明（選抜を行う場合もある。選抜を行う場合は選択必修科目として履修する国際政治学科生を優先します。） 課題①：自己紹介等
2	記事 1 の講読	課題②： Newsweek のアジアあるいは中東に関する記事の序論部講読
3	記事 1 の講読	課題③： Newsweek のアジアあるいは中東に関する記事の本論前半部講読
4	記事 1 の講読	課題④： Newsweek のアジアあるいは中東に関する記事の本論後半部講読

5	記事１の講読＋リスニング演習	課題⑤： Newsweek のアジアあるいは中東に関する記事の結論部講読＋ 課題⑥： CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習
6	記事 2 の講読	課題⑦： BBC のアメリカに関する記事の序論部講読
7	記事 2 の講読	課題⑧： BBC のアメリカに関する記事の本論部講読
8	記事 2 の講読	課題⑨： BBC のアメリカに関する記事の結論部講読
9	記事 3 の講読＋リスニング演習	課題⑩： The Times のイギリスに関する記事の序論部講読＋ 課題⑪： CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習
10	記事 3 の講読	課題⑫： The Times のイギリスに関する記事の本論部講読
11	記事 3 の講読	課題⑬： The Times のイギリスに関する記事の結論部講読
12	試験 or レポート	課題⑭：授業で扱った内容を範囲とした試験、あるいはレポート
13	なし	なし
14	なし	なし

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。辞書を使って記事をしっかり読んでくること。

【テキスト（教科書）】
記事へのリンク先を示します。

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
授業計画に示した 14 回分の課題から評価する。課題を 4 回以上提出しなかった者は、単位取得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
授業時間外の学習時間において、週 30 分未満の割合が平均に比べ高く、予習のどこがどのように不十分であるかを授業中あてた際一人一人に具体的に指示したり、リスニングが自習できるような教材やインターネットのサイトを紹介することで、自習時間を増やす働きかけを心掛けたいと思います。

【Outline and objectives】
This course teaches English using newspaper articles, magazine stories, and television programs, etc. The main thematic focus is on political issues, because this is a recommended course for the Law Faculty's Department of Global Politics. However, other students who are interested in these issues are also welcomed.

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**マスメディアで読む世界情勢**

余田　剛

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
英米の新聞、雑誌、テレビのニュースなどのメディアの英語に触れながら、英語の語学の学習をすることをテーマとする。法学部国際政治学科生への推奨科目であるため、政治問題を中心的に扱うが、趣旨に賛同できる場合は他学部・他学科の学生も歓迎する。

【到達目標】
この授業では、政治情勢をはじめとし、その他世界各国における現代社会の様々な問題についての基礎知識を獲得し、より多くの一般的な語彙・語法とさらに高校レベルまででではなかなか出てこないような英語圏でよく使われる口語などの表現方法を覚え、使っているようで意外と有効に使えていない辞書の引き方やその他資料の集め方に関する基本的技能を身につけ、ニュースの概要をつかめる程の基本的なリスニング力を獲得し、そして今後につなげることを考えると最も大事な点であるが、辞書やその他必要な情報源を粘り強くそして適切に参照しながら、文字と音声によるより複雑な情報も自力で丁寧に理解しようとする、あらゆる分野の専門的研究を行う際に重要であると思われる態度を身につけることができることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Newsweek, The Guardian, The New York Times を扱う予定であるが、最新の記事をその都度選ぶため、授業計画に記した、メディアの種類、順番、記事の内容については変わる可能性がある。精読を重視するため進み方は遅い。授業では、1 パラグラフ程のまとまりで区切り、担当者に訳読、あるいは、要約をしてもらい、その後、確認が必要な場合は語彙、語法、フレーズなどについてこちらから質問をする。そのため受講者は十分予習をしておく必要がある。また、授業内の一定時間を用いて、ニュースなどの音声教材を使ったリスニングの演習を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明
2	リスニング演習＋記事１の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋Newsweek のアジアあるいは中東に関する記事の序論部講読
3	リスニング演習＋記事１の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋Newsweek のアジアあるいは中東に関する記事の本論前半部講読
4	リスニング演習＋記事１の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋Newsweek のアジアあるいは中東に関する記事の本論後半部講読

5	リスニング演習＋記事１の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋Newsweek のアジアあるいは中東に関する記事の結論部講読
6	リスニング演習＋記事２の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋The Guardian のイギリスに関する記事の序論部講読
7	リスニング演習＋記事２の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋The Guardian のイギリスに関する記事の本論前半部講読
8	リスニング演習＋記事２の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋The Guardian のイギリスに関する記事の本論後半部講読
9	リスニング演習＋記事２の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋The Guardian のイギリスに関する記事の結論部講読
10	リスニング演習＋記事３の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋The New York Times のアメリカに関する記事の序論部講読
11	リスニング演習＋記事３の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋The New York Times のアメリカに関する記事の本論前半部講読
12	リスニング演習＋記事３の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋The New York Times のアメリカに関する記事の本論後半部講読
13	リスニング演習＋記事３の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋The New York Times のアメリカに関する記事の結論部講読
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。辞書を使って記事をしっかり読んでくること。

【テキスト（教科書）】
プリントを配布する。

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
試験の成績（60 %）と平常点（40 %）とから総合的に評価する。欠席が 4 回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は 3 回に達するごとに 1 回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから 30 分以降の遅刻は欠席と見なす。午前中の授業でもあることから、交通機関の遅れに注意し、時間には余裕を持って来ること。

【学生の意見等からの気づき】
授業時間外の学習時間において、週 30 分未満の割合が平均に比べ高く、予習のどこがどのように不十分であるかを授業中あてた際一人一人に具体的に指示したり、リスニングが自習できるような教材やインターネットのサイトを紹介することで、自習時間を増やす働きかけを心掛けたいと思います。

【Outline and objectives】
This course teaches English using newspaper articles, magazine stories, and television programs, etc. The main thematic focus is on political issues, because this is a recommended course for the Law Faculty's Department of Global Politics. However, other students who are interested in these issues are also welcomed.

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**マスメディアで読む世界情勢**

金谷　優子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
The Japan Times, New York Times, The Daily Telegraph などからの英字新聞記事をまとめたテキストを使用し、国内外の幅広い分野に関する記事を読んで視野をひろめつつ英語表現について学習する。英語の語彙力、読解力をつけるとともに、読んだ記事の要点を捉え、更に自己の考えを英語で簡潔に表現できるようになることを目指す。

【到達目標】
・英字新聞を読む上で必要な語彙力、基礎知識を得ること
・英文の構文を意識し、文章の意味を正確に理解すること

・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること

・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること

・英語の音声を聴いて、必要な情報を得ること

・さまざまな新聞記事を英語で理解し、英語で要約できるようにすること
・新聞記事読解を通して視野を広げ、物事に関して自分なりの見解を持つようになること
・読解した記事についての自分の考えを英語で表現すること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
重要語彙、表現、そして記事を読む上での基礎知識を確認してから、英字新聞記事を読解する。音読 CD を聴き、理解の度合いを確認した後、更に内容ついては、選択問題や正誤問題、要約などを通して確認する。4Unit ごとに小テストを行い、理解度を確認する。Unit 終了ごとに要点をまとめたチェックシートを提出する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 週	Introduction	授業の進め方についての説明 自己紹介 目標の確認 チェックシートの活用法説明
第 2 週	Unit 1: Japan's next era to be named Reiwa	重要語彙の確認 読解 要約 記事に関しての考察
第 3 週	Unit 2: Brits and America no longer own English	重要語彙の確認 読解 要約 考察

第 4 週	Unit 3: Why isn't 5G secure?	重要語彙の確認 読解 要約 考察
第 5 週	Review Unit1~3	Review test/ これまで読んだ記事を一つ選んで自分の考えを英語で述べる
第 6 週	Review Unit1~3 関連記事を読む	関連記事を読解し、自己の考えを英語で述べる
第 7 週	Unit 4: China's edge in Africa: Loans	重要語彙の確認 読解 要約 考察
第 8 週	Unit 5: Spine injury iPS trial approved	重要語彙の確認 読解 要約 考察
第 9 週	Unit 6: Flower worship gives way to Quran	重要語彙の確認 読解 要約 考察
第 10 週	Unit 7: Fleeing Venezuela, on foot	重要語彙の確認 読解 要約 考察
第 11 週	Review Unit4~7	Review test/ Unit4~7 で読んだ記事から一つ選んで自分の考えを英語で述べる
第 12 週	Review Unit4~7	Unit7~9 で読んだ記事から一つ選んで自分の考えを述べる
第 13 週	Review Unit1-7 関連記事を読む	関連記事を読解し、自己の考えを英語で述べる
第 14 週	期末試験	前期に取り上げた記事に関する問題を出題し、理解を確認する。内容要約や自由英作文も出題する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
準備学習：学生は、各 Unit で扱うトピックについての予備知識（テキストに記載）を頭にいれた上で本文を予習し、知らなかった語彙、表現、難しい文章などを特定し、checksheet に記入しておく。
復習：読んだ記事についての要約をし、checksheet に記入した事項を習得することができたか、確認する。
宿題：授業で扱ったトピック関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
English through the News Media（『ニュースメディアの英語』）高橋優身他著,
（朝日出版，2020）1,200 円＋税

【参考書】
https://www.japantimes.co.jp/
https://www.nytimes.com/
https://www.telegraph.co.uk/

【成績評価の方法と基準】
授業参加度（授業内での発言および提出物）40 %、Review テスト（2 回）30 %、期末テスト 30 %
4 回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3 回遅刻あるいは早退すると、1 回欠席としてカウントされます。30 分以上の遅刻は欠席とみなされます。
また、この授業は選択科目であるため、履修希望者は初回に必ず出席してください。

【学生の意見等からの気づき】
本年度新規科目につきアンケートを実施していません

【学生が準備すべき機器他】
授業には必ず辞書を持参すること。

【Outline and objectives】
This course is designed to increase the student's ability to develop their overall English Language skills while reading about specific topics of newspapers. Students are expected to improve reading comprehension skills using topical reading materials as well as to broaden their understanding of current issues.
[Overall Objectives]
To help students
・increase vocabulary
・improve their reading/listening comprehension skills
・understand English sentences without translating into Japanese
・identify main ideas
・clarify the structure of a paragraph
・develop global and cross-cultural awareness
・develop creative and critical thinking skills
・effectively express their opinions on current issues

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**マスメディアで読む世界情勢**

金谷　優子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
前期に引き続き、The Japan Times, New York Times, The Daily Telegraph などからの英字新聞記事をまとめたテキストを使用し、国内外の幅広い分野に関する記事を読んで視野をひろめつつ英語表現について学習する。英語の語彙力、読解力をつけるとともに、読んだ記事の要点を捉え、更に自己の考えを英語で簡潔に表現できるようになることを目指す。

【到達目標】
・英字新聞を読む上で必要な語彙力、基礎知識を得ること
・英文の構文を意識し、文章の意味を正確に理解すること

・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること

・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること

・英語の音声を聴いて、必要な情報を得ること

・さまざまな新聞記事を英語で理解し、英語で要約できるようにすること
・新聞記事読解を通して視野を広げ、物事に関して自分なりの見解を持つようになること
・読解した記事についての自分の考えを英語で表現すること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
重要語彙、表現、そして記事を読む上での基礎知識を確認してから、英字新聞記事を読解する。音読 CD を聴き、理解の度合いを確認した後、更に内容ついては、選択問題や正誤問題、要約などを通して確認する。4Unit ごとに小テストを行い、理解度を確認する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 週	Introduction	授業の進め方についての説明 目標の確認
第 2 週	Unit 8: Our disgrace at the Border	重要語彙の確認 読解 要約 記事に関しての考察
第 3 週	Unit 9: Some Ukraine Jews are unhappy a Jew was elected President	重要語彙の確認 読解 要約 考察
第 4 週	Unit 10: Revolution at 40; Iranians Loosen Ideology's Grip on Daily Life	重要語彙の確認 読解 要約 考察
第 5 週	Unit 11: In Keneya, running can be a road to ruin	重要語彙の確認 読解 要約 考察
第 6 週	Review Unit8~11	Review test/ Unit8~11 で読んだ記事から一つ選んで自己の考えを英語で述べる
第 7 週	Review Unit8~11 関連記事を読む	読んだ記事についての自己の考えを英語で述べる
第 8 週	Unit 12:Strain on Russia's Backbone	重要語彙の確認 読解 要約 考察
第 9 週	Unit 13:French cring as Chinese rename vineyards	重要語彙の確認 読解 要約 考察
第 10 週	Unit 14:Peering into light's graveyard; the first image of a Back Hole	重要語彙の確認 読解 要約 考察
第 11 週	Unit 15: Speed limit on the autobahn?Unit	重要語彙の確認 読解 要約 考察
第 12 週	Review Unit12~15	Review test/ Unit12~15 で読んだ記事から一つ選んで自己の考えを英語で述べる
第 13 週	Review Unit12~15	読んだ記事についての自己の考えを英語で述べる
第 14 週	期末試験	前期に取り上げた記事に関する問題を出題し、理解を確認する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
準備学習：学生は、各 Unit で扱うトピックについての予備知識（テキストに記載）を頭にいれた上で本文を予習し、知らなかった語彙、表現、難しい文章などを特定し、checksheet に記入しておく。
復習：読んだ記事についての要約をし、checksheet に記入した事項を習得することができたか、確認する。
宿題：授業で扱ったトピック関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
English through the News Media（『ニュースメディアの英語』）高橋優身他著,
（朝日出版，2020）1,200 円＋税

【参考書】
https://www.japantimes.co.jp/
https://www.nytimes.com/
https://www.telegraph.co.uk/

【成績評価の方法と基準】
授業参加度（授業内での発言および提出物）40 %、Review テスト（2 回）30 %、期末テスト 30 %
4 回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3 回遅刻あるいは早退すると、1 回欠席としてカウントされます。30 分以上の遅刻は欠席とみなされます。
また、この授業は選択科目であるため、履修希望者は初回に必ず出席してください。

【学生の意見等からの気づき】
本年度新規科目につきアンケートを実施していません

【学生が準備すべき機器他】
授業には必ず辞書を持参すること。

【Outline and objectives】
This course is designed to increase the student's ability to develop their overall English Language skills while reading about specific topics of newspapers. Students are expected to improve reading comprehension skills using topical reading materials as well as to broaden their understanding of current issues.
[Overall Objectives]
・to help students increase vocabulary
・to help students improve their reading/listening comprehension skills
・to help students understand English sentences without translating into Japanese
・to help students identify main ideas
・to help students clarify the structure of a paragraph
・to help students develop global and cross-cultural awareness
・to help students develop creative and critical thinking skills
・to help students effectively express their opinions on current issues

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**社会と文化の諸相を知る**

大曲　陽子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
政治学者が書き下ろした essay を題材として、経済不況や災害、環境問題や文化などの多岐にわたるトピックを通して世界情勢への理解を深めることを目的とする。

【到達目標】
タイムリーなトピックを取り上げ、学生は、リスニング、リーディング、ライティング学習を通して、英語資格試験などのためだけでなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人たちとタイト王に渡り合える英語力を身に着けていく。高い英語力だけでなく、発表などを通して、教養を身に着けることも目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それに伴う各回の授業計画変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 5 月 4 日月曜日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Warm-up	学習支援システムに掲示したアンケートに答える。
2	Unit 1 Going viral: How are some people getting so famous online?①	Key Words, Reading
3	Unit 1 Going viral: How are some people getting so famous online?②	Exercises
4	Unit 2 Tourist Traps: How is overtourism reshaping life for locals?①	Key Words, Reading
5	Unit 2 Tourist Traps: How is overtourism reshaping life for locals?②	Exercises
6	Unit 5 Fake news: How does false information pass off as news?①	Key Words, Reading

7	Unit 5 Fake news: How does false information pass off as news?②	Exercises
8	Unit 6 Dead as a Dodo: Why are so many species facing extinction? ①	Key Words, Reading
9	Unit 6 Dead as a Dodo: Why are so many species facing extinction? ②	Exercises
10	Unit 7 It's a Dry Heat: Where is the hottest place on Earth?①	Key Words, Reading
11	Unit 7 It's a Dry Heat: Where is the hottest place on Earth?②	Exercises
12	Unit 10 Man versus Beast: How much of a threat do bears pose to people?①	Key Words, Reading
13	Unit 10 Man versus Beast: How much of a threat do bears pose to people?②	Exercises
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
学生は語彙の予習を必ずすること。
学生は、日常から世の中の動きに関心を持ち、自分の意見を持つようにすること。
本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Getting Ready to Change The World
グローバル時代を生き抜く変革への視点
成美堂　1900 円＋税

【参考書】
辞書必携

【成績評価の方法と基準】
提春学期の少なくとも前半がオンラインの開講となったことに伴い、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
トピックに関連したプリントを配布する。
板書の文字を見やすくする。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。授業では CD を使用する。

【その他の重要事項】
辞書を必ず持ってくる。
欠席は 3 回までとする。
遅刻 3 回で欠席 1 回とする。
遅刻 20 以上は欠席とする。

【Outline and objectives】
The aim of this course is help students acquire an understanding the international situation, an environmental problem, natural disasters, culture
and so on through the text book.

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**社会と文化の諸相を知る**

大曲　陽子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
政治学者が書き下ろした essay を題材として、経済不況や災害、環境問題や文化などの多岐にわたるトピックを通して世界情勢への理解を深めることを目的とする

【到達目標】
タイムリーなトピックを取り上げ、学生はリスニング、リーディング、ライティング学習を通して、英語資格試験などのためだけでなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人たちとタイト王に渡り合える英語力を身に着けていく。高い英語力だけでなく、発表などを通して、教養を身に着けることも目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
ほぼ 2 回の授業で 1 つの Unit を学習する。Unit はあらかじめ選んだものを扱うので、必ず確認すること。前半は速読を中心に大意をつかむためのリーディングスキルを学び、後半の授業では exercise を解きながら精読し、トピックを選んで自分の意見を英文でまとめるところまで行う。グループワークで進めることが多い。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Warm-up	プリント教材
2	Unit 11 A Perfect World: How close are we to achieving world peace?①	Key-Words, Reading
3	Unit 11 A Perfect World: How close are we to achieving world peace?②	Exercises
4	Unit 12 Modern Frankenstein : Will genetic engineering change life as we know it?①	Key-Words, Reading
5	Unit 12 Modern Frankenstein : Will genetic engineering change life as we know it?②	Exercises
6	Unit 13 Tinted lenses: Is it possible to be truly objective?①	Key-Words, Reading

7	Unit 13 Tinted lenses: Is it possible to be truly objective?②	Exercises
8	unit 16 Time Travel: Will it one day be possible to build a time machine?①	Key-Words, Reading
9	Unit 16 Time Travel: Will it one day be possible to build a time machine?②	Exercises
10	Unit 18 The Endgame: Has artificial intelligence surpassed human? ①	Key-Words, Reading
11	Unit 18 The Endgame: Has artificial intelligence surpassed human? ②	Exercises
12	Unit 20 Destination Mars : When will humans first set foot on the Red Planet?①	Key-Words, Reading
13	Unit 20 Destination Mars : When will humans first set foot on the Red Planet?②	Exercises
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
学生は語彙の予習を必ずすること。
学生は、日常から世の中の動きに関心を持ち、自分の意見を持つようにすること。
本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Getting Ready to Change The World
グローバル時代を生き抜く変革への視点
成美堂　　1900 円＋税

【参考書】
辞書必携

【成績評価の方法と基準】
提出物　20% 小テスト　20% 期末試験　60%

【学生の意見等からの気づき】
トピックに関連したプリントを配布する。
板書の文字を見やすくする。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。授業では CD を使用する。

【その他の重要事項】
辞書を必ず持ってくる。
欠席は 3 回までとする。
遅刻 3 回で欠席 1 回とする。
遅刻 20 以上は欠席とする。

【Outline and objectives】
The aim of this course is help students acquire an understanding the international situation, an environmental problem, natural disasters, culture
and so on through the text book.

LANe200LA

英語検定試験対策 I

2017 年度以降入学者

鈴木　理枝

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火 3/Tue.3**
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、TOEIC TEST650 点以上を目標に掲げる学生を対象とする。TOEIC TEST 受験に最低限必要な語彙力と文法の基礎知識の蓄積及び問題演習による解答テクニックの習得を目指す。またビジネスで必要な英語表現を習得して、実践力を養うことを目的とする。

【到達目標】
・TOEIC TEST を受験して、650 点以上を獲得する。
・社会で英語を使用して働けるように、基本表現を身につける。
・ビジネスに関連する語彙、表現を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
TOEIC 試験に関連するテキストを使用する。各 Unit 毎に TOEIC 試験に出題されるトピックに出てくる語彙と表現を学ぶ。学び方として、通訳訓練法の'Quick Response'、'Shadowing'、'Repeating'、'Slash Reading' を用い、訓練していく。ペアワーク、発表中心の演習授業になるため、積極的に参加できる学生の履修を希望する。
初回授業日は、4 月 30 日です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 自己紹介ゲーム	授業の目的、目標、進め方、成績のつけ方について解説する。自己紹介ゲーム。
2	Unit 1 人物の動作表現 Part 1	Vocabulary Training Point 解説 Dictation Training for the TOEIC TEST
3	Unit 1 品詞・代名詞の練習問題 Part 5	通訳訓練法を用いて、通訳練習 Quick Response, Shadowing, Slash Reading 発表
4	Unit 2 疑問詞で始まる疑問文 Part 2	Vocabulary Training Point 解説 Dictation Training for the TOEIC TEST
5	Unit 2 態・分詞の練習問題 Part 5	Vocabulary Training Point 解説 Dictation Training for the TOEIC TEST
6	Unit 3 店・ホテルでの会話 Part 3	Training Point 解説 Dictation Training for the TOEIC TEST

7	Unit 3 読解の基礎を身につける Part 7	Vocabulary Training Point 解説 Dictation Training for the TOEIC TEST
8	Unit 4 留守番電話 part 4	Training Point 解説 Dictation Training for the TOEIC TEST
9	Unit 4 詳細情報を特定する Part 7	Vocabulary Training Point 解説 Dictation Training for the TOEIC TEST
10	Unit 5 物に関する描写問題 Part 1	Training Point 解説 Dictation Training for the TOEIC TEST
11	Unit 5 話の展開を読み取る Part 7	Vocabulary Training Point 解説 Dictation Training for the TOEIC TEST
12	Part 6 Yes/No 疑問文・選択疑問文 Part 2	Vocabulary Dictation Training Point 解説 Training for the TOEIC TEST
13	Part 6 接続詞・前置詞問題 Part5	通訳訓練法を用いて、通訳練習 Quick Response, Shadowing Slash Reading 発表
14	期末試験 正答解説	期末試験 正答解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
受講するにあたって、必ず予習して授業に臨むこと。
辞書を持参すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『Mastery Drills for The TOEIC L&R Test』All in One Advanced Target 650
Koji Hayakawa
Kirihara Shoten, 2019
1,850 円＋税

【参考書】
TOEIC テスト公式問題集　新形式問題対応編

【成績評価の方法と基準】
平常点： 50 %　授業への積極的参加、発表の結果。他に授業中に実施する実践的な練習問題についても回収して平常点に加える。
期末試験： 50 %（TOEIC テスト形式）
欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位習得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
発表中心の双方向の授業に対して、学生からの高評価をもらい、今後も英語力と同時に積極性を身につける授業を展開していく。

【Outline and objectives】
This class targets the students who want to get more than 650 points for the TOEIC Test. The aim of the course is to acquire the Reading and Listening skills for the TOEIC test. Students will learn the basic knowledge of vocabulary and grammar which is necessary for the test. Also students will learn the practical business English expressions.

LANe200LA

英語検定試験対策Ⅱ

2017 年度以降入学者

鈴木　理枝

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 3/Tue.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
前期に続き、この授業では TOEIC TEST で 650 点以上を目標に、このレベルに必要とされる知識の蓄積と、問題演習による解答テクニックの習得を目指す。社会で必要とされる知識を身につける。また、ビジネスで必要な実践的な英語表現を習得することを目的とする。

【到達目標】
・TOEIC TEST を受験して、650 点以上を獲得する。
・社会で英語を使用して働けるように、基本表現を身につける。
・ビジネスに関連する語彙、表現を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
TOEIC 試験に関連するテキストを使用する。各 Unit 毎に TOEIC 試験に出題されるトピックに出てくる語彙と表現を学ぶ。学び方として、通訳訓練法の'Quick Response'、'Shadowing'、'Repeating'、'Slash Reading' を用い、訓練していく。ペアワーク、発表中心の演習授業になるため、積極的に参加できる学生の履修を希望する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Unit 7 日常生活における会話 Part3	Vocabulary Training Point 解説 Dictation 通訳訓練法を用いて、通訳練習をする。
2	Unit 7 内容把握問題に挑戦する Part7	Training Point 解説 Dictation Training for the TOEIC TEST
3	Unit 8 アナウンス・宣伝 Part 4	Vocabulary Training Point 解説 Dictation 通訳訓練法を用いて、通訳練習をする。
4	Unit 8 語彙問題・その他 Part5	Vocabulary Training Point 解説 Dictation Training for the TOEIC TEST
5	Unit 9 ステートメント・付加疑問文 Part2	Vocabulary Training Point 解説 Dictation 通訳訓練法を用いて、通訳練習をする。発表。
6	Unit 9 時制・代名詞・語彙問題 Part6	Training Point 解説 Dictation Training for the TOEIC TEST

7	Unit 10 オフィスでの会話① Part3	Vocabulary Training Point 解説 Dictation 通訳訓練法を用いて、 通訳練習をする。発表。
8	Unit 10 マルチプルパッセージ (2 つの文書) Part7	Training Point 解説 Dictation Training for the TOEIC TEST
9	Unit 11 トーク (会議・イベント) Part4	Vocabulary Training Point 解説 Dictation 通訳訓練法を用いて、 通訳練習をする。発表。
10	Unit 12 オフィスでの会話② Part3	Training Point 解説 Dictation Training for the TOEIC TEST
11	Unit 12 つなぎ語・文選択 Part 6	Vocabulary Training Point 解説 Dictation Training for the TOEIC TEST
12	Unit 13 ニュース・ラジオ放送 Part4	Training Point 解説 Dictation 通訳訓練法を用いて、 通訳練習をする。発表。
13	Unit14 図表問題と意図問題 Part3	Vocabulary Training Point 解説 Dictation Training for the TOEIC TEST
14	期末試験 正答解説	期末試験 正答解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
受講するにあたって、必ず予習して授業に臨むこと。
辞書を持参すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『Mastery Drills for The TOEIC L&R TEST』All in One Advanced
Koji Hayakawa
kirihara Shoten, 2019
1,850 円＋税

【参考書】
TOEIC テスト公式問題集　新形式問題対応編

【成績評価の方法と基準】
平常点： 50 %　授業への積極的参加、発表の結果。他に授業中に実施する実践的な練習問題についても回収して平常点に加える。
期末試験： 50 %（TOEIC テスト形式）
欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位習得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
発表中心の双方向の授業に対して、学生からの高評価をもらい、今後も英語力と同時に積極性を身につける授業を展開していく。

【Outline and objectives】
Continuing from the previous term, this class targets the students who want to get more than 650 points for the TOEIC Test. The aim of the course is to acquire the Reading and Listening skills for the TOEIC test. Students will learn the basic knowledge of vocabulary and grammar which is necessary for the test. Also students will learn the practical business English expressions.

LANe200LA

English Presentation Ⅰ

2017 年度以降入学者

ナダー　ジャミリア

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course will help students to improve their ability to make presentations in English. Students will increase their confidence in English communication through researching, talking, reading, writing and presenting about a variety of personal, academic, businessand cultural topics. Students will choose their presentation topics according to their own interests. Students will focus in particular on developing and explaining their topics in a clear and engaging manner. Students will make three presentations of about 5-10 minutes.

【到達目標】
You will become a better presenter. You will improve your ability to communicate in front of a group, including topic selection, generating ideas, organising , collecting supporting information, visual communication, consideration of your voice, and movement.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
In this class, you will work in pairs, small groups and individually. You will research and collect information for your topics outside of class. You will organize and arrange your ideas, and prepare visual materials (using PowerPoint or poster paper) to accompany your presentation. Preparation is vital to participate fully and get the most from class time. In class, you will explain your research and ideas. This will enable you to become familiar with your topic and less reliant on a script. Additionally, you will have chances to find the points of interest that need more development, and the places in your work that need further re-thinking and reorganisation. You will also practise a number of important academic skills through listening and note-taking of your own and classmates' topics. These include identifying the key points, re-organising ideas, summarising and reconstructing partner's talks from your notes as well as giving critical feedback. You may be asked to prepare discussion questions related to your topic, and of course, must be ready to answer questions from the audience about your own work. Please come to class ready to participate actively and positively.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Orientation	An explanation of the class requirements. We will get to know each other.
2	First presentation: "How to..."	Teach us how to do something better. Look at examples. Generate ideas and select topics.

3	Developing your work	Show your ideas and make an outline. Basic presentation structure.
4	Developing your work	Revise and practise. Body language and gestures -examples and practise.
5	Final practise	Combine all the elements and review your speech. Make changes after feedback from classmates and teacher.
6	Presentation	Perform your presentation. Watch and review classmates. Self evaluation.
7	Second presentation: SWOT analysis	A SWOT analysis. What is it? Look at examples. Generate ideas and select topics
8	Developing your work:	A SWOT analysis. Show your first research and organise. Voicework - how to vary your voice to make yourwords have more impact.
9	Developing your work:	Show us your presentation draft and practise. Turn your draft into notecards. Asking and answering questions during a presentation.
10	Presentation	Perform your presentation. Watch and review classmates.
11	Third Presentation: Pechakucha	What is a pechakucha presentation? Explanation and examples. Topic planning.
12	Developing your work:	Practise. Speaking to time limits and on the spot transitions.
13	Final practise	Review and practise.
14	Presentation & Semester review	Perform your presentation. Watch and review classmates.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students will be expected to find their own research materials, write presentations and prepare visual materials including Keynote or PowerPoint slides. STudents will be asked to watch some speeches and share their impressions in class.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course

【テキスト（教科書）】
The above may change. Activities may change according to class size, students' interests and abilities.There is no textbook.

【参考書】
Recommended places to watch presentation examples are; the Pechakucha, TED and Jack Petchey Foundation websites.

【成績評価の方法と基準】
In-class performance* and participation 25%
Presentations 45%
Self evaluation 10%
Outside class preparation 20%
*Please remember university policy permits a maximum of 3 absences per semester.

【学生の意見等からの気づき】
Students wanted more time to prepare presentations.

【学生が準備すべき機器他】
You will need to use colour pens, large poster paper, slide making software such as PowerPoint or Keynote. You will need to bring your smartphone, tablet, or PC to watch presentation examples and do quick research in class. You will need an English dictionary.

【その他の重要事項】
Please come to class ready to participate actively and positively.

【Outline and objectives】
Make your presentations better.

LANe200LA

English Presentation Ⅱ

2017 年度以降入学者

ナダー　ジャミリア

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course will help students to improve their ability to make presentations in English. Students will increase their confidence in English communication through researching, talking, reading, writing and presenting about a variety of personal, academic, business and cultural topics. Students will choose their presentation topics according to their own interests. Students will focus in particular on developing and explaining their topics in a clear and engaging manner. Students will make three presentations of about 5-10 minutes.

【到達目標】
You will become a better presenter. You will improve your ability to communicate in front of a group, including topic selection, generating ideas, organising , collecting supporting information, visual communication, consideration of your voice, and movement.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
In this class, you will work in pairs, small groups and individually. You will research and collect information for your topics outside of class. You will organize and arrange your ideas, and prepare visual materials (using PowerPoint or poster paper) to accompany your presentation. Preparation is vital to participate fully and get the most from class time. In class, you will explain your research and ideas. This will enable you to become familiar with your topic and less reliant on a script. Additionally, you will have chances to find the points of interest that need more development, and the places in your work that need further re-thinking and reorganisation. You will also practise a number of important academic skills through listening and note-taking of your own and classmates' topics. These include identifying the key points, re-organising ideas, summarising and reconstructing partner's talks from your notes as well as giving critical feedback. You may be asked to prepare discussion questions related to your topic, and of course, must be ready to answer questions from the audience about your own work. Please come to class ready to participate actively and positively.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Orientation and a review of the Spring Semester. First presentation: "Inspired by a movie"	A cultural or social theme picked from a movie For example. "The Lego Movie" - a comparison of the education systems of Denmark and Japan. The role of propaganda in Vietnam War movies "The Devil wears Prada" - Karoshi - is work /life balance really possible? Discussing ideas and topic selection.
2	Developing your work	Sharing research. Making outlines and considering some rhetorical techniquess such as the rule of 3 and rrepetition.
3	Developing your work	Sharing research. Using rhetorical techniques. Review of voice techniques.
4	Final practise	Making discussion questions. Practise and make changes after feedback from classmates and teacher.
5	Presentation	Perform your presentation. Watch and review classmates. Self evaluation.
6	Second presentation: Something I've learned that you should know	What knowledge have you gained in your university life that you think other people would benefit from knowing? generating ideas
7	Developing your work	Considering different narratives styles. Sharing ideas.
8	Developing your work	Sharing your ideas and using props in a speech.
9	Final practise	Practise your speech using a prop.
10	Presentation	Perform your presentation. Watch and review classmates. Self evaluation.
11	Third Presentation: A persuasive speech	A speech about something you feel strongly about. Make us believe how correct and important your opinion is.
12	Developing your work:	Adding passion and emotion to your words. Speaking with your whole body - examples and practise.
13	Final practise	Looking again at body language and voice.
14	Presentation & Semester review	Perform your presentation. Watch and review classmates. Self evaluation.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students will be expected to find their own research materials, write presentations and prepare visual materials including Keynote or PowerPoint slides. STudents will be asked to watch some speeches and share their impressions in class.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course

【テキスト（教科書）】
The above may change. Activities may change according to class size, students' interests and abilities.There is no textbook.

【参考書】
Recommended places to watch presentation examples are; the peckakucha, TED and Jack Petchey Foundation websites.

【成績評価の方法と基準】
In-class performance* and participation 25%
Presentations 45%
Self evaluation 10%
Outside class preparation 20%
*Please remember university policy permits a maximum of 3 absences per semester.

【学生の意見等からの気づき】
Students requested more computer presentations.

【学生が準備すべき機器他】
You will need to use colour pens, large poster paper, slide making software such as PowerPoint or Keynote. You will need to bring your smartphone, tablet, or PC to watch presentation examples and do quick research in class. You will need an English dictionary.

【その他の重要事項】
Please come to class ready to participate actively and positively.

【Outline and objectives】
Make your presentations better.

LANe200LA

English Presentation Ⅰ

2017 年度以降入学者

ジョン　ライリー

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 3/Tue.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course teaches English and presentations through students' mini presentations, short presentations and long presentations and watching presentations and talks in movies, TV shows and other media.

【到達目標】
Students will gain confidence and effectiveness communicating to groups of people,

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Class activities will include individual work, group work and discussions. Students will be required to prepare presentation material outside of classes.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Getting to know each other and learning about the steps of a presentation
2	Mini presentation	My self-introduction
3	Unit 1 A good friend	Introductions and conclusions
4	Unit 1 A good friend	Using note cards and making eye contact
5	Unit 1 Presentation	"A good friend"
6	Unit 2 A favorite place	Making an outline
7	Unit 2 A favorite place	Body language
8	Unit 2 Presentation	"My favorite place"
9	Unit 3 A prized possession	Beginning your presentation with a question
10	Unit 3 A prized possession	Preparing for show and tell
11	Unit 3 Presentation	"My prized possession"
12	Unit 3 Presentation	"My prized possession"

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students will be expected to ready for classes by reviewing the next pages in the textbook and preparing for in-class activities. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Present Yourself 1 Experiences, Second Edition (Steven Gershon, Cambridge University Press)

【参考書】
Students may be given assignments to watch segments from movies, TV shows and other media that give them insights into effective presentations.

【成績評価の方法と基準】
Class participation - 25%
My favorite place" presentation - 25%
My prized possession" presentation - 25%
My memorable vacation"- 25%
In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
Student feedback and input is encouraged and will be used to modify class activities as needed.

【Outline and objectives】
The presentations skills developed by students will help them be better communicators in English.

LANe200LA

English Presentation Ⅱ

2017 年度以降入学者

ジョン　ライリー

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 3/Tue.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course teaches English and presentations through students' mini presentations, short presentations and long presentations and watching presentations and talks in movies, TV shows and other media.

【到達目標】
Students will gain confidence and effectiveness communicating to groups of people.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Class activities will include individual work, group work and discussions. Students will be required to prepare presentation material outside of classes.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Course introduction	Getting to know each other and learning about the steps of a presentation
2	Mini presentation	"My self-introduction"
3	Unit 4	Describing activities
4	Unit 4	Describing feelings
5	Unit 4	Describing experiences
6	Unit 4 Presentation	"A memorable experience"
7	Unit 5	Talking about items
8	Unit 5	Describing materials
9	Unit 5	Giving instructions
10	Unit 5 Presentation	"I'll show you how"
11	Unit 6	Talking about types of movies and TV shows
12	Unit 6	Learning vocabulary and expressions to review movies and TV shows
13	Unit 6 Presentation	"Screen magic"
14	Make-up Presentations and Course Review	Self-evaluation and personal goals for the future

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students will be expected to ready for classes by reviewing the next pages in the textbook and preparing for in-class activities. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Present Yourself 1 Experiences, Second Edition (Steven Gershon, Cambridge University Press)

【参考書】
Students may be given assignments to watch segments from movies, TV shows and other media that give them insights into effective presentations.

【成績評価の方法と基準】
Class participation - 25%
“A memorable experience" presentation - 25%
“I'll show you how" presentation - 25%
“Screen magic” presentation- 25%
In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
Student feedback and input is encouraged and will be used to modify class activities as needed.

【Outline and objectives】
The presentations skills developed by students will help them be better communicators in English.

LANe200LA

English Presentation Ⅰ

2017 年度以降入学者

コートランド　D　スミス

開講時期：春学期授業/Spring　｜　曜日・時限：月 3/Mon.3
単位数：1 単位
法文営国 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course is designed primarily to improve students' presentation skills and thereby to develop their integrative English language proficiency. In spring the goal is to acquire basic presentations skills, including how to organize a presentation, supporting arguments with evidence, effective use of visual aids, and aspects of delivery such as eye contact or gesture. In the fall semester, students will focus on persuasive/argumentative presentations on topics of contemporary concern. Students base their presentations on the basic patterns taught and learn to speak from notes. The class is conducted in English.

【到達目標】
This course is designed primarily to improve students' presentation skills and thereby to develop their integrative English language proficiency. In spring the goal is to acquire basic presentations skills, including how to organize a presentation, supporting arguments with evidence, effective use of visual aids, and aspects of delivery such as eye contact or gesture. In the fall semester, students will focus on persuasive/argumentative presentations on topics of contemporary concern. Students base their presentations on the basic patterns taught and learn to speak from notes. The class is conducted in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
The content of the class will consist of practicing presentation techniques and delivering presentations. If time permits, there will be some discussion of the presentation topics.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	1. Introductions HW/text pgs. 4-12	Talk about spring break. Getting started.
2	2. Text pgs. 13-14, 15-17, 18-22 HW/informative speech (pg. 17) with visuals, posture, eye contact, gestures	Watch sample presentation DVD.
3	3. Performance of informative speech HW/text pgs. 23-24, 28-29	Speech performance and feedback.

4	4. Text pgs. 30-38 HW/demonstration speech (pg. 38) with visuals, posture, eye contact, gestures, voice inflection	Demonstration speech.
5	5. Performance of demonstration speech HW/text pgs. 39-46	Student speech performances.
6	6. Text pgs. 47-48, pgs. 51-55 HW/country comparison (pgs. 49 & 56)	Prepare for country comparison speech.
7	7. Performance of country comparison HW/pgs. 57-59	Student speeches.
8	8. Text pgs. 60-67 HW/speech introduction (pg. 67)	Focus on speech introduction.
9	9. Performance of speech introduction HW/text pgs. 68-72	Speech introduction performances.
10	10. Text pgs. 73-85 HW/speech body (pg. 86)	Focus on speech body.
11	11. Performance of speech body HW/text pgs. 87-94 conclusion (pg. 95)	Student performances of speech body.
12	12. Presentation of conclusion HW/final presentation (pg. 99 steps 1,2,3)	Focus on speech conclusion.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Speaking of Speech Student Book MacMillan ISBN 978-4-7773-6271-4

【参考書】
Students will use online resources to research and prepare their presentations.

【成績評価の方法と基準】
Presentations (50%)
Class participation (40%)
Final presentation (10%)
*Students will be expected to attend a minimum of 80% of all classes in order to get credit for this course. This means that you can be absent no more than three times.
Three late arrivals are counted as one absence (up to 29 min.). More than 45 minutes late without a good reason will be counted as absent. Students who are absent or late for a good reason — serious train delays, injury, illness, etc. should provide some evidence to instructor.

【学生の意見等からの気づき】
None.

【その他の重要事項】
IMPORTANT NOTICE Because of the current emergency situation, all classes will be held online, at the usual time and day as scheduled. So, the class will be held online on Mondays, third period. Zoom video conferencing will be used, so please install Zoom onto your computer, smartphone, or tablet(zoom.us). Invitations to these online classes will be sent to Hosei student email accounts and posted on Hoppi, and learning materials will be sent to student email accounts.
The first class will be held online on Monday, April 27.

【Outline and objectives】
Students will prepare and deliver presentations during class time.

LANe200LA

English Presentation Ⅱ

2017 年度以降入学者

コートランド　D　スミス

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course is designed primarily to improve students' presentation skills and thereby to develop their integrative English language proficiency. In spring the goal is to acquire basic presentations skills, including how to organize a presentation, supporting arguments with evidence, effective use of visual aids, and aspects of delivery such as eye contact or gesture. In the fall semester, students will focus on persuasive/argumentative presentations on topics of contemporary concern. Students base their presentations on the basic patterns taught and learn to speak from notes. The class is conducted in English.

【到達目標】
The goal of this course is to enable students to make effective presentations on a variety of topics. Students will learn to confidently deliver multimedia informative/descriptive speeches, as well as comparative, demonstrative and argumentative/persuasive presentations. Students will also learn to evaluate the quality and content of others' presentations, to take notes on presentation content, and to provide detailed feedback to help presenters to improve their presentation technique.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
The content of the class will consist of practicing presentation techniques and delivering presentations. If time permits, there will be some discussion of the presentation topics. The fall semester of this course will make little use of the textbook, and will instead concentrate on the preparation and delivery of persuasive, argumentative and rhetorical speeches.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	1. Summer vacation HW/prepare speech on summer vacation	Warm up presentation.
2	2. Presentations on summer vacation HW/read handout parts 1&2	Students deliver their summer vacation presentations.
3	3. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 1	Read background information and answer questions.
4	4. Presentations on topic 1 and discussion HW/read handout parts 1&2	Delivery of speeches.
5	5. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 2	Read background information and answer questions.
6	6. Presentations on topic 2 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.
7	7. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 3	Read background information and answer questions.
8	8. Presentations on topic 3 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.
9	9. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 4	Read background information and answer questions.
10	10. Presentations on topic 4 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.
11	11. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 5	Read background information and answer questions.
12	12. Presentations on topic 5 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.
13	13. Complete handout reading HW/prepare final presentations	Prepare for final presentations.
14	14. Final presentation	Final performance, summary and evaluation.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
All materials will be provided by instructor.

【参考書】
Students will make use of a variety of online resources in the research and preparation of their speeches.

【成績評価の方法と基準】
Presentations (50%)
Class participation (40%)
Final presentation (10%)
*Students will be expected to attend a minimum of 80% of all classes in order to get credit for this course. This means that you can be absent no more than three times.
Three late arrivals are counted as one absence (up to 29 min.). More than 45 minutes late without a good reason will be counted as absent. Students who are absent or late for a good reason — serious train delays, injury, illness, etc. should provide some evidence to instructor.

【学生の意見等からの気づき】
None.

【Outline and objectives】
Students will prepare and deliver presentations during class time.

LANe200LA

English Presentation Ⅰ

2017 年度以降入学者

マーク　バーンズ

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
The primary objective of this class is to develop basic presentation skills. The course provides practice in structuring, and organizing presentations, designing effective visuals, and delivering presentations in clear communicative English. Students will prepare and deliver 7 presentations on a wide range of subjects and purposes.

【到達目標】
This subject aims to equip learners with the confidence and basic ability to deliver effective presentations in English. It will help learners become familiar with a number of presentation types and build confidence speaking in front of others. By the end of this course, students will be able to deliver an individual presentation followed by a question and answer session, while engaging the audiences in their topic. Furthermore, students will sharpen their listening skills by learning how to ask good questions and become active listeners.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
In this subject, classes will be conducted in English and will cover each unit of the textbook. In presentation weeks students are required to actively listen to other learners' presentations in order to ask relevant questions in the Question & Answer Sessions, and also to complete specific Feedback Forms. Students will be able get direct feedback on their presentations from these forms.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Orientation	Overview of the course and warm up	Overview of English Presentation I subject and explaining rules for assignment submissions and feedback
Unit 1	Posture	Learners prepare and present a presentation about a city they like
Unit 2	Gesture	Learners prepare and present a presentation describing the layout of an interesting place
Unit 3	Use of voice	Learners prepare and present a presentation about a recipe
Section review	Review of the physical message	Review of the physical message
Unit 4	Effective visuals	Learners prepare a presentation comparing two countries
Unit 5	Explaining visuals	Learners prepare clear explanations for slides and charts
Section reveiw	Review of the visual message	Learners deliver a presentation comparing two countries
Unit 6	Introduction	Learners prepare and present the introduction to a product comparison presentation
Unit 7	Body	Learners prepare and present the the body a product comparison presentation
Unit 8	Conclusion	Learners prepare and present the conclusion to a product comparison presentation
Section review	Review of presentation structure	Review of presentation structure
Final performance preparation	Final performance preparation	Final performance preparation
Final performance	Final performance	Final performance

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students are required to prepare visuals and rehearse 7 presentations over the course.

【テキスト（教科書）】
Speaking of Speech New Edition, David Harrington and Charles LeBeau, ISBN 978-4-7773-6271-4

【参考書】
A good Japanese-English dictionary

【成績評価の方法と基準】
Assessment will consist of in-class participation (40%), 7 presentation assignments (60%)

【学生の意見等からの気づき】
Personalised individual feedback will be provided.

【その他の重要事項】
In principle, no more than 3 absences per term are allowed. Lesson schedule may change depending on student number.

【Outline and objectives】
The primary objective of this class is to develop basic presentation skills. The course provides practice in structuring, and organizing presentations, designing effective visuals, and delivering presentations in clear communicative English. Students will prepare and deliver 7 presentations on a wide range of subjects and purposes.

LANe200LA

English Presentation Ⅱ

2017 年度以降入学者

マーク　バーンズ

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
The primary objective of this class is to further develop basic presentation skills. The course provides practice in structuring, and organizing presentations, designing effective visuals, and delivering presentations in clear communicative English. Students will prepare and deliver 7 presentations on a wide range of subjects and purposes.

【到達目標】
This subject aims to equip learners with the basics of written communication in English. It will help learners become familiar with a number of presentation types and build confidence speaking in front of others. By the end of this course, students will be able to deliver an individual presentation followed by a question and answer session, while engaging the audiences in their topic. Furthermore, students will sharpen their listening skills by learning how to ask good questions and become active listeners.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
In this subject, classes will be conducted in English and will cover each unit of the textbook. In presentation weeks students are required to actively listen to other learners' presentations in order to ask relevant questions in the Question & Answer Sessions, and also to complete specific Feedback Forms. Students will be able get direct feedback on their presentations from these forms.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Orientation	Overview of the course and warm up	Overview of English Presentation I subject and explaining rules for assignment submissions and feedback
Unit 1	What are the options?	Learners prepare option presentations
Unit 2	Performance 1	Option presentations and peer feedback.
Unit 3	Job hunting	Learners prepare a proposal presentation
Unit 4	Performance 2	Proposal presentations and peer feedback.
Unit 5	Have I got your attention?	Learners prepare sales presentations
Unit 6	Performance 3	Sales presentations and peer feedback.
Unit 7	Technical problems and solutions	Learners prepare technical presentations
Unit 8	Performance 4	Technical presentations and peer feedback.
Unit 9	Cite your sources	Learners prepare academic presentations
Unit 10	Performance 5	Academic presentations and peer feedback.
Unit 11	Creative innovations	Learners prepare team presentations
Unit 12	Performance 6	Team presentations and peer feedback.
End-term review	Final presentations	Final presentations

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students are required to prepare visuals and rehearse 7 presentations over the course.

【テキスト（教科書）】
Speaking of Speech Level 2, Charles LeBeau, ISBN 978-4-7773-6515-9

【参考書】
A good Japanese-English dictionary

【成績評価の方法と基準】
Assessment will consist of in-class participation (40%), 7 presentation assignments (60%)

【学生の意見等からの気づき】
Personalised individual feedback will be provided.

【その他の重要事項】
In principle, no more than 3 absences per term are allowed. Lesson schedule may change depending on student numbers.

【Outline and objectives】
The primary objective of this class is to further develop basic presentation skills. The course provides practice in structuring, and organizing presentations, designing effective visuals, and delivering presentations in clear communicative English. Students will prepare and deliver 7 presentations on a wide range of subjects and purposes.

LANe200LA

英語アカデミック・リーディング Ⅰ

2017 年度以降入学者

岩崎　博

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
美術、科学、文化、言語、環境、歴史など様々な分野を扱う論文を読む。英文を読み解くことによって新しい視点、刺激的な世界観に触れる。個々の論文には難解なものもあるが、それを読み解き理解する喜びを体験したい。パラグラフの論理的な構造に目を向け、その趣旨を的確につかむことによって、 多量の英文を読みこなす能力を養う。特に、トピックセンテンスを中心に、文章を要約する方法を学ぶ。また、読んで理解した内容を、口頭で的確に表現できるようになりたい。

【到達目標】
パラグラフの内容を正確に理解し、それを口頭で表現できるようになる。
理解した内容を口頭で言い表すことができるようになる。
英語の論理的思考が、抽象から具体へと展開することを理解する。
パラグラフのトピックとそれを詳述する細部との関係を理解する。
トピックを理解することにより、細部に理解できないところがあっても、パラグラフの論旨を大まかにつかみ取る能力を身につける。
抽象的な表現を具体的に理解する読み方を身につける。
レトリックを読み解く技術を身につける。
意味が文脈によって産出されることを理解する。
抽象的な表現の具体的内容を理解する方法を学ぶ。
テクストを批判的に読み解く技術を学ぶ。
辞書を引く意味を理解する。
辞書が活用できるようになる。
最終的に、多量の論文を効果的に読み解くことができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
オンライン授業開始は 5 月 1 日。
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 5 月 1 日（金）とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。
以下対面式授業の場合だが、オンライン授業でも基本的にこれに準じる授業を行う予定。
以下対面式授業に戻った場合。
学生による要約と和訳の発表で授業を進める。不明な点、問題点があれば、全員で議論し解決して行く。その際、辞書を活用する術を学習する。各論文を読み終わった後、それに関する論評を発表する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	授業の説明。	授業に関する説明の後、パラグラフの構造について理解する。
2	Session 1 What a Painting Can Tell Us 本エッセイの展望	この論文では、絵画に隠された物語を読み解く際の、筆者の論理的展開の方法に注意し、芸術作品の解釈の方法や説得力のある主張の仕方を学ぶ。リーディングスキルとしては、パラグラフの構造を理解する。筆者の主張を裏付けるトピックセンテンスと、その根拠を示す支持文を区別することによって、パラグラフの内容 を大まかにつかみ要約する力を養い、論理的な文章を効果的に読むことができるようにする。
3	Session 1 What a Painting Can Tell Us パラグラフの構造を学ぶ	パラグラフが主題文、指示文、結論文から成ることを理解し、実際の英文の中でその構造を確認する。
4	Session 1 What a Painting Can Tell Us パラグラリーディングの実践	トピックセンテンスと論証部分がどのような関係になっているのか、自分の言葉で説明する。
5	Session 2 Split-Brain Research 本エッセイの展望	右 脳・左脳の機能の違いを世に知らしめた有名な事例を紹介する論文を読む。両脳間の機能上の最大の違いは、片方の脳のみが言語を扱うということに起因するという興味深い事実を学ぶ。リーディングスキルとしては、科学的論文の構造を理解する。また、図解を参照しながら英文を読む訓練をする。
6	Session 2 Split-Brain Research プロセスの記述を読む	実験の手順を詳細に記述した文を読み、実験の内容を正確に理解する。
7	Session 2 Split-Brain Research 図を見ながら本文を理解する	図と英語の記述を対応させることによって、左脳の構造を視覚的に理解する。
8	Session 2 Split-Brain Research 具体的に読む	実験の結果に関する記述が具体的に実験の何を指し示すのかを理解する。抽象的な記述を具体的に理解し説明する読みを実践する。
9	Session 9 On Speaking on Speaking 本エッセイの展望	言語の変化生成に関する仮説を扱う論文を読む。言語は原初の形を痕跡として残しつつ絶えず変化し続けること、人間には言語を生み出す普遍的能力があることを 学ぶ。また、一般的には理解されていない、あらゆる言語に見られる普遍的性質のいくつかを知る。リーディングスキルとしては、トピックセンテンスと支持文 の関係をより深く理解し、筆者の主張をより正確に把握する能力を養う。パラグラフの内容を自分の言葉で要約できるようする。さらに、パラグラフ間のつなが りにも留意することによって、論理の展開の仕方を学ぶ。
10	Session 9 On Speaking on Speaking 言語とは何か	言語は絶えず変化すること、しかも原初の要素を残しながら、別の言語に変わってしまうかのように変化していくことを知る。

11	Session 9 On Speaking on Speaking 言語変化の担い手は誰か	言語の変化の担い手が子どもだという事実を検証する。さらに言語の起源にまで
12	Session 14 Teenage Nation 本エッセイ展望	Teenager という概念が現れた背景を歴史的に考察する論文を読む。Teenager の出現には、産業革命による労働形態の変化、教育の普及、大量消費社会の到来など、大きな社会的変革が関わっていることを理解する。現在では常識とされている事柄でも、過去においては極めて希少・斬新であったことを知ることにより、 新たな事実を理解するためには現在の常識を疑わなくてはならないということを学ぶ。 リーディングスキルとしては、パラグラフ内の論理的展開に留意すること により論拠の妥当性を緊密に検証し、批判的に文章を読む術を学習する。
13	Session 14 Teenage Nation 子供の存在と教育の関係	ティーンネージャーという概念出来上がった背景には、子供が労働力から教育を受ける存在に変わったという事実があることを知る。
14	試験日	春学期試験を行う。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。テキストの該当箇所を読み、各パラグラフごとに簡単なメモを作成し、それを見ながら内容の要約・説明ができるようにする。特にトピックセンテンスと論証部分の関係性を自分の言葉で説明できるように準備する。

【テキスト（教科書）】
『The Universe of English』東京大学英語教室編（東京大学出版会）

【参考書】
なし。

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。
以下対面式授業に戻った場合。
授業参加 50 パーセント、レポート・スピーチ・試験 50 パーセントの比率で評価する。授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まる。
一度休むごとに平常点から 2 点ずつ引いていく。
４回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。
原則的に遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】
学生からの発言の機会を増やそうと思います。

【学生が準備すべき機器他】
辞書持参のこと。

【その他の重要事項】
この授業は演習中心なので、出席を重視しています。遅刻・欠席に関しては厳しく対処します。また、授業中私語をするなど、常識的におかしいと思われる行為は慎んで下さい。辞書を持参して下さい。教師と学生の対話を通して、適度に楽しくて為になる双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to improve reading skills by understanding the basic logical structure of a paragraph in academic essays. Participants learn what kinds of connection a topic sentence and its supporting details make in each paragraph and make a summary of it. Participants are expected to read each essay critically and express their opinions in class. This course also helps students learn how to use dictionaries.

LANe200LA

英語アカデミック・リーディングⅡ

2017 年度以降入学者

岩崎　博

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
美術、科学、文化、言語、環境、歴史など様々な分野を扱う論文を読む。論文を読み解くことによって新しい視点、刺激的な世界観に触れる。個々の論文には難解なものもあるが、それを読み解き理解する喜びを体験したい。パラグラフの論理的な構造に目を向け、その趣旨を的確につかむことによって、多量の英文を読みこなす能力を養う。特に、トピックセンテンスを中心に、文章を要約する方法を学ぶ。また、読んで理解した内容を、口頭で的確に表現できるようになりたい。

【到達目標】
パラグラフの内容を正確に理解し、それを口頭で表現できるようになる。
理解した内容を口頭で言い表すことができるようになる。
英語の論理的思考が、抽象から具体へと展開することを理解する。
パラグラフのトピックとそれを詳述する細部との関係を理解する。
細部に理解できないところがあっても、トピックを理解することにより、パラグラフの論旨を大まかにつかみ取る能力を身につける。
抽象的な表現を具体的に理解する読み方を身につける。
レトリックを読み解く技術を身につける。
意味が文脈によって産出されることを理解する。
テクストを批判的に読み解く技術を学ぶ。
辞書を引く意味を理解する。
辞書が活用できるようになる。
最終的に、多量の論文を効果的に読み解くことができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
学生による要約と和訳の発表で授業を進める。不明な点、問題点があれば、全員で議論し解決して行く。その際、辞書を活用する術を学習する。各論文を読み終わった後、それに関する論評を学生が発表する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	授業の説明	パラグラフの構造を理解する。
2	Session 17 Ecology 本エッセイの展望	エコロジーの入門書的論文を読む。この論文はコンパクトながら、エコロジーの定義から始まり、生物圏の区分、食物連鎖、生物濃縮、生態遷移などに言及し、エコジーの最も重要な分野をわかりやすく解説している。また、生態学的知識を吸収することによって、現在我々を取り巻く環境問題を考える。 リーディングスキルとしては、ひとつの主張をひとつのパラグラフに端的に記述する方法を学ぶ。
3	Session 17 Ecology 概念を定義するタイプのパラグラフ	ある概念の定義を行うパラグラフ構造を知る。
4	Session 17 Ecology 抽象と具体の説得力	エコロジーの定義と具体例を読み、その関係と説得力について考える。
5	Session 17 Ecology 内容を要約できないパラグラフに関する説明	トピックがはっきりせず要約不能なパラグラフでも、そこには作者の意図があることを知り、それを言葉で説明する。 生態遷移という概念を具体例から理解する。
6	Session 18 Columbus: From Hero to Fall Guy 本エッセイの展望	コロンブスが歴史上の偉人から、南米を侵略し社会を破壊した悪人に評価が変わった原因を考察する論文を読む。この論文は歴史的記述であるとともに、コロンブ スの評価の変化の背景を追うことによって、歴史そのものがいかに作り出されるかということにも言及しており、極めて興味深い。歴史が産出される構造を知る ことにより、歴史的事実とは決して客観的事実なのではなく、政治的意図が反映されたものの見方、すなわちある特権的な視点から事象を見るひとつの解釈であ ることを理解し、ひいては歴史とは何かを考察する。 リーディングスキルとしては、論理的に難解な文章を読む際に必要な文脈のたどり方に重点を置く。ある文 の意味を理解するということは、その文脈を理解することであるということ、言い換えると、文の意味は文脈によって作り出されるという基本的事実を理解する。
7	Session 18 Columbus: From Hero to Fall Guy クロノジカルな記述を読む	歴史的記述における視点を考える。西洋中心に考えたときの「アメリカ発見」の歴史的意義を学ぶ。 また、主格関係と目的格関係を表す前置詞 of の用法を学び、名詞句の内容を理解できるようにする。
8	Session 18 Columbus: From Hero to Fall Guy 歴史とは何か	コロンブスの評価が英雄から人類最悪の男に凋落した理由として筆者が援用する歴史観について考察する。
9	Session 18 Columbus: From Hero to Fall Guy 反コロンブス神話とは	コロンブス以前のアメリカが理想郷として描き出されている現状の背後に隠された意図を知り、それを批判する。
10	Session 18 Columbus: From Hero to Fall Guy コロンブスとは何なのか	「発見」された側がコロンブスを歴史上傑出した悪人だと非難する、本当の理由を知る。
11	Session 11 Disneyland: America's Sacred Land 本エッセイの展望	ディズニーランドの人気の理由を論じるエッセイを読む。ディズニーランドの背後には、アメリカを中心とした歴史観、アメリカを代表する中西部の白人中流階層の保守的な理念があることを学ぶ。
12	Session 11 Disneyland: America's Sacred Land ディズニーランド人気の理由	ディズニーの世界観がどのようにディズニー・ランドに反映されているのかを知る。

13	Session 11 Disneyland: America's Sacred Land ディズニーランドの神話的意義	ディズニーランドが単なるレジャーランドを超えて、アメリカの神話作りに貢献しているという説の論拠を批判する。
14	試験日	秋学期試験を行う。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。
テキストの該当箇所を読み、各パラグラフごとに簡単なメモを作成し、それを見ながら内容の要約・説明ができるようにする。特にトピックセンテンスと論証部分の関係性を自分の言葉で説明できるように準備する。

【テキスト（教科書）】
東京大学英語教室編『The Universe of English』（東京大学出版会）

【参考書】
なし。

【成績評価の方法と基準】
授業参加 50 パーセント、レポート・スピーチ・試験 50 パーセントの比率で評価する。授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まる。
一度休むごとに平常点から 2 点ずつ引いていく。
４回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。
原則的に遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】
学生が話し合って問題を解決する機会を増やす。

【学生が準備すべき機器他】
辞書持参のこと。

【その他の重要事項】
この授業は演習中心なので、出席を重視しています。遅刻・欠席に関しては厳しく対処します。また、授業中私語をするなど、常識的におかしいと思われる行為は慎んで下さい。辞書を持参して下さい。教師と学生の対話を通して、適度に楽しくて為になる双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to improve reading skills by understanding the basic logical structure of a paragraph in academic essays. Participants learn what kinds of connection a topic sentence and its supporting details make in each paragraph and make a summary of it. Participants are expected to read each essay critically and express their opinions in class. This course also helps students learn how to use dictionaries.

LANe200LA

英語検定試験対策 I

2017 年度以降入学者

久慈　美貴

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水 2**/Wed.2
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
TOEIC Test listening part の速度に慣れ、重要点（設問部分）をチェックできるよう練習したい。
自習用オーディオファイルを何度も聞いて、音と速さ、設問形式になじんでほしい。

【到達目標】
TOEIC Test の listening part の速度に慣れ、単語ではなくフレーズの塊を聞き取れるようになる。
既習の文法事項を復習し再確認する。
ビジネス関連の語彙を増やす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講になる。授業計画の変更については、学習支援システムで、その都度指示する。本受業の開始日は 5 月 6 日（水曜）とする。
4 月 22 日（水曜）に学習支援システムを通じて受講を希望して登録を許可された方は、指定のテキストを購入して、郵送で受け取り、準備を始めてください。5 月 6 日からの課題提出についても学習支援システムに提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	preparation test	プリントを配布し TOEIC テストの形式を確認する
2	U.1 動詞の使い方 1	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。自動詞と他動詞の使い方を復習する。
3	U.2　動詞の使い方 2	ボキャブラリークイズとテキストの問題のチェック。動詞の時制に注意する。
4	U.3　動詞の使い方 3	ボキャブラリークイズとテキストの問題のチェック。完了形の復習。idiom review のプリントを配布。
5	U.4　品詞	ボキャブラリークイズとテキストの問題のチェック。形容詞と副詞のの使い方に注意。review プリントを提出する。
6	U.5　準動詞	ボキャブラリークイズとテキストの問題のチェック。準動詞の意味と使い方に注意する。
7	U.6　準動詞 2	ボキャブラリークイズとテキストの問題のチェック。準動詞の名使用法を復習する。idiom review プリントを配布する。
8	U.7　準動詞 3	ボキャブラリークイズとテキストの問題のチェック。pp 形と ing 形の意味と使い方に注意する。review プリントを提出する。

9	U.8　準動詞 4	ボキャブラリークイズと テキストの問題のチェック。分詞構文の使い方を復習する。
10	U.9　比較級と最上級	ボキャブラリークイズとテキストの問題のチェック。語形変化と強調語の使い方に注意。idiom review プリントを配布。
11	U.10　代名詞	ボキャブラリークイズとテキストの問題のチェック。不定代名詞の使い方に注意。review プリントを提出する。
12	U.11 関係詞 1	ボキャブラリークイズとテキストの問題のチェック。基本の関係詞を復習する。
13	U.12　関係詞 2	ボキャブラリークイズとテキストの問題のチェック。関係詞の特殊用法に注意する。idiom review プリントを配布。
14	Review for Spring Term	春期のまとめ review プリントを提出する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は併せて 1 時間を標準とします。かならず事前の語彙チェックをしましょう。毎回、ユニットの vocabulary build-up から vocaburlary quiz を行います。
また、listening 練習用に音声ファイルがダウンロードできますので、繰り返し聞いて問題をチェックしてください。授業時には何度も音声チェックをする時間的な余裕がありませんので、事前にしっかり音を聞いてください。3 ユニット終了するごとに熟語のまとめプリントを配布し、宿題として提出していただきます。そのほか、必要に応じて文法プリントを配布します。

【テキスト（教科書）】
Welcome to the TOEIC L&R Test–New Edition(Asahi Press) 1800 円

【参考書】
特に指定しない。随時、リスニングスクリプトと文法プリントを配布する。

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講になったことに伴い、成績評価の基準と方法も変更する。ただし、4 回分以上課題を提出しない場合、評価の対象としない。そのほか、変更点は、5 月 6 日以降に学習支援システムで提示する。
提出物の点が評価の大きな割合を占めるので、しっかり予習して点数を積み上げていってほしい。テキストのリスニング問題は音声ストリーミング配信で聞くことができるので、何度も聞き、問題を解いてみよう。
ボキャブラリークイズは各ユニットの Vocabulary Build-up から問題を出すので、しっかり確認し、語義と発音をチェックしておくこと。

【学生の意見等からの気づき】
予習用にリスニングパートのスクリプトを配布していますが、何段階かに分けて使用していただければと思います。
まず音声ファイルのリスニングのみで問題を解いてみる、聞き取りにくい箇所をスクリプトを見ながら再度聞いてみる、スクリプトを見ながら音声ファイルと同時に声を出して読んでみる、というようにです。
じぶんで発音できれば、耳で聞いて意味をとりやすくなります。
プリントは採点して返却しますので、疑問点があれば授業時に質問して下さい。歓迎します。

【学生が準備すべき機器他】
特に指定しない。ただし、辞書は必ず携行してください（通信機器は使用しないでください）。

【その他の重要事項】
授業時は必ず辞書を携行すること。
提出物の累計が平常点となるので、欠席しないよう注意してください。

【Outline and objectives】
Try to accustomed to each part of TOEIC questions and to the speed of announcement. You can download listening file on the publisher's website. Please get well-prepared for the class.

LANe200LA

英語検定試験対策Ⅱ

2017 年度以降入学者

久慈　美貴

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
音の脱落・連結音など聞き取りにくい音になじみ、より正確に設問の意図をつかむよう練習したい。
必要に応じて文法プリントや追加の reading 問題を配布し、リーディングの基礎を固めていきたい。

【到達目標】
とくに Part III のように会話の流れと設問が前後するような問題でも、聞きながら情報を整理して、回答できるようにする。
Reading part では、設問から記事のポイントを押さえて、重要点を探せるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
テキスト各ユニットの重要単語を使ったボキャブラリークイズ、リスニングパートのディクテーションなど聞き取り練習（毎回、次の回のスクリプトを配布するので予習してほしい）、テキストのリスニングおよびリーディングパートで使われた文法の復習クイズなどを毎回提出してもらい、平常点とします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	U.1 Restaurant	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。動詞の時制に注意する。
2	U.2 Department Store	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。自動詞と他動詞の使い方に注意。
3	U.3 Train Station	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。主語と動詞の呼応に注意する。idiom review プリントを配布。
4	U.4 Transportation	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。動名詞を目的語にとる動詞に注意。review プリントを提出する。
5	U.5 Post Office	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。不定詞の使い方を復習する。
6	U.6 Bank	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。副詞の使い方に注意する。
7	U.7 Airport	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。分詞の用法を復習する。
8	U.8 Hotel	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。可算名詞と不可算名詞に注意する。

9	U.9 Hospital	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。代名詞の使い方に注意する。idiom review プリントを配布。
10	U.10 Events and Performance	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。接続詞の意味に注意する。review プリントを提出する。
11	U.11 College	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。受動態と使役文の受動態に注意する。
12	U.12 Office / U.13 Business Trip	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。関係詞と形容詞に注意する。idiom review プリントを配布。
13	U.14 Sightseeing	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。前置詞の意味と使い方に注意する。review プリントを提出する。
14	Review of Autumn Term	学期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の予習・復習時間は併せて 1 時間を標準とする。毎回ボキャブラリークイズを行い、テキストの解答も提出してもらいます。事前にテキストの問題にしっかり目を通し、難解な語彙・語法をチェックしておいて下さい。また listening part のスクリプトを配布しますので、出版社のホームページから音声ファイルをダウンロードして、予習に役立ててください。また、テキストの問題に使われている熟語を復習する idiom review のプリント・文法問題のプリントを宿題として配布し、提出してもらいます。（これらも評価点に含まれます。）

【テキスト（教科書）】
All-Round Training for the TOEIC L&R Test (成美堂 2200 円)

【参考書】
特に指定しない

【成績評価の方法と基準】
授業時の提出物 80 %、期末試験 20 %として評価する。
提出物には各ユニットのボキャブラリークイズ、テキスト問題の解答、宿題として idiom review のプリント、文法問題のプリントなどが含まれる。
平常の提出物の評価割合が大きいので、欠席しないよう気をつけましょう。3 回以上欠席した場合、評価の対象としません。

【学生の意見等からの気づき】
授業内でできるだけ多くの問題をこなしてもらいたいと考え、補助プリントを配布していますが、やや急ぎすぎて、もうすこし基本的な説明が必要かと考えています。
Listening part の予習の際、何度も繰り返して聞く、スクリプトを参考にして音読する、という練習が必要だと思います。（聞き取るためには発音練習が必要です。）
また、Reading part、特に part VII では速読が必要になりますが、予習の際にはきちんと文を読み込む、できれば音読する、という準備が必要ではないかと思います。

【学生が準備すべき機器他】
とくに使用しない。ただし、リスニングパートの音声は各自ダウンロードまたはストリーミング配信を利用して、予習に使用してください。授業時には CD で音声を流しますので、スマートフォン等の通信機器は使用しないでください。

【その他の重要事項】
授業時は辞書を携行してください。
毎回授業の最初にボキャブラリークイズを行います。提出物の点数が平常点となるので、遅刻しないよう注意してください。
遅刻した場合、回数に応じて欠席にカウントされます。

【Outline and objectives】
In questions of Part III, the questions do not necessarily come to the order of the topic in the conversation. You have to get the information while listening and check up the choices on the page. Please listen to the listening file repeatedly and get accutomed to the reduction of pronunciation.

LANe200LA

英語検定試験対策 I

2017 年度以降入学者

飛田　英伸

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
TOEIC Listening & Reading Test においてリスニング 275 点以上、リーディング 325 点以上（合計 600 点以上）を獲得できるレベルを目標に、発話や文章の要点を把握する力の向上を図る。

【到達目標】
・英語で何が話されているか、あるいは何が書かれているかをできるだけ早く把握できるようになる。
・発話を聞きながら、あるいは文章を読みながら、話の流れを推測することができるようになる。
・発話や文章の要点を見つけることができるようになる。
・発話の要点をつかむのに必要となる基礎的なリスニング能力を習得する。
・発話や文章の要点をつかむのに必要となる基本的な語彙や文法を習得する。
・ビジネスで使われるような単語や表現を覚える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
【重要】春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は【4 月 27 日】とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。
ユニット 1 つにつき、2 回の授業を充てる。1 回目の授業の最初に、単語（教科書の Vocabulary Check）の小テストを行う。また、2 回目の授業の最初に、リスニングの確認（穴埋め）テストを行う。
各授業の最後にリアクションペーパーを配布し、授業でわからなかったことを書いてもらう。次の回の授業でそれに応じた補足をする。
1 回目の授業ではリスニング問題を扱い、2 回目の授業ではリーディング問題を扱う。授業中に教科書の問題を解き、解答のポイントを解説する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の内容・進め方についての説明
2	Unit 1: Restaurant	単語テスト、Listening section 演習・解説
3	Unit 1: Restaurant	リスニング確認テスト、Reading section 演習・解説
4	Unit 2: Department Store	単語テスト、Listening section 演習・解説
5	Unit 2: Department Store	リスニング確認テスト、Reading section 演習・解説
6	Unit 3: Train Station	単語テスト、Listening section 演習・解説
7	Unit 3: Train Station	リスニング確認テスト、Reading section 演習・解説
8	Unit 4: Transportation	単語テスト、Listening section 演習・解説

9	Unit 4: Transportation	リスニング確認テスト、Reading section 演習・解説
10	Unit 5: Post Office	単語テスト、Listening section 演習・解説
11	Unit 5: Post Office	リスニング確認テスト、Reading section 演習・解説
12	Unit 6: Bank	単語テスト、Listening section 演習・解説
13	Unit 6: Bank	リスニング確認テスト、Reading section 演習・解説
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
［予習］教科書の Vocabulary Check を解く。次回の授業で小テストを行う。
［復習］リスニング音声を聞き、重要な箇所を聞き取れるようにしておく。次回の授業で確認（穴埋め）テストを行う。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TESt（石井隆之ほか、成美堂、2020 年、2200 円＋税）

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
【重要】春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
本年度からの担当であるため、フィードバックはありません。

【学生が準備すべき機器他】
辞書（電子辞書可）

【その他の重要事項】
リスニングの音声の視聴方法については、教科書を参照のこと。また、第 1 回の授業の際に説明する。

【Outline and objectives】
Students will improve their skills to grasp the key points of the topics spoken or written in English, which will enable them to achieve scores higher than 275 in listening, 325 in reading, and 600 in total.

LANe200LA

英語検定試験対策Ⅱ

2017 年度以降入学者

飛田　英伸

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
TOEIC Listening & Reading Test においてリスニング 275 点以上、リーディング 325 点以上（合計 600 点以上）を獲得できるレベルを目標に、発話や文章の要点を把握する力の向上を図る。

【到達目標】
・英語で何が話されているか、あるいは何が書かれているかをできるだけ早く把握できるようになる。
・発話を聞きながら、あるいは文章を読みながら、話の流れを推測することができるようになる。
・発話や文章の要点を見つけることができるようになる。
・発話の要点をつかむのに必要となる基礎的なリスニング能力を習得する。
・発話や文章の要点をつかむのに必要となる基本的な語彙や文法を習得する。
・ビジネスで使われるような単語や表現を覚える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
ユニット 1 つにつき、2 回の授業を充てる。1 回目の授業の最初に、単語（教科書の Vocabulary Check）の小テストを行う。また、2 回目の授業の最初に、リスニングの確認（穴埋め）テストを行う。
各授業の最後にリアクションペーパーを配布し、授業でわからなかったことを書いてもらう。次の回の授業でそれに応じた補足をする。
1 回目の授業ではリスニング問題を扱い、2 回目の授業ではリーディング問題を扱う。授業中に教科書の問題を解き、解答のポイントを解説する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の内容・進め方についての説明
2	Unit 7: Airport	単語テスト、Listening section 演習・解説
3	Unit 7: Airport	リスニング確認テスト、Reading section 演習・解説
4	Unit 8: Hotel	単語テスト、Listening section 演習・解説
5	Unit 8: Hotel	リスニング確認テスト、Reading section 演習・解説
6	Unit 9: Hospital	単語テスト、Listening section 演習・解説
7	Unit 9: Hospital	リスニング確認テスト、Reading section 演習・解説
8	Unit 10: Events and Performances	単語テスト、Listening section 演習・解説
9	Unit 10: Events and Performances	リスニング確認テスト、Reading section 演習・解説
10	Unit 11: College	単語テスト、Listening section 演習・解説

11	Unit 11: College	リスニング確認テスト、Reading section 演習・解説
12	Unit 12: Office	単語テスト、Listening section 演習・解説
13	Unit 12: Office	リスニング確認テスト、Reading section 演習・解説
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
［予習］教科書の Vocabulary Check を解く。次回の授業で小テストを行う。
［復習］リスニング音声を聞き、重要な箇所を聞き取れるようにしておく。次回の授業で確認（穴埋め）テストを行う。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST（石井隆之ほか、成美堂、2020 年、2200 円＋税）

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
平常点（単語テスト、リスニング確認テスト、受講態度）40%
期末試験 60%
欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位取得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
本年度からの担当であるため、フィードバックはありません。

【学生が準備すべき機器他】
辞書（電子辞書可）

【その他の重要事項】
リスニングの音声の視聴方法については、教科書を参照のこと。また、第 1 回の授業の際に説明する。

【Outline and objectives】
Students will improve their skills to grasp the key points of the topics spoken or written in English, which will enable them to achieve scores higher than 275 in listening, 325 in reading, and 600 in total.

LANe200LA

英語検定試験対策 I

2017 年度以降入学者

野崎　将俊

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
TOEIC の概要を知り、問題形式に慣れる。TOEIC 全パートの問題演習を通じて英語の基礎力向上を目指す。

【到達目標】
TOEIC に特有のトピックを知る。ボキャブラリーを増やす。ナチュラルスピードの英語に慣れる。文法問題に強くなる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
4 月 24 日（金）2 時限目　午前 10 時 40 分をめどに学習支援システムの、この授業のページを見て下さい。方針の説明や受講者の選抜などについてお知らせします。以下の対面授業での進め方については保留とします。
教科書の問題演習および解答と解説。解答根拠をグループやペアで話し合い発表してもらう。各ユニット終了毎に TOEIC 形式のレビュークイズを実施する。学期末には TOEIC 形式のミニテストを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	About the TOEIC test	TOEIC テストについて
2	Companies and Organizations Section A	会社組織に関する語彙を習得する 弱母音について学ぶ
3	Companies and Organizations Section B	会社組織について説明する
4	Review Quiz 1 Work Routines Section A	Unit 1 レビュークイズ 会社の仕事に関する語彙を習得する
5	Work Routines Section B	強勢について学ぶ 仕事内容について説明する
6	Review Quiz 2 Travel and Entertainment Section A	Unit 2 レビュークイズ 旅行や出張に関する語彙を習得する
7	Travel and Entertainment Section B	音のリンクについて学ぶ 旅行の手続きについて説明する
8	Review Quiz 3 Human Resources Section A	Unit 3 レビュークイズ 雇用や人材についての語彙を習得する
9	Human Resources Section B	音の消失について学ぶ 就職面接のシミュレーション
10	Review Quiz 4 Manufacturing Section A	Unit 4 レビュークイズ 生産や品質管理についての語彙を習得する
11	Manufacturing Section B	混合音について学ぶ 製造プランについて考える
12	Review Quiz 5	Unit 5 レビュークイズ

13	Post Test	TOEIC 形式の実践問題に取り組む
14	Review	全体の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストの演習問題に解答する。予習 1 時間、復習 1 時間とする。

【テキスト（教科書）】
New TOEIC Skills 1. Alastair Graham-Marr et al. ABAX ELT Publishers.2016 年。2,695 円。

【参考書】
テキスト記載のウェブサイトから音声をダウンロード。

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインで開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
ペアワークに割く時間を増やしたい。文法事項などを体系的に説明したい。

【学生が準備すべき機器他】
授業支援システムから資料を適宜ダウンロード。

【Outline and objectives】
This is an introductory course of the TOEIC Listening and Reading test. It aims to help students acquire basic skills that are essential for the TOEIC test.

LANe200LA

英語検定試験対策Ⅱ

2017 年度以降入学者

野崎　将俊

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
TOEIC 各パートの有効な解答方法を知る。問題演習を通じて英語の基礎力向上を目指し、さらにスコアアップにつなげる。

【到達目標】
TOEIC に特有のトピックを知り、ボキャブラリーを増やす。ナチュラルスピードの英語を正確に聞き取る。文法問題に強くなる。リーディングのスピードを上げる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
教科書の問題演習および解答と解説。解答根拠をグループやペアで話し合い発表してもらう。各ユニット終了毎に TOEIC 形式のレビュークイズを実施する。学期末には TOEIC 形式のミニテストを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction Mini Quiz	イントロダクション ミニクイズ
2	Office Technology Section A	IT やオフィス機器に関する語彙を習得する 強勢について学ぶ
3	Office Technology Section B	IT 機器について説明する
4	Review Quiz 1 Purchasing Section A	Unit 6 レビュークイズ 購入、注文、配送に関する語彙を習得する
5	Purchasing Section B	音のリンクについて学ぶ 仕入れについて説明する
6	Review Quiz 2 Health Care Section A	Unit 7 レビュークイズ 保険や診療に関する語彙を習得する
7	Health Care Section B	音の消失について学ぶ 健康問題について説明する
8	Review Quiz 3 Housing and Property Section A	Unit 8 レビュークイズ ビル管理についての語彙を習得する
9	Housing and Property Section B	弱母音について学ぶ 周辺地域の説明
10	Review Quiz 4 Banking and Finance Section A	Unit 9 レビュークイズ 経理や金融についての語彙を習得する
11	Banking and Finance Section B	音のリンクと消失について学ぶ お金の管理の説明
12	Review Quiz 5	Unit 10 レビュークイズ
13	Post Test	TOEIC 形式の実践問題に取り組む
14	Review	全体の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストの演習問題に解答する。予習 1 時間、復習 1 時間とする。

【テキスト（教科書）】
New TOEIC Skills 1. Alastair Graham-Marr et al. ABAX ELT Publishers.2016 年。2,695 円。

【参考書】
テキスト記載のウェブサイトから音声をダウンロード。

【成績評価の方法と基準】
出席を含む平常点３０％、レビュークイズ４０％、ポストテスト３０％とし、６０点以上を合格とする。欠席が４回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
ペアワークに割く時間を増やしたい。文法事項などを体系的に説明したい。

【学生が準備すべき機器他】
授業支援システムから資料を適宜ダウンロード。

【Outline and objectives】
This is an introductory course of the TOEIC Listening and Reading test. It aims to help students acquire basic skills that are essential for the TOEIC test.

LANe200LA

英語検定試験対策Ⅰ

2017 年度以降入学者

高橋　佳江

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木 3**/Thu.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
TOEIC(R)650 点を目標として、文法事項、リスニングを中心として学んでいく。従って、予習することが前提となるが、復習に重点を置いてもらいたい。特に、リスニングは毎日自宅学習すること。自分で勉強計画を立て、成果がわかるよう、最低 1 回は受験して、勉強計画を修正する。また、その結果をレポートにまとめる。そのためには、できれば通年受講が望ましい。
この授業を受講する学生は、必ず第一回目の授業に出席すること。

【到達目標】
大学生の TOEIC(R) 全国平均（400 点台後半）以上の点を最低取れるようにして、実際に 500 点台の英単語を書けるようにしていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
毎回自発的に発言してもらい、また、こちらからも、適宜、発表を求める。従って、毎回必ず予習することを前提として、復習に重点をおいてもらいたい。教科書のほかに辞書（電子辞書可）、授業用ノートを必ず持ってくること。また、授業用ノートのほかに、自宅学習用の単語帳、練習帳を用意すること。
※初回授業は 4 月 23 日です。
クラスの定員（およそ 30 名）以上になる場合は受講の必要度を考慮して選抜することがあります。
双方向の授業が可能になるまで、各自課題に取り組んでください。
NHK ラジオ第 2 放送で放送中の
1. 『英会話タイムトライアル』（月～金）を聴いて口頭練習する
2. 『入門ビジネス英語』（月・火）を聴いてキーフレーズを書き取る
それぞれ聞き取ったフレーズを書いて提出してください。
ラジオのほか、スマホアプリ「らじる・らじる」で視聴可能

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の進み方を詳しく説明していく
2	文法説明 第１課	TOEIC(R) で必要とする基礎的文法の説明
3	第１課 レストラン	リスニング レストランでの会話
4	第 1 課 レストラン	リーディング 動詞の時制
5	第 2 課 デパート	第 1 課小テスト リスニング デパートでの会話
6	第 2 課 デパート	リーディング 自動詞と他動詞
7	第 3 課 駅	第 2 課小テスト リスニング 駅での会話
8	第３課 駅	リーディング 主語と時制の一致

9	第４課 交通機関	第 3 課小テスト リスニング 電車・バスなどでの会話
10	第４課 交通機関	リーディング 動名詞
11	第５課 郵便局	第 4 課小テスト リスニング 郵便局での会話
12	第５課 郵便局	リーディング 不定詞
13	第６課 銀行	第 5 課小テスト リスニング 銀行での会話
14	授業時試験	授業で学んだことを試験する。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
リスニング（教科書付属の CD その他）
自分で単語帳を作って英単語を覚える

【テキスト（教科書）】
All-Round Training For The TOEIC L&R TEST　成美堂　2200 円
ISBN978-4-7919-7213-5

【参考書】
学校語彙で学ぶ TOEIC テスト [単語集]
成美堂（1700 円）

【成績評価の方法と基準】
期末試験　80 %　小テスト　10 %　レポート課題･発言点　10 %。欠席する場合は、必ず諸届けを提出すること。遅刻は 3 回で欠席 1 回に換算される。各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。
※今年は異例の授業設定ですので、教室での授業が行われない場合は、4 回以上の課題提出の合算にて評価します。
平常授業が行われる場合は、シラバスに記入されている方法にて評価を行う予定です。

【学生の意見等からの気づき】
体調不良のことがあり、声が聞こえにくいことがあるのを改善していきたい。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to acquire the reading and listening skils for the TOEIC L&R Test. Students will learn the basic knowledge of vocabulary and grammar which is necessary for the TOEIC TEST.

LANe200LA

英語検定試験対策Ⅱ

2017 年度以降入学者

高橋　佳江

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
TOEIC(R)650 点を目標として、文法事項、リスニングを中心として学んでいく。従って、予習することが前提となるが、復習に重点を置いてもらいたい。特に、リスニングは毎日自宅学習すること。自分で勉強計画を立て、成果がわかるよう、最低 1 回は受験して、勉強計画を修正する。また、その結果をレポートにまとめる。そのためには、できれば通年受講が望ましい。
この授業を受講する学生は、必ず第一回目の授業に出席すること。

【到達目標】
大学生の TOEIC(R) 全国平均（400 点台後半）以上の点を最低取れるようにして、実際に 500 点台の英単語を書けるようにしていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
毎回自発的に発言してもらい、また、こちらからも、適宜、発表を求める。従って、毎回必ず予習することを前提として、復習に重点をおいてもらいたい。教科書のほかに辞書（電子辞書可）、授業用ノートを必ず持ってくること。また、授業用ノートのほかに、自宅学習用の単語帳、練習帳を用意すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	春学期に引き続き授業を進めていく
2	第７課 空港	リスニング 空港での会話
3	第７課 空港	リーディング 分詞
4	第８課 ホテル	第７課小テスト リスニング ホテルでの会話
5	第８課 ホテル	リーディング 名詞の可算・不可算
6	第９課 病院	第８課小テスト リスニング 病院での会話
7	第９課 病院	リーディング 代名詞
8	第 10 課 イベント	第９課小テスト リスニング 様々なイベントでの会話
9	第 10 課 イベント	リーディング 接続詞と接続副詞
10	第 11 課 大学	第 10 課小テスト リスニング 大学での会話
11	第 11 課 大学	リーディング 受動態と使役

12	第 12 課 オフィス	第 11 課小テスト リスニング 職場での会話
13	第 12 課 オフィス	リーディング 形容詞
14	授業時試験	授業で学んだことを試験する。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
リスニング（教科書付属の CD その他）
自分で単語帳を作って英単語を覚える

【テキスト（教科書）】
All-Round Training For The TOEIC L&R TEST　成美堂　2200 円
ISBN978-4-7919-7213-5

【参考書】
学校語彙で学ぶ TOEIC テスト [単語集]
成美堂（1700 円）

【成績評価の方法と基準】
期末試験　80 %・小テスト・レポート課題　10 %・平常点 10 %。欠席する場合は、必ず諸届けを提出すること。遅刻は 3 回で欠席 1 回に換算される。各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
体調不良のことがあり、声が聞こえにくいことがあるのを改善していきたい。

【その他の重要事項】
秋学期のみ登録予定の学生も、教科書は春学期に購入すること

【Outline and objectives】
The aim of this course is to acquire the reading and listening skils for the TOEIC L&R Test. Students will learn the basic knowledge of vocabulary and grammar which is necessary for the TOEIC TEST.

LANe200LA

Oral Communication Ⅰ

2017 年度以降入学者

板橋　美也

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
環 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
英語で会話を続けられるようになろう

【到達目標】
この授業は、英語の文法を知っていても実際の会話でそれを十分活かすことができなかったり語彙数が少なかったりするために、英語での会話が長続きしない、という問題を克服し、初歩的な文型や語彙を用いながら英語での会話を続けるための様々な方法を習得することを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
教科書や様々なアクティビティを通して、英語での会話を円滑に進めるための方法を学びます。また、クラスメート同士の友好な関係の中で臆せず会話をすることができるように、ペア・ワークやグループ・ワークを通して英語を話す機会を設けます。その際、様々な相手と会話ができるように配慮して、毎回教員がペアやグループを指定します。
この授業は 5 月 8 日に開始します。オンライン化に伴う授業の進め方などの変更については、この日までに学習支援システム上でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス・教科書 Unit 1: Tell me more!	授業の進め方についての説明。会話で質問を受けたときに Yes. や No. の一言だけで終わらせないようにするための練習をします。
第 2 回	教科書 Unit 2: Ask for more!	相手の発言に対し、さらに質問をして会話を続ける練習をします。
第 3 回	教科書 Unit3: Give me a sign!	相手の発言に対する様々な相づちの表現を練習します。
第 4 回	補足教材	受講者の様子を見ながら適した補足教材を選び、会話に不可欠な聴き取り能力と発音の改善をめざします。
第 5 回	教科書 Unit 5: Are you with me?	相手の発言に賛成・反対の意向を示す練習をします。
第 6 回	教科書 Unit 6: How sure are you?	発言内容の確信度を示す様々な表現の練習をします。
第 7 回	補足教材	受講者の様子を見ながら適した補足教材を選び、会話に不可欠な聴き取り能力と発音の改善をめざします。
第 8 回	教科書 Unit 8: In other words	自分または相手が知らない単語を別の単語で置きかえて話す練習をします。
第 9 回	教科書 Unit 9: Making it up!	使いたい語を知らない、または忘れてしまったときに、知っている言葉を用いて造語することで伝える練習をします。

第 10 回	補足教材	受講者の様子を見ながら適した補足教材を選び、会話に不可欠な聴き取り能力と発音の改善をめざします。
第 11 回	教科書 Unit 10: Describe it!	伝えたい語を知らないときに、複数のフレーズを用いて説明する練習をします。
第 12 回	教科書 Unit 11: Say it another way	伝えたい内容が相手に伝わらなかったときに、別の文で伝える練習をします。
第 13 回	まとめ	1 学期間を通して学んだ内容を、アクティビティーなどを通しておさらいします。
第 14 回	期末試験	授業でおぼえた表現方法を用いた試験を行います。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業で覚えた表現方法を毎回よく復習して、次回以降の授業でも活かすことができるようにしましょう。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Tell Me More! (Macmillan Languagehouse)

【参考書】
必要に応じて指示します。

【成績評価の方法と基準】
授業への取り組みの積極度 (50%) と期末試験 (50%) から総合的に評価します。欠席 4 回で単位取得資格を失いますが、その回数に至らなくても、欠席回数が多くなればその分授業への取り組みの評価に影響します。期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】
英語を楽しんでいただけて、うれしいです。

【Outline and objectives】
Learning English language skills to keep a conversation going

LANe200LA

Oral Communication Ⅱ

2017 年度以降入学者

板橋　美也

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
環 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
英語で語ることができるようになろう

【到達目標】
私たちは日常生活で知らず知らずのうちに、自分の経験したこと、見たこと、聞いたことについて、様々な「お話」を語っていますが、同じことを英語でできたら楽しいと思いませんか。この授業は、初歩的な文型や語彙を用いながら英語で「お話」を語るための様々な方法を習得することを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
教科書や様々なアクティビティを通して、自分の経験したこと、見たこと、聞いたことについて英語で話す方法を学びます。また、クラスメート同士の友好な関係の中で臆せず会話をすることができるように、ペア・ワークを通して英語を話す機会を設けます。その際、様々な相手と会話ができるように配慮して、毎回教員がペアを指定します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス・教科書 Unit 1: Talking about movies	授業の進め方についての説明。自分が観た映画のあらすじについて話す練習をします。
第 2 回	教科書 Unit 2: My little accident	自分の遭遇したアクシデントについて話す練習をします。
第 3 回	教科書 Unit3: I was so embarrassed	ある出来事について自分がどのように感じたのかを話す練習をします。
第 4 回	補足教材	受講者の様子を見ながら適した補足教材を選び、会話に不可欠な聴き取り能力と発音の改善をめざします。
第 5 回	教科書 Unit 4: It made me feel so good	楽しかった出来事について話す練習をします。
第 6 回	教科書 Unit 5: That must have been disappointing	相手の話に関心を持っていることを示す相づちの練習をします。
第 7 回	教科書 Unit 6: I know what you mean	相手の話にコメントをしたり自分の話を付け加えたりする練習をします。
第 8 回	補足教材	受講者の様子を見ながら適した補足教材を選び、会話に不可欠な聴き取り能力と発音の改善をめざします。
第 9 回	教科書 Unit 7: The day everything went wrong	良くないことが次から次へと起こった経験について話す練習をします。
第 10 回	教科書 Unit 8: We used to have so much fun	子供時代の出来事について話す練習をします。

第 11 回	教科書 Unit 9: She's a brave girl, isn't she?	身の回りの人たちについて話す練習をします。
第 12 回	教科書 Unit 10: Oh, talking about …	会話に何か話をつけ足したり、知らない単語を説明したりする練習をします。
第 13 回	まとめ	1 学期間を通して学んだ内容を、アクティビティーなどを通しておさらいします。
第 14 回	期末試験	授業でおぼえた表現方法を用いた試験を行います。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎週、指定されたテーマ（自分の様々な経験について）で、簡単な作文を英語で書いてきてください。その作文の内容が、その週のレッスンで会話をする際の材料になります。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Tell Me Your Stories (Macmillan Languagehouse)

【参考書】
必要に応じて指示します。

【成績評価の方法と基準】
授業への取り組みの積極度 (50%) と期末試験 (50%) から総合的に評価します。欠席 4 回で単位取得資格を失いますが、その回数に至らなくても、欠席回数が多くなればその分授業への取り組みの評価に影響します。期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】
英語を楽しんでいただけて、うれしいです。

【その他の重要事項】
前学期の「Oral Communication I」を取っていなくても受講可能です。

【Outline and objectives】
Learning English language skills to tell stories about yourself

LANe200LA

Oral Communication Ⅰ

2017 年度以降入学者

ロバート・G・ジェイムズ

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**土** 1/Sat.1
単位数：**1 単位**
環 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
To promote the development of communication skills in English

【到達目標】
To promote the ability of students to interact in English and discuss a wide range of non-specialists topics as they relate to their own experience and opinions.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
Lessons are topic-based. Each week students will work in groups and pairs to share experiences and opinions about a topic introduced by the teacher. Later they will develop a group response to a challenge about the topic.
First class will be a Skype-based meeting on April 25th, starting 8.50. See HOPPII for details.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introduction	Description of the course. Mini-lesson or placement test depending on student numbers.
Lesson 2	Family	Discuss family, family life and family members. Task: Pros and cons of living alone
Lesson 3	Friends	Discuss friends from different stages of life. Task: Assessing friendship
Lesson 4	House and Home	Discuss houses, homes and locations. Task: Deciding on a place for a permanent home.
Lesson 5	Transportation	Discuss travel and transport for work and leisure Task: Assessing Japanese public transport.
Lesson 6	Restaurants	Discuss places to eat, drink and menus. Task: Assess Japanese restaurant conditions and services.
Lesson 7	Mid-term review	Prepare a speech describing your personal lifestyle
Lesson 8	Mid-term test	Present your speech to students and teacher.
Lesson 9	School life	Discuss student lifestyles and study Task: Assessing a university curriculum

Lesson 10	Media and reading	Discuss a variety of on-online or paper reading material. Task: Assessing new sources of reading material.
Lesson 11	Fashion	Discuss personal tastes in clothes and fashion Task: Assess the role and usefulness of uniforms
Lesson 12	Sports	Discuss various sports and exercise, leisure or entertainment Task: Assess the relationship of sports and lifestyle.
Lesson 13	Vacations	Discuss memorable vacations. Task: Exploring ideal vacation places and activities.
Lesson 14	Review and test preparation	Review recent topics and prepare 2nd test speech.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students should follow up lessons by compiling notes on each topic that expands on the new vocabulary and useful language they learned in each lesson.University guidelines suggest preparation and review are around 4
hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Handouts and reading materials will be provided by lecturer.

【参考書】
Any topic-based elementary conversational English textbook could be studied in conjunction with the course. For vocabulary study, consider a "smart" flashcard app such as "Anki" available for most desktop and mobile platforms.

【成績評価の方法と基準】
Grading based on 2 speeches
in-class perfomance : 40%
2 x Speech performance : 2 x 15% = 30%
2 x Speech content : 2 x 15% = 30%
Total 100%
Passing grades can only be gained by students whose attendance meets university requirements (ie, no more than 3 absences in the semester)

【学生の意見等からの気づき】
The topics discussed are a subset of many that could be used that reflect the interests of young people. Recent changes include discussion of online study material, particularly podcasts, the Olympics and comparisons of Eastern and Western culture.

【学生が準備すべき機器他】
None

【その他の重要事項】
Attendance is an important component of the course. Students who are busy with club activities or other weekend commitments should consider if they can attend all the classes. Those with good attendance should have no problem in successfully completing the course.

【Outline and objectives】
By the end of the course, students should be able to speak fairly fluently about themselves and their life as a student.

LANe200LA

Oral Communication Ⅱ

2017 年度以降入学者

ロバート・G・ジェイムズ

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**土** 1/Sat.1
単位数：**1 単位**
環 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
To develop Communication skills in English.

【到達目標】
To promote the ability of students to interact in English and discuss a wide range of non-specialists topics as they relate to their own experience and opinions.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
The course will continue with the same methodology as Oral Communication I: discussion in pairs and groups followed by a task-based activity. The topics explored will be somewhat more challenging.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introduction	Description of the course. Mini-lesson or placement test depending on student numbers.
Lesson 2	Movies	Discuss movie genres and favorite examples Task: Movie review.
Lesson 3	Jobs and work	Discuss careers, jobs and job hunting Task: Assessing criteria for choosing a company to work for.
Lesson 4	Money	Discuss personal uses of money and obtaining it Task: Assess different countries'approach to financing students
Lesson 5	Music	Discuss tastes in music and musical styles Task: Assessing music sources in the digital age.
Lesson 6	Holidays	Discuss national holidays and traditional celebrations Task: Exploring free time and how to use it.
Lesson 7	Mid-term review	Prepare a speech describing your personal lifestyle
Lesson 8	Mid-term Test	Present your speech to other students and teacher.
Lesson 9	The academic year	Discuss study schedules and time management Task: Pros and Cons of adopting international semester times.

Lesson 10	Traditional and virtual classrooms	Discuss what and how to study. Task: Pros and Cons of traditional school curriculum.
Lesson 11	Alternative energy.	Discuss traditional sources of energy and how they are used Task: Pros and Cons of new and alternative energy sources.
Lesson 12	Crime and safety	Discuss common types of crime in Japan and safety measures. Task: Discuss and decide on appropriate punishment for various crimes.
Lesson 13	Christmas	Discuss Christmas traditions in Japan and elsewhere Task: Selecting and justifying gifts and gift-giving.
Lesson 14	Review	Review second half of course, and prepare final speech.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students should follow up lessons by compiling notes on each topic that
expands on the new vocabulary and useful language they learned in each lesson. University guidelines suggest preparation and review are around 4
hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Handouts and reading materials will be provided by lecturer.

【参考書】
Any topic-based intermediate-level conversational English textbook could be studied in conjunction with the course. For vocabulary study, consider a "smart" flashcard app such as "Anki" available for most desktop and mobile platforms.

【成績評価の方法と基準】
Grading based on 2 speeches
in-class performance : 40%
2 x Speech performance : 2 x 15% = 30%
2 x Speech content : 2 x 15% = 30%
Total 100%
Passing grades can only be gained by students whose attendance meets university requirements (ie, no more than 3 absences in the semester)

【学生の意見等からの気づき】
The topics discussed are a subset of many that could be used that reflect the interests of young people. Recent changes include discussions of online learning and the virtual classroom, the Olympics and Eastern v Western culture.

【学生が準備すべき機器他】
None

【その他の重要事項】
Attendance is an important component of the course. Students who are busy with club activities or other weekend commitments should consider if they can attend all the classes. Those with good attendance should have no problem in successfully completing the course.

【Outline and objectives】
By the end of the course students should be able to speak in English fairly fluently about themselves, their life as a student and also on selected topics of current interest in the realm of society and culture.

LANe200LA
English through Movies and Drama Ⅰ
2017 年度以降入学者

平野井　ちえ子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火 4/Tue.4**
単位数：**1 単位**
環 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
A Flavor of English: Cinema and Cuisine は、映画の中の食文化について書かれたエッセイ集です。エッセイを精読し、storytelling の基礎力を養います。

【到達目標】
１．楽しみながら英語を読む習慣を身につけます。
２．映画の内容と食文化について理解を深めます。
２．語句や文法の知識を正確に身につけます。
３．自分が書いたり話したりするときのモデルとしてエッセイを活用します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
【重要】学習システム不具合のため、本講座の初回授業日を 4 月 27 日月曜日に変更しました。初回は、資料配信型の授業ですので、4 月 27 日以前にも、今後の学習支援システムの回復に合わせて、順次「お知らせ」「教材」「課題」「アンケート」などをアップロードしていきます。随時確認して履修判断の参考にしてください。第 2 回授業については、学習支援システムで確認してください。
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
１．単語や文法を確認しながら各課のエッセイを精読します。
２．エッセイの音読の練習をします。
３．語りの基礎練習をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション Chapter 1: *Kramer vs. Kramer* 『クレイマー、クレイマー』	授業の概要を説明します。(受講を希望する人は、必ず初回授業に出席してください。選抜を行う場合もあります。) Daddy's French Toast 時制について学ぶ
第 2 回	Chapter 2: *The Devil Wears Prada* 『プラダを着た悪魔』	New Yorkers' Street Food 比較について学ぶ
第 3 回	Chapter 3: *Super Size Me* 『スーパーサイズ・ミー』	Fast Food and Obesity 動名詞について学ぶ
第 4 回	Chapter 4: *Kamome Shokudo* 『かもめ食堂』	Japanese Cuisine in Finland 分詞について学ぶ
第 5 回	Chapter 5: *The Road Home* 『初恋のきた道』	A Lunchbox Filled with Love 代名詞について学ぶ
第 6 回	Chapter 6: *Notting Hill* 『ノッティングヒルの恋人』	The Last Brownie 仮定法について学ぶ
第 7 回	Chapter 7: *No Reservations* 『幸せのレシピ』	A Recipe for Happiness 接続詞について学ぶ

第 8 回	Chapter 8: *Dear Frankie* 『Dear フランキー』	Fish & Chips with Daddy 不定詞について学ぶ
第 9 回	Chapter 9: *Seabiscuit* 『シービスケット』	Hard to Bite, Hard to Ride 受動態について学ぶ
第 10 回	Chapter 10: *Charlie and the Chocolate Factory* 『チャーリーとチョコレート工場』	The Sweetest Treat 疑問詞について学ぶ
第 11 回	Chapter 11: *Everybody's Fine* 『みんな元気』	Coming Together for Christmas Turkey 前置詞について学ぶ
第 12 回	Chapter 12: *The Witch of the West Is Dead* 『西の魔女が死んだ』	Making Strawberry Jam with Grandma 使役動詞・知覚動詞について学ぶ
第 13 回	春学期末試験と復習	リスニングを含む筆記試験を行います。テストの前にポイント講義や復習を行います。
第 14 回	春学期授業の総括と秋学期授業の導入	期末試験を返却して徹底解説します。秋学期授業の予告と導入を行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テクストの essay reading と exercises は、予習を前提として授業を進めます。本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。各映画を自主的に鑑賞することが望ましいです。

【テキスト（教科書）】
A Flavor of English: Cinema and Cuisine (Asahi Press)

【参考書】
本橋哲也著『映画で入門カルチュラル・スタディーズ』（大修館書店）

【成績評価の方法と基準】
平常点（50 %）と期末試験（50 %）から総合的に評価します。合計 4 回以上の欠席があった場合、単位の取得はできません。

【学生の意見等からの気づき】
2019 年度は *Love Actually* の総合教材を使用しましたが、映画好きの受講者が多く、とても楽しみながら学んでいるようでした。教える方も楽しかったです。

【学生が準備すべき機器他】
CALL 教室での授業です。

【その他の重要事項】
CALL 教室では飲食厳禁です。皆で利用する機器や教材を大切に扱ってください。

【Outline and objectives】
You will be expected to read intensively essays in *A Flavor of English: Cinema and Cuisine* as a basis for storytelling.

LANe200LA

English through Movies and Drama Ⅱ

2017 年度以降入学者

平野井　ちえ子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火 4/Tue.4**
単位数：**1 単位**
環 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Notting Hill により口語表現を学びます。この作品は軽い恋愛映画ですが（だからこそ）、日常会話に応用し易い比較的平易な表現を豊富に含んでいます。また、映画の台詞からイギリス英語とアメリカ英語の違いも学びます。

【到達目標】
1．口語表現に親しみ、応用できるよう習得する。
2．Authentic な英語に対するリスニング力を向上させる。
3．シナリオを読むことに慣れる。
4．場面や人物について、英語で描写できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
このテキストの各ユニットは、プレタスク（語句や表現の予備知識を習得する）、聴き取り、表現練習、イギリス英語とアメリカ英語の比較、映画本編のスクリプト等から構成されています。プレタスク、聴き取り、表現練習などのタスクから取り組み、映画のスクリプトを理解・活用できるよう学習します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	授業の概要を説明します。受講を希望する人は、最初の授業に必ず出席してください。選抜を行う可能性もあります。
第 2 回	Unit 1: William's Notting Hill & 'She'	テキストのプレタスク → 聴き取り → 表現練習 → イギリス英語とアメリカ英語の比較 → シナリオリーディングと映像理解。
第 3 回	Unit 2: Surreal, But Nice	テキストのプレタスク → 聴き取り → 表現練習 → イギリス英語とアメリカ英語の比較 → シナリオリーディングと映像理解。
第 4 回	Unit 3: A Goddess Is A Movie Star	テキストのプレタスク → 聴き取り → 表現練習 → イギリス英語とアメリカ英語の比較 → シナリオリーディングと映像理解。
第 5 回	Unit 4: Birthday Party	テキストのプレタスク → 聴き取り → 表現練習 → イギリス英語とアメリカ英語の比較 → シナリオリーディングと映像理解。
第 6 回	Unit 5: A Date with Anna	テキストのプレタスク → 聴き取り → 表現練習 → イギリス英語とアメリカ英語の比較 → シナリオリーディングと映像理解。
第 7 回	Unit 6: She's Gone	テキストのプレタスク → 聴き取り → 表現練習 → イギリス英語とアメリカ英語の比較 → シナリオリーディングと映像理解。

第 8 回	Unit 7: She's Back	テキストのプレタスク → 聴き取り → 表現練習 → イギリス英語とアメリカ英語の比較 → シナリオリーディングと映像理解。
第 9 回	Unit 8: Rude Awakening -Ain't No Sunshine	テキストのプレタスク → 聴き取り → 表現練習 → イギリス英語とアメリカ英語の比較 → シナリオリーディングと映像理解。
第 10 回	Unit 9: Like Me Again	テキストのプレタスク → 聴き取り → 表現練習 → イギリス英語とアメリカ英語の比較 → シナリオリーディングと映像理解。
第 11 回	Unit 10: The Right Decision -The Meaning of My Life Is She	テキストのプレタスク → 聴き取り → 表現練習 → イギリス英語とアメリカ英語の比較 → シナリオリーディングと映像理解。
第 12 回	Unit1～10 までの復習	とくに重要なところを復習・練習します。期末試験の勉強のしかたを説明します。
第 13 回	秋学期末試験と復習	リスニングを含む筆記試験を行います。試験の前に、ポイント講義や復習を行います。
第 14 回	復習	期末試験を返却して徹底解説します。英語学習に適した映画についての講義を行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストのタスクとシナリオリーディングは、予習を前提として授業を進めます。本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Notting Hill ー映画総合教材『ノッティング・ヒルの恋人』新装版（松柏社）旧版もあるので購入時は注意してください。

【参考書】
少し易しいですがノベライズ版があります。
Notting Hill(Penguin Readers)

【成績評価の方法と基準】
平常点（50%）と期末試験（50%）から総合的に評価します。合計 4 回以上の欠席があった場合、単位の取得はできません。

【学生の意見等からの気づき】
2019 年度は *Love Actually* を使用しましたが、映画好きの受講者が多く、教える方も楽しかったです。

【学生が準備すべき機器他】
CALL 教室での授業です。

【その他の重要事項】
CALL 教室では飲食厳禁です。皆で利用する機器や教材を大切に扱ってください。

【Outline and objectives】
You will be expected to learn colloquial expressions in the movie, *Notting Hill*. It is a romantic comedy and it contains a great variety of relatively plain English expressions which can be applied to everyday conversation in English. You can also learn differences between British English and American English.

LANe200LA
English through Movies and Drama Ⅰ

2017 年度以降入学者

舟橋　美香

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
環 2～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ヒュー・グラント主演のイギリスのコメディ映画『アバウト・ア・ボーイ』を見て、そのスクリプトと問題の載ったテキストを使い、映画を見てから、CD でスクリプトを聞き、テキストでスクリプトを読み、問題を解くことで、英語の表現を学び、語彙能力をアップし、リスニング能力の向上を目指す。

【到達目標】
映画を見て、英語特有の表現を学び、スクリプトの音源の CD を聞き、リスニング能力を向上させ、内容については、テキストで問題を解き、スクリプトを読むことで、理解を深めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
大学からの対面授業の許可がおりるまで、学習支援システムを通して授業を行います。5 月 11 日から授業を行います。春学期終わりまで対面授業ができない場合には、春学期全部が学習支援システムを通しての遠隔授業になる可能性もあります。教科書が手に入るまでの３回は、学習支援システムのネット上の教材を使って授業をします。４回目からは、教科書の英文を読み、各エクササイズに答えてもらいます。遠隔授業なので、映画を見せることはできません。Youtube で、一部、また、他のサイトで、映画全体を見てもらいます。各回確認のテストを確認のために行います。（４回目以降は Exercises の一部をテスト形式にします。）予習を前提にした授業を行う。「学習支援システム」に上がっている CD でエクササイズと映画のセリフの一部を聞き、教科書の問題を解き、スクリプトを読むことで、理解を深める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	学習支援システムにアップされている Youtube の予告編を見る。	予告編を何度も見て、どんな映画か想像する。テキストを買っておく。
2	学習支援システムにアップされている Youtube の画像を見る。	画像を見て、授業を行う。
3	学習支援システムにアップされている 映画を見る。	映画を見る。
4	Unit 1 A Boy and a Man 教科書があるという前提で授業する。	ふたりの男子。テキストの予習復習をする。
5	Unit 2 Will joins SPAT	ウィル SPAT に入会。テキストの予習復習をする。
6	Unit 3 You Need a Backup	支えが要るんだ。テキストの予習復習をする。
7	Unit 4 Will and Marcus Become Mates	ウィルとマーカスの奇妙な友情。テキストの予習復習をする。

8	Unit 5 Marcus's Fashion Makeover	マーカスを変身させよう。テキストの予習復習をする。
9	Unit 6 Will's First Real Christmas & Unit 7 The Boys Get Crushes	初めての本物のクリスマス。テキストの予習復習をする。&ふたりが同時に恋をした。テキストの予習復習をする。
10	Unit 8 Lies, Half-truths & Honesty &Unit 9 Marcus's Gift to Mum & Unit 10 No Man Is an Island	「ウソ」と「半端なホント」と「ホントのホント」。テキストの予習復習をする。&お母さんへの贈り物。テキストの予習復習をする。&人は孤島ではない。テキストの予習復習をする。
11	授業なし	授業なし
12	授業なし	授業なし
13	授業なし	授業なし
14	授業なし	授業なし

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。テキストの予習復習をする。予習として、テキストの問題を解き、辞書を引きながらスクリプトに目を通して、注を読んでおく。

【テキスト（教科書）】
Peter Hedges/ Chris Weitz & Paul Weitz, 神谷久美子、Kim R.Kanel 『About a Boy』松柏社

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
各時間の発表、授業への貢献度と最後のレポートを２０％、各時間のテストを８０％で採点する。各学期テスト、課題未提出が４回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
昨年度アンケートは実施してないので、アンケートは参考になりません。

【学生が準備すべき機器他】
辞書

【Outline and objectives】
Develop English skills through watching a film called About a Boy, and learn English expressions and what's going on in the film using its textbook.

LANe200LA
English through Movies and Drama Ⅱ
2017 年度以降入学者

舟橋　美香

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
環 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
マイク・ニューエル監督、ヒュー・グラント、アンディ・マクドーウェル主演のイギリスのラブコメディ映画『Four Wedding and a Funeral』を見て、そのスクリプトと問題の載ったテキストを使い、映画を見てから、テキストでスクリプトを読み、問題を解くことで、英語の表現を学び、語彙能力をアップし、リスニング能力の向上を目指す。

【到達目標】
映画を見て、英語特有の表現を学び、リスニング能力を向上させ、内容については、スクリプトを読み、テキストで問題を解くことで、理解を深めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
予習を前提にした授業を行う。各章のスクリプトと問題をあらかじめ予習している状態で、映画の一部を見て、テキストのスクリプトを読み、問題を解いて理解を深める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方と辞書の使い方の説明。テキストを買っておく。
2	Week 1 Prologue	Wedding 1 へ。テキストの予習復習をする。
3	Week 2 Reception	披露宴。テキストの予習復習をする。
4	Week 3 After the reception	披露宴後。テキストの予習復習をする。
5	Week 4 Wedding 2	２つ目の結婚式。テキストの予習復習をする。
6	Week 5 Reception	２つ目の結婚式の披露宴。テキストの予習復習をする。
7	Week 6 A Day Off	休日。テキストの予習復習をする。
8	Week 7 Wedding 3	３つ目の結婚式。テキストの予習復習をする。
9	Week 8 Funeral	葬式。テキストの予習復習をする。
10	Week 9 Wedding 4 (1)	４つ目の結婚式の前半。テキストの予習復習をする。
11	Week 10 Wedding 4 (2)	４つ目の結婚式の後半 & Epilogue。テキストの予習復習をする。
12	映画の前半を通しで見る	映画の前半を通しで見て復習する。テキストの予習復習をする。
13	映画の後半を通しで見る	映画の後半を通しで見て復習する。テキストの予習復習をする。
14	まとめ	まとめ。テキストの最初から最後まで復習しておく。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。テキストの予習復習をする。予習として、辞書を引きながら、テキストのスクリプトに目を通して、各課の問題を解いておく。

【テキスト（教科書）】
Richard Curtis ed. & notes by Tomoko Otani,『Four Wedding and a Funeral』松柏社

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
各時間の発表、授業への貢献度を２０％、学期末の試験を８０％で採点する。各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
昨年はアンケートを実施しておりませんので、アンケートは参考になりません。

【学生が準備すべき機器他】
辞書

【Outline and objectives】
Develop English skills through watching a film called Four Wedding and a Funeral, and learn English expressions and what's going on in the film using its textbook.

LANe200LA

TOEIC(R) Ⅰ

2017 年度以降入学者

平野井　ちえ子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**1 単位**
環 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「TOEIC ®って何？」という入門レベルの話題から出発しますが、秋学期授業終了時には、TOEIC ®で問われる分野知識・言語スキルを一通り網羅できるよう、春学期から出題内容・言語スキルを系統的に学んでいきます。

【到達目標】
TOEIC ®の概要を理解しスコアを伸ばすことが目的であることは言うまでもありませんが、その場限りの丸暗記や戦略本位の勉強でなく、いかに長期的視野に立って実用英語の力を養うか、を念頭に授業を運営していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
【重要】学習システム不具合のため、本講座の初回授業日を 4 月 27 日月曜日に変更しました。初回は、資料配信型の授業ですので、4 月 27 日以前にも、今後の学習支援システムの回復に合わせて、順次「お知らせ」「教材」「課題」「アンケート」などをアップロードしていきます。随時確認して履修判断の参考にしてください。第 2 回授業については、学習支援システムで確認してください。
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
主として、後述の core text に沿った授業ですが、単なる TOEIC ®形式の問題演習だけでなく、言語知識・スキルが定着しやすいよう、身近な英語リソースの紹介を行いながら、クラス授業を展開します。進度を見計らって、e-learning による個別問題演習や実践力を養う一斉小テストも行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	春学期・秋学期の概要とレベルの説明。
第 2 回	Unit 1: Travel（名詞を学ぶ）	テキストによる TOEIC ®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 3 回	Unit 2: Dining Out（形容詞を学ぶ）	テキストによる TOEIC ®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 4 回	Unit 3: Media（副詞を学ぶ）	テキストによる TOEIC ®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 5 回	Unit 4: Entertainment（時制を学ぶ）	テキストによる TOEIC ®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 6 回	Unit 1〜4	復習のためのクイズやタスクと問題演習
第 7 回	Unit 5: Purchasing（主語と動詞の一致を学ぶ）	テキストによる TOEIC ®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 8 回	Unit 6: Clients（能動態・受動態を学ぶ）	テキストによる TOEIC ®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。

第 9 回	Unit 7: Recruiting（動名詞・不定詞を学ぶ）	テキストによる TOEIC ®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 10 回	Unit 8: Personnel（現在分詞・過去分詞を学ぶ）	テキストによる TOEIC ®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 11 回	Unit 5～8	復習のためのクイズやタスクと問題演習
第 12 回	問題演習	e-learning による個別問題演習またはタイムキーピングのための小ペーパーテスト
第 13 回	春学期末テストと復習	１２回までの到達度を確認するため、リスニングを含めたペーパーテストを行います。テストの前にポイント講義や復習を行います。
第 14 回	春学期の総括	期末テストを返却して徹底解説します。秋学期授業の予告、夏季休暇中の勉強のしかたなどを説明します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
下記 Core text や関連配布プリントの予習を前提として授業を進めます。秋学期 12 月の TOEIC ®本試に向けて、各自自分の学習計画を立てるよう心掛けてください。本授業の準備・復習時間は、各１時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Score Booster for the TOEIC ® L&R Test Intermediate（金星堂）
そのほか、プリント教材

【参考書】
URL（例）
http://heathrow.com/
https://www.expedia.co.uk/
https://www.ox.ac.uk/gazette/ など。

【成績評価の方法と基準】
平常点（50%）と期末試験（50%）から総合的に評価します。合計 4 回以上の欠席があった場合、単位の取得はできません。

【学生の意見等からの気づき】
2019 年度は少人数だったこともあり、密度濃く授業を展開できました。

【学生が準備すべき機器他】
CALL 教室での授業です。

【その他の重要事項】
CALL 教室では飲食厳禁です。皆で利用する機器や教材を大切に扱ってください。

【Outline and objectives】
We will start with the introductory topic, 'What it is like the TOEIC ® test?' Our final goal for a series of 'TOEIC(R)I・II' is to acquire knowledge and skills required for improving TOEIC ® scores. We will learn such knowledge and skills systematically from the spring semester.

LANe200LA

TOEIC(R) Ⅱ

2017 年度以降入学者

平野井　ちえ子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**1 単位**
環 2～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期の学習を踏まえて、秋学期はとくにビジネスシーンを意識した内容に取り組みます。秋学期終了時には、TOEIC ®で問われる分野知識・言語スキルを一通り網羅できるよう、系統的に学んでいきます。

【到達目標】
TOEIC ®の概要を理解しスコアを伸ばすことが目的であることは言うまでもありませんが、その場限りの丸暗記や戦略本位の勉強でなく、いかに長期的視野に立って実用英語の力を養うか、を念頭に授業を運営していきます。12 月の TOEIC ®本試は全員に受験していただきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
主として、後述の core text に沿った授業ですが、単なる TOEIC ®形式の問題演習だけでなく、言語知識・スキルが定着しやすいよう、身近な英語リソースの紹介を行いながら、クラス授業を展開します。進度を見計らって、e-learning による個別問題演習や実践力を養う一斉小テストも行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	春学期の学習内容の復習、夏季休暇中の課題の確認、秋学期の学習計画の説明などを行います。
第 2 回	Unit 9: Advertising（代名詞を学ぶ）	テキストによる TOEIC ®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 3 回	Unit 10: Meetings（比較を学ぶ）	テキストによる TOEIC ®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 4 回	Unit 11: Finance（前置詞を学ぶ）	テキストによる TOEIC ®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 5 回	Unit 12: Offices（接続詞を学ぶ）	テキストによる TOEIC ®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 6 回	Unit9～12	復習のためのクイズやタスクと問題演習。
第 7 回	Unit 13: Daily Life（前置詞と接続詞の違いを学ぶ）	テキストによる TOEIC ®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 8 回	Unit 14: Sales & Marketing（関係代名詞を学ぶ）	テキストによる TOEIC ®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 9 回	Unit 15: Events（語彙の結びつきを学ぶ）	テキストによる TOEIC ®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 10 回	Unit13～15	復習のためのクイズやタスクと問題演習。
第 11 回	問題演習	e-learning による個別問題演習。

第 12 回	問題演習	タイムキーピングのための小ペーパーテストをたくさん行います。
第 13 回	秋学期末テストと復習	12 回までの到達度を確認するため、リスニングを含めたペーパーテストを行います。テストの前にポイント講義や復習を行います。
第 14 回	秋学期の総括	期末テストを返却して徹底解説します。12 月の TOEIC ® 本試スコアレポートの提出、今後の TOEIC ® 受験に関する学習アドバイスなどを行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
下記 Core text や関連配布プリントの予習を前提として授業を進めます。12 月の TOEIC ® 本試に向けて、各自自分の学習計画を立てるよう心掛けてください。本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Score Booster for the TOEIC ® L&R Test Intermediate（金星堂）
そのほか、プリント教材

【参考書】
『TOEIC ® テスト公式問題集 新形式問題対応編』(Educational Testing Service)
『TOEIC ® Test プラスマガジン』（リント）
URL（例）
http://heathrow.com/
https://www.expedia.co.uk/
https://www.ox.ac.uk/gazette/ など。

【成績評価の方法と基準】
平常点（40%）と期末試験（40%）と 12 月 TOEIC ® 本試のスコア（20%）から総合的に評価します。合計 4 回以上の欠席があった場合、単位の取得はできません。

【学生の意見等からの気づき】
2019 年度は少人数だったこともあり、密度濃く授業を展開できました。

【学生が準備すべき機器他】
CALL 教室での授業です。

【その他の重要事項】
CALL 教室では飲食厳禁です。皆で利用する機器や教材を大切に扱ってください。

【Outline and objectives】
Our final goal for a series of 'TOEIC(R)I・II' is to acquire knowledge and skills required for improving TOEIC ® scores. We will continue to learn such knowledge and skills systematically. Especially in the fall semester, we will focus on a variety of business situations.

LANe200LA

TOEIC(R) Ⅰ

2017 年度以降入学者

板橋　美也

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
環 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
TOEIC ® でリスニング力・読解力を向上させよう（1）

【到達目標】
TOEIC ® の出題形式に慣れながら英語のリスニング力と読解力を磨き、TOEIC ® スコア向上を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
1 週ごとにリスニングとリーディングのレッスンを交互に行います。教科書の問題演習と解説を行いながら、日本人が苦手とするリスニングのポイントや、読解に必要な文法事項の確認をします。同時に、TOEIC ® の傾向と対策をおさえていきます。
この授業は 5 月 8 日に開始します。オンライン化に伴う授業の進め方などの変更については、この日までに学習支援システム上でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の内容、進め方、TOEIC ® の概要
第 2 回	教科書 Lesson 1 Headhunting	「音の消失」を含む英語のリスニング練習（1）
第 3 回	教科書 Lesson 2 The Internet	動詞にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 4 回	教科書 Lesson 3 Weddings	「音の消失」を含む英語のリスニング練習（2）
第 5 回	教科書 Lesson 4 Corporate Culture	時制にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 6 回	教科書 Lesson 5 Music	応答の予測をしながらのリスニング練習
第 7 回	教科書 Lesson 6 Movies	形容詞にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 8 回	教科書 Lesson 7 Sightseeing	「音の同化」を含む英語のリスニング練習
第 9 回	教科書 Lesson 8 Recruiting	名詞にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 10 回	教科書 Lesson 9 Shopping	「音の短縮」を含む英語のリスニング練習
第 11 回	教科書 Lesson 10 Forecasts	分詞構文にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 12 回	教科書 Lesson 11 Customs	「音の連結」を含む英語のリスニング練習
第 13 回	教科書 Lesson 12 Crime	不定詞にまつわるにまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 14 回	期末試験	授業で勉強した内容に基づいた試験を行います。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎週、授業で学んだ内容をよく復習してください。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Navigator for the TOEIC ® Test （南雲堂）

【参考書】
必要に応じて指示します。

【成績評価の方法と基準】
授業への取り組みの積極度（50%）と期末試験（50%）から総合的に評価します。欠席 4 回で単位取得資格を失いますが、その回数に至らなくても、欠席回数が多くなればその分授業への取り組みの評価に影響します。期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】
時間配分に気を付けます。

【Outline and objectives】
Improving your listening and reading skills in English through preparing for TOEIC ® (1)

LANe200LA

TOEIC(R) Ⅱ

2017 年度以降入学者

板橋　美也

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
環 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
TOEIC ®でリスニング力・読解力を向上させよう（2）

【到達目標】
TOEIC ®の出題形式に慣れながら英語のリスニング力と読解力を磨き、TOEIC ®スコア向上を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
1 週ごとにリスニングとリーディングのレッスンを交互に行います。教科書の問題演習と解説を行いながら、日本人が苦手とするリスニングのポイントや、読解に必要な文法事項の確認をします。同時に、TOEIC ®の傾向と対策をおさえていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の内容、進め方、TOEIC ®の概要
第 2 回	教科書 Lesson 13 New Products	「音の連結」を含む英語のリスニング練習
第 3 回	教科書 Lesson 14 Global Matters	動名詞にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 4 回	教科書 Lesson 15 Health	「無声化する音」を含む英語のリスニング練習
第 5 回	教科書 Lesson 16 Parties	時制の一致や主語・動詞の一致にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 6 回	教科書 Lesson 17 Skiing	「有声化する音」を含む英語のリスニング練習
第 7 回	教科書 Lesson 18 Travel	関係詞にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 8 回	教科書 Lesson 19 Dating	「音の弱化」を含む英語のリスニング練習
第 9 回	教科書 Lesson 20 Hospitals	接続詞にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 10 回	教科書 Lesson 21 Advertising	音の弱形と強形に注意しながらのリスニング練習
第 11 回	教科書 Lesson 22 Opportunities	仮定法にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 12 回	教科書 Lesson 23 Employment	類音語に注意しながらのリスニング練習
第 13 回	教科書 Lesson 24 Banking / Finance	否定にまつわるにまつわる文法事項を確認しながら読解練習
第 14 回	期末試験	授業で勉強した内容に基づいた試験を行います。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎週、授業で学んだ内容をよく復習してください。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Navigator for the TOEIC ® Test （南雲堂）

【参考書】
必要に応じて指示します。

【成績評価の方法と基準】
授業への取り組みの積極度（50%）と期末試験（50%）から総合的に評価します。欠席 4 回で単位取得資格を失いますが、その回数に至らなくても、欠席回数が多くなればその分授業への取り組みの評価に影響します。期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】
時間配分に気を付けます。

【その他の重要事項】
前学期の「TOEIC I」を取っていなくても受講可能です。

【Outline and objectives】
Improving your listening and reading skills in English through preparing for TOEIC ® (2)

LANe200LA

英語検定試験対策 I

2017 年度以降入学者

青山　恵子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
環 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
このクラスでは英検, TOEFL, IELTS の３種類の英語検定試験内容の紹介と基本演習を行います。「スピーキング・リスニング・リーディング・ライティング」の４つの能力をバランス良く強化するために必要な技能を学びます。

【到達目標】
1 Be able to understand various kinds of texts with accuracy
2 Be able to understand main points of interview and lectures
3 Be able to talk about basic topics
4 Be able to write a multi-paragraphs essay with clear structure

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それに伴う各回の授業計画の変更については、学習支援システム (Hoppii) でその都度提示します。本授業の開始日は 5 月 4 日 (月）とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システム上に提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	Course Orientation	1 Self-introduction and explanation of the course 2 Clarifying objectives and goals
2 回	Introduction to STEP Eiken.	1 Explanation of the basic format of Eiken and practice 2 Listening practice 3 TED mini-presentation
3 回	Eiken practice	1 Practice to identify strength and weaknesses 2 Listening practice 3 Logical reading practice 4 TED mini-presentation
4 回	Eiken practice	1 Intensive listening practice 2 TED mini-presentation
5 回	Eiken practice	1 Learning basic writing structures and analyzing model essays 2 Writing a essay
6 回	Introduction to TOEFL TEST	1 Explanation of the basic format of TOEFL and practice 2 Listening practice 3 TED mini-presentation
7 回	TOEFL practice	1 Practice to identify strength and weaknesses 2 Listening practice 3 Logical reading practice 4 TED mini-presentation
8 回	TOEFL practice	1 Intensive listening practice 2 TED mini-presentation

9 回	TOEFL practice	1 Learning about TOEFL writing tasks 2 Intensive writing practice on task 1 3 Writing an essay
10 回	Introduction to IELTS TEST	1 Explanation of the basic format of IELTS and practice 2 Listening practice 3 TED mini-presentation
11 回	IELTS practice	1 Practice to identify strength and weaknesses 2 Listening practice 3 Logical reading practice 4 TED mini-presentation
12 回	IELTS practice	1 Learning IELTS Speaking Part 2 Intensive speaking practice 3 TED mini-presentation
13 回	IELTS practice	Intensive speaking practice
14 回	Review and Test	Review and test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします)
1 Weekly speaking home assignments (Online TED watching for mini-presentation)
2 Weekly reading or writing home assignments

【テキスト（教科書）】
Materials will be provided

【参考書】
You will be provided a list of references.

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講になったことに伴い、成績評価の方法と基準も変更します。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示します。

【学生の意見等からの気づき】
I'm going to increase speaking opportunities than before.

【学生が準備すべき機器他】
Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline and objectives】
The course is for students who would like to improve their English skills through preparation for STEP Eiken, TOEFL and IELTS tests. Students will practice logical reading, effective listening and speaking and well-organized writing skills.

LANe200LA

英語検定試験対策 Ⅱ

2017 年度以降入学者

青山　恵子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
環 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
このクラスでは英検, TOEFL, IELTS の 3 種類の英語検定試験内容 の紹介と基本演習を行います。「スピーキング・リスニング・リーディング・ライティング」の 4 つの能力をバランス良く強化するために必要な技能を学びます。

【到達目標】
1 Be able to understand various kinds of texts with accuracy
2 Be able to understand main points of interview and lectures
3 Be able to talk about basic topics
4 Be able to write a multi-paragraphs essay with clear structure

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
1. Clarifying objectives and goals（学習動機の明確化とゴール設定）
2. Explaining basic formats of three certificate tests and practicing (英検, TOEFL, IELTS テスト形式の紹介と実践練習）
3 TED mini-presentation (試聴してきた TED の内容についてのプレゼンテーション)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Course Orientation	1 Self-introduction and explanation of the course 2 Clarifying objectives and goals
2	Introduction to STEP Eiken.	1 Explanation of the basic format of Eiken and practice 2 Listening practice 3 TED mini-presentation
3	Eiken practice	1 Practice to identify strength and weaknesses 2 Listening practice 3 Logical reading practice 4 TED mini-presentation
4	Eiken practice	1 Intensive listening practice 2 TED mini-presentation
5	Eiken practice	1 Learning basic writing structures and analyzing model essays 2 Writing a essay
6	Introduction to TOEL TEST	1 Explanation of the basic format of TOEFL and practice 2 Listening practice 3 TED mini-presentation
7	TOEFL practice	1 Practice to identify strength and weaknesses 2 Listening practice 3 Logical reading practice 4 TED mini-presentation

8	TOEFL practice	1 Intensive listening practice 2 TED mini-presentation
9	TOEFL practice	1 Learning about TOEFL writing tasks 2 Intensive writing practice on task 1 3 Writing an essay
10	Introduction to IELTS TEST	1 Explanation of the basic format of IELTS and practice 2 Listening practice 3 TED mini-presentation
11	IELTS practice	1 Practice to identify strength and weaknesses 2 Listening practice 3 Logical reading practice 4 TED mini-presentation
12	IELTS practice	1 Learning IELTS Speaking Part 2 Intensive speaking practice 3 TED mini-presentation
13	IELTS practice	Intensive speaking practice
14	Review and Test	Review and test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします)
1 Weekly speaking home assignments (Online TED watching for mini-presentation)
2 Weekly reading or writing home assignments

【テキスト（教科書）】
Materials will be provided

【参考書】
You will be provided a list of references.

【成績評価の方法と基準】
Attendance and class participation (30%)
Home assignment (20%)
Final test (50%)
In principle, no more than 3 absences per semester are allowed (各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】
I'm going to keep opportunities for interactive communication.

【学生が準備すべき機器他】
Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline and objectives】
The course is for students who would like to improve their English skills through preparation for STEP Eiken, TOEFL and IELTS tests. Students will practice logical reading, effective listening and speaking and well-organized writing skills.

LANe200LA

Business Communication Ⅰ

2017 年度以降入学者

今井　澄子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
環 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
国際ビジネスで使われる英語を学ぶことで、人間関係、および、取引関係を築く上で必要とされるコミュニケーションの取り方を音声、文書の両面で習得する。

【到達目標】
英語で行われる国際ビジネス場面の話題について大まかな理解をもち、口頭および文書でコミュニケーションできるようにする。また、企業内の書類、商業通信文について英和ともに知識を習得し、英語でビジネスをする力を身に着ける。具体的には、基本的なビジネス英語の聴解や読解ができ、英語による口頭表現や E メール、英文レターなど自ら発信する文章を書くことができるようになる。これにより、TOEIC ® Listening/Reading のみならず、TOEIC ® Speaking/Writing にも対応できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は４月２３日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Academic English と Business English	Business Communication に必要な英語について概説する
第 2 回	Listening 1 TOEIC ® Listening Test	市場 TOEIC ®の Listening 問題
第 3 回	Listening 2 TOEIC ® Grammar 問題 1	信用照会先 文法問題を解きながらビジネス英語に慣れる 1（文法）
第 4 回	Listening 3 TOEIC ® Grammar 問題 2	業歴 文法問題を解きながらビジネス英語に慣れる 2（語彙）
第 5 回	Listening 4 TOEIC ® Reading 問題 1	取引 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 1（単一文書単語補充）
第 6 回	Listening 5 TOEIC ® Reading 問題 2	需要 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 2（単一文書読解）
第 7 回	Listening 6 TOEIC ® Reading 問題 3	取扱 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 3（複数文書の関連付け）
第 8 回	Listening 7 TOEIC ® Reading 問題 4	代理店 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 4（図表・伝票を含む複数文書）

第 9 回	Listening ８ 英文帳票作成	見積 Leave Request Domestic/Oversea Travel Form
第 10 回	Listening ９ 社内文書作成	オファー Interoffice Memo Notice
第 11 回	Listening １０ 社交文書作成１	値引 会合連絡への返信英文メール作成
第 12 回	英文電話メモ作成 社交文書作成２	英語電話の聴解と英語による伝言メモ作成 礼状、悔やみ状などの英文レター作成
第 13 回	就職活動文書作成	履歴書作成 応募カバーレター 紹介状・推薦状
第 14 回	期末試験	学習内容に関する筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
和訳担当を割り当てられたときは、必ず自宅で辞書を引くなどして準備する。授業では PC を使ってメールやレターのやりとりをするので、問題や添付ファイル等を受け取り、作業ができるメールアドレスが必要。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
TOEIC ®問題、Dictation 問題、英文レター・メール等の Writing 問題はプリントを使用する。英文伝票・貿易書類作成問題は実際の書式をもとに作成したオリジナル問題。

【参考書】
授業で Writing 例文集、貿易書類サンプル、各種英語文書解説など、必要なプリントを配布するため、特に参考書は指定しない。TOEIC ®や日商ビジネス英語検定試験の受験希望者には、別途参考文献を紹介する。国際ビジネスや貿易英語の基本文献についても、希望者に別途文献を紹介する。

【成績評価の方法と基準】
当面の間、オンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。
具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
ビジネス英語に慣れるために TOEIC ®問題のビジネスレターやメールをクラス全員で読むが、昨年から新聞記事や広告の長文は English1 の Reading で慣れているはずなので省き、後半の Letter やメールの Writing を増やした。また、TOEIC ® Listening の長文 announcement にある留守番電話の録音を聴く問題を使い、英語による伝言メモ作成を昨年初めて実施した。好評だったので、今年度も実施する。

【Outline and objectives】
This class develops communication skills in both spoken and written English needed to succeed in international business and enlarge knowledge of the international business world. At the beginning of every class, students take a short exam of dictation of English sentences frequently used in a business correspondence. There are twenty chapters and the chapter themes follow the real trading process such as Inquiry, Quotations, Offers, Discounts, Orders, Contracts, Opening L/C, Insurance, Shipment, Customs Clearance, Drafts, and so on, and students can have a knowledge of international business flow. Additionally, the main part of class has two phases: listening and reading of business related materials in TOEIC ®, and writing business letters and e-mails. The former activity enables students to imagine a business scene and know the basic format of various documents and English expression used in a business world, and based on these knowledge, they try the latter activity — business correspondence. Beginning from writing formats such as “Leave Request,” “Cash-advanced Request,” “Expense Report,” and documents used in import/export, the final step is writing a business letter with a company letterhead and sending/receiving a business e-mail. All these writings are proofread and returned to students.

LANe200LA

Business Communication Ⅱ

2017 年度以降入学者

今井　澄子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
環 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
国際ビジネスで使われる英語を学ぶことで、人間関係、および、取引関係を築く上で必要とされるコミュニケーションの取り方を音声、文書の両面で習得する。

【到達目標】
英語で行われる国際ビジネス場面の話題について大まかな理解をもち、口頭および文書でコミュニケーションできるようにする。また、企業内の書類、商業通信文について英和ともに知識を習得し、英語でビジネスをする力を身に着ける。具体的には、基本的なビジネス英語の聴解や読解ができ、英語による口頭表現や E メール、英文レターなど自ら発信する文章を書くことができるようになる。これにより、TOEIC ® Listening/Reading のみならず TOEIC ® Speaking/Writing にも対応できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
授業始めに商業英語短文の Dictation による Listening 小テストを毎回行う。メイン教材としては、まず TOEIC ®実問題によりビジネス英語に慣れ、その後にビジネス DVD 視聴、英文書類、E メール作成と添削指導を行う。なお、春学期とは別の問題を使って授業を進めるため、秋学期からの履修も可能で不利は一切ない。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Business English と TOEIC ®等各種資格試験	Business Communication に必要な英語と TOEIC ®、ビジネス英語検定試験等について解説する
第 2 回	Listening 1 TOEIC ® Listening Test	在庫 TOEIC ®の Listening 問題
第 3 回	Listening 2 TOEIC ® Grammar 問題 1	注文 文法問題を解きながらビジネス英語に慣れる 1(文法)
第 4 回	Listening 3 TOEIC ® Grammar 問題 2	契約 文法問題を解きながらビジネス英語に慣れる 2(語彙)
第 5 回	Listening 4 TOEIC ® Reading 問題 1	信用状 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 1(単一文書単語補充)
第 6 回	Listening 5 TOEIC ® Reading 問題 2	船腹 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 2(単一文書読解)
第 7 回	Listening 6 TOEIC ® Reading 問題 3	保険 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 3(複数文書の関連付け)
第 8 回	Listening 7 TOEIC ® Reading 問題 4	通関 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 4(図表・伝票を含む複数文書)

第 9 回	Listening ８ 英文帳票作成 1	船積 Cash Advanced Payment, Expense Report, Cash Payment Request
第 10 回	Listening ９ 英文帳票作成 2	出航 Receipt を使った経費申告
第 11 回	Listening １０ 貿易書類作成	値引 Packing List, Invoice
第 12 回	英語電話メモ作成１ 国際ビジネス文書１	英語電話の聴解と英語による伝言メモ作成１ ビジネス取引に関する英文メール作成
第 13 回	英語電話メモ作成２ 国際ビジネス文書２	英語電話の聴解と英語による伝言メモ作成２ ビジネス取引に関する英文レター作成
第 14 回	期末試験	学習内容に関する筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
和訳担当を割り当てられたときは、必ず自宅で辞書を引くなどして準備する。授業では PC を使ってメールやレターのやりとりをするので、問題や添付ファイル等を受け取り、作業ができるメールアドレスが必要。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
TOEIC ®問題、Dictation 問題、英文レター・メール等の Writing 問題はプリントを使用。英文伝票・貿易書類作成問題は実際の書式をもとに作成したオリジナル問題。

【参考書】
授業で Writing 例文集、貿易書類サンプル、各種英語文書解説など、必要なプリントを配布するため、特に参考書は指定しない。TOEIC ®や日商ビジネス英語検定試験の受験希望者には、別途参考文献を紹介する。国際ビジネスや貿易英語の基本文献についても、希望者に別途文献を紹介する。

【成績評価の方法と基準】
期末試験６０％、平常点４０％。平常点は授業参加度１０％、リスニング小テスト平均点１０％、課題等２０％を原則とする。よって、評価点は試験６０点、平常点４０点の合計１００点とし、６０％以上の得点で合格。授業始めのリスニング小テスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、小テストも０点となる。割り当てられた課題を遂行しない、担当のある日に無断欠席などは課題点がマイナスになり、たいへん不利になる。なお、欠席が 4 回以上になった者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
ビジネス英語に慣れるために TOEIC ®問題のビジネスレターやメールをクラス全員で読むが、昨年から新聞記事や広告の長文は English1 の Reading で慣れているはずなので省き、後半の Letter やメールの Writing を増やした。また、TOEIC ® Listening の長文 announcement にある留守番電話の録音を聴く問題を使い、英語による伝言メモ作成を昨年初めて実施した。好評だったので、今年度も実施する。

【Outline and objectives】
This class develops communication skills in both spoken and written English needed to succeed in international business and enlarge knowledge of the international business world. At the beginning of every class, students take a short exam of dictation of English sentences frequently used in a business correspondence. There are twenty chapters and the chapter themes follow the real trading process such as Inquiry, Quotations, Offers, Discounts, Orders, Contracts, Opening L/C, Insurance, Shipment, Customs Clearance, Drafts, and so on, and students can have a knowledge of international business flow. Additionally, the main part of class has two phases: listening and reading of business related materials in TOEIC ®, and writing business letters and e-mails. The former activity enables students to imagine a business scene and know the basic format of various documents and English expression used in a business world, and based on these knowledge, they try the latter activity — business correspondence. Beginning from writing formats such as “Leave Request,” “Cash-advanced Request,” “Expense Report,” and documents used in import/export, the final step is writing a business letter with a company letterhead and sending/receiving a business e-mail. All these writings are proofread and returned to students.

LANe200LA

ニュース英語 I

2017 年度以降入学者

塩谷　幸子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
環 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
世界を取り巻く様々な状況を英語で正確に理解して、それを批判的に読み解き、その上で自国の社会や文化についても客観的、多面的な視点で捉えることのできる教養豊かな国際人を養成する。

【到達目標】
ニュース英語を正確に読み取る力、聴き取る力を養う。そのために英文を意味の塊ごとに読み（チャンク・リーディング），ある一定の速度で安定的に読む訓練を行う。音声に合わせて聞き読みをしたり，音読やシャドーイングの練習も行う。基本文法や語彙の補強も行い、確実に読解力、リスニング力のレベルアップを図る。また、ニュース記事について自分の意見を平易な英語で書くことも到達目標の 1 つである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
授業は教科書を中心に進める。教科書は VOA(Voice of America) Learning English という英語学習者向けのニュース（通常より 3 割程度ゆっくりしたスピードの放送）からなる。これを聞いたり、読んだり、発話練習を行いながら、記事の内容を正確に理解した上で、自分の意見を伝える練習も行う。使用する CALL（コンピュータ支援の語学学習）教室の特性を活かして、様々な学習ツール（グループワーク機能、音声＆文字チャット、音声録音など）を利用しながらクラスメートと共に効率よく学習する。

——

春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それに伴う各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 5 月 11 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを学習支援システムで提示する。大学からのお知らせや授業支援からの連絡がメールで届くことを確認しておいてください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業方針の解説とプレテスト
第 2 回	Unit 2: Oceans to Hold More Plastic than Fish by 2050 (1)	“For Shadowing “ & “Listening comprehension”
第 3 回	Unit 2: Oceans to Hold More Plastic than Fish by 2050 (2)	“Fill-in-the-blank Quiz”, “Vocabulary”, & “Reading Comprehension”
第 4 回	Unit 3: Is Your Plan Sustainable? (1)	“For Shadowing “ & “Listening comprehension”
第 5 回	Unit 3: Is Your Plan Sustainable? (2)	“Fill-in-the-blank Quiz”, “Vocabulary”, & “Reading Comprehension”
第 6 回	Unit 1: Learning How to Ask Questions (1)	“For Shadowing “ & “Listening comprehension”
第 7 回	Unit 1: Learning How to Ask Questions (2)	“Fill-in-the-blank Quiz”, “Vocabulary”, & “Reading Comprehension”
第 8 回	Unit 5: Freedom House: Internet Continues to Become Less Free (1)	“For Shadowing “ & “Listening comprehension”
第 9 回	Unit 5: Freedom House: Internet Continues to Become Less Free (2)	“Fill-in-the-blank Quiz”, “Vocabulary”, & “Reading Comprehension”
第 10 回	Unit 6: New Drones Could Improve Weather Predictions (1)	“For Shadowing “ & “Listening comprehension”
第 11 回	Unit 6: New Drones Could Improve Weather Predictions (2)	“Fill-in-the-blank Quiz”, “Vocabulary”, & “Reading Comprehension”
第 12 回	Unit 7: Artificial Intelligence: Helpful and Dangerous (1)	“For Shadowing “ & “Listening comprehension”
第 13 回	Unit 7: Artificial Intelligence: Helpful and Dangerous (2)	“Fill-in-the-blank Quiz”, “Vocabulary”, & “Reading Comprehension” & 発表
第 14 回	期末試験（筆記）	まとめ & ポストテスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・教科書の予習や英文のチャンク分け、音読練習を続けることによって，自律的な学習習慣を身につけて欲しい。（90 分程度）
・ペア・ワークやグループ・ワークを頻繁に行う参加型の授業なので、予習を怠ると授業に参加できないばかりか、他の受講生にも迷惑がかかる。準備学習は授業参加の必須条件である。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 90 分程度を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Enhance your English Skills with Shadowing VOA Learning English（三修社, 2018）

【参考書】
Grammar in Use Intermediate, 3rd Edition (Cambridge U. P., 2010)
Practical English Usage (Oxford U. P., 2005)
その他の参考書や参考サイトについては授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンライン授業となったことに伴ない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。
今学期提出すべき 14 回分の課題のうち、4 回分を提出しなかった場合は、原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
少人数だったので一人一人の進捗状況を確認しながら授業を進めることができた。選択科目のため様々な英語習熟度の受講生が集まったが、互いに助け合いながら授業を受けている姿を垣間見ることができた。授業に取り入れた洋楽クイズは楽しく取り組んでいたようだった。

【学生が準備すべき機器他】
初回授業から学内ネットワークを利用するので、受講生は ID とパスワードを確認しておくこと。

【その他の重要事項】
コンピュータを利用して授業を行うが、機器類の使い方については授業時に詳しく説明するので、パソコン操作が苦手な学生でも問題なく受講できる。

【Outline and objectives】
The main focus of this class is to improve students' reading speed and accuracy through phrase reading and oral reading practice. This course will cover a wide range of significant issues confronting the world today. It expects students to gain an increased critical understanding of them in order to become responsible global citizens.
・Students will learn to read and listen efficiently.
・Students will develop critical and analytical reading and thinking skills.
・Students will acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English.

LANe200LA

ニュース英語Ⅱ

2017 年度以降入学者

塩谷　幸子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
環 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
世界を取り巻く様々な状況を英語で正確に理解して、それを批判的に読み解き、その上で自国の社会や文化についても客観的、多面的な視点で捉えることのできる教養豊かな国際人を養成する。

【到達目標】
ニュース英語を正確に読み取る力、聴き取る力を養う。そのために英文を意味の塊ごとに読み（チャンク・リーディング），ある一定の速度で安定的に読む訓練を行う。音声に合わせて聞き読みをしたり，音読やシャドーイングの練習も行う。基本文法や語彙の補強も行い、確実に読解力、リスニング力のレベルアップを図る。また、ニュース記事について自分の意見を平易な英語で書くことも到達目標の 1 つである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
授業は教科書を中心に進める。教科書は VOA(Voice of America) Learning English という英語学習者向けのニュース（通常より 3 割程度ゆっくりしたスピードの放送）からなる。これを聞いたり、読んだり、発話練習を行いながら、記事の内容を正確に理解した上で、自分の意見を伝える練習も行う。使用する CALL（コンピュータ支援の語学学習）教室の特性を活かして、様々な学習ツール（グループワーク機能、音声＆文字チャット、音声録音など）を利用しながらクラスメートと共に効率よく学習する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業方針の解説とプレテスト
第 2 回	Unit 10: Social Media Is Keeping Young Adults Awake (1)	"For Shadowing " & "Listening comprehension"
第 3 回	Unit 10: Social Media Is Keeping Young Adults Awake (2)	"Fill-in-the-blank Quiz", "Vocabulary", & "Reading Comprehension"
第 4 回	Unit 13: A Child's Growing Brain Needs Love as Much as Food (1)	"For Shadowing " & "Listening comprehension"
第 5 回	Unit 13: A Child's Growing Brain Needs Love as Much as Food (2)	"Fill-in-the-blank Quiz", "Vocabulary", & "Reading Comprehension"
第 6 回	Unit 18: WHO: 80% of Urban Residents Breathe Unsafe Air (1)	"For Shadowing " & "Listening comprehension"
第 7 回	Unit 18: WHO: 80% of Urban Residents Breathe Unsafe Air (2)	"Fill-in-the-blank Quiz", "Vocabulary", & "Reading Comprehension"

第 8 回	Unit 19: UN: World Temperatures Rising Faster than Predicted (1)	“For Shadowing “ & “Listening comprehension”
第 9 回	Unit 19: UN: World Temperatures Rising Faster than Predicted (2)	“Fill-in-the-blank Quiz”, “Vocabulary”, & “Reading Comprehension”
第 10 回	Unit 20: Twenty-one Percent of World’s Plants Could Disappear (1)	“For Shadowing “ & “Listening comprehension”
第 11 回	Unit 20: Twenty-one Percent of World’s Plants Could Disappear (2)	“Fill-in-the-blank Quiz”, “Vocabulary”, & “Reading Comprehension”
第 12 回	Unit 8: Will Robots Replace Humans in Food Industry? (1)	“For Shadowing “ & “Listening comprehension”
第 13 回	Unit 8: Will Robots Replace Humans in Food Industry? (2)	“Fill-in-the-blank Quiz”, “Vocabulary”, & “Reading Comprehension” & 発表
第 14 回	期末試験（筆記）	まとめ & ポストテスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・教科書の予習や英文のチャンク分け、音読練習を続けることによって，自律的な学習習慣を身につけて欲しい。（90 分程度）
・ペア・ワークやグループ・ワークを頻繁に行う参加型の授業なので、予習を怠ると授業に参加できないばかりか、他の受講生にも迷惑がかかる。準備学習は授業参加の必須条件である。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 90 分程度を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Enhance your English Skills with Shadowing VOA Learning English（三修社, 2018）

【参考書】
Grammar in Use Intermediate, 3rd Edition (Cambridge U. P., 2010)
Practical English Usage (Oxford U. P., 2005)
その他の参考書や参考サイトについては授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
期末試験（筆記）60 %＋発表 20 %＋提出課題 10 %＋平常点 10 % によって評価する。成績評価は 100 点満点とし、60 点以上を合格点とする。
欠席が 4 回以上になった場合は単位修得の資格を失う（ただし、忌引きや登校停止を必要とする流行性疾患は除く）。授業開始後 30 分以上の遅刻、および授業終了 30 分以前の早退は欠席とみなし、遅刻・早退 3 回で欠席 1 回の扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケートによると、授業内容に概ね理解と満足を得られたようである。選択科目なので様々な英語習熟度の受講生が集まったが、互いに助け合いながら授業を受けている姿を垣間見ることができた。毎週音声録音を行ったが、自分の音声を聞くことが発音の改善に役立ったとのコメントがあった。

【学生が準備すべき機器他】
初回授業から学内ネットワークを利用するので、受講生は ID とパスワードを確認しておくこと。

【その他の重要事項】
コンピュータを利用して授業を行うが、機器類の使い方については授業時に詳しく説明するので、パソコン操作が苦手な学生でも問題なく受講できる。

【Outline and objectives】
The main focus of this class is to improve students’ reading speed and accuracy through phrase reading and oral reading practice. This course will cover a wide range of significant issues confronting the world today. It expects students to gain an increased critical understanding of them in order to become responsible global citizens.
・Students will learn to read and listen efficiently.
・Students will develop critical and analytical reading and thinking skills.
・Students will acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English.

LANe200LA
Practical English（オーラル・コミュニケーション）A-Ⅰ
2017 年度以降入学者

リチャード　シーハン

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Develop practical communication skills to deal with everyday situations that may be encountered in an English-speaking environment.

【到達目標】
Develop the necessary oral and written communicative skills to deal with everyday situations students may encounter in an English-speaking environment.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Short lectures based on the textbook material in addition to group activities (discussions / presentations).

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
April 27	Online orientation	Hoppii site
May 4	Using online media	TED Talks
May 11	Identifying main ideas & details	Unit 1 Inferring word meaning from context Discussion of extreme sports
May 18	Building & supporting an argument	Unit 1 Supporting ideas with details & examples Discussing future goals
May 25	Asking initial and follow-up questions	Unit 2 Recognizing rhetorical questions Discussing identity theft
June 1	Asking & giving advice	Unit 2 Using modals of advice Discussing security tradeoffs
June 8	Building an argument	TED Talks AI argument
June 15	Agreeing & disagreeing	Unit 3 Speaking with confidence Discussing space exploration
June 22	Analyzing cause & effect	Unit 3 Making logical connections
June 29	Being persuasive	Unit 4 Using euphemisms
July 6	Presenting ideas	Unit 4 Understanding your audience
July 13	Final assignments due	Discussion of key takeaways from COVID-19 crisis

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
About one hour preparation time will be required each week in terms of reviewing the current unit and vocabulary and previewing the next unit.

【テキスト（教科書）】
Northstar 3 Listening & Speaking (4th edition)
by Helen Solorzano & Jennifer Schmidt
Pearson
ISBN: 978-0-13-404981-6

【参考書】
No references

【成績評価の方法と基準】
Participation 40%
Assignments 60%

【学生の意見等からの気づき】
None

【Outline and objectives】
Become more confident engaging in conversations and expressing opinions in English, both verbally and in written form.

LANe200LA

Practical English（オーラル・コミュニケーション）A-Ⅱ

2017 年度以降入学者

リチャード　シーハン

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Enhance students' ability to communicate their thoughts and opinions in a cross-cultural environment, both verbally and in writing.

【到達目標】
Develop the necessary oral and written communicative skills to deal with situations students may encounter while traveling or studying overseas in an English-speaking country.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Short lectures based on the textbook material in addition to group activities (discussions / presentations).

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
Sept 21	Course overview Student introductions	Student interviews (summer vacation)
Sept 28	Extending conversations	Unit 5 -Using follow-up questions -Job interview role play
Oct 5	Summarizing information	Unit 5 -Asking for clarification -Discussion of ideal work environment
Oct 12	Defending & supporting ideas	Unit 6 -Thinking in a linear fashion -Discussion of the pros & cons of tourism
Oct 19	Debating a position	Unit 6 -Prioritizing ideas -Discussion of key issues facing Japan
Oct 26	Debate preparation	-Revision of Article 9 -Encouraging more immigration
Nov 2	Debate present, challenge & defend	-Revision of Article 9 -Encouraging more immigration
Nov 9	TED Talks	Discussion of the pros & cons of AI
Nov 16	Changing conversational topics	Unit 7 -Recognizing & using conversational markers -Social event role play
Nov 30	Soliciting opinions	Unit 7 -Identifying reasons for a speaker's opinion -Open topic discussion
Dec 7	Interrupting politely	Unit 8 -Being assertive -Meeting role play
Dec 14	Leading a discussion	Unit 8 -Facilitating a meeting -Meeting role play
Dec 21	YouTube video	Discussion of climate change (fact or fiction)
Jan 18	Exam & Summary	Units 5-8

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
About one hour preparation time will be required each week in terms of reviewing the current unit and vocabulary and previewing the next unit.

【テキスト（教科書）】
NorthStar 3 Listening & Speaking (4th edition)
by Helen Solorzano & Jennifer Schmidt
Pearson Publishing
ISBN: 978-0-13-294040-5

【参考書】
None

【成績評価の方法と基準】
Participation 30%
Assignments 40%
Final exam 30%
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
None

【Outline and objectives】
Students will engage in a variety of communication tasks through group discussions and exercises with the aim of making their communication more logical and concise.

LANe200LA
Practical English（オーラル・コミュニケーション）B-Ⅰ

2017 年度以降入学者

リチャード　シーハン

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Develop practical communication skills to express opinions on a range of topics

【到達目標】
Become more confident engaging in conversations and expressing opinions on a range of topics.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
This class will incorporate short lectures / group discussions / role plays to allow students to express themselves more confidently.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
April 27	Class orientation	Hoppii website
May 4	Using online media	TED Talks
May 11	Making first impressions	Unit 1 Summarizing a lecture
May 18	Taking conversational turns	Unit 1 Making inferences
May 25	Talking about nutrition	Unit 2 Analyzing cause & effect
June 1	Conducting a survey	Unit 2 Using count & noncount nouns
June 8	Using online media	TED Talks (TBD)
June 15	Dealing with change	Unit 3 Giving reasons to support an idea
June 22	Predicting future trends	Unit 3 Using time markers
June 29	Promoting an idea	Unit 4 Advertising & buyer behavior
July 6	Using social media	Unit 4 Using context clues to understand meaning
July 13	Turn in final assignments	Discussion of key takeaways of COVID 19

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
About one hour preparation time each week will be required to review the current unit & vocabulary and preview the next unit.

【テキスト（教科書）】
Q Skills for Success 3 Listening & Speaking (3rd edition Oxford Press)
ISBN: 978-0-19-490515-2
by Miles Craven & Kristin Sherman
ISBN 978-0-19-490515-2

【参考書】
None

【成績評価の方法と基準】
Participation 40%
Assignments 60%
.

【学生の意見等からの気づき】
none

【学生が準備すべき機器他】
none

【その他の重要事項】
none

【Outline and objectives】
Develop practical communication skills to engage in conversations on a range of topics.

LANe200LA

Practical English（オーラル・コミュニケーション）B-Ⅱ

2017 年度以降入学者

リチャード　シーハン

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Develop practical communication skills to allow students to express opinions on a range of topics.

【到達目標】
Become more confident engaging in conversations and expressing opinions on a range of topics.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
This class will incorporate short lectures / group discussions / role plays to allow students to express themselves more confidently on a range of topics.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
Sept 21	Class overview / Student introductions	Find someone who exercise Student interviews
Sept 28	Business trends	Units 10 Pop-up stores Online shopping
Oct 5	Growing up	Unit 11 Online screen time Cooperative learning
Oct 12	Wealth & Giving	Unit 12 Growing income gaps Charitable giving
Oct 19	Animal emotion	Unit 13 Life after retirement Taking second chances
Oct 26	Space exploration	Unit 14 Dealing with the unexpected
Nov 2	Future trends	Unit 15 Making a reservation Asking for information
Nov 9	Individual speeches (prep & practice)	What makes you unique? or What makes Japan unique?
Nov 16	Individual speeches	What makes you unique? or What makes Japan unique?
Nov 30	Individual speeches	What makes you unique? or What makes Japan unique?
Dec 7	TED Talks	Future trends
Dec 14	Vocabulary development	News article summaries Word up activity
Dec 21	Review units 10-15	Practice key phrases & vocabulary
Jan 18	Exam & summary	Textbook units 10-15

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
About one hour preparation time each week will be required to review the current unit & vocabulary and preview the next unit.

【テキスト（教科書）】
Q Skills for Success 3 Listening & Speaking (3rd edition Oxford Press)
by Miles Craven & Kristin Sherman
ISBN 978-0-19-490515-2

【参考書】
None

【成績評価の方法と基準】
Participation 30%
Assignments 40%
Final exam 30%
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
none

【学生が準備すべき機器他】
none

【その他の重要事項】
none

【Outline and objectives】
Develop practical communication skills that will allow students to engage in conversations on a range of topics.

LANe200LA

English for Study Abroad Ⅰ

2017 年度以降入学者

高井　美紀子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火 4/Tue.4**
単位数：**1 単位**
キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、英語圏留学準備のための半期講座です。授業内容は、英語でのコミュニケーション能力の育成を目的としています。英語のコミュニケーションにおいては、難しい表現や単語は必要ありません。初級レベルの基本的な英語でも十分に自分を表現し、内容のある豊かなコミュニケーションをとることができます。しかし、そのためにはいくつかの段階をクリアする必要があります。それは、基本的な文法、語彙を理解し、練習したうえで、実際に使用して身に着けていくというステップです。
　本授業では、基本的な英語表現を用いたリスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの英語 4 技能の演習を通し、コミュニーケーションにつながる英語知識の定着を図ります。

【到達目標】
①学生は、高校までに習った英文法の知識をコミュニケーションの実践に向けて定着させる。
②学生は、簡単な E メールやブログの英文を読んで理解することができる。
③学生は、英語での日常会話を聞き取ることができる。
④学生は、英語で自己紹介や他己紹介をすることができる。
⑤学生は、自分の興味関心、予定や様々な身近な物事について英語で表現することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は、毎授業ごとにテキストの Unit を 2 つづつ進めます。やや速いペースですので、Grammar Focus の単元は家で予習をしてくることが前提になります。
授業はペアワーク、グループワークを中心に行います。
半期の授業を前半と後半に分け、前半の最後に中間テスト、後半の最後に期末テストを行います。
授業開始日は 4 月 28 日（火）です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
4 月 7 日	Introduction	授業の方針説明
4 月 14 日	Unit1; Hello, I'm Bill Unit 2; I was doing research	リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング
4 月 21 日	Unit 3; I'm going to visit Chicago Unit 4; I have been to Nara	リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング
4 月 28 日	Unit 5; I had never seen such a cute animal Unit 6; We should study very hard	リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング
5 月 12 日	Unit 7; Tomatoes are loved by many people	リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング
5 月 19 日	Review ①	Unit1〜7 までの復習
5 月 26 日	Midterm examination	Unit1〜7 までの理解度確認のための中間試験
6 月 2 日	Unit 8; I study to be an Interpreter Unit 9; I enjoy talking about "Blood Type"	リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング
6 月 9 日	Unit 10; The sleeping student is Mai Unit 11; I respect him because...	リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング
6 月 16 日	Unit 12; She likes letters more than Email Unit 13; Kyoto is the most famous city in Japan	リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング
6 月 23 日	Unit 14; I have a friend who lives in Australia Unit 15; Kota whose dream is to be a teacher	リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング
6 月 30 日	Review ②	Unit8〜15 までの復習
7 月 7 日	Final Examination	Unit8〜15 までの理解度確認のための期末試験
7 月 14 日	Concusion	試験返却、 授業の総まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4
　hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
テキストの各 Unit の Grammar Focus は、予習としてやってきてください。授業中に問題を解く時間はとりません。授業では答えのチェックのみします。

【テキスト（教科書）】
【教科書名】Let's Output in Basic English（アウトプットのための基本英語）
【著者】佐藤臨太郎
【出版社】金星堂
【出版年】2020 年

【参考書】
特に指定しません。

【成績評価の方法と基準】
中間テスト 30 %、期末テスト 30 %、平常点 40 %（授業内における発表等）で評価します。
欠席が 4 回以上になった者は原則として単位取得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
昨年の授業は洋画を題材にしたために、リスニングと文法中心となり、アウトプットの演習が若干不足してしまった。映画に興味のある学生は楽しめた半面、そうではない学生もいたので、今年はアウトプットにしっかり時間を割く予定です。そのために、授業はペアワーク、グループワークを中心に行い、家でできる作業はなるべく予習として出す予定です。

【その他の重要事項】
必ず電子辞書または本の辞書を持参すること。携帯電話は原則として授業中は使用しない。

【Outline and objectives】
This class is intended for preparation for SA. Students in this class will learn how to communicate in simple English. English communication dose not necesarrily need difficult words or expressions. We can make ourselves understood and achieve good communication with others using simple basic English. However, we have to clear some steps before we can acheve such good communication in English. These steps include understanding basic grammar and vocabulary, then exercising, and fainally using them in real communication.
In this class, students will acquire various skills required for English communication through exercising in listening, reading, writing, and speaking using basic expressions in English.

LANe200LA

English for Study Abroad Ⅱ

2017 年度以降入学者

西　あゆみ

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**1 単位**
キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、主として短期留学を検討している学生を対象とし、留学に必要な英語能力（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目指します。

【到達目標】
（1）英語圏の大学で必要とされるアカデミックライティングのルールを学び、実際にパラグラフや短いエッセイを書くことができる。
（2）アカデミックな内容の文章を必要に応じて速読・精読することができる。
（3）ペアやグループで自分の意見を口頭でわかりやすく説明することができる。
（4）様々な国の文化や自然環境といった多岐にわたるトピックを扱った動画を視聴し、大意をとることができる。
（5）新出語彙や表現の意味を自ら調べ、正しい文脈で使うことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
多様なトピックについての文章を読みます。まず大意を理解し、その後で文章の構造を分析し細かい議論を追うためのアクティビティを行います。その後リーディングの内容に関連するナショナル・ジオグラフィックの動画を視聴し、内容理解問題に取り組み、動画についての質問にペアで答えてもらいます。さらに、アカデミックライティングのルールを確認し、実際にパラグラフや短いエッセイを書きペアで推敲します。各章の新出語彙は予習課題として調べて提出してもらいます。
授業進度や学生の関心に応じて進め方は変更することがあります。
※初回授業は 5 月 7 日（木）です。授業開始前にオンライン環境についてのアンケートを授業支援システム上にアップロードしますので、期日までにご回答ください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンスとプレゼンテーション	授業計画の確認。留学先の紹介文と自己紹介文を英語で書く。
第 2 回	Chapter 1 Happiness	Chapter 1 のリーディング 1、ナショナル・ジオグラフィック動画のリスニング。
第 3 回	Chapter 1 Happiness	Chapter 1 のリーディング 2、パラグラフライティング。
第 4 回	Chapter 2 Inventive Solutions	Chapter 2 のリーディング 1、ナショナル・ジオグラフィック動画のリスニング。
第 5 回	Chapter 2 Inventive Solutions	Chapter 2 のリーディング 2、パラグラフライティング。
第 6 回	Chapter 3 Connected Lives	Chapter 3 のリーディング 1、ナショナル・ジオグラフィック動画のリスニング。
第 7 回	Chapter 3 Connected Lives	Chapter 3 のリーディング 2、パラグラフライティング。

第 8 回	Chapter 4 Saving Our Seas	Chapter 4 のリーディング１、ナショナル・ジオグラフィック動画のリスニング。
第 9 回	Chapter 4 Saving Our Seas	Chapter 4 のリーディング２、パラグラフライティング。
第 10 回	Chapter 5 Memory and Learning	Chapter 5 のリーディング１、ナショナル・ジオグラフィック動画のリスニング。
第 11 回	Chapter 5 Memory and Learning	Chapter 5 のリーディング２、パラグラフライティング。
第 12 回	Chapter 6 Animals and Medicine	Chapter 6 のリーディング１、ナショナル・ジオグラフィック動画のリスニング。
第 13 回	Chapter 6 Animals and Medicine	Chapter 6 のリーディング２、パラグラフライティング。
第 14 回	期末テスト	確認テストを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
準備学習：指定された新出語彙を調べ、提出する。
課題：授業内に取り組むライティング課題を推敲し完成させ、提出する。その他適宜授業内で指示します。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Pathways: Reading, Writing and Critical Thinking 2, Second edition, Laurie Blass and Mari Vargo, Cengage, 2018, 3,270 円

【参考書】
特に指定しませんが、必ず辞書を持参してください。

【成績評価の方法と基準】
平常点（積極的な授業参加や準備学習の提出状況）：３０％
課題：３０％
期末テスト：４０％
学期内の欠席が 4 回以上ある場合は、単位修得は認めません。
※オンライン授業への移行に伴い、評価方法が変更になる可能性があります。

【学生の意見等からの気づき】
本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【その他の重要事項】
授業内での携帯電話の利用は原則として認めません。

【Outline and objectives】
This class is a four-skill integrated course with a focus on academic reading and writing. The class is designed to prepare students who are planning to study abroad.

LANe200LA
Practical English（ビジネス・コミュニケーション）A- I

2017 年度以降入学者

戸嶋　まゆみ

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水 4/Wed.4**
単位数：**1 単位**
キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
実社会で用いられている英語を読んで理解し、発信できるようにすることが到達目標となります。とりわけ、インターネット時代に必要かつ基本的な知識を得られるような英文の接することが必要だと考えられます。本講義では、この目的にかなった教材を読んで理解し、アウトプットできるようにしていきます。また、グループ学習に慣れる練習をします。
授業は、４月２２日（水）からを予定しています。課題を出しますので、詳細は、Hoppi を見て下さい。

【到達目標】
大学生として抑えておきたいグローバルな知識を含んだ英文が理解できるような基礎力をつけることです。また、グループ学習に慣れることも目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
テキストを読み、書かれている英語を理解し、その英文について英語で説明し、意見を述べたり書いたりする作業が中心となります。また、自分の意見を英語で述べる練習もします。中盤以降は、グループで学習し、発表ができるように学んでいきます。授業時の指示は、状況に応じて、日本語と英語で行います。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
授業は、４月２２日（水）からを予定しています。課題を出しますので、詳細は、Hoppi を見て下さい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 講	ガイダンス	授業に関するガイダンス
第 2 講	発音ドリル	発音の確認
第 3 講	Forward	関連映画の観賞及び Forward 読み、内容の確認と発音練習を行います。
第 4 講	Adoption and early life	関連映画の観賞及び Adoption and early life を読み、内容の確認と発音練習を行います。
第 5 講	Stephen Wozniak	関連映画の観賞及び Stephen Wozniak を読み、内容の確認と発音練習を行います。
第 6 講	The Homebrew Computer Club	内容の理解、要約、意見のまとめ (1)
第 7 講	Setting up Apple	内容の理解、要約、意見のまとめ (2)
第 8 講	Culture Shock	内容の理解、要約、意見のまとめ グループ学習 1
第 9 講	What's NeXT?	内容の理解、要約、意見のまとめ グループ学習 2
第 10 講	テキストの復習	内容の理解、要約、意見のまとめ グループ学習 3

第 11 講	グループ学習のまとめとプレゼンテーション 1	グループ・プレゼンテーション 1
第 12 講	グループ学習のまとめとプレゼンテーション 2	グループ・プレゼンテーション 2
復習	全体の復習	全体の復習
総括	総括	全体の総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。予習及びグループ学習のための時間が必要です。具体的には、テキストを読んで、内容を日本語と英語でまとめておくことと、グループ発表のための計画をし、グループで集まり、発表の内容を考え、発表の練習をすることです。

【テキスト（教科書）】
英語で読むスティーブ・ジョブズ　トム・クリスティアン著　IBC パブリッシング株式会社　2012 年　ISBN 978-4-7946-0151-3

【参考書】
授業時に指示します。

【成績評価の方法と基準】
毎回の教場練習への参加程度 (10%)、プレゼンテーション (30%) と各種レポート等 (10%) 及び期末試験 (50%) を全て考慮し、評価します。各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めません。
本年度特殊事情により、前期の成績評価は、4 回以上の課題提出の見込みです。

【学生の意見等からの気づき】
プレゼンテーションは楽しいが準備が大変だったという意見があります。しかし、必ず人生において役に立ちます。一人一度以上はプレゼンテーションの機会を設けてありますので、ぜひみなさんには頑張っていただきたいと思っています。

【学生が準備すべき機器他】
毎回、テキスト、ノート、辞書類を持参して下さい。また、授業の進行に伴って、あらかじめ映画や動画の視聴を求められることがあります。内容については、教場指示とします。

【その他の重要事項】
1. 春学期、秋学期で連続して履修することが原則となります。Ⅱ（秋学期）のみを履修する場合でも、そのⅡに対応するⅠの科目の 4 月の春学期第 1 回目の授業に出席し、受講許可を得て 9 月に履修登録を行ってください。定員を超える場合、選抜を行うことがあります。その際には、春学期に受講許可を得た人を優先します。
2. 授業時以外の時間の学習が必要です。また、プレゼンテーションでは、グループ性と一人 1 分以上の英語を原稿なしで話すことが求められます。

【Outline and objectives】
The target of this course will be to improve students reading and outputting ability in English. Especially it is going to be essentially important for Japanese university students to strongly improve their English skills in order to successfully function in the future as the members of the society of the internet era. I hope that this course will help guide all of my class students to get used to joining in group working activities.

LANe200LA

Practical English（ビジネス・コミュニケーション）A-Ⅱ

2017 年度以降入学者

戸嶋　まゆみ

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水 4/Wed.4**
単位数：**1 単位**
キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
実社会で用いられている英語を読んで理解し、発信できるようにすることが到達目標となります。とりわけ、インターネット時代に必要かつ基本的な知識を得られるような英文の接することが必要だと考えられます。本講義では、この目的にかなった教材を読んで理解し、アウトプットできるようにしていきます。また、グループ学習に慣れる練習をします。

【到達目標】
大学生として抑えておきたいグローバルな知識を含んだ英文が理解できるような基礎力をつけることです。また、グループ学習に慣れることも目標とします。グループ・プレゼンテーションでは、英語で自分の意見を言えるようになることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
テキストを読み、書かれている英語を理解し、その英文について英語で説明し、意見を述べたり書いたりする作業が中心となります。また、自分の意見を英語で述べる練習もします。中盤以降は、グループで学習し、英語で発表ができるように学んでいきます。授業時の指示は、状況に応じて、日本語と英語で行います。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 講	ガイダンス	授業に関するガイダンス
第 2 講	夏休みの出来事を書く	夏休みの出来事をテンプレートを用いて書く
第 3 講	夏休みの予定を書く	夏休みの予定をテンプレートを用いて書く
第 4 講	Buying Pixar	内容の理解、要約、意見のまとめ
第 5 講	Jobs is Back	内容の理解、要約、意見のまとめ
第 6 講	The iMac	内容の理解、要約、意見のまとめ
第 7 講	The iTunes Store	内容の理解、要約、意見のまとめ
第 8 講	A completely New Design	内容の理解、要約、意見のまとめ グループ学習 1
第 9 講	The iPad	内容の理解、要約、意見のまとめ グループ学習 2
第 10 講	テキスト全体のチェック	内容の理解、要約、意見のまとめ グループ学習 3
第 11 講	グループ学習のまとめとプレゼンテーション 3	グループ・プレゼンテーション 3
第 12 講	グループ学習のまとめとプレゼンテーション 4	グループ・プレゼンテーション 4
復習	全体の復習	全体の復習
総括	総括	全体の総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。予習及びグループ学習のための時間が必要です。具体的には、テキストを読んで、内容を日本語と英語でまとめておくことと、グループ発表のための計画をし、グループで集まり、発表の内容を考え、発表の練習をすることです。

【テキスト（教科書）】
英語で読むスティーブ・ジョブス　トム・クリスティアン著　IBC パブリッシング株式会社　2012 年　ISBN 978-4-7946-0151-3

【参考書】
授業時に指示します。

【成績評価の方法と基準】
毎回の練習への参加程度 (10%)、プレゼンテーション (30%) と各種レポート等 (10%) 及び期末試験 (50%) を全て考慮し、評価します。各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】
プレゼンテーションの準備が負担となっていると言う意見が毎回ありますが、、必ず一度以上はプレゼンテーションの機会を設けてありますので、ぜひみなさんには頑張っていただきたいと思っています。

【学生が準備すべき機器他】
毎回、テキスト、ノート、辞書類を持参して下さい。また、授業の進行に伴って、あらかじめ映画や動画の視聴を求められることがあります。内容については、教場指示とします。

【その他の重要事項】
1, 春学期、秋学期で連続して履修することが原則となります。Ⅱ（秋学期）のみを履修する場合でも、そのⅡに対応するⅠの科目の 4 月の春学期第 1 回目の授業に出席し、受講許可を得て 9 月に履修登録を行ってください。定員を超える場合、選抜を行うことがあります。その際には、春学期に受講許可を得た人を優先します。
2. 授業時以外の時間の学習が必要です。

【Outline and objectives】
The target of this course will be to improve students reading and outputting ability in English. Especially it is going to be essentially important for Japanese university students to strongly improve their English skills in order to successfully function in the future as the members of the society of the internet era. I hope that this course will help guide all of my class students to get used to joining in group working activities.

LANe200LA
Practical English（ビジネス・コミュニケーション）B-Ⅰ
2017 年度以降入学者

クレッグ　ジョンストン

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
The goal of the course is to develop the student's English communication skills for a variety of situations encountered in business.

【到達目標】
This course aims to develop the student's vocabulary and ability to discuss key business concepts and engage in realistic problem solving discussions. Topics such as job seeking, selling, pricing, and insurance will be covered in the course. Special emphasis will be placed on vocabulary, listening and speaking skills. After group discussions, the students will be required write short memos or email messages to communicate what their groups have decided in written form.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
The first day of class will be held on April 23, 2020 via Zoom at the normal class time: 10:40 am. Please refer to the announcement on Hoppii for the URL and login details.
Students will study business communication skills and practice these by engaging in pair work, group work, and discussion/problem solving activities. Students will also present group discussion results in class. Some brief written assignments will also be given as homework as a follow up to the group discussions.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Course Intro & level check	Ice breakers and introduction to course; level assessment
Week 2	U8 Job Seeking	Starting a career; Word building; applying for jobs;
Week 3	U8 Job Seeking	explaining what to do; Using the imperative; Email Writing
Week 4	Case Discussion Choose most suitable job for applicant	Dilemma discussion(p74) Present group decision to class
Week 5	Unit 8 quiz U9 Selling	Promoting a product; a product launch; Modals of oblilgation; checking information
Week 6	U9 Selling	Giving advice; Making suggestions
Week 7	Case discussion(p82) How should Virgin Moblie choose student marketers?	Dilemma discussion(p82) Present group decision to class
Week 8	Unit 9 quiz U10 Price	Stating price trends; Pricing strategy; Present perfect vs simple past

Week 9	U10 price	Stating & describing trends; Explaining graphs; Synonyms and prefixes
Week 10	Case discussion(p92) Decide EU Airline stock investment strategy	Dilemma discussion(p92) Present group decision to class
Week 11	Unit 10 quiz U11 Insurance	Types of insurance; Insurance claims; fraud; word building; describing company structure
Week 12	U11 Insurance	Using the passive voice; Expressing arguments
Week 13	Case discussion(p100) Decide on a disagreement between customer and company	Dilemma discussion(p100) Present group decision to class
Week 14	Unit 11 quiz	Review of concepts & discussion of topics

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Homework assigned from textbook, Writing business correspondence such as email messages, reports of meetings and discussions; preparation for quizzes and presentations done in class.
Preparation and review are around an hour a week.

【テキスト（教科書）】
Intelligent Business Coursebook, Pre-Intermediate, Christine Johnson; Pearson/Longman
ISBN 0-582-84801-6

【参考書】
Intelligent Business Workbook, Pre-Intermediate, Christine Johnson; Pearson/Longman
ISBN- 0-582-84695-1
http://www.pearsonlongman.com/intelligent_business/
www.economist.com
http://www.better-english.com/vocabulary.htm

【成績評価の方法と基準】
Quizes 55%, Attendance & Participation 15%, Written assignments& homework 30%

【学生の意見等からの気づき】
Increased emphasis on accurate use of business terminology

【その他の重要事項】
80% attendance is required to pass the course. Students who miss more that 20% of class time will not be able to pass. Coming to class late will count against your attendance totals. This attendance policy will be explained on the first day of class. Students may take this course in either Spring semester, Fall semester, or both.
This course is suitable for students having a TOEIC score between 400 and 450.

【Outline and objectives】
For each topic covered, the students will learn the vocabulary and grammar to equip them to express their opinions, participate in short discussions, and write up typed summaries of their discussions in email messages or memos.

LANe200LA
Practical English（ビジネス・コミュニケーション）B-Ⅱ
2017 年度以降入学者

クレッグ　ジョンストン

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
The goal of the course is to develop the student's English communication skills for a variety of situations encountered in business.

【到達目標】
This course aims to develop the student's vocabulary and ability to discuss key business concepts and engage in realistic problem solving discussions. Topics such as service, productivity, creativity, and motivation will be covered in the course. Special emphasis will be placed on vocabulary, listening and speaking skills. After group discussions, the students will be required write short memos or email messages to communicate what their groups have decided in written form.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Students will study business communication skills and practice these by engaging in pair work, group work, and discussion/problem solving activities. Students will also present group discussion results in class. Some brief written assignments will also be given as homework as a follow up to the group discussions.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Course Intro & level check	Ice breakers and introduction to course; level assessment
Week 2	U12 Service	Comlaining ; Giving feedback; Dealing with complaints; collocations
Week 3	U12 Service	1st conditional; Stating future results; Dealing with problems
Week 4	Case discussion(p108) Decide how retail store can improve its service	Case discussion(p108) Present group decision to class
Week 5	Unit 12 quiz U13 Productivity	Increasing productivity; Just in time production; word families; adjectives & adverbs
Week 6	U13 Productivity	Using adverbs and adjectives correctly; Time management
Week 7	Case discussion(p118) What should company do about its productivity and low morale problem?	Case discussion(p118) Present group decision to class
Week 8	Unit 13 quiz U14 Creativitiy	Creative solutions to problems;Multi-part verbs; suffixes

Week 9	Unit 14 Creativity	2nd conditional; Offering solutions; Disagreeing
Week 10	Case discussion(p126) Decide what company shoul do about it's Mine	Case discussion(p126) Present group decision to class
Week 11	Unit 14 quiz U 15 Motivation	Management Styles; Multi part verbs; Personal qualities
Week 12	U 15 Motivation	Present perfect & Simple Past; Giving reasons
Week 13	Case discussion(p134) Should the company introduce hot-desking or keep individual work spaces	Case discussion(p134) Present group decision to class
Week 14	Unit 15 quiz	Review of concepts & discussion of topics

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Homework assigned from textbook, Writing business correspondence such as email messages, reports of meetings and discussions; preparation for quizzes and presentations done in class.
Preparation and review are around an hour a week.

【テキスト（教科書）】
Intelligent Business Coursebook Pre-Intermediate, Christine Johnson; Pearson/Longman
ISBN 0-582-84801-6

【参考書】
Intelligent Business Workbook Pre-Intermediate, Christine Johnson; Pearson/Longman
ISBN 0-582-84695-1
http://www.pearsonlongman.com/intelligent_business/
www.economist.com
http://www.better-english.com/vocabulary.htm

【成績評価の方法と基準】
Quizes 55%, Attendance & Participation 15%, Written Assignments & homework 30%

【学生の意見等からの気づき】
Increased emphasis on accurate usage of business terminology

【その他の重要事項】
80% attendance is required to pass the course. Students who miss more that 20% of class time will not be able to pass. Coming to class late will count against your attendance totals. This attendance policy will be explained on the first day of class. Students may take this course in either Spring semester, Fall semester, or both.
This course is suitable for students having a TOEIC score between 400 and 450.

【Outline and objectives】
For each topic covered, the students will learn the vocabulary and grammar to equip them to express their opinions, participate in short discussions, and write up typed summaries of their discussions in email messages or memos.

LANe200LA
Practical English（英語検定試験対策）A- I
2017 年度以降入学者

大和久　悌一郎

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
国際社会の中で、専門的な学問領域のみならず、一般的な時事問題・日常生活においても英語運用能力は、現在、重要になってきている。そうした社会の中で用いられている英語に対応するために必要な英語運用能力を図る基準の一つが TOEIC(R) のスコアであり、本授業ではいわゆる英語資格試験のスコアアップを目指して、語彙力や文法の理解をより確実に身につけるとともに、海外の社会のあり方についての理解も深めながら、英語運用能力の充実を図ることを目指したい。

【到達目標】
語彙力を増やし、社会問題や時事問題に関する英文に対応できるだけの読解力とリスニング能力を身につける。また日常生活の中でも必要とされる表現や文章を得ることで、英語によるコミュニケーション能力の向上をはかる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
本授業は、日常生活でもちいられている英語についてふれ、また試験対策のためのトレーニングを行うものです。初回から数回分は、英語のニュースサイトやユーチューブでの動画も含めた日常での英語にふれ、そのための資料を配布して、感想などをうかがいながら進めるつもりです。そのあとは、教科書を用いて練習問題に取り組みたいと思います。
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更の詳細については、学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日は 5 月 11 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示します。（4 月 15 日追記）
テキストを用いて、リーディング及びリスニングの練習をおこなう。テキスト 1 章分を、2 回の授業で扱うこととする。また補助資料として、適宜プリントで、時事問題やエッセイ、短編小説など、英語の新聞雑誌記事を読むこととする。毎回出欠の確認をする。授業にあたっては該当ページについての予習をおこなうこと。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の目的、方針、進め方について説明する。
2	Unit 1	Unit 1Daily Life［基本 5 文型］（精読、内容理解）
3	Unit 1	Unit 1Daily Life［基本 5 文型］（再読、リスニング、質疑応答）
4	Unit 2	Unit 2　Eating Out & Leisure Activities［品詞］（精読、内容理解）
5	Unit 2	Unit 2　Eating Out & Leisure Activities［品詞］（再読、リスニング、質疑応答）
6	Unit 3	Unit 3　Cooking & Purchasing［名詞・主語と動詞の一致］（精読、内容理解）

7	Unit 3	Unit 3　Cooking & Purchasing［名詞・主語と動詞の一致］（再読、リスニング、質疑応答）
8	Unit 4	Unit 4　Traffic & Travel［形容詞・副詞］（精読、内容理解）
9	Unit 4	Unit 4　Traffic & Travel［形容詞・副詞］（再読、リスニング、質疑応答）
10	Unit 5	Unit 5　Advertising & ICT［時制］（精読、内容理解）
11	Unit 5	Unit 5　Advertising & ICT［時制］（再読、リスニング、質疑応答）
12	Unit 6	Unit 6　Production & Logistics［接続詞・前置詞］（精読、内容理解）
13	Unit 6	Unit 6　Production & Logistics［接続詞・前置詞］（再読、リスニング、質疑応答）
14	Unit 7	Unit 7　Business & Economics［助動詞］（精読、内容理解）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
事前に該当ページについての予習をおこなうこと。また単語、熟語、慣例表現については復習しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
安丸雅子、砂川典子、秋好礼子、十時康、渡邉晶子、Andrew Zitzmann 著『TOEIC ®テスト コアをつかんで完全攻略』金星堂、2015 年

【参考書】
授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】
平常点（出席・予習・小テスト等）60%、期末試験 40%で評価します。30 分以上の遅刻は欠席とみなし、また 3 回の遅刻は 1 回の欠席とみなします。4 回以上の欠席者は成績評価の対象から外すので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【その他の重要事項】
春学期、秋学期で連続して履修することが原則となります。Ⅱ（秋学期）のみを履修する場合でも、そのⅡに対応するⅠの科目の 4 月の春学期第 1 回目の授業に出席し、受講許可を得て 9 月に履修登録を行ってください。定員を超える場合、選抜を行うことがあります。その際には、春学期に受講許可を得た人を優先します。

【Outline and objectives】
With reading, listening to text book, learning English grammar and words. First of all, I have set a goal of reading articles in English, not only in the classroom, but also in daily life. And toward this goal, I use educational textbook and handouts. As a procedure in one lesson, first, reading one chapter in the textbook, and in the rest of time, reading handouts for 15-30 minutes. Handouts including news stories, essays, and short fiction in newspapers and magazines. Topic is mainly on the current world news. And reading these hangouts, I encourage to read articles in English, not only in classroom but also everyday life.

LANe200LA
Practical English（英語検定試験対策）A-Ⅱ
2017 年度以降入学者

大和久　悌一郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
国際社会の中で、専門的な学問領域のみならず、一般的な時事問題・日常生活においても英語運用能力は、現在、重要になってきている。そうした社会の中で用いられている英語に対応するために必要な英語運用能力を図る基準の一つが TOEIC(R) のスコアであり、本授業ではいわゆる英語資格試験のスコアアップを目指して、語彙力や文法の理解をより確実に身につけるとともに、海外の社会のあり方についての理解も深めながら、英語運用能力の充実を図ることを目指したい。

【到達目標】
語彙力を増やし、社会問題や時事問題に関する英文に対応できるだけの読解力とリスニング能力を身につける。また日常生活の中でも必要とされる表現や文章を得ることで、英語によるコミュニケーション能力の向上をはかる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
テキストを用いて、リーディング及びリスニングの練習をおこなう。テキスト 1 章分を、2 回の授業で扱うこととする。また補助資料として、適宜プリントで、時事問題やエッセイ、短編小説など、英語の新聞雑誌記事を読むこととする。毎回出欠の確認をする。授業にあたっては該当ページについての予習をおこなうこと。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の目的、方針、進め方について説明する。
2	Unit 8	Unit 8 Employment & Personnel［受動態］（精読、リスニング、内容理解）
3	Unit 8	Unit 8 Employment & Personnel［受動態］（再読、質疑応答）
4	Unit 9	Unit 9 Office Work & Correspondence［分詞・分詞構文］（精読、リスニング、内容理解）
5	Unit 9	Unit 9 Office Work & Correspondence［分詞・分詞構文］（再読、質疑応答）
6	Unit 10	Unit 10 Health & the Environment［不定詞・動名詞］（精読、リスニング、内容理解）
7	Unit 10	Unit 10 Health & the Environment［不定詞・動名詞］（再読、質疑応答）
8	Unit 11	Unit 11Finance & Banking［代名詞・関係詞］（精読、リスニング、内容理解）
9	Unit 11	Unit 11Finance & Banking［代名詞・関係詞］（再読、質疑応答）

10	Unit 12	Unit 12 Law & Administration［比較構文］（精読、リスニング、内容理解）
11	Unit 12	Unit 12 Law & Administration［比較構文］（再読、質疑応答）
12	Review Test 1	Review Test1 を解く。リスニング問題とその解説。
13	Review Test 1	Review Test 1を解く。長文読解問題とその解説。
14	Review Test 2	Review Test 2を解く。リスニングと長文読解問題、その解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
事前に該当ページについての予習をおこなうこと。また単語、熟語、慣例表現については復習しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
安丸雅子、砂川典子、秋好礼子、十時康、渡邉晶子、Andrew Zitzmann 著『TOEIC ®テスト コアをつかんで完全攻略』、金星堂、2015 年

【参考書】
授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】
平常点（出席・予習・小テスト等）60%、期末試験 40%で評価します。30 分以上の遅刻は欠席とみなし、また 3 回の遅刻は 1 回の欠席とみなします。4 回以上の欠席者は成績評価の対象から外すので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【その他の重要事項】
春学期、秋学期で連続して履修することが原則となります。Ⅱ（秋学期）のみを履修する場合でも、そのⅡに対応するⅠの科目の 4 月の春学期第 1 回目の授業に出席し、受講許可を得て 9 月に履修登録を行ってください。定員を超える場合、選抜を行うことがあります。その際には、春学期に受講許可を得た人を優先します。

【Outline and objectives】
With reading and listening to text book, learning English grammar and words. First of all, I have set a goal of reading articles in English, not only in the classroom, but also in daily life. And toward this goal, I use educational textbook and handouts. As a procedure in one lesson, first, reading one chapter in the textbook, and in the rest of time, reading handouts for 15-30 minutes. Handouts including news stories, essays, and short fiction in newspapers and magazines. Topic is mainly on the current world news. And reading these hangouts, I encourage to read articles in English, not only in classroom but also everyday life.

LANe200LA
Practical English（英語検定試験対策）B-Ⅰ
2017 年度以降入学者

光野　昭雄

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
学生諸君が英検 2 級以上の級に合格することを目的とする。

【到達目標】
語彙、表現、構文、文法等できるだけ細かく説明し、学生諸君があらゆる点必要な知識を習得し、希望の級に合格できる様に指導する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
プリントを使用し必要な説明をした後に、実際に学生諸君に問題を解いて最後にもらう。最後に詳しい解説を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第一回	句，節、文、5 文型	説明
第二回	句，節、文、5 文型	問題演習
第三回	句，節、文、5 文型	解答と解説
第四回	不定詞	説明
第五回	不定詞	問題演習
第六回	不定詞	解答と解説
第七回	動名詞	説明
第八回	動名詞	問題演習
第九回	動名詞	解答と解説
第十回	分詞	説明
第十一回	分詞	問題演習
第十二回	分詞	解答と解説
第十三回	熟語と表現	問題演習
第十四回	熟語と表現	解答と解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業後に必ずその日学習した重要語句、文法事項を覚えることを各学生諸君に求める。本授業の準備学習・復習時間は 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
プリント使用

【参考書】
学生諸君の力に合った英検問題集を購入し、できるだけ多くの問題を解く。

【成績評価の方法と基準】
平常点 20 %、期末試験 80 %
各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得は認めない。

【学生の意見等からの気づき】
明瞭な説明を求められるので、できるだけ分かりやすく説明する。

【その他の重要事項】
春学期、秋学期で連続して履修することが原則となります。Ⅱ (秋学期) のみを履修する場合でも、そのⅡに対応するⅠの科目の 4 月の春学期 1 回目の授業に出席し、受講許可を得て 9 月に履修登録を行なって下さい。定員を超える場合は、選抜を行う場合があります。その際には、春学期に受講許可を得た人優先します。

【Outline and objectives】
This class will show you how your comprehensive English skill can be developed.

LANe200LA
Practical English (英語検定試験対策) B-Ⅱ

2017 年度以降入学者

光野　昭雄

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
学生諸君が英検 2 級以上の級に合格することを目的とする。

【到達目標】
語彙、表現、構文、文法等できるだけ細かく説明し、学生諸君があらゆる点で必要な知識を習得し、希望の級に合格できる様に指導する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
プリントを使用し必要な説明をした後に、実際に学生諸君に問題を解いてもらう。最後に詳しい解説を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第一回	仮定法	説明
第二回	仮定法	問題演習
第三回	仮定法	解答と解説
第四回	関係詞	説明（関係代名詞中心）
第五回	関係詞	説明（関係副詞中心）
第六回	関係詞	問題演習　(関係代名詞中心)
第七回	関係詞	解答と解説　(関係代名詞中心)
第八回	関係詞	問題演習　(関係副詞中心)
第九回	関係詞	解答と解説　(関係副詞中心)
第十回	熟語	問題演習
第十一回	熟語	解答と解説
第十二回	表現	問題演習（語順整序問題）
第十三回	表現	問題演習（応用問題）
第十四回	表現	解答と解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業後に必ずその日学習した重要語句、文法事項を覚えることを学生諸君に求める。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
プリント使用

【参考書】
学生諸君の力に合った英検問題集を購入し、できるだけ多くの問題を解く。

【成績評価の方法と基準】
平常点 20 %、期末試験 80 %
各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得は認めない。

【学生の意見等からの気づき】
明瞭な説明を求められるので、できるだけ分かりやすく説明する。

【その他の重要事項】
春学期、秋学期で連続して履修することが原則となります。Ⅱ(秋学期) のみを履修する場合でも、そのⅡに対応するⅠの科目の春学期第１回目の授業に出席し、受講許可を得て 9 月に履修登録を行なって下さい。定員を超える場合は、選抜を行うことがあります。その際は、春学期に受講許可を得た人を優先します。

【Outline and objectives】
This class will show you how your comprehensive English skill can be developed.

LANj100LA

日本語１Ⅰ　2017 年度以降入学者

LANj100LA

日本語１-Ⅰ　2017 年度以降入学者

尾形　太郎

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
文環 1 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
大学での講義、ゼミ、口頭発表などで必要なアカデミックスキルの養成を目的とし、主にインプット（読む・聴く）能力を高める。
また、読解や聴解を通して理解した内容について、口頭で説明するとともに、他者と意見を交換する。

【到達目標】
（1）ノート・テイキングができるようになること
（2）読解・聴解を通して理解したことの概要を口頭で説明すること
（3）読解・聴解を通して理解したことについて、自らの意見を述べること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
1. 前回の授業の復習（小テストを行う場合もあり）
2. メモを取りながら読解または聴解を行う
3. メモをもとにアウトラインを作成する
4. （可能であれば）読解または聴解のトピックに関してディスカッションを行う
本授業は 5 月 8 日（金）から開始する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の目的、内容についての紹介
2	聴解・読解練習１	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
3	聴解・読解練習２	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
4	聴解・読解練習３	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。 トピックについて議論する。
5	聴解・読解練習４	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。

6	聴解・読解練習５	メモを取りながらスクメモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
7	聴解・読解練習６	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
8	聴解・読解練習７	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
9	聴解・読解練習８	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
10	聴解・読解練習９	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
11	聴解・読解練習１０	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
12	聴解・読解練習１１	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
13	聴解・読解練習１２	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
14	期末試験	読解および聴解試験を行う。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
適宜、事前に配布したテキストに関する事前課題または事後課題を行う。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて１時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業中にハンドアウトや資料を配布する。

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
当面の間、オンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。
具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
学生の興味・関心を考慮した教材を用いる。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【Outline and objectives】
The purpose of this course is to develop students' ability of reading and listening comprehension for research activities. Students are expected to learn text structures, grammatical structures and expressions in academic Japanese.

LANj100LA

日本語１Ⅱ　2017 年度以降入学者

LANj100LA

日本語１-Ⅱ　2017 年度以降入学者

尾形　太郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
文環 1 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
大学での講義、ゼミ、口頭発表などで必要なアカデミックスキルの養成を目的とし、主にインプット（読む・聴く）能力を高める。
また、読解や聴解を通して理解した内容について、口頭で説明するとともに、他者と意見を交換する。

【到達目標】
(1) ノート・テイキングができるようになること
(2) 読解・聴解を通して理解したことの概要を口頭で説明すること
(3) 読解・聴解を通して理解したことについて、自らの意見を述べること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
1. 前回の授業の復習（小テストを行う場合もあり）
2. メモを取りながら読解または聴解を行う
3. メモをもとにアウトラインを作成する
4. 読解または聴解のトピックに関してディスカッションを行う

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の目的、内容についての紹介
2	聴解・読解練習１	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
3	聴解・読解練習２	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
4	聴解・読解練習３	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。 トピックについて議論する。
5	聴解・読解練習４	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。

6	聴解・読解練習５	メモを取りながらスクメモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
7	聴解・読解練習６	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
8	聴解・読解練習７	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
9	聴解・読解練習８	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
10	聴解・読解練習９	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
11	聴解・読解練習１０	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
12	聴解・読解練習１１	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
13	聴解・読解練習１２	メモを取りながら聞く、文章を読む課題を行い、また、内容のアウトラインを作成する。 概要を口頭で説明する。 トピックについて議論する。
14	期末試験	読解および聴解試験を行う。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
適宜、事前に配布したテキストに関する事前課題または事後課題を行う。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業中にハンドアウトや資料を配布する。

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
授業への参加度 30 %、課題（発表、提出物）40 %、試験 30 %

【学生の意見等からの気づき】
学生の興味・関心を考慮した教材を用いる。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【Outline and objectives】
The purpose of this course is to develop students' ability of reading and listening comprehension for research activities. Students are expected to learn text structures, grammatical structures and expressions in academic Japanese.

LANj200LA

日本語３Ｉ

2017 年度以降入学者

中沢　佐企子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法２年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
学生は、読解練習、特に速読を中心に練習を行い、テキストの内容を正確に理解するだけではなく、まとめたり、それに対する意見を表現したりする作業を通じて、大学におけるアカデミック・スキルを養う。

【到達目標】
学生は、読解練習した内容について、筆者の意図等を正確に理解し、簡潔にまとめられるようになる。また、そのテーマについて、批判的に読み、自分の意見を聞き手にわかりやすく述べることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
予習してきた読解教材を音読し、内容についての質問に答える。また、語彙・表現の意味を日本語でわかりやすく説明する練習も行う。さらに、内容をまとめたり、それに対する意見を表現したりする練習を行う。読解練習した内容についての討論や発表なども行う。学期中に数回小テストや課題を行う。
　春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 27 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	ガイダンス	授業の説明
	練習 1	教材 1 を音読し、内容について質問し、正確に理解したか確認する。語彙・表現の意味を確認する。理解した内容について、小グループで確認する。
2 回	練習 2	教材 1 について、内容を要約する練習を行う。内容について、小グループでディスカッションし、意見を発表する。
3 回	練習 3	教材２を音読し、内容について質問し、正確に理解したか確認する。語彙・表現の意味を確認する。理解した内容について、小グループで確認する。
4 回	練習 4	教材２について、内容を要約する練習を行う。内容について、小グループでディスカッションし、意見を発表する。
5 回	練習 5	教材３を音読し、内容について質問し、正確に理解したか確認する。語彙・表現の意味を確認する。理解した内容について、小グループで確認する。

6 回	練習 6	教材 3 について、内容を要約する練習を行う。内容について、小グループでディスカッションし、意見を発表する。
7 回	練習 7	教材 4 を音読し、内容について質問し、正確に理解したか確認する。語彙・表現の意味を確認する。理解した内容について、小グループで確認する。
8 回	練習 8	教材 4 について、内容を要約する練習を行う。内容について、小グループでディスカッションし、意見を発表する。
9 回	練習 9	教材 5 を音読し、内容について質問し、正確に理解したか確認する。語彙・表現の意味を確認する。理解した内容について、小グループで確認する。
10 回	練習 10	教材 5 について、内容を要約する練習を行う。内容について、小グループでディスカッションし、意見を発表する。
11 回	練習 11	教材 6 を音読し、内容について質問し、正確に理解したか確認する。語彙・表現の意味を確認する。理解した内容について、小グループで確認する。
12 回	練習 12	教材 6 について、内容を要約する練習を行う。内容について、小グループでディスカッションし、意見を発表する。
13 回	練習 13	教材 7 を音読し、内容について質問し、正確に理解したか確認する。語彙・表現の意味を確認する。理解した内容について、小グループで確認する。
14 回	期末試験	読解試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
学生は、配布されたプリントを必ず予習してくる。予習の範囲は授業で伝える。
また、読解練習後の討論などのため、配布されたプリントだけではなく、自分で様々な資料を調べておく。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
プリント配布。主に時事的なテーマを扱う予定なので、教科書は使用しない。

【参考書】
参考書は特に指定しないが、授業で扱ったテーマについて、自分で更に詳しく調べることが望ましい。

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業への参加・予習等）30 %、課題 40 %、試験 30 %
※やむを得ない理由による場合を除き、欠席・遅刻をした場合は、その回の小テストは 0 点とする。
※以下の条件をすべて見なすものを評価の対象とする
(1) 欠席回数が 4 回以下であること
(2) 授業での課題を行っていること
(3) 期末試験を受験していること
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も 変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
読解練習の内容について討論や発表等、学生が積極的に授業に参加できる練習を増やす。

【その他の重要事項】
・出席を重視する。
・プリントは一人一回しか配布しない。
・小テストや課題を遅れて提出した場合は－３０％で計算する。
・平常点では、授業中の態度・積極性・協調性を重視する。また、予習してきたかどうかも重視する。

【Outline and objectives】
Students will develop their academic skills through reading comprehension exercises, especially rapid reading. In this class, they will be able to
understand the contents of the text correctly, summarize it and express
their opinions about it.

LANj200LA

日本語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

中沢　佐企子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法２年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
学生は読解練習、特に速読を中心に練習を行い、テキストの内容をまとめたり、それに対する意見を表現したりする作業を通じて、大学におけるアカデミック・スキルを養う。さらに、前期での練習を踏まえ、クリティカルリーディングの練習を行う。

【到達目標】
学生は、読解練習した内容について、筆者の意図等を正確に理解し、簡潔にまとめられるようになる。また、そのテーマについて、批判的に読み、自分の意見を聞き手にわかりやすく述べることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
予習してきた読解教材を音読し、内容についての質問に答える。また、語彙・表現の意味を日本語でわかりやすく説明する練習も行う。さらに、内容をまとめたり、それに対する意見を表現したりする練習を行う。読解練習した内容についての討論や発表なども行う。予習してきた読解教材を音読し、内容についての質問に答える。また、語彙・表現の意味を日本語でわかりやすく説明する練習も行う。さらに、内容をまとめたり、それに対する意見を表現したりする練習を行う。読解練習した内容についての討論や発表なども行う。学期中に数回小テストや課題を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	ガイダンス	授業の説明
	練習 1	教材 1 を音読し、内容について質問し、正確に理解したか確認する。語彙・表現の意味を確認する。理解した内容について、小グループで確認する。
2 回	練習 2	教材 1 について、内容を要約する練習を行う。内容について、小グループでディスカッションし、意見を発表する。
3 回	練習 3	教材 2 を音読し、内容について質問し、正確に理解したか確認する。語彙・表現の意味を確認する。理解した内容について、小グループで確認する。
4 回	練習 4	教材 2 について、内容を要約する練習を行う。内容について、小グループでディスカッションし、意見を発表する。
5 回	練習 5	教材 3 を音読し、内容について質問し、正確に理解したか確認する。語彙・表現の意味を確認する。理解した内容について、小グループで確認する。
6 回	練習 6	教材 3 について、内容を要約する練習を行う。内容について、小グループでディスカッションし、意見を発表する。
7 回	練習 7	教材 4 を音読し、内容について質問し、正確に理解したか確認する。語彙・表現の意味を確認する。理解した内容について、小グループで確認する。
8 回	練習 8	教材 4 について、内容を要約する練習を行う。内容について、小グループでディスカッションし、意見を発表する。
9 回	練習 9	教材 5 を音読し、内容について質問し、正確に理解したか確認する。語彙・表現の意味を確認する。理解した内容について、小グループで確認する。
10 回	練習 10	教材 5 について、内容を要約する練習を行う。内容について、小グループでディスカッションし、意見を発表する。
11 回	練習 11	教材 6 を音読し、内容について質問し、正確に理解したか確認する。語彙・表現の意味を確認する。理解した内容について、小グループで確認する。
12 回	練習 12	教材 6 について、内容を要約する練習を行う。内容について、小グループでディスカッションし、意見を発表する。
13 回	練習 13	教材 7 を音読し、内容について質問し、正確に理解したか確認する。語彙・表現の意味を確認する。理解した内容について、小グループで確認する。
14 回	期末試験	読解試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
学生は、配布されたプリントを必ず予習してくる。予習の範囲は授業で伝える。
また、読解練習後の討論などのため、配布されたプリントだけではなく、自分で様々な資料を調べておく。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
プリント配布。主に時事的なテーマを扱う予定なので、教科書は使用しない。

【参考書】
参考書は特に指定しないが、授業で扱ったテーマについて、自分で更に詳しく調べることが望ましい。

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業への参加・予習等）30 %、小テスト・課題 40 %、試験 30 %
※やむを得ない理由による場合を除き、欠席・遅刻をした場合は、その回の小テストは 0 点とする。
※以下の条件をすべて見なすものを評価の対象とする
(1) 欠席回数が 4 回以下であること
(2) 授業での課題を行っていること
(3) 期末試験を受験していること

【学生の意見等からの気づき】
読解練習の内容について討論や発表等、学生が積極的に授業に参加できる練習を増やす。

【その他の重要事項】
・出席を重視する。
・読解教材は一人一回しか配布しない。
・小テストや課題を遅れて提出した場合は-30 %で計算する。
・平常点では、授業中の態度・積極性・協調性を重視する。また、予習してきたかどうかも重視する。

【Outline and objectives】
Students will develop their academic skills through reading comprehension exercises, especially rapid reading. In this class, they will be able to
understand the contents of the text correctly, summarize it and express
their opinions about it.

LANj200LA

日本語３Ⅰ　2017 年度以降入学者

LANj200LA

日本語３-Ⅰ　2017 年度以降入学者

戸村　佳代

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火 1**/Tue.1
単位数：**1 単位**
営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文法、語彙の拡充を図りながら、まとまった量の文章を読みとり、その内容を的確に口頭で説明できるようになるための訓練を行う。また、テキストの内容を批判的に読み、それに基づくディスカッションを行う。

【到達目標】
１．まとまった長さの文章を読み、要点を押さえて理解することができる。
２．わかりやすい配付資料をもとに、自分の意見を発表する。
３．日本の社会問題について議論するために必要な語彙・表現を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンライン授業での開講となる。それに伴う各回の授業計画の変更や受講者が必要な準備については学習支援システムの「お知らせ」でその都度提示する。
オンライン授業期間は双方型 Web 会議システム（ZOOM）を利用する。
本授業の開始日は 4 月 21 日（火）とする。
以下の内容で授業を進めるが、オンライン授業の実施状況をみながら変更の可能性がある。
(1) 予習確認テスト（漢字・語彙、表現、簡単な文章内容理解チェック）
(2) 担当者による口頭報告
(3) 文章の内容把握チェック
(4) ディスカッション
※ 予習を前提に授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	イントロダクション	１．通信環境チェック ２．ZOOM 授業参加の練習 ３．ウォーミングアップとアイスブレーキング ３．授業の進め方 ４．成績評価について
②	授業の準備の仕方	１．語彙・表現リストの利用方法、予習の仕方 ２．発表資料の作り方 ３．練習
③	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション
④	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション

⑤	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション
⑥	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション
⑦	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション
⑧	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション
⑨	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション
⑩	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション
⑪	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション
⑫	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション
⑬	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション
⑭	まとめ	漢字、語彙・表現、読解

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回、次のような予習と準備をする。
1.「語彙・表現リスト」を用い、漢字の読み方を確認した上で分からない単語の意味を調べ、内容を理解する。（全員）
2．報告担当者２名は、配付資料（ハンドアウト）と発表用パワーポイントを分担して作成する。また、作成したファイルを授業３日前までに提出し、添削を受ける。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
コピー教材（主に、文藝春秋社『2020 年の論点 100』『2019 年の論点 100』等から抜粋）
4 月 28 日以降に PDF で順次「学習支援システム」からダウンロードできるようにします。

【参考書】
『2020 年の論点 100』『2019 年の論点 100』文藝春秋社
※その他、授業時に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
当初の予定は以下の通りでしたが、オンライン授業実施にともない、具体的な授業形態が決まってから、学習支援システムと授業で公開します。
****

平常点	30 %
（小テスト、授業への取り組み）	
課題・授業での発表	30 %
試験・レポート	40 %

※やむを得ない理由による場合を除き、欠席・遅刻をした場合は、その回の小テストは 0 点とする。
※遅刻２回を欠席１回とみなす。
※以下の条件をすべて満たすものを評価の対象とする
(1) 欠席回数が４回以下であること
(2) 授業での口頭報告（発表）を行っていること
(3) 学期末試験を受験していること

【学生の意見等からの気づき】
※効率的な予習が可能になるように、授業支援システムにより「語彙・表現リスト」を担当教員が作成・配布します。

【学生が準備すべき機器他】
・ZOOM を利用して授業を行うため、ZOOM のアカウントを取得しておくこと。
・スマートフォンよりパソコンの利用を推奨します。
・資料配付、課題提出に学習支援システムを利用します。

【その他の重要事項】
※読解テキストの語彙・表現リストの受け渡しを、学習支援システムによって行います。履修登録の前に学習支援システムに仮登録をしてください。
※ 4/28 以降の授業でテキスト（PDF ファイル）を随時配布します。
※ ZOOM による授業の ID とパスワードは学習支援システムの「お知らせ」で各授業の前日に通知します。

【Outline and objectives】
This class aims to improve your ability of Japanese, focusing on reading, oral presentation, and discussion.
You should be able to:
・idenfy the essay structure and paragraph structures of verious type of Japanese essays, and to grasp the gist of them.
・summarize what you have read and explane it to the rest of the class, using your own words.
・actively discuss a varity of topics of Japanese.

LANj200LA

日本語３Ⅱ　2017 年度以降入学者

LANj200LA

日本語３-Ⅱ　2017 年度以降入学者

戸村　佳代

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 1/Tue.1
単位数：**1 単位**
営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一定のテーマについての必要な情報を収集し、的確に理解・整理した上で、説得力のあるプレゼンテーションを行う訓練を行う。文法、語彙の拡充のみならず、情報発信のために必要な表現方法を学びながらディスカッション・ディベートなどを行う。

【到達目標】
１．まとまった長さの文章を読み、文章構造と論理展開に注目することにより、要点を押さえて理解することができる。
２．わかりやすい配付資料をもとに、自分の意見を発表する。
３．日本の社会問題について議論するために必要な語彙・表現を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
(1) 予習確認テスト（漢字・語彙、表現、簡単な文章内容理解チェック）
(2) 担当者による口頭報告
(3) 文章の内容把握チェック
(4) ディスカッション・ディベート
※ 予習を前提に授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	イントロダクション	１．ウォーミングアップ ２．テキスト配布 ２．授業の進め方について ３．成績評価について ４．口頭発表用資料の作り方（説明と練習）
②	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
③	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
④	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑤	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑥	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑦	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑧	読解・応用練習ション	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑨	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑩	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑪	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑫	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑬	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑭	まとめ	漢字、語彙・表現、読解

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回、次のような予習と準備をする。
１.「語彙・表現リスト」を用い、漢字の読み方を確認した上で分からない単語の意味を調べ、内容を理解する。（全員）
２．報告担当者２名は、配付資料（ハンドアウト）と発表用パワーポイントを分担して作成する。また、作成したファイルを授業前にメール添付で教員に送り、添削を受ける。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
コピー教材（主に文藝春秋社『2020 年の論点 100』『2019 年の論点 100』等から抜粋）

【参考書】
文藝春秋社『2020 年の論点 100』『2019 年の論点 100』
※その他、授業時に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
平常点　30 %
（小テスト、授業への取り組み）
課題・授業での発表　30 %
試験・レポート　40 %
※やむを得ない理由による場合を除き、欠席・遅刻をした場合は、その回の小テストは 0 点とする。
※遅刻２回を欠席１回とみなす。
※以下の条件をすべて満たすものを評価の対象とする
(1) 欠席回数が４回以下であること
(2) 授業での口頭報告（発表）を行っていること
(3) 学期末試験を受験していること

【学生の意見等からの気づき】
※効率的な予習が可能になるように、授業支援システムにより「語彙・表現リスト」を担当教員が作成・配布します。

【学生が準備すべき機器他】
授業にはＰＣ、ＯＨＣを利用します。
資料配付、課題提出に授業支援システムを利用します。

【その他の重要事項】
※読解テキストの語彙・表現リストの受け渡しを、授業支援システムによって行います。履修登録の前に授業支援システムに登録をしてください。
※最初の授業時に詳しい授業進行予定と語彙・表現リスト作成・口頭発表の分担を決めますので、必ず出席してください。
※最初の授業でテキスト（コピー教材）を配布します。

【Outline and objectives】
This class aims to improve your ability of Japanese, focusing on reading, oral presentation, and discussion.
You should be able to:
・idenfy the essay structure and paragraph structures of verious type of Japanese essays, and to grasp the gist of them.
・summarize what you have read and explane it to the rest of the class, using your own words.
・actively discuss a varity of topics of Japanese.

LANj200LA

日本語３Ⅰ　2017 年度以降入学者

LANj200LA

日本語３-Ⅰ　2017 年度以降入学者

尾形　太郎

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**1 単位**
文国２年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
レポートや論文の執筆などの研究活動に必要な読解力の向上を目的とする。

【到達目標】
１．学生は、まとまった長さの文章が速く正確に読める。
２．学生は、読んで理解したことをポイントを押さえてまとめられる。
３．学生は、読んだ文章の内容をもとに自分の意見を発表・討論できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
１. 短めの文章を一人で読み、設問に答える
２.（可能であれば）グループで内容を確認
３.（可能であれば）文章の概要を口頭で発表する
本授業は 5 月 7 日（木）から開始する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション	プリントの紹介 授業の進め方 成績評価
②	読解・応用練習	読解・ディスカッション
③	読解・応用練習	読解・ディスカッション
④	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑤	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑥	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑦	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑧	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑨	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑩	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑪	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑫	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑬	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑭	期末課題	期末課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
次の授業で扱う文章の読解を予習として課す場合がある。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
テキストは使用しない。プリント配布。

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
当面の間、オンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。
具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【Outline and objectives】
The objective of this class is to enhance reading comprehension skills for research activities.

LANj200LA

日本語３Ⅱ　2017 年度以降入学者

LANj200LA

日本語３-Ⅱ　2017 年度以降入学者

尾形　太郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**1 単位**
文国２年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
レポートや論文の執筆などの研究活動に必要な読解力の向上を目的とする。

【到達目標】
１．学生は、まとまった長さの文章が速く正確に読める。
２．学生は、読んで理解したことをポイントを押さえてまとめられる。
３．学生は、読んだ文章の内容をもとに自分の意見を発表・討論できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
①タスクシート本文を数分で読む
②タスクシート本文で読み・意味が不明な表現に下線をつける
③上記下線部分の漢字、読み、意味などを本文の下に書く
④本文の音読後、要約を口頭で発表
⑤本文内容について教師の問い、学生からの質問
⑥本文関連読解資料を音読する
⑦本文、関連資料の話題についてグループディスカッション後に発表

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション	プリントの紹介 授業の進め方 成績評価
②	読解・応用練習	読解・ディスカッション
③	読解・応用練習	読解・ディスカッション
④	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑤	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑥	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑦	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑧	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑨	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑩	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑪	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑫	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑬	読解・応用練習	読解・ディスカッション
⑭	期末試験	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
１．予習は基本的に必要がないが、復習はきちんとすることが求められる。
２．配布されたタスクシートは即時記入する。提出の期限は授業当日。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
テキストは使用しない。プリント配布。

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
平常点：授業への取り組み、小テスト（30 %）
課題・タスクシート・発表（40 %）
期末試験または期末レポート（30 %）
※４回以上欠席した場合は、原則として単位は出さない。
※課題の未提出が多い場合は、履修不足とみなし、単位を出さない。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【Outline and objectives】
The objective of this class is to enhance reading comprehension skills for research activities.

LANj200LA

日本語４Ⅰ

2017 年度以降入学者

江村　裕文

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
法２年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「精読」を授業内での中心的な作業として行い、テキストを厳密に読み込む作業を通して、大学における読解のアカデミック・スキルを養成する。

【到達目標】
日本語テキストの内容をできるだけ主観的なバイアスをかけないように読み取ることができるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
1　生の日本語テキストを使用し、できうる限り厳密にテキストを読み込むことによって、執筆者の意図に近づく努力をする。
2　語彙や表現について予習を課し、授業では内容についての質疑応答を行い、必要に応じて内容に関する討論も行いたい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーションとテキストの紹介	授業運営の詳細について解説し、テキストを紹介する
2	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
3	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
4	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
5	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
6	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
7	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
8	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
9	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
10	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
11	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
12	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
13	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
14	授業内試験	テキストの日本語および内容に関する試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストの語句・漢字・表現等を自分なりに予習し、不明な点があれば授業中に質問できるようにしておくこと。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
最初は、鈴木睦「日本語教育における丁寧体世界と普通体世界」、田窪行則編『視点と言語行動』くろしお出版、を用いる。
このテキストは第一回目の授業の際に配布する。
このテキストが終了し次第、滝浦真人『ポライトネス入門』研究社、を用いる。

【参考書】
参考書は必要に応じて授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
平常点４０点、試験の得点６０点、合計１００点で評価する。

【学生の意見等からの気づき】
経験的に、学生自身はわかったつもりでも、実は理解していないところがあるので、理解度をためしつつ授業を進めていきたい。

【その他の重要事項】
授業内容に関係のないことでも、日本や日本人に関することであるならば、全員の益に資すると判断されれば取り扱うので、積極的にコミットしてほしい。

【Outline and objectives】
The title of this class is "the careful reading". The purpose of this class is to master the way of reading texts written with Japanese. You can get the reading ability of Japanese texts used at the academic class in the university.

LANj200LA

日本語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

江村　裕文

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
法２年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「精読」を授業内での中心的な作業として行い、テキストを厳密に読み込む作業を通して、大学における読解のアカデミック・スキルを養成する。

【到達目標】
やや論文的なテキストを使用し、最終的に日本語テキストの内容を精確に読み取る能力を訓練する。これは専門のための勉強にも直接役立つ能力であるので、しっかりくらいついてきてほしい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
1　以下の日本語テキストを使用し、厳密にテキストを読み込むことによって、執筆者の意図に近づく努力をする。
2　語彙や表現について予習を課し、授業では内容についての質疑応答を行い、必要に応じて内容に関する討論も行いたい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	秋学期試験の解説・テキストの読解	春学期試験の解説およびテキストの読解と内容に関する質疑応答
2	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
3	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
4	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
5	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
6	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
7	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
8	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
9	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
10	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
11	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
12	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
13	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
14	授業内試験	テキストの日本語および内容に関する試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストの語句・漢字・表現等を自分なりに予習し、不明な点があれば授業中に質問できるようにしておくこと。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
おそらく春学期の途中から読み始める、滝浦真人『ポライトネス入門』研究社、の続きを読み進めることになろう。

【参考書】
参考書は必要に応じて授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
平常点４０点、試験の得点６０点、合計１００点で評価する。

【学生の意見等からの気づき】
経験的に、学生自身はわかったつもりでも、実は理解していないところがあるので、理解度をためしつつ授業をすすめていきたい。

【その他の重要事項】
授業内容に直接関係のないことでも、日本や日本人に関することであるならば、全員の益に資すると判断されれば取り扱うので、積極的にコミットしてほしい。

【Outline and objectives】
The title of this class is "the careful reading". The purpose of this class is to master the way of reading texts written with Japanese. You can get the reading ability of Japanese texts used at the academic class in the university.

LANj200LA

日本語４Ｉ　2017 年度以降入学者

LANj200LA

日本語４-Ｉ　2017 年度以降入学者

中沢　佐企子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：**1 単位**
文国２年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
読解練習、特に精読を中心にテキストを厳密に読む練習を行う。内容を正確に理解し、説明する。また、読解内容に関して意見を表現したりする作業を通じて、大学におけるアカデミック・スキルを養う。

【到達目標】
テキストの内容を厳密に読む技術を身につける。内容について、筆者の意図等を正確に理解し説明できるようになる。また、その内容について、自分の意見を述べることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
１　読解、語彙・表現などについて予習する。
２　授業では、テキストを厳密に読む練習を行う。内容についての質疑応答を行う。また、語彙・表現等についても確認する。
３　テキストに関する討論や発表も行う。
４　学期中に数回小テストや課題を行う。なお、小テストは授業開始時に行う。
　春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 27 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	ガイダンス	授業の目的、進め方について紹介
2 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
3 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
4 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
5 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
6 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
7 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
8 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
9 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
10 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
11 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
12 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答

13 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
14 回	まとめ 期末試験	まとめ テキストの内容についての試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストは前もって配布するので、読解・語彙・表現等を予習する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
プリント教材。授業で配布する。

【参考書】
授業中、適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業への参加・予習等）３０％、小テスト・課題３０％、試験４０％
※やむを得ない理由による場合を除き、欠席・遅刻をした場合は、その回の小テストは 0 点とする。
。
※以下の条件をすべて見なすものを評価の対象とする
(1) 欠席回数が４回以下であること
(2) 授業での課題を行っていること
(3) 学期末試験を受験していること
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできない。

【その他の重要事項】
・出席を重視する。
・プリントは一人一回しか配布しない。
・課題を遅れて提出した場合は-30 %で計算する。
・平常点では、授業中の態度・積極性・協調性を重視する。また、予習してきたかどうかも重視する。

【Outline and objectives】
Students will develop their academic skills through reading comprehension exercises, especially reading in detail. In this class, they will be able to understand the contents of the text correctly, explain it and express their opinions about it.

LANj200LA

日本語４Ⅱ　2017 年度以降入学者

LANj200LA

日本語４-Ⅱ　2017 年度以降入学者

中沢　佐企子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：**1 単位**
文国２年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
読解練習、特に精読を中心にテキストを厳密に読む練習を行う。内容を正確に理解し、説明する。また、読解内容に関して意見を表現したりする作業を通じて、大学におけるアカデミック・スキルを養う。

【到達目標】
テキストの内容を厳密に読む技術を身につける。クリティカル・リーディングを行い、内容について筆者の意図等を正確に理解し説明できるようになる。また、その内容について、自分の意見を述べることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
１　読解、語彙・表現などについて予習する。
２　授業では、テキストを厳密に読む練習を行う。内容についての質疑応答を行う。また、語彙・表現等についても確認する。
３　テキストに関する討論や発表も行う。
４　学期中に数回小テストや課題を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	ガイダンス	授業の目的、進め方について説明
2 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
3 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
4 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
5 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
6 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
7 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
8 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
9 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
10 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
11 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
12 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
13 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
14 回	まとめ 期末試験	まとめ テキストの内容についての試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストは前もって配布するので、読解・語彙・表現等を予習する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
プリント教材。授業で配布する。

【参考書】
授業中、適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業への参加・予習等）３０％、小テスト・課題３０％、試験４０％
※やむを得ない理由による場合を除き、欠席・遅刻をした場合は、その回の小テストは 0 点とする。
※以下の条件をすべて見なすものを評価の対象とする
(1) 欠席回数が 4 回以下であること
(2) 授業での課題を行っていること
(3) 学期末試験を受験していること

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできない。

【その他の重要事項】
・出席を重視する。
・プリントは一人一回しか配布しない。
・小テストや課題を遅れて提出した場合は-30 %で計算する。
・平常点では、授業中の態度・積極性・協調性を重視する。また、予習してきたかどうかも重視する。

【Outline and objectives】
Students will develop their academic skills through reading comprehension exercises, especially reading in detail. In this class, they will be able to understand the contents of the text correctly, explain it and express their opinions about it.

LANj200LA

日本語４Ⅰ　2017 年度以降入学者

LANj200LA

日本語４-Ⅰ　2017 年度以降入学者

尾形　太郎

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木 3**/Thu.3
単位数：**1 単位**
営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
テキストを緻密に読む技術、および、読むことを通して理解したことを簡潔に口頭で説明する技術を高める。また、読解内容に関して自らの考えを述べる。

【到達目標】
（1）テキストを緻密に読む技術を身につける
（2）読解を通して理解したことの概要を口頭で説明する
（3）読解を通して理解したことについて、自らの意見を述べる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
1. 前回の授業の復習（小テストを行う場合もあり）
2. テキストの読解、設問に答える
3.（可能であれば）テキストの内容に関する質疑応答・議論
本授業は 5 月 7 日（木）から開始する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の目的、進め方について紹介
第 2 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 3 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 4 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 5 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 6 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 7 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 8 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 9 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 10 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 11 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 12 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 13 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 14 回	総括	総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
適宜、事前に配布したテキストに関する事前課題を行う。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業中に配布する。

【参考書】
適宜、授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】
当面の間、オンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。
具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
学生の知的好奇心を活発化させられるような教材を用いる。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【Outline and objectives】
The purpose of this course is to develop students' ability of reading and listening comprehension for research activities. Students are expected to learn text structures, grammatical structures and expressions in academic Japanese.

LANj200LA

日本語４Ⅱ　2017 年度以降入学者

LANj200LA

日本語４-Ⅱ　2017 年度以降入学者

尾形　太郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
テキストを緻密に読む技術、および、読むことを通して理解したことを簡潔に口頭で説明する技術を高める。また、読解内容に関して自らの考えを述べる。

【到達目標】
（1）テキストを緻密に読む技術を身につける
（2）読解を通して理解したことの概要を口頭で説明する
（3）読解を通して理解したことについて、自らの意見を述べる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
1. 前回の授業の復習（小テストを行う場合もあり）
2. テキストの読解
3. テキストの内容に関する質疑応答・議論

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の目的、進め方について紹介
第 2 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 3 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 4 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 5 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 6 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 7 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 8 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 9 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 10 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 11 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 12 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 13 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
第 14 回	レポートへの FD	レポートへのフィードバック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
適宜、事前に配布したテキストに関する事前課題を行う。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業中にハンドアウトや資料を配布する。

【参考書】
適宜、授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点 30 %、課題・提出物 40 %、最終レポートまたは口頭試験 30 %

【学生の意見等からの気づき】
学生の知的好奇心を活発化させられるような教材を用いる。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【Outline and objectives】
The purpose of this course is to develop students' ability of reading and listening comprehension for research activities. Students are expected to learn text structures, grammatical structures and expressions in academic Japanese.

ARSe200LA

日本語の世界ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

尾形　太郎

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**2 単位**
2〜4 年　※定員制

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
日本語、特に日本語の文法について考え、学ぶ授業です。
普段とは違う観点から日本語を見つめなおし、私たちの日常的な日本語運用の中に隠れているメカニズムに迫ります。
その際、日本語学、認知言語学、語用論などの知見を参照しますので、これら学問の基本的な考え方（のいくつか）についても学ぶことができます。
ただし、受講に当たって言語学の知識は全く必要ありません。日本の大学で日本語で学ぶに十分な日本語能力さえあれば、どんな人でも受講可能です。

【到達目標】
１．日本語の諸側面について体験をもとに考える力を身につける。
２．話し合いの中で相手の意見をよく理解しつつ、自分の意見を言うことができる。
３．あるテーマについて、自分または自分たちが考えたことをわかりやすく発表することができる。
4/11 追記
上記 2 と 3 については、現段階においては到達目標から除外せざるをえません。今後、状況が許せば、オンラインで議論や発表を行いたいと思います。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
事前課題➡資料を用いた学習➡課題
5 月 6 日を授業開始日とする（ただし、初回授業の資料は既に学習支援システムから入手可能）。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	授業ガイダンス	授業ガイダンス
②	日本語における格 「♪私だけ愛してた」 〜誰が誰を愛してた？	日本語における格を考える
③	「犯人はルパンだ」vs「犯人がルパンだ」、「ルパンが犯人だ」vs「ルパンは犯人だ」	「は」と「が」の機能の違いを考える
④	で、「は」と「が」ってどうやって使いわければいいの？	日本語学習者に「は」と「が」の違いを教えるにはどうすればいいか考える
⑤	「あ、雨がふって来た」は過去（を表す）の文？	「た」から日本語の時間認識を考える
⑥	「あ、お湯がわいて（い）る」vs「あ、お湯がわいた」は同じ出来事を表している？	「てい（る）」から日本語における出来事の様相の捉え方を考える

⑦	「大学へ行った」は○，「風呂へ入った」は△、「電車へ乗った」は×、の不思議	「へ」「に」「で」から場所に関連する助詞の機能の違いを考える
⑧	「犯人はルパンにちがいない」vs「犯人はルパンのはずだ」	根拠に基づく主張を表す文の違いを考える
⑨	「実はあの人、僕の父なんです」vs「実はその人、僕の父なんです」	「こ・そ・あ」の使い分けを考える
⑩	共感できない相手には敬語を使え？	相手への共感度と敬語使用の関係を考える
⑪	「「のだ」がわからないのです」 ～文末の「のだ」っていったい何なの？	「のだ」の機能を考える
⑫	「あ、0 点」vs「え、0 点」vs「げっ、0 点」 「へー、すごいね～」vs「ふーん、すごいね～」	感動詞が表す「心の働き」を考える
⑬	ミニ発表と討論①（予定）	受講生が日本語に関する疑問を提起し、全員で議論する
⑭	ミニ発表と討論②（予定）	受講生が日本語に関する疑問を提起し、全員で議論する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
日本語の文法を観察・内省し、自分なりの問いを立てること。本授業の準備学習・復習時間は、各 30 分を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業中にハンドアウトを配布します。

【参考書】
授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】
授業への参加（毎回の課題、事前課題）70%、期末課題 30%で、評価を決める。

【学生の意見等からの気づき】
異なる国籍、文化の人たちと話し合えることが好評なので、毎回実施していきたい。

【その他の重要事項】
普段とは違う観点から日本語を見つめなおし、日本語の中に隠れているメカニズムに好奇心を持って迫ってみてください。
言語学や日本語学についての特別な知識は必要ありません。
日本語をさらに深く習得したい留学生、自分の母語について少し詳しく知りたい日本語母語話者、日本語教育に携わりたい人などにとって興味深い授業となるよう努めます。
言語学を学んだことがある人ももちろん歓迎します。
なお、授業計画は、一部変更することがあります。

【Outline and objectives】
This class is an introduction of the Japanese linguistics, which especially treats some grammatical topics. Students are required to approach mechanisms hidden in our ordinary use of Japanese.
Because some ideas of Japanese linguistics, cognitive linguistics and pragmatism are introduced though the task, students can learn some basic ideas in these fields.

ARSe200LA

日本語の世界ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

尾形　太郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**2 単位**
2～4 年　※定員制

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
日本語、特に日本語の文法について考え、学ぶ授業です。
普段とは違う観点から日本語を見つめなおし、私たちの日常的な日本語運用の中に隠れているメカニズムに迫ります。
その際、日本語学、認知言語学、語用論、日本語教育学などの知見を参照しますので、これら学問の基本的な考え方（のいくつか）についても学ぶことができます。
ただし、受講に当たって言語学の知識は全く必要ありません。日本の大学で日本語で学ぶに十分な日本語能力さえあれば、どんな人でも受講可能です。

【到達目標】
１．日本語の諸側面について体験をもとに考える力を身につける。
２．話し合いの中で相手の意見をよく理解しつつ、自分の意見を言うことができる。
３．あるテーマについて、自分または自分たちが考えたことをわかりやすく発表することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講師による問題提起、話題提供、グループ内での討論、および全体での討論、講師による解説を組み合わせた形式で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	授業ガイダンス 世界の言語の中の日本語①	授業の進め方の説明 今までに学んだ言語と日本語を比べる
②	「先学期は何を勉強しましたか？」 「記憶にございません。記録にもございません。」 ～問いに「答え」ていない「答え」は何を伝える？	先学期の復習をしつつ、ついでに語用論の考え方も少し学ぶ
③	「彼女にふられた（涙）」vs「彼女は私をふった」 ～日本人は受身がち？	ヴォイス（態）について考える
④	「Ａ公園を散歩する」vs「Ｂ公園で散歩する」 ～Ｂ公園、すごく広そうな感じがしませんか？	場所に関係する助詞の機能の違いを考える

⑤	「そうですね」vs「そうですよ」vs「そうですよね」vs「そうですか」vs「そうですって」etc. ～何事も終わりが肝心です	終助詞の機能の違いを考える
⑥	「先生、次のゼミのレジュメを書いたのですが、読んでおいていただけますか。」と言ったら、先生が少し不機嫌になった。何で？	「ておく」の意味を考える
⑦	「しかし、よく食べるね」 「つまり、私が食いしん坊だって言いたいの？」	接続詞について考える①
⑧	「じゃあ、今日はこれで終わります」 「じゃあ、また」 ～じゃあ、「では」について考えよう	接続詞について考える②
⑨	「お忙しいところすみません。」 「いや、ちょうど暇になったところです。ところで顔色が悪いですね。」 ～「ところ」について考えたところ…	文法化した「ところ」について考える
⑩	「年明けは就活が「いよいよ」本格化するし、今のうちに遊んどかなきゃ。それにしても「とうとう」来年度から社会人か…」 ～その前に「そろそろ」期末発表の準備をしましょう	出来事の実現時期到来を表す副詞を考える
⑪	「さむっ」vs「さむ～い」vs「さむい…」 ～一番寒いのは誰？	言い方の違いからメッセージの違いを考える
⑫	「このお茶、ちょっと癖があるとけど、好きな人は好きだよ。」 「そりゃそうだ。」 ～で、何が言いたいの？	トートロジーに意味はあるのか考える
⑬	ミニ発表と討論①	受講生が日本語に関する疑問を提起し、全員で議論する
⑭	ミニ発表と討論②	受講生が日本語に関する疑問を提起し、全員で議論する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
日本語の文法を観察・内省し、自分なりの問いを立てること。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業中にハンドアウトを配布します。

【参考書】
授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】
授業への参加（討論での発言、リアクション・ペーパーなど）70%、発表 30%で、評価を決める。
出席率が 70%以上であることを単位取得の条件とする。

【学生の意見等からの気づき】
異なる国籍、文化の人たちと話し合えることが好評なので、毎回実施していきたい。

【その他の重要事項】
普段とは違う観点から日本語を見つめなおし、日本語の中に隠れているメカニズムに好奇心を持って迫ってみてください。
言語学や日本語学についての特別な知識は必要ありません。
日本語をさらに深く習得したい留学生、自分の母語について少し詳しく知りたい日本語母語話者、日本語教育に携わりたい人などにとって興味深い授業となるよう努めます。
言語学を学んだことがある人ももちろん歓迎します。
なお、授業計画は、一部変更することがあります。

【Outline and objectives】
This class is an introduction of the Japanese linguistics, which especially treats some grammatical topics. Students are required to approach mechanisms hidden in our ordinary use of Japanese.
Because some ideas of Japanese linguistics, cognitive linguistics and pragmatism are introduced through the task, students can learn some basic ideas in these fields.

ARSe200LA

日本の文化と社会ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

尾形　太郎

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：2 **単位**
2〜4 **年　※定員制**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
映画やドキュメンタリーの視聴、新聞雑誌書籍の読解を通して、現代日本が直面する諸問題に接し、理解と関心を広げる。
本来であれば、留学生と日本人学生のディスカッションを中心に授業を進めたいのだが、今学期は当面これを断念し、講師が用意した資料の読解や映画の視聴などに基づき、各自が課された課題を行っていく形で授業を進める。
5 月以降、状況が許せば、Zoom や Google meets などを用いて、学生同士がオンライン上でディスカッションすることも実施する。
扱うトピックについても、先学期までは学生主体で決めていたが、今学期は講師が準備する。
今学期は「自然」をテーマに授業を行う。
①日本の伝統文化における「自然」（神道・日本庭園・茶道を中心に）
②アニメにおける「自然」（宮崎駿『となりのトトロ』『もののけ姫』『千と千尋の神隠し』、新海誠『君の名は。』を中心に）
③沖縄における自然環境問題から「日本」を考える
以上は現段階での予定であり、上記①〜③の全てを扱うかどうかは未定である。
シラバスに変更があり次第、学習支援システムを通し、履修生に周知する。

【到達目標】
テーマに関する文献読解、動画視聴を通し、問題への理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
①テーマに関する資料を読む、または動画を視聴する。
②課題を行う。（教室での授業で通常行う課題（コメントシートへの記入、小テスト）と同程度の課題と考えてください。）
③（可能であれば）オンライン上でディスカッションを行う。
この授業は、5 月 7 日（木）を授業開始日とする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	ガイダンス	オンライン授業の進め方、扱うテーマについて説明する。
②	日本の伝統文化における「自然」①	日本人は「無宗教」？ ／「神道」以前の「神-自然」信仰
③	日本の伝統文化における「自然」②	「神道」の変遷／現代の神社・祭りに残存する「神-自然」信仰
④	日本の伝統文化における「自然」③	日本庭園における自然／見立て―「人工物」に「自然」を見る技法／象徴的風景としての自然
⑤	日本の伝統文化における「自然」④	茶道における自然／季節の表象／時間の流れの表象
⑥	宮崎駿のアニメにおける「自然」①	『となりのトトロ』における自然／「失われた？」日本の原風景としての自然／「子ども」と「神-自然」の交わり
⑦	宮崎駿のアニメにおける「自然」②	『もののけ姫』における自然／「自然」と対立する技術と労働／「神-自然」の死としての近代
⑧	宮崎駿のアニメにおける「自然」③	『千と千尋の神隠し』における自然／キャラクターとしての神々／疎外された「子ども」としての千尋
⑨	新海誠『君の名は。』における「自然」④	『君の名は。』における「自然」と日本の宗教文化／「セカイ系」の系譜／セカイの外としての「風景＝自然」
⑩	沖縄における自然環境問題から「日本」を考える①	導入
⑪	沖縄における自然環境問題から「日本」を考える②	米軍基地問題と自然環境問題
⑫	沖縄における自然環境問題から「日本」を考える③	米軍基地問題と自然環境問題
⑬	予備日①	予備日
⑭	予備日②	予備日

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
[予習] シラバスで挙げた映画を見ておくことが望ましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 30 分を標準とする。

【テキスト（教科書）】
プリントを配布する。

【参考書】
授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】
口頭試験または期末ミニレポート（30%）、平常点（各回の課題）の評価（70%）

【学生の意見等からの気づき】
グループ討論で異文化交流ができるという点が好評なので、多国籍のグループ構成ができるように努力していきたい。

【その他の重要事項】
この授業は、留学生と日本人学生が議論し、交流を深める貴重な機会となっています。
日本人学生と意見を交換したい留学生のみなさん、普段あまり留学生と話す機会がない日本人学生のみなさん、ぜひこの機会を利用してもらえたらと思います。

【Outline and objectives】
The class will treat some actual problems we are confronting in Japanese society. We will discuss them from different viewpoints; international students' and Japanese students' viewpoints. The class will provide students with opportunities to approach the problems through reading papers, presentations, and discussions with those who have different cultural and social backgrounds.

ARSe200LA

日本の文化と社会ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

尾形　太郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：2 **単位**
2〜4 **年　※定員制**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
映画やドキュメンタリーの視聴、新聞雑誌書籍の読解、グループまたは全体でのディスカッションを通して、現代日本が直面する諸問題に接し、理解と関心を広げる。
また、留学生と日本人学生がそれぞれの視点から複眼的に問題を議論し検討することを通し、異なる文化的背景を持つ者との対話の重要性を体験する。
扱う問題は参加者の関心に応じて決定する。

【到達目標】
１．テーマに関する文献読解、動画視聴を通し、問題への理解を深める。
２．討論の中で自分の考えをわかりやすく伝える。
３．異文化の人と話す中で相手の文化をよく理解し、自国の文化との違いをつかむ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
①テーマに関する文献を読む、または動画を視聴する。
②グループで①の内容に基づき、議論を行う。
③グループでの議論の内容をクラス全体で共有する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション	授業の進め方を説明する。それぞれの興味関心を共有する。
②	議論の練習①	グループ・ディスカッションが「探求的な対話」となるように、議論の仕方を練習する
③	議論の練習②	グループ・ディスカッションが「探求的な対話」となるように、議論の仕方を練習する
④	テーマ①	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑤	テーマ①	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑥	テーマ①	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑦	テーマ②	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑧	テーマ②	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑨	テーマ②	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑩	テーマ③	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑪	テーマ③	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑫	テーマ③	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑬	口頭試験①	今学期の議論であつかった問題をひとつ選び、グループでディスカッションを行う。
⑭	口頭試験②	今学期の議論であつかった問題をひとつ選び、グループでディスカッションを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
[予習] 授業中に指示した文献を授業までに読み、内容を把握しておく。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
プリントを配布する。

【参考書】
授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】
口頭試験（30%）、平常点（議論への参加、リアクションペーパー等）の評価（70%）
出席率が 70 %以上であることを単位取得の条件とする。

【学生の意見等からの気づき】
グループ討論で異文化交流ができるという点が好評なので、多国籍のグループ構成ができるように努力していきたい。

【その他の重要事項】
この授業は、留学生と日本人学生が議論し、交流を深める貴重な機会となっています。
日本人学生と意見を交換したい留学生のみなさん、普段あまり留学生と話す機会がない日本人学生のみなさん、どちらもぜひこの機会を利用してもらえたらと思います。

【Outline and objectives】
The class will treat some actual problems we are confronting in Japanese society. We will discuss them from different viewpoints; international students' and Japanese students' viewpoints. The class will provide students with opportunities to approach the problems through reading papers, presentations, and discussions with those who have different cultural and social backgrounds.

LANd200LA

ドイツ語３Ｉ

2017 年度以降入学者

オストヴァルト・イェンス

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 1/Wed.1
単位数：**1 単位**
法 2 年 A

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
読解力と文法の強化
ドイツの習慣や文化について書かれたテキストを通して、文法の強化と読解力を身につけます。また、ドイツの文化についても触れることで、総合的なドイツの理解を深めます。

【到達目標】
文法の理解と、読解力をつけることで基礎的なドイツ語を使えるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
＜重要：春学期の授業開始について＞
・本授業の開始日は、４月２２日（水）１限目です。
・初回の２２日は、Zoom という双方向型のリアルタイム・オンラインシステムを使って、できるだけ皆さんと話をしながら授業を行います。
・Zoom へのアクセスのためのリンクなどは、学習支援システムの本授業の「お知らせ」コーナーにアップしますので、仮登録をして、必ず前日までに確認し、準備をして下さい。
***
ドイツ語の読解と文法の復習および強化。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	オリエンテーション
第 2 回	文法・語彙復習	一年生の時に学んだドイツ語の復習
第 3 回	復習：簡単な会話	挨拶など・簡単な会話の復習・練習
第 4 回	簡単な自己紹介	簡単な自己紹介を言えるように。 疑問文の練習
第 5 回	自己紹介	自己紹介を言える、書ける、読めるように。 疑問文の練習
第 6 回	買い物	チラシを読む、買い物で必要な会話を習得する
第 7 回	食べ物・飲み物	食べ物・飲み物についての読書
第 8 回	旅行のドイツ語 I レストラン	メニューとレストランでの小会話
第 9 回	旅行のドイツ語 II ホテル	ホテルについての情報、予約 Web ページを読む
第 10 回	旅行のドイツ語 III 道を尋ねる	道を尋ねる会話
第 11 回	旅行のドイツ語 IV 交通機関	航空券、切符の購入など
第 12 回	旅行のドイツ語 V 観光案内	観光案内 簡単な会話、情報を読む
第 13 回	復習	語彙・文法・読解方法の復習
第 14 回	期末テスト	期末テスト 学期の纏め

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
宿題・復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
配布資料

【参考書】
独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

【成績評価の方法と基準】
期末試験　５０％
小テスト　２０％
宿題　１０％
平常点　２０％

【学生の意見等からの気づき】
教科書に沿った授業の進め方ではなく、受講生にあわせて配布プリントを活用する。

【その他の重要事項】
学生の興味や理解度に順じてプログラムを変更することもあります。

【Outline and objectives】
German language course;
vocabulary expansion and grammar review, readings (and conversation);

LANd200LA

ドイツ語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

オストヴァルト・イェンス

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 1/Wed.1
単位数：**1 単位**
法 2 年 A

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
読解力と文法の強化
ドイツの習慣や文化について書かれたテキストを通して、文法の強化と読解力を身につけます。また、ドイツの文化についても触れることで、総合的なドイツの理解を深めます。

【到達目標】
文法の理解と、読解力をつけることで基礎的なドイツ語を使えるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
ドイツ語の読解と文法の復習および強化。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	復習	今まで学んだドイツ語の復習
第 2 回	環境問題 テーマ１	環境問題についての資料を読む
第 3 回	環境問題 テーマ２	環境問題についての資料を読んで 文法上の問題点を解説
第 4 回	広告のスローガン　I	スローガンを読み解く
第 5 回	広告のスローガン　II	スローガンを読み解く スローガン・宣伝のドイツ語の特徴を見る
第 6 回	童話 I	グリム童話を読む
第 7 回	童話 II	文法の解説
第 8 回	ドイツの詩	ゲーテ、国歌など、受講生の興味に合わせてドイツの詩・歌を読む
第 9 回	ドイツの歌	ゲーテ、国歌など、受講生の興味に合わせてドイツの詩・歌を読む
第 10 回	ドイツ憲法について	ドイツ憲法についての簡単な文を読む
第 11 回	ドイツ憲法	ドイツ憲法を部分的に読み解く
第 12 回	復習：語彙・文法	語彙・文法の復習・練習
第 13 回	復習：読解方法	復習：文を読み解く方法
第 14 回	期末テスト	期末テスト 纏め

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
宿題・復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
配布資料

【参考書】
独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

【成績評価の方法と基準】
期末試験　５０％
小テスト　２０％
宿題　１０％
平常点　２０％

【学生の意見等からの気づき】
教科書に沿った授業の進め方ではなく、受講生にあわせて配布プリントを活用する。

【その他の重要事項】
学生の興味や理解度に順じてプログラムを変更することもあります

【Outline and objectives】
German language course;
vocabulary expansion and grammar review, readings (and conversation);

LANd200LA

ドイツ語３Ｉ

2017 年度以降入学者

外山　知子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**土** 1/Sat.1
単位数：**1 単位**
法 2 年 B

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語の向上を目指し、ドイツの文化を学びながら異文化理解を深める。

【到達目標】
文法の復習と読解力の向上をめざすばかりでなく、書かれた内容を通して、翻訳では伝わりにくいドイツの文化に触れ、世界を広げる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
4 月 25 日に授業を開始し、しばらくはオンライン授業の形態をとる。教科書が入手できるようになったら、対面授業が可能になるまで学習支援システムと Zoom による双方向リアルタイム授業の組み合わせで授業をする。学習支援システムにお知らせをよく載せるので、常にチェックすること。特に初回の前は早めにお知らせチェックをしてください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習をかねての課題。	授業支援システムで楽しみながらやる課題を解く。提出は授業後になる。授業時間内に可能な人だけ顔合わせ目的で少し Zoom の練習（参加しなくても不利益にはならない）。
2	復習をかねての課題。	前回に続き、復習中心の学び。
3	Lektion 1 は難しいので、Lektion 2 を先にやる。	Lektion 2　20 歳を過ぎれば親もとを離れる！
4	Lektion 2 の続き。	文化の背景に目を配りながら教科書を読む。 基本的な練習問題。
5	Lektion 2 の続き。、 Lektion 2 に入る。	Lektion2 の練習問題の続き　文化的背景にも目を配る。 Lektion 1　パーティーを開くのは祝ってもらう人！
6	Lektion 1 の続き。	Lektion 1 の講読と基本的な練習問題　文化的背景にも目を配る。
7	Lektion 1 の続き。	Lektion 1 の練習問題の続き　文化的背景にも目を配る
8	Lektion 3	Lektion3 教室で手をあげないと減点！
9	Lektion 3	Lektion 3 の講読と練習問題　文化的背景にも目を配る。
10	Lektion 3 の続き。 Lektion 4	Lektion 3 練習問題の続き　文化的背景にも目を配る。 Lektion 4 2 回不合格だと失格！
11	Lektion 4 の続き。	Lektio n 4 の練習問題の続きとその応用　文化的背景にも目を配る。
12	Lektion 4 の続き	Lektion 4 の講読と練習問題　文化的背景にも目を配る。
13	重要な事項の補足	文法、その他で重要な事項を詳しく学ぶ。
14	春学期の復習	春学期全体の復習をする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業での指示に従うこと。
本文の講読は全体を予習した方が、練習問題は解きやすい。
学んだことはなるべくその日のうちに復習しよう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
大谷弘道著『CD 付き　ドイツ人を知る 9 章＋ 1』三修社 2500 円＋税

【参考書】
本郷建治著『ドイツ文法の要点』三修社
中島悠爾他著『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社

【成績評価の方法と基準】
出席は 3 分の 2 以上を必要とする。基本的には期末試験＋小テスト 70 % (オンライン授業が最後まで続いた場合は、期末試験に変わる課題、あるいは長めの小テストをオンライン上で行う)、授業参加度（宿題、課題をふくむ平常点）30 %の割合で総合評価する。遅刻 3 回で欠席 1 回にカウントされる。

【学生の意見等からの気づき】
積極的な授業参加を歓迎します。

【その他の重要事項】
楽しく、まじめに勉強しましょう。
公欠届、診断書などはきちんと出してください。
教科書と独和辞典（電波の入る機器を辞書代わりに使うことは許可しない）を毎回手元に置き、使用すること。
Zoom による双方向システム授業時は、PC, タブレットで参加するのが望ましいが、スマートフォンしか用意できず、通信料が心配なときは音だけ聞こえれば大丈夫な時間帯はスマートフォンで「安全運転モード」にすることができる。

【Outline and objectives】
The improvement in German and the mutual understanding of different culture

LANd200LA

ドイツ語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

外山　知子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**土** 1/Sat.1
単位数：**1 単位**
法 2 年 B

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語の向上を目指し、ドイツ文化を素材として異文化理解を深める。

【到達目標】
文法の復習と読解力の向上をめざすばかりでなく、書かれた内容を通して、翻訳では伝わりにくいドイツの文化に触れ、世界を広げる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
毎回教科書に入る前に、よく使われるドイツ語の表現、ドイツの話題などが紹介される。
課題は授業が進められるなかで、クラスに適したものが出される。。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	導入、ドイツ語の感覚を取り戻す。	プリントを配ってドイツ語の文に触れる。あるいは映像教材を観る。 教科書と辞書持参のこと。
2	Lektion 5　に入る。	Lektion 5 事故死の氏名公表はご法度！ Lektion 5 の講読と練習問題　文化的背景にも目を配る。
3	Lektion 5 の続き。	Lektio 5 の練習問題の続きとその応用　文化的背景にも目を配る。
4	Lektin 6 に入る。	Lektion 6 の講読と練習問題　文化的背景にも目を配る。
5	Lektion 6 の続き。	Lektio 6 の練習問題の続きとその応用　文化的背景にも目を配る。
6	Lektion 7 に入る。	Lektion 7 の講読と練習問題　文化的背景にも目を配る。
7	Lektion 7 の続き。	Lektio 7 の練習問題の続きとその応用　文化的背景にも目を配る。
8	Lektion 8 に入る。	Lektion 8 の講読と練習問題　文化的背景にも目を配る。
9	Lektion 8 の続き。	Lektio 8 の練習問題の続きとその応用　文化的背景にも目を配る。
10	Lektion 9 に入る。	Lektion 9 の講読と練習問題　文化的背景にも目を配る。
11	Lektion 9 の続き。	Lektio 9 の練習問題の続きとその応用　文化的背景にも目を配る。
12	Lektion 10 に入る。	Lektio 10 の練習問題の続きとその応用　文化的背景にも目を配る。
13	Lektion 10 の続き。	Lektion 10 練習問題の続きとその応用　文化的背景にも目を配る
14	秋学期の復習と補足	秋学期全体の復習をする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業での指示に従うこと。
本文の講読は全体を予習した方が、練習問題は解きやすい。
学んだことはなるべくその日のうちに復習しよう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
大谷弘道 著　『CD 付き　ドイツ人を知る 9 章＋ 1』三修社　2500 円＋税

【参考書】
本郷建治著『ドイツ文法の要点』三修社
中島悠爾他著『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社

【成績評価の方法と基準】
出席回数（初回の授業で詳しく説明される）が足りないと、課題を提出する資格も試験を受ける資格も失うので気をつけること。具体的には授業中に話す。授業に取り組む姿勢と授業時、授業後の課題を併せて 50%とし、期末試験を 50% とする。遅刻 3 回で欠席 1 回にカウントされる。

【学生の意見等からの気づき】
積極的な授業参加を歓迎します。

【その他の重要事項】
楽しく、まじめに勉強しましょう。
公欠届、診断書などはきちんと提出すること。
教科書と独和辞典を毎回持参すること。スマートフォン、タブレットなどの通信機器はカバンにしまい、辞書として使わないこと。板書はその場でノートに写し、許可なしに写メしないこと。

【Outline and objectives】
The improvement in German and the understanding of a different culture

LANd200LA

ドイツ語３Ｉ

2017 年度以降入学者

長倉　誠一

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
法 2 年 C・D

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文法の基礎を確かなものとしながら、さらに応用力を身につけ、ドイツ語文の読解力をふくめて総合的なドイツ語力を養います。テキストを読めば、異文化としてのドイツ文化について知ることになります。

【到達目標】
中級程度のドイツ語文を一年後には読解できることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
4 月 24 日（金曜日）から試運転開始します。
テキストに即して進めます。テキストには、長文読解とドイツ語文の作成、文法問題が含まれています。これによってドイツ語の総合力を養います。
さらに、中級文法を加えますが、これは適宜プリントを利用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方、次回の準備などの説明、ドイツ語の発音のきまり
第 2 回	初級文法の復習	完了形と受動態、長文読解 (プリント利用)
第 3 回	初級文法の復習	関係代名詞 、長文読解（プリント利用）
第 4 回	Lektion1「授業中の生徒」	長文読解と表現練習
第 5 回	Lektion1「授業中の生徒」	不定関係代名詞その他
第 6 回	Lektion2「ドイツの女性」	長文読解と表現練習
第 7 回	Lektion2「ドイツの女性」	Zu 不定詞句、形容詞の名詞化
第 8 回	Lektion3「答案の記載」	長文読解と表現練習
第 9 回	Lektion3「答案の記載」	受動態、動詞の名詞化
第 10 回	Lektion3「答案の記載」	否定冠詞の用法ならびに否定文について
第 11 回	文法補足	接続法の学習 zu なしの不定詞とその主語について
第 12 回	文法補足	接続法の学習 認容表現の学習
第 13 回	Lektion4a「タクシーのとめ方」	現在分詞などの文法 分詞を基礎語とする述語句 長文読解、独作文
第 14 回	学期末試験	第 13 回までの授業内容確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回宿題が出ます。宿題をやっていないと欠席扱いにします。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『ＣＤ付き　ドイツ人の生活を知る 11 章』
著者：大谷弘道
出版社：三修社

【参考書】
独和辞典
『必携ドイツ文法総まとめ (改訂版)』（中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著）白水社

【成績評価の方法と基準】
平常点（50 %）期末試験（50 %）を基本とする総合評価。

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【学生が準備すべき機器他】
なし。

【その他の重要事項】
なし。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help students acquire the foundation of grammer, and to cultivate German ability, including reading comprehension.

LANd200LA

ドイツ語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

長倉　誠一

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
法 2 年 C・D

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文法の基礎を確かなものとしながら、さらに応用力を身につけ、ドイツ語文の読解力をふくめた総合力を養います。テキストを読めば、ドイツの文化を知ることになります。

【到達目標】
中級程度のドイツ語文を読解できることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストに即して進めます。春学期より量を多くします。
テキストには、長文読解とドイツ語文の作成、文法問題が含まれています。これによってドイツ語の総合力を養います。主な動詞の前綴りや重要な構文などについてプリントで補います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Lektion4b「タクシーで乗客の座る場所」	長文読解と独作文
第 2 回	Lektion4b「タクシーで乗客の座る場所」	Wenn の省略文の表現、間違え易い文法事項（英語との比較）
第 3 回	Lektion5「猛暑日の対応」	長文読解と独作文
第 4 回	Lektion5「猛暑日の対応」	比較級・最高級の復習
第 5 回	Lektion6「犬と猫の購入」	長文読解と独作文
第 6 回	Lektion6「犬と猫の購入」	接続法の復習
第 7 回	Lektion6「犬と猫の購入」	長文読解
第 8 回	重点文法補足	冠飾句
第 9 回	重点文法補足	不定代名詞・指示代名詞、人称代名詞 2 格
第 10 回	Lektion7「ベットの大きさ」	長文読解と独作文
第 11 回	Lektion7「ベットの大きさ」	前置詞など初級文法復習、前置詞との合体形
第 12 回	Lektion7「ベットの大きさ」	序数の用法
第 13 回	Lektion8「ドイツの広告」	無冠詞の名詞他文法復習 長文読解と独作文
第 14 回	学期末試験	第 13 回までの授業内容確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回宿題がでます。宿題をかならずやって授業にでること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『ＣＤ付き　ドイツ人の生活を知る 11 章』
著者：大谷弘道
出版社：三修社

【参考書】
『必携ドイツ文法総まとめ (改訂版)』（中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著）白水社

【成績評価の方法と基準】
平常点（50 %）と期末試験（50 %）を基本とする総合評価

【学生の意見等からの気づき】
とくになし

【学生が準備すべき機器他】
なし

【その他の重要事項】
特になし。

【Outline and objectives】
By the end of the course, students should be able to reach the stage where they can understand more advanced German writings.

LANd200LA

ドイツ語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

小野間　亮子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 4/Tue.4
単位数：**1 単位**
法 2 年 E・S

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級文法の復習を行いつつ、辞書を使って多彩なテーマに関する文章が読める力を養成する。
日常会話に必要な語彙の定着を図り、ドイツ語による表現の方法を学ぶ。

【到達目標】
これまで学んできた初級ドイツ語よりも複雑かつ自然な表現を習得することができる。
ドイツ語圏の生活や文化に関する基本的な知識を身に付けることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
読解、作文および会話の練習を通じて、総合的なドイツ語力の向上を図る。
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それに伴う各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開講日は 4 月 21 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	あいさつ	ドイツ語で自己紹介
第 2 回	ドイツ	ドイツを旅する魅力
第 3 回	ドイツ	数字で見るドイツ
第 4 回	ドイツ	ドイツ・クイズ
第 5 回	鉄道と自転車の旅	電車の旅
第 6 回	鉄道と自転車の旅	自転車でおでかけ
第 7 回	鉄道と自転車の旅	ドイツ鉄道の時刻表
第 8 回	メールヒェンの森から	メールヒェンの成立
第 9 回	メールヒェンの森から	メールヒェンを学ぶ
第 10 回	メールヒェンの森から	魔女とドイツの昔話
第 11 回	ウィーン	ウィーンのカフェ
第 12 回	ウィーン	モーツァルト
第 13 回	ウィーン	ウィーン観光
第 14 回	試験・まとめ	前期に学んだ内容を確認する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各章の読解テクストについては、予習を行った上で授業に臨むこと。予習を授業中に行うことは一切認めない。
また、練習問題やドイツ語作文の宿題を課す場合がある。

【テキスト（教科書）】
Ute Schmidt・Mechthild Duppel-Takayama・三ツ石祐子・和泉雅人著『ファウストとメフィストと学ぶドイツ文化８章プラス・エクストラ』三修社

【参考書】
中島悠爾・平尾浩三・朝倉巧著『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことに伴い、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
履修者がドイツ語で表現する機会を更に増やしたい。

【学生が準備すべき機器他】
紙の辞書あるいは電子辞書を持参すること。

【Outline and objectives】
The main aim of this course is the development of the students' language skills needed to communicate spontaneously and fluently by their German speaking, listening, reading and writing.
It also will enable participants to deepen the knowledge and understanding of the contemporary German culture.

LANd200LA

ドイツ語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

小野間　亮子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 4/Tue.4
単位数：**1 単位**
法 2 年 E・S

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級文法の復習を行いつつ、辞書を使って多彩なテーマに関する文章が読める力を養成する。
日常会話に必要な語彙の定着を図り、ドイツ語による表現の方法を学ぶ。

【到達目標】
これまで学んできた初級ドイツ語よりも複雑かつ自然な表現を習得することができる。
ドイツ語圏の生活や文化に関する基本的な知識を身に付けることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
読解、作文および会話の練習を通じて、総合的なドイツ語力の向上を図る。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	世界遺産	ドイツの世界遺産
第 2 回	世界遺産	世界文化遺産
第 3 回	世界遺産	世界遺産紹介
第 4 回	世界遺産	世界遺産レポート
第 5 回	アイディアの国、ドイツ	ドイツ人の発明
第 6 回	アイディアの国、ドイツ	ドイツの有名企業
第 7 回	アイディアの国、ドイツ	靴の発明
第 8 回	Die DDR	壁の崩壊
第 9 回	Die DDR	Ostalgie(オスタルギー)
第 10 回	Die DDR	ベルリン観光
第 11 回	第九	新たな音楽、新たな絵画
第 12 回	第九	日本初演
第 13 回	第九	第九の合唱
第 14 回	試験・まとめ	後期に学んだ内容を確認する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各章の読解テクストについては、予習を行った上で授業に臨むこと。予習を授業中に行うことは一切認めない。
また、練習問題やドイツ語作文の宿題を課す場合がある。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Ute Schmidt・Mechhild Duppler-Takayama・三ツ石祐子・和泉雅人著『ファウストとメフィストと学ぶドイツ文化８章プラス・エクストラ』三修社

【参考書】
中島悠爾・平尾浩三・朝倉巧著『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社

【成績評価の方法と基準】
平常点（予習状況、課題への取り組みなど）50 %、期末試験 50 % を総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】
履修者がドイツ語で表現する機会を更に増やしたい。

【学生が準備すべき機器他】
紙の辞書か電子辞書を持参すること。

【Outline and objectives】
The main aim of this course is the development of the students' language skills needed to communicate spontaneously and fluently by their German speaking, listening, reading and writing.
It also will enable participants to deepen the knowledge and understanding of the contemporary German culture.

LANd200LA

ドイツ語３Ｉ

2017 年度以降入学者

梶谷　雄二

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文 2 年 A～E

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語の文章を的確に把握して、内容を正確に理解できるようになることを目的とする。同時に、ドイツの生活に根差した文化、習慣を日本の文化と比較しながら理解する。

【到達目標】
ドイツ語の文法を読解に役立つように捉えて、読むこと、話すこと、書くことなど、ドイツ語に何らかの対応ができるようになることを目指します。ドイツ語検定試験 3 級に合格できることを見据える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
①この授業の第一回目は 2020 年 22 日 5 限 16:50 から zoom ミーティングで行う予定です。詳細は Hoppii を参照してください（現在 4 月 17 日金曜日 10:00）
②ミーティング ID とパスワード
ID 364-352-1235　　パスワード 3e5Jpz（現在 4 月 21 日火曜日曜日 10:30）
③ ID が間違っていました。正しくは　845-9167-6731 です。
　パスワードは 3e5Jpz (22 日 16:55 現在)
テキストの各課は本文と本文に関連する 5 から 7 の設問からできている。各課の最初に本文の内容と文法的な説明をした後、音読の練習をする。その後、各受講生に本分の一文章を割り当てて音読をしてもらう。これは各授業の最初に共通に行う。それから、設問を各受講生に割り当てて解答してもらう。各問題の文章はその都度受講生全員で音読する。各課の最後に、設問の最後にある本文の内容と関連する長文を最長 15 分で最大に翻訳してもらう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の進め方、文法の復習
2	パーティーを開くのは祝ってもらう人（一回目）	本文解説、音読練習
3	パーティーを開くのは祝ってもらう人（二回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説
4	パーティーを開くのは祝ってもらう人（三回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説
5	パーティーを開くのは祝ってもらう人（四回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説、翻訳の小テスト
6	20 歳を過ぎれば親元を離れる（一回目）	本文解説、音読練習
7	20 歳を過ぎれば親元を離れる（二回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説
8	20 歳を過ぎれば親元を離れる（三回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説、翻訳の小テスト
9	教室で手をあげないと減点（一回目）	本文解説、音読練習
10	教室で手をあげないと減点（二回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説
11	教室で手をあげないと減点（三回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説、翻訳の小テスト
12	2 回不合格だと失格（一回目）	本文解説、音読練習
13	2 回不合格だと失格（二回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説
14	2 回不合格だと失格（三回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説、翻訳の小テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。音読する文章を付録の CD を参考に予め練習すること。設問の予習をすること。復習は主に既習の本文の音読を練習すること。

【テキスト（教科書）】
CD 付き　ドイツ人を知る 9 章 + 1　大谷弘道著　株式会社三修社　2007 年 3 月 20 日　2,750 円（本体 2,500 円）

【参考書】
独和辞典はもちろんだが、そのほかの参考書については授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
授業への参加姿勢 10 %、音読の評価 30 %（ドイツ語として理解できる A+、ドイツ語の発音の基本を理解している A、発音の基本を一二度間違える B、発音の基本を数回以上間違える C）、設問解答の姿勢 10 %（解答の正誤より解答姿勢を問う）、各課終了時の小テストの平均 50 %（短時間の翻訳で、授業で学んだ翻訳の基本事項を理解しているかどうかを評価する）

【学生の意見等からの気づき】
授業の方針や授業の目的を受講生によく理解してもらうように丁寧に説明する。

【Outline and objectives】
The purpose is to be able to understand the contents accurately by understanding German sentences accurately. At the same time, they will understand the culture and customs rooted in German life by comparing them with Japanese culture.

LANd200LA

ドイツ語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

梶谷　雄二

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文 2 年 A～E

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語の文章を的確に把握して、内容を正確に理解できるようになることを目的とする。同時に、ドイツの生活に根差した文化、習慣を日本の文化と比較しながら理解する。

【到達目標】
ドイツ語の文法を読解に役立つように捉えて、読むこと、話すこと、書くことなど、ドイツ語に何らかの対応ができるようになることを目指します。ドイツ語検定試験 3 級に合格できることを見据える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストの各課は本文と本文に関連する 5 から 7 の設問からできている。各課の最初に本文の内容と文法的な説明をした後、音読の練習をする。その後、各受講生に本分の一文章を割り当てて音読をしてもらう。これは各授業の最初に共通に行う。それから、設問を各受講生に割り当てて解答してもらう。各問題の文章はその都度受講生全員で音読する。各課の最後に、設問の最後にある本文の内容と関連する長文を最長 15 分で最大に翻訳してもらう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	事故死傷者の氏名公表はご法度（一回目）	本文解説、音読練習
2	事故死傷者の氏名公表はご法度（二回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説
3	事故死傷者の氏名公表はご法度（三回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説
4	事故死傷者の氏名公表はご法度（四回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説、翻訳の小テスト
5	終点を知らないと電車に乗れない（一回目）	本文解説、音読練習
6	終点を知らないと電車に乗れない（二回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説
7	終点を知らないと電車に乗れない（三回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説、翻訳の小テスト
8	コミュニケーションの決め手は、相手の名前を覚えること（一回目）	本文解説、音読練習
9	コミュニケーションの決め手は、相手の名前を覚えること（二回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説
10	コミュニケーションの決め手は、相手の名前を覚えること（三回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説、翻訳の小テスト
11	人間は「動物」ではない（一回目）	本文解説、音読練習
12	人間は「動物」ではない（二回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説
13	人間は「動物」ではない（三回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説、翻訳の小テスト
14	予備	授業が予定通りに進んでいない場合の調整にこの授業を充てる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。音読する文章を付録の CD を参考に予め練習すること。設問の予習をすること。復習は主に既習の本文の音読を練習すること。

【テキスト（教科書）】
CD 付き　ドイツ人を知る 9 章＋ 1　大谷弘道著　株式会社三修社　2007 年 3 月 20 日　2,750 円（本体 2,500 円）

【参考書】
独和辞典はもちろんだが、そのほかの参考書については授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
授業への参加姿勢 10 %、音読の評価 30 %（ドイツ語として理解できる A+、ドイツ語の発音の基本を理解している A、発音の基本を一二度間違える B、発音の基本を数回以上間違える C）、設問解答の姿勢 10 %（解答の正誤より解答姿勢を問う）、各課終了時の小テストの平均 50 %（短時間の翻訳で、授業で学んだ翻訳の基本事項を理解しているかどうかを評価する）

【学生の意見等からの気づき】
授業の方針や授業の目的を受講生によく理解してもらうように丁寧に説明する。

【Outline and objectives】
The purpose is to be able to understand the contents accurately by understanding German sentences accurately. At the same time, they will understand the culture and customs rooted in German life by comparing them with Japanese culture.

LANd200LA

ドイツ語３Ｉ

2017 年度以降入学者

天沼　春樹

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
文２年Ｆ

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語を 1 年間履修した学生の読解ならびに表現の運用を、中級程度のテキストによってブラッシュ・アップしていきます。その際、語彙力をのばし、また現代社会のボキャブラリー (政治・経済・環境・社会問題) にも多くふれていく。とくにＩ (前期) においては、環境先進国ドイツの現代事情を読みかつ訳しながら、このテーマへの理解度もふかめていく。授業はスレッドを使い、解説もそこに配信します。
学期末にレポート提出を予定します。質問等は、haruki@tt.rim.or.jp(先生個人) 宛に。学籍番号　　氏名　授業名　　曜日　限と明記してください。

【到達目標】
ネットやニュースに頻繁に出てくる用語 (英語と比較しながら) ボキャブラリーを増やしていく。たとえば原発は、ドイツ語でなんというのか？　エネルギー・シフト
にあたる用語は？　ドイツ語だけでなく時事英語のボキャブラリーとの比較もしていきます。テキストのほかに、適宜、ドイツの Nachrichte(ニュース) から引用したプリントも配布し、この記事はニューズウィークではこうであったが、フランクフルト・アルゲマイネ紙ではこんなふうに報道されているというような勉強もまじえていくつもりである。ただし、難解なものではなく、その都度話題になっていて、日本のニュースでも流れているようなグローバルで、比較的読みやすい記事をチョイスしたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストの訳読と解説。第一ステージは、教師が手ほどきとして、ていねいに構文や用語を解説していく。学生は、その週にわりあてられた一定の分量の予習にしたがって、その解説を生かして、自分で翻訳文を作成していく。(大量ではありません) また、環境テーマのドキュメント (ドイツ語、日本語) の視覚教材を、その演習にまぜていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ドイツ語の基礎から応用へ	初級の基本知識の要諦を再確認・教材の解説。なにに力をそそぐか？
2	Energiewende—nicht ohne Widerstand エネルギー　反対なしには手にはいらない。	Lktion 1 の前半
3	Energiewende—nicht ohne Widerstand エネルギー　反対なしには手にはいらない。	Lektion1 の後半
4	Was bedeutet 》Ebergiewende《？ 「エネルギー転換」とは？	Lektion 2 の前半
5	Was bedeutet 》Ebergiewende《？ 「エネルギー転換」とは？	Lektion 2 の後半
6	Elektritaet–das Kernstueck 電気–エネルギーの要	Lektion 3 の前半
7	Elektritaet–das Kernstueck 電気–エネルギーの要	Lektion 3 の後半
8	Das Erneuerbare-Energien-Gesetz EEG 再生可能エネルギー法	Lektion4 の前半 Das Erneuerbare-Energien-Gesetz EEG
9	Das Erneuerbare-Energien-Gesetz EEG 再生可能エネルギー法	Lektion 4 の後半
10	Energie aus Biomasse バイオマスからのエネルギー	Lektion 5 の前半
11	Energie aus Biomasse バイオマスからのエネルギー	Lektion 5 の後半
12	初見の現代文 (ニュース) を読んでみよう!	配布資料　辞書必携
13	初見の現代文 (ニュース) を読んでみよう!	配布資料　辞書必携
14	本学期のまとめと復習。現代用語・ボキャブラリーの再確認。	これまで目にしたボキャブラリーをまとめる。簡単な独作文で応用してみる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
2 回目以後を、あらかじめ指定されたテキストの箇所を予習してくること。かならずしも正確に理解できなくとも、30 分程度は原文に目をとおしておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Hermann Ttoll/Yoshinari Kaisaki ≪Die deutsche Energiewende≫？ ヘルマン・トロール/甲斐崎由典著 (ドイツのエネルギー転換とは？) 第三書房

【参考書】
■ドイツの環境政策
http://www.goo.ne.jp/green/business/word/life/S00200_kaisetsu.html

【成績評価の方法と基準】
期末試験 70 %・平常点 30 % (授業時発表・小テスト) による。

【学生の意見等からの気づき】
日本語による学習テーマへのコメントを文書でもとめます。また、付随して調べた事柄のレポートも平常評価に算定します。(講義中に説明します)

【学生が準備すべき機器他】
独和辞書以外はとくに必要としないが、自主学習でネット検索で環境テーマを調べてもらうこともあります。

【その他の重要事項】
最初は、かなりハードに頭を働かせることになりますが、用語や構文になれるにしたがって、楽になります。楽にならないのは、なにもしないからです。

【Outline and objectives】
Students learn how to translate German plain text into Japanese using the second half of the textbook used in the preceding course German 3 I. It deals with both current events and literary passages equally. In addition to the textbook printed materials (especially literary texts) will be distributed during class. Further information will be provided in the first class.

LANd200LA

ドイツ語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

天沼　春樹

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
文 2 年 F

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語３Ⅰにつづくテキストの後半部を使用する。時事ドイツ語と比較的文芸的なドイツ語を半々にまぜて訳読していく。テキストとプリントを使用する (文芸的教材はプリントで配布)。開講時に再度くわしく、そのとりくみかたを説明します。

【到達目標】
ドイツ語の構造をしっかりとらえ、単語の意味を適切にえらんで、意味のとおる日本語にしていく練習。はじめはゆるやかに、しだいに速度をあげていきます。山カンで適当に訳してしまわないクセをつけましょう。わかるまで説明していくつもりです。語学とは、情報を知り、また伝える道具であるべきです。それには、日々の積みかさねが大事です。習うより慣れろでもあります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
読解練習と解説。視聴覚教材で当該テキストの内容にあうものを見聞きして慣れてもらう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Lektion8 以下テキストを進める。テキストが終了した場合は、適宜プリントによる教材を教室で配布して使用する。辞書必携のこと。	原子力代替の進め方 (1)
2	Lektion9	原子力代替の進め方 (2)
3	Lektion10	水力 (発電 (1)
4	Lektion10	水力 (発電)(2)
5	Lektion11	送電法 (1)
6	Lektion12	送電法 (2)
7	Lektion13	交通制度 (1)
8	Lektion14	交通制度 (2)
9	Lektion15	再生可能な熱源 (1)
10	Lektion16	再生可能な熱源 (2)
11	Lektion17	ドイツと近隣諸国 (1)
12	Lektion18	ドイツと近隣諸国 (2)
13	Lektion19	ドイツの環境政策と近隣諸国 (1)
14	Lektion20	ドイツの環境政策と近隣諸国 (2)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
指定された行数までの予習。ボキャブラリー確認。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Hermann Troll/Yoshinari Kaisaki《Die deutsche Energiewende》ヘルマン・トロール/甲斐崎由典著（ドイツのエネルギー転換とは？) 第三書房

【参考書】
このテーマにそった資料や書籍は、日々更新されるので、その都度紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常授業時の発表・ノート (30 %)、学期末試験 (70%) の総合評価。開講時にくわしく説明する。

【学生の意見等からの気づき】
ただドイツ語を学習するのではなく、聞いたり見たりと実際に日常でできるネット情報をたくさん紹介します。

【学生が準備すべき機器他】
独和辞書 (電子辞書可)

【その他の重要事項】
出席重視。

【None】
None

【None】
None

【None】
None

【None】
None

【None】
None

【Outline and objectives】
Students learn how to translate German plain text into Japanese using the second half of the textbook used in the preceding course German 3 I. It deals with both current events and literary passages equally. In addition to the textbook printed materials (especially literary texts) will be distributed during class. Further information will be provided in the first class

LANd200LA

ドイツ語３Ｉ

2017 年度以降入学者

日中　鎮朗

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 1/Fri.1
単位数：**1 単位**
文２年Ｌ

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語の基本文法をひと通り学習した学生が対象です。
基本文法を確認しながら語彙を増やし、ドイツ語表現を学ぶことがこの授業の目標です。

【到達目標】
ドイツ語の文法上の弱点を発見し、関連語彙や派生語を増やしていきます。
ドイツ語で日常的な表現や意思疎通ができるようにします。
ドイツの生活・習慣・習俗・休暇制度について知ることができます。
日常生活や習慣・制度についてドイツ語での表現法を身に着けることができます。
論説的な文章を読解することができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
COVID19 感染拡大により、当面、「学習支援システム」を通して、オンラインで行います。Hoppii から入ることができます。
教材と課題がアップされますので、視聴学習を行ってください。
学習支援システムでの授業開始日は 4 月 24 日です。
（以下は教室授業 [対面授業］が再開された場合です：文法説明等は講義形式になりますが、毎回、担当者を決めて訳読します。
回ごとのトピックや表現方法を取り上げながら、授業を進めます。
DVD があるので、それを授業で見ることで、聞き取る能力をつけます。
これらと並行して、ドイツの歴史や文化に触れる視聴覚資料を利用していきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ーーオンラインによる—— オリエンテーション ゲーテの文	ーーオンラインによる—— ゲーテの文の解読
第 2 回	ーーオンラインによる—— 「若きウェルテルの悩み」	ーーオンラインによる—— 文法的事項の解説
第 3 回	Lektion1 相手について知る	動詞の位置と練習問題
第 4 回	Lektion2 Meine Familie 家族の紹介	名詞の性のまとめ
第 5 回	Lektion2 Meine Familie 家族の持ち物	所有冠詞と練習問題
第 6 回	Lektion3 Meine Hobbys 趣味について語る	不規則動詞のまとめ
第 7 回	Lektion3 Meine Hobbys ドイツ人の趣味	名詞の複数形と練習問題

第 8 回	Lektion4 Zum Chiemsee ドイツの名所	名詞の 3 格について
第 9 回	Lektion4 Zum Chiemsee 交通機関について	前置詞と練習問題
第 10 回	Lektion5 Gesundheit ドイツの保険・医療制度	分離・非分離動詞のまとめ
第 11 回	Lektion5 Gesundheit ドイツと日本の医療の比較	時刻の表現と練習問題
第 12 回	Lektion6 Einkaufen 買い物の表現	話法の助動詞のまとめ
第 13 回	Lektion6 Einkaufen	命令形と練習問題
第 14 回	春学期で学んだ表現のまとめと期末試験	春学期の文法事項のまとめと期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。授業で習った知識を確実にするためにも、復習を行います。
次回に行う章や文章のわからない単語、語句を調べ、自分で訳を試みます。
自分の試訳と授業での訳との違いの理由を確かめ、正確な理解に努めます。
テキストの毎回のテーマに関心を持ち、関連する本を読むとより興味をもって授業に臨め、理解も深めることができます。

【テキスト（教科書）】
ドイツ語の時間＜ときめきミュンヘン＞　清野智明他著　朝日出版社
現状では、テキストが送られてくるまでは授業開始以後、1，2 週間、（物流事情によってはそれ以上）かかることが予想されます。それまではオンラインでも教科書を使わずに、学習します。

【参考書】
必要な場合は授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。
ーーー

第 14 回　秋学期の総復習と試験　文法や表現方法の要点確認と試験まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。授業で習った知識を確実にするためにも、復習を行います。
次回に行う章や文章のわからない単語、語句を調べ、自分で訳を試みます。
自分の試訳と授業での訳との違いの理由を確かめ、正確な理解に努めます。
テキストの毎回のテーマに関心を持ち、関連する本を読むとより興味をもって授業に臨め、理解も深めることができます。

【テキスト（教科書）】
ドイツ語の時間＜ときめきミュンヘン＞　清野智明他著　朝日出版社

【参考書】
必要があれば適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】
期末試験７０％
平常点（授業準備や訳読や課題の遂行・提出、授業への積極的な取り組み）３０％、

【学生の意見等からの気づき】
わかりやすい丁寧な説明を継続します。
ドイツについて新しい発見ができるように構成します。

【学生が準備すべき機器他】
特にありません。

【その他の重要事項】
春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。

【Outline and objectives】
German for Ichigaya Liebral Arts Center(ILAC) Program.
This course provides advanced German expressions through reading and is open to the students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program.

LANd200LA

ドイツ語３Ｉ

2017 年度以降入学者

長倉　誠一

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
文 2 年 P

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文法の基礎を確かなものとしながら、さらに応用力を身につけ、ドイツ語文の読解力をふくめて総合的なドイツ語力を養います。テキストを読めば、異文化としてのドイツ文化について知ることになります。

【到達目標】
中級程度のドイツ語文を一年後には読解できることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
4 月 24 日（金曜日）から試運転を始めます。
テキストに即して進めます。テキストには、長文読解とドイツ語文の作成、文法問題が含まれています。これによってドイツ語の総合力を養います。
さらに、中級文法を加えますが、これは適宜プリントを利用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方、次回の準備などの説明、ドイツ語の発音のきまり
第 2 回	初級文法の復習	完了形と受動態、長文読解 (プリント利用)
第 3 回	初級文法の復習	関係代名詞 、長文読解（プリント利用）
第 4 回	Lektion1「授業中の生徒」	長文読解と表現練習
第 5 回	Lektion1「授業中の生徒」	不定関係代名詞その他
第 6 回	Lektion2「ドイツの女性」	長文読解と表現練習
第 7 回	Lektion2「ドイツの女性」	Zu 不定詞句、形容詞の名詞化
第 8 回	Lektion3「答案の記載」	長文読解と表現練習
第 9 回	Lektion3「答案の記載」	受動態、動詞の名詞化
第 10 回	Lektion3「答案の記載」	否定冠詞の用法ならびに否定文について
第 11 回	文法補足	接続法の学習 zu なしの不定詞とその主語について
第 12 回	文法補足	接続法の学習 認容表現の学習
第 13 回	Lektion4a「タクシーのとめ方」	現在分詞などの文法 分詞を基礎語とする述語句 長文読解、独作文
第 14 回	学期末試験	第 13 回までの授業内容確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回宿題が出ます。宿題をやっていないと欠席扱いにします。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『ＣＤ付き　ドイツ人の生活を知る 11 章』
著者：大谷弘道
出版社：三修社

【参考書】
独和辞典
『必携ドイツ文法総まとめ (改訂版)』（中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著）白水社

【成績評価の方法と基準】
平常点（50 %）期末試験（50 %）を基本とする総合評価。

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【学生が準備すべき機器他】
なし。

【その他の重要事項】
特になし。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help students acquire the foundation of grammer, and to cultivate German ability, including reading comprehension.

LANd200LA

ドイツ語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

長倉　誠一

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
文 2 年 P

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文法の基礎を確かなものとしながら、さらに応用力を身につけ、ドイツ語文の読解力をふくめた総合力を養います。テキストを読めば、ドイツの文化を知ることになります。

【到達目標】
中級程度のドイツ語文を読解できることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストに即して進めます。春学期より量を多くします。
テキストには、長文読解とドイツ語文の作成、文法問題が含まれています。これによってドイツ語の総合力を養います。主な動詞の前綴りや重要な構文などについてプリントで補います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Lektion4b「タクシーで乗客の座る場所」	長文読解と独作文
第 2 回	Lektion4b「タクシーで乗客の座る場所」	Wenn の省略文の表現、間違え易い文法事項（英語との比較）
第 3 回	Lektion5「猛暑日の対応」	長文読解と独作文
第 4 回	Lektion5「猛暑日の対応」	比較級・最高級の復習
第 5 回	Lektion6「犬と猫の購入」	長文読解と独作文
第 6 回	Lektion6「犬と猫の購入」	接続法の復習
第 7 回	Lektion6「犬と猫の購入」	長文読解
第 8 回	重点文法補足	冠飾句
第 9 回	重点文法補足	不定代名詞・指示代名詞、人称代名詞 2 格
第 10 回	Lektion7「ベットの大きさ」	長文読解と独作文
第 11 回	Lektion7「ベットの大きさ」	前置詞など初級文法復習、前置詞との合体形
第 12 回	Lektion7「ベットの大きさ」	序数の用法
第 13 回	Lektion8「ドイツの広告」	無冠詞の名詞他文法復習 長文読解と独作文
第 14 回	学期末試験	第 13 回までの授業内容確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回宿題がでます。宿題をかならずやって授業にでること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『ＣＤ付き　ドイツ人の生活を知る 11 章』
著者：大谷弘道
出版社：三修社

【参考書】
『必携ドイツ文法総まとめ (改訂版)』（中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著）白水社

【成績評価の方法と基準】
平常点（50 %）と期末試験（50 %）を基本とする総合評価

【学生の意見等からの気づき】
とくになし

【学生が準備すべき機器他】
なし

【その他の重要事項】
特になし。

【Outline and objectives】
By the end of the course, students should be able to reach the stage where they can understand more advanced German writings.

LANd200LA

ドイツ語３Ｉ

2017 年度以降入学者

畠山　勝彦

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
文 2 年 T～W

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、ドイツ語の文法構造についての基本的知識を獲得することを目的とします。ドイツ語と日本語の音声上、音韻上の違いについても詳細な説明をします。受講者はドイツ語と日本語の音声・音韻構造の違いを明確に理解できるようになります。

【到達目標】
辞書を用い自力でドイツ語の構文解析ができるようにします。ドイツ語の統語構造についての正確な理解を身につけ、自力でテクストの解析を行えるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日は５月４日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Lektion1-1	基本法ードイツの幸運 1
2	Lektion1-2	基本法ードイツの幸運 2
3	Lektion2-1	女性参政権行使 100 周年 1
4	Lektion2-2	女性参政権行使 100 周年 2
5	Lektion3-1	ドイツの若者と政治 1
6	Lektion3-2	ドイツの若者と政治 2
7	Lektion4-1	男性、女性、多様 1
8	Lektion4-2	男性、女性、多様 2
9	Lektion5-1	住宅不足と家賃の高騰 1
10	Lektion5-2	住宅不足と家賃の高騰 2
11	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
ドイツ語のテクストについての予習が必要です。よく準備して授業に参加して下さい。

【テキスト（教科書）】
時事ドイツ語 2020 年度版
石井寿子・Andrea Raab 著
朝日出版社　2020 年発行　定価 1900 円＋税

【参考書】
『必携ドイツ文法総まとめ（改訂版）』
中島悠爾、平尾浩三、朝倉巧著
白水社、定価 1,600 円＋税

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更します。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示します。

【学生の意見等からの気づき】
参加者の学習到達度を確認するため、演習の機会を多く設けたいと思います。参加者が予習・復習に力を注ぐよう課題を与えます。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help students acquire basic knowledge of grammatical structures of German language. A detailed explanation of phonetic and phonological differences between German and Japanese will be given. Participants will have a clear understanding of phonetic and phonological structures of both languages.

LANd200LA

ドイツ語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

畠山　勝彦

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
文 2 年 T～W

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、ドイツ語の文法構造についての基本的知識を獲得することを目的とします。ドイツ語と日本語の音声上、音韻上の違いについても詳細な説明をします。受講者はドイツ語と日本語の音声・音韻構造の違いを明確に理解できるようになります。

【到達目標】
辞書を用い自力でドイツ語の構文解析ができるようにします。ドイツ語の統語構造についての正確な理解を身につけ、自力でテクストの解析を行えるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業の開始日を５月４日とします。
ドイツ語の構造について詳細な解説をします。基本的な例文を暗記します。
辞書は毎回必ず持参して下さい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Lektion6-1	EU プラスチック禁止令を採択 1
2	Lektion6-2	EU プラスチック禁止令を採択 2
3	Lektion7-1	日曜大工の国で 1
4	Lektion7-2	日曜大工の国で 2
5	Lektion8-1	バウハウス創立 100 周年 1
6	Lektion8-2	バウハウス創立 100 周年 2
7	Lektion9-1	ファッション界のドン　カール・ラーガーフェルト逝去 1
8	Lektion9-2	ファッション界のドン　カール・ラーガーフェルト逝去 2
9	Lektion10-1	ドイツ語正書法：「書いて読む方式」の廃止 1
10	Lektion10-2	ドイツ語正書法：「書いて読む方式」の廃止 2
11	Lektion11	ドイツアルペンクラブ：山を愛して 150 年
12	Lektion12	「きよしこの夜」誕生から 200 年
13	期末試験	期末試験
14	期末試験解説 復習	期末試験についての講評と秋学期の復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
ドイツ語のテクストについての予習が必要です。よく準備して授業に参加して下さい。

【テキスト（教科書）】
時事ドイツ語 2020 年度版
石井寿子・Andrea Raab 著
朝日出版社　2020 年発行　定価 1900 円＋税

【参考書】
『必携ドイツ文法総まとめ（改訂版）』
中島悠爾、平尾浩三、朝倉巧著

白水社、定価 1,600 円＋税

【成績評価の方法と基準】
原則として、期末試験（筆記）６０％、平常点（演習等）４０％とします。

【学生の意見等からの気づき】
参加者の学習到達度を確認するため、演習の機会を多く設けたいと思います。参加者が予習・復習に力を注ぐよう課題を与えます。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help students acquire basic knowledge of grammatical structures of German language. A detailed explanation of phonetic and phonological differences between German and Japanese will be given. Participants will have a clear understanding of phonetic and phonological structures of both languages.

LANd200LA

ドイツ語３Ｉ

2017 年度以降入学者

丸山　達也

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
営 2 年 A・B

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級文法を復習しながらドイツ語の文章に触れ、辞書を使いながら読解すること、ドイツ語圏に関する知識を深めることを目指します。

【到達目標】
辞書を使いながらドイツ語の平易な文章を読むことができるようになります。読解や文法事項の復習を通じて、自分でもドイツ語で表現ができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
【変更あり】春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 24 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Einführung	Lektion 0
2	Lektion 1	地理と気候
3	Lektion 2	食生活
4	Lektion 2	食生活
5	Lektion 3	ドイツ語という言語
6	Lektion 4	ドイツの大学
7	Lektion 4	ドイツの大学
8	Lektion 5	祝日と休暇
9	Lektion 5	祝日と休暇
10	Lektion 6	ドイツの治安事情
11	Lektion 6	ドイツの治安事情
12	Lektion 7	教育制度
13	Lektion 7	教育制度
14	学期末試験	春学期に学習した範囲

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各回とも予習を前提に授業を進めていくため、各課のテキストは必ず自分なりに読解しておいてください。復習する際には読み書きだけでなく、テキストを繰り返し音読することも重要です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Siegfried Kohlhammer ・斎藤太郎『Deutsch und deutschsprachiger Raum（知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～）』朝日出版社，2018 年.
（２３００円＋税）

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
【変更あり】平常点（授業への参加態度、宿題、発言/発信など）30 %、小テスト 40 %、提出課題 30 %を総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
なし

【その他の重要事項】
「授業計画」は、授業の進度などにより変更する可能性があります。

【Outline and objectives】
The main goal in this class is to develop students' ability to read texts in German. To read texts in German, students need to deepen grammar knowledge and understand German culture.

LANd200LA

ドイツ語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

丸山　達也

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
営 2 年 A・B

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に続いて、ドイツ語の文章に触れ、辞書を使いながら読解すること、ドイツ語圏に関する知識を深めることを目指します。

【到達目標】
辞書を使いながらドイツ語の平易な文章を読むことができるようになります。読解や文法事項の復習を通じて、自分でもドイツ語で表現ができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書の各課はそれぞれのテーマに関するドイツ語のテキスト、文法チェック、練習問題から構成されています。各課ともまずはテキストの読解に挑戦し、文法事項を復習して練習問題をやった上で、もう一度テキストを読んで理解を深めていきます。毎回の授業のために事前に予習しておくことが重要です。学生の関心に応じて、扱うテキストの順番を変更することもあります。
独和辞典を必ず持参してください（紙辞書か電子辞書かは問いません。ただし無料オンライン辞書や Google 翻訳は不可。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Lektion 8	政治制度
2	Lektion 8	政治制度
3	Lektion 9	ドイツの歴史外観
4	Lektion 10	音楽の国ドイツ
5	Lektion 10	音楽の国ドイツ
6	Lektion 11	ドイツの宗教事情
7	Lektion 11	ドイツの宗教事情
8	Lektion 12	二つのドイツ
9	Lektion 12	二つのドイツ
10	Lektion 13	EU とドイツ
11	Lektion 13	EU とドイツ
12	Lektion 14	ドイツの外国人，難民，移民
13	Lektion 14	ドイツの外国人，難民，移民
14	学期末試験	一年間で学習した範囲

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各回とも予習を前提に授業を進めていくため、各課のテキストは必ず自分なりに読解しておいてください。復習する際には読み書きだけでなく、テキストを繰り返し音読することも重要です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Siegfried Kohlhammer ・斎藤太郎『Deutsch und deutschsprachiger Raum（知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～）』朝日出版社，2018 年.
（２３００円＋税）

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
学期末試験（60 %）と、授業での課題や小テスト等、普段の取り組み（40 %）によって行う。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
なし

【その他の重要事項】
「授業計画」は、授業の進度などにより変更する可能性があります。

【Outline and objectives】
The main goal in this class is to develop students' ability to read texts in German. To read texts in German, students need to deepen grammar knowledge and understand German culture.

LANd200LA

ドイツ語３Ｉ

2017 年度以降入学者

オストヴァルト・イェンス

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**1 単位**
営 2 年 C〜J・L

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
読解力と文法の強化
ドイツの習慣や文化について書かれたテキストを通して、文法の強化と読解力を身につけます。また、ドイツの文化についても触れることで、総合的なドイツの理解を深めます。

【到達目標】
文法の理解と、読解力をつけることで基礎的なドイツ語を使えるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
＜重要：春学期の授業開始について＞
・本授業の開始日は、４月２２日（水）2 限目です。
・初回の２２日は、Zoom という双方向型のリアルタイム・オンラインシステムを使って、できるだけ皆さんと話をしながら授業を行います。
・Zoom へのアクセスのためのリンクなどは、学習支援システムの本授業の「お知らせ」コーナーにアップしますので、仮登録をして、必ず前日までに確認し、準備をして下さい。
***
ドイツ語の読解と文法の復習および強化。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	オリエンテーション 授業についての説明 ドイツ語について
第 2 回	文法・語彙の復習	一年生の時に学んだドイツ語の復習
第 3 回	復習として簡単な会話	挨拶など・簡単な会話の復習
第 4 回	簡単な自己紹介	簡単な自己紹介を言えるように。 疑問文の練習
第 5 回	自己紹介	自己紹介を言える、書ける、読めるように。 疑問文の練習
第 6 回	買い物	チラシを読む、買い物で必要な会話を習得する
第 7 回	食べ物・飲み物	食べ物・飲み物についての読書
第 8 回	旅行のドイツ語 I レストラン	メニューとレストランでの小会話
第 9 回	旅行のドイツ語 II ホテル	ホテルについての情報、予約 Web ページを読む
第 10 回	旅行のドイツ語 III 道を尋ねる	道を尋ねる会話
第 11 回	旅行のドイツ語 IV 交通機関	航空券、切符の購入など
第 12 回	旅行のドイツ語 V 観光案内	語彙・文法・読解方法の復習
第 13 回	復習	語彙・文法・読解方法の復習
第 14 回	期末テスト	期末テスト 学期の纏め

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
宿題・復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
配布資料

【参考書】
独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

【成績評価の方法と基準】
期末試験　５０％
小テスト　２０％
宿題　１０％
平常点　２０％

【学生の意見等からの気づき】
教科書に沿った授業の進め方ではなく、受講生にあわせて配布プリントを活用する。

【その他の重要事項】
学生の興味や理解度に順じてプログラムを変更することもあります。

【Outline and objectives】
German language course;
vocabulary expansion and grammar review, readings (and conversation);

LANd200LA

ドイツ語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

オストヴァルト・イェンス

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**1 単位**
営 2 年 C〜J・L

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
読解力と文法の強化
ドイツの習慣や文化について書かれたテキストを通して、文法の強化と読解力を身につけます。また、ドイツの文化についても触れることで、総合的なドイツの理解を深めます。

【到達目標】
文法の理解と、読解力をつけることで基礎的なドイツ語を使えるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
ドイツ語の読解と文法の復習および強化。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	復習	今まで学んだドイツ語の復習
第 2 回	環境問題 テーマ１	環境問題についての資料を読む
第 3 回	環境問題 テーマ２	環境問題についての資料を読んで 文法上の問題点を解説
第 4 回	簡単な広告のスローガン	スローガンを読み解く
第 5 回	大企業の広告のスローガンなど	スローガンを読み解く スローガン・宣伝のドイツ語の特徴を見る
第 6 回	童話 I	グリム童話を読む
第 7 回	童話 II	文法の解説
第 8 回	経済についての読書のための語彙	経済に関する語彙を探して、読み解く
第 9 回	経済についての読書 統計	統計を読んで理解する
第 10 回	経済についての読書 データ	インタネットで経済についての データの検索・理解
第 11 回	経済についての読書 ニュース	簡単な新聞などのニュースを読む
第 12 回	復習：語彙・文法	語彙・文法の復習・練習
第 13 回	復習：読解方法	復習：文を読み解く方法
第 14 回	期末テスト	期末テスト 纏め

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
宿題・復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
配布資料

【参考書】
独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

【成績評価の方法と基準】
期末試験　５０％
小テスト　２０％

宿題　１０％
平常点　２０％

【学生の意見等からの気づき】
教科書に沿った授業の進め方ではなく、受講生にあわせて配布プリントを活用する。

【Outline and objectives】
German language course;
vocabulary expansion and grammar review, readings (and conversation);

LANd200LA

ドイツ語３Ｉ

2017 年度以降入学者

笠原　賢介

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
営 2 年 K

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語の基本文法をひと通り学習した学生が対象です。
基本文法を確認しながら語彙を増やし、ドイツ語による表現と読解を学ぶことがこの授業の目標です。

【到達目標】
ドイツ語の文法上の弱点を発見し、関連語彙や派生語を増やしていきます。
ドイツ語で日常的な表現や意思疎通ができるようにする。
ドイツの生活・習慣・文化について知る。
日常生活や習慣・制度についてドイツ語での表現法を知る。
論説的な文章を読解することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
文法の復習をしながら、毎回、担当者を決めて訳読と表現練習をします。
回ごとのトピックや表現方法を取り上げながら、授業を進めます。
必要に応じて視聴覚資料を利用します。
＊ 4 月 27 日（月）より、学習支援システムで授業を開始します。
＊ 4 月 21 日（火）より教科書の通信販売（法大生協）が可能になります。すみやかに教科書を注文してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	授業の進め方、成績評価について
第 2 回	Lektion1 身近な表現の習得（1）	現在人称変化のまとめ
第 3 回	Lektion1 身近な表現の習得（2）	動詞の位置と表現練習
第 4 回	Lektion2 身近な表現の習得（3）	名詞の性と不定冠詞
第 5 回	Lektion2 身近な表現の習得（4）	重要な動詞の変化
第 6 回	Lektion3 身近な表現の習得（5）	定冠詞の格変化
第 7 回	Lektion3 身近な表現の習得（6）	不規則動詞の変化
第 8 回	Lektion4 身近な表現の習得（7）	定冠詞類の復習
第 9 回	Lektion4 身近な表現の習得（8）	不定冠詞類の復習
第 10 回	Lektion5 身近な表現の習得（9）	人称代名詞の格変化
第 11 回	Lektion5 身近な表現の習得（10）	再帰代名詞と再帰動詞
第 12 回	Lektion6 身近な表現の習得（11）	前置詞の復習

第 13 回	Lektion6 身近な表現の習得 （12）	前置詞の使い方
第 14 回	春学期で学んだ表現のまとめと期末試験	春学期の文法事項のまとめと期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業で習った知識を確実にするためにも、復習を行う。
次回に行う章や文章のわからない単語、語句を調べ、自分で訳を試みておく（予習）。
自分の試訳と授業での訳との違いの理由を確かめ、正確な理解に努めます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
木戸紗織『身近なドイツ語－話したくなる 10 のトピック』朝日出版社

【参考書】
必要な場合は授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業準備や訳読、積極的参加）40 %、
期末試験 60 %
＊授業内容・方法の変更にともなう成績評価の方法と基準の変更は、今後、学習支援システムを通じて告知します。

【学生の意見等からの気づき】
授業内の私語は厳禁します。当たった課題は必ず果たすこと。

【学生が準備すべき機器他】
特にありません。

【その他の重要事項】
春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。

【Outline and objectives】
German for Ichigaya Liebral Arts Center(ILAC) Program.
This course provides advanced German expressions through reading and is open to the students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program.

LANd200LA

ドイツ語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

笠原　賢介

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
営 2 年 K

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語の基本文法をひと通り学習した学生が対象です。
春学期に学習したことを確実にし、基本文法を確認しながら語彙を増やし、ドイツ語表現を学ぶことがこの授業の目標です。

【到達目標】
ドイツの生活・習慣・文化について知る。
日常生活や習慣・制度についてドイツ語での表現法を知る。
論説的な文章を読解することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
1 年次に学んだ文法事項を確認しながら、別角度で文法体系を見直します。
毎回、担当者を決めて本文とを訳読し、解説を加えます。
必要に応じて視聴覚資料を利用していきます。
＊授業内容・方法の変更が生じた場合は、今後、学習支援システムを通じて告知します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Lektion7 身近な表現の習得 (13)	複合動詞の復習
第 2 回	Lektion7 身近な表現の習得 (14)	従属接続詞の復習
第 3 回	Lektion8 身近な表現の習得 (15)	話法の助動詞
第 4 回	Lektion8 身近な表現の習得 (16)	未来形と es の用法
第 5 回	Lektion9 身近な表現の習得 (17)	動詞の過去分詞の復習
第 6 回	Lektion9 身近な表現の習得 (18)	現在完了形と受働文
第 7 回	Lektion10 身近な表現の習得 (19)	過去形の復習
第 8 回	Lektion10 身近な表現の習得 (20)	zu 不定詞の用法
第 9 回	補助教材による読解練習（1）	ドイツ語テクストの読解を通してドイツの生活と文化を学ぶ。(1)
第 10 回	補助教材による読解練習（2）	ドイツ語テクストの読解を通してドイツの生活と文化を学ぶ。(2)
第 11 回	補助教材による読解練習（3）	ドイツ語テクストの読解を通してドイツの生活と文化を学ぶ。(3)

第 12 回	補助教材による読解練習（4）	ドイツ語テクストの読解を通してドイツの生活と文化を学ぶ。（4）
第 13 回	補助教材による読解練習（5）	ドイツ語テクストの読解を通してドイツの生活と文化を学ぶ。（5）
第 14 回	秋学期の総復習と試験	文法や表現方法の要点確認と試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業で習った知識を確実にするためにも、復習を行う。
次回に行う章や文章のわからない単語、語句を調べ、自分で訳を試みておく（予習）。
自分の試訳と授業での訳との違いの理由を確かめ、正確な理解に努めます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
木戸紗織『身近なドイツ語－話したくなる 10 のトピック』朝日出版社

【参考書】
必要があれば適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業準備や訳読、積極的参加）40 %、
期末試験　60 %
＊授業内容・方法の変更が生じた場合の成績評価の方法と基準は、今後、学習支援システムを通じて告知します。

【学生の意見等からの気づき】
授業中の私語は厳禁します。当てられた課題は必ず果たすこと。

【学生が準備すべき機器他】
特にありません。

【その他の重要事項】
春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。

【Outline and objectives】
German for Ichigaya Liebral Arts Center(ILAC) Program.
This course provides advanced German expressions through reading and is open to the students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program.

LANd200LA

ドイツ語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

長倉　誠一

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
営 2 年 Q・R

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文法の基礎を確かなものとしながら、さらに応用力を身につけ、ドイツ語文の読解力をふくめて総合的なドイツ語力を養います。テキストを読めば、異文化としてのドイツ文化について知ることになります。

【到達目標】
中級程度のドイツ語文を一年後には読解できることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
4 月 22 日（水曜日）から試運転をはじめます。
テキストに即して進めます。テキストには、長文読解とドイツ語文の作成、文法問題が含まれています。これによってドイツ語の総合力を養います。
さらに、中級文法を加えますが、これは適宜プリントを利用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方、次回の準備などの説明、ドイツ語の発音のきまり
第 2 回	初級文法の復習	完了形と受動態、長文読解 (プリント利用)
第 3 回	初級文法の復習	関係代名詞 、長文読解（プリント利用）
第 4 回	Lektion1「授業中の生徒」	長文読解と表現練習
第 5 回	Lektion1「授業中の生徒」	不定関係代名詞その他
第 6 回	Lektion2「ドイツの女性」	長文読解と表現練習
第 7 回	Lektion2「ドイツの女性」	Zu 不定詞句、形容詞の名詞化
第 8 回	Lektion3「答案の記載」	長文読解と表現練習
第 9 回	Lektion3「答案の記載」	受動態、動詞の名詞化
第 10 回	Lektion3「答案の記載」	否定冠詞の用法ならびに否定文について
第 11 回	文法補足	接続法の学習 zu なしの不定詞とその主語について
第 12 回	文法補足	接続法の学習 認容表現の学習
第 13 回	Lektion4a「タクシーのとめ方」	現在分詞などの文法 分詞を基礎語とする述語句 長文読解、独作文
第 14 回	学期末試験	第 13 回までの授業内容確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回宿題が出ます。宿題をやっていないと欠席扱いにします。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『ＣＤ付き　ドイツ人の生活を知る 11 章』
著者：大谷弘道
出版社：三修社

【参考書】
独和辞典
『必携ドイツ文法総まとめ (改訂版)』（中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著）白水社

【成績評価の方法と基準】
平常点（50 %）期末試験（50 %）を基本とする総合評価。

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【学生が準備すべき機器他】
なし。

【その他の重要事項】
なし。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help students acquire the foundation of grammer, and to cultivate German ability, including reading comprehension.

LANd200LA

ドイツ語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

長倉　誠一

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
営 2 年 Q・R

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文法の基礎を確かなものとしながら、さらに応用力を身につけ、ドイツ語文の読解力をふくめた総合力を養います。テキストを読めば、ドイツの文化を知ることになります。

【到達目標】
中級程度のドイツ語文を読解できることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストに即して進めます。春学期より量を多くします。
テキストには、長文読解とドイツ語文の作成、文法問題が含まれています。これによってドイツ語の総合力を養います。主な動詞の前綴りや重要な構文などについてプリントで補います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Lektion4b「タクシーで乗客の座る場所」	長文読解と独作文
第 2 回	Lektion4b「タクシーで乗客の座る場所」	Wenn の省略文の表現、間違え易い文法事項（英語との比較）
第 3 回	Lektion5「猛暑日の対応」	長文読解と独作文
第 4 回	Lektion5「猛暑日の対応」	比較級・最高級の復習
第 5 回	Lektion6「犬と猫の購入」	長文読解と独作文
第 6 回	Lektion6「犬と猫の購入」	接続法の復習
第 7 回	Lektion6「犬と猫の購入」	長文読解
第 8 回	重点文法補足	冠飾句
第 9 回	重点文法補足	不定代名詞・指示代名詞、人称代名詞 2 格
第 10 回	Lektion7「ベットの大きさ」	長文読解と独作文
第 11 回	Lektion7「ベットの大きさ」	前置詞など初級文法復習、前置詞との合体形
第 12 回	Lektion7「ベットの大きさ」	序数の用法
第 13 回	Lektion8「ドイツの広告」	無冠詞の名詞他文法復習 長文読解と独作文
第 14 回	学期末試験	第 13 回までの授業内容確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回宿題がでます。宿題をかならずやって授業にでること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『ＣＤ付き　ドイツ人の生活を知る 11 章』
著者：大谷弘道
出版社：三修社

【参考書】
『必携ドイツ文法総まとめ (改訂版)』（中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著）白水社

【成績評価の方法と基準】
平常点（50 %）と期末試験（50 %）を基本とする総合評価

【学生の意見等からの気づき】
とくになし

【学生が準備すべき機器他】
なし

【その他の重要事項】
なし。

【Outline and objectives】
By the end of the course, students should be able to reach the stage where they can understand more advanced German writings.

LANd200LA

ドイツ語４Ｉ

2017 年度以降入学者

日中　鎮朗

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法文営 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
1 年次にドイツ語 1、2 を学習した学生が文法事項や構文上の学習知識を確実なものとし、さらに高めていくためにさまざまなシチュエーションのなかで必要な表現を学ぶことを目的とします。
またドイツの若者の日常や関心などを会話表現を通して学びます。

【到達目標】
初級文法の知識を確実なものとすることができます。
日常のさまざまなシチュエーションで使われる表現、使える会話表現を身につけることができます。
聞き取る力を伸ばすことができます。
ドイツ語の作文・表現力を高めることができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
COVID19 感染拡大により、当面、「学習支援システム」を通して、オンラインで行います。Hoppii から入ることができます。
教材と課題がアップされますので、視聴学習を行ってください。
学習支援システムでの授業開始日は 4 月 24 日です。
（以下は教室授業 [対面授業］が再開された場合です：
ドイツの若者や家族の日常を題材にしたビデオを使い、その表現を学びます。
テキストを担当者を決めて訳読し、そこに使われている文法事項を理解するように、１年次の文法知識の復習を兼ねながら丁寧にわかりやすく説明してゆきます。
また、またヒアリングの練習のためにもなるようビデオも繰り返し見てゆきます。
配布のテキストはプリントしてこちらで用意します。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ーーオンラインによるーー 春学期授業の説明 EU について①	ーーオンラインによるーー授業の進め方、 文法的説明を行う
第 2 回	ーーオンラインによるーー EU の構成について②	ーーオンラインによるーー 文法的解説 課題・読解を行う
第 3 回	Kapitel 1 Auf dem Flughafen 心情の表現 この章のまとめと確認	テキストの Kapitel 1 Auf dem Flughafen の会話的表現を学ぶ この章の練習問題で内容確認と表現の練習・まとめ
第 4 回	Kapitel 2 Sommer 休暇の過ごし方の表現	Kapitel 2 Sommer の文法的説明を行う
第 5 回	Kapitel 2 Sommer 命令形の表現	テキストの Kapitel 2 Sommer の読解を行う

第 6 回	Kapitel 2 Sommer 季節の表現 この章のまとめと確認	テキストの Kapitel 2 Sommer の表現を学ぶ この章の練習問題で内容確認と表現の練習・まとめ
第 7 回	Kapitel3 Pferde und Fahrraeder 農村体験について	Kapitel3 Pferde und Fahrraeder の文法的説明を行う
第 8 回	Kapitel3 Pferde und Fahrraeder ドイツ人と自転車について	テキストの Pferde und Fahrraeder の読解を行う②
第 9 回	Kapitel 3 Pferde und Fahrraeder ドイツの家庭について この章のまとめと確認	Pferde und Fahrraeder の表現を学ぶ この章の練習問題で内容確認と表現の練習・まとめ
第 10 回	Kapitel 4 Zu Hause 家での過ごし方について	Kapitel 4 Zu Hause の文法的説明を行う
第 11 回	Kapitel 4 Zu Hause 高校生活と友人について	テキストの Kapitel 4 Zu Hause の読解を行う
第 12 回	Kapitel 4 Zu Hause 現在完了形について この章のまとめと確認	テキストの Kapitel 4 Zu Hause の表現を学ぶ この章の練習問題で内容確認と表現の練習・まとめ
第 13 回	Kapitel 5 Guten Appetit! レストランとメニューの表現	Kapitel 5 Guten Appetit!の読解と文法的説明を行う。食事の表現を学ぶ。
第 14 回	これまで学んだ表現の確認と試験	読解と文法的説明のまとめと試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。授業で習った知識を確実にするためにも、復習を行います。
次回に行う章や文章のわからない単語、語句を調べ、自分で訳を試みておきます。
自分の試訳と授業での訳との違いの理由を確かめ、正確な理解に努めます。
テキストに描かれている事柄（例えば、環境問題や人種問題、家族の状況）などに関心を持ち、そうした時事的な事柄に関して書かれた本を読むとより興味をもって授業に臨め、理解も深めることができます。

【テキスト（教科書）】
Deutsch Aktuell ２を使用する。ビデオも毎回使用する。（テキストはこちらで毎回プリントして用意しますので、購入するテキストはありません）

【参考書】
とくにありませんが、毎回、独和辞典を持ってきてください。
ドイツ語の作文を適宜行います。
また、テキストに描かれている事柄などに関して書かれた本を読むことも重要です。

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

期末試験 ７０％
平常点３０％（訳読などの課題発表・授業への積極的な取り組み・参加）
－－ COVID19 感染拡大により、この評価方法は変更されます－－

【学生の意見等からの気づき】
ドイツやドイツ語の知識がついた、説明がわかりやすいというコメントなので、今後も丁寧な解説で説明しています。
また、各章の終わりについている内容確認と表現練習で知識を確実なものにしていきます。

【学生が準備すべき機器他】
オンラインによる授業が実行できる PC 機器など。

【その他の重要事項】
春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。

【Outline and objectives】
German for Ichigaya Liebral Arts Center(ILAC) Program.
This course provides advanced German expressions on various topics through reading and with audio-visual aids and helps students to develop reading and listening skills.
It is open to the students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program.

LANd200LA

ドイツ語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

日中　鎮朗

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法文営 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に学んだことを踏まえて、1 年次にドイツ語 1、2 を学習した学生が文法事項や構文上の学習知識を確実なものとし、さらに高めていくために、さまざまなシチュエーションを想定した表現を身につけていくことを目的とします。
またドイツの若者の日常や関心などを会話表現で学びます。

【到達目標】
初級文法の知識を確実なものとし、日常のさまざまなシチュエーションで使われる表現学びます。
聞き取る力を養成します。
日常生活のさまざまな事柄を簡単なドイツ語で表現します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
ドイツの若者や家族の日常を題材にしたビデオを使います。
各回ごとにテキストを担当者を決めて訳読してもらい、そこに使われている文法事項を解説します。
１年次の文法知識の復習を兼ねながら丁寧にわかりやすく説明します。
ヒアリングの力を養成するためにビデオを字幕あり・なしの形式で繰り返し見ます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Introduction Kapitel ６ Das Mittagessen 接続法の表現	Introduction Kapitel ６ Das Mittagessen の文法的説明を行う。
第 2 回	Kapitel ６ Das Mittagessen 命令形の表現	Kapitel ６ Das Mittagessen のテクスト読解を行う。
第 3 回	Kapitel ６ Das Mittagessen（３） この Kapitel のまとめと確認	Kapitel ６ Das Mittagessen の表現について学ぶ。 練習問題で確認と応用
第 4 回	Kapitel10 Der Arzt kommmt ドイツの医療について	Kapitel10 Der Arzt kommmt テクストの文法的説明を行う
第 5 回	Kapitel10 Der Arzt kommmt 感謝の表現	Kapitel10 Der Arzt kommmt テクストの読解を行う
第 6 回	Kapitel10 Der Arzt kommmt この Kapitel のまとめと確認	Kapitel10 Der Arzt kommmt テクストの表現の説明を行う 練習問題で確認と応用
第 7 回	Kapitel 11 Autos ドイツの環境問題に対する意識	Kapitel 11 Autos テクストの文法的説明を行う
第 8 回	Kapitel 11 Autos ドイツの若者の環境問題への取り組み	Kapitel 11 Autos(2) テクストの読解を行う
第 9 回	Kapitel 11 Autos 接続法 2 式を学ぶ	Kapitel 11 Autos(3) テクストの表現の説明を行う 練習問題で確認と応用
第 10 回	Kapitel 12 Im Fernsehen 受動形表現を学ぶ	Kapitel 12 Im Fernsehen テクストの文法的説明を行う
第 11 回	Kapitel 12 Im Fernsehen テレビクルーについて	Kapitel 12 Im Fernsehen テクストの読解を行う
第 12 回	Kapitel 12 Im Fernsehen インタビューの表現	Kapitel 12 Im Fernsehen テクストの表現を学ぶ
第 13 回	Kapitel 12 Im Fernsehen この Kapitel のまとめと確認	Kapitel 12 Im Fernsehen 練習問題で確認と応用
第 14 回	ドイツ事情や日常会話表現のまとめと期末試験	ドイツ事情解説 会話表現の要点 期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
授業で習った知識を確実にするために復習をします。
次回に行う章や文章のわからない単語、語句を調べ、自分で訳を試みます。
自分の試訳と授業での訳との違いの理由を確かめ、正確な理解に努めます。
テキストに描かれている事柄（例えば、環境問題や人種問題、家族の状況）に関心を持ち、そうした時事的な事柄に関して書かれた本を読み、より興味をもって授業に臨み、理解を深めます。

【テキスト（教科書）】
Deutsch Aktuell ２（Fourth Edition）
EMC/Paradigm Publishing
テクストはこちらでプリントし、配布します。

【参考書】
とくにありませんが、毎回、独和辞典を持ってきてください。

【成績評価の方法と基準】
学期末に試験を行います。
期末試験　７０％
平常点（訳読などの課題発表・授業への積極的取組・参加）３０％
ーーこの評価方法は COVID19 感染拡大の状況によって変更されることがありますが、その場合はまたお知らせいたしますーー

【学生の意見等からの気づき】
ドイツやドイツ語の知識がついた、説明がわかりやすいというコメントなので、今後も丁寧な説明に努めたい。
また、各章の終わりについている内容確認と表現練習で知識を確実なものにしていきます。

【学生が準備すべき機器他】
オンラインによる授業を視聴できる PC 機器など。

【その他の重要事項】
春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。

【Outline and objectives】
German for Ichigaya Liebral Arts Center(ILAC) Program.
This course provides advanced German expressions on various topics through reading and with audio-visual aids and helps students to develop reading and listening skills.
It is open to the students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program.

LANd200LA

ドイツ語４Ｉ

2017 年度以降入学者

外山　知子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**土** 3/Sat.3
単位数：**1 単位**
法文営 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語の向上を目指し、異文化理解を深める。

【到達目標】
文法の復習と読解力の向上をめざすばかりでなく、書かれた内容を通して、翻訳では伝わりにくいドイツの文化、ヨーロッパの文化に触れ、世界を広げる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
4 月 25 日に授業を開始し、しばらくはオンライン授業の形態をとる。教科書が入手できるようになったら、対面授業が可能になるまで学習支援システムと Zoom による双方向リアルタイム授業の組み合わせで授業をする。学習支援システムにお知らせをよく載せるので、常にチェックすること。特に初回の前は早めにお知らせチェックをしてください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習もかねての課題。	授業支援システムで楽しみながらやる課題を解く。提出は授業後になる。授業時間内に可能な人だけ顔合わせ目的で少し Zoom の練習（参加しなくても不利益にはならない）。
2	Lektion 1 Brot Wurst Döner Kebab オンライン授業の体制が整っていなければ教科書には連休明けに入る。	Lekition 1 のテキストを読み、不規則変化する動詞、形容詞の語尾変化、形容詞の名詞化について学ぶ。 オンライン授業の体制が整っていなければ教科書には連休明けに入る。
3	Lektion 1 の続き。	Lektion 1 の練習問題
4	Lektion 2 HerrBöse und Herr Streit	Lekition 2 のテキストを読み、過去形、未來・推量の助動詞 werden、従属接続詞について学ぶ。
5	Lektion 2 の続き。	Lektion 2 の練習問題
6	Lektion 3 Berlin-Eine wunderbare Stadt	Lektion 3 のテキストを読み、再帰動詞、分離動詞、接続法第 2 式について学ぶ。
7	Lektion 3 の続き。	Lektion 3 の練習問題
8	Lektion 4 Der süße Stadt	Lektion 4 のテキストを読み、指示代名詞、命令形について学ぶ。
9	Lektion 4 の続き。	Lektion 4 の練習問題
10	Lektion 5 Wiener Kaffeehauskultur	Lektion 5 のテキストを読み、関係代名詞、現在完了形について学ぶ。
11	Letion 5 の続き。	Lekiton 5 の練習問題。
12	これまでの文法の補足	これまで学んだことの他に重要な文法事項について学ぶ。
13	重要事項の補足	特に重要な事項を詳しく学ぶ。
14	春学期の復習	学んだことの全体的な復習をする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業での指示に従うこと。
本文は全体を予習した方が、練習問題は解きやすい。
学んだことはなるべくその日のうちに見返して定着させる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
荻原耕平/ 畠山 寛/ 高本敬之著『ドイツ語トライアングル　やさしい中級テキスト９章』同学社

【参考書】
本郷建治著『ドイツ文法の要点』三修社
中島悠爾他著『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社

【成績評価の方法と基準】
出席は 3 分の 2 以上を必要とする。基本的には期末試験＋小テスト 50 % (オンライン授業が最後まで続いた場合は、期末試験に変わる課題、あるいは長めの小テストをオンライン上で行う)、授業参加度（宿題、課題をふくむ平常点）50 %の割合で総合評価する。遅刻 3 回で欠席 1 回にカウントされる。

【学生の意見等からの気づき】
学生はよくがんばっていました。感謝しています。一部の学生は出席に気をつけてください。

【その他の重要事項】
楽しく、まじめに勉強しましょう。
公欠届、診断書などはきちんと出してください。
教科書と独和辞典（電波の入る機器を辞書代わりに使うことは許可しない）を毎回手元に置き、使用すること。
Zoom による双方向システム授業時は、PC, タブレットで参加するのが望ましいが、スマートフォンしか用意できず、通信料が心配なときは音だけ聞こえれば大丈夫な時間帯はスマートフォンで「安全運転モード」にすることができる。

【Outline and objectives】
The improvement in German and the mutual understanding of other cultures

LANd200LA

ドイツ語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

外山　知子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**土** 3/Sat.3
単位数：**1 単位**
法文営 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語の向上を目指し、異文化理解を深める。

【到達目標】
ドイツ語の文章が自分で楽しみながら読めるようになる。それにとどまらず語彙を増やし、構造を理解しながらドイツ語の総合力を高める。
ドイツへの理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
比較的平易なドイツ語で書かれた文章を味わいながら読む。各課ごとの練習問題を通して総合力を高める。教科書の他に、すぐに役立つ表現、最新のドイツ事情なども紹介する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	導入 ドイツ語の感覚を取り戻す。	授業方針の説明、ドイツについての知識を増やす映像の鑑賞。 教科書と辞書を持参のこと。
2	Lektion 6 Ausschlussprüfung Verdammt heißhier unten!	Lektion 6 のテキストを読み、現在完了形（2）、zu 不定詞 (1)、過去分詞の用法について学ぶ。
3	Lektion　6 の続き。	Lektion 6 の練習問題。
4	Lektion 7 Kurze Geschichte der Sonntagsruhe	Lektion 7 のテキストを読み、話法の助動詞、受動文について学ぶ。
5	Lektion 7 の続き。	Lektion 7 の練習問題。
6	Lektion 8 Geschichte der Gastarbeiter Menschen mit Migrationshintergrund	Lektion 8 のテキストを読み、形容詞の比較表現、zu 不定詞 (2) について学ぶ。
7	Lektion 8 の続き。	Lektion 8 の練習問題。
8	Lektion 9 Vom deutschen Stil	Lektion 9 のテキストを読み、定冠詞類、不定冠詞類、現在分詞の用法について学ぶ。
9	Lektion 9 の続き。	Lektion 9 の練習問題。
10	教科書の付録、プリントなどで数字や文法の補足	数字や文法事項で学び残したところを学ぶ。
11	プリントなどで教科書以外のドイツ語に触れる。	どれくらいの読解能力がついているか確認するため、教科書以外のドイツ語を読む
12	別のプリントなどで教科書以外のドイツ語に触れる。	前回と違うタイプのドイツ語の読解能力がどれくらいついているか確認するため、教科書以外のドイツ語を読む。
13	重要事項の補足	特に重要な事項を詳しく学ぶ。
14	秋学期の復習	秋学期学んだことの全体的な復習をする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
前回学んだことの復習とテキストの予習。
本文は全体を予習した方が、練習問題は解きやすい。
学んだことはなるべくその日のうちに見返して定着させる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
荻原耕平/ 畠山 寛/ 高本敬之著『ドイツ語トライアングル　やさしい中級テキスト 9 章』同学社

【参考書】
中島悠爾他著『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社

【成績評価の方法と基準】
出席回数が足りないと、課題を提出する資格も試験を受ける資格も失うので気をつけること。具体的には授業中に話す。授業に取り組む姿勢、授業時、授業後の課題提出を併せて 50%とし、期末試験を 50%とする。遅刻 3 回で欠席 1 回にカウントされる。

【学生の意見等からの気づき】
学生はよくがんばっていました。こちらも丁寧に教えていきたいと思います。遅刻と出席には気をつけてください。

【その他の重要事項】
公欠届け、診断書などはきちんと出してください。
教科書と独和辞典（電波の入る機器を辞書代わりに使うことは許可しない）を毎回持参し、使用すること。タブレット、スマートフォンなどはカバンにしまっておくこと。板書はその場でノートに写し、やむを得ず板書したものを写真に撮るときは教員に許可を求めること。

【Outline and objectives】
The improvement in German and the mutual understanding of other cultures

LANd200LA

ドイツ語４Ｉ

2017 年度以降入学者

遠藤　浩介

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
法文営 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では日本のドイツ語学習者向けに編纂した時事ドイツ語のテクストを読み、初級～中級レベルの時事テクストを読むための読解力・文法力・語彙力を身につけることを目的とします。扱うテクストをじっくり読んでいけば着実に力が付きます。また受講者のみなさんにはドイツで起きていることを把握し、日本の現状と比較検討しながら自分の意見を組み立てていただきたいと思います。

【到達目標】
・ドイツ語の時事テクストを読むだけの文法能力と語彙力を身につける。
・ドイツの現代事情を知るための背景知識を得て、日本と比較しながら考える視座を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
・春学期の少なくとも前半はオンライン授業へと移行することを踏まえ、すくなくともその期間は自習と解説、課題提出が中心となります。またオンライン授業にともなう授業計画の変更は Hoppii などでアナウンスします。
・授業の開始は 5 月 8 日を予定していますが、それまでも受講者へのアンケートなどを行うので、Hoppii でのアナウンスに注意してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	授業の進め方について
第 2 回	文章を読むための文法知識	ドイツ語の語順と格について
第 3 回	Das Grundgesetz - ein Glücksfall für Deutschland (1)	第一段落および第二段落
第 4 回	Das Grundgesetz - ein Glücksfall für Deutschland (2)	第二段落および第三段落
第 5 回	Das Grundgesetz - ein Glücksfall für Deutschland (3)	第四段落および練習問題
第 6 回	Frauen in Politik und Gesellschaft (1)	第一段落および第二段落
第 7 回	Frauen in Politik und Gesellschaft (2)	第三段落～練習問題
第 8 回	Deutschlands politische Jugend (1)	第一段落および第二段落
第 9 回	Deutschlands politische Jugend (2)	第二段落～練習問題
第 10 回	Männlich, weiblich, divers (1)	第一段落および第二段落
第 11 回	Männlich, weiblich, divers (2)	第二段落～練習問題
第 12 回	Wohnungsnot und hohe Mieten (1)	第一段落および第二段落
第 13 回	Wohnungsnot und hohe Mieten (2)	第三段落および練習問題
第 14 回	まとめ	これまでに学んだことの復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
あらかじめ指示した範囲の文章を声に出して読み、日本語に訳してくること。文法構造や内容についてわからない箇所は、なぜわからないのかをはっきりさせてくること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Andrea Raab・石井寿子『時事ドイツ語 2020 年度版』朝日出版社、2020 年。

【参考書】
『アクセス独和辞典』三修社 4,100 円
『アポロン独和辞典』同学社 4,200 円
電子辞書でも可。また一年生のときに用いたドイツ語の文法教科書を授業にもってくること。

【成績評価の方法と基準】
オンライン授業へ移行することを踏まえ、成績評価の方法を基準を以下のように変更する。
・平常点（80 %）、期末レポート（20 %）を合わせて総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】
ときおり文法の解説などで話すのが早いとの指摘を受けているので気をつけたい。またリアクションペーパーや学生との対話を通じて密なコミュニケーションに務めたい。

【その他の重要事項】
授業計画の内容および進度は受講者の理解度に応じて変更されることがある。

【Outline and objectives】
This course aims to acquire intermediate language skills by reading texts about current events in Germany. At the beginning of the semester these texts will be difficult to understand for those who have studied the basic grammar for a year, but participants will soon improve their language skills and be able to understand the texts at the end of the semester. Participants are also expected to inform themselves about the culture, history, politics and society of Germany and to express opinions in comparison to Japan.

LANd200LA

ドイツ語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

遠藤　浩介

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
法文営 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、春学期に引き続き日本のドイツ語学習者向けに編纂した時事ドイツ語のテクストを読み、初級～中級クラスの時事テクストを読むための読解力・文法力・語彙力を身につけることを目的とします。扱うテクストをじっくり読んでいけば着実に力は付きます。また受講者のみなさんにはドイツで起きていることを把握し、日本の現状と比較検討しながら自分の意見を組み立てていただきたいと思います。

【到達目標】
・ドイツ語の時事テクストを読むだけの文法能力と語彙力を身につける。
・ドイツの現代事情を知るための背景知識を得て、日本と比較しながら考える視座を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
全体練習・ペアワークで文章を声に出して読み、その後文章を日本語に訳していきます。必要に応じて教員が文章の文法構造や内容理解に関わる背景情報について解説を加えます。訳の日本語よりもドイツ語の文章の文法構造や内容の理解を重視します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	授業の進め方について
第 2 回	EU beschließt Plastikverbot (1)	第一段落および第二段落
第 3 回	EU beschließt Plastikverbot (2)	第三段落～練習問題
第 4 回	Im Land der Heimwerker (1)	第一段落および第二段落
第 5 回	Im Land der Heimwerker (2)	第三段落～練習問題
第 6 回	100 Jahre Bauhaus (1)	第一段落および第二段落
第 7 回	100 Jahre Bauhaus (2)	第三段落～練習問題
第 8 回	Modezar Karl Lagerfeld ist tot (1)	第一段落および第二段落
第 9 回	Modezar Karl Lagerfeld ist tot (2)	第三段落～練習問題
第 10 回	Deutsche Rechtschreibung: Schulen schaffen "Lesen durch Schreiben" ab (1)	第一段落および第二段落
第 11 回	Deutsche Rechtschreibung: Schulen schaffen "Lesen durch Schreiben" ab (1)	第三段落～練習問題
第 12 回	Der Deutsche Alpenverein: Wir lieben die Berge. Seit 1869 (1)	第一段落～第三段落
第 13 回	Der Deutsche Alpenverein: Wir lieben die Berge. Seit 1869 (1)	第四段落～練習問題
第 14 回	まとめ	これまでに学んだことの復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
あらかじめ指示した範囲の文章を声に出して読み、日本語に訳してくること。日本語に訳すことそのものよりも、わからない箇所があれば、それがなぜわからないのかをはっきりさせてくることを重視する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Andrea Raab・石井寿子『時事ドイツ語 2020 年度版』朝日出版社、2020 年。

【参考書】
『アクセス独和辞典』三修社 4,100 円
『アポロン独和辞典』同学社 4,200 円
電子辞書でも可。また一年生のときに用いたドイツ語の文法教科書を授業にもってくること。

【成績評価の方法と基準】
平常点（50 %）、期末テスト（50 %）を合わせて総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】
ときおり文法の解説などで話すのが早くなるとの指摘を受けているので気をつけたい。またリアクションペーパーや学生との対話を通じて密なコミュニケーションに務めたい。

【その他の重要事項】
授業計画の内容および進度は受講者の理解度に応じて変更されることがある。

【Outline and objectives】
This course aims to acquire intermediate language skills by reading texts about current events in Germany. At the beginning of the semester these texts will be difficult to understand for those who have studied the basic grammar for a year, but participants will soon improve their language skills and be able to understand the texts at the end of the semester. Participants are also expected to inform themselves about the culture, history, politics and society of Germany and to express opinions in comparison to Japan.

LANd200LA

ドイツ語（3）Ⅰ

2017 年度以降入学者

上田　知夫

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 1/Wed.1
単位数：**1 単位**
法 2 年 Y

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
テキストの把握のためのドイツ語運用能力およびテキストの読解を通じてドイツ語圏の文化および現代的諸問題を知る。

【到達目標】
・ドイツ語で書かれたテキストを正確に分析し、理解する
・現代のドイツ語圏の社会情勢についての基礎的理解を得る
・ドイツ語文法を復習する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日は 4 月 22 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第 0 課「自己紹介」 第 1 課「地理と気候」文法	挨拶の仕方の練習 文法復習
第 2 回	第 1 課「地理と気候」講読	テキスト講読
第 3 回	第 1 課「地理と気候」確認テスト 第 2 課「食生活」文法	確認テスト 文法復習
第 4 回	第 2 課「食生活」講読	テキスト講読
第 5 回	第 2 課「食生活」確認テスト 第 3 課「ドイツ語という言語」文法	確認テスト 文法復習
第 6 回	第 3 課「ドイツ語という言語」講読	テキスト講読
第 7 回	第 3 課「ドイツ語という言語」確認テスト 第 4 課「ドイツの大学」文法	確認テスト 文法復習
第 8 回	第 4 課「ドイツの大学」講読	テキスト講読
第 9 回	第 4 課「ドイツの大学」確認テスト 第 5 課「祝日と休暇」文法	確認テスト 文法復習
第 10 回	第 5 課「祝日と休暇」講読	テキスト講読
第 11 回	第 5 課「祝日と休暇」確認テスト 第 6 課「ドイツの治安事情」文法	確認テスト 文法復習
第 12 回	第 6 課「ドイツの治安事情」講読	テキスト講読
第 13 回	第 6 課「ドイツの治安事情」確認テスト 第 7 課「教育制度」文法	確認テスト 文法復習
第 14 回	第 7 課「教育制度」講読と確認テスト	テキスト講読 確認テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。本授業は扱うテキストの予習を中心に学習してください。予習を前提して授業を進めます（予習を評価の一部にします）。

【テキスト（教科書）】
Siegfried Kohlhammer、斎藤太郎
『知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～』
（朝日出版社、2018 年）

【参考書】
ドイツ語の文法の授業で使った教科書および独和辞典を 1 冊持ってきてください。
独和辞典を所有していない方は、
『アクセス独和辞典』（三修社）
『大独和辞典』（小学館）
などを入手してください。
文法書を所有していない人は、
中島他『必携ドイツ語文法総まとめ』（白水社）
などを持参してください。
その他は、授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更になります。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示します。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【Outline and objectives】
In this lecture, students will achieve three things:
1. they can refresh the knowledge of basic German grammar.
2. they will acquire the analytical skill for reading texts written in German.
3. they will understand some of the current social issues in the German-speaking region.

LANd200LA

ドイツ語（3）Ⅱ

2017 年度以降入学者

上田　知夫

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 1/Wed.1
単位数：1 **単位**
法 2 年 Y

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
テキストの把握のためのドイツ語運用能力およびテキストの読解を通じてドイツ語圏の文化および現代的諸問題を知る。

【到達目標】
・ドイツ語で書かれたテキストを正確に分析し、理解する
・現代のドイツ語圏の社会情勢についての基礎的理解を得る
・ドイツ語文法を復習する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】
講義と演習を組み合わせた授業形式とします。授業内でテキスト講読しますので、指名された学生は割り当てられたテキスト箇所を分析してください。
また各課の理解度を試す確認テストを実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第 8 課「政治制度」文法および講読	文法復習 テキスト講読
第 2 回	第 8 課「政治制度」確認テスト 第 9 課「ドイツの歴史概観」文法	確認テスト 文法復習
第 3 回	第 9 課「ドイツの歴史概観」講読	テキスト講読
第 4 回	第 9 課「ドイツの歴史概観」確認テスト 第 10 課「音楽の国ドイツ」文法	確認テスト 文法復習
第 5 回	第 10 課「音楽の国ドイツ」講読	テキスト講読
第 6 回	第 10 課「音楽の国ドイツ」確認テスト 第 11 課「ドイツの宗教事情」文法	確認テスト 文法復習
第 7 回	第 11 課「ドイツの宗教事情」講読	テキスト講読
第 8 回	第 11 課「ドイツの宗教事情」確認テスト 第 12 課「二つのドイツ」文法	確認テスト 文法復習
第 9 回	第 12 課「二つのドイツ」講読	テキスト講読
第 10 回	第 12 課「二つのドイツ」確認テスト 第 13 課「EU とドイツ」文法	確認テスト 文法復習
第 11 回	第 13 課「EU とドイツ」講読	テキスト講読
第 12 回	第 13 課「EU とドイツ」確認テスト 第 14 課「ドイツの外国人、難民、移民」文法	確認テスト 文法復習
第 13 回	第 14 課「ドイツの外国人、難民、移民」講読	テキスト講読
第 14 回	第 14 課「ドイツの外国人、難民、移民」確認テスト まとめ	確認テスト まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。本授業は扱うテキストの予習を中心に学習してください。予習を前提して授業を進めます（予習を評価の一部にします）。

【テキスト（教科書）】
Siegfried Kohlhammer、斎藤太郎
『知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～』
（朝日出版社、2018 年）

【参考書】
ドイツ語の文法の授業で使った教科書および独和辞典を 1 冊持ってきてください。
独和辞典を所有していない方は、
『アクセス独和辞典』（三修社）
『大独和辞典』（小学館）
などを入手してください。
文法書を所有していない人は、
中島他『必携ドイツ語文法総まとめ』（白水社）
などを持参してください。
その他は、授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】
各課の予習： 5% x 7
各課のまとめ小テスト： 5% x 7
授業への貢献度（発言・議論など）: 30%
出席要件：
特段の事情（インフルエンザなど）なしに 5 回欠席すると自動で単位を取得できなくなります。
また、独和辞典および教科書を持参してください。持参しない場合は、欠席したものとみなします。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【その他の重要事項】
春学期・秋学期合わせて履修することを前提します。

【Outline and objectives】
In this lecture, students will achieve three things:
1. they can refresh the knowledge of basic German grammar.
2. they will acquire the analytical skill for reading texts written in German.
3. they will understand some of the current social issues in the German-speaking region.

LANd200LA

ドイツ語７

2017 年度以降入学者

林　志津江

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**1 単位**
国 2 年 SA

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
前年度の「ドイツ語１」「ドイツ語３」の後続授業という位置付けです。SA ドイツ語圏での留学に対する事前準備として、ドイツ語とドイツ語圏の多様性に触れながら、ドイツ語圏の滞在に必要なドイツ語運用能力の獲得とさらなる向上を目指します。

【到達目標】
第一の目標は、ドイツ語の文章を文法に即し分析的に読む能力の向上です。これが一定のレベルに達しないうちは、SA 先大学のドイツ語での授業についていけません。
第二の目標は、大学生の知的な会話にふさわしい、抽象的なトピックに関する語彙を増やし、話題にふさわしいコメントをドイツ語で発する能力の獲得です。
第三の目標は、地域ごと異なる社会制度や文化慣習を、言語の特性と関連づけて理解できる能力の獲得です。リューネブルクとそれにまつわるの文化や社会に関する言説を知的に理解し楽しめれば、SA はより充実した体験になるはずだからです。
以上を通じて、留学地での生活に適応するために必要な能力と心構えをしっかり身につけます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
（4 月 20 日修正）
授業開始日： 4 月 23 日
*「オンライン授業」は、非同期型（添削＋ポイント解説動画ないし音声メモ視聴）と同期型（双方向型ビデオオンラインミーティング/Zoom による実践練習）を適宜組み合わせて行います。
*以後、授業内容・方法の変更は全て Hoppii ないし履修者の法政 G メール宛連絡します。
*5 月以降、Google Classroom をツールとして使用する可能性が高いです。
*****
ドイツ語のテクスト読解と、その内容に対する質問に答える作文を軸に進めます。並行して、前年度「ドイツ語１」「ドイツ語３」で使用した教科書を用いながら、ドイツ語の初級文法の基礎固めを行います。初級文法の知識を確実なものにしつつ、ドイツ語圏とヨーロッパの様々な制度や風土、ひとびとの暮らしに沿った秋学期の SA 先の大学での授業の準備、積極的にドイツ語で発信できる自信の獲得を目指し、マルチメディア教材・資料も用いながら、活気ある授業と受講生のより良い理解にも配慮します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業全般について、１年次の復習をまじえ教科書と既習事項の確認
2	一緒に出かけよう（復習１）	話法の助動詞と分離動詞：枠構造、時刻・天候の表現、現在完了：過去の自分の行動を説明する
3	自分の毎日・一日の行動（復習２）	再帰動詞と再帰表現、受動態を使った方が適切な場合：身体に関わる表現、お付き合いの仕方
4	補足１：話法の助動詞の補足・知覚動詞・不定詞と不定詞句	話法の助動詞に準じる動詞、「動詞を名詞に変えて使う」利点
5	もうすぐクリスマス（アドヴェント）	（文法の補足）定関係代名詞（１）：複文を徹底的に理解する
6	もうすぐクリスマス（クリスマスマーケット）	（文法の補足）定関係代名詞（２）及び関係副詞：複文を理解する、名詞、動詞及び副詞を区別し作文する
7	教会と信仰１ — クリスマスを祝う	（文法の補足）接続法（１）：法（Mode）の考え方、直説法・命令法・接続法の違い、接続法第 II 式の用法
8	教会と信仰２ — さまざまな風習	（文法の補足）接続法（２）：接続法第 II 式の用法、「引用する」とはそもそもどういう現象なのか
9	「ドイツ語」という言葉	ドイツ語を話す地域・様々な方言と多様な表現、「ドイツ語」の成立の背景にあったもの
10	教育と学校制度	義務教育で身に付けるもの、「自分で選択する」という自覚
11	"Bildung"という価値	大学あるいは職業教育という選択、大学は何のため？
12	働き方と住み方	働くのは何のため？ 人間関係と住まいの関係、くつろいだ気持ちを表すドイツ語
13	余暇と休暇（長期休暇・有給休暇）	自由な時間を謳歌する権利、有給休暇を消化する義務
14	まとめ	学期末最終試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎授業ごとに予習・復習の課題を出します。ドイツ語の文・テクストはどれも必ず音読をし、授業外でも積極的にドイツ語に触れられるようチャレンジして下さい。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
"Dreimal Deutsch”（Klett, 2000/2005/2009）
立教大学ドイツ語教育研究室編『シュトラーセ・ノイ・Ver3.』（朝日出版社、2017 年）

【参考書】
中島悠爾ほか著『必携ドイツ文法総まとめ』（白水社、2003 年）
清野智昭『ドイツ語のしくみ＜新版＞』（白水社、2014 年）

【成績評価の方法と基準】
（4 月 20 日修正）
成績評価の方法は一部修正の可能性があります。「学期末試験」を実施する際は事前に余裕を持ったスケジュールで周知します。
*****
授業での読解作業と運営に対する貢献（予習・復習を含む）60 %、学期末試験 40 %を合わせた総合的評価。

【学生の意見等からの気づき】
学生からは逐次ヒアリングを行い、相互の意志の疎通につとめます。

【学生が準備すべき機器他】
独和辞典は必携です。紙媒体の辞書を用いること（特に自宅での学習で）を強く薦めます。

【その他の重要事項】
・授業の順序や内容の一部は変更されることがあります。
・受講者には「ドイツ語技能検定試験（公益財団法人ドイツ語学文学振興会主催）」や「ドイツ政府公認ドイツ語能力検定試験（Goethe Zertifikat）」あるいは「オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験（ÖSD）」の受験を推奨します。特に「ドイツ語技能検定試験」の３級には積極的にチャレンジしてもらえればと思います。また Goethe Zertifikat については、割引料金適応が適用されるので受験希望者はぜひ担当者に知らせて下さい。

【Outline and objectives】
German course for the intermediate levels (nearly A1. completed), exclusively for Participants of SA-Program in Germany (Leuphana Universtät-Lüneburg) in the next semester (2019WS) held by the faculty of Intercultural Communication/Hosei University. This course introduces elementary Grammar and vocabulary with reading Text in German. The aim of this course is to get basic knowledge of the German language and german speaking world, especially ability of reading and composition for general topics to talk about.

LANd200LA

ドイツ語８

2017 年度以降入学者

遠藤　浩介

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
国 2 年 SA

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
SA によるドイツ留学の準備として、現地で授業を理解し、留学生活を送るために必要なドイツ語運用能力を高めることを目的とします。とくに現代ドイツについて書かれたドイツ語のテキストを読んで内容を理解することを重視します。そのためには図書館などで資料を調べて背景情報を知ることが重要です。また現地では日本の日常生活以上に積極的な発言や自己表現が要求されるため、そのような意識を持っていただくこと、そしてわからないことに戸惑わない「図太さ」を養うことも、この授業の目的です。

【到達目標】
SA に参加し、十分な成果を修めることができるために必要なドイツ語運用能力と知識を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
SA での授業を理解し、留学生活を送るために必要なドイツ語運用能力を高めるための練習を行う。具体的には現代ドイツについて書かれたテキストを読む。担当者はテクストに書かれていることの背景情報を調べて発表する。書かれている内容について議論を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	授業の進め方について
第 2 回	ドイツの基本情報	ドイツの基本情報を学ぶ
第 3 回	Manfred Mai: Deutsche Geschichte (Wer zu spät kommt, den bestraft das Leben)	80 年代の東西ドイツの状況を知る。
第 4 回	Manfred Mai: Deutsche Geschichte (Wir sind ein Volk)	1989 年から 1990 年にかけてのドイツ統一について学ぶ。
第 5 回	Manfred Mai: Deutsche Geschichte (Auf dem Weg ins "Euroland")	1990 年代におけるドイツと EU の関係について学ぶ。
第 6 回	Manfred Mai: Deutsche Geschichte (Nie wieder Krieg?)（1）	1990 年代ドイツが世界各国で行われた戦争とどのように関わっていたのかを学ぶ。
第 7 回	Manfred Mai: Deutsche Geschichte (Nie wieder Krieg?)（2）	1990 年代ドイツが世界各国で行われた戦争とどのように関わっていたのかを学ぶ。
第 8 回	Manfred Mai: Deutsche Geschichte (Reformen, Reformen, Reformen!)	2000 年代ドイツの状況について学ぶ。

第 9 回	ドイツにおける原発政策	福島第一原子力発電所事故がドイツの原子力政策に対してどのような影響を与えたかを学ぶ。
第 10 回	ドイツにおける移民の現状	ヨーロッパへの移民とそれに対するドイツおよび EU の政策について学ぶ。
第 11 回	EU とはなにか	EU がドイツの日常生活とどのように結びついているのかを学ぶ。
第 12 回	ドイツ人の学生は日本をどう見たか（1）	ドイツ人留学生の留学体験記を読む（テクスト購読）
第 13 回	ドイツ人の学生は日本をどう見たか（2）	ドイツ人留学生の留学体験記を読む（議論）
第 14 回	まとめ	これまでに学んだことの確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
発表担当者は背景情報について発表できるようにまとめてくる。その他の参加者は課題を行ってくる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業時に配布する。

【参考書】
・坂井榮八郎（2003）『ドイツ史 10 講』岩波書店。
・石田勇治（2007）『図説　ドイツの歴史』河出書房新社。
・浜本 隆志/高橋 憲（編著）（2013）『現代ドイツを知るための 62 章』明石書店。
・三島憲一（2006）『現代ドイツー一統一後の知的軌跡』岩波書店。
その他のテクストは授業時に指示する。

【成績評価の方法と基準】
小テストと期末試験によって評価する。留学生活に必要な知識と理解力、ドイツ語運用能力を獲得しているかが基準となる。
授業への積極的な参加： 40 %
課題提出： 20 %
期末試験： 40 %

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【学生が準備すべき機器他】
貸与パソコンかスマートフォンを持ってきてください。

【Outline and objectives】
This preparatory course for studying abroad aims to acquire intermediate German language skills, basic knowledge of the country. Students will improve their reading skills and their ability to find information accurately. Participants are also expected to research the information on Germany and to get used to expressing their opinions in a positive way.

LANd200LA

ドイツ語３- Ⅰ

2017 年度以降入学者

平松　英人

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年 G～L

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語初級文法を終えた学生が対象です。ひととおりの基本文法を学習したとはいえ、長文のドイツ語を読む訓練はこれからの学生が、基本的な文法事項を復習しながら、ドイツ語を読み、理解する楽しさを身につけることが目標となります。

【到達目標】
平易な文章から始め、ドイツ語の語彙を増やしながら段階を経て読み進めていくことで、より複雑で内容的にも高度な文章を理解できることを目指します。あわせてより一層文法知識を定着させ弱点を補強します。幅広いテーマについての文章を読んでいきますが、「いま」のドイツで話題・問題になっていることを取り上げた文章も読むことで、現在のドイツの姿を理解できるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンライでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更は、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 5 月 7 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、教材の説明、成績評価について
2	第 1 章　前半	Das Grundgesetz 1
3	第 1 章　後半	Das Grundgesetz 2
4	第 2 章　前半	Frauen in Politik und Gesellschaft 1
5	第 2 章　後半	Frauen in Politik und Gesellschaft 2
6	第 3 章　前半	Deutschlands politische Jugend 1
7	第 3 章　後半	Deutschlands politische Jugend 2
8	第 4 章　前半	Maennlich, weiblich, divers 1
9	第 4 章　後半	Maennlich, weiblich, divers 2
10	第 5 章　前半	Wohnungsnot und hohe Mieten 1
11	第 5 章　後半	Wohnungsnot und hohe Mieten 2
12	第 6 章　前半	EU beschliesst Plastikverbot 1
13	第 6 章　後半	EU beschliesst Plastikverbot 2
14	期末試験	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業計画に従って授業準備をします。次回の授業で取り上げるテキストを予習し、意味をつかんでおきます。文法的に分からないことがあれば、教科書や参考書等で確認しておきます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
石井寿子、アンドレア・ラープ著『時事ドイツ語 2020 年度版』)、朝日出版社、2020 年 1 月

【参考書】
必要な場合は授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
当面の間、オンラインでの開講になったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な包囲と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【Outline and objectives】
This course is intended for those who want to continue learning German after finishing an elementary course. This course aims to let the participants acquire advanced skills in reading and understanding long passages by reviewing the basic grammar.

LANd200LA

ドイツ語３-Ⅱ

2017 年度以降入学者

平松　英人

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年 G～L

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に引き続き、長文のドイツ語を読む訓練として、基本的な文法事項を復習しながら、ドイツ語を読み、理解する楽しさを身につけることが目標となります。

【到達目標】
平易な文章から始め、ドイツ語の語彙を増やしながら段階を経て読み進めていくことで、より複雑で内容的にも高度な文章を理解できることを目指します。あわせてより一層文法知識を定着させ弱点を補強します。幅広いテーマについての文章を読んでいきますが、「いま」のドイツで話題・問題になっていることを取り上げた文章も読むことで、現在のドイツの姿を理解できるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
学生各自が事前に準備した課題を発表する形式を基本として授業を進めていきます。必要に応じて文法事項やテキストを理解するための背景知識の解説を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第 7 章 前半	Im Land der Heimwerker 1
2	第 7 章　後半	Im Land der Heimwerker 2
3	第 8 章　前半	100 Jahre Bauhaus 1
4	第 8 章　後半	100 Jahre Bauhaus 2
5	第 9 章　前半	Modezar Karl Lagerfeld ist tot 1
6	第 9 章　後半	Modezar Karl Lagerfeld ist tot 2
7	第 10 章　前半	Deutsche Rechtschreibung 1
8	第 10 章　後半	Deutsche Rechtschreibung 2
9	第 11 章　前半	Der Deutsche Alpenverein 1
10	第 11 章　後半	Der Deutsche Alpenverein 2
11	第 12 章　前半	Stille Nacht 1
12	第 12 章 後半	Stille Nacht 2
13	1 年のまとめ	1 年のまとめ
14	期末試験	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業計画に従って授業準備をします。次回の授業で取り上げるテキストを予習し、意味をつかんでおきます。文法的に分からないことがあれば、教科書や参考書等で確認しておきます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
石井寿子、アンドレア・ラープ著『時事ドイツ語 2020 年度版』、朝日出版社、2020 年 1 月

【参考書】
必要な場合は授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
平常点４０％、期末試験６０％で総合的に評価します。平常点は日々の授業準備や宿題等によって判断します。

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【Outline and objectives】
This course is intended for those who want to continue learning German after finishing an elementary course. This course aims to let the participants acquire advanced skills in reading and understanding long passages by reviewing the basic grammar.

LANd200LA

ドイツ語３- I

2017 年度以降入学者

辻　英史

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：1 **単位**
環 2 年 A～F

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語の発展練習をします。

【到達目標】
この授業では、1 年間初級文法を学んできた人を対象に、さらに文法の知識や語彙の力を強化して、ドイツ語の文章を読んだり聞きとったりできるようになることを目標にします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
※春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。
本授業の開始日は 4 月 28 日（火）とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。
春学期は、文法の基礎事項を再確認しつつ、さらに高度な文法を学んでいきます。さらに応用練習として、環境問題やサステイナビリティに関連するドイツ語のテクストの読解と、音声や映像の教材を用いた聞き取り練習を平行しておこないます。
参加者は、必ず辞書を用意し、宿題・予習をして授業にのぞんで下さい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	導入・第 1 回小テスト	1 年次に学習した文法事項の確認テスト。
第 2 回	名詞と代名詞	基礎の文法の確認と発展。基本動詞・冠詞類・名詞について。
第 3 回	応用練習 1	テクスト読解をおこないます。
第 4 回	応用練習 2	テクスト読解、および音声・映像教材を使用します。
第 5 回	過去形と現在完了形	動詞の時制の確認をします。
第 6 回	応用練習 3	テクスト読解をおこないます。
第 7 回	応用練習 4	テクスト読解、および音声・映像教材を使用します。
第 8 回	第 2 回小テスト	第 2～第 7 回の内容をテストします。
第 9 回	動詞のいろいろ	分離動詞・助動詞・再帰動詞について。
第 10 回	応用練習 5	テクスト読解をおこないます。
第 11 回	応用演習 6	テクスト読解、および音声・映像教材を使用します。
第 12 回	形容詞と分詞	形容詞・分詞とその名詞化、冠飾句について。
第 13 回	応用練習 7	テクスト読解、および音声・映像教材を使用します。
第 14 回	期末テスト	テストをおこないます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回宿題を出します。また授業の最初に出席を取る際に、前回の内容をチェックする問題を出題します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
書名：『知りたいドイツ語』
著者： Siegfried Kohlhammer ほか
出版社：朝日出版社
ISBN ： 978-4-255-25403-6
このほか、適宜プリントを配布します。

【参考書】
書名：『必携ドイツ文法総まとめ (改訂版)』
著者：中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著
出版社：白水社
ISBN ： 978-4-560-00492-0
必ずしも購入の必要はありませんが、自宅学習の際などに持っていると便利です。
必要に応じてプリントを配布します。

【成績評価の方法と基準】
※当面の間、オンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。
宿題の提出など授業への参加 (20%)、小テスト (20%)、学期末テスト (60%)

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【Outline and objectives】
German Course for Students from A2 Level

LANd200LA

ドイツ語３-Ⅱ

2017 年度以降入学者

辻　英史

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**1 単位**
環 2 年 A～F

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語の発展練習をします。

【到達目標】
この授業では、1 年間初級文法を学んできた人を対象に、さらに文法の知識や語彙の力を強化して、ドイツ語の文章を読んだり書いたりできるようになることを目標にします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
秋学期では、より高度な文法事項をとりあげ、短い作文を作ることでそのニュアンスや使い方を徹底的に練習します。さらに応用練習として、環境問題やサステイナビリティに関連するドイツ語のテクストの読解と、音声や映像の教材を用いた聞き取り練習を平行しておこないます。
参加者は、必ず辞書を用意し、宿題・予習をして出席して下さい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	導入・復習	春学期の内容についての確認、第 1 回小テスト。
第 2 回	関係代名詞について	関係代名詞とその用例について。
第 3 回	応用練習 1	テクスト読解および音声・映像教材を使用します。
第 4 回	応用練習 2	テクスト読解および音声・映像教材を使用します。
第 5 回	受動について	受動、自動詞の受動、状態受動文など。
第 6 回	応用練習 3	テクスト読解および音声・映像教材を使用します。
第 7 回	応用練習 4	テクスト読解および音声・映像教材を使用します。
第 8 回	第 2 回小テスト	第 2～第 7 回の内容を確認します。
第 9 回	接続法 1	非現実話法と外交的接続法。
第 10 回	接続法 2	要求話法と間接話法。
第 11 回	応用練習 5	テクスト読解および音声・映像教材を使用します。
第 12 回	機能動詞	さまざまな機能動詞を用いた熟語について。
第 13 回	応用練習 6	テクスト読解および音声・映像教材を使用します。
第 14 回	期末テスト	テストをおこないます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回宿題を出します。また授業の最初に出席を取る際に、前回の内容をチェックする問題を出題します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
プリントを配布します。

【参考書】
書名：『必携ドイツ文法総まとめ (改訂版)』

発行日：2020/5/1

著者：中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著
出版社：白水社
ISBN ： 978-4-560-00492-0
必ずしも購入の必要はありませんが、自宅学習の際などに持っていると便利です。
必要に応じてプリントを配布します。

【成績評価の方法と基準】
宿題の提出など授業への参加 (20%)、小テスト (20%)、学期末テスト (60%)

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【Outline and objectives】
German Course for Students from A2 Level

LANd200LA

ドイツ語コミュニケーションⅠ　2017 年度以降入学者

オストヴァルト・イェンス

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 5/Thu.5
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2 年～

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身に付け、さらに語彙を拡大する。単語や文法の説明は基本的に日本語で行います。

【到達目標】
ドイツ語の基礎的知識を習得することを目的とする。同時に、既存のイメージに対し新しい視点からドイツ事情を学び、異文化理解力と実用的なドイツ語を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
＜重要：春学期の授業開始について＞
・本授業の開始日は、４月２３日（木）５限目です。
・初回の２３日は、Zoom という双方向型のリアルタイム・オンラインシステムを使って、できるだけ皆さんと話をしながら授業を行います。
・Zoom へのアクセスのためのリンクなどは、学習支援システムの本授業の「お知らせ」コーナーにアップしますので、仮登録をして、必ず前日までに確認し、準備をして下さい。
***
さまざまなシチュエーションを想定した対話やテキストを題材に、基礎的な語彙・文法をわかりやすく説明する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション 自己紹介 (簡単な表現・会話)	Einführung Zur Person (einfache Redemittel, Übungen)
②	自己紹介 (ほかの表現・練習)	Zur Person (weitere Redemittel, Übungen)
③	趣味 (簡単な表現・会話)	Hobbys (einfache Redemittel, Übungen)
④	趣味 (ほかの表現・練習)	Hobbys (weitere Redemittel, Übungen)
⑤	家族	Familie
⑥	食べ物・飲み物 (簡単な表現・会話)	Essen & Trinken (einfache Redemittel, Übungen)
⑦	食べ物・飲み物 (ほかの表現・練習)	Essen & Trinken (weitere Redemittel, Übungen)
⑧	総復習	Wiederholung (Wortschatz, Grammatik, Redemittel)
⑨	住居	Wohnung
⑩	時刻と日付 (簡単な表現・会話)	Uhrzeit und Datum (einfache Redemittel, Übungen)

⑪	時刻と日付 (ほかの表現・練習)	Uhrzeit und Datum (weitere Redemittel, Übungen)
⑫	文法のまとめ・補足	Grammatik: Zusammenfassung und Ergänzungen
⑬	練習	Übungen zur Wiederholung
⑭	全体のまとめとテスト	Zusammenfassung Test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
復習・宿題。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
配布資料

【参考書】
独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

【成績評価の方法と基準】
テスト　５０％
平常点　５０％

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【Outline and objectives】
German language course;
basic grammar and syntax, speech patterns and expressions for daily life;
introduction to German culture.

LANd200LA

ドイツ語コミュニケーションⅡ　2017 年度以降入学者

オストヴァルト・イェンス

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 5/Thu.5
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2 年～

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に引き続き、この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身に付け、さらに語彙を拡大する。
単語や文法の説明は基本的に日本語で行います。

【到達目標】
ドイツ語の基礎的知識を習得することを目的とする。同時に、既存のイメージに対し新しい視点からドイツ事情を学び、異文化理解力と実用的なドイツ語を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
さまざまなシチュエーションを想定した対話やテキストを題材に、基礎的な語彙・文法をわかりやすく説明する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション	Einführung
②	春学期の復習	Wiederholung
③	旅行のためのドイツ語 1 道を尋ねる (簡単な表現)	Reisedeutsch (Wegbeschreibung - einfache Redemittel)
④	旅行のためのドイツ語 2 道を尋ねる (ほかの表現・会話の練習)	Reisedeutsch (Wegbeschreibung - weitere Redemittel, Übungen)
⑤	旅行のためのドイツ語 3 ホテルで (簡単な表現)	Reisedeutsch (Im Hotel - einfache Redemittel)
⑥	旅行のためのドイツ語 4 ホテルで (ほかの表現・会話の練習)	Reisedeutsch (Im Hotel - weitere Redemittel, Übungen)
⑦	旅行のためのドイツ語 5 レストランで (簡単な表現)	Reisedeutsch (Im Restaurant - einfache Redemittel)
⑧	旅行のためのドイツ語 6 レストランで (ほかの表現・会話の練習)	Reisedeutsch (Im Restaurant - weitere Redemittel, Übungen)

⑨	旅行のためのドイツ語 7 駅にて (簡単な表現)	Reisedeutsch (Verkehr - einfache Redemittel)
⑩	旅行のためのドイツ語 8 駅にて (ほかの表現・会話の練習)	Reisedeutsch (Verkehr - weitere Redemittel, Übungen)
⑪	旅行のためのドイツ語 9	Reisedeutsch (Reiseziele)
⑫	文法のまとめ・補足	Grammatik: Zusammenfassung und Ergänzungen
⑬	復習	Übungen zur Wiederholung
⑭	全体のまとめとテスト	Zusammenfassung Test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
復習・宿題。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
配布資料

【参考書】
独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

【成績評価の方法と基準】
テスト　５０％
平常点　５０％

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【Outline and objectives】
German language course;
basic grammar and syntax, speech patterns and expressions for daily life;
introduction to German culture.

LANd200LA

ドイツ語表現法 I

2017 年度以降入学者

ウテ・シュミット

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火 4/Tue.4**
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2 年～

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語を書いてみましょう：一言の文からまとまった文章まで
基礎文法を含むテキストを用い、授業を通じて「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能を総合的に体得することが目標ですが、書くことを重点的に練習します。身近なテーマや興味のある領域について、簡単な表現でまとまった内容を伝えることを習います。. 会話は苦手でも、ドイツ語で表現してみたいと思うなら是非トライしてみてください。ドイツ語圏の日常生活や文化に触れる機会も数多く設けたいと思います。

【到達目標】
受講者は以下のことができるようになります。
１）発音のルールを知って、初見の単語や文章も発音できる。
２）基本的な文法事項を習得する。
３）辞書を使い、初級のテキストが理解できる。
４）自分の経験や出来事を説明し、夢や希望、目標について述べることができる。
５）自己紹介をはじめ、実用的な手紙、メール、コメントなどを書ける。
６）想定された場面における基本的な口語表現が聞き取れる。
７）想定された場面における基本的な口語表現を用いて簡単な会話ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 21 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。
授業ではドイツ語圏の日常と文化について、テキストを読み、書くために必要な単語を学び、自分のことを説明したり、コメントしたり、または日本の事情を紹介します。一人で書くこともありますが、パートナーと又はグループで力を合わせてテキストや物語を作成することもあります。
作文は必ず添削して返却されます。最後に作品集を作ることも計画しています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1.	Erste Schritte: Persönliche Angaben machen Sich selbst vorstellen	自己紹介を書く I 辞書の使い方 I
2.	Länder, Städte, Zahlen	自分の出身を紹介する 人を紹介する
3.	作文の作成	ドイツ語らしい語順 I
4.	Essen und Trinken	好きなものを描写する
5.	Was ich nicht mag	嫌いなこと nicht und kein 否定文

6.	Süßigkeiten in Deutschland und Japan	日本のお菓子について書く
7.	Familie und Beruf	家族について書く
8.	Lieblingsdinge beschreiben	好きな「もの」を紹介する 冠詞と代名詞
9.	作文作成　2	発表
10.	Essen und Trinken	食生活についてと好み
11.	Im Restaurant	レストランのメニューと注文
12.	Süßigkeiten in Deutschland und Japan	日本のお菓子について書く
13.	Hobby und Freizeit	不規則動詞 話法の助動詞
14.	Vor den Ferien	休暇中の予定

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
宿題が出ます：家で作文を書く、完成させる、修正することがあります。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
初回授業で案内します。

【参考書】
『ドイツ語を書いてみよう！』清野智明
白水社
ISBN ： 9784560064177

【成績評価の方法と基準】
小テスト (語彙・表現）（２０％）
授業中の課題に取り組む態度（３０％）
提出してもらうドイツ語の作文（５０％）
を総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
和独辞典が必要です。電子辞書可。

【Outline and objectives】
In this course students will focus on writing short texts, beginning with a self-introduction, e-mails or essays on every-day life topics. We will use a beginner textbook including all four areas of language skills, so that students can review and practice basic grammar and vocabulary. They will also have a chance to learn about cultural life in German speaking countries.

LANd200LA

ドイツ語表現法Ⅱ

2017 年度以降入学者

ウテ・シュミット

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 4/Tue.4
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2 年～

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語を書いてみましょう：一言の文からまとまった文章まで
基礎文法を含むテキストを用い、授業を通じて「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能を総合的に体得することが目標ですが、書くことを重点的に練習します。身近なテーマや興味のある領域について、簡単な表現でまとまった内容を伝えることを習います。. 会話は苦手でも、ドイツ語で表現してみたいと思うなら是非トライしてみてください。ドイツ語圏の日常生活や文化に触れる機会も数多く設けたいと思います。

【到達目標】
受講者は以下のことができるようになります。
１）発音のルールを知って、初見の単語や文章も発音できる。
２）基本的な文法事項を習得する。
３）辞書を使い、初級のテキストが理解できる。
４）自分の経験や出来事を説明し、夢や希望、目標について述べることができる。
５）自己紹介をはじめ、実用的な手紙、メール、コメントなどを書ける。
６）想定された場面における基本的な口語表現が聞き取れる。
７）想定された場面における基本的な口語表現を用いて簡単な会話ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業ではドイツ語圏の日常と文化について、テキストを読み、書くために必要な単語を学び、自分のことを説明したり、コメントしたり、または日本の事情を紹介します。一人で書くこともありますが、パートナーと又はグループで力を合わせてテキストや物語を作成することもあります。
作文は必ず添削して返却されます。最後に作品集を作ることも計画しています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1.	Nach den Ferien	現在完了形
2.	Postkarte	Postkarte schreiben 手紙を書く
3.	Wohnen	前置詞
4.	Mein Traumhaus	住まいについて書く
5.	Tagesablauf	時間、一日の予定 約束のメール
6.	Jahreskalender Datum und Monate Feiertage	年間行事 招待状を書く
7.	Orientierung in der Stadt	道案内
8.	An der Universität	大学について書く
9.	Meine Universität 1	グループワーク： 大学紹介を書く

10.	Meine Universität 2	グループワーク発表
11.	Eine Reise planen	旅行計画
12.	Sehenswürdigkeiten vorstellen	観光名所の紹介文を書く
13.	Erlebnisse und Erfahrungen 1	過去形 私の人生
14.	Erlebnisse und Erfahrungen 2	プレゼンテーション発表

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
宿題が出ます：家で作文を書く、完成させる、修正することがあります。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
初回授業で案内します。

【参考書】
『ドイツ語を書いてみよう！』清野智明
白水社
ISBN ： 9784560064177

【成績評価の方法と基準】
小テスト（２０％）
授業中の課題に取り組む態度（３０％）
提出してもらうドイツ語の作文（５０％）
を総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
和独辞典が必要。電子辞書可。

【Outline and objectives】
In this class we will focus on writing short texts, beginning with a self-introduction, e-mails or essays on every-day life topics. We will use a beginner textbook including all four areas of language skills, so that students can review and practice basic grammar and vocabulary. They also have a chance to learn about cultural life in German speaking countries.

LANd200LA

ドイツ語視聴覚Ⅰ

2017 年度以降入学者

D．ハイデンライヒ

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2 年～

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「ヒット曲の歌詞で学ぶドイツ語」をテーマに、
1920/30 年代のヒット曲（*Schlager*）から現代の新民族音楽 *(Neue Volksmusik*）まで、分かりやすい歌詞や親しみやすい旋律を通じて、ドイツ語を学ぶと同時にドイツの文化と社会の発展についての理解を深める。
＊＊＊授業内容・方法の変更は、今後、学習支援システムを通じて告知します。＊＊＊

【到達目標】
・楽しくドイツ語の読解力やリスニング力などを向上させる。
・ドイツ語の歌のみならず、背景となる現代社会史と地域性との関係を知る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
メディアをプレセンテーションし、新しい言葉の説明、内容を正確な日本語で理解してもらう。（歌を歌う授業ではない。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の内容と進め方の説明、ドイツの流行歌史について
2	1920/30 年代の流行歌（1）	*Ein Freund, ein guter Freund* の学習
3	1920/30 年代の流行歌（2）	*Ich wollt ich wär ein Huhn* の学習
4	第三帝国の流行歌	*Lili Marleen* の学習
5	1950/60 年代の流行歌（1）	*Komm ein bisschen mit nach Italien* の学習
6	1950/60 年代の流行歌（2）	*Flower Power Kleid* の学習
7	1970 年代の流行歌	*Am Tag, als Conny Kramer starb* の学習
8	1980 年以来の流行歌（1）	*Ein bisschen Frieden* の学習
9	1980 年以来の流行歌（2）	*99 Luftballons* の学習
10	ドイツ語のロック・ポップ（1）	*Verdamp lang her* の学習
11	ドイツ語のロック・ポップ（2）	*Männer* の学習
12	新民族音楽（南ドイツ）	*Bayern des samma mia* の学習
13	新民族音楽（北ドイツ）	*Alle die mit uns auf Kaperfahrt fahren* の学習
14	総復習	総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習・復習が必要。詳細は毎回授業の終了時に指示する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
プリント配布。

【参考書】
独和辞書を持ってきて下さい。電子辞書も可。スマホ操作不可。

【成績評価の方法と基準】
（数回提出してもらう課題と、授業での練習問題に取り組む態度（平常点）を総合して評価する。
課題提出等：６０％
　　平常点：４０％）
当面の間、オンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基
準も変更する。
具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【学生が準備すべき機器他】
資料配布のために授業支援システムも利用する。
普段使用しているメールアドレスを登録してください。

【Outline and objectives】
"German with Hit Songs"　as theme, you learn German through simple lyrics and friendly melody from Hits of the 1920/30s until modern new folk music and at the same time you deepen your understanding of German culture and society.

LANd200LA

ドイツ語視聴覚Ⅱ

2017 年度以降入学者

D．ハイデンライヒ

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2 年～

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「映画の台詞で学ぶドイツ語」
このクラスでは国際的にも知られている三人の映画監督ヴェルナー・ヘルツォーク、ヴィム・ヴェンダース、トム・ティクヴァの名作の台詞を通じて生きたドイツ語を学ぶと同時にドイツ文化への理解を深める。

【到達目標】
・楽しくドイツ語の読解力やリスニング力などを向上させる。
・ドイツ語の映画のみならず、背景となる現代社会史と表現文化との関係を知る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
メディアをプレセンテーションし、新しい言葉の説明、内容を正確な日本語で理解してもらう。重要な表現の応用練習をする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の内容と進め方の説明
2	Werner Herzog（1）	『カスパー・ハウザーの謎』の学習（1）
3	Werner Herzog（2）	『カスパー・ハウザーの謎』の学習（2）
4	Werner Herzog（3）	『カスパー・ハウザーの謎』の学習（3）
5	Werner Herzog（4）	『カスパー・ハウザーの謎』の学習（4）
6	Wim Wenders（1）	『ベルリン・天使の詩』の学習（1）
7	Wim Wenders（2）	『ベルリン・天使の詩』の学習（2）
8	Wim Wenders（3）	『ベルリン・天使の詩』の学習（3）
9	Wim Wenders（4）	『ベルリン・天使の詩』の学習（4）
10	Tom Tykwer（1）	『パフューム ある人殺しの物語』の学習（1）
11	Tom Tykwer（2）	『パフューム ある人殺しの物語』の学習（2）
12	Tom Tykwer（3）	『パフューム ある人殺しの物語』の学習（3）
13	Tom Tykwer（4）	『パフューム ある人殺しの物語』の学習（4）
14	総復習	総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習・復習が必要。詳細は毎回授業の終了時に指示する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
プリント配布。

【参考書】
独和辞書を持ってきてください。電子辞書も可。スマホ操作不可。

【成績評価の方法と基準】
数回提出してもらう課題と、授業での練習問題に取り組む態度（平常点）を総合して評価する。
課題提出等：６０％
　　平常点：４０％

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【学生が準備すべき機器他】
資料配布のために授業支援システムも利用する。
普段使用しているメールアドレスを登録してください。

【Outline and objectives】
"German language and culture through film" as theme, you learn German through dialogues of the masterpieces of the three internationally renowned film directors Werner Herzog, Wim Wenders and Tom Tykwer, and at the same time deepen your understanding of German culture.

LANd200LA

時事ドイツ語Ⅰ

2017 年度以降入学者

平松　英人

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水 4**/Wed.4
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2 年～

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
現代のドイツでの出来事について、毎回一定のテーマにもとづいてドイツの記事を紹介する。
ドイツ語文法の基礎を学んだうえで、さらに実用的な練習をすることでドイツ語能力を伸ばし、同時に現代のドイツについて多面的に知ることができる。
ドイツに興味がある人、ドイツ語が好きな人だけでなく、ドイツへの観光・学習旅行および短期ないし長期の留学を考えている人に適した授業である。

【到達目標】
1. 現代のドイツについて知ること
春学期は、政治、経済、社会、環境の 3 つの分野から、現代ドイツの基礎的な事情について理解する。
2. ドイツ語能力を伸ばすこと
ニュース記事を手がかりに、ドイツ語の聞く能力、話す能力、表現する能力の 3 つの領域についてそれぞれ練習することで、より高いレベルの語学力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンライでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更は、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 5 月 7 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。
ドイツの政治・社会・文化・経済に関するニュース記事を読む。新聞や雑誌の記事を教材として用いる。ドイツ語のさらに高度な表現や文法についての練習を兼ねる。教材は事前に配布するので、出席者は準備したうえで出席すること（下記授業時間外学習の項参照）。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション：ドイツとは	ドイツ語力についての確認と、ドイツについて最低限の知識を確認する。
第 2 回	政治①連邦政府と連邦議会・政党	2017 年連邦議会選挙の結果と新政権発足について紹介する。
第 3 回	政治②州政府と議会	16 の連邦州それぞれの政府と議会の状況、かかえる課題を概観する。
第 4 回	政治③小規模政党・地域政党	極右政党や左派などのほか、さらに地域政党を含めたドイツの政治ランドスケープを明らかにする。
第 5 回	経済① EU とユーロ圏	EU 最大の経済大国であるドイツの経済政策をあつかう。
第 6 回	経済②ドイツの労働市場と失業	ドイツでは就職や転職はどのようにおこなわれているのか。
第 7 回	経済③インターネットと消費生活	ドイツの SNS 事情について知る。

第 8 回	社会①貧困と福祉	ドイツの生活保護をはじめ社会福祉の状況を日本との違いに注目して概観する。
第 9 回	社会②高齢者と介護	日本と並ぶ高齢化社会であるドイツで、高齢者の暮らしはどうなっているのか。
第 10 回	社会③育児と保育	日本と同じくドイツでも育児の負担や保育園不足が問題になっている。その解決策や問題点を検証する。
第 11 回	環境①再生可能エネルギー	日本でも注目されているドイツの再生可能エネルギー利用の実態を紹介する。
第 12 回	環境②エコロジーと生活	家庭でのゴミ出しなど市民生活で見られる環境努力について取りあげる。
第 13 回	環境③都市と公共交通	ドイツの都市内交通を取り上げる。
第 14 回	まとめ：ヨーロッパの中のドイツ	学習内容をふりかえり、ヨーロッパの一国としてのドイツの特徴を改めて考える。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回配布したテキストを事前に読み、全部理解できなくても良いので、最低限わからない単語の意味を調べるなど予習を行ってから授業にのぞむこと。

また、テーマについて事前に調べ、予備知識を得ておくと良い。参加者の所属・専門に応じて、短い報告の形で情報提供をおこなってもらうことがある。

ドイツのことだけではなく、日本や他国の事情についても関心を広げていって欲しい。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

毎回授業中に配布する。

【参考書】

独和辞書は毎回持ってくること。

また文法参考書としては以下のものが適当である。

書名：『必携ドイツ文法総まとめ (改訂版)』
著者：中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著
出版社：白水社　ISBN ： 978-4-560-00492-0

【成績評価の方法と基準】

当面の間、オンライン授業となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

教室の設備を利用する。

【その他の重要事項】

ドイツ語の教材を扱うが、基礎文法終了程度の語学力があれば受講可能である。

【Outline and objectives】

This seminar gives information about the contemporary German society and provides practical training on German at intermediate level.

LANd200LA

時事ドイツ語Ⅱ

2017 年度以降入学者

平松　英人

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2 年～

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代のドイツでの出来事について、毎回一定のテーマにもとづいてドイツのニュース記事を紹介する。

ドイツ語文法の基礎を学んだうえで、さらに実用的な練習をすることでドイツ語能力を伸ばし、同時に現代のドイツについて多面的に知ることができる。

ドイツに興味がある人、ドイツ語が好きな人だけでなく、ドイツへの観光・学習旅行および短期ないし長期の留学を考えている人に適した授業である。

【到達目標】

1. 現代のドイツについて知ること

秋学期は、市民社会、地域発展、外国人問題、歴史問題、教育の 5 つの分野から、現代ドイツの最先端の事情について理解する。

2. ドイツ語能力を伸ばすこと

ニュース記事を手がかりに、ドイツ語の聞く能力、話す能力、表現する能力の 3 つの領域についてそれぞれ練習することで、より高いレベルの語学力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

各回の授業は 3 つのパートから構成される。

1. 映像および音声による短いニュース（映像・音声）：簡単なニュースの映像や音声を繰り返し試聴し、またテクストを確認することで、定型表現や構文、語彙について学習する。
2. ドイツ社会の状況についての解説：ニュースを理解するために必要な社会背景や事情について解説し、知識を補充する。短い報告の形で参加者に情報提供してもらうことがある。
3. 上記の情報をふまえて、発展的な内容を持つニュース記事を読む。新聞や雑誌の記事を教材として用いる。ドイツ語のさらに高度な表現や文法についての練習を兼ねる。教材は前回に配布するので、出席者は準備したうえで出席すること（下記授業時間外学習の項参照）。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション：ドイツとは	ドイツ語力についての確認と、ドイツについて最低限の知識を確認する。
第 2 回	市民社会①ボランティアと市民参加	連邦ボランティア・イヤー制度や民間福祉団体など、新旧のボランティア制度について紹介する。
第 3 回	市民社会②市民イニシアティヴ	市民たちの権利要求や抗議の自主的活動の歴史と現状を分析する。
第 4 回	外国人問題①難民とアジール	ドイツ社会が長年向き合ってきた外国人問題についてとくに現在の難民問題を中心に概観する
第 5 回	外国人問題②社会統合とインクルージョン	外国人とドイツの共生をいかに可能にしていくか、政治や民間で行われている努力について取り上げる。

第 6 回	地域発展①大都市の生活	ドイツの大都市はさまざまな開発プロジェクトにより町並みは大きく変貌しつつある。その様子を問題点とともに紹介する。
第 7 回	地域発展②地方都市の未来	大都市が繁栄する一方で、ドイツ地方都市は東部を中心に厳しい経済状況からの再生に挑んでいる。その状況をあつかう。
第 8 回	地域発展③東部各州の問題	再統一から 30 年以上が経過したのち、旧東ドイツだった地域の現状を学ぶ。
第 9 回	歴史問題①ホロコーストを記憶する	ナチスによるユダヤ人迫害はドイツ社会でどのように認識され、教えられてきたのかについて紹介する。
第 10 回	歴史問題②歴史修正主義の台頭に抗して	ナチスを美化ないし相対化しようとする一部の動きに対してどのような対策が取られているのか。
第 11 回	歴史問題③東ドイツの過去の克服	ドイツの歴史のもう一つの問題点である 1990 年までの東ドイツの歴史をどのように考えていくべきかという問題を扱う。
第 12 回	教育①小学校と学力問題	外国籍や移民の背景を持つ子どもたちの増加は教育現場にどのような影響を与えているのか。
第 13 回	教育②大学教育	入学から卒業までドイツの大学制度の問題点を議論する。
第 14 回	教育③市民教育	市民教育（Bundeszentrale fuer Politische Bildung）について学ぶ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回配布したテキストを事前に読み、全部理解できなくてもよいので、最低限わからない単語の意味を調べるなど予習を行ってから授業にのぞむこと。

また、テーマについて事前に調べ、予備知識を得ておくと良い。参加者の所属・専門に応じて、短い報告をしてもらうことがある。

ドイツのことだけではなく、日本や他国の事情についても関心を広げていって欲しい。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

毎回授業中に配布する。

【参考書】

独和辞書は各自毎回持ってくること（電子辞書、スマートフォンアプリでもかまわない）。

また文法参考書としては以下のものが適当である。

書名：『必携ドイツ文法総まとめ (改訂版)』
著者：中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著
出版社：白水社　ISBN ： 978-4-560-00492-0

【成績評価の方法と基準】

授業への参加： 50 %
期末レポート： 50 %

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

教室の設備を利用する。

【その他の重要事項】

ドイツ語の教材を扱うが、基礎文法終了程度の語学力があれば受講可能である。

【Outline and objectives】

This seminar gives information about the contemporary German society and provides practical training on German at intermediate level.

LANd200LA

検定ドイツ語 I

2017 年度以降入学者

岡本　雅克

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2 年～

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語技能検定試験（独検）５級合格に標準をあわせた授業を行う。例年、試験は春（６月）・秋（１１月）に実施され、春・秋両方受験することも可能である。この授業では、独検の受験を想定した教科書を使用し、ドイツ語を「読む」「書く」「聞く」「話す」力をつけると同時に、独検５級の合格を目的とする。５級は春学期ほどの範囲なので、春に５級、秋に４級を目指すことも可能である。１年次にドイツ語を履修し、１年次の学習事項を復習しながら独検５級を受験したいという学生に最適である。また、受験を目指すつもりがなくても、これと同程度の語学力を身につけたいという学生の受講も可能である。

【到達目標】

ドイツ語検定に対応するため、よく出題されるような文法事項の確認、文章の読解力の養成、またヒアリング力の強化を目指す。独検５級に合格できる語学力を身につけることが、この授業の到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

※春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。本授業の開始日は５月１１日とし、その日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。
授業は演習形式で行う。使用する教科書は１７章からなるが、５級対応は３章まで。各章とも確認（文法）、対策テスト（練習問題）から構成されている。文法の説明をしながら、練習問題に取り組み、さらにプリントを配布し、過去問にも取り組む。また多くの人が不得意とするヒアリングの練習も行う。春学期の後半には４級対応の内容も学習する予定である（４章まで）。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第０章	アルファベット
	第１章	発音（つづり、アクセント、母音の長短、二重母音）
2	第１章	発音（子） 変化の理解をし、文の作成や読み取りを試みる
3	第２章①	人称変化 文の作り方 練習問題
4	第２章②	人称変化 文の作り方 練習問題
5	ヒアリング	ヒアリングに慣れるため、ヒアリングの練習を過去問でやってみる。
6	第３章①	名詞の性と冠詞 名詞と冠詞の格 練習問題

7	第３章② 名詞の性と格について まとめて俯瞰する	３人称の人称代名詞と疑問代名詞 疑問副詞 練習問題
8	読解力の養成 ヒアリング	独検の過去問を解いてみる ヒアリングの練習
9	読解力の養成 ヒアリング	独検の過去問を解いてみる ヒアリングの練習
10	第４章	複数形の作り方 複数形の使い方 練習問題
11	読解力の養成	独検の過去問を解いてみる
12	読解力の養成 ヒアリング	独検の過去問を解いてみる ヒアリングの練習
13	読解力の養成 ヒアリング	独検の過去問を解いてみる ヒアリングの練習
14	試験日	実際の検定試験の要領で　試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回課題を与えるので、翌週までにやってくること。本授業の準備・復習時間は各３０分を標準とする。

【テキスト（教科書）】
在間進、亀ヶ谷昌秀『独検５級・４級・３級対応　ドイツ語文法』（三修社）ISBN9784384112740￥2,400
また随時プリントも配布する。

【参考書】
１～２年次に使ったテキストや参考書があれば持ってくる。また辞書は必ず持ってくること。

【成績評価の方法と基準】
※春学期の少なくとも前半がオンラインでの開校となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。
期末試験の得点を８０％、平常点を２０％の合計で評価する。平常点は、教科書やプリントの練習問題にしっかり取り組むこと、あるいは、しっかり予習してきた形跡が認められることを標準とする。

【学生の意見等からの気づき】
授業の進度については、学生たちの理解度に応じて柔軟に対応する。

【Outline and objectives】
In this course, we use a textbook on grammar for beginners and aim to acquire the ability to pass the german proficiency test.

LANd200LA

検定ドイツ語Ⅱ

2017 年度以降入学者

岡本　雅克

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2 年～

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語技能検定試験（独検）４級合格に標準をあわせた授業を行う。例年、試験は春（６月）・秋（１１月）に実施されるため、秋か翌年の春に４級を受験することができる。この授業では、独検の受験を想定した教科書を使用し、ドイツ語を「読む」「書く」「聞く」「話す」力をつけると同時に、独検４級の合格を目的とする。１年次にドイツ語を履修し、１年次の学習事項を復習しながら独検４級を受験したいという学生に最適である。また、受験を目指すつもりがなくても、これと同程度の語学力を身につけたいという学生の受講も可能である。

【到達目標】
ドイツ語検定に対応するため、よく出題されるような文法事項の確認、文章の読解力の養成、またヒアリング力の強化を目指す。独検４級に合格できる語学力を身につけることが、この授業の到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は演習形式で行う。使用する教科書は１７章からなるが、４級対応は４章から８章まで。春学期に４章まで進む予定であるので、秋学期は残りの５章から８章まで。各章とも確認（文法）、対策テスト（練習問題）から構成されている。文法の説明をしながら、練習問題に取り組み、さらにプリントを配布し、過去問にも取り組む。また多くの人が不得意とするヒアリングの練習も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第５章①	定冠詞類 練習問題
2	第５章②	不定冠詞類 練習問題
3	第５章③	不規則変化動詞 複合的な疑問詞 練習問題
4	ヒアリング	ヒアリングに慣れるため、ヒアリングの練習を過去問でやってみる。
5	第６章①	前置詞の格支配 練習問題
6	第６章②	３・４格支配の前置詞 練習問題
7	読解力の養成 ヒアリング	独検の過去問を解いてみる ヒアリングの練習
8	第７章①	人称代名詞 練習問題
9	第７章②	再帰代名詞 再帰動詞 練習問題
10	読解力の養成 ヒアリング	独検の過去問を解いてみる ヒアリングの練習

11	第８章①	話法の助動詞 未来形 練習問題
12	第８章②	分離動詞 命令形 練習問題
13	読解力の養成	独検の過去問を解いてみる不規則変化動詞
14	試験日	実際の検定試験の要領で　試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回課題を与えるので、翌週までにやってくること。本授業の準備・復習時間は各３０分を標準とする。

【テキスト（教科書）】
在間進、亀ヶ谷昌秀『独検５級・４級・３級対応　ドイツ語文法』（三修社）ISBN9784384112740￥2,400
また随時プリントも配布する。

【参考書】
１～２年次に使ったテキストや参考書があれば持ってくる。また辞書は必ず持ってくること。

【成績評価の方法と基準】
期末試験の得点を８０％、平常点を２０％の合計で評価する。平常点は、教科書やプリントの練習問題にしっかり取り組むこと、あるいは、しっかり予習してきた形跡が認められることを標準とする。

【学生の意見等からの気づき】
授業の進度については、学生たちの理解度に応じて柔軟に対応する。

【Outline and objectives】
In this course, we use a textbook on grammar for beginners and aim to acquire the ability to pass the german proficiency test.

LANd100LA

入門ドイツ語 (SSI) Ⅰ

2017 年度以降入学者

浦田　智

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 1 年～（SSI 生のみ）

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ生を対象にしたドイツ語の入門クラスです。ドイツ語とはどんな言葉かを理解することを目的としています。

【到達目標】
ドイツ語で表現するための基本となる文法の初歩と関連したドイツ語の文章を学習し、日常のあいさつなどの言い回しが言えるようにする。ドイツ語を正しく発音し、初歩的なドイツ語の総合力を習得することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半は学習支援システムを用いてオンラインでの授業を行います。
それ以降は、教科書が入手出来たら、教科書に準じて授業を進め、授業計画に変更があるときは、学習支援システムでその都度提示します。本授業は 4 月 27 日に開始し、この日までに具体的な内容などを学習支援システムで提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	ドイツ語およびドイツ語圏の紹介。年間の授業の進め方などの説明を行う。
2	アルファベットと発音 (1)	アルファベットの読み方の説明をし、口頭で練習をする。単語の音の原則を学ぶ。
3	アルファベットと発音 (2)	注意すべき母音や子音の読み方を学ぶ。簡単な挨拶表現を覚える。
4	自己紹介 (1)	現在人称変化一規則動詞・sein
5	自己紹介 (2)	疑問詞のある疑問文・ja か nein で答える疑問文
6	余暇 (l)	現在人称変化：不規則動詞・haben、否定疑問文の用法
7	余暇 (2)	動詞の名詞化・語順・否定詞 nicht の位置
8	持ち物 (1)	名詞の性・定冠詞、不定冠詞の 1 格と 4 格・名詞の複数形
9	持ち物 (2)	否定冠詞、所有冠詞、人称代名詞の 1 格と４絡
10	家族 (1)	格変化・人称代名詞の 3 格
11	家族 (2)	否定詞 nicht と否定冠詞 kein の使い分け
12	買い物	定冠詞類の 1 格と 4 格 指示代名詞の 1 格と４格・非人称主語 es を使った表現
13	総復習	春学期で学んだ文法事項と各場面における表現のまとめと復習
14	期末試験	春学期で学んだ文法事項と各場面における表現のまとめの試験を実施する。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
事前に「授業テーマ」や「授業内容」を読み、プリントの該当箇所内容についての情報を得た上でこれに目を通して疑問点を明確にしておくこと。また重点ポイントとして指摘したところは必ずチェックしておいてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
プリント（授業時に配布します。）

【参考書】
必要に応じて授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更します。具体的な内容は、今後オンラインでの授業を確認しながら、学習支援システムで提示します。

【学生の意見等からの気づき】
文法事項の説明をさらに丁寧に行い、黒板にはできるだけわかりやすく、大きく書くように心がける。履修者による発表や自発的な音読、質問を行えるように徹底する。

【Outline and objectives】
This class is an intoduction to the study of German aimed at the students who play sports. The purpose of this class is to understand what the German language is like.

LANd100LA

入門ドイツ語 (SSI) Ⅱ

2017年度以降入学者

浦田　智

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 1 年～（SSI 生のみ）

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ生を対象にしたドイツ語の入門クラスです。Ⅰからの継続で、初歩の文法と日常的な場面で使える文を学びながら、基礎的な表現を身につけることを目的としています。

【到達目標】
ドイツ語で表現するための基本となる文法の初歩と関連したドイツ語の文章を学習し、日常のあいさつなどの言い回しが言えるようにする。ドイツ語を正しく発音し、初歩的なドイツ語の総合力を習得することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
各課に挙げられている文を繰り返し音読し、文の内容を説明した後、各学習者にも反復練習してもらいドイツ語の表現を覚えてもらうなど、出来るだけ授授業に参加してもらいます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	秋学期の授業の進め方や今後実施していく授業内容の説明
2	春学期の復習	春学期で学んだ文法事項や各テーマを復習する。
3	－日の出来事 (1)	分離動詞と非分離動詞の用法と注意点
4	一日の出来事 (2)	命令文の形態と意味およびその使い方
5	ショッピングセンターで (1)	話法の助助詞の現在人称変化と用法について
6	ショッピングセンターで (2)	不定代名詞 man の日常での用法
7	町で (1)	場所と方向を表す前置詞十 3 格か 4 格
8	町で (2)	場所と方向を表す前置詞＋ 3 格か 4 格の用法をさらに練習する。
9	一日の出来事（過去）(1)	sein と haben 過去人称変化の形態と用法
10	一日の出来事（過去）(2)	日常会話で過去を表す時に用いる現在完了形の使い方
11	数詞と時刻	基数と序数・数詞を使った時刻の言い表し方
12	旅行	現在完了形の用法の発展練習
13	総復習	秋学期に学んだ文法事項や各テーマで覚えた表現の復習と実践
14	期末試験	秋学期に学んだ文法事項や各テーマで覚えた表現をチェックするための試験を実施する。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
事前に「授業テーマ」や「授業内容」を読み、プリントの該当箇所の内容についての情報を得た上で、これに目を通して疑問点を明確にしておきましょう。また、授業中に指摘したポイントは必ずチェックしておいてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
プリント（授業時に配布します。）

【参考書】
必要に応じて授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】
期末試験を重視すると同時に、毎回の授業に対する取り組み方、授業中にしっかりとドイツ語を声を出して読んでいるかなどのポイントを加味しながら、到達目標に達しているかを問う期末試験 80 %、授業参加度 20 %の割合で総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】
文法事項やドイツ語の表現などについての説明をさらに詳しくわかりやすいように行い、また履修者による発表や自主的な質問等ができるように徹底する。

【Outline and objectives】
This class is an introduction to the study of German aimed at the students who play sports. The purpose of this class is to understand what the German language is like and to learn the basic expressions of German.

LANd100LA

入門ドイツ語 (SSI) Ⅰ

2017 年度以降入学者

梶谷　雄二

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 1 年～（SSI 生のみ）

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級文法を理解して、発音練習や簡単な日常会話の練習をして、ドイツ語に親しむことを目的とする。ドイツの文化と日本の文化も比較しながら理解する。

【到達目標】
一通りドイツ語の仕組みを理解し、読むこと、話すこと、書くことなど、ドイツ語に何らかの対応ができるようになることを目指す。ドイツ語検定試験 4 級に合格できることを見据える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
①この授業の第一回目は、2020 年 4 月 22 日 4 限 15:00 から zoom ミーティングで行います。詳細は hoppii を参照してください。（現在、4 月 17 日 10:00）
②ミーティング ID とパスワード
　ID　364-352-1235　　パスワード 371795（現在、4 月 21 日 10:30）
授業の前半はドイツ語圏の歴史を時間を追ってビデオをみながら解説する。この内容は定期試験で問うことになる。その後、ドイツ語の練習となる。まず、その授業の課題となっている表現を発音する。受講者各自にも発音をしてもらう。その後、課題文の文法的な説明、発音の詳細な説明をおこなう。最後に、課題文を含む会話のシュミレーションを受講者各自が実践する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ドイツ語圏の歴史と「お元気ですか？」の表現	ゲルマンの民族大移動の前のドイツ 発音の基礎と挨拶の表現 (1)
2	ドイツ語圏の歴史と「お元気ですか？」の表現	西ローマ帝国の滅亡とゲルマン民族のフランク王国の成立．アーヘン大聖堂 発音の基礎と挨拶の表現 (2)
3	ドイツ語圏の歴史と「名前は？　出身は？　住んでる所は？」の表現	キリスト教の布教 動詞の現在人称変化 (1)
4	ドイツ語圏の歴史と「こちらはどなた？　これは何？」の表現	神聖ローマ帝国の成立 動詞の現在人称変化 (2)
5	ドイツ語圏の歴史と「どこから来たの？　こちらはどなた？」の表現	ドイツ語圏の発展　ハルシュタット 動詞の現在人称変化 (3)
6	ドイツ語圏の歴史と「今日はどこへ行くの？　明日は何をするの？」の表現	ドイツ語圏の発展　ゴスラー 副詞

7	ドイツ語圏の歴史と「日曜日はどこへ行くの？　そこで何をするの？」の表現	ドイツ語圏の発展　ニュルンベルク 前置詞句 (1)
8	ドイツ語圏の歴史と「自動車で行く　友達と野球をする」の表現	宗教改革　ケルン大聖堂 前置詞句 (2)
9	ドイツ語圏の歴史と「新宿で買い物をする」の表現	宗教改革　マルチン・ルター 前置詞句 (3)
10	ドイツ語圏の歴史と「日曜日に新宿へ行く」の表現	貴族の時代　ヴュルツブルク宮殿 前置詞句 (4)
11	ドイツ語圏の歴史と「友達と新宿で買い物をする」の表現	貴族の時代　ドレスデン 春学期の総合 (1)
12	ドイツ語圏の歴史と「駅へはどう行けばいいのですか？」の表現	19 世紀のドイツ語圏　ノイシュヴァンシュタイン城 春学期の総合 (2)
13	ドイツ語圏の歴史と「傘はどこに置きますか？」の表現	ドイツ語圏の近代化　バウハウス 春学期の総合 (3)
14	試験	春学期の総合

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。その週の授業で学んだ表現を繰り返し発音して、暗記すること。

【テキスト（教科書）】
プリントをテキストとして配布する

【参考書】
独和辞典はもちろんだが、そのほかの参考書については授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
授業への参加姿勢 40 %（主に出席と練習問題への取り組み、発音の習熟度で評価する）、定期試験の平均 60 %。

【学生の意見等からの気づき】
授業の方針や授業の目的を受講生によく理解してもらうように丁寧に説明する。

【Outline and objectives】
The purpose is to understand elementary grammar, practice pronunciation and simple daily conversation, and become familiar with German. We will compare and understand German culture and Japanese culture.

LANd100LA

入門ドイツ語 (SSI) Ⅱ

2017 年度以降入学者

梶谷　雄二

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 1 年～（SSI 生のみ）

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級文法を理解して、発音練習や簡単な日常会話の練習をして、ドイツ語に親しむことを目的とする。ドイツの文化と日本の文化も比較しながら理解する。

【到達目標】
一通りドイツ語の仕組みを理解し、読むこと、話すこと、書くことなど、ドイツ語に何らかの対応ができるようになることを目指す。ドイツ語検定試験 4 級に合格できることを見据える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
授業の前半はドイツ語圏の歴史を時間を追ってビデオをみながら解説する。この内容は定期試験で問うことになる。その後、ドイツ語の練習となる。まず、その授業の課題となっている表現を発音する。受講者各自にも発音をしてもらう。その後、課題文の文法的な説明、発音の詳細な説明をおこなう。最後に、課題文を含む会話のシュミレーションを受講者各自が実践する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ドイツ語圏の歴史と「お元気ですか？」の表現	ハプスブルク家の発祥 春学期の復習
2	ドイツ語圏の歴史と「今日はどこへ行くつもり？」の表現	ハプスブルクは結婚で勢力拡大 話法の助動詞 (1)
3	ドイツ語圏の歴史と「明日は何ができるの？」の表現	ハプスブルクが世界的帝国へ 話法の助動詞 (2)
4	ドイツ語圏の歴史と「今日はどこへ行くつもり？　明日は何ができるの？」の表現	マリア・テレジア　女性のハプスブルク家継承 話法の助動詞 (3)
5	ドイツ語圏の歴史と「日曜日は友達とどこへ行くつもり？」の表現	オーストリア継承戦争 話法の助動詞 (4)
6	ドイツ語圏の歴史と「昨日はどこへ行ったの？」の表現	オーストリアの改革 過去の表現 (1)
7	ドイツ語圏の歴史と「一昨日は何をしたの？」の表現	マリア・テレジアの夫　フランツ・シュテファン 過去の表現 (2)
8	ドイツ語圏の歴史と「昨日はどこへ行ったの？　一昨日は何をしたの？」の表現	多民族国家オーストリアの孤立 過去の表現 (3)
9	ドイツ語圏の歴史と「日曜日は友達とどこへ行ったの？」の表現	多民族国家オーストリア 過去の表現 (4)

10	ドイツ語圏の歴史と「天気が良ければ、…」の表現	スイスの始まり 副文 (1)
11	ドイツ語圏の歴史と「天気がいいので、…」の表現	スイスの独立 副文 (2)
12	ドイツ語圏の歴史と「天気がいいのに、…」の表現	ナチス・ドイツ 副文 (3)
13	ドイツ語圏の歴史と総合的な会話練習	ベルリンの壁 秋学期の総合
14	試験	秋学期の総合

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。その週の授業で学んだ表現を繰り返し発音して、暗記すること。

【テキスト（教科書）】
プリントをテキストとして配布する

【参考書】
独和辞典はもちろんだが、そのほかの参考書については授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
授業への参加姿勢 40 %（主に出席と練習問題への取り組み、発音の習熟度で評価する）、定期試験の平均 60 %。

【学生の意見等からの気づき】
授業の方針や授業の目的を受講生によく理解してもらうように丁寧に説明する。

【Outline and objectives】
The purpose is to understand elementary grammar, practice pronunciation and simple daily conversation, and become familiar with German. We will compare and understand German culture and Japanese culture.

ARSa200LA

ドイツ語の世界ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

ウテ・シュミット

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、映画や文献を用いてドイツ語圏の歴史、社会、文化を探っていきます。各授業は講義で始まり、映画鑑賞、プレゼンテーション、ディスカッションという流れで行います。プレゼンテーションは映画の背景となった歴史や文化に関する発表をしてもらいます。（履修者の人数によってはグループでのプレゼンテーションになります。）

【到達目標】
◦ドイツ語圏の生活、文化、社会、歴史など多様なテーマに関する理解を深める。
◦各時代の思想的・文化的背景を理解する。
◦ 映画の解釈方法を身につける。
◦ 異文化理解能力を高める。
◦テーマに応じた資料を収集し、読解する方法を身につける。
◦プレゼンテーション技術をアップする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更につ
いては、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 21 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。
授業はテーマへの導入、情報収集で始まり、映画鑑賞、プレゼンテーション、ディスカッションという流れで行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1.	オリエンテーション	授業の概説 発表の内容の取り決め
2.	ドイツ語圏の世界	地理, 言語, その他
3.	文学	ドイツと言えばゲーテ？ プレゼンテーション
4.	文学	映画：ゲーテの恋 〜君に捧ぐ 「若きウェルテルの悩み」 Goethe! (2010) ディスカッション
5.	オーストリアと日本	Sissi とミュージカル「エリザベート」
6.	スイスと日本	映画：ハイジ　アルプスの物語 Heidi (2015)
7.	スイスと日本	ハイジ in Japan プレゼンテーション
8.	戦争映画　1	第一次世界大戦 西部戦線異状なし (1930) 戦場のアリア (2005) ディスカッション

9.	ドイツと日本	ベートーヴェンの「第九」 プレゼンテーション 映画：バルトの楽園　(2006)
10.	戦争映画	第二次世界大戦 プレゼンテーション ディスカッション
11.	ヒトラー	ヒトラーと女性
12.	サッカーを通してみる戦後ドイツ社会	サッカーって文化？
13.	サッカーを通してみる戦後ドイツ社会	映画：ベルンの奇跡 Das Wunder von Bern (2003)
14.	プレゼンテーション	ディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
資料を読んでくる宿題を出します。（資料の言語は主に日本語、履修者のレベルに応じて英語、ドイツ語）
自分担当のプレゼンテーションの準備とレジュメ作成
本授業の準備学習・復習時間は、計 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
コピー配布

【参考書】
・森井 裕一 (著, 編集)『ドイツの歴史を知るための 50 章』(エリア・スタディーズ 151)
・宮田眞治・畠山寛・濱中春（編著）『ドイツ文化 55 のキーワード』
・新野守広・飯田道子・梅田紅子（編）『知ってほしい国　ドイツ』

【成績評価の方法と基準】
プレゼンテーションとレジュメー： 50%
授業中のディスカッション参加とリアクションペーパー： 50%

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【その他の重要事項】
ドイツ語の知識やドイツ語学習歴の有無は問いません

【Outline and objectives】
The core material used in this course will be recent German-language films. The content of the film will be used as the starting point to look into German history and society. The Students' final grades will be based on a presentation and active participation in class

ARSa200LA

ドイツ語の世界ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

ウテ・シュミット

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、映画や文献を用いてドイツ語圏の歴史、社会、文化を探っていきます。各授業は講義で始まり、映画鑑賞、プレゼンテーション、ディスカッションという流れで行います。プレゼンテーションは映画の背景となった歴史や文化に関する発表をしてもらいます。（履修者の人数によってはグループでのプレゼンテーションになります。）

【到達目標】
◦ドイツ語圏の生活、文化、社会、歴史など多様なテーマに関する理解を深める。
◦各時代の思想的・文化的背景を理解する。
◦ 映画の解釈方法を身につける。
◦ 異文化理解能力を高める。
◦テーマに応じた資料を収集し、読解する方法を身につける。
◦プレゼンテーション技術をアップする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業はテーマへの導入、情報収集で始まり、映画鑑賞、プレゼンテーション、ディスカッションという流れで行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1.	東西ドイツ	ベルリンの壁ができるまで 映画：トンネル Der Tunnel (2001)
2.	西ドイツ	極左のテロリズム バーダー・マインホフ/理想の果てに Der Baader Meinhof Komplex (2008)
3.	東ドイツ	Stasi －東ドイツの秘密警察 映画:善き人のためのソナタ Das Leben der Anderen (2006)
4.	ドイツ統一	ベルリンの壁崩壊 映画：グッバイ、レーニン! Good Bye Lenin (2003)
5.	ドイツ統一	プレゼンテーション ディスカッション
6.	青春	映画： 50 年後のボクたちは Tschick (2016) プレゼンテーション ディスカッション
7.	ヒトラー	ヒトラーについて笑っていいのか？ 映画：帰ってきたヒトラー Er ist wieder da! (2015)

8.	ヒトラー	プレゼンテーション ディスカッション
9.	テロリズム	ドイツ極右組織 NSU
10.	ドイツ極右組織	映画：女は二度決断する Aus dem Nichts (2017)
11.	ドイツ極右組織	プレゼンテーション ディスカッション
12.	移民国ドイツ	難民問題
13.	移民国ドイツ	映画：初めてのおもてなし Willkommen bei Hartmanns (2016)
14.	移民国ドイツ	プレゼンテーション ディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
資料を読んでくる宿題を出します。（資料の言語は主に日本語、履修者のレベルに応じて英語、ドイツ語）
本授業の準備学習・復習時間は、計 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
コピーを配布

【参考書】
・森井裕一 (著, 編集)『ドイツの歴史を知るための 50 章』(エリア・スタディーズ 151)
・宮田眞治・畠山寛・濱中春（編著）『ドイツ文化 55 のキーワード』
・新野守広・飯田道子・梅田紅子（編）『知ってほしい国　ドイツ』

【成績評価の方法と基準】
プレゼンテーションとレジュメー： 50%
授業中のディスカッション参加とリアクションペーパー： 50%

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【その他の重要事項】
ドイツ語の知識やドイツ語学習歴の有無は問いません

【Outline and objectives】
The core material used in this course will be recent German-language films. The content of the film will be used as the starting point to look into German history and society. The Students' final grades will be based on a presentation and active participation in class.

ARSa200LA

ドイツの文化と社会ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**ドイツ語圏のキーワード**

上田　知夫

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「ドイツ」と聞いて思い浮かべるイメージはなんでしょうか。ドイツについて全く知らない人でもいくつかのキーワードが思いつくのではないでしょうか。
この授業ではそのようなすぐ気がつくキーワードから、ちょっと通なキーワードを集めて、それらがドイツ語圏の社会で果たす役割について少しだけ深く考えて見ることにしたいと思います。
ドイツ語の学習は前提しませんし、ドイツ語の文献を扱うこともありません。

【到達目標】
この授業では、ドイツ語圏の様々なキーワードの背後にある、社会や歴史的要素について理解することを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日は 4 月 22 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	導入	ドイツとドイツ語圏について。
第 2 回	ドイツ国歌	ドイツ国歌の成り立ちについて。
第 3 回	ビール	ビール純粋令の歴史について。
第 4 回	マイスター	複線型学校制度について。
第 5 回	自動車	自由と環境について。
第 6 回	休暇	経済の奇跡と労働者の権利について。
第 7 回	ハイジの旅	スイスの鉄道網の発展と観光について。
第 8 回	サッカー	ローカルパトリオリズムおよびナショナリズムについて。
第 9 回	メディア	戦後ドイツにおける公営メディアの役割について。
第 10 回	マウスとザントマン	東西ドイツの子供時代について。
第 11 回	第三の男	占領下のドイツ語圏について。
第 12 回	ドネルケバブ	ドイツの都市とそこにやってきた移民（およびその子孫）たちについて。
第 13 回	外国語としてのドイツ語	社会の統合としての言語について。
第 14 回	まとめ	これまでの話題について振り返り、期末レポートの書き方について確認します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
予習：次回のキーワードについて思いつくことをいくつか考えてから教室に来てください。
復習：レジュメを読み返してください。特に、レポートを書こうと思うテーマの回については、オフィスアワーを積極的に利用して教員と相談の上、参考文献を図書館で探してみてください。

【テキスト（教科書）】
教科書は指定しません。ハンドアウトを配布し、スライドを用いて授業します。

【参考書】
毎回異なる参考文献を参照するので、授業ごとに指示します。

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更になります。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示します。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】
ノートパソコン、スマートフォン、タブレットなど、インターネット通信環境のある機器があれば持参のこと。

【その他の重要事項】
春学期と秋学期は独立して履修できるようにしてあります。
毎回最初の 10 分ほどでブレインストーミングを行い、最後の 10 分ほどで議論を行うので、積極的に参加してください。

【Outline and objectives】
This lecture aims to get some basic understanding of the German-speaking countries.
This lecture is organized according to keywords that tend to be associated with these countries.
This lecture does not presuppose any knowledge of the German language.

ARSa200LA

ドイツの文化と社会ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**ドイツ語圏の社会と思想**

上田　知夫

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業ではドイツの文化と社会の関係を社会についての思想を手がかりに捉えることを目的にします。
その際に、ドイツ語圏の思想が、
1. さまざまな歴史的社会的事情との関連で展開してきたこと、および、
2. 実際には 1 つの言語圏を超えて拡がっていくということ
を理解したいと思います。
なお、この授業は日本語で行います。ドイツ語力は一切前提しません。

【到達目標】
この授業を通じて、
・ドイツの社会思想について概観を得ることができます
・20 世紀から 21 世紀のドイツの社会問題についての概観を得ることができます
・論理的に思考し、議論を組み立てる練習ができます

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
この授業の中心部分は講義形式ですが、最後の 10 分程度全体でディスカッションしたいと思います。また毎回リアクションペーパーの提出を求めます。
また適宜、参加者に発言を求めることがあります。積極的な発言が、平常点の加算要因です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	導入：ドイツ語圏の 20 世紀の歴史の概観	ドイツ語圏の 20 世紀について、高校世界史の復習をします。
第 2 回	ワイマール共和国とフランクフルト学派	フランクフルト学派の第 1 世代の研究の背景を大戦間期のドイツの政治状況と関連付けます。
第 3 回	ウィーンとウィーン学団	ウィーン学団の科学哲学と当時のウィーンの知的状況について概観します。
第 4 回	亡命知識人の哲学 1: アメリカのフランクフルト学派	ナチスの台頭に伴い、多くの哲学者が亡命しました。亡命知識人の状況とその思想的展開を追います。
第 5 回	亡命知識人の哲学 2: 英語圏の科学哲学	ウィーン学団の哲学者たちの亡命とその後の英語圏の哲学に与えた影響について概観します。
第 6 回	ナチスと哲学者	亡命した哲学者と対象的に、ナチス政権を思想的に支えた哲学者たちについて概観します。
第 7 回	戦後のフランクフルト学派	第 2 次世界対戦後のドイツの学問状況を哲学者たちを事例に概観します。

第 8 回	68 年世代の哲学	ドイツの学生運動が隆盛を迎えた 1968 年代当時の哲学的状況を概観します。
第 9 回	ハーバマスと社会哲学 1: 社会国家と生活世界	戦後ドイツの社会国家について概説し、社会国家制度と社会哲学の関係を概観します。
第 10 回	ハーバマスと社会哲学 2: ポストモダンとの対話	ドイツ語圏の哲学とフランスの哲学の対話について概観します。
第 11 回	ハーバマスと社会哲学 3: 歴史家論争	第 2 次世界対戦後のドイツが、第 2 次世界対戦をどのように振り返ってきたかについて歴史家論争を手がかりに概観します。
第 12 回	ハーバマスと社会哲学 4: ドイツ再統一と討議倫理学	ドイツの再統一が与えた影響について討議倫理学の発展という観点から概観します。
第 13 回	ハーバマスと社会哲学 6: ネオプラグマティズムとドイツの社会哲学	ドイツ語圏の哲学と、アメリカの哲学との交流について概観します。
第 14 回	まとめ	これまでの議論をまとめ、レポートの書き方について確認します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
この授業では復習を中心に学習してください。とりわけ興味を持った主題についてのレポートの準備を入念に行うことを求めたいと思います。そのためのオフィスアワーの積極的利用も推奨します。

【テキスト（教科書）】
教科書は指定しません。適宜、レジュメを配布します。

【参考書】
毎回異なる参考書を利用しますので、スライドでそれらを指示します。レポートを執筆しようと思う回については、それらを一読することをお勧めします。

【成績評価の方法と基準】
授業の際に提出するリアクションペーパー: 50%
授業での発言（コメント・質問）もしくはオフィスアワーの利用：10%
レポート： 40%

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【その他の重要事項】
春学期と秋学期は独立して履修できるようにしてあります。

【Outline and objectives】
The theme of this lecture is the relationship between philosophical thoughts and their roles in society, especially, in German society.

LANf200LA

フランス語３Ｉ

2017 年度以降入学者

近江屋　志穂

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 D

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年次に学習した初級文法を復習・強化しながら、フランスの文化と社会に関するテキストを読みます。フランス語の総合力を養う読解の授業を目標とします。

【到達目標】
・和仏辞書を引きながらフランス語の文章が読めるようになること。
・初級文法の知識を固めること。
・フランス語を正しく発音できるようになること。。
・実用フランス語技能検定試験（仏検）で言えば 4 級レベル、DELF で言えば A1 レベルに到達すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
重要：授業開始は 4 月 23 日です。第 1 回の課題については学習支援システム上で指示します。
テキストの各課は、長文の内容に関する質問、綴りと発音の復習、文法事項の確認、文法練習問題、聞取り問題で構成されています。これらの課題をこなし、長文の訳読と音読を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習とイントロダクション	主要な動詞の直説法現在の活用（テキスト p.46-47)
2	復習	主要な動詞の直説法現在の活用（テキスト p.48-49)
3	復習	直説法の動詞まとめ（テキスト p.88-89)
4	Leçon 1 La passion du sport	長文読解と問題
5	Leçon 2 La lutte contre le gaspillage	・人称代名詞、強勢形 ・長文読解と問題
6	Leçon 2 La lutte contre le gaspillage	長文読解と問題
7	Leçon 3 Simple comme bonjour	長文読解と問題
8	Leçon 3 Simple comme bonjour	長文読解と問題
9	Leçon 4 Pour ou contre les devoirs	・中性代名詞 ・長文読解と問題
10	Leçon 4 Pour ou contre les devoirs	長文読解と問題
11	Leçon 5 Les bonnes manières à table	・関係代名詞 ・長文読解と問題
12	Leçon 5 Les bonnes manières à table	長文読解と問題
13	Leçon 5 Les bonnes manières à table	長文読解と問題
14	期末試験	筆記試験・音読試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
効果的にフランス語力が身につくよう、授業の予習や課題を必ず行ってください。本授業の準備・復習時間は各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
・『ヴレマン?　Vraiment? 14 leçons pour découvrir la France』澤田直、リリアンヌ・ラタンジオ、三修社、2017 年、2100 円＋税
・『"プティ"シェリーとフランス語』三修社（一年次に使用した文法テキスト）

【参考書】
実用フランス語検定や DELF など、語学検定試験を受けたい人には参考書を紹介します。

【成績評価の方法と基準】
平常点 50 %、期末試験 50 %（教室授業が可能となった場合）

【学生の意見等からの気づき】
本年度新規担当につきフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】
仏和辞書

【その他の重要事項】
・遠隔授業の実施に伴う、授業計画や成績評価基準の変更については、学習支援システム上で通知します。

【Outline and objectives】
Compulsory French course : developping the skills of listening, speaking, reading, and writing French in a cultural context.

LANf200LA

フランス語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

近江屋　志穂

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 D

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年次に学習した初級文法を復習・強化しながら、フランスの文化と社会に関するテキストを読みます。フランス語の総合力を養う読解の授業を目標とします。

【到達目標】
・和仏辞書を引きながらフランス語の文章が読めるようになること。
・初級文法の知識を固めること。
・フランス語を正しく発音できるようになること。
・実用フランス語技能検定試験（仏検）で言えば 3 級レベル、DELF で言えば A2 レベルに到達すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストの各課は、長文の内容に関する質問、綴りと発音の復習、文法事項の確認、文法練習問題、聞取り問題で構成されています。これらの課題をこなし、長文の訳読と音読を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習	春学期の復習
2	Leçon 6 Vivement les vacances!	・直説法単純未来、命令法 ・長文読解と問題
3	Leçon 6 Vivement les vacances!	長文読解と問題
4	Leçon 7 Les petits noms amoureux	・大過去・条件法 ・長文読解と問題
5	Leçon 7 Les petits noms amoureux	長文読解と問題
6	Leçon 9 Les nouvelles familles	・現在分詞、ジェロンディフ ・長文読解と問題
7	Leçon 9 Les nouvelles familles	長文読解と問題
8	中間試験	筆記試験、音読試験
9	Leçon 10 La politique environnementale	接続法
10	Leçon 10 La politique environnementale	長文読解と問題
11	Leçon 12 La folie des soldes	直接話法、間接話法
12	Leçon 12 La folie des soldes	長文読解と問題
13	Leçon 13 Le droit de grève	・過去分詞まとめ ・長文読解と問題
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
効果的にフランス語力が身につくよう、授業の予習を必ず行ってください。本授業の準備・復習時間は各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
・『ヴレマン?　Vraiment? 14 leçons pour découvrir la France』澤田直、リリアンヌ・ラタンジオ、三修社、2017 年、2100 円＋税
・『"プティ"シェリーとフランス語』三修社（一年次に使用した文法テキスト）

【参考書】
実用フランス語検定や DELF など、語学検定試験を受けたい人には参考書を紹介します。

【成績評価の方法と基準】
中間試験 35 %、期末試験 50 %、平常点 15 %

【学生の意見等からの気づき】
本年度新規担当につきフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】
仏和辞書

【その他の重要事項】
一年次に使用した文法のテキストも持参してください。

【Outline and objectives】
Compulsory French course : developping the skills of listening, speaking, reading, and writing French in a cultural context.

LANf200LA

フランス語３Ｉ

2017 年度以降入学者

野村　訓子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**1 単位**
法 2 年 E・F

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「フランス語１」で学習が終わらなかった文法項目を学びつつ、簡単なフランス語の文章を読む。文法の基礎固め、テキストの講読、フランス語のテキストの音読を授業内容とする。

【到達目標】
仏検４級レベルを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
毎回、教科書の本文の意味を確認し、ゆっくり音読練習をする。また文法事項の復習をして、練習問題を解く。
遠隔授業の実施に伴い、授業計画については授業支援システム上で通知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	顔合わせ 今後について、話し合う	教科書の０課をする
2 回目	本文の意味取り、音読、文法復習	１課を学ぶ
3 回目	本文復習、練習問題	１課を学ぶ
4 回目	本文の意味取り、音読、文法復習	２課を学ぶ
5 回目	本文復習、練習問題	２課を学ぶ
6 回目	本文の意味取り、音読、文法復習	３課を学ぶ」
7 回目	本文復習、練習問題	３課を学ぶ
8 回目	本文の意味取り、音読、文法復習	４課を学ぶ
9 回目	本文の復習、練習問題	４課を学ぶ
10 回目	本文の意味取り、音読練習、文法復習	５課を学ぶ
11 回目	本文の復習、練習問題	５課を学ぶ
12 回目	実力を試す	仏検４級の過去問を解く
13 回目	実力を試す	仏検４級の過去問を解く
14 回目	試験の実施	今までのまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各週の授業に備えて、教員から指示された準備をする。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
パリ・ブルゴーニュ（朝日出版社、２５００円）

【参考書】
辞書としては、「プチ・ロワヤル仏和辞典」（旺文社）
あとは、２０１９年度に使用の文法教科書を参考にして下さい。

【成績評価の方法と基準】
平常点（３０％）、期末試験の成績（７０％）により、評価をする。期末試験の方法、内容については、授業において、教員が指示をする。

遠隔授業の実施に伴い、成績評価の基準については授業支援システム上で通知する。

【学生の意見等からの気づき】
ゆっくり丁寧に進めるつもり、質問は大歓迎

【学生が準備すべき機器他】
教科書の他、ノートを取ってください。

【その他の重要事項】
よく一緒に音読してください。

【Outline and objectives】
In this classe, we will learn the grmmatical points yet unlearned,and deepen the knowledge on the french culture.

LANf200LA

フランス語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

野村　訓子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**1 単位**
法 2 年 E・F

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランス語 3 Ⅰに準じます。

【到達目標】
フランス語 3 Ⅰに準じます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】
フランス語 3 Ⅰに準じます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	本文の意味取り、音読練習、文法の学習	６課を学ぶ
第 2 回	本文の復習、練習問題を解く	６課を学ぶ
第 3 回	本文の意味取り、音読、文法の学習	７課を学ぶ
第 4 回	本文の復習、練習問題を解く	７課を学ぶ
第 5 回	本文の意味取り、音読、文法の学習	８課を学ぶ
第 6 回	本文の復習、練習問題を解く	８課を学ぶ
第 7 回	本文の意味取り、音読、文法の学習	９課を学ぶ
第 8 回	本文の復習、練習問題を解く	９課を学ぶ
第 9 回	本文の意味取り、音読、文法の学習	１０課を学ぶ
第 10 回	本文の復習、練習問題を解く	１０課を学ぶ
第 11 回	補足資料１	仏検４級の過去問を解く
第 12 回	補足資料２	仏検４級の過去問を解く
第 13 回	補足資料３	仏検３級の過去問を解く
第 14 回	試験	過去の学習内容の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各週の授業に備えて、教員から指示された準備をする。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
パリ・ブルゴーニュ（朝日出版社、２５００円）

【参考書】
フランス語 3 Ⅰに準じます。

【成績評価の方法と基準】
平常点（３０％）、期末試験の成績（７０％）により、評価をする。期末試験の方法、内容については、授業において、教員が指示をする。

【学生の意見等からの気づき】
フランス語 3 Ⅰに準じます。

【Outline and objectives】
We will learn the grammatical points yet unlearned and deepen the knowledge on the french culture.

LANf200LA

フランス語３Ｉ

2017 年度以降入学者

佐藤　正和

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**1 単位**
法 2 年 T

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
前期の授業は、一年次に身につけたフランス語、とりわけその読解能力のアップをはかります。未習の箇所を行い、文法事項の確認を踏まえながら、将来社会にでても通用するようなより正確で迅速な読解力のレヴェル・アップをはかります。どうせやるなら、かなりのレベルまで高めたい。また、その読解を通じてさまざまなフランス文化の理解も同時に深めたいと思います。

【到達目標】
辞書さえあれば、英語で言えば高校１～２年程度の内容の文章を読むことができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
上記の到達目標を達成するために、次のような 3 つの段階を考えています。
①　　文法に注意しながら、単語を増やしながら正確に読む段階。（1 回の授業で 15 〜 25 行程度）
②　　習得した単語を踏まえ、スピードを上げて読む段階（30 〜 40 行）
③　　速読・レジュメ・内容把握問題（40 〜 50 行）
春学期では①②秋学期では②③ということになります。当然のことながら、毎回の出席と予習復習を要望します。詳しいことは、オリエンテーションで説明します。（4 月 29 日から始めます）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション（必ず出席のこと）	オリエンテーション
②	ロワール河の北と南１	訳読
③	ロワール河の北と南２	訳読
④	文化を生み出すカフェ１	訳読
⑤	文化を生み出すカフェ２	訳読
⑥	エコ・ライフには自転車を１	訳読
⑦	エコ・ライフには自転車を２	訳読
⑧	カンヌ・映画祭１	訳読
⑨	カンヌ・映画祭２	訳読
⑩	魅力あふれるモナコ	訳読
⑪	海洋環境復元	訳読
⑫	模擬試験	模擬試験
⑬	模擬試験の確認	訳読
⑭	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
提示された箇所について 60 分程度の予習

【テキスト（教科書）】
『フランスさまざま』（朝日出版社）

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
授業への積極性（40 %）
期末試験（60 %）

【学生の意見等からの気づき】
厳しかったけど、力は格段についた！ など
しっかりやってくれば、力はつきます。

【Outline and objectives】
Rise to a higher level of reading French

LANf200LA

フランス語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

佐藤　正和

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**1 単位**
法 2 年 T

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
秋学期の授業は、春学期とは異なりアトランダムな内容ではなく、テーマを絞って読むことでフランス文化の一面を体系的に学ぶことにします。将来社会にでても通用するようなより正確で迅速な読解力の養成をめざします。

【到達目標】
辞書さえあれば、容易なフランス語の文章がサラサラ読めるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
秋学期の授業の進め方。自宅で訳すというより、読んで理解しそして難しい部分だけ訳し、要約文を書く。授業の前に、要約文を提出。授業は個々人に読ませ、訳読。毎回の出席と予習復習を要望します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション（必ず出席のこと）	演習
②	上昇する出生率	演習
③	ＰＡＣＳ	演習
④	ＰＡＣＳの 10 年後（プリント）	演習
⑤	労働時間短縮の道のり	演習
⑥	35 時間労働の功罪（プリント）	演習
⑦	ヴァカンス（プリント）	演習
⑧	遠距離通勤（プリント）	演習
⑨	大学事情（プリント）	演習
⑩	女性の社会進出（プリント）	演習
⑪	ストライキ大国	演習
⑫	模擬試験	試験
⑬	模擬試験の解説	演習
⑭	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
指定されたものについて 60 分程度の予習

【テキスト（教科書）】
『フランスさまざま』（朝日出版社）

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
授業への積極性（40 %）
期末試験（60 %）

【学生の意見等からの気づき】
毎回やらないといけない。急には、力がつかない。こんな貴重な意見がありました。

【Outline and objectives】
Rise to a higher level of reading French

LANf200LA

フランス語３Ｉ

2017 年度以降入学者

稲垣　正久

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
文２年 A・B・E

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランス語の初級文法を復習しつつ、フランス語で書かれた簡単な文章を講読します。特に辞書の有効な使い方を徹底的に指導します。

【到達目標】
仏和辞典さえあれば、ある程度の文章は訳せるレベルの語学力を身に着けることを目標にします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
下記教科書をおおむね二回の授業で一課進みます。授業は５月１１日（月）に開始します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第一回	第１課	etre,avoir
第 2 回	第２課	日常会話で頻度の高い-er 動詞
第 3 回	第３課	直説法複合過去と半過去
第 4 回	第４課	条件法現在
第 5 回	復習１；綴り字の読み方	発音練習
第 6 回	まとめ	第一回小テスト（予定）
第 7 回	第５課	中性代名詞
第 8 回	第６課	直説法単純未来
第 9 回	第６課	非人称構文
第 10 回	第７課	不定法
第 11 回	第７課	直説法大過去
第 12 回	まとめ	第二回小テスト（予定）
第 13 回	復習２	練習問題
第 14 回	総括	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習の必要は特にありません。簡単な宿題が毎回出ます。必ずやって来てください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『ル・コリエ』（朝日出版社）

【参考書】
授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】
期末試験を全体の１/２、二回の小テストをそれぞれ１/４の割合で評価を下します。

【学生の意見等からの気づき】
毎回指摘しているが、「気づき」という日本語は正確とは言えないし、何よりも美しくないと思います。せめて「気づいたこと」とすべきだと強く訴えます。

【学生が準備すべき機器他】
仏和辞典は毎回必ず持参してください。

【Outline and objectives】
review of basic grammar, lecture of simple texts and how to use the dictionary

LANf200LA

フランス語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

稲垣　正久

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
文 2 年 A・B・E

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランス語３Ⅰに準じます。

【到達目標】
フランス語３Ⅰに準じます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
フランス語３Ⅰに準じます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	復習１	春学期のまとめ
第 2 回	第８課	接続法
第 3 回	第９課	受動態
第 4 回	第１０課	直説法と接続法
第 5 回	第１１課	代名動詞、ジェロンディフ
第 6 回	まとめ	第一回小テスト（予定）
第 7 回	第１２課	ne の省略、序数
第 8 回	第１２課	関係代名詞
第 9 回	第１３課	話法
第 10 回	第１４課	〈主語＋動詞〉の倒置と挿入
第 11 回	第１５課	６つの文型
第 12 回	まとめ	第二回小テスト（予定）
第 13 回	復習２	練習問題
第 14 回	総括	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習の必要は特にありません。簡単な宿題が毎回出ます。必ずやって来てください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
フランス語３Ⅰに準じます。

【参考書】
フランス語３Ⅰに準じます。

【成績評価の方法と基準】
フランス語３Ⅰに準じます。

【学生の意見等からの気づき】
フランス語３Ⅰに準じます。

【Outline and objectives】
review of basic grammar, lecture of simple texts and how to use the dictionary

LANf200LA

フランス語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

杉村　裕史

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
文 2 年 F・M

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランス語初級文法を復習しながら、フランス文化を紹介したテキストを読む

【到達目標】
1　フランス語の発音をきちんとできるようにする
2　フランス語の構造を理解する
3　フランス語を理解することで日本語表現能力をアップする

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
フランス語文法の復習と練習問題
辞書を引きながらフランス語の文をきちんとした日本語に訳す

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	発音の復習
第 2 回	La passion du sport	複合過去
第 3 回	スポーツ事情	半過去
第 4 回	La lutte contre le gaspillage	人称代名詞
第 5 回	無駄をなくそう	疑問代名詞
第 6 回	Simple comme bonjour	代名動詞
第 7 回	挨拶の秘訣	中性代名詞
第 8 回	Pour ou contre les devoirs	関係代名詞
第 9 回	宿題に賛成？ 反対？	近接未来
第 10 回	Les bonnes manières à table	単純未来
第 11 回	テーブルマナー	動詞の種類
第 12 回	Vivement les vacances	複合過去と半過去
第 13 回	ヴァカンス万歳	複合過去と大過去
第 14 回	前期のまとめ	過去時制のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
次回やる予定のテキストの単語調べをしておく。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
変更します。遠隔授業の実施により対面授業ができなくなりました。Google classroom で課題を出して、遠隔授業時間内に課題をこなしてください。

【テキスト（教科書）】
『ヴレマン？』（澤田直著、三修社、2017 年、2100 円＋税）
ISBN　978 － 4 － 384 － 23209 -- 7　C1085

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
小テストの合計 100 点と期末テストの合計 100 点を、計 200 点を 100 点満点に換算して、90 点以上を S,87~89 点を A+、83 ～ 86 点を A、80 ～ 82 点を A －、77 ～ 79 点を B+、73 ～ 76 点を B、70 ～ 72 点を B －、67 ～ 69 点を C ＋、63 ～ 66 点を C、60 ～ 62 点を C －、59 点以下を不合格とします。欠席は 3 回まで認めます。以下に変更します。↓

遠隔授業の開始により、期末試験が不可能になります。遠隔授業中に練習問題や小テストを課題として出しますから、それに答えてください。その合計点数で成績をつけたいと思います。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【その他の重要事項】
特になし

【Outline and objectives】
Learn Franch culture

LANf200LA

フランス語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

杉村　裕史

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
文 2 年 F・M

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランス語初級文法を復習しながら、フランス文化を紹介したテキストを読む

【到達目標】
1　フランス語の発音をきちんとできるようにする
2　フランス語の構造を理解する
3　フランス語を理解することで日本語表現能力をアップする

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
フランス語文法の復習と練習問題
辞書を引きながらフランス語の文をきちんとした日本語に訳す

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	後期ガイダンス	発音の復習
第 2 回	Les petits noms amoureux	複合過去
第 3 回	愛称とは？	半過去
第 4 回	La philosophie pour tous	人称代名詞
第 5 回	哲学をみんなで	疑問代名詞
第 6 回	Les nouvelles familles	代名動詞
第 7 回	あらたな家族形態	中性代名詞
第 8 回	La politique environnement	関係代名詞
第 9 回	環境政策	近接未来
第 10 回	Le bricolage	単純未来
第 11 回	フランス流日曜大工	動詞の種類
第 12 回	La folie des soldes	複合過去と半過去
第 13 回	バーゲンに夢中	複合過去と大過去
第 14 回	後期のまとめ	フランス的なこととは？

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
次回やる予定のテキストの単語調べをしておく。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『ヴレマン？』（澤田直著、三修社、2017 年、2100 円＋税）
ISBN　978 － 4 － 384 － 23209 -- 7　C1085

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
小テストの合計 100 点と期末テストの合計 100 点を、計 200 点を 100 点満点に換算して、90 点以上を S,87~89 点を A+、83 ～ 86 点を A、80 ～ 82 点を A －、77 ～ 79 点を B+、73 ～ 76 点を B、70 ～ 72 点を B －、67 ～ 69 点を C ＋、63 ～ 66 点を C、60 ～ 62 点を C －、59 点以下を不合格とします。
欠席は 3 回まで認めます。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【その他の重要事項】
特になし

【Outline and objectives】
Learn Franch culture

LANf200LA

フランス語３Ｉ

2017 年度以降入学者

西川　純子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 5/Thu.5
単位数：**1 単位**
文 2 年 R・T・U～W

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランス語の基礎的な構造を把握し、発音やコミュニケーション力を高めること。

【到達目標】
平易なフランス語で書かれた文章を読むことを通して、フランス語の語彙を広げ、表現する力を培うことを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って進めます。必要に応じて随時プリントを配布します。春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 5 月 7 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業方針を説明
第 2 回	第 1 課	複合過去形
		代名動詞
		代名動詞の複合過去
		過去分詞の一致
第 3 回	第 1 課	過去分詞の一致
第 4 回	第 2 課	半過去
第 5 回	第 2 課	大過去
		過去を表す表現のまとめ
第 6 回	第 3 課	関係代名詞
第 7 回	第 3 課	命令形と補語人称代名詞
第 8 回	第 3 課	序数
		ここまでの復習
第 9 回	第 4 課	受動態
第 10 回	第 4 課	現在分詞
		ジェロンディフ
第 11 回	第 4 課	疑問文の復習
第 12 回	第 4 課	疑問代名詞
第 13 回	第 1 － 4 課	ここまでの復習
		まとめ
第 14 回	試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
オンライン授業の動画を見る前に本文を読み、CD を聞いておくこと。わからない単語は必ず調べること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。動画を見た後、掲示板で指示した練習問題を必ず解いてください。質問は掲示板で受けつけます。質問は教師へのメールでも受け付けます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『新・彼女は食いしん坊　2』藤田裕二著、朝日出版社。

【参考書】
教室で指示します。

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日（5 月 7 日）に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
学生の苦手とする箇所を重点的に補うようにします。

【Outline and objectives】
learn advanced grammar in use

LANf200LA

フランス語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

西川　純子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 5/Thu.5
単位数：1 **単位**
文 2 年 R・T・U～W

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期と同様に、フランス語の表現力、コミュニケーション力の向上を目指します。

【到達目標】
教科書に載っている文章だけでなく、様々なジャンルの文章を読むことで理解力を高め、コミュニケーション力を強化していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って進めます。必要に応じて随時プリントを配布します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	春学期の復習	春学期学習したことを復習する
第 2 回	第 6 課	関係代名詞 (Ⅱ) 受動態
第 3 回	第 7 課	複合過去 (Ⅰ) 語彙
第 4 回	第 7 課	複合過去 (Ⅱ) 語彙
第 5 回	第 8 課	中性代名詞 語彙
第 6 回	第 9 課	半過去 現在分詞
第 7 回	第 10 課	ジェロンディフ 序数
第 8 回	第 10 課	強調構文 数詞
第 9 回	第 11 課	複合過去と半過去 語彙
第 10 回	第 11 課	使役表現 単純過去
第 11 回	第 12 課	大過去 過去時制のまとめ
第 12 回	第 12 課	条件法現在 条件法過去
第 13 回	第 13 課 まとめ	接続法現在 まとめ
第 14 回	試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
事前に本文を読み、CD を聞いておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『続・小さなコント』リリアンヌ・ラタンジオ、村松定史著、 駿河台出版社。

【参考書】
教室で指示します。

【成績評価の方法と基準】
期末試験（50%）、小テスト（30%）、宿題（20%）を総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】
学生の弱点を補えるよう、理解が徹底していない箇所を繰り返して学習するようにします。

【Outline and objectives】
learn advanced grammar in use

LANf200LA

フランス語３Ｉ

2017 年度以降入学者

山口　雅敏

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**1 単位**
営 2 年 A～E

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランス語の初級文法を復習しながら、簡単なフランス語の文章を読んでいく。フランス語の読解力を養うことを目的とする。

【到達目標】
フランス語の、特に読解の面に絞ってレベル・アップを図る。履修した学生は、まじめに学習していけば、フランス語の平易な文章が読めるようになるはず。そのレベルまで、フランス語の力を伸ばすことを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Hoppii で随時、お知らせするので、そちらをご覧ください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の概要の説明など
第 2 回	第１課 vous にする？　tu にする？	vous と tu の使い分けについて書かれたフランス語の文章を訳読する
第 3 回	第１課 文法の復習	所有形容詞や疑問形の復習と、練習問題
第 4 回	第２課 bise は何回？	フランス人の挨拶について書かれたフランス語の文章を訳読する
第 5 回	第２課 文法の復習	非人称構文などの復習と、練習問題
第 6 回	第３課 迷信を信じますか	迷信について書かれたフランス語の文章を訳読する
第 7 回	第３課 文法の復習	半過去などの復習と、練習問題
第 8 回	第４課 不人気なのに止められないサマータイム	サマータイムについて書かれたフランス語の文章を訳読する。
第 9 回	第４課 文法の復習	複合過去などの復習と、練習問題
第 10 回	第５課 エイプリルフールは背中に注意	エイプリルフールについて書かれたフランス語の文章を訳読する。
第 11 回	第５課 文法の復習	代名動詞などの復習と、練習問題
第 12 回	第６課 動物から学ぼう	動物について書かれたフランス語の文章を訳読する。
第 13 回	第６課 文法の復習	単純未来などの復習と、練習問題
第 14 回	全体の復習	最後のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
きちんと予習をして、授業に臨む。予習復習時間は各２時間以上を標準とする。

【テキスト（教科書）】
『読んで学ぶフランス語』久保田剛史ほか編著　朝日出版社　１９００円

【参考書】
一年次の文法テキストを参照してほしい。

【成績評価の方法と基準】
Hoppii でお知らせするので、そちらをご覧ください。

【学生の意見等からの気づき】
フランス語を機械的に学んでいくだけだと、どうしても脱落してしまう学生がいるようなので、フランス語の学習を通じて、もっとフランスの社会や文化に興味を持ってもらえるように工夫していきたい。

【Outline and objectives】
While reviewing French beginner grammar, we read simple French sentences. It aims to cultivate French reading comprehension ability.

LANf200LA

フランス語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

山口　雅敏

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**1 単位**
営 2 年 A～E

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランス語の初級文法を復習しながら、簡単なフランス語の文章を読んでいく。フランス語の読解力を養うことを目的とする。

【到達目標】
フランス語の、特に読解の面に絞ってレベル・アップを図る。履修した学生は、まじめに学習していけば、フランス語の平易な文章が読めるようになるはず。そのレベルまで、フランス語の力を伸ばすことを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
毎回、フランス語の文章を発音、訳読してもらう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第７課 ロボットはどこまで進化するか	ロボットについて書かれたフランス語の文章を訳読する
第 2 回	第７課 文法の復習	前未来などの復習と、練習問題
第 3 回	第８課 君もフランコフォニーの一員	フランコフォニーについて書かれたフランス語の文章を訳読する
第 4 回	第８課 文法の復習	受動態などの復習と、練習問題
第 5 回	第９課 左利きにも優しい社会	左利きについて書かれたフランス語の文章を訳読する
第 6 回	第９課 文法の復習	条件法現在などの復習と、練習問題
第 7 回	第１０課 食品ロスを解決するには	食品ロスについて書かれたフランス語の文章を訳読する
第 8 回	第１０課 文法の復習	疑問形容詞などの復習と、練習問題
第 9 回	第１１課 簿記を学んだフランス王	フランス王について書かれたフランス語の文章を訳読する
第 10 回	第１１課 文法の復習	大過去などの復習と、練習問題
第 11 回	第１２課 熊は友達	熊について書かれたフランス語の文章を訳読する
第 12 回	第１２課 文法の復習	強調構文などの復習と、練習問題
第 13 回	第１３課 漫画が市民権を得るまで	漫画について書かれたフランス語の文章を訳読する
第 14 回	全体の復習	最後のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
きちんと予習をして授業に臨む。予習復習時間は各２時間以上を標準とする。

【テキスト（教科書）】
『読んで学ぶフランス語』久保田剛史ほか編著　朝日出版社　１９００円

【参考書】
一年次の文法テキストを参照してほしい。

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業での発表など）を５０％、学期末テストの点数を５０％とし、それぞれの点数を合算して６０点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】
フランス語を機械的に学んでいくだけだと、どうしても脱落してしまう学生がいるようなので、フランス語の学習を通じて、もっとフランスの社会や文化に興味を持ってもらえるように工夫していきたい。

【Outline and objectives】
While reviewing French beginner grammar, we read simple French sentences.　It aims to cultivate French reading comprehension ability.

LANf200LA

フランス語３Ｉ

2017 年度以降入学者

瀬戸　和子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
営 2 年 F～R

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級フランス語を学習した後、易しいテキストで、中級フランス語を学ぶ。CD, ビデオ教材を活用して、会話表現と広くフランス社会の現状を知る。

【到達目標】
初級フランス語（文法、発音、会話）を復習し、さらに中級文法項目を学ぶ。テキストの簡単な読解、聞き取り、練習問題を学習することで、広く、読み・書き・話す能力を養う。テキストは仏検３・４級にも対応しているので検定試験に挑戦してみるのもよい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
文法項目の説明を受けた後、練習問題・テキストの読解を各自で実践。予習中心。予め各自辞書で調べて置いて、わからない事を授業で補う。
今学期はオンラインでの開講になる。それに伴う各回の授業計画の変更は、学習支援システムでその都度提示する。
なお本授業の開始日は　5 月１１日とする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	ガイダンス 初級の復習（1）	アルファベ、綴り字の読み方
②	初級の復習（2）	人称代名詞と基本動詞の活用」
③	初級の復習（3）	名詞の修飾（冠詞・数詞・形容詞）
④	写真学校	受動態 希望を述べる
⑤	エッフェル塔と自由の女神	最上級 勧誘・提案の表現
⑥	ベルシー・ヴィラージュ	関係代名詞 感嘆文
⑦	１課～３課復習	仏検４級目指して（1）
⑧	ルイヴィトン美術館	疑問代名詞 不定代名詞
⑨	電話をかける	条件法 電話表現
⑩	ディジョン到着	代名動詞 自己紹介
⑪	ディジョン街散策	半過去と複合過去
⑫	4 課～7 課の復習	仏検４級目指して（2）
⑬	期末テスト	仏検４級模擬テスト
⑭	総復習とまとめ	聞き取りテスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
パリ・ブルゴーニュ　　（朝日出版））

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
期末テスト３０％、平常点７０％
出席重視、出席して授業中に毎回課題をやり提出することで、授業参加点とする。
上記記載の評価方法は通常の対面式授業の場合で、少なくとも前半はオンライン授業になるとこの基準は変更となる。
毎回の小さな課題提出５０％、レポート形式のやや大きな課題３０％、簡単な小テスト２０％、を考えている。
なお、途中から従来のクラス内授業が可能になれば、また変更となりうるが、その場合は速やかに知らせる。

【学生の意見等からの気づき】
なし

【学生が準備すべき機器他】
テキスト・ノート・仏和辞典必携のこと

【その他の重要事項】
極力、２回続けて休まない事。⑬回目の期末テストを受ける資格は、特別の事情がない限り 10 回は出席していることが望ましい。

【Outline and objectives】
After leaning elementary grammar,students will learn Intermediate French .
They will also develop an interest in French society.

LANf200LA

フランス語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

瀬戸　和子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
営 2 年 F～R

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
前期と同じ

【到達目標】
前期と同じ

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
前期と同じ

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	ガイダンス 前期の復習（！）	１課～３課
②	前期の復習（２）	4 課～7 課
③	ブルゴーニュ地方	接続法（１）
④	ボーヌへ行く	接続法（２）
⑤	ワインの試飲	現在分詞とジェロンディフ
⑥	仏検３級目指して	８課～１０課復習
⑦	ブドウ畑訪問	さまざまな副詞
⑧	ヴェズレー訪問	所有形容詞
⑨	将来の話	間接話法
⑩	再会と別れ	強調構文
⑪	仏検３級目指して（２）	１１課～１４課復習
⑫	総復習	８課～１４課
⑬	テスト	フランス語検定模擬テスト
⑭	まとめ	フランスのその他の地方

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
前期と同じ

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
前期と同じ

【学生の意見等からの気づき】
なし

【学生が準備すべき機器他】
前期と同じ

【その他の重要事項】
前期と同じ

【Outline and objectives】
Students will learn Intermediate French.
They also develop an interest in French society/

LANf200LA

フランス語３Ｉ

2017 年度以降入学者

稲垣　正久

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
営 2 年 S

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランス語の初級文法を復習しつつ、フランス語で書かれた簡単な文章を講読します。特に辞書の有効な使い方を徹底的に指導します。

【到達目標】
仏和辞典さえあれば、ある程度の文章は訳せるレベルの語学力を身に着けることを目標にします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
下記教科書をおおむね一回の授業で一課進みます。授業は５月１１日（月）に開始します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第一回	１；自己紹介する	疑問副詞、疑問形容詞
第 2 回	２；日常生活	代名動詞現在形
第 3 回	３；尋ねる	疑問代名詞
第 4 回	４；時間割	冠詞
第 5 回	５；身体、健康	定冠詞の縮約形
第 6 回	復習	綴り字の読み方
第 7 回	まとめ	第一回小テスト（予定）
第 8 回	６；計画	疑問文
第 9 回	７；家族	否定文
第 10 回	８；天候、時間	非人称構文
第 11 回	９；公共交通機関	目的語人称代名詞
第 12 回	まとめ	第二回小テスト（予定）
第 13 回	１０；ヴァカンス、観光	近接未来形、単純未来形
第 14 回	総括	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習の必要は特にありません。簡単な宿題が毎回出ます。必ずやって来てください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『フランスの今』（駿河台出版社）

【参考書】
授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】
期末試験を全体の１/２、二回の小テストをそれぞれ１/４の割合で評価を下します。

【学生の意見等からの気づき】
毎回指摘しているが、「気づき」という日本語は正確とは言えないし、何よりも美しくないと思います。せめて「気づいたこと」とすべきだと強く訴えます。

【学生が準備すべき機器他】
仏和辞典は毎回必ず持参してください。

【Outline and objectives】
review of basic grammar, lecture of simple texts and how to use the dictionary

LANf200LA

フランス語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

稲垣　正久

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
営 2 年 S

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランス語３Ⅰに準じます。

【到達目標】
フランス語３Ⅰに準じます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
フランス語３Ⅰに準じます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	復習１	春学期の復習
第 2 回	１１；美食、料理	近接過去形、半過去形、複合過去形
第 3 回	１２；出来事を語る	代名動詞過去形
第 4 回	１３；都会と田舎	強調構文、ジェロンディフ
第 5 回	１４；比較する	比較級
第 6 回	１５；スポーツ、勉強	第上級
第 7 回	まとめ	第１回小テスト（予定）
第 8 回	１６；方向	前置詞
第 9 回	１７；数量	数量の副詞、形容詞
第 10 回	１８；食品	中性代名詞（１）
第 11 回	１９；郵便局、銀行	中性代名詞（２）
第 12 回	まとめ	第二回小テスト（予定）
第 13 回	２０；文学、詩	関係代名詞
第 14 回	総括	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習の必要は特にありません。簡単な宿題が毎回出ます。必ずやって来てください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
フランス語３Ⅰに準じます。

【参考書】
フランス語３Ⅰに準じます。

【成績評価の方法と基準】
フランス語３Ⅰに準じます。

【学生の意見等からの気づき】
フランス語３Ⅰに準じます。

【Outline and objectives】
review of bsic grammar, lecture of simple texts and how to usu the dictionary

LANf200LA

フランス語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

近江屋　志穂

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランス語を一年程度学習した経験があり、さらに高度なフランス語力を身につける意欲をもつ学生を対象とします。モティベーションが高い学習者向けです。
これまで習得した文法の知識を確認しながら総合的なフランス語能力を向上させることを目的とします。

【到達目標】
・フランス語の文章を読めるようになること。
・初級文法の知識を固めること。
・フランス語を正しく発音できるようになること。。
・実用フランス語技能検定試験（仏検）３～４級レベル、DELF A1～A2 レベルに到達すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
重要：授業開始は 4 月 22 日です。第 1 回の課題や教材については学習支援システム上で指示します。

テキストの各課は、単語と発音、文法と例文、文法問題、作文、聞取り問題、で構成されています。これらの課題をこなし、長文の訳読と音読を行います。その後長文の一部を暗記する練習を行います。
また、定期的に単語と動詞活用の小テストを課します（教室授業が可能になった場合）。
進度は授業計画に記載した通りですが、受講者の習熟度を見ながら調整します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	・授業概要説明 ・遠隔授業用教材配信
2	遠隔授業用教材	・答え合わせ、解説
3	Leçon 1 Lundi matin	・er 動詞 ・読解
4	Leçon 2 Lundi après-midi	・時刻の表現 ・読解
5	Leçon 3 Lundi soir	・aller, venir, quelque chose, rien ・読解
6	Leçon 3 Lundi soir	・複合過去、半過去 ・読解
7	Leçon 4 Mardi matin	・à, de, 時を表す接続詞 ・読解
8	Leçon 4 Mardi matin	・条件法現在 ・読解
9	Leçon 5 Mardi après-midi	・en, dans, avec ・読解
10	Leçon 5 Mardi après-midi	・中性代名詞 ・読解
11	Leçon 6 Mardi en fin d'après-midi	・単純未来 ・読解

12	Leçon 6 Mardi en fin d'après-midi	・非人称表現 ・読解
13	Leçon 7 Mardi soir	・大過去 ・読解
14	期末テスト	音読・筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業を聞いているだけでは高度なフランス語力は身につきません。そのため予習・復習（宿題として指示します）を怠らないようにしてください。
インテンシブの授業ですので、宿題を行っていることを前提としますが、どうしても勉強する時間がないときでも、教科書で学んだ文章の音声を聞き、発音練習をするようにしてください。
本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『ル・コリエ』小川・メルメ・フロランス／久松健一著、朝日出版社、2017 年、2100 円（＋税）

【参考書】
文法参考書・単語集（希望者には授業内に指示します）

【成績評価の方法と基準】
平常点 50 %、期末試験 50 %（教室授業が可能になった場合）

【学生の意見等からの気づき】
特にありません。

【学生が準備すべき機器他】
仏和辞書

【その他の重要事項】
遠隔授業の実施に伴う、授業計画や成績評価基準の変更については、学習支援システム上で通知します。

【Outline and objectives】
Intensive French course; developping the skills of listening, speaking, reading, and writing French in a cultural context.

LANf200LA

フランス語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

近江屋　志穂

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランス語を一年程度学習した経験があり、さらに高度なフランス語力を身につける意欲をもつ学生を対象とします。モティベーションが高い学習者向けです。
これまで習得した文法の知識を確認しながら総合的なフランス語能力を向上させることを目的とします。

【到達目標】
・フランス語の文章を読めるようになること。
・初級文法の知識を固めること。
・フランス語を正しく発音できるようになること。。
・実用フランス語技能検定試験（仏検）３～４級レベル、DELF A1～A2 レベルに到達すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
テキストの各課は、単語と発音、文法と例文、文法問題、作文、聞取り問題、で構成されています。これらの課題をこなし、長文の訳読と音読を行います。その後長文の一部を暗記する練習を行います。
また、定期的に単語と動詞活用の小テストを課します。
進度は授業計画に記載した通りですが、受講者の習熟度を見ながら調整します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Leçon 8 Pendant ce temps	・si の構文、強調構文 ・読解
2	Leçon 8 Pendant ce temps	・接続法 ・読解
3	Leçon 9 Mardi tard dans la nuit	・否定に関する注意、副詞 ・読解
4	Leçon 9 Mardi tard dans la nuit	・受動態、受動態のニュアンスを帯びる表現 ・読解
5	Leçon 10 Mercredi matin	・指示代名詞、不定代名詞 ・読解
6	Leçon 10 Mercredi matin	・直説法と接続法 ・読解
7	Leçon 11 Mercredi en fin d'après-midi	・使役動詞、ジェロンディフ ・読解
8	Leçon 11 Mercredi en fin d'après-midi	・代名動詞 ・読解
9	Leçon 12 Mercredi dans la soirée	・関係代名詞 qui, que ・読解
10	Leçon 13 Explications	・等位接続詞と従位接続詞 ・読解
11	Leçon 13 Explications	・話法（時制照応） ・読解
12	Leçon 14 Madame d'Arlay	・主語・動詞の倒置と挿入 ・読解
13	Leçon 15 Dénouement	・６つの文型 ・読解

14	期末テスト	音読・筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業に出席するだけでは高度なフランス語力は身につきません。そのため予習・復習（宿題として指示します）を怠らないようにしてください。
インテンシブの授業ですので、宿題を行っていることを前提としますが、どうしても勉強する時間がないときでも、教科書で学んだ文章の音声を聞き、発音練習をするようにしてください。
本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『ル・コリエ』小川・メルメ・フロランス／久松健一著、朝日出版社、2017 年、2100 円（+ 税）

【参考書】
文法参考書・単語集（希望者には授業内に指示します）

【成績評価の方法と基準】
平常点 50 %、期末試験 50 %

【学生の意見等からの気づき】
特にありません。

【学生が準備すべき機器他】
仏和辞書

【Outline and objectives】
Intensive French course; developping the skills of listening, speaking, reading, and writing French in a cultural context.

LANf200LA

フランス語４Ｉ

2017 年度以降入学者

岡村　民夫

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
言語と文化は切り離せないものである。本授業の目的は、フランスとフランス語圏の社会と文化についての文章を読み、翻訳することにより、基礎文法を復習し、語彙を増やし、表現力を高めることである。

【到達目標】
フランス時事についての文章を読み、関連する簡単な会話ができるようになること。フランス語検定 3 級レベル程度に達成することを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期初回授業日： 4 月 21 日。毎授業、フランス文化や社会の側面が紹介された文章を読む。意味を確認し、音読をする。多くの練習問題や短い会話練習をする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	フランス語文法の復習（1）	・シラバスの説明 ・1 年生の文法を復習
第 2 回	フランス語文法の復習（2）	・1 年生の文法を復習
第 3 回	モン=サン・ミシェル世紀の大潮（1）	本文読解 複合過去（1） 音読
第 4 回	モン=サン・ミシェル世紀の大潮　（2）	本文読解 複合過去（2） 会話
第 5 回	チュニジアの過去と現在（1）	本文読解 半過去と複合過去（1） 音読
第 6 回	チュニジアの過去と現在　（2）	本文読解 半過去と複合過去（2） 会話
第 7 回	レッドブル税　（1）	本文読解 大過去と複合過去（1） 音読
第 8 回	レッドブル税　（2）	本文読解 大過去と複合過去（2） 会話
第 9 回	サロン・デュ・ショコラ（1）	本文読解 単純未来、近未来、前未来（1） 音読
第 10 回	サロン・デュ・ショコラ（2）	本文読解 単純未来、近未来、前未来（2） 会話
第 11 回	エッフェル塔の著作権（1）	本文読解 条件法現在（1） 音読

第 12 回	エッフェル塔の著作権（2）	本文読解 条件法現在（2） 会話
第 13 回	ワーテルローの戦い 200 周年（1）	本文読解 条件法過去（1） 音読
第 14 回	ワーテルローの戦い 200 周年（2）	本文読解 条件法過去（2） 会話

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
事前に文章を読み、単語を辞書で調べる。音読する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『アンフォ　vol. 5』、井上　美穂 著, Florence Yoko SUDRE 著、ISBN978-4-411-01353-8 C1085

【参考書】
プチ・ロワイヤル仏和辞典
電子辞書

【成績評価の方法と基準】
ただし春学期の少なくとも前半がオンライン開講になったことに伴い、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、学習支援システムで受講者に通知する。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【Outline and objectives】
This class aims to improve the student's reading abilities as well as increase French vocabulary. The student will be asked to read and translate texts about French culture. There will also be ample time to review grammar points learned in previous classes.

LANf200LA

フランス語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

岡村　民夫

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
言語と文化は切り離せないものである。本授業の目的は、フランスとフランス語圏の社会と文化についての文章を読み、翻訳することにより、基礎文法を復習し、語彙を増やし、表現力を高めることである。

【到達目標】
フランス時事についての文章を読み、関連する簡単な会話ができるようになること。フランス語検定 3 級レベル程度に達成することを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
毎授業、フランス文化や社会の側面が紹介された文章を読む。意味を確認し、音読をする。多くの練習問題や短い会話練習をする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ラグビーと国籍 (1)	本文読解 音読 中性代名詞 en と人称代名詞 le, la, les（1）
第 2 回	ラグビーと国籍 (2)	本文読解 中性代名詞 en と人称代名詞 le, la, les　（2） 会話
第 3 回	ルーブル美術館を走る？ (1)	本文読解 音読 関係代名詞 qui, que, dont. où（1）
第 4 回	ルーブル美術館を走る？ (2)	本文読解 関係代名詞 qui, que, dont. où 会話
第 5 回	観光の女王フランス (1)	本文読解 音読 前置詞＋ lequel, 前置詞＋ qui（1）
第 6 回	観光の女王フランス (2)	本文読解 前置詞＋ lequel, 前置詞＋ qui（2） 会話
第 7 回	ブレグジットとは？ (1)	本文読解 音読 間接話法（1）
第 8 回	ブレグジットとは？ (2)	本文読解 間接話法（2） 会話
第 9 回	ニースのテロ事件 (1)	本文読解 音読 間接話法（3）

第 10 回	ニースのテロ事件 (2)	本文読解 間接話法（4） 会話
第 11 回	フランスの家族と出生率 (1)	本文読解 音読 接続法と直説法、接続法の現在と過去（1）
第 12 回	フランスの家族と出生率 (2)	本文読解 接続法と直説法、接続法の現在と過去 会話
第 13 回	復習と会話	質問に答える
第 14 回	復習と会話	質問に答える

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
事前に文章を読み、単語を辞書で調べる。音読する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『アンフォ　vol. 5』、井上　美穂 著, Florence Yoko SUDRE 著、ISBN978-4-411-01353-8 C1085

【参考書】
プチ・ロワイヤル仏和辞典
電子辞書

【成績評価の方法と基準】
平常点　（30 %）
宿題　（20 %）
期末試験　（50 %）

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【Outline and objectives】
This class aims to improve the student's reading abilities as well as increase French vocabulary. The student will be asked to read and translate texts about French culture. There will also be ample time to review grammar points learned in previous classes.

LANf200LA

フランス語４Ｉ

2017 年度以降入学者

鈴木　正道

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、2 年生以上の学生を対象とします。1 年生の時に学んだ事項を復習しつつ、学びきれなかった重要項目（単純未来など）を学びつつ、４技能を身に着けることを目指します。

【到達目標】
1 年生で学んだ知識を定着させ、さらにまだ学んでいない基本事項を勉強して、フランス語の基本的な運用能力を身に付けます。
フランス語の検定試験 4 級以上、CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）で A1 以上の力を身に付けることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書は『クロワッサン 2』とあるように、『クロワッサン』という教科書の続編となっていて、2 年生から始めるのに都合よくできています。新しく学ぶ事項、あまり定着していない事項を対話文や文法のまとめを通して学びます。さらに話したり書いたりする練習問題を行います。時々プリントの補助問題を配ります。
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日は４月 23 日とします。この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムでお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	授業の説明 第 1 課その 1 「君の名は？」	動詞の現在形と複合過去の復習：対話と文法の復習
2	第 1 課その２ 主語の書き換えと作文	動詞の現在形と複合過去の復習：練習問題
3	第 2 課その１ 「彼女を紹介しましょう」	直接目的語と間接目的語、強勢形：対話と文法
4	第 2 課その２ 代名詞への書き換えと作文	直接目的語と間接目的語、強勢形：練習問題
5	第 3 課その１ 「私は６時半に起きます」	代名動詞の現在形と複合過去形：対話と文法
6	第 3 課その 2 主語の書き換えと作文	代名動詞の現在形と複合過去形：練習問題
7	第 4 課その１ 「1 台貸してあげるよ」	中性代名詞と指示代名詞：対話と文法
8	第 4 課その 2 受け答えと指示代名詞	中性代名詞と指示代名詞：練習問題
9	第 5 課その１ 「休み中何するの？」	単純未来と前未来（未来完了）：
10	第 5 課その 2 主語の書き換えと作文	単純未来と前未来：練習問題

11	第 6 課 「日本マニアのフランス人」	読みの練習 1
12	文法補足 1-1	現在分詞と gérondif
13	授業内試験 文法補足 1-2	授業内試験 過去分詞と受動態
14	試験の復習 文法補足 1-3	試験の復習 所有代名詞

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習として、HP から音声を得て聞いておいてください。また対話文や分法の例文の知らない単語や表現を調べておいてください。さらに教科書および補充プリントの練習問題をやっておいてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『クロワッサン 2 －もっと知りたいフランス語 Croissant 2』（『クロワッサン 1 』を買わないように）、松村博史、バンドロム・エディ著、朝日出版社
補充の文法練習もしくは読解のプリントを配ります。

【参考書】
『かんたんフランス文法小辞典』鈴木豊、久富健　著、朝日出版社

【成績評価の方法と基準】
授業にどれだけ積極的に参加したか（問いへの答え、発話、質問、提出物など）が平常点になります。（15 %）
音読の小テストを時々行います。（15 %）
また期末試験を行います（70 %）
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も 変更します。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示します。

【学生の意見等からの気づき】
1 年生の時に学ばなかった事項がかなり残っていたのでそれを中心に学べるようにします。

【学生が準備すべき機器他】
1 年生の時に使った文法の本、もしくは上に挙げた文法の参考書を持ってきてください。

【Outline and objectives】
This course is designed for students who have studied French for at least one year. Reviewing what they have already learned, they will get new knowledge (among others future tense) in order to enhance their abilities in reading, speaking, listening and writing.

LANf200LA

フランス語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

鈴木　正道

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、2 年生以上の学生を対象とします。春学期のフランス語４Ⅰを引き継いで 1 年生の時に学んだ事項を復習しつつ、学びきれなかった重要項目（半過去、条件法、接続法など）を学びつつ、4 技能を身に着けることを目指します。

【到達目標】
1 年生で学んだ知識を定着させ、さらにまだ学んでいない基本事項を勉強して、フランス語の基本的な運用能力を身に付けます。
フランス語の検定試験 4 級以上、CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）で A1 以上の力を身に付けることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期に続いて、新しく学ぶ事項、あまり定着していない事項を対話文や文法のまとめを通して学びます。さらに話したり書いたりする練習問題を行います。時々プリントの補助問題を配ります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	授業の説明 第 7 課その 1 「祖父母のところへ行ったものでした」	複合過去と半過去、大過去
2	第 7 課その２ 主語の書き換えと作文 「なんのスポーツをしていましたか」	複合過去と半過去、大過去練習問題 活動にかんする表現
3	第 8 課その１ 「成功したかったら、真剣に勉強しなくではだめだよ」	時、理由、条件を表す接続詞
4	第 8 課その 2 接続詞を使った練習	時、理由、条件を表す接続詞 練習問題
5	第 9 課その 1 「私があなただったらティラミスを食べてみるわよ」	条件法現在、条件法過去
6	第 9 課その 1 条件法を使った練習	条件法現在、条件法過去 練習問題
7	第 10 課その 1 「パリが一望できる場所よ」	関係代名詞、協調構文
8	第 10 課その 2 関係代名詞を使った練習 強調構文への書き換え	関係代名詞、強調構文 練習問題
9	第 11 課その 1 「僕になにをしてほしいんだい？」	接続法現在、接続法過去
10	第 11 課その 2 主語の書き換えと作文	接続法現在、接続法過去 練習問題

11	第 12 課 『ワッフルとムール貝 ポテトの国へ』	読みの練習 動詞や関係詞の練習
12	文法補足 2-1	話法と時制の一致
13	授業内試験 分法補足 2-2	授業内試験 疑問文や命令文の間接話法
14	試験の復習 分法補足 2-3	試験の復習 単純過去

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習として、HP から音声を得て聞いておいてください。また対話文や分法の例文の知らない単語や表現を調べておいてください。さらに練習問題をやっておいてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
春学期で用いた教科書を引き続き使います：
『クロワッサン 2 －もっと知りたいフランス語 Croissant 2』（『クロワッサン 1 』を買わないように）、松村博史、バンドロム・エディ著、朝日出版社
補充の文法練習もしくは読解のプリントを配ります。

【参考書】
『かんたんフランス文法小辞典』鈴木豊、久富健　著、朝日出版社

【成績評価の方法と基準】
授業にどれだけ積極的に参加したか（問いへの答え、発話、質問、提出物など）が平常点になります。（15 %）
音読の小テストを時々行います。（15 %）
また期末試験を行います（70 %）

【学生の意見等からの気づき】
1 年生の時に学ばなかった事項がかなり残っていたのでそれを中心に学べるようにします。

【学生が準備すべき機器他】
1 年生の時に使った文法の本、もしくは上に挙げた文法の参考書を持ってきてください。

【Outline and objectives】
This course is designed for students who have studied French for at least one year. It is the continuation of the French 4 I (spring semester). Reviewing what they have already learned, they will get new knowledge (imparfait, conditionnel, subjonctif etc.) in order to enhance their abilities in reading, speaking, listening and writing.

LANf200LA

フランス語５Ｉ

2017 年度以降入学者

村松　マリ　エマニュエル

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
既に基礎が学んだがまだ初級レベルにある学生として、フランス語学習の土台を固める。特に発音やコミュニケーションに重点を置く。

【到達目標】
フランス旅行で使えるフランス語を習得する。仏検 4 級をレベルへの早期の到達を目指す。
You will be able to converse in french during a travel, to talk about your program, your visit and tell your impressions. You will be qualified to pass the test of aptitude in french, level 4.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業開始は 5 月 1 日（金）からです。
教科書を使わず、プリント、ヴィデオなどを使う。会話のモデルを練習してから、学生同士で応用練習をする。
You will learn a model of conversation and practice with the other students.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
回 1	ガイダンス・自己紹介 Guidance - Introducing yourself	授業の説明・名前、学部などを言う Description of the class, self presentation of teacher and students
回 2	住んでいるところについて話す Talking about your house	一軒家かマンジョン、一人暮らしか家族と暮らしているかなど How is your house ? Are you living alone ?
回 3	家族 Family	自分の両親や兄弟について話す Talking about your parents and brothers and sisters
回 4	自分の家の中 Inside your house	部屋の名前を言う・そこで何をするかを言う・家具の名前 Naming the different rooms and the furnitures
回 5	自分が住んでいる地域 Your town	家の周りについて話す：店、駅など Talking about the shops,parcs, etc near your house
回 6	買い物 At a bakery	パン屋などで買い物する Buying bread or sandwich
回 7	カフェで At a coffeeshop	カフェで飲み物や軽食を注文する Ordering drink and light food
回 8	中間テスト Test	会話のテスト：カードに書いたる質問するを読んで答える。 Oral test
回 9	時間 Time	時間の言い方：正確な時間と簡単な言い方・時差 Telling the time - Summer time and winter time

回 10	時間を尋ねる Asking the hour	何時から、あと何分などの言い方 At what time ? Until what time ?
回 11	ショッピング Shopping	要服の名前、色、サイズの良い方 The name and the colors of the clothes
回 12	予定、計画 Telling your program	曜日、日付を使って、予定を言う・夏休みの計画 Telling the day - Your program for summer vacations
回 13	アドバイス Advise	試験の前のアドバスと注意 Advises before test
回 14	期末テスト Test	会話の試験　Oral test　試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書を使わず、プリントを配る。
Print

【参考書】
特になし
Nothing

【成績評価の方法と基準】
平常点 60 %+期末テスト 40 %
Average in the class 60 %+ Oral test40 %

【学生の意見等からの気づき】
特になし
Nothing

【学生が準備すべき機器他】
特にありません
Nothing

【その他の重要事項】
必要に応じて上記のプログラムを少し変えることがある
授業中、会話のテーマに合わせて、フランスの社会や文化を知るための話をすることがある。

【Outline and objectives】
You are not a complete beginner but you want to speak french. This class is a conversation class. You will do exercise for hearing, speaking and learning.

LANf200LA

フランス語５Ⅱ

2017 年度以降入学者

村松　マリ　エマニュエル

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春期に続いて、オーラル・コミュニケーションに重点を置いて、日常の生活の中でよくする話を練習する。

【到達目標】
フランス旅行で使えるフランス語を習得する。仏検 4 級をレベルへの早期の到達を目指す。
You will be able to converse in french during a travel, to talk about your program, your visit and tell your impressions. You will be qualified to pass the test of aptitude in french, level 4.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書を使わず、プリント、ヴィデオなどを使う。会話のモデルを練習してから、学生同士で応用練習をする。
You will learn a model of conversation and practice with the other students.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
回 1	春期の復讐 Revisions	クイズで春に習ったことを思い出してみる Quiz to revise the things learned in spring
回 2	夏休みの感想 Summer holidays	終わってしまった夏休みについて話す Talking what you have done during summer holidays
回 3	習慣 Customs	カマンベールの選び方 How find a good camembert ?
回 4	禁止する。 Not permitted, not allowed things.	フランスの社会のルールいろいろ Quiz about the social rules in France
回 5	食生活 Food	伝統的な食生活と変化していく食生活・ベジタリアン Traditional food - Vegetarian
回 6	環境保護 Ecology	ゴミの分別について話す Talking about rubbish and recycling
回 7	中間テスト Test	会話のテスト Oral test
回 8	日本の祭り Japanese festivals	一年を通しての祭をフランス語で説明する Presenting some Japanese festivals
回 9	子供の頃の話 Childhood	子供の頃を思い出して、他の学生と比較する。 Co;paring your childhood with the other students

回 10	フランス独特の表現 French idioms	よく聞く表現の比喩的な意味の謎なぞをとく Guess the sens of french figurative expressions.
回 11	家事 Housework	家事の名前、道具、負担 Talking about the different houseworks
回 12	映画の予告編 Trailer of a french film	フランス映画の予告編を見て、いろんな質問い答える Answering to questions about a french film
回 13	映画を見る Looking at a french film	フランスの映画を見る Looking at a french film
回 14	期末テスト Test	会話のテスト Oral test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書を使わず、プリントを配るか映像を見る。
Print or video

【参考書】
特になし
Nothing

【成績評価の方法と基準】
平常点 60 %+期末テスト 40 %
Average in the class 60 %+ Oral test40 %

【学生の意見等からの気づき】
特になし
Nothing

【学生が準備すべき機器他】
特になし
Nothing

【その他の重要事項】
必要に応じて上記のプログラムを少し変えることがある

【Outline and objectives】
It is a class of oral communication following the class "French 2 I". You will learn in daily situations.

LANf200LA

フランス語４Ｉ

2017 年度以降入学者

中村　美緒

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
やさしい文章で書かれたフランス語を講読しながら、「日本のことをフランス語で伝えられる」ようになるための初級文法を終えた学生向けの授業です。

【到達目標】
簡単なフランス語を正しい発音で読み・話すことができるようになること。フランス語検定 4 級から 3 級のレベルを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
2 回の授業で 1 課ずつ進みます。音読練習・文の構造説明と日本語訳を Zoom を使った発表形式で行ったあと、内容理解の確認と課のテーマについて意見を話し合う時間があります。ネット検索や下調べをして授業に臨んでください。さらにプレゼン形式で章ごとのテーマに沿った発表をします。7 回目ごとの授業では、初めて読むフランス語文を、正しく発音できるか？ 辞書を使って素早く訳せるか？ 日本のことを簡潔なフランス語で紹介できるかを試します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	日本人	非人称構文
2 回目	日本人	強調構文
3 回目	日本料理は洗練の極致	感嘆文
4 回目	日本料理は洗練の極致	形容詞の一致
5 回目	日本映画	指示代名詞
6 回目	日本映画	過去分詞
7 回目	キーワードによる短い表現	短い文で日本のことを紹介する表現 1
8 回目	相撲	前置詞 en を使った表現
9 回目	相撲	même si / si
10 回目	ユニークなことば、日本語	une fois / tellement … que
11 回目	ユニークなことば、日本語	動詞 manquer / servir
12 回目	魅了する都市、東京	「もの」を主語にした表現
13 回目	魅了する都市、東京	割合の表現
14 回目	キーワードによる短い表現	短い文で日本のことを紹介する表現 2

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。文の構造と単語の意味を調べて発表できるように準備しておきましょう。各章のテーマに関連したプレゼンを PPT と Word で作成してみましょう。

【テキスト（教科書）】
「ドラの見た日本」ドラ・トーザン著（朝日出版社）

【参考書】
特にありません。

【成績評価の方法と基準】
授業中の発言とプレゼンで総合的に評価します。授業に積極的に参加することが成績につながります。

【学生の意見等からの気づき】
日本語訳はまとめて Hoppii に掲載します。

【学生が準備すべき機器他】
仏和の辞書が必要です。

【その他の重要事項】
中学教諭一種免許（フランス語）、高等学校教諭一種免許（フランス語）
明治大学付属明治高等学校兼任講師（1997 年 4 月 1 日～2000 年 3 月 31 日　初めてフランス語を学ぶ高校生のための入門の授業を担当）
白百合学園中学高等学校兼任講師（2019 年 4 月 1 日～　フランス語科の高２文法・高３作文と受験文法を担当）

【Outline and objectives】
This is a French text reading class to help you to convey actual Japan in French with easy sentences. We are targeted for students who have completed elementary grammar.

LANf200LA

フランス語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

中村　美緒

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
やさしい文章で書かれたフランス語を講読しながら、「日本のことをフランス語で伝えられる」ようになるための初級文法を終えた学生向けの授業です。

【到達目標】
簡単なフランス語を正しい発音で読み・話すことができるようになること。フランス語検定 4 級から 3 級のレベルを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
2 回の授業で 1 課ずつ進みます。音読練習・文の構造説明と日本語訳を Zoom を使った発表形式で行ったあと、内容理解の確認と課のテーマについて意見を話し合う時間があります。ネット検索や下調べをして授業に臨んでください。さらにプレゼン形式で章ごとのテーマに沿った発表をします。7 回目ごとの授業では、初めて読むフランス語文を、正しく発音できるか？ 辞書を使って素早く訳せるか？ 日本のことを簡潔なフランス語で紹介できるかを試します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	日本の政治	受動態
2 回目	日本の政治	代名動詞
3 回目	日本の芸術	C’est … que / Il s’agit de
4 回目	日本の芸術	現在分詞
5 回目	宗教と迷信	過去分詞
6 回目	宗教と迷信	avant de
7 回目	キーワードによる短い表現	短い文で日本のことを紹介する表現３
8 回目	お風呂の習慣	譲歩の表現・接続法
9 回目	お風呂の習慣	ジェロンディフ
10 回目	日本の外国人	なぜ？ ～だから
11 回目	日本の外国人	半過去と複合過去
12 回目	一年は四季とともに	quoi que
13 回目	一年は四季とともに	主語 on
14 回目	キーワードによる短い表現	短い文で日本のことを紹介する表現４

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。文の構造と単語の意味を調べて発表できるように準備しておきましょう。各章のテーマに関連したプレゼンを PPT と Word で作成してみましょう。

【テキスト（教科書）】
「ドラの見た日本」ドラ・トーザン著（朝日出版社）

【参考書】
特にありません。

【成績評価の方法と基準】
授業中の発言とプレゼンで総合的に評価します。授業に積極的に参加することが成績につながります。

【学生の意見等からの気づき】
日本語訳はまとめて Hoppii に掲載します。

【学生が準備すべき機器他】
仏和の辞書が必要です。

【その他の重要事項】
中学教諭一種免許（フランス語）、高等学校教諭一種免許（フランス語）
明治大学付属明治高等学校兼任講師（1997 年 4 月 1 日～2000 年 3 月 31 日　初めてフランス語を学ぶ高校生のための入門の授業を担当）
白百合学園中学高等学校兼任講師（2019 年 4 月 1 日～　フランス語科の高２文法・高３作文と受験文法を担当）

【Outline and objectives】
This is a French text reading class to help you to convey actual Japan in French with easy sentences. We are targeted for students who have completed elementary grammar.

LANf200LA

フランス語（3）Ⅰ

2017 年度以降入学者

瀬戸　和子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年 Y

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級フランス語を学習した後で、易しく書かれた時事問題のテキストを使って読解力を養うとともに、広くフランス社会・世界への関心を培う。

【到達目標】
初級フランス語の総復習を踏まえて、さらに未習の文法項目を学び、中級フランス語としての読解力、表現力の養成を目指す。またのテキストのフランス語をきちんと音読できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】
毎回、異なる様々なトピックを辞書を使って訳す。読解が中心だが、「読む」だけでなく、「書く、聞く、話す」の総合力を養う為、余力あれば各課の練習問題にも時間をかける。なお訳出力だけでなく、テキストの音読がきちんと出来る様にする。
なお、オンライン授業の開講となる為、各回の授業計画の変更を学習支援システムで指示する。
なお本授業の開始日は 5 月 11 日とする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	ガイダンス 初級復習（1）	アルファベ、つづり字の読み方 数詞
②	初級復習 (2)	1 年次使用のテキストで未学習の文法項目、（接続法）
③	フランスの標語	強調構文
④	フランスの観光	中性代名詞
⑤	フランスの労働問題	条件法
⑥	自由の女神	過去・現在分詞
⑦	人種差別	複合過去・半過去
⑧	東京オリンピック	関係代名詞
⑨	ショパンとフランス	中性代名詞（2）
⑩	新しい綴り字	代名動詞
⑪	同性愛好者の権利	指示代名詞
⑫	パリのノートルダム	受動態
⑬	期末テスト	新たなテキストの訳出問題と今までの各課の内容理解問題
⑭	まとめ	総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
必ず、指摘された範囲の仏文を予め、辞書を引いて、日本語の訳文にしておくこと。単語調べだけでは、不十分！ その為、、授業用のノート、単語帳（ノートに含めてもよい）を用意すること。この授業は予習重視です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
時事フランス語 (ア・ラ・パージュ）２０２０年版（朝日出版）

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
期末テスト４０％（訳出力２０％、内容理解力２０％）、平常点６０％（毎回の授業参加度と音読力）
上記記載の評価方法は通常の対面式授業の場合で、少なくとも前半はオンライン授業になるとこの基準は変更となる。
毎回の小さな課題提出５０％、レポート形式のやや大きな課題３０％、簡単な小テスト２０％、を考えている。
なお、途中から従来のクラス内授業が可能になれば、また変更となりうるが、その場合は速やかに知らせる。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
特にない

【その他の重要事項】
特になし

【Outline and objectives】
After learning elementary grammar,using an easy textbook on current French issues, students will gain an understanding of the content.They will also develop an interest in French society and the world.

LANf200LA

フランス語（３）Ⅱ

2017 年度以降入学者

瀬戸　和子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年 Y

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級フランス語を学習した後で、易しく書かれた時事問題のテキストを使って読解力を養う。同時に広くフランス社会・世界への関心を培う

【到達目標】
初級フランス語の総復習を踏まえて、さらに未習の文法項目を学び、中級フランス語としての読解力・表現力の養成を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】
前期と同じ 。ただし、クラスの人数と初級フランス語の達成度の個人差を考慮。前期テキストの半分を学習する予定だが、範囲が残れば、後期はそこから始める。また進度を早くしても問題ないとなれば、後期の範囲を前期に組み込み、テキストを終了したら別の時事問題をコピーで用意する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	ガイダンス 前期の復習（１）	テキスト１課～５課
②	前期の復習（２）	テキスト６課～10 課
③	外国語の学習	条件法
④	印象派	受動態
⑤	国際結婚	非人称構文
⑥	カンヌ映画祭	中性代名詞
⑦	フランスの有名シェフ	現在分詞
⑧	白衣の天使	前置詞
⑨	最も美しい村	複文構造
⑩	空飛ぶタクシー	接続法
⑪	フランスの女優	関係代名詞
⑫	ヨーロッパ文化遺産の日	ジェロンディフ
⑬	期末テスト	訳出力と内容理解力　文法理解度
⑭	まとめと総復習	テストの解答とコメント

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
前期と同じ。予習重視。必ず自分で辞書を引いて単語を調べ、日本語の文章に訳したものをノートに予め書いて授業にのぞむこと。わからないところ、訳せないところを事前に明確にしておいて、授業の中で学習、間違った訳もなおしていく。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
前期に同じ　（時事フランス語　２０１９年度版ー朝日出版）

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
前期に同じ。期末テスト５０％（訳出力３５％、内容理解力１５％）平常点（授業内、予習と発表、音読力）

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【その他の重要事項】
特になし

【Outline and objectives】
After learning elementary grammar, using an easy textbook on current French issues students will gain an understanding of the content.They will also develop an interest in French society and the world.

LANf200LA

フランス語７

2017 年度以降入学者

近江屋　志穂

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
国 2 年 SA

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
4 名の教員で同じテキストを使い、フランス語の総合力を強化します。秋学期からの留学を控えた学生を対象とします。この授業では主に文法を学習します。

【到達目標】
教科書『Le Nouveau Taxi 1!』で扱われている文法事項を確実に理解し運用できるようにします。
『Le Nouveau Taxi 1!』で扱われない文法事項は『フランス語トレーニングコース』を用いて学び、基礎文法全体の学習を終えるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
重要：授業開始は 4 月 23 日とします。受講方法は学習支援システムを通して指示します。
共通教科書『Le Nouveau Taxi 1!』の進度に沿い、『フランス語トレーニングコース』を用いて基礎文法を説明し、練習問題を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Unité 7 L25	中性代名詞 y, en
2	・Unité 7 L26 ・文法補足	中性代名詞 le、所有代名詞
3	Unité 7 L27	代名動詞の現在形、複合過去形
4	・Unité 7 L27 ・文法補足	疑問代名詞
5	Unité 8 L29	半過去形、大過去形
6	・Unité 8 L30 ・文法補足	受動態、指示代名詞、非人称構文
7	・Unité 8 L31 ・文法補足	現在分詞、ジェロンディフ
8	文法補足	前置詞＋関係代名詞
9	Unité 9 L33	単純未来形、前未来形
10	・Unité 9 L34 ・文法補足	条件法現在、条件法過去
11	・Unité 9 L35 ・文法補足	直接話法、間接話法
12	期末試験	・筆記試験 ・答え合わせ
13	文法補足	接続法現在・接続法過去
14	文法補足	文法強化問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業準備の時間は各回 1 時間以上を標準とします。その他に期末試験の準備が必要です（教室授業が可能になった場合）。

【テキスト（教科書）】
・『Le Nouveau Taxi 1!』, Hachette, 2009
・斎藤昌三『フランス語トレーニング・コース』、白水社、2003 年

【参考書】
特にありません。

【成績評価の方法と基準】
平常点 50 %、期末試験 50 %（教室授業が可能になった場合）

【学生の意見等からの気づき】
特に難しい文法事項に関しては説明を繰り返すようにします。

【学生が準備すべき機器他】
仏和辞書

【その他の重要事項】
遠隔授業の実施に伴う、授業計画や成績評価基準の変更については、学習支援システム上で通知します。

【Outline and objectives】
This course is designed for beginners who are learning basis French grammer.

LANf200LA

フランス語８

2017 年度以降入学者

ジョルディ・フィリップ

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
国 2 年 SA

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
基礎文法と初歩的な会話の復習・予習

【到達目標】
SA 先フランス・アンジェへ行く前の直前準備講座です。基礎文法と初歩的な会話の復習・予習を徹底し、渡仏前に留学先で困らないようしっかり最大限の準備をします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業開始日：２０２０年４月２４日（金）
前年度と同じテキストを使用し、同様の教授法で行いますが、学習速度はスピードアップし、語彙・慣用表現を増やし、自己表現に重点をおきます。LL 教室を使用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	Orientation	授業の紹介
	Unité 6	Unité 6 の応用編
	Savoir-faire	
②	Unité 7 L25	趣味、頻度、程度
③	Unité 7 L26	意見、異議
④	Unité 7 L27	休暇、趣味、助言
⑤	Unité 7 L28	フランス人のバカンス
	Savoir-faire	Unité 7 の応用編
⑥	Unité 8 L29	近接過去、過去の習慣
⑦	Unité 8 L30	過去の出来事、過去の状況
		中間テスト
⑧	Unité 8 L31	時間の表現、目的
⑨	Unité 8 L32	フランスの象徴
	Savoir-faire	Unité 8 の応用編
⑩	Unité 9 L33	天気予報、可能性
⑪	Unité 9 L34	未来、計画
⑫	Unité 9 L35	条件、意図
⑬	Unité 9 L36	未来、結果
⑭	Unité 9	Unité 9 の応用編
	Savoir-faire	最終テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
徹底的な予習と復習が不可欠（SA フランス・西部カトリック大学の Cidef プログラムの準備として）。本授業の準備・復習時間は、２時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
学生はすでに　Le Nouveau Taxi 1　を持っています。

【参考書】
「かんたんフランス文法小辞典」、鈴木豊、他、朝日出版社

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンライン開講となったことに伴い、
成績評価の方法と基準も変更する。
具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
発音や語彙についての練習をさらに強化します。

【学生が準備すべき機器他】
LL 教室ですが、録音機の持ち込みは構いません。

【none】
none

【none】
none

【none】
none

【none】
none

【none】
none

【Outline and objectives】
French for beginners (3rd part). A course focused on developing basic communication skills for students of the Study Abroad program in France.

LANf200LA

フランス語３- Ⅰ

2017 年度以降入学者

竹本　研史

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
環 2 年 G～L

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
人間環境学部 2 年 G-L 組の学生を対象にして、2 年次以降の専門科目の学習に資するような、サステイナビリティを中心とした現代フランス語圏社会の諸問題についてのフランス語圏テクストの読解演習および聴解演習、発音演習を行う。

【到達目標】
人間環境学部の学生が、各人の関心に応じたサステイナビリティ研究を行うにあたって、簡単な内容のフランス語文献や新聞、雑誌記事を利用できるフランス語読解力をつけること、ならびに簡単な内容のテレビ、ラジオ、ネット動画などを視聴できる視聴能力を身につけることが目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
【本授業は、4/27 月曜日 3 限より開始する。大学の方針により、当面は文字情報＋音声を中心とした「学習支援システム」による授業を行うが、語学の授業という性質上、受講者のネット環境次第では、ビデオ会議ツールを用いた授業を取り入れる可能性がある。】
＊学習支援システムのほか、グーグル・クラスルームも使用するので、登録しておくこと。
教室コードは、fqkszrr である。
サステイナビリティを中心とした現代フランス語圏社会の諸問題についての初歩的なフランス語テクストを読んだり、音声を聴いたりする。
指定箇所の宿題（全訳）→ 音読練習 → 学生が発表 → 教員が既習文法事項を振り返りながら、内容を含め、関連画像・映像などを交え解説。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業についての説明
第 2 回	第 1 課	「フランスの標語」
第 3 回	第 2 課	「2020 年には観光客 1 万人？」
第 4 回	第 14 課	「カンヌ映画祭」
第 5 回	第 3 課	「働き過ぎてはいけない」
第 6 回	復習（1）	第 1-3、14 課の復習
第 7 回	第 4 課	「自由の女神」
第 8 回	第 5 課	「人種差別」
第 9 回	第 7 課	「ショパンとフランス」
第 10 回	第 9 課	「同性愛の権利」
第 11 回	第 10 課	「パリのノートル=ダム大聖堂」
第 12 回	復習（2）	第 4-7、9-10 課の復習
第 13 回	期末試験（1）	筆記試験
第 14 回	期末試験（2）・まとめと解説	音読試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各課の音読と全訳を行うこと。
予習に 1 時間半から 2 時間、復習に 1 時間は必要であろう。

【テキスト（教科書）】
石井洋二郎、ミシェル・サガズ『時事フランス語： 2020 年度版』、朝日出版社、2020 年。定価： 1,900 円＋税

ISBN : 978-4-255-35313-5

【参考書】
＊ 1 年次に用いていた「フランス語 1」の教科書
＊仏和辞典

【成績評価の方法と基準】
【以下の成績評価の方法と基準は、2020 年度春学期いっぱい対面授業が再開できないことを前提に設けるものである。対面授業が再開した場合はこの限りではない。
→ 毎回の小テスト・課題（教科書の全訳含む）（60 %）＋学期末レポート（40 %）】
←「教科書の全訳［33%］＋音読試験［10%］＋筆記試験［57%］」より変更（4/16）

【学生の意見等からの気づき】
なし

【その他の重要事項】
もちろん、この「フランス語 3」の授業だけでは、フランス語の運用能力を十全に身につけることは非常に困難である。本格的にフランス語の勉強を志すのであれば、選択外国語科目や総合科目のフランス語諸科目を積極的に受講してほしい。語学は筋トレである。

【Outline and objectives】
This course introduces the foundations of the reading books and newspaper articles in French on Sustainability to students taking this course.

LANf200LA

フランス語３- Ⅱ

2017 年度以降入学者

竹本　研史

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
環 2 年 G〜L

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
人間環境学部 2 年 G-L 組の学生を対象にして、2 年次以降の専門科目の学習に資するように、現代フランス語圏社会の諸問題についてのフランス語圏テクストの読解演習および聴解演習、発音演習を行う。

【到達目標】
人間環境学部の学生が、各人の関心に応じたサステイナビリティ研究を行うにあたって、簡単な内容のフランス語文献や新聞、雑誌記事を利用できるフランス語読解力をつけること、ならびに簡単な内容のテレビ、ラジオ、ネット動画などを視聴できる視聴能力を身につけることが目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
サステイナビリティを中心とした現代フランス語圏社会の諸問題についての初歩的なフランス語テクストを読んだり、音声を聴いたりする。
指定箇所の宿題（全訳）→ 音読練習 → 学生が発表 → 教員が既習文法事項を振り返りながら、内容を含め、関連画像・映像などを交え解説。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第 11 課	「外国語の学習」
第 2 回	第 12 課	「クロード・モネ」
第 3 回	第 13 課	「混合結婚」
第 4 回	第 15 課	「2 人の偉大なシェフ」
第 5 回	復習（1）	第 10-13、15 課の復習
第 6 回	第 16 課	「白衣の天使」
第 7 回	第 17 課	「最も美しい村」
第 8 回	第 18 課	「空飛ぶタクシー」
第 9 回	復習（2）	第 16-18 課の復習
第 10 回	第 19 課	「カトリーヌ・ドヌーヴ」
第 11 回	第 20 課	「ヨーロッパ文化遺産の日」
第 12 回	復習（3）	第 19-20 課の復習
第 13 回	期末試験（1）	筆記試験
第 14 回	期末試験（2）・まとめと解説	音読試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各課の音読と全訳を行うこと
予習に 1 時間半から 2 時間、復習に 1 時間は必要であろう。

【テキスト（教科書）】
石井洋二郎、ミシェル・サガズ『時事フランス語： 2020 年度版』、朝日出版社、2020 年。定価： 1,900 円＋税
ISBN : 978-4-255-35313-5

【参考書】
＊ 1 年次に用いていた「フランス語 1」の教科書
＊仏和辞典

【成績評価の方法と基準】
教科書の全訳［36%］＋音読試験［10%］＋筆記試験［54%］

【学生の意見等からの気づき】
なし

【その他の重要事項】
もちろん、この「フランス語 3」の授業だけでは、フランス語の運用能力を十全に身につけることは非常に困難である。本格的にフランス語の勉強を志すのであれば、選択外国語科目や総合科目のフランス語諸科目を積極的に受講してほしい。語学は筋トレである。

【Outline and objectives】
This course introduces the foundations of the reading books and newspaper articles in French on Sustainability to students taking this course.

LANf200LA

フランス語３- Ⅰ

2017 年度以降入学者

柴崎　秀穂

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年 A～F

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランスの時事についての平易なエッセイを読むことを通じ、フランス語の文法、語彙、構文の理解を深めます。

【到達目標】
フランス語の基本文法の理解を完成し、辞書を引きつつ、平易な文章を読めるようになること。また、仏検３級レベルへの早期の到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それに伴う各回の授業計画の変更については、学習支援システムでそのつど提示します。本授業の開始日は４月２２日（水）とし、具体的なオンライン授業の方法などは「第一回」授業の資料に記載します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション。文法（1）。	授業の進め方。中性代名詞。
第 2 回	文法（2）。	中性代名詞。複合過去。
第 3 回	文法（3）。	複合過去。
第 4 回	文法（4）。	関係代名詞。
第 5 回	文法（5）。	関係代名詞。
第 6 回	文法（6）。	代名動詞。
第 7 回	文法（7）。	半過去。
第 8 回	文法（8）。	単純未来。
第 9 回	文法（9）。	条件法。
第 10 回	文法（１０）。	接続法。
第 11 回	講読「モン=サン=ミシェル」（1）。	テキスト第１課を読む。
第 12 回	講読「モン=サン=ミシェル」（2）、「チュニジア」（1）。	テキスト第１課、第２課を読む。
第 13 回	講読「チュニジア」（2）。	テキスト第２課を読む。
第 14 回	期末テスト。	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
指名された学生は、しっかりと準備してくること。それ以外の学生も、最低限、単語だけは調べてきてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
「アンフォ　vol.5　フランス語でニュースを読む」、駿河台出版社。

【参考書】
仏和辞典は必ず持参すること。

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことに伴い、成績評価の方法と基準も変更します。具体的な方法と基準は、「第一回」授業の資料に記載します。

【学生の意見等からの気づき】
テキストをより新しいものに代えました。

【その他の重要事項】
若いころ短期間ですが、日仏会館日本事務所に勤務していました。仕事で使うフランス語および外国語一般について、アドバイスができると思います。また、ＴＯＥＩＣのスコアも９７５点を持っていますので、英語との比較でフランス語を解説します。

【Outline and objectives】
Reading easy essays about current affairs in France, students will improve their knowledge of French grammar and vocabulary.

LANf200LA

フランス語３-Ⅱ

2017 年度以降入学者

柴崎　秀穂

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年 A～F

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランスの時事についての平易なエッセイを読むことを通じて、フランス語の文法、語彙、構文の理解を深めます。最後の数回はプリントを用い、持続可能性についてのエッセイを読みましょう。

【到達目標】
フランス語の基本文法の理解を完成し、辞書を引きつつ、平易な文章を読めるようになること。また、仏検３級レベルへの早期の到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
あらかじめ発表者を指名し、指名された学生がテキストの該当箇所を音読し、和訳します。それをもとに教師が修正・説明・和訳し、文法を再確認したり、構文を分析したりしながら、テクストを読み進めていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	講読「サロン・デュ・ショコラ」（1）。	テキスト第４課を読む。
第 2 回	講読「サロン・デュ・ショコラ」（2）、「エッフェル塔」（1）。	テキスト第４課、第５課を読む。
第 3 回	講読「エッフェル塔」（2）、「ワーテルローの戦い」（1）。	テクスト第５課、第６課を読む。
第 4 回	講読「ワーテルローの戦い」（2）。	テキスト第６課を読む。
第 5 回	講読「カレーのジャングル」。	テキスト第７課を読む。
第 6 回	講読「抗議行動」。	テキスト第９課を読む。
第 7 回	講読「ルーブル美術館」。	テキスト第１０課を読む。
第 8 回	講読「観光の女王」。	テキスト第１１課を読む。
第 9 回	講読「ニースのテロ」。	テキスト第１３課を読む。
第 10 回	講読「フランスの出生率」。	テクスト第１５課を読む。
第 11 回	講読・水について。	プリントを読む。
第 12 回	講読・都市鉱山について。	プリントを読む。
第 13 回	講読・二酸化炭素について。	プリントを読む。
第 14 回	期末テスト。	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
指名された学生は、しっかりと準備してくること。それ以外の学生も、最低限、単語だけは調べてきてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
「アンフォ　vol.5　フランス語でニュースを読む」、駿河台出版社。

【参考書】
仏和辞典は必ず持参すること。

【成績評価の方法と基準】
出席と授業中の発表 50 %、期末試験 50 %で総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
テキストをより新しいものに代えました。

【その他の重要事項】
若いころ短期間ですが、日仏会館日本事務所に勤務していました。仕事で使うフランス語および外国語一般について、アドバイスができると思います。また、ＴＯＥＩＣのスコアも９７５点を持っていますので、英語との比較でフランス語を解説します。

【Outline and objectives】
Reading easy essays about current affairs in France, students will improve their knowledge of French grammar and vocabulary.

ARSa200LA

フランス語の世界ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

廣松　勲

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は「フランス語」を介して、フランス的世界の拡がりを知ることを主たる目的とする。フランス語を話す人々の共同体や彼らの住む領域は、一般に「フランコフォニー（フランス語圏）」と呼ばれる。本授業ではそのような（フランス共和国を含めた）広い地域をも対象としつつ、各地域圏・地域・国にどのような地理・歴史的背景、言語状況、各種の文化（歴史建造物、習慣、食生活など）が存在するのかについて検討する。
「フランス的なるもの」がどのような要素で成り立っているのかを広く紹介しながら、フランス語学習の基礎作りを行うだけでなく、新たな視点から「フランス語の世界」を把握できるようにすることを目指す。
なお、春学期は主にフランス共和国本土の「地域圏」を単位として、それぞれの地域の特性について紹介・解説する。

【到達目標】
１）フランス共和国の各地域の紹介を介して、その差異と共通性の大枠を理解できる。
２）フランコフォニー（フランス語圏）の紹介を介して、フランス語の世界的拡がりについて理解できる。
３）「フランス的なるもの」が現在どのような要素によって成り立っているのかについて、簡単に説明ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
【授業開始日は、4 月 22 日（水）となります。】
授業については、主に講義形式で進める。各回において一つの地域または国の歴史・地理・文化を概説しながら、フランス語の世界の多様性・複雑性を解説する。また、講義形式に加えて、映像資料や音楽の視聴も取り入れることで、少しでも具体的に各地域・国を想像できるように授業を進める。
毎回の授業において学生にはコメントシートを提出してもらうことで、予習・復習のきっかけとしてもらう。期末レポートでは一つの地域または国について、選択したテーマから調査結果をまとめてもらうが、そのためにできるだけ参考資料の提示に努める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション：国内の歴史、県・地域圏などの成立経緯	・本授業の流れについて説明 ・フランス共和国及びフランコフォニーの地理・歴史について簡単に紹介
2	① Île-de-France	・イル＝ド＝フランス地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
3	② Bretagne	・ブルターニュ地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など

4	③ Normandie	・ノルマンディー地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
5	④ Hauts-de-France	・オー＝ド＝フランス地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
6	⑤ Grand-Est	・グラン・テスト地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
7	⑥ Pays de la Loire	・ペイ・ド・ラ・ロワール地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
8	⑦ Centre-Val de Loire	・サントル＝ヴァル・ド・ロワール地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
9	⑧ Bourgogne-Franche Conté	・ブルゴーニュ＝フランシュ・コンテ地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
10	⑨ Nouvelle-Aquitaine	・ヌーヴェル＝アキテーヌ地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
11	⑩ Auvergne-Rhône-Alpes	・オーヴェルニュ＝ローヌ・アルプ地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
12	⑪ Occitanie	・オクシタニー地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
13	⑫ Provence-Alpes-Côte d'Azur (PACA)	・プロヴァンス＝アルプ＝コート・ダジュール地域圏（PACA）に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
14	⑬ Corse まとめ	・コルス地方公共団体に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など ・春学期授業のまとめ ・秋学期授業の予告：世界のフランコフォニー

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
1）各地域圏に関する情報を、主に学術書や論文（場合によっては各地域圏サイト）を参照しつつ、予習・復習を行って欲しい。
2）映像資料については、多くの場合、授業内で全てを見ることができるわけではないため、できるだけ個人的に視聴して欲しい。
3）期末レポートの執筆に向けて、各地域圏を調べる際の「きっかけ」となる「テーマや関心領域」を早めに決定して欲しい（或る程度、自分の「テーマや関心領域」を特定しないと、レポート執筆だけでなく、その準備も難しいと思われるため。）
4）期末レポートの執筆に向けて、レポート執筆の方法・手続き・注意点（特に引用の仕方、参考文献の書き方）について確りと学習しておいて欲しい。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
・教科書は、特になし
・原則、各回において資料を配布する予定

【参考書】
Ⅰ．以下の 4 冊の参考書は、フランス共和国やフランコフォニーについて基礎知識が得られるため、簡単にでも参照するようにしてほしい。
1）剣持久木編著『よくわかるフランス近現代史』ミネルヴァ書房，2018 年．本体 2600 円＋税
2）ジャック・レヴィ編（土居佳代子訳）『地図で見るフランスハンドブック』原書房，2018 年．本体 2800 円＋税
3）ジャン＝ブノワ・ナドー，ジュリー・バーロウ著（立花英裕監修・中尾ゆかり訳）『フランス語のはなし：もうひとつの国際共通語』大修館書店，2008 年．本体 2400 円＋税
4）鳥羽美鈴著『多様性の中のフランス語：フランコフォニーについて考える』関西学院大学出版会，2012 年．本体 3400 円＋税
Ⅱ．以下の 2 冊の参考書はフランス語教科書であるが、比較的情報が充実しているため、フランス語学習者は参照してみて欲しい。
5）Fabienne Guillemin 著『Tour de France（フランス，地方を巡る旅）』駿河台出版社，2017 年．本体 1900 円＋税
6）小松祐子，Gilles Delmaire 著『Destination francophoneie: nouvelle édition（フランコフォニーへの旅：改訂版）』駿河台出版社，2019 年．本体 2300 円＋税

【成績評価の方法と基準】
【当面の間、オンラインでの開講となったことに伴い、成績評価の方法と基準も変更することになります。具体的な方法と基準は、授業開始日以降に「学習支援システム」上で公開しますので、ご確認ください。
　なお、以下の評価は、対面授業の実施を前提とした従来の評価方法であるので、ご注意ください。】
・以下の項目を総合的に判断して評価する。
1）30 %：平常点（コメントシート等）
2）70 %：期末レポート

【学生の意見等からの気づき】
・初年度においては歴史的要素の説明が多くなってしまったため、もう少し他の社会文化的要素の説明にも時間をさけるように心がけたい。

【その他の重要事項】
・フランス共和国、フランコフォニー、フランス語などに関する予備知識は、受講の前提条件とはしない。

【Outline and objectives】
This course introduces the foundations of the french speaking world (la francophonie) including the French republique. Students taking this course become able to understand in summary the situations of geography, history, (regional) langages and various cultures in each region or country.

ARSa200LA

フランス語の世界ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

廣松　勲

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は「フランス語」を介して、フランス的世界の拡がりを知ることを主たる目的とする。フランス語を話す人々の共同体や彼らの住む領域は、一般に「フランコフォニー（フランス語圏）」と呼ばれる。本授業ではそのような（フランス共和国を含めた）広い地域をも対象としつつ、各地域圏・地域・国にどのような地理・歴史的背景、言語状況、各種の文化（歴史建造物、習慣、食生活など）が存在するのかについて検討する。
「フランス的なるもの」がどのような要素で成り立っているのかを広く紹介しながら、フランス語学習の基礎作りを行うだけでなく、新たな視点から「フランス語の世界」を把握できるようにすることを目指す。
なお、秋学期はフランス共和国本土以外の「地域圏」、そしてフランス共和国以外の「フランコフォニー」について扱い、それぞれの地域の特性について紹介・解説する。

【到達目標】
1）フランス共和国の各地域の紹介を介して、その差異と共通性の大枠を理解できる。
2）フランコフォニー（フランス語圏）の紹介を介して、フランス語の世界的拡がりについて理解できる。
3）「フランス的なるもの」が現在どのような要素によって成り立っているのかについて、簡単に説明ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業については、主に講義形式で進める。各回において一つの地域または国の歴史・地理・文化を概説しながら、フランス語の世界の多様性・複雑性を解説する。また、講義形式に加えて、映像資料や音楽の視聴も取り入れることで、少しでも具体的に各地域・国を想像できるように授業を進める。
毎回の授業において学生にはコメントシートを提出してもらうことで、予習・復習のきっかけとしてもらう。期末レポートでは一つの地域または国について、選択したテーマから調査結果をまとめてもらうが、そのためにできるだけ参考資料の提示に努める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション：フランス共和国外にある地域圏、フランコフォニーの成立経緯	・本授業の流れについて説明 ・フランス共和国外にある県・地域圏について簡単に紹介 ・フランコフォニーの地理・歴史について簡単に紹介
2	カリブ海域の地域圏 Martinique et Guadeloupe	・カリブ海域の地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
3	南米大陸の地域圏 Guyane française	・南米大陸の地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
4	インド洋の地域圏 Réunion et Mayotte	・インド洋の地域研に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
5	太平洋の海外領土 Nouvelle-Calédonie	・太平洋の海外領土に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
6	北米大陸のフランス語圏① Québec (Canada)	・北米大陸カナダにおけるフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
7	北米大陸のフランス語圏② Louisiane	・北米大陸アメリカ合衆国におけるフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
8	北アフリカのフランス語圏① Algérie	・マグレブ中央部のフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
9	北アフリカのフランス語圏② Maroc et Tunisie	・マグレブ西部および東部のフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
10	サハラ以南のフランス語圏① Sénégal	・サハラ以南アフリカのフランコフォニー（旧仏領）に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
11	サハラ以南のフランス語圏② Congo-Kinshasa et Congo-Brazzaville	・サハラ以南アフリカのフランコフォニー（旧仏領およびベルギー領）に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
12	サハラ以南のフランス語圏③ Rwanda	・サハラ以南アフリカのフランコフォニー（旧ベルギー領）に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
13	ヨーロッパのフランス語圏① Belgique	・西ヨーロッパのフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
14	ヨーロッパのフランス語圏② Suisse	・西ヨーロッパのフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
	まとめ	・秋学期授業のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
1）各地域圏に関する情報を、主に学術書や論文（場合によっては各地域圏サイト）を参照しつつ、予習・復習を行って欲しい。
2）映像資料については、多くの場合、授業内で全てを見ることができるわけではないため、できるだけ個人的に視聴して欲しい。
3）期末レポートの執筆に向けて、各地域圏を調べる際の「きっかけ」となる「テーマや関心領域」を早めに決定して欲しい（或る程度、自分の「テーマや関心領域」を特定しないと、レポート執筆だけでなく、その準備も難しいと思われるため。）
4）期末レポートの執筆に向けて、レポート執筆の方法・手続き・注意点（特に引用の仕方、参考文献の書き方）について確りと学習しておいて欲しい。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
・教科書は、特になし
・原則、各回において資料を配布する予定

【参考書】
Ⅰ．以下の 4 冊の参考書は、フランス共和国やフランコフォニーについて基礎知識が得られるため、簡単にでも参照するようにしてほしい。
1）剣持久木編著『よくわかるフランス近現代史』ミネルヴァ書房，2018 年．本体 2600 円＋税
2）ジャック・レヴィ編（土居佳代子訳）『地図で見るフランスハンドブック』原書房，2018 年．本体 2800 円＋税
3）ジャン＝ブノワ・ナドー，ジュリー・バーロウ著（立花英裕監修・中尾ゆかり訳）『フランス語のはなし：もうひとつの国際共通語』大修館書店，2008 年．本体 2400 円＋税
4）鳥羽美鈴著『多様性の中のフランス語：フランコフォニーについて考える』関西学院大学出版会，2012 年．本体 3400 円＋税
Ⅱ．以下の 2 冊の参考書はフランス語教科書であるが、比較的情報が充実しているため、フランス語学習者は参照してみて欲しい。
5）Fabienne Guillemin 著『Tour de France（フランス，地方を巡る旅）』駿河台出版社，2017 年．本体 1900 円＋税
6）小松祐子，Gilles Delmaire 著『Destination francophoneie: nouvelle édition（フランコフォニーへの旅：改訂版）』駿河台出版社，2019 年．本体 2300 円＋税

【成績評価の方法と基準】
・以下の項目を総合的に判断して評価する。
1）30 %：平常点（コメントシート等）
2）70 %：期末レポート

【学生の意見等からの気づき】
・初年度においては歴史的要素の説明が多くなってしまったが、もう少し他の社会文化的要素の説明にも時間をさけるように心がけたい。

【その他の重要事項】
・フランス共和国、フランコフォニー、フランス語などに関する予備知識は、受講の前提条件とはしない。

【Outline and objectives】
This course introduces the foundations of the french speaking world (la francophonie) including the French republique. Students taking this course become able to understand in summary the situations of geography, history, (regional) langages and various cultures in each region or country.

LANf200LA
フランス語コミュニケーション (初級) I
2017 年度以降入学者

ニコラ・ガイヤール

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初心者向けの会話の授業です。フランス人の日常生活に触れながら、フランス語のコミュニケーションの基礎を学ぶことができます。
【重要】コロナウィルスの状態に伴う授業の進み方
春学期は遠隔授業の形で行う予定です。ZOOM（オンラインミーティングアプリ）を使用します。尚、1 回目（4 月 21 日）と 2 回目（4 月 28 日）は遠隔授業の形ではなく課題の形で行います。
各授業の前日に法政大学の Hoppii で履修者に ZOOM 会議の招待のリンクを提示しますので確認してください。

【到達目標】
この授業の目的はフランス語でのベーシックコミュニケーション能力とフランスに対する好奇心や興味を高めることです。日常生活に必要な表現を取得することができます。その上、フランス語圏の文化や社会の面白いテーマを取り上げます。聞く、読む、話す、書くの４つの能力も鍛えます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
音声で聞き取りをし、文法の練習問題を行います。その後、ペアーになり会話のロールプレーをします。また、フランス文化に関するテーマについてディスカッションをし、フランス語で文章をまとめます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Demander des articles	買い物する　パン屋で
2	À la poste	買い物する　郵便局で
3	Parler des quantités	量のことを話す　朝市で
4	Parler des quantités	量のことを話す　スーパーで
5	Demander le prix	値段をたずねる　文房具屋で
6	Passer une commande	注文する　魚屋さんで
7	Passer une commande	注文する　カフェで
8	Faire une réservation+ Test	予約する　ホテルで 中間テスト
9	Faire une réservation	予約する　駅で
10	Faire des achats	買い物する　服屋で
11	Faire des achats	買い物する　靴屋で
12	Hésiter	買い物する　花屋で
13	Prendre rendez-vous	アポを取る　歯医者で
14	Prendre rendez-vous +Examen final	アポを取る　病院で〜期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
前の授業の時に勉強したことを復習することが必要です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Communication progressive du français - Niveau débutant 出版社： CLE International 作者： Claire Miquel ISBN : 978-2-09-038445-1

【参考書】
仏和・和仏の辞書があると便利です。

【成績評価の方法と基準】
遠隔授業に伴う評価基準：
ZOOM 会議中の参加（２５％）
遠隔授業の後に教科書の練習問題をし、その後それの写メを撮って先生に Hoppii の課題提出機能で先生に送る。（２５％）
追加の課題（フランス語で文章を書いて提出する)。（２５％）
期末試験（口述試験のみ）（２５%)
以下は無効です。
中間テストと期末試験 60 %、平常点 (授業中の発言と態度)20%、出席 20%。この授業は 5 回以上欠席する者は評価の対象外になりますので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】
フランス人の生活の話をもっとします。

【学生が準備すべき機器他】
CD プレヤー

【Outline and objectives】
In this class, students will study French conversation and culture at a beginner level. Students will improve their speaking, listening and writing skills.

LANf200LA
フランス語コミュニケーション (初級) Ⅱ
2017 年度以降入学者

ニコラ・ガイヤール

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初心者向けの会話の授業です。フランス人の日常生活に触れながら、フランス語のコミュニケーションの基礎を学ぶことができます。

【到達目標】
この授業の目的はフランス語でのベーシックコミュニケーション能力とフランスに対する好奇心や興味を高めることです。日常生活に必要な表現を取得することができます。その上、フランス語圏の文化や社会の面白いテーマを取り上げます。聞く、読む、話す、書くの４つの能力も鍛えます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
音声で聞き取りをし、文法の練習問題を行います。その後、ペアーになり会話のロールプレーをします。また、フランス文化に関するテーマについてディスカッションをし、フランス語で文章をまとめます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Demander des renseignements	情報を尋ねる　地下鉄で
2	Demander des renseignements	情報を尋ねる　スポーツクラブで
3	Demander des renseignements	情報を尋ねる　観光局で
4	Exprimer une obligation	義務を伝える 役所で
5	Autoriser et interdire	許す・禁じる　スキー所で
6	Vérifier	確かめる　海水浴所で
7	Protester	クレームを言う　キャンプ所で
8	Exprimer des intentions, des projets + Test	意図と計画を言う 自転車レンタル所で + 中間テスト
9	Exprimer des intentions, des projets	意図と計画を言う　銀行で
10	Localiser	位置を説明する　デパートで
11	Localiser	位置を説明する　地方で
12	Localiser	位置を説明する　紛失したものを探す
13	S'informer par téléphone	電話で問い合わせる　貸し家の賃貸
14	Comparer + Examen final	比較する　バカンスについて 期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
前の授業の時に勉強したことを復習することが必要です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Communication progressive du français - Débutant 出版社：CLE International 作者：Claire Miquel ISBN：978-2-09-038445-1

【参考書】
仏和・和仏の辞書があると便利です。

【成績評価の方法と基準】
中間テストと期末試験 60 %、平常点 (授業中の発言と態度)20%、出席 20%。この授業は 5 回以上欠席する者は評価の対象外になりますので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】
フランス人の生活を話します。

【学生が準備すべき機器他】
CD プレヤー

【Outline and objectives】
In this class, students will study French conversation and culture at a beginner level. Students will improve their speaking, listening and writing skills.

LANf200LA

フランス語視聴覚 (初・中級) I　2017 年度以降入学者

アガエス　ジュリアン

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランス語のスキルを磨き、フランス語とフランス語圏の文化についての知識を深めます
Brush up French skills and deepen knowledge of French and French speaking cultures

【到達目標】
DELF A1 レベルに達する
Reach DELF A1 level

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】
会話、グループワーク、プレゼンテーション、ゲームなど
Conversation, group work, presentation, game, etc.
During this unusual semester, I will use Zoom (Online classroom). You just need to download the program. I will also send files and homeworks on Google classroom. I will start the meetings on Zoom from today (April 15th).
遠隔授業の実施に伴う、授業計画や成績評価基準の変更については、学習支援システム上で通知する
授業は 4 月 22 日（月）に開始します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Révisions	復習	これまでの事項の確認と復習
Unité 1	ユニット 1-1	詳しい自己紹介（会話、読解）
Unité 1	ユニット 1-2	詳しい自己紹介（作文、聴解）
Unité 2	ユニット 2-1	家族について（会話、読解）
Unité 2	ユニット 2-2	家族について（作文、聴解）
Unité 3	ユニット 3-1	日常生活（会話、読解）
Unité 3	ユニット 3-2	日常生活 (作文、聴解)
Unité 4	ユニット 4-1	食事・食生活（会話、聴解）
Unité 4	ユニット 4-2	食事・食生活（作文、読解）
Unité 5	ユニット 5-1	衣服・ファッション（会話、読解）
Unité 5	ユニット 5-2	衣服・ファッション（作文、聴解）
Unité 6	ユニット 6-1	買い物（会話、読解）
Révisions	復習	最終試験に向けた復習
Test	試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。復習として、作文練習や単語、文法の問題などを与える可能性がある。インターネットサイト『フラ語』での自習活動を奨励する。

【テキスト（教科書）】
Interactions 2
CLE international
Gael Crépieux
Olivier Massé
Jean-Philippe Rousse

【参考書】
https://www.furago.education/

【成績評価の方法と基準】
クラスの出席と態度 20 %
宿題、発表等　30 %
試験　40 %
『フラ語』のウェブサイトでの活動 (最低　2500 ポイント）10 %

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【その他の重要事項】
大学のインターネットプラットフォームを介して学生にドキュメントを配る場合があります。

【Outline and objectives】
DELF A1 相当の技能（会話、作文、読解、聴解など）
各ユニットは会話・読解と作文・聴解の 2 パートに分けて行われる。ただし、どの回でも常にフランス語での会話練習を実施する。
Skills equivalent to DELF A1 (conversation, composition, reading comprehension, listening comprehension, etc.)
Each unit is divided into two parts: conversation and reading comprehension and composition and listening comprehension. However, students will always practice speaking in French at any time

LANf200LA

フランス語視聴覚 (初・中級) Ⅱ　2017 年度以降入学者

アガエス　ジュリアン

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランス語のスキルを磨き、フランス語とフランス語圏の文化についての知識を深めます
Brush up French skills and deepen knowledge of French and French speaking cultures

【到達目標】
DELF A1 レベルに達する
Reach DELF A1 level

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
会話、グループワーク、プレゼンテーション、ゲーム。
Conversation, group work, presentation, game, etc.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Révisions	復習	前学期の復習
Unité 7	ユニット 7-1	フランスでの様々な手続き（会話、読解）
Unité 7	ユニット 7-2	フランスでの様々な手続き（作文、聴解）
Unité 8	ユニット 8-1	住居（会話、読解）
Unité 8	ユニット 8-2	住居（作文、聴解）
Unité 9	ユニット 9-1	健康（会話、読解）
Unité 9	ユニット 9-2	健康（作文、聴解）
Unité 10	ユニット 10-1	移動に関する表現（会話、読解）
Unité 10	ユニット 10-2	移動に関する表現（作文、読解）
Unité 11	ユニット 11-1	観光・文化（会話、読解）
Unité 12	ユニット 12-1	ヴァカンス・旅行（会話、読解）
Unité 12	ユニット 12-2	ヴァカンス・旅行（作文、聴解）
Révisions	復習	最終試験に向けた復習
Test	試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。復習として、作文練習や単語、文法の問題などを与える可能性がある。インターネットサイト『フラ語』での自習活動を奨励する。

【テキスト（教科書）】
Interactions 2
CLE international
Gael Crépieux
Olivier Massé
Jean-Philippe Rousse

【参考書】
https://www.furago.education/

【成績評価の方法と基準】
クラスの出席と態度 20 %
宿題、発表等　30 %
試験　40 %
『フラ語』のウェブサイトでの活動 (最低　2500 ポイント）10 %

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【その他の重要事項】
大学のインターネットプラットフォームを介して学生にドキュメントを配る場合があります。

【Outline and objectives】
DELF A1 相当の技能（会話、作文、読解、聴解など）
各ユニットは会話・読解と作文・聴解の 2 パートに分けて行われる。ただし、どの回でも常にフランス語での会話練習を実施する。
Skills equivalent to DELF A1 (conversation, composition, reading comprehension, listening comprehension, etc.)
Each unit is divided into two parts: conversation and reading comprehension and composition and listening comprehension. However, students will always practice speaking in French at any time

LANf200LA

時事フランス語 I

2017 年度以降入学者

大中　一彌

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火 3**/Tue.3
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業の目的は、フランス語の学習を、時事問題の理解へとつなげられるようにすることにあります。外交やビジネス、国際交流の現場でフランス語を／も使えるようになるには、（ア）語学力にくわえて、（イ）政治・社会問題や歴史的・文化的な背景に対する理解が必要です。この授業では、（ア）と（イ）に等しく目配りをしながら学習を進めて行きます。

【到達目標】
基本的には、時事フランス語Ⅰ・Ⅱで１年間学ぶことを通じて、学生が CEFR 等で１〜２段階上に近づくことを目標とします。ただし、市ヶ谷リベラルアーツセンター（ILAC）科目であるこの授業では、語学レベルだけでなく、政治・社会問題や歴史的・文化的な背景に対する理解、および専攻分野の異なる学生が参加することが予想されます。そのため到達目標も学生により異なるのが実状であることを踏まえ、２通りのメニュー（授業計画）を用意しています。どちらのメニューがご自身にふさわしいかは、【テキスト（教科書)】欄に URL をそれぞれ載せておくので、音声サンプルをどの程度理解できるかで判断してください。
メニュー１は、仏検４〜５級程度の学生向けです。教科書① La Société française を用います。
メニュー２は、仏検で３級以上、DELF や DALF、TCF 等の受験を考えている、または留学経験者・志望者などの学生向けです。教科書② Radio France Internationale（RFI）の学習用ニュース番組 « Journal en français facile » を用います。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
（ア）学習者のレベルにあった教材を選ぶ。
（イ）教材の指定された範囲を予習する。
（ウ）授業では、発音の理解・矯正を含めて、教科書の読解をおこなう。
（エ）インターネット上の関連する動画を見て、学習者の理解を助けるとともに、時事フランス語の実際の使用に向けたトレーニングを重ねる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	初回顔合わせ	授業の進め方に関する説明 最近のフランス（語圏）情勢について
第 2 回	【メニュー１】1.1. フランスの国土 【メニュー２】RFI Journal en français facile, 2020 年 4 月 7 日以前から 1 日分を選び、教材とする。	教科書① 8-9 頁

第 3 回	【メニュー１】1.2. フランス各地の特色 【メニュー２】RFI Journal en français facile, 2020 年 4 月 14 日以前から 1 日分を選び、教材とする。	教科書① 10-11 頁
第 4 回	【メニュー１】2.1 四季の暮らし 【メニュー２】RFI Journal en français facile, 2020 年 4 月 21 日以前から 1 日分を選び、教材とする。	教科書① 14-15 頁
第 5 回	【メニュー１】2.2 家の中で感じる季節 【メニュー２】RFI Journal en français facile, 2020 年 4 月 28 日以前から 1 日分を選び、教材とする。	教科書① 16-17 頁
第 6 回	【メニュー１】3.1 幼稚園、小学校、中学校 【メニュー２】RFI Journal en français facile, 2020 年 5 月 12 日以前から 1 日分を選び、教材とする。	教科書① 20-21 頁
第 7 回	【メニュー１】3.2 リセとバカロレア 【メニュー２】RFI Journal en français facile, 2020 年 5 月 19 日以前から 1 日分を選び、教材とする。	教科書① 22-23 頁
第 8 回	【メニュー１】4.1 フランスの大学 【メニュー２】RFI Journal en français facile, 2020 年 5 月 26 日以前から 1 日分を選び、教材とする。	教科書① 26-27 頁
第 9 回	【メニュー１】4.2 グランゼコールとその他の専門職教育 【メニュー２】RFI Journal en français facile, 2020 年 6 月 2 日以前から 1 日分を選び、教材とする。	教科書① 28-29 頁
第 10 回	【メニュー１】5.1 フランスの美食料理 【メニュー２】RFI Journal en français facile, 2020 年 6 月 9 日以前から 1 日分を選び、教材とする。	教科書① 32-33 頁
第 11 回	【メニュー１】5.2 普段の食生活 【メニュー２】RFI Journal en français facile, 2020 年 6 月 16 日以前から 1 日分を選び、教材とする。	教科書① 34-35 頁
第 12 回	【メニュー１】6.1 フランス人と政治 【メニュー２】RFI Journal en français facile, 2020 年 6 月 23 日以前から 1 日分を選び、教材とする。	教科書① 38-39 頁
第 13 回	【メニュー１】6.2 フランスの左派と右派 【メニュー２】RFI Journal en français facile, 2020 年 6 月 30 日以前から 1 日分を選び、教材とする。	教科書① 40-41 頁
第 14 回	まとめ	第 13 回までの内容がこなせなかった場合のための予備日

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業支援システムを用いた宿題や資料の提示を行うため、第 2 回授業までに自己登録をしてください。自己登録の方法については、「法政大学授業支援システム」で検索してみてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書① Bruno Vannieuwenhuyse et al., La Société française, Alma, 2013. URL https://www.alma-download.com/fr-SF.htm

教科書② Radio France Internationale. URL https://savoirs.rfi.fr/fr にある « Journal en français facile » ※ 音声ファイル（mp3）が無料でダウンロードできるほか、音声ファイルを文字起こししたもの（transcription）が掲載されている。なお、Radio France Internationale には公式のアプリがある。Android なら Google Play、iPhone なら App Store から最新版を検索、ダウンロードして下さい。アプリがうまく作動しない場合は、ブラウザからアクセスするか、教員に相談して下さい。

【参考書】
特に指定しないが、Web 上のフランス語圏のさまざまなメディアを随時参照する。

【成績評価の方法と基準】
（ア）期末試験：実施しない（0%）
（イ）期末レポート：実施しない（0%）
（ウ）教科書の予習の有無と質（40%）
（エ）教科書にかんする授業内の取り組み（音読含む）（40%）
（オ）その他（運営協力や講師のミスの指摘）（20%）
なお、メニュー１のほうがメニュー２よりも簡単だから成績が良くなるということはない。受講者ひとりひとりの力が、学期開始時にくらべ、学期が終わる時にどの程度伸びたかが評価の対象となる。また、評価項目の（ウ）や（エ）のような取り組みを各自がどのぐらい地道におこなってきたかも、成績評価の対象となる。

【学生の意見等からの気づき】
滑舌をよくする。

【学生が準備すべき機器他】
※新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた、日本政府の緊急事態宣言を受け、法政大学ではキャンパスへの入構が禁止になっています。そのため、この授業では Google Hangouts Meet を利用した遠隔授業を当面のあいだ実施します。詳しいことは Hoppii を参照してください。
※ Google Classroom を使用します。クラスコードは t3sysyu です。法政大学から配られたメールアドレスを使ってログインしてください。
仏和・仏仏辞典、文法の解説書
スマートフォンなど、インターネットに接続し、動画や音声を視聴できる機器

【その他の重要事項】
学外の方でこの科目の履修を希望される方は、科目等履修生としてご参加下さい。詳しくは法政大学までお問合せ下さい。 http://www.hosei.ac.jp/kyoiku_kenkyu/gakubu/kamoku.html

【Outline and objectives】
This course aims to promote students' understanding of French society, politics, and news media. An emphasis is placed on oral communication and using specialized French vocabulary. By the end of the course, students will be expected to use resources from francophone websites in order to discuss a wide range of current affairs.

LANf200LA

時事フランス語Ⅱ

2017 年度以降入学者

大中　一彌

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 3/Tue.3
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業の目的は、フランス語の学習を、時事問題の理解へとつなげられるようにすることにあります。外交やビジネス、国際交流の現場でフランス語を／も使えるようになるには、（ア）語学力にくわえて、（イ）政治・社会問題や歴史的・文化的な背景に対する理解が必要です。この授業では、（ア）と（イ）に等しく目配りをしながら学習を進めて行きます。

【到達目標】
時事フランス語Ⅱで１学期のあいだ学ぶことを通じて、学生が CEFR 等で１〜２段階上に近づくことを目標とします。ただし、市ヶ谷リベラルアーツセンター（ILAC）科目であるこの授業では、語学レベルだけでなく、政治・社会問題や歴史的・文化的な背景に対する理解、および専攻分野の異なる学生が参加することが予想されます。そのため到達目標も学生により異なるのが実状であることを踏まえ、２通りのメニュー（授業計画）を用意しています。どちらのメニューがご自身にふさわしいかは、【テキスト（教科書）】欄に URL をそれぞれ載せておくので、音声サンプルをどの程度理解できるかで判断してください。
メニュー１は、仏検４〜５級程度の学生向けです。教科書① La Société française を用います。
メニュー２は、仏検で３級以上、DELF や DALF、TCF 等の受験を考えている、または留学経験者・志望者などの学生向けです。教科書② Radio France Internationale（RFI）の学習用ニュース番組 « Journal en français facile » を用います。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
（ア）学習者のレベルにあった教材を選ぶ。
（イ）教材の指定された範囲を予習する。
（ウ）授業では、発音の理解・矯正を含めて、教科書の読解をおこなう。
（エ）インターネット上の関連する動画を見て、学習者の理解を助けるとともに、時事フランス語の実際の使用に向けたトレーニングを重ねる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	初回顔合わせ	授業の進め方に関する説明 最近のフランス（語圏）情勢について
第 2 回	【メニュー１】7.1. 雇用と失業 【メニュー２】RFI Journal en français facile, 2020 年 9 月 22 日以前から 1 日分を選び、教材とする。	教科書① 44-45 頁
第 3 回	【メニュー１】7.2. 職場の人間関係 【メニュー２】RFI Journal en français facile, 2020 年 9 月 29 日以前から 1 日分を選び、教材とする。	教科書① 46-47 頁
第 4 回	【メニュー１】8.1 バカンスの季節 【メニュー２】RFI Journal en français facile, 2020 年 10 月 6 日以前から 1 日分を選び、教材とする。	教科書① 50-51 頁
第 5 回	【メニュー１】8.2 バカンスの過ごし方 【メニュー２】RFI Journal en français facile, 2020 年 10 月 13 日以前から 1 日分を選び、教材とする。	教科書① 52-53 頁
第 6 回	【メニュー１】9.1 カトリック教 【メニュー２】RFI Journal en français facile, 2020 年 10 月 20 日以前から 1 日分を選び、教材とする。	教科書① 56-57 頁
第 7 回	【メニュー１】9.2 その他の宗教 【メニュー２】RFI Journal en français facile, 2020 年 10 月 27 日以前から 1 日分を選び、教材とする。	教科書① 58-59 頁
第 8 回	【メニュー１】10.1 社会における女性と男性 【メニュー２】RFI Journal en français facile, 2020 年 11 月 10 日以前から 1 日分を選び、教材とする。	教科書① 62-63 頁
第 9 回	【メニュー１】10.2 家族、カップル、そして、子ども 【メニュー２】RFI Journal en français facile, 2020 年 11 月 17 日以前から 1 日分を選び、教材とする。	教科書① 64-65 頁
第 10 回	【メニュー１】11.1 フランス人のマナー 【メニュー２】RFI Journal en français facile, 2020 年 11 月 24 日以前から 1 日分を選び、教材とする。	教科書① 68-69 頁
第 11 回	【メニュー１】11.2 会話のスタイル 【メニュー２】RFI Journal en français facile, 2020 年 12 月 1 日以前から 1 日分を選び、教材とする。	教科書① 70-71 頁

第 12 回	【メニュー１】RFI Journal en français facile, 2020 年 12 月 8 日以前から 1 日分を選び、教材とする。 【メニュー２】RFI Journal en français facile, 2020 年 6 月 23 日以前から 1 日分を選び、教材とする。	RFI サイト上の教材を用いる。
第 13 回	【メニュー１】RFI Journal en français facile, 2020 年 12 月 15 日以前から 1 日分を選び、教材とする。 【メニュー２】RFI Journal en français facile, 2020 年 6 月 30 日以前から 1 日分を選び、教材とする。	RFI サイト上の教材を用いる。
第 14 回	まとめ	第 13 回までの内容がこなせなかった場合のための予備日

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業支援システムを用いた宿題や資料の提示を行うため、第 2 回授業までに自己登録をしてください。自己登録の方法については、「法政大学授業支援システム」で検索してみてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書① Bruno Vannieuwenhuyse et al., La Société française, Alma, 2013. URL https://www.alma-download.com/fr-SF.htm

教科書② Radio France Internationale. URL https://savoirs.rfi.fr/fr にある « Journal en français facile » ※ 音声ファイル（mp3）が無料でダウンロードできるほか、音声ファイルを文字起こししたもの（transcription）が掲載されている。なお、Radio France Internationale には公式のアプリがある。Android なら Google Play、iPhone なら App Store から最新版を検索、ダウンロードして下さい。アプリがうまく作動しない場合は、ブラウザからアクセスするか、教員に相談して下さい。

【参考書】
特に指定しないが、Web 上のフランス語圏のさまざまなメディアを随時参照する。

【成績評価の方法と基準】
（ア）期末試験：実施しない（0%）
（イ）期末レポート：実施しない（0%）
（ウ）教科書の予習の有無と質（40%）
（エ）教科書にかんする授業内の取り組み（音読含む）（40%）
（オ）その他（運営協力や講師のミスの指摘）（20%）
なお、メニュー１のほうがメニュー２よりも簡単だから成績が良くなるということはない。受講者ひとりひとりの力が、学期開始時にくらべ、学期が終わる時にどの程度伸びたかが評価の対象となる。また、評価項目の（ウ）や（エ）のような取り組みを各自がどのぐらい地道におこなってきたかも、成績評価の対象となる。

【学生の意見等からの気づき】
滑舌をよくする。

【学生が準備すべき機器他】
仏和・仏仏辞典、文法の解説書
スマートフォンなど、インターネットに接続し、動画や音声を視聴できる機器

【その他の重要事項】
学外の方でこの科目の履修を希望される方は、科目等履修生としてご参加下さい。詳しくは法政大学までお問合せ下さい。 http://www.hosei.ac.jp/kyoiku_kenkyu/gakubu/kamoku.html

【Outline and objectives】
This course aims to promote students' understanding of French society, politics, and news media. An emphasis is placed on oral communication and using specialized French vocabulary. By the end of the course, students will be expected to use resources from francophone websites in order to discuss a wide range of current affairs.

ARSa200LA

フランスの文化と社会ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**音楽から考えるフランスの社会と文化**

鈴木　正道

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、音楽を通して、フランスの社会の様々な面について考えます。フランスは世界有数の観光立国ではありますが、人々は堅実な日常生活を営み、様々な問題を抱えています。フランス革命を通して人権宣言を発布した国でもあり、移民の長い伝統も持っています。そのような国を誰もが知っている、あるいは知る人ぞ知る曲を通して考えていきます。
フランスに関心のある学生を対象としています。フランス語を履修している必要はありません。

【到達目標】
フランスの社会についての具体的な知識を得ることが第一の目標です。そこから、日本さらには他の国との違いや共通点について考え、なぜそのような違いがあるのか、なぜ同じようなことになるのかを考えます。また音楽という言語以外の感性に訴える要素が強い媒体に込められた実社会の問題や課題を自ら探知する力を養います。
「文化論」のようなものは「実用性がない」ように言われがちですが、「衣食足りて」「モノ」から「コト」へと消費が移ってきた現在において、「文化大国」であるフランスに関する知識を身に着けることで、今後の職業生活で必要な「ネタ」を蓄え、さらには自ら探り当てる習慣を身に着けます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
各回でテーマとして取り上げる曲を聴いて、歌詞や作曲の背景に関する情報から見て取れる課題、問題点を取り出します。教員が提案することもありますが、学生が積極的に指摘することも望ましいです。そのことに関して、授業中に考え討論したり、文章にまとめます。さらに調べる必要がある場合にいは、各自が調べて次の授業のときに考えを述べるようにします。
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更につ いては、学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日は 4 月 23 日と し、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	授業の説明； 『オー、シャンゼリゼ』	・「オー」は「oh!」ではない／誤訳か意訳か、洋モノタイトルの翻訳 ・この歌は替え歌だった／元歌について ・なぜこの通りはかくも広く美しいのか。
2	フレンチ・ポップス	・ミシェル・ポルナレフ：スキャンダラスな反抗児; Tout tout pour ma chérie『シェリーに口づけ』？？？「シェリーとは君の事だよマイ・ダーリン」誤訳か意訳か（続） ・シルヴィ・ヴァルタン：アイドル ・フランシス・ギャル： もう一人のアイドル
3	シャンソン	エディット・ピアフ：フランスの美空ひばり？ イヴ・モンタン 『枯葉』： Les Feilles mortes から Autumn leaves へ シャルル・トレネ：フランスの加山雄三？
4	ロック	ジョニー・アリデー：宇崎竜童というよりもフレンチ・どロックン・ローラー アトール：いわゆるプログレ
5	移民の歌	スリマヌ・アゼム； ダジュー：『パパ、どこなの』 ザ・シンセカイ：『君のために』など
6	17 世紀ルイ王朝の音楽家たち	リュリ；イタリアから来た御前音楽家 マレ：わりと耳にすることの多い絶対王政下の音楽家
7	19 世紀の二人の移民音楽家	ショパン： ピアノの詩人の一生は小説よりも奇なり
8	宿命の？ ライヴァル	リスト：大見得を切る威風堂々の大スター
9	音の色	ドビュッシー：キーがない？ 実は至る所で聞こえてくる音楽。浮世絵は版画、版画は浮世絵？ ラヴェル：展覧会の絵も白黒からカラーへ サティ：自分の音楽と食うための音楽
10	前衛	シンセサイザーのお父さんオンド・マルトゥノとメシアン 具体音楽：アナログの cut and paste IRCAM ：今は老舗となった電子音楽の研究所
11	フランスのオペラ 『カルメン』	原作はメリメの中編小説
12	ジョルジュ・ビゼーのオペラ『カルメン』 Femme fatale（運命の／致命的な女） VS 清純派	序曲と冒頭 「ハバネラ」 「ミカエラの歌」
13	『カルメン』 スペインという異郷	「アルカラの竜騎兵」：ロマの踊りが圧巻 歌手も踊る（というよりも踊れない歌手はお呼びでない）：「鈴を打ち鳴らす」
14	『カルメン』 大団円は闘技場の外で	「闘牛士の歌」 「行進曲」 最終場面（なぜ原作とこうも違うのか）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各回、予定されている曲を検索して聞いておいてください。また作曲家や作詞家についても調べておいてください。さらにそこからどのような課題を引き出すことができるかも考えておいてください。それに対する自分なりの答えもまとまった発言や文章にできるようにしておいてください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
指定した教科書はありません。プリントを配ります。

【参考書】
『大学生のためのレポート・論文術』小笠原喜康、講談社現代新書 1603.
『論文レポートの文章作法』古郡廷治、有斐閣新書 C164
『著作権とは何か』、福井建策、集英社新書 0924A
その他随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】
授業で紹介されたことを取っ掛かりとして、自分で主題を絞ってそれに関して詳しく調べ、わかりやすく述べることが大切です。授業への参加状況（発言や質問、授業中に書くよう求められる課題など）が 30 %です。
学期末に提出するレポート（授業で扱った主題の中から興味のあるものを一つ選んで調べる）が 70 %です。早い時期からテーマを考えておくことが大切です。
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も 変更します。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示します。

【学生の意見等からの気づき】
私語が迷惑であるとのご指摘をいただきました。確かに、授業中に話をしている人がいました。それとなく近くに行き、気づいてもらうようにしましたが、徹底していなかったかもしれません。今年は授業を始めるにあたって、私語は他人の権利を侵すものであることをはっきりと伝えようと思います。

【Outline and objectives】
In this course students will reflect on a variety of aspects of French society with the aid of music. Although France is one of the most popular countries for tourists, people are making their living, trying to resolve different problems, just as those in other countries. France is the country where the declaration of human rights was proclaimed, she has a long history as a host country for immigrants. The students will study well-known or almost unknown musical works which will tell us these aspects of this country. This course is designed for all students who are interested in France; the knowledge of the French language is not indispensable.

ARSa200LA

フランスの文化と社会ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**映画から考えるフランスの社会と文化**

鈴木　正道

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、映画を通して、フランスの社会の様々な面について考えます。フランスは世界有数の映画大国です。特に国家は映画製作に多額の補助を出しています。こうした映画を通して、フランスの人々の生活の様々な面、問題、喜びや悲しみ、苦しみが見えてきます。この授業では、フランス映画の特徴や歴史とともに、これら様々な面について考えます。
フランスに関心のある学生を対象としています。フランス語を履修している必要はありません。

【到達目標】
フランスの映画に関する知識を増やし、アメリカや日本の映画、他のヨーロッパ映画やほかの地域の映画との違いに関して考えることを目標とします。さらに映画作品から見て取れる、フランスで暮らす人々（フランス国籍を持つとは限りません）の生活、諸問題に関して考えることを目指します。そこから、日本さらには他の国との違いや共通点について考え、なぜそのような違いがあるのか、なぜ同じようなことになるのかを考えます。
「文化論」のようなものは「実用性がない」ように言われがちですが、「衣食足りて」「モノ」から「コト」へと消費が移ってきた現在において、「文化大国」であるフランスに関する知識を身に着けることで、今後の職業生活で必要な「ネタ」を蓄え、さらには自ら探り当てる習慣を身に着けます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
テーマとなっている作品を鑑賞し、監督や製作者がそこに込めた意図、もしくは意識していないが見て取れる問題について考えます。教員もしくは学生の提案したこうした問題系について議論し、場合によっては文章にまとめます。さらに調べる必要がある場合にいは、各自が調べて次の授業のときに考えを述べるようにします

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	授業の説明、フラ『最強のふたり』１：2011 年のヒット作フランス映画の特徴とは？	アメリカ映画はアクション豊富で白黒はっきり、フランス映画は曖昧で考えさせる映画？「ふたり」とはどんなひとたち？
2	『最強のふたり』２：格差社会と移民	フランスの金持ちとは？「パリのスラム街」とは？
3	『最強のふたり』３：原題とは相当異なる邦題	なぜ「最強」か？

4	『シェルブールの雨傘』1 フランスのミュージカル； 原題そのままの邦題は何を意味しているのか	誰もが聞いたことのあるミシェル・ルグランの音楽； 1960 年代のフランスの地方都市
5	『シェルブールの雨傘』2 フランスにとっての 1960 年代はじめ	アルジェリア戦争
6	『シェルブールの雨傘』3 Westside story の向こうを張った？	「曖昧な」結末
7	フランス映画の歴史：「映画」はフランスで始まった？	リュミエール兄弟の「映画」；メリエス:『月世界旅行』は特撮もの
8	『天井桟敷の人々』1 1945 年の大作	伝説的名優勢ぞろい
9	『天井桟敷の人々』2 19 世紀のパリという設定	いかがわしきパリの下町
10	『天井桟敷の人々』3 庶民にとっての劇場	「言葉」の俳優とパントマイム役者
11	『天井桟敷の人々』4 カーニバルという空間	またしても「曖昧な」結末
12	『シラノ』１： 17 世紀の実在の人物をモデルにした 19 世紀末の芝居	フランスのヒーロー人気ナンバーワン：剣にすぐれて弁もたつが、思いを打ち明けられない
13	『シラノ』2 ： 17 世紀の宮廷と社会状況	préciosité とアラスの包囲
14	『シラノ』3 ： 普遍的な価値	「型破り」と自己犠牲、「身を引く」美学

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
取り上げる映画作品は、授業中に見るので、気になる場面などを各自、検索して見直しておいてください。また監督、製作者、俳優、場合によっては原作についても調べておいてください。さらにそこからどのような課題を引き出すことができるかも考えておいてください。それに対する自分なりの答えもまとまった発言や文章にできるようにしておいてください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
指定した教科書はありません。プリントを配ります。

【参考書】
『かしこい旅のパリガイド』（CD 付）、田中成和、渡辺隆司　著　駿河台出版社
『大学生のためのレポート・論文術』小笠原喜康、講談社現代新書 1603.
『論文レポートの文章作法』古郡廷治、有斐閣新書 C164
『著作権とは何か』、福井建策、集英社新書 0924A
その他随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】
授業で紹介されたことを取っ掛かりとして、自分で主題を絞ってそれに関して詳しく調べ、わかりやすく述べることが大切です。授業への参加状況（発言や質問、授業中に書くよう求められる課題など）が 30 %です。
学期末に提出するレポート（授業で扱った主題の中から興味のあるものを一つ選んで調べる）が 70 %です。早い時期からテーマを考えておくことが大切です。

【学生の意見等からの気づき】
私語が迷惑であるとのご指摘をいただきました。確かに、授業中に話をしている人がいました。それとなく近くに行き、気づいてもらうようにしましたが、徹底していなかったかもしれません。今年は授業を始めるにあたって、私語は他人の権利を侵すものであることをはっきりと伝えようと思います。

【Outline and objectives】
This course deals with a variety of aspects of lives in France with the aide of the movies. France is one of the most movie-loving countries. The French government gives a large sum of subsidies to movie-makers. Through films we see different aspects of lives in France, problems, people's joys, sorrows, and pains. In this course, the students not only learn characteristics and history of French movies but reflect on these subjects which we can find in films.
This course is designed for all students who are interested in France; the knowledge of the French language is not indispensable.

ARSa200LA

フランス生活文化論ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**近代フランスの食文化**

梶谷　彩子

開講時期：**オータムセッション**/Autumn Session ｜ 曜日・時限：**集中・その他**/intensive・other courses
単位数：2 **単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、19 世紀〜20 世紀フランスの食文化を中心に、そのあり方を学びます。「フランスの食文化」という表現から、どのようなことをイメージするでしょうか。「華やか・おしゃれ」、あるいは「特別な日の料理」など様々な印象があると思いますが、実は、現代の私たちがフランス料理に対して持つイメージのルーツの多くは、近代のフランスにあります。空腹を満たす以上の価値を自国の食に見出していったフランス。なぜそうなったのか？ その背景を知って、フランス文化への理解を深めていきましょう。

【到達目標】
フランスの食文化について、歴史の流れとともに理解できるようになること。また、意見の記述やディスカッションを通して資料を自分なりに考察し、知見をまとめることができるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式。イメージを描きやすいようできるだけ図像を用意して進めていきます。現代のフランス料理をテーマにした映像資料も見る予定です。ところどころ皆さんの意見を聞く時間を設けます。
●開講日程●
9/11(金)、/14(月)、/15(火)、/16(水)→2 時限目〜4 時限目
9/17(金)→3・4 時限

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の進め方、参考資料の紹介。日本においてフランスの食文化はどのように紹介されているかについても解説。
第 2 回	テーブルに「映える」料理	テーブルに「映える」料理はなぜ必要だったか？ ／宮廷料理について
第 3 回	「華やかな食卓」の特徴の変遷	「映える」料理から「味で魅せる」料理へ／ 18 世紀までの価値観と、19 世紀からの価値観
第 4 回	美食を支える背景	パリの美食を支えた市場／給仕の変化
第 5 回	「美食」は誰のものか：レストラン	「おいしい」が皆のものになる時代：レストラン興隆史
第 6 回	「美食」は誰のものか：「おいしい」の基準の誕生	「おいしい」を評価するということ：ガストロノミー
第 7 回	「美食」は誰のものか：情報が生み出す「美食」	口コミで広がる「美食」：サロン・ド・テと美食家クラブ
第 8 回	映画で見る美食のあり方	映像資料鑑賞 その後、感想を書く時間を設けます。
第 9 回	素朴な料理への回帰：「郷土料理」の誕生	フランスの郷土料理はいかにして生まれたか
第 10 回	文化としての「郷土料理」	郷土料理＝文化的遺産という視点の原点
第 11 回	高級料理の変遷	ヌーヴェル・キュイジーヌの誕生と、その後
第 12 回	フランス大統領の食卓	映像資料鑑賞 (第 2 回) その後、感想を書く時間を設けます。
第 13 回	まとめ	現代から見た、近代フランスの食文化の重要性 皆さんの意見もうかがいます。
第 14 回	試験日	フランスの食文化をテーマとした小レポート作成

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。下記参考書のうち、①か②を読み切ること。授業中にも、おすすめの図書を適宜紹介します。

【テキスト（教科書）】
授業中にプリント資料を配布します。

【参考書】
①池上俊一『お菓子でたどるフランス史』、岩波書店、岩波ジュニア新書、2013 年。
②ジャン・ピエール＝プーラン、エドモン・ネランク『プロのためのフランス料理の歴史　時代を変えたスーパーシェフと食通の系譜』、山内秀文訳、学習研究社、2005 年。
③北山晴一『世界の食文化⑯　フランス』、農村漁村文化協会、2008 年。

【成績評価の方法と基準】
平常点 50%、期末レポート 50%による総合評価

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】
本授業では、Google Classroom を利用します。履修希望の方は、下記コードを入力して Classroom への参加をお願いいたします。
コード： sqy7lt4

【その他の重要事項】
履修申請者が 31 人を超えてしまった場合、定員が 30 人の授業であるため、履修者を抽選とします。

【Outline and objectives】
The purpose of this course is to study the gastronomic culture of modern France.

ARSa200LA

フランス生活文化論ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**フランスの食文化史**

梶谷　彩子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 4/Tue.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、フランスの食文化史を学びます。「美食の国」として名高いフランスはどのようにその食生活を営んできたのでしょうか。古代からの料理術の変遷を中心に、歴史の動きと連動させながら学びます。後半には、日本がフランスの食に与えた影響についても触れてゆきます。

【到達目標】
フランスの食文化について理解を深めること。また、意見の記述やディスカッションを通して資料を自分なりに考察し、知見をまとめることができるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式。イメージを描きやすいよう図像を見ながら進めていきます。ところどころ皆さんの率直な意見を聞く時間も設けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の進め方、参考資料の紹介／現在のフランス食文化の最前線についての解説
第 2 回	古代から中世まで	何をどのように食べてきたのか／香辛料について
第 3 回	ルネサンス	マナーの確立／イタリアとの関わり
第 4 回	17 世紀	グランド・キュイジーヌの誕生／「過剰」からの脱却と洗練
第 5 回	18 世紀	宮廷料理の最盛期／「豪勢な料理」とは？
第 6 回	フランス革命〜19 世紀初頭	「レストラン」とは何か／「ガストロノミー」の誕生／「スターシェフ」の出現
第 7 回	19 世紀後半〜19 世紀末	19 世紀後半〜世紀末のレストラン／現代フランス料理の基礎の時代
第 8 回	20 世紀初頭	第一次世界大戦とフランスの食文化／新しい「ガストロノミー」
第 9 回	20 世紀半ば	全国の美食を求めて―ガストロノミーとツーリズム／「美食ガイドブック」の誕生
第 10 回	20 世紀半ば〜20 世紀末	ヌーヴェル・キュイジーヌ―健康と美食
第 11 回	日本食文化のフランス食文化への影響	美しさを求めるということ／日本的味覚の広がり
第 12 回	フランス食文化の日本食文化への影響	「洋食」誕生物語
第 13 回	まとめ	「美食の国　フランス」のイメージはいかにして形成されたか
第 14 回	試験日	フランスの食文化をテーマとした小レポート作成

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。参考書のうち③を授業期間中に読み切ること。授業中にも、おすすめの図書を紹介します。

【テキスト（教科書）】
授業中にプリント資料を配布します。

【参考書】
①池上俊一『お菓子でたどるフランス史』、岩波書店、岩波ジュニア新書、2013 年。
②ジャン・ピエール＝プーラン、エドモン・ネランク『プロのためのフランス料理の歴史　時代を変えたスーパーシェフと食通の系譜』、山内秀文訳、学習研究社、2005 年。
③北山晴一『世界の食文化⑯　フランス』、農村漁村文化協会、2008 年。

【成績評価の方法と基準】
平常点 50%、期末レポート 50%による総合評価

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】
本授業では、Google Classroom を利用します。履修希望の方は、下記コードを入力して Classroom への参加をお願いいたします。
コード： ltpcb5f

【Outline and objectives】
The purpose of this course is to learn the historical background of the gastronomic culture of France.

LANr200LA

ロシア語３Ｉ

2017 年度以降入学者

土岐　康子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：**1 単位**
文 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本学期では、初級で学んだ基礎をもとに、ロシア語の文章を読み理解していくうえで必要となる文法事項を学び、基本的な文法をひととおり終えることを目指します。

【到達目標】
学んだ文法事項を的確に理解し運用できること、数詞を含む表現を理解し表現できること、関係代名詞を含む文章を読解し日本語に訳せること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講に伴い、各回の授業計画の変更については、学習支援システムでお知らせします。授業は基本的に課題提示 → 課題提出 → 添削、返却などの形になります。授業開始日は 4 月 27 日です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	既習文法の復習	既習文法の確認と復習
2	動詞の体の用法①	動詞の不完了体、完了体の説明
3	動詞の体の用法②	動詞の体の練習と読解
4	関係代名詞	関係代名詞の説明と練習
5	関係副詞	関係詞を含む文章読解
6	数詞を含む表現①	数詞と名詞の結びつきの説明
7	数詞を含む表現②	年齢と年月日の表現の練習
8	数詞を含む表現③	数詞が含まれるテキストの読解
9	比較級	形容詞・副詞の比較級
10	形容詞、副詞の最上級	形容詞・副詞の最上級
11	仮定法	仮定法の説明と用法
12	形容詞・副詞のまとめ	形容詞、副詞関連の総復習
13	既習事項の復習	既習事項のまとめと復習
14	既習事項の確認	既習事項の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
事前に新出単語を調べ、授業で学んだことは復習しましょう。本授業の予習・復習は 2 時間を目安とします。

【テキスト（教科書）】
『初級ロシア語　法政大学ロシア語担当教員編』
辞書を持参すること。

【参考書】
『入門ロシア語文法（改訂版）』和久利誓一、白水社

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となったことに伴い、成績評価の方法を変更します。具体的な方法は授業開始日に学習支援システムで提示します。

【学生の意見等からの気づき】
個々の学生の習熟度を念頭においた授業を心掛けたいと考えています。

【Outline and objectives】
This is a course for students who finished learning Russian for the first grade. The aim of this course is to finish basic grammar. And also strengthen the foundations for reading and understanding Russian texts.

LANr200LA

ロシア語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

土岐　康子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：**1 単位**
文 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
基本文法を終えた学生を対象とした授業です。文章の読解を通して既習事項の確認、定着、応用を目指します。学期の後半では映画や大統領演説などを教材とし、リスニングや会話表現などを学びます。

【到達目標】
辞書を使ってロシア語の文章を理解し、日本語に訳すことができる、文章を正確に音読できる、ロシア語での質問を理解し的確に答えることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各テーマごとに教材を用意します。文章講読では、テキストの音読、日本語への訳出が中心となり、映画教材の場合は、スクリプトの音読が中心となります。
なお、授業の進度によっては予定は変更される可能性があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	文法事項の確認	既習文法の確認と復習
2	文章読解（1）	副動詞が含まれる文章読解
3	文章読解（2）	形動詞が含まれる文章読解
4	文章講読（1）	歴史がテーマの文章講読
5	文章講読（2）	都市がテーマの文章講読
6	文章講読（3）	社会がテーマの文章講読
7	詩を読む	詩の音読練習
8	詩の暗唱	詩の暗唱の試み
9	ロシア映画（1）	音読・リスニング練習
10	ロシア映画（2）	一場面の音読練習
11	ロシア映画（3）	一場面の会話練習
12	ロシア映画（4）	場面ごとの会話練習
13	大統領演説	大統領の新年演説を読む
14	まとめと確認	既習事項のまとめと確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
格変化形は何度も声に出して練習し定着させましょう。本授業の予習・復習は 2 時間を目安とします。

【テキスト（教科書）】
プリント教材（授業で配布します）。
辞書、1 年次に使用した教科書は持参のこと（格変化形の確認のため）。

【参考書】
『入門ロシア語文法（改訂版）』和久利誓一著　白水社

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業参加態度、予習、課題提出などを含む）40 %、学期末試験 60 %の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】
皆さんが発言、質問しやすい授業を心掛けます。

【Outline and objectives】
Through reading comprehension, we aim for confirmation, fixing and application of what we have learned so far. In the second half, learn Russian expression using materials such as movies and speech of president.

LANr200LA

ロシア語３Ⅰ　2017 年度以降入学者

LANr200LA

ロシア語（３）Ⅰ　2017 年度以降入学者

佐藤　裕子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
法 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この春学期でロシア語基礎文法を学び終え、文法力を身につける。辞書を引きながらさまざまなテキストを読解できるようになる。ロシア語能力検定試験４級３級の過去問題や対策問題に取り組み、合格を目指す。リスニングやリーディング力を養い、実際にコミュニケーションで使える日常会話、自己紹介等を習得する。

【到達目標】
教科書のロシア語基礎文法を学び終え、しっかりとした文法力を身につける。特に数詞の表現、関係代名詞や仮定法、比較級などが使いこなせるようになる。基礎文法が対象のロシア語能力検定試験４級３級の過去問題や対策問題に取り組み、合格を目指す。辞書を引き、より高度な文章の和訳ができるようになる。ロシア語テキストを速くきれいに音読できるようになる。実際にコミュニケーションで使える日常会話、自己紹介等を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインで゛の開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムて゛その都度提示します。本授業の開始日は４月２４日（金５）とします。その際に当面の授業形態について説明します。授業支援システムにアンケートを添付します。ご記入ください。（旧シラバス；教科書に沿って、基礎文法を終わらせます。文法を理解し習得、その知識を使いミニテストやロシア語検定試験過去問題を解いていきます。テキストを美しい発音で速く音読し、実際に使える会話の練習を行います。また、テキストの和訳を辞書を使い行います。名詞や形容詞などの変化形を乗り越えられれば、パズルのようなロシア語の文章構造を読み解くことが、おもしろく感じるはずです。CD や DVD でロシア語のリスニングのレッスンも行います。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	一年次の文法の総まとめ	一年次の文法の総まとめ、会話練習
2	第 12 課 動詞の体と時制	動詞の体（完了体、不完了体）と時制
3	第 12 課 完了体と不完了体	練習問題、テキスト音読と和訳、会話練習
4	第 13 課 関係代名詞	関係代名詞とその練習問題
5	第 13 課 関係副詞、接続詞の用法	関係副詞、接続詞 ч т о б ыの文法と練習問題、テキストの音読と和訳
6	12 課と 13 課のまとめと中間試験	検定試験対策も考慮した中間試験（12-13 課対象）
7	第 14 課 数詞	個数詞と順序数詞の音読と筆記、復唱し暗記
8	第 14 課 数詞と名詞の結合	数詞と名詞の結合、ロシア語能力検定試験３級の数詞問題を解く
9	第 14 課 時間・年月日、年齢、値段の表現	時間・年月日、年齢、値段の表現（文法）、練習問題、会話練習
10	第 15 課 比較級	比較級（形容詞と副詞）、比較の対象の表現、ロシア語能力検定試験３級の比較級の問題を解く
11	第 15 課 最上級、仮定法	最上級（形容詞と副詞）、仮定法、名詞の特殊変化
12	検定対策 (１)	発音、代名詞、名詞の複数形、疑問文とその答え、動詞の現在人称変化
13	検定対策 (２)	格変化（名詞、形容詞、人称代名詞、所有代名詞、指示代名詞）
14	期末試験	14-15 課を対象とした試験。検定試験対策も兼ねる。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
積極的に予習（新出単語を調べる、テキストを訳す、練習問題を解く）や復習（文法の復習と暗記、テキストの音読練習）を行う。
ロシア語能力検定試験４級、３級に向けて練習問題を解く。
ロシアの歴史や文学、芸術にも関心をもち調べる。NHK ロシア語講座などでリスニングの練習をする。
本授業の準備・復習時間は各１時間以上を標準とする。

【テキスト（教科書）】
『初級ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員編）

【参考書】
・『入門ロシア語文法』和久利誓一著、白水社、1970 年、￥1404
・露和辞典（博友社ロシア語辞典（1995 年、￥6291）が望ましい）
・『ロシア語能力検定試験合格への手引きー３級・４級対策問題集ー』北岡千夏、三浦由香里、横井幸子著、南雲堂フェニックス、2005 年、￥1620

【成績評価の方法と基準】
オンライン授業の場合、テストではなく、平常点（授業への参加度、予習復習などの学習への取り組み姿勢、課題の提出）で評価します。課題は、練習問題、和訳、露訳などです。また、記憶を定着させるための暗唱や音読などの音声を提出してもらい、その評価も加味する予定です。詳細は今後、授業支援システムでご確認ください。

【学生の意見等からの気づき】
ロシア語能力検定試験対策の時間を増やしたいと思います。

【その他の重要事項】
授業計画は、学生の習熟度により変更があり得ます。

【Outline and objectives】
The goals of this course are: 1) to finish learning basic Russian grammar; 2) to be able to read various texts with the help of a dictionary; 3) to develop your listening and reading skills and master daily conversation, self-introductions, etc., that you can actually use for communication. You will also aim to pass the Russian language proficiency test at levels 3 and 4.

LANr200LA

ロシア語３Ⅱ　2017 年度以降入学者

LANr200LA

ロシア語（３）Ⅱ　2017 年度以降入学者

佐藤　裕子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
法 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
既習のロシア語基礎文法を復習・整理し、使いこなせるようになる。その力試しにロシア語能力検定試験４級３級の合格を目指す。より高度なテキストを読み解くため、中級文法を習得する。リスニングやリーディング力を養い、実際に使える日常会話、自己紹介等を身につける。ロシアの歴史文化の映画や DVD、ニュースなどの視聴覚教材を通じロシア語力とロシアに関する知識を深める。

【到達目標】
基礎文法を整理、記憶し、確実に自身のものとする。ロシア語能力検定試験４級３級の合格を目指す。より高度なテキストを読解するため、中級文法を習得する。その文法を用いて、ロシアの歴史や文化、文学作品やニュースなど、さまざまなテキストを辞書を引き訳せるようになる。また、リスニングや、テキストをきれいな発音で速く音読できること、ロシア語の実践会話、和訳や露訳など、「聴く、読む、話す、書く」の総合的な語学力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業では，まずは 10 月に開催されるロシア語能力検定試験４級、３級の合格を目指し、基礎文法の復習と習得を完成させます。過去問や対策問題を解いていきます。また，速く美しい発音でのリーディング練習、CD や DVD（映画，ニュース等）などでロシア語をリスニングしていきます。皆さんの理解度に合わせてテキストを用意します。世界最高峰のロシア文学なども，一緒に読み解いていきましょう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	基礎文法の復習	教科書での基礎文法の復習。格変化習得（名詞、形容詞、所有代名詞、指示代名詞）
2	ロシア語能力検定試験対策（４級、３級）１	動詞の変化（現在人称変化、過去形、未来形、命令形）、比較級
3	ロシア語能力検定試験対策（４級、３級）２	運動の動詞（定向動詞と不定向動詞）、数詞（数詞と名詞の結合）
4	ロシア語能力検定試験対策（４級、３級）３	露文和訳、和文露訳、リスニング練習
5	中級文法（副動詞）	中級文法の学習と練習問題（副動詞），テキスト読解
6	中級文法（能動形動詞）	中級文法の学習と練習問題（能動形動詞），テキスト読解
7	中級文法（被動形動詞）	中級文法の学習と練習問題（被動形動詞），テキスト読解
8	ニュースのリスニングと和訳	テキスト読解（ロシアの新聞や雑誌）、映像資料（ニュース）のリスニング
9	テキスト読解と和文露訳１	テキスト読解（ロシアの民話や歴史など）、ロシア語作文
10	テキスト読解と和文露訳２	テキスト読解とロシア語作文（日本紹介や手紙など）
11	テキスト読解とその映像資料のリスニング１	テキスト読解（ロシア文学作品；チェーホフ）、映像資料（映画）のリスニング
12	テキスト読解とその映像資料のリスニング２	（ロシア文学作品；ドストエフスキー）、映像資料（映画）のリスニング
13	テキスト読解とその映像資料のリスニング３	テキスト読解（ロシア文学作品；トルストイ）、映像資料（映画）のリスニング
14	授業内試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・授業での配布テキストの和訳を済ませ、授業に臨む。・5 月と 10 月に開催されるロシア語能力検定試験に向けて基礎文法を復習し、過去問題と対策問題に取り組む。・文法では特に副動詞と形動詞の練習問題を解く。・NHK ロシア語講座（テレビとラジオ）やインターネットでロシアのニュースを聴くなど、日頃からロシア語に触れる。本授業の予習・復習、検定対策時間は各１時間以上を標準とする。

【テキスト（教科書）】
・『初級ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員編）
・その他のテキストとして，適時プリントを配布します。

【参考書】
・『入門ロシア語文法』和久利誓一著、白水社、1970 年、￥1404
・『ロシア語能力検定試験合格への手引きー３級・４級対策問題集ー』北岡千夏、三浦由香里、横井幸子著、南雲堂フェニックス、2005 年、￥1620
・露和辞典（博友社ロシア語辞典（1995 年、￥6291 が望ましい）

【成績評価の方法と基準】
秋学期の最終週に授業内試験を行います。この試験結果が評価の 60 %となります。その他に小テストや授業への参加度、取り組みの姿勢（宿題、予習や復習を含む）などの平常点を 40 %とし、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
ロシア語能力検定試験合格というひとつの目標ができたことが良かったという感想がありました。

【その他の重要事項】
授業計画は、学生の習熟度により変更があり得ます。
10 月か翌年５月のロシア語能力検定試験４級か３級いずれかの受験に挑戦してください。

【Outline and objectives】
You will review, order, and master the basic Russian grammar you have already learned and aim to acquire the ability to pass the Russian language proficiency test at levels 3 and 4. To understand more advanced texts, you will master intermediate grammar. By fostering your listening and reading skills, you will acquire ordinary conversational ability that can be used to actually introduce yourself, etc. You will deepen your knowledge of Russian using audiovisual teaching materials such as movies and DVDs of Russian history, culture, and news.

LANr200LA

ロシア語３Ｉ

2017 年度以降入学者

長屋　房夫

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**1 単位**
営 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ロシア語を学んで 1 年経ちました。これまでの復習、そして残っている文法をなるべく早く終えましょう。
　外国語学習で最も大事な辞書も頻繁に活用して語彙数を増加させ、さらに文法を理解するようになりましたので、会話の訓練も行います。実践的な学習にしたいと思います。

【到達目標】
新聞やネットなどのロシア語短文にも挑戦できる力をつける。辞書を用いて読解できるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストを通じロシア語を読み、書き、そして簡単な会話ができるように、音読に力を入れます

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習 1	これまでの復習（運動の動詞、名詞の前置格、対格、生格）
2	復習２	これまでの復習（名詞の与格と造格）
3	第１２課　動詞の完了体、不完了体	完了体と不完了体の文法説明
4	第１２課　動詞の体と時制	第 12 課の「体と時制」、テキストの解読と文法説明
5	第１２課	会話の読解と練習問題の答え合わせ、文法の復習
6	第１３課　関係代名詞、関係副詞	関係代名詞と関係副詞の文法説明
7	第１３課	テキストと会話の読解
8	第 14 課　数詞と時間	文法：数詞と名詞の結びつき、個数詞と順序数詞を覚える
9	第 14 課　数詞と時間（年月日の表現、年齢の表現など）	年月日の表現、年齢の表現などの文法説明、テキストの読解
10	第 14 課　会話と練習問題	会話の読解、練習問題の答え合わせ、文法説明
11	第 15 課　比較級、最上級、仮定法	比較級、最上級、仮定法の文法説明
12	第 15 課　テキスト、会話、練習問題	テキスト、会話の読解、練習問題の答え合わせ、文法説明
13	春期の総復習	春期に学んだ範囲の総復習
14	春学期試験	授業内試験（１時間）・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
ネットなどを用いてロシア語に関する新聞・雑誌等の記事を読み、ロシア語だけでなく、ロシアのことに関心を持ちましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
1 年生から継続して用いる教科書（法政大学ロシア語担当教員編）「入門ロシア語文法」和久利誓一著、白水社

【参考書】
参考書は使用しないが、露和辞書の入手が好ましい。ネットにも幾つかのサイトで辞書が使用可能： Yaku.ru など

【成績評価の方法と基準】
学期の最終日に授業内筆記試験を行います。試験（60 %）、中間テスト、宿題（20 %）、平常点（20 %）

【学生の意見等からの気づき】
小テスト（単語・短文暗記など）を実施する

【その他の重要事項】
語学の継続性を重視しますので、正当な理由無くして３回以上欠席した学生は授業内受験の資格を失います。（授業の中で詳しく説明します）

【Outline and objectives】
A year has passed since we learned Russian. Let's finish our review and the grammar that remains as quickly as possible. We often use the most important dictionaries for foreign language learning to increase the number of vocabulary, and since we have come to understand grammar, we will also carry out conversation training. I want to make it practical learning.

LANr200LA

ロシア語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

長屋　房夫

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**1 単位**
営 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
基本的な文法を終えたので、配布するテキストの読解に入ります。今まで学んだ文法を文章の中で確認し復習、また新たな構文を学習して理解する

【到達目標】
新しい単語や文法の学習。会話にも慣れる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
辞書を用いてテキストの読みと訳を確実にできるようにするため、多くのテキストを読み込む

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習 1	春学期の復習（１２課～13 課）数詞と順序数詞の復習
2	復習 2	春学期の復習（14 課～15 課）数詞と順序数詞の復習・暗記
3	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説
4	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説
5	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説、形動詞について
6	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。能動形動詞現在と過去
7	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。被動形動詞の現在と過去
8	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。被動形動詞過去単語尾形について
9	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。副動詞について
10	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説
11	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説
12	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説
13	秋学期の総復習	もう一度困難な文章などを復習する
14	秋学期試験	授業内試験（1 時間）・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
ロシア語に関する新聞・雑誌等の記事に慣れ親しむ。ロシアのニュースや文化に関心を持つ。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業用のプリントを配布します

【参考書】
「入門ロシア語文法」和久利誓一著、白水社
このほかに露和辞書を入手するか、ネットの辞書サイトを利用して語彙を学ぶ： Yaku.ru など。

【成績評価の方法と基準】
授業最終日に試験を行なう。試験（60 %）、中間テスト・宿題回答（20 %）、平常点（20 %）で評価します

【学生の意見等からの気づき】
中間テスト（単語や短文の暗記など）を実施する

【その他の重要事項】
語学の継続性を重視しますので、正当な理由無くして３回以上欠席した学生は授業内受験の資格を失います。（授業の中で詳しく説明します）

【Outline and objectives】
Now that you have completed the basic grammar, you can start reading the text you are distributing.to confirm and review the grammar one has learned so far in writing and to learn and understand new syntax

LANr200LA

ロシア語４Ｉ

2017 年度以降入学者

木部　敬

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
1 年次に学んだ初級文法を復習し、残りの文法の学習を終える（特に名詞・形容詞・所有代名詞の単数形および複数形の格変化をすべてマスターする）。それらを基礎に、簡単な文章の読解や暗唱を行う。

【到達目標】
辞書等を用いながら、自分自身の力でロシア語の文章を理解できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期はオンラインでの開講となります。これにともなう授業計画の変更については、学習支援システムで順次提示するので、同システムの情報を常に確認するようにしてください。本授業の開始日は 5 月 6 日水曜とします。この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示します。
テキストを各自で読解し、それに関して教師が解説やコメントを与える。テキストの意味が分かるだけでなく、それを暗記して語彙力や読解力を養う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	「アーニャとユーラが話しています」その１	前置格（単数形と複数形）
2	「アーニャとユーラが話しています」その２	テキストの暗記
3	「ユーラとお母さんのニーナが話しています」その１	対格（単数形と複数形）
4	「ユーラとお母さんのニーナが話しています」その２	テキストの暗記
5	「文夫がサモワールについて尋ねています」その１	生格（単数形と複数形）
6	「文夫がサモワールについて尋ねています」その２	テキストの暗記
7	「文夫と美紀の多忙な毎日」その１	形容詞の短語尾形
8	「文夫と美紀の多忙な毎日」その２	テキストの暗記
9	「ニーナとイーゴリの夫妻が話しています」その１	与格（単数形と複数形）および無人称述語
10	「ニーナとイーゴリの夫妻が話しています」その２	テキストの暗記
11	「夏休みの計画」その１	無人称文
12	「夏休みの計画」その２	テキストの暗記
13	復習	期末試験の想定問題
14	期末試験、まとめと解説	文法問題、露文和訳、和文露訳

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて２時間を標準とする。テキスト読解に関しては、自分で辞書を引き、文法的な事項を勘案しながら、文章の意味を正確に探り当てるよう予習しなければならない。この予習を前提に、理解したテキストを暗記するよう努力する。また、文法ないし暗記の小テストを毎回受けること。

【テキスト（教科書）】
１年次より継続のテキスト（「ロシア語初級」法政大学ロシア語教員編）。また、別のテキストをプリントで配布する。

【参考書】
「入門ロシア語文法」和久利誓一著、白水社

【成績評価の方法と基準】
春学期がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更します。具体的な方法と基準は、5 月 6 日の授業開始以降、学習支援システムで提示します。以下は変更前の方法と基準です。参考にしてください。
文法の知識と読解力を問う期末テスト（80 %）および平常点（20 %）。平常点は小テストの評価が主である。

【学生の意見等からの気づき】
より一層音声教材を活用する。

【Outline and objectives】
Russian Reading Part1. The aim of this course is to learn to read easy Russian texts, and to memorize them all in order to increase your vocabulary and reading skills.

LANr200LA

ロシア語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

木部　敬

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
1 年次には学ばなかった新たな文法の学習に取り組む。また、引き続き名詞・形容詞・所有代名詞の単数形および複数形の格変化をすべてマスターするよう努める。これらの学習に基づき、より本格的にテキスト読解の練習を行う。

【到達目標】
書籍・新聞・雑誌やネット上の文章から、最低限の情報を得ることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストを各自で読解し、それに関して教師が解説やコメントを与える。テキストの意味が分かるだけでなく、それを暗記して語彙力や読解力を養う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	「イワンがおなかをこわしたようです」その１	否定生格
2	「イワンがおなかをこわしたようです」その２	テキストの暗記
3	「ニキーチン先生の問わず語り」その１	造格（単数形と複数形）
4	「ニキーチン先生の問わず語り」その２	テキストの暗記
5	「美紀がナターシャとメッセージを交換しています」その１	動詞の不完了体と完了体
6	「美紀がナターシャとメッセージを交換しています」その２	テキストの暗記
7	「学生たちの会話」その１	関係代名詞および形容詞の比較級
8	「学生たちの会話」その２	テキストの暗記
9	「コートを買いに」その１	数詞の表現
10	「コートを買いに」その２	テキストの暗記
11	「ニーナが映画監督に電話しています」その１	仮定法
12	「ニーナが映画監督に電話しています」その２	テキストの暗記
13	復習	期末試験の想定問題
14	期末試験、まとめと解説	文法問題、露文和訳、和文露訳

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて２時間を標準とする。自分で辞書を引き、文法的な事項を勘案しながら、文章の意味を正確に探り当てるよう予習しなければならない。この予習を前提に、理解したテキストを暗記するよう努力する。また、文法ないし暗記の小テストを毎回受けること。

【テキスト（教科書）】
１年次より継続のテキスト（「ロシア語初級」法政大学ロシア語教員編）。また、別のテキストをプリントで配布する。

【参考書】
「入門ロシア語文法」和久利誓一著、白水社

【成績評価の方法と基準】
文法の知識と読解力を問う期末テスト（80 %）および平常点（20 %）。平常点は小テストの評価が主である。

【学生の意見等からの気づき】
より一層音声教材を利用する。

【Outline and objectives】
Russian Reading Part2. The aim of this course is to read easy Russian texts and to memorize them all in order to increase your vocabulary and reading skills. At the end of the course you will be able to master the whole basic grammar, especially nouns, adjectives and possessive pronouns in the all cases singular and plural.

LANr200LA

ロシア語４Ｉ

2017 年度以降入学者

土岐　康子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文章読解などを通じて基本文法や基本的な構文を定着させ、未習の文法事項を学び基本的な文法の修得を目指します。さらに、音読や会話のロールプレイなどを通じて、話す、聴く力を伸ばす練習も行います。

【到達目標】
既習文法を理解し運用できること、辞書を用いてロシア語の文章を理解し日本語に訳せること、ロシア語での質問を理解し、それに適切に答えられること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講になるのに伴い、各回の授業計画の変更については、学習支援システムでお知らせします。基本的に課題提示 → 課題提出 → 添削、返却という授業の形になります。授業開始日は 4 月 23 日です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	既習文法の復習（1）	格変化の復習（名詞）
2	既習文法の復習（2）	格変化の復習（形容詞など）
3	動詞（1）	動詞関連の文法事項の確認
4	動詞（2）	動詞の完了体・不完了体
5	複文（1）	関係代名詞を含む複文の読解
6	複文（2）	接続詞を含む複文の読解
7	数詞（1）	数詞と時間の表現
8	数詞（2）	年齢の表現など
9	数詞（3）	年月日の表現
10	数詞（4）	数詞を含むその他の表現
11	形容詞・副詞の比較級	形容詞・副詞の比較級
12	形容詞・副詞の最上級	形容詞・副詞の最上級
13	仮定法	仮定法を用いた表現
14	まとめと確認	既習事項のまとめと確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
新出単語は事前に辞書で意味を確認し、授業で学んだことは復習すること。格変化形や動詞の活用は意識して覚えること。本授業の予習・復習は 2 時間を目安とします。

【テキスト（教科書）】
『初級ロシア語』法政大学ロシア語担当教員編
その他適宜プリントを配布します。辞書は持参すること。

【参考書】
『入門ロシア語文法（改訂版）』和久利誓一著　白水社

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となったことに伴い、成績評価の方法を変更します。具体的には授業開始日に学習支援システムでお知らせします。

【学生の意見等からの気づき】
皆さんが質問や発言のしやすい授業を心掛けます。

【Outline and objectives】
This is a course for students who finished learning Russian for the first grade. The aim of this course is get used to Russian through reading,writing and speaking.

LANr200LA

ロシア語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

土岐　康子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文章の読解を通して既習事項の確認、定着、応用を目指します。また、学期の後半には映画など視聴覚教材を用いて、生のロシア語に触れる機会を作ります。ロシアに対する理解を深めることもこ目的の一つです。

【到達目標】
辞書を使ってロシア語の文章を読み、理解し、日本語に訳すことができる。ロシア語のテキストを正確に音読できる、簡単な会話表現を理解でき、的確に応えることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
文章講読の場合は、テキストの音読、日本語への訳出、内容についての質疑応答が中心となり、視聴覚教材を利用する場合は、音読が中心となります。なお、授業の進度によっては予定は変更される可能性があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	文法事項の確認	既習文法事項の確認
2	文章読解（1）	副動詞が含まれる文章読解
3	文章読解（2）	能動形動詞が含まれる文章読解
4	文章読解（3）	被動形動詞が含まれる文章読解
5	文章講読（1）	歴史に関する文章を読む
6	文章講読（2）	社会に関する文章を読む
7	ロシア文学（1）	昔話を読む
8	ロシア文学（2）	文学作品を読む試み
9	ロシア映画（1）	リスニング練習
10	ロシア映画（2）	一場面の音読練習
11	ロシア映画（3）	一場面の会話練習
12	ロシア映画（4）	内容を文章にする試み
13	演説	政治家の演説を読む
14	まとめと確認	既習事項のまとめと確認。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業で示された課題はやってくること。格変化形や動詞の活用は意識して覚えること。本授業の予習・復習は 2 時間を目安とします。

【テキスト（教科書）】
プリント教材（授業で配布します）。
辞書、格変化表、参考書は持参してください。

【参考書】
『入門ロシア語文法（改訂版）』和久利誓一著　白水社

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業参加態度、予習、課題提出などを含む）40 %、学期末試験 60 %の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】
皆さんが積極的に参加できるような授業を心掛けます。

【Outline and objectives】
Through reading comprehension, we aim for get used to Russian texts with various themes. And learn conversation and speech expression using materials such as movies and TV programs.

LANr200LA

ロシア語５Ｉ

2017 年度以降入学者

三神　エレーナ

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ロシア語文法知識を活かせて実際にロシア語でコミュニケーションをしたい方のための授業です。テーマごとにロシア語の表現を学び、実践的に練習します。授業にはロシア語で「読む・書く・聴く・話す」能力を総合的に伸ばします。その他に、ロシアの生活文化や習慣にも触れます。

【到達目標】
日常場面においてロシア語の簡単な会話ができることを目指します。ロシア旅行などの場合にロシア語を使って、ロシア人とのコミュニケーションをとれることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期には、挨拶、紹介、家族、職業や天気などの会話表現を学びます。テキストのもとで表現を学習し、聞き取り練習と会話の実践を行います。ロシア語を使うことによって単語、表現、文法も覚えます。
【更新事項】春学期の少なくとも前半はオンラインで゛の開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムで゛その都度提示する。本授業の開始日は 4 月 21 日とする。具体的なオンライン授業の方法など゛を、学習支援システムで゛提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	「お名前は？ お国はどこですか。お仕事は？」	リスニング、会話練習
2	「私の家族」	リスニング、会話練習
3	「今何をしていますか。」	リスニング、会話練習
4	「私の一日」-1	リスニング、会話練習
5	「私の一日」-2	リスニング、会話練習
6	「何時にあいましょうか。」	リスニング、会話練習
7	「どこに住んでいますか。」	リスニング、会話練習
8	「ロシア語でしゃべりますか。」	リスニング、会話練習
9	「ロシアに行ったことがありますか。」	リスニング、会話練習
10	「天気」	リスニング、会話練習
11	「私の休暇旅行。」	リスニング、会話練習
12	「私の一週間」	リスニング、会話練習
13	「何ができますか。」	リスニング、会話練習
14	春学期の復習	リスニング、会話練習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回宿題があります。単語の暗記も必要です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
学習支援システムでプリントを配布します。

【参考書】
『初級ロシア語』法政大学

【成績評価の方法と基準】
テーマごとの宿題や小テスト　50 %、平常点　50 %
【更新事項】 春学期の少なくとも前半が゛オンラインで゛の開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、学習支援システムで゛提示する。

【学生の意見等からの気づき】
成績評価は学習状況や参加度を重視することになりました。

【その他の重要事項】
実際の授業状況や学生の能力に応じて授業スケジュールは変更できます。

【Outline and objectives】
The main objective of the course is to enable students to develop the basic ability to communicate in Russian in everyday situations. The students will develop an understanding of practical Russian grammar and widely improve their Russian listening and conversation skills.

LANr200LA

ロシア語５Ⅱ

2017 年度以降入学者

三神　エレーナ

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 **年**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ロシア語文法知識を活かせて実際にロシア語でコミュニケーションをしたい方のための授業です。場面ごとにロシア語の表現を学び、実践的に練習します。授業にはロシア語で「読む・書く・聴く・話す」能力を総合的に伸ばします。その他に、ロシアの生活文化や習慣にも触れます。

【到達目標】
日常場面においてロシア語の簡単な会話ができることを目指します。ロシア旅行などの場合にロシア語を使って、ロシア人とのコミュニケーションをとれることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
秋学期には食事、趣味、家、旅行などの会話表現を学びます。テキストのもとで表現を学習し、聞き取り練習と会話の実践を行います。ロシア語を使うことによって単語、表現、文法も覚えます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	前学期復習	リスニング、会話練習
2	「趣味」	リスニング、会話練習
3	「モスクワ」-1	リスニング、会話練習
4	「モスクワ」-2	リスニング、会話練習
5	「買い物」-1	リスニング、会話練習
6	「買い物」-2	リスニング、会話練習
7	「お食事」	リスニング、会話練習
8	「ダイエット」	リスニング、会話練習
9	「私の家」-1	リスニング、会話練習
10	「私の家」-2	リスニング、会話練習
11	「いつも通うところ」	リスニング、会話練習
12	「旅行」-1	リスニング、会話練習
13	「旅行」-2	リスニング、会話練習
14	秋学期の復習	リスニング、会話練習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回宿題があります。単語の暗記も必要です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
プリントを配布します。

【参考書】
『初級ロシア語』法政大学

【成績評価の方法と基準】
テーマごとの宿題や小テスト　50 %、平常点　50 %

【学生の意見等からの気づき】
成績評価は学習状況や参加度を重視することになりました。

【その他の重要事項】
実際の授業状況や学生の能力に応じて授業スケジュールは多少変更できます。

【Outline and objectives】
The main objective of the course is to enable students to develop the basic ability to communicate in Russian in everyday situations. The students will develop an understanding of practical Russian grammar and widely improve their Russian listening and conversation skills.

LANr200LA

ロシア語７

2017 年度以降入学者

佐藤　千登勢

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
国 2 年 SA

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
1 年次に学んだロシア語文法を復習しながら、新たな文法事項（関係副詞／比較級・最上級／形動詞・副動詞など）を学んでいき、ロシア語文法の基礎をひととおり完成させることになります。

【到達目標】
辞書があればロシア語の文章を読めるようになる段階を目指すべく長文を読む機会を多くもうけて、文法の基礎力の充実と語彙力の増大に努めます。コミュニケーションの上でも、文法力と語彙力は不可欠です。ロシアで生活しても困らないレヴェルのロシア語力の獲得が最終的な目標となります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
まだ学習していないロシア語文法のいくつかの事項を練習問題を重ねつつ、学んでいきます。その後、ロシアの生活習慣や行事、文化をテーマとした長文の読解に入っていきます。ロシア語の文法、文章の構造を確認しながら読み進め、同時に、ロシアの文化についても知識を得て、SA ロシアに備えます。毎回、ロシアの文化について触れることができる映像を鑑賞する時間ももちます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンスとロシア語文法の復習	既習文法の復習を練習問題を通して行う。映像鑑賞。
第 2 回	関係代名詞	関係代名詞の復習
第 3 回	関係副詞、目的を示す接続詞	関係副詞、目的を示す接続しを使った文章の概説
第 4 回	比較級	比較級の作り方と使い方。練習問題
第 5 回	比較級・最上級	比較級の復習と最上級について
第 6 回	副動詞	副動詞（現在と過去）の概説。練習問題を通して形動詞に慣れる。
第 7 回	副動詞・形動詞	副動詞の復習と形動詞の概説。能動形動詞（不完了体）のつくりかたと練習問題。
第 8 回	形動詞	能動形動詞（完了体）のつくりかたと練習問題。
第 9 回	形動詞	受動形動詞（不完了体と完了体）のつくりかたと練習問題。
第 10 回	形動詞	受動形動詞（完了体）のつくりかたと練習問題。
第 11 回	形動詞	受動形動詞（完了体）のつくりかたと練習問題。
第 12 回	長文読解：ロシアの祝日について (1)	ロシアの国民の祝日や宗教行事について知る文章を文法、文の構造、語彙に留意しながら丁寧に読んでいく。
第 13 回	長文読解：ロシアの祝日について (2)	ロシアの国民の祝日や宗教行事について知る文章を文法、文の構造、語彙に留意しながら丁寧に読んでいく。
第 14 回	学期末試験	ロシア語文法の総復習をかねて、試験を行う。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
配付プリントの予習。適宜、課題も出すので必ず提出してください。また、長文読解に際しては、辞書を引く労を惜しまずに、「自分の単語帳」を作って語彙力の増大に励んで下さい。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
学習支援システムを介してプリントを配付します。

【参考書】
学習支援システムで紹介します。

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンライン開講となったことに伴い、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。授業開始日は 4 月 24 日（金）10 時 40 分～、学習支援システムにて。

【学生の意見等からの気づき】
習得に困難な文法事項を学び、文法の総仕上げをする授業となりますが、平易に教えるよう努めます。

【Outline and objectives】
This course proceeds in close contact with course: Russian 8.
In this course, we will acquire basics of Russian grammar: relative adverb, comparative degree, superlative degree and participial construction. We will be able to read easy texts and have simple conversations in Russian. We will complete the basic grammar of Russian!

LANr200LA

ロシア語８

2017 年度以降入学者

長屋　房夫

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**1 単位**
国 2 年 SA

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ロシア語の読解と会話を両立させるために、残されている教科書の基本的な文法を終え、配布するプリントでより実践的なロシア語に触れ、会話に役立てる

【到達目標】
教科書「初級ロシア語」にない副動詞、形動詞を学び、同時に進んで会話ができるようになるための授業にする。ネットの記事を読解できるように語彙を増すことを目的とします

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
教科書を終えるまでは 2 人の先生がリレー方式で授業を進め、教科書を終えたら配布するプリントの読解、文法説明を行う。習得レベルによって下記授業計画より速く進む場合があります

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	授業のガイダンスと復習	今までに学んだロシア語の復習、特に完了体と不完了体動詞について
2	第 13 課	関係代名詞と関係副詞 個数詞の暗記
3	第 13 課	テキスト、会話、練習問題、順序数詞の暗記
4	第 14 課	数詞、時間（個数詞と名詞の結合）時間の表現、年月日の表現、年齢の表現、値段の表現
5	第 14 課	テキストの読解、会話、練習問題の答え合わせと文法復習
6	第 15 課	比較級、最上級、仮定法
7	第 15 課	テキスト、会話の読解、文法説明、練習問題
8	配布プリント	プリントの読解と文法説明、無人称文を学ぶ
9	配布プリント	プリントの読解と文法説明、形動詞（能動形動詞現在と過去）
10	配布プリント	プリントの読解と文法説明、形動詞（被動形動詞現在と過去）
11	配布プリント	プリントの読解と文法説明、（被動形動詞現在と過去）
12	配布プリント	プリントの読解と文法説明、被動形動詞過去短語尾形
13	春学期総復習	教科書とプリントの授業を復習する
14	春学期の試験	授業内筆記試験（1 時間）・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回宿題を課しますので各自で予習する。教科書・プリントのテキストに出てくる新出単語は予習する。読みと発音を繰り返し行う。文章暗記も会話には必要なので短文の暗記を行う。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
「初級ロシア語」（法政大学ロシア語担当教員編）
プリントを教科書とする

【参考書】
「入門ロシア語文法」和久利誓一著、白水社
このほかに露和辞書を入手するか、ネットの辞書サイトを利用して語彙を学ぶ： Yaku.ru など

【成績評価の方法と基準】
期末試験（60 %）、中間テスト・宿題（20 %）、平常点（20 %）で評価して 60 点以上が合格

【学生の意見等からの気づき】
文章暗記と単語の小テストを行う

【その他の重要事項】
語学の継続性を重視しますので、正当な理由無くして３回以上欠席した学生は授業内受験の資格を失います。（授業内で説明します）

【Outline and objectives】
In order to balance reading comprehension and conversation in Russian, the basic grammar of the remaining textbooks is finished, and the printed copies are distributed to touch the more practical Russian language and to use it for conversation.

LANr200LA

ロシア語３-Ⅰ

2017 年度以降入学者

佐藤　裕子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この春学期でロシア語基礎文法を学び終え、文法力を身につける。辞書を引きながらさまざまなテキストを読解できるようになる。ロシア語能力検定試験４級３級の過去問題や対策問題に取り組み、合格を目指す。リスニングやリーディング力を養い、実際にコミュニケーションで使える日常会話、自己紹介等を習得する。

【到達目標】
教科書のロシア語基礎文法を学び終え、しっかりとした文法力を身につける。特に数詞の表現、関係代名詞や仮定法、比較級などが使いこなせるようになる。基礎文法が対象のロシア語能力検定試験４級３級の過去問題や対策問題に取り組み、合格を目指す。辞書を引き、より高度な文章の和訳ができるようになる。ロシア語テキストを速くきれいに音読できるようになる。実際にコミュニケーションで使える日常会話、自己紹介等を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインで゛の開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムて゛その都度提示します。本授業の開始日は４月２２日（水５）とします。その際に今後の授業形態についてご相談しましょう。授業支援システムにアンケートを添付します。ご記入ください。（旧シラバス；教科書に沿って、基礎文法を終わらせます。文法を理解し習得、その知識を使いミニテストやロシア語検定試験過去問題を解いていきます。テキストを美しい発音で速く音読し、実際に使える会話の練習を行います。また、テキストの和訳を辞書を使い行います。名詞や形容詞などの変化形を乗り越えられれば、パズルのようなロシア語の文章構造を読み解くことが、おもしろく感じるはずです。CD や DVD でロシア語のリスニングのレッスンも行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	一年次の文法の総まとめ	一年次の文法の総まとめ、会話練習
2	第 12 課 動詞の体と時制	動詞の体（完了体、不完了体）と時制
3	第 12 課 完了体と不完了体	練習問題、テキスト音読と和訳、会話練習
4	第 13 課 関係代名詞	関係代名詞とその練習問題
5	第 13 課 関係副詞、接続詞の用法	関係副詞、接続詞ｃｔｏｂｙの文法と練習問題、テキストの音読と和訳
6	12 課と 13 課のまとめと中間試験	検定試験対策も考慮した中間試験（12-13 課対象）
7	第 14 課 数詞	個数詞と順序数詞の音読と筆記、復唱し暗記
8	第 14 課 数詞と名詞の結合	数詞と名詞の結合、ロシア語能力検定試験３級の数詞問題を解く
9	第 14 課 時間・年月日、年齢、値段の表現	時間・年月日、年齢、値段の表現（文法）、練習問題、会話練習
10	第 15 課 比較級	比較級（形容詞と副詞）、比較の対象の表現、ロシア語能力検定試験３級の比較級の問題を解く
11	第 15 課 最上級、仮定法	最上級（形容詞と副詞）、仮定法、名詞の特殊変化
12	検定対策 (１)	発音、代名詞、名詞の複数形、疑問文とその答え、動詞の現在人称変化
13	検定対策 (２)	格変化（名詞、形容詞、人称代名詞、所有代名詞、指示代名詞）
14	期末試験	14-15 課を対象とした試験。検定試験対策も兼ねる。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
積極的に予習（新出単語を調べる、テキストを訳す、練習問題を解く）や復習（文法の復習と暗記、テキストの音読練習）を行う。
ロシア語能力検定試験４級、３級に向けて練習問題を解く。
ロシアの歴史や文学、芸術にも関心をもち調べる。NHK ロシア語講座などでリスニングの練習をする。
本授業の準備・復習時間は各１時間以上を標準とする。

【テキスト（教科書）】
『初級ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員編）

【参考書】
・『入門ロシア語文法』和久利誓一著、白水社、1970 年、￥1404
・露和辞典（博友社ロシア語辞典（1995 年、￥6291）が望ましい）
・『ロシア語能力検定試験合格への手引きー３級・４級対策問題集ー』北岡千夏、三浦由香里、横井幸子著、南雲堂フェニックス、2005 年、￥1620

【成績評価の方法と基準】
オンライン授業の場合、テストではなく、平常点（授業への参加度、予習復習などの学習への取り組み姿勢、課題の提出）で評価します。課題は、練習問題、和訳、露訳などです。また、記憶を定着させるための暗唱や音読などの音声を提出してもらい、その評価も加味する予定です。詳細は今後、授業支援システムでご確認ください。

【学生の意見等からの気づき】
ロシア語能力検定試験対策の時間を増やしたいと思います。

【その他の重要事項】
授業計画は、学生の習熟度により変更があり得ます。
10 月か翌年５月のロシア語能力検定試験４級か３級合格に向けて準備を進めて下さい。

【Outline and objectives】
The goals of this course are: 1) to finish learning basic Russian grammar; 2) to be able to read various texts with the help of a dictionary; 3) to develop your listening and reading skills and master daily conversation, self-introductions, etc., that you can actually use for communication. You will also aim to pass the Russian language proficiency test at levels 3 and 4.

LANr200LA

ロシア語３-Ⅱ

2017 年度以降入学者

佐藤　裕子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
既習のロシア語基礎文法を復習・整理し、使いこなせるようになる。その力試しにロシア語能力検定試験４級３級の合格を目指す。より高度なテキストを読み解くため、中級文法を習得する。リスニングやリーディング力を養い、実際に使える日常会話、自己紹介等を身につける。ロシアの歴史文化の映画や DVD、ニュースなどの視聴覚教材を通じロシア語力とロシアに関する知識を深める。

【到達目標】
基礎文法を整理、記憶し、確実に自身のものとする。ロシア語能力検定試験４級３級の合格を目指す。より高度なテキストを読解するため、中級文法を習得する。その文法を用いて、ロシアの歴史や文化、文学作品やニュースなど、さまざまなテキストを辞書を引き訳せるようになる。また、リスニングや、テキストをきれいな発音で速く音読できること、ロシア語の実践会話、和訳や露訳など、「聴く、読む、話す、書く」の総合的な語学力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
この授業では，まずは 10 月に開催されるロシア語能力検定試験４級、３級の合格を目指し、基礎文法の復習と習得を完成させます。過去問や対策問題を解いていきます。また，速く美しい発音でのリーディング練習、CD や DVD（映画，ニュース等）などでロシア語をリスニングしていきます。皆さんの理解度に合わせてテキストを用意します。世界最高峰のロシア文学なども，一緒に読み解いていきましょう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	基礎文法の復習	教科書での基礎文法の復習。格変化習得（名詞、形容詞、所有代名詞、指示代名詞）
2	ロシア語能力検定試験対策（４級、３級）１	動詞の変化（現在人称変化、過去形、未来形、命令形）、比較級
3	ロシア語能力検定試験対策（４級、３級）２	運動の動詞（定向動詞と不定向動詞）、数詞（数詞と名詞の結合）
4	ロシア語能力検定試験対策（４級、３級）３	露文和訳、和文露訳、リスニング練習
5	中級文法（副動詞）	中級文法の学習と練習問題（副動詞），テキスト読解
6	中級文法（能動形動詞）	中級文法の学習と練習問題（能動形動詞），テキスト読解
7	中級文法（被動形動詞）	中級文法の学習と練習問題（被動形動詞），テキスト読解
8	ニュースのリスニングと和訳	テキスト読解（ロシアの新聞や雑誌）、映像資料（ニュース）のリスニング
9	テキスト読解と和文露訳１	テキスト読解（ロシアの民話や歴史など）、ロシア語作文
10	テキスト読解と和文露訳２	テキスト読解とロシア語作文（日本紹介や手紙など）
11	テキスト読解とその映像資料のリスニング１	テキスト読解（ロシア文学作品；チェーホフ）、映像資料（映画）のリスニング
12	テキスト読解とその映像資料のリスニング２	（ロシア文学作品；ドストエフスキー）、映像資料（映画）のリスニング
13	テキスト読解とその映像資料のリスニング３	テキスト読解（ロシア文学作品；トルストイ）、映像資料（映画）のリスニング
14	授業内試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・授業での配布テキストの和訳を済ませ、授業に臨む。・5 月と 10 月に開催されるロシア語能力検定試験に向けて基礎文法を復習し、過去問題と対策問題に取り組む。・文法では特に副動詞と形動詞の練習問題を解く。・NHK ロシア語講座（テレビとラジオ）やインターネットでロシアのニュースを聴くなど、日頃からロシア語に触れる。本授業の予習・復習、検定対策時間は各１時間以上を標準とする。

【テキスト（教科書）】
・『初級ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員編）2013 年
・『ロシア語能力検定試験合格への手引きー３級・４級対策問題集ー』北岡千夏、三浦由香里、横井幸子著、南雲堂フェニックス、2005 年、￥1620
・露和辞典（博友社ロシア語辞典（1995 年、￥6291 が望ましい）
・その他のテキストとして，適時プリントを配布します。

【参考書】
『入門ロシア語文法』和久利誓一著、白水社、1970 年、￥1404

【成績評価の方法と基準】
秋学期の最終週に授業内試験を行います。この試験結果が評価の 60 %となります。その他に小テストや授業への参加度、取り組みの姿勢（宿題、予習や復習を含む）などの平常点を 40 %とし、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
ロシア語能力検定試験合格というひとつの目標ができたことが良かったという感想がありました。

【その他の重要事項】
授業計画は、学生の習熟度により変更があり得ます。
10 月か翌年５月のロシア語能力検定試験４級か３級合格に向けて準備を進めて下さい。

【Outline and objectives】
You will review, order, and master the basic Russian grammar you have already learned and aim to acquire the ability to pass the Russian language proficiency test at levels 3 and 4. To understand more advanced texts, you will master intermediate grammar. By fostering your listening and reading skills, you will acquire ordinary conversational ability that can be used to actually introduce yourself, etc. You will deepen your knowledge of Russian using audiovisual teaching materials such as movies and DVDs of Russian history, culture, and news.

ARSa200LA

ロシアの文化と社会ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

佐藤　千登勢

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ロシアに興味をもつ学生であれば、ロシア語を学習していなくとも履修できます。SA ロシアに向かう予定の２年生は事前学習の一環として、必ず履修してください。
ロシアは、峻厳で美しい自然、深くて豊かな芸術（文学、音楽、美術、映画、アニメ、演劇、バレエ、建築など）に満ちた国、また、繊細で優美、神秘的でありながら素朴でパワフルという両極端な感覚に引き裂かれた、なんとも魅力溢れる国です。また、アジアとヨーロッパの文化的融合、社会主義から資本主義へのイデオロギー的・体制的移行、多民族の共生など、複雑で多面的な様相も興味深いものです。こうしたロシアのさまざまな側面を映像・レジュメ資料・概説を通して紹介していくのがこの授業ですが、これら多様な側面を統合して、ロシアの像を結んでいく作業を行うのはみなさん一人ひとりです。

【到達目標】
この授業は、受動的に講義を聴いたり映像を鑑賞するのではなく、多数の情報から自身の感想や見解を導き、教員が提起した問題に対して能動的に意見や主張を短時間のうちに適切な文章でまとめる力をレヴューシートを通して養うことも目的としています。つねに問題意識や批判的観点を抱きながら、授業に臨んでほしいと思います。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
毎回のテーマに基づき、授業時間までにレジュメを学習支援システムにアップします。これをよく読んで、参考資料や映画やドキュメンタリー、音楽などの視聴すべき動画の URL を示すので、次週までに必ず視聴しておくこと。言うまでもなく隣国ロシアの問題であり、かつ世界のグローバル化が進行する今日、私たちにとってもアクチュアルな問題である、という想像力と好奇心をもって授業に臨んでください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス：ロシアについて	ガイダンス。今日のロシア社会、地理的環境、歴史的キーワードなどを通してロシアの概略を示す。
第 2 回	モスクワ観光スポット（美術館、博物館、教会、劇場、世界遺産）	ロシアの首都モスクワ。歴史、地理を概観するとともに、世界遺産や街並み、地下鉄、美術館、建築、観光スポットを紹介。
第 3 回	サンクト・ペテルブルクの名所（美術館、劇場、博物館、教会）	ロシア第２の都市サンクト・ペテルブルグ。歴史、地理を概観するとともに、世界遺産や街並み、美術館、観光スポットを紹介。
第 4 回	民俗文化とロシア正教、国民の祝日	ロシア正教を国教とするロシア。その影響力は再び絶大なものとなっているが、キリスト教受容以前の異教との習合現象としての二重信仰の伝統もロシアに独特の文化を育んできた。異教、正教、社会主義というイデオロギーなど常に信仰の対象を抱き続ける信心深いロシア人の民俗文化やこれに基づく祝祭、宗教的行事、祝日について紹介。
第 5 回	ロシア・バレエの世界１	バレエ・リュスからソ連時代のバレエ史に名を残すダンサー、そして現代の国際的ダンサーまで、ロシア・バレエの粋を紹介すると同時に、政治的に抑圧を受けたバレエ界の事象、亡命したダンサーについて概観。
第 6 回	ロシア・バレエの世界２	前回の授業を踏まえて、政治とバレエの問題を考える。
第 7 回	ロシアの音楽：グリンカ、チャイコフスキー、ムソルグスキー	ロシア・クラシック音楽の歴史を概観。グリンカからムソルグスキーまでの音楽を、指揮者ゲルギエフ、国際的に活躍する現代ロシアのソリストのパフォーマンスを通して紹介。
第 8 回	ロシアの音楽：政治と音楽（ショスタコーヴィチ、ラフマニノフ）	19 世紀末からロシア革命時の音楽を概観。また、ショスタコーヴィチ、ストラヴィンスキー、ラフマニノフらを通して音楽と政治の問題を考える。
第 9 回	ロシアの音楽：政治と音楽（テルミン、肋骨レコード）	反体制派と呼ばれたソリスト、抑圧された音楽について。
第 10 回	ロシア文学：イーゴリ軍記から 19 世紀前半	『イーゴリ軍記』における異教性、カラムジンの感傷主義、プーシキンのロマン主義とリアリズムの融合について。《余計者》の確立。
第 11 回	ロシア文学： 19 世紀半ば〜（ゴーゴリ、ドストエフスキー）	ゴーゴリのグロテスクな手法、《小さな人間》について、ドストエフスキーの超人思想、神人について。
第 12 回	ロシア文学： 19 世紀後半〜 20 世紀（トルストイ、チェーホフ、アヴァンギャルド、フォルマリズム）	トルストイの「性愛・肉欲の否定」と聖愚者の賞揚。チェーホフの創作方法について。《異化》の概念について。政治と文学について。
第 13 回	ロシア文学：亡命作家から現代（ソルジェニーツィン、ブロツキー、ペレーヴィン）／日本文学との影響関係	亡命作家を通してみる政治と文学の問題。検閲から自由になった現代作家の営みを概観。ロシア文学と日本文学との影響関係について。
第 14 回	民族問題とナショナリズムの歴史と現代の民族問題	ロシアの領土拡大とオリエンタリズムについて。ソ連時代の民族統合が現代に残した問題。チェチェン紛争、グルジア紛争、現代ロシアで高まるナショナリズム。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業でとりあげたテーマについて、ネットや文献、映像資料、映画などを通して調べる。ソ連・ロシア映画の鑑賞に際しては、AV ライブラリーの活用を勧めます。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用しません。教場でプリントを配付します。

【参考書】
参考文献については教場で紹介します。

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンライン開講となったことに伴い、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。授業開始日は4月 24 日（金）、学習支援システムにて。

【学生の意見等からの気づき】
みなさんとロシアの多様な魅力を新たに発見するような気持ちで、時事的な話題も含めながら講義を進めたいと思います。

【Outline and objectives】
In this course, we will know about the culture and arts of Russia through the lecture and visual materials. Themes of this lecture: Tourist spots, Moscow and Saint Peter's burg, Russian ballet, music and literature.

ARSa200LA

ロシアの文化と社会ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

佐藤　千登勢

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期の授業に引き続き、ロシアの文化の多様性を見ていきます。春学期に得た情報を基に、さらにそこに新たな領域・ジャンルの知識を積み重ねていくことになりますので、各自がロシアのイメージを整理しつつ、吸収していってほしいと思います。

【到達目標】
この授業は、受動的に講義を聴いたり映像を鑑賞するのではなく、多数の情報から自身の感想や見解を導き、教員が提起した問題に対して能動的に意見や主張を短時間のうちに適切な文章でまとめる力をレヴューシートを通して養うことも目的としています。つねに問題意識や批判的観点を抱きながら、授業に臨んでほしいと思います。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
春学期同様、毎回のテーマに基づき、映画やドキュメンタリー、音楽などの視聴覚資料を用いて解説していきます。授業の最後に、毎回、意見や疑問点をまとめたレヴューシートを提出してもらい、次回の授業に活かしていくのも春学期と同じですが、すでに獲得したロシア情報に基づいた、あるいは、日本を含む他国との比較をまじえた、一歩踏み込んだ意見を望みます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス／ロシアの歴史１：キエフルーシ、タタールの軛、イワン雷帝	ロシアの歴史：キエフルーシ、タタールの軛、イワン雷帝の治世について。
第 2 回	ロシアの歴史２	ピョートル大帝、エカテリーナ女帝、大黒屋光太夫、祖国戦争について映像資料を交えて概観。
第 3 回	ロシアの歴史３	農奴解放、近代化、テロリズム、日露戦争について映像資料を交えて概観。
第 4 回	ロシアの歴史４	ロマノフ王朝の崩壊、ロシア革命、スターリニズムについて映像資料を交えて概観。
第 5 回	ロシアの歴史５	雪解けから停滞へ、ペレストロイカ、チェリノブイリ原発事故、ソ連邦崩壊、新生ロシアまでを映像資料を交えて概観。
第 6 回	ソ連映画１	映画黎明期からモンタージュ派（エイゼンシュテイン、ヴェルトフ）、文芸映画を鑑賞しつつ、とりわけ政治的背景と映画の手法について着目する。

第 7 回　ソ連映画２	雪解け期から停滞の時代までに制作された文芸映画を、社会的背景、政治的体制、手法の観点から見ていく。
第 8 回　ソ連映画３	反体制の烙印を押された監督（タルコフスキー、パラジャーノフ、イオセリアーニら）の作家性、手法、映像美を堪能する。また、SF 映画を概観するとともに、ペレストロイカ期に多く制作された不条理作品、諷刺コメディを通して、政治と映画の問題を確認する。
第 9 回　ロシア映画４	検閲から自由になった映画として、芸術性と映像実験を重ねるソクーロフの作品、また、大国ロシアを再び謳い上げる戦争映画、エンターテインメント、社会派ドラマと多様化する映画界の現状を概観する。
第 10 回　ロシア映画５	前回に引き続き、戦争映画、エンターテインメント、社会派ドラマと多様化する映画界の現状と傾向を概観する。
第 11 回　ロシア美術１	イコン（聖像画）の機能について、移動展派の営み、パトロンの役割について。
第 12 回　ロシア美術２	マレーヴィチ、カンディンスキー、シャガールの絵画について。カバコフ、コマール＆メラミッドら現代アートについて紹介。
第 13 回　ロシア・アニメ１	黎明期からプロパガンダ・アニメ、児童アニメ（タレーヴィチ、アタマノフ、ヒトルーク、カチャーノフ）の概説と作品の鑑賞。
第 14 回　ロシア・アニメ２	アート・アニメ（ノルシュテイン、ペトロフらの作品）の概説と作品鑑賞。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業でとりあげたテーマについて、ネットや文献、映像資料、映画などを通して調べる。ソ連・ロシア映画の鑑賞に際しては、AV ライブラリーの活用を勧めます。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用しません。教場でプリントを配付します。

【参考書】
教場で紹介します。

【成績評価の方法と基準】
レヴューシート（50 %）、期末レポート（50 %）の基準により判断します。

【学生の意見等からの気づき】
みなさんとロシアの多様な魅力を新たに発見するような気持ちで、時事的な話題も含めながら講義を進めたいと思います。

【Outline and objectives】
In this course, we will know about the culture and arts of Russia through the lecture and visual materials. Themes of this lecture: Russian history, and films, pictures and animations.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

王　翠莉

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火 4**/Tue.4
単位数：**1 単位**
法 2 年 G

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、中国語 1、中国語２を一通り終えた学生を対象にする授業です。
使用教科書「優しいビジネス中国語」は、本文がビジネス関係の中国語会話文で、内容は銀行、財務、商談、宴会のセッティング、労働待遇、アフタサービス、国際入札、コンテナ輸送など幅広い分野をカバーしています。また、補充教材として、不動産業界、会社管理、インターネット事情、環境保護、労働契約、国際投資などの文章を翻訳練習として授業に織り込みます。
中国語の基礎勉強を終えた 2 年生にとっては、とても実用的で充実している内容です。ビジネス上で必要な基本会話と文章表現を楽しく覚えましょう。

【到達目標】
教科書と補充教材の勉強と練習により、ビジネス上で必要な基本会話ができ、準中級レベルのビジネス関係の中国語文章が翻訳できるようになることを目標としています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それに伴う各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 28 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	①オリエンテーション ②復習と練習	本授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明し、使用教科書を紹介する。 HSK 模擬試験を練習する。
2 回目	発音の復習と練習	1 年生の教科書「ポイント学習中国語」第 4 課のポイント 4・1「二音節語の声調 20 パタン」を 10 回以上繰り返して発音の練習をする。 受講生全員の発音をチェックする。
3 回目	発音の復習と練習	以下の内容を音読練習する。 「ポイント学習中国語」の第 11 課の会話本文「你每天看几个小⊠？」 第 15 課の会話本文「你家有几口人？ 第 26 課の会話本文「今天几月几号？」 受講生全員の発音をチェックする。
4 回目	教科書第 1 課「オフィスを訪ねる」を勉強する。	①第 1 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。

5 回目	第 2 課　レストランに食事に行く	①第 2 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。
6 回目	第 3 課 銀行に行く	①第 3 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。
7 回目	第 4 課　商談をする	①第 4 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。
8 回目	第 5 課　宴会のセッティングする	①第 5 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。
9 回目	第 6 課　有給休暇を取る	①第 6 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。
10 回目	第 7 課 フライトを待つ	①第 7 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。
11 回目	総合練習	中国語で自己紹介文を 100 字程度書いて音読して録音を提出
12 回目	授業のまとめ	春学期の授業内容をまとめる
13 回目	授業のまとめ	授業のまとめ
14 回目	授業のまとめ	授業のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回の授業の勉強内容と要求に従い、しっかり練習する事。
特に外国語の勉強にとっては、音読練習はとても重要なので、楽しく練習できれば、上手になります。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『やさしいビジネス中国語』三潴正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 ＋税

【参考書】
中国語辞書
『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講になったことに伴い、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
学習支援システムで提示した先生の指示に従って、しっかり勉強しましょう。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

王　翠莉

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 4/Tue.4
単位数：**1 単位**
法 2 年 G

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、中国語３Ｉの続きの授業で、中国語 1 と中国語２を一通り終えた学生を対象にする授業です。
使用教科書「やさしいビジネス中国語」は、ビジネス関係の中国語会話文で、内容は銀行、財務、商談、宴会のセッティング、労働待遇、アフタサービス、国際入札、コンテナ輸送など幅広い分野をカバーしています。また、補充教材として、不動産、会社管理、インターネット事情、環境保護、労働契約、国際投資などの文章を翻訳練習として、授業に織り込みます。
中国語の基礎勉強を終えた 2 年生にとっては、とても実用的で充実している内容です。中国語 1 と中国語 2 の授業で学んだ中国語基礎知識を生かして、ビジネス上で必要な基本会話と文章表現を楽しく覚えましょう

【到達目標】
教科書と補充教材の勉強と練習により、ビジネス上で必要な基本会話ができ、準中級レベルのビジネス関係の中国語文章が翻訳できるようになることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
本授業は、基本的には教科書と補充教材を中心に授業を進めます。教科書の各課は、会話本文、文法と作文、書き換え練習、ヒアリング練習と参考表現からなっています。
授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。その次、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある時、音読と短文作りの練習をします。
二回の授業で 1 回単語小テストをします。小テストの点数を平常点に計上します。
授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をするから、時間の制限で全員はできないので、4，5 人のグループをいくつか作って、交代で音読と翻訳の発表をさせます。毎回の授業では、学生全員に練習のチャンスを与えます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	①オリエンテーション ②総合復習	①後期の授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明する。 ②翻訳と音読の練習をする。
2 回目	第９課　コンテナ輸送	①ポイントを説明する ②会話本文を勉強する ③書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習する。
3 回目	第１０課　待遇	①各グループ代表が第９課本文の音読を発表 ②第１０課を勉強する。

4 回目	補充教材 ビジネス中国語文章の翻訳練習①	①第９課、１０課の単語小テスト ②補充教材を翻訳し各グループ代表が和訳文を発表する。 ③補充教材を説明する。
5 回目	第１１課　病院にて	①第１０課本文の音読練習 ②第１１課を勉強する。
6 回目	第１２課　国際入札	①第１１課本文の音読練習 ②第１２課を勉強する。
7 回目	補充教材 ビジネス中国語文章の翻訳練習②	①第１１課、１２課の単語小テスト ②補充教材を翻訳し各グループ代表が和訳文を発表する。 ③補充教材を説明する。
8 回目	第１３課　財務	①第１２課本文の音読練習 ②第１３課を勉強する。
9 回目	補充教材 ビジネス中国語文章の翻訳練習	①第１３課の単語小テスト ②補充教材を全員翻訳しグループごとに和訳文を発表する。 ③補充教材を説明する。
10 回目	補充教材 ビジネス中国語文章の翻訳練習	①受講生全員に翻訳させ、グループごとに翻訳文を発表してもらう。 ②文章を説明する。
11 回目	中国語検定試験 4 級過去問題	①過去問の筆記部分を練習する。 ②解説する。
12 回目	総合復習練習	授業内容の復習 質問応答
13 回目	音読テスト	音読テスト
14 回目	授業のまとめと試験	授業のまとめと試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業内容の復習はとても大事なことです。
特に外国語の勉強にとっては、音読はとても重要なので、楽しく練習できればお上手になります。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『やさしいビジネス中国語』三潴正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 円＋税

【参考書】
『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社、2019 年 2 月

【成績評価の方法と基準】
成績評価は、平常点と期末試験の点数により総合評価を出す。
平常点は 30%、期末試験は 70%。
平常点には、出席、授業中の小テストと練習および学習態度等を含む。
期末試験には、音読テストは 20%、筆記試験は 50%占める。
中国語検定試験 4 級以上の合格者、期末筆記試験を免除、点数により評価をします。
＊無断欠席４回以上の受講生は評価対象にならない可能性がある。

【学生の意見等からの気づき】
授業中の私語と中国語学習以外の携帯使用を禁止する！

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

余　瀾

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火 5**/Tue.5
単位数：**1 単位**
法 2 年 H

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
準中級レベルの中国語の授業です。教材の内容は、中国と日本の文化や社会の違いをテーマ にした長文で構成されています。教材を学習し、一年次で勉強した基礎中国語文法をかため、さらに複文を含む３０の新しい文型と３００個の新しい単語を学習します。

【到達目標】
1 年で学んだ中国語の基礎を踏まえ、読む、書く、聞く、話す力を伸ばすことを目標にします。具体的には、日常生活にまつわる簡単な会話ができて、また２００～３００文字の文章が読めるように目指します。一方、教材の内容は、中国と日本の文化、慣習、生活などの違いをテーマにしていますので、中日両国の理解への促進も目標の一つとします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
基本的に演習の形式で、本文、単語、文法の説明と練習問題から構成されているテキストに 沿って進行します。本文の内容を理解するために、DVD や音楽の鑑賞など、また、グループ ディスカッションや、プレゼンテーションによって、内容の理解を一層深めたいです。春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 21 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第１課	本文：「鬼」のイメージについて 文法：複文「既～又～」 複文「除了～以外，⊠～」
2	第１課	練習問題
3	第２課	本文：歌手や芸能人の学歴について 文法：複文「～。是因⊠～」 複文「只有～才～」 複文「即使～也～」
4	第２課	練習問題
5	第３課	本文：美意識について 文法： 前置詞「跟/和～有关」 前置詞「按照～」 複文「因⊠～所以～」 複文「但是～」
6	第３課	練習問題
7	プレゼンテーション予備時間	学生が発表する
8	第４課	本文：友人に求めることについて 文法：前置詞「在～看来」 前置詞「从～来⊠」 連体修飾語「～的⊠候」 複文「是～而不是～」
9	第４課	練習問題
10	第５課	本文：親子の関係について 文法：複文「不⊠～也/都～」
11	第５課	練習問題

12	第 6 課	本文：大学生のアルバイドについて 文法：副詞「⊠⊠」 複文「只要～就～」 複文「与其～不如～」 動詞「⊠⊠／⊠得／感到／想」
13	第 6 課	練習問題
14	授業のまとめと期末テスト	授業のまとめと試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
CD を必ず聞きこと。 授業の後に必ず復習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『日中異文化の出会い　ー中級へのステップアップー』　三修社　中桐典子・余瀾・芳沢ひろこ・黄暁恵著　2018 年　2000 円

【参考書】
『ポイント学習中国語初級 [新装版]』（東方書店）
ほかは授業中に適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】
毎回授業中行う小テストあるい発表などは 50 点で、 期末テストは 50 点です。 成績は 100 点満点とし、60 点以上が合格となります。欠席と遅刻をすると小テストができませんので、必ず注意してください。
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
テスト範囲とテスト問題のずれがありました。教師の出題ミスです。今度の授業で改正します。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

余　瀾

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**1 単位**
法 2 年 H

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
準中級レベルの中国語の授業です。教材の内容は、中国と日本の文化や社会の違いをテーマ にした長文で構成されています。教材を学習し、一年次で勉強した基礎中国語文法をかた め、さらに複文を含む３０の文型と３００個の新しい単語を学習します。

【到達目標】
1 年で学んだ中国語の基礎を踏まえ、読む、書く、聞く、話す力を伸ばすことを目標にしま す。具体的には、日常生活にまつわる簡単な会話ができて、また２００～３００文字の文章 が読めるように目指します。 一方、教材の内容は、中国と日本の文化、慣習、生活などの違いをテーマにしていますの で、中日両国の理解への促進も目標の一つとします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
基本的に演習の形式で、本文、単語、文法の説明と練習問題から構成されているテキストに 沿って進行します。本文の内容を理解するために、DVD や音楽の鑑賞など、また、グループ ディスカッションや、プレゼンテーションによって、内容をの理解を一層深めたいです。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第 7 課	本文：ご馳走をするときされるとき 文法：複文「⊠～都～」 複文「如果／要是～的⊠，就～」 複文 「虽然～，但是～」 方向補語の派生義
2	第 7 課	練習問題
3	第 8 課	本文：家に中を全部見せる中国人 文法：複文「先～然后再～」
4	第８課	練習問題
5	第９課	本文：色のいろいろ 文法： 複文「～，要不然～」複文「不是～，而是～」 「一定会～的」
6	第９課	練習問題
7	プレゼンテーション予備時間	学生が発表
8	第 10 課	本文：席は譲るべきなのか 文法：副詞「就」と「才」 複文「不但～而且～」
9	第 10 課	練習問題
10	第 11 課	本文：七夕は八月の行事 文法：「相当于」 「来」 接続詞「以」の用法
11	第 11 課	練習問題
12	第 12 課	本文：結婚式について 文法： 複文「一⊠～一⊠～」複文「越～越～」 複文「一点～都没有」
13	第 12 課	練習問題

14	授業のまとめと期末テスト	授業のまとめと試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
CD を必ず聞きこと。 授業の後に必ず復習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『日中異文化の出会い ー中級へのステップアップー』　三修社　中桐典子・余瀾・芳沢ひろ子・黄暁恵著　2018 年　2000 円

【参考書】
『ポイント学習中国語初級 [新装版]』（東方書店）
ほかは授業中に適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】
毎回授業中行う小テストあるい発表、などは 50 点で、 期末テストは 50 点です。 成績は 100 点満点とし、60 点以上が合格となります。 欠席と遅刻をすると小テストができませんので、必ず注意してください。

【学生の意見等からの気づき】
特にありません。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ｉ

2017 年度以降入学者

劉　渴氷

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**1 単位**
法 2 年 I・J

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
教科書には、会話体の文章が集められています。これらの文章を読解しながら、初級文法の復習を行うとともに、中級レベルより高度な文法と語彙を学習します。更に中国への関心と理解も深めるために、教科書で触れているトピックスに関連させながら中国の社会や文化についても紹介を行います。

【到達目標】
学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の 「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検３級 を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
音読、ヒアリング、会話、暗唱などの練習を繰り返し行い、中国語によるコミュニケーション能力を磨きます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業イントロダクション
2	第１課	文法・本文・練習
3	第２課	文法・本文・練習
4	第３課	文法・本文・練習
5	第４課	文法・本文・練習
6	第５課	文法・本文・練習
7	まとめ１	中間まとめ
8	第６課	文法・本文・練習
9	第７課	文法・本文・練習
10	第８課	文法・本文・練習
11	第９課	文法・本文・練習
12	第１０課	文法・本文・練習
13	まとめ２	中国文化の紹介
14	授業の総まとめとテスト	授業の総まとめと期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
「大学生のための　中級中国語 20 回」　黄　漢青・杉野元子 (白帝社)

【参考書】
必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業態度）30%、試験 70%。

【学生の意見等からの気づき】
特に無し。

【Outline and objectives】
Textbooks are a collection of conversational texts. While reading these sentences, you will review beginner grammar and learn more advanced grammar and vocabulary than the intermediate level. In order to deepen interest and understanding in China, we will also introduce Chinese society and culture in relation to the topics mentioned in the textbook.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

劉　渴氷

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**1 単位**
法 2 年 I・J

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
教科書には、会話体の文章が集められています。これらの文章を読解しながら、初級文法の復習を行うとともに、中級レベルより高度な文法と語彙を学習します。更に中国への関心と理解も深めるために、教科書で触れているトピックスに関連させながら中国の社会や文化についても紹介を行います。

【到達目標】
学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検３級 を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
音読、ヒアリング、会話、暗唱などの練習を繰り返し行い、中国語によるコミュニケーション能力を磨きます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業イントロダクション
2	第１１課	文法・本文・練習
3	第１２課	文法・本文・練習
4	第１３課	文法・本文・練習
5	第１４課	文法・本文・練習
6	第１５課	文法・本文・練習
7	まとめ１	中間まとめ
8	第１６課	文法・本文・練習
9	第１７課	文法・本文・練習
10	第１８課	文法・本文・練習
11	第１９課	文法・本文・練習
12	第２０課	文法・本文・練習
13	まとめ２	中国文化の紹介
14	授業のまとめとテスト	授業のまとめと期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
「大学生のための　中級中国語 20 回」　黄　漢青・杉野元子 (白帝社)

【参考書】
必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業態度）30%、試験 70%。

【学生の意見等からの気づき】
特に無し。

【Outline and objectives】
Textbooks are a collection of conversational texts. While reading these sentences, you will review beginner grammar and learn more advanced grammar and vocabulary than the intermediate level. In order to deepen interest and understanding in China, we will also introduce Chinese society and culture in relation to the topics mentioned in the textbook.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

木村　佳代子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
法 2 年 K

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、「中国語１」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

【到達目標】
１．中国語の中級レベルの語彙、文法を学修し、運用することができる。
２．ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
中国社会を反映した全 12 課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答をおこないます。授業開始日は 4 月 24（金）です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第１課（動詞 “上” の用法、“対～”「～について」の用法）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 2 回	第１課　（複合方向補語、存在文）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 3 回	第２課（進行表現、結果補語）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 4 回	第２課（禁止表現、“把” 構文）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 5 回	第３課（方位詞、“不但～而且” の表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 6 回	第３課（仮定表現）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 7 回	第１課～第３課の復習	ヒヤリングを中心とした練習
第 8 回	第４課（伝聞表現、形容詞の重ね型）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 9 回	第４課（条件関係の表現）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 10 回	第５課（強調表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 11 回	第５課（受身表現、確認表現）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 12 回	総合練習（第１課～第３課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 13 回	総合練習（第４課、第５課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 14 回	試験・まとめと解説	朗読試験、ヒヤリング・筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。事前学修、事後学修は、音声ファイルをダウンロードし、発音練習や書き取り練習を繰り返しおこなってください。

【テキスト（教科書）】
『準中級中国語会話編』奥村佳代子・塩山正純・張軼欧　金星堂
2300 円＋税
ISBN978-4-7647-0711-5

【参考書】
『準中級中国語講読篇』　奥村佳代子・塩山正純・張軼欧　金星堂
2300 円＋税
ISBN978-4-7647-0712-2

【成績評価の方法と基準】
平常点 60 %、期末試験 40 パーセントを総合して評価する。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】
音声教材を聞くことができる機器が必要です。

【Outline and objectives】
· To review important point of Chinese grammar.
· Improve reading,speaking,writing,and translating skills.
· Learning Chinese clutures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

木村　佳代子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
法 2 年 K

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、引き続き、「中国語１」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

【到達目標】
１．中国語の中級レベルの語彙、その用法を学修し、運用することができる。
２．ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
中国社会を反映した全 12 課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答をおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第６課（強調表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 2 回	第６課（様態補語、疑問詞の不定詞用法）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 3 回	第７課（使役）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 4 回	第７課（離合詞）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 5 回	第８課（“会～的”）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 6 回	第８課（“向～” の用法）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 7 回	第６課～第８課の復習	ヒヤリングを中心とした練習
第 8 回	第９課（結果補語）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 9 回	第９課（動量詞）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 10 回	第 10 課（“是～的” 構文）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 11 回	第 10 課（結果補語、方向補語）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 12 回	総合練習（第６課～第８課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 13 回	総合練習（第９課、第 10 課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 14 回	試験・まとめと解説	朗読試験、ヒヤリング、筆記試験。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。事前学修、事後学修は、音声ファイルをダウンロードし、発音練習や書き取り練習を繰り返しおこなってください。

【テキスト（教科書）】
『準中級中国語会話編』奥村佳代子・塩山正純・張軼欧　金星堂
2300 円＋税
ISBN978-4-7647-0711-5

【参考書】
『準中級中国語講読篇』　奥村佳代子・塩山正純・張軼欧　金星堂
2300 円＋税
ISBN978-4-7647-0712-2

【成績評価の方法と基準】
平常点 60 %、期末試験 40 パーセントを総合して評価する。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】
音声教材を聞くことができる機器が必要です。

【Outline and objectives】
This corse is continued from Spring semester.
・To review important point of Chinese grammar.
・Improve reading,speaking,writing,and translating skills.
・Learning Chinese clutures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

福木　滋久

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 L

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次における発音・ピンインのシステムと基本的な文法・語彙を修得した学生が、初級中国語の基礎を確認しつつ、中級レベルの講読文を通して中国の「現在」を理解していく。これまでの学習をベースに、それらの復習を行うとともに、より高度な文法とより多くの語彙を覚えることによって、中級レベルの語学力を身につけていく。

【到達目標】
中国語運用におけるの四技能「1. 聞く」「2. 話す」「3. 書く」「4. 読む」について、特に「3. 書く」「4. 読む」能力の向上に重点を置き、学生がそれぞれの技能のブラッシュアップをはかる。「1. 聞く」「2. 話す」については、１年時の復習と到達確認が中心。「1. 聞く」は、比較的平易な短文を聞き取ることができ、「2. 話す」は、基本的な言い回しを正しい発音で表現できるようにする。「3. 書く」については、より高度な単語・慣用表現を用いた文章を覚えて作文できるようになることを目指し、「4. 読む」については、中級レベルの講読文を読解できるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する予定。本授業の開始日は 4 月 27 日となるので、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンスと基礎の確認・第１回小テスト課題	授業・評価方法等の説明と中国語学習における基礎の確認。次回小テストの例文を発表
第 2 回	教科書第１課単語及び第１回小テスト他	第１回小テスト実施後、教科書第１課新出単語等を学び、次回小テストの例文を確認
第 3 回	教科書第１課本文前半及び第２回小テスト他	第２回小テスト実施後、教科書第１課本文前半を学び、次回小テストの例文を確認
第 4 回	教科書第１課本文後半及び第３回小テスト他	第３回小テスト実施後、教科書第１課本文後半を学び、次回小テストの例文を確認
第 5 回	教科書第１課総合及び第４回小テスト他	第４回小テスト実施後、教科書第１課を総合的に学び、次回小テストの例文を確認
第 6 回	教科書第２課単語及び第５回小テスト他	第５回小テスト実施後、教科書第２課新出単語を学び、次回小テストの例文を確認
第 7 回	教科書第２課本文前半及び第６回小テスト他	第６回小テスト実施後、教科書第２課本文前半を学び、次回小テストの例文を確認
第 8 回	教科書第２課本文後半及び第７回小テスト他	第７回小テスト実施後、教科書第２課本文後半を学び、次回小テストの例文を確認

第 9 回	教科書第２課総合及び第８回小テスト他	第８回小テスト実施後、教科書第２課を総合的に学び、次回小テストの例文を確認
第 10 回	教科書第４課単語及び第９回小テスト他	第９回小テスト実施後、教科書第４課新出単語を学び、次回小テストの例文を確認
第 11 回	教科書第４課本文前半及び第 10 回小テスト他	第 10 回小テスト実施後、教科書第４課本文前半を学び、次回小テストの例文を確認
第 12 回	教科書第４課本文後半及び第 11 回小テスト他	第 11 回小テスト実施後、教科書第４課本文後半を学び、次回小テストの例文を確認
第 13 回	教科書第４課総合及び第 12 回小テスト他	第 12 回小テスト実施後、教科書第４課を総合的に学び、次回筆記試験にそなえる
第 14 回	筆記試験・まとめと解説	春学期に学んだ部分の期末筆記試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
自宅学習は必須である。事前学習としては、あらかじめ指示された「学習ポイント」の重要短文の訳を事前に確認し、書く練習をしておく。また本文については授業内で扱う単語について辞書で調べるなどして理解を深めておくこと。事後学習としては、本文の訳の確認はもちろん、授業内で学んだ「学習ポイント」の重要短文について繰り返し口頭で発音したり書いたりして覚えてほしい。小テストは、基本的な内容の対話文を暗記し、正確に聞き取り正しく発音してもらうというもの。この部分については、学習サポートを目的として、インターネットサイト Quizlet において「法政市ヶ谷中国語３法Ｌ 2020」というクラスを作成、適宜補助教材を提供していくこととする。また３～４回に１回は「学習ポイント」で学んだ短文の復習小テストも行う。本授業の準備・復習時間は、各 30 分～１時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
当面は使用しない。『知ってる？　今の中国 ダイジェスト版』　山下輝彦・路元 著　朝日出版社刊を使用する予定であったが、オンライン授業にともない、しばらくは授業支援システムから教材や課題を提示して授業を進めることになる。「すでに入手してしまった」などのケースについては、開講後受講者の状況をみて個別に対応するつもりである。

【参考書】
『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店
WEB 教材 Quizlet にて「法政市ヶ谷中国語３法Ｌ 2020」というクラスを開設し、補助教材を提供していく（URL ： https://quizlet.com/join/h3W4FAcS9 ）

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更することになる。具体的な方法と基準は、後日学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
毎回の小テストは大変かと思われるが、最終的には一定の学習効果が得られるので、ほとんどの受講者には好意的に受け止められているようだ。開始時間が遅れた事が数回あったが、以後気を付けていきたい。その他、受講者からの要望を受け、改善が必要で、かつ可能なものについては、できるだけ授業に反映させていくつもりである。

【学生が準備すべき機器他】
WEB 教材、Quizlet「法政市ヶ谷中国語３法Ｌ 2020」にて公開する補助教材は、スマートフォンやネットに接続された自宅のＰＣ、学内のＰＣでの学習が可能。

【その他の重要事項】
オフィスアワーは特に設けないが、質問などについては、学習支援システムにおいて対応する。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

福木　滋久

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 L

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次における発音・ピンインのシステムと基本的な文法・語彙を修得した学生が、初級中国語の基礎を確認しつつ、中級レベルの講読文を通して中国の「現在」を理解していく。これまでの学習をベースに、それらの復習を行うとともに、より高度な文法とより多くの語彙を覚えることによって、中級レベルの語学力を身につけていく。

【到達目標】
中国語運用におけるの四技能「1. 聞く」「2. 話す」「3. 書く」「4. 読む」について、特に「3. 書く」「4. 読む」能力の向上に重点を置き、学生がそれぞれの技能のブラッシュアップをはかる。「1. 聞く」「2. 話す」については、１年時の復習と到達確認が中心。「1. 聞く」は、比較的平易な短文を聞き取ることができ、「2. 話す」は、基本的な言い回しを正しい発音で表現できるようにする。「3. 書く」については、より高度な単語・慣用表現を用いた文章を覚えて作文できるようになることを目指し、「4. 読む」については、中級レベルの講読文を読解できるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書と補助教材によって進め、受講者の事前・事後学習を必須とする。教科書は現代中国を話題とした中級レベルの講読教材であり、第１～８課から成るが、秋学期においては第５・第６・第７課のみを学び、おおむね３回の授業で１課を学ぶペースで進める。毎時限は、前半に自宅学習の確認、小テスト、基礎の復習を行い、後半で新しい文法・語彙を解説して講読文の読解に取り組んでいく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	授業・評価方法等の説明と中国語学習における基礎の確認。次回小テストの例文を発表	ガイダンスと基礎の確認・第１回小テスト課題
第 2 回	教科書第５課単語及び第１回小テスト他	第１回小テスト実施後、教科書第５課新出単語等を学び、次回小テストの例文を確認
第 3 回	教科書第５課本文前半及び第２回小テスト他	第２回小テスト実施後、教科書第５課本文前半等を学び、次回小テストの例文を確認
第 4 回	教科書第５課本文後半及び第３回小テスト他	第３回小テスト実施後、教科書第５課本文後半等を学び、次回小テストの例文を確認
第 5 回	教科書第５課総合及び第４回小テスト他	第４回小テスト実施後、教科書第５課を総合的に学び、次回小テストの例文を確認
第 6 回	教科書第６課単語及び第５回小テスト他	第５回小テスト実施後、教科書第６課新出単語等を学び、次回小テストの例文を確認
第 7 回	教科書第６課本文前半及び第６回小テスト他	第６回小テスト実施後、教科書第６課本文前半等を学び、次回小テストの例文を確認

第 8 回	教科書第６課本文後半及び第７回小テスト他	第７回小テスト実施後、教科書第６課本文後半等を学び、次回小テストの例文を確認
第 9 回	教科書第６課総合及び第８回小テスト他	第８回小テスト実施後、教科書第６課を総合的に学び、次回小テストの例文を確認
第 10 回	教科書第７課単語及び第９回小テスト他	第９回小テスト実施後、教科書第７課新出単語等を学び、次回小テストの例文を確認
第 11 回	教科書第７課本文前半及び第 10 回小テスト他	第 10 回小テスト実施後、教科書第７課本文前半等を学び、次回小テストの例文を確認
第 12 回	教科書第７課本文後半及び第 11 回小テスト他	第 11 回小テスト実施後、教科書第７課本文後半等を学び、次回小テストの例文を確認
第 13 回	教科書第７課総合及び第 12 回小テスト他	第 12 回小テスト実施後、教科書第７課を総合的に学び、期末筆記試験にそなえる
第 14 回	筆記試験・まとめと解説	秋学期に学んだ部分の期末筆記試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
自宅学習は必須である。事前学習としては、あらかじめ指示された「学習ポイント」の重要短文の訳を事前に確認し、書く練習をしておく。また本文については授業内で扱う単語について辞書で調べるなどして理解を深めておくこと。事後学習としては、本文の訳の確認はもちろん、授業内で学んだ「学習ポイント」の重要短文について繰り返し口頭で発音したり書いたりして覚えてほしい。小テストは、基本的な内容の対話文を暗記し、正確に聞き取り正しく発音してもらうというもの。この部分については、学習サポートを目的として、インターネットサイト Quizlet において「法政市ヶ谷中国語３法Ｌ 2020」というクラスを作成、適宜補助教材を提供していくこととする。また３～４回に１回は「学習ポイント」で学んだ短文の復習小テストも行う。本授業の準備・復習時間は、各 30 分～１時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
『知ってる？ 今の中国 ダイジェスト版』　山下輝彦・路元 著　朝日出版社刊

【参考書】
『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店
WEB 教材 Quizlet にて「法政市ヶ谷中国語３法Ｌ 2020」というクラスを開設し、補助教材を提供していく（URL ： https://quizlet.com/join/h3W4FAcS9 ）

【成績評価の方法と基準】
日々の学習成果を重視する。毎回行う小テストの結果を成績に反映させ、授業に取り組む姿勢などの平常点、期末筆記試験の結果を総合的に評価する。評価の割合は、平常点が 25 %、小テストが 25 %、期末筆記試験が 50 %となる

【学生の意見等からの気づき】
毎回の小テストは大変かと思われるが、最終的には一定の学習効果が得られるので、ほとんどの受講者には好意的に受け止められているようだ。シラバス通りに進むことができない部分があり、その都度変更をアナウンスしてきたが、今後も気を付けたい。その他、受講者からの要望を受け、改善が必要で、かつ可能なものについては、できるだけ授業に反映させていくつもりである。

【学生が準備すべき機器他】
自宅学習で使用する web 教材 Quizlet「法政市ヶ谷中国語３法Ｌ 2019」で公開する補助教材（以下の URL へアクセス https://quizlet.com/join/PztNHAv4J ）は、スマートフォンやネットに接続された自宅のＰＣ、学内のＰＣでの学習が可能。

【その他の重要事項】
オフィスアワーは特に設けないが、質問などについては、その都度個別に時間をとり、教室内もしくは会議室などで対応する。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ｉ

2017 年度以降入学者

廣野　行雄

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 U

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次の学習にもとづいて中国語の文章を読解する力を養う。
言語としての中国語の特色を知り、中国語の文献を読みこなすことによって中国への理解を深める。

【到達目標】
語形変化がなく、語幹部分の並列を基本構造とする中国語文における語順 (語の分布) のもつ意味を理解し、一つ一つの語の品詞や文法成分を理解した上で日本語に訳せるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
あらかじめ受講者一人一人に担当部分を割り当てておき、各自の十分な予習にもとづき、訳文の発表と担当教員からの質問に答える形で文法的な内容把握の確認をおこなう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	到達目標や方法を周知徹底する。
第 2 回	第１課本文講読１	判断文、存現文、叙述文
第 3 回	第１課本文講読２	文法成分の確認
第 4 回	第１課文法ポイントとドリル	第１課に現れた文法事項の整理、把握確認
第 5 回	第２課本文講読１	連用修飾語、助動詞「要」など
第 6 回	第２課本文講読２	使役の表現など
第 7 回	第２課文法ポイントとドリル	第２課に現れた文法事項の整理と把握確認
第 8 回	第３課本文講読	是～的の文その他
第 9 回	第３課文法ポイントとドリル	第３課に現れた文法ポイント整理と把握確認
第 10 回	第４課本文講読	呼応構文その他
第 11 回	第４課文法ポイントとドリル	第４課に現れた文法事項整理と把握確認
第 12 回	第 5 課本文講読２	結果補語、方向補語など
第 13 回	第 5 課文法ポイントとドリル	第５課に現れた文法事項整理と把握確認
第 14 回	授業の総まとめと学期末試験	履修者の学習程度を測るため試験を実施する・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
あらかじめ決められた各自の担当部分について、十分な予習をする。また、ラジオやテレビの中国語講座の視聴もすすめたい。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
崎原　麗霞、丁　雷著「音読で身につく中国語　中級」朝日出版社刊

【参考書】
たとえば小学館「中日辞典第 2 版」など、学習参考書の機能もあわせもつ中型以上の辞書を購入することを強く勧める。辞書をもつことは、学習それ自体に役立つことはいうまでもないが、自分自身に学習者としての自覚・覚悟を促すという意味でも大きな意味がある。なお、紙辞書の効用には遠く及ばないが電子辞書の使用も可とする。

【成績評価の方法と基準】
平常点 (受講態度、予習内容)60 パーセント、期末試験 40 パーセントの割合で評価する。

【学生の意見等からの気づき】
オリエンテーションにおいて、講義のめざすところややり方を周知徹底する。学習効果が上がるようにするためにはどのような準備が必要なのかを理解してもらう。

【その他の重要事項】
学ぶこと、特に語学学習は、学習者の主体的な参加なしには成り立ちません。その自覚を高めるためにも、途中休憩時以外での飲食は遠慮して下さい。但し、熱中症その他の発症時には、この限りではありません。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

廣野　行雄

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 U

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に引き続き中国語の読解能力を養成する。そのことによって中国への理解を深める。

【到達目標】
中国語の虚詞に対する知識を深め、たとえ実詞の意味がわからなくても、文自体の組み立てが理解できるようになる。加えて、中国の文化的事象についても一定の知識を持つ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期と同じく各自の担当部分を徹底的に下調べし、品詞や文法成分の理解を確認しつつ読解を進めてゆく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	春学期試験のふりかえり 第６課	春学期の講義内容の確認
第 2 回	第６課本文講読	複合方向補語の結果補語的用法など
第 3 回	第６課文法ポイントとドリル	文法事項の整理とドリル
第 4 回	第７課本文講読	受け身表現、処置文など
第 5 回	第７課文法ポイントとドリル	基礎教養としての儒教について。文法的事項の整理とドリル
第 6 回	第８課本文講読	発生の「了」、複合方向補語など。文法的要点整理。
第 7 回	第８課文法ポイントとドリル	方向補語「上」の結果補語的用法、助動詞「可以」など
第 8 回	第９課本文講読	原因と結果を表す接続詞追加を表す表現など
第 9 回	第９課文法ポイントとドリル	反問の表現、文法的要点の整理とドリル
第 10 回	第１０課本文講読	禁止表現、様態補語など
第 11 回	第１０課文法ポイントとドリル	使役の文、譲歩表現など
第 12 回	第１１課本文講読ならびに文法ポイントとドリル	文法的要点整理とドリル。
第 13 回	第１２課本文講読ならびに文法ポイントとドリル	一年間の学習事項のまとめ
第 14 回	授業のまとめと試験	後期授業の学習達成度を測るためのテストを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
虚詞そのものにたいする知識を獲得し、その使用法に習熟するために、意識的な予習復習をおこなう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
崎原　麗霞、丁　雷著「音読で身につく中国語　中級」朝日出版社刊

【参考書】
「小学館中日辞典第２版」など中型以上の辞書。

【成績評価の方法と基準】
平常点 (受講態度、予習の度合い) ６０パーセント、期末試験４０パーセントで評価。

【学生の意見等からの気づき】
文法的知識の伝授のみならず中国の文化に対する興味を喚起するよう努める。

【その他の重要事項】
学ぶこと、特に語学学習の主体は学生諸君であるという自覚を高めるためにも、授業時間途中に取る休憩時間以外には、飲食を遠慮してください。但し、熱中症その他の発症時はこの限りではありません。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ｉ

2017 年度以降入学者

王　安

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 V

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語初級～中級レベルに必要な語彙・文法・表現を総合的に習得し，中国の文化・習慣における基本知識を理解する。授業では、各課の内容を巡って、会話練習をしたり、重要文法項目について作文をしたり、様々な練習問題をしたりすることによって、学んだ知識を確実に身につけていく。

【到達目標】
初級中国語を終えた学習者を対象に、初級中国語の内容を実際に運用できるように練習し、中級中国語の語彙、文法、構文を身に着けることを目標とする。読解力のみならず、「話す」「聞く」「書く」などの能力もバランスよく訓練し、中国語総合能力の向上を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業では毎回、まず中国語で簡単な日常挨拶を交わし、学生たちが自分の名前を中国語で言い、聞き取れるように練習する。次に、先生と一緒に単語と本文を音読し、中国語の正しい発音を覚えていく。そのあと、重要単語の意味と用法、文法項目及び関連知識を学習し、作文練習や補足練習を通して確実に身に着ける。さらに、各課のトピックに合わせて、グループで会話練習を行う。例えば、自己紹介に関するトピックの場合、学んだ表現を使って実際に自己紹介ができるように練習する。このように、授業は中国語の総合能力の向上を意識して進めていく。
＜重要＞
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 22 日 (水）とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などはを、学習支援システムで提示している。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	ガイダンス	発音の復習、中国語初級文法、構文などの復習
2 回	第 1 課　自我介⊠	①自己紹介に関する重要表現、言い方を学習する。 ②重要文法項目：前置詞 “在、跟” などの用法、動詞の重ね型。
3 回	第 1 課　自我介⊠	実践練習： 自己紹介の仕方 (自分の名前、故郷、家族構成、専攻、など)
4 回	第 2 課　李⊠有很多⊠好	①趣味を紹介する際に使う重要表現、言い方を学習する。 ②重要文法項目：前置詞 “对”“从” の用法、助動詞 “打算” の用法。
5 回	第 2 課 李⊠有很多⊠好	実践練習：様々な趣味の中国語の言い方を身に着け、自分や友人の趣味を人に紹介する。

6 回	第 3 課 ☒大☒的一天	①一日の行動を述べる際の構文、表現を学ぶ。 ②重要文法項目： 連動文、様態補語、時間副詞の用法。
7 回	第 3 課 ☒大☒的一天	実践練習： 連動文や時間副詞を用いて、自分の一日の行動を中国語で表現する。
8 回	第 4 課 ☒芳的☒☒	①人の性格、特徴や仕事に関する言い方、表現を学習する。 ②重要文法項目：助動詞 “能” の用法、方向補語、中国語の感情動詞など。
9 回	第 4 課 ☒芳的☒☒	実践練習：中国語で自分の友人の性格、特徴などを紹介する。
10 回	第 5 課 我☒是去年☒☒的	①過去の出来事を述べる際に使用する表現、構文などを学ぶ。 ②重要文法項目：“是…的” 構文、因果関係の複文、中国語の離合動詞。
11 回	第 5 課 我☒是去年☒☒的	実践練習： 中国語の “是…的” 構文の機能、使い方を正しく理解し、“是…的” 構文を使えるように練習する。
12 回	第 6 課 你知道 “☒☒☒” ☒？	①情報や知識を人に伝える際に使う表現、構文を学ぶ ②重要文法項目： 前置詞、逆接接続詞の使い方、“快要…了” の使い方、助動詞 “要” の用法
13 回	第 6 課 你知道 “☒☒☒” ☒？	実践練習： 中国語である情報やニュースまたは知識を人に紹介する。
14 回	授業の総まとめと期末試験	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
１、事前に教科書を音読し，「warming up」を予習してください。
２、授業で補足された内容を必ずメモし，授業後整理してください。
３、授業後，復習を通してその日の語彙と構文を知識として定着させる。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『標準中国語読解力 UP 編』王安・楊川・王欣・孫樹林　朝日出版
2200 円＋税
ISBN978-4-255-45215-9C1087

【参考書】
『WHY？ にこたえるはじめての中国語の文法書』相原茂・石田知子・戸沼市子著　2,500 円（同学社）
その他の資料は授業で随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】
期末試験 60 %、小テスト・課題など 30 %、平常点 10 %を総合して評価する。
＜変更＞
当面の間、オンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
文法の説明が分かりやすいとのコメントを頂いてうれしいです。今後の授業でも丁寧に文法項目を説明し、学習効果を着実に上げていきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
音声教材を日常的に聴くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】
春学期・秋学期合わせての履修の推奨

【Outline and objectives】
This is a Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the communication skills and the knowledge of grammar of intermediate level. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

王　安

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 V

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
前期に引き続き、中国語中級レベルに必要な語彙・文法・表現を総合的に習得し，中国の文化・習慣への理解を深める。授業では、各課の内容を巡って、グループで会話をしたり、重要文法項目について作文をしたり、様々な練習問題をしたりすることによって、学んだ知識を確実に身につけていく。

【到達目標】
初級～中級中国語を終えた学習者を対象に、これまで学んできた内容を実際に運用できるように練習し、中級中国語の語彙、文法、構文を身に着けることを目標とする。読解力のみならず、「話す」「聞く」「書く」などの能力もバランスよく訓練し、中国語総合能力の向上を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業では毎回、まず中国語で簡単な日常挨拶を交わし、学生たちが自分の名前を中国語で言い、聞き取れるように練習する。次に、先生と一緒に単語と本文を音読し、中国語の正しい発音を覚えていく。そのあと、重要単語の意味と用法、文法項目及び関連知識を学習し、作文練習や補足練習を通して確実に身に着ける。さらに、各課のトピックに合わせて、グループで会話練習を行う。例えば、自己紹介に関するトピックの場合、学んだ表現を使って実際に自己紹介ができるように練習する。このように、授業は中国語の総合能力の向上を意識して進めていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	第７課	①前期復習 ②中国語の外来語 ③重要表現、文法の説明
2 回	第７課	実践練習： 中国語の外来語や日中両言語の表記体系、外来語の相違を紹介する。
3 回	第８課	①中国の大学や大学生の生活に関する表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明
4 回	第８課	実践練習： 中国語で自分の大学や大学生活を紹介する。
5 回	第９課	①中国の若者文化、若者の生活に関する中国語表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。
6 回	第９課	実践練習： 中国の若者言葉を紹介し、日本語や日本の文化が中国の若者に与えた影響を紹介する。
7 回	第１０課	①日本の “動漫” に関する中国語表現を学ぶ ②重要文法項目の説明。
8 回	第１０課	実践練習： 日本の “動漫” が中国に与えた影響を紹介し、映画やアニメに関する中国語表現を紹介する。
9 回	第１１課	①北京に関する知識、北京生活に関する表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。
10 回	第１１課	実践練習： 北京の言葉、生活、文化などに関連する中国語表現を練習する。
11 回	第１２課	①中国の飲食文化を紹介し、それに関連する表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。
12 回	第１２課 第１３課	①飲食に関する中国語表現を用いて練習する。 ②中国の民族に関連する知識を紹介する
13 回	第１４課	①中国の旧正月に関する知識、表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。 ③まとめ
14 回	授業の総まとめと期末試験	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
１、事前に教科書を音読し，「warming up」を予習してください。
２、授業で補足された内容を必ずメモし，授業後整理してください。
３、授業後，復習を通してその日の語彙と構文を知識として定着させる。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『標準中国語読解力 UP 編』王安・楊川・王欣・孫樹林　朝日出版
2200 円＋税
ISBN978-4-255-45215-9C1087

【参考書】
『WHY？ にこたえるはじめての中国語の文法書』相原茂・石田知子・戸沼市子著　2,500 円（同学社）
その他の資料は授業で随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】
期末試験 60 %、小テスト・課題など 30 %、平常点 10 %を総合して評価する。

【学生の意見等からの気づき】
文法の説明が分かりやすいとの評価を頂いてうれしいです。今後の授業でも丁寧に文法項目を説明し、様々な工夫をして学習効果を着実に上げていきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
音声教材を日常的に聴くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】
春学期・秋学期合わせての履修の推奨

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills and grammar knowledge of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ｉ

2017 年度以降入学者

木村　佳代子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
文 2 年 B〜G

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、「中国語１」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

【到達目標】
１．中国語の中級レベルの語彙、文法を学修し、運用することができる。
２．ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
中国社会を反映した全 12 課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答をおこないます。授業開始日は 4 月 24 日（金）です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第１課（動詞 “上” の用法、“対〜”「〜について」の用法）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 2 回	第１課　（複合方向補語、存在文）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 3 回	第２課（進行表現、結果補語）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 4 回	第２課（禁止表現、“把” 構文）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 5 回	第３課（方位詞、“不但〜而且” の表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 6 回	第３課（仮定表現）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 7 回	第１課〜第３課の復習	ヒヤリングを中心とした練習
第 8 回	第４課（伝聞表現、形容詞の重ね型）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 9 回	第４課（条件関係の表現）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 10 回	第５課（強調表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 11 回	第５課（受身表現、確認表現）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 12 回	総合練習（第１課〜第３課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 13 回	総合練習（第４課、第５課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 14 回	試験・まとめと解説	朗読試験、ヒヤリング・筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。事前学修、事後学修は、音声ファイルをダウンロードし、発音練習や書き取り練習を繰り返しおこなってください。

【テキスト（教科書）】
『準中級中国語会話編』奥村佳代子・塩山正純・張軼欧　金星堂
2300 円＋税
ISBN978-4-7647-0711-5

【参考書】
『準中級中国語講読篇』　奥村佳代子・塩山正純・張軼欧　金星堂
2300 円＋税
ISBN978-4-7647-0712-2

【成績評価の方法と基準】
平常点 60 %、期末試験 40 パーセントを総合して評価する。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】
音声教材を聞くことができる機器が必要です。

【Outline and objectives】
・To review important point of Chinese grammar.
・Improve reading,speaking,writing,and translating skills.
・Learning Chinese clutures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

木村　佳代子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
文 2 年 B〜G

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、引き続き、「中国語１」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

【到達目標】
１．中国語の中級レベルの語彙、文法を学修し、運用することができる。
２．ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
中国社会を反映した全 12 課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答をおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第６課（強調表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 2 回	第６課（様態補語、疑問詞の不定詞用法）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 3 回	第７課（使役）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 4 回	第７課（離合詞）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 5 回	第８課（“会〜的”）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 6 回	第８課（“向〜” の用法）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 7 回	第６課〜第８課の復習	ヒヤリングを中心とした練習
第 8 回	第９課（結果補語）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 9 回	第９課（動量詞）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 10 回	第 10 課（“是〜的” 構文）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 11 回	第 10 課（結果補語、方向補語）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 12 回	総合練習（第６課〜第８課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 13 回	総合練習（第９課、第 10 課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 14 回	試験・まとめと解説	朗読試験、ヒヤリング、筆記試験。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。事前学修、事後学修は、音声ファイルをダウンロードし、発音練習や書き取り練習を繰り返しおこなってください。

【テキスト（教科書）】
『準中級中国語会話編』奥村佳代子・塩山正純・張軼欧　金星堂
2300 円＋税
ISBN978-4-7647-0711-5

【参考書】
『準中級中国語講読篇』　奥村佳代子・塩山正純・張軼欧　金星堂
2300 円＋税
ISBN978-4-7647-0712-2

【成績評価の方法と基準】
平常点 60 %、期末試験 40 パーセントを総合して評価する。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】
音声教材を聞くことができる機器が必要です。

【Outline and objectives】
This corse is continued from Spring semester.
・To review important point of Chinese grammar.
・Improve reading,speaking,writing,and translating skills.
・Learning Chinese clutures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

王　安

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火** 1/Tue.1
単位数：**1 単位**
文２年Ｈ・Ⅰ

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語初級～中級レベルに必要な語彙・文法・表現を総合的に習得し，中国の文化・習慣における基本知識を理解する。授業では、各課の内容を巡って、会話練習をしたり、重要文法項目について作文をしたり、様々な練習問題をしたりすることによって、学んだ知識を確実に身につけていく。

【到達目標】
初級中国語を終えた学習者を対象に、初級中国語の内容を実際に運用できるように練習し、中級中国語の語彙、文法、構文を身に着けることを目標とする。読解力のみならず、「話す」「聞く」「書く」などの能力もバランスよく訓練し、中国語総合能力の向上を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業では毎回、まず中国語で簡単な日常挨拶を交わし、学生たちが自分の名前を中国語で言い、聞き取れるように練習する。次に、先生と一緒に単語と本文を音読し、中国語の正しい発音を覚えていく。そのあと、重要単語の意味と用法、文法項目及び関連知識を学習し、作文練習や補足練習を通して確実に身に着ける。さらに、各課のトピックに合わせて、グループで会話練習を行う。例えば、自己紹介に関するトピックの場合、学んだ表現を使って実際に自己紹介ができるように練習する。このように、授業は中国語の総合能力の向上を意識して進めていく。
＜重要＞
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 21 日 (火）とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などはを、学習支援システムで提示している。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	ガイダンス	発音の復習、中国語初級文法、構文などの復習
2 回	第 1 課　自我介☒	①自己紹介に関する重要表現、言い方を学習する。 ②重要文法項目：前置詞 “在、跟” などの用法、動詞の重ね型。
3 回	第 1 課　自我介☒	実践練習： 自己紹介の仕方 (自分の名前、故郷、家族構成、専攻、など)
4 回	第 2 課　李☒有很多☒好	①趣味を紹介する際に使う重要表現、言い方を学習する。 ②重要文法項目：前置詞 “对”“从” の用法、助動詞 “打算” の用法。
5 回	第 2 課 李☒有很多☒好	実践練習：様々な趣味の中国語の言い方を身に着け、自分や友人の趣味を人に紹介する。
6 回	第 3 課 ☒大☒的一天	①一日の行動を述べる際の構文、表現を学ぶ。 ②重要文法項目： 連動文、様態補語、時間副詞の用法。
7 回	第 3 課 ☒大☒的一天	実践練習： 連動文や時間副詞を用いて、自分の一日の行動を中国語で表現する。
8 回	第 4 課 ☒芳的☒☒	①人の性格、特徴や仕事に関する言い方、表現を学習する。 ②重要文法項目：助動詞 “能” の用法、方向補語、中国語の感情動詞など。
9 回	第 4 課 ☒芳的☒☒	実践練習：中国語で自分の友人の性格、特徴などを紹介する。
10 回	第 5 課 我☒是去年☒☒的	①過去の出来事を述べる際に使用する表現、構文などを学ぶ。 ②重要文法項目： “是…的” 構文、因果関係の複文、中国語の離合動詞。
11 回	第 5 課 我☒是去年☒☒的	実践練習： 中国語の “是…的” 構文の機能、使い方を正しく理解し、“是…的” 構文を使えるように練習する。
12 回	第 6 課 你知道 “☒☒☒” ☒？	①情報や知識を人に伝える際に使う表現、構文を学ぶ ②重要文法項目： 前置詞、逆接接続詞の使い方、“快要…了” の使い方、助動詞 “要” の用法
13 回	第 6 課 你知道 “☒☒☒” ☒？	実践練習： 中国語である情報やニュースまたは知識を人に紹介する。
14 回	授業の総まとめと期末試験	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
１、事前に教科書を音読し，「warming up」を予習してください。
２、授業で補足された内容を必ずメモし，授業後整理してください。
３、授業後，復習を通してその日の語彙と構文を知識として定着させる。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『標準中国語読解力 UP 編』王安・楊川・王欣・孫樹林　朝日出版
2200 円＋税
ISBN978-4-255-45215-9C1087

【参考書】
『WHY？ にこたえるはじめての中国語の文法書』相原茂・石田知子・戸沼市子著　2,500 円（同学社）
その他の資料は授業で随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】
期末試験 60 %、小テスト・課題など 30 %、平常点 10 %を総合して評価する。
＜変更＞
当面の間、オンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
文法の説明が分かりやすいとのコメントを頂いてうれしいです。今後の授業でも丁寧に文法項目を説明し、学習効果を着実に上げていきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
音声教材を日常的に聴くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】
春学期・秋学期合わせての履修の推奨

【Outline and objectives】
This is a Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the communication skills and the knowledge of grammar of intermediate level. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

王　安

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 1/Tue.1
単位数：**1 単位**
文２年Ｈ・Ｉ

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
前期に引き続き、中国語中級レベルに必要な語彙・文法・表現を総合的に習得し，中国の文化・習慣への理解を深める。授業では、各課の内容を巡って、グループで会話をしたり、重要文法項目について作文をしたり、様々な練習問題をしたりすることによって、学んだ知識を確実に身につけていく。

【到達目標】
初級～中級中国語を終えた学習者を対象に、これまで学んできた内容を実際に運用できるように練習し、中級中国語の語彙、文法、構文を身に着けることを目標とする。読解力のみならず、「話す」「聞く」「書く」などの能力もバランスよく訓練し、中国語総合能力の向上を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業では毎回、まず中国語で簡単な日常挨拶を交わし、学生たちが自分の名前を中国語で言い、聞き取れるように練習する。次に、先生と一緒に単語と本文を音読し、中国語の正しい発音を覚えていく。そのあと、重要単語の意味と用法、文法項目及び関連知識を学習し、作文練習や補足練習を通して確実に身に着ける。さらに、各課のトピックに合わせて、グループで会話練習を行う。例えば、自己紹介に関するトピックの場合、学んだ表現を使って実際に自己紹介ができるように練習する。このように、授業は中国語の総合能力の向上を意識して進めていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	第７課	①前期復習 ②中国語の外来語 ③重要表現、文法の説明
2 回	第７課	実践練習： 中国語の外来語や日中両言語の表記体系、外来語の相違を紹介する。
3 回	第８課	①中国の大学や大学生の生活に関する表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明
4 回	第８課	実践練習： 中国語で自分の大学や大学生活を紹介する。
5 回	第９課	①中国の若者文化、若者の生活に関する中国語表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。
6 回	第９課	実践練習： 中国の若者言葉を紹介し、日本語や日本の文化が中国の若者に与えた影響を紹介する。
7 回	第１０課	①日本の “動漫” に関する中国語表現を学ぶ ②重要文法項目の説明。

8 回	第１０課	実践練習： 日本の“動漫”が中国に与えた影響を紹介し、映画やアニメに関する中国語表現を紹介する。
9 回	第１１課	①北京に関する知識、北京生活に関する表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。
10 回	第１１課	実践練習： 北京の言葉、生活、文化などに関連する中国語表現を練習する。
11 回	第１２課	①中国の飲食文化を紹介し、それに関連する表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。
12 回	第１２課 第１３課	①飲食に関する中国語表現を用いて練習する。 ②中国の民族に関連する知識を紹介する
13 回	第１４課	①中国の旧正月に関する知識、表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。 ③まとめ
14 回	授業の総まとめと期末試験	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
１、事前に教科書を音読し，「warming up」を予習してください。
２、授業で補足された内容を必ずメモし，授業後整理してください。
３、授業後，復習を通してその日の語彙と構文を知識として定着させる。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『標準中国語読解力 UP 編』王安・楊川・王欣・孫樹林　朝日出版
2200 円＋税
ISBN978-4-255-45215-9C1087

【参考書】
『WHY？ にこたえるはじめての中国語の文法書』相原茂・石田知子・戸沼市子著　2,500 円（同学社）
その他の資料は授業で随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】
期末試験 60 %、小テスト・課題など 30 %、平常点 10 %を総合して評価する。

【学生の意見等からの気づき】
文法の説明が分かりやすいとの評価を頂いてうれしいです。今後の授業でも丁寧に文法項目を説明し、様々な工夫をして学習効果を着実に上げていきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
音声教材を日常的に聴くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】
春学期・秋学期合わせての履修の推奨

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills and grammar knowledge of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

木村　佳代子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
文 2 年 L～P

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、「中国語１」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

【到達目標】
１．中国語の中級レベルの語彙、文法を学修し、運用することができる。
２．ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
中国社会を反映した全 12 課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答をおこないます。授業開始日は 4 月 24 日（金）です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第１課（動詞“上”の用法、“対～”「～について」の用法）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 2 回	第１課　（複合方向補語、存在文）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 3 回	第２課（進行表現、結果補語）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 4 回	第２課（禁止表現、“把”構文）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 5 回	第３課（方位詞、“不但～而且”の表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 6 回	第３課（仮定表現）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 7 回	第１課～第３課の復習	ヒヤリングを中心とした練習
第 8 回	第４課（伝聞表現、形容詞の重ね型）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 9 回	第４課（条件関係の表現）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 10 回	第５課（強調表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 11 回	第５課（受身表現、確認表現）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 12 回	総合練習（第１課～第３課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 13 回	総合練習（第４課、第５課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 14 回	試験・まとめと解説	朗読試験、ヒヤリング・筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

事前学修、事後学修は、音声ファイルをダウンロードし、発音練習や書き取り練習を繰り返しおこなってください。

【テキスト（教科書）】
『準中級中国語会話編』奥村佳代子・塩山正純・張軼欧　金星堂
2300 円＋税
ISBN978-4-7647-0711-5

【参考書】
『準中級中国語講読篇』　奥村佳代子・塩山正純・張軼欧　金星堂
2300 円＋税
ISBN978-4-7647-0712-2

【成績評価の方法と基準】
平常点 60 %、期末試験 40 パーセントを総合して評価する。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】
音声教材を聞くことができる機器が必要です。

【Outline and objectives】
・To review important point of Chinese grammar.
・Improve reading,speaking,writing,and translating skills.
・Learning Chinese clutures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

木村　佳代子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
文 2 年 L～P

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、引き続き、「中国語１」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

【到達目標】
１．中国語の中級レベルの語彙、文法を学修し、運用することができる。
２．ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
中国社会を反映した全 12 課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答をおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第６課（強調表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 2 回	第６課（様態補語、疑問詞の不定詞用法）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 3 回	第７課（使役）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 4 回	第７課（離合詞）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 5 回	第８課（“会～的”）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 6 回	第８課（“向～” の用法）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 7 回	第６課～第８課の復習	ヒヤリングを中心とした練習
第 8 回	第９課（結果補語）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 9 回	第９課（動量詞）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 10 回	第 10 課（“是～的” 構文）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 11 回	第 10 課（結果補語、方向補語）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 12 回	総合練習（第６課～第８課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 13 回	総合練習（第９課、第 10 課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 14 回	試験・まとめと解説	朗読試験、ヒヤリング、筆記試験。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。事前学修、事後学修は、音声ファイルをダウンロードし、発音練習や書き取り練習を繰り返しおこなってください。

【テキスト（教科書）】
『準中級中国語会話編』奥村佳代子・塩山正純・張軼欧　金星堂
2300 円＋税
ISBN978-4-7647-0711-5

【参考書】
『準中級中国語講読篇』　奥村佳代子・塩山正純・張軼欧　金星堂
2300 円＋税
ISBN978-4-7647-0712-2

【成績評価の方法と基準】
平常点 60 %、期末試験 40 パーセントを総合して評価する。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】
音声教材を聞くことができる機器が必要です。

【Outline and objectives】
This corse is continued from Spring semester.
· To review important point of Chinese grammar.
· Improve reading,speaking,writing,and translating skills.
· Learning Chinese clutures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

耿　函

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
文 2 年 Q

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語（現代漢語）の基礎を固めながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深める。

【到達目標】
テキストに出ている身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに文法の仕組みを理解し、様々な場面に相応しい中国語の会話ができる能力が身につくように訓練する。また、留学や就職に有利な中国語検定試験や HSK などの練習問題を取り入れることにより合格を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
基本的に１課を２回にわたって進めていく。１回目は本文に出ている語彙や文法要点や文型を学習・理解する。２回目は主に聞く・話す・読む・書くなどの応用練習を通じて、語彙や文法・文型の定着・応用力の向上に重点を置く。
授業開始日は４月 23 日です

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション復習	１年生に学んだ発音・基礎文法の復習
2	第１課「自我介⊠」（１）	本文の学習・文法の確認
3	第１課「自我介⊠」（２）	読み・応用練習
4	第２課「我的大学生活」（１）	課題の発表・本文の学習・文法の確認・
5	第２課「我的大学生活」（２）	読み・応用練習
6	第３課「⊠会」（１）	課題の発表・本文の学習・文法の確認・
7	第３課「⊠会」（２）	読み・応用練習
8	第４課「打算去中国」（１）	課題の発表・本文の学習・文法の確認・
9	第４課「打算去中国」（２）	読み・応用練習
10	第５課「坐⊠机」（１）	課題の発表・本文の学習・文法の確認・
11	第５課「坐⊠机」（２）	読み・応用練習
12	第６課「⊠理住宿登⊠手⊠」（１）	課題の発表・本文の学習・文法の確認・
13	第６課「⊠理住宿登⊠手⊠」（２）	読み・応用練習
14	授業の総まとめと期末試験	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストについている CD を十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・本文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましい。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしい。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
「温故知新」虞萍著 朝日出版社　2019 年　2200 円+税

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
期末筆記テストを 50 %、中間テストや会話の小テストをそれぞれ 20 %、また平常
点を 10 %にし、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】
学生学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ねていきたい

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

耿　函

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
文 2 年 Q

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語（現代漢語）の基礎を固めながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深める。

【到達目標】
テキストに出ている身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに文法の仕組みを理解し、様々な場面に相応しい中国語の会話ができる能力が身につくように訓練する。また、留学や就職に有利な中国語検定試験や HSK などの練習を取り入れることにより合格を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
基本的に１課を２回にわたって進めていく。１回目は本文に出ている語彙や文法要点や文型を学習・理解する。２回目は主に聞く・話す・読む・書くなどの応用練習を通じて、語彙や文法・文型の定着・応用力の向上に重点を置く。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習	春学期末試験の総括・既習の内容の復習
2	第７課「在⊠店里吃⊠」（1）	本文の学習・文法の確認
3	第７課「在⊠店里吃⊠」（2）	読み・応用練習
4	第８課「去医院看病」（1）	課題の発表・本文の学習・文法の確認
5	第８課「去医院看病」（2）	読み・応用練習
6	第９課「⊠物」（1）	課題の発表・本文の学習・文法の確認
7	第９課「⊠物」（2）	読み・応用練習
8	第１０課「打⊠」（1）	課題の発表・本文の学習・文法の確認
9	第１０課「打⊠」（2）	読み・応用練習
10	第１１課「在⊠行里⊠⊠」（1）	課題の発表・本文の学習・文法の確認
11	第１１課「在⊠行里⊠⊠」（2）	読み・応用練習
12	第１２課「回国」（1）	課題の発表・本文の学習・文法の確認
13	第１２課「回国」（2）	読み・応用練習
14	授業の総まとめと期末試験	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストについている CD を十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・本文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましい。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしい。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
「温故知新」虞萍著 朝日出版社　2019 年　2200 円+税

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
期末筆記テストを 50 %、中間テストや会話の小テストをそれぞれ 20 %、また平常
点を 10 %にし、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】
学生の学習意欲を引き出し、使える中国語を目指して様々な工夫を重ねていきたい。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

池田　麻希子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
文２年 U・V

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の本文を読み、練習問題を解くことを通じて、中国語の語彙や文法知識のレベルをバランス良く中級レベルまで伸ばし、中国語の読解・作文能力、また実践的なコミュニケーション能力を養っていきます。

【到達目標】
中国語で会話ができるようになるための訓練を通して、準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各課は課文、文法ポイント、ドリル、会話練習から成ります。毎回、音読と訳を指名しますので、CD を聴き、辞書を引いてしっかりと予習してから授業に臨んで下さい。また、文法例文の書き取り小テストや、本文または会話文の暗誦も課します。
※春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日は４月２３日です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	初級文法の復習	初級文法の復習・確認
2	第１課	自分・家族
3	第 1・2 課	第 1 課小テスト／家
4	第２課	第 2 課続き・小テスト
5	第３課	好きなこと
6	第３・4 課	第 3 課小テスト／ SNS
7	第４課	第 4 課続き・小テスト
8	第 5 課	休日
9	第５・6 課	第 5 課小テスト／旅行の思い出
10	第 6 課	第 6 課続き・小テスト
11	第 7 課	中国への興味
12	第 7 課	第 7 課続き・小テスト
13	総復習	第 1～7 課の内容のまとめ
14	授業の総まとめと試験	第 1～7 課の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回の授業で指示された範囲の最低限の予習・復習を欠かさないこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『2 年めの伝える中国語　自分のこと日本のこと』及川淳子著、白水社、2019 年。

【参考書】
講義中に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
期末試験を 7～8 割、小テスト・授業態度を 2～3 割として評価します。期末試験・小テストの出題形式の詳細については講義中に説明します。出席回数が授業回数の 3 分の 2 に及ばなかった者は、成績評価の対象としません（遅刻・早退は 2 回で欠席 1 回とします）。
※当面の間、オンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更になります。対面授業が再開されなかった場合は、毎回の課題の実施状況によって評価します。具体的な基準は、状況を見ながら後日学習支援システムで提示します。

【学生の意見等からの気づき】
受講生が充実を感じ、興味を持って学習を続けたいと思えるような授業を心がけます。尚、受講者の理解を優先しますので、上記の授業計画通りには進まない可能性もあります。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

池田　麻希子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
文 2 年 U・V

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の本文を読み、練習問題を解くことを通じて、中国語の語彙や文法知識のレベルをバランス良く中級レベルまで伸ばし、中国語の読解・作文能力、また実践的なコミュニケーション能力を養っていきます。

【到達目標】
中国語で会話ができるようになるための訓練を通して、準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各課は課文、文法ポイント、ドリル、会話練習から成ります。毎回、音読と訳を指名しますので、CD を聴き、辞書を引いてしっかりと予習してから授業に臨んで下さい。また、文法例文の書き取り小テストや、本文または会話文の暗誦も課します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	春学期学習内容の復習・確認
2	第 8 課	東京案内
3	第 8・9 課	第 8 課小テスト／交通事情
4	第 9 課	第 9 課続き・小テスト
5	第 10 課	買い物事情
6	第 10・11 課	第 10 課小テスト／日本の文化
7	第 11 課	第 11 課続き・小テスト
8	第 12 課	サブカルチャー
9	第 12・13 課	第 12 課小テスト／食事
10	第 13 課	第 13 課続き・小テスト
11	第 14 課	相互理解
12	第 14 課	第 14 課続き・小テスト
13	総復習	第 8～14 課の内容のまとめ
14	授業の総まとめと試験	第 8～14 課の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回の授業で指示された範囲の最低限の予習・復習を欠かさないこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『2 年めの伝える中国語　自分のこと日本のこと』及川淳子著、白水社、2019 年。

【参考書】
講義中に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
期末試験を 7～8 割、小テスト・授業態度を 2～3 割として評価します。期末試験・小テストの出題形式の詳細については講義中に説明します。出席回数が授業回数の 3 分の 2 に及ばなかった者は、成績評価の対象としません（遅刻・早退は 2 回で欠席 1 回とします）。

【学生の意見等からの気づき】
受講生が充実を感じ、興味を持って学習を続けたいと思えるような授業を心がけます。尚、受講者の理解を優先しますので、上記の授業計画通りには進まない可能性もあります。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

蒋　彧婷

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 5/Thu.5
単位数：**1 単位**
文 2 年 X

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年次の既習内容をベースにして、さらに基礎を固め、レベルアップにつながる読解力、表現力などを培うことを目的とする。

【到達目標】
基礎的な文法に関するスキルを身に付ける。
一般的な会話ができる。
簡単な文書の内容を理解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って、履修者のレベルに合わせつつ、内容への理解をチェックしながら授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	復習	一年次に習った主な文法事項などの復習
②	第１課	助動詞「可以」、「要」 主述述語文 目的語が主述句のとき
③	第１課	本文：中国に行こう！
④	第２課	「的」の用法 原因、理由を表す「因为」 文末の助詞「吧」、「呢」
⑤	第２課	本文：ジャスミン茶を飲もう！
⑥	第３課	連動文 「是～的」の文 疑問詞「怎么」
⑦	第３課	本文：友達を作ろう！
⑧	第４課	「了」の三つの用法 副詞「就」
⑨	第４課	本文：長城に登ろう！
⑩	第５課	様態補語 可能性の予測を表す「会」 仮定を表す「要是」
⑪	第５課	本文：卓球を楽しもう！
⑫	第６課	結果補語 1 副詞「有点儿」
⑬	第６課	本文：漢字を覚えよう！
⑭	復習、試験、まとめ	第１～６課の復習と確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業前に必ず復習と予習をすること。毎課の新出単語と文法事項を確実に理解したかを必ず自己チェックをすること。
毎日最低 20 分テキストの CD を聞きながら、発音練習を行うこと。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
尹景春、竹島毅著『中国語つぎへの一歩』　白水社

【参考書】
必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
期末テストを主に（50 %）、学習態度や学習意欲（20 %）、小テスト（20 %）、平常点なども（10 %）勘案して、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】
前年度の授業アンケートの結果が反映されるよう更なる改善を模索していく。

【学生が準備すべき機器他】
電子辞書を用意することを勧める。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

蒋　彧婷

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 5/Thu.5
単位数：**1 単位**
文 2 年 X

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文法事項の基礎を固めつつ、中国語のさらなるスキルアップを目標とする。

【到達目標】
日常会話ができる。
簡単な文章を書ける。
読解力や表現力などの更なるスキルアップを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
発音および読解の練習を中心としつつ、徐々に習熟度を高めるよう授業を進めていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	復習	春学期期末テストの解説と復習
②	第７課	存現文 主語がフレーズの時 「～了～了」の用法
③	第７課	本文：街を歩こう！
④	第８課	状態の持続を表す「着」 副詞「在」 疑問詞の不定用法
⑤	第８課	本文：中国映画を見よう！
⑥	第９課	方向補語 使役を表す「让」
⑦	第９課	本文：チャイナドレスを買おう！
⑧	第 10 課	可能補語 強調表現
⑨	第 10 課	本文：中華を食べよう！
⑩	第 11 課	結果補語（二） 受身を表す「被」
⑪	第 11 課	本文：西遊記を読もう！
⑫	第 12 課	「快～了」の用法 「把」の構文
⑬	第 12 課	本文：春節を祝おう！
⑭	復習、試験、まとめ	第７～12 課の復習と確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業前に必ず復習と予習をすること。毎課の新出単語と文法事項を確実に理解したかを必ず自己チェックをすること。
毎日最低 20 分テキストの CD を聞きながら、発音練習を行うこと。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
尹景春、竹島毅著『中国語つぎへの一歩』 白水社

【参考書】
必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
期末テストを主に（50 %）、学習態度や学習意欲（20 %）、小テスト（20 %）、平常点なども（10 %）勘案して、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】
前年度の授業アンケートの結果が反映されるよう更なる改善を模索していく。

【その他の重要事項】
電子辞書を用意することを勧める。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

王　翠莉

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**1 単位**
営 2 年 D

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、中国語 1、中国語２を一通り終えた学生を対象にする授業です。
使用教科書「優しいビジネス中国語」は、本文がビジネス関係の中国語会話文で、内容は銀行、財務、商談、宴会のセッティング、労働待遇、アフタサービス、国際入札、コンテナ輸送など幅広い分野をカバーしています。また、補充教材として、不動産業界、会社管理、インターネット事情、環境保護、労働契約、国際投資などの文章を翻訳練習として授業に織り込みます。
中国語の基礎勉強を終えた 2 年生にとっては、とても実用的で充実している内容です。ビジネス上で必要な基本会話と文章表現を楽しく覚えましょう。

【到達目標】
教科書と補充教材の勉強と練習により、ビジネス上で必要な基本会話ができ、準中級レベルのビジネス関係の中国語文章が翻訳できるようになることを目標としています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それに伴う各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 28 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	①オリエンテーション ②復習と練習	本授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明し、使用教科書を紹介する。 HSK 模擬試験を練習する。
2 回目	発音の復習と練習	1 年生の教科書「ポイント学習中国語」第 4 課のポイント 4・1「二音節語の声調 20 パタン」を 10 回以上繰り返して発音の練習をする。 受講生全員の発音をチェックする。
3 回目	発音の復習と練習	以下の内容を音読練習する。 「ポイント学習中国語」の第 11 課の会話本文「你每天看几个小⊠？」 第 15 課の会話本文「你家有几口人？ 第 26 課の会話本文「今天几月几号？」 受講生全員の発音をチェックする。
4 回目	教科書第 1 課「オフィスを訪ねる」を勉強する。	①第 1 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。

5 回目	第 2 課　レストランに食事に行く	①第 2 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。
6 回目	第 3 課 銀行に行く	①第 3 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。
7 回目	第 4 課　商談をする	①第 4 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。
8 回目	第 5 課　宴会のセッティングする	①第 5 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。
9 回目	第 6 課　有給休暇を取る	①第 6 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。
10 回目	第 7 課 フライトを待つ	①第 7 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。
11 回目	総合練習	中国語で自己紹介文を 100 字程度書いて音読して録音を提出
12 回目	授業のまとめ	春学期の授業内容をまとめる
13 回目	授業のまとめ	授業のまとめ
14 回目	授業のまとめ	授業のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回の授業の勉強内容と要求に従い、しっかり練習する事。
特に外国語の勉強にとっては、音読練習はとても重要なので、楽しく練習できれば、上手になります。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『やさしいビジネス中国語』三潴正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 ＋税

【参考書】
中国語辞書
『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講になったことに伴い、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
学習支援システムで提示した先生の指示に従って、しっかり勉強しましょう。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

王　翠莉

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**1 単位**
営 2 年 D

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、中国語３Ⅰの続きの授業で、中国語 1 と中国語２を一通り終えた学生を対象にする授業です。
使用教科書「やさしいビジネス中国語」は、ビジネス関係の中国語会話文で、内容は銀行、財務、商談、宴会のセッティング、労働待遇、アフタサービス、国際入札、コンテナ輸送など幅広い分野をカバーしています。また、補充教材として、不動産、会社管理、インターネット事情、環境保護、労働契約、国際投資などの文章を翻訳練習として、授業に織り込みます。
中国語の基礎勉強を終えた 2 年生にとっては、とても実用的で充実している内容です。中国語 1 と中国語 2 の授業で学んだ中国語基礎知識を生かして、ビジネス上で必要な基本会話と文章表現を楽しく覚えましょう

【到達目標】
教科書と補充教材の勉強と練習により、ビジネス上で必要な基本会話ができ、準中級レベルのビジネス関係の中国語文章が翻訳できるようになることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
本授業は、基本的には教科書と補充教材を中心に授業を進めます。教科書の各課は、会話本文、文法と作文、書き換え練習、ヒアリング練習と参考表現からなっています。
授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。その次、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある時、音読と短文作りの練習をします。
二回の授業で 1 回単語小テストをします。小テストの点数を平常点に計上します。
授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をするから、時間の制限で全員はできないので、4，5 人のグループをいくつか作って、交代で音読と翻訳の発表をさせます。毎回の授業では、学生全員に練習のチャンスを与えます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	①オリエンテーション ②総合復習	①後期の授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明する。 ②翻訳と音読の練習をする。
2 回目	第９課　コンテナ輸送	①ポイントを説明する ②会話本文を勉強する ③書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習する。
3 回目	第１０課　待遇	①各グループ代表が第９課本文の音読を発表 ②第１０課を勉強する。

4 回目	補充教材 ビジネス中国語文章の翻訳練習①	①第９課、１０課の単語小テスト ②補充教材を翻訳し各グループ代表が和訳文を発表する。 ③補充教材を説明する。
5 回目	第１１課　病院にて	①第１０課本文の音読練習 ②第１１課を勉強する。
6 回目	第１２課　国際入札	①第１１課本文の音読練習 ②第１２課を勉強する。
7 回目	補充教材 ビジネス中国語文章の翻訳練習②	①第１１課、１２課の単語小テスト ②補充教材を翻訳し各グループ代表が和訳文を発表する。 ③補充教材を説明する。
8 回目	第１３課　財務	①第１２課本文の音読練習 ②第１３課を勉強する。
9 回目	補充教材 ビジネス中国語文章の翻訳練習	①第１３課の単語小テスト ②補充教材を全員翻訳しグループごとに和訳文を発表する。 ③補充教材を説明する。
10 回目	補充教材 ビジネス中国語文章の翻訳練習	①受講生全員に翻訳させ、グループごとに翻訳文を発表してもらう。 ②文章を説明する。
11 回目	中国語検定試験 4 級過去問題	①過去問の筆記部分を練習する。 ②解説する。
12 回目	総合復習練習	授業内容の復習 質問応答
13 回目	音読テスト	音読テスト
14 回目	授業の総まとめと試験	授業内試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業内容の復習はとても大事なことです。
特に外国語の勉強にとっては、音読はとても重要なので、楽しく練習できればお上手になります。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『やさしいビジネス中国語』三潴正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 円＋税

【参考書】
『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社、2019 年 2 月

【成績評価の方法と基準】
成績評価は、平常点と期末試験の点数により総合評価を出す。
平常点は 30%、期末試験は 70%。
平常点には、出席、授業中の小テストと練習および学習態度等を含む。
期末試験には、音読テストは 20%、筆記試験は 50%占める。
中国語検定試験 4 級以上の合格者、期末筆記試験を免除、点数により評価をします。
＊無断欠席４回以上の受講生は評価対象にならない可能性がある。

【学生の意見等からの気づき】
授業中の私語と中国語学習以外の携帯使用を禁止する！

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

周　重雷

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 1/Tue.1
単位数：**1 単位**
営 2 年 E

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
比較的平易な文章で書かれた中国語を通じて、聞く、読む、訳す、書くなど総合的能力を高めると同時に、中国語及び中国事情を知る。より高度な語学力を身に付けるために段階的にレベルアップを図る。

【到達目標】
・中国語の発音と聞き取りの能力を高める。
・文法をきちんと理解し、中国語の文章を自然な日本語に訳せるようにする。
・簡単な会話と作文ができるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
１、単語
２、文法の確認
３、聞き取りの練習
４、短文の読解
＊ 4 月 21 日よりオンライン授業が始まります。学習支援システムを使ってください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	諸事情の確認	シラバスの配布、注意事項の伝達、初級文法の復習。
2	第 1 課　中国概況	単語と文法
3	第 1 課　中国概況	聞き取り練習、会話文訳の確認
4	第 1 課　中国概況	短文の読解
5	第 2 課　中国人の食生活	単語と文法
6	第 2 課　中国人の食生活	聞き取り練習、会話文訳の確認
7	第 2 課　中国人の食生活	短文の読解
8	第 3 課　中国の祝祭日	単語と文法
9	第 3 課　中国の祝祭日	聞き取り練習、会話文訳の確認
10	第 3 課　中国の祝祭日	短文の読解
11	第 4 課　家族間のあいさつ	単語と文法
12	第 4 課　家族間のあいさつ	聞き取り練習、会話文訳の確認
13	第 4 課　家族間のあいさつ	短文の読解
14	まとめ	第１～４課の筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各課の練習問題を解く。
毎週１時間を目途に復習する。

【テキスト（教科書）】
『新・中国ってこんな国　～日々是変化～』池上貞子・張国路著　朝日出版社

【参考書】
日中・中日辞書（電子辞書も可）

【成績評価の方法と基準】
（＊オンライン授業の場合は、課題の完成度が平常点として評価される。）
期末試験（１００点満点）の成績を基本とする。学習態度や小テストなどの平常点も評価の参考になる（減点制）。

【学生の意見等からの気づき】
自由会話の時間を増やす。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
特になし。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

周　重雷

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 1/Tue.1
単位数：**1 単位**
営 2 年 E

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
比較的平易な文章を通じて、聞く、読む、訳す、書くなど総合的能力を高めると同時に、中国語及び中国事情を知る。より高度な語学力を身に付けるために段階的なレベルアップを図る。

【到達目標】
・中国語の発音と聞き取りの能力を向上させる。
・文法をきちんと理解し、中国語の文章を自然な日本語に訳せるようにする。
・簡単な会話と作文ができるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
１、単語
２、文法の確認
３、聞き取りの練習
４、会話文と短文の読解

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第 5 課　交際上のマナー	単語と文法
2	第 5 課　交際上のマナー	聞き取りの練習、会話文訳の確認
3	第 5 課　交際上のマナー	短文の読解
4	第 6 課　通過儀礼	単語と文法
5	第 6 課　通過儀礼	聞き取りの練習、会話文訳の確認
6	第 6 課　通過儀礼	短文の読解
7	第 7 課　８０後と９０後	単語と文法
8	第 7 課　８０後と９０後	聞き取りの練習、会話文訳の確認
9	第 7 課　８０後と９０後	短文の読解
10	第 8 課　今どきの大学生	単語と文法
11	第 8 課　今どきの大学生	聞き取りの練習、会話文訳の確認
12	第 8 課　今どきの大学生	短文の読解
13	筆記テスト	第５～８課の筆記試験
14	まとめ	指定されたテーマで会話をする

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各課の練習問題を解く。
毎週１時間を目途に復習する。

【テキスト（教科書）】
『新・中国ってこんな国　～日々是変化～』池上貞子・張国路著　朝日出版社

【参考書】
日中・中日辞書（電子辞書も可）

【成績評価の方法と基準】
筆記試験（５０点）と口頭試験（５０点）の合計点を基本とする。普段の学習態度も考慮に入れる（減点制）。

【学生の意見等からの気づき】
適宜に進度を調節する。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
特になし。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

李　維涛

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**土** 1/Sat.1
単位数：**1 単位**
営 2 年 F

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級で学んだ基礎知識を織り交ぜてそれを復習しながら中級の学習を進めて行く。
「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】
初級で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。
たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、様々な場面を想定して実戦活動を行い、学んだ知識のアウトプットによる円滑なコミュニケーションを行えることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
[最新授業情報 4 月 20 日更新]
授業開始日：
　4 月 25 日 (土) とします。
授業の進め方と方法 [当面の予定] ：
　5 月 11 日までは、主に資料配信形式で授業を行います。
　5 月 11 日以後は、資料配信形式に加えて、主に動画配信オンデマンド形式と双方向オンライン形式を織り交ぜて、授業を行います。具体的な内容及び行い方は、授業日より一週間前に、授業支援システムでその都度提示・連絡します。
　学生諸君は、予定授業日に必ず授業支援システムにアクセスし、最新の授業情報を確認し、配信された授業関連資料に基づいて学習し、指示された課題を締切を守って提出するように臨んでください。授業内容及び課題などについて質疑等がある場合、授業掲示板に自由に書き込んでください。可能な限り迅速に対応します。
なお、授業の進め方と方法の変更に伴い、授業計画及び成績評価方法は次のように変更することとします。
授業計画と内容：
シラバスに記されている授業計画と内容は、開講時期及び授業方法の変更に伴い、変更することになります。変更後の内容については学習支援システムでその都度提示します。
成績評価方法：
基本的に、シラバスに記された評価方法 [評価項目・割合など] を踏襲します。
各課の小テスト及び期末試験については、オンライン授業の場合は、課題に変更します。
授業方法がオンラインから教室での対面授業に変わり次第、教室でテスト形式で実施します。
具体的に授業は以下の進め方と方法で行うものとする。
授業は、教科書を使っての勉強、コミュニケーション活動、課題と、３つのブロックに分けて行なう。
【教科書】
初回はレベルチェックテストを行い、その結果に応じて、初級で学んだ基礎知識の復習・練習を、最初の 3 回にわたって行なう。4 回目以後教材を使っての学習に入る。
基本的に 1 課を 2 回に分けて、1 回目は主に言葉の学習と文法の解説や練習・応用などを、2 回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。
課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。
【コミュニケーション活動】
グループまたはペアによるコミュニケーション活動を行なう。
活動中に能動的且つ積極的に参加し、自己表現することを望む。
【課題】
春学期の課題は自由作文。
テーマ決め → 執筆 → 提出 → リライト → プレゼンテーションという流れで行なう。
授業スケジュールは、状況に応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション レベルチェックテスト	①授業目標、教材、授業の進め方、スケジュール、履修上の注意事項などについて説明。 ②授業用語と挨拶 ③授業アンケート ④レベルチェックテスト
第 2 回	• 初級基礎復習Ⅰ • コミュニケーション活動 (1)	①初級基礎知識点検・復習・練習Ⅰ ②活動 (1) 私、そして、私の家族
第 3 回	• 初級基礎復習Ⅱ • コミュニケーション活動 (2)	①チェックテスト [初級復習Ⅰ] ②初級基礎知識点検・復習・練習Ⅱ ③活動 (2) 私の一日、あなたの一日
第 4 回	• 初級基礎復習Ⅲ • コミュニケーション活動 (3)	①チェックテスト [初級復習Ⅱ] ②初級基礎知識点検・復習・練習Ⅲ ③活動 (3) 趣味について ④語彙導入 [1 課]
第 5 回	声をかける・挨拶をする [1 課]。	①チェックテスト [初級復習Ⅲ・1 課語彙] ②■方位詞 ■動作・行為の同伴者 ■動詞の重ね型
第 6 回	声をかける・挨拶をする [1 課]。	①チェックテスト [1 課文法] ②既習文型応用・実戦練習 ③語彙導入 [2 課]
第 7 回	初対面の自己表現 [2 課]。	①チェックテスト [2 課語彙] ②■推測・判断 ■行為の積極性 ■様態補語
第 8 回	初対面の自己表現 [2 課]。	①チェックテスト [2 課文法] ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動 (4) 声をかける・自己紹介する ④語彙導入 [3 課]
第 9 回	伝聞による話題について話す [3 課]。	①チェックテスト [3 課語彙] ②■伝聞 ■全否定 ■結果補語
第 10 回	伝聞による話題について話す [3 課]。	①チェックテスト [3 課文法] ②可能補語 ③既習文型応用・実戦練習 ④課題作文について説明
第 11 回	• 伝聞による話題について話す。 • 課題作文	①コミュニケーション活動 (5) 伝聞による話題について話す ②課題作文：テーマ決め・ストーリー作り ③語彙導入 [4 課]
第 12 回	買物について話す [4 課]。	①チェックテスト [4 課語彙] ②■動詞文：現在進行形 ■目的を表現する ■原因・理由についての訊ね方 ③課題作文提出
第 13 回	買物について話す [4 課]。	①チェックテスト [4 課文法] ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動 (6) 買物情報を交換する
第 14 回	• 春学期学習内容の復習・質疑応答 • 期末試験	①課題作文リライト提出　②期末試験　まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
課毎に、言葉クイズ、文法クイズを行う。授業で学習した内容をしっかりと復習・予習すること。
課題などの準備は授業時間外の作業となる。提出締切など時間を守ること。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『中国語へのアプローチⅡ』
楊凱栄・張麗群　著
朝日出版社　2010 年
ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】
• 中日・日中辞典類 [紙媒体、電子辞書、APP の何れも可。電子辞書を推奨する]
• 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』　相原茂など　同学社
• 『中国語生活図解辞典』　遠藤雅裕　　小学館

【成績評価の方法と基準】
授業貢献度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。
チェックテスト [語彙・文法]　35%
期末テスト　30%
活動・口頭表現　15%
課題　10%
授業貢献度・学習態度など　10%

【学生の意見等からの気づき】
○授業では口頭練習と活動がたくさん行われるが、どうしても耳だけでは不安で随一板書して欲しいとの学生からの意見があった。今後の授業では、口頭活動の内容を、なるべく文字でも提示するように心掛けてみる。

【学生が準備すべき機器他】
学習内容に応じて、教室に備えてある機器、または PC などを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】
授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。
特に、携帯電話、飲み物類は、鞄等にしまうこと。
教科書を持参せずの受講は欠席と見なし、必ず教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。
授業中の他に影響を与えるような私語を厳禁する。注意を受ける場合、期末評価の減点要素になる。

【授業に臨む心構え】
其の一　勉強する意欲と意識を高く持つこと
其の二　しっかり予習・復習してくること。
其の二　教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持ってくること。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

李　維涛

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**土** 1/Sat.1
単位数：**1 単位**
営 2 年 F

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級と中級前半で学んだ基礎知識を織り交ぜて復習しながら中上級を目指して学習を進めて行く。
「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】
初級と中級前半で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級後半の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。
たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、学んだ知識のアウトプットを重視し、様々な場面を想定して実戦活動を行なう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業は、教科書を使っての勉強、コミュニケーション活動、課題と、３つのブロックに分けて行なう。
【教科書】
初回は初級と中級前半で学んだ知識をチェックするテストを行い、その結果に応じて、既習基礎知識の復習・練習を、最初の 2 回にわたって行なう。3 回目以後教材を使っての学習に入る。
基本的に 1 課を 2 回に分けて、1 回目は主に文法の解説や練習や応用などを、2 回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。
課毎に、語彙・文法テストを行う。
予習・復習は必須。
【コミュニケーション活動】
グループまたはペアによるコミュニケーション活動を行なう。
活動中には能動的に参加し、積極的に中国語による自己表現をすることを望む。
【課題】
秋学期の課題は二つ。作文と当該年度の中国語の新語・流行語のリサーチレポート。
何れも下記の流れで行なう。
テーマ決め → 執筆 → 提出 → リライト → プレゼンテーション
授業スケジュールは、状況に応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	秋学期学習内容を確認・復習	①中級春学期学習内容チェックテスト ②秋学期授業内容・進め方・スケジュールなどについて説明 ③活動 (1) 絵と言葉で表現する私の夏休み [前半]
第 2 回	■秋学期学習内容を確認・復習。後期学習への準備。 ■コミュニケーション活動で新学期のウォームアップをする。	• チェックテストを返却・FB ①春学期学習内容を総括・復習 ②活動 (1) 絵と言葉で表現する私の夏休み [後半] ③語彙導入 [5 課]
第 3 回	天気について話す [5 課]	①チェックテスト [5 課語彙] ②■確認 ■比較 [否定] ■能願動詞:可能性や見込み
第 4 回	天気について話す [5 課]	①チェックテスト [5 課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動 (2):天気について話す ④語彙導入 [6 課]
第 5 回	初めての経験について話す [6 課]	①チェックテスト [6 課語彙] ②■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」 ③課題 (1) 課題作文について説明
第 6 回	初めての経験について話す [6 課]	①チェックテスト [6 課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動 (3) カフェでおしゃべり ④語彙導入 [7 課]
第 7 回	買物について話す [7 課]	①チェックテスト [7 課語彙] ②■選択：二者択一 ■能願動詞：「～しなければならない」 ③課題 (1) 提出
第 8 回	買物について話す [7 課]	①チェックテスト [7 課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③課題 (1) を返却・FB
第 9 回	書いた物を、声に出して表現する。	①課題 (2) 課題 (1) をプレゼンテーション ②語彙導入 [8 課]
第 10 回	会食をプランニングする [8 課]	①チェックテスト [8 課語彙] ②■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件
第 11 回	会食をプランニングする [8 課]	①チェックテスト [8 課文法] ②能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習
第 12 回	日常生活における食事の場面でのコミュニケーションを学ぶ。	①活動 (4):食事の誘い、食事をする ②語彙導入 [9 課] ③課題 (3) 中国語の新語・流行語をリサーチ
第 13 回	二つのものを比べて表現する [9 課]	①チェックテスト [9 課語彙] ②■動詞文:持続形 ■推測・判断 [肯定] ③課題 (3) ピア活動
第 14 回	■期末テスト前復習・質疑応答 ■期末テスト [筆記]	①授業アンケート ②期末テスト前復習・質疑応答 ③期末テスト [筆記]

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
課毎に言葉クイズ・文法クイズを行う。授業で学習した内容をしっかりと復習・予習すること。
課題などの準備は授業時間外の作業となるが、提出締切など時間を守ること。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『中国語へのアプローチⅡ』
楊凱栄・張麗群　著
朝日出版社　2010 年
ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】
• 中日・日中辞典類 [紙媒体、電子辞書、App の何れも可。電子辞書を奨める]
• 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』　相原茂など　同学社

- 『中国語生活図解辞典』　遠藤雅裕　　小学館

【成績評価の方法と基準】
授業参加度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。
チェックテスト [語彙・文法]　35%
期末テスト　25%
活動・口頭表現　15%
課題　15%
授業貢献度• 学習態度など　10%

【学生の意見等からの気づき】
授業中に、コミュニケーション活動など、口頭表現する活動が多く行われて来た。学生から、口頭表現の内容を板書して提示して欲しいとの要望があった。今後の授業では、これらの口頭活動の内容を、なるべく文字資料ででも提示するように心掛ける。

【学生が準備すべき機器他】
学習内容に応じて、教室に備えてある機器、または PC などを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】
授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。
特に、携帯電話、飲み物類は、鞄等にしまうこと。
教材 [教科書、授業関連資料] を持参せずの受講は欠席と見なすこと。

【授業に臨む心構え】
其の一　勉強する意欲と意識を高く持つこと
其の二　しっかり予習・復習してくること。
其の二　教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持ってくること。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ｉ

2017 年度以降入学者

三田村　圭子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
営２年Ｌ

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語の発音の基礎と基本文型、初級レベルの文法を復習しながら、文法項目の更なる基礎固めを行う。基礎中国語で学習した事項をもとに、聞く・話す・読む・書くをバランスよく練習し、より複雑な表現を理解する。その上で中級以上の中国語に取り組む際に必要な構文や新しい語彙を習得する。

【到達目標】
春学期終了時には、文法においては HSK ３～４級、中国語検定４級程度の能力を確実に習得し、簡単な会話を正確な文法を用いて表現できることを到達目標とする。また、新語の検索をピンイン入力などで実際に行い、実践的な中国語運用の方法を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
今回は新型コロナウィルスの流行に伴い、４月２２日よりオンライン授業を開始する。オンラインでの HSK の教材を使用し、基礎で学んだ事項について復習する。毎回、授業の始めに簡単な発音とヒアリングの練習を行い、本文へ進む。教科書は、文法の解説、発音練習、本文の訳といった順序で進める。その後、練習問題を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	基礎で学習したことの復習①特に４文型	自己紹介。特に発音の確認と練習。
第 2 回	基礎で学習したことの復習②特に補語表現	基礎文法事項の練習。
第 3 回	基礎で学習したことの復習③復習	学んだ常用表現を使い、実際に口頭練習する。
第 4 回	買い物やレストランで順番を待つ	①要②目的語が主述句なる場合③使役表現④太⑤地⑥越～越～
第 5 回	生活で使われるカードやお金のこと	①除了～以外②恐怕③是…的④只⑤由于⑥又…又
第 6 回	第１課から第３課の本文の内容の復習	併せて自己紹介文を用いて、自分のことについて話す。
第 7 回	第１課と第３課の復習、到達度の確認	暗誦行い、併せて練習問題を行う。
第 8 回	運動や趣味について	①包括②受③常見④也⑤所以⑥并+否定⑦一辺… 一辺
第 9 回	インターネットに関連する話題	①被②就是③絶対④想到⑤出于⑥通過
第 10 回	ネット環境に関する話題	第４課、第５課の内容を復習し、練習問題を行う。
第 11 回	携帯電話とネットにかんする現状	①随着②只要③有的④造成⑤着⑥導致
第 12 回	学習した中級構文についてのまとめ	第５課、第６課のヒアリングと作文を行う。
第 13 回	第４から第６課までのヒアリングと発音の復習と暗誦	第４課から第６課の造句部分の復習。
第 14 回	文法事項の復習 期末試験	補語表現や構文の総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
時間のないときは音声教材だけでもよく聴いてくること。
ヒアリングは特に行って欲しい。
また辞典を持っているのが望ましいが、授業開始時に何冊か持参し回覧してもらうので、急いで購入する必要はない。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『音読で身につく中国語　中級』崎原麗霞・丁雷著
朝日出版社 2200 円（税別） ISBN978-4-255-45323-1-C1087
また随時、プリントを配布

【参考書】
進度に合わせて適宜、辞典や参考書について詳しく紹介する。

【成績評価の方法と基準】
期末試験 60 %、宿題・小テスト 20 %、平常点 20 %を総合して評価する。平常点には宿題の提出や暗誦を含む。また、春学期においては HSK ３・４級・中国語検定試験４級合格者には 10 %を上限として加点をする。点数が極めて良好な場合は期末試験の一部を免除する。

【学生の意見等からの気づき】
たくさん当てて欲しいという指摘が数件ありました。去年とは教科書が違うので、多くの会話や造句の機会が得られるように練習を増やしながら授業を進行したいと思っています。

【学生が準備すべき機器他】
音声教材をダウンロードできる機器

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

三田村　圭子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
営２年Ｌ

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文法に関しては中級レベルで書かれた文章の正確な読解を助ける、やや難しい構文を中心に学習する。また会話文の練習を通じ、より何度の高い実践的な中国語の表現を身につける。また、実際に作文や口頭の練習を行うことによって、HSK や中国語検定試験に対応しうる能力を養成する。

【到達目標】
より複雑な文法・構文を理解し、並行して新しい語彙を習得することで、自分の生活に関すること、自身の考えや生活の中で起こりうる事柄を明瞭に話せるようになる。文法に関しては HSK ３級から４級レベル、中国語検定３級程度の能力を習得することを最終的な到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期よりも授業進行が、若干速めになる。基本的には、春学期の授業進行と同様、文法の解説、発音の練習、本文の訳、練習問題の順番だが、３課分ほど進行したところで HSK、中国語検定問題や応用問題を行う時間をとる。また、比較的難しい文法事項については、プリントを使用しながら、教科書で不足する練習事項を補う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第１課から第６課までの復習と発音練習	本文の発音練習をしながら、前半学習した文法事項を総復習する。
第 2 回	世界遺産と孔子	①于②与③的の用法のまとめ④即便⑤給の用法⑥依然
第 3 回	特に「給」に関して整理とまとめ	第７課の内容を理解し、ヒアリング・造句・練習問題を行う。
第 4 回	中国と日本の色に対するイメージの相違点	①根据②特别③却④用…来⑤只有⑥只有…才能⑦難得
第 5 回	基本的な構文のまとめ①	第１回から４回までの練習と簡単な文章の暗誦。
第 6 回	多民族国家について	①不是…而是②不得不③也就是説④「有」の用法の整理⑤一直⑥快于⑦越来越…
第 7 回	口語表現と書面語の違いについて	第９課で学んだ例文を参考に造句してみる。
第 8 回	第７課から第９課までの全体的な復習と到達度の確認	暗誦、検定試験問題や小テストを行う。 ②
第 9 回	訪日する観光客との会話	①把…作為②不僅僅③与…有美④雖然…但是…⑤還是⑥値得⑦与…相比
第 10 回	「把」構文に関するまとめ	第１０課の内容を踏まえて造句してみる。
第 11 回	交通問題に関して 時制の表現と助動詞のまとめ	①経過②甚至③受到④因此⑤逐漸⑥期待

第 12 回	第１１課まで学習した構文を使った表現練習	時制の表現と組み合わせて何かの交通手段を使って観光に行く、あるいは行ったことを書いてみる。
第 13 回	国際化に伴う問題と必要とされる人材について	①「能」の用法のまとめ②応該③具有④才⑤不僅…而且⑥等同于⑦如果⑧一定
第 14 回	応用表現の総合復習 期末試験	第 13 課から第 15 課までを中心に。日常よく使われる表現の暗誦。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
秋学期は内容も難しくなるので、音声教材を授業以外の時間にもよく聴くこと。また授業以外でも大学所蔵の DVD を観るなど、幅広く興味を持ってほしい。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『音読で身につく中国語　中級』崎原麗霞・丁雷著
朝日出版社 2200 円（税別） ISBN978-4-255-45323-1-C1087
また随時、プリントを配布

【参考書】
授業の進行に合わせて再度、辞典や参考書について紹介する。

【成績評価の方法と基準】
期末試験 60 %、小テスト 20 %、平常点 20 %を総合して評価する。平常点には宿題の提出や暗誦を含む。外部能力試験の点数が極めて良好な場合は期末試験の一部を免除する。3 分の 1 以上欠席した学生は評価の対象としない。また、遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。特に各自が行う課題に関しては採点の比重を重く置く。HSK4 級以上、中検３級合格者は試験を免除し S の評価を与える。

【学生の意見等からの気づき】
秋以降は基礎ができている学生と不十分な学生の差が顕著に出てくるので、余裕のある学生には問題を追加し、各自にプリントを配り予備練習を行いたい。

【学生が準備すべき機器他】
音声をダウンロードできる機器

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

薄　宏

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**1 単位**
営２年 M・N

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年次の既習内容をベースにして、さらに基礎を固め、レベルアップにつながる読解力、表現力などを培うことを目的とする。　中国語１と２で学んできた基本語彙、初級文法、基本会話等を復習しながら、要点をしっかりチェックし、その内容をよく確認した上、ユニット１、及び２に沿って、中級文法を学習しながら、「書ける」・「話せる」・「読める」・「聞ける」中国語の習得を更に充実し、平述文と会話文によりバランスよく身につけることを目標とする。

【到達目標】
中国語１と２で取得された学習成果を活かしながら、発音の矯正・中級中国 語にあった自己紹介スピーチと日常用語の暗記・翻訳練習などを兼ねて、「話 せる」・「読める」・「聞ける」、そして「書ける」中国語の習得を授業の到達目 標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って、履修者のレベルに合わせつつ、内容への理解をチェックしながら授業を進める。なお、授業の中では、一人ずつ発音のチェック、正しい文章表現の確認、正確な 文法の応用、明白な発音で自己紹介やスピーチの演習、翻訳要領や日常会話 の実習を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	復習	一年次に習った主な文法事項などの復習
②	第１課	その① １、動詞＋「着」＋動詞句 ２、方向補語 ３、「因果」関係
③	第１課	その② １、「来」の用法Ⅰ ２、目的語になる動詞句と主述句
④	第２課	その① １、比較表現 ２、仮定文中の「就」 ３、逆接を表わす「但是」
⑤	第２課	その② １、「対～来説」 ２、二重否定Ⅰ：「不～不～」
⑥	第３課	その① １、名詞＋「上」 ２、結果補語 ３、疑問詞＋「都／也」
⑦	第３課	その② １、二重目的語 ２、「好」＋形容詞
⑧	第４課	その① １、選択疑問文：「是～、還是～。」 ２、「要是～的話、～。」 ３、可能補語

⑨	第４課	その② １、動詞の重ね型Ⅱ ２、「～好了。」
⑩	第５課	その① １、「就」と「才」 ２、連用修飾語：「～地」 ３、肯定表現の「的」の語気助詞
⑪	第５課	その② １、「把」の構文Ⅰ ２、抽象的な意味を持つ方向補語：「起来」
⑫	第６課	その① １、主語になる動詞句 ２、「一邊～、一邊～。」 ３、「当～的時候」
⑬	第６課	その② １、人民元の表現し方 ２、「又～、又～。」 ３、「行？」 ４、第１課～第６課まとめ
⑭	復習、まとめ、到達度チェック。	第１課～第６課の復習、到達度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業前に必ず復習と予習をすること。毎課の新出単語と文法事項を確実に理解したかを必ず自己チェックをすること。
毎日 30 分～テキストの CD を聞きながら、教科書に沿って発音練習を行うこと。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
「みんなの中国語Ⅱ」（ＣＤ付）
　林　文男著　隆美出版
　２，６００円＋消 費税

【参考書】
日中辞典（小学館）
中日辞典（小学館）
必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
春学期成績評価：
１　学習成果到達度チェック評価　　（８０点）
２　授業態度・宿題完成度・平常点・出欠席等（２０点）
総合評価：
１＋２＝　総合点（１００点満点）とする。
評価基準：
大学の学習評価基準に準ずる。

【学生の意見等からの気づき】
前年度の授業アンケートの結果が反映されるよう更なる改善を模索していく。

【学生が準備すべき機器他】
辞書や参考書の使用は無論のこと、電子辞書の使用も認める。

【その他の重要事項】
学習向上のため、予習や復習等を必ず行うこと。

【Outline and objectives】
The aim is to further solidify the foundation based on the content of the first year's learning, and to cultivate reading comprehension and expressiveness that will lead to a level up. While reviewing basic vocabulary, basic grammar, basic conversation, etc. learned in Chinese 1 and 2, carefully check the points and confirm the contents well, then learn intermediate grammar along Units 1 and 2. In addition, the aim is to further enhance the ability to write, speak, read, and listen in Chinese, and to gain a better balance between plain and sentence sentences.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

薄　宏

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**1 単位**
営２年 M・N

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期で学んだ語彙、文法、会話等を復習しながら、要点をしっかりチェックし、その内容を把握し、基本的な応用が出来るようにする。正確な発音のチェックを随時行い・本文の内容や自己紹介スピーチ、そして日常用語の応用、暗記、翻訳練習等をよく行い、中国語に対し、自信を持てるようになること。

【到達目標】
春学期に引き続き、ユニット３、及び４に沿って、これまで学んできた基本語彙、中級文法を復習しながら、「書ける」・「話せる」・「読める」・「聞ける」中国語の習得を更に充実し、全面的にバランスよく身につけることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
中国の基礎文法と会話表現を良く整理し、テキストに組み立てた本文内容、会話練習、重要表現、練習問題の４つの部分を活かし、授業の中では、一人ずつ発音のチェック、正しい文章表現の確認、正確な文法の応用、明白な発音で自己紹介やスピーチの演習、翻訳要領や日常会話の実習を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第１課～第６課 春学期に学習した全般の復習	春学期の学習内容についての復習、重点の確認、発音、整理、練習等。
第 2 回	第７課	その① １、「除了～以外、還～。」 ２、「由于～、因此～。」 ３、「有点児」と「一点児」
第 3 回	第７課	その② １、「連～也／都～。」 ２、「是不是？」
第 4 回	第８課	その① １、疑問詞の不特定の用法 ２、「把」の構文Ⅱ ３、使役表現Ⅰ「讓／叫」
第 5 回	第８課	その② １、「好」＋動詞 ２、使役表現Ⅱ「有」
第 6 回	第９課	その① １、「不但～、」 ２、「越～越～」 ３、存現文
第 7 回	第９課	その② １、受け身の表現 ２、動詞肯定形＋「了、来、去、過」等＋「没有？」
第 8 回	第１０課	その① １、形容詞の重ね型Ⅱ ２、使役の表現Ⅲ「請」 ３、「毎～都～」

第 9 回	第１０課	その② １、時間量＋「没有」＋動詞句＋「了」 ２、「被」を用いない受け身の表現
第 10 回	第１１課	その① １、「是何的～」 ２、様態補語 ３、抽象的な意味を持つ方向補語：「～下去」
第 11 回	第１１課	その② １、「Ａ是Ａ、可是～」 ２、「只要～就～」
第 12 回	第１２課	その① １、「不管～都～」 ２、「一」＋動詞 ３、「有」の連動式用法
第 13 回	第１２課	その② １、「即～又～」 ２、「就是～也～」 ３、第７課～第１２課の内容を全面的に復習
第 14 回	秋学期のまとめ	第７課～第１２課の到達度チェック。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回授業の内容を良く復習予習することにより、練習問題の宿題を欠かさず回答し、次回授業の答え合わせに参加できるように。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
「みんなの中国語Ⅱ」
　林　文男著（ＣＤ付）　隆美出版
　２，６００円＋消費税

【参考書】
１、辞書や参考書の使用は無論のこと、電子辞書の使用も認める。
２、その必要性に応じて指示する

【成績評価の方法と基準】
秋学期成績評価：
１　学習成果到達度チェック評価　　（８０点）
２　授業態度・宿題完成度・平常点・出欠席等（２０点）
総合評価：
１＋２＝　総合点（１００点満点）とする。
評価基準：
大学の学習評価基準に準ずる。

【学生の意見等からの気づき】
春学期の進行により、学生の授業に対する詳細を把握し、一層の改善できるよう心掛ける。

【学生が準備すべき機器他】
辞書や参考書の使用は無論のこと、電子辞書の使用も認める。

【その他の重要事項】
学習向上のため、予習や復習を必ず行うこと。

【Outline and objectives】
While reviewing the vocabulary, grammar, conversation, etc. learned in the spring semester, carefully check the points, grasp the contents, and be able to apply basic applications. Check the correct pronunciation from time to time. · Become confident in Chinese by practicing the contents of the text, giving self-introduction speeches, applying everyday terms, memorizing, and practicing translation.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

王　翠莉

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**1 単位**
営２年Ｏ・Ｑ

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、中国語 1、中国語２を一通り終えた学生を対象にする授業です。
使用教科書「優しいビジネス中国語」は、本文がビジネス関係の中国語会話文で、内容は銀行、財務、商談、宴会のセッティング、労働待遇、アフタサービス、国際入札、コンテナ輸送など幅広い分野をカバーしています。また、補充教材として、不動産業界、会社管理、インターネット事情、環境保護、労働契約、国際投資などの文章を翻訳練習として授業に織り込みます。
中国語の基礎勉強を終えた 2 年生にとっては、とても実用的で充実している内容です。ビジネス上で必要な基本会話と文章表現を楽しく覚えましょう。

【到達目標】
教科書と補充教材の勉強と練習により、ビジネス上で必要な基本会話ができ、準中級レベルのビジネス関係の中国語文章が翻訳できるようになることを目標としています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それに伴う各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 5 月 6 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	①オリエンテーション ②復習と練習	本授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明し、使用教科書を紹介する。 HSK 模擬試験を練習する。
2 回目	発音の復習と練習	1 年生の教科書「ポイント学習中国語」第 4 課のポイント 4・1「二音節語の声調 20 パタン」を 10 回以上繰り返して発音の練習をする。 受講生全員の発音をチェックする。
3 回目	発音の復習と練習	以下の内容を音読練習する。 「ポイント学習中国語」の第 11 課の会話本文「你每天看几个小⊠？」 第 15 課の会話本文「你家有几口人？ 第 26 課の会話本文「今天几月几号？」 受講生全員の発音をチェックする。
4 回目	教科書第 1 課「オフィスを訪ねる」を勉強する。	①第 1 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。

5 回目	第 2 課　レストランに食事に行く	①第 2 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。
6 回目	第 3 課 銀行に行く	①第 3 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。
7 回目	第 4 課　商談をする	①第 4 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。
8 回目	第 5 課　宴会のセッティングする	①第 5 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。
9 回目	第 6 課　有給休暇を取る	①第 6 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。
10 回目	第 7 課 フライトを待つ	①第 7 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。
11 回目	総合練習	中国語で自己紹介文を 100 字程度書いて音読して録音を提出
12 回目	授業のまとめ	春学期の授業内容をまとめる
13 回目	授業のまとめ	授業のまとめ
14 回目	授業のまとめ	授業のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回の授業の勉強内容と要求に従い、しっかり練習する事。
特に外国語の勉強にとっては、音読練習はとても重要なので、楽しく練習できれば、上手になります。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『やさしいビジネス中国語』三潴正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 ＋税

【参考書】
中国語辞書
『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講になったことに伴い、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
学習支援システムで提示した先生の指示に従って、しっかり勉強しましょう。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

王　翠莉

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**1 単位**
営 2 年 O・Q

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、中国語３Ｉの続きの授業で、中国語 1 と中国語２を一通り終えた学生を対象にする授業です。
使用教科書「やさしいビジネス中国語」は、ビジネス関係の中国語会話文で、内容は銀行、財務、商談、宴会のセッティング、労働待遇、アフタサービス、国際入札、コンテナ輸送など幅広い分野をカバーしています。また、補充教材として、不動産、会社管理、インターネット事情、環境保護、労働契約、国際投資などの文章を翻訳練習として、授業に織り込みます。
中国語の基礎勉強を終えた 2 年生にとっては、とても実用的で充実している内容です。中国語 1 と中国語 2 の授業で学んだ中国語基礎知識を生かして、ビジネス上で必要な基本会話と文章表現を楽しく覚えましょう

【到達目標】
教科書と補充教材の勉強と練習により、ビジネス上で必要な基本会話ができ、準中級レベルのビジネス関係の中国語文章が翻訳できるようになることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
本授業は、基本的には教科書と補充教材を中心に授業を進めます。教科書の各課は、会話本文、文法と作文、書き換え練習、ヒアリング練習と参考表現からなっています。
授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。その次、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある時、音読と短文作りの練習をします。
二回の授業で 1 回単語小テストをします。小テストの点数を平常点に計上します。
授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をするから、時間の制限で全員はできないので、4，5 人のグループをいくつか作って、交代で音読と翻訳の発表をさせます。毎回の授業では、学生全員に練習のチャンスを与えます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	①オリエンテーション ②総合復習	①後期の授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明する。 ②翻訳と音読の練習をする。
2 回目	第９課　コンテナ輸送	①ポイントを説明する ②会話本文を勉強する ③書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習する。
3 回目	第１０課　待遇	①各グループ代表が第９課本文の音読を発表 ②第１０課を勉強する。

4 回目	補充教材 ビジネス中国語文章の翻訳練習①	①第９課、１０課の単語小テスト ②補充教材を翻訳し各グループ代表が和訳文を発表する。 ③補充教材を説明する。
5 回目	第１１課　病院にて	①第１０課本文の音読練習 ②第１１課を勉強する。
6 回目	第１２課　国際入札	①第１１課本文の音読練習 ②第１２課を勉強する。
7 回目	補充教材 ビジネス中国語文章の翻訳練習②	①第１１課、１２課の単語小テスト ②補充教材を翻訳し各グループ代表が和訳文を発表する。 ③補充教材を説明する。
8 回目	第１３課　財務	①第１２課本文の音読練習 ②第１３課を勉強する。
9 回目	補充教材 ビジネス中国語文章の翻訳練習	①第１３課の単語小テスト ②補充教材を全員翻訳しグループごとに和訳文を発表する。 ③補充教材を説明する。
10 回目	補充教材 ビジネス中国語文章の翻訳練習	①受講生全員に翻訳させ、グループごとに翻訳文を発表してもらう。 ②文章を説明する。
11 回目	中国語検定試験 4 級過去問題	①過去問の筆記部分を練習する。 ②解説する。
12 回目	総合復習練習	授業内容の復習 質問応答
13 回目	音読テスト	音読テスト
14 回目	授業の総まとめと試験	授業の総まとめと試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業内容の復習はとても大事なことです。
特に外国語の勉強にとっては、音読はとても重要なので、楽しく練習できればお上手になります。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『やさしいビジネス中国語』三潴正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 円＋税

【参考書】
『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社、2019 年 2 月

【成績評価の方法と基準】
成績評価は、平常点と期末試験の点数により総合評価を出す。
平常点は 30%、期末試験は 70%。
平常点には、出席、授業中の小テストと練習および学習態度等を含む。
期末試験には、音読テストは 20%、筆記試験は 50%占める。
中国語検定試験 4 級以上の合格者、期末筆記試験を免除、点数により評価をします。
＊無断欠席 4 回以上の受講生は評価対象にならない可能性がある。

【学生の意見等からの気づき】
授業中の私語と中国語学習以外の携帯使用を禁止する！

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

康　鴻音

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**土** 1/Sat.1
単位数：**1 単位**
営 2 年 R

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級で学んだ中国語基礎を固め、正しい声調で、自然なリズムで話せること、そして中国語の文章を読むことと、簡単な文章が書けることを指導する。

【到達目標】
中国語の基礎を学んだ学生を対象に、習った文法、文型を復習しながら、さらに中国語のレベルアップを目指す。そして現代中国の理解を深められるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更については学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日は 4 月 25 日とし、この日までに具体的なオンライン授業方法などを学習支援システムで掲示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	第〇課	一年次の文法の復習
2 回	第一課	前置詞、動詞句による連体修飾語、様態補語などの勉強、本文と会話文への読解
3 回	第一課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
4 回	第二課	第二課副詞、逆説の表現、数量補語など、本文と会話文への読解
5 回	第二課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
6 回	第三課	前置詞、複文など、本文と会話文への読解
7 回	第三課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
8 回	第四課	形容詞句による連体修飾語、仮定条件文など、本文と会話文への読解
9 回	第四課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
10 回	第五課	結果補語、可能補語など、本文と会話文への読解
11 回	第五課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
12 回	第六課	因果関係文、追加・排他を表す表現、本文と会話文への読解
13 回	第六課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。

14 回	総復習など	いままでの復習・期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
復習、予習するよう。発音練習をたくさんしてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『学ぶ中国語』初中級編　王亜新　劉素英　朝日出版社　2016 年　2200 円

【参考書】
辞書を用意すること。

【成績評価の方法と基準】
対面授業が再開された場合には期末試験を実施するが、再開されなかった場合には、毎回の課題の実施状況によって評価します。

【学生の意見等からの気づき】
しっかりと読解できて、きれいに発音できることを目標にしたい。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

康　鴻音

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**土** 1/Sat.1
単位数：**1 単位**
営 2 年 R

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語の基礎を学んだ学生を対象に、習った文法、文型を復習しながら、さらにレベルアップを目指す。

【到達目標】
中国語の文章を流暢に読めること、簡単な文章を書けるようにすること、教科書の内容が聞き取れること。また、中国についての知識を増やすことによって中国への理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各課の新出単語をきれいに発音でき、文法を理解して読解を進めて行く。教科書の内容について聞き取りの練習をし、練習問題を解いて、着実に力をつけていけるようにする。そして習った文法で簡単な文章が書けるように指導する。新しい課を習う前に小テストをして勉強結果を確認する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	復習	前期内容に対する復習、会話の練習とリスニングの練習
2 回	第七課	“是…的” の構文、動詞 + “着” の用法など、本文と会話文への読解
3 回	第七課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
4 回	第八課	使役の表現、複文など、本文と会話文への読解
5 回	第八課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
6 回	第九課	疑問詞 + 副詞、慣用型など、本文と会話文への読解
7 回	第九課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
8 回	第十課	助動詞、副詞など、本文と会話文への読解
9 回	第十課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
10 回	第十一課	受動表現、反語表現など、本文と会話文への読解
11 回	第十一課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
12 回	第十二課	引用を表す表現、目的実現を表す言葉など、本文と会話文への読解
13 回	第十二課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。

14 回	総復習	後期習った内容への復習・期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
必ず復習・予習してくること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『学ぶ中国語』（朝日出版社）初中級編　王亜新　劉素英

【参考書】
辞書を用意すること。

【成績評価の方法と基準】
授業への参加度、宿題の完成度、授業中の解答および発音、小テストなど（60 点）、期末試験（40 点）で総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】
しっかりと読解でき、きれいに発音できることを目標にしたい。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

祝　振媛

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
営２年Ｔ・Ｕ

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語１、中国語２で学習した内容を基礎とし、次のステップへ進む。

【到達目標】
・中国語による基本的な日常会話を聞いて理解できる。
・基礎的な中国語を使って自分の意思を伝えることができる。
・ 中国の歴史、文化に対する関心を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
１課を２回の授業で進める。毎回の授業は概ねに次のように進める。１）小テスト（約２５分）　２）テキストの学習（約４０分）　３）文法に関する問題演習、会話の練習など（約３５分）。　外国語を身につけるために継続的な学習が必要なので、毎回授業の始めに小テストを設ける。またこの授業は教室の中での学習と自宅での学習を組み合わせて展開することができる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要の説明
2	第一課　『北京に到着』 連動文	1 原因、結果の表現 2 動詞句主語 3 数字に関して
3	第一課　『北京に到着』 本文暗唱	文法問題の演習
4	第二課　『道を尋ねる』 疑問文の使い方	１動詞の完了表現 ２反復疑問文
5	第二課　『道を尋ねる』 本文暗唱	文法問題の演習/会話
6	第三課　『買い物』 数量補語	形容詞と比較の表現に関して
7	第三課　『買い物』 本文の暗唱	文法問題の演習/会話
8	文法問題の演習	第一課～第三課の勉強した内容の復習、確認
9	第四課『バスに乗る』 １名詞の修飾語 ２副詞に関して	１結果補語 ２人民元に関して
10	第四課『バスに乗る』 本文の暗唱	文法問題の演習/会話
11	第五課『新しい友達』 様態補語	１完了の「了」に関して ２変化の「了」に関して
12	第五課『新しい友達』 本文の暗唱	文法問題の演習/会話
13	第六課　『外食』 １ 経験に関する助詞 ２　依頼に関する動詞	１主述述語文 ２能願動詞
14	第六課　『外食』 本文暗唱	第一課～第六課勉強した内容の復習、文法問題の演習、確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
語学は復習が重要なので、授業後は音声を聞いたり、単語帳を作ったりするなど既習した内容をしっかり復習してほしい。また、付属の教材 CD や http://fic.xsrv.jp/hosei/ を活用し、習った内容をしっかり身につけるように努めてほしい。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『２年生のコミュニケーション中国語』
塚本慶一　劉穎　著
白水社

【参考書】
中国語辞書を必ず１冊用意すること（電子辞書可）
『ポイント学習中国語初級』東方書店
康玉華　『漢語３０１句』北京言語大学出版社
佐藤富士雄　『中国語初級テキスト 緑さんの留学生活』白帝社

【成績評価の方法と基準】
毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績評価の 60 %とし、中間と期末の試験はそれぞれ成績の 20 %とします。平均点数が 60 点以上の人を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】
学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

【学生が準備すべき機器他】
中国語の発音を聞く必要があるので、PC や CD を用意してほしい。

【その他の重要事項】
本講義は全回の出席が成績評価の前提である。原則として欠席は認めない。やむ得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応を取ること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

祝　振媛

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
営２年Ｔ・Ｕ

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語１、中国語２で学習した内容を基礎とし、次のステップへ進む。

【到達目標】
・中国語による基本的な日常会話を聞いて理解できる。
・基礎的な中国語を使って自分の意思を伝えることができる。
・ 中国の歴史、文化に対する関心を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
１課を２回の授業で進めていく。単語などの小テストを行う。新出単語・文法事項を確認しながら、本文の和訳、中訳、発音練習などを行う。毎回会話練習をする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習	第一課～第六課の復習
2	第七課　『約束』 伝聞に関する動詞	「可～了」に関して 能願動詞：打算
3	第七課　『約束』 本文の暗唱	文法、表現、語彙に関する練習/会話
4	第八課　『友達に電話する』 方向補語	使役文、兼語
5	第八課　『友達に電話する』 本文の暗唱	文法、表現、語彙に関する練習/会話
6	第九課　『郵便局』 慣用句： 「如果～」	方向補語の「到」
7	第九課　『郵便局』 本文の暗唱	文法、表現、語彙に関する練習/会話
8	まとめ、復習	第七課～第九課の復習、勉強した内容の確認
9	第十課　『医者に行く』 １「有一点」に関して	１能願動詞の「要」 ２一～就
10	第十課　『医者に行く』 本文の暗唱	文法、表現、語彙に関する練習/会話
11	第十一課『家庭訪問』 １助動詞「用」 ２進行形	「就是」の使い方
12	第十一課『家庭訪問』 本文の暗唱	文法、表現、語彙に関する練習/会話
13	第十二課　『謝恩会』 可能補語	１変化を表す「了」 ２「就要～了」
14	第十二課『謝恩会』 本文の暗唱	第七課～第十二課の復習、勉強した内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・付属の CD を繰り返して聴く。

・単語の意味を必ず事前に調べる。
・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『二年生のコミュニケーション中国語』
塚本慶一　劉頴　著
白水社

【参考書】
中国語辞書を必ず１冊用意すること（電子辞書可）
『ポイント学習中国語初級』東方書店
康玉華　『漢語３０１句』北京言語大学出版社
佐藤富士雄　『中国語初級テキスト 緑さんの留学生活』白帝社

【成績評価の方法と基準】
毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績評価の 60 %とし、中間と期末の試験はそれぞれ成績の 20 %とします。平均点数が 60 点以上の人を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】
学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

【学生が準備すべき機器他】
中国語の発音を聞く必要があるので、PC や CD を用意してほしい。

【その他の重要事項】
本講義は全回の出席が成績評価の前提である。原則として欠席は認めない。やむ得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応を取ること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

王　翠莉

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
営２年 B・C

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、中国語 1、中国語２を一通り終えた学生を対象にする授業です。
使用教科書「優しいビジネス中国語」は、本文がビジネス関係の中国語会話文で、内容は銀行、財務、商談、宴会のセッティング、労働待遇、アフタサービス、国際入札、コンテナ輸送など幅広い分野をカバーしています。また、補充教材として、不動産業界、会社管理、インターネット事情、環境保護、労働契約、国際投資などの文章を翻訳練習として授業に織り込みます。
中国語の基礎勉強を終えた 2 年生にとっては、とても実用的で充実している内容です。ビジネス上で必要な基本会話と文章表現を楽しく覚えましょう。

【到達目標】
教科書と補充教材の勉強と練習により、ビジネス上で必要な基本会話ができ、準中級レベルのビジネス関係の中国語文章が翻訳できるようになることを目標としています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それに伴う各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 5 月 6 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	①オリエンテーション ②復習と練習	本授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明し、使用教科書を紹介する。 HSK 模擬試験を練習する。
2 回目	発音の復習と練習	1 年生の教科書「ポイント学習中国語」第 4 課のポイント 4・1「二音節語の声調 20 パタン」を 10 回以上繰り返して発音の練習をする。 受講生全員の発音をチェックする。
3 回目	発音の復習と練習	以下の内容を音読練習する。 「ポイント学習中国語」の第 11 課の会話本文「你每天看几个小⊠？」 第 15 課の会話本文「你家有几口人？ 第 26 課の会話本文「今天几月几号？」 受講生全員の発音をチェックする。
4 回目	教科書第 1 課「オフィスを訪ねる」を勉強する。	①第 1 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。

5 回目	第 2 課　レストランに食事に行く	①第 2 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。
6 回目	第 3 課 銀行に行く	①第 3 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。
7 回目	第 4 課　商談をする	①第 4 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。
8 回目	第 5 課　宴会のセッティングする	①第 5 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。
9 回目	第 6 課　有給休暇を取る	①第 6 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。
10 回目	第 7 課 フライトを待つ	①第 7 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。
11 回目	総合練習	中国語で自己紹介文を 100 字程度書いて音読して録音を提出
12 回目	授業のまとめ	春学期の授業内容をまとめる
13 回目	授業のまとめ	授業のまとめ
14 回目	授業のまとめ	授業のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回の授業の勉強内容と要求に従い、しっかり練習する事。
特に外国語の勉強にとっては、音読練習はとても重要なので、楽しく練習できれば、上手になります。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『やさしいビジネス中国語』三潴正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 ＋税

【参考書】
中国語辞書
『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講になったことに伴い、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
学習支援システムで提示した先生の指示に従って、しっかり勉強しましょう。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

王　翠莉

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
営 2 年 B・C

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、中国語３Ⅰの続きの授業で、中国語 1 と中国語２を一通り終えた学生を対象にする授業です。
使用教科書「やさしいビジネス中国語」は、ビジネス関係の中国語会話文で、内容は銀行、財務、商談、宴会のセッティング、労働待遇、アフタサービス、国際入札、コンテナ輸送など幅広い分野をカバーしています。また、補充教材として、不動産、会社管理、インターネット事情、環境保護、労働契約、国際投資などの文章を翻訳練習として、授業に織り込みます。
中国語の基礎勉強を終えた 2 年生にとっては、とても実用的で充実している内容です。中国語 1 と中国語 2 の授業で学んだ中国語基礎知識を生かして、ビジネス上で必要な基本会話と文章表現を楽しく覚えましょう

【到達目標】
教科書と補充教材の勉強と練習により、ビジネス上で必要な基本会話ができ、準中級レベルのビジネス関係の中国語文章が翻訳できるようになることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
本授業は、基本的には教科書と補充教材を中心に授業を進めます。教科書の各課は、会話本文、文法と作文、書き換え練習、ヒアリング練習と参考表現からなっています。
授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。その次、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある時、音読と短文作りの練習をします。
二回の授業で 1 回単語小テストをします。小テストの点数を平常点に計上します。
授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をするから、時間の制限で全員はできないので、4，5 人のグループをいくつか作って、交代で音読と翻訳の発表をさせます。毎回の授業では、学生全員に練習のチャンスを与えます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	①オリエンテーション ②総合復習	①後期の授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明する。 ②翻訳と音読の練習をする。
2 回目	第９課　コンテナ輸送	①ポイントを説明する ②会話本文を勉強する ③書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習する。
3 回目	第１０課　待遇	①各グループ代表が第９課本文の音読を発表 ②第１０課を勉強する。

4 回目	補充教材 ビジネス中国語文章の翻訳練習①	①第９課、１０課の単語小テスト ②補充教材を翻訳し各グループ代表が和訳文を発表する。 ③補充教材を説明する。
5 回目	第１１課　病院にて	①第１０課本文の音読練習 ②第１１課を勉強する。
6 回目	第１２課　国際入札	①第１１課本文の音読練習 ②第１２課を勉強する。
7 回目	補充教材 ビジネス中国語文章の翻訳練習②	①第１１課、１２課の単語小テスト ②補充教材を翻訳し各グループ代表が和訳文を発表する。 ③補充教材を説明する。
8 回目	第１３課　財務	①第１２課本文の音読練習 ②第１３課を勉強する。
9 回目	補充教材 ビジネス中国語文章の翻訳練習	①第１３課の単語小テスト ②補充教材を全員翻訳しグループごとに和訳文を発表する。 ③補充教材を説明する。
10 回目	補充教材 ビジネス中国語文章の翻訳練習	①受講生全員に翻訳させ、グループごとに翻訳文を発表してもらう。 ②文章を説明する。
11 回目	中国語検定試験 4 級過去問題	①過去問の筆記部分を練習する。 ②解説する。
12 回目	総合復習練習	授業内容の復習 質問応答
13 回目	音読テスト	音読テスト
14 回目	授業の総まとめと試験	授業の総まとめと試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業内容の復習はとても大事なことです。
特に外国語の勉強にとっては、音読はとても重要なので、楽しく練習できればお上手になります。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『やさしいビジネス中国語』三潴正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 円＋税

【参考書】
『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社、2019 年 2 月

【成績評価の方法と基準】
成績評価は、平常点と期末試験の点数により総合評価を出す。
平常点は 30%、期末試験は 70%。
平常点には、出席、授業中の小テストと練習および学習態度等を含む。
期末試験には、音読テストは 20%、筆記試験は 50%占める。
中国語検定試験 4 級以上の合格者、期末筆記試験を免除、点数により評価をします。
＊無断欠席 4 回以上の受講生は評価対象にならない可能性がある。

【学生の意見等からの気づき】
授業中の私語と中国語学習以外の携帯使用を禁止する！

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

李　維涛

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**土** 2/Sat.2
単位数：**1 単位**
法２年 F

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級で学んだ基礎知識を織り交ぜてそれを復習しながら中級の学習を進めて行く。
「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】
初級で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。
たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、様々な場面を想定して実戦活動を行い、学んだ知識のアウトプットによる円滑なコミュニケーションを行えることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
[最新授業情報 4 月 20 日更新]
授業開始日：
　4 月 25 日 (土) とします。
授業の進め方と方法 [当面の予定]：
　5 月 11 日までは、主に資料配信形式で授業を行います。
　5 月 11 日以後は、資料配信形式に加えて、主に動画配信オンデマンド形式と双方向オンライン形式を織り交ぜて、授業を行います。具体的な内容及び行い方は、授業日より一週間前に、授業支援システムでその都度提示・連絡します。
　学生諸君は、予定授業日に必ず授業支援システムにアクセスし、最新の授業情報を確認し、配信された授業関連資料に基づいて学習し、指示された課題を締切を守って提出するように臨んでください。
授業内容及び課題などについて質疑等がある場合、授業掲示板に自由に書き込んでください。可能な限り迅速に対応します。
なお、授業の進め方と方法の変更に伴い、授業計画及び成績評価方法は次のように変更することとします。
授業計画と内容：
シラバスに記されている授業計画と内容は、開講時期及び授業方法の変更に伴い、変更することになります。変更後の内容については学習支援システムでその都度提示します。
成績評価方法：
基本的に、シラバスに記された評価方法 [評価項目・割合など] を踏襲します。
各課の小テスト及び期末試験については、オンライン授業の場合は、課題に変更します。
授業方法がオンラインから教室での対面授業に変わり次第、教室でテスト形式で実施します。
具体的に授業は以下の進め方と方法で行うものとする。
授業は、教科書を使っての勉強、コミュニケーション活動、課題と、３つのブロックに分けて行なう。
【教科書】
初回はレベルチェックテストを行い、その結果に応じて、初級で学んだ基礎知識の復習・練習を、最初の 3 回にわたって行なう。4 回目以後教材を使っての学習に入る。
基本的に 1 課を 2 回に分けて、1 回目は主に言葉の学習と文法の解説や練習・応用などを、2 回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。
課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。
【コミュニケーション活動】
グループまたはペアによるコミュニケーション活動を行なう。
活動中に能動的且つ積極的に参加し、自己表現することを望む。
【課題】
春学期の課題は自由作文。
テーマ決め → 執筆 → 提出 → リライト → プレゼンテーションという流れで行なう。
授業スケジュールは、状況に応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション レベルチェックテスト	①授業目標、教材、授業の進め方、スケジュール、履修上の注意事項などについて説明。 ②授業用語と挨拶 ③授業アンケート ④レベルチェックテスト
第 2 回	• 初級基礎復習Ⅰ • コミュニケーション活動 (1)	①初級基礎知識点検・復習・練習Ⅰ ②活動 (1) 私、そして、私の家族
第 3 回	• 初級基礎復習Ⅱ • コミュニケーション活動 (2)	①チェックテスト [初級復習Ⅰ] ②初級基礎知識点検・復習・練習Ⅱ ③活動 (2) 私の一日、あなたの一日
第 4 回	• 初級基礎復習Ⅲ • コミュニケーション活動 (3)	①チェックテスト [初級復習Ⅱ] ②初級基礎知識点検・復習・練習Ⅲ ③活動 (3) 趣味について ④語彙導入 [1 課]
第 5 回	声をかける・挨拶をする [1 課]。	①チェックテスト [初級復習Ⅲ・1 課語彙] ②■方位詞 ■動作・行為の同伴者 ■動詞の重ね型
第 6 回	声をかける・挨拶をする [1 課]。	①チェックテスト [1 課文法] ②既習文型応用・実戦練習 ③語彙導入 [2 課]
第 7 回	初対面の自己表現 [2 課]。	①チェックテスト [2 課語彙] ②■推測・判断 ■行為の積極性 ■様態補語
第 8 回	初対面の自己表現 [2 課]。	①チェックテスト [2 課文法] ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動 (4) 声をかける・自己紹介する ④語彙導入 [3 課]
第 9 回	伝聞による話題について話す [3 課]。	①チェックテスト [3 課語彙] ②■伝聞 ■全否定 ■結果補語
第 10 回	伝聞による話題について話す [3 課]。	①チェックテスト [3 課文法] ②可能補語 ③既習文型応用・実戦練習 ④課題作文について説明
第 11 回	• 伝聞による話題について話す。 • 課題作文	①コミュニケーション活動 (5) 伝聞による話題について話す ②課題作文：テーマ決め・ストーリー作り ③語彙導入 [4 課]
第 12 回	買物について話す [4 課]。	①チェックテスト [4 課語彙] ②■動詞文：現在進行形 ■目的を表現する ■原因・理由についての訊ね方 ③課題作文提出
第 13 回	買物について話す [4 課]。	①チェックテスト [4 課文法] ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動 (6) 買物情報を交換する
第 14 回	• 春学期学習内容の復習・質疑応答 • 期末試験	①課題作文リライト提出　②期末試験　まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
課毎に、言葉クイズ、文法クイズを行う。授業で学習した内容をしっかりと復習・予習すること。
課題などの準備は授業時間外の作業となる。提出締切など時間を守ること。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『中国語へのアプローチⅡ』
楊凱栄・張麗群　著
朝日出版社　2010 年
ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】
• 中日・日中辞典類 [紙媒体、電子辞書、APP の何れも可。電子辞書を推奨する]
• 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』　相原茂など　同学社
• 『中国語生活図解辞典』　遠藤雅裕　　小学館

【成績評価の方法と基準】
授業貢献度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。
チェックテスト [語彙・文法]　35%
期末テスト　30%
活動・口頭表現　15%
課題　10%
授業貢献度・学習態度など　10%

【学生の意見等からの気づき】
○授業では口頭練習と活動がたくさん行われるが、どうしても耳だけでは不安で随一板書して欲しいとの学生からの意見があった。今後の授業では、口頭活動の内容を、なるべく文字でも提示するように心掛けてみる。

【学生が準備すべき機器他】
学習内容に応じて、教室に備えてある機器、または PC などを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】
授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。
特に、携帯電話、飲み物類は、鞄等にしまうこと。
教科書を持参せずの受講は欠席と見なし、必ず教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。
授業中の他に影響を与えるような私語を厳禁する。注意を受ける場合、期末評価の減点要素になる。

【授業に臨む心構え】
其の一　勉強する意欲と意識を高く持つこと
其の二　しっかり予習・復習してくること。
其の二　教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持ってくること。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

李　維涛

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**土** 2/Sat.2
単位数：**1 単位**
法２年 F

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級と中級前半で学んだ基礎知識を織り交ぜて復習しながら中上級を目指して学習を進めて行く。
「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】
初級と中級前半で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級後半の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。
たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、学んだ知識のアウトプットを重視し、様々な場面を想定して実戦活動を行なう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業は、教科書を使っての勉強、コミュニケーション活動、課題と、３つのブロックに分けて行なう。
【教科書】
初回は初級と中級前半で学んだ知識をチェックするテストを行い、その結果に応じて、既習基礎知識の復習・練習を、最初の 2 回にわたって行なう。3 回目以後教材を使っての学習に入る。
基本的に 1 課を 2 回に分けて、1 回目は主に文法の解説や練習や応用などを、2 回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。
課毎に、語彙・文法テストを行う。
予習・復習は必須。
【コミュニケーション活動】
グループまたはペアによるコミュニケーション活動を行なう。
活動中には能動的に参加し、積極的に中国語による自己表現をすることを望む。
【課題】
秋学期の課題は二つ。作文と当該年度の中国語の新語・流行語のリサーチレポート。
何れも下記の流れで行なう。
テーマ決め → 執筆 → 提出 → リライト → プレゼンテーション
授業スケジュールは、状況に応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	秋学期学習内容を確認・復習	①中級春学期学習内容チェックテスト ②秋学期授業内容・進め方・スケジュールなどについて説明 ③活動 (1) 絵と言葉で表現する私の夏休み [前半]
第 2 回	■秋学期学習内容を確認・復習。後期学習への準備。 ■コミュニケーション活動で新学期のウォームアップをする。	• チェックテストを返却・FB ①春学期学習内容を総括・復習 ②活動 (1) 絵と言葉で表現する私の夏休み [後半] ③語彙導入 [5 課]
第 3 回	天気について話す [5 課]	①チェックテスト [5 課語彙] ②■確認 ■比較 [否定] ■能願動詞:可能性や見込み
第 4 回	天気について話す [5 課]	①チェックテスト [5 課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動 (2):天気について話す ④語彙導入 [6 課]
第 5 回	初めての経験について話す [6 課]	①チェックテスト [6 課語彙] ②■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」 ③課題 (1) 課題作文について説明
第 6 回	初めての経験について話す [6 課]	①チェックテスト [6 課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動 (3) カフェでおしゃべり ④語彙導入 [7 課]
第 7 回	買物について話す [7 課]	①チェックテスト [7 課語彙] ②■選択：二者択一 ■能願動詞：「～しなければならない」 ③課題 (1) 提出
第 8 回	買物について話す [7 課]	①チェックテスト [7 課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③課題 (1) を返却・FB
第 9 回	書いた物を、声に出して表現する。	①課題 (2) 課題 (1) をプレゼンテーション ②語彙導入 [8 課]
第 10 回	会食をプランニングする [8 課]	①チェックテスト [8 課語彙] ②■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件
第 11 回	会食をプランニングする [8 課]	①チェックテスト [8 課文法] ②能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習
第 12 回	日常生活における食事の場面でのコミュニケーションを学ぶ。	①活動 (4):食事の誘い、食事をする ②語彙導入 [9 課] ③課題 (3) 中国語の新語・流行語をリサーチ
第 13 回	二つのものを比べて表現する [9 課]	①チェックテスト [9 課語彙] ②■動詞文:持続形 ■推測・判断 [肯定] ③課題 (3) ピア活動
第 14 回	■期末テスト前復習・質疑応答 ■期末テスト [筆記]	①授業アンケート ②期末テスト前復習・質疑応答 ③期末テスト [筆記]

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
課毎に言葉クイズ・文法クイズを行う。授業で学習した内容をしっかりと復習・予習すること。
課題などの準備は授業時間外の作業となるが、提出締切など時間を守ること。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『中国語へのアプローチⅡ』
楊凱栄・張麗群　著
朝日出版社　2010 年
ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】
• 中日・日中辞典類 [紙媒体、電子辞書、App の何れも可。電子辞書を奨める]
• 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』　相原茂など　同学社

- 『中国語生活図解辞典』　遠藤雅裕　　小学館

【成績評価の方法と基準】
授業参加度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。
チェックテスト [語彙・文法]　35%
期末テスト　25%
活動・口頭表現　15%
課題　15%
授業貢献度• 学習態度など　10%

【学生の意見等からの気づき】
授業中に、コミュニケーション活動など、口頭表現する活動が多く行われて来た。学生から、口頭表現の内容を板書して提示して欲しいとの要望があった。今後の授業では、これらの口頭活動の内容を、なるべく文字資料ででも提示するように心掛ける。

【学生が準備すべき機器他】
学習内容に応じて、教室に備えてある機器、または PC などを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】
授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。
特に、携帯電話、飲み物類は、鞄等にしまうこと。
教材 [教科書、授業関連資料] を持参せずの受講は欠席と見なすこと。

【授業に臨む心構え】
其の一　勉強する意欲と意識を高く持つこと
其の二　しっかり予習・復習してくること。
其の二　教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持ってくること。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

後藤　淳一

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
営 2 年 G～K

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年次に学んだ初級中国語の基礎を踏まえて、各自の中国語能力を中級レベルに向上させ、併せて日中二国間の文化の違いについて理解を深める。

【到達目標】
・初級中国語の基礎をしっかり定着させる。
・中国語の文章読解能力を高める。
・華語圏の人々に対して、中国語（華語）で日本の様々な情報を伝えることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
指定テキストの内容に沿って授業を進める（基本的に読んで訳すが中心）。また、折に触れて授業内小テストを行う。
※春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は４月 22 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション・ガイダンス	一年間の授業の進め方・方針・約束事などを説明し、併せて現在の華語圏の状況等を解説する。
2	第一課　相⊠	課文「自我介⊠」、おさらい文法 “从～”・“～⊠”
3	第一課　相⊠	ポイント “～⊠”・“因～⊠”・“虽然～，但是～”、練習問題
4	第二課　⊠花季	課文「⊠花」、おさらい文法 結果補語・“⊠～”
5	第二課　⊠花季	ポイント “会”・“一～就～”・“不管是～⊠是～”、練習問題
6	第三課　浅草一日游	課文「不一⊠的煎⊠」、おさらい文法 動詞＋単純方向補語・連動文（1）
7	第三課　浅草一日游	ポイント “～而且～”・“～的” 構造・動詞＋“着”、練習問題、単元復習（一課～三課）
8	第四課　在雨中	課文「梅雨季⊠的⊠趣」、おさらい文法 二つの “了”・“听⊠”
9	第四課　在雨中	ポイント “即使～也～”・“可能”・“以～”、練習問題
10	第五課　七夕的心愿	課文「两个情人⊠」、おさらい文法 動詞＋“在”～・“可以”
11	第五課　七夕的心愿	ポイント “提起”・“快要”・“～或者～”、練習問題
12	第六課　焰火的浪漫	課文「夏天的⊠目」、おさらい文法 “别”・“有点儿”
13	第六課　焰火的浪漫	ポイント “一点儿”・“～极了”・“一⊠～一⊠～”、練習問題、単元復習（四課～六課）

14	授業の総まとめと期末試験	授業の総まとめと筆記・ヒアリング試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は必須。毎回、各課に出て来る単語・課文・例文の意味を、事前に調べておく。また、二回に一回の頻度で宿題として課される各課の練習問題を事前にやっておく。その際は、問題を解くだけではなく、必ず各漢字のピンインも調べて記しておく。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『日中ふれあい “漢語” 教室』（李貞愛著、朝日出版社、2018、2200 円＋税）。また、一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を必ず授業時に持参すること。

【参考書】
中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可とする）。

【成績評価の方法と基準】
平常点（出席状況・授業内小テスト）２０％
期末試験８０％
※春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
特に無し。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

後藤　淳一

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
営 2 年 G～K

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年次に学んだ初級中国語の基礎を踏まえて、各自の中国語能力を中級レベルに向上させ、併せて日中二国間の文化の違いについて理解を深める。

【到達目標】
・初級中国語の基礎をしっかり定着させる。
・中国語の文章読解能力を高める。
・華語圏の人々に対して、中国語（華語）で日本の様々な情報を伝えることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
指定テキストの内容に沿って授業を進める（基本的に読んで訳すが中心）。また、折に触れてを授業内小テストを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第七課　教☒☒	課文「☒生情」、おさらい文法 “才”（1）・様態補語
2	第七課　教☒☒	ポイント “向～”・“在～上”・“☒～”、練習問題
3	第八課　学园祭	課文「校园文化」、おさらい文法 “更”・“☒得”
4	第八課　学园祭	ポイント “由～”・“和～比，～更～”・差量補語、練習問題
5	第九課　双 11	課文「百奇日和光棍☒」、おさらい文法 “怎么”・“☒☒”
6	第九課　双 11	ポイント “作☒”・“把～”・“越来越～”、練習問題
7	第十課　秋游	課文「共享☒☒」、おさらい文法 “再”・連動文（2）
8	第十課　秋游	ポイント 複合方向補語の “起来”・“离～”・“～没有～（☒么/那么）～”、練習問題
9	第十一課　☒年	課文「☒白歌会和是春晚」、おさらい文法 時量補語・“～和～一☒”
10	第十一課　☒年	ポイント “按～”・“差不多”・“☒”、練習問題
11	第十二課　成人☒	課文「☒祝成人」、おさらい文法 “～比～☒～”・“又”
12	第十二課　成人☒	ポイント “被～”・“并且”・“如果～就～”、練習問題
13	総合復習	単元復習（七課～九課、十課～十二課）
14	授業の総まとめと期末試験	授業の総まとめと筆記・ヒアリング試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は必須。毎回、各課に出て来る単語・課文・例文の意味を、事前に調べておく。また、二回に一回の頻度で宿題として課される各課の練習問題を事前にやっておく。その際は、問題を解くだけではなく、必ず各漢字のピンインも調べて記しておく。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて１時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『日中ふれあい“漢語”教室』（李貞愛著、朝日出版社、2018、2200円＋税）。また、一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を必ず授業時に持参すること。

【参考書】
中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可とする）。

【成績評価の方法と基準】
平常点（出席状況・授業内小テスト）２０％
期末試験８０％

【学生の意見等からの気づき】
特に無し。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ｉ

2017 年度以降入学者

蒋　彧婷

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**1 単位**
営２年Ｓ

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年次の既習内容をベースにして、さらに基礎を固め、レベルアップにつながる読解力、表現力などを培うことを目的とする。

【到達目標】
基礎的な文法に関するスキルを身に付ける。
一般的な会話ができる。
簡単な文書の内容を理解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って、履修者のレベルに合わせつつ、内容への理解をチェックしながら授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	復習	一年次に習った主な文法事項などの復習
②	第１課	助動詞「可以」、「要」 主述述語文 目的語が主述句のとき
③	第１課	本文：中国に行こう！
④	第２課	「的」の用法 原因、理由を表す「因为」 文末の助詞「吧」、「呢」
⑤	第２課	本文：ジャスミン茶を飲もう！
⑥	第３課	連動文 「是～的」の文 疑問詞「怎么」
⑦	第３課	本文：友達を作ろう！
⑧	第４課	「了」の三つの用法 副詞「就」
⑨	第４課	本文：長城に登ろう！
⑩	第５課	様態補語 可能性の予測を表す「会」 仮定を表す「要是」
⑪	第５課	本文：卓球を楽しもう！
⑫	第６課	結果補語 1 副詞「有点儿」
⑬	第６課	本文：漢字を覚えよう！
⑭	復習、試験、まとめ	第１～６課の復習と確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業前に必ず復習と予習をすること。毎課の新出単語と文法事項を確実に理解したかを必ず自己チェックをすること。
毎日最低 20 分テキストの CD を聞きながら、発音練習を行うこと。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて１時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
尹景春、竹島毅著『中国語つぎへの一歩』　白水社

【参考書】
必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
期末テストを主に（50 %）、学習態度や学習意欲（20 %）、小テスト（20 %）、平常点なども（10 %）勘案して、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】
前年度の授業アンケートの結果が反映されるよう更なる改善を模索していく。

【学生が準備すべき機器他】
電子辞書を用意することを勧める。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

蒋　彧婷

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**1 単位**
営 2 年 S

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文法事項の基礎を固めつつ、中国語のさらなるスキルアップを目標とする。

【到達目標】
日常会話ができる。
簡単な文章を書ける。
読解力や表現力などの更なるスキルアップを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
発音および読解の練習を中心としつつ、徐々に習熟度を高めるよう授業を進めていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	復習	春学期期末テストの解説と復習
②	第７課	存現文 主語がフレーズの時 「～了～了」の用法
③	第７課	本文：街を歩こう！
④	第８課	状態の持続を表す「着」 副詞「在」 疑問詞の不定用法
⑤	第８課	本文：中国映画を見よう！
⑥	第９課	方向補語 使役を表す「让」
⑦	第９課	本文：チャイナドレスを買おう！
⑧	第 10 課	可能補語 強調表現
⑨	第 10 課	本文：中華を食べよう！
⑩	第 11 課	結果補語（二） 受身を表す「被」
⑪	第 11 課	本文：西遊記を読もう！
⑫	第 12 課	「快～了」の用法 「把」の構文
⑬	第 12 課	本文：春節を祝おう！
⑭	復習、試験、まとめ	第７～12 課の復習と確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業前に必ず復習と予習をすること。毎課の新出単語と文法事項を確実に理解したかを必ず自己チェックをすること。
毎日最低 20 分テキストの CD を聞きながら、発音練習を行うこと。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
尹景春、竹島毅著『中国語つぎへの一歩』 白水社

【参考書】
必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
期末テストを主に（50 %）、学習態度や学習意欲（20 %）、小テスト（20 %）、平常点なども（10 %）勘案して、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】
前年度の授業アンケートの結果が反映されるよう更なる改善を模索していく。

【その他の重要事項】
電子辞書を用意することを勧める。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語４Ⅰ

2017 年度以降入学者

三田村　圭子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
始めにオンライン上での HSK 教材を使い中国語の基礎を集中的に復習し定着させる。中国語検定試験４級に照準をあてて「話す」･「読解できる」･「聴き取れる」中国語の中級への基礎事項の確実な習得と運用を目指す。また難易度の高い補語表現を獲得する。

【到達目標】
春学期は中国語検定試験４級の合格（６月末）、同程度の中国語運用能力の習得を到達目標とする。終了時には簡単な中国語で基本的な文法を踏まえながら、中国と日本の文化の違いについて読解でき、自分の生活や習慣・文化などについて具体的に話すことができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
今年度は新型コロナウィルスの流行予防措置のために４月２２日からオンライン授業の開始とする。始めの３回はオンライン上での HSK 教材を使い、読解、聴き取りを行う。毎回の授業では、一人ずつ発音をチェックしたうえで自己紹介を初めに行う。その後、学習した文法を使いながら、中国語で本文に関した表現を反復練習する。最後に中心となる文法を使用して簡潔な文章を作成する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	基礎で学習したことの復習①	自己紹介。特に発音の確認と練習。
第 2 回	基礎で学習したことの復習②	基礎文法事項の練習。
第 3 回	基礎で学習したことの復習③復習と小テスト	電話をかけ、用件を伝言する。
第 4 回	伝聞・使役表現と方向補語	より高度な方向補語について。
第 5 回	「給」と「就」などの副詞の用法	アルバイトや仕事について話す。
第 6 回	連動文と助動詞	自己紹介文を用いて、自分のことについて話す。
第 7 回	第１課から第３課までの復習、到達度の確認	小テストを行い確認を行う。
第 8 回	第３課までと配布プリントの内容項目に準じる HSK、中国語検定の問題	指定した部分の暗誦と検定問題を実際に取り組んでみる。
第 9 回	動量詞と「了」を組み合わせた用法	どのような交通機関を使い、どのくらいの時間で移動できるかなどの表現を学ぶ。
第 10 回	方位詞と構文を用いての応用練習・特に「把」構文	銀行で両替したり、書類を作成するときの表現。
第 11 回	程度補語・結果補語・可能補語のまとめ	食事にまつわる表現を学ぶ。

第 12 回	様態補語と学習してきた中級構文についてのまとめ	病院で自分の症状を伝えたり薬をもらったりするときの表現。
第 13 回	第４から第７課までのヒアリングと発音の復習と暗誦	第４課から第７課。
第 14 回	文法事項の復習 期末試験	補語表現や把構文を主に練習する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
時間のないときは音声教材だけでもよく聴いてくること。
ヒアリングは特に行って欲しい。
また辞典を持っているのが望ましいが、授業開始時に何冊か持参し回覧してもらうので、急いで購入する必要はない。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『スリム版　表現する中国語Ⅱ』張凱栄・張麗群著 白帝社 2400 円（税別）
また随時、プリントを配布 ISBN978-4-89174-832-6 C3887

【参考書】
進度に合わせて適宜、辞典や参考書について詳しく紹介する。

【成績評価の方法と基準】
期末試験 50 %、小テスト 30 %、課題・平常点 20 %を総合して評価する。中国語検定試験４級・HSK ３、４級合格者は点数に応じて加点する。また、暗誦や各課にある練習問題の提出も総合評価に含む。中国語外部試験の点数によっては、期末試験を免除とする。

【学生の意見等からの気づき】
中国語でのグループでの会話練習を通し、表現力を習得できるよう進行したい。昨年度と同様に例文・会話・閲読がバランス良く学習できる教科書にした。中国語での会話練習を充実させることと、中国語での造句の時間を十分に取りたい。また、作文に時間が取られる傾向にあるので、数回に一度は宿題にするなどの効率よくできる方法を工夫したい。

【学生が準備すべき機器他】
音声教材をダウンロードできる機器

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

三田村　圭子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中級の文法の確立と応用練習を行う。中国語検定試験３級レベルに照準をあてて春学期よりも長めの会話文を聴き取り、それに関しての簡単な質疑応答ができる中国語の力を養成する。また、現代中国の日常に関する比較的短い閲読も並行して行う。

【到達目標】
秋学期は中国語検定試験３級の合格（１１月末）、あるいはＨＳＫ４・５級の能力習得を到達目標とする。より複雑な時制の表現や構文の修得を目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
始めに発音の練習をし、指定した例文を把握する。その後、文法を解説し会話文・閲読・実践問題と進行する。１ヶ月に１度は検定問題などを使用しながら実践練習を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第１課から第７課までの復習と発音練習	本文の発音練習をしながら、前半学習した文法事項を総復習する。
第 2 回	比較の表現　仮定法と助動詞の組み合わせ	交通事情や交通機関について。
第 3 回	近未来の表現 「一～就～」などの簡単な構文	ネットに関する表現について。
第 4 回	疑問詞を使った強調構文と介詞のまとめ	ネットでチケットを予約する、チャットすることについて。
第 5 回	第 8 課から第 10 課までの復習と小テスト	第１回から４回までの練習と簡単な文章の暗誦。
第 6 回	基本的な構文の復習と見込みを表す表現	買い物に関する表現のまとめ。
第 7 回	やや難しい比較文と目的を示す「為了」について	自分の趣味について書いたり、話したりする。
第 8 回	予定に関する表現と感情にまつわる表現	旅行や外出時に用いる表現について練習する。 ②
第 9 回	第 11 課から第 12 課までの復習。	指定した本文の暗誦と配布プリントの問題練習を行う。
第 10 回	第 11 課と第 12 課の復習と確認の小テスト	総合練習をした後、能力検定試験の問題と暗誦を引き続き行う。
第 11 回	時制に関する表現と助動詞のまとめ	何かの交通手段を使って観光に行く、あるいは行ったことを書いてみる。
第 12 回	新しい構文を使った表現練習①	時制の表現と組み合わせて夏休みのこと、春休みのことを書いたり、話す。
第 13 回	新しい構文を使った表現練習②と離合詞	歓迎会や送別会での挨拶や話題について。

第 14 回	応用表現の総合復習 期末試験	第 13 課から第 15 課までを中心に。観光やホテルを予約するときに役立つ表現の暗誦。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
秋学期は内容も難しくなるので、音声教材を授業以外の時間にもよく聴くこと。また授業以外でも大学所蔵の DVD を観るなど、幅広く興味を持ってほしい。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『スリム版　表現する中国語Ⅱ』楊凱栄・張麗群著　朝日出版社
2400 円+税
随時、プリントを配布。

【参考書】
授業の進行に合わせて再度、辞典や参考書について紹介する。

【成績評価の方法と基準】
期末試験 50 %・小テスト 30 %・平常点 20 %の総合評価。授業時に指定の暗誦・作文の提出も評価の対象とする。中国語検定試験３級・HSK4 級以上の合格者は、期末試験を免除し評価を S とする。

【学生の意見等からの気づき】
昨年度も教科書をほぼ最後まで終了することができた。２回で１課を進行する。この段階になると予習なしでは円滑な進行が難しくなるので、授業内で活発に発言することを望む。クラスは様々な目的を持った学生が参加している。できるだけ予習をしてもらうことで聴く・話す・読むを最大限練習できる時間が確保できるかと思う。また、授業で余裕のある学生には練習プリントなどを配布し、可能な限り対応したい。

【学生が準備すべき機器他】
音声をダウンロードできる機器

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語４Ⅰ

2017 年度以降入学者

薬　会

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火 5/Tue.5**
単位数：**1 単位**
法営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
これまで学んできた基本語彙、初級文法を復習しながら、中国語検定試験４級に照準をあてて「話せる」・「読める」・「聞ける」中国語の習得を目指します。発音の矯正（スピーチ）・基礎単語と日常用語の暗記・文法理解（翻訳練習）などを授業内容とします。

【到達目標】
春学期は中国語検定試験４級の合格（６月末、しっかり授業についてくれれば楽に合格できる）を到達目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
毎回の授業では、一人ずつ発音をチェックしたうえ、自己紹介スピーチの実演、リスニング（翻訳練習と日常用語）の練習を行なう。
注意！　4 月 23 日より最初のオンライン授業がスタート。オンライン授業が続く間は先生がアップロードした動画を見て、指示に従い課題を提出するという形で授業を進めて行くにします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	発音の復習	ピンイン発音練習と自己紹介スピーチ。プリント①（単語 20 語・日常用語 10 語・翻訳練習 20 文）。
第 2 回	発音の復習	ピンイン発音練習と自己紹介スピーチ。プリント①（単語 20 語・日常用語 10 語・翻訳練習 20 文）。
第 3 回	単語・文法	ピンイン発音練習と自己紹介スピーチ。プリント②（単語 20 語・日常用語５語・翻訳練習 20 文）。
第 4 回	単語・文法	ピンイン発音練習と自己紹介スピーチ。プリント②（単語 20 語・日常用語５語・翻訳練習 20 文）。
第 5 回	復習とテスト	プリント①とプリント②の復習とテスト
第 6 回	単語・文法	ピンイン発音練習と自己紹介スピーチ。プリント③（単語 20 語・日常用語５語・翻訳練習 20 文）。
第 7 回	単語・文法	ピンイン発音練習と自己紹介スピーチ。プリント③（単語 20 語・日常用語５語・翻訳練習 20 文）。
第 8 回	単語・文法	検定試験練習問題①（単語 100 語・翻訳練習 40 文）。
第 9 回	単語・文法	検定試験練習問題②（単語 100 語・翻訳練習 40 文）。
第 10 回	単語・文法	ピンインの復習と自己紹介スピーチ。プリント④（単語 20 語・日常用語５語・翻訳練習 20 文）。
第 11 回	単語・文法	ピンインの復習と自己紹介スピーチ。プリント⑤（単語 20 語・日常用語５語・翻訳練習 20 文）。

第 12 回	復習とテスト	プリント③とプリント④とプリント⑤の復習とテスト
第 13 回	総合復習	単語 100 語。日常用語 50 語。聞き取り 50 問。翻訳練習 50 文。
第 14 回	授業の総まとめと期末試験（口頭試験と筆記試験）	授業の総まとめと期末試験（口頭試験と筆記試験）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業中に集中して授業に参加すれば、授業時間外に予習や復習する必要がありません。中国語検定試験４級を受験する場合は多少単語を覚え、リスニングをトレーニングする必要があります（４級受験勉強のための資料を配布）。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
オリジナルプリントをテキストとして使用します。検定試験４級の関連資料を配布します。

【参考書】
指定しません。

【成績評価の方法と基準】
教室試験が行えない場合は、オンライン授業を受けて提出した課題の完成度などの平常点 (60%)、期末試験 (40%) という割合で総合的に評価します。教室試験を行う場合は、平常点（40 %）、期末試験（60 %）とします。

【学生の意見等からの気づき】
特にありません。

【その他の重要事項】
特にありません。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition

LANc200LA

中国語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

薬　会

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**1 単位**
法営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
これまで学んできた基本語彙や文法を復習しながら、中国語検定試験３級という挑戦的なレベルに照準をあてて「話せる」･「読める」･「聞ける」中国語の習得を目指します。発音の矯正（長文暗記）・基礎単語と日常用語の暗記・文法理解（翻訳練習）などを授業内容とします。

【到達目標】
秋学期は中国語検定試験３級の合格を到達目標とします。（少し挑戦的な目標ですが、しっかりと授業に付いてくれれば合格できる）

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
毎回の授業では、一人ずつ発音をチェックしたうえ、長文暗記、リスニング（翻訳練習と日常用語）の小テストを行なう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	春学期の復習とまとめ	自己紹介スピーチ。プリントⅡ①（単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 文）。
第 2 回	春学期の復習とまとめ	自己紹介スピーチ。プリントⅡ①（単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 文）。
第 3 回	長文理解（累加関係・逆接関係の複文）	自己紹介スピーチ。プリントⅡ②（単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 文）。
第 4 回	長文理解（条件関係・譲歩関係の複文）	自己紹介スピーチ。プリントⅡ②（単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 文）。
第 5 回	復習とテスト	プリントⅡ①とプリントⅡ②の復習とテスト。
第 6 回	聞き取りと翻訳	３級練習問題①（単語 100 語・翻訳練習 40 文）
第 7 回	聞き取りと翻訳	３級練習問題②（リスニング練習と翻訳練習 40 文）
第 8 回	長文理解（因果関係と仮定関係の複文）	自己紹介スピーチ。プリントⅡ③（単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 文）。
第 9 回	長文理解（因果関係と仮定関係の複文）	自己紹介スピーチ。プリントⅡ③（単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 文）。
第 10 回	長文理解（いろいろの表現）	自己紹介スピーチ。プリントⅡ④（単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 文）。
第 11 回	長文理解（いろいろの表現）	自己紹介スピーチ。プリントⅡ④（単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 文）。
第 12 回	復習とテスト	プリントⅡ③とプリントⅡ④の復習とテスト。
第 13 回	総合復習	期末試験範囲の確認と練習

第 14 回　授業の総まとめと期末試験（口頭試験と筆記試験）　授業の総まとめと期末試験（口頭試験）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業中に集中して授業に参加すれば、必要がありません。中国語検定試験 3 級を受験する場合は多少単語を覚え、リスニングをトレーニングすることが必要です（3 級試験の関連資料を配る）。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
オリジナルプリントをテキストとして使用します。検定試験 3 級の関連資料を配布します。

【参考書】
指定しません。

【成績評価の方法と基準】
スピーチテスト（15 %）と小テストの平常点（15 %）、期末試験の成績（70 %）などを総合して評価する

【学生の意見等からの気づき】
特にありません。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition

LANc200LA

中国語４Ⅰ

2017 年度以降入学者

渡辺　昭太

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
2020.04.18 追記
※オンライン授業開始に伴い、授業計画や成績評価が一部変更になる可能性があります。詳しくは、学習支援システムを確認してください。
初級中国語の学習を完了した人を対象に、発音・文法・会話・作文などの項目を学習しつつ、「読む・書く・聞く・話す」の 4 技能をバランスよく身に付け、中級レベルの総合的な中国語コミュニケーション能力を養う。

【到達目標】
この授業の到達目標は以下の通りである。
（1）中級レベルの中国語を読んだり聞いたりして、相手の意見や情報などを理解することができる。
（2）中級レベルの中国語を書いたり話したりして、自分の考えや経験などを表現することができる。
（3）春学期の学習を完了した段階で、HSK2 級に合格できるレベルの中国語能力を身に着ける。
（4）中国語圏の言語や文化に対する関心を養い、積極的に異文化をすることが理解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
授業は、基本的にテキストに沿って毎回 1 課ずつ進める。外国語の習得のためには、継続的な学習が重要であるため、毎回授業の最初に小テストを行う。毎回の授業は、概ね以下の手順で進める。1. 小テスト（約 20 分）、2. 前回の復習（約 10 分）、3. テキストの学習（約 40 分）、4. 問題演習・コミュニカティブ活動など（約 30 分）。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要の説明、ユニット 1（発音の復習）
2	ユニット 2-A	基本語順： SVO、疑問文（1）、否定、人称代詞
3	ユニット 2-B	疑問文（2）、形容詞述語文、誘い方
4	ユニット 2-C ユニット 2-D	“的”、名前の聞き方・答え方、疑問文（3）、二重目的語 選択疑問文、“多少” と “幾”、場所を表わす指示代詞
5	ユニット 2-E	指示代詞、文末付加型疑問文、“ba” の用法
6	ユニット 3-A	所有を表わす “有”、助動詞 “可以”、“太～了”
7	ユニット 3-B	存在を表わす “有”、量詞、“両”、“的” が省略できる場合、動詞の重ね型
8	ユニット 3-C	動詞 “在”、前置詞 “在”、方位詞

9	ユニット 3-D ユニット 3-E	年齢の聞き方、数詞述語文、“多”＋形容詞という構成の疑問詞、後の名詞が省略された“的” 助動詞“会”、助動詞“能”、助動詞“想”
10	ユニット 4-A	曜日の言い方、時刻の言い方
11	ユニット 4-B	助動詞“要／不用”、禁止を表わす“不用／別”、前置詞“離”、前置詞“到”、積極的な気持ちを表す“来”
12	ユニット 4-C	比較の言い方、“一点児”と“有点児”、語気詞の“的”
13	ユニット 4-D	年月日の言い方、お金の言い方、時点と時間量
14	ユニット 4-E	動量詞、前置詞“給”、前置詞“用”

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・毎回、授業前に、学習する課に予め目を通し、学習内容の概要を把握しておくこと。受講開始後は、復習をしっかり行うこと。「聞くこと・話すこと」に関しては、中国語の発音に慣れるために、教科書の内容に準拠した映像教材を準備する予定なので、それを活用するよう心がけてほしい。「読むこと・書くこと」に関しては、教科書に付属の練習問題を活用すること。
・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
『北京物語―話す中国語―』（董燕・遠藤光暁［著］）2002 年、朝日出版社（2500 円＋税）。

【参考書】
有用な文法書として以下のものをあげておく。
・劉月華（他）2019『実用現代漢語語法（第三版）』北京：商務印書館
・相原茂（他）2016『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書新訂版』東京：同学社
・守屋宏則（他）2019『やさしく くわしい 中国語文法の基礎［改訂新版］』東京：東方書店

【成績評価の方法と基準】
毎回実施する小テストの平均点で 100 %評価し、期末試験は実施しない。小テストの平均点が 60 点以上で合格とする。

【学生の意見等からの気づき】
文法事項の詳細は解説に関しては、今後も継続したい。また、受講生が中国語を話す機会をできるだけ多く設けるよう心掛けたい。

【学生が準備すべき機器他】
映像教材を活用するため、PC 等を使用する予定だが、詳細は授業時に説明する。

【その他の重要事項】
・本講義は全回の出席が評価の前提である。即ち、欠席は原則的に認めない。体調不良等のやむを得ない事情がある場合は、各種証明書を提出するなど、各自で然るべき対応を取ること。尚、小テストは毎回授業の最初に行うので、遅刻は厳禁。
・授業中に、HSK（中国語版 TOEFL と呼ばれる中国政府公認の中国語検定）の 2 級問題の紹介・解説を行う予定。HSK は、就職・昇進、留学、自己学習など様々なシーンで活用できる資格なので、興味のある人はぜひチャレンジしてほしい。詳しくは、HSK のホームページ（http://www.hskj.jp/）も参照。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

渡辺　昭太

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級中国語の学習を完了した人を対象に、発音・文法・会話・作文などの項目を学習しつつ、「読む・書く・聞く・話す」の 4 技能をバランスよく身に付け、中級レベルの総合的な中国語コミュニケーション能力を養う。

【到達目標】
この授業の到達目標は以下の通りである。
（1）中級レベルの中国語を読んだり聞いたりして、相手の意見や情報などを理解することができる。
（2）中級レベルの中国語を書いたり話したりして、自分の考えや経験などを表現することができる。
（3）秋学期の学習を完了した段階で、HSK3 級に合格できるレベルの中国語能力を身に着ける。
（4）中国語圏の言語や文化に対する関心を養い、積極的に異文化を理解することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
授業は、基本的にテキストに沿って毎回 1 課ずつ進める。外国語の習得のためには、継続的な学習が重要であるため、毎回授業の最初に小テストを行う。毎回の授業は、概ね以下の手順で進める。1. 小テスト（約 20 分）、2. 前回の復習（約 10 分）、3. テキストの学習（約 40 分）、4. 問題演習・コミュニカティブ活動など（約 30 分）。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	既習項目の復習・確認	既習項目（ユニット 2～ユニット 4）の復習と確認
2	ユニット 5-A	“了”、“了”が動詞末につく場合、連動文
3	ユニット 5-B	進行を表わす“在”、変化を表わす“了”、他の文が後続する場合の“了”の位置
4	ユニット 5-C	“了”が 2 つある場合、“更”と“最”、“可能”
5	ユニット 5-D	経験を表わす“過”、仮定、「～するはず」を表わす“会”、分離動詞、これから起こることを表わす“了”
6	ユニット 6-A	存現文、同一・類似を表わす表現、強調を表わす“是”、逆接
7	ユニット 6-B	“着”、“着”がついた動詞からなる存現文、「“在”＋動詞」と「動詞＋“着”」の違い
8	ユニット 6-C	結果補語、動詞 1 ＋“着”＋動詞句 2、“再”
9	ユニット 6-D	数量補語、程度補語、前置詞句からなる結果補語
10	ユニット 7-A	方向動詞、方向補語、抽象的な意味を持つ方向補語、“別～了”
11	ユニット 7-B	“把”、“是～的”、“難”

12	ユニット 7-C	可能補語、可能を表わす助動詞と可能補語の違い
13	ユニット 7-D	“祝〜”、方向補語が 2 つある場合の目的語の位置
14	まとめ	これまでの学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・毎回、授業前に、学習する課に予め目を通し、学習内容の概要を把握しておくこと。受講開始後は、復習をしっかり行うこと。「聞くこと・話すこと」に関しては、中国語の発音に慣れるために、教科書の内容に準拠した映像教材を準備する予定なので、それを活用するよう心がけてほしい。「読むこと・書くこと」に関しては、教科書に付属の練習問題を活用すること。
・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
『北京物語―話す中国語―』（董燕・遠藤光暁［著］）2002 年、朝日出版社（2500 円＋税）。

【参考書】
有用な文法書として以下のものをあげておく。
・劉月華（他）2019『実用現代漢語語法（第三版）』北京：商務印書館
・相原茂（他）2016『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書新訂版』東京：同学社
・守屋宏則（他）2019『やさしく くわしい 中国語文法の基礎［改訂新版］』東京：東方書店

【成績評価の方法と基準】
毎回実施する小テストの平均点で 100 %評価し、期末試験は実施しない。小テストの平均点が 60 点以上で合格とする。

【学生の意見等からの気づき】
文法事項の詳細は解説に関しては、今後も継続したい。また、受講生が中国語を話す機会をできるだけ多く設けるよう心掛けたい。

【学生が準備すべき機器他】
映像教材を活用するため、PC 等を使用する予定だが、詳細は授業時に説明する。

【その他の重要事項】
・本講義は全回の出席が評価の前提である。即ち、欠席は原則的に認めない。体調不良等のやむを得ない事情がある場合は、各種証明書を提出するなど、各自で然るべき対応を取ること。尚、小テストは毎回授業の最初に行うので、遅刻は厳禁。
・授業中に、HSK（中国語版 TOEFL と呼ばれる中国政府公認の中国語検定）の 3 級問題の紹介・解説を行う予定。HSK は、就職・昇進、留学、自己学習など様々なシーンで活用できる資格なので、興味のある人はぜひチャレンジしてほしい。詳しくは、HSK のホームページ（http://www.hskj.jp/）も参照。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語４Ⅰ

2017 年度以降入学者

余　瀾

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火 4**/Tue.4
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
1 年次に学んだ中国語の基礎知識を土台とし、中国語会話の実践力を養成する。基本的な日常会話で構成されるテキストを用い、ネイティブ教師との会話練習を中心に授業を進めていく。
毎回、2〜3 個の基本的な文法を学習し、それが含まれている 4 行会話を覚え、その会話の置き換え練習や聴き取り練習などを通して、言葉がすんなり口から出てくるよう指導していく。簡単なフレーズや文を繰り返し練習することによって基本的な表現がしっかり身につくこと、またネイティブ教師の発音をたくさん聞くことによって耳が中国語に慣れることをこの講義の目的とする。

【到達目標】
他者との協働、表現力、発信力を実現するため、次の 4 点を到達目標とする。
① 中国語の常用表現が聞き取れる力を身につける。
② 中国語の初級会話において的確な表現ができる力を身につける。
③ 中国語の常用単語、常用フレーズを暗記し、簡単な会話文を暗唱することができる。
④ 簡単な日常会話において、中国人と意思疎通ができるような会話力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
演習方式。単語、基本文型、置き換えなど幾つかのパターンを用いて、授業を進める。ロールプレと寸劇などにより、楽しく会話力を身につけていく。
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4
月 21 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	第１課	会話を学習する 文法を学習する 年月日の言い方 曜日の言い方
2 回	第２課	会話を学習する 文法を学習する 人称代名詞 ＜〜の〜＞
3 回	第３課	会話を学習する 文法を学習する 時刻の言い方 変化する言い方
4 回	第４課	会話を学習する 文法を学習する 値段の言い方 数量表現 動詞述語文

5 回	第５課	会話を学習する 文法を学習する ＜是＞の文 電話番号の言い方
6 回	第６課	会話を学習する 文法を学習する 指示代名詞 疑問詞＜なに＞
7 回	第７課	会話を学習する 文法を学習する 選択疑問文 連動文 前置詞＜～で＞
8 回	第８課	会話を学習する 文法を学習する ＜～が好きだ＞ ＜この～＞の言い方
9 回	第９課	会話を学習する 文法を学習する 形容詞述語文 前置詞＜～に＞
10 回	第 10 課	会話を学習する 文法を学習する 比較文 ＜少しも～しない＞の言い方
11 回	第 11 課	会話を学習する 文法を学習する 省略疑問文 ＜来＋数量＞の言い方
12 回	第 12 課	会話を学習する 文法を学習する 主述述語文
13 回	期末筆記テスト	試験
14 回	授業の総まとめと期末口頭テスト	授業の総まとめと試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
CD を必ず繰り返し聞きこと。 授業の後に必ず復習すること。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『あなたが主役　演じる入門中国語』余瀾・中桐典子著、朝日出版社　2019 年　2300 円

【参考書】
参考書は授業中に適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】
成績評価は 100 点満点とし、60 点以上が合格となる。配分は、毎回行なう小テスト（単語テスト、書き取りテスト、会話の発表など）が 40 点、期末口頭テスト 20 点、筆記テストが 40 点です。
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
特にありません。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition

LANc200LA

中国語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

余　瀾

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 4/Tue.4
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
1 年間で学んだ中国語の基礎知識を土台とし、中国語会話の実践力を養成する。基本的な日常会話で構成されるテキストを用い、ネイティブ教師との会話練習を中心に授業を進めていく。「中国語会話Ⅰ」より少し難度の高い会話文を学ぶ。
授業の流れは「中国語会話Ⅰ」と同様で、基本的な文法、4 行会話、置き換え練習、聴き取り練習…と学習を進めていく。簡単なフレーズや文を繰り返し練習することによって基本的な表現がしっかり身につくこと、またネイティブ教師の発音をたくさん聞くことによって耳が中国語に慣れることをこの講義の目的とする。中国人との簡単な会話において、相手の言っていることを正確に聴き取り、的確に言葉が返せるレベルにまで到達できるよう指導していく。

【到達目標】
〔到達目標〕
他者との協働、表現力、発信力を実現するため、次の 4 点を到達目標とする。
①　中国語の常用表現が聞き取れる力を身につける。
②　中国語の会話において的確な表現ができる力を身につける。
③　中国語の常用単語、常用フレーズを暗記し、簡単な会話文を暗唱することができる。
④　簡単な日常会話において、中国人と意思疎通ができるような会話力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
演習方式。単語、基本文型、置き換えなど幾つかのパターンを用いて、授業を進める。ロールプレイと寸劇などにより、楽しく会話力を身につけていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	第 13 課	会話を学習する 文法を学習する 助動詞＜～したい＞ 存在を現す＜有＞
2 回	第 14 課	会話を学習する 文法を学習する 存在を現す＜在＞ ＜有＞と＜在＞の区別
3 回	第 15 課	会話を学習する 文法を学習する 所有を現す＜有＞ 疑問詞＜どうですか＞
4 回	第 16 課	会話を学習する 文法を学習する 疑問詞＜どうやって＞ ＜好＋動詞＞
5 回	第 17 課	会話を学習する 文法を学習する 進行を現す言い方 禁止する言い方

6 回	第 18 課	会話を学習する 文法を学習する 疑問詞＜なぜ＞ 結果補語
7 回	第 19 課	会話を学習する 文法を学習する 完了を現す言い方 前置詞＜～から＞
8 回	第 20 課 会話を学習する 文法を学習する	経験を現す言い方 ＜ちょっと＞の言い方
9 回	第 21 課	会話を学習する 文法を学習する 方向補語 使役を現す言い方
10 回	第 22 課	会話を学習する 文法を学習する 連体修飾語 助動詞＜できる＞
11 回	第 23 課	会話を学習する 文法を学習する 様態補語
12 回	第 24 課	会話を学習する 文法を学習する 助動詞＜できる＞ 時量補語 ＜～するつもりだ＞
13 回	期末筆記テスト	試験
14 回	期末口頭テスト	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業後必ず CD を繰り返し聞き、復習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『あなたが主役　演じる入門中国語』余瀾・中桐典子著、朝日出版社　2019 年 2300 円

【参考書】
授業中に適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】
成績評価は 100 点満点とし、60 点以上が合格となる。
配分は、毎回行なう小テスト（単語テスト、書き取りテスト、会話の発表など）が 40 点、期末口頭テストが 20 点、筆記テストが 40 点です。

【学生の意見等からの気づき】
特にありません。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition

LANc200LA

中国語４Ⅰ

2017 年度以降入学者

蒋　彧婷

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
文営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語の発音及び基礎的な文法事項を固めつつ、中国語のコミュニケーションに必要な知識を養成する。

【到達目標】
発音を固める。
読解力を培う。
日常会話ができる。
簡単な文章を書ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って、履修者のレベルを確認の上、内容への理解をチェックしながら、効果的に授業を進めていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	復習	一年次に習った文法を復習する
第 2 回	第１課	名詞の前に置く “的”、動詞の前に置く “地”、助動詞 “要”、連動文
第 3 回	第１課	第 1 課のチャレンジ・スキット
第 4 回	第２課	動態助詞の “了”、語気助詞の “了”、語気助詞の “吗” と “吧”
第 5 回	第２課	第 2 課のチャレンジ・スキット
第 6 回	第３課	経験・経過を表わす “过”、“怎么” の２つの用法、副詞 “才” の用法
第 7 回	第３課	第 3 課のチャレンジ・スキット
第 8 回	第４課	動作の進行、動作・状態の持続を表わす “着”、動作を行う時間の長さ・動作の回数、“因为～所以…”
第 9 回	第４課	第 4 課のチャレンジ・スキット
第 10 回	第５課	近い未来 “要～了”・“快～了”、反語の表現、副詞 “就” の用法、“要是～就…”
第 11 回	第５課	第 5 課のチャレンジ・スキット
第 12 回	第６課	結果補語、感嘆文、副詞 “还” の用法、“虽然～但是…”
第 13 回	第６課	第 6 課のチャレンジ・スキット
第 14 回	復習、試験、まとめ	ここまで習った内容を復習、確認する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業に出るまでに必ず復習と予習してくること。毎課の新出単語と文法をしっかり記憶し、理解したかどうかチェックすること。
毎日最低 20 分テキストの CD を聞きながら、発音練習を行うこと。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
本間史・孟広学『２年めの中国語ポイント４５』白水社

【参考書】
必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
期末テストを主に（50 %）、学習態度や学習意欲（20 %）、小テスト（20 %）、平常点なども（10 %）勘案して、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】
よりよい授業を目指すため、前年度の授業アンケートを生かしていきたい。

【学生が準備すべき機器他】
電子辞書を用意することを勧める。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition

LANc200LA

中国語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

蒋　彧婷

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：1 **単位**
文営環 2 **年**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語の基礎的な文法事項の基礎を固めつつ、中国語のコミュニケーションに必要な知識を養成する。

【到達目標】
読解力や、表現力などのさらなるスキルアップを目指す。
日常の中国語のコミュニケーションが取れる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って、履修者のレベルに合わせつつ、内容への理解をチェックしながら、授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	解説と復習	春学期の学習内容の復習
第 2 回	第７課	様態補語、比較の表現、形容詞の重ね方、“不但～而且…”
第 3 回	第７課	第 7 課のチャレンジ・スキット
第 4 回	第８課	方向補語、複合方向補語、強調表現 “连～也…”、“一～就…”
第 5 回	第８課	第 8 課のチャレンジ・スキット
第 6 回	第９課	“把” 構文、受身の表現、副詞 “再” と “又”、“只要～就…”
第 7 回	第９課	第 9 課のチャレンジ・スキット
第 8 回	第 10 課	可能補語、“是～的” の構文、“只有～才…”
第 9 回	第 10 課	第 10 課のチャレンジ・スキット
第 10 回	第 11 課	“～得了” ／ “～不了” の可能補語、兼語文、“不是～而是…”
第 11 回	第 11 課	第 11 課のチャレンジ・スキット
第 12 回	第 12 課	存現文、同じ疑問詞の呼応、“不管～都…”
第 13 回	第 12 課	第 12 課のチャレンジ・スキット
第 14 回	復習、まとめ、試験	第７～12 課の復習と試験、確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業に出るまでに必ず復習と予習してくること。
毎課の新出単語と文法をしっかり記憶し、理解したかどうかチェックすること。
毎日最低 20 分テキストの CD を聞きながら、発音練習を行うこと。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
本間史・孟広学『２年めの中国語ポイント４５』白水社

【参考書】
必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
期末テストを主に（50 %）、学習態度や学習意欲（20 %）、小テスト（20 %）、平常点なども（10 %）勘案して、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】
よりよい授業を目指すため、前年度の授業アンケートを生かしていきたい。

【学生が準備すべき機器他】
電子辞書を用意することを勧める。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition

LANc200LA

中国語４Ⅰ

2017 年度以降入学者

祝　振媛

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
文環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語１、中国語２で学習した内容を基礎とし、次のステップへ進む。

【到達目標】
・中国語による基本的な日常会話を聞いて理解できる。
・基礎的な中国語を使って自分の意思を伝えることができる。
・ 中国の歴史、文化に対する関心を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
１課を２回の授業で進める。毎回の授業は概ねに次のように進める。１）小テスト（約２５分）　２）テキストの学習（約４０分）　３）文法に関する問題演習、会話の練習など（約３５分）。　外国語を身につけるために継続的な学習が必要なので、毎回授業の始めに小テストを設ける。またこの授業は教室の中での学習と自宅での学習を組み合わせて展開することができる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要の説明
2	第一課　『換銭』 結果補語： 「看到，吃到」	1 慣用句：挺+形容☒+的 2 助動詞：「 要 」 3 副詞：「点儿」 文法問題の演習/会話
3	第一課　『換銭』 慣用句： 「除了 不用」	1「太+形容☒」 2「就是」 文法問題の演習
4	第二課　『小学校门前』 存☒文： ☒所+☒☒+出☒/存在	１「什么的」 ２「等等」 文法問題の演習/会話
5	第二課　『小学校门前』 家族の称呼に関して： 「☒☒」「姥☒」 「奶奶」「姥姥」	１「着」：場所+動詞+着 ２「在」：在+動詞 文法問題の演習/会話
6	第三課　『早上的公园』 感嘆文： 「多～啊」	健康についての諺を紹介、説明 文法問題の演習/会話
7	第三課　『早上的公园』 １「動詞+的」の名詞化 ２「多+形容詞」	１「数詞+多」 ２「怎么」 文法問題の演習/会話
8	文法問題の演習	第一課～第三課の勉強した内容の復習、確認
9	第四課『年☒人的就☒☒』 １「了」：変化を表す ２「又」：状況、動作の累加	「☒☒」/「☒得」： 人や事物に対する見方 文法問題の演習/会話

10	第四課『年☒人的就☒☒』 仮定を表す表現： 「如果」	部分的な否定を表す慣用句 「不都是」
11	第五課　『相☒』 １解釈、説明する語彙：「就是」 ２体験を表す：「☒」	１能願動詞：「☒☒」 ２推測の表現：「听☒」
12	第五課　『相☒』 慣用句： 「无☒是～☒是」	1「就」の使い方 2「很」の使い方 文法問題の演習/会話
13	第六課　『外甥的婚房』 １ 副詞：「☒竟」 ２慣用句：「就要～了」	１「☒」の使い方 ２「本」の使い方 ３「支」の使い方 文法問題の演習/会話
14	第六課『外甥的婚房』復習	第一課～第六課勉強した内容の復習、文法問題の演習、確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
語学は復習が重要なので、授業後は音声を聞いたり、単語帳を作ったりするなど既習した内容をしっかり復習してほしい。また、付属の教材 CD や http://fic.xsrv.jp/hosei/ を活用し、習った内容をしっかり身につけるように努めてほしい。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『日中いぶこみ１２景』相原茂・蘇明

【参考書】
中国語辞書を必ず１冊用意すること（電子辞書可）
『ポイント学習中国語初級』東方書店
康玉華　『漢語３０１句』北京言語大学出版社
佐藤富士雄　『中国語初級テキスト 緑さんの留学生活』白帝社

【成績評価の方法と基準】
毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績評価の 60 %とし、中間と期末の試験はそれぞれ成績の 20 %とします。平均点数が 60 点以上の人を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】
学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

【学生が準備すべき機器他】
中国語の発音を聞く必要があるので、PC や CD を用意してほしい。

【その他の重要事項】
本講義は全回の出席が成績評価の前提である。原則として欠席は認めない。やむ得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応を取ること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition

LANc200LA

中国語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

祝　振媛

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
文環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学習した内容を基礎とし、次のステップへ進む。

【到達目標】
・中国語による基本的な日常会話を聞いて理解できる。
・基礎的な中国語で自分の意思を伝えることができる。
・ 中国の歴史、文化に対する関心を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
１課を２回の授業で進めていく。毎回の授業を概ねに次のように進める。1）小テスト（約２５分）　2）テキストの学習（約４０分）　3）文法に関する問題演習、会話の練習など（約３５分）。外国語を身につけるためには、継続的な学習が必要なので、毎回授業の始めに小テストを設ける。またこの授業は教室の中での学習と自宅での学習を合わせて展開することができる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習	第一課～第六課の復習
2	第七課　『婆媳关系』 不特定的な表現： 「哪儿～☒？」	口語的な表現：『照』 書面的な表現：『按照』
3	第七課　『婆媳关系』 気持ちを表す語彙： １「幸福」 ２「愉快」 ３「☒心」	前置詞： １「从」 ２「到」
4	第八課　『川菜』 慣用句： １「既～又」 ２「是☒☒啊」	１　連詞：「就是」 ２　複合方向補語：「出来」と「☒去」
5	第八課　『川菜』 量詞： 「家」の使う場合	語彙の説明： 「排出去」の使い方
6	第九課　『中☒医☒』 慣用句： 「在～之中」	１　比較と選択の表現：「是～☒是」 ２　否定の表現：「没有」
7	第九課　『中☒医☒』 仮定の表現： 「～的☒」	解釈： １「只是」 ２「☒是」
8	文法のまとめ	第七課～第九課の復習、勉強した内容の確認
9	第十課　『九九重阳☒』 １前置詞「☒」の使い方 ２慣用句「跟～一起」	副詞： １「将」の使い方 ２「尽快」の意味

10	第十課　『九九重阳☒』 １「三世同堂」の意味 ２「孝☒」の語彙に内在する意味	常用副詞のまとめ １「或者」 ２「早就」 ３「尽快」
11	第十一課　『旅游』 １副詞の「☒」について ２慣用句の「☒～都」について	仮定の表現： 「如果～的☒」の使い方
12	第十一課　『旅游』 １動詞の重ね「看看」 ２慣用句「是～的」	パソコン関係の語彙 １「☒☒」 ２「网址」 ３「短信」
13	第十二課　『除夕夜』 お祝いの言葉に関する紹介、説明	１疑問詞の「怎么」 ２前置詞としての「☒」
14	第十二課『除夕夜』 １副詞「才」 ２慣用句としての「有的」 文法に関するまとめ、演習	「年夜☒」に関する説明 第七課～第十二課の復習、勉強した内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
語学は復習が重要なので、授業後は音声を聞いたり、単語帳を作ったりするなど既習した内容をしっかり復習してほしい。また、付属の教材 CD や http://fic.xsrv.jp/hosei/ を活用し、習った内容をしっかり身につけるように努めてほしい。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『日中いぶこみ１２景』相原茂・蘇明　朝日出版社

【参考書】
中国語辞書を必ず１冊用意すること（電子辞書可）
『ポイント学習中国語初級』東方書店
康玉華　『漢語３０１句』北京言語大学出版社
佐藤富士雄　『中国語初級テキスト 緑さんの留学生活』白帝社

【成績評価の方法と基準】
毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績評価の 60 %とし、中間と期末の試験はそれぞれ成績の 20 %とします。平均点数が 60 点以上の人を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】
学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

【学生が準備すべき機器他】
中国語の発音を聞く必要があるので、PC や CD を用意してほしい。

【その他の重要事項】
本講義は全回の出席が成績評価の前提である。原則として欠席は認めない。やむ得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応を取ること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition

LANc200LA

中国語４Ⅰ

2017 年度以降入学者

耿　函

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
法文環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年生で学んだ中国語から一歩すすんで準中級の会話スタイルの学習と練習を通して中国語の語彙を増やし、文法などの知識をより理解・定着させ、「自分のことばで」会話・表現できる力、また聴き取りの力を養う。

【到達目標】
一歩進んだ文法や語彙を用いた会話文を用いて様々なシチュエーションに対応できる中国語力を養成する。また、「会話のコツ」を通して、日本語と中国語の間に存在する言語習慣の違いを理解し、中国語ネイティブとの円滑なコミュニケーションの取り方を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
基本的に１課を２回にわたって進めていく。１回目は会話文に出ている語彙や文法要点や文型を学習・理解する。２回目は主に聞く・話す・読む・書くなどの応用練習を通じて、語彙や文法・文型の定着・応用力の向上に重点を置く。
授業開始日は４月 23 日です

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション 復習	中国語の発音と基本文法の復習
第 2 回	第１課「我很高兴」（１）	単語・本文の発音、文法の学習
第 3 回	第１課「我很高兴」（２）	会話ロールプレイ、会話のコツ
第 4 回	第２課「我☒一☒」（１）	単語・本文の発音、文法の学習
第 5 回	第２課「我☒一☒」（２）	会話ロールプレイ、会話のコツ
第 6 回	第３課「不☒不散」（１）	単語・本文の発音、文法の学習
第 7 回	第３課「不☒不散」（２）	会話ロールプレイ、会話のコツ
第 8 回	第４課「多吃点儿」（１）	単語・本文の発音、文法の学習
第 9 回	第４課「多吃点儿」（２）	会話ロールプレイ、会話のコツ
第 10 回	第５課「去江之☒」（１）	単語・本文の発音、文法の学習
第 11 回	第５課「去江之☒」（２）	会話ロールプレイ、会話のコツ
第 12 回	第６課「不是往☒」（１）	単語・本文の発音、文法の学習
第 13 回	第６課「不是往☒」（２）	会話ロールプレイ、会話のコツ
第 14 回	授業の総まとめと期末試験	授業の総まとめと期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
１年次に学習した初級レベルの内容をきちんと身につけられるように日常から１年次の内容の総ざらいを心がけ、学習した単語・フレーズを繰り返して自分で音読し、そのうえで、毎回の授業で指示された応用練習を予め準備しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
「中国語会話のコツ」宮本大輔・温琳　2020 年　金星堂　2300 円＋税

【参考書】
『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【成績評価の方法と基準】
期末筆記テストを 50 %、中間テストや会話の小テストをそれぞれ 20 %、また平常
点を 10 %にし、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】
学生の学習意欲を高め、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ねていきたい。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition

LANc200LA

中国語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

耿　函

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
法文環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年生で学んだ中国語から一歩すすんで準中級の会話スタイルの学習と練習を通して中国語の語彙を増やし、文法などの知識をより理解・定着させ、「自分のことばで」会話・表現できる力、また聴き取りの力を養う。

【到達目標】
一歩進んだ文法や語彙を用いた会話文を用いて様々なシチュエーションに対応できる中国語力を養成する。また、「会話のコツ」を通して、日本語と中国語の間に存在する言語習慣の違いを理解し、中国語ネイティブとの円滑なコミュニケーションの取り方を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
基本的に１課を２回にわたって進めていく。１回目は会話文に出ている語彙や文法要点や文型を学習・理解する。２回目は主に聞く・話す・読む・書くなどの応用練習を通じて、語彙や文法・文型の定着・応用力の向上に重点を置く。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	復習	春学期末試験の総括・既習内容の復習
第 2 回	第７課「辛苦你了」（1）	単語・本文の発音、文法の学習
第 3 回	第７課「辛苦你了」（2）	会話のロールプレイ、会話のコツ
第 4 回	第８課「花粉⊠敏」（1）	単語・本文の発音、文法の学習
第 5 回	第８課「花粉⊠敏」（2）	会話のロールプレイ、会話のコツ
第 6 回	第９課「“扇”“散” ⊠音」（1）	単語・本文の発音、文法の学習
第 7 回	第９課「“扇”“散” ⊠音」（2）	会話のロールプレイ、会話のコツ
第 8 回	第 10 課「⊠你喝酒」（1）	単語・本文の発音、文法の学習
第 9 回	第 10 課「⊠你喝酒」（2）	会話のロールプレイ、会話のコツ
第 10 回	第 11 課「照⊠不周」（1）	単語・本文の発音、文法の学習
第 11 回	第 11 課「照⊠不周」（2）	会話のロールプレイ、会話のコツ
第 12 回	第 12 課「一路平安」（1）	単語・本文の発音、文法の学習
第 13 回	第 12 課「一路平安」（2）	会話のロールプレイ、会話のコツ
第 14 回	授業の総まとめと期末試験	授業の総まとめと期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
１年次に学習した初級レベルの内容をきちんと身につけられるように日常から１年次の内容の総ざらいを心がけ、学習した単語・フレーズを繰り返して自分で音読し、そのうえで、毎回の授業で指示された応用練習を予め準備しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
「中国語会話のコツ」宮本大輔・温琳著　2020 年　金星堂　2300 円＋税

【参考書】
『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店

【成績評価の方法と基準】
期末筆記テストを 50 %、中間テストや会話の小テストをそれぞれ 20 %、また平常
点を 10 %にし、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】
学生の学習意欲を高め、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ねていきたい。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition

LANc200LA

中国語（３）Ⅰ

2017 年度以降入学者

薬　進

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 Y

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年生で習った初級をしっかり復習しながら、日常をコミュニケーションできる中級レベルの中国語を目指しましょう。

【到達目標】
基礎段階を終えた学習者を対象に、より複雑な中国語の表現で日常の生活における交流場面に対応できるように、読む・聞く・話す・書く能力を身につけることを目標とする。到達レベルは、中国語検定試験の 3 級合格可能な程度である。3 級合格者は、成績評価が A+ となる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】
この授業の目的は、架空の中国生活ではなく、日本での日常について質問し、答えられるようにすることです。中国語のコミュニケーションは、他のコミュニケーションと同様に、送受信＝質問と答えのやり取りを基本としている。問いと答えを繰り返せば必ず話せるようになる。一年生で発音の基礎と基本的な表現を習得した学習者が、複文や接続詞などより複雑な表現を学ぶ基礎の授業。基礎的な表現を項目別に従って編集されたテキストを使用し，仮定や因果関係や逆接などの表現を学習した上、日常の生活における交流場面に対応する、比較的高度な中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。
授業の方法については、まず前回の授業で習った内容について会話を練習する。新出単語を簡単に説明した後、基本的な文法事項を確認する。本文の朗読を十人程度させた上、質問に答える練習を行う。その上、叙述文を質問文に変える練習をする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	一年次の復習	一年次授業内容の振り返り、ウォーミングアップ。
2 回	第一課	接続詞 “因☒”
3 回	第一課	経験の “☒”，動作量補語
4 回	第二課	助動詞 “会”，使役文，動詞の重ね型
5 回	第三課	近い未来，助動詞 “☒☒”，“既～又…”
6 回	第四課	時間量補語，“一点儿” ＋ “也／都” ＋否定形，“一～就…”
7 回	復習	第一課～第四課の復習
8 回	第五課	状態補語，前置詞 “☒了”，“地”
9 回	第六課	助動詞 “可以”，“只要～，就…”，結果補語
10 回	第七課	進行の “在”“正”“正在”，“无☒～☒是…，都～”，疑問詞の不定用法
11 回	第八課	助動詞 “要”，前置詞 “离”，100 以上の数，金額の言い方
12 回	第九課	持続の “着”，方向補語(1)，方向補語(2)，方向補語(3)
13 回	第十課	受け身文，“一☒（儿）～，一☒（儿）…”，“先～，然后…”，“由于～，所以…”

14 回　復習　Ⅰ期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
語学力は短期間で身につけられない。日々の積み重ねこそ大切である。初級に比べより高度な内容となるので、放課後の予習・復習を怠らないこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
杉野元子/黄漢青著『大学生のための中級中国語 20 回』白帝社

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
評価基準は、平常点 10 %、中間テスト 15 %、課題 (小テストなど)15 %、期末試験 60 %とする。期末試験は筆記のみとする。無断欠席は 1 回につき 2〜5 点マイナスになる。
検定試験 4 級合格者：Ⅰ期終了時合格は 15 点プラス。
検定試験 3 級合格者：Ⅰ期終了時合格は 100 点プラス。

【学生の意見等からの気づき】
書く練習をより多くしたいとの要望に応えていきたい。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語（3）Ⅱ

2017 年度以降入学者

薬　進

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 Y

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
既習内容をしっかり復習しながら、日常をコミュニケーションできる中級レベルの中国語を目指しましょう。

【到達目標】
基礎段階を終えた学習者を対象に、より複雑な中国語の表現で日常の生活における交流場面に対応できるように、読む・聞く・話す・書く能力を身につけることを目標とする。到達レベルは、中国語検定試験の 3 級合格可能な程度である。3 級合格者は、成績評価が A+ となる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】
この授業の目的は、架空の中国生活ではなく、日本での日常について質問し、答えられるようにすることです。中国語のコミュニケーションは、他のコミュニケーションと同様に、送受信＝質問と答えのやり取りを基本としている。問いと答えを繰り返せば必ず話せるようになる。一年生で発音の基礎と基本的な表現を習得した学習者が、複文や接続詞などより複雑な表現を学ぶ基礎の授業。基礎的な表現を項目別に従って編集されたテキストを使用し，仮定
や因果関係や逆接などの表現を学習した上、日常の生活における交流場面に対応する、比較的高度な中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。
授業の方法については、まず前回の授業で習った内容について会話を練習する。新出単語を簡単に説明した後、基本的な文法事項を確認する。本文の朗読を十人程度させた上、質問に答える練習などを行う。その上、叙述文を質問文に変え
る練習をする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	総括	Ⅰ期期末試験の解説
2 回	復習	春学期の復習
3 回	第十一課	是〜的” 構文，“越〜越…”，“不⊠〜，而且…” 比較⑴，比較⑵，可能補語／
4 回	第十二課	“A 是 A，就是〜”，“有点儿” と “一点儿”，処置文
5 回	第十三課	要么〜，要么…”，助動詞 “得”，“不管〜，都…”
6 回	第十四課	副詞 “又”，副詞 “就” と “才”，“除了〜以外”，“〜什么的”
7 回	復習	第十一課〜第十四課の復習
8 回	第十五課	疑問詞 + “都／也”〜，“要是／如果〜（的⊠），（就）…”，離合動詞
9 回	第十六課	副詞 “⊠怪”，存現文，自然現象
10 回	第十七課	副詞 “⊠”，副詞 “却”，副詞 “并”
11 回	第十八課	疑問詞の呼応用法，反語の表現 “哪能〜”
12 回	第十九課	補語のまとめ

13 回	第二十課	“⊠～来⊠”，“⊠～都／也…”，“之所以～，是因⊠…”，“既然～，就…”，“不是～，而是…”
14 回	復習	Ⅱ期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
語学力は短期間で身につけられない。日々の積み重ねこそ大切である。初級に比べより高度な内容となるので、放課後の予習・復習を怠らないこと。付属の CD と DVD を活用して、また初級復習用に配布したプリントに基づく問答ができるよう（試験範囲内）、練習を繰り返し行い、毎回授業の初めに聞かれる質問に即答できるようにしていただきたい。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
杉野元子/黄漢青著『大学生のための中級中国語 20 回』白帝社

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
評価基準は、平常点 10 %、中間テスト 15 %、課題 (小テストなど)15 %、期末試験 60 %とする。期末試験は筆記のみとする。無断欠席は 1 回につき 2～5 点マイナスになる。
検定試験 3 級合格者：Ⅱ期終了時合格は 90 点プラス。

【学生の意見等からの気づき】
書く練習をより多くしたいとの要望に応えていきたい。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語（3）Ⅰ

2017 年度以降入学者

渡部　れい子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 Y

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年時に学習した中国語から一歩進んで、教科書の本文の読解、練習問題を通じ、中級レベルの中国語を身につける。また、学習した内容に基づいて、自分について紹介したり、会話をする訓練を行う。

【到達目標】
テキストを学習することにより、中国語の語彙を増やし、文法事項の理解を一年時より深め、中級レベルの文章を正しく理解でき、また、自分の考えを中国語で伝えられるようになることを目標とする。発音は、単語レベルではなく、正しい発音で会話ができるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】
　春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講になると思います。それのともなう各回の授業計画の変更は、学習支援システムでその都度お知らせします。
この授業は４月２４日 (金）を開始日としますので、学習支援システムで提示されている事前準備を必ず行って下さい。
本文を文法的にしっかり理解する。この時、一年時に学習した事項に関しても適宜復習する。次にテキストの問題を通じて中国語による表現の練習をし、学習した内容に基づいた会話練習、自己紹介などを行う。会話文の聴き取り練習も行う予定。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	一年時の復習	本授業の授業の進め方、成績評価の方法などについて説明し、一年時に習った中国語文法を総復習する。
第 2 回	第一課	ポイント（動詞の「上」など）の説明と本文の読解、発音練習
第 3 回	第一課	本文ついての練習問題、聴き取り、自己紹介の練習。
第 4 回	第二課	ポイント（進行表現、結果補語など）の説明と本文の読解、発音練習。
第 5 回	第二課	本文ついての練習問題、聴き取り、会話の練習。
第 6 回	第三課	ポイント（方位詞「上」など）の説明と本文の読解、発音練習。
第 7 回	第三課	本文ついての練習問題、聴き取り、会話の練習。
第 8 回	第四課	ポイント（伝聞の表現、複文など）の説明と本文の読解、発音練習
第 9 回	第四課	本文ついての練習問題、聴き取り、会話の練習。
第 10 回	第五課	ポイント（反復疑問文、受け身表現など）の説明と本文の読解、発音練習。
第 11 回	第五課	本文ついての練習問題、聴き取り、会話の練習。

第 12 回　第六課	ポイント（様態補語、疑問詞の不特定用法など）の説明と本文の読解、発音練習。
第 13 回　第六課	本文ついての練習問題、聴き取り、会話の練習。定期試験についての説明。
第 14 回　前期の総まとめ	総復習・期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストの「この課の語句」などを用いて分からない単語などは調べて授業に臨んでください。定期的に小テストを行いますので、ＣＤを聴いて本文を書き取るなど、授業内容を毎回復習してください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて１時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『準中級中国語　講読編』
著者：奥村佳代子、塩山正純、張軼欧
出版社：金星堂　２０１９年１月出版

【参考書】
必要に応じて授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

春学期における対面授業の開始日により､成績評価の方法と基準も変わってきます。
現段階では、もし対面式授業が可能な場合は、
各期末テストに加え、授業内での小テスト、平常点（積極的に発言しているか、熱心に課題に取り組んでいるか、など）を総合的に判断し、評価します。
（期末テスト７０％、平常点（小テスト含む）３０％）となります。
万が一、対面授業が春学期中行われなかった場合は、毎回の課題の実施状況によって評価することになると考えています。
具体的な方法と基準は、決まり次第学生支援システムで提示します。

【学生の意見等からの気づき】
特にありません。

【学生が準備すべき機器他】
特にありません。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate level. By reading the textbooks and composition exercise and so on,we aim to acquire the intermediate communication skills of Chinese.

LANc200LA

中国語（３）Ⅱ

2017 年度以降入学者

渡部　れい子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 Y

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年時に学習した中国語から一歩進んで、教科書の本文の読解、練習問題を通じ、中級レベルの中国語を身につける。また、学習した内容に基づいて、自分について紹介したり、会話をする訓練を行う。

【到達目標】
テキストを学習することにより、中国語の語彙を増やし、文法事項の理解を一年時より深め、中級レベルの文章を正しく理解でき、また、自分の考えを中国語で伝えられるようになることを目標とする。発音は、単語レベルではなく、正しい発音で会話ができるようになることを目標とする

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】
本文を文法的にしっかり理解する。この時、一年時に学習した事項に関しても適宜復習する。次にテキストの問題を通じて中国語による表現の練習をし、学習した内容に基づいた会話練習、自己紹介などを行う。会話文の聴き取り練習も行う予定。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	前期の総復習。	前期の学習事項の総復習を行う。
第 2 回	第７課	ポイント（使役表現、離合詞など）の説明と本文の読解、発音練習。
第 3 回	第７課	本文ついての練習問題、聴き取り、夏休みの過ごし方を紹介する。
第 4 回	第８課	ポイント（動作の対象を表す介詞など）の説明と本文の読解、発音練習。
第 5 回	第８課	本文ついての練習問題、聴き取り、会話の練習。
第 6 回	第９課	ポイント（結果補語「成」、動量詞「遍」など）の説明と本文の読解、発音練習。
第 7 回	第９課	本文ついての練習問題、聴き取り、会話の練習。
第 8 回	第１０課	ポイント（強調表現、結果補語「好」など）の説明と本文の読解、発音練習。
第 9 回	第１０課	本文ついての練習問題、聴き取り、会話の練習。
第 10 回	第１１課	本文ついての練習問題、聴き取り、会話の練習。
第 11 回	第１１課	ポイント（反語表現など）の説明と本文の読解、発音練習、「春節」の紹介など。
第 12 回	第１２課	ポイント（可能補語、様態補語など）の説明と本文の読解、発音練習。
第 13 回	第１２課	本文ついての練習問題、聴き取り、自己紹介の練習。定期試験についての説明など。

第 14 回　総復習　　総復習・期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストの「この課の語句」などを用いて分からない単語などは調べて授業に臨んでください。定期的に小テストを行いますので、ＣＤを聴いて本文を書き取るなど、授業内容を毎回復習してください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『準中級中国語　講読編』
著者名：奥村佳代子、塩山正純、張軼欧
出版社名：金星堂　２０１９年１月発行

【参考書】
必要に応じて授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】
期末試験７０％、平常点（授業中の態度、発音、小テストなど）３０％とします。

【学生の意見等からの気づき】
特にありません。

【学生が準備すべき機器他】
特にありません。

【その他の重要事項】
特にありません。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate level. By reading the textbooks and composition exercise and so on,we aim to acquire the intermediate communication skills of Chinese.

LANc200LA

中国語７

2017 年度以降入学者

曽　士才

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水 2**/Wed.2
単位数：**1 単位**
国 2 年 SA

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語１～６で学んだことを基礎にして、中国語の読解能力と聞き取り能力を並行してトレーニングする。

【到達目標】
半年後の上海外国語大学での授業にスムーズに入れることを目標としている。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
ＳＡでの授業を念頭に置き、素材の対話文、長文だけでなく、解説もすべて中国語の音声教材を用いる。教材の内容は中国の社会、歴史、民族、文化、風俗習慣、故事来歴など多彩である。毎回の授業では、中国語の朗読練習、語句の使い方の説明と練習、日本語への翻訳を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の進め方と準備学習の説明と心構え、WEB 版教材の紹介をする。
第 2 回	素材 1（1）の聞き取りと読解	上海事情に関する教材を用い、対話形式の課文とその解説部分を読み、聞き取れるようにする。
第 3 回	素材 1（2）の聞き取りと読解	引き続き課文とその解説を読み、聞き取れるようにする。
第 4 回	素材 1（3）の聞き取りと読解	残りの課文とその解説を読み、聞き取れるようにする。最後に全文を頭から再度聞き通す。
第 5 回	素材 2（1）の聞き取りと読解	社会に関する課文とその解説を読み、聞き取れるようにする。
第 6 回	素材 2（2）の聞き取りと読解	引き続き課文とその解説を読み、聞き取れるようにする。
第 7 回	素材 2（3）の聞き取りと読解	残りの課文とその解説を読み、聞き取れるようにする。最後に全文を頭から再度聞き通す。
第 8 回	素材 3（1）の聞き取りと読解	風俗習慣に関する課文とその解説を読み、聞き取れるようにする。
第 9 回	素材 3（2）の聞き取りと読解	引き続き課文とその解説を読み、聞き取れるようにする。
第 10 回	素材 3（3）の聞き取りと読解	残りの課文とその解説を読み、聞き取れるようにする。最後に全文を頭から再度聞き通す。
第 11 回	素材 4（1）の聞き取りと読解	ことわざに関する課文とその解説を読み、聞き取れるようにする。
第 12 回	素材 4（2）の聞き取りと読解	引き続き課文とその解説を読み、聞き取れるようにする。
第 13 回	素材 4（3）の聞き取りと読解	残りの課文とその解説を読み、聞き取れるようにする。最後に全文を頭から再度聞き通す。
第 14 回	テストと講評	聞く力と読解力を測定するテストの実施と講評を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回の授業までに、WEB 版教材の音声を文字に起こし、日本語訳をつけておく。なお、予習の進捗状況、理解度などを事前に担当教員が把握できるシステムになっている。
WEB 版教材の利用方法については、初回の授業で説明する。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
愛漢語播客 2010 年集（iMandarin Pod.com）からセレクトした音声教材を使用。

【参考書】
各自使い慣れている辞書と文法書を持参する。

【成績評価の方法と基準】
準備学習（20 %）と期末に行うテスト（80 %）によって評価する。出席は成績評価の大前提である。

【学生の意見等からの気づき】
準備学習の状況を把握するシステムにより、授業ではよりきめ細やかな説明をするようにしたい。

【Outline and objectives】
This course aims to develop students'skills in the areas of both reading and hearing,on the basis of their abilities trained in Chinese 1～6 .
The goal of this course is to let Pre-SA students develop their Chinese communication skills in order to apply themselves to the class in Shanghai International Studies University smoothly.

LANc200LA

中国語８

2017 年度以降入学者

鈴木　靖

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
国 2 年 SA

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ＨＳＫの過去問のディクテーションを通じて、4 級合格に必要な 1200 語の語彙力と語法知識、リスニング力を身につけていく。
また、過去問のシミュレーターによる模擬試験によって、ＨＳＫの問題形式に慣れ、確実な合格をめざす。

【到達目標】
ＨＳＫ 4 級の合格に必要な 1200 語の語彙力と語法知識、リスニング力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は、自宅での e-Learning による予習と教室での授業を組み合わせたブレンド型学習によって行う。具体的な授業の進め方は次のとおり。
〔授業前の事前学習〕
授業前にパソコンまたはスマートフォンを使い、ＨＳＫのリスニング問題のディクテーションを行う
〔授業の進め方と方法〕
①小テスト（前回の学習内容の復習テスト）
②リスニング問題の解説の後、解答の作文練習
③過去問を使った模擬試験（期間中 2 回実施）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	はじめに	授業の目標と学習方法の解説
第 2 回	ＨＳＫ３級リスニング対策①	ＨＳＫ３級リスニング問題の第一部分の解説と解答の作文練習
第 3 回	ＨＳＫ３級リスニング対策②	ＨＳＫ３級リスニング問題の第二部分の解説と解答の作文練習
第 4 回	ＨＳＫ３級リスニング対策③	ＨＳＫ３級リスニング問題の第三部分の解説と解答の作文練習
第 5 回	ＨＳＫ３級リスニング対策④	ＨＳＫ３級リスニング問題の第四部分（前半）の解説と解答の作文練習
第 6 回	ＨＳＫ３級リスニング対策⑤	ＨＳＫ３級リスニング問題の第四部分（後半）の解説と解答の作文練習
第 7 回	ＨＳＫ３級リスニング対策⑥	ＨＳＫ３級模擬試験
第 8 回	ＨＳＫ４級リスニング対策①	ＨＳＫ４級リスニング問題の第一部分（前半）の解説と解答の作文練習
第 9 回	ＨＳＫ４級リスニング対策②	ＨＳＫ４級リスニング問題の第一部分（後半）の解説と解答の作文練習
第 10 回	ＨＳＫ４級リスニング対策③	ＨＳＫ４級リスニング問題の第二部分（前半）の解説と解答の作文練習
第 11 回	ＨＳＫ４級リスニング対策④	ＨＳＫ４級リスニング問題の第二部分（後半）の解説と解答の作文練習

第 12 回	ＨＳＫ４級リスニング対策⑤	ＨＳＫ４級リスニング問題の第三部分（後半）の解説と解答の作文練習
第 13 回	ＨＳＫ４級リスニング対策⑥	ＨＳＫ４級リスニング問題の第三部分（後半）の解説と解答の作文練習
第 14 回	ＨＳＫ４級リスニング対策⑦	ＨＳＫ４級模擬テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業の前に下記の事前学習を行うこと。
パソコンまたはスマートフォンを使い、ＨＳＫリスニング問題のディクテーショ
ンを行う
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
なし

【参考書】
・劉月華ほか『実用現代漢語語法』（外語教学与研究出版社）

【成績評価の方法と基準】
①授業のはじめに行う小テスト（60 %）
②事前学習（ディクテーション）の実施状況（40 %）

【学生の意見等からの気づき】
自宅にパソコンがない学生のため、スマートフォンでも利用できるよう教材を修正した。

【Outline and objectives】
Chinese 8 is a Chinese course designed especially for the students who are going to study abroad in China in the next semester. In this course, we are going to learn:
Vocabulary:
We will learn 1200 words required for the HSK, Chinese Proficiency Test, level 4.
Grammar:
We will learn the intermediate grammar required for the HSK level 4.
Skills work:
We will expand vocabulary and improve listening skills through the use of e-Learning.
Through the use of a test simulator, we will do mock examinations of the HSK, Chinese proficiency test, to prepare students to take, the HSK proficiency test.

LANc200LA

中国語３- Ⅰ

2017 年度以降入学者

後藤　淳一

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年 G～I

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年次に学んだ初級中国語の基礎を踏まえて、各自の中国語能力を中級レベルに向上させ、併せて日中二国間の文化の違いについて理解を深める。

【到達目標】
・初級中国語の基礎をしっかり定着させる。
・中国語の文章読解能力を高める。
・華語圏の人々に対して、中国語（華語）で日本の様々な情報を伝えることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
指定テキストの内容に沿って授業を進める（基本的に読んで訳すが中心）。また、折に触れて授業内小テストを行う。
※春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は４月 22 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション・ガイダンス	一年間の授業の進め方・方針・約束事などを説明し、併せて現在の華語圏の状況等を解説する。
2	第一課　相⊠	課文「自我介⊠」、おさらい文法 “从～”・“～⊠”
3	第一課　相⊠	ポイント “～⊠”・“因～⊠”・“虽然～，但是～”、練習問題
4	第二課　⊠花季	課文「⊠花」、おさらい文法 結果補語・“⊠～”
5	第二課　⊠花季	ポイント “会”・“一～就～”・“不管是～⊠是～”、練習問題
6	第三課　浅草一日游	課文「不一⊠的煎⊠」、おさらい文法 動詞＋単純方向補語・連動文（1）
7	第三課　浅草一日游	ポイント “～而且～”・“～的” 構造・動詞＋“着”、練習問題、単元復習（一課～三課）
8	第四課　在雨中	課文「梅雨季⊠的⊠趣」、おさらい文法 二つの “了”・“听⊠”
9	第四課　在雨中	ポイント “即使～也～”・“可能”・“以～”、練習問題
10	第五課　七夕的心愿	課文「两个情人⊠」、おさらい文法 動詞＋“在”～・“可以”
11	第五課　七夕的心愿	ポイント “提起”・“快要”・“～或者～”、練習問題
12	第六課　焰火的浪漫	課文「夏天的⊠目」、おさらい文法 “别”・“有点儿”
13	第六課　焰火的浪漫	ポイント “一点儿”・“～极了”・“一⊠～一⊠～”、練習問題、単元復習（四課～六課）

14	授業の総まとめと期末試験	筆記・ヒアリング試験　まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は必須。毎回、各課に出て来る単語・課文・例文の意味を、事前に調べておく。また、二回に一回の頻度で宿題として課される各課の練習問題を事前にやっておく。その際は、問題を解くだけではなく、必ず各漢字のピンインも調べて記しておく。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて１時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『日中ふれあい“漢語”教室』（李貞愛著、朝日出版社、2018、2200円＋税）。また、一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を必ず授業時に持参すること。

【参考書】
中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可とする）。

【成績評価の方法と基準】
平常点（出席状況・授業内小テスト）２０％
期末試験８０％
※春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
特に無し。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３-Ⅱ

2017 年度以降入学者

後藤　淳一

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年 G～I

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年次に学んだ初級中国語の基礎を踏まえて、各自の中国語能力を中級レベルに向上させ、併せて日中二国間の文化の違いについて理解を深める。

【到達目標】
・初級中国語の基礎をしっかり定着させる。
・中国語の文章読解能力を高める。
・華語圏の人々に対して、中国語（華語）で日本の様々な情報を伝えることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
指定テキストの内容に沿って授業を進める（基本的に読んで訳すが中心）。また、折に触れてを授業内小テストを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第七課　教⊠⊠	課文「⊠生情」、おさらい文法“才”（1）・様態補語
2	第七課　教⊠⊠	ポイント“向～”・“在～上”・“⊠～”、練習問題
3	第八課　学园祭	課文「校园文化」、おさらい文法“更”・“⊠得”
4	第八課　学园祭	ポイント“由～”・“和～比，～更～”・差量補語、練習問題
5	第九課　双 11	課文「百奇日和光棍⊠」、おさらい文法“怎么”・“⊠⊠”
6	第九課　双 11	ポイント“作⊠”・“把～”・“越来越～”、練習問題
7	第十課　秋游	課文「共享⊠⊠」、おさらい文法“再”・連動文（2）
8	第十課　秋游	ポイント 複合方向補語の“起来”・“离～”・“～没有～（⊠么/那么）～”、練習問題
9	第十一課　⊠年	課文「⊠白歌会和是春晚」、おさらい文法 時量補語・“～和～一⊠”
10	第十一課　⊠年	ポイント“按～”・“差不多”・“⊠”、練習問題
11	第十二課　成人⊠	課文「⊠祝成人」、おさらい文法“～比～⊠～”・“又”
12	第十二課　成人⊠	ポイント“被～”・“并且”・“如果～就～”、練習問題
13	総合復習	単元復習（七課～九課、十課～十二課）
14	授業の総まとめと期末試験	筆記・ヒアリング試験　まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は必須。毎回、各課に出て来る単語・課文・例文の意味を、事前に調べておく。また、二回に一回の頻度で宿題として課される各課の練習問題を事前にやっておく。その際は、問題を解くだけではなく、必ず各漢字のピンインも調べて記しておく。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『日中ふれあい “漢語” 教室』（李貞愛著、朝日出版社、2018、2200 円＋税）。また、一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を必ず授業時に持参すること。

【参考書】
中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可とする）。

【成績評価の方法と基準】
平常点（出席状況・授業内小テスト）２０％
期末試験８０％

【学生の意見等からの気づき】
特に無し。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３- Ⅰ

2017 年度以降入学者

王　翠莉

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年 J～L

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、中国語 1、中国語２を一通り終えた学生を対象にする授業です。
使用教科書「優しいビジネス中国語」は、本文がビジネス関係の中国語会話文で、内容は銀行、財務、商談、宴会のセッティング、労働待遇、アフタサービス、国際入札、コンテナ輸送など幅広い分野をカバーしています。また、補充教材として、不動産業界、会社管理、インターネット事情、環境保護、労働契約、国際投資などの文章を翻訳練習として授業に織り込みます。
中国語の基礎勉強を終えた 2 年生にとっては、とても実用的で充実している内容です。ビジネス上で必要な基本会話と文章表現を楽しく覚えましょう。

【到達目標】
教科書と補充教材の勉強と練習により、ビジネス上で必要な基本会話ができ、準中級レベルのビジネス関係の中国語文章が翻訳できるようになることを目標としています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それに伴う各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 5 月 6 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	①オリエンテーション ②復習と練習	本授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明し、使用教科書を紹介する。 HSK 模擬試験を練習する。
2 回目	発音の復習と練習	1 年生の教科書「ポイント学習中国語」第 4 課のポイント 4・1「二音節語の声調 20 パタン」を 10 回以上繰り返して発音の練習をする。 受講生全員の発音をチェックする。
3 回目	発音の復習と練習	以下の内容を音読練習する。 「ポイント学習中国語」の第 11 課の会話本文「你每天看几个小⊠？」 第 15 課の会話本文「你家有几口人？ 第 26 課の会話本文「今天几月几号？」 受講生全員の発音をチェックする。
4 回目	教科書第 1 課「オフィスを訪ねる」を勉強する。	①第 1 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。

5 回目	第 2 課　レストランに食事に行く	①第 2 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。
6 回目	第 3 課 銀行に行く	①第 3 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。
7 回目	第 4 課　商談をする	①第 4 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。
8 回目	第 5 課　宴会のセッティングする	①第 5 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。
9 回目	第 6 課　有給休暇を取る	①第 6 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。
10 回目	第 7 課 フライトを待つ	①第 7 課の会話本文を音読練習する。 ②会話本文を翻訳する。 ③練習問題をする。
11 回目	総合練習	中国語で自己紹介文を 100 字程度書いて音読して録音を提出
12 回目	授業のまとめ	春学期の授業内容をまとめる
13 回目	授業のまとめ	授業のまとめ
14 回目	授業のまとめ	授業のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回の授業の勉強内容と要求に従い、しっかり練習する事。
特に外国語の勉強にとっては、音読練習はとても重要なので、楽しく練習できれば、上手になります。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『やさしいビジネス中国語』三潴正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 ＋税

【参考書】
中国語辞書
『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講になったことに伴い、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
学習支援システムで提示した先生の指示に従って、しっかり勉強しましょう。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３-Ⅱ

2017 年度以降入学者

王　翠莉

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：1 **単位**
環 2 年 J～L

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、中国語３Ｉの続きの授業で、中国語 1 と中国語２を一通り終えた学生を対象にする授業です。
使用教科書「やさしいビジネス中国語」は、ビジネス関係の中国語会話文で、内容は銀行、財務、商談、宴会のセッティング、労働待遇、アフタサービス、国際入札、コンテナ輸送など幅広い分野をカバーしています。また、補充教材として、不動産、会社管理、インターネット事情、環境保護、労働契約、国際投資などの文章を翻訳練習として、授業に織り込みます。
中国語の基礎勉強を終えた 2 年生にとっては、とても実用的で充実している内容です。中国語 1 と中国語 2 の授業で学んだ中国語基礎知識を生かして、ビジネス上で必要な基本会話と文章表現を楽しく覚えましょう

【到達目標】
教科書と補充教材の勉強と練習により、ビジネス上で必要な基本会話ができ、準中級レベルのビジネス関係の中国語文章が翻訳できるようになることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
本授業は、基本的には教科書と補充教材を中心に授業を進めます。
教科書の各課は、会話本文、文法と作文、書き換え練習、ヒアリング練習と参考表現からなっています。
授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。その次、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある時、音読と短文作りの練習をします。
二回の授業で 1 回単語小テストをします。小テストの点数を平常点に計上します。
授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をするから、時間の制限で全員はできないので、4，5 人のグループをいくつか作って、交代で音読と翻訳の発表をさせます。毎回の授業では、学生全員に練習のチャンスを与えます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	①オリエンテーション ②総合復習	①後期の授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明する。 ②翻訳と音読の練習をする。
2 回目	第９課　コンテナ輸送	①ポイントを説明する ②会話本文を勉強する ③書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習する。
3 回目	第１０課　待遇	①各グループ代表が第９課本文の音読を発表 ②第１０課を勉強する。
4 回目	補充教材 ビジネス中国語文章の翻訳練習①	①第９課、１０課の単語小テスト ②補充教材を翻訳し各グループ代表が和訳文を発表する。 ③補充教材を説明する。

5 回目	第１１課　病院にて	①第１０課本文の音読練習 ②第１１課を勉強する。
6 回目	第１２課　国際入札	①第１１課本文の音読練習 ②第１２課を勉強する。
7 回目	補充教材 ビジネス中国語文章の翻訳練習②	①第１１課、１２課の単語小テスト ②補充教材を翻訳し各グループ代表が和訳文を発表する。 ③補充教材を説明する。
8 回目	第１３課　財務	①第１２課本文の音読練習 ②第１３課を勉強する。
9 回目	補充教材 ビジネス中国語文章の翻訳練習	①第１３課の単語小テスト ②補充教材を全員翻訳しグループごとに和訳文を発表する。 ③補充教材を説明する。
10 回目	補充教材 ビジネス中国語文章の翻訳練習	①受講生全員に翻訳させ、グループごとに翻訳文を発表してもらう。 ②文章を説明する。
11 回目	中国語検定試験 4 級過去問題	①過去問の筆記部分を練習する。 ②解説する。
12 回目	総合復習練習	授業内容の復習 質問応答
13 回目	音読テスト	音読テスト
14 回目	授業の総まとめと試験	授業の総まとめと試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業内容の復習はとても大事なことです。
特に外国語の勉強にとっては、音読はとても重要なので、楽しく練習できればお上手になります。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『やさしいビジネス中国語』三潴正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 円＋税

【参考書】
『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社、2019 年 2 月

【成績評価の方法と基準】
成績評価は、平常点と期末試験の点数により総合評価を出す。
平常点は 30%、期末試験は 70%。
平常点には、出席、授業中の小テストと練習および学習態度等を含む。
期末試験には、音読テストは 20%、筆記試験は 50%占める。
中国語検定試験 4 級以上の合格者、期末筆記試験を免除、点数により評価をします。
＊無断欠席４回以上の受講生は評価対象にならない可能性がある。

【学生の意見等からの気づき】
授業中の私語と中国語学習以外の携帯使用を禁止する！

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３- Ⅰ

2017 年度以降入学者

三田村　圭子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水 5**/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年 A～C

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語の発音の基礎と基本文型、初級レベルの文法を復習しながら、文法項目の更なる基礎固めを行う。基礎中国語で学習した事項をもとに、聞く・話す・読む・書くをバランスよく練習し、より複雑な表現を理解する。その上で中級以上の中国語に取り組む際に必要な構文や新しい語彙を習得する。

【到達目標】
春学期終了時には、文法においては HSK ３～４級、中国語検定４級程度の能力を確実に習得し、簡単な会話を正確な文法を用いて表現できることを到達目標とする。また、新語の検索をピンイン入力などで実際に行い、実践的な中国語運用の方法を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
今年度は新型コロナウィルスの流行予防措置のために４月２２日からオンライン授業の開始とする。始めの３回はオンライン上での HSK 教材を使い、基礎で学んだ事項について復習する。毎回、授業の始めに簡単な発音とヒアリングの練習を行い、本文へ進む。教科書は、文法の解説、発音練習、本文の訳といった順序で進める。その後、練習問題を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	基礎で学習したことの復習①特に４文型	自己紹介。特に発音の確認と練習。
第 2 回	基礎で学習したことの復習②特に補語表現	基礎文法事項の練習。
第 3 回	基礎で学習したことの復習③復習	学んだ常用表現を使い、実際に口頭練習する。
第 4 回	買い物やレストランで順番を待つ	①要②目的語が主述句なる場合③使役表現④太⑤地⑥越～越～
第 5 回	生活で使われるカードやお金のこと	①除了～以外②恐怕③是…的④只⑤由于⑥又…又
第 6 回	第１課から第３課の本文の内容の復習	併せて自己紹介文を用いて、自分のことについて話す。
第 7 回	第１課と第３課の復習、到達度の確認	暗誦行い、併せて練習問題を行う。
第 8 回	運動や趣味について	①包括②受③常見④也⑤所以⑥并+否定⑦一辺… 一辺
第 9 回	インターネットに関連する話題	①被②就是③絶対④想到⑤出于⑥通過
第 10 回	ネット環境に関する話題	第４課、第５課の内容を復習し、練習問題を行う。
第 11 回	携帯電話とネットにかんする現状	①随着②只要③有的④造成⑤着⑥導致
第 12 回	学習した中級構文についてのまとめ	第５課、第６課のヒアリングと作文を行う。
第 13 回	第４から第６課までのヒアリングと発音の復習と暗誦	第４課から第６課の造句部分の復習。
第 14 回	文法事項の復習 期末試験	補語表現や構文の総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
時間のないときは音声教材だけでもよく聴いてくること。
ヒアリングは特に行って欲しい。
また辞典を持っているのが望ましいが、授業開始時に何冊か持参し回覧してもらうので、急いで購入する必要はない。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『音読で身につく中国語　中級』崎原麗霞・丁雷著
朝日出版社 2200 円（税別） ISBN978-4-255-45323-1-C1087
また随時、プリントを配布

【参考書】
進度に合わせて適宜、辞典や参考書について詳しく紹介する。

【成績評価の方法と基準】
期末試験 60 %、宿題・小テスト 20 %、平常点 20 %を総合して評価する。平常点には宿題の提出や暗誦を含む。また、春学期においては HSK ３・４級・中国語検定試験４級合格者には 10 %を上限として加点をする。点数が極めて良好な場合は期末試験の一部を免除する。

【学生の意見等からの気づき】
小テストについての要望がありました。出題形式・範囲を変更するなどして復習し確認ができるよう改善したいと考えています。去年とは教科書が違うので、口頭練習の機会がたくさん得られるように授業を進行したいと思っています。

【学生が準備すべき機器他】
音声教材をダウンロードできる機器

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３-Ⅱ

2017 年度以降入学者

三田村　圭子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年 A～C

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文法に関しては中級レベルで書かれた文章の正確な読解を助ける、やや難しい構文を中心に学習する。また会話文の練習を通じ、より何度の高い実践的な中国語の表現を身につける。また、実際に作文や口頭の練習を行うことによって、HSK や中国語検定試験に対応しうる能力を養成する。

【到達目標】
より複雑な文法・構文を理解し、並行して新しい語彙を習得することで、自分の生活に関すること、自身の考えや生活の中で起こりうる事柄を明瞭に話せるようになる。文法に関しては HSK ３級から４級レベル、中国語検定３級程度の能力を習得することを最終的な到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
春学期よりも授業進行が、若干速めになる。基本的には、春学期の授業進行と同様、文法の解説、発音の練習、本文の訳、練習問題の順番だが、３課分ほど進行したところで HSK、中国語検定問題や応用問題を行う時間をとる。また、比較的難しい文法事項については、プリントを使用しながら、教科書で不足する練習事項を補う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第１課から第６課までの復習と発音練習	本文の発音練習をしながら、前半学習した文法事項を総復習する。
第 2 回	世界遺産と孔子	①于②与③的の用法のまとめ④即便⑤給の用法⑥依然
第 3 回	特に「給」に関して整理とまとめ	第７課の内容を理解し、ヒアリング・造句・練習問題を行う。
第 4 回	中国と日本の色に対するイメージの相違点	①根据②特别③却④用…来⑤只有⑥只有…才能⑦難得
第 5 回	基本的な構文のまとめ①	第１回から４回までの練習と簡単な文章の暗誦。
第 6 回	多民族国家について	①不是…而是②不得不③也就是説④「有」の用法の整理⑤一直⑥快于⑦越来越…
第 7 回	口語表現と書面語の違いについて	第９課で学んだ例文を参考に造句してみる。
第 8 回	第７課から第９課までの全体的な復習と到達度の確認	暗誦、検定試験問題や小テストを行う。 ②
第 9 回	訪日する観光客との会話	①把…作為②不僅僅③与…有美④雖然…但是…⑤還是⑥値得⑦与…相比
第 10 回	「把」構文に関するまとめ	第１０課の内容を踏まえて造句してみる。
第 11 回	交通問題に関して時制の表現と助動詞のまとめ	①経過②甚至③受到④因此⑤逐漸⑥期待
第 12 回	第１１課まで学習した構文を使った表現練習	時制の表現と組み合わせて何かの交通手段を使って観光に行く、あるいは行ったことを書いてみる。

第 13 回	国際化に伴う問題と必要とされる人材について	①「能」の用法のまとめ②応該③具有④才⑤不僅…而且⑥等同于⑦如果⑧一定
第 14 回	応用表現の総合復習 期末試験	第 13 課から第 15 課までを中心に。日常よく使われる表現の暗誦。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
秋学期は内容も難しくなるので、音声教材を授業以外の時間にもよく聴くこと。また授業以外でも大学所蔵の DVD を観るなど、幅広く興味を持ってほしい。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『音読で身につく中国語　中級』崎原麗霞・丁雷著
朝日出版社 2200 円（税別） ISBN978-4-255-45323-1-C1087
また随時、プリントを配布

【参考書】
授業の進行に合わせて再度、辞典や参考書について紹介する。

【成績評価の方法と基準】
期末試験 60 %、小テスト 20 %、平常点 20 %を総合して評価する。平常点には宿題の提出や暗誦を含む。外部能力試験の点数が極めて良好な場合は期末試験の一部を免除する。3 分の 1 以上欠席した学生は評価の対象としない。また、遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。HSK4 級以上、中検３級合格者は試験を免除し S の評価を与える。

【学生の意見等からの気づき】
40 名前後のクラスの場合、口頭練習に時間が取られると退屈に感じる学生が毎年一定数います。今年度は昨年度違う教科書を使用しますが、発音練習の進行方法を改善したいと思っています。

【学生が準備すべき機器他】
音声をダウンロードできる機器

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３- Ⅰ

2017 年度以降入学者

薬　進

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年 D～F

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年生で習った初級をしっかり復習しながら、日常をコミュニケーションできる中級レベルの中国語を目指しましょう。

【到達目標】
基礎段階を終えた学習者を対象に、より複雑な中国語の表現で日常の生活における交流場面に対応できるように、読む・聞く・話す・書く能力を身につけることを目標とする。到達レベルは、中国語検定試験の 3 級合格可能な程度である。3 級合格者は、成績評価が A+ となる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
この授業の目的は、架空の中国生活ではなく、日本での日常について質問し、答えられるようにすることです。中国語のコミュニケーションは、他のコミュニケーションと同様に、送受信＝質問と答えのやり取りを基本としている。問いと答えを繰り返せば必ず話せるようになる。一年生で発音の基礎と基本的な表現を習得した学習者が、複文や接続詞などより複雑な表現を学ぶ基礎の授業。基礎的な表現を項目別に従って編集されたテキストを使用し，仮定や因果関係や逆接などの表現を学習した上、日常の生活における交流場面に対応する、比較的高度な中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。
授業の方法については、まず前回の授業で習った内容について会話を練習する。新出単語を簡単に説明した後、基本的な文法事項を確認する。本文の朗読を十人程度させた上、質問に答える練習を行う。その上、叙述文を質問文に変える練習をする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	一年次の復習	一年次授業内容の振り返り、ウォーミングアップ。
2 回	第一課	接続詞 “因☒”
3 回	第一課	経験の “☒”，動作量補語
4 回	第二課	助動詞 “会”，使役文，動詞の重ね型
5 回	第三課	近い未来，助動詞 “☒☒”，“既～又…”
6 回	第四課	時間量補語，“一点儿” + “也／都” + 否定形，“一～就…”
7 回	復習	第一課～第四課の復習
8 回	第五課	状態補語，前置詞 “☒了”，“地”
9 回	第六課	助動詞 “可以”，“只要～，就…”，結果補語
10 回	第七課	進行の “在”“正”“正在”，“无☒～☒是…，都～”，疑問詞の不定用法
11 回	第八課	助動詞 “要”，前置詞 “离”，100 以上の数，金額の言い方
12 回	第九課	持続の “着”，方向補語(1)，方向補語(2)，方向補語(3)
13 回	第十課	受け身文，“一☒（儿）～，一☒（儿）…”，“先～，然后…”，“由于～，所以…”

14 回　復習　Ⅰ期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
語学力は短期間で身につけられない。日々の積み重ねこそ大切である。初級に比べより高度な内容となるので、放課後の予習・復習を怠らないこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
杉野元子/黄漢青著『大学生のための中級中国語 20 回』白帝社

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
評価基準は、平常点 10 %、中間テスト 15 %、課題 (小テストなど)15 %、期末試験 60 %とする。期末試験は筆記のみとする。無断欠席は 1 回につき 2〜5 点マイナスになる。
検定試験 4 級合格者：Ⅰ期終了時合格は 15 点プラス。
検定試験 3 級合格者：Ⅰ期終了時合格は 100 点プラス。

【学生の意見等からの気づき】
書く練習をより多くしたいとの要望に応えていきたい。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３-Ⅱ

2017 年度以降入学者

薬　進

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年 D〜F

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
既習内容をしっかり復習しながら、日常をコミュニケーションできる中級レベルの中国語を目指しましょう。

【到達目標】
基礎段階を終えた学習者を対象に、より複雑な中国語の表現で日常の生活における交流場面に対応できるように、読む・聞く・話す・書く能力を身につけることを目標とする。到達レベルは、中国語検定試験の 3 級合格可能な程度である。3 級合格者は、成績評価が A+ となる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
この授業の目的は、架空の中国生活ではなく、日本での日常について質問し、答えられるようにすることです。中国語のコミュニケーションは、他のコミュニケーションと同様に、送受信＝質問と答えのやり取りを基本としている。問いと答えを繰り返せば必ず話せるようになる。一年生で発音の基礎と基本的な表現を習得した学習者が、複文や接続詞などより複雑な表現を学ぶ基礎の授業。基礎的な表現を項目別に従って編集されたテキストを使用し，仮定
や因果関係や逆接などの表現を学習した上、日常の生活における交流場面に対応する、比較的高度な中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。
授業の方法については、まず前回の授業で習った内容について会話を練習する。新出単語を簡単に説明した後、基本的な文法事項を確認する。本文の朗読を十人程度させた上、質問に答える練習などを行う。その上、叙述文を質問文に変える練習をする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	総括	Ⅰ期期末試験の解説
2 回	復習	春学期の復習
3 回	第十一課	是〜的” 構文，“越〜越…”，“不⊠〜，而且…” 比較⑴，比較⑵，可能補語／
4 回	第十二課	“A 是 A，就是〜”，“有点儿” と “一点儿”，処置文
5 回	第十三課	要么〜，要么…”，助動詞 “得”，“不管〜，都…”
6 回	第十四課	副詞 “又”，副詞 “就” と “才”，“除了〜以外”，“〜什么的”
7 回	復習	第十一課〜第十四課の復習
8 回	第十五課	疑問詞 + “都／也”〜，“要是／如果〜（的⊠），（就）…”，離合動詞
9 回	第十六課	副詞 “⊠怪”，存現文，自然現象
10 回	第十七課	副詞 “⊠”，副詞 “却”，副詞 “并”
11 回	第十八課	疑問詞の呼応用法，反語の表現 “哪能〜”
12 回	第十九課	補語のまとめ
13 回	第二十課	“⊠〜来⊠”，“⊠〜都／也…”，“之所以〜，是因⊠…”，“既然〜，就…”，“不是〜，而是…”

14 回　復習　Ⅱ期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
語学力は短期間で身につけられない。日々の積み重ねこそ大切である。初級に比べより高度な内容となるので、放課後の予習・復習を怠らないこと。付属の CD と DVD を活用して、また初級復習用に配布したフリントに基づく問答ができるよう（試験範囲内）、練習を繰り返し行い、毎回授業の初めに聞かれる質問に即答できるようにしていただきたい。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
杉野元子/黄漢青著『大学生のための中級中国語 20 回』白帝社

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
評価基準は、平常点 10 %、中間テスト 15 %、課題 (小テストなど)15 %、期末試験 60 %とする。期末試験は筆記のみとする。無断欠席は 1 回につき 2〜5 点マイナスになる。
検定試験 3 級合格者：Ⅱ期終了時合格は 90 点プラス。

【学生の意見等からの気づき】
書く練習をより多くしたいとの要望に応えていきたい。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語コミュニケーション初級Ⅰ　2017 年度以降入学者

周　重雷

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火 2/Tue.2**
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語の発音及び基礎的な文法事項を固めつつ、中国語のコミュニケーションに必要な知識を養成する。

【到達目標】
構文をしっかり覚える。
発音を正確にする。
日常会話ができるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
履修者のレベルを確認した上、様々な会話パターンを作って練習していく。
*4 月 21 日よりオンライン授業が始まります。学習支援システムを使ってください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	シラバスの配布と説明。
第 2 回	ピンイン	ピンインの復習
第 3 回	あいさつ	あいさつの練習をする
第 4 回	会話（1）	自己紹介の練習をする
第 5 回	授業内発表（1）	自己紹介を発表する
第 6 回	基本構文（1）	1、主語・述語・目的語 2、品詞
第 7 回	基本構文（2）	1、連体修飾語 2、疑問文
第 8 回	基本構文（3）	1、連用修飾語 2、「着」、「了」、「過」
第 9 回	基本構文（4）	補語
第 10 回	基本構文（5）	使役・受身・「把」文
第 11 回	会話（2）	買い物する時の会話パターン
第 12 回	授業内発表（2）	教師と一対一で買い物のシミュレーションをする
第 13 回	復習	文法の復習をする
第 14 回	まとめ	筆記テストを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
宿題や発表の準備など、毎回 1 時間ほどの復習をする。
また、HSK や中国語検定の受験も推奨される。

【テキスト（教科書）】
教員によるプリント配布

【参考書】
必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
期末テストを主に（100 %）評価する。普段の学習態度や発表の出来なども平常点として考慮に入れる（減点制）。
＊オンライン授業の場合は、課題の完成度が平常点として評価される。

【学生の意見等からの気づき】
それぞれのレベルの差に配慮をする。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
特になし。

【Outline and objectives】
This is the Chinese conversation course for intermediate learners. The aim of this course is to master intermediate level conversation skill. We will study basic vocabulary and grammar, and improve Chinese speaking skill.

LANc200LA

中国語コミュニケーション初級Ⅱ　2017 年度以降入学者

周　重雷

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語の基礎的な文法事項の基礎を固めつつ、中国語のコミュニケーションに必要な知識を養成する。

【到達目標】
「読む、書く、聞く、話す」を全体的にスキルアップを図る。
日常の中国語のコミュニケーションが取れるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
履修者のレベルに合わせ、文法を復習しつつ、会話の練習を強化していく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	復習	春学期の授業内容の復習
第 2 回	文法（6）	複文のさまざま
第 3 回	文法の練習	プリントにある文法に関する問題を解く
第 4 回	作文（1）	長文作文のイロハ
第 5 回	作文（2）	宿題の作文を添削する
第 6 回	会話（3）	レストランでの会話パターン
第 7 回	授業内発表（3）	教師と一対一でレストランでのやり取りを練習する
第 8 回	会話（4）	道を尋ねる/教える
第 9 回	授業内発表（4）	教師と一対一で道順に関するやり取りをする
第 10 回	会話（5）	スピーチやものの語り方
第 11 回	授業内発表（5）	スピーチ/ものを語る
第 12 回	復習	複文の復習
第 13 回	作文（3）	作文の提出
第 14 回	まとめ	口頭による試験を行う　まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎週 1 時間を目途に復習する。
単語を調べて、オリジナルの長文及び会話文を作る。
また、HSK や中国語検定の受験も推奨される。

【テキスト（教科書）】
教員によるプリント配布

【参考書】
必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
筆記試験（50 %）、口頭試験（50 %）を併せて評価する。

【学生の意見等からの気づき】
中国語による自由会話の時間を増やす。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
特になし。

【Outline and objectives】
This is the Chinese conversation course for intermediate learners. The aim of this course is to master intermediate level conversation skill. We will study basic vocabulary and grammar, and improve Chinese speaking skill.

LANc200LA

中国語作文初級 I

2017 年度以降入学者

康　鴻音

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義は初級で学んだ中国語の基礎を固め、読解力や翻訳力の向上を図ります。そして正しい声調で、自然なリズムで話せるようにも指導します。

【到達目標】
中国語の基礎文法を一通り学ぶことによって一応の文章も読解できる段階まで力を付けることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となります。それにともなう各回の授業計画の変更については学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日は 4 月 24 日とし、この日までに具体的なオンライン授業方法などを学習支援システムで掲示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	オリエンテーション	レベルチェック
2 回	数字の使い方（一）	例文解説
3 回	数詞の使い方（二）	翻訳の練習
4 回	「是」の使い方（一）	例文解説
5 回	「是」の使い方（二）、一日の行動	翻訳の練習
6 回	連体修飾語＋的＋被修飾語	例文解説、翻訳の練習
7 回	「有」構文、「在」構文	例文解説、翻訳の練習
8 回	疑問詞の使い方	例文解説、翻訳の練習
9 回	介詞の使い方	例文解説、翻訳の練習
10 回	「比較」の表現	例文解説、翻訳の練習
11 回	程度補語の使い方	例文解説、翻訳の練習
12 回	アスペクト（一）	例文解説
13 回	アスペクト（二）	翻訳の練習
14 回	総復習	補足説明・期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
必ず予習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業にてプリント配布

【参考書】
辞書を必ず用意すること。

【成績評価の方法と基準】
対面授業が再開された場合には期末試験を実施するが、再開されなかった場合には、毎回の課題の実施状況によって評価します。

【学生の意見等からの気づき】
発音の指導を徹底的にやるつもりです。

【その他の重要事項】
学生の様子によって、内容を調整する場合があります。

【Outline and objectives】
In this course, we will improve the writing skill of Chinese through reviewing the basic grammar.

LANc200LA

中国語作文初級Ⅱ

2017 年度以降入学者

康　鴻音

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義は初級で学んだ中国語の基礎を固め、読解力や翻訳力の向上を図ります。

【到達目標】
中国語の基礎文法を一通り学ぶことによって一応の文章も読解できる段階まで力を付けることを目指します。正しい声調で、自然なリズムで話せるようにも指導します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
まず中国語作文の基礎を理解してもらい、基本的な文法事項や重要な文型について詳しく説明します。それを基に、単文を中心とした練習問題を解くことによって基礎的な作文能力を高めていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	能願動詞の使い方	例文解説、翻訳の練習
2 回	方向補語	例文解説、翻訳の練習
3 回	結果補語	例文解説、翻訳の練習
4 回	可能補語	例文解説、翻訳の練習
5 回	兼語文	例文解説、翻訳の練習
6 回	受身文	例文解説、翻訳の練習
7 回	「是……的」構文	例文解説、翻訳の練習
8 回	存現文	例文解説、翻訳の練習
9 回	介詞の使い方	例文解説、翻訳の練習
10 回	「比較」の表現	例文解説、翻訳の練習
11 回	「把」構文	例文解説、翻訳の練習
12 回	動量補語・時量補語	例文解説、翻訳の練習
13 回	複文・「了」の使い方	例文解説、翻訳の練習
14 回	総復習	補足説明・期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
必ず予習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業にてプリント配布

【参考書】
辞書を必ず用意すること。

【成績評価の方法と基準】
授業への参加度、授業中の学習態度、宿題の完成度など（60 点）、試験（40 点）により総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
学生から高く評価されした。続けてこのやり方でやります。

【その他の重要事項】
学生の様子によって内容を調整することがあります。

【Outline and objectives】
In this course, we will improve the writing skill of Chinese through reviewing the basic grammar.

LANc200LA

中国語視聴覚初級Ⅰ

2017 年度以降入学者

劉　渴氷

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国の様子を紹介する映像を見ながら、会話文や読解文を学習します。聞き取り・書き取り練習を通して、リスニング力を鍛えることを目的とします。同時に、中国文化への理解も深めます。

【到達目標】
1 年生で学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検３級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
単語を習得し、文法を理解する。
DVD 教材を観ながら、聞き取り・書き取り練習を行う。
簡単な中国語作文・会話練習を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容に関するガイダンス
2	第１課	文法理解と応用
3	第１課	会話と応用
4	第１課	読解文の理解と応用
5	第２課	文法理解と応用
6	第２課	会話と応用
7	第２課	読解文の理解と応用
8	第３課	文法理解と応用
9	第３課	会話と応用
10	第３課	読解文の理解と応用
11	第４課	文法理解と応用
12	第４課	会話と応用
13	第４課	読解文の理解と応用
14	授業の総まとめと試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業前に単語の意味を調べる。教材の予習復習をする。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
洪潔清著『チャイニーズアドベンチャー〜DVD で学ぶ中国文化〜』金星堂

【参考書】
授業中に指示。

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業態度）30%、試験 70%。

【学生の意見等からの気づき】
特に無し。

【Outline and objectives】
In this course, we will use the basic audio-visual materials and improve the listening skill of Chinese.

LANc200LA

中国語視聴覚初級Ⅱ

2017 年度以降入学者

劉　渴氷

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国の様子を紹介する映像を見ながら、会話文や読解文を学習します。聞き取り・書き取り練習を通して、リスニング力を鍛えることを目的とします。同時に、中国文化への理解も深めます。

【到達目標】
1 年生で学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検３級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
単語を習得し、文法を理解する。
DVD 教材を観ながら、聞き取り・書き取り練習を行う。
簡単な中国語作文・会話練習を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス復習	授業内容に関するガイダンスと復習
2	第５課	文法理解と応用
3	第５課	会話と応用
4	第５課	読解文の理解と応用
5	第６課	文法理解と応用
6	第６課	会話と応用
7	第６課	読解文の理解と応用
8	第７課	文法理解と応用
9	第７課	会話と応用
10	第７課	読解文の理解と応用
11	第８課	文法理解と応用
12	第８課	会話と応用
13	第８課	読解文の理解と応用
14	授業の総まとめと試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業前に単語の意味を調べる。教材の予習復習をする。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
洪潔清著『チャイニーズアドベンチャー〜DVD で学ぶ中国文化〜』金星堂

【参考書】
授業中に指示。

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業態度）30%、試験 70%。

【学生の意見等からの気づき】
特に無し。

【Outline and objectives】
In this course, we will use the basic audio-visual materials and improve the listening skill of Chinese.

LANc200LA

資格中国語初級Ⅰ

2017 年度以降入学者

青木　正子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
HSK（⊠⊠水平考⊠）１級〜３級合格レベルの中国語を身につけることが、この授業の目的です。春学期中に２級、秋学期中に３級に合格できるよう指導します。
ただ、HSK のリスニングは難しいので、中国検定準 4 級程度からトレーニングを始めていきます。
昨年度は春秋履修した２年生の学生のうち、HSK ３級と中国語検定３級に４人合格、HSK4 級３人合格、HSK ５級２人合格しました。向上心のある学生の参加を歓迎します。単位のためだけの履修は向きません。

【到達目標】
HSK ２級に合格できるリスニング力と読解力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
HSK の過去問プリントを使って学習します。必要な単語と文法を学び、実際の過去問を解いて実践力を養います。今年度は特にリスニング練習を強化したいと考えています。中国語検定準４級程度の簡単なものからトレーニングを始めます。繰り返し練習して、リスニング力を養います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	レベルチェックテスト	メンバーのレベルをチェックします。
2	HSK １級単語	HSK １級単語を学びます。リスニング練習をします。
3	HSK １級単語復習	HSK １級単語リスニングテスト
4	HSK １級単語	HSK １級単語を学びます。リスニング練習をします。
5	HSK １級単語復習	HSK １級単語リスニングテスト
6	HSK １級過去問	HSK １級過去問を解きます。
7	HSK １級過去問	HSK １級過去問を解きます。
8	HSK ２級単語	HSK ２級単語を学びます。
9	HSK ２級単語	HSK ２級単語リスニングテスト。
10	HSK ２級	HSK ２級単語を学びます。
11	HSK ２級単語	HSK ２級単語リスニングテスト
12	HSK ２級単語	HSK2 級単語を学びます
13	HSK ２級単語	HSK ２級単語リスニングテスト
14	春学期復習	復習テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
良く復習すること。覚えた単語は忘れないようにすること。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
プリント教材を配布

【参考書】
HSK 過去問、単語集

【成績評価の方法と基準】
授業内テストの合計点で評価します。欠席は３回まで。４回以上は不合格です。

【学生の意見等からの気づき】
リスニング教材を充実させます。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to pass 1st~2nd grade of HSK (Hanyu Shuiping Kaoshi) test. To achieve this aim, we will review the basic Chinese grammar and vocabulary, and do past HSK questions.

LANc200LA

資格中国語初級Ⅱ

2017 年度以降入学者

青木　正子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
HSK ３級合格レベルの中国語を身につけることが目的です.
この授業は春学期から継続しています。秋学期からの参加を認めますが、それなりの覚悟が必要です。
単位のためだけに履修すると後悔すると思います。意欲的な学生の参加を歓迎いたします。

【到達目標】
HSK ３級合格以上を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
プリント教材を使って、HSK ３級の単語と文法を学びます。リスニング練習を重視します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	HSK ３級過去問	HSK ３級過去問
2	HSK ３級過去問	HSK ３級過去問
3	HSK ３級過去問	HSK ３級過去問
4	HSK ３級過去問	HSK ３級過去問
5	HSK ３級過去問	HSK ３級過去問
6	HSK ３級過去問	HSK ３級過去問
7	HSK ３級過去問	HSK ３級過去問
8	HSK ３級過去問	HSK ３級過去問
9	HSK ３級過去問	HSK ３級過去問
10	HSK ３級過去問	HSK ３級過去問
11	HSK ３級過去問	HSK ３級過去問
12	HSK ３級過去問	HSK ３級過去問
13	HSK ３級過去問	HSK ３級過去問
14	授業の総まとめと期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業で学んだことを忘れないように、よく復習すること。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
プリント教材を配布します。

【参考書】
HSK3 級過去問、単語集

【成績評価の方法と基準】
期末テストで評価します。4 回以上欠席の者は不合格です。

【学生の意見等からの気づき】
リスニング教材を充実させ、総合的な力がつくように工夫します。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to pass 1st~2nd grade of HSK (Hanyu Shuiping Kaoshi) test. To achieve this aim, we will review the basic Chinese grammar and vocabulary, and do past HSK questions.

ARSe200LA

中国語の世界ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

渡邉　大

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語ということばを通して、中国文化、また、中国という国について考えます。

【到達目標】
中国語そのものを学ぶ授業ではありませんが、中国語ということばを通してみえる世界が、日本語を通してみる世界とはいかに違うか、を実感してもらえればと思います。また、ことばについて知ることで、我々自身についても新しい発見をしたり、新しいものの見方ができるような授業を心がけます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
基本的には法政大学の学習支援システムを使用します。
（発音の解説などではごく短い映像も利用する予定ですが、同時配信は行いません）
講義は基本的に PowerPoint を用い、受講生には PDF 資料をダウンロードしてもらいます。
トピック毎に講義内容のまとめや課題に取り組み、提出してもらいます。
教員と受講生とのやりとりは授業内掲示板やメールを用います。
そのほか、受講生と相談しながら適宜よい方法を模索していきたいとおもいます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	ことばとは何か	あまりにも身近すぎて気づきにくいことばのはたらきについて考えます。
②	類型論からみた中国語	英語や日本語と比較した中国語の特徴
③	中国語の音韻体系－その１	声調・韻母・声母
④	中国語の音韻体系－その２	有声音・無声音等
⑤	中国語文法概説－その１	品詞分類
⑥	中国語文法概説－その２	形態素・単語・フレーズ・センテンス
⑦	中国語文法概説－その３	承前
⑧	中国語の語彙－その１	語彙からみる中国的発想法
⑨	中国語の語彙－その２	外来語・新語・流行語
⑩	中国語の語彙－その３	中国語になった日本語と日本語になった中国語
⑪	文語と白話	書き言葉と話し言葉
⑫	中国語の方言	言語の変化－その１
⑬	大陸の中国語と台湾の中国語	言語の変化－その２

⑭	まとめと試験	論述式の試験をおこないます。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業のまとめや課題をトピック毎に提出してもらいます。
一般的に大学の基準では、授業時間のほか、準備・復習、合わせて4時間が標準的学習時間とされています。
本授業もそれを前提におこないます。

【テキスト（教科書）】
学修支援システムを利用してPDFをダウンロードしてもらいます。

【参考書】
・牛島徳次ほか,『中国文化叢書1　言語』, 大修館, 1967年
・朱德熙著/中川正之・木村英樹編訳,『文法のはなし』, 光生館, 1986年
・木村英樹,『中国語はじめの一歩』, ちくま新書, 1996年
・藤堂明保,『漢字とその文化圏』（中国語研究学習双書3）, 光生館, 1971年
・阿辻哲次,『図説漢字の歴史』（普及版）, 1989年
・林四郎/松岡栄志『日本の漢字・中国の漢字』, 三省堂, 1995年

【成績評価の方法と基準】
まとめと課題（30％）、期末試験（70％）
まとめは講義の内容を理解しているかを確認するためのもので基本的にトピック毎に提出してもらいます。
期末試験としてレポート（3200字程度）を提出してもらいます。
レポートの題目は自身で設定してください。
ただし、以下の3点、すべてについて具体例をあげながら考察すること。
①「中国語ということば」
②「外国語を学ぶということ」
③「人間にとってことばとは」
評価の基準は、
⑴講義の内容をふまえているか、
⑵ことばをめぐる問題を多様な角度から捉えているか、
⑶自身の考えをもち、それを自身のことばで表現しているか、
の3点です。
レポートは「まとめ」や「課題」を利用して作成できるよう、普段から心がけておいてください。
現在のところ、レポートの提出期限は7月23日（木）を予定しています。

【学生の意見等からの気づき】
毎年、受講者の中には、中国語を履修していない人もいれば、中国語を母語とする人もいます。受講理由は様々でしょうが、中国語を学ぼうとする人にはもちろん、どのような受講者にも、「ことばって面白い」と感じてもらえる授業をしたいと思います。

【その他の重要事項】
※4月30日（木）に最初の資料をアップロードする予定です。
※それまでは参考文献にあげた文献を読むなどしてください。
（かなり難しいものも含まれていますのでかならずしも挙げたものでなくともかまいません。
　また書籍以外でも中国語に関するものであればなんでもかまいません）
※それまでの連絡は掲示板、もしくはメールにてどうぞ。
今年は対面での授業ができずに残念ですが、その分、より丁寧に、より分かりやすい授業となるよう心がけたいと思います。
このような形式での授業は初めてですので色々試行錯誤するとおもいますがどうぞよろしくお願いします。

【Outline and objectives】
Through Chinese language, we will think about Chinese culture and view of the world.

ARSe200LA

中国語の世界ＬＢ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

渡邉　大

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**2単位**
法文営国環キ 1〜4年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語を表記する文字体系である漢字にまつわることがらを通して、中国的思考法について考えます。

【到達目標】
中国語そのものを学ぶ授業ではありませんが、漢字という文字体系が、中国語や中国的思考法といかに結びついているのか、を理解してもらえればと思います。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式が中心ですが、質疑応答しながら授業を進めていきます。積極的な参加を期待します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	文字とはなにか	文字の定義と文化形成における文字の役割について
②	中国文化の思考基底－その１	中国的世界観
③	中国文化の思考基底－その２	古い中国と新しい中国
④	漢字学の伝統－その１	中国の伝統的学問分類と漢字学の位置づけ
⑤	漢字学の伝統－その２	許慎と『説文解字』
⑥	漢字学の伝統－その３	漢字の分類法と字書の変遷
⑦	漢字学の伝統－その４	日本の漢字研究
⑧	漢字の歴史－その１	甲骨文・金文・戦国文字
⑨	漢字の歴史－その２	小篆・隷書・楷書
⑩	漢字の歴史－その３	文字の社会的機能の変遷
⑪	漢字の歴史－その４	新中国における文字改革
⑫	日本の漢字と文字政策	常用漢字・人名漢字・国字等
⑬	漢字とコンピュータ	文字コードと入力法
⑭	まとめと試験	論述形式の試験をおこないます。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
課題を適宜出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて4時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業時にプリントを配布します。

【参考書】
・牛島徳次ほか,『中国文化叢書1　言語』, 大修館, 1967年
・朱德熙著/中川正之・木村英樹編訳,『文法のはなし』, 光生館, 1986年
・木村英樹,『中国語はじめの一歩』, ちくま新書, 1996年
・藤堂明保,『漢字とその文化圏』（中国語研究学習双書3）, 光生館, 1971年
・阿辻哲次,『図説漢字の歴史』（普及版）, 1989年

・林四郎/松岡栄志『日本の漢字・中国の漢字』，三省堂，1995 年

【成績評価の方法と基準】
小テスト（30 %）、期末試験（70 %）
小テストは講義の内容を理解しているかを確認するためのもので基本的に毎授業おこないます。
期末試験は論述式でおこないます。評価の基準は、①講義の内容をふまえているか、②漢字という文字、書写言語と音声言語との違い、人間にとって文字とは、というような問題を多様な角度から捉えているか、③自身の考えをもち、それを自身のことばで表現しているか、の 3 点です。

【学生の意見等からの気づき】
毎年、受講者の中には、中国語を履修していない人もいれば、中国語を母語とする人もいます。受講理由は様々でしょうが、中国語を学ぼうとする人にはもちろん、どのような受講者にも、「ことばって面白い」と感じてもらえる授業をしたいと思います。

【Outline and objectives】
Through learning characteristics of Chinese characters, we will understand Chinese thinking process and view of the world.

ARSe200LA

中国の文化と社会ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**映画で学ぶ日本と台湾**

山本　律

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
近年、台湾は日本人の旅行先として人気となっています。
日本と台湾は長い歴史の中で深いかかわりを持っています。
本授業では映像資料を用いて日本と台湾の文化的関係についてみていきます。

【到達目標】
日本と台湾との文化的関係についての理解を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式で授業を行います。
毎回コメントペーパーを出してもらいます。
最終回にはレポートを提出してもらいます。
授業開始日は 4 月 23 日とし、本来の対面式授業と同じ日程で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	授業の進め方について
第 2 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 1	映画『あの頃、君を追いかけた』（第 1 回）
第 3 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 1	映画『あの頃、君を追いかけた』（第 2 回）
第 4 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 1	映画『あの頃、君を追いかけた』（第 3 回）
第 5 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 2	映画『私の少女時代』（第 1 回）
第 6 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 2	映画『私の少女時代』（第 2 回）
第 7 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 2	映画『私の少女時代』（第 3 回）
第 8 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 3	映画『海角七号』（第 1 回）
第 9 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 3	映画『海角七号』（第 2 回）
第 10 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 3	映画『海角七号』(第 3 回)
第 11 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 4	映画『KANO』（第 1 回）
第 12 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 4	映画『KANO』（第 2 回）
第 13 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 4	映画『KANO』（第 3 回）
第 14 回	授業の総まとめとレポート	授業の総まとめと試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
特になし。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 4 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
使用しない。
必要に応じて資料を配布する。

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
平常点（出席、授業態度、コメントペーパー）60 %、レポート 40 %

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【Outline and objectives】
In this course, we will learn about Chinese culture and society by using various materials such as movies.

ARSe200LA

中国の文化と社会ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**映画から学ぶ中国社会**

山本　律

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国の文化と社会について、中国映画や中国の映像資料を用い学んでいきます。
映画は、その国の文化と社会を映し出します。
今期では、2008 年に公開されて以降、人気を博しシリーズ化されたカンフーアクション映画を軸として中国文化についてみていきます。

【到達目標】
中国の文化と社会についての理解を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
映像資料を用い、講義形式で授業を行います。
毎回コメントペーパーを出してもらいます。
最終回にはレポートを提出してもらいます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	授業の進め方について
第 2 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 2	映画『イップマン　序章』（第 1 回）
第 3 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 2	映画『イップマン　序章』（第 2 回）
第 4 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 2	映画『イップマン　序章』（第 3 回）
第 5 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 2	映画『イップマン　葉問』（第 1 回）
第 6 回	レポート映画で学ぶ中国の文化と社会 2	映画『イップマン　葉問』（第 2 回）
第 7 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 2	映画『イップマン　葉問』（第 3 回）
第 8 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 3	映画『イップマン　継承』（第 1 回）
第 9 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 3	映画『イップマン　継承』（第 2 回）
第 10 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 3	映画『イップマン　継承』（第 3 回）
第 11 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 4	映画『イップマン　外伝』（第 1 回）
第 12 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 4	映画『イップマン　外伝』（第 2 回）
第 13 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 4	映画『イップマン　外伝』（第 3 回）
第 14 回	授業の総まとめと試験	授業の総まとめと試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
特になし。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 4 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
使用しない。
必要に応じて資料を配布する。

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
平常点（出席、授業態度、コメントペーパー）60 %、レポート 40 %

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【Outline and objectives】
In this course, we will learn about Chinese society and culture by using various materials such as movies.

ARSe200LA

中国の文化と社会ＬＣ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

鈴木　直子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 **年**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、主に中国の演劇作品を通して、中国の文化や社会に対する知識や理解を深めることを目標としている。春学期は特に演劇からみた日中交流史について学んでいく。
隣国である中国の人々が慣れ親しんできた文化とは一体どういうものなのか。実際の作品に触れることで、中国の人々と共通の話題が生まれ、また自国の文化についても再認識する契機となる。日中交流の歴史から、これからの日中関係についても考えてみて欲しい。
作品鑑賞では字幕のない映像を使用することもあるので、中国語を履修していることが望ましい。

【到達目標】
1. 中国の演劇作品に描かれる時代背景や社会情勢を理解することができる。
2. 作品を通じて理解したことや疑問点を整理し、まとめることができる。
3. 自国の文化との相違点について比較し考察できる。
4. これまでの日中交流の歴史を回顧し、その上で今後の自分たちの時代の日中関係についても各自の考えを持ち、述べることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業ではテーマに関する講義、作品の読解や鑑賞を行う。授業の最後には、当日の授業内容に関するリアクションペーパーを提出してもらう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業内容やスケジュールの確認と、授業で扱う中国演劇についての概説を行う。
第 2 回	中国の伝統演劇――「京劇」	京劇についての概要と主な作品を取り上げる。
第 3 回	中国の伝統演劇――「京劇」と梅蘭芳	著名な京劇俳優梅蘭芳と、日本との関わりについて学ぶ。
第 4 回	中国の伝統演劇――「京劇」と梅蘭芳	梅蘭芳の伝記映画作品鑑賞。
第 5 回	演劇の近代化――伝統演劇の改革から文明戯	中国で近代演劇が誕生する以前の段階の文明戯と日本との関わりを学ぶ。
第 6 回	演劇の近代化――文明戯から話劇へ	近代劇としての話劇がどうやって誕生したのか、オスカーワイルドの『ウィンダミア夫人の扇』を中心に学ぶ。
第 7 回	演劇の近代化――文明戯から話劇へ	『ウィンダミア夫人の扇』のハリウッド版と中国版の比較と日本での上演との比較。
第 8 回	1930 年代の話劇と中国人留学生	1930 年代に日本に留学した中国人留学生の演劇活動について。

第 9 回	1930 年代から 1940 年代の日中演劇交流	日本で上演された中国演劇『雷雨』と、中国で上演された日本の演劇について
第 10 回	『白毛女』の日中交流	『白毛女』は日本でも松山バレエ団によって上演された著名な作品である。作品と日本での上演の経緯を学ぶ
第 11 回	革命模範劇について	中国建国後、文化大革命中の演劇について学ぶ。
第 12 回	革命模範劇について	実際の作品を鑑賞し、その特徴を考察する。
第 13 回	文革後ー現在の中国演劇	新時期から現在までの中国の演劇を概観する。
第 14 回	授業の総まとめと期末試験	講義内容に関する記述式の試験を行う。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業で扱い興味を持った作品は、インターネット上の動画でも見られるものがあるので、鑑賞する。期末試験では自分の興味を持ったテーマについて記述するので、その準備として関連書籍を読む、人物について調べるなどしておく。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 4 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用せず、プリントを配布する。

【参考書】
参考書は指定しないが、必要な場合は授業時に指示する。

【成績評価の方法と基準】
各回の最後にリアクションペーパーを提出してもらう。最終授業時には記述式の期末試験を行う。
平常点（15 点）、リアクションペーパー（35 点）、期末試験（50 点）

【学生の意見等からの気づき】
昨年は女優についてのテーマの際に、中国の女性やフェミニズムに興味を抱いたようだ。作品鑑賞以外にも、学生の興味のある分野について適宜取り上げていきたい。

【その他の重要事項】
中国語履修者の受講が望ましい。

【Outline and objectives】
This course is introduces the Chinese modern drama and film. The aim of this course is to help students acquire the knowledge about the Chinese culture and society. By the end of this course, the student should be able to describe the cultural difference between China and own country.

ARSe200LA

中国の文化と社会ＬＤ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

鈴木　直子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 **年**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、中国の演劇や映画作品を通して中国の文化や社会に対する知識の習得を目標としている。　隣国である中国の人々が慣れ親しんできた文化とは一体どういうものなのか。中国でよく知られた演劇作品や最近の映画から見える中国の姿について考察する。

【到達目標】
1. 作品に描かれる時代背景や社会情勢についての知識の習得。
2. 作品を通じて理解したことや疑問点を整理し、まとめることができる。
3. 自国の文化との相違点について比較し考察できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
作品の背景やキーワードに関する講義と、作品鑑賞。授業の最後には、当日の授業内容に関するリアクションペーパーを提出する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業内容やスケジュールの確認と、授業で扱う作品についての概説を行う。
第 2 回	中国の演劇と映画の歴史	中国映画は初期の演劇とも接点を持っている。中国映画史について紹介し、初期の無声映画などを鑑賞する。
第 3 回	中国の女優①	中国の近代では女性が舞台や銀幕に登場するようになる。中国女性史から女優の誕生をみていく。
第 4 回	中国の女優②	中国の女優阮玲玉について、当時の言説や伝記映画を鑑賞する。
第 5 回	中国の話劇①	中国の作家老舎と作品『茶館』についての紹介と作品鑑賞。
第 6 回	中国の話劇②	中国の作家老舎と作品『茶館』についての紹介と作品鑑賞。文革期の演劇にも触れる。
第 7 回	文化大革命と演劇、バレエ①	文化大革命の時期に行われた現代革命京劇について紹介する。この時期を描いた作品鑑賞。
第 8 回	文化大革命と演劇、バレエ②	文化大革命の時期に行われた現代革命京劇について紹介する。この時期を描いた作品鑑賞。
第 9 回	新時期の中国演劇	文革後の 80 年代〜90 年代の中国話劇について学ぶ。
第 10 回	現代の中国演劇	90 年以降の中国の話劇について学ぶ。

第 11 回	香港	中国文化圏の香港について、香港で製作された『十年』を鑑賞し、香港の抱える問題について考える。
第 12 回	台湾の演劇	台湾の演劇（布袋戯や歌仔戯など）について学ぶ。
第 13 回	現代の中国	現代中国の中でも生き続ける伝統演劇。物語の中の伝統演劇の意味を考える。
第 14 回	授業の総まとめと期末試験	講義内容に関する記述式の試験を行う。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業で扱い興味を持った作品は、インターネット上の動画でも見られるものがあるので、鑑賞する。期末試験では自分の興味を持ったテーマについて記述するので、その準備として関連書籍を読む、人物について調べるなどしておく。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 4 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用せず、プリントを配布する。

【参考書】
参考書は指定しないが、必要な場合は授業時に指示する。

【成績評価の方法と基準】
各回の最後にリアクションペーパーを提出してもらう。最終授業時には記述式の期末試験を行う。
平常点（15 点）、リアクションペーパー（35 点）、期末試験（50 点）

【学生の意見等からの気づき】
日本語の字幕のない作品を鑑賞することがあるので、作品についての説明や翻訳をあらかじめ準備する。
少人数クラスのため、学生が自由に意見を述べてくれた。留学生は自国の文化から現在の自国の問題や課題を真剣に考えてくれ、こちらも大いに参考になった。積極的な意見交換は大歓迎である。

【その他の重要事項】
中国語履修者の受講が望ましい。

【Outline and objectives】
This course is introduces the Chinese modern drama and film. The aim of this course is to help students acquire the knowledge about the Chinese culture and society. By the end of this course, the student should be able to describe the cultural difference between China and own country.

LANs200LA

スペイン語３Ｉ

2017 年度以降入学者

杉下　由紀子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 I・J

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語のコミュニケーション能力を高める

【到達目標】
基礎文法を習得し語彙を強化して、読む・書く・聴く・話す力を高める。スペイン語圏の地理・自然・歴史・宗教・文化等に関する知識を深めるとともに、日本のことをスペイン語で紹介できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
講師が文法事項を説明する。履修生は、音声を聴いて発音練習、テキスト記載の対話文の和訳、練習問題、ペアやグループで会話・通訳練習を行う。時々、テーマに関連した映像資料を鑑賞する。
オンライン授業では学習支援システムを使って 4 月 23 日から開始する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	自己紹介とオリエンテーション	スペイン語で自己紹介、授業の進め方や学習方法の説明
2	スペイン語圏諸国	スペイン語の法と時制、直説法現在、再帰動詞の無人称表現
3	大学生活	再帰動詞、時刻
4	お花見	過去分詞、直説法現在完了
5	買い物	目的格人称代名詞
6	誕生日パーティー	曜日、日付
7	日本料理	現在分詞、進行形
8	スペイン語圏諸国の料理	ser, estar, 形容詞
9	スポーツ	直説法点過去・線過去
10	スペインの歴史	直説法過去完了、時制の一致
11	交通	三人称複数の無人称表現
12	旅行	直説法未来・過去未来
13	復習	春学期に学習した内容の復習
14	期末試験	春学期に学習した内容を確認する筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストに出てくる不明な単語や熟語は必ずあらかじめ辞書で調べ、スペイン語文の和訳と練習問題も自分で解いて授業に臨むこと。舞台となっている地域の場所は地図で確認し、その歴史や特徴なども調べて積極的な姿勢で取り組んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
本間芳江、安富雄平、エンリケ・アルマラス・ロモ『会話と通訳練習で学ぶ中級スペイン語』三修社、2020 年

【参考書】
小林一宏・清水憲男ほか『詳解スペイン語』上智大学出版会
西川喬『わかるスペイン語文法』同学社
その他、授業中に適宜紹介。

【成績評価の方法と基準】
平常点（40 %）、課題（25 %）、小テスト（10 %）、期末試験（25 %）から総合的に評価。
オンライン授業では、課題と授業内掲示板の内容を平常点とみなす。

【学生の意見等からの気づき】
新しい文法事項や語彙を覚えるのに苦労していたようなので、反復・応用練習に力を入れて、実践的なコミュニケーション能力を高められるようにします。

【その他の重要事項】
授業には辞書を必ず持参してください。スマートフォン・携帯電話・ＰＣの操作は禁止します。電子辞書は可。
家で勉強する時は、紙媒体の辞書をお薦めします。西和辞典は白水社、三省堂、小学館、研究社など、和西辞典は白水社、三省堂などから出版されている中規模以上のものがよいと思います。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help students improve the communication skill of Spanish.

LANs200LA

スペイン語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

杉下　由紀子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 I・J

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語のコミュニケーション能力を高める

【到達目標】
基礎文法を習得し語彙を強化して、読む・書く・聴く・話す力を高める。スペイン語圏の地理・自然・歴史・宗教・文化等に関する知識を深めるとともに、日本のことをスペイン語で紹介できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
講師が文法事項を説明する。履修生は、ＣＤを聴いて発音練習、テキスト記載の対話文の和訳、練習問題、ペアやグループで会話・通訳練習を行う。時々、テーマに関連した映像資料を鑑賞する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	夏休みの思い出と秋学期の予定	過去と未来の表現の復習
2	宗教	受け身
3	バルでの食事	gustar 型動詞
4	美術、映画	直説法のまとめ
5	オリンピック	接続法現在
6	スペインの歴史	接続法の用法
7	新幹線、AVE	比較級・最上級
8	道をたずねる	命令法
9	スペイン語圏の祝祭	直説法と接続法
10	電話	条件文、接続法過去
11	ビジネス	接続法現在完了、過去完了
12	観光案内	接続法のまとめ
13	クリスマスと新年	お祝いのメッセージ
14	期末試験	秋学期に学習した内容を確認する筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストに出てくる不明な単語や熟語は必ずあらかじめ辞書で調べ、スペイン語文の和訳と練習問題も自分で解いて授業に臨むこと。舞台となっている地域の場所は地図で確認し、その歴史や特徴なども調べて積極的な姿勢で取り組んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
本間芳江、安富雄平、エンリケ・アルマラス・ロモ『会話と通訳練習で学ぶ中級スペイン語』三修社、2020 年

【参考書】
小林一宏・清水憲男ほか『詳解スペイン語』上智大学出版会
西川喬『わかるスペイン語文法』同学社
その他、授業中に適宜紹介。

【成績評価の方法と基準】
平常点（40 %）、課題（25 %）、小テスト（10 %）、期末試験（25 %）から総合的に評価。

【学生の意見等からの気づき】
新しい文法事項や語彙を覚えるのに苦労していたようなので、反復・応用練習に力を入れて、実践的なコミュニケーション能力を高められるようにします。

【その他の重要事項】
授業には辞書を必ず持参してください。スマートフォン・携帯電話・ＰＣの操作は禁止します。電子辞書は可。
家で勉強する時は、紙媒体の辞書をお薦めします。西和辞典は白水社、三省堂、小学館、研究社など、和西辞典は白水社、三省堂などから出版されている中規模以上のものがよいと思います。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help students improve the communication skill of Spanish.

LANs200LA

スペイン語３Ｉ

2017 年度以降入学者

長谷川　悦夫

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火 5/Tue.5**
単位数：**1 単位**
法 2 年 K・L

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級文法で得た知識をより確固としたものにする目的で、文法事項の学習を再度行う。練習問題やテキストに取り組みながら、実用的なスペイン語運用能力 (読解、表現) を習得すること目指す。

【到達目標】
1 年時に学習した初級スペイン語の復習を行い、知識を定着させる。1 年時に学習しなかった接続法の活用と用法を学び、願望、要求、疑惑、可能性、感情、価値判断など幅広い表現ができるようになる。語彙力を強化し、より豊富な内容がある文章を読解できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 28 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	本シラバスを用いた授業の説明。
2	Lección 1	直説法現在形、現在分詞、過去分詞。
3	Lección 1	会話文、問題演習。
4	Lección 2	直説法点過去、直説法線過去、直説法現在完了。
5	Lección 2	会話文、問題演習。
6	Lección 3	直説法未来、直説法過去未来。
7	理解度確認	中間試験を実施。
	Lección 3	関係詞。
8	Lección 3	会話文、問題演習。
9	Lección 4	接続法の活用。
10	Lección 4	接続法の用法。
11	Lección 4	会話文、問題演習。
12	Lección 5	接続法現在完了など。
13	Lección 5	会話文、問題演習。
14	理解度確認	期末試験を実施。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習・復習をする。予習としては、教科書の文法事項の説明を読んで、会話文や練習問題に取り組むことが理想的であるが、少なくとも分からない単語の意味は辞書で調べておくこと。教科書付録の CD を聴き、スペイン語の音になれる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
栗原ゆき絵、R. コルメナ (2020)『シェリト・リンド－スペイン語中級導入教材』同学社　978-4-8102-0438-4

【参考書】
西和辞書は必携。

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
丁寧な解説を心がける。受講生と双方向のコミュニケーションを心がける。

【学生が準備すべき機器他】
教科書付録の音声を随時聞けるように、スマートフォンにダウンロードしておくことを勧める。

【その他の重要事項】
授業に関する質問や要望は、授業中はもちろん、メールでも受け付ける。
etsuohasegawa@gmail.com

【Outline and objectives】
A general review of Spanish grammar to consolidate and reinforce the knowledge obtained in elementary Spanish classes. Using medium level texts for reading training, we will achieve the practical ability of the Spanish language.

LANs200LA

スペイン語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

長谷川　悦夫

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**1 単位**
法 2 年 K・L

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級文法で得た知識をより確固としたものにする目的で、文法事項の学習を再度行う。練習問題やテキストに取り組みながら、実用的なスペイン語運用能力 (読解、表現) を習得すること目指す。

【到達目標】
1 年時に学習した初級スペイン語の復習を行い、知識を定着させる。1 年時に学習しなかった接続法の活用と用法を学び、願望、要求、疑惑、可能性、感情、価値判断など幅広い表現ができるようになる。語彙力を強化し、より豊富な内容がある文章を読解できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	本シラバスを用いた授業の説明。
2	Lección 6	肯定命令。
3	Lección 6	会話文、問題演習。
4	Lección 7	否定命令、直説法過去未来 (2)。
5	Lección 7	会話文、問題演習。
6	Lección 8	接続法過去、比較構文。
7	理解度確認	中間試験を実施。
8	Lección 8	会話文、問題演習。
9	Lección 9	直説法過去完了、直説法過去未来完了、接続法過去完了、条件文。
10	Lección 9	会話文、問題演習。
11	Lección 10	再帰動詞、受身表現、動作者不定表現。
12	Lección 10	会話文、問題演習。
13	理解度確認	期末試験を実施。
14	理解度確認	秋学期の総復習。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習・復習をする。予習としては、教科書の文法事項の説明を読んで、会話文や練習問題に取り組むことが理想的であるが、少なくとも分からない単語の意味は辞書で調べておくこと。教科書付録の CD を聴き、スペイン語の音になれる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
栗原ゆき絵、R. コルメナ (2020)『シェリト・リンド－スペイン語中級導入教材』同学社　978-4-8102-0438-4

【参考書】
西和辞書は必携。

【成績評価の方法と基準】
授業への参加 30%、中間試験 30 %、期末試験 40%とし、総合的に評価する。居眠り、度を越えた私語、無断退席、辞書を持たずに予習もしてこないなどの受講の様態は減点の対象となり得る。大幅な遅刻は欠席と見なす。欠席回数が 5 回に達すると、単位認定資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
丁寧な解説を心がける。受講生と双方向のコミュニケーションを心がける。

【学生が準備すべき機器他】
教科書付録の音声を随時聞けるように、スマートフォンにダウンロードしておくことを勧める。

【その他の重要事項】
授業中に飲食をしないこと、授業中に無断で教室から出ないこと。授業に関する質問や要望は、授業中はもちろん、メールでも受け付ける。
etsuohasegawa@gmail.com
インフルエンザ、その他の法定伝染病の罹患、交通機関の障害、体育会運動部の活動など、欠席事由がやむを得ぬものとみなされる場合は成績評価に当たって配慮するが、可能なら上記アドレス宛に「事前に」申告すること。事前に申告することができない場合には、事後速やかに上記アドレス宛に申告すること。

【Outline and objectives】
A general review of Spanish grammar to consolidate and reinforce the knowledge obtained in elementary Spanish classes. Using medium level texts for reading training, we will achieve the practical ability of the Spanish language.

LANs200LA

スペイン語３Ｉ

2017 年度以降入学者

ロベルト・コルメナ・ロメロ

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：**1 単位**
法 2 年 M

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達が出来る様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】
この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解読し、実際に会話を行います。
各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 27 日とし、この日まで春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなうに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	新年度	自己紹介する、クラスメートについて知る。
2 回	新年度	スペイン語を学習への興味、目的、学習方法について話す。
3 回	私の家族と友人。	家族や友達のような人間関係について話す。
4 回	私の家族と友人。	ある人が昔どのようだったか記述する。
5 回	私の町。	大学生活と以前の生活に比べて、その違いについて話す。 過去の習慣について話す。
6 回	私の町	ある場所の位置とそこへの行き方について、質問する、尋ねる。
7 回	中間テスト	中間テスト
8 回	休みの時	過去に行った事柄について話す、質問する。
9 回	休みの時	過去の記述をする、原因や結果について表現する。
10 回	前の旅行。	過去の旅行について、質問をする、話す。
11 回	前の旅行。	旅行した時の色々な状況について話す、場所について記述する。 旅行に関して人に何かを進める。
12 回	食物	食習慣について話す。 近い過去の経験や行為について質問する、話す。
13 回	食物	料理の材料について話すそして人に勧める。
14 回	期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
・単語の意味調べを行い、授業に出る。
・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
・努めて語彙を増やしていくこと。
・スペイン語圏のニュースに注意している。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
いいね！ スペイン語２
朝日出版

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】
西和和西辞典

【Outline and objectives】
The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

LANs200LA

スペイン語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

ロベルト・コルメナ・ロメロ

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：**1 単位**
法 2 年 M

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達が出来る様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】
この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解読し、実際に会話を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	大学を卒業後、仕事をし始めるでしょう。	将来何をしたいか、どうなりたいかについて話す。
2 回	大学を卒業後、仕事をし始めるでしょう。	仕事についての意見交換する。
3 回	家に来ませんか。	希望を述べる、相手にアドバイスをする。
4 回	家に来ませんか。	パーティで会話する。 社会の出来事や社会生活について質問する、話す。
5 回	海外留学	希望や好みを述べる、意見を言う、人に何かを進める。
6 回	海外留学	ある国でやるべきではないことや、その国の習慣について、質問する、話す。
7 回	中間テスト	中間テスト
8 回	スペインやイスパノアメリカの社会変化。	重要な社会の変化や問題点について質問する、答える。
9 回	スペインやイスパノアメリカの社会変化。	解決方法を提案する。
10 回	スポッツ	様々な種類のスポッツやスポッツ選手について、質問する、答える。
11 回	スポッツ	過去の出来事や行為について感情を示す評価判断を表現する。 現在あるいは未来で、可能性の低いあるいは全くない条件を使って話す。
12 回	学年が終わる。	学期中に行ったとこについて、質問する、話す。
13 回	学年が終わる。	クラスメートに別れの挨拶のメッセジを書く。
14 回	期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
・単語の意味調べを行い、授業に出る。

・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
・努めて語彙を増やしていくこと。
・スペイン語圏のニュースに注意している。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
いいね！ スペイン語２
朝日出版

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
平常点 15 %・授業参加 15%、中間テスト 30 %と学期末試験 40 %で総合評価します

【学生の意見等からの気づき】
なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】
西和和西辞典

【Outline and objectives】
The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

LANs200LA

スペイン語３Ｉ

2017 年度以降入学者

塩﨑　公靖

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：1 **単位**
法 2 年 N～V

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。

【到達目標】
スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがあると思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足してもらえるような方法をとりたい。
その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。
※シラバスにある各講義内容はあくまで目安であり、学生の学習進度・理解度に合わせて再構成する。
【追記】学習支援システムでの授業開始日： 4 月 30 日 (木)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	点過去形規則活用	ar 動詞 er/ir 動詞
2	点過去系不規則活用	不規則活用の種類
3	線過去形	線過去の用法
4	点過去・線過去の違い	考え方、使い方の整理
5	未来形	未来形活用・用法
6	過去未来形	過去未来形活用・用法
7	さまざまな時制の完了形	現在完了／過去完了／未来完了／過去未来完了
8	練習問題	1~7 まとめ
9	命令形	肯定文（tu/vosotros）
10	疑問詞	用法、内容確認
11	関係詞	用法、内容確認
12	仮定法 si	用法、内容確認
13	テスト前確認・質疑応答	講義内容復習
14	テスト	授業内試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
受講学生が今まで使っていた教科書を調査してから決める。

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】
会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline and objectives】
Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

LANs200LA

スペイン語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

塩﨑　公靖

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 N～V

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。
スペイン語圏の文化に親しむこと。

【到達目標】
スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがあると思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足してもらえるような方法をとりたい。
※シラバスにある各講義内容はあくまで目安であり、学生の学習進度・理解度に合わせて再構成する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	接続法現在	考え方
2	接続法現在規則活用	活用、用法
3	接続法現在不規則活用	活用、用法
4	接続法現在完了	活用、用法
5	練習問題	授業内演習
6	接続法過去	活用、用法
7	接続法過去完了	活用、用法
8	仮定法 si(2) 接続法使用	用法、練習問題
9	接続法文法 応用	実際の文章の中での使われ方
10	練習問題（接続法過去、仮定法ほか）	授業内演習
11	文書読解（ニュースサイト）	最新のニュースなど
12	文書読解（SNS）	SNS で見られるスペイン語の紹介
13	テスト前、質疑応答	秋学期授業復習
14	テスト	授業内試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
学生が使ってきた教科書を調査して決定。

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】
会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline and objectives】
Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

LANs200LA

スペイン語３Ｉ

2017 年度以降入学者

オスノ　イジャネス　デ　ササクボ　エルマヘネス

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 W

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

【到達目標】
スペイン語での日常会話ができるようになる。また、辞書を使用しながら、少し長めのテキストを読解できることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業はテキストに沿って実習形式で進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待される。
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。本授業の開始日は 5 月 11 日。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	スペイン語	南米にスペイン語を話す国々
2	スペイン語で自己紹介	目的人称代名詞、再帰代名詞
3	生活習慣、スペイン語圏の家族	現在進行形　/ 現在分詞のその他の用法
4	人一生　/ 家族	復習:直説法点過去。過去を表す副詞句。
5	中南米諸国への日本人移民	関係詞Ｉ：関係詞代名詞
6	町で	SER. ESTAR. HABER. TENER 直説法線過去:活用 / -mente で終わる副詞
7	昔と今	直説法線過去の用法　/　品質形容詞
8	旅行	直説法点過去と線過去　/ 旅行：活動と携行品
9	天候	色々な副詞節
10	余暇活動	過去分詞　/　直説法現在完了：活用　/ 余暇生活　/　勧誘表現
11	社会生活	直説法現在完了の用法 / 過去分詞のその他用法
12	未来を表す副詞	直説法未来：活用　/ 直説法未来の用法
13	推測	直説法未来完了：活用と用法
14	確実性を示す表現	直説法過去未来：活用

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
復習をしっかりやること、十分な準備をすること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Entre Amigos2,2a. Edición. Editorial Asahi

【参考書】
授業の進行によって随時提示。

【成績評価の方法と基準】
授業内での口頭試験 60 %
期末試験の結果 40 %
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

【Outline and objectives】
In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

LANs200LA

スペイン語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

オスノ　イジャネス　デ　ササクボ　エルマヘネス

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 W

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

【到達目標】
自分の住環境、学習環境，労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べることができるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業はテキストに沿って進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、会話練習や練習問題への取り組みが主要な時間を占める。
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。本授業の開始日は 5 月 11 日。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	家具	家具と調度品 / 直説法過去完了：活用と用法
2	調度品	直説法の時制：まとめ/関係詞 II
3	命令形	命令形 I: tu / vosotros に対する肯定命令 / 命令形の用法命令形と目的人称代名詞 / 再帰代名詞
4	食べ物/スポーツ	無人称表現　/ 直説法過去未来の用法 II
5	意見	接続法現在：活用　/　接続法の用法 I:名詞節過去形 II ：usted/ustedes に対する肯定命令
6	命令	否定命令 /　願望、依頼、命令表す表現
7	数	接続法の用法 II ：副詞節
8	環境問題	接続法の用法 III:形容詞節/
9	自然と人間	接続法現在完了:　活用と用法
10	願望表現	接続法の用法 I Ｖ：独立文 / 接続法過去：活用
11	スペイン語国々の映画	接続法過去/ 条件文 I
12	会話で用いられる表現	接続法過去完了:活用 / 接続法過去完了の用法　/　直説法過去未来完了:活用と用法
13	後悔	条件文 II
14	丁寧な依頼	接続法の時制：まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
復習をしっかりやること、十分な準備をすること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Entre Amigos 2, 2a. edición. Editorial Asahi

【参考書】
授業の進行によって随時提示。

【成績評価の方法と基準】
授業内での口頭試験 60 %
期末試験の結果 40 %
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
新規担当科目のため、学生からの意見は今後反映させる。

【Outline and objectives】
In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

LANs200LA

スペイン語３Ｉ

2017 年度以降入学者

ロベルト・コルメナ・ロメロ

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
文 2 年 B〜I

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達が出来る様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】
この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解読し、実際に会話を行います。
各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 27 日とし、この日まで春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなうに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	新年度	自己紹介する、クラスメートについて知る。
2 回	新年度	スペイン語を学習への興味、目的、学習方法について話す。
3 回	私の家族と友人。	家族や友達のような人間関係について話す。
4 回	私の家族と友人。	ある人が昔どのようだったか記述する。
5 回	私の町。	大学生活と以前の生活に比べて、その違いについて話す。 過去の習慣について話す。
6 回	私の町	ある場所の位置とそこへの行き方について、質問する、尋ねる。
7 回	中間テスト	中間テスト
8 回	休みの時	過去に行った事柄について話す、質問する。
9 回	休みの時	過去の記述をする、原因や結果について表現する。
10 回	前の旅行。	過去の旅行について、質問をする、話す。
11 回	前の旅行。	旅行した時の色々な状況について話す、場所について記述する。 旅行に関して人に何かを進める。
12 回	食物	食習慣について話す。 近い過去の経験や行為について質問する、話す。
13 回	食物	料理の材料について話すそして人に勧める。
14 回	期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
・単語の意味調べを行い、授業に出る。
・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
・努めて語彙を増やしていくこと。
・スペイン語圏のニュースに注意している。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
いいね！ スペイン語２
朝日出版

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】
西和和西辞典

【Outline and objectives】
The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

LANs200LA

スペイン語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

ロベルト・コルメナ・ロメロ

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
文 2 年 B～I

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達が出来る様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】
この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解読し、実際に会話を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	大学を卒業後、仕事をし始めるでしょう。	将来何をしたいか、どうなりたいかについて話す。
2 回	大学を卒業後、仕事をし始めるでしょう。	仕事についての意見交換する。
3 回	家に来ませんか。	希望を述べる、相手にアドバイスをする。
4 回	家に来ませんか。	パーティで会話する。 社会の出来事や社会生活について質問する、話す。
5 回	海外留学	希望や好みを述べる、意見を言う、人に何かを進める。
6 回	海外留学	ある国でやるべきではないことや、その国の習慣について、質問する、話す。
7 回	中間テスト	中間テスト
8 回	スペインやイスパノアメリカの社会変化。	重要な社会の変化や問題点について質問する、答える。
9 回	スペインやイスパノアメリカの社会変化。	解決方法を提案する。
10 回	スポッツ	様々な種類のスポッツやスポッツ選手について、質問する、答える。
11 回	スポッツ	過去の出来事や行為について感情を示す評価判断を表現する。 現在あるいは未来で、可能性の低いあるいは全くない条件を使って話す。
12 回	学年が終わる。	学期中に行ったとこについて、質問する、話す。
13 回	学年が終わる。	クラスメートに別れの挨拶のメッセジを書く。
14 回	期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
・単語の意味調べを行い、授業に出る。

・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
・努めて語彙を増やしていくこと。
・スペイン語圏のニュースに注意している。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
いいね！ スペイン語２
朝日出版

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
平常点 15 %・授業参加 15%、中間テスト 30 %と学期末試験 40 %で総合評価します

【学生の意見等からの気づき】
なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】
西和和西辞典

【Outline and objectives】
The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

LANs200LA

スペイン語３Ｉ

2017 年度以降入学者

杉下　由紀子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**1 単位**
文 2 年 M・N

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語のコミュニケーション能力を高める

【到達目標】
基礎文法を習得し語彙を強化して、読む・書く・聴く・話す力を高める。スペイン語圏の地理・自然・歴史・宗教・文化等に関する知識を深めるとともに、日本のことをスペイン語で紹介できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
講師が文法事項を説明する。履修生は、音声を聴いて発音練習、テキスト記載の対話文の和訳、練習問題、ペアやグループで会話・通訳練習を行う。時々、テーマに関連した映像資料を鑑賞する。
オンライン授業では、学習支援システムを使って 4 月 23 日から開始する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	自己紹介とオリエンテーション	スペイン語で自己紹介、授業の進め方や学習方法の説明
2	スペイン語圏諸国	スペイン語の法と時制、直説法現在、再帰動詞の無人称表現
3	大学生活	再帰動詞、時刻
4	お花見	過去分詞、直説法現在完了
5	買い物	目的格人称代名詞
6	誕生日パーティー	曜日、日付
7	日本料理	現在分詞、進行形
8	スペイン語圏諸国の料理	ser, estar, 形容詞
9	スポーツ	直説法点過去・線過去
10	スペインの歴史	直説法過去完了、時制の一致
11	交通	三人称複数の無人称表現
12	旅行	直説法未来・過去未来
13	復習	春学期に学習した内容の復習
14	期末試験	春学期に学習した内容を確認する筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストに出てくる不明な単語や熟語は必ずあらかじめ辞書で調べ、スペイン語文の和訳と練習問題も自分で解いて授業に臨むこと。舞台となっている地域の場所は地図で確認し、その歴史や特徴なども調べて積極的な姿勢で取り組んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
本間芳江、安富雄平、エンリケ・アルマラス・ロモ『会話と通訳練習で学ぶ中級スペイン語』三修社、2020 年

【参考書】
小林一宏・清水憲男ほか『詳解スペイン語』上智大学出版会
西川喬『わかるスペイン語文法』同学社
その他、授業中に適宜紹介。

【成績評価の方法と基準】
平常点（40 %）、課題（25 %）、小テスト（10 %）、期末試験（25 %）から総合的に評価。
オンライン授業では、課題と授業内掲示板の内容を平常点とみなす。

【学生の意見等からの気づき】
新しい文法事項や語彙を覚えるのに苦労していたようなので、反復・応用練習に力を入れて、実践的なコミュニケーション能力を高められるようにします。

【その他の重要事項】
授業には辞書を必ず持参してください。スマートフォン・携帯電話・ＰＣの操作は禁止します。電子辞書は可。
家で勉強する時は、紙媒体の辞書をお薦めします。西和辞典は白水社、三省堂、小学館、研究社など、和西辞典は白水社、三省堂などから出版されている中規模以上のものがよいと思います。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help students improve the communication skill of Spanish.

LANs200LA

スペイン語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

杉下　由紀子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**1 単位**
文 2 年 M・N

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語のコミュニケーション能力を高める

【到達目標】
基礎文法を習得し語彙を強化して、読む・書く・聴く・話す力を高める。スペイン語圏の地理・自然・歴史・宗教・文化等に関する知識を深めるとともに、日本のことをスペイン語で紹介できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
講師が文法事項を説明する。履修生は、ＣＤを聴いて発音練習、テキスト記載の対話文の和訳、練習問題、ペアやグループで会話・通訳練習を行う。時々、テーマに関連した映像資料を鑑賞する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	夏休みの思い出と秋学期の予定	過去と未来の表現の復習
2	宗教	受け身
3	バルでの食事	gustar 型動詞
4	美術、映画	直説法のまとめ
5	オリンピック	接続法現在
6	スペインの歴史	接続法の用法
7	新幹線、AVE	比較級・最上級
8	道をたずねる	命令法
9	スペイン語圏の祝祭	直説法と接続法
10	電話	条件文、接続法過去
11	ビジネス	接続法現在完了、過去完了
12	観光案内	接続法のまとめ
13	クリスマスと新年	お祝いのメッセージ
14	期末試験	秋学期に学習した内容を確認する筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストに出てくる不明な単語や熟語は必ずあらかじめ辞書で調べ、スペイン語文の和訳と練習問題も自分で解いて授業に臨むこと。舞台となっている地域の場所は地図で確認し、その歴史や特徴なども調べて積極的な姿勢で取り組んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
本間芳江、安富雄平、エンリケ・アルマラス・ロモ『会話と通訳練習で学ぶ中級スペイン語』三修社、2020 年

【参考書】
小林一宏・清水憲男ほか『詳解スペイン語』上智大学出版会
西川喬『わかるスペイン語文法』同学社
その他、授業中に適宜紹介。

【成績評価の方法と基準】
平常点（40 %）、課題（25 %）、小テスト（10 %）、期末試験（25 %）から総合的に評価。

【学生の意見等からの気づき】
新しい文法事項や語彙を覚えるのに苦労していたようなので、反復・応用練習に力を入れて、実践的なコミュニケーション能力を高められるようにします。

【その他の重要事項】
授業には辞書を必ず持参してください。スマートフォン・携帯電話・ＰＣの操作は禁止します。電子辞書は可。
家で勉強する時は、紙媒体の辞書をお薦めします。西和辞典は白水社、三省堂、小学館、研究社など、和西辞典は白水社、三省堂などから出版されている中規模以上のものがよいと思います。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help students improve the communication skill of Spanish.

LANs200LA

スペイン語３Ｉ

2017 年度以降入学者

塩﨑　公靖

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**1 単位**
文 2 年 R～T

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。

【到達目標】
スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがあると思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足してもらえるような方法をとりたい。
その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。
※シラバスにある各講義内容はあくまで目安であり、学生の学習進度・理解度に合わせて再構成する。
【追記】学習支援システムでの授業開始日： 4 月 30 日 (木)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	点過去形規則活用	ar 動詞 er/ir 動詞
2	点過去系不規則活用	不規則活用の種類
3	線過去形	線過去の用法
4	点過去・線過去の違い	考え方、使い方の整理
5	未来形	未来形活用・用法
6	過去未来形	過去未来形活用・用法
7	さまざまな時制の完了形	現在完了／過去完了／未来完了／過去未来完了
8	練習問題	1~7 まとめ
9	命令形	肯定文（tu/vosotros）
10	疑問詞	用法、内容確認
11	関係詞	用法、内容確認
12	仮定法 si	用法、内容確認
13	テスト前確認・質疑応答	講義内容復習
14	テスト	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
受講学生が今まで使っていた教科書を調査してから決める。

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】
会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline and objectives】
Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

LANs200LA

スペイン語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

塩﨑　公靖

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**1 単位**
文 2 年 R～T

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。
スペイン語圏の文化に親しむこと。

【到達目標】
スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがあると思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足してもらえるような方法をとりたい。
※シラバスにある各講義内容はあくまで目安であり、学生の学習進度・理解度に合わせて再構成する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	接続法現在	考え方
2	接続法現在規則活用	活用、用法
3	接続法現在不規則活用	活用、用法
4	接続法現在完了	活用、用法
5	練習問題	授業内演習
6	接続法過去	活用、用法
7	接続法過去完了	活用、用法
8	仮定法 si(2) 接続法使用	用法、練習問題
9	接続法文法 応用	実際の文章の中での使われ方
10	練習問題（接続法過去、仮定法ほか）	授業内演習
11	文書読解（ニュースサイト）	最新のニュースなど
12	文書読解（SNS）	SNS で見られるスペイン語の紹介
13	テスト前、質疑応答	秋学期授業復習
14	テスト	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
学生が使ってきた教科書を調査して決定。

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】
会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline and objectives】
Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

LANs200LA

スペイン語３Ｉ

2017 年度以降入学者

大貫　良史

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**1 単位**
文 2 年 U～X

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語の初級文法を復習しながら、中級レベルの文法へのステップアップを目指し、構文などの応用的な表現を学んでいく。

【到達目標】
初級から一歩進んだ文法を習得し、読み書きのレベルを高めていく。また語学だけでなく、スペイン語圏諸国の歴史、文化などの理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
スペイン語の基礎を終えた学生を対象とし、基本的にはテキストに添って文法事項などを説明しながら進める。
また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。
状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。
授業では、辞書を必ず持参すること。
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システム (Hoppii) でその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 21 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、Hoppii で提示する。
オンライン授業でも授業開始時刻は同じである。必ず各授業の開始時刻に Hoppii の「お知らせ」を確認すること。授業時間を過ぎると情報は参照できなくなるので注意すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第１課　グラナダ（スペイン）　文法説明	ser,estar,hay の活用と用法、直説法現在の活用、直説法現在の用法、指示形容詞・指示代名詞
第 2 回	第１課　グラナダ（スペイン）　会話文・読解	ser,estar,hay の活用と用法、直説法現在の活用、直説法現在の用法、指示形容詞・指示代名詞
第 3 回	第２課　セビリア（スペイン）　文法説明	再帰動詞、目的格人称代名詞、不定詞と弱い代名詞
第 4 回	第２課　セビリア（スペイン）　会話文・読解	再帰動詞、目的格人称代名詞、不定詞と弱い代名詞
第 5 回	第３課　ハバナ（キューバ）　文法説明	現在分詞、進行形、現在分詞を用いた分詞構文、所有形容詞
第 6 回	第３課　ハバナ（キューバ）　会話文・読解	現在分詞、進行形、現在分詞を用いた分詞構文、所有形容詞
第 7 回	第４課　テオティワカン（メキシコ）　文法説明	過去分詞、受動態、結果状態、点過去
第 8 回	第４課　テオティワカン（メキシコ）　会話文・読解	過去分詞、受動態、結果状態、点過去

第 9 回	第５課　ティカル（グァテマラ）　文法説明	線過去、点過去と線過去の使い分け、時間の経過を示す hace、比較表現、絶対最上級
第 10 回	第５課　ティカル（グァテマラ）　会話文・読解	線過去、点過去と線過去の使い分け、時間の経過を示す hace、比較表現、絶対最上級
第 11 回	第６課　マチュ・ピチュ（ペルー）　文法説明	直説法現在完了、直説法過去完了、不定語と否定語、無人称表現
第 12 回	第６課　マチュ・ピチュ（ペルー）　会話文・読解	直説法現在完了、直説法過去完了、不定語と否定語、無人称表現
第 13 回	前期の総復習	テストに向けた前期の総復習、文法ポイントの確認
第 14 回	試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
わからない単語を辞書で調べておくこと
特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『―初級～中級スペイン語―　世界遺産を訪ねて　―改訂版―』　禪野美穂他著、朝日出版社、2,300 円（+税）

【参考書】
辞書：『西和中辞典』（小学館）
文法書：『わかるスペイン語』西川喬　(同学社)
授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用してのオンライン辞書の利用は認められない

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に Hoppii で提示する。

【学生の意見等からの気づき】
授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく

【その他の重要事項】
オンライン授業でも授業開始時刻は同じである。必ず各授業の開始時刻に Hoppii の「お知らせ」を確認すること。授業時間を過ぎると情報は参照できなくなるので注意すること。
学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は遠慮なく申し出てください。

【Outline and objectives】
Basic to middle level Spanish grammar and conversation

LANs200LA

スペイン語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

大貫　良史

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**1 単位**
文 2 年 U～X

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語の初級文法を復習しながら、中級レベルの文法へのステップアップを目指し、構文などの応用的な表現を学んでいく。

【到達目標】
初級から一歩進んだ文法を習得し、読み書きのレベルを高めていく。また語学だけでなく、スペイン語圏諸国の歴史、文化などの理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
スペイン語の基礎を終えた学生を対象とし、基本的にはテキストに添って文法事項などを説明しながら進める。
また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。
状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。
授業では、辞書を必ず持参すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第７課　メキシコ市（メキシコ）　文法説明	直説法未来、直説法過去未来、関係詞（1）
第 2 回	第７課　メキシコ市（メキシコ）　会話文・読解	直説法未来、直説法過去未来、関係詞（1）
第 3 回	第８課　クスコ（ペルー）　文法説明	直説法未来完了、直説法過去未来完了、間接話法
第 4 回	第８課　クスコ（ペルー）　会話文・読解	直説法未来完了、直説法過去未来完了、間接話法
第 5 回	第９課　ポトシ（ボリビア）　文法説明	接続法現在の活用、接続法の用法（1）独立文、知覚、使役の表現
第 6 回	第９課　ポトシ（ボリビア）　会話文・読解	接続法現在の活用、接続法の用法（1）独立文、知覚、使役の表現
第 7 回	第１０課　ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ（パラグアイ）　文法説明	命令文、再帰前置詞格人称代名詞
第 8 回	第１０課　ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ（パラグアイ）　会話文・読解	命令文、再帰前置詞格人称代名詞
第 9 回	第１１課　ガラパゴス諸島（エクアドル）　文法説明	接続法の用法（2）、名詞説、形容詞節、副詞節
第 10 回	第１１課　ガラパゴス諸島（エクアドル）　会話文・読解	接続法の用法（2）、名詞説、形容詞節、副詞節

第 11 回	第１２課　ラパ・ヌイ国立公園（チリ）　文法説明	接続法過去の活用と用法、条件文
第 12 回	第１２課　ラパ・ヌイ国立公園（チリ）　会話文・読解	接続法過去の活用と用法、条件文
第 13 回	後期の総復習	テストに向けた後期の総復習、文法ポイントの確認
第 14 回	試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
わからない単語を辞書で調べておくこと
特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『―初級～中級スペイン語―　世界遺産を訪ねて　―改訂版―』　禪野美穂他著、朝日出版社、2,300 円（+税）

【参考書】
辞書：『西和中辞典』（小学館）
文法書：『わかるスペイン語』西川喬　(同学社)
授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用してのオンライン辞書の利用は認められない

【成績評価の方法と基準】
授業への参加度など平常点 40%、試験 60%とし、総合的に評価する。また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。
授業中の携帯電話の使用は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】
授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく

【Outline and objectives】
Basic to middle level Spanish grammar and conversation

LANs200LA

スペイン語３Ｉ

2017 年度以降入学者

バリエントス　ロドリゲス　ジョン　ダビッ

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
営２年Ｄ・Ｅ

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語で話し、聞き、書き、読むことを強化することを目標とする。日本の文化と比較し、スペイン語圏の文化の理解も深める。

【到達目標】
スペイン語で基本的なこと、更に自分の興味や関心事について、意思疎通ができるようになるよう目指す。また、スペイン語圏の文化に関する理解を深めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は４月２４日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。オンライン授業の場合も基本的に教科書に沿って授業を進める。特にスペイン語で読み、話すことに重点を置き、発音の練習も多く行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introducción:¡ Vamos a saludar a los compañeros!	スペイン語の読み方を復習し、クラスメートとあいさつをし、自己紹介する
2	¡ Vamos a presentarnos!	名前、職業、国籍や出身地について話す
3	¡ Vamos a hablar de las cosas que haces! (1)	基本的な動詞を使って毎日の生活を話す（１）
4	¡ Vamos a hablar de las cosas que haces! (2)	基本的な動詞を使って毎日の生活を話す（２）
5	¡ Vamos a hablar de la familia!(1)	自分の家族のこと、名前、年齢、性格、容姿等を話す（１）
6	¡ Vamos a hablar de la familia!(2)	自分の家族のこと、名前、年齢、性格、容姿等を話す（２）
7	¿ Dónde está tu casa? ¿ Cómo es tu habitación? (1)	自分の部屋、家、住んでいるところについて話す（１）
8	¿ Dónde está tu casa? ¿ Cómo es tu habitación? (2)	自分の部屋、家、住んでいるところについて話す（２）
9	Examen. ¿ Qué te gusta? ¿ Qué no te gusta? (1)	中間試験、自分の好きなものやこと、嫌いなものやことを話す（１）
10	¿ Qué te gusta? ¿ Qué no te gusta? (2)	自分の好きなものやこと、嫌いなものやことを話す（２）天気の説明をする

11	¡ Vamos a invitar a un amigo!(1)	友達を誘ったり、頼む表現を覚え、買い物や食事の際の会話を学ぶ（1）
12	¡ Vamos a invitar a un amigo!(2)	友達を誘ったり、頼む表現を覚え、買い物や食事の際の会話を学ぶ（2）
13	¡ Vamos a hablar de lo que haces en un día o en una semana!	時間や曜日の表現を覚え、1 日、一週間のスケジュールを話す
14	Repaso y examen	今までのまとめを行い、理解度の確認をする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。復習、もしくは予習として、授業時に指定するテキストの文章を辞書を使って読む、または練習問題を解いておくこと。また、言語習得に音読は欠かせないため、テキストに載っている会話文や例文を音読すること。

【テキスト（教科書）】
浦眞佐子、フランシスコ・パルティダ『¡ Imagínatelo!—イラストで楽しもう、スペイン語！』朝日出版社、2500 円

【参考書】
授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【Outline and objectives】
The main aim of this course is to reinforce your Spanish skills (speaking, listening, writing and reading). Furthermore, you are going to get a glimpse of cultural diversity in Spanish-speaking countries.

LANs200LA

スペイン語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

バリエントス　ロドリゲス　ジョン　ダビッ

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
営 2 年 D・E

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語で話し、聞き、書き、読むことを強化することを目標とする。日本の文化と比較し、スペイン語圏の文化の理解も深める。

【到達目標】
スペイン語で基本的なこと、更に自分の興味や関心事について、意思疎通ができるようになるよう目指す。また、スペイン語圏の文化に関する理解を深めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って授業を進める。特にスペイン語で読み、話すことに重点を置き、発音の練習も多く行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	¡ Vamos a repasar!	春学期の復習（テキストの Lección 1 － 7）
2	¿ Qué le regalamos?(1)	誕生日やクリスマスに友達にプレゼントを贈る際の会話やカードの書き方を学ぶ（1）
3	¿ Qué le regalamos?(2)	誕生日やクリスマスに友達にプレゼントを贈る際の会話やカードの書き方を学ぶ（2）
4	¿ Qué te pasa? ¿ Te sientes mal? (1)	痛み、病気、体調が悪い時の表現を覚え、症状について話す（1）
5	¿ Qué te pasa? ¿ Te sientes mal? (2)	痛み、病気、体調が悪い時の表現を覚え、症状について話す（2）
6	Perdón, ¿ puede enseñarme...? (1)	行ったことがある、食べたことがある等、経験を話し、道順や料理の作り方等について話す（1）
7	Perdón, ¿ puede enseñarme...? (2)	行ったことがある、食べたことがある等、経験を話し、道順や料理の作り方等について話す（2）
8	Examen. ¡ Vamos hablar del pasado!(1)	中間試験、過去にしたことや旅行について話す（1）
9	¡ Vamos hablar del pasado!(2)	過去にしたことや旅行について話す（2）
10	¡ Vamos a contar sobre la vida de un familiar!	身近な人物の一生について話す
11	¡ Hablamos de recuerdos!(1)	子供の頃のことや旅行の思い出を話す（1）
12	¡ Hablamos de recuerdos!(2)	子供の頃のことや旅行の思い出を話す（2）
13	¡ Hablamos de recuerdos!(3)	子供の頃のことや旅行の思い出を話す（3）
14	Repaso y examen	今までのまとめを行い、理解度の確認をする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて１時間を標準とする。復習、もしくは予習として、授業時に指定するテキストの文章を辞書を使って読む、または練習問題を解いておくこと。また、言語習得に音読は欠かせないため、テキストに載っている会話文や例文を音読すること。

【テキスト（教科書）】
浦眞佐子、フランシスコ・パルティダ『¡ Imagínatelo!—イラストで楽しもう、スペイン語！』朝日出版社、2500 円

【参考書】
授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
試験（50%）、スピーキングテスト（25%）、授業参加および課題（25%）で評価する。

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【Outline and objectives】
The main aim of this course is to reinforce your Spanish skills (speaking, listening, writing and reading). Furthermore, you are going to get a glimpse of cultural diversity in Spanish-speaking countries.

LANs200LA

スペイン語３Ｉ

2017 年度以降入学者

若林　大我

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**土** 1/Sat.1
単位数：**1 単位**
営 2 年 G

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、1 年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】
履修生は今学期終了時までに、スペイン語の直説法未来形及び直説法過去未来形の文を理解し、また作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半は、オンラインでの開講となります。これにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示します。本授業の開始日は 5 月 2 日（土）とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを学習支援システムで提示しますので、履修予定の人は必ず学習支援システムの「お知らせ」を見てください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション 1 年次の復習（ser、estar、hay）	本授業のガイダンス 動詞 ser の用法 動詞 estar の用法 hay 存在文の用法 （テキスト: 第 1 課）
2	1 年次の復習（動詞の現在形、不定詞、現在分詞）	動詞の直説法現在形 動詞の不定詞の用法 動詞の現在分詞の用法 （テキスト: 第 1 課）
3	1 年次の復習（再帰動詞①）	再帰動詞の意味と用法 （テキスト: 第 2 課）
4	1 年次の復習（再帰動詞②）	再帰動詞の意味と用法 （テキスト: 第 2 課）
5	現在完了	直説法現在完了の活用と用法 （テキスト: 第 3 課）
6	点過去の活用① 現在完了と点過去	直説法点過去の活用① 現在完了と点過去の違い （テキスト: 第 3 課）
7	中間試験 点過去の活用②	中間試験 直説法点過去の活用② （テキスト: 第 4 課）
8	線過去の活用 点過去と線過去①	直説法線過去の活用 点過去と線過去の違い① （テキスト: 第 4 課）
9	点過去と線過去②	点過去と線過去の違い② （テキスト: 第 4 課）
10	過去完了	直説法過去完了の活用と用法 （テキスト: 第 5 課）
11	受身表現	受身表現の作り方 （テキスト: 第 5 課）
12	未来形	直説法未来形の活用と用法 （テキスト: 第 6 課）

13	過去未来形	直説法過去未来形の活用と用法 （テキスト: 第 6 課）
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。
また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組み、理解度を把握することが必須となる。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
二宮哲『一歩進んだスペイン語（Un paso más）』（同学社）、2,400 円+税

【参考書】
外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』（小学館）をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。
上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。
http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更します。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示します。

【学生の意見等からの気づき】
履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline and objectives】
Intermediate grammar of Spanish.

LANs200LA

スペイン語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

若林　大我

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**土** 1/Sat.1
単位数：**1 単位**
営 2 年 G

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、1 年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】
履修生は今学期終了時までに、スペイン語の接続法現在完了形の文及び条件文を理解し、また作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。
また講義が無味乾燥なものにならないよう、時間が許す限りスペイン語の歌や映画なども紹介し、受講生がスペインや中南米文化の一端に触れられるようにする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション 春学期の復習	イントロダクション 春学期の復習
2	関係代名詞	関係代名詞の用法 （テキスト: 第 7 課）
3	関係副詞 関係形容詞	関係副詞と関係形容詞の用法 （テキスト: 第 7 課）
4	接続法現在形① 接続法現在形②	接続法現在形の活用① 接続法現在形の活用② （テキスト: 第 8 課、第 9 課）
5	名詞節の接続法	名詞節での接続法の使い方 （テキスト: 第 8 課）
6	形容詞節の接続法 副詞節の接続法	形容詞節及び副詞節での接続法の使い方 （テキスト: 第 8 課、第 9 課）
7	中間試験 その他の接続法	中間試験 接続法のその他の使い方 （テキスト: 第 9 課）
8	肯定命令形	肯定命令文の作り方 （テキスト: 第 10 課）
9	否定命令形 代名詞と命令形	否定命令文の作り方 命令文における代名詞の扱い （テキスト: 第 10 課）
10	接続法過去①	接続法過去形の活用 （テキスト: 第 11 課）
11	接続法過去②	接続法過去形の用法 （テキスト: 第 11 課）
12	接続法現在完了	接続法現在完了の活用と用法 （テキスト: 第 12 課）

13	条件文	条件文の作り方 （テキスト: 第 12 課）
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。
また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組み、理解度を把握することが必須となる。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
二宮哲『一歩進んだスペイン語（Un paso más）』（同学社）、2,400 円+税

【参考書】
外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』（小学館）をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。
上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。
http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm

【成績評価の方法と基準】
学期中間で 1 度小テストを行う。平常点を 30%、学期中間での小テスト結果を 30%、学期末試験結果を 40%として総合評価する。このうち平常点については、ただ授業に出ることだけでなく、受講態度や口頭練習・質疑応答への参加の積極性も勘案する。平常点の評価方法について、詳しくは初回授業のイントロダクション時に説明するので、必ず出席すること。

【学生の意見等からの気づき】
履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline and objectives】
Intermediate grammar of Spanish.

LANs200LA

スペイン語３Ｉ

2017 年度以降入学者

日高　憲三

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
営 2 年 F・H〜J

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語はスペインのみならず南北アメリカ諸国でも話されており、その話者人口は４億人を超えています。このクラスではスペイン語の基本を学びつつ、魅力あふれるスペイン語圏の世界に皆さんを誘います。

【到達目標】
スペイン語の試験で最終的に「良い点」を取っても、それが単に試験で良い点を取るための勉強の結果だったり、卒業の「単位のため」だったら、少々むなしいですね。まずは授業を通して「スペイン語を身につけて〇〇国に行ってみたい、〇〇をしてみたい」など主体的な目的意識が芽生えることを願っています。そうすれば、スペイン語の実力は自然と身につくものです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
【変更】
周知されているとおり、少なくとも春学期の前半はオンライでの授業となります。当スペイン語クラスの授業開始日は４月２８日（火）とします。履修希望者は４月２１日（火）に学習支援システムにて詳細を確認してください。
.....
このクラスの皆さんは２年目になりますが、新たに使用する教科書に沿って文法事項や会話表現など、復習をしながら、ゆっくり学んでいきます。同時にスペイン語が話されている国々の文化や社会、そこで暮らす人々に対する理解を深めるため、様々な視聴覚資料や、担当者自身が現地で収集した食材、生活用具などの現物資料に触れる時間も設けるつもりです。社会や文化の多様性を実感しながら、グローバルな感覚を養成していきたいと思います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション、スペイン語世界の魅力再発見！	スペイン語はどんな言語か、スペイン語を学ぶと、どんな世界が広がるか、どんな楽しいことが待っているか。
第 2 回	教科書第１課	アファベット、母音、子音
第 3 回	教科書第１課	音節の分け方、アクセントのルール
第 4 回	教科書第２課	名詞の性、名詞の数
第 5 回	教科書第２課	冠詞、形容詞
第 6 回	教科書第３課	主格人称代名詞、ser 動詞
第 7 回	教科書第３課	文の構造、指示語
第 8 回	教科書第４課	estar 動詞、所有形容詞
第 9 回	教科書第４課	Hay の用法、Hay と Estar の比較
第 10 回	教科書第５課	直説法現在形・規則動詞
第 11 回	教科書第５課	直説法現在形・規則動詞
第 12 回	教科書第６課	現在形不規則動詞１
第 13 回	教科書第６課	直接目的格人称代名詞
第 14 回	教科書第７課	現在形不規則動詞２

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
日常的にスペイン語に対してアンテナを張り、テレビや街角などで見たり聞いたりしたスペイン語があったら、書きとめるか記憶に残し、適宜発表してもらう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
「エスピギータ-実りのスペイン語」岡田敦美、那須まどり著、朝日出版社（２０１７年）２３００円

【参考書】
授業の中で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
期末試験１００％

【学生の意見等からの気づき】
授業では、スペイン語圏の映像資料のみならず、私自身がラテンアメリカに現地調査で出向いた際に持ってきた食材などの現物資料を提示し、時には試食したりする機会を設けてきた。これらの体験がスペイン語に親しみを持つ大きなきっかけになったようで、「これまで受けたことのない斬新な授業」、「学習意欲がわく授業」、「グローバルな視野が持てた」などの意見が多数あった。今後も学生さんの目線に立ちながら、より良い授業ができるよう私自身も研鑽を積んでいきたい。

【Outline and objectives】
This is a Basic Spanish class for Global education.
Spanish is used widely in Latin America and English in not a common language.Learning Spanish can help you expand your vision of the world!

LANs200LA

スペイン語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

日高　憲三

開講時期：秋学期授業/Fall ｜ 曜日・時限：水 4/Wed.4
単位数：1 単位
営 2 年 F・H～J

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語はスペインのみならず南北アメリカ諸国でも話されており、その話者人口は４億人を超えています。このクラスでは、スペイン語の初歩を学びつつ、魅力あふれるスペイン語圏の世界に皆さんを誘います。

【到達目標】
スペイン語の試験で最終的に「良い点」を取っても、それが単に試験で良い点を取るための勉強の結果だったり、卒業の「単位のため」だったら、少々むなしいですね。まずは授業を通して「スペイン語を身につけて〇〇国に行ってみたい、〇〇をしてみたい」など主体的な目的意識が芽生えることを願っています。そうすれば、スペイン語の実力は自然と身につくものです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
前期に引き続いて教科書に沿って文法事項や会話表現などを学んでいきます。同時にスペイン語が話されている国々の文化や社会、そこで暮らす人々に対する理解を深めるため、様々な視聴覚資料や、担当者自身が現地で収集した食材、生活用具などの現物資料に触れる時間も設けるつもりです。社会や文化の多様性を実感しながら、グローバルな感覚を養成していきたいと思います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	教科書第８課	gustar 動詞
第 2 回	教科書第８課	前置詞格人称代名詞
第 3 回	教科書第９課	再帰動詞
第 4 回	教科書第９課	無人称文、接続詞
第 5 回	教科書第１０課	点過去１（規則動詞）
第 6 回	教科書第１０課	点過去２（規則動詞）
第 7 回	教科書第１１課	点過去（不規則動詞）
第 8 回	教科書第１１課	関係代名詞 所有形容詞
第 9 回	教科書第１２課	現在分詞
第 10 回	教科書第１２課	不定語、否定語
第 11 回	教科書第１３課	過去分詞、現在完了
第 12 回	教科書第１３課	受動態
第 13 回	教科書第１４課	比較級
第 14 回	まとめ	総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
日常的にスペイン語に対してアンテナを張り、テレビや街角などで見たり聞いたりしたスペイン語があったら、書きとめるか記憶に残し、適宜発表してもらう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
「エスピギータ-実りのスペイン語」岡田敦美、那須まどり著、朝日出版社（２０１７年）２３００円

【参考書】
授業の中で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
期末試験１００％

【学生の意見等からの気づき】
授業では、スペイン語圏の映像資料のみならず、私自身がラテンアメリカに現地調査で出向いた際に持ってきた食材などの現物資料を提示し、時には試食したりする機会を設けてきた。これらの体験がスペイン語に親しみを持つ大きなきっかけになったようで、「これまで受けたことのない斬新な授業」、「学習意欲がわく授業」、「グローバルな視野が持てた」などの意見が多数あった。今後も学生さんの目線に立ちながら、より良い授業ができるよう私自身も研鑽を積んでいきたい。

【Outline and objectives】
This is a Basic Spanish class for Global education.
Spanish is used widely in Latin America and English in not a common language.Learning Spanish can help you expand your vision of the world!

LANs200LA

スペイン語３Ｉ

2017 年度以降入学者

宮田　絵津子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**1 単位**
営 2 年 K

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について、各国の文化遺産を通してに学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】
スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	一年を通じてどのように授業を進めていくのか、授業の紹介、スペイン語の導入。
2	１課	１年で学んだ文法の復習。ser,estar,hay の使い分けおよび直説法現在の動詞の活用。グラナダ（スペイン）について知る。
3	１課	１年で学んだ直説法現在の用法、指示形容詞、指示代名詞を学び、この、その、あの、これ、それ、あれ、という言い方の復習。グラナダ（スペイン）について知る。
4	２課	再帰動詞、目的格人称代名詞。セビーヤ（スペイン）について知る。
5	２課	不定詞と「弱い代名詞」。セビーヤ（スペイン）について知る。
6	３課	現在分詞、進行形。ハバナ（キューバ）について知る。
7	３課	現在分詞を用いた分詞構文、所有形容詞。ハバナ（キューバ）について知る。
8	４課	過去分詞、受動態。テオティワカン（メキシコ）について知る。
9	４課	結果状態、点過去。テオティワカン（メキシコ）について知る。
10	５課	線過去、点過去と線過去の使い分け。ティカル（グアテマラ）について知る。
11	５課	時間の経過を示す、比較表現、絶対最上級。ティカル（グアテマラ）について知る。
12	６課	直説法現在完了、直説法過去完了。マチュ・ピチュ（ペルー）について知る。

13	６課	不定語と否定語、無人称表現。マチュ・ピチュ（ペルー）について知る。
14	期末試験	春学期に学んだことの確認として期末テストを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Conociendo el Patrimonio de la Humanidad Segunda edición
初級～中級スペイン語世界遺産を訪ねて　改訂版　朝日出版社

【参考書】
『西和中辞典』(小学館)
『わかるスペイン語』西川喬　(同学社)

【成績評価の方法と基準】
試験（６０％）平常点（４０％）。携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は３回まで。３回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】
適宜リアクションペーパーを配布し、学生からの質問や要望に応える方針。

【その他の重要事項】
オンラインでの授業となるため、初回より Hoppii にて連絡事項や課題を確認すること。4 月 27 日以降の開始となる。

【Outline and objectives】
To be able to communicate in Spanish especially using basic and intermediate level vocabularies. The goal is to be able to express each opinion on varios subjects in Spanish.

LANs200LA

スペイン語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

宮田　絵津子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**1 単位**
営 2 年 K

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について、各国の文化遺産を通してに学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】
スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習	春学期の復習
2	復習	春学期の復習
3	７課	直説法未来、直説法過去未来。メキシコ市（メキシコ）
4	７課	直説法未来・過去未来の不規則活用。関係詞。メキシコ市（メキシコ）
5	８課	直説法未来完了。クスコ（ペルー）について知る。
6	８課	直説法過去未来完了、間接話法。クスコ（ペルー）について知る。
7	９課	接続法現在の活用。ポトシ（ボリビア）について知る。
8	９課	接続法の用法：独立分、知覚、使役の表現。ポトシ（ボリビア）について知る。
9	１０課	命令文（肯定命令）。ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ（パラグアイ）について知る。
10	１０課	命令文（否定命令）、再帰前置詞各人称代名詞。ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ（パラグアイ）について知る。
11	１１課	接続法の用法：名詞節。ガラパゴス諸島（エクアドル）について知る。
12	１１課	接続法の用法：形容詞節、接続法の用法：副詞節。ガラパゴス諸島（エクアドル）について知る。
13	１２課	接続法過去の活用と用法、条件文。ラパ・ヌイ国立公園（チリ）を知る
14	期末試験	秋学期に学んだことを確認。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Conociendo el Patrimonio de la Humanidad Segunda edición
初級～中級スペイン語世界遺産を訪ねて　改訂版　朝日出版社

【参考書】
中級スペイン語文法　山田善郎著　白水社

【成績評価の方法と基準】
試験６０％、平常点４０％。
携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は３回まで。３回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】
適宜配布するリアクションペーパーに疑問点、要望などがあれば対応。

【Outline and objectives】
To be able to communicate in Spanish especially using basic and intermediate level vocabularies. The goal is to be able to express each opinion on varios subjects in Spanish.

LANs200LA

スペイン語３Ｉ

2017 年度以降入学者

ロベルト・コルメナ・ロメロ

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
営 2 年 M～Q

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達が出来る様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】
この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解読し、実際に会話を行います。
各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 27 日とし、この日まで春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなうに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	新年度	自己紹介する、クラスメートについて知る。
2 回	新年度	スペイン語を学習への興味、目的、学習方法について話す。
3 回	私の家族と友人。	家族や友達のような人間関係について話す。
4 回	私の家族と友人。	ある人が昔どのようだったか記述する。
5 回	私の町。	大学生活と以前の生活に比べて、その違いについて話す。 過去の習慣について話す。
6 回	私の町	ある場所の位置とそこへの行き方について、質問する、尋ねる。
7 回	中間テスト	中間テスト
8 回	休みの時	過去に行った事柄について話す、質問する。
9 回	休みの時	過去の記述をする、原因や結果について表現する。
10 回	前の旅行。	過去の旅行について、質問をする、話す。
11 回	前の旅行。	旅行した時の色々な状況について話す、場所について記述する。 旅行に関して人に何かを進める。
12 回	食物	食習慣について話す。 近い過去の経験や行為について質問する、話す。
13 回	食物	料理の材料について話すそして人に勧める。
14 回	期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
・単語の意味調べを行い、授業に出る。
・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
・努めて語彙を増やしていくこと。
・スペイン語圏のニュースに注意している。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
いいね！ スペイン語２
朝日出版

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】
西和和西辞典

【Outline and objectives】
The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

LANs200LA

スペイン語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

ロベルト・コルメナ・ロメロ

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
営 2 年 M〜Q

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達が出来る様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】
この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解読し、実際に会話を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	大学を卒業後、仕事をし始めるでしょう。	将来何をしたいか、どうなりたいかについて話す。
2 回	大学を卒業後、仕事をし始めるでしょう。	仕事についての意見交換する。
3 回	家に来ませんか。	希望を述べる、相手にアドバイスをする。
4 回	家に来ませんか。	パーティで会話する。 社会の出来事や社会生活について質問する、話す。
5 回	海外留学	希望や好みを述べる、意見を言う、人に何かを進める。
6 回	海外留学	ある国でやるべきではないことや、その国の習慣について、質問する、話す。
7 回	中間テスト	中間テスト
8 回	スペインやイスパノアメリカの社会変化。	重要な社会の変化や問題点について質問する、答える。
9 回	スペインやイスパノアメリカの社会変化。	解決方法を提案する。
10 回	スポッツ	様々な種類のスポッツやスポッツ選手について、質問する、答える。
11 回	スポッツ	過去の出来事や行為について感情を示す評価判断を表現する。 現在あるいは未来で、可能性の低いあるいは全くない条件を使って話す。
12 回	学年が終わる。	学期中に行ったとこについて、質問する、話す。
13 回	学年が終わる。	クラスメートに別れの挨拶のメッセジを書く。
14 回	期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
・単語の意味調べを行い、授業に出る。

・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
・努めて語彙を増やしていくこと。
・スペイン語圏のニュースに注意している。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
いいね！ スペイン語２
朝日出版

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
平常点 15 %・授業参加 15%、中間テスト 30 %と学期末試験 40 %で総合評価します

【学生の意見等からの気づき】
なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】
西和和西辞典

【Outline and objectives】
The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

LANs200LA

スペイン語３Ｉ

2017 年度以降入学者

仮屋　浩子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
営 2 年 T・U

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文法や表現の理解を高めるとともに、スペイン語でのコミュニケーション力を向上させ、スペインやラテンアメリカに関したテクストを読むことでスペイン語圏の理解を深める。
学生は、これまで習得してきた文法事項や表現を復習しながらさらにステップアップすることで、日常で身近な表現に関して理解し、即座に応対することができるようになることを目標とする。

【到達目標】
学生は本授業を履修し課題をこなすことで、これまで習得してきたスペイン語文法をさらに掘り下げ、簡単な既知の内容や習慣の会話、自身の過去の出来事や身の回りで起こったことの描写など、必要に応じて表現することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 27 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。対面授業が可能になれば、教科書に基づいて授業を進める。文法事項を確認し、それに基づいたエクササイズ、ペアワーク、グループワーク、リーディング、ライティングを行う。
＊＊＊なお、学習支援システムへのログインが難しいことを鑑みて、google classroom で今後指示をだしていきますので、以下のクラスコードで Hosei espanol 3(I) 2020 にアクセスしてください！！
　クラスコード： sjcwstv

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション、復習。	基本事項の復習。動詞　直説法現在形
2	点過去：規則活用	自己紹介ができる
3	線過去と点過去	家族や友人など人間関係について話すことができる。 ある人の過去について記述することができる。
4	線過去・点過去２	今の生活と以前の生活を比べてみる
5	頻度表現と関係詞	過去の習慣について話すことができる
6	線過去・点過去３	ある場所の一とそこへの行き方について、質問したり答えたりすることができる。
7	時を表す表現：過去	過去に行った事柄について話したり質問したりすることができる。
8	線過去・点過去４	過去の記述をしたり、原因や結果について表現したりすることができる
9	現在分詞	招待する、また招待を受けたり断ったりすることができる

10	線過去・点過去５	過去の旅行について、質問したり話したりすることができる。
11	命令形	旅行にかんして人に何かを勧めることができる。
12	時を表す表現：現在完了	近い過去の経験や行為について、質問したり話したりすることができる。
13	過去完了	過去のある時点までに起こったことの表現をすることができる。
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
学生は、その日に習ったことを音読、復習してから、次の授業に臨む。教科書外からも出される宿題、課題を指定の期日までにやり遂げる、もしくは提出する。教員から指示される教材の動画を視聴し、会話文を覚えること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Juan Carlos Moyano Lopez 他著『Muy bien 2』朝日出版社（2600 円）

【参考書】
特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【その他の重要事項】
＊＊＊なお、学習支援システムへのログインが難しいことを鑑みて、google classroom で今後指示をだしていきますので、以下のクラスコードで Hosei espanol 3(I) 2020 にアクセスしてください！！
クラスコード： sjcwstv

【Outline and objectives】
By understanding Spanish basic grammar, the students will improve communication ability in this language. Also by reading text about Spain and Latin America they will deepen knowledge about these region's history and reality.
The students will learn step by step, reviewing grammar points and expressions they studied in the first year, and their objective will be understanding dairy and simple expressions and react to respond quickly.

LANs200LA

スペイン語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

仮屋　浩子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
営 2 年 T・U

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文法や表現の理解を高めるとともに、スペイン語でのコミュニケーション力を向上させ、スペインやラテンアメリカに関したテクストを読むことでスペイン語圏の理解を深める。
学生は、これまで習得してきた文法事項や表現を復習しながらさらにステップアップすることで、日常で身近な表現に関して理解し、即座に応対することができるようになることを目標とする。

【到達目標】
学生は本授業を履修し課題をこなすことで、これまで習得してきたスペイン語文法をさらに掘り下げ、新たに接続法を学ぶことで簡単な既知の内容や習慣の会話、自身の過去の出来事や身の回りで起こったことの描写など、必要に応じて表現することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書に基づいて授業を進める。、文法事項を確認し、それに基づいたエクササイズ、ペアワーク、グループワーク、リーディング、ライティングを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	時を表す表現：未来形	将来何をしたいのかについて話すことができる
2	条件節	仕事についての意見交換ができる
3	過去未来	パーティー等で会話することができる。
4	接続法	希望、アドバイス、推薦などをすることができる
5	接続法２	希望や好み、意見交換をすることができる
6	無人称 se	ある場所でするべきではないこと、習慣について質問したり、話したりすることができる
7	接続法現在	解決法の提案をすることができる。
8	直説法と接続法	重要な社会の変化や問題点について質問したり答えたりすることができる。
9	接続法過去	過去の出来事や行為について、感情を表したり、価値判断を表現したりすることができる
10	条件節２	現在や未来において、可能性の低いあるいは全くない条件を使って話すことができる。
11	接続法現在と過去	様々な種類の事柄について感情を表すことができるようになる。
12	接続法現在と過去２	様々な種類の事柄について価値判断を表現することができる。
13	スペイン語文法基礎のまとめ	学期中に行ったことについて質問したり話したりすることができる。

14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
学生は、その日に習ったことを音読、復習してから、次の授業に臨む。教科書外からも出される宿題、課題を指定の期日までにやり遂げる、もしくは提出する。教員から指示される教材の動画を視聴し、会話文を覚える。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Juan Carlos Moyano Lopez 他　著『Muy bien 2』 朝日出版社、2600 円

【参考書】
特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】
【成績評価の方法と基準】
平常点。25 %
宿題。25 %
小テストおよび期末試験の成績。５０％

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【Outline and objectives】
By understanding of grammar and expressions, the students will improve communication skills in Spanish, and deepen understanding of Spanish speaking world by reading texts on Spain and Latin America.
Students will aim to be able to understand familiar expressions on daily basis and to be able to respond instantly by reviewing the grammatical items and expressions that have been learned up to now while stepping up

LANs200LA

スペイン語４Ｉ

2017 年度以降入学者

オスノ　イジャネス　デ　ササクボ　エルマヘネス

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火 2**/Tue.2
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業はスペイン語の基礎レベルに十分に到達した学生が、まとまった量の文章を聞いたり、作文したりする。

【到達目標】
スペイン語で短いエッセイや記事を書くことができるようになる。またスペイン語の正しい発音ができるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
授業はテキストに沿って実習形式で進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	自己紹介 スペイン語の基礎の復習	直説法現在 目的人称代名詞/再起代名詞
2	文法のまとめ	線過去の活用/用法
3	物語	EL PADRE, EL HIJO Y EL BURRO.
4	物語	EL PADRE, EL HIJO Y EL BURRO.
5	文法のまとめ	点過去の用法/活用
6	物語	MIS GALLETAS
7	物語	MIS GALLETAS
8	文法のまとめ	現在完了/過去完了
9	物語	EL BILLETE DE 50 DOLARES
10	物語	EL BILLETE DE 50 DOLARES
11	文法のまとめ	関係詞/接続詞
12	物語	ULTIMO TRABAJO
13	物語	ULTIMO TRABAJO
14	まとめ 試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
CUÉNTAME 8 historias para disfrutar aprendiendo español, Editorial Asahi

【参考書】
授業の進行によって随時提示。

【成績評価の方法と基準】
授業内での口頭試験４０％
小テスト３０％
期末試験の結果３０％
毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】
新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

【Outline and objectives】
In this class, students who have reached the basic level of Spanish will continue to speak Spanish while listening, reading and writing some stories.

LANs200LA

スペイン語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

オスノ　イジャネス　デ　ササクボ　エルマヘネス

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業はスペイン語の基礎レベルに十分に到達した学生が、まとまった量の文章を聞いたり、作文したりする。

【到達目標】
スペイン語で短いエッセイや記事を書くことができるようになる。またスペイン語の正しい発音ができるようになることを目標とする

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
授業はテキストに沿って実習形式で進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	文法のまとめ	人称代名詞間接目的格"le" "les"の代わり/ 再帰代名詞　（三人称）/ se+三人称単数. 主語なし/受け者 se+三人称単数/複数
2	物語	UNA MAGNIFICA COSECHA
3	物語	UNA MAGNIFICA COSECHA
4	文法のまとめ	接続法現在 活用/用法
5	物語	LA MORCILLA
6	物語	LA MORCILLA
7	文法のまとめ	未来形/過去未来 活用/用法
8	物語	EL PINTOR NOCHA
9	物語	EL PINTOR NOCHA
10	文法のまとめ	接続法過去/接続法過去完了 用法/活用
11	物語	EL RABINO
12	物語	EL RABINO
13	物語	学生のライティングの確認
14	試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
CUÉNTAME 8 historias para disfrutar aprendiendo español, Editorial Asahi

【参考書】
授業の進行によって随時提示。

【成績評価の方法と基準】
授業内での口頭試験４０％
小テスト３０％
期末試験の結果３０％
毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】
新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

【Outline and objectives】
In this class, students who have reached the basic level of Spanish will continue to speak Spanish while listening, reading and writing some stories.

LANs200LA

スペイン語４Ｉ

2017 年度以降入学者

オスノ　イジャネス　デ　ササクボ　エルマヘネス

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

【到達目標】
スペイン語での日常会話ができるようになる。また、辞書を使用しながら、少し長めのテキストを読解できることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
授業はテキストに沿って実習形式で進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	スペイン語	南米にスペイン語を話す国々
2	スペイン語で自己紹介	目的人称代名詞、再帰代名詞。
3	生活習慣、スペイン語圏の家族	現在進行形　/ 現在分詞のその他の用法。
4	人の一生、家族	復習:直説法点過去。過去を表す副詞句。
5	中南米諸国への日本人移民	関係詞Ｉ：関係詞代名詞
6	町で	SER. ESTAR. HABER. TENER 直説法線過去:活用 / -mente で終わる副詞
7	昔と今	直説法線過去の用法　/　品質形容詞
8	旅行	直説法点過去と線過去　/ 旅行：活動と携行品
9	天候	色々な副詞節
10	余暇活動	過去分詞　/　直説法現在完了：活用　/ 余暇生活　/　勧誘表現
11	社会生活	直説法現在完了の用法 / 過去分詞のその他用法
12	未来を表す副詞句	直説法未来：活用　/ 直説法未来の用法
13	推測	直説法未来完了：活用と用法
14	確実性を示す表現	直説法過去未来：活用 / 直説法過去未来の用法 I

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
復習をしっかりやること、十分な準備をすること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Entre amigos 2, 2da. Edicion , Editorial Asahi

【参考書】
授業の進行によって随時提示。

【成績評価の方法と基準】
授業内での口頭試験４０％
小テスト３０％
期末試験の結果３０％
毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】
新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

【Outline and objectives】
In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world

LANs200LA

スペイン語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

オスノ　イジャネス　デ　ササクボ　エルマヘネス

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

【到達目標】
自分の住環境、学習環境，労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べることができるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
授業はテキストに沿って進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、会話練習や練習問題への取り組みが主要な時間を占める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	家具	直説法過去完了：活用と用法
2	調度品	直説法の時制：まとめ/関係詞 II
3	命令形	命令形 I: tu / vosotros に対する肯定命令 / 命令形の用法命令形と目的人称代名詞 / 再帰代名詞
4	食べ物/スポーツ	無人称表現　/ 直説法過去未来の用法 II
5	意見	接続法現在：活用　/　接続法の用法 I:名詞節過去形 II ：usted/ustedes に対する肯定命令
6	命令	否定命令 /　願望、依頼、命令表す表現
7	数	接続法の用法 II ：副詞節
8	環境問題	接続法の用法 III:形容詞節/
9	自然と人間	接続法現在完了:　活用と用法
10	願望表現	接続法の用法ＩＶ：独立文 / 接続法過去：活用
11	スペイン語圏の映画	接続法過去の用法/条件文 I
12	事実と異なる仮定	条件文 II
13	会話で用いられる表現	接続法過去完了:活用 / 接続法過去完了の用法　/　直説法過去未来完了:活用と用法
14	後悔 /　丁寧な依頼	接続法の時制：まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
復習をしっかりやること、十分な準備をすること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Entre amigos 2, 2da. Edicion , Editorial Asahi

【参考書】
授業の進行によって随時提示。

【成績評価の方法と基準】
授業内での口頭試験４０％
小テスト３０％
期末試験の結果３０％
毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】
新規担当科目のため、学生からの意見は今後反映させる。

【Outline and objectives】
In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world

LANs200LA

スペイン語４Ｉ

2017 年度以降入学者

宮田　絵津子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について、各国の文化遺産を通してに学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】
スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	一年を通じてどのように授業を進めていくのか、授業の紹介、スペイン語の導入。
2	１課	１年で学んだ文法の復習。ser,estar,hay の使い分けおよび直説法現在の動詞の活用。グラナダ（スペイン）について知る。
3	１課	１年で学んだ直説法現在の用法、指示形容詞、指示代名詞を学び、この、その、あの、これ、それ、あれ、という言い方の復習。グラナダ（スペイン）について知る。
4	２課	再帰動詞、目的格人称代名詞。セビーヤ（スペイン）について知る。
5	２課	不定詞と「弱い代名詞」。セビーヤ（スペイン）について知る。
6	３課	現在分詞、進行形。ハバナ（キューバ）について知る。
7	３課	現在分詞を用いた分詞構文、所有形容詞。ハバナ（キューバ）について知る。
8	４課	過去分詞、受動態。テオティワカン（メキシコ）について知る。
9	４課	結果状態、点過去。テオティワカン（メキシコ）について知る。
10	５課	線過去、点過去と線過去の使い分け。ティカル（グアテマラ）について知る。
11	５課	時間の経過を示す、比較表現、絶対最上級。ティカル（グアテマラ）について知る。
12	６課	直説法現在完了、直説法過去完了。マチュ・ピチュ（ペルー）について知る。

13	６課	不定語と否定語、無人称表現。マチュ・ピチュ（ペルー）について知る。
14	期末試験	春学期に学んだことの確認として期末テストを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Conociendo el Patrimonio de la Humanidad Segunda edición
初級～中級スペイン語世界遺産を訪ねて　改訂版　朝日出版社

【参考書】
『西和中辞典』(小学館)
『わかるスペイン語』西川喬　(同学社)

【成績評価の方法と基準】
試験（６０％）平常点（４０％）。携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は３回まで。３回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】
適宜リアクションペーパーを配布し、学生からの質問や要望に応える方針。

【その他の重要事項】
オンラインでの授業となるため、初回より Hoppii にて連絡事項や課題を確認すること。4 月 27 日以降の開講となる。

【Outline and objectives】
To be able to communicate in Spanish especially using basic and intermediate level vocabularies. The goal is to be able to express each opinion on varios subjects in Spanish.

LANs200LA

スペイン語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

宮田　絵津子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について、各国の文化遺産を通してに学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】
スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習	春学期の復習
2	復習	春学期の復習
3	７課	直説法未来、直説法過去未来。メキシコ市（メキシコ）
4	７課	直説法未来・過去未来の不規則活用。関係詞。メキシコ市（メキシコ）
5	８課	直説法未来完了。クスコ（ペルー）について知る。
6	８課	直説法過去未来完了、間接話法。クスコ（ペルー）について知る。
7	９課	接続法現在の活用。ポトシ（ボリビア）について知る。
8	９課	接続法の用法：独立分、知覚、使役の表現。ポトシ（ボリビア）について知る。
9	１０課	命令文（肯定命令）。ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ（パラグアイ）について知る。
10	１０課	命令文（否定命令）、再帰前置詞各人称代名詞。ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ（パラグアイ）について知る。
11	１１課	接続法の用法：名詞節。ガラパゴス諸島（エクアドル）について知る。
12	１１課	接続法の用法：形容詞節、接続法の用法：副詞節。ガラパゴス諸島（エクアドル）について知る。
13	１２課	接続法過去の活用と用法、条件文。ラパ・ヌイ国立公園（チリ）を知る
14	期末試験	秋学期に学んだことを確認。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて１時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Conociendo el Patrimonio de la Humanidad Segunda edición
初級～中級スペイン語世界遺産を訪ねて　改訂版　朝日出版社

【参考書】
中級スペイン語文法　山田善郎著　白水社

【成績評価の方法と基準】
試験６０％、平常点４０％。
携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は３回まで。３回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】
適宜配布するリアクションペーパーに疑問点、要望などがあれば対応。

【Outline and objectives】
To be able to communicate in Spanish especially using basic and intermediate level vocabularies. The goal is to be able to express each opinion on varios subjects in Spanish.

LANs200LA

スペイン語（３）Ｉ

2017 年度以降入学者

宮田　絵津子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 Y

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について、各国の文化遺産を通してに学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】
スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】
テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	一年を通じてどのように授業を進めていくのか、授業の紹介、スペイン語の導入。
2	１課	１年で学んだ文法の復習。ser,estar,hay の使い分けおよび直説法現在の動詞の活用。グラナダ（スペイン）について知る。
3	１課	１年で学んだ直説法現在の用法、指示形容詞、指示代名詞を学び、この、その、あの、これ、それ、あれ、という言い方の復習。グラナダ（スペイン）について知る。
4	２課	再帰動詞、目的格人称代名詞。セビーヤ（スペイン）について知る。
5	２課	不定詞と「弱い代名詞」。セビーヤ（スペイン）について知る。
6	３課	現在分詞、進行形。ハバナ（キューバ）について知る。
7	３課	現在分詞を用いた分詞構文、所有形容詞。ハバナ（キューバ）について知る。
8	４課	過去分詞、受動態。テオティワカン（メキシコ）について知る。
9	４課	結果状態、点過去。テオティワカン（メキシコ）について知る。
10	５課	線過去、点過去と線過去の使い分け。ティカル（グアテマラ）について知る。
11	５課	時間の経過を示す、比較表現、絶対最上級。ティカル（グアテマラ）について知る。
12	６課	直説法現在完了、直説法過去完了。マチュ・ピチュ（ペルー）について知る。

13	６課	不定語と否定語、無人称表現。マチュ・ピチュ（ペルー）について知る。
14	期末試験	春学期に学んだことの確認として期末テストを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Conociendo el Patrimonio de la Humanidad Segunda edición
初級～中級スペイン語世界遺産を訪ねて　改訂版　朝日出版社

【参考書】
『西和中辞典』(小学館)
『わかるスペイン語』西川喬　(同学社)

【成績評価の方法と基準】
試験（６０％）平常点（４０％）。携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は３回まで。３回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】
適宜リアクションペーパーを配布し、学生からの質問や要望に応える方針。

【その他の重要事項】
オンラインでの授業となるため、初回より Hoppii にて連絡事項や課題を確認すること。4 月 27 日以降の開講となる。

【Outline and objectives】
To be able to communicate in Spanish especially using basic and intermediate level vocabularies. The goal is to be able to express each opinion on varios subjects in Spanish.

LANs200LA

スペイン語 (３) Ⅱ

2017 年度以降入学者

宮田　絵津子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 Y

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について、各国の文化遺産を通してに学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】
スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】
テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習	春学期の復習
2	復習	春学期の復習
3	７課	直説法未来、直説法過去未来。メキシコ市（メキシコ）
4	７課	直説法未来・過去未来の不規則活用。関係詞。メキシコ市（メキシコ）
5	８課	直説法未来完了。クスコ（ペルー）について知る。
6	８課	直説法過去未来完了、間接話法。クスコ（ペルー）について知る。
7	９課	接続法現在の活用。ポトシ（ボリビア）について知る。
8	９課	接続法の用法：独立分、知覚、使役の表現。ポトシ（ボリビア）について知る。
9	１０課	命令文（肯定命令)。ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ（パラグアイ）について知る。
10	１０課	命令文（否定命令)、再帰前置詞各人称代名詞。ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ（パラグアイ）について知る。
11	１１課	接続法の用法：名詞節。ガラパゴス諸島（エクアドル）について知る。
12	１１課	接続法の用法：形容詞節、接続法の用法：副詞節。ガラパゴス諸島（エクアドル）について知る。
13	１２課	接続法過去の活用と用法、条件文。ラパ・ヌイ国立公園（チリ）を知る
14	期末試験	秋学期に学んだことを確認。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Conociendo el Patrimonio de la Humanidad Segunda edición
初級～中級スペイン語世界遺産を訪ねて　改訂版　朝日出版社

【参考書】
中級スペイン語文法　山田善郎著　白水社

【成績評価の方法と基準】
試験６０％、平常点４０％。
携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は３回まで。３回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】
適宜配布するリアクションペーパーに疑問点、要望などがあれば対応。

【Outline and objectives】
To be able to communicate in Spanish especially using basic and intermediate level vocabularies. The goal is to be able to express each opinion on varios subjects in Spanish.

LANs200LA

スペイン語（3）Ⅰ

2017 年度以降入学者

大貫　良史

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 Y

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語の初級文法を復習しながら、中級レベルの文法へのステップアップを目指し、構文などの応用的な表現を学んでいく。

【到達目標】
初級から一歩進んだ文法を習得し、読み書きのレベルを高めていく。また語学だけでなく、スペイン語圏諸国の歴史、文化などの理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】
スペイン語の基礎を終えた学生を対象とし、基本的にはテキストに添って文法事項などを説明しながら進める。
また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。
状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。
授業では、辞書を必ず持参すること。
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システム (Hoppii) でその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 24 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、Hoppii で提示する。
オンライン授業でも授業開始時刻は同じである。必ず各授業の開始時刻に Hoppii の「お知らせ」を確認すること。授業時間を過ぎると情報は参照できなくなるので注意すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第１課　グラナダ（スペイン）　文法説明	ser,estar,hay の活用と用法、直説法現在の活用、直説法現在の用法、指示形容詞・指示代名詞
第 2 回	第１課　グラナダ（スペイン）　会話文・読解	ser,estar,hay の活用と用法、直説法現在の活用、直説法現在の用法、指示形容詞・指示代名詞
第 3 回	第２課　セビリア（スペイン）　文法説明	再帰動詞、目的格人称代名詞、不定詞と弱い代名詞
第 4 回	第２課　セビリア（スペイン）　会話文・読解	再帰動詞、目的格人称代名詞、不定詞と弱い代名詞
第 5 回	第３課　ハバナ（キューバ）　文法説明	現在分詞、進行形、現在分詞を用いた分詞構文、所有形容詞
第 6 回	第３課　ハバナ（キューバ）　会話文・読解	現在分詞、進行形、現在分詞を用いた分詞構文、所有形容詞
第 7 回	第４課　テオティワカン（メキシコ）　文法説明	過去分詞、受動態、結果状態、点過去
第 8 回	第４課　テオティワカン（メキシコ）　会話文・読解	過去分詞、受動態、結果状態、点過去

第 9 回	第５課　ティカル（グァテマラ）　文法説明	線過去、点過去と線過去の使い分け、時間の経過を示す hace、比較表現、絶対最上級
第 10 回	第５課　ティカル（グァテマラ）　会話文・読解	線過去、点過去と線過去の使い分け、時間の経過を示す hace、比較表現、絶対最上級
第 11 回	第６課　マチュ・ピチュ（ペルー）　文法説明	直説法現在完了、直説法過去完了、不定語と否定語、無人称表現
第 12 回	第６課　マチュ・ピチュ（ペルー）　会話文・読解	直説法現在完了、直説法過去完了、不定語と否定語、無人称表現
第 13 回	前期の総復習	テストに向けた前期の総復習、文法ポイントの確認
第 14 回	試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
わからない単語を辞書で調べておくこと
特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『―初級～中級スペイン語―　世界遺産を訪ねて　―改訂版―』　禪野美穂他著、朝日出版社、2,300 円（+税）

【参考書】
辞書：『西和中辞典』（小学館）
文法書：『わかるスペイン語』西川喬　(同学社)
授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用してのオンライン辞書の利用は認められない

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に Hoppii で提示する。

【学生の意見等からの気づき】
授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく

【その他の重要事項】
オンライン授業でも授業開始時刻は同じである。必ず各授業の開始時刻に Hoppii の「お知らせ」を確認すること。授業時間を過ぎると情報は参照できなくなるので注意すること。
学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は遠慮なく申し出てください。

【Outline and objectives】
Basic to middle level Spanish grammar and conversation

LANs200LA

スペイン語（3）Ⅱ

2017 年度以降入学者

大貫　良史

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 Y

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語の初級文法を復習しながら、中級レベルの文法へのステップアップを目指し、構文などの応用的な表現を学んでいく。

【到達目標】
初級から一歩進んだ文法を習得し、読み書きのレベルを高めていく。また語学だけでなく、スペイン語圏諸国の歴史、文化などの理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】
スペイン語の基礎を終えた学生を対象とし、基本的にはテキストに添って文法事項などを説明しながら進める。
また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。
状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。
授業では、辞書を必ず持参すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第７課　メキシコ市（メキシコ）　文法説明	直説法未来、直説法過去未来、関係詞（1）
第 2 回	第７課　メキシコ市（メキシコ）　会話文・読解	直説法未来、直説法過去未来、関係詞（1）
第 3 回	第８課　クスコ（ペルー）　文法説明	直説法未来完了、直説法過去未来完了、間接話法
第 4 回	第８課　クスコ（ペルー）　会話文・読解	直説法未来完了、直説法過去未来完了、間接話法
第 5 回	第９課　ポトシ（ボリビア）　文法説明	接続法現在の活用、接続法の用法（1）独立文、知覚、使役の表現
第 6 回	第９課　ポトシ（ボリビア）　会話文・読解	接続法現在の活用、接続法の用法（1）独立文、知覚、使役の表現
第 7 回	第１０課　ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ（パラグアイ）　文法説明	命令文、再帰前置詞格人称代名詞
第 8 回	第１０課　ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ（パラグアイ）　会話文・読解	命令文、再帰前置詞格人称代名詞
第 9 回	第１１課　ガラパゴス諸島（エクアドル）　文法説明	接続法の用法（2）、名詞説、形容詞節、副詞節
第 10 回	第１１課　ガラパゴス諸島（エクアドル）　会話文・読解	接続法の用法（2）、名詞説、形容詞節、副詞節

第 11 回	第１２課　ラパ・ヌイ国立公園（チリ）　文法説明	接続法過去の活用と用法、条件文
第 12 回	第１２課　ラパ・ヌイ国立公園（チリ）　会話文・読解	接続法過去の活用と用法、条件文
第 13 回	後期の総復習	テストに向けた後期の総復習、文法ポイントの確認
第 14 回	試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
わからない単語を辞書で調べておくこと
特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『―初級～中級スペイン語―　世界遺産を訪ねて　―改訂版―』　禪野美穂他著、朝日出版社、2,300 円（+税）

【参考書】
辞書：『西和中辞典』（小学館）
文法書：『わかるスペイン語』西川喬　(同学社)
授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用してのオンライン辞書の利用は認められない

【成績評価の方法と基準】
授業への参加度など平常点 40%、試験 60%とし、総合的に評価する。また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。
授業中の携帯電話の使用は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】
授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく

【Outline and objectives】
Basic to middle level Spanish grammar and conversation

LANs200LA

スペイン語７

2017 年度以降入学者

大西　亮

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火** 1/Tue.1
単位数：**1 単位**
国 2 年 SA

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、SA に参加する 2 年生を対象とする授業である。1 年次に学んだスペイン語文法の知識を生かしながら、長文読解や作文、リスニング、スピーキングなどの技能の習得をめざす。また、おもにスペインの新聞記事や小説など、さまざまなジャンルの読み物に挑戦し、文章理解力の向上に努める。

【到達目標】
長文読解では、おもにスペインの新聞記事や小説など、さまざまなジャンルの読み物に挑戦し、文章理解力の向上に努める。そのほか、複雑な時制を含む和文西訳や、視聴覚教材を用いたリスニングなどにも取り組む。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は５月１２日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	直説法現在形	直説法現在形を用いた文章の読解を行なう。
2	直説法現在形（不規則）	直説法現在形（不規則）を用いた文章の読解を行なう。
3	直説法点過去	直説法点過去を用いた文章の読解を行なう。
4	直説法線過去	直説法線過去を用いた文章の読解を行なう。
5	直説法現在完了	直説法現在完了形を用いた文章の読解を行なう。
6	直説法未来形	直説法未来形を用いた文章の読解を行なう。
7	直説法過去未来形	直説法過去未来形を用いた文章の読解を行なう。
8	直説法過去完了	直説法過去完了形を用いた文章の読解を行なう。
9	接続法現在	接続法現在形を用いた文章の読解を行なう。
10	接続法現在完了	接続法現在完了を用いた文章の読解を行なう。
11	接続法過去	接続法過去形を用いた文章の読解を行なう。
12	仮定法	仮定法を用いた文章の読解を行なう。
13	接続法独立用法	接続法（独立用法）を用いた文章の読解を行なう。
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業で用いるテキストについて予習と復習の励行に努めること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
初回授業時に指示する。

【参考書】
初回授業時に指示する。

【成績評価の方法と基準】
平常点 (20%)、小テスト (20 %)、期末試験 (60 %) を総合的に勘案して評価する。

【学生の意見等からの気づき】
学生参加型の授業を心がける。

【Outline and objectives】
This course is intended for second-year students to participate in SA program. We will aim to improve students' reading, writing, listening and speaking skills in Spanish, by making the most of grammar they learned in their previous year. A further goal is to increase students' awareness and understanding of Spanish vocabulary and sentence-patterns, by reading newspaper-accounts, novels and other sundry books of all kinds.

LANs200LA

スペイン語８

2017 年度以降入学者

佐々木　直美

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
国 2 年 SA

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語基礎文法の学習を終え、SA 出発へ向けて準備を進める。随時講読テキストを用いて、スペイン語読解力の向上を目指す。

【到達目標】
スペイン語文法の「総仕上げ」を行う。スペイン語初級文法の全項目について一通りの知識を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
文法の講義に加えて、リスニングや AV 資料を用いながらスペイン語やスペイン語圏の文化についても学ぶ。
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は５月８日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	過去未来	過去未来形について学習する
2	接続法	接続法の活用と用法について学習する
3	接続法 2	接続法の活用と用法について練習する
4	接続法 3	接続法の活用と用法につい練習する
5	講読とディスカッション： La Semana Santa	聖週間に行われる儀式と祭りについて
6	講読とディスカッション： La Fiesta de los Patios de Córdoba	コルドバのパティオ祭りについて
7	講読とディスカッション El Inti Raymi	インティ・ライミについて
8	講読とディスカッション Las Fiestas de San Fermín	サン・フェルミン祭りについて
9	講読とディスカッション La Feria de las Flores	花まつりについて
10	講読とディスカッション El Grito de Dolores	ドロレスの叫びについて
11	講読とディスカッション El Día de la Raza	民族の日について
12	講読とディスカッション El Día de Muertos	死者の日について

13	講読とディスカッション El Carnaval de Oruro	オルーロのカーニバルについて
14	試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
文法については、復習をしっかり行うこと。
講読については、あらかじめ下訳を準備しておくこと。
ディスカッションについては、各回のテーマについて各自で調べて臨むこと。
なお、この授業の準備・復習時間は 1 回につき 1 時間以上である。

【テキスト（教科書）】
村上陽子・ナカガワ・マルガリータ『フィエスタ！ フィエスタ！ －解きながら読むスペイン語圏の 12 ヶ月』、朝日出版。
その他『スペイン語 7』の授業とも連動しているため、授業内で指示する。

【参考書】
『レベル別スペイン語ドリル』（1 年次から使用しているテキスト）

【成績評価の方法と基準】
平常点 40 %。期末試験 60 %。

【学生の意見等からの気づき】
全員参加型の授業を目指します。

【Outline and objectives】
We will finish learning basic Spanish grammar. As preparations for participating in the SA program, practice reading and do discussion in Spanish

LANs200LA

スペイン語３- Ⅰ

2017 年度以降入学者

日高　憲三

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年 G～L

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語はスペインのみならず南北アメリカ諸国でも話されており、その話者人口は４億人を超えています。このクラスではスペイン語の基本を学びつつ、魅力あふれるスペイン語圏の世界に皆さんを誘います。

【到達目標】
スペイン語の試験で最終的に「良い点」を取っても、それが単に試験で良い点を取るための勉強の結果だったり、卒業の「単位のため」だったら、少々むなしいですね。まずは授業を通して「スペイン語を身につけて〇〇国に行ってみたい、〇〇をしてみたい」など主体的な目的意識が芽生えることを願っています。そうすれば、スペイン語の実力は自然と身につくものです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
【変更】
周知されているとおり、少なくとも春学期の前半はオンライでの授業となります。当スペイン語クラスの授業開始日は４月２８日（火）とします。履修希望者は４月２１日（火）に学習支援システムにて詳細を確認してください。
.....
このクラスの皆さんは２年目になりますが、新たに使用する教科書に沿って文法事項や会話表現など、復習をしながら、ゆっくり学んでいきます。同時にスペイン語が話されている国々の文化や社会、そこで暮らす人々に対する理解を深めるため、様々な視聴覚資料や、担当者自身が現地で収集した食材、生活用具などの現物資料に触れる時間も設けるつもりです。社会や文化の多様性を実感しながら、グローバルな感覚を養成していきたいと思います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション、スペイン語世界の魅力再発見！	スペイン語はどんな言語か、スペイン語を学ぶと、どんな世界が広がるか、どんな楽しいことが待っているか。
第 2 回	教科書第１課	アファベット、母音、子音
第 3 回	教科書第１課	音節の分け方、アクセントのルール
第 4 回	教科書第２課	名詞の性、名詞の数
第 5 回	教科書第２課	冠詞、形容詞
第 6 回	教科書第３課	主格人称代名詞、ser 動詞
第 7 回	教科書第３課	文の構造、指示語
第 8 回	教科書第４課	estar 動詞、所有形容詞
第 9 回	教科書第４課	Hay の用法、Hay と Estar の比較
第 10 回	教科書第５課	直説法現在形・規則動詞
第 11 回	教科書第５課	直説法現在形・規則動詞
第 12 回	教科書第６課	現在形不規則動詞 1
第 13 回	教科書第６課	直接目的格人称代名詞
第 14 回	教科書第７課	現在形不規則動詞２

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
日常的にスペイン語に対してアンテナを張り、テレビや街角などで見たり聞いたりしたスペイン語があったら、書きとめるか記憶に残し、適宜発表してもらう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
「エスピギータ-実りのスペイン語」岡田敦美、那須まどり著、朝日出版社（２０１７年）２３００円

【参考書】
授業の中で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
期末試験１００％

【学生の意見等からの気づき】
授業では、スペイン語圏の映像資料のみならず、私自身がラテンアメリカに現地調査で出向いた際に持ってきた食材などの現物資料を提示し、時には試食したりする機会を設けてきた。これらの体験がスペイン語に親しみを持つ大きなきっかけになったようで、「これまで受けたことのない斬新な授業」、「学習意欲がわく授業」、「グローバルな視野が持てた」などの意見が多数あった。今後も学生さんの目線に立ちながら、より良い授業ができるよう私自身も研鑽を積んでいきたい。

【Outline and objectives】
This is a Basic Spanish class for Global education.
Spanish is used widely in Latin America and English in not a common language.Learning Spanish can help you expand your vision of the world!

LANs200LA

スペイン語３-Ⅱ

2017 年度以降入学者

日高　憲三

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年 G～L

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語はスペインのみならず南北アメリカ諸国でも話されており、その話者人口は４億人を超えています。このクラスでは、スペイン語の初歩を学びつつ、魅力あふれるスペイン語圏の世界に皆さんを誘います。

【到達目標】
スペイン語の試験で最終的に「良い点」を取っても、それが単に試験で良い点を取るための勉強の結果だったり、卒業の「単位のため」だったら、少々むなしいですね。まずは授業を通して「スペイン語を身につけて〇〇国に行ってみたい、〇〇をしてみたい」など主体的な目的意識が芽生えることを願っています。そうすれば、スペイン語の実力は自然と身につくものです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
前期に引き続いて教科書に沿って文法事項や会話表現などを学んでいきます。同時にスペイン語が話されている国々の文化や社会、そこで暮らす人々に対する理解を深めるため、様々な視聴覚資料や、担当者自身が現地で収集した食材、生活用具などの現物資料に触れる時間も設けるつもりです。社会や文化の多様性を実感しながら、グローバルな感覚を養成していきたいと思います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	教科書第８課	gustar 動詞
第 2 回	教科書第８課	前置詞格人称代名詞
第 3 回	教科書第９課	再帰動詞
第 4 回	教科書第９課	無人称文、接続詞
第 5 回	教科書第１０課	点過去１（規則動詞）
第 6 回	教科書第１０課	点過去２（規則動詞）
第 7 回	教科書第１１課	点過去（不規則動詞）
第 8 回	教科書第１１課	関係代名詞
		所有形容詞
第 9 回	教科書第１２課	現在分詞
第 10 回	教科書第１２課	不定語、否定語
第 11 回	教科書第１３課	過去分詞、現在完了
第 12 回	教科書第１３課	受動態
第 13 回	教科書第１４課	比較級
第 14 回	まとめ	総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
日常的にスペイン語に対してアンテナを張り、テレビや街角などで見たり聞いたりしたスペイン語があったら、書きとめるか記憶に残し、適宜発表してもらう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
「エスピギータ-実りのスペイン語」岡田敦美、那須まどり著、朝日出版社（２０１７年）２３００円

【参考書】
授業の中で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
期末試験１００％

【学生の意見等からの気づき】
授業では、スペイン語圏の映像資料のみならず、私自身がラテンアメリカに現地調査で出向いた際に持ってきた食材などの現物資料を提示し、時には試食したりする機会を設けてきた。これらの体験がスペイン語に親しみを持つ大きなきっかけになったようで、「これまで受けたことのない斬新な授業」、「学習意欲がわく授業」、「グローバルな視野が持てた」などの意見が多数あった。今後も学生さんの目線に立ちながら、より良い授業ができるよう私自身も研鑽を積んでいきたい。

【Outline and objectives】
This is a Basic Spanish class for Global education.
Spanish is used widely in Latin America and English in not a common language.Learning Spanish can help you expand your vision of the world!

LANs200LA

スペイン語３- Ⅰ

2017 年度以降入学者

宮田　絵津子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水 5**/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年 A～F

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について、各国の文化遺産を通してに学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】
スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	一年を通じてどのように授業を進めていくのか、授業の紹介、スペイン語の導入。
2	１課	１年で学んだ文法の復習。ser,estar,hay の使い分けおよび直説法現在の動詞の活用。グラナダ（スペイン）について知る。
3	１課	１年で学んだ直説法現在の用法、指示形容詞、指示代名詞を学び、この、その、あの、これ、それ、あれ、という言い方の復習。グラナダ（スペイン）について知る。
4	２課	再帰動詞、目的格人称代名詞。セビーヤ（スペイン）について知る。
5	２課	不定詞と「弱い代名詞」。セビーヤ（スペイン）について知る。
6	３課	現在分詞、進行形。ハバナ（キューバ）について知る。
7	３課	現在分詞を用いた分詞構文、所有形容詞。ハバナ（キューバ）について知る。
8	４課	過去分詞、受動態。テオティワカン（メキシコ）について知る。
9	４課	結果状態、点過去。テオティワカン（メキシコ）について知る。
10	５課	線過去、点過去と線過去の使い分け。ティカル（グアテマラ）について知る。
11	５課	時間の経過を示す、比較表現、絶対最上級。ティカル（グアテマラ）について知る。
12	６課	直説法現在完了、直説法過去完了。マチュ・ピチュ（ペルー）について知る。

13	６課	不定語と否定語、無人称表現。マチュ・ピチュ（ペルー）について知る。
14	期末試験	春学期に学んだことの確認として期末テストを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて１時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Conociendo el Patrimonio de la Humanidad Segunda edición
初級～中級スペイン語世界遺産を訪ねて　改訂版　朝日出版社

【参考書】
『西和中辞典』(小学館)
『わかるスペイン語』西川喬　(同学社)

【成績評価の方法と基準】
試験（６０％）平常点（４０％）。携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は３回まで。３回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】
適宜リアクションペーパーを配布し、学生からの質問や要望に応える方針。

【その他の重要事項】
オンラインでの授業となるため、初回より Hoppii にて連絡事項や課題を確認すること。４月 27 日以降の開講となる。

【Outline and objectives】
To be able to communicate in Spanish especially using basic and intermediate level vocabularies. The goal is to be able to express each opinion on varios subjects in Spanish.

LANs200LA

スペイン語３-Ⅱ

2017 年度以降入学者

宮田　絵津子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年 A～F

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について、各国の文化遺産を通してに学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】
スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習	春学期の復習
2	復習	春学期の復習
3	７課	直説法未来、直説法過去未来。メキシコ市（メキシコ）
4	７課	直説法未来・過去未来の不規則活用。関係詞。メキシコ市（メキシコ）
5	８課	直説法未来完了。クスコ（ペルー）について知る。
6	８課	直説法過去未来完了、間接話法。クスコ（ペルー）について知る。
7	９課	接続法現在の活用。ポトシ（ボリビア）について知る。
8	９課	接続法の用法：独立分、知覚、使役の表現。ポトシ（ボリビア）について知る。
9	１０課	命令文（肯定命令）。ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ（パラグアイ）について知る。
10	１０課	命令文（否定命令）、再帰前置詞各人称代名詞。ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ（パラグアイ）について知る。
11	１１課	接続法の用法：名詞節。ガラパゴス諸島（エクアドル）について知る。
12	１１課	接続法の用法：形容詞節、接続法の用法：副詞節。ガラパゴス諸島（エクアドル）について知る。
13	１２課	接続法過去の活用と用法、条件文。ラパ・ヌイ国立公園（チリ）を知る
14	期末試験	秋学期に学んだことを確認。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Conociendo el Patrimonio de la Humanidad Segunda edición
初級～中級スペイン語世界遺産を訪ねて　改訂版　朝日出版社

【参考書】
中級スペイン語文法　山田善郎著　白水社

【成績評価の方法と基準】
試験６０％、平常点４０％。
携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は３回まで。３回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】
適宜配布するリアクションペーパーに疑問点、要望などがあれば対応。

【Outline and objectives】
To be able to communicate in Spanish especially using basic and intermediate level vocabularies. The goal is to be able to express each opinion on varios subjects in Spanish.

LANs200LA

スペイン語コミュニケーションⅠ　2017 年度以降入学者

瓜谷　アウロラ

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 3～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この講座では自分のことを相手に伝える練習を行います。毎回、モデル文章のリスニング、語彙解説、ディクテーション、発音練習、日本語からスペイン語への翻訳トレーニングを経て、自宅課題として文章作成を行う。

【到達目標】
自分について、文章で書き表し、それをベースに簡単なプレゼンテーションができるようになることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 5 月 13 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	私の名前	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
2	私の家族	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
3	私の街	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
4	私の大学	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
5	天気	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
6	私の一日	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
7	人の描写	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
8	今日	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
9	昨日	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
10	気持ちや感想	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習

11	計画	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
12	旅	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
13	まとめ	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
14	まとめ	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業で学んだモデル文章の語彙表現を利用して、自分に関する新たな文章を作成してくるのが毎回の自宅課題である。学習の目安は毎回 90 分程度である。

【テキスト（教科書）】
プリント教材

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
オンライン授業性に伴ってプリントにした。

【Outline and objectives】
In this course, you will practice communicating yourself to others. Each session will consist of listening to the model text, vocabulary explanation, dictation, pronunciation practice, and translation training from Japanese to Spanish, followed by writing assignments at home. Class explanations will be given in Japanese.

LANs200LA

スペイン語コミュニケーションⅡ　2017 年度以降入学者

瓜谷　アウロラ

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 3〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この講座では自分のことを相手に伝える練習を行います。毎回、モデル文章のリスニング、語彙解説、ディクテーション、発音練習、日本語からスペイン語への翻訳トレーニングを経て、自宅課題として文章作成を行う。

【到達目標】
自分について、文章で書き表し、それをベースに簡単なプレゼンテーションができるようになることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 5 月 13 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	旅	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
2	昔と今	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
3	プレゼント	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
4	気持ちや感想	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
5	健康的な生活	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
6	お祭り	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
7	昔々	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
8	人生	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
9	夢	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
10	イベント	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習

11	クリスマス	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
12	スポーツ	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
13	パソコンや携帯電話	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
14	環境	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業で学んだモデル文章の語彙表現を利用して、自分に関する新たな文章を作成してくるのが毎回の自宅課題である。学習の目安は毎回 ９０分程度である。

【テキスト（教科書）】
プリント教材

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。。

【学生の意見等からの気づき】
オンライン授業性に伴ってプリントにした。

【Outline and objectives】
In this course, you will practice communicating yourself to others. Each session will consist of listening to the model text, vocabulary explanation, dictation, pronunciation practice, and translation training from Japanese to Spanish, followed by writing assignments at home. Class explanations will be given in Japanese.

LANs200LA

時事スペイン語Ⅰ

2017 年度以降入学者

大西　亮

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 **年**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級の授業で習ったスペイン語文法の知識を生かしながら、まとまった長さの文章が読める程度の読解力を身につけることを目的とする。また、この授業では、スペイン語圏の文化や社会にも光をあてつつ、その歴史と現状について学んでゆく。スペイン語初級をすでに受講したことのある学生が対象となる。

【到達目標】
スペイン語圏の文化や社会に関する文章を、辞書を引きながら読解することのできるレベルをめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は５月１１日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	春学期の授業の進め方に関する説明を行う。
2	初級文法の復習	過年度までにスペイン語初級の各クラスで学んだ文法事項の復習を行う。
3	直説法現在	直説法現在を使った文章を読解する。
4	再帰動詞	再帰動詞を使った文章を読解する。
5	現在分詞および進行形	現在分詞と進行形を使った文章を読解する。
6	過去分詞および点過去	過去分詞と点過去を使った文章を読解する。
7	線過去	線過去を使った文章を読解する。
8	直説法現在完了および過去完了	直説法現在完了と直説法過去完了を使ったペルーの古代遺跡マチュ・ピチュに関する文章を読解する。
9	指示詞と所有詞の復習	指示詞と所有詞を使った文章を読解する。
10	受動表現の復習	受動表現を使った文章を読解する。
11	比較表現の復習	比較表現を使った文章を読解する。
12	無人称表現の復習	無人称表現を使った文章を読解する。
13	春学期のまとめ	春学期に学んだ文法事項の復習を行う。
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業で用いるテキストの予習と復習は必須である。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
初回授業時に指示する。

【参考書】
初回授業時に指示する。

【成績評価の方法と基準】
平常点 30 %、期末試験 50 %、随時行う小テスト 20 %

【学生の意見等からの気づき】
学生参加型の授業を心がける。

【Outline and objectives】
A further goal is for students to improve their reading-ability, by enjoying rather long books through the use of their grammatical knowledge. This course is, therefore, designed for students who have completed elementary Spanish class.

LANs200LA

時事スペイン語Ⅱ

2017 年度以降入学者

久木　正雄

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級の授業で習ったスペイン語文法の知識を活かしながら、まとまった長さの文章が読める程度の読解力を身につけることを目的とする。特に、この授業では、スペイン語圏の時事について、その歴史と現状の双方に光を当てて学んでゆく。スペイン語初級をすでに受講したことのある学生が対象となる。

【到達目標】
スペイン語圏の時事に関する文章を、辞書を引きながら読解することのできるレベルをめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
実際にスペイン語の文章を読みながら、基本的な文法事項の復習を織りまぜ、高度なレベルの文章読解力を身につける。毎回、授業冒頭で、その日のレッスンで扱うテーマについての概略的な説明を教員が行う。その後、順番に指名された受講生が訳読を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	秋学期の授業の進め方に関する説明を行う。
2	春学期の文法の復習	春学期で学んだ文法事項の復習を行う。
3	直説法未来	直説法未来を使った文章を読解する。
4	直接法過去未来	直接法過去未来を使った文章を読解する。
5	直説法未来完了と直説法過去未来完了	直説法未来完了と直説法過去未来完了を使った文章を読解する。
6	接続法現在（名詞節）	接続法現在（名詞節）を使った文章を読解する。
7	接続法現在（形容詞節・副詞節）	接続法現在（形容詞節・副詞節）を使った文章を読解する。
8	命令法	命令法を使った文章を読解する。
9	接続法過去	接続法過去を使った文章を読解する。
10	間接話法	間接話法を使った文章を読解する。
11	知覚・使役の表現	知覚・使役の表現を使った文章を読解する。
12	時制の復習	さまざまな時制を網羅的に使った文章を読解する。
13	法の復習	直説法と接続法を対比的に使った文章を読解する。
14	試験・まとめと解説	学期末試験を実施し、今学期の最終的な理解度を確認する。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストの指定範囲の準備学習と復習とともに、提出・非提出の別を問わず宿題に取り組むこと。なお、本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
初回授業時に指示する。

【参考書】
初回授業時に指示する。

【成績評価の方法と基準】
平常点： 30 %、小テスト： 20 %、学期末試験： 50 %。

【学生の意見等からの気づき】
学習事項の着実な習得のために、受講者一人ひとりの理解度をこまめに確認する。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
辞書の使用を怠らないこと。

【Outline and objectives】
This course will focus on various current topics in Spanish-speaking countries. A further goal is for students to improve their reading-ability, by enjoying rather long books through the use of their grammatical knowledge. This course is, therefore, designed for students who have completed elementary Spanish class.

ARSa200LA

スペイン語の世界ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

塩﨑　公靖

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
学生の興味関心を聞きながら、スペイン語圏の社会や文化について学ぶことで、それまでの角度とは異なる新たな視野を養える場としたい。

【到達目標】
本講義では、スペインおよびスペイン語圏の文化と社会について、講義や自らのプレゼンを通じて理解を深めることを目的とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
初回〜第 3 回講義までは教員によるオリエンテーションと講義。
また、初回講義において、学生から関心のあるテーマを聞き、担当者を決定、その後は各回の担当者がそのテーマを調べ、プレゼンテーションする形式を採る。
【追記】学習支援システムでの授業開始日： 4 月 30 日 (木)
※各回に例としてあげたプレゼン内容はあくまで一例。自身が調べたいと思えるテーマを探してもらう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション（プレゼン担当決定）	スペイン語圏についての概説。各回の担当者を決定。
2	講義：スペイン概説①	地域から考える
3	講義：スペイン概説②	言語から考える
4	プレゼンテーション①	担当者によるプレゼンテーション（例：スペインの絵画）
5	プレゼンテーション②	担当者によるプレゼンテーション（例：スペインのスポーツ）
6	プレゼンテーション③	担当者によるプレゼンテーション（例：スペインの言語）
7	プレゼンテーション④	担当者によるプレゼンテーション（例：食事に見られる地域性）
8	プレゼンテーション⑤	担当者によるプレゼンテーション（例：スペインの観光業）
9	プレゼンテーション⑥	担当者によるプレゼンテーション（例： EU とスペイン）
10	プレゼンテーション⑦	担当者によるプレゼンテーション（例： Brexit のスペインへの余波）
11	プレゼンテーション⑧	担当者によるプレゼンテーション（例：スペイン語とポルトガル語の違い）
12	プレゼンテーション⑨	担当者によるプレゼンテーション（例：カタルーニャ州について）
13	プレゼンテーション⑩	担当者によるプレゼンテーション（例：フラメンコの歴史）
14	総括	ディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
事前に資料が指定された場合には、授業内での議論参加のため必ず目を通しておくこと。
また、映画や展覧会など課外活動に出かけることを指示することもある。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
開講時に受講生各自の関心に従って決定。

【参考書】
テーマにそって授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】
授業内プレゼンは必須。その上で、プレゼンの内容 (70%) と平常点 (30%) で総合評価する。

【学生の意見等からの気づき】
本講義は、こちらから何かを教えるというよりも、皆さんの興味関心を十分に聞き取り、その関心に沿ったテーマについて学べるように、よりよい授業づくりをしていきたいと考えています。

【Outline and objectives】
This class aims at improving ability to understand how the world is, through learning hispanophone countries.
Wish the students in this course to have ambition to achieve new field of view.

ARSa200LA

スペイン語の世界ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

塩﨑　公靖

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
学生の興味関心を聞きながら、スペイン語圏の社会や文化について学ぶことで、それまでの角度とは異なる新たな視野を養える場としたい。

【到達目標】
本講義では、スペインおよびスペイン語圏の文化と社会について、講義や自らのプレゼンを通じて理解を深めることを目的とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
初回〜第 3 回講義までは教員によるオリエンテーションと講義。
また、初回講義において、学生から関心のあるテーマを聞き、担当者を決定、その後は各回の担当者がそのテーマを調べ、プレゼンテーションする形式を採る。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション（プレゼン担当決定）	スペイン語圏についての概説。各回の担当者を決定。
2	講義：スペイン概説①	国際関係の中のスペイン
3	講義：スペイン概説②	スペインと日本
4	プレゼンテーション①	担当者によるプレゼンテーション（例：メキシコの映画産業）
5	プレゼンテーション②	担当者によるプレゼンテーション（例：アルゼンチンのスポーツ事情）
6	プレゼンテーション③	担当者によるプレゼンテーション（例：キューバの現在）
7	プレゼンテーション④	担当者によるプレゼンテーション（例：ラテンアメリカの文学）
8	プレゼンテーション⑤	担当者によるプレゼンテーション（例：フィリピンに残るスペイン語）
9	プレゼンテーション⑥	担当者によるプレゼンテーション（例：日本のスペイン語話者）
10	プレゼンテーション⑦	担当者によるプレゼンテーション（例：スペインのスタートアップ企業）
11	プレゼンテーション⑧	担当者によるプレゼンテーション（例：スペイン語圏の中の日本企業）
12	プレゼンテーション⑨	担当者によるプレゼンテーション（例：コスタリカについて）
13	プレゼンテーション⑩	担当者によるプレゼンテーション（例：スペイン語圏での日本発サブカルチャーの受容）
14	総括	ディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
事前に資料が指定された場合には、授業内での議論参加のため必ず目を通しておくこと。
また、映画や展覧会など課外活動に出かけることを指示することもある。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
開講時に受講生各自の関心に従って決定。

【参考書】
テーマにそって授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】
授業内プレゼンは必須。その上で、プレゼンの内容 (70%) と平常点 (30%) で総合評価する。

【学生の意見等からの気づき】
本講義は、こちらから何かを教えるというよりも、皆さんの興味関心を十分に聞き取り、その関心に沿ったテーマについて学べるように、よりよい授業づくりをしていきたいと考えています。

【Outline and objectives】
This class aims at improving ability to understand how the world is, through learning hispanophone countries.
Wish the students in this course to have ambition to achieve new field of view.

LANk200LA

朝鮮語３ＡⅠ

2017 年度以降入学者

梁　禮先

開講時期：春学期授業/Spring ｜ 曜日・時限：月 3/Mon.3
単位数：1 単位
法文営 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします.

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます．前者は朝鮮語を母語とする教員が，後者は日本語を母語とする教員が，それぞれの特長を生かした授業を行います．またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第 1 課	語基の復習，ピウプ不規則用言
2	第 1 課	「やりもらい」と尊敬語・謙譲語
3	第 2 課	「～している」の２つの形，禁止形
4	第 2 課	長い不可能形，助詞「～に」の用法
5	第 3 課	文中の疑問形，強調表現
6	第 3 課	存在詞と語尾の組み合わせ，方向をあらわす動詞
7	第 4 課	もうひとつの意思・推量形，シオッ不規則用言
8	第 4 課	動詞のこそあどことば，副詞をつくる方法
9	第 5 課	用言の名詞形，「～することはする」
10	第 5 課	いくつかの助詞，「～という」の短縮形
11	第 6 課	動作の反復，推量表現
12	第 6 課	大過去，ヘヨ体の命令形
13	復習	春学期の総復習を行ないます.
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は不要ですが，なるべく復習の時間を多く取ってください．与えられた課題はかならずやるようにしてください．授業中でも家での復習でも，恥ずかしがらずに声を出して読んでみることが，ことばを覚えることにもなり，「話す」第一歩となるのです.
本授業の準備・復習時間は，各 1 時間を標準とします.

【テキスト（教科書）】
共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語〔私家版〕』を用います.

【参考書】
教科書によって文法の説明方式が異なるので，テキストに集中してください．辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします．

【成績評価の方法と基準】
期末テストの成績によります．

【学生の意見等からの気づき】
やむを得ない事情以外での欠席を避けてください．

【その他の重要事項】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」はそれぞれ３クラスあります．リレー授業を行ないますので，指定された組み合わせどおりに履修してください．また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください．

【Outline and objectives】
This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

LANk200LA

朝鮮語３ＡⅡ

2017 年度以降入学者

梁　禮先

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法文営 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に引き続き，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします．

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます．前者は朝鮮語を母語とする教員が，後者は日本語を母語とする教員が，それぞれの特長を生かした授業を行います．またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第 7 課	「～して」をあらわすふたつの形
2	第 7 課	「～しながら」，指定詞の第Ⅲ語基
3	第 8 課	移動をあらわす合成動詞，用言の「である」形
4	第 8 課	間接話法１，反語表現
5	第 9 課	ハンダ体，間接話法２
6	第 9 課	「～しはじめる」，受身形
7	第 10 課	概数の表現，間接話法と第Ⅲ語基
8	第 10 課	「～について」，「～しやすい／しにくい」
9	第 11 課	手段・状況をあらわす「～して」，理由をあらわす表現
10	第 11 課	各種の濃音化，パンマル疑問文のもうひとつの形
11	第 12 課	「～と思う／考える」，「～して」の話しことば
12	第 12 課	「やりもらい」の間接話法，助詞の尊敬形
13	復習	春学期の総復習を行ないます．
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は不要ですが，なるべく復習の時間を多く取ってください．与えられた課題はかならずやるようにしてください．授業中でも家での復習でも，恥ずかしがらずに声を出して読んでみることが，ことばを覚えることにもなり，「話す」第一歩となるのです．
本授業の準備・復習時間は，各 1 時間を標準とします．

【テキスト（教科書）】
共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語〔私家版〕』を用います．

【参考書】
教科書によって文法の説明方式が異なるので，テキストに集中してください．辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします．

【成績評価の方法と基準】
期末テストの成績によります．

【学生の意見等からの気づき】
やむを得ない事情以外での欠席を避けてください．

【その他の重要事項】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」はそれぞれ３クラスあります．リレー授業を行ないますので，指定された組み合わせどおりに履修してください．また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください．

【Outline and objectives】
This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

LANk200LA

朝鮮語３ＡⅠ

2017 年度以降入学者

梁　禮先

開講時期：春学期授業/Spring ｜ 曜日・時限：月 5/Mon.5
単位数：1 単位
法文営 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします．

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます．前者は朝鮮語を母語とする教員が，後者は日本語を母語とする教員が，それぞれの特長を生かした授業を行います．またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第 1 課	語基の復習，ピウプ不規則用言
2	第 1 課	「やりもらい」と尊敬語・謙譲語
3	第 2 課	「～している」の２つの形，禁止形
4	第 2 課	長い不可能形，助詞「～に」の用法
5	第 3 課	文中の疑問形，強調表現
6	第 3 課	存在詞と語尾の組み合わせ，方向をあらわす動詞
7	第 4 課	もうひとつの意思・推量形，シオッ不規則用言
8	第 4 課	動詞のこそあどことば，副詞をつくる方法
9	第 5 課	用言の名詞形，「～することはする」
10	第 5 課	いくつかの助詞，「～という」の短縮形
11	第 6 課	動作の反復，推量表現
12	第 6 課	大過去，ヘヨ体の命令形
13	復習	春学期の総復習を行ないます．
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は不要ですが，なるべく復習の時間を多く取ってください．与えられた課題はかならずやるようにしてください．授業中でも家での復習でも，恥ずかしがらずに声を出して読んでみることが，ことばを覚えることにもなり，「話す」第一歩となるのです．
本授業の準備・復習時間は，各 1 時間を標準とします．

【テキスト（教科書）】
共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語〔私家版〕』を用います．

【参考書】
教科書によって文法の説明方式が異なるので，テキストに集中してください．辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典)』をお薦めします．

【成績評価の方法と基準】
期末テストの成績によります．

【学生の意見等からの気づき】
やむを得ない事情以外での欠席を避けてください．

【その他の重要事項】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」はそれぞれ３クラスあります．リレー授業を行ないますので，指定された組み合わせどおりに履修してください．また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください．

【Outline and objectives】
This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

LANk200LA

朝鮮語３ＡⅡ

2017 年度以降入学者

梁　禮先

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法文営 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか)】
春学期に引き続き，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします．

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます．前者は朝鮮語を母語とする教員が，後者は日本語を母語とする教員が，それぞれの特長を生かした授業を行います．またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第 7 課	「～して」をあらわすふたつの形
2	第 7 課	「～しながら」，指定詞の第Ⅲ語基
3	第 8 課	移動をあらわす合成動詞，用言の「である」形
4	第 8 課	間接話法１，反語表現
5	第 9 課	ハンダ体，間接話法２
6	第 9 課	「～しはじめる」，受身形
7	第 10 課	概数の表現，間接話法と第Ⅲ語基
8	第 10 課	「～について」，「～しやすい／しにくい」
9	第 11 課	手段・状況をあらわす「～して」，理由をあらわす表現
10	第 11 課	各種の濃音化，パンマル疑問文のもうひとつの形
11	第 12 課	「～と思う／考える」，「～して」の話しことば
12	第 12 課	「やりもらい」の間接話法，助詞の尊敬形
13	復習	春学期の総復習を行ないます．
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等)】
予習は不要ですが，なるべく復習の時間を多く取ってください．与えられた課題はかならずやるようにしてください．授業中でも家での復習でも，恥ずかしがらずに声を出して読んでみることが，ことばを覚えることにもなり，「話す」第一歩となるのです．
本授業の準備・復習時間は，各 1 時間を標準とします．

【テキスト（教科書)】
共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語〔私家版〕』を用います．

【参考書】
教科書によって文法の説明方式が異なるので，テキストに集中してください．辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします．

【成績評価の方法と基準】
期末テストの成績によります．

【学生の意見等からの気づき】
やむを得ない事情以外での欠席を避けてください．

【その他の重要事項】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」はそれぞれ３クラスあります．リレー授業を行ないますので，指定された組み合わせどおりに履修してください．また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください．

【Outline and objectives】
This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

LANk200LA

朝鮮語３ＡⅠ

2017 年度以降入学者

梁　禮先

開講時期：春学期授業/Spring ｜ 曜日・時限：水 5/Wed.5
単位数：1 単位
法文営 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします．

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます．前者は朝鮮語を母語とする教員が，後者は日本語を母語とする教員が，それぞれの特長を生かした授業を行います．またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第 1 課	語基の復習，ピウプ不規則用言
2	第 1 課	「やりもらい」と尊敬語・謙譲語
3	第 2 課	「～している」の２つの形，禁止形
4	第 2 課	長い不可能形，助詞「～に」の用法
5	第 3 課	文中の疑問形，強調表現
6	第 3 課	存在詞と語尾の組み合わせ，方向をあらわす動詞
7	第 4 課	もうひとつの意思・推量形，シオッ不規則用言
8	第 4 課	動詞のこそあどことば，副詞をつくる方法
9	第 5 課	用言の名詞形，「～することはする」
10	第 5 課	いくつかの助詞，「～という」の短縮形
11	第 6 課	動作の反復，推量表現
12	第 6 課	大過去，ヘヨ体の命令形
13	復習	春学期の総復習を行ないます．
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は不要ですが，なるべく復習の時間を多く取ってください．与えられた課題はかならずやるようにしてください．授業中でも家での復習でも，恥ずかしがらずに声を出して読んでみることが，ことばを覚えることにもなり，「話す」第一歩となるのです．
本授業の準備・復習時間は，各 1 時間を標準とします．

【テキスト（教科書）】
共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語〔私家版〕』を用います．

【参考書】
教科書によって文法の説明方式が異なるので，テキストに集中してください．辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします．

【成績評価の方法と基準】
期末テストの成績によります．

【学生の意見等からの気づき】
やむを得ない事情以外での欠席を避けてください．

【その他の重要事項】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」はそれぞれ３クラスあります．リレー授業を行ないますので，指定された組み合わせどおりに履修してください．また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください．

【Outline and objectives】
This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

LANk200LA

朝鮮語３ＡⅡ

2017 年度以降入学者

梁　禮先

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
法文営 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に引き続き，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします．

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます．前者は朝鮮語を母語とする教員が，後者は日本語を母語とする教員が，それぞれの特長を生かした授業を行います．またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第 7 課	「～して」をあらわすふたつの形
2	第 7 課	「～しながら」，指定詞の第Ⅲ語基
3	第 8 課	移動をあらわす合成動詞，用言の「である」形
4	第 8 課	間接話法１，反語表現
5	第 9 課	ハンダ体，間接話法２
6	第 9 課	「～しはじめる」，受身形
7	第 10 課	概数の表現，間接話法と第Ⅲ語基
8	第 10 課	「～について」，「～しやすい／しにくい」
9	第 11 課	手段・状況をあらわす「～して」，理由をあらわす表現
10	第 11 課	各種の濃音化，パンマル疑問文のもうひとつの形
11	第 12 課	「～と思う／考える」，「～して」の話しことば
12	第 12 課	「やりもらい」の間接話法，助詞の尊敬形
13	復習	春学期の総復習を行ないます．
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は不要ですが，なるべく復習の時間を多く取ってください．与えられた課題はかならずやるようにしてください．授業中でも家での復習でも，恥ずかしがらずに声を出して読んでみることが，ことばを覚えることにもなり，「話す」第一歩となるのです．
本授業の準備・復習時間は，各 1 時間を標準とします．

【テキスト（教科書）】
共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語〔私家版〕』を用います．

【参考書】
教科書によって文法の説明方式が異なるので，テキストに集中してください．辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典)』をお薦めします．

【成績評価の方法と基準】
期末テストの成績によります．

【学生の意見等からの気づき】
やむを得ない事情以外での欠席を避けてください．

【その他の重要事項】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」はそれぞれ３クラスあります．リレー授業を行ないますので，指定された組み合わせどおりに履修してください．また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください．

【Outline and objectives】
This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

LANk200LA

朝鮮語３ＢⅠ

2017 年度以降入学者

富所　明秀

開講時期：春学期授業/Spring ｜ 曜日・時限：月 2/Mon.2
単位数：1 単位
法 2 年 A～I

【授業の概要と目的（何を学ぶか)】
１年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に,「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします．

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業は時間内に課題を解き，それを提出してもらいます．オンライン授業も実施する方向で考えています．その際はグーグルハンドアウトミート（以下 meet とします）を使いますので，私からの meet の招待状が自分の大学のメールアドレスに届いているか確認してください．オンラインに接続ができない場合でもメールで課題を流しますのでそれを受け取って指示に従って解き，提出してください．授業開始日は４月２７日です．オンラインは５月４日からになります．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	語基の復習その１	語基のプリント（前半）で復習
2	語基の復習その２	語基のプリント（後半）で復習
3	練習問題と聞き取り	語基の練習問題 天気予報の聞き取り，翻訳
4	TOPIK Ⅰ　リスニング 間接話法その１	リスニングの練習， 間接話法その１
5	TOPIK Ⅰ　リスニング 間接話法その２	リスニングの解説 間接話法その２
6	TOPIK Ⅰ読解 間接話法その３	読解 間接話法その３
7	TOPIK Ⅰ読解　解説 間接話法その４	読解　解説 間接話法その４
8	ニュース記事リスニング，翻訳課題①	ニュース記事の聞き取り，翻訳
9	翻訳課題①の解説 発音チェック 翻訳課題②	翻訳課題の解説 発音チェック
10	翻訳課題②解説 発音チェック 翻訳課題③	翻訳課題の解説 発音チェック
11	翻訳課題③解説 発音チェック 翻訳課題④	翻訳課題の解説 発音チェック
12	質問受付	質問受付
13	質問受付	質問受付
14	質問受付	質問受付

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
課題は必ず解いて提出してください．９回目～１１回目の授業で一人ずつ発音のチェックをします．詳しくはメールでお知らせします．

【テキスト（教科書）】
授業で配布します．

【参考書】
『コスモス朝和辞典』，白水社

【成績評価の方法と基準】
出席，課題提出，発音チェック

【学生の意見等からの気づき】
CD の活用

【Outline and objectives】
It aims to comprehensively improve each ability of "reading, writing, listening, talking" on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

LANk200LA

朝鮮語３ＢⅡ

2017 年度以降入学者

富所　明秀

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 A～I

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に引き続き，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします．

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業の初めに毎回小テストを実施します．
教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き，音読と聞き取りをおこないます．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第６課	疑問詞の不定詞的用法他
2	第６課	大過去形他
3	第６課	ヘヨ体の命令形他
4	第７課	「～して」をあらわすふたつの形
5	第７課	「～しながら」，指定詞の第Ⅲ語基
6	中間試験	中間試験
7	第８課	移動をあらわす合成動詞，用言の「である」形
8	第８課	間接話法１，反語表現
9	第９課	ハンダ体，間接話法２
10	第９課	「～しはじめる」，受身形
11	第１０課	概数の表現，間接話法と第Ⅲ語基
12	第１０課	「～について」，「～しやすい／しにくい」
13	秋学期のまとめ	秋学期のまとめ
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習の必要はありませんが，毎回小テストを実施しますので必ず復習してください．
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業で配布します．

【参考書】
『コスモス朝和辞典』，白水社

【成績評価の方法と基準】
小テスト２０％
中間試験４０％
期末試験４０％

【学生の意見等からの気づき】
CD の活用

【Outline and objectives】
Continuing from the spring semester, it aims to comprehensively improve each ability of "Reading, Writing, Listening, Talking".

LANk200LA

朝鮮語３ＢⅠ

2017 年度以降入学者

李　英美

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：**1 単位**
文 2 年 A～L

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
このクラスでは基本文型の例文を増やし、新しい単語を復習することによって語彙力を養成します。また口頭による発音の直接伝授を繰り返し行います。

【到達目標】
朝鮮語の文法と語彙の知識を確かなものにし、正確な発音を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は５月１１日とし、この日まで具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで掲示する。
(※旧：テキストに沿って毎回１課ずつ進めますが、本文内容の理解を助けるために韓国の文化などを紹介する映像を適宜用います。「授業計画」にあげている各課の「テーマ」を表現するために、「内容」にある文型を学んでいきます。)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	自己紹介	連体形と時制の説明
第 2 回	出会い	用言の縮約形 －してから、－になる・－だろう（か）・だよ・なさい
第 3 回	外国語	－くなる・－すること・－であること
第 4 回	学籍番号	数詞の読み方と発音 －から・ので、－しても・でも・－する・するよ
第 5 回	食べ物	－みたいだ・ようだ・－くて・なので、－できない
第 6 回	学生生活	－けれど（も）・から・のに・ね・か、－できる・できない・－する
第 7 回	小テスト	語彙力の確認
第 8 回	タクシー	－ねばならない・－かも知れない・－するか？・だろうか？
第 9 回	遅刻	－ようだ・そうだ・みたいだ・－していて・する途中で・－し（て）・で
第 10 回	コーヒーショップ	－か？・かな？・かい？ －からだ・ならば、－するが・だが
第 11 回	招待	連体形と不規則用言のまとめ
第 12 回	礼儀	－したところ・したと思ったら・だったが・－する、－だ、－すると・だと・からといって
第 13 回	これまでの復習	－したらすぐ・するままに、－するように・く・に・－してはじめて・してこそ・しなければ
第 14	まとめとテスト	これまでに学習してきたことのまとめと期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
小テストを随時実施するので復習を徹底すること。
テキスト付属のＣＤを毎日１５分ずつ聞くこと。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
書いて覚える中級朝鮮語、高島淑郎、白水社、2005 年、2300 円

【参考書】
身につく韓日・日韓辞典、尹亭仁編、三省堂、2014 年、2860 円

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。
（※旧：小テスト２０％、平常点４０％、期末テスト４０％）

【学生の意見等からの気づき】
板書をきれいにすること。

【学生が準備すべき機器他】
できるだけ辞書を用意すること。

【その他の重要事項】
授業を３分の１以上欠席すると、原則として期末テストは受けられないものとする。
期末テストを受けないと、単位はとれない。

【Outline and objectives】
In this class,we increase vocabulary skills by increasing the example sentences of basic sentense patterns and learning new words. We will repeat the direct pronunciantion of verbal pronunciation repeatedly.

LANk200LA

朝鮮語３ＢⅡ

2017 年度以降入学者

李　英美

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：**1 単位**
文 2 年 A～L

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に続き秋学期を通しては、主に漢数詞と固有数詞・助詞などの品詞の使い方、用言の語尾の基本的変化（現在と過去、普通語と敬語、意志・推量・控え目と命令）について学びます。

【到達目標】
以上の授業内容を用いた基本文型をマスターし、簡単な文が作れることと基礎会話ができることを授業目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は５月１１日とし、この日まで具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで掲示する。
(※旧：テキストに沿って毎回１課ずつ進めます。本文内容の理解を助けるために韓国の文化などを紹介する映像を適宜用います。
「授業計画」にある各課の「テーマ」を表現するために、「内容」にある文型を学んでいきます。)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	露天商	－く見える・－とは・なんて・－いたす
第 2 回	植民地時代	－だろうよ・と思うよ・－として
第 3 回	仲直り	－ことで・で・－するならば・ならば・－しようかと思う・だろうかという
第 4 回	寝不足	－するのかと・のかと・－しようってば
第 5 回	ぞんざいな言葉	－するのか・なのか・－よ・さ・なの？・なのか？
第 6 回	占い	－することは～する・であることは～である・－することができる・できない・－であり得る・であり得ない・－するって・だって
第 7 回	俗語	－ね・な・－しに
第 8 回	小テスト	「語彙力のテスト」
第 9 回	思い出	－よ・ね・だったよ・だったね・－して・で
第 10 回	ベトナム	－しろって（さ）・するからって（さ）・かって（さ）・しようって（さ）
第 11 回	準備	－でも・－するつもりだから・だろうから・するはずだから・するから
第 12 回	軍隊	－するのか・なのか・－することになる・になる
第 13 回	日記	短い文の日本語訳、朗読
第 14 回	まとめとテスト	これまでに学習してきたことのまとめと期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
小テストを随時実施するので復習を徹底してください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
書いて覚える中級朝鮮語、高島淑郎、白水社、2005 年、2300 円

【参考書】
身につく韓日・日韓辞典、尹亭仁編、三省堂、2014 年、2860 円

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。
（※旧：小テスト２０％、平常点４０％、期末テスト４０％）

【学生の意見等からの気づき】
板書をきれいに書くこと。

【学生が準備すべき機器他】
なし

【その他の重要事項】
授業を３分の１以上欠席すると期末テストは受けられ合いものとする。
期末テストを受けないと単位はとれない。

【Outline and objectives】
In the fall semester, we mainly learn Chinese numerals and unique numerals, and learn about the use of verbs.

LANk200LA

朝鮮語３ＢⅠ

2017 年度以降入学者

新谷　あゆり

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**1 単位**
文 2 年 P～X

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書けるようにする。
学生の様子を見て内容を適宜変更する。

【到達目標】
語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。
native speaker（韓国人留学生・中国人朝鮮族など）と簡単な会話ができるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
4 月 23 日授業開始
　A　1 － 3 週は教員から音声ファイル、文書ファイルを提供する予定。
各自のペースで学習を進めてほしい。
１学習支援システム → 授業名 → 教材から、音声ファイル・文書ファイルをダウンロードする。
２音声解説を聞きながら、文書ファイルを見て声を出して練習をする。そこに提示されている課題を行う。
３学習支援システム → 授業名 → 課題から、締め切りまでに課題を提出する。
課題の例：字・単語を書く、翻訳する、文章を完成させる → 写真を撮って画像ファイルを添付して送る（あるいは文書ファイルにして添付して送る）。本文を暗唱して録音して添付して送る。など
４教員から課題物は返却されないが、共通の気をつけるべきポイントなどは翌週に提示する。
数週間は課題提出をもって出席とみなす。
授業支援システムにアクセスしにくい状態が続く場合は、グーグルクラスルームに移行するので、お知らせを確認すること。
B　3 週目以降はテレビ会議システムなどを使い実際に授業時間に顔を見ながら授業を行いたいが、学生の wifi 環境なども確認してから考えたい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	一年次の復習　第 1 課 文型・会話練習	自己紹介
2	第 1 課 文型・会話練習 CM 聞き取り	ましょうか・てください
3	第 1・2 課 読解	ましょう・たい、たがる・から、てくて
4	第 2 課	ウ不規則活用・できない
5	第 2 課 文型・会話練習	ことにする・電話番号
6	第 3 課 文型・会話練習 歌	ば、たら、と

7	第 3 課 文型・会話練習	てみる・ますね、ですね
8	第 3・4 課 文型・会話練習	連体形
9	第 4 課 文型・会話練習	ようと・ばいい
10	第 4 課 文型・会話練習	でしょうか、ましょうか・んですよ
11	韓国人留学生との会話	ネイティブと朝鮮語で 100 分会話する
	あるいは 第 4 課 読解 文型・会話練習	たあと・ますよ、ますからね
12	第 4 課 読解 文型・会話練習 あるいは期末試験	たあと・ますよ、ますからね

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。
辞書を使って読解プリントを訳してくること。
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。
暗唱して録音すること。
本授業の準備、復習時間は 1 時間を要する。

【テキスト（教科書）】
『韓国語を学ぼう　中級』李昌圭　朝日出版社 2300 円+税

【参考書】
朝鮮語辞書　小学館　など

【成績評価の方法と基準】
課題 70 %、平常点/テスト 30 %の予定
欠席 4 回＝課題未提出 4 回は落第
状況によって変更する可能性がある。

【学生の意見等からの気づき】
エンタメに興味がある学生が多いので取り上げます。韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので状況が許せば行う予定です。

【Outline and objectives】
This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. It aims to enhance overall Korean.

LANk200LA

朝鮮語３ＢⅡ

2017 年度以降入学者

新谷　あゆり

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**1 単位**
文 2 年 P～X

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書けるようにする。
学生の様子を見て内容を適宜変更する。

【到達目標】
native speaker（韓国人留学生・中国朝鮮族留学生など）と簡単な会話ができるようになる。
語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。
辞書を引きながらまとまった文章を読めるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
1 単語と文型を予習する。
2 文型練習をする。
3 会話練習をする。
4 自宅で作文、暗誦、読解の宿題をする。
5 暗唱と作文の小テスト。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習 第 5 課 文型・会話練習	夏休みの話 が、けれども・シオッ不規則活用
2	第 5 課 読解 文型・会話練習	ことができる・しない
3	第 6 課 文型・会話練習	するつもりです・でも
4	第 6 課 歌	ながら・まだしていな・にくい
5	第 6 課 文型・会話練習	するようだ・しそうだ
6	第 7 課 文型・会話練習	いようだ（推測）・そうだ（伝聞）
7	第 7 課 文型・会話練習	ますか（意志）・くなる
8	第 7・8 課 読解 文型・会話練習	仕方を知っている・したことがある・ティグッ不規則活用
9	第 8 課 文型・会話練習	するから (意思)・ばいいと思う
10	韓国人留学生との会話	ネイティブと 100 分会話する
11	第 8 課 文型・会話練習	ていて、する途中で
12	第 9 課 文型・会話練習	なければならない・てはいけない
13	第 9 課 文型・会話練習 ドラマ	ので・ている、てもいい、ますが
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。
辞書を使って読解プリントを訳してくること。
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。
本授業の準備・復習時間は 1 時間を要する。

【テキスト（教科書）】
『韓国語を学ぼう　中級』李昌圭　朝日出版社　2300+税

【参考書】
朝鮮語辞典　小学館　等

【成績評価の方法と基準】
テスト 50 %、課題 25 %、平常点 25 %
欠席 4 回、あるいは遅刻 4 回以上は落第

【学生の意見等からの気づき】
韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので今学期も行う予定です。
韓国エンタメに興味がある学生が多いため、授業で教材として取り上げます。

【Outline and objectives】
This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. It aims to enhance overall Korean.

LANk200LA

朝鮮語３ＢⅠ

2017 年度以降入学者

梁　禮先

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
営 2 年 A～H

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
1 年次で学んだ朝鮮語の基礎の定着を図りつつ、それを活用して会話に導いていきます。また、発音にも力をいれて、きれいな発音で自信を持って会話ができるように反復します。

【到達目標】
ハングル検定 4 級のレベルに合わせて、文法、単語、会話に力を入れます。身近な会話ができることが学習到達目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
復習と作文。
読む練習と発音練習。
文法説明。
会話。
練習問題。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	授業の進め方についての説明	授業の進め方についての説明
2 回目	韓国語上手になりましたか?	読むと文型について。
3 回目	韓国語上手になりましたか?	練習問題について。
4 回目	今日の授業は何限までありますか?	読む、文型について。
5 回目	今日の授業は何限までありますか?	練習問題について。
6 回目	趣味は何ですか?	読む、文型について。
7 回目	趣味は何ですか?	文型について。
8 回目	趣味は何ですか?	練習問題について。
9 回目	今日韓国へ来てから一年になりますよね?	読む、文型について。
10 回目	今日韓国へ来てから一年になりますよね?	文型について。
11 回目	今日韓国へ来てから一年になりますよね?	練習問題について。
12 回目	家族は日本にいらっしゃいますよね?	読む、文型について。
13 回目	家族は日本にいらっしゃいますよね?	練習問題について。
14 回目	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
課題。
韓国文化など韓国についての知識。
韓国ドラマや K-POP を活用する。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教室用教材「中級韓国語ーハングル 4 級基準」　梁禮先

【参考書】
韓日・日韓辞典

【成績評価の方法と基準】
平常点（小テスト、課題など）30%、期末試験 70%

【学生の意見等からの気づき】
発音と会話をもっとやることなど。

【学生が準備すべき機器他】
特にありません。

【その他の重要事項】
授業の内容は変わることがある。

【Outline and objectives】
We will make sure to establish a foundation on the content covered in the first year as well as using it to guide the conversation in Korean. We will also pay close attention to pronunciation to be able to confidently have a conversation with correct pronunciation through repetition.

LANk200LA

朝鮮語３ＢⅡ

2017 年度以降入学者

梁　禮先

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
営 2 年 A～H

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に続き、朝鮮語 1・2 で学んだ知識を利用し、実践的な練習を繰り返すことで朝鮮語を確実に身に付けることを目標にします。朝鮮語の会話をもっと自信を持って話すことができることです。

【到達目標】
できれば、希望者はハングル検定 4 級に合格することも目標にしていきたいです。また、日常の簡単的会話ができることです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
秋学期も春学期と同じ方法で、発音練習、作文練習、会話練習、読む練習などを毎回繰り返しながら授業を進めていきますが、もっと会話に力を入れます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	秋学期授業の進め方などについて	春学期の復習と本文の説明。
2 回目	電話について	本文を読んで説明
3 回目	電話について	文法説明など
4 回目	電話について	会話と練習問題
5 回目	夏休みには日本へ帰りますか?	本文を読んで説明
6 回目	夏休みには日本へ帰りますか?	文法の詳しい説明
7 回目	夏休みには日本へ帰りますか?	会話と練習問題
8 回目	語学研修に行こうかと思います	本文を読んで説明。
9 回目	語学研修に行こうかと思います	文法の詳しい説明
10 回目	語学研修に行こうかと思います	会話と練習問題
11 回目	この頃天気がいいですね	本文を読んで説明
12 回目	この頃天気がいいですね	文法の詳しい説明
13 回目	この頃天気がいいですね	会話の練習と練習問題
14 回目	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
作文・会話・ヒアリングの練習など。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教室用教材『中級朝鮮語ーハングル検定 4 級基準』(梁禮先)

【参考書】
「朝鮮語辞書」－朝鮮語の辞書ならどちらのものでも良し。

【成績評価の方法と基準】
平常点（小テスト、課題など）30%、期末試験 70%

【学生の意見等からの気づき】
会話練習をもっとやりたいなど。

【学生が準備すべき機器他】
特にありません。

【その他の重要事項】
授業内容は変わることがあります。

【Outline and objectives】
Following the spring semester, We aim to use the knowledge learned in Korean 1 and 2 to make sure to acquire solid Korean language skills through practice. It is important to have Korean conversations with confidence.

LANk200LA

朝鮮語３ＢⅠ

2017 年度以降入学者

新谷　あゆり

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**1 単位**
営 2 年 J～U

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書けるようにする。
学生の様子を見て内容を適宜変更する。

【到達目標】
語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。
native speaker（韓国人留学生・中国人朝鮮族など）と簡単な会話ができるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
4 月 23 日授業開始
　A　1 － 3 週は教員から音声ファイル、文書ファイルを提供する予定。
各自のペースで学習を進めてほしい。
１学習支援システム → 授業名 → 教材から、音声ファイル・文書ファイルをダウンロードする。
２音声解説を聞きながら、文書ファイルを見て声を出して練習をする。そこに提示されている課題を行う。
３学習支援システム → 授業名 → 課題から、締め切りまでに課題を提出する。
課題の例：字・単語を書く、翻訳する、文章を完成させる → 写真を撮って画像ファイルを添付して送る（あるいは文書ファイルにして添付して送る）。本文を暗唱して録音して添付して送る。など
４教員から課題物は返却されないが、共通の気をつけるべきポイントなどは翌週に提示する。
数週間は課題提出をもって出席とみなす。
授業支援システムにアクセスしにくい状態が続く場合は、グーグルクラスルームに移行するので、お知らせを確認すること。
B　3 週目以降はテレビ会議システムなどを使い実際に授業時間に顔を見ながら授業を行いたいが、学生の wifi 環境なども確認してから考えたい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	一年次の復習　第 1 課 文型・会話練習	自己紹介
2	第 1 課 文型・会話練習 CM 聞き取り	ましょうか・てください
3	第 1・2 課 読解	ましょう・たい、たがる・から、てくて
4	第 2 課	ウ不規則活用・できない
5	第 2 課 文型・会話練習	ことにする・電話番号
6	第 3 課 文型・会話練習 歌	ば、たら、と

7	第 3 課 文型・会話練習	てみる・ますね、ですね
8	第 3・4 課 文型・会話練習	連体形
9	第 4 課 文型・会話練習	ようと・ばいい
10	第 4 課 文型・会話練習	でしょうか、ましょうか・んですよ
11	韓国人留学生との会話	ネイティブと朝鮮語で 100 分会話する
	あるいは 第 4 課 読解 文型・会話練習	たあと・ますよ、ますからね
12	第 4 課 読解 文型・会話練習 あるいは期末試験	たあと・ますよ、ますからね

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。
辞書を使って読解プリントを訳してくること。
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。
暗唱して録音すること。
本授業の準備、復習時間は 1 時間を要する。

【テキスト（教科書）】
『韓国語を学ぼう　中級』李昌圭　朝日出版社 2300 円+税

【参考書】
朝鮮語辞書　小学館　など

【成績評価の方法と基準】
課題 70 %、平常点/テスト 30 %の予定
欠席 4 回＝課題未提出 4 回は落第
状況によって変更する可能性がある。

【学生の意見等からの気づき】
エンタメに興味がある学生が多いので取り上げます。韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので状況が許せば行う予定です。

【Outline and objectives】
This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. It aims to enhance overall Korean.

LANk200LA

朝鮮語３ＢⅡ

2017 年度以降入学者

新谷　あゆり

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**1 単位**
営 2 年 J～U

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書けるようにする。
学生の様子を見て内容を適宜変更する。

【到達目標】
native speaker（韓国人留学生・中国朝鮮族留学生など）と簡単な会話ができるようになる。
語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。
辞書を引きながらまとまった文章を読めるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
1 単語と文型を予習する。
2 文型練習をする。
3 会話練習をする。
4 自宅で作文、暗誦、読解の宿題をする。
5 暗唱と作文の小テスト。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習 第 5 課 文型・会話練習	夏休みの話 が、けれども・シオッ不規則活用
2	第 5 課 読解 文型・会話練習	ことができる・しない
3	第 6 課 文型・会話練習	するつもりです・でも
4	第 6 課 歌	ながら・まだしていな・にくい
5	第 6 課 文型・会話練習	するようだ・しそうだ
6	第 7 課 文型・会話練習	いようだ（推測）・そうだ（伝聞）
7	第 7 課 文型・会話練習	ますか（意志）・くなる
8	第 7・8 課 読解 文型・会話練習	仕方を知っている・したことがある・ティグッ不規則活用
9	第 8 課 文型・会話練習	するから (意思)・ばいいと思う
10	韓国人留学生との会話	ネイティブと 100 分会話する
11	第 8 課 文型・会話練習	ていて、する途中で
12	第 9 課 文型・会話練習	なければならない・てはいけない
13	第 9 課 文型・会話練習 ドラマ	ので・ている、てもいい、ますが
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。
辞書を使って読解プリントを訳してくること。
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。
本授業の準備・復習時間は 1 時間を要する。

【テキスト（教科書）】
『韓国語を学ぼう　中級』李昌圭　朝日出版社　2300+税

【参考書】
朝鮮語辞典　小学館　等

【成績評価の方法と基準】
テスト 50 %、課題 25 %、平常点 25 %
欠席 4 回、あるいは遅刻 4 回以上は落第

【学生の意見等からの気づき】
韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので今学期も行う予定です。
韓国エンタメに興味がある学生が多いため、授業で教材として取り上げます。

【Outline and objectives】
This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. It aims to enhance overall Korean.

LANk200LA

朝鮮語３ＢⅠ

2017 年度以降入学者

梁　禮先

開講時期：春学期授業/Spring ｜ 曜日・時限：木 2/Thu.2
単位数：1 単位
法 2 年 J～W

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
1 年次で学んだ朝鮮語の基礎の定着を図りつつ、それを活用して会話に導いていきます。また、発音にも力をいれて、きれいな発音で自信を持って会話ができるように反復します。

【到達目標】
ハングル検定 4 級のレベルに合わせて、文法、単語、会話に力を入れます。身近な会話ができることが学習到達目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
復習と作文。
読む練習と発音練習。
文法説明。
会話。
練習問題。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	授業の進め方についての説明	授業の進め方についての説明
2 回目	韓国語上手になりましたか?	読むと文型について。
3 回目	韓国語上手になりましたか?	練習問題について。
4 回目	今日の授業は何限までありますか?	読む、文型について。
5 回目	今日の授業は何限までありますか?	練習問題について。
6 回目	趣味は何ですか?	読む、文型について。
7 回目	趣味は何ですか?	文型について。
8 回目	趣味は何ですか?	練習問題について。
9 回目	今日韓国へ来てから一年になりますよね?	読む、文型について。
10 回目	今日韓国へ来てから一年になりますよね?	文型について。
11 回目	今日韓国へ来てから一年になりますよね?	練習問題について。
12 回目	家族は日本にいらっしゃいますよね?	読む、文型について。
13 回目	家族は日本にいらっしゃいますよね?	練習問題について。
14 回目	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
課題。
韓国文化など韓国についての知識。
韓国ドラマや K-POP を活用する。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教室用教材「中級韓国語ーハングル 4 級基準」　梁禮先

【参考書】
韓日・日韓辞典

【成績評価の方法と基準】
平常点（小テスト、課題など）30%、期末試験 70%

【学生の意見等からの気づき】
発音と会話をもっとやることなど。

【学生が準備すべき機器他】
特にありません。

【その他の重要事項】
授業の内容は変わることがある。

【Outline and objectives】
We will make sure to establish a foundation on the content covered in the first year as well as using it to guide the conversation in Korean. We will also pay close attention to pronunciation to be able to confidently have a conversation with correct pronunciation through repetition.

LANk200LA

朝鮮語３ＢⅡ

2017 年度以降入学者

梁　禮先

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 J〜W

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に続き、朝鮮語 1・2 で学んだ知識を利用し、実践的な練習を繰り返すことで朝鮮語を確実に身に付けることを目標にします。朝鮮語の会話をもっと自信を持って話すことができることです。

【到達目標】
できれば、希望者はハングル検定 4 級に合格することも目標にしていきたいです。また、日常の簡単的会話ができることです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
秋学期も春学期と同じ方法で、発音練習、作文練習、会話練習、読む練習などを毎回繰り返しながら授業を進めていきますが、もっと会話に力を入れます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	秋学期授業の進め方などについて	春学期の復習と本文の説明。
2 回目	電話について	本文を読んで説明
3 回目	電話について	文法の詳しい説明
4 回目	電話について	会話と練習問題
5 回目	夏休みには日本へ帰りますか?	本文を読んで説明
6 回目	夏休みには日本へ帰りますか?	文法の詳しい説明
7 回目	夏休みには日本へ帰りますか?	会話と練習問題
8 回目	語学研修に行こうかと思います	本文を読んで説明。
9 回目	語学研修に行こうかと思います	文法の詳しい説明
10 回目	語学研修に行こうかと思います	会話練習と練習問題
11 回目	この頃天気がいいですね	本文を読んで説明
12 回目	この頃天気がいいですね	文法の詳しい説明
13 回目	この頃天気がいいですね	会話と練習問題
14 回目	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
作文・会話・ヒアリングの練習など。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教室用教材『中級朝鮮語ーハングル検定 4 級基準』(梁禮先)

【参考書】
「朝鮮語辞書」－朝鮮語の辞書ならどちらのものでも良し。

【成績評価の方法と基準】
平常点（小テスト、課題など）30%、期末試験 70%

【学生の意見等からの気づき】
会話練習をもっとやりたいなど。

【学生が準備すべき機器他】
特にありません。

【その他の重要事項】
授業内容は変わることがあります。

【Outline and objectives】
Following the spring semester, We aim to use the knowledge learned in Korean 1 and 2 to make sure to acquire solid Korean language skills through practice. It is important to have Korean conversations with confidence.

LANk200LA

朝鮮語３ＢⅠ

2017 年度以降入学者

富所　明秀

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 1/Tue.1
単位数：**1 単位**
文２年 M・N

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に,「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします.

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業は時間内に課題を解き，それを提出してもらいます．オンライン授業も実施する方向で考えています．その際はグーグルハンドアウトミート（以下 meet とします）を使いますので，私からの meet の招待状が自分の大学のメールアドレスに届いているか確認してください．オンラインに接続ができない場合でもメールで課題を流しますのでそれを受け取って指示に従って解き，提出してください．授業開始日は４月２１日からになります．オンライン授業は４月２８日からになります.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	語基の復習その１	語基のプリント（前半）で復習
2	語基の復習その２	語基のプリント（後半）で復習
3	練習問題と聞き取り	語基の練習問題 天気予報の聞き取り，翻訳
4	TOPIK Ⅰ　リスニング 間接話法その１	リスニングの練習， 間接話法その１
5	TOPIK Ⅰ　リスニング 間接話法その２	リスニングの解説 間接話法その２
6	TOPIK Ⅰ読解 間接話法その３	読解 間接話法その３
7	TOPIK Ⅰ読解　解説 間接話法その４	読解　解説 間接話法その４
8	ニュース記事リスニング，翻訳課題①	ニュース記事の聞き取り，翻訳
9	翻訳課題①の解説 発音チェック 翻訳課題②	翻訳課題の解説 発音チェック
10	翻訳課題②解説 発音チェック 翻訳課題③	翻訳課題の解説 発音チェック
11	翻訳課題③解説 発音チェック 翻訳課題④	翻訳課題の解説 発音チェック
12	質問受付	質問受付
13	質問受付	質問受付
14	質問受付	質問受付

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
課題は必ず解いて提出してください．９回目～１１回目の授業で一人ずつ発音のチェックをします．詳しくはメールでお知らせします．

【テキスト（教科書）】
授業で配布します．

【参考書】
『コスモス朝和辞典』，白水社

【成績評価の方法と基準】
出席，課題提出，発音チェック

【学生の意見等からの気づき】
CD の活用

【Outline and objectives】
It aims to comprehensively improve each ability of "reading, writing, listening, talking" on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

LANk200LA

朝鮮語３ＢⅡ

2017 年度以降入学者

富所　明秀

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 1/Tue.1
単位数：**1 単位**
文２年 M・N

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に引き続き，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします．

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業の初めに毎回小テストを実施します．
教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き，音読と聞き取りをおこないます．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第６課	疑問詞の不定詞的用法他
2	第６課	大過去形他
3	第６課	ヘヨ体の命令形他
4	第７課	「～して」をあらわすふたつの形
5	第７課	「～しながら」，指定詞の第Ⅲ語基
6	中間試験	中間試験
7	第８課	移動をあらわす合成動詞，用言の「である」形
8	第８課	間接話法１，反語表現
9	第９課	ハンダ体，間接話法２
10	第９課	「～しはじめる」，受身形
11	第１０課	概数の表現，間接話法と第Ⅲ語基
12	第１０課	「～について」，「～しやすい／しにくい」
13	秋学期のまとめ	秋学期のまとめ
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習の必要はありませんが，毎回小テストを実施しますので必ず復習してください．
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業で配布します．

【参考書】
『コスモス朝和辞典』, 白水社

【成績評価の方法と基準】
小テスト２０％
中間試験４０％
期末試験４０％

【学生の意見等からの気づき】
CD の活用

【Outline and objectives】
Continuing from the spring semester, it aims to comprehensively improve each ability of "Reading, Writing, Listening, Talking".

LANk200LA

朝鮮語４ＡⅠ

2017 年度以降入学者

内山　政春

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
法文営 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします．

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます．前者は朝鮮語を母語とする教員が，後者は日本語を母語とする教員が，それぞれの特長を生かした授業を行います．またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第 1 課	語基の復習，ピウプ不規則用言
2	第 1 課	「やりもらい」と尊敬語・謙譲語
3	第 2 課	「～している」の２つの形，禁止形
4	第 2 課	長い不可能形，助詞「～に」の用法
5	第 3 課	文中の疑問形，強調表現
6	第 3 課	存在詞と語尾の組み合わせ，方向をあらわす動詞
7	第 4 課	もうひとつの意思・推量形，シオッ不規則用言
8	第 4 課	動詞のこそあどことば，副詞をつくる方法
9	第 5 課	用言の名詞形，「～することはする」
10	第 5 課	いくつかの助詞，「～という」の短縮形
11	第 6 課	動作の反復，推量表現
12	第 6 課	大過去，ヘヨ体の命令形
13	復習	春学期の総復習を行ないます．
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は不要ですが，なるべく復習の時間を多く取ってください．与えられた課題はかならずやるようにしてください．授業中でも家での復習でも，恥ずかしがらずに声を出して読んでみることが，ことばを覚えることにもなり，「話す」第一歩となるのです．
本授業の準備・復習時間は，各 1 時間を標準とします．

【テキスト（教科書）】
共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語〔私家版〕』を用います．

【参考書】
教科書によって文法の説明方式が異なるので，テキストに集中してください．辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします．

【成績評価の方法と基準】
期末テストの成績によります．

【学生の意見等からの気づき】
やむを得ない事情以外での欠席を避けてください．

【その他の重要事項】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」はそれぞれ３クラスあります．リレー授業を行ないますので，指定された組み合わせどおりに履修してください．また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください．

【Outline and objectives】
This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

LANk200LA

朝鮮語４ＡⅡ

2017 年度以降入学者

内山　政春

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
法文営 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に引き続き，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします．

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます．前者は朝鮮語を母語とする教員が，後者は日本語を母語とする教員が，それぞれの特長を生かした授業を行います．またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第 7 課	「～して」をあらわすふたつの形
2	第 7 課	「～しながら」，指定詞の第Ⅲ語基
3	第 8 課	移動をあらわす合成動詞，用言の「である」形
4	第 8 課	間接話法１，反語表現
5	第 9 課	ハンダ体，間接話法２
6	第 9 課	「～しはじめる」，受身形
7	第 10 課	概数の表現，間接話法と第Ⅲ語基
8	第 10 課	「～について」，「～しやすい／しにくい」
9	第 11 課	手段・状況をあらわす「～して」，理由をあらわす表現
10	第 11 課	各種の濃音化，パンマル疑問文のもうひとつの形
11	第 12 課	「～と思う／考える」，「～して」の話しことば
12	第 12 課	「やりもらい」の間接話法，助詞の尊敬形
13	復習	春学期の総復習を行ないます．
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は不要ですが，なるべく復習の時間を多く取ってください．与えられた課題はかならずやるようにしてください．授業中でも家での復習でも，恥ずかしがらずに声を出して読んでみることが，ことばを覚えることにもなり，「話す」第一歩となるのです．
本授業の準備・復習時間は，各 1 時間を標準とします．

【テキスト（教科書）】
共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語〔私家版〕』を用います．

【参考書】
教科書によって文法の説明方式が異なるので，テキストに集中してください．辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします．

【成績評価の方法と基準】
期末テストの成績によります．

【学生の意見等からの気づき】
やむを得ない事情以外での欠席を避けてください．

【その他の重要事項】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」はそれぞれ３クラスあります．リレー授業を行ないますので，指定された組み合わせどおりに履修してください．また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください．

【Outline and objectives】
This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

LANk200LA

朝鮮語４ＡⅠ

2017 年度以降入学者

内山　政春

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**1 単位**
法文営 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします．

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます．前者は朝鮮語を母語とする教員が，後者は日本語を母語とする教員が，それぞれの特長を生かした授業を行います．またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第 1 課	語基の復習，ピウプ不規則用言
2	第 1 課	「やりもらい」と尊敬語・謙譲語
3	第 2 課	「～している」の２つの形，禁止形
4	第 2 課	長い不可能形，助詞「～に」の用法
5	第 3 課	文中の疑問形，強調表現
6	第 3 課	存在詞と語尾の組み合わせ，方向をあらわす動詞
7	第 4 課	もうひとつの意思・推量形，シオッ不規則用言
8	第 4 課	動詞のこそあどことば，副詞をつくる方法
9	第 5 課	用言の名詞形，「～することはする」
10	第 5 課	いくつかの助詞，「～という」の短縮形
11	第 6 課	動作の反復，推量表現
12	第 6 課	大過去，ヘヨ体の命令形
13	復習	春学期の総復習を行ないます．
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は不要ですが，なるべく復習の時間を多く取ってください．与えられた課題はかならずやるようにしてください．授業中でも家での復習でも，恥ずかしがらずに声を出して読んでみることが，ことばを覚えることにもなり，「話す」第一歩となるのです．
本授業の準備・復習時間は，各 1 時間を標準とします．

【テキスト（教科書）】
共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語〔私家版〕』を用います．

【参考書】
教科書によって文法の説明方式が異なるので，テキストに集中してください．辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします．

【成績評価の方法と基準】
期末テストの成績によります．

【学生の意見等からの気づき】
やむを得ない事情以外での欠席を避けてください．

【その他の重要事項】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」はそれぞれ３クラスあります．リレー授業を行ないますので，指定された組み合わせどおりに履修してください．また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください．

【Outline and objectives】
This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

LANk200LA

朝鮮語４ＡⅡ

2017 年度以降入学者

内山　政春

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**1 単位**
法文営 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に引き続き，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします．

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます．前者は朝鮮語を母語とする教員が，後者は日本語を母語とする教員が，それぞれの特長を生かした授業を行います．またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第 7 課	「～して」をあらわすふたつの形
2	第 7 課	「～しながら」，指定詞の第Ⅲ語基
3	第 8 課	移動をあらわす合成動詞，用言の「である」形
4	第 8 課	間接話法１，反語表現
5	第 9 課	ハンダ体，間接話法２
6	第 9 課	「～しはじめる」，受身形
7	第 10 課	概数の表現，間接話法と第Ⅲ語基
8	第 10 課	「～について」，「～しやすい／しにくい」
9	第 11 課	手段・状況をあらわす「～して」，理由をあらわす表現
10	第 11 課	各種の濃音化，パンマル疑問文のもうひとつの形
11	第 12 課	「～と思う／考える」，「～して」の話しことば
12	第 12 課	「やりもらい」の間接話法，助詞の尊敬形
13	復習	春学期の総復習を行ないます．
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は不要ですが，なるべく復習の時間を多く取ってください．与えられた課題はかならずやるようにしてください．授業中でも家での復習でも，恥ずかしがらずに声を出して読んでみることが，ことばを覚えることにもなり，「話す」第一歩となるのです．
本授業の準備・復習時間は，各 1 時間を標準とします．

【テキスト（教科書）】
共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語〔私家版〕』を用います．

【参考書】
教科書によって文法の説明方式が異なるので，テキストに集中してください．辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします．

【成績評価の方法と基準】
期末テストの成績によります．

【学生の意見等からの気づき】
やむを得ない事情以外での欠席を避けてください．

【その他の重要事項】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」はそれぞれ３クラスあります．リレー授業を行ないますので，指定された組み合わせどおりに履修してください．また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください．

【Outline and objectives】
This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

LANk200LA

朝鮮語４ＡⅠ

2017 年度以降入学者

内山　政春

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
法文営 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします．

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます．前者は朝鮮語を母語とする教員が，後者は日本語を母語とする教員が，それぞれの特長を生かした授業を行います．またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第 1 課	語基の復習，ピウプ不規則用言
2	第 1 課	「やりもらい」と尊敬語・謙譲語
3	第 2 課	「～している」の２つの形，禁止形
4	第 2 課	長い不可能形，助詞「～に」の用法
5	第 3 課	文中の疑問形，強調表現
6	第 3 課	存在詞と語尾の組み合わせ，方向をあらわす動詞
7	第 4 課	もうひとつの意思・推量形，シオッ不規則用言
8	第 4 課	動詞のこそあどことば，副詞をつくる方法
9	第 5 課	用言の名詞形，「～することはする」
10	第 5 課	いくつかの助詞，「～という」の短縮形
11	第 6 課	動作の反復，推量表現
12	第 6 課	大過去，ヘヨ体の命令形
13	復習	春学期の総復習を行ないます．
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は不要ですが，なるべく復習の時間を多く取ってください．与えられた課題はかならずやるようにしてください．授業中でも家での復習でも，恥ずかしがらずに声を出して読んでみることが，ことばを覚えることにもなり，「話す」第一歩となるのです．
本授業の準備・復習時間は，各 1 時間を標準とします．

【テキスト（教科書）】
共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語〔私家版〕』を用います．

【参考書】
教科書によって文法の説明方式が異なるので，テキストに集中してください．辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします．

【成績評価の方法と基準】
期末テストの成績によります．

【学生の意見等からの気づき】
やむを得ない事情以外での欠席を避けてください．

【その他の重要事項】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」はそれぞれ３クラスあります．リレー授業を行ないますので，指定された組み合わせどおりに履修してください．また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください．

【Outline and objectives】
This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

LANk200LA

朝鮮語４ＡⅡ

2017 年度以降入学者

内山　政春

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
法文営 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に引き続き，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします．

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます．前者は朝鮮語を母語とする教員が，後者は日本語を母語とする教員が，それぞれの特長を生かした授業を行います．またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第 7 課	「～して」をあらわすふたつの形
2	第 7 課	「～しながら」，指定詞の第Ⅲ語基
3	第 8 課	移動をあらわす合成動詞，用言の「である」形
4	第 8 課	間接話法１，反語表現
5	第 9 課	ハンダ体，間接話法２
6	第 9 課	「～しはじめる」，受身形
7	第 10 課	概数の表現，間接話法と第Ⅲ語基
8	第 10 課	「～について」，「～しやすい／しにくい」
9	第 11 課	手段・状況をあらわす「～して」，理由をあらわす表現
10	第 11 課	各種の濃音化，パンマル疑問文のもうひとつの形
11	第 12 課	「～と思う／考える」，「～して」の話しことば
12	第 12 課	「やりもらい」の間接話法，助詞の尊敬形
13	復習	春学期の総復習を行ないます．
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は不要ですが，なるべく復習の時間を多く取ってください．与えられた課題はかならずやるようにしてください．授業中でも家での復習でも，恥ずかしがらずに声を出して読んでみることが，ことばを覚えることにもなり，「話す」第一歩となるのです．
本授業の準備・復習時間は，各 1 時間を標準とします．

【テキスト（教科書）】
共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語〔私家版〕』を用います．

【参考書】
教科書によって文法の説明方式が異なるので，テキストに集中してください．辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典)』をお薦めします．

【成績評価の方法と基準】
期末テストの成績によります．

【学生の意見等からの気づき】
やむを得ない事情以外での欠席を避けてください．

【その他の重要事項】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」はそれぞれ３クラスあります．リレー授業を行ないますので，指定された組み合わせどおりに履修してください．また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください．

【Outline and objectives】
This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

LANk200LA

朝鮮語（３）Ｉ

2017 年度以降入学者

新谷　あゆり

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 Y

【授業の概要と目的（何を学ぶか)】
初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書けるようにする。
学生の様子を見て内容を適宜変更する。

【到達目標】
語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。
native speaker（韓国人留学生・中国人朝鮮族など）と簡単な会話ができるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】
4 月 27 日授業開始
　A　1 － 3 週は教員から音声ファイル、文書ファイルを提供する予定。
各自のペースで学習を進めてほしい。
１学習支援システム → 授業名 → 教材から、音声ファイル・文書ファイルをダウンロードする。
２音声解説を聞きながら、文書ファイルを見て声を出して練習をする。そこに提示されている課題を行う。
３学習支援システム → 授業名 → 課題から、締め切りまでに課題を提出する。
課題の例：字・単語を書く、翻訳する、文章を完成させる → 写真を撮って画像ファイルを添付して送る（あるいは文書ファイルにして添付して送る)。本文を暗唱して録音して添付して送る。など
４教員から課題物は返却されないが、共通の気をつけるべきポイントなどは翌週に提示する。
数週間は課題提出をもって出席とみなす。
授業支援システムにアクセスしにくい状態が続く場合は、グーグルクラスルームに移行するので、お知らせを確認すること。
B　3 週目以降はテレビ会議システムなどを使い実際に授業時間に顔を見ながら授業をいたいが、学生の wifi 環境なども確認してから考えたい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	一年次の復習　第 1 課 文型・会話練習	自己紹介
2	第 1 課 文型・会話練習 CM 聞き取り	ましょうか・てください
3	第 1・2 課 読解	ましょう・たい、たがる・から、てくて
4	第 2 課	ウ不規則活用・できない
5	第 2 課 文型・会話練習	ことにする・電話番号
6	第 3 課 文型・会話練習 歌	ば、たら、と
7	第 3 課 文型・会話練習	てみる・ますね、ですね

8	第 3・4 課 文型・会話練習	連体形
9	第 4 課 文型・会話練習	ようと・ばいい
10	第 4 課 文型・会話練習	でしょうか、ましょうか・んですよ
11	韓国人留学生との会話	ネイティブと朝鮮語で 100 分会話する
	あるいは 第 4 課 読解 文型・会話練習	たあと・ますよ、ますからね
12	第 4 課 読解 文型・会話練習 あるいは期末試験	たあと・ますよ、ますからね

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。
辞書を使って読解プリントを訳してくること。
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。
暗唱して録音すること。
本授業の準備、復習時間は 1 時間を要する。

【テキスト（教科書）】
『韓国語を学ぼう　中級』李昌圭　朝日出版社 2300 円+税

【参考書】
朝鮮語辞書　小学館　など

【成績評価の方法と基準】
課題 70 %、平常点/テスト 30 %の予定
欠席 4 回＝課題未提出 4 回は落第
状況によって変更する可能性がある。

【学生の意見等からの気づき】
エンタメに興味がある学生が多いので取り上げます。韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので状況が許せば行う予定です。

【Outline and objectives】
This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. It aims to enhance overall Korean.

LANk200LA

朝鮮語（3）Ⅱ

2017 年度以降入学者

新谷　あゆり

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 Y

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書けるようにする。
学生の様子を見て内容を適宜変更する。

【到達目標】
native speaker（韓国人留学生・中国朝鮮族留学生など）と簡単な会話ができるようになる。
語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。
辞書を引きながらまとまった文章を読めるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】
1 単語と文型を予習する。
2 文型練習をする。
3 会話練習をする。
4 自宅で作文、暗誦、読解の宿題をする。
5 暗唱と作文の小テスト。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習 第 5 課 文型・会話練習	夏休みの話 が、けれども・シオッ不規則活用
2	第 5 課 読解 文型・会話練習	ことができる・しない
3	第 6 課 文型・会話練習	するつもりです・でも
4	第 6 課 歌	ながら・まだしていな・にくい
5	第 6 課 文型・会話練習	するようだ・しそうだ
6	第 7 課 文型・会話練習	いようだ（推測）・そうだ（伝聞）
7	第 7 課 文型・会話練習	ますか（意志）・くなる
8	第 7・8 課 読解 文型・会話練習	仕方を知っている・したことがある・ティグッ不規則活用
9	第 8 課 文型・会話練習	するから (意思)・ばいいと思う
10	韓国人留学生との会話	ネイティブと 100 分会話する
11	第 8 課 文型・会話練習	ていて、する途中で
12	第 9 課 文型・会話練習	なければならない・てはいけない
13	第 9 課 文型・会話練習 ドラマ	ので・ている、てもいい、ますが
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。
辞書を使って読解プリントを訳してくること。
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。
本授業の準備・復習時間は 1 時間を要する。

【テキスト（教科書）】
『韓国語を学ぼう　中級』李昌圭　朝日出版社　2300+税

【参考書】
朝鮮語辞典　小学館　等

【成績評価の方法と基準】
テスト 50 %、課題 25 %、平常点 25 %
欠席 4 回、あるいは遅刻 4 回以上は落第

【学生の意見等からの気づき】
韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので今学期も行う予定です。
韓国エンタメに興味がある学生が多いため、授業で教材として取り上げます。

【Outline and objectives】
This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. It aims to enhance overall Korean.

LANk200LA

朝鮮語７

2017 年度以降入学者

内山　政春

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 1/Wed.1
単位数：**1 単位**
国 2 年 SA

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします.
２年次秋学期の SA に備えます。

【到達目標】
ＳＡに通用する語学力の習得，具体的には韓国外国語大「韓国語文化教育センター」の「３級」に編入できることを目標とします.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
「朝鮮語７」「朝鮮語８」「朝鮮語コミュニケーションⅢ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます．一方でそれぞれの授業で独自の教材も併用します.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	導入	前学期の復習と今学期の方針の説明をします.
2	第 9 課	ハンダ体，間接話法２
3	第 10 課	間接話法と第Ⅲ語基
4	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます.
5	第 11 課	理由をあらわす表現，各種の濃音化
6	第 12 課	「やりもらい」の間接話法，助詞の尊敬形
7	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます.
8	第 13 課	使役形，２ケタの固有数字
9	第 14 課	「～して」のさまざまな用法
10	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます.
11	第 15 課	漢字の読み方，南北のことばの違い
12	第 16 課	話者の体験をあらわす語尾，年月日と週の言い方
13	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます.
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
語彙力を高めるよう自主的に努力してください.
BT20 階の国際文化学部資料室には、検定試験の問題集や、韓国で出版されている各大学の語学テキストなどを多数取り揃えていますので、活用してみましょう。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語〔私家版〕』を用います.

【参考書】
初歩の内容で不十分な箇所があったら、１年次の内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語』（白水社）に立ち返ってください。
さらに進んだ学習には、たとえば白峰子『韓国語文法辞典』（三修社）、韓国国立国語院『韓国語学習者のためのやさしい韓韓辞典』（アルク）などが参考になります。

【成績評価の方法と基準】
期末テストの成績によります.

【学生の意見等からの気づき】
語学の勉強は授業時間内だけで完結するものではありません．日常生活のなかで「朝鮮語ではどう表現するのか？」ということを考える習慣をつけましょう.

【Outline and objectives】
This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

LANk200LA

朝鮮語８

2017 年度以降入学者

内山　政春

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 1/Fri.1
単位数：**1 単位**
国 2 年 SA

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします.
２年次秋学期の SA に備えます。

【到達目標】
ＳＡに通用する語学力の習得，具体的には韓国外国語大「韓国語文化教育センター」の「３級」に編入できることを目標とします.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
「朝鮮語７」「朝鮮語８」「朝鮮語コミュニケーションⅢ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます．一方でそれぞれの授業で独自の教材も併用します.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	導入	前学期の復習と今学期の方針の説明をします.
2	第 9 課	ハンダ体，間接話法２
3	第 10 課	間接話法と第Ⅲ語基
4	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます.
5	第 11 課	理由をあらわす表現，各種の濃音化
6	第 12 課	「やりもらい」の間接話法，助詞の尊敬形
7	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます.
8	第 13 課	使役形，２ケタの固有数字
9	第 14 課	「～して」のさまざまな用法
10	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます.
11	第 15 課	漢字の読み方，南北のことばの違い
12	第 16 課	話者の体験をあらわす語尾，年月日と週の言い方
13	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます.
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
語彙力を高めるよう自主的に努力してください.
BT20 階の国際文化学部資料室には、検定試験の問題集や、韓国で出版されている各大学の語学テキストなどを多数取り揃えていますので、活用してみましょう。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語〔私家版〕』を用います.

【参考書】
初歩の内容で不十分な箇所があったら、１年次の内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語』（白水社）に立ち返ってください。
さらに進んだ学習には、たとえば白峰子『韓国語文法辞典』（三修社）、韓国国立国語院『韓国語学習者のためのやさしい韓韓辞典』（アルク）などが参考になります。

【成績評価の方法と基準】
期末テストの成績によります.

【学生の意見等からの気づき】
語学の勉強は授業時間内だけで完結するものではありません．日常生活のなかで「朝鮮語ではどう表現するのか？」ということを考える習慣をつけましょう.

【Outline and objectives】
This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

LANk200LA

朝鮮語３- Ⅰ

2017 年度以降入学者

新谷　あゆり

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書けるようにする。
学生の様子を見て内容を適宜変更する。

【到達目標】
native speaker（韓国人留学生・中国人朝鮮族など）と簡単な会話ができるようになる。
語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
1 単語と文型を予習する。
2 文型練習をする。
3 会話練習をする。
4 自宅で作文、暗誦、読解の宿題をする。
5 暗唱と作文の小テスト。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	一年次の復習　第 1 課 文型・会話練習	自己紹介
2	第 1 課 文型・会話練習 CM 聞き取り	ましょうか・てください
3	第 1・2 課 読解	ましょう・たい、たがる・から、てくて
4	第 2 課	ウ不規則活用・できない
5	第 2 課 文型・会話練習	ことにする・電話番号
6	第 3 課 文型・会話練習 歌	ば、たら、と
7	第 3 課 文型・会話練習	てみる・ますね、ですね
8	第 3・4 課 文型・会話練習	連体形
9	第 4 課 文型・会話練習	ようと・ばいい
10	第 4 課 文型・会話練習 あるいは 韓国人留学生との会話	でしょうか、ましょうか・んですよ ネイティブと朝鮮語で 100 分会話する
11	第 4 課 読解 文型・会話練習	たあと・ますよ、ますからね
12	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。

辞書を使って読解プリントを訳してくること。
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。
暗唱して録音すること。
本授業の準備、復習時間は 1 時間を要する。

【テキスト（教科書）】
『韓国語を学ぼう　中級』李昌圭　朝日出版社 2300 円+税

【参考書】
朝鮮語辞書　小学館　など

【成績評価の方法と基準】
課題 70 %、平常点/テスト 30 %
欠席 4 回＝課題未提出 4 回は落第
状況によって変更する可能性がある。

【学生の意見等からの気づき】
エンタメに興味がある学生が多いので取り上げます。韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので状況が許せば行う予定です。

【学生が準備すべき機器他】
pc,tablet,smartphone

【Outline and objectives】
This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. It aims to enhance overall Korean.

LANk200LA

朝鮮語３-Ⅱ

2017 年度以降入学者

新谷　あゆり

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書けるようにする。
学生の様子を見て内容を適宜変更する。

【到達目標】
native speaker（韓国人留学生・中国朝鮮族留学生など）と簡単な会話ができるようになる。
語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。
辞書を引きながらまとまった文章を読めるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
1 単語と文型を予習する。
2 文型練習をする。
3 会話練習をする。
4 自宅で作文、暗誦、読解の宿題をする。
5 暗唱と作文の小テスト。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習 第 5 課 文型・会話練習	夏休みの話 が、けれども・シオッ不規則活用
2	第 5 課 読解 文型・会話練習	ことができる・しない
3	第 6 課 文型・会話練習	するつもりです・でも
4	第 6 課 歌	ながら・まだしていな・にくい
5	第 6 課 文型・会話練習	するようだ・しそうだ
6	第 7 課 文型・会話練習	いようだ（推測）・そうだ（伝聞）
7	第 7 課 文型・会話練習	ますか（意志）・くなる
8	第 7・8 課 読解 文型・会話練習	仕方を知っている・したことがある・ティグッ不規則活用
9	第 8 課 文型・会話練習	するから (意思)・ばいいと思う
10	韓国人留学生との会話	ネイティブと 100 分会話する
11	第 8 課 文型・会話練習	ていて、する途中で
12	第 9 課 文型・会話練習	なければならない・てはいけない
13	第 9 課 文型・会話練習 ドラマ	ので・ている、てもいい、ますが
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。
辞書を使って読解プリントを訳してくること。
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。
本授業の準備・復習時間は 1 時間を要する。

【テキスト（教科書）】
『韓国語を学ぼう　中級』李昌圭　朝日出版社　2300+税

【参考書】
朝鮮語辞典　小学館　等

【成績評価の方法と基準】
テスト 50 %、課題 25 %、平常点 25 %
欠席 4 回、あるいは遅刻 4 回以上は落第

【学生の意見等からの気づき】
韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので今学期も行う予定です。
韓国エンタメに興味がある学生が多いため、授業で教材として取り上げます。

【Outline and objectives】
This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. It aims to enhance overall Korean.

LANk200LA

朝鮮語３ＣⅠ　2017 年度以降入学者

LANk200LA

朝鮮語３Ｃ-Ⅰ　2017 年度以降入学者

富所　明秀

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火 4**/Tue.4
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします．

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は時間内に課題を解き，それを提出してもらいます．オンライン授業も実施する方向で考えています．その際はグーグルハンドアウトミート（以下 meet とします）を使いますので，私からの meet の招待状が自分の大学のメールアドレスに届いているか確認してください．オンラインに接続ができない場合でもメールで課題を流しますのでそれを受け取って指示に従って解き，提出してください．
授業開始日は４月２１日からになります．オンライン授業は４月２８日からになります．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	語基の復習その１	語基のプリント（前半）で復習
2	語基の復習その２	語基のプリント（後半）で復習
3	練習問題と聞き取り	語基の練習問題 天気予報の聞き取り，翻訳
4	TOPIK Ⅰ　リスニング 間接話法その１	リスニングの練習， 間接話法その１
5	TOPIK Ⅰ　リスニング 間接話法その２	リスニングの解説 間接話法その２
6	TOPIK Ⅰ読解 間接話法その３	読解 間接話法その３
7	TOPIK Ⅰ読解　解説 間接話法その４	読解　解説 間接話法その４
8	ニュース記事リスニング，翻訳課題①	ニュース記事の聞き取り，翻訳
9	翻訳課題①の解説 発音チェック 翻訳課題②	翻訳課題の解説 発音チェック
10	翻訳課題②解説 発音チェック 翻訳課題③	翻訳課題の解説 発音チェック
11	翻訳課題③解説 発音チェック 翻訳課題④	翻訳課題の解説 発音チェック
12	質問受付	質問受付

13	質問受付	質問受付
14	質問受付	質問受付

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
課題は必ず解いて提出してください．９回目～１１回目の授業で一人ずつ発音のチェックをします．詳しくはメールでお知らせします．

【テキスト（教科書）】
授業で配布します．

【参考書】
『コスモス朝和辞典』，白水社

【成績評価の方法と基準】
出席，課題提出，発音チェック

【学生の意見等からの気づき】
CD の活用

【Outline and objectives】
It aims to comprehensively improve each ability of "reading, writing, listening, talking" on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

LANk200LA

朝鮮語３ＣⅡ

2017 年度以降入学者

富所　明秀

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 4/Tue.4
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2～4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に引き続き，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします．

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業の初めに毎回小テストを実施します．
教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き，音読と聞き取りをおこないます．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第６課	動作の反復，推量表現
2	第６課	大過去形
3	第６課	ヘヨ体の命令形
4	第７課	「～して」をあらわすふたつの形
5	第７課	「～しながら」，指定詞の第Ⅲ語基
6	中間試験	中間試験
7	第８課	移動をあらわす合成動詞，用言の「である」形
8	第８課	間接話法１，反語表現
9	第９課	ハンダ体，間接話法２
10	第９課	「～しはじめる」，受身形
11	第１０課	概数の表現，間接話法と第Ⅲ語基
12	第１０課	「～について」，「～しやすい／しにくい」
13	秋学期のまとめ	秋学期のまとめ
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習の必要はありませんが，毎回小テストを実施しますので必ず復習してください．
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業で配布します．

【参考書】
『コスモス朝和辞典』, 白水社

【成績評価の方法と基準】
小テスト２０％
中間試験４０％
期末試験４０％

【学生の意見等からの気づき】
CD の活用

【Outline and objectives】
Continuing from the spring semester, it aims to comprehensively improve each ability of "Reading, Writing, Listening, Talking".

LANk200LA

朝鮮語４ＢⅠ

2017 年度以降入学者

新谷　あゆり

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
さまざまな映像・音声を通じ、聞く能力・読む能力を向上させる。
語彙・文型・表現の知識を増強する。
韓国人留学生との会話も行う予定。
一定の能力のある学生を対象とします。

【到達目標】
1 韓国の小説・ドラマ・歌・スピーチ・アナウンスなどの聞き取りを通し、音から朝鮮語を理解することに慣れる。
2 スクリプトの翻訳を通じ、語彙・文型・表現を学ぶ。
3 発音練習・暗唱を行うことで自然で美しい発音をめざす。
学生の人数・レベル・ニーズを見て小説・ドラマを適宜変更する。
候補：シークレットガーデン（逆転の女王、二度目の二十歳）

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
4 月 23 日授業開始
人数が多い場合は、選択必修科目のため２，３年生を優先する
　　A　１－２週は教員から音声ファイル、文書ファイルを提供する形で授業を行う。
各自のペースで学習を進めてほしい。
１毎週授業日に学習支援システム → 授業名 → 教材から、音声ファイル・文書ファイルをダウンロードする。
２・音声解説を聞きながら、文書ファイルを見て声を出して練習をする。
・音声を書き取り、翻訳し、発音練習、録音して、課題から提出する。
３学習支援システム → 授業名 → 課題から、締め切りまでに課題を提出すること。
課題の例：音声を聞いて書き取る、翻訳する → 写真を撮って画像ファイルを添付して送る（あるいは文書ファイルにして添付して送る）。暗唱して録音して添付して送る。など
４教員から課題物は返却されないが、共通の気をつけるべきポイントなどは翌週に提示する。
数週間は課題提出をもって出席とみなす。
授業支援システムにアクセスしにくい状態が続く場合は、グーグルクラスルームに移行するので、お知らせを確認すること。
B　３週目以降はテレビ会議システムなどを使い実際に授業時間に顔を見ながら授業を行いたいが、学生の wifi 環境なども確認してから考えたい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	サランバンのお客さんとオモニ　①②	聞き取り スクリプト読解
	会話	文型・表現・発音練習
2	サランバンのお客さんとオモニ　③④	聞き取り スクリプト読解
	シークレットガーデン１	文型・表現・発音練習

3	サランバンのお客さんとオモニ　⑤⑥ シークレットガーデン２	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
4	サランバンのお客さんとオモニ　⑦⑧ シークレットガーデン３	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
5	サランバンのお客さんとオモニ　⑨⑩	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
6	インタビュー聞き取り、歌など 小テスト	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
7	サランバンのお客さんとオモニ　⑪⑫ シークレットガーデン４	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
8	サランバンのお客さんとオモニ　⑬⑭ シークレットガーデン５	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
9	サランバンのお客さんとオモニ　⑮⑯ シークレットガーデン６	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
10	サランバンのお客さんとオモニ　⑰⑱ 小テスト	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
11	留学生との会話 あるいは サランバンのお客さんとオモニ　⑲⑳	韓国人留学生と 100 分会話する 聞き取り 聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
12	サランバンのお客さんとオモニ　最終回 あるいは 期末試験	スクリプト聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
13	課題	課題
14	課題	課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎週、聞き取り・読解・暗記等の課題を行うこと。
本授業の準備・復習時間は各 1 時間を要する。

【テキスト（教科書）】
プリント配布

【参考書】
川口義一監修『耳から入る韓国語１』学研
シークレットガーデン　ＤＶＤ
二度目の二十歳　ＤＶＤ
逆転の女王　ＤＶＤ

【成績評価の方法と基準】
課題提出を重視したい。今のところ課題 70 %、テスト・平常点 30 % 程度と考えているが、今後の社会の変化を見て変更する可能性がある。定期試験については未定。

【学生の意見等からの気づき】
留学生との会話が大変有意義だったという意見が多かったため今学期も留学生との会話の時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】
音声が録音できるもの
pc,tablet、スマホ、wifi 環境

【その他の重要事項】
一定の能力のある学生を対象とします。
課題が多いのでやる気のある学生の受講を希望します。

【Outline and objectives】
This class is designed for intermediate Korean learners. Students watch videos, listen to CDs, and translate scripts. It aims to improve listening comprehension skills and increase vocabulary.

LANk200LA

朝鮮語４ＢⅡ

2017 年度以降入学者

新谷　あゆり

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 **年**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
さまざまな映像・音声を通じ、聞く能力・読む能力を向上させる。語彙・文型・表現の知識を増強する。
韓国人留学生との会話も行う予定。
一定の能力のある学生を対象とします。

【到達目標】
1 韓国のドラマ・歌・ニュース・スピーチなどの聞き取りを通し、音から理解することに慣れる。
2 スクリプトの翻訳を通じ、語彙・文型・表現を学ぶ。
3 発音練習・音読を行うことで自然で美しい発音をめざす。
学生の人数・レベル・ニーズを見てドラマを適宜変更する。
候補：華麗なる遺産（逆転の女王、二度目の二十歳）

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
1 ドラマ・ニュースなどを聞き、日本語訳する。
2 ドラマ・ニュースなどを読み、日本語訳する。
3 文型・表現を学び、発音練習をする。
4 読解・音読等の課題をする。
5 単語や音読・暗唱の小テストをする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	会話　自己紹介 華麗なる遺産１	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
2	華麗なる遺産２ 歌	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
3	華麗なる遺産３ アナウンス	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
4	華麗なる遺産４	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
5	華麗なる遺産５	小テスト 聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
6	アナウンスなど 小テスト	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
7	華麗なる遺産６	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
8	華麗なる遺産７	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習

9	華麗なる遺産８ アナウンス	小テスト 聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
10	華麗なる遺産９ 会話練習 小テスト	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
11	留学生との会話	韓国人留学生と 100 分会話する
12	華麗なる遺産１０	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
13	華麗なる遺産１１ アナウンス	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎週、スクリプト読解・音読・暗唱等の課題を行うこと。
本授業の準備・復習時間は 1 時間を要する。

【テキスト（教科書）】
プリント配布

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
平常点（積極性、課題）50 %、テスト 50 %
３回欠席あるいは遅刻の場合、落第。

【学生の意見等からの気づき】
留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので今学期も会話の時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】
音声が録音できる録音機（スマホも可）

【その他の重要事項】
一定の能力のある学生を対象とします。
課題が多いのでやる気のある学生の受講を希望します。

【Outline and objectives】
This class is designed for intermediate Korean learners. Students watch videos, listen to CDs, and translate scripts. It aims to improve listening comprehension skills and increase vocabulary.

LANk200LA

朝鮮語５ＡＩ

2017 年度以降入学者

吉良　佳奈江

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 3〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、朝鮮語の基礎を身につけた学習者が現代の韓国文学に触れ、辞書を使って一人で読めるようになることを目的とする。短いエッセイから、短編までさまざまな作家の文章を幅広く読むとともに、作品の背景となっている現代の韓国社会や韓国の文化についても考察する。
日本で翻訳されている韓国文学と合わせ授業中に自ら原書のテキストを読むことで、各学習者が好きな韓国文学に出会えることを目標とする。

【到達目標】
1. 書き言葉と間接話法が用いられた朝鮮語の文章を正確に理解することができる
2. エッセイや小説などの様々なジャンルの朝鮮語の文章を、辞書を引きながら読解できる能力を身につける
3. 授業で扱うテキストの内容について議論しながら、韓国の社会問題や韓国文化についての理解を深める

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
指定したエッセイや短編小説を、文法内容や関連語彙を確認しながら読み解いていく。
初回の授業では、韓国文学の文献リストを配布するとともに、韓国文学に関する互いの関心を共有する。
第 2・3 回の授業ではエッセイを題材として、韓国文学を味わう。
第 4 回以降、短編作品を中心に韓国語の文章読解を進める。
授業で取り上げた教材については、原書および同じ作家の日本語で読める作品も紹介し、韓国文学についての知識を深める。
授業の最後に韓国文学に関連し、翻訳書、文学作品を原作とした映画、文学イベントなどをテーマとしてレポートを提出してもらう。（アクティブラーニング課題）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方、韓国文学の文献リストの配布
2	エッセイの講読・ディスカッション（1）	エッセイを読んで、韓国文学への知識を深める
3	エッセイの講読・ディスカッション（2）	エッセイを読んで、韓国文学への知識を深める
4	小説の講読・ディスカッション（1）	小説を読んで、内容について議論する
5	小説の講読・ディスカッション（2）	小説を読んで、内容について議論する
6	小説の講読・ディスカッション（3）	小説を読んで、内容について議論する
7	小説の講読・ディスカッション（4）	小説を読んで、内容について議論する
8	小説の講読・ディスカッション（5）	小説を読んで、内容について議論する

9	小説の講読・ディスカッション（6）	小説を読んで、内容について議論する
10	小説の講読・ディスカッション（7）	小説を読んで、内容について議論する
11	小説の講読・ディスカッション（8）	小説を読んで、内容について議論する
12	小説の講読・ディスカッション（9）	小説を読んで、内容について議論する
13	小説の講読・ディスカッション（10）	小説を読んで、内容について議論する
14	アクティブ・ラーニング　発表	課題・関心の共有

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。指定されたテキストの予習と復習を必ず行うこと。

【テキスト（教科書）】
パク・ミンギュ、チェ・ウニョン、キム・エラン、チャン・ガンミョン、ペク・スリンなど日本でも翻訳されている作家を中心に、エッセイ、短編を扱う。
講読テキスト・参考資料はプリントで配布する。

【参考書】
『完全版　韓国・フェミニズム・日本』斎藤真理子編集　（2019、河出書房新社）
『カステラ』パク・ミンギュ著、ヒョン・ジェフン、斎藤真理子訳　（2014、クレイン）
『どきどき僕の人生』キム・エラン著、きむふな訳　（2013、クオン）
『マイスイートソウル』チョン・イヒョン著、清水由希子訳　（2007、講談社）
『韓国が嫌いで』チャン・ガンミョン著、吉良佳奈江訳　（2020、ころから）
『ショウコの微笑』チェ・ウニョン著、吉川 凪監修、
牧野 美加 、横本 麻矢、小林 由紀 翻訳（2018、クオン）

【成績評価の方法と基準】
平常点（60 %）、宿題（20 %）、レポート課題（20 %）

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【学生が準備すべき機器他】
授業時に講読テキストに関連した朝鮮語の文章を配布し、読解の練習をしてもらう場合もあるため、辞書は必ず持参すること。

【その他の重要事項】
長い文章の講読は少しハードルが高いかもしれませんが、韓国で話題になっている本やエッセイを読むことは、韓国社会や韓国文化に対するより深い理解へとつながります。
初級・中級レベルの朝鮮語の学習を終えてエッセイや小説の読解に挑戦してみたいという学生の他に、韓国に留学したことがあって読解力をもっと高めたいという学生や、文学作品の翻訳に関心がある韓国の留学生の履修も歓迎します。

【Outline and objectives】
In the class, intermediate learners of Korean use dictionaries to read modern Korean literature.
The ultimate goal is to find out what Korean literature each learner likes by reading various Korean textbooks.

LANk200LA

朝鮮語５ＡⅡ

2017 年度以降入学者

吉良　佳奈江

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 3〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、朝鮮語の基礎を身につけた学習者が現代の韓国文学に触れ、辞書を使って一人で読めるようになることを目的とする。短いエッセイから、短編までさまざまな作家の文章を幅広く読むとともに、作品の背景となっている現代の韓国社会や韓国の文化についても考察する。

【到達目標】
1. 書き言葉と間接話法が用いられた朝鮮語の文章を正確に理解することができる
2. エッセイや小説などの様々なジャンルの朝鮮語の文章を、辞書を引きながら読解できる能力を身につける
3. 授業で扱うテキストの内容について議論しながら、韓国の社会問題や韓国文化についての理解を深める

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
指定したエッセイや短編小説を、文法内容や関連語彙を確認しながら読み解いていく。
初回の授業では、春学期に読んだテキストを踏まえて、韓国文学に関する互いの関心を共有する。
第２回以降、短編作品を中心に韓国語の文章読解を進める。
授業で取り上げた教材については、原書および同じ作家の日本語で読める作品も紹介し、韓国文学についての知識を深める。
授業の最後に韓国文学に関連し、翻訳書、文学作品を原作とした映画、文学イベントなどをテーマとしてレポートを提出してもらう。（アクティブラーニング課題）。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション エッセイの講読	関心の共有 エッセイを読んで、内容について議論する
2	小説の講読・ディスカッション（1）	小説を読んで、内容について議論する
3	小説の講読・ディスカッション（2）	小説を読んで、内容について議論する
4	小説の講読・ディスカッション（3）	小説を読んで、内容について議論する
5	小説の講読・ディスカッション（4）	小説を読んで、内容について議論する
6	小説の講読・ディスカッション（5）	小説を読んで、内容について議論する
7	小説の講読・ディスカッション（6）	小説を読んで、内容について議論する
8	小説の講読・ディスカッション（7）	小説を読んで、内容について議論する
9	小説の講読・ディスカッション（8）	小説を読んで、内容について議論する
10	小説の講読・ディスカッション（9）	小説を読んで、内容について議論する

11	小説の講読・ディスカッション（10）	小説を読んで、内容について議論する
12	小説の講読・ディスカッション（11）	小説を読んで、内容について議論する
13	小説の講読・ディスカッション（12）	小説を読んで、内容について議論する
14	アクティブ・ラーニング　発表	課題・関心の共有

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。指定されたテキストの予習と復習を必ず行うこと。

【テキスト（教科書）】
パク・ミンギュ、チェ・ウニョン、キム・エラン、チャン・ガンミョン、ペク・スリンなど日本でも翻訳されている作家を中心に、エッセイ、短編を扱う。
講読テキスト・参考資料はプリントで配布する。

【参考書】
『惨憺たる光』ペク・スリン著、カン・パンファ訳（2019，書肆侃侃房）
『モンスーン』ピョン・ヘヨン著、姜信子訳（2019、白水社）
『遠足』チョン・ソンテ著　小山内園子訳（2018、クオン）
『生姜（センガン）』チョン・ウニョン著、橋本智保訳　（2016、新幹社）
その他、適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
平常点（60 %）、宿題（20 %）、レポート課題（20 %）

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【学生が準備すべき機器他】
授業時に講読テキストに関連した朝鮮語の文章を配布し、読解の練習をしてもらう場合もあるため、辞書は必ず持参すること。

【その他の重要事項】
平常点（60 %）、宿題（20 %）、レポート課題（20 %）

【Outline and objectives】
In the class, intermediate learners of Korean use dictionaries to read modern Korean literature.
The ultimate goal is to find out what Korean literature each learner likes by reading various Korean textbooks.

LANk200LA

朝鮮語５ＢⅠ

2017 年度以降入学者

神谷　丹路

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 3〜4 年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
朝鮮語で「聞く力」「話す力」「読む力」「書く力」の伸長を目指す。これまで学習してきた文法や語彙の定着を図り、簡単な日常会話がスムーズにできるように練習をする。朝鮮韓国の昔話など簡単な読み物を読みながら、伝統文化についての理解も深めたり、時事ニュースに触れ、リスニング力、漢字語の力をつける。中級レベルの新しい語彙、表現を増やし、会話の幅を広げる。中級レベル向けの授業である。

【到達目標】
実際にコミュニケーションの手段として使える朝鮮語の「聞く力」「話す力」を獲得し、また身のまわりの出来事を書いたりできるようにする。自らの体験や考えを朝鮮語で発表できるようにする。言語の背景に広がる文化的社会的な理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は 4 月 24 日とし、この日までに具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。基本的な流れは、以下の通りである。毎回、ウォーミングアップとして、授業のはじめに、身の回りの出来事について、簡単な日常会話を交わす練習をすることで、話すことに慣れていく。その後、昔話や時事ニュースのテキストに沿って、聞く力の伸長、読む力、語彙力のアップを図り、隣国への幅広い理解へとつなげていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・授業の進め方の説明 ・レベルチェック ・自己紹介
2	「アマガエル」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
3	「天女とはごろも」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
4	「トラと干し柿」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
5	「ウサギのさいばん」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
6	「おひさまおつきさま」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
7	「ウサギとトラ」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
8	『時事韓国語』「シェアハウス人気」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
9	『時事韓国語』「無人化加速」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
10	『時事韓国語』「小 1 保護者 10 時出勤」	会話、リスニング、リーディング、内容理解

11	『時事韓国語』「二つの母国語」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
12	『時事韓国語』「高齢者10人に1人認知症」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
13	『時事韓国語』「変わる採用試験場」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
14	学習のまとめ	プレゼンテーション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回、読み物課題を予習すること。毎回、身近な話題について、簡単な日記形式のレポート課題があります。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『KBSニュースで学ぶ時事韓国語』浜之上幸監修、白帝社、2019年、2400円+税。昔話は授業時にプリントを配布。

【参考書】
日韓・韓日辞書。

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことに伴い、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
話すことに抵抗感がなくなるように、簡単な単語を駆使して伝える技術を身に着けられるようにします。

【その他の重要事項】
学生のレベルに合わせ、順序や内容に若干の変更のある場合があります。

【Outline and objectives】
This course deals with Korean intermediate level. It also enhances the development of students' skill in reading, writing, listening and talking.

LANk200LA

朝鮮語５ＢⅡ

2017年度以降入学者

神谷　丹路

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1単位**
法文営国環キ 3〜4年

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
朝鮮語で「聞く力」「話す力」「読む力」「書く力」の伸長を目指す。これまで学習してきた文法や語彙の定着を図り、簡単な日常会話がスムーズにできるように練習をする。朝鮮韓国の昔話など簡単な読み物を読みながら、伝統文化についての理解を深めたり、時事ニュースに触れ、リスニング力、漢字語の力をつける。中級レベルの新しい語彙、表現を増やし、会話の幅を広げる。中級レベル向けの授業である.

【到達目標】
実際にコミュニケーションの手段として使える朝鮮語の「聞く力」「話す力」を獲得し、また身のまわりの出来事を書いたりできるようにする。自らの体験や考えを朝鮮語で発表できるようにする。言語の背景に広がる文化的社会的な理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
毎回、ウォーミングアップとして、授業のはじめに、身の回りの出来事について、簡単な日常会話を交わす練習をする。言葉がすぐ出てくるよう、とにかく話すことに慣れること。その後は、昔話や時事ニュースのテキストに沿って、聞く力の伸長、読む力、語彙力のアップを図り、隣国への幅広い理解へとつなげていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・授業の進め方の説明 ・レベルチェック ・自己紹介
2	「檀君神話」①	会話、リスニング、リーディング、内容理解
3	「檀君神話」②	会話、リスニング、リーディング、内容理解
4	「パンチョギ」①	会話、リスニング、リーディング、内容理解
5	「パンチョギ」②	会話、リスニング、リーディング、内容理解
6	「アワ一粒で嫁をもらった若者」①	会話、リスニング、リーディング、内容理解
7	「アワ一粒で嫁をもらった若者」②	会話、リスニング、リーディング、内容理解
8	『時事韓国語』「BTS、K-POP再燃となるか？」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
9	『時事韓国語』「韓国映画〝タクシー運転手〟」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
10	『時事韓国語』「南北合同チーム初登場」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
11	『時事韓国語』「時代とともに変わる正月番組」	会話、リスニング、リーディング、内容理解

12	『時事韓国語』「ロッテ5連勝中」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
13	『時事韓国語』「ドラマの名所ソウル桂洞」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
14	学習のまとめ	プレゼンテーション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回、読み物課題を予習すること。毎回、身近な話題について、簡単な日記形式のレポート課題があります。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『KBS ニュースで学ぶ時事韓国語』浜之上幸監修、白帝社、2400 円+税。昔話は、プリントを配布。
「

【参考書】
日韓・韓日辞書。

【成績評価の方法と基準】
平常点 80 %、プレゼンテーション 20 %

【学生の意見等からの気づき】
話すことに抵抗感がなくなるように、簡単な単語を駆使して伝える技術を身に着けられるようにします。

【その他の重要事項】
学生のレベルに合わせ、順序や内容に若干の変更のある場合があります。

【Outline and objectives】
This course deals with Korean intermediate level. It also enhances the development of students' skill in reading, writing, listening and talking.

ARSe200LA

朝鮮の文化と社会ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

李　英美

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 **年**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では韓国の映画をとおして朝鮮・韓国の文化と社会全般について学ぶ。
韓国の映画に描かれている韓国社会の特徴や変化を通じて、韓国の文化と社会に対する理解を深めることが授業の目的である。

【到達目標】
様々なテーマを取り扱う韓国映画から韓国・朝鮮の文化と社会について何を読み取るか、その力を養うことが本授業の目標となる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は５月１１日とし、この日まで具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで掲示する。
(※旧：基本的にはテキストの順に沿って進める。
ひとつのテーマについて講義したあとに、２週連続で関連映像の解説上映といった形で進める。毎回授業の最後に解説と映像に対する感想文を書いて提出する。)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の目標と進め方の説明	授業の目的と進め方について説明し、テキストや参考書の使い方について説明する。
第 2 回	解説と映画鑑賞①ー朝鮮半島の南北分断について	南北対立から理解へー南北分断のリアル DMZ
第 3 回	解説と映画鑑賞②ー朝鮮半島の南北分断について	新しい観点から南北分断を想像するー南北兵士の心理描写
第 4 回	韓国映画史ー時代区分と特徴	韓国映画史について、全体的な流れと時代別の特徴を概観する。
第 5 回	解説と映画鑑賞③ー激動の韓国現代史を生きる	激動の韓国現代史を個人史で綴るー「最も平凡な父の最も偉大な話」
第 6 回	解説と映画鑑賞④ー激動の韓国現代史を生きる	「産業化世代」ー朝鮮戦争後の韓国再建の主役であった家族愛の父親
第 7 回	韓国近現代史と映画ー日本統治下の韓国・朝鮮	韓国近現代史における日本統治時代を抜きにして韓国映画史を語ることはできない。韓国映画の創成期に当たる当時について解説する。
第 8 回	解説と映画鑑賞⑤ー日本統治下の韓国・朝鮮	上海、京城（現ソウル）を舞台にした朝鮮人の朝鮮人暗殺を描写ー親日派暗殺作戦

第 9 回	解説と映画鑑賞⑥ー日本統治下の韓国・朝鮮	当時の街並み、ファッション、経済活動、居住空間、社交場など「モダン」の再現
第 10 回	最近の韓国の若者の恋愛観・結婚観と映画	時代の変化を反映する若者の恋愛観・結婚観を垣間見て、日本の若者との間の比較をとおして、韓国社会と日本社会の比較を試みる。
第 11 回	解説と映画鑑賞⑦ー青春の思い出	初恋のロマンス、青春の思い出
第 12 回	解説と映画鑑賞⑧ー青春の思い出	青春の多様な感情の描写、現代韓国社会の中で大人に成長していく過程を描写
第 13 回	映画と講義について	映画は学習手段のひとつとして有効かー韓国の文化、社会、歴史上の事象、特に抽象的な事柄を、より明確に理解可能なものにしてくれる。
第 14 回	春学期のまとめと筆記テストの実施	筆記テストの実施

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
指定されたテキストと参考書を事前に読んでおくこと。　本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
韓国映画で学ぶ韓国の社会と歴史、秋月望、キネマ旬報ムック、２０１５年、３６８０円

【参考書】
韓国映画１００年史ーその誕生からグローバル展開まで、鄭ゾンファ著、野崎充彦・加藤知恵訳、明石書店、２０１７年、３５２０円

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。
(※旧：筆記テスト５０％、平常点５０％をもって総合的に評価する。)

【学生の意見等からの気づき】
授業の進む順番が前後する場合がある。

【学生が準備すべき機器他】
なし

【その他の重要事項】
初回の授業には必ず出席する。
毎回短い感想文を提出する。

【Outline and objectives】
In this class, we will learn about Korean and Korean culture and society
through Korean films.
The purpose of the class is to deepen the understanding of Korean societ y
through the characteristics of Korean society and changes in the times depicted
in Korean movies.

ARSe200LA

朝鮮の文化と社会ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

李　英美

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 **年**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では韓国の映画をとおして朝鮮・韓国の文化と社会全般について学ぶ。
韓国の映画に描かれている韓国社会の特徴や変化を通じて、韓国の文化と社会に対する理解を深めることが授業の目的である。

【到達目標】
様々なテーマを取り扱う韓国映画から韓国・朝鮮の文化と社会について何を読み取るか、その力を養うことが本授業の目標となる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は５月１１日とし、この日まで具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで掲示する。
(※旧：基本的にはテキストに沿って進めていく。
ひとつのテーマについて講義したあとに、２週連続で関連映像の解説と上映といった形で進める。毎回授業の最後に解説と映像に対する感想文を書いて提出する。)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の進め方に関する説明、テキストや参考書の使い方に関する説明。	授業の目的と進め方に関する説明、テキストや参考書の使い方について説明。
第 2 回	解説と映画鑑賞①ー外国原作の小説・漫画の韓国映画化	映画の中の人物を韓国人から人類へー究極な状態に置かれた人々の動き
第 3 回	解説と映画鑑賞②ー外国原作の小説・漫画の韓国映画化	映画の中の人類における各差と不平等、階級化をとおして韓国社会をみる
第 4 回	現代韓国社会と映画ー高齢化	現代韓国社会の特徴のひとつである高齢化社会をどのように描くか
第 5 回	解説と映画鑑賞③ー老いに対する考え方	現代韓国社会の諸特徴ー老いをどのように受け入れるか、どのように生きるか
第 6 回	解説と映画鑑賞④ー老いに対する考え方	現代韓国社会の諸特徴ー家族の愛情と世代間の価値観のギャップ
第 7 回	現代韓国社会と映画ー犯罪被害者を描く	神に罪を告白し、許しを得た殺人犯についてー被害者の家族は救われない。宗教、法、人間の関係を映画に投影する。
第 8 回	解説と映画鑑賞⑤ー最高の価値は人間愛	人間愛は最高の価値ー人間は人間を救うことができる。子供殺人被害者の母親。

第 9 回	解説と映画鑑賞⑥ー宗教とは	宗教とは何か、人間とは何かー人間を救えない残酷な神の姿。 神の許しとは。
第 10 回	映画に移る国家像	国家の危機管理能力についてー２０１０年代韓国政府を実例に
第 11 回	解説と映画鑑賞⑦ードキュメンタリー映画	国家とは何か。 国家の存在理由ー国民の生命・財産の保護。
第 12 回	解説と映画鑑賞⑧ーードキュメンタリー映画	真実究明と記者・言論の役割と力
第 13 回	韓国映画史を振り返るー１００年史	創成期～ルネサンス期まで
第 14 回	秋学期のまとめと筆記テストの実施	筆記テストの実施

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
指定されたテキストと参考書を事前に読んでおくこと。　本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
韓国映画１００年史ーその誕生からグローバル展開まで、鄭ゾンファ著、野崎充彦・加藤知恵訳、明石書店、２０１７年、３５２０円

【参考書】
韓国映画で学ぶ韓国の社会と歴史、秋月望、キネマ旬報ムック、２０１５年、３６８０円

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。
(※旧：筆記テスト５０％、平常点５０％をもって総合的に評価する。)

【学生の意見等からの気づき】
授業の進む順番が前後する場合がある。

【学生が準備すべき機器他】
なし

【その他の重要事項】
初回の授業に必ず出席すること。
映像を用いた授業お時は、毎回短い感想文を提出する。

【Outline and objectives】
In this class, we will learn about Korean and Korean culture and society
through Korean films.
The purpose of the class is to deepen the understanding of Korean societ y
through the characteristics of Korean society and changes in the times depicted
in Korean movies.

法政大学
HOSEI University